

長野県高体連史

五十周年記念誌



高体連マーク



由 来

このマークは、若人の力と技と明朗な精神を表徴するものである。
マークを構成している三つのKは、次のドイツ語の頭文字をとったもので、若人の情熱を示す紅色によって浮き出され高体連のシンボルマークとされている。

KRAFT
力

KUNST
技

KLARHEIT
明朗な精神

競技は力であり、進歩は技の練磨にまつ、競技者はこれをつつむ明朗な精神をもってせねばならない。

高体連の歌

一、あけゆく大空^{おおぞら}

あかねの朝の陽^ひ

仰ぐところは さやかに晴れて

ともに肩組み 鍛えゆく

生命^{いのち}はつらつ意気があがる

友よいざつどいなん

高体連 高体連 われら若し

二、さみどり 萌えたつ

希望^{きぼう}の この土^{つち}

しかと踏みしめ 大気に伸ばす

この手 この脚^{あし} 躍進^{えつしん}の

ちから溢^{あふ}れて 血はおどる

友よいざつどいなん

高体連 高体連 われら若し

三、世紀^{せいき}のひかりは

野山^{のやま}に 波路^{なみじ}に

うた声^{こゑ}たかく こだまとひびき

たゆまぬ努力 技^{わざ}を練^ねる

行手^{ゆきで}ほまれの花かおる

友よいざつどいなん

高体連 高体連 われら若し

(昭和32年7月15日制定)



発刊のことば

長野県高等学校体育連盟会長

本山 綱 規

長野県高等学校体育連盟創立50周年にあたり、ここに長野県高体連史・50周年記念誌の発刊を迎えることができましたこと、誠に意義深いことと考えます。

これも、50年というながきにわたって、陰に陽に高体連とかかわり、支えてくださった数多くの皆様の賜物と感謝いたします。

長野県高校体育連盟創立当時の世相は、食糧事情もまだまだ悪く、米の統制が敷かれ、大会遠征の時などは、食料を持参せねばならないような状態でした。しかし、一方では戦時下の重圧から開放された解放感もあってか、世情いまだ雑然たる雰囲気の中にも明るさがあったように思います。

そして現在は、少子化高齢化社会に対する対応を求められている中で、宇宙ステーションが地球を巡り、クローン動物が地上に誕生するなど、科学技術は驚愕的進歩をとげています。

こうした50年間にわたる社会のさまざまな変化の中であって、時代の要請に応えつつ、歩を進めてきた長野県高体連の歴史を、記念誌という形で多くの皆様にご覧いただけるということは、高体連に関わりを持ってきた者たちにとって大きな喜びであります。同時に、現在高体連に関わっている者たちにとっては、来るべき21世紀における長野県高校体育連盟の果たすべき役割と具体的対応を考える上で、大きな励ましであると考えます。

この本が、長野県高等学校体育連盟の更なる発展と充実に寄与すること大であることを念じながら、発刊のご挨拶といたします。



長野県高体連史・50周年記念誌の刊行を祝して

全国高等学校体育連盟会長

河 上 一 雄

長野県高等学校体育連盟創立50周年ならびに記念誌の刊行まことにおめでとうございます、心よりお祝い申し上げます。

長野県におきましては、昭和24年6月4日に高等学校体育全般の振興を図ることを主な目的として、高等学校体育連盟が創立された歴史があるときぎます。

爾来、50年にわたり高等学校のスポーツ活動ならびに体育活動の振興に鋭意努められ、素晴らしい成果をあげてこられましたことに深く敬意を表するところであります。

また、地域の特性を活かされ全国高等学校総合体育大会のスキー・スケート大会において素晴らしい成績をあげられるとともに、大会の開催におきましても、県下あげての入念なご準備により大成功をおさめられましたことは記憶に残るところでもあり、また10年度の大会も予定されておりそのご努力に感謝申し上げます。

現在、時代や社会の大きな変化とともに少子高齢化が進み、学校教育をめぐる環境は大きく変化してきています。こうしたなか、高等学校のスポーツや体育活動も多くの課題を抱えることとなり、その課題解決のためさまざまな努力が求められています。

21世紀を担う健やかで心豊かな青少年の育成をいっそうすすめるため、高等学校体育連盟の果たす役割には大きなものがあると考えます。

長野県におかれましても、この50周年を契機として高等学校体育連盟のいっそうのご発展と大きな成果をあげられますことを祈念し、お祝いのあいさつとさせていただきます。



祝 辞

長 野 県 知 事
吉 村 午 良

長野県高等学校体育連盟が、この度創立50周年を迎え、併せて50年の足跡の記念誌を発刊されますことは、誠に意義深く心からお喜び申し上げます。

貴連盟は、昭和24年に創立されて以来、今日までの長きにわたり幾多の困難を乗り越えられ、年ごとに充実し、学校体育を基盤としての体育・スポーツの振興と青少年の健全育成に果たされました役割は誠に大きいものがあり、ここに関係各位の並々ならぬ熱意と努力に深く敬意と感謝を申し上げます。

1998年の長野冬季オリンピック・パラリンピックは、世界の人々に大きな感動と勇気を与え、次代を担う青少年の心に夢や希望、平和の尊さなどを残し、将来の糧となる意義深いものでありました。

体育・スポーツの実践を通して心身ともに健康で次代を担うにふさわしい青少年の育成に努めることは極めて重要であり、貴連盟の果たす役割は来るべき21世紀に向けてその重要性を増すものと考えられますので、なお一層の御尽力と御努力をお願い申し上げます。

終わりに関係各位のこれまでの御労苦に深く感謝申し上げますとともに、この50周年を契機として貴連盟がさらに発展されますことを祈念いたしまして祝辞といたします。



祝 辞

長野県教育長

戸田 正明

このたび「長野県高体連誌=50周年記念誌=」が発刊されることになり、輝かしい五十年の歴史と諸先輩の偉業を綴る貴重な記録として後世に残されることは誠に有意義なことであり、心からお祝い申し上げます。

顧みますれば、長野県高等学校体育連盟は戦後の荒廃の中で、昭和24年6月4日に創立されて以来、今日までの長きにわたり、高等学校のスポーツの普及・振興・発展に大きく貢献され、今や全国でも有数の伝統ある高等学校体育連盟として発展を見ておりますことは、誠に御同慶にたえません。

今日の確たる礎を築いてこられた、歴代会長ならびに関係各位の体育・スポーツに寄せる深い御理解とその情熱に対し深甚なる敬意を表する次第であります。

今日、少子高齢化・都市化に伴い、生涯にわたり健康で豊かな生活を送るためのスポーツライフの実現が課題となり、高等学校において、その基礎を培うことが求められております。また、県民に勇気と希望を与える意味で高等学校生徒のスポーツにおける活躍に大きな期待が寄せられています。

また本県では「長野県教育長期構想」におきまして「生きがいと健康をつくるスポーツの振興」を目指しておりますが、貴連盟におかれましてはこれを機にいよいよ充実され、長野県のスポーツ振興に引き続き寄与されるようお願いするものであります。

終わりに、この五十年の歩みを編さんされた関係各位の御労苦に深く敬意を表するとともに、長野県高等学校体育連盟の一層の御発展を祈念し祝辞といたします。



発刊に寄せて

長野県高等学校長会会長

北原 明

長野県高等学校体育連盟50周年誌の発刊をお喜び申し上げます。

新しい高等学校が発足した当時、我が国は未だ廢墟の中であって貧しかった。多くの人々は「国破れて山河あり……」の感慨に浸りながらも、明日の生活に追われていた。新憲法と教育基本法は出来たものの、教育理念や教育課程も定かでない有り様で、ただ前途に漠とした明るさや希望を感じながら高校教育がスタートした。その明るさや希望を何よりも感じさせてくれたのは、若者達のスポーツに打ち込む姿ではなかっただろうか。

以来高体連は50年にわたって紛れもなく高校教育の一翼を担い続けて今日に至っている。全国制覇に輝く能代のバスケや岡工のバレーのような、言わば高校スポーツの頂点に立つ伝統校は別として、ごく普通の高校生が部活動に励む時の合言葉や夢は「県大会へ、そしてインターハイへ！」である。通常3年生の夏まで、彼らを支え、その技術や体力のみならず人格形成にまで深く影響を与える運動系部活動と高校教育を切り離して考えることは事実上不可能である。卒業生にとっては、学級担任との繋がりもさることながら、部活の顧問との関係はそれにも増して一層濃密なものになることもある。

言うまでもなく、教育は知、徳、体の3本柱から成り立つけれども、本県の場合何と言っても最重要課題として学力向上を位置づけている。しかし、それはあくまでもバランスのとれた、全人的発達を目指す中での位置づけであることも忘れてはならない。そうであればこそ、本県高体連の果たす役割もまた極めて重いと言わざるを得ないのである。多くの場合、部活動の顧問と言っても必ずしも専門家が各校に配置されているわけではない。素人でありながら校内事情からやむなく顧問を引き受けていることもしばしばある。顧問の教職員は（時には行政職員も）殆ど連日の超過勤務を続け、時に家庭生活をも犠牲にしなければならない。そのうえ過熱ぶりを批判されることもあるが、部活動はこうした幾多の職員の献身によって支えられているのが現実である。部活動指導の抜本的改革は今後に待たねばならないが、当面せめて特勤手当等的大幅増額を実現していかなければならないと思う次第である。以上50周年記念誌の発刊を祝うとともに、高体連の土台を構成する部活動について所感を述べさせていただきます。



祝 辞

長野県中学校体育連盟会長

宮 入 久

長野県高等学校体育連盟が組織され、活動し続けて50年、本県の高等学校の体育・スポーツの充実発展に多大な貢献をされましたことに対し、心から敬意を申し上げます。

今年の2月には、長野オリンピック。6月にはサッカーワールドカップが開催され、国民にスポーツのすばらしさを再確認させてくれた年でもありました。

スポーツは、他者との競争や自己の限界への挑戦を内容とし、それにかかる選手のひたむきな姿や選手と関わりのある家族や監督・仲間との絆に結ばれた人々の姿があり、そして多くのドラマを展開してくれます。

各高等学校における運動部員の元気な声や真剣にとりくんでいる姿は、輝いており、学校の健全さを感じさせてくれます。

各種大会を目指して、それぞれの目標・課題に向って厳しい練習に耐えながら、技を磨き・気力体力を高め・協力し合っている姿があります。

部活動をとおして味わった“喜び”“苦しさ”“悔しさ”“切なさ”等の感動や体験は自分自身を大きく高めることができ、自分の宝物になっていることと思います。

この体験で得た力（体力・友情・協調性・ねばり強さ・判断力等）は、今後の歩みの中で“生きる力”となっていくものであります。

21世紀の社会と生活は、「健やかな生」「豊かな交流」「伸びやかな自己開発」によって特徴づけられる。と言われております。この三つの特徴は、スポーツ文化にも内包されているものであります。

これからの暮らしの中で、スポーツの豊かな文化的可能性を享受して、人間形成をしていくことも大事なことであります。

この点からも、県校体連（県中体連を含めて）の存在は、更に意義あるものになっていくものと思われれます。今後も、県中体連は、県高体連と連携を更に密にしながら、ご支援・ご協力をいただきながら歩んでまいりたいと思います。

県高体連の益々のご発展を心から祈念いたします。



旧高体連旗
昭和20~30年代



前高体連旗
昭和50~60年代

50周年記念式典参加者記念写真



来賓 旧役員（正副会長，専門部長，常任理事）の先生



学校長および実行委員



旧専門委員長 報道関係者他



東・中・南信高校 職員



北信高校 職員

切久保深雪（白馬） スキー 3年連続優勝



平成元年度回転, 2年度回転・大回転, 3年度回転

堀米光男(中野実業) スキー 3年連続優勝



平成2, 3, 4年度15kmクラシカル

中野実業高校 スキー 3年連続優勝



平成5年度男子40kmリレー
(佐藤・中村・竹節・黒岩)

清水美映（松本深志）スケート 3年連続優勝



平成2年度1500・3000m, 3年度3000m, 4年度1500・3000m

中野実業高校 スキー 3年連続優勝



平成3, 4, 5年度男子学校対抗
[写真は平成5年度三連覇達成メンバー]

佐久高校（現佐久長聖高校）スケート 3年連続優勝



平成5, 6, 7年度男子学校対抗
[写真は平成7年度佐久長聖高校として三連覇達成メンバー]

今井裕介（佐久長聖）スケート 2年連続優勝



平成6年度500・1500m, 7年度1000・1500m

白馬高校 スキー 2年連続優勝



昭和63年度, 平成元年度女子学校対抗
[写真は平成元年度二連覇達成メンバー]

富井彦（下高井農林）スキー 2年連続優勝



平成2, 3年度コンバインド

岡村秀輝（中野実業）定通柔道 2年連続優勝



平成3, 4年度中量級

神津正昭（中野実業）スキー 2年連続優勝



平成3, 4年度15kmフリー

中野実業高校 スキー 2年連続優勝



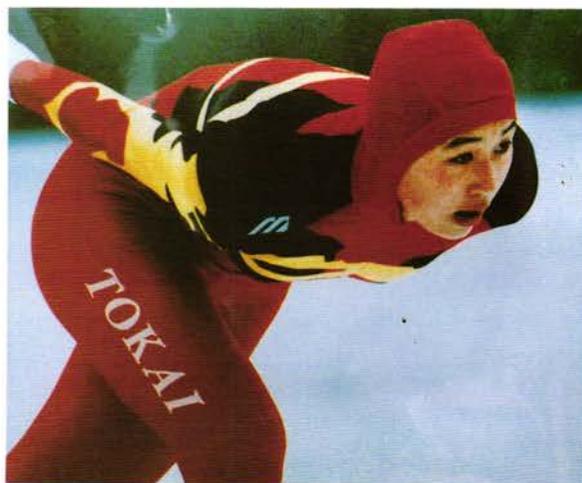
平成5, 6年度女子15kmリレー
[写真は平成6年度大口・法華・桜井]

新谷志保美（伊那北）スケート 2年連続優勝



平成7, 8年度500m

外ノ池亜希（東海大第三）スケート 2年連続優勝



平成7年度1000・1500m, 8年度1000m

飯山南高校 スキー 2年連続優勝



平成8, 9年度男子40kmリレー
[写真は平成8年度服部・金丸・恩田・青木]

東海大第三高校 スケート 優勝



平成8年度女子学校対抗

飯山南高校 スキー 優勝



平成6, 8年度学校対抗
[写真は平成8年度スキー部員]

空 手



昭和63年度 女子型優勝 三村由紀 (松本深志)

陸 上



平成元年度 女子100mH優勝 青木利佳 (中野西)

弓 道



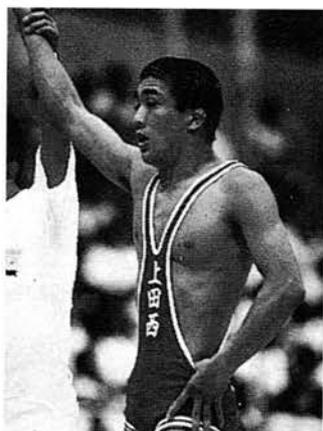
平成3年度 女子団体優勝 飯田女子高校

漕 艇



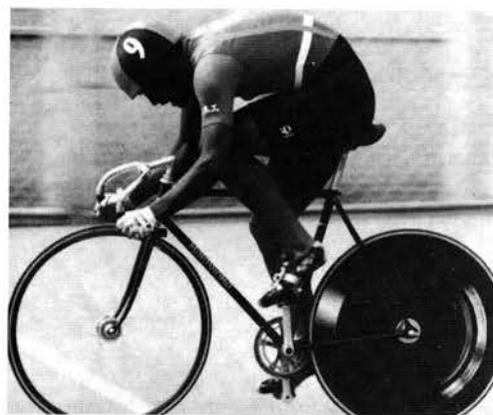
平成4年度 男子舵手付きフォア優勝 岡谷南高校

レスリング



平成6年度 58kg級優勝 竹花良二(上田西)

自 転 車



平成元年度 1000mタイムトライアル 2位
塩原正長 (松本工業)

柔 道



平成2年度 男子重量級 2位山岸裕二 (更級農業)

フェンシング



平成3年度 男子サーブル 2位 木下進一 (伊那北)

水 泳



平成5年度 女子200m背泳ぎ2位
保坂真理子(伊那西)

バレーボール



平成9年度 男子2位 岡谷工業高校

体 操



平成4年度 女子床3位 中島真弓(文大長野)

ウェイトリフティング



平成元年度 男子60kg級5位 永田真樹(篠ノ井)

ボクシング



平成3年度 男子ウェルター級ベスト8
山崎信二郎(丸子実業)

ソフトボール



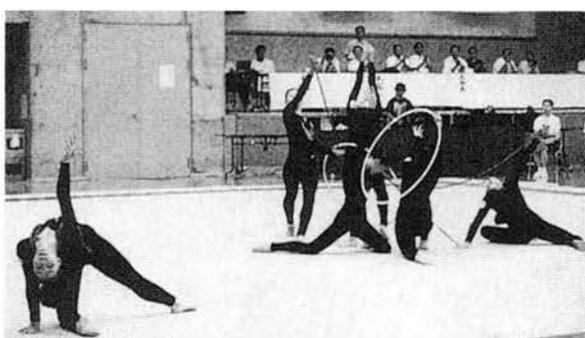
平成4年度 男子 ベスト8 伊那弥生ヶ丘高校

テニス



平成7年度 男子学校対抗 ベスト8 松商学園高校

新体操



平成8年度 女子団体 ベスト8 伊那弥生ヶ丘高校

卓 球



この10年間に10年連続全国大会男女アベック出場
松商学園高校 [写真は十連覇達成メンバー]

バドミントン



この10年間に7回全国大会男子出場
中野実業高校 [写真は平成7年度メンバー]

バスケットボール



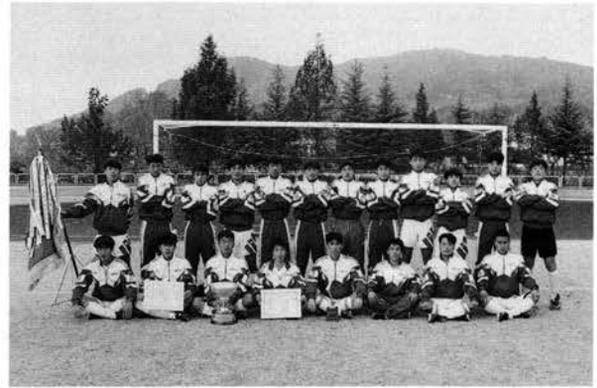
この10年間に7回全国大会女子出場
佐久長聖高校 [写真は7回目出場メンバー]

ソフトテニス



この10年間に5年連続全国大会男子団体出場
上田染谷丘高校 [写真は連覇スタート時メンバー]

サッカー



この10年間に6年連続全国大会出場
松商学園高校 [写真は平成6年度優勝メンバー]

ハンドボール



この10年間に4回全国大会男女アベック出場
屋代高校 [写真は3回目アベック出場メンバー]

剣 道



3年連続全国大会男子個人出場 (6, 7, 8)
藤原慎吾 (長野日大)

目 次

第1章 回顧録

- 第1節 歴代役員の回想記 1
- 第2節 オリンピック・パラリンピックに出場して 16

第2章 長野県高体連50周年記念事業

- 第1節 記念事業実行委員会とその活動 29
- 第2節 記念事業の内容 31

第3章 長野県高等学校体育連盟の沿革

- 長野県高等学校体育連盟年次別役員一覧表 39
- 第1節 昭和20（1945）年代 64
- 第2節 昭和30（1955）年代 70
- 第3節 昭和40（1965）年代 82
- 第4節 昭和50（1975）年代 91
- 第5節 昭和60年代および平成年代 101

第4章 四地区高等学校体育連盟の概況

- 第1節 北信高等学校体育連盟 108
- 第2節 東信高等学校体育連盟 114
- 第3節 中信高等学校体育連盟 119
- 第4節 南信高等学校体育連盟 125

第5章 専門部の概要と競技記録 131

- 全国高等学校総合体育大会記録 334
- 北信越高等学校体育大会記録 342

第6章 加盟校紹介 357

- 資 料 411

編集後記

題字 会長 本山 綱規

第 1 章

回 顧 録

第1節 歴代役員の回想記

年度	会長	理事長	記事	年度	会長	理事長	記事
24	西村 文雄	刈間今朝雄	長野県高等学校体育連盟結成	45	山田 石男	三村 成美	
25	〃	〃		46	中村 博二	北沢 生吉	
26	〃	〃	第1回全国高等学校スケート選手権大会開催	47	〃	〃	
27	〃	〃	第5回全国高等学校陸上大会開催	48	〃	〃	
28	〃	〃		49	佐藤 穂次	湯本 宣政	
29	〃	〃	第4回全国高等学校スケート選手権大会開催	50	〃	〃	
30	田中 実	〃		51	〃	〃	全国高校総体開催
31	西村 文雄	〃	第6回全国高等学校スキー大会開催	52	丸山 保彦	〃	
32	塚田 隆雄	〃		53	栗田 寛	〃	第28回全国高校総体スケート選手権大会開催
33	〃	〃		54	藤森 慎	伊藤 昭治	
34	更級 勉	丸山 保彦	第9回全国高等学校スケート選手権大会開催	55	〃	〃	
35	〃	〃	第10回全国高等学校スケート選手権大会開催	56	〃	〃	
36	新田 稔	〃		57	市村順太郎	〃	
37	〃	〃		58	平松 剛	渡邊 伊八	
38	久保田文雄	〃		59	〃	〃	
39	〃	〃	全国高校総体ソフト、ハンドボール大会開催第14回全国高校総体スキー、スケート大会開催	60	〃	〃	第35回全国高校総体スキー大会開催
40	宮下 清計	三村 成美		61	〃	〃	
41	山田 石男	〃		62	高橋 重造	〃	
42	〃	〃	全国高校総体バレーボール、テニス大会開催	63	小林 仁	両角 千明	第38回全国高校総体スケート選手権大会開催
43	〃	〃		元	〃	〃	
44	〃	〃	第19回全国高校総体スキー、スケート大会開催	2	〃	〃	
				3	竹内 長生	小島 功	
				4	藤澤 愛信	山浦 正孝	第42回全国高校総体スキー大会開催
				5	〃	〃	
				6	〃	〃	
				7	〃	〃	
				8	海沼 清美	布施 紀彦	
				9	本山 綱規	〃	
				10	〃	〃	第48回全国高校総体スケート選手権大会開催

(「全国高体連50周年記念誌」原稿より)



南信へ初めて県高体連事務局くる

昭和63年～平成2年 会長

小林 仁

諏訪二葉高校が、岡谷東高校と共に、県立高校でさいごに共学を実施した昭和62年は学校創立80周年の年であった。共学にともなって、第2グラウンドの造成工事が始まり、校内では86名の初の男子生徒を加えて、記念行事の準備が着々とすすめられていた。そのころ、県高体連では、次の事務局をどこにするかで、関係の先生方が大変ご苦心されていたらしい。当時、南信高体連事務局は、諏訪実業高校で、会長の西沢校長先生、理事長の北沢先生も渦中の人となり並々ならぬご苦労があったと、もれうけたまわった。事務局を4地区もちまわりにする。順番は南・東・北・中とする。任期は4年とすることでまとめられた。さっそく南信高体連では、地理的条件を考慮して、諏訪地区に場所をしばり、理事長候補の人選をはじめた。具体的には、各校体育科代表の話合いが持たれた。理事長を出した学校が事務局となり、校長が会長になるわけだが簡単にはいかない。しかし、粘りよく話合いを重ねた結果、本校の両角千明先生が候補に決まり、次期理事長になった。第2体育館の更衣室を事務局にし、理事会をやる部屋と駐車場がないので市の施設を借りる。前事務局長野吉田高校より事務をひきつぐ。全国高体連理事会出席のため、東京の日比谷高校へ行く。ずっしり重い資料を渡され規模の大きさを実感する。県総体がはじまる。高校総体へ県選手団として参加、数万の大観衆が見守る中を行進する。久々にさわやかな緊張を覚えた。秋を感じると新人戦がはじまり、やがて冬季スポーツ、スキースケート競技会となる。その間に、北信越高体連・県体協の会議がもたれる。1年目は短くすぎた。地区高体連の会長・理事長、各専門部長・委員長、長野吉田高校の高橋前会長・渡辺前理事長の力強い支援をえて事務局も自力を発揮出来るようになった。悲しいこともあった、北信高体連会長で須坂高校長の百瀬安人先生が病気でお亡くなりになった。高校総体県選手団のユニフォームを持ってお見舞に自宅に行ったときは、お元気に話げできたのに。竹松さやかさん諏訪二葉高校2年生、地区新人大会新体操個人種目演技中の事故で亡くなった。お元気なら26歳になる。面影をしのび改めてご冥福をお祈り申しあげます。平成3年3月、私は定年退職、両角理事長は教頭昇格で事務局を去り、竹内校長・小島先生に後を託した。理事長は高体連の顔である。両角先生は豊かな経験と温和人柄で最適の先生だった。理事長が存分に力を出す影の支え小島先生には感謝の言葉がない。ありがとう。



諏訪の事務局、超多忙

平成3年 会長

竹内 長生

平成3年4月、諏訪二葉高校長の発令とともに県高体連会長の任についた。これまで高体連の活動に深くかかわっていなかったため、その組織の大きさ、はたしている役割の重さに驚いた。校内の県高体連事務局で、この年新しく理事長となったK先生からレクチャーを受けたが、すぐにはのみ込めない位であった。こんな私を現実はいきびしく迫り、すぐ理事長会からの一連の活動が大きいのしかかった。こんな大役が私に務まるかと不安もあったが、5月からの各専門部の県大会の視察激励に行き、生徒諸君の真摯な姿にふれ、大きな感動を覚えるとともに新しい力がわいて来た。

このような中で、通常の大会運営、全国大会等への派遣、各専門部の活動などは順調にすすめられた。この年、手当をしなければならない課題が大きく三つあった。その一は、平成5年2月に北安曇郡小谷村梅池高原で開催予定の、スキーの全国総体の準備である。5月にまず小谷村教育委員会へご挨拶し、9月にはインターハイ開催実行委員会を組織した。その後県体育課や県スキー連盟などのご協力をいただき、さらに実行委員会人事の手当など準備に万全を期した。二つめの課題は難問であった。平成元年の消費税導入にともなう県高体連運営費増の問題である。消費税は諸経費の増をまねき、これに対応するため大会参加費の値上げに踏み切ったのである。高校生諸君の大会に参加する経費の値上げであるので悩みが大きかったが、皆様のご協力で実現できた。運営の健全化が可能となり、ホッとした。三つめの課題は、二葉高校での高体連事務局4年目の最終年にあたり、事務局移転準備の件である。次期事務局校は地区持回りで東信・上田高校に決まっていた。9月には上田高校スタッフを選んでもらい、すぐ事務処理や資料づくり等の実務について具体的に携わっていただいた。都合5回ほどの機会を持ち、3月末の移転はスムーズに終了した。

県高体連会長は県体協副会長も務めている。その関係でうれしくすばらしい体験を得た。10月の金沢国体開会式の夜、日体協の国体懇談会に県代表の一人として出席した。この時天皇・皇后両陛下に直接親しくお言葉をかけていただき、感激のきわみであった。こんな体験は他ではできない。体協関係のもつすごさである。

高体連・県体協関係の出張だけで年間70数日、超多忙な1年であった。



個人的な思い出

平成4年～平成7年 会長

藤 沢 愛 信

およそ体育やスポーツに縁のないものが、こともあろうに高体連にかかわることになりました。わけがわからないうちに二期4年の任期が終わり、同時に定年退職となりました。数えきれないほど多くの会議や大会に参加しましたが、仕事に関することはみんな忘れてしまいました。全く個人的な思い出がいくつか残っているだけです。

鳥取の大会に参加したときのこと。開会式当日、早めに起きて役員の方と鳥取の砂丘と城跡を訪れました。砂丘にラクダがいたらいいこと、城跡（公園）の一角に岡野貞一の記念碑があったことを覚えています。岡野貞一は鳥取出身で多くの文部省唱歌を作曲した人ですが、特に長野県出身の高野辰之の作詞とのコンビで作曲したものが特に名曲として有名です（「晴が来た」「春の小川」「故郷」「朧月夜」など）。高野辰之は飯山と縁の深い人、私も飯山の地で10年勤務しました。岡野貞一は、当時の私の勤務校（上田高校）の校歌を作曲した人として名前だけは知っておりました。（なお、下伊那農業・松本深志の両高校の校歌も岡野貞一の作曲したものだそうです。）

そんなことを思いながら鳥取城のお濠を眺めていました。お濠のむこうがお城のあったところ、そのむこうには形のよい山が見えます。お濠は立派なもので大きな魚が泳いでおります。誰かがお濠のむこうに高校があると教えてくれたので近くまで行ってみました。上田高校もお濠のある学校なのでなんとなく親しみを感じてしまいます。鳥取と長野県もみえない糸で結ばれていることが、ほかにもあるような気がしてきます。突然、懐かしい音楽が聞こえてきます。公園の各地でラジオ体操がはじまりました。私たちも、一斉にその場に立ちあがって体操に参加しました。にわかに親しみを感じた鳥取の人たちとあいさつをかわしながら公園に別れを告げたのでした。鳥取大会に参加した先生方や選手諸君のすばらしい思い出にくらぶべくもないたわいない自分勝手な思い出です。

4年間お世話になりました。先生方や生徒の皆さんについては申すまでもありません。高体連に対する県民各界各層の皆さんの期待がいかに大きいかということを身にしみて感じた4年間でした。心から感謝申しあげるとともに高体連に対して変わらぬ御支援のほどお願い申しあげます。最後に高体連のますますの御発展を願いながら、先生方と生徒の皆さんのご活躍をお祈り申しあげます。



県高体連事務局を預かって

平成8年 会長

海 沼 清 美

私が高体連にかかわったのは平成8年度一年間でありました。上田高校から事務局を引き継ぐことになり、長野高校体育科の先生方の全面的なご協力をいただいてスタートしましたが、はじめのうちは右往左往の連続でした。それだけに私の教員生活の中で思い出の多い貴重な一年でした。

高体連事務局の仕事は定期的におこなう決まった仕事と将来を見通しての事業の立案・計画という仕事の二つに大別されるように思われますが、後者の方の仕事で戸惑ったことが多かったように思います。このたびの50周年記念誌の刊行も平成8年度に手懸けた仕事のひとつでありました。平成10年度は県高体連が産声を上げて50年目の年にあたるので、先ず記念事業の立案・計画するための準備委員会を結成して準備にとりかかりました。月日の経つのは早いもので、今年度はもうその節目の年になってしまいました。

次に、全国の理事会で平成10年度のスケート・アイスホッケーの全国大会を本県で開催することを提案し、正式に決定されるという運びになりました。続いて、平成11年度のスキーの全国大会の開催県のローテーションで本県が候補に上がっているという客観的な事実もありましたので、布施理事長と一緒に飯山市を訪問して市長さんに開催を依頼したことも思い出されます。

高体連の様々な仕事を通して、高体連には教職員だけでなく、県教委・県体協をはじめ市町村教委・各種競技団体・報道関係の方々のご支援とご協力をいただいて事業を運営することができるということを痛感いたしました。同時に各界・各層の方々との人間関係も構築させていただき、多くのことを学んだように思います。また、各種大会を視察した時には生徒諸君が日頃の練習の成果を存分に発揮して競技にとりくむ真摯な姿に感服したものです。

最後になりますが、この節目の年を踏み台にして高体連の益々の発展を心から願っております。



光る汗 かがやく瞳 いま青春

昭和63年、平成元年 副会長

武田良寛

この標題は、昭和六十三年夏に行われた、全国高校総体の標語である。この年をもって昭和の年号は終わった。私は昭和の終わりから平成にかけての二年間役職についた。昭和六十三年度全国高校総体夏季大会は、神戸市を中心に近畿地方で開催された。開会式が神戸市ユニバー記念競技場で行われ、長野県選手団は二百余名で、入場行進が整然と行われるには、まず歩調が揃っていなければならず、行進中の行動が統一しているよう何回も練習し、入場直前まで緊張の連続でした。スタンド中央に皇太子ご夫妻がご臨席になり、美智子妃殿下が軽く手をふっておられる姿を拝見することができました。

翌年は天皇の薨死により年号が「平成」にかわり、今の小淵総理大臣が官房長官の時に発表された。この平成の典拠は史記の「内平外成」からと、また書経の「地平天成」からといわれた。この元号の出典にこめられた理想が実現しているかどうか、一昔前と今とを比べてみて考えこんでしまった。年号が変わると、「飛翔 平成の空高く」という言葉が盛んに発せられた。一月十六日から五日間、全国高校スケート競技大会が軽井沢で開かれ開会式には、吉村県知事がおみえになり祝辞を述べられました。この大会で上原選手が千メートル、堀内選手が千五百メートルに優勝した。平成元年度のインターハイは、高知を中心に四国で開催され、私は名古屋空港から高知へとび、今もよい思い出としてのこっております。

南信地区は諏訪、伊那、飯田と長い距離で、各地区での開会式の挨拶に行くにはたいへんでした。私も平成になってから、新しい時代に期待をこめる言葉をよく使いましたが、将来を担う若人のために、真紅の高い理想と希望に燃える若人の情熱を象徴する高体連の「三K」のマークの意味をよくのべました。悲しい思い出としては、平成元年度新人戦における諏訪二葉高校の竹松さやかさんの体操の演技中の事故死でした。その頃活躍した選手達もぼつぼつ三十代に入る働き盛りの年代、二十一世紀の発展のために必ずや貢献するものと思います。冬季オリンピックが無事に終わり「長野」の名がしれわたった。誘致運動に協力した者にとって、大会の成功を心から喜ぶとともに、関係者のご尽力に対し感謝と敬意を表します。高体連の創立五十周年をお祝いしつつ、次の二十一世紀へ向けて力強く羽ばたくことを祈ってやみません。（元伊那北高校長 下伊那郡豊丘村堀越）



旗について思うこと

平成元年、2年 副会長

北野 進

平成元年（1989）4月、岩村田高校長として転任してきました。その年度から東信高体連の事務局を岩村田高校が担当することになっていたようです。そんなことを知らなかった私は、突然に東信高体連の会長と県高体連の副会長の重責を担うことになりました。幸運にも、事務局を担当した柏木喜雄（東信高体連・理事長）・臼田一海（ともに体育科の教諭）両氏の尽力によって、2年間の任期を全うすることができました。

県高体連の役員会は諏訪二葉高校（高体連会長・小林仁）を会場に行なわれました。佐久の岩村田からは柏木喜雄氏の車に乗せてもらって、白樺湖畔を經由して毎回出席しました。ある日、白樺湖畔のホテルのポールに、歓迎のために掲げられたドイツ国旗の上下が逆になっているのに気付きました。早速、直すように話しました。国旗というものについて考えさせられる問題でした。

それと同様のことが日本の国会正門でもあったようです。1981年5月8日、イギリスのエリザベス女王が来日のとき、国会正門に英国国旗「ユニオン・ジャック」を上下を逆に掲揚していたのです。それを発見した吹浦忠正（難民を救う会代表・私の友人）が国会に連絡し、揚げ直した話を聞いたことがあります。詳しくは吹浦忠正著『国旗に関する12章』（1984年発行、日本YMCA出版）の22～23ページを参照してください。

最近では、平成10年2月の1998年冬季オリンピック長野大会において、国旗を「選手団の旗」と呼ぶなど国の事情に対する苦心の配慮もなされました。観客の振る日の丸のデザイン寸法比も異なっておりました。かつて東京オリンピックの際に、日の丸のデザインを遠目にも美しく見えるように、縦の長さの三分の二の大きい円（太政官布告は五分の三）に改正する計画も実現しませんでした。敗戦後の半世紀を経過しても日本の「国のかたち」が明確に決まっていないことを感じた次第です。

それに比較して、「高体連の旗」の目指すものは3K、すなわちドイツ語のKraft（力）とKunst（技）とKlarheit（清澄・心）との一体を掲げて極めて明確です。それを基盤にした長野県高体連の50年の歴史には、それぞれの時代の関係者の努力と知恵とが結晶していると思います。私は2年間だけの関係でありましたが、今後の発展を祈念しています。



熱き血潮を揺さぶる感動を若者に

平成2年・3年 副会長

松下 勲

長野県高等学校体育連盟創立50周年記念、誠におめでとうございます。

平成2、3年度南信高等学校体育連盟の事務局を飯田風越高校が担当した頃の回想を、という事務局からのご依頼がありましたので、思い出される仮に筆を執りました。

その頃、南信では、地区大会で活躍した選手諸君が、さらに県、北信越、全国へと駒を進める中で、好結果を出すチームや選手が多く、地区としても大いに盛り上がっていたのではなかったか、と
思っております。平成2年度は、現在も常に全国トップクラスの力を維持し続けている岡谷工業高校
男子バレーボール部が全国高校総体で準優勝、上伊那農業高校陸上部男子が全国高校駅伝で県勢とし
ては36年振りに9位入賞を果たし、また、3年度には、飯田女子高校弓道部が全国高校総体で団体優
勝、更に、陸上、漕艇、ソフトテニス、フェンシング、弓道、スケートなどが、全国レベルの大会で
活躍しておりました。

事務局が飯田地区にあったことにもよりますが、特に印象深く心に刻まれているのは、陸上長距離
の選手として活躍していた飯田工業高校の松山克敏君です。彼は、平成3年度の県大会では、1500、
3000、5000mの三冠王に輝き、カンカン照りの灼熱の太陽が照りつける酷暑の静岡県で行われたイン
ターハイにも出場し、よく健闘しました。

彼は体格的には決して恵まれているとは言えませんが、毎日学校への片道18キロの道を往路40分、
帰路1時間かけて自転車で通い足腰を鍛えておりました。そして、1500mで4分を切るという類い希
な実力もさることながら、その精神的な逞しさと真摯な態度、そしてスポーツを通して培われた人間
性に素晴らしいものがあったと思います。

春夏秋冬、年間を通して行われる南信地区の各種大会には、秀逸したその運営手腕を遺憾なく発揮
した坂巻道弘理事長と共にできるだけ顔を出し、役員の方や選手諸君に一声激励と感謝の心を捧
げましたが、何処の会場も溢れんばかりの熱気と興奮が渦巻いており、私もその雰囲気の中に身を置
くことが楽しみであり、また活力も与えられました。

早朝や放課後、或いは休日に前向きに自己の可能性と向上を目指して黙々とトレーニングに励む若
者たちを見る時、スポーツを心から愛し、親しみ、その奥深さを知り、その精神を肌で体得した若者
だけに見られる爽やかさを感じます。多感な青年期に仲間と共に汗を流し、鳥肌の立つような感動を
味わう体験を通して、今、若者たちに強く求められている不撓不屈の精神力と豊かな人間性が陶冶さ
れてゆくものであると思っております。

平素、各学校で運動クラブのご指導に、その労を厭わず心血を注がれておられる諸先生方をはじめ
事務局や専門部の方々に心からの感謝を申し上げ、益々のご発展を祈念しております。



2年間の思い出

平成4年、5年 副会長

藤 森 弘

平成4、5年度岡谷工業高校で南信高体連会長を務めた。飯田風越高校から引き継いだ、諏訪地区のどこの学校で引き受けるか、ずいぶんもめたうえでの当番校だった。しかし仕事が始まってからは、体育課の職員の連携は見事で、私自身にとっては楽しい2年間になった。初任の駒ヶ根工業高校で軟式テニスの専門委員を10年ほどやったが、その後長く高体連とは縁が無かったので、春季総会で多くの顔なじみの先生方に会った時は、びっくりすると同時に懐かしかった。

5月に入り総合体育大会の南信大会が始まると、百瀬理事長と手分けで競技会場に顔を出していたが、それぞれの競技にそれぞれの面白味があり、あきることがなかった。インターハイの全国大会は2回参加し、開会式の行進やトップレベルの選手を間近に見る初めての体験に、暑さも苦にならず楽しい数日を過ごした。

平成4年の宮崎大会は往復の飛行機が大変だった。羽田から乗ったジャンボ機が宮崎空港へ一度では着陸できず、ひやりとさせられたし、帰りは台風が来て飛行機が飛ばかどうか心配させられた。しかし滞在したフェニックスホテルは、このごろ話題になっているシーガイヤー（当時工事中）の完成模型が飾ってある快適なホテルだった。競技場は宮崎市を中心に広範囲にわたっているのも、レンタカーを借りて会場周りをした。滞在を延ばして応援した岡谷工業高校のパレーは、ベスト8になった。

平成5年の栃木大会は近県でもあるので、役員は県事務局の上田高校へ集合し、車に分乗して行った。前年同様長野県選手を応援して廻ったが、競技は別にして、残念ながら南国宮崎のような強烈な思い出は残っていない。この年も岡工のパレーはベスト8だった。

長野工業高校に移って、5年間柔道競技にかかわってきた。柔道競技に関していえば、このところ選手数が減ってきて、団体戦に出場できない学校も増えてきている。淋しい限りである。これからは生徒数の減少で高体連の運営も大変だと思うが、半世紀の歩みのうえに新たな歴史を重ねてほしい。



高体連の思い出

平成5年～平成7年 副会長

跡 部 和 教

長野県高等学校体育連名が50周年記念を迎えるという話を耳にして、時の流れの早さに一種の驚きと懐かしさと感慨深さを感じます。心からお祝いを申し上げます。

六年半振りに長野に帰ると北信高体連事務局が赴任校にあり、4年任期の2年目であった。平成5年4月第一回の常任委員会が上田で開催され、その席上既に平成8年度からの県高等学校の時期事務局は、中心地区です。宜しく願いますとの話が出ました。私は、内心ホッとしました。帰り道で内田理事長が北信じゃないのかなともらした言葉が何となく引っかかっていた。不安は的中案の定5月の理事長会議から帰ってあの発言は誤りであったと。地区の順番は長野吉田が事務局の時持廻り順を決め3・4・2・3通学区と廻って来たので順番は4通学区になるのでお願いした。経済的な見通しをつけ、事務局校を決めるべく10月に理事長に出向いてもらい各校代表者と会合を持った。

平成6年新春から県事務局校の決定に向け取組んだ手始めに評議員会、通学区毎の会議を持って頂き、評議員会を経て第3通学区でということに決まった。3通学区の会議を3回持ち、長野高校にお願いしようということになり、正副会長、理事長、理事で学校を訪ね事務局校のお願いを学校長にした。学校長から職員会議で県高体連事務局の申入れがあった旨話したと報告をいただいた。しかし事態はなかなか展開しなかった。事務局決定には、学校教育方針の在り方・人事・職員の協力・経理等の諸問題が絡み大変なことであると思った。人それぞれの立場・思惑・願い・思入れ等が交錯し、すんなりとは行かず、藤沢会長、内田理事長等多くの人々の協力や、助言を得て二年の歳月を要し決まったのは平成8年1月に入ってからであった。長野高校へ十数度足を運んだこともよい思い出になっている。オリンピック後旧産業教育センターを高体連・高野連・高P連・校長会等の総合的事務局にしたらという話をしたことも今は懐かしい。



SOKOL

平成8年 副会長
腰原哲朗

松本空港から飛びたつ機体は、それほど速さを感じさせない。それより円型の空間をリズムカルに疾走する個体の方が、スピーディに感じられる。おそらく健康で自然な肉体がそれぞれの距離をもって跳躍する、その競いの美しさを感じ入るためであろう。機械的ではないスピードの波、ドップラー効果ともいえる感覚の波に、生きている、という歓びの実感がわいてくる。スポーツの恵みである幸福な瞬時だ。

こうした広場でプレリュードともいふべき開会となる。大会の波は次々と広がりを見せるのだから、展望は国際的でなければならない。そこで口火を切ることになるのだが、整列した選手たちの姿勢が、いかにも自然ではほほえましい。

そう思ったのも前年までの野球大会の開会式と比較する気配があったからにちがいない。野球場では居並ぶ知事をはじめ関係者と話をかわしながら、あいさつの出番を待たなければならない。そうこうしているうちに頭のなかに多少とも用意していた言葉は、太陽熱で蒸発していってしまう。

陸上競技の広場では、その点のどこかで自然だ。だから静かに話すことができる。

「若いから知らないと思うが、人見絹枝という人がいてネ、チェコには頌徳碑もあるのですヨ、当時はオリンピックといっても参加が大変で、船酔いに悩まされたりして、人間的にも記録面でも秀れていた人見絹枝の碑にはチェコ語で「その魂が愛により世界を輝かした女性」と印されてそのチェコでは、かつて鷹の羽をつけた独立運動をスポーツ団体が展開して、ソコルという鷹を意味する民族運動だけども」……

開会式が終ると、しばらくの間は静けさといった風が流れる。その間に轟音をのこして機体が山の端に去って行き、あとに爽やかなスタートのピストル音がつづく。その向うでは、真夏の太陽の下、ピストルがプールの面にひびくはずだ。

昨今の東欧諸国の独立運動にともなう内戦を思うにつけ、戦車音よりプラハの春を願いながら、私はひたすら円型の空間をみつめはじめる。ナショナリズムの旗を鷹はどうかわえるというのであろうかと思ひながら。



南信へ来た高体連事務局

昭和63年～平成2年 理事長

両角千明

県高体連事務局は、県の中心松本と県都長野に存在する常識がうちやぶられ、諏訪へ遷都し職責を担うことは、まさに青天のへきれきだった。全県的にみると、会議時間とか、旅費等でのマイナス面が多分にあったが、高体連内部の動きとして受けとめ、「誰かがやらなくてはいけない仕事」として、2期4年間を勤めさせてもらった。任期中最後の1年は、私の都合により同僚の小島功先生にお願いした。

事務局を受けもって最初の難問は、学校分担金の値上げでした。高体連の運営は、全生徒の納入する分担金が基本であり、県の補助金を受けて運営されているが、運賃や諸物価の値上げもあり、大会運営費や審判手当等の改訂が急務とされ、その収入源を分担金値上げ問題として持ち上ったことです。全県生徒から一律値上げすることは、各学校毎の職員会の判断にもかかわり、高体連としても慎重に何回も会議を重ねて、8年ぶりに100円の値上げ案を認めてもらったことが思い出されます。また、大会開催基準要項の改正について、専門部より地区大会の上位8チームを県大会に出場させたいという要望が出されましたが、大会規模の拡大にかかわる問題であり、大会は高等学校教育の一環として行われていることから、慎重に検討する必要がありました。そこで検討委員会を設定し、検討を加えた結果、県総体は、高校生のメインの大会であり、多くの生徒に県大会参加の機会を与えてやりたいということで、生徒の体力的な過重、学校教育に無理のない運営の中で認める改訂案が作られました。また、平成元年には、最も不幸な出来事として、大会中の生徒の死亡事故が発生してしまい、痛恨の極みでした。高体連として改めて反省を重ねるとともに、見舞金制度の見直しを検討し改訂しました。

また、任期中の大きな事業として、平成元年1月に全国高校総体スケート競技会が、地元軽井沢で開催されました。開催に当たり、前事務局より周到な準備が続けられ、県教委、軽井沢町をはじめ、多くの方々のご協力と、実行委員会事務局の軽井沢高校をはじめ、東信高体連の多大なご尽力のおかげをもちまして、盛大に開催でき、成功裡に終了できたことを心から感謝いたしました。本県選手達も期待にこたえ、個人と団体ですばらしい成績を上げ、花を添えてくれたことを嬉しく思い出されます。



高体連の思い出

平成3年 理事長

小島 功

昭和63年に長野吉田高校より県高体連の事務局を引き継いだわけですが、いざ仕事をとダンボール箱を開いてはみたものの何から手を付けたらよいのか戸惑うことばかりでした。諏訪二葉高校では狭い施設を融通、更衣室を事務局と物置に模様替えし（更衣室の棚が文書の保管や仕訳に大変重宝しました）入口に「長野県高等学校体育連盟」の看板が掛けられ、いよいよ始まるという緊張感が湧いたことを今でも思い出されます。当時は、手書きの文書からワープロによる文書に移る時期であり、事務局に運び込まれたワープロにむかいマニュアル片手に戸惑いながら一生懸命練習したものでした。私は諏訪二葉高校での事務局4年間の内の3年間は専ら会議の準備など事務的な仕事に関わっていましたが、平成2年度末に小林仁会長がご退職、両角千明理事長がご栄転となり、最後の一年間には理事長の仕事を行うことになってしまい、私にとってはまさに晴天の霹靂、戸惑うばかりでした。しかし時間は待たなし、年度末は新年度への準備に追われる毎日が続きました。平成3年度になり、新たに竹内長生会長をお迎えし、事務局の仕事もなんとかスタートをすることができましたが、この一年間は、副会長の斉藤先生（須坂）、下村先生（岩村田）、松下先生（飯田風越）、中山先生（田川）の各校長先生をはじめ、常任理事の石坂先生（須坂）、柏木先生（岩村田）、坂巻先生（飯田風越）、山崎先生（田川）のすばらしい先生方の暖かなご支援とご協力を得ながら仕事をした一年でした。ことに竹内長生会長には、県内外の会議や大会への参加をはじめとし、本当にお骨折りを頂きご協力賜りました。この年には宿泊料の値上げや、諸物価の値上げ等に伴い、各方面で十分に検討された末、参加料を平成4年度より8年ぶりに200円値上げをし600円とすることに決定しました。また1998年に長野オリンピックを開催することが決定し、全国高校総体の総合開会式入場行進で「長野オリンピック」の横断幕を持って入場行進できるものかどうか全国高体連と何度も協議したことも強く印象に残っています。（結果は県旗の子旗）とにかくいろいろと戸惑いながら過ごした一年でしたが、前記の先生方をはじめ事務局をお手伝い頂いた皆様に支えられ、なんとか次期事務局の上田高校へ引継ぎを行うことができました。一種目の引率職員でしかなかった私にとって長野県高体連の50年の歴史の中のはんの僅かな時間ではありますが、お手伝いさせて頂いたことが今は楽しい思い出の一つとなっています。



長野県高体連50周年記念に寄せて

平成4～7年度 理事長

山浦正孝

平成4年4月、県高体連事務局の移転に伴い、図らずも理事長職を務めることになりました。この間、移転に伴う事務局校を東信地区のどの学校に設置するか、東信地区高体連でも検討されてきましたが、上田高校で引き受けるという決断を迫られた時点でも、まだ、他人ごとのように感じながらホームルーム経営に努力していたことを思い出しています。

高体連という組織自体には何の違和感もありませんでしたが、県レベルで関わってきた部分は殆ど有りませんでしたし、競技種目をとおして全国総体出場に際しお世話になったこと、51'総体での関わり程度で何の予備知識をも持たないまま理事長職を引き受けたため、平成4年の初年度は全く白紙の状態でのスタートとなりました。その結果、1年目は前の事務局校の諏訪二葉高校、両角先生・小島先生には事務引継ぎを含めご指示を頂きご迷惑をおかけしたことを思い出します。

平成4年のスタートは4月当初の専門委員会開催をいかにして乗り切るかということから始まりました。そして、落ち着く間もなく業務に追われ、毎日が戦場のような日々を送る始末でした。何もかもが初めての経験で、業務の内容も把握できないまま、高体連業務以外のさまざまな雑用も加わり、また、梅池スキーI・Hの準備、連絡調整に追われながらあっという間の1年が過ぎていきました。

2年目からは、仕事の内容も多少は見える部分もあり前事務局校にご迷惑をお掛けすることも少なくはなりましたが、長野県高体連の抱えているさまざまな問題にどのように対処すればよいか問われてくることに気がついて身の引き締まるような緊張感を覚えたものです。県高体連運営予算についても補助金を含め1億1千5百万円を越えながら、実質的な運営に係る予算の改善策を見いだせず、大会運営では諸先生方にご迷惑をお掛けすることも少なく有りませんでした。

この年は、冬季競技種目での本県選手の活躍が目覚ましく、1998年冬季長野オリンピックに向けて良い結果が出てきたことが大変印象的でした。

3年目に入り、生徒数減少の始まりとともに、予算、競技人口の減少、夏季大会での成績不振、予算項目での各種競技団体への負担金の扱いなど、将来にわたって影響を及ぼす可能性のある問題などが常任理事会で繰り返し論議されました。競技成績では、レスリング競技の活躍、前年度学校対抗3連覇を果たした中野実業高校スキー部に替わって飯山南高校の活躍、スケート部門での新しい戦力の台頭があり、心強く感じたものです。

4年目の最終年度は前年度からの懸案であった高体連予算について、次期事務局への引継ぎに伴う諸問題を含めての意思決定をしなければならぬ時がきてしまいました。スケート競技全国大会の開催、なぎなた競技の専門部設置、大会運営費の増額、さらに、生徒数減少に伴う収入減少が当然のことながら次期事務局の課題となるため、先送りができない状況の中で学校分担金の値上げについて提案し承認をいただきました。4年間の事務局を担当し、過ぎてしまえば短い時間で、成しえたことは少なく時間に追われる生活の連続でしたが、諸先輩、役員の方、先生方、県教育委員会、県体育協会その他数多くの競技団体の皆様に支えられながら4年間の任務を果たすことができました。教員としての経験ではなかなかできなかった貴重な体験をさせて頂きましたことを心から感謝申し上げます。4年間という限られた時間の中で当面の課題解決に追われ、県高体連の今後の在り方についてのビジョンも持ち合わせる事無く終わったような気もいたしますが、ひとつひとつの課題を解決しながら長野県高体連が今後もますます発展を遂げられますよう祈念しつつ拙文を終わります。



長野県高体連50周年を迎えて

平成8年度～ 理事長

布施紀彦

長野県高体連は昭和24年6月4日に県下四地区高体連の連合体として、また、体育の健全な発達をはかることを目的として発足いたしました。事務局は長野工業高校で10年間務めていただき、県高体連の基礎を築いていただきました。以後30年間長野市内校で4校、松本市内校で2校が事務局を担当してまいりました。昭和63年度より県下四地区で2期4年の輪番制になり、諏訪二葉高校、上田高校と廻り、平成8年4月より長野高校に移転いたしました。

長野高校の2期4年の在任期間中には県高体連創立50周年記念事業をすることおよび第48回全国高校スケート・アイスホッケー選手権大会を長野県で開催することはすでに決定しておりましたが、全国高体連スキー専門部より平成11年度に第49回全国高校スキー大会を長野県で開催してほしいとの要請があり、県教育委員会、県スキー連盟の協力確約を得て要請を引き受けることになりました。

創立50周年記念事業については、平成8年6月に準備委員会を結成し基本的なガイドライン（実施年度・記念大会・記念式典・記念誌発刊）を決めて、平成9年10月に実行委員会へ移行し、準備を進めました。記念大会については、平成10年度県総体を記念大会と称し、賞状に「50周年記念大会」のタイトルを入れ、8位までの入賞者（チーム）に渡しました。また、団体競技においては、4位までのエントリー選手全員にミニ賞状を渡しました。

記念式典については、招待者を旧役員（会長・副会長・常任理事・専門部長・専門委員長）と表彰者（昭和61年以前の役員表彰規定対象者と63年以降で表彰が漏れた方）および現役員、各学校代表といたしました。当日は実行委員及び多くの方々のご協力により盛大に無事終了できたことに心から感謝いたしております。ただ、50周年の準備をしている中で、県高体連の50年は5,000名以上の役員の方々に支えられて発展してきていることを肌で感じとりました。会場の都合とはいえ、全員の方々を招待できなかったことが残念でなりません。

記念誌については、昭和62年度より10年間を中心にまとめ、50年の歴史がわかるように編集されておりますので、多くの方々にご活用いただければ幸いです。

県高体連といたしましては、50周年を契機にいままで山積している課題をどのように解決していくかの検討に入っております。少子化に伴う生徒数の減少による部活の存続問題、競技力向上の問題、若手指導者の育成の問題、運営経費の問題等むずかしい問題ばかりです。これらを長期展望にたった計画が必要になってきますので、県高体連事務局を固定化して問題解決に当たったほうがよいと考え理事会・評議員会の論議を経て、県教育委員会や県高校長会の協力をお願いしていく所存ですので、ご理解のうえご協力いただきますようお願いいたします。

第2節 オリンピック・パラリンピックに出場して

平成10年2月7日に始まり22日に閉会したオリンピックには、長野県高体連で活躍したOB、OGたちも大勢出場した。スケートの選手やコーチとして9人、スキーでは18人、リュージュに5人が日本を代表する役員、選手として国民的応援を受けた。中でも現役の高校生として、スキーフリースタイルに白馬高校の上村選手、リュージュに長野日大高校の高橋選手が会場で大活躍したことは、高体連としてもビッグニュースであった。

また3月5日に始まり14日に閉会したパラリンピックにも、長野県出身と在住の選手、役員23人が、日本代表として出場し多くの感動と力を国民に与えてくれた。

以上の役員、選手全員に投稿を依頼したところ、12名に寄稿していただいた。少数で残念だが、時間的制約もあってこの方々のみについて回想記を紹介する。

長野オリンピック競技日程・会場

	競 技	内 容	日 程	会 場
開会式			2/7(土)11時	南長野運動公園
閉会式			2/22(日)18時	南長野運動公園
スキー	アルペン	滑降、複合滑降、スーパーG、回転、大回転、複合回転	2/8(日)~27(土)	八方尾根スキー場 東館山スキー場 焼額山スキー場
	フリースタイル	モーグル、エアリアル	2/9(月)~18(水)	飯綱高原スキー場
	ジャンプ	ノーマルヒル、ラージヒル、団体	2/11(水)~17(火)	白馬ジャンプ競技場
	ノルディック複合	個人・団体ジャンプ(K90)、個人・団体クロス(15K、4×5K)	2/13(金)~20(金)	白馬ジャンプ競技場 スノーハープ
	クロスカントリー	クラシカル、フリー、リレー	2/8(日)~22(日)	野沢温泉 バイアスロン会場
	スノーボード	大回転、ハーフパイプ	2/8(日)~12(木)	焼額山スキー場 上林スノーボードパーク
バイアスロン		15K、20K個人・リレー、7.5K、10Kスプリント	2/9(月)~21(土)	野沢温泉 バイアスロン会場
ボブスレー		2人乗り、4人乗り	2/14(土)~21(土)	長野市 スパイラル
リュージュ		1人乗り、2人乗り	2/8(日)~13(金)	長野市 スパイラル
スケート	スピード	500、1,000、1,500、3,000、5,000、10,000m	2/8(日)~20(金)	長野市 エムウェーブ
	ショートトラック	500、1,000、3,000、5,000m	2/17(火)~21(土)	長野市 ホワイトリング
	フィギュア	ペア、シングルP・F・SP、アイスダンス CP・F・OD、エキシビジョン	2/7(土)~21(火)	長野市 ホワイトリング
	アイスホッケー		2/7(土)~17(火)	長野市 ビッグハットアクアリーナ
カーリング			2/9(月)~16(日)	軽井沢町 風越公園アリーナ

長野パラリンピック競技日程・会場

開会式		3/5(木)	長野市 エムウェーブ
閉会式		3/14(土)	長野市 エムウェーブ
アルペンスキー			志賀高原
クロスカントリースキー	クラシカル フリー シットスキー		白馬スノーハープ
バイアスロン			野沢温泉 バイアスロン会場
アイススレッジ	スピードレース		長野市 エムウェーブ
	ホッケー		アクアウィング



スケート選手としての道のり

上原三枝

出身高校 長野県諏訪清陵高等学校
出場種目 スピードスケート
1500M、3000M、5000M

プロフィール

日本体育大学卒業

日本ニユクリア・フュエル株式会社勤務

1992年アルベールビルオリンピック出場

1996年世界スピードスケート選手権大会総合
3位

高校時代の思い出

中学卒業時点ではあまりスケートには魅力を感じていなかったため1年から2年の夏までは陸上競技と並行して活動していました。しかしスケートをやるのに冬だけの練習では限界を感じたことと、陸上競技でけがをしたため2年の夏以降はスケート一本の活動に切り替えました。高校の時は、トレーニングの方法がわからず他の高校の先生にだいぶお世話になりました。特に長野県のスケート連盟主催の合宿はとても勉強になりました。また普段は私の高校は部員が少なかったので合宿中は仲間も多くなりとても楽しかったことを覚えています。

競技会については3年生の時に出場した世界ジュニアスピードスケート選手権大会が心に残っています。この大会が初めての国際大会だったため世界の強さに初めて触れ、圧倒されたこと、また初めて社会主義国の人に会い、話したことがとても印象的でした。すべてが初めての体験だったため私にはとてもよい勉強になったと同時に私の世界への挑戦の原動力となった体験でした。そういう意味において、高校時代は私の競技人生の中での重要な時期だったと思います。

オリンピックの思い出

私にとって今回の長野オリンピックは2回目

のオリンピックとなりました。前回のオリンピックは20歳の時で選手としてはまだ駆け出しのころでした。そのため自分にとっては1つの通過点のような大会でした。しかし今回のオリンピックは、選手として多くの経験を積み、自分の競技生活の中でも最大のイベントとなりました。

私は今回1500M、3000M、5000Mの3種目に出場しました。最初のレース、3000Mの試合前のウォーミングアップでは今までに味わったことのない緊張感を味わい足が震えていたことを覚えています。レースの直前は自分が何を考えていたのかあまり思い出せません。しかしスタートした時はものすごい声援で、まるでMウェーブが揺れているような感じがするほどでした。そんな大声援を3回も受け、自分がやってきたことを応援してもらえたことをとても幸せに思います。今までも、これからもあれだけの声援を受けることはないと思います。またオリンピックにいろいろな意味で参加していただいた方が多かった事は驚きました。特にボランティアの方々にはとてもお世話になりました。多くの人とのふれあいを通して、大会を開催した自分の故郷「日本・長野」を誇りに思いました。





夢を勝ち取れ

田中千景

出身高校 岡谷東高等学校
出場種目 ショートトラック

プロフィール

東京女子体育大学卒業

3歳からスケートを始める。スピードスケートを大学まで続ける。全国大会、国体等入賞。大学でショートトラックと出会い、3年の時に本格的に取り組み、オリンピック出場を目指すことになる。世界選手権、各世界大会等に出場し、念願のオリンピック出場が決まる。オリンピックでは、3000mリレーで4位入賞を果たすことができた。

高校時代の部活動等の思い出

高校時代はスピードスケートの選手として、インターハイ、国体等参加しました。高校のときはショートトラックの存在は知ってはいたものの、競技を見たことがありませんでした。3歳の頃から始めたスケートでしたが、この頃何も抵抗がなかったわけではありません。遊びたい時期でもありました。やめたいと、何度も考えつつもここまで続けてこれたのは、やはり好きだったのでしょう。それに、スケートを通じての友人が数多くいたこともあります。お互いに同じ目標を持ち、苦しい練習に耐え、同じ釜のご飯を食べてこそ、お互いに励ましあってやってこれたように思えます。

東高は数年前まで女子高だったので、男子の部員が少なく練習には苦勞しました。やはり、男子がいるといたいとでは、練習の質が全く違うものになってしまいます。しかし、そんな環境ではありましたが、だからこその学校には負けられないという気持ちでした。

そんなこともあり、県大会では何度か優勝することも出来ましたし、国体でも活躍することができました。苦しかったが、楽しい思い出がいっぱいです。

オリンピック出場体験記

私は、幼い頃からの夢であったオリンピックに出場することができました。

オリンピックの開会式では前半のセレモニーを見れずに残念でしたが、入場行進したときは、感動で胸がいっぱいでした。競技が始まり、日本選手がメダルを取り始め、自分の競技が始まるのが待ちどおしいような、怖いような気分でした。

まず、3000mリレーが行なわれました。この競技が1番メダルが期待されていたのですが、決勝で私が転倒してしまい、4位に終わってしまいました。あの転倒がなかったらと今でも思います。それも勝負の厳しさなのだと改めて実感しました。しかし、この時は悔しさと後悔でご飯が喉を通らず、眠れない日となりました。他の種目も不完全燃焼に終わってしまいました。

地元ということで、多くの方が会場まで足を運んでくれ、その声援を受け何とか頑張れたような気がします。やはりオリンピックはいつもの試合とは違った雰囲気、プレッシャーもすごく、緊張しましたが、そんな舞台に立てたことに感謝したいと思います。

もう一度、チャレンジしてみたいと思っています。





長野オリンピックと私

北村 辰夫

出身高校 飯山北高等学校

出場種目 クロスカントリースキー

長野オリンピック大会クロスカントリー監督

プロフィール

S15年 長野県信濃町生まれ

日本大学卒業

全日本選手権大会 15km 3回優勝

国民体育大会 15km 4回優勝

オリンピック大会 (インスブルック) 15km 26位

インカレ 15km 3回、30km 1回優勝

ユニバーシアード 2回参加 15km 6位
リレー 2位

世界選手権大会 2回参加

1992～98 財全日本スキー連盟理事

1992～98 全日本学生スキー連盟競技本部長
日本大学教授 専門「トレーニング理論」

高校時代の思い出

定時制高校に通いながら、パン屋の職人修業をしていた私が、クロスカントリースキー選手に方向転換し、細くてバランスのとれないスキーに悪戦苦闘して、参加した初めての県合宿の最後に行った男女別リレーの時、女子組に入れられた恥ずかしさと悔しさは今でも思い出します。

当時は朝8時から午後4時まで会社で働き、5時からの授業に出席した後、9時過ぎからトレーニングを行うという日課であり、十分なトレーニングはできませんでした。

オフシーズンの平日は暗い中、夜中の12時過ぎまで友人に自転車で伴走してもらい、そのライトの明かりを頼りにランニングをしました。また冬は、道路を利用してスキーをするためシュプールがなく、スキー操作が難しいため推進滑走(ダブルポール)で走らざるを得なく、スキー技術の下手な私には押してしままくるしかなかったことが身に付き、それが競技成績を上げる結果となりました。つまり、現在のスキーを40年前にしていた訳です。

スキーを始めて2年目で全日本選手権大会15kmに優勝し、それがスキー人生の出発点とな

り、オリンピック大会に参加する目標ができたのが私の高校時代です。

オリンピック大会に参加して

1962年ポーランド・ザコパネでの世界選手権大会、1964年オーストリア・インスブルックの冬季オリンピック大会に参加することができ、その時に世界との差、つまり競技力以上に組織(スタッフ)の違いに愕然としました。

日本チームはコーチ1人、選手4人であり、当然選手が自分でワックスから全て1人でやるしかなかった。いずれ全日本チームの監督をする機会があればスタッフを充実させて、選手の力を発揮させ、世界との差を縮めるよう常に考えていました。幸い90年札幌でのアジア大会、91年札幌ユニバーシアード大会での監督をする機会を与えられ、スタッフを充実させた結果、今までにない良い成績を上げることができました。92年より全日本のクロスカントリースキー担当部長になり、①組織作り(スタッフ)、②コーチ養成、③選手の意識改革をテーマに長野オリンピック大会に向けて強化を実施しました。

97年のワールドカップで女子の青木選手が5位、長野オリンピックでは男女のリレーにおいて1、2走が頑張り、男子が初入賞を果たすことができ、男子の堀米はフリー15kmも素晴らしい走りをしてくれました。

連日天候異変の中、ワックスマンの努力とスタッフが一丸となって協力した結果であると考えます。

現役時代実現できなかったことが多くの人達の協力により、今後の日本クロスカントリースキーの展望が開ける結果となり、長野オリンピック大会は私にとって人生最大のイベントであり、素晴らしい仲間にも恵まれたことがいい思い出となりました。



長野オリンピックに参加して

児 玉 修

出身高校 飯山北高等学校
出場種目 アルペンスキーコーチ

プロフィール

昭和31年9月21日下高井郡山ノ内町生れ。
高3のインターハイで回転優勝、大回転3位となり、この時飯山北高のインターハイ総合優勝。

1978、82年ガルミッシュ及びシュラードミング世界選手権出場。1980、84年レークプラシッド及びサラエボオリンピック出場。86年引退後全日本ナショナルチームのコーチとなり長野オリンピックのSLチームコーチ。

高校時代の思い出

1927年、ちょうど札幌オリンピックの年、飯山北高等学校に進学する。オリンピックに魅了され、多くのオリンピック選手を輩出していた飯山北高に迷わず進学を決めた。

山ノ内中学時代はそれなりのハードな練習も平気でこなしていたが、高校の練習はその量をはるかに越えていた。あまりのハードトレーニングに意識が遠のいた事も度々あり、練習終了後は足を引きずるようにし家に帰った。身体はいつも筋肉痛で歩く事、顔を洗う事、ノートをとる事にも支障をきたした。1年生にとって自主トレは不可欠で、休日、早朝、昼休みと時間を見つけて苦手なところを鍛えた。

必死の練習の甲斐あってか秋頃になると体力的にも上級生になんとかついて行ける状態になった。体力テストでは上級生より良い記録もあり、それが大きな自信につながった。

そのシーズン、インターハイでは大回転競技で5位となり、それがきっかけで全日本ジュニアチームのメンバーに選ばれ、以後海外でレースをするチャンスを得ることができた。

オリンピック出場体験記

私は全日本ナショナルチームのコーチとして、「長野でメダルを！」と言うことで選手強化に当たってきた。国内と海外の強化活動は年間7～8ヶ月で、家族と寝食を共にするよりも選手との時間のほうがはるかに多かった。

選手にとって生活全てが“勝つ為”であったように、我々コーチにとってもそれは同じであった。

自分は過去2回選手としてオリンピックに出場したが、2回共自分の全ての力を出しきる事はできなかった。4年に1度のオリンピックの重圧に抗する事ができず、レースでは自分を見失ってしまった。

“オリンピックの恐さ”を十分に知っている自分と他のスタッフは、選手が平常心でオリンピックのスタート台に立ってくれる事を望んだ。スタート台に立った時の不安を少なくする為、多くの実践トレーニングを本番コースで行った。選手をできるだけマスコミから遠ざけ、選手が意識過剰となる事も避けた。

今回のオリンピックのアルペン競技で最も期待されたのはエースの木村であった。木村にとって上位入賞とメダル獲得はそれほど難しい事ではないと感じていた。

しかし、3月21日の彼の滑りは彼本来の滑りではなかった。いつものしなやかさがなく、ガチガチの滑りであった。

4年に1度のオリンピック。それも自国開催のプレッシャーは我々の想像をはるかに越えていた。木村がゴールへ入った瞬間、オリンピックで勝つ事の難しさを改めて痛感した。



17年間の総決算 —長野五輪—

佐藤 恵美子

出身高校 中野実業高等学校
出場種目 クロスカントリー
15kmクラシカル

プロフィール

早稲田大学人間科学部卒業
北野建設株式会社勤務

- ・全日本選手権10kmクラシカル優勝2回
- ・インターハイ5km優勝
- ・国体優勝2回
- ・1997年世界選手権出場
- ・ユニバーシアード大会5kmクラシカル5位など。

高校時代の部活動等の思い出

先日、高校野球の決勝戦をテレビ観戦していた際、優勝が決まった瞬間マウンドに集まり抱き合う選手達を見てうらやましく思った。私がずっと幼い頃から続けてきたスポーツはクロスカントリースキーという個人競技だったから、集団で競技する他のスポーツのチームワークとか結団力があまりなかったなど。しかし高校時代は、学校対抗などのリレーがそれであった。

今、思い出すとまず楽しかったというのが、一番だ。もちろんトレーニングは厳しかったがそれすらも楽しかったんじゃないかと思う。あちこちに友達も沢山できた。初めての海外遠征も行った。3年の時は、大きなケガもした。目標だったインターハイ優勝も経験できた。あの時の緊張で当日の朝御飯がのども通らなかった事。それを気付かれずに一生懸命、押し込んだ事。沢山泣いて、沢山笑った高校時代であった。

それから、素晴らしい指導者との出会い。オリンピックまで頑張られたのも、その時のコーチの教えがあったからだと思う。私は今とても感謝している。多感な時期を良い仲間とひとつの事に打ち込めた高校時代は、私の心の宝物である。

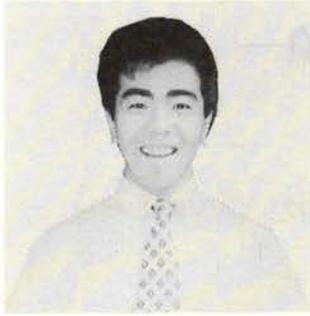
オリンピック出場体験記

小学4年から始めたクロスカントリースキーは長野五輪の1998年で17年目であった。私はオリンピックを機にして現役を退こうと思っていた。数年前までは特にオリンピックは意識していなく、特別な思い入れもなかった。しかし地元での開催、周囲の雰囲気、否応無しに盛り上がってくるわけで、これは代表選手にならなければと思い、それに全力投球して、代表になってもならなくても辞めると決めてスタートしたのであった。

私にとって長野オリンピックまでは険しく、長い道のりだった。何度スキーを脱ごうと思った事か。そして何度もオリンピックを諦めた。こんなにいろんな事があり過ぎていいのだろうかとさえ思い、本当に嫌になった。だから、最終選考会で決まった時は、ホッと、いよいよだと思った。そんな矢先に体調を崩し、どの試合に出場するかわからなく、家族、親せき、会社に大変迷惑をかけたのである。参加する事に意義があるというのが私のオリンピックなのでどうしても走りたかった。前日まで寝込んでいたが、出場する。と、コーチ陣に啖呵を切った手前、走り抜いてやると意気込んだのである。

スタートに立った時、走っている時、感激で涙が出そうだった。幸せだなとつくづく感じた。

メダルを目標にする人、世間から期待され、注目される人。それぞれのオリンピックがあると思う。私みたいに順位なんて後ろから数えた方が早い者だっている。私の信念は感謝を忘れないという事。いろんな人達が来てくれて、うれしかった。17年間続けてきて、オリンピックで総決算。関係者の皆様に改めてありがとうございますと言いたい。



二足のわらじ～高校時代

今井博幸

出身高校 長野吉田高等学校

出場種目 クロスカントリースキー

10キロ、15キロ、30キロ、50キロ、リレー

プロフィール（履歴及び競技歴）

中央大学卒業

インターハイ クロスカントリースキー優勝

インターハイ 陸上競技3000m障害出場

1992アルペールビル五輪 日本代表

1994リレハンメル五輪 日本代表

全日本スキー選手権二年連続個人全四種目優勝（男子史上初）通算13勝

高校時代の部活動等の思い出

高校3年冬2月、インターハイ、クロスカントリースキー15キロで優勝した時の新聞の記事に、「二足のわらじ、大輪の花咲かせる」とあったのを記憶しています。

通学していた長野市内に雪はほとんど積もらず、スキーをやるには決して良い環境ではありませんでした。夏は陸上競技、冬は好きなスキー競技。そう決めたのは同郷の先輩もそうしていたから。しかし、私の心の中ではあくまで夏の陸上競技はスキーのためのトレーニング手段としか思っていませんでした。

夏の陸上競技を続けていくと、自分の知らない世界が見え始め、全く私の不得意な短距離、跳躍、投てきの人も知りあえました。私自身もハードルのある3000m障害という種目にも挑戦する事になりました。やってみると苦しさもありますが、おもしろい。体と体とのぶつかり合い。ペースの駆け引き。コース取り。

トレーニング手段だった陸上競技も、すっかり本気となってました。高3夏、念願の陸上競技でのインターハイ出場。夏冬一年中走り駆けまわってました。なぜか夏も冬も北海道でのインターハイ開催。南国がよかったのに。

オリンピック出場体験記

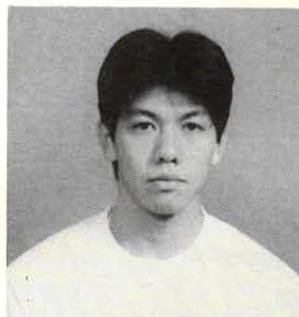
日本クロスカントリースキー史上初めて、リレーで7位に入賞ができた事で、世界のトップを視野に入れ、自分たちの力をアピールし、世界の中で互角に戦える自信を得ることができました。

これは偶然の結果ではなく、トレーニングを積み重ねてきたものであると信じています。約10年前にオリンピックの国内候補地に決定して以来、夢の五輪を手に入れるように、そしてより高いレベルにできるように。また生まれ育った地元で滑る喜びと感動を得たいという思いでスキーを続けてきました。

今回のコース、白馬スノーハープは世界の中でも屈指の起伏の激しい難コースでした。私は攻略法として、このコースが完成された3年前から強い脚づくりを行うと同時に、地の利を生かし夏にもストックを持ってスノーハープを歩き、走りました。コースを頭の中に鮮明に詰め込みました。

日本チームは、若い選手が多く、それぞれが持ち味を出して走りました。メダリスト2人のいる強国オーストリアにも勝つ事ができたのは日本チームにとって大きな一歩となりました。長野が出発点となった気持ちでいます。





頂点を目指す

堀 米 光 男

出身高校 中野実業高等学校

出場種目 クロスカントリー

プロフィール

私は山ノ内西小学校3年生まで、野球をやっていましたが、冬には何も活動がないので、友達とクロスカントリーを始めました。最初は夏の野球の為に体力づくりでしたが、小さな大会で何回も優勝したので、野球より興味が湧き、それ以来クロスカントリー一筋でやって来ました。

高校時代の部活動等の思い出

高校時代はクロスカントリーが第1でした。1年時には、上下関係の厳しさから、挨拶や言葉遣いを身につけることが出来ました。この年は、個人優勝はしましたが、総合優勝はできませんでした。2年生になると、「次は総合優勝だ」と言う目標を皆で立てました。その年のインターハイでは、個人で1、2位、リレーで優勝、そして待望の総合優勝を果たしました。その時の喜びは今でも忘れません。

3年生では、総合2連勝を成し遂げ、悔いの残らない高校生活を送る事ができました。

高校生活で、先生方にはお世話になり、そして、クラスの仲間の理解もあったからこそ、スキーに集中する事ができ、成績を残せたのだとつくづく思います。

中野実業高校へ行って本当に良かったと思っています。

オリンピック出場体験記

私にとっての長野オリンピックは、前回のリレハンメルオリンピックと合わせ、2回目のオリンピック出場となった訳ですが、開催前は、4年前と比較にならないほどプレッシャーを感じていました。リレハンメルオリンピックは、

出場できればうれしいという気持ちで、ただ、頑張るだけでしたが、今回の長野オリンピックは、リレー入賞と言う大きな目標があり、それに向けて4年間頑張ってきました。「リレーには是非出場したい、そして出るからには入賞に貢献したい」という願い。そして周りからの期待を、とても強く感じたからです。

本番間近に、私はインフルエンザにかかってしまいました。楽しみにしていた開会式、前日に熱が出てしまい、出ることができなくなりました。それと同時に心の中では、「もう駄目かな」と思いましたが、翌日、朝目覚めると、すっかり熱も下がり、体の感じも普通に返っていました。これで少し気持ちが楽になったようで、リレー本番では、自分の思い通りのレースができました。そして、念願のリレー7位入賞を果たす事ができました。

日本のクロスカントリースキーの歴史はまだ始まったばかりです。これから、僕達が世界の頂点をめざしていこうと思います。

最後に、長野オリンピックでは、役員を始め、ボランティアの皆さん大変御苦勞様でした。大会が成功したのは皆様の苦勞があったからこそだと思います。本当にありがとうございました。



クロスカントリースキーをとうして

宮 入 芳 幸

出身高校 中野実業高等学校
出場種目 クロスカントリースキー
サービススタッフ

プロフィール

中央大学卒業

小学生の時クロスカントリースキーを始め大学まで選手として競技した。後に長野へ戻り自営業の傍ら長野県スキー連盟の専任コーチとして、それまでとは逆の立場でスキー活動を始め主に高校生を中心に指導した。ちょうどその頃長野オリンピックの開催が決まり、ナショナルチームのスタッフとなり長野オリンピックではサービススタッフとして参加した。

高校時代の部活動等の思い出

高校時代のこととなると、かなり昔のことになるので、忘れてきたことが多いが部活動のことになると、いろんなことが思い出せる。それだけ自分にとっては部活動が中心で夢中になっていたからだと思う。種目はクロスカントリースキーで数多いスポーツの中でも一番と言うぐらい体力的にきついもので、当然普段からのトレーニングも厳しく辛いものだった。時には練習から逃げ出したくなることもあった。しかし自分たちには大きな目標があり目標のためには当然だという思いと、どんな辛い時でもいつも仲間がいた。自分だけが辛かったわけではなく皆が一緒だった、その事でいろんな辛いことも乗り越えられたんだと思う。またその頃はあまり感じずやっていたが、まわりで我々を支えてくれていた顧問の先生方やコーチの方家族等たくさんの方のおかげがあってこそ自分たちの好きなことを思う存分やっていたんだと思う。感謝したい。

3年の間にはいろんな事があったが、過ぎてしまうとすごく短く感じた。それだけ充実して部活動をしていたからこそ経験できたことも多くその事を通していろんな思い出もできた。

しかし残せたものは思い出だけでなくもっと大きなものも自分の中に残せたと思う。

オリンピック出場体験記

オリンピックが長野で開催されることに決まり1992年フランスのアルペールビルオリンピック後全日本スキー連盟も本格的に長野オリンピックを目指しての選手強化を始めた。ちょうどその時からナショナルチームに加わり選手と共に長野を目指してスタートした。目標は、大きくもって始めたものの世界のトップレベルとは大きな差があり失敗と勉強の繰り返しで、なかなかすぐには結果に結びつかず世界レベルの高さとそこに行く難しさを感じた。そして日本チームが特に他国に遅れをとっていたスタッフの面を整えるため外人スタッフを起用し新たにスキーのワクシングを行うサービスチームが作られた。自分もそれに加わり長野（白馬クロスカントリー会場）は気象面、コース、スタート時間等からかなり難しくなることが予想されいかなるときでも少しでも良い条件のスキーを選手に用意できるように外人スタッフと共にワールドカップ等に参加しながら勉強していった。

選手は世界のトップレベルには年令や経験の差もありまだ達してはいないものの着実に実力を付けており、我々も少しでもその選手たちの力を出すためのサポートができればとスキーとワックスのテストをくり返した。オリンピックでは予想どおり難しい条件になりWAXを失敗してしまった時もあったが選手は沢山の方々の応援もあって本当に頑張ってくれて我々に対しても感動を与えてくれた。今回メダルには届かなかったが今後につながる結果を出してくれ自分自身もその場にいることができ嬉しかったと共に近い将来必ずメダルが取れると感じた。



長野オリンピック

高橋 敬

出身高校 長野日本大学高等学校
出場種目：リュージュ・ダブルス

プロフィール

- ノースウッドスクール（米）在学中
1997年1月 ワールドカップ・ドイツ、ダブルス9位
1997年12月 全日本選手権大会、ダブルス1位
1998年1月 ワールドカップ・ドイツ、ダブルス9位
1998年2月 長野オリンピック、ダブルス14位

高校時代の部活動の思い出

高校一年、入学したばかりの僕は、中学からやっていた陸上部か、スキー部か、趣味に走ってサッカー部に入るか迷いました。しかし、結局陸上部に入部するのが、一番リュージュのためになると思い、入部を決めました。

陸上部の練習では、何回も吐きながら気力をふるい起こし練習したかいがあって、一年で400×4のリレーを走るまでになりました。しかし、冬の間リュージュという『走る』こととはほとんど無縁な生活を4～5カ月続けると、部のみんなに勝つことは難しく、二年生以後、リレーを走ることはありませんでした。

もう一度、高校生活を繰り返せるとしたら、陸上一筋でやってみたいと思うことがあります。しかし、走るということが、肉体的に、また精神的にも自分にプラスになり、リュージュでオリンピックに出場出来たのだとすると、僕はそれだけで十分だという気持ちになります。

オリンピック出場体験記

高校3年2月、ついにその日が来た。長野で

生まれ育った僕にとって、長野オリンピックこそが人生最大の舞台だと思う。

大会当日、緊張は感じられず、しかしあと数時間後には全てが決まっているのだと考えると早く大会で滑りたいという気持ちと、もう少し練習がしたいという気持ちが入り混じっていた。

スパイラルに着くと、そこには今まで出場してきたどんな大会にもまして観客が多く、オリンピックはやはり違うなと、その時はただ単純に感じ、観客にのまれるな、試合に集中しろと自分にいきかせていた。

僕らは練習と同じ様にウォーミングアップをし、同じ様にスタート台に立ち、同じ様にスタートをきった。と、そこまでは普段の練習、大会と何も変わらなかった。しかし、僕を待っていたのは、何千人もの歓声。それは普段の滑走で聞こえるはずの氷の音など全く聞こえず、ヘルメットの中で響いている感じだった。そんな事に気をとられ、いつもの80%ほどの力しか出せず、僕のオリンピックは僕の中で何も残さず、風のように消えていった。

オリンピック出場おめでとう、そういわれても何も実感がわからない。僕はまだ何もしていない。この気持ちを4年後にぶつけたいと思う。



パラリンピックと私

本 多 剛

出身高校 高田盲学校

出場種目 クロスカントリースキー、バイアスロン

プロフィール（履歴及び競技歴）

出身大学 東京教育大学

1948年新潟県西頸城郡能生町に生まれる。

野球・柔道の北信越盲学校の大会では常に上位の成績を残す。

盲人野球で全国大会に6回出場（準優勝一回）、視覚障害者の全国柔道大会で65kg級では準優勝。'98長野冬季パラリンピックを目指して、'96年よりクロスカントリースキーを始める。

高校時代の部活動等の思い出

体育の先生と気が合い、運動三昧の3年間であった。盲学校は人数が少ないので掛け持ちをせざるを得ず、それぞれ大会に向けて夏は盲人野球、秋は柔道、そして冬にはアルペンスキーをした。

野球の頃は、部活の終わるのが7時半頃、帰宅はいつも9時過ぎだった。

夏の北信越盲人野球の大会が終わると2学期からは11月の大会に向けて柔道の部活が始まる。部員が少ないため練習内容を強化するために近くにあるいくつかの高校へ出稽古によく出かけ、いい受け身の練習になった。

大会では、他のチームは2段が何人もいて苦戦を強いられた。

冬は雪が3mも積もるので外での部活はできず、近くにあるスキー発祥の地金谷山スキー場でもっぱらアルペンスキーに専念した。

高校3年の秋、全国身体障害者スポーツ大会が九州の佐賀であり、8月の予選大会で認められて、新潟県の代表10人の一人に選ばれ、100m走とソフトボール投げ、そして水泳にエントリーし、金1個銀2個のメダルを獲得した。

この時代は運動のみに明け暮れ、疲れも感ぜずただ体を動かしていたことが現在の若さ体力の基になっている。

パラリンピック出場体験記

'96年夏、'98長野冬季パラリンピックに出場したいと思い立ってからは頭の中はクロスカントリースキーのことで一杯で、工作中でもふとトレーニングのことを思い出し帰宅後実行するといった生活だった。お陰で日本代表選手に選ばれ、合宿が16回延べ110日になり、夏はニュージーランド、秋はフィンランドへも行き、雪上のトレーニングができたことと、外国の様子を体験することができ、非常に有意義だった。

パラリンピックでは、感動的な開会式や、選手村での快適な生活を送りながら競技に専念した。競技では、非常に多くの方々が応援に来てくれて大きな声で声援を送ってくれた。クロスカントリースキーはとにかくハードできつくて何度も止まろうと思ったが、「本多がんばれ」の声援が聞こえると前以上に力が出た。また、私は視覚障害のため前を走ってくれて誘導してくれる「ガイド」が必要で、それが中村洋隆さんである。彼は大学でトップの力があり、私の目の代わりは勿論、技術的なコーチであり、なんと言ってもメンタル面のガイド役だった。

長野パラリンピックは終わった。しかし、障害者のスポーツはこれから始まる。そのために自分は勿論次の目標をねらいつつ次代の選手を育てたい。





感動の大会、長野パラ

傅 田 寛

出身高校 長野西高等学校

出場種目 クロスカントリースキー、バイアスロン

プロフィール

長野市立川中島小学校5年生で少年野球を始め、同、川中島中学校野球部在籍、長野県立長野西高校で野球部に在籍した。

クロスカントリースキー、バイアスロン競技は、平成8年冬より本格的に競技として始める。長野パラリンピックノルディックスキー日本チームとして出場した。

現在、長野市役所に勤務。

高校時代の思い出

高校時代は、野球部に在籍しました。甲子園を目指す一人の高校球児として部活動の日々を送りました。小学校5年生より始めた野球は、高校で終わりにしようと思っていたこともあり、高校での部活動は非常に思い出が強く残っています。2年生の秋季大会の際には、部員11人と少人数ながら、県大会の代表決定戦まで進んだことは特に印象に残っています。

高校3年間で学んだことは、人や物に対する感謝の気持ち、あいさつ、礼儀など、現在、社会に出ている中で非常にプラスになっています。高校時代に、いろいろな大切なことを学べたことが、今の自分をつくっている気がします。また、野球を通じてたくさんの人々にめぐりあえたことも非常に大きいです。

高校時代は、野球がすべてという感じでした。

緊張、興奮で迎えた長野冬季パラリンピック

私は念願にしていた大会に選手として出場することができました。

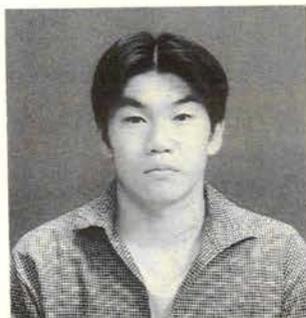
私は、パラリンピック開催の選手村である長野市川中島町に生まれ、育ってきた一人です。

そこで開かれる大会にどうしても選手として参加したかったという、そんな思いから始まった、この挑戦でした。

ノルディックスキーを始めたのは、わずか2年前のことです。どうしても大会に参加したいとその思いで始めました。苦しく、きびしいこともたくさんありましたが、いろいろな方の応援と励ましによって支えていただきました。

迎えた長野パラリンピック、予想以上の盛りあがりにも自分も興奮ぎみでした。会場へも、たくさんの方の応援があり、とてもありがたかったです。10日間で5種目の競技があり、日程的にもかなりハードでしたが、どれも自分の力はそれなりに出せたと思います。思えば、1年前のプレ大会でとても歯のたたなかつた選手にも、何とか同じ舞台で戦えました。メダルという結果はなかったですが、みなさんから与えてもらった勇気は最高でした。お世話になった競技役員をはじめ、コーチ、スタッフ、チームメイトにまた応援の方に深く感謝しています。これからの人生に生かしていきたいです。





全国高校総体を振り返って

野 明 弘 幸

出身高校 岡谷南高校スケート部出身
 現在長野県体育協会専門主事
 出場種目 長野オリンピック1,500m 7位入賞
 1,500m日本記録保持者

高校生にとって全国高校総体はあこがれであり、大きな目標だろう。私もそんな高校生の一人だった。

私自身全国高校総体スケート選手権大会に良き指導者、良き仲間にも恵まれて3回出場する事が出来た。中でも一番の思い出は、高校2年生の時に栃木県日光市で開催されたときの事である。この年は、アルペールビルオリンピックの年であり、中・長距離に二人の高校生が出場することになった。日程が重なり、二人の選手が出場できなくなったこともあり、私は優勝候補に上げられていた。

しかし、成績は1,500・5,000mとも2位に終わってしまった。この時全国高校総体の厳しさを知った。レース前のウォーミングアップの時にいろいろな思いが頭の中をめぐっていた。そ

の中で自分自身に大きなプレッシャーをかけていたのである。そのプレッシャーなどに勝つ事ができなければ、自分自身の力を十分に発揮できずに終わってしまう。私はその時、身をもって体験した。それは、その時の私にとって大きな敗北感だった。

あれから6年。私は多くの国際大会に出場し、今年最大の目標だった長野オリンピックにも出場することができた。今まで、悔しい思いやうれしい思いなど多くの経験を積んできたつもりだ。今振り返るとあの時かけたプレッシャーは、今の自分ならばはね除けられたのかもしれない。しかし、あの時の自分にとっては大変大きな事だった。それが私の高校総体の苦い思い出である。

長野県出身 長野オリンピック出場選手・役員名簿

【スケート】

氏 名	出場種目・役職等	出身高校
野 明 弘 幸	スピードスケート	岡谷南
今 井 裕 介	〃	佐久長聖
外ノ池 亜 希	〃	東海大第三
上 原 三 枝	〃	諏訪清陵
今 村 俊 明	〃 コーチ	岡谷南
外ノ池 信 平	〃 コーチ	岡谷工業
篠 原 祐 剛	ショートトラック	佐久長聖
田 中 千 景	〃	岡谷東
小 澤 幸	〃	佐久長聖

北 村 辰 夫	クロスカントリー監督	飯山北
竹 節 義 信	〃 コーチ	中野実業
宮 入 芳 幸	〃 技術スタッフ	中野実業
小 野 学	ジャンプ監督	長野
西 方 千 春	〃 コーチ	飯山北
森 敏	ノルディック複合	飯山北
富 井 彦 彦	〃	下高井農林
斉 藤 智 治	〃 コーチ	飯山北
児 玉 和 興	〃 コーチ	中野実業
上 村 愛 子	フリースタイル	白馬
木 内 浩	〃 コーチ	飯山北

【スキー】

富 井 剛 志	アルペン	飯山南
児 玉 修 修	〃 コーチ	飯山北
片 桐 幹 雄	〃 コーチ	飯山北(1年間)
今 井 博 幸	クロスカントリー	長野吉田
堀 米 光 男	〃	中野実業
神 津 道 昭	〃	中野実業
佐 藤 恵 美子	〃	中野実業

【リュージュ】

高 橋 敬	リュージュ	長野日大
山 田 映 理子	〃	篠ノ井
柳 澤 し の	〃	篠ノ井
百 瀬 定 雄	〃 コーチ	伊那北
小 口 勝 久	〃 コーチ	岡谷南

第 2 章

長野県高体連50周年記念事業

第1節 記念事業実行委員会とその活動

平成8年5月の評議員会で50周年記念事業準備委員会の設置が決まり、6月24日事務局の長野高校旧校舎会議室で第1回会議が開かれた。以後この年度に2回目、3回目、平成9年6月には4回目の準備会を開催しいよいよ実行段階に入った。この時他に先立って記念誌編集委員会がスタートし早速作業を開始した。10月には準備委員会を実行委員会に切り替えて翌年の6月、9月、11月と合わせて4回の会合を重ね当日を迎えた。

10年度当初のほぼ固まった実行案の要項、組織、予算等については、会議資料より抜粋して

以下に記載する。なお事業計画については、準備委員会・実行委員会を重ねて行く過程の中で、式典は発足した月日（6月4日）とか、会場は最初の事務局であった長野工業高校跡（現在の長野市バスターミナル会館）などのこだわりもあったり、記念のテレフォンカードとかバッチを出したらといった意見、オリンピック経験者や高校生の参加などの案などもあった。そのたびさまざまな条件を考慮しながら協議を経て、結局第2節に記す具体案に落ち着いたことを付記しておく。

1 記念事業実施要項

長野県高体連50周年記念事業実施要項

長野県高等学校体育連盟

1. 趣 旨 本連盟50周年の歴史の重みを認識し、今後21世紀に向けて高体連の発展に寄与するため、記念事業を実施する。
2. 名 称 長野県高等学校体育連盟発足50周年記念事業
3. 主 催 長野県高等学校体育連盟50周年記念事業実行委員会
4. 事 業 (1) 記念式典（記念講演・祝賀会）
(2) 記念誌発刊
(3) 記念大会（賞状のみ）

5. 事業内容

(1) 記念式典（記念講演・祝賀会）

- ① 日 時 平成10年11月21日（土） 13:00～
- ② 会 場 「ホテル 国際21」 長野市県町576 ☎026-234-1111
- ③ 講 演 講師 原 敏先生
- ④ 表 彰 昭和61年以前の県会長・副会長・常任理事・専門委員長（理事6年以上）

(2) 記念誌発刊

- ① 「50周年記念誌」 A4版 450ページ前後 1650部
- ② 発刊日 平成11年2月中旬
- ③ 頒布対象 各学校・教職員・OB関係者

(3) 記念大会（賞状のみ）

- ① 平成10年度長野県高校総合体育大会を記念大会と定め、賞状に「50周年記念大会」名を入れる。
- ② 32チームの種目は8位まで、16チーム以内の種目は4位まで賞状を与える。
- ③ 団体4位まで（6チーム以下は1位のみ）の選手にミニ版（B5横書）の賞状を与える。

6. 経 費 本事業に要する経費は、積立金・特別徴収金をもってあてる。

2 記念事業積立金収入支出予算書

平成10年度 記念事業積立金収入支出予算書

<収入の部>

(単位：円)

収入額	6,301,000円	科目	10年度予算額	9年度予算額	差引増減額	説明
支出額	6,301,000円	1. 繰入金	4,300,060	0	4,300,060	一般会計 1,300,000 県高体連史 1,104,258 50周年記念 1,895,802
収支差引額	0円	2. 頒布代	2,000,000	0	2,000,000	高体連史1,000部×2,000円
		3. 雑収入	940	0	940	普通預金1口の利息
		合計	6,301,000	0	6,301,000	

<支出の部>

(単位：円)

科目	10年度予算額	9年度予算額	差引増減額	説明
1. 報償費	350,000	0	350,000	表彰者記念品 謝礼(アトラクション・講師)
2. 旅費	100,000	0	100,000	式典・講師・連絡旅費
3. 需要費	611,000	0	611,000	消耗品・郵便料・印刷費・ 生花・筆耕料等
4. 会議費	350,000	0	350,000	実行委員会
5. 会場費	280,000	0	280,000	式典会場・祝賀会場
6. 発刊費	4,300,000	0	4,300,000	記念誌1,300部 450ページ
7. 記念大会費	310,000	0	310,000	賞状印刷 A3 2,000枚 B5 2,300枚
合計	6,301,000	0	6,301,000	

3 実行委員会および運営委員会組織

長野県高等学校体育連盟50周年記念事業
運営委員会

専門部	任務分担	委員
●総務部 部長 石田和増 副部長 青木 功 顧問 青木 崇	庶務 式典書類 記念誌配本 式典記録 会計 記念大会	鈴木精一 猪又正雄 西村義夫 荒井サキ子 (県高体連会計担当)
●式典部 部長 児玉房雄 副部長 笠原 浩 顧問 浅沼富夫 南嶋俊三	記念式典 講演会 祝賀会 受付案内 進行 記録写真	酒井分長 田中寿男 湯沢 勉 伊藤志信 堀 岳雄 竹内義雄 小林史夫 阿部 隆 飯島真一 藤本忠彦
●編集部 部長 清水 博 副部長 西澤健雄	山下晃広 為田勝英 望月勝夫 堀内文武	依田正輝 北原三代志 若林康彦

清水 博 (研究調査委員長)
西澤 健雄 (会報編集委員長)
山下 晃広 (研究調査委員)
為田 勝英 (研究調査委員)
望月 勝夫 (研究調査委員)
堀 岳雄 (県高体連理事)
竹内 義雄 (県高体連理事)
小林 史夫 (県高体連理事)
阿部 隆 (県高体連理事)
飯島 真一 (県高体連理事)
藤本 忠彦 (県高体連理事)
猪又 正雄 (県高体連理事)
西村 義夫 (県高体連理事)
鈴木 精一 (県高体連事務局長)
青木 崇 (前北信高体連理事長)
浅沼 富夫 (前東信高体連理事長)
南嶋 俊三 (前南信高体連理事長)
酒井 分長 (前県高体連理事)
伊藤 志信 (前県高体連理事)
湯沢 勉 (前県高体連理事)
田中 寿男 (前高体連理事)

6. 特別委員

長野県高等学校体育連盟50周年記念事業
実行委員会名簿

1. 会長 本山 綱規 (県高体連会長)
2. 副会長 白澤 寛人 (北信高体連会長)
丸山 直 (東信高体連会長)
窪田 孝美 (南信高体連会長)
佐藤 貞治 (中信高体連会長)
3. 委員長 布施 紀彦 (県高体連理事長)
4. 副委員長 青木 功 (中信高体連理事長)
5. 委員 石田 和増 (北信高体連理事長)
児玉 房雄 (東信高体連理事長)
笠原 浩 (南信高体連理事長)



記念式典

第2節 記念事業の内容

記念事業として、①50周年記念大会 ②記念式典と功労者表彰・講演会・祝賀会 ③記念誌の刊行を行った。一応順を追ってそれぞれの概要をまとめてみるが、講演の要旨については少々長くなるので一項を起こして最後に掲載する。

1 50周年記念大会

50周年目に当たる平成10年(1998年)の県高校総体を記念大会とし「50周年記念大会」と銘記した賞状を全種目で通常より多く授与した。具体的には次のような基準に落ち着き実行した。

(1) 団体・個人とも

- ・17～32(チーム)参加の種目に1～8位に賞状授与

- ・16(チーム)以下参加の種目に1～4位に賞状授与

(2) 団体用ミニ版

- ・7～32チーム参加の種目に1～4位にミニ版賞状授与

- ・6チーム以下参加の種目に1位のみにミニ版賞状授与



賞状大



ミニ賞状

2 50周年記念式典

日時 平成10年11月21日(土) 13:00～18:00

会場 ホテル国際21

参加者 式典・講演会 290名 祝賀会 239名

記念式典の概要

(1) 式典当日の日程と式次第

- ・受付 二階芙蓉の間 ロビー
12:30～13:20

- ・式典 二階芙蓉の間 13:30～14:20
司会 町井孝子(SBCアナウンサー)

・次第

1) 開会の言葉 長野県高体連副会長 白澤 寛人

2) 会長挨拶 長野県高体連会長 本山 綱規

3) 来賓祝辞 長野県教育委員会教育長 戸田 正明
長野県体育協会専務理事 平林 源治

4) 来賓紹介 長野県高体連会長 本山 綱規

5) 経過報告 長野県高体連50周年記念式典実行委員長 布施 紀彦

6) 功労章贈呈 長野県高体連会長 本山 綱規

7) 受賞者代表挨拶 昭和52年度長野県高体連会長 丸山 保彦

8) 祝電披露 長野県高体連50周年記念式典副実行委員長 青木 功

9) 閉会の言葉 長野県高体連副会長 丸山 直

・記念演武 二階芙蓉の間 壇上にて

14:30～14:40

演武者 国際武道大学講師 三村 由紀

・記念講演 二階芙蓉の間 14:50～16:00

演題 「スポーツの構造の変化
—その背景について—」

講師 (勲)長野県バレーボール協会名誉会長
原 敏

・記念撮影 当日参加者(290名)が5班に分かれて撮影

・祝賀会 本館三階千歳の間16:30～17:30
司会 町井孝子(SBCアナウンサー)

・次第

1) 開会の言葉 長野県高体連副会長 窪田 孝美

2) 会長挨拶 長野県高体連会長 本山 綱規

3) 来賓祝辞 長野県教育委員会高校教育課長 齊藤 金司

4) 乾杯 長野県高等学校校長会長 北原 明

5) 万歳三唱 長野県中学校体育連盟会長 小林 秀雄

6) 閉会の言葉 長野県高体連副会長 佐藤 貞治

(2) あいさつ

長野県高体連会長 本山 綱規

長野県高等学校体育連盟が戦後の混乱期の中で呱呱の声をあげ、以来50年を経て、50周年記念式典をここに執り行う運びとなりましたことに、深い感慨と慶びを感じます。

長野県高等学校体育連盟の発展充実のために心を砕かれた、先輩各位や関係者の方々の一方ならぬ努力に心より感謝申し上げます。

長野冬季オリンピック並びにパラリンピックの成功も、スポーツ競技団体の一つとして、50年にわたりスポーツの発展とその底辺の拡充に尽くしてきた高体連も、大いに寄与するところがあったと考えます。20世紀の掉尾を飾るべく、長野県高等学校体育連盟は来年の冬にはスケート・アイスホッケーのインターハイ、再来年にはスキーのインターハイを招致し、その成功に向けて仕事を進めております。

この式典が、21世紀における高等学校体育連盟のさらなる発展と充実の第一歩となることを願い、旧に変わらぬご支援とご理解をお願いしつつ、挨拶といたします。

教育長 戸田 正明

本日は、長野県高等学校体育連盟五十周年記念式典が盛大の挙行されますことを、心よりお祝い申し上げます。功労者表彰を受けられます皆様方にも心よりお祝い申し上げます。

学校体育の保健体育は必修になっており、ほとんどの部分が学校の先生方に担われており、高体連の競技スポーツの振興に始まりまして、今や社会スポーツ・生涯スポーツすべての分野の大きな礎をなす部分を高体連の先生方のお力に全てを背負っていただけて来たところ です。高体連の各大会も運営規模が非常に大きくなって来ました昨今、手弁当で、奉仕的、献身的なお力を注がれ育てて来られた先生方にとりましては、こんなに成長した姿を見て心よりお喜びの事と思ひます。

本県で開催されました、二十世紀最後の冬季オリンピックで、子供たちに大きな感動と夢と希望と勇気を与えていただきました。そのような中で本県の体育振興が着実に向上し、県民の中に根付いて来ている訳です。今後さらに高体連のお力をいただきながら、体育振興に健康振興に御尽力を賜りますようお願い申し上げますと共に、長野県高等学校体育連盟の益々のご発展と本日ご参列されております皆様方の末長いご健勝を祈念申し上げます。私のお祝の言葉とさせていただきます。

体育協会専務理事 平林 源治

本日は、長野県高等学校体育連盟五十周年記念、誠におめでとうございました。会長が所用のため欠席致します。私、体育協会専務理事の平林が代読させていただきます。「祝辞、この度、長野県高等学校体育連盟が創立五十周年という大き

な節目を迎えられますことは、誠に意義深く心よりお祝い申し上げます。貴連盟は高校体育の振興とスポーツ文化の高揚目的に昭和24年に創立され数々の輝かしい実績を上げながら発展して来られました。この間、51年のインターハイ開催、53年の「やまびこ国体」成功への献身的な協力と、本県へのスポーツ振興に寄与され年々充実されていることは誠に同慶に耐えられません。これまでの歴代会長さんを始め皆様方のスポーツに寄せる深い理解と情熱は二十一世紀に輝く伝統の誇りです。

クラフト、クンスト、クラールハイトの深紅の高体連旗のシンボルマークが有するところの力と技と明朗な精神が高い理想と希望に燃える大きな多くの若人を育て、県民に明るく大きな活力とスポーツの素晴らしさを伝えてくれたことに心より感謝申し上げます。長野オリンピック・パラリンピックも感動の内に幕を閉じました。生涯スポーツ時代を迎え、長野県においても県民皆スポーツ事業を推進しておりますが、この五十周年を大きなステップとされ高校の体育スポーツの振興を通じて明るく、健やかな長野県の未来を創造すべく、更に一段の躍進を祈念しお祝の言葉と致します。

平成10年11月21日
財団法人長野県体育協会
会長
長野県知事
「吉村 午良」代読



表彰者一覧

No.	氏名	役職・歴任期間	No.	氏名	役職・歴任期間
1	山田石男	会長(昭和41~45年)	27	柴 韓治郎	常任理事(南信理事長)(昭和26~28・33~34年)
2	佐藤 穂次	会長(昭和49年~51年)	28	竹内不二雄	常任理事(南信理事長)(昭和29~30年)
3	丸山保彦	会長(昭和52年) 理事長(昭和34~39年)	29	矢島今朝英	常任理事(南信理事長)(昭和31~32年)
4	藤森 慎	会長(昭和54~56年)	30	丸山登一郎	常任理事(東信理事長)(昭和33~51年)
5	小出 武	副会長(北信会長)(昭和40~42年)	31	降旗 義而	常任理事(中信理事長)(昭和36年)
6	薄井寛介	副会長(南信会長)(昭和41~42年)	32	平沢 浩	常任理事(南信理事長)(昭和37~38年)
7	中村 優造	副会長(北信会長)(昭和43~44年)	33	宮崎 荘造	常任理事(北信理事長)(昭和39~47年)
8	宮脇昌三	副会長(東信会長)(昭和46年)	34	小木曾龍夫	常任理事(南信理事長)(昭和41~42年)
9	小原元享	副会長(中信会長)(昭和46年)	35	赤羽 幸雄	常任理事(南信理事長)(昭和43~44年)
10	庄田文男	副会長(東信会長)(昭和47~50年)	36	山田千春	常任理事(南信理事長)(昭和45~46年)
11	上條 勲	副会長(南信会長)(昭和49~昭和50年)	37	原田米俊	常任理事(南信理事長)(昭和47~48年)
12	塩原松美	副会長(東信会長)(昭和51年)	38	上島 大	常任理事(南信理事長)(昭和51~52年)
13	関谷一郎	副会長(南信会長)(昭和51~52年)	39	油井孝一郎	常任理事(東信理事長)(昭和52~56年)
14	平林忠章	副会長(東信会長)(昭和52~55年)	40	竹前 勝	専門委員長(バスケット)(昭和37~46年)
15	清水和彦	副会長(中信会長)(昭和52~53年)	41	丸山まきみ	専門委員長(ソフトテニス)(昭和32~51年)
16	牛山之雄	副会長(南信会長)(昭和53~54年)	42	小林貞男	専門委員長(ソフトテニス)(昭和52~57年)
17	北川原平造	副会長(北信会長)(昭和55年)	43	庵谷正近	専門委員長(バレーボール)(昭和47~57年)
18	守屋隆輔	副会長(南信会長)(昭和55年)	44	和田圭喜	専門委員長(卓球)(昭和34~54)
19	高野 禎二	副会長(北信会長)(昭和56~57年)	45	藤沢美恵	専門委員長(体操・女子)(昭和35~46年)
20	春日輝海	副会長(南信会長)(昭和56年)	46	香山田鶴子	専門委員長(体操・女子)(昭和49~54年)
21	小林盤男	副会長(東信会長)(昭和57~58年)	47	金子 忍	専門委員長(バドミントン)(昭和41~46年)
22	川上 輝	副会長(南信会長)(昭和57~58)	48	長浦音吉	専門委員長(バドミントン)(昭和49~58年)
23	原 敏	評議委員・専門部長(昭和54~59年)	49	宮本金作	専門委員長(スキー)(昭和32~43年)
24	北沢生吉	理事長(昭和46~48年)	50	鈴木忠彦	専門委員長(スケート)(昭和32~44年)
25	湯本宣政	理事長(昭和49~53)	51	丸山叔孝	専門委員長(テニス)(昭和47~52年)
26	上条貞雄	常任理事(中信理事長)(昭和626年)	52	丸山 彰	専門委員長(登山)(昭和44~51年)
			53	小宮山泰典	専門委員長(ボクシング)(平成元~6年)

(4) 記念演武

演武名 「五十四歩大」

演武者 三村 由起 先生

略歴

昭和45年4月5日生

長野県東筑摩郡朝日村出身

- 平成元年3月 松本深志高校卒
- " 4月 青山学院大学文学部入学
- " 5年3月 " 卒業
- " 5年4月 筑波大学大学院体育研究科入学
- " 10年3月 " 終了
- " 4月 国際武道大学勤務

主な戦績

- 昭和61年(高1) インターハイ 3位
- " 62年(高2) " 2位
- " 63年(高3) " 優勝
- " 63年 世界選手権優勝
- 平成2年 " 優勝
- " 4年 " 優勝
- " 8年 " 優勝



式典で「五十四歩大」を演武する三村由起先生

(5) 祝賀会

司会者(町井孝子アナウンサー)の案内で定刻どおり開会された。窪田孝美・県高体連副会長の開会の言葉が発せられた瞬間に会場は一瞬静寂に包まれた。が本山綱規、県高体連会長による開会の挨拶は、式典が終了したこともあって少々明るさと、和やかさが感じられた挨拶であった。続いて来賓祝辞に移り齊藤金司・県教育委員会高校教育課長の挨拶があった、その中に記念演武を披露してくれた三村由紀氏の高校時代の話を交え、五十周年の長き歴史を紐解いた感じを受けると共に、県高体連が更なる発展を遂げるように念じた内容の挨拶であった。乾杯は、北原明・県高等学校校長会長の発声で行われた。乾杯の前の挨拶の中に、この県高体連五十周年が自分にとって、感無量の様子が轟々と感じられた挨拶であり、力強い発声で、出席者239名が会場全体を揺るがすごとく大きな発声の乾杯であった。テーブルの数、25卓にそれぞれの関係諸氏が集い、五十周年という長きの歴史を語り合う姿は、会場を一気に和やかな雰囲気にした。丸山保彦元県高体連会長の挨拶の中に「余命いくばくも無い我々が…感無量で

す。」という話があったが、80歳に近い高齢の元役員も大勢最後まで思い出話などに花を咲かせていた。1時間位の歓談の後、小林秀雄県中体連会長の音頭で万歳三唱をし、佐藤貞治県高体連副会長の閉会のあいさつで参加者、主催者共に一種の感動と充実感を胸に散会した。



祝賀会風景

3 50周年記念誌

本誌の編集委員、編集経過は次のようであった。
編集委員 県研究調査委員 清水(委員長)、阿部、山下、望月、為田
県会報編集委員長 西澤、平井
前事務局長 堀内
北信高体連史編集委員 依田、北原、若林
事務局長 鈴木

編集会議 長野高校旧校舎の会議室で、基本的には前半(午前)は会議、後半(午後)に作業という日程で進めた。9年度に5回、10年度に9回(12月現在)の編集委員会を開催した。実際の原稿執筆や時間のかかる校正等の仕事は持ちかえっての作業となった。その間に全国高体連から依頼されたやはり50周年記念の『全国高体連史』の長野県ページも執筆した。前回の『長野県高体連史』は3年間かけて今回の倍以上の会議をもって編集した訳であるが、それに比べ今回は短時間の大変ハードスケジュールであった。

発行部数と配本 1200部

県下全校の校長、教頭、体育科職員、各専門委員長に購入販売を依頼しそのルートだけで頒布した。

4 記念講演の概要

演題「スポーツ構造の変化」

——その背景について——

講演講師紹介

原 敏 先生

大正14年12月20日生

長野県諏訪郡落合村平岡 出身

• 昭和23年3月 東京高師卒業

- ・昭和23年4月 岡谷東高校に教員として奉職
- ・ " 25年4月 岡谷南高校に転任
- ・ " 26年8・10月 インターハイ優勝・国体2位
- ・ " 29年4月 東京順天堂大学体育学部3年に編入
- ・ " 35年4月 松本美須々ヶ丘高校教諭となる
- ・ " 47年4月 諏訪二葉高等学校 教頭
- ・ " 54年4月 須坂東高等学校 校長
- ・ " 56年4月 中条高等学校 校長
- ・ " 58年4月 茅野高等学校 校長
- ・ " 60年3月 退職
- ・ " 61年 " 財団法人長野県バレーボール

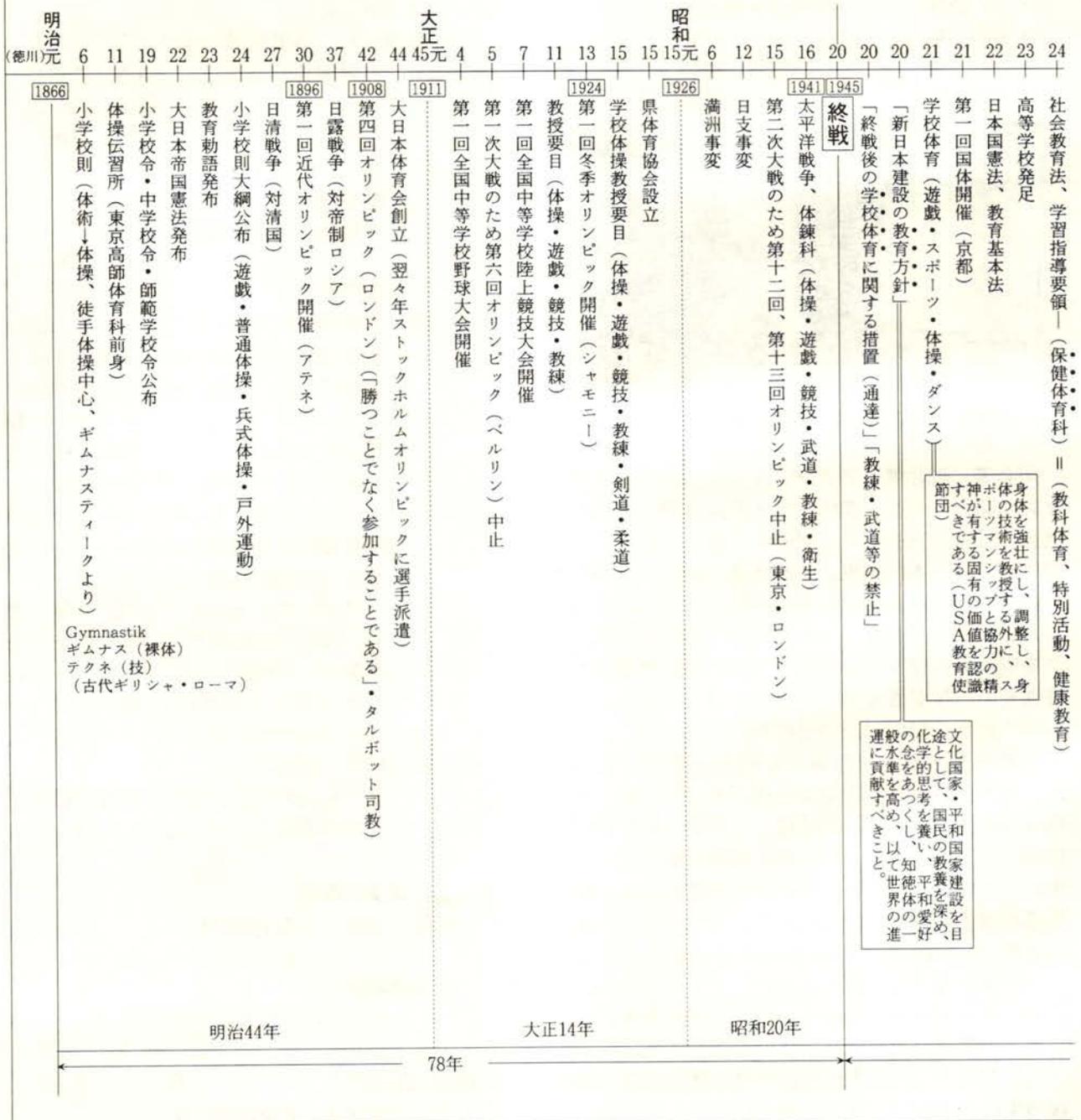
協会設立 初代会長

- ・平成4年10月 文部大臣表彰（体育普及新興功勞）受賞
- ・ " 9年4月 長野県バレーボール協会名誉会長（現在に至る）
- ・ " 9年11月 勲五等双光旭日章（教育功勞）受賞

① 時代概要・オリンピックについて

ご紹介いただきました、原敏でございます。この栄誉ある日に記念講演ということで、大変おこがましく存じてはおりますが、高体連の仲間の一入ということ、許された時間内で話をさせていただきます。1時間という時間が区切られてお

明治・大正・昭和（戦前・戦後）・平成：



りまして、皆様のお手元に差し上げた資料は、普通3時間分かかりますが、これを1時間にして申し上げますのでお解りにくいこともあろうかと思えます。丸山保彦先輩はじめ、お世話になった先輩の前で話すのは話しにくいのですが、お許しねがいたいと思えます。

最初に「スポーツ構造の変化」と申し上げてございますが、スポーツの構造的変化と考えても良いかと思えます。歴史的な経過のなかでスポーツがひとつひとつ変わっていくのではなく、全体のつながりのなかで構造的にスポーツが変化して今日に至っているということがございます。表紙を見ていただいて結論のようなことを先に申し上げ

ますが、明治・大正・昭和・平成と（スポーツの今日にある姿というものも、当然歴史的な財産でございますので歴史的に今日の）歴史的なスポーツの構造が変化してきたといってもよいかと思えます。

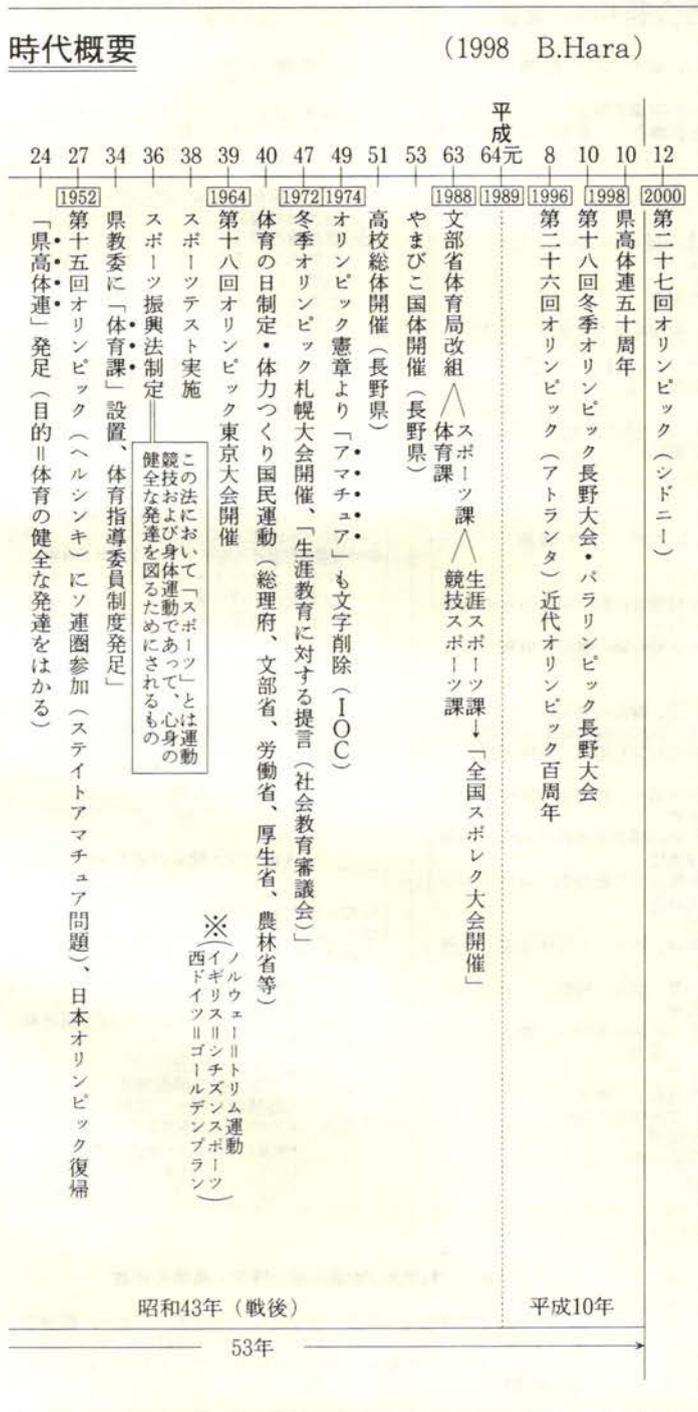
(中略)

明治維新から終戦まで、約78年間、その間我が国は明治22年の大日本帝国憲法、23年の教育勅語に象徴されますように、その後、日清、日露、第1次世界大戦、満洲事変、上海事変、支那事変、第2次世界太平洋戦争と戦争の78年でありました。そこで終戦になったときに私は大学におりまして、何を学ぶべきか、何を教えるべきか全く分かりませんでした。民主主義・平和・不戦の三つをスポーツと結びつけるとどうなるのか非常に戸惑った時代でございました。23年に新卒で現場に來ました。かなり混乱していましたが、22年に日本国憲法、教育基本法が出て理論的には方向は見えたのですが、しかしながら大変混乱した時代でありました。

明治30年、1896年に近代オリンピックが開催されております。1996年、一昨年のアトランタオリンピックまでで26回の100周年を迎えております。その間に3回ほど戦争によりオリンピックが行われなかったわけです。行われなかったけれどもオリンピックアードとしては数えられて今日に至りアトランタが26回・シドニーが27回・28回は古代オリンピック発祥の地アテネにいくとあいなっています。終戦後の状況についてはそこにも書いておきましたが、我が国で特筆すべきものは、昭和36年のスポーツ振興法の制定、昭和39年の第18回オリンピック東京大会、1974年オリンピック憲章からアマチュアの文字が削除されたことです。近代オリンピックは古代オリンピックの精神を受け継いで、平和主義・フレンドシップ・ピースフルワールド・インターナショナルグッドウェル（国際的善意）そして4年に一度のスポーツフェスティバル、もうひとつアマチュアリズムアマチュアでなければ出場資格もない、要するにコマーシャルリズムによって金をもらったり、取ったり、金のためにスポーツをやる者はオリンピック精神から外れるということでありました。

(中略)

長野冬季オリンピック閉会式でのサマランチIOC会長の言葉が印象的でありました。私は、サマランチ会長が先頭に立ってプロの参加を進めてきたと思っていました。事実そうだと思いますが、閉会式の挨拶のなかでこのような事を言っています。「デベロップメントオブスポーツモラル」（スポーツ道徳性）



通訳は「スポーツ心」と訳しましたが、私はスポーツの持っている道徳性というものを大事にしなければいけないと言ったんだと思います。その後、IOCは地球上の万人のためのスポーツ「スポーツフォーオール」、万人の健康のため「ヘルスフォーオール」、「ピースフォーオール」という言葉を残して帰りました。やっていること、と言っていることが違うと思いましたが、考えてみればサマランチ会長がそう言った事は、一つの反省でもあり救いでもあったと思っています。「デベロップメントオブスポーツモラル」「スポーツフォーオール」「ヘルスフォーオール」「ピースフォーオール」これらは非常に印象的でございます。

した。

その下にパラリンピックの開会式のときに会長が言われたこと、これは非常に感銘深かったので書いておきましたが、「心と体と精神の融合」と言われた、心と精神とどのように使い分けしたか本人から聞いたわけではありませんから分かりませんが推察するところ、心というのは感度、感じ方のことを言ったのではないかと思っています。その下にバイアスロンをやった目の見ええない人たちの戦いで優勝した小林深雪選手の言葉を載せておきました、彼女はこう言いました。『私は目が見えなくても、やろうとすれば何でもできます』やろうとすれば、目の見ええないものでも何でも出

『保健体育審議会答申の概要』

平成9年9月22日
体育課・保健厚生課



来ます。2.5キロの雪道を3周回って2回射撃をして10発射って、9発当てて金メダルを取って『私はやろうとすれば何でもできます』と言ったのです。私はやろうとしないから、なにもできないと思って反省しました。

② 保体審答申について

「保健体育審議会の答申の概要」と書いてありますが、審議会がこういう形で出した構造だと思っています。このように出したのははじめてであり、しかも「生涯にわたる心身の健康教育の充実」と「生涯にわたるスポーツライフの実現」ということが、真ん中に据えてあります。これがこの答申の中核であると思っています。

また、競技スポーツの振興ということがございます。これがひとつの局、真ん中の生涯スポーツ、生涯体育、生涯の健康というのが国民一人一人にとってのスポーツ・体育というのが、真ん中の局左側に学校に関することが書かれておりますが、これが第3の局、3局構造と言うふうに考えていいのではないかと思います。中核になっている生涯スポーツの「地域社会におけるスポーツ・健康」というのがありますが、これは生涯スポーツの土台と考えていいのではないか。家庭におけるスポーツというのがありますが、これが少し薄いんです。本当はもっとここが厚くなければいけない。家庭に於ける子供の過程といものが、もっと重い形で示された方がよかったのではないかと思います。土台といった地域社会に於けるスポーツというのは、我が国においては、非常に遅れていると思っています。本県においてもそのように言えます。すべての県民のための生涯スポーツ・生涯体育を考えた場合に、「地域社会におけるスポーツ・健康」の振興というようなものが非常に遅れています。その右側に「スポーツ・健康推進会議」と書いてありますが、これはただ市町村に頑張れといってもだめであり、市町村がいかに自らこれを推進していくべきなのか、自らの考え方でこれを決めていかなければならないであろうということだと思います。

次に、「スポーツ科学および健康科学の研究・活用の推進」とありますが、これは研究機関・大学あるいは本県でいいますと体育センター等の負った使命で、健康あるいはスポーツに関する大学も非常に変わりつつあります。変わりつつあるというのは、体育学部としてスポーツをしたり、健康・保健を論じたりするを乗り越えて、今スポーツの科学あるいは、健康の科学（ヘルスサイエンス）というものに真剣に取り組んでいこうとしております。これは本県では体育センターがどのように使命を負っていったらよいのかということでもあります。

3局のうち学校についてですが、「学校における体育・スポーツ・健康教育」と中点で結んでありますが、私はこれはおかしいと思います。何

故かと言うと体育（フィジカルエデュケーション）健康教育（ヘルスエデュケーション）これは目的語なのです。スポーツというのはここでは教材なのです。これには異論もあるかと思いますが、私はこういう並べ方ではなくて「体育、健康教育」と「教材としてのスポーツ」と書くべきものであらうと思います。もうひとつ「学校の体育基本目標」のところで、「生涯にわたって運動に親しむ態度の育成」とありますが、態度の育成という表現はおかしいと思います。態度というのは、状況に応じて反応したり、自己の感情や意志を表す状態をいうわけです。態度では生涯スポーツとつながっていきません。習慣あるいは能力とか資質といったものを養っていく事だと重みます。



式典で講演する原先生

③ 生涯教育・生涯体育について

そもそも、地球上で生涯スポーツを提唱したのは西ドイツであります。1960年頃、ゴールドプランと言うものを出しました。わが国は追いかけるようにして東京オリンピックに向かって昭和36年にスポーツ振興法を制定をしました。国の段階ではかなり進んでおりますが市町村段階に降りてきますと都道府県はスポーツ振興審議会を法律により設置し、審議の上、本県もただ今来年の3月に向かって、21世紀に向かっての本県のスポーツ振興の在り方について諮問がなされ今答申を検討中であります。

市町村のスポーツ振興法にスポーツ振興審議会を設置することが望ましいとなっています。望ましいと言うと日本人はやりません。長野県約120の市町村があります、スポーツ振興審議会の在るのは10の市町村です。あと約110は取り組みが成されていないように感じています。

私の見ている範囲では市町村の健康、あるいは生涯スポーツをどうするかというようなことを、本当に真剣に考えている市町村が幾つ在るのかと非常に心配をしております。県の教育委員会にもその心配の旨は申し上げて、県の教育委員会も鋭意指導に力を尽くされることと思っております。

この生涯教育とか、生涯体育というものがあるという経緯で出てきたかについて、書いておきましたのであとでご覧おきください。昭和52年、「生涯教育についての答申」（中央教育審議会）というのがあります。そこで生涯学習の定義付がされています。

(中略)

西ドイツのゴールデンプランから遅れること30数年、生涯スポーツ課というのは生涯スポーツの新興を行っておるわけですが、国体の向こうを張って、スポーツレクリエーション祭という大きな祭りをやっております。1年に1回お祭りをやれば生涯スポーツが出来るとは考えていないと思っておりますが、そのように考えているとしたら大きな間違いです。市町村においても、1年に何回お祭りをやればそれで教育行政のうちの体育に関するものは責任を果たしたというような向きがありますが、これはとんでもないことだと思っております。

県民の意識を高めそのような場を設定し、それを援助し、それを奨励していくということが非常に重大だと思っております。

(中略)

先般来、社会教育主事スポーツ担当という先生方が各市町村へ張りついて大変苦勞されました。学校と社会と相互乗り入れをしていくような、あるいは、相互に力を貸しあうようなこ事を地域で進めていかなければいけないのではないのでしょうか。

高体連の本山会長さんとご一緒する機会があり、会長さんは「高等学校も入学試験の方法を少し考えて、スポーツの堪能なものを5人ぐらい毎年入れて行ったらどうだろう、音楽の出来る人も、あるいは演劇の出来る人も、場合によってはとんでもないことが出来るような人もいれてみたらどうだろう」とおっしゃり、私は驚きました。大学入試は今変わろうとしています、高校を含めた入試の在り方も大きく変わることが大事でないかと思っております。

最後に、ノーベル文学賞もられた大江健三郎さんという方と一緒にいる機会があり、後で彼の3万5千語ぐらいの講演文を読ませていただきました。その中で、「日本は何事もあいまいだ」と言っています。今ここで、我々日本人がもう一度考えなければいけないことは、本当の民主主義、不戦の決意を新たにすることです。真の民主主義の言葉を彼が出してきた意図を、我々は考えなければいけないと思っております。予算の多くを、教育に使ってあげれば日本は変わるのではないかと思っています。

一番最後に、サマランチ会長が言ったことをもう一度申し上げます。

「デベロップメント オブ スポーツモラル」、今から10年ぐらい前に北京でアジア大会が行われました。その時の選手宣誓の言葉の中に「スポーツ道徳精神に基づいて堂々と競技します」と聞き、私はびっくりしました。さすが儒教の国中国だと思われました。

サマランチ会長が閉会式でいった「スポーツ心」それは教育の場で教えていかなければいけない大事なことのひとつだろうと思っております。スポーツの道徳性とは色々のとらえ方があると思っておりますが、一番目は人権思想、人権を尊ぶ、二番目には正義感、正しいものを正しいとして悪いものを排除していくと言う心、三番目には公正の精神、公正・公平というものだと思います。

その道徳性というものはルールや規則や、審判法を優先して存在していると思っております。

言葉の足りないところは皆様の英知で資料から読み取っていただくことをお願いを申し上げて、講演を終わらせていただきます、ありがとうございました。

『生涯教育・生涯体育』

1960年頃	西ドイツ15年計画ゴールデンプラン 「文明の発達に伴う国民の生物学的退化現象を防止するための方策」	1972(昭47)	⑦学校教育の限界 保健体育審議会答申 「生涯体育の観点からの施策目標」
1961(昭36)	スポーツ振興法制定		⑦体育・スポーツ施設整備
1964(昭39)	東京オリンピック開催		④体育・スポーツへの参加促進
1965(昭40)	生涯教育論提起		⑦指導者の養成・確保と指導体制の確立
	ユネスコ第3回成人教育推進国際会議		③学校体育の充実
1965(昭40)	国民体力づくり国民会議		④研究体制整備
	⑦健康・栄養部会(厚生省)		②資金の確保と運用
	④体育・スポーツ・レクリエーション部会(文部省)		④関係省庁の協力体制の確立
	⑤農山村体力づくり部会(農林省)	1977(昭52)	生涯教育について答申 中央教育審議会
	②中小企業体力づくり部会(労働省)		
1967(昭42)	ノルウェー、トリム運動 「国民の運動不足による文明病を克服するために“みんなのスポーツ”をスローガンにトリム運動」 スウェーデン、西ドイツ、イギリス、アメリカ、東欧諸国、日本にも波及		
1971(昭46)	中央教育審議会 「生涯教育の観点から全教育体系を総合的に整備することについて更に検討する」提言		
1972(昭47)	経済審議会教育文化専門委員会 「生涯教育論の背景」 ⑦社会経済の急激な発展 技術革新、職種変化、情報化、都市化、国際化 ④平均寿命の延長 ⑤生活向上・生産・所得向上 ⑤自由時間の増大 ④デモクラシーの要請 ⑤社会主義の実現 ⑤教育水準の高度化 ⑦価値観の多様化		
		1988(昭63)	文部省体育局改組 スポーツ課 ← 生涯スポーツ課 競技スポーツ課 (全国スポレク大会)

「現代社会では、我々はあらゆる年齢層にわたり、学校はもとより家庭・職場や地域社会における種々の教育機能を通じ、また各種の情報や文化的事象の影響下に、知識・技術を習得し、情報を培い、心身の健康を保持・増進するなど、自己形成と生活の向上に必要な事柄を学ぶのである」
さらに「今日の変化の激しい社会にあって、自己の充実・啓発や生活向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を求めている。これからの学習は、各人が自発的意志に基づいて行うことを基本とするものであり、必要に応じ、自己に適した手段、方法はこれを自ら選んで、生涯を通じて行うものである。その意味でこれを生涯学習と呼ぶにふさわしい」

(紙数の関係で講演の一部のみ掲載させていただきました。編集委員会)

第 3 章

長野県高等学校体育連盟の沿革

長野県高等学校体育連盟年次別役員一覧表

年度	24	25	26	27	28	29	30
事務局	長野工業高等学校	長野工業高等学校	長野工業高等学校	長野工業高等学校	長野工業高等学校	長野工業高等学校	長野工業高等学校
会長	西村 文雄(長 工)	西村 文雄(長 工)	西村 文雄(長 工)	西村 文雄(長 工)	西村 文雄(長 工)	西村 文雄(長 工)	田中 実(松 工)
副会長	丸山 諒男(染谷丘) 森正 勝(松本市立) 北原 順(上伊農)	中沢陸次郎(上田松尾)	高野 豊文(千 曲) 田中 実(松 工) 船田茂太郎(岡 東)	高野 豊文(千 曲) 平林 圭介(県ヶ丘) 太田 勇愛(伊那北)	高野 豊文(千 曲) 平林 圭介(県ヶ丘) 太田 勇愛(伊那北)	川口横三郎(白 田) 田中 実(松 工) 水上 正広(飯田高松)	川口横三郎(白 田) 西村 文雄(長 工) 大森 栄(風 越)
理事長	刈間今朝雄(長 工)	刈間今朝雄(長 工)	刈間今朝雄(長 工)	刈間今朝雄(長 工)	刈間今朝雄(長 工)	刈間今朝雄(長 工)	刈間今朝雄(長 工)
副理事長							宮坂 仁吾(上田松尾)
常任理事	半田 実(染谷工)	内堀 純一(小諸実)	宮坂 仁吾(上田松尾) 上条 貞雄(松 工) 柴韓 治郎(上伊農)	宮坂 仁吾(上田松尾) 小林 英雄(深 志) 全 左(伊那北)	宮坂 仁吾(上田松尾) 小林 英雄(深 志) 全 左(伊那北)	宮坂 仁吾(上田松尾) 竹内不二雄(松 工) 鶴川 千里(飯田高松)	宮坂 仁吾(上田松尾) 竹内不二雄(松 工) 鶴川 千里(飯田高松)
幹事	広田 金平(長 工) 鷺見 はな(") 中村 茂雄(")	広田 金平(長 工) 鷺見 はな(") 山本 吉夫(")	広田 金平(長 工) 中村 茂雄(")	広田 金平(長 工) 中村 茂雄(") 篠原 良枝(") 吉村 智子(")	広田 金平(長 工) 中村 茂雄(") 油井孝一郎(") 吉村 智子(")	広田 金平(長 工) 中村 茂雄(") 篠原 良枝(")	広田 金平(長 工) 吉水 智子(") 西沢 敬子(")

年度	31	32	33	34	35	36	37
事務局	長野工業高等学校	長野工業高等学校	長野工業高等学校	長野商業高等学校	長野商業高等学校	長野商業高等学校	長野商業高等学校
会長	西村 文雄(長 工)	塚田 隆雄(長 野)	塚田 隆雄(長 野)	更級 勉(長 商)	更級 勉(長 商)	新田 稔(長 商)	新田 稔(長 商)
副会長	川口横三郎(白 田) 薄井 慎吾(蠟ヶ崎) 久保田文雄(源 実)	川口横三郎(白 田) 薄井 慎吾(蠟ヶ崎) 久保田文雄(源 実)	大草 英雄(千 曲) 薄井 慎吾(蠟ヶ崎) 宇野 勝房(赤 穂)	大草 英雄(千 曲) 薄井 慎吾(蠟ヶ崎) 宇野 勝房(赤 穂)	早川 勝(岩村田) 薄井 慎吾(蠟ヶ崎) 伊藤 昌治(下伊農)	早川 勝(岩村田) 薄井 慎吾(蠟ヶ崎) 伊藤 昌治(下伊農)	小林 俊直(野 沢北) 平林 圭介(深 志) 宇野 勝房(二 葉)
理事長	刈間今朝雄(長 工)	刈間今朝雄(長 工)	刈間今朝雄(長 工)	丸山 保彦(長 商)	丸山 保彦(長 商)	丸山 保彦(長 商)	丸山 保彦(長 商)
副理事長	宮坂 仁吾(上田松尾)	宮坂 仁吾(上田松尾)	宮坂 仁吾(上田松尾)	宮坂 仁吾(上田松尾)	宮坂 仁吾(上田松尾)	宮坂 仁吾(上田松尾)	宮坂 仁吾(上田松尾)
常任理事	宮坂 仁吾(上田松尾) 百瀬謙之助(蠟ヶ崎) 矢島今朝英(永 明)	宮坂 仁吾(上田松尾) 北沢 生吉(長 野) 百瀬謙之助(蠟ヶ崎) 矢島今朝英(永 明)	丸山登一郎(千 曲) 北沢 生吉(長 野) 西沢 守一(穂 高) 柴韓 治郎(伊那北)	丸山登一郎(千 曲) 小林 英雄(美 須々) 柴韓 治郎(伊那北)	丸山登一郎(千 曲) 掛川理三郎(蠟ヶ崎) 春日 友衛(下伊農)	丸山登一郎(千 曲) 降旗 義而(深 志) 春日 友衛(下伊農)	丸山登一郎(千 曲) 宮沢 喜義(深 志) 平沢 浩(岡 東)
幹事	広田 金平(長 工) 中村 助夫(") 山本 善一(") 古沢 智子(") 西沢 敬子(")	藤沢 武夫(長 野) 田中 直利(長 工) 荒井 刻雄(") 中村 助夫(") 山本 喜一(") 広田 金平(")	荒井 刻雄(長 工) 中村 助夫(") 山本 喜一(") 広田 金平(")	青木徳治郎(長 商) 土屋 扶雄(") 清水 泰雄(") 笠原 隆明(")	竹内 一夫(長 商) 土屋 扶雄(") 清水 泰雄(") 菊池 光雄(")	竹内 一夫(長 商) 土屋 扶雄(") 清水 泰雄(") 菊池 光雄(") 菱田 宏(")	竹内 一夫(長 商) 土屋 扶雄(") 清水 泰雄(") 菊池 光雄(") 菱田 宏(")

年度	38	39	40	41	42	43	44
事務局 務校	長野商業高等学校	長野商業高等学校	松本県ヶ丘高等学校	松本県ヶ丘高等学校	松本県ヶ丘高等学校	松本県ヶ丘高等学校	松本県ヶ丘高等学校
会長	久保田文雄(長 商)	久保田文雄(長 商)	宮下 清計(県ヶ丘)	山田 石男(県ヶ丘)	山田 石男(県ヶ丘)	山田 石男(県ヶ丘)	山田 石男(県ヶ丘)
副 会 長	小林 俊直(野 沢 北) 平林 圭介(深 志) 河野 文夫(岡 東)	小林 俊直(野 沢 北) 宮下 清計(県ヶ丘) 加藤 裕(弥生 丘)	小林 俊直(野 沢 北) 小出 武(長 野) 加藤 裕(弥生 丘)	小林 俊直(野 沢 北) 小出 武(長 野) 薄井 寛介(風 越)	小林 俊直(野 沢 北) 小出 武(長 野) 薄井 寛介(風 越)	小林 俊直(野 沢 北) 中村 優造(長 野) 守屋 新助(二 葉)	小林 俊直(野 沢 北) 中村 優造(長 野) 守屋 新助(二 葉)
理事 長	丸山 保彦(長 商)	丸山 保彦(長 商)	三村 成美(県ヶ丘)				
副事 理長	宮坂 仁吾(上 田)	宮坂 仁吾(上 田)	宮坂 仁吾(上 田)	宮坂 仁吾(上 田)	丸山登一郎(千 曲)	丸山登一郎(千 曲)	丸山登一郎(千 曲)
常 任 理 事	丸山登一郎(千 曲) 宮沢 喜義(深 志) 平沢 浩(岡 東)	丸山登一郎(千 曲) 宮崎 莊造(長 野) 牛山 順男(弥生 丘)	丸山登一郎(千 曲) 宮崎 莊造(長 野) 牛山 順男(弥生 丘)	丸山登一郎(千 曲) 宮崎 莊造(長 野) 小木曾庵夫(風 越)	宮崎 莊造(長 野) 小木曾庵夫(風 越)	宮崎 莊造(長 野) 赤羽 幸雄(二 葉)	宮崎 莊造(長 野) 赤羽 幸雄(二 葉)
幹 事	竹内 一夫(長 商) 土屋 扶雄(") 清水 泰雄(") 菱田 宏(") 宮坂 正篤(") 酒井 郁子(")	丸山 弘(長 商) 土屋 扶雄(") 小山 修司(") 石田 和増(") 宮坂 正篤(") 酒井 郁子(")	佐々木利平(県ヶ丘) 福村 武雄(") 宮城 文治(") 茅野 禎男(") 青木 伴文(") 宮沢 妙子(")	佐々木利平(県ヶ丘) 福村 武雄(") 宮城 文治(") 茅野 禎男(") 青木 伴文(") 宮沢 妙子(")	佐々木利平(県ヶ丘) 三沢 政近(") 宮城 文治(") 茅野 禎男(") 奈良井宏美(") 宮沢 妙子(")	佐々木利平(県ヶ丘) 三沢 政近(") 宮城 文治(") 茅野 禎男(") 奈良井宏美(") 宮沢 妙子(")	高野 正己(県ヶ丘) 三沢 政近(") 宮城 文治(") 茅野 禎男(") 奈良井宏美(") 宮沢 妙子(")

年度	45	46	47	48	49	50	51
事務局 務校	松本県ヶ丘高等学校	長野高等学校	長野高等学校	長野高等学校	長野西高等学校	長野西高等学校	長野西高等学校
会長	山田 石男(県ヶ丘)	中村 博二(長 野)	中村 博二(長 野)	中村 博二(長 野)	佐藤 穂次(長野西)	佐藤 穂次(長野西)	佐藤 穂次(長野西)
副 会 長	小林 俊直(野 沢 北) 中村 博二(長 野) 生島 三男(赤 穂)	宮脇 昌三(染 谷 丘) 小原 元享(美 須々) 小沢 国雄(赤 穂)	庄田 文雄(千 曲) 塚田 元好(美 須々) 平田 英夫(飯田長姫)	庄田 文雄(千 曲) 塚田 元好(美 須々) 平田 英夫(飯田長姫)	庄田 文雄(千 曲) 塚原 森夫(美 須々) 上条 勲(茅 野)	庄田 文雄(千 曲) 塚原 森夫(美 須々) 上条 勲(茅 野)	塩原 松美(千 曲) 塚原 森夫(美 須々) 関谷 一郎(辰 野)
理事 長	三村 成美(県ヶ丘)	北沢 生吉(長 野)	北沢 生吉(長 野)	北沢 生吉(長 野)	湯本 宣政(長野西)	湯本 宣政(長野西)	湯本 宣政(長野西)
副事 理長	丸山登一郎(千 曲)	丸山登一郎(千 曲)	丸山登一郎(千 曲)	丸山登一郎(千 曲)	丸山登一郎(千 曲)	丸山登一郎(千 曲)	丸山登一郎(千 曲)
常 任 理 事	宮崎 莊造(長 野) 山田 千春(赤 穂)	宮崎 莊造(長 野) 北村 喜男(美 須々) 山田 千春(赤 穂)	宮崎 莊造(長 野) 北村 喜男(美 須々) 原田 米俊(飯田長姫)	宮本 迪彦(長野西) 北村 喜男(美 須々) 原田 米俊(飯田長姫)	宮本 迪彦(長野西) 北村 喜男(美 須々) 為田 勝美(茅 野)	宮本 迪彦(長野西) 北村 喜男(美 須々) 為田 勝美(茅 野)	宮本 迪彦(長野西) 北村 喜男(美 須々) 大島 大辰(辰 野)
幹 事	高野 正己(県ヶ丘) 三沢 政近(") 伊藤 昭治(") 茅野 禎男(") 奈良井宏美(") 宮沢 妙子(")	甲崎 元(長 野) 菊池 光雄(") 依田 良春(") 山岸 重夫(") 原 哲夫(") 下城 公一(") 塚田 勲(") 福沢 敏(")	甲崎 元(長 野) 菊池 光雄(") 依田 良春(") 山岸 重夫(") 原 哲夫(") 下城 公一(") 塚田 勲(") 福沢 敏(")	甲崎 元(長 野) 菊池 光雄(") 依田 良春(") 山岸 重夫(") 原 哲夫(") 佐野 啓明(") 塚田 勲(") 福沢 敏(")	三井 晋(長野西) 大谷 裕雄(") 齊藤 節朗(") 香山田鶴子(") 丸山 満雄(") 牛村 一雄(") 飽田 次雄(") 荒井 龍衛(") 寺島 愛子(")	大谷 裕雄(長野西) 三井 晋(") 齊藤 節朗(") 香山田鶴子(") 高野 明子(") 小島 和英(") 深井 真一(") 荒井 龍衛(") 寺島 愛子(") 玉井 厚(")	大谷 裕雄(長野西) 三井 晋(") 齊藤 節朗(") 香山田鶴子(") 高野 明子(") 小島 和英(") 深井 真一(") 荒井 龍衛(") 寺島 愛子(") 玉井 厚(")

年度	52	53	54	55	56	57	58
事務局	長野西高等学校	長野西高等学校	松本県ヶ丘高等学校	松本県ヶ丘高等学校	松本県ヶ丘高等学校	松本県ヶ丘高等学校	長野吉田高等学校
会長	丸山 保彦(長野吉田)	栗田 寛(長野西)	藤森 慎(県ヶ丘)	藤森 慎(県ヶ丘)	藤森 慎(県ヶ丘)	市村順太郎(県ヶ丘)	平松 剛(長野吉田)
副会長	平林 忠章(小商) 関谷 一郎(辰野) 清水 和彦(美須々)	平林 忠章(小商) 牛山 之雄(飯田) 清水 和彦(美須々)	平林 忠章(小商) 牛山 之雄(飯田) 栗田 寛(長野西)	平林 忠章(小商) 北川原平造(長野吉田) 守屋 隆輔(岡南)	酒井 清(小商) 高野 禎二(長野吉田) 春日 輝海(岡南)	小林 盤男(小諸) 高野 禎二(長野吉田) 川上 輝(箕工)	小林 盤男(小諸) 秋山 昭夫(豊科) 川上 輝(箕工)
理事長	湯本 宣政(長野西)	湯本 宣政(長野西)	伊藤 昭治(県ヶ丘)	伊藤 昭治(県ヶ丘)	伊藤 昭治(県ヶ丘)	伊藤 昭治(県ヶ丘)	渡辺 伊八(長野吉田)
副理事長	北村 喜男(美須々)	油井孝一郎(小商)	油井孝一郎(小商)	油井孝一郎(小商)	油井孝一郎(小商)	渡辺 伊八(長野吉田)	小林 靖(小諸)
常任理事	渡辺 伊八(長野吉田) 油井孝一郎(小商) 大島 大(辰野)	渡辺 伊八(長野吉田) 北村 喜男(美須々) 岡庭 巴(飯田)	渡辺 伊八(長野吉田) 茅野 禎男(巖ヶ崎) 岡庭 巴(飯田)	渡辺 伊八(長野吉田) 茅野 禎男(巖ヶ崎) 牛山 雅弘(岡南)	渡辺 伊八(長野吉田) 茅野 禎男(巖ヶ崎) 牛山 雅弘(岡南)	小林 靖(小諸) 茅野 禎男(巖ヶ崎) 小出 勉(箕工)	伊藤 裕元(豊科) 茅野 禎男(巖ヶ崎)
幹事	宮本 迪彦(長野西) 坂本 保(") 斉藤 節朗(") 香山田鶴子(") 高野 明子(") 小島 和英(") 深井 真一(") 荒井 龍衛(") 寺島 愛子(") 玉井 厚(")	宮本 迪彦(長野西) 坂本 保(") 斉藤 節朗(") 香山田鶴子(") 高野 明子(") 小島 和英(") 深井 真一(") 荒井 龍衛(") 寺島 愛子(") 玉井 厚(")	高野 正己(県ヶ丘) 山崎 正治(") 横川 勉(") 戸塚 国彦(") 米倉 誠(") 小島喜美雄(")	高野 正己(県ヶ丘) 山崎 正治(") 横川 勉(") 戸塚 国彦(") 米倉 誠(") 小島喜美雄(") 岩波 文人(")	内川 泰男(県ヶ丘) 山崎 正治(") 横川 勉(") 戸塚 国彦(") 米倉 誠(") 小島喜美雄(") 小林 明子(")	内川 泰男(県ヶ丘) 山崎 正治(") 横川 勉(") 戸塚 国彦(") 米倉 誠(") 小島喜美雄(") 小林 明子(")	御所窪正義(長野吉田) 千葉 民雄(") 石坂喜久雄(") 牛村 一雄(") 町田 曉世(") 滝沢 啓郎(") 小沢 清光(") 杉本 秀男(")

年度	59	60	61	年度	62	63	平成 1	2
事務局	長野吉田高等学校	長野吉田高等学校	長野吉田高等学校	事務局	長野吉田	諏訪二葉	諏訪二葉	諏訪二葉
会長	平松 剛(長野吉田)	平松 剛(長野吉田)	平松 剛(長野吉田)	会長	高橋 重造	小林 仁	小林 仁	小林 仁
副会長	池田 清作(小諸) 秋山 昭夫(豊科) 久保田泰正(下伊農)	池田 清作(小諸) 小須田清雅(豊科) 福田 芳典(篠ノ井) 久保田泰正(下伊農)	池田 清作(小諸) 小須田清雅(豊科) 福田 芳典(篠ノ井) 西沢 照夫(諏実)	副会長	福田 芳典(篠ノ井) 小須田清雅(豊科) 西沢 照夫(諏訪実業) 牧野 昌泰(丸子実業)	百瀬 安人(須坂) 井出 健次(松本深志) 武田 良寛(伊那北) 牧野 昌泰(丸子実業)	坂本 明由(須坂) 春日 親夫(松本深志) 武田 良寛(伊那北) 北野 進(岩村田)	坂本 明由(須坂) 中山 茂(田川) 松下 勲(飯田風越) 北野 進(岩村田)
理事長	渡辺 伊八(長野吉田)	渡辺 伊八(長野吉田)	渡辺 伊八(長野吉田)	理事長	渡辺 伊八(長野吉田)	両角 千明(諏訪二葉)	両角 千明(諏訪二葉)	両角 千明(諏訪二葉)
副理事長	小林 靖(小諸)	小林 靖(小諸)	小林 靖(小諸)	副理事長	玉井 重遠(篠ノ井)	石坂喜久雄(須坂)	石坂喜久雄(須坂)	石坂喜久雄(須坂)
常任理事	伊藤 裕元(豊科) 福島 康人(下伊農)	伊藤 裕元(豊科) 福島 康人(下伊農) 玉井 重遠(篠ノ井)	伊藤 裕元(豊科) 北沢 忠義(諏実) 玉井 重遠(篠ノ井)	常任理事	伊藤 裕元(豊科) 北沢 忠義(諏訪実業) 赤羽福次郎(丸子実業)	宮城 文治(松本深志) 城田 忠承(伊那北) 赤羽福次郎(丸子実業)	宮城 文治(松本深志) 城田 忠承(伊那北) 柏木 嘉雄(岩村田)	山崎 正治(田川) 坂巻 道弘(飯田風越) 柏木 喜雄(岩村田)
幹事	御所窪正義(長野吉田) 千葉 民雄(") 石坂喜久雄(") 牛村 一雄(") 町田 曉世(") 滝沢 啓郎(") 佐藤 清光(") 杉本 秀男(") 野村 孝雄(") 和田 信子(")	御所窪正義(長野吉田) 千葉 民雄(") 福沢 貴(") 牛村 一雄(") 町田 曉世(") 滝沢 啓郎(") 佐藤 清光(") 杉本 秀男(") 野村 孝雄(") 和田 信子(")	御所窪正義(長野吉田) 千葉 民雄(") 福沢 貴(") 本沢 茂人(") 町田 曉世(") 滝沢 啓郎(") 佐藤 清光(") 杉本 秀男(") 野村 孝雄(") 和田 信子(")	幹事	金井 周三(穂高商業) 栗澤 祐治(阿南) 依田 恒雄(上田東) 小松 敬弘(皐月)	金井 周三(穂高商業) 中山 茂(諏訪清陵) 高田 富生(望月) 神津 昭(須坂園芸)	原 淳(穂高商業) 持田 明夫(諏訪清陵) 高田 富生(望月) 伊藤 修(須坂園芸)	竹内 一(塩尻) 上平慶治(下諏訪向陽) 安江 昭祐(上田東) 伊藤 悟(須坂商業)
幹事	町田 曉世(長野吉田) 篠塚 茂則(") 福沢 貴(") 御所窪正義(") 千葉 民雄(") 本沢 茂人(") 吉沢 和代(") 野村 孝雄(")	小島 功(諏訪二葉) 笠原 浩(") 牛山 雅弘(") 小口 和子(") 樋口 一正(") 深沢 香(") 小林 正良(") 樋口 妙子(")	小島 功(諏訪二葉) 笠原 浩(") 牛山 雅弘(") 小口 和子(") 樋口 一正(") 大平 忠一(") 小林 正良(") 樋口 妙子(")	幹事	町田 曉世(長野吉田) 篠塚 茂則(") 福沢 貴(") 御所窪正義(") 千葉 民雄(") 本沢 茂人(") 吉沢 和代(") 野村 孝雄(")	小島 功(諏訪二葉) 笠原 浩(") 牛山 雅弘(") 小口 和子(") 樋口 一正(") 深沢 香(") 小林 正良(") 樋口 妙子(")	小島 功(諏訪二葉) 笠原 浩(") 牛山 雅弘(") 小口 和子(") 樋口 一正(") 大平 忠一(") 小林 正良(") 樋口 妙子(")	小島 功(諏訪二葉) 笠原 浩(") 牛山 雅弘(") 小口 和子(") 秋山 兼彦(") 樋口 妙子(")

年度	3	4	5	6	7	8	9
事務局	諏訪二業	上田	上田	上田	上田	上田	長野
会長	竹内 長生	藤澤 愛儀	藤澤 愛儀	藤澤 愛儀	藤澤 愛儀	海沼 清美	本山 綱規
副会長	齊藤 博彦(須坂) 中山 源司(田川) 松下 勲(飯田風越) 下村 和彦(岩村田)	櫻井 啓造(長野東) 中山 源司(田川) 藤森 弘(岡谷工業) 吉岡知雄(上田染谷丘)	跡部 和夫(長野東) 柳原 俊幸(田川) 藤森 弘(岡谷工業) 吉岡知雄(上田染谷丘)	跡部 和夫(長野東) 柳原 俊幸(田川) 藤森 弘(岡谷工業) 吉岡知雄(上田染谷丘)	跡部 和夫(長野東) 佐藤 彦雄(県ヶ丘) 島田 庸夫(弥生丘) 小出志郎(上田染谷丘)	跡部 和夫(長野東) 櫻原 哲朗(県ヶ丘) 島田 庸夫(弥生丘) 小出志郎(上田染谷丘)	白澤 寛人(屋代) 藤原 哲朗(県ヶ丘) 傳田 利壽(飯田長姫) 田中 正(小諸商業)
理事長	小島 功(諏訪二業)	山浦 正孝(上田)	山浦 正孝(上田)	山浦 正孝(上田)	山浦 正孝(上田)	布施 紀彦(長野)	布施 紀彦(長野)
副理事長	石坂喜久雄(須坂)	山崎 正治(田川)	山崎 正治(田川)	内田 靖男(長野東)	内田 靖男(長野東)	茶谷 義男(県ヶ丘)	青木 崇(屋代)
常任理事	山崎 正治(田川) 坂巻 道弘(飯田風越) 柏木 善雄(岩村田)	内田 靖男(長野東) 百瀬 一彦(岡谷工業) 鮎沢 亨(上田染谷丘)	内田 靖男(長野東) 百瀬 一彦(岡谷工業) 鮎沢 亨(上田染谷丘)	茶谷 義男(県ヶ丘) 水田 敦郎(弥生丘) 鮎沢 亨(上田染谷丘)	茶谷 義男(県ヶ丘) 水田 敦郎(弥生丘) 鮎沢 亨(上田染谷丘)	青木 崇(屋代) 南嶋 俊三(飯田長姫) 浅沼 富夫(小諸商業)	青木 功(巖ヶ崎) 南嶋 俊三(飯田長姫) 浅沼 富夫(小諸商業)
監事	伊藤 悟(穂高商業) 平島左一(下諏訪向陽) 春日 芳茂(上田東) 原 淳(須坂商業)	伊藤 悟(穂高商業) 三澤 敏雄(弥生丘) 春日 芳茂(上田東) 田中 哲明(篠ノ井)	田中 正(穂高商業) 島田 庸夫(弥生丘) 春日 芳茂(上田東) 竹内 長生(篠ノ井)	田中 正(穂高商業) 小出 勉(諏訪実業) 春日 芳茂(上田東) 平林 尚武(坂城)	丸山 直(穂高商業) 小出 勉(諏訪実業) 佐藤 武(上田東) 平林 尚武(坂城)	丸山 直(穂高商業) 中沢 清人(諏訪実業) 佐藤 武(上田東) 浦沢 規裕(松代)	丸山 直(穂高商業) 中沢 清人(諏訪実業) 佐藤 武(上田東) 浦沢 規裕(松代)
幹事	牛山 雅弘(諏訪二業) 小口 和子(") 齊藤 明人(") 岩崎 隆芳(") 中島 秀明(") 細田 高(") 樋口 妙子(")	神津 和美(上田) 酒井 分長(") 山崎 寿一(") 堀内 文武(") 草間 清光(") 竹内 佳明(") 中沢 才幸(") 根橋 寛(") 桜井 剛(") 市川 明(") 佐藤 順子(")	神津 和美(上田) 酒井 分長(") 山崎 寿一(") 堀内 文武(") 草間 清光(") 竹内 佳明(") 中沢 才幸(") 根橋 寛(") 齊藤 重夫(") 市川 明(") 佐藤 順子(")	神津 和美(上田) 酒井 分長(") 山崎 寿一(") 堀内 文武(") 草間 清光(") 竹内 佳明(") 中沢 才幸(") 根橋 寛(") 齊藤 重夫(") 小島 昭英(") 市川 明(") 佐藤 順子(")	酒井 分長(上田) 山崎 寿一(") 堀内 文武(") 丸尾 泉(") 竹内 佳明(") 中沢 才幸(") 根橋 寛(") 津金 重一(") 宮沢 恰子(") 小島 昭英(") 市川 明(") 佐藤 順子(")	鈴木 精一(長野) 竹内 道子(") 田島 康彦(") 玉川 吉彦(") 友田 孝行(") 村沢 良之(") 大竹 善雄(") 奥脇 教(") 荒井サキ子(") 宮島 孝恵(")	鈴木 精一(長野) 竹内 道子(") 田島 康彦(") 玉川 吉彦(") 友田 孝行(") 村沢 良之(") 奥脇 教(") 荒井サキ子(") 宮島 孝恵(") 牛山雅弘(H10全国スケート・アイスホッケー担当)

高体連会報紹介



2 長野県高等学校体育連盟年次別専門部委員一覧表

(◎部長 ○委員長) 表1-1

種 年 目 度	陸上競技	バスケットボール	軟式庭球	バレーボール	卓球	ソフトボール	ハンドボール
24	○山浦 保(岩村田) 岡村 好実(蠟ヶ崎) 温田 市助(阿南)	○西沢 守一(松本市立)	内堀 純一(小諸実) 丸山まき美(蠟ヶ崎)	宮坂 仁吾(松尾) 北村 純(深志)	丸山登一郎(千曲)	戸塚平四郎(野沢北)	
25	半田 実(染谷丘) ○山浦 保(長農) 竹内不二雄(松工) 温田 市助(阿南)	○花村 伝(深志)	○丸山まき美(蠟ヶ崎) 城倉 清志(伊那北)	宮坂 仁吾(松尾) 榊原栄一郎(松商)	丸山登一郎(千曲) 刈間今朝雄(長工) 丸山 保彦(長北) 宮本 光雄(松商) 田中 誠志(長姫)	戸塚平四郎(野沢北)	
26	丸山登一郎(千曲) ○山浦 保(長農) 岡村 好実(蠟ヶ崎) 温田 市助(阿南)	西川 隆一(軽井沢) ○宮崎 荘造(長西) 花村 伝(深志) 柴韓韓治郎(上伊農)	市村由規夫(北佐農) 宮下 睦夫(長工) 丸山まき美(蠟ヶ崎) ○城倉 清志(上伊農)	柳田 幸雄(小諸) 飯島辰三郎(須西) ○榊原栄一郎(松商) 植田 守(辰野)	羽田 義男(丸子実) ○丸山 保彦(長北) 山田 作男(豊科) 深津 信一(中箕輪)	戸塚平四郎(野北) 宮本 金作(須東) ○青木 竜雄(豊科) 牛山 順男(弥生丘)	○油井孝一郎(野南) 松下 一郎(中実) 宮沢 喜義(深志) 小沢 祐三(源訪農)
27	半田 実(染谷丘) ○山浦 保(長農) 岡村 好実(蠟ヶ崎) 温田 市助(阿南)	西川 隆一(軽井沢) 宮崎 荘造(長西) 齊藤 伝(深志) 矢島 子郎(清陵)	内堀 純一(小諸実) 宮下 睦夫(長工) 丸山まき美(蠟ヶ崎) ○城倉 清志(上伊農)	柳田 幸雄(小諸) 飯島辰三郎(須西) ○榊原栄一郎(松商) 原 敏(岡南)	丸山登一郎(千曲) ○丸山 保彦(長北) 宮本 正彦(県丘) 平沢 浩(弥生丘)	○戸塚平四郎(野北) 宮本 金作(須東) 西沢 守一(穂高) 牛山 順男(弥生丘)	○油井孝一郎(野南) 松下 一郎(中実) 宮沢 喜義(深志) 小沢 祐三(源訪農)
28	半田 実(染谷丘) ○山浦 保(長農) 岡村 好実(蠟ヶ崎)	西川 隆一(軽井沢) 鈴木 武平(長北) 齊藤 伝(深志) 矢島 寿雄(清陵)	内堀 純一(小諸実) 宮下 睦夫(長工) 丸山まき美(蠟ヶ崎) 城倉 清志(上伊農)	柳田 幸雄(小諸) 飯島辰三郎(須西) 榊原栄一郎(松商) 原 敏(岡南)	丸山登一郎(千曲) 丸山 保彦(長北) 中田 光雄(松商) 平沢 浩(弥生丘)	戸塚平四郎(野北) 宮本 金作(須東) 中村 助夫(長市立) 西沢 守一(穂高) 牛山 順男(弥生丘)	油井孝一郎(長工)
29	◎清水 次郎(木曾東) 丸山登一郎(千曲) ○山浦 保(長農) 岡村 好実(蠟ヶ崎) 温田 市助(阿南)	◎竹前友治郎(篠ノ井) 西川 隆一(軽井沢) 鈴木 武平(長北) ○西澤 守一(穂高) 矢島 寿雄(清陵)	◎薄井 慎吾(蠟ヶ崎) ○内堀 純一(小諸実) 宮下 睦夫(長工) 丸山まき美(蠟ヶ崎) 城倉 清志(上伊農)	◎更級 勉(小諸実) 柳田 幸雄(小諸) 飯島辰三郎(須西) ○榊原栄一郎(松商) 立石 巖(二葉)	◎土屋 良徳(長市立) 羽田 義雄(丸子実) ○丸山 保彦(長北) 中田 光雄(松商) 松島 秀晴(高松)	◎林 宗男(大町北) 宮本 金作(須東) 戸塚平四郎(野北) 森山 嶺松(松工) 青木 竜雄(伊那北)	◎中沢睦次郎(松尾) 宮本 迪彦(千曲) 油井孝一郎(長工) 白井 竜之(南農)
30	◎清水 次郎(木曾東) 丸山登一郎(千曲) ○山浦 保(長農) 岡村 好実(蠟ヶ崎) 温田 市助(阿南)	◎竹前友治郎(篠ノ井) 西川 隆一(軽井沢) 鈴木 武平(長北) ○西澤 守一(穂高) 矢島 寿雄(清陵)	◎薄井 慎吾(蠟ヶ崎) ○内堀 純一(小諸実) 宮下 睦夫(長工) 丸山まき美(蠟ヶ崎) 城倉 清志(上伊農)	◎更級 勉(小諸実) 柳田 幸雄(小諸) 湯本 宣政(長北) ○榊原栄一郎(松商) 北沢 忠義(源訪実)	◎土屋 良徳(長市立) 羽田 義雄(丸子実) ○丸山 保彦(長北) 中田 光雄(松商) 松島 秀晴(高松)	◎林 宗男(大町北) 宮本 金作(須東) 戸塚平四郎(野北) 森山 嶺松(松工) 牛山 順男(弥生丘)	◎中沢睦次郎(松尾) ○宮本 迪彦(千曲) 油井孝一郎(長工) 小林 英雄(美須丘)
31	◎清水 次郎(木曾東) 丸山登一郎(千曲) ○山浦 保(長農) 岡村 好実(蠟ヶ崎) 植田 守(赤穂)	◎竹前友治郎(篠ノ井) 西川 隆一(軽井沢) 鈴木 武平(長北) ○西澤 守一(穂高) 矢島 寿雄(清陵)	◎薄井 慎吾(蠟ヶ崎) 内堀 純一(小諸商) 宮下 睦夫(長工) 丸山まき美(蠟ヶ崎) 中島 正人(風越)	◎更級 勉(小諸実) 柳田 幸雄(小諸) 湯本 宣政(長北) ○榊原栄一郎(松商) 北沢 忠義(源訪実)	◎土屋 良徳(長市立) 羽田 義雄(小県東部) 丸山 保彦(長北) 大沢 寛(松商) 白鳥 善男(岡東)	◎林 宗男(大町北) 戸塚平四郎(野北) ○宮本 金作(須東) 高山 彦門(桔梗) 牛山 順男(弥生丘)	○宮本 迪彦(千曲) 中沢 正己(屋東) 有賀 竜之(桔梗) 小沢 清治(二葉)
32	◎赤羽 誠(桔梗) ○丸山登一郎(千曲) 半田 実(屋東) 竹内不二雄(松工) 植田 守(赤穂)	◎竹前友治郎(美須々) 西川 隆一(軽井沢) 宮崎 荘造(長野) 西沢 守一(穂高) 矢島 寿雄(清陵)	◎薄井 慎吾(蠟ヶ崎) 大石 治(小県蚕) 土屋 扶雄(長商) ○丸山まき美(蠟ヶ崎) 桜井 幸直(中箕輪)	◎更級 勉(小諸商) 柳田 幸雄(北佐農) 湯本 宣政(須東) ○榊原栄一郎(松商) 立石 巖(二葉)	◎土屋 良徳(長市立) 羽田 義雄(東部) ○丸山 保彦(長商) 白鳥 善男(岡谷東)	◎林 宗男(大町北) 戸塚平四郎(野北) 若林 貞良(篠ノ井) 高山 彦門(桔梗) 牛山 順男(弥生丘)	◎川口横三郎(白田) ○宮本 迪彦(千曲)
33	◎赤羽 誠(桔梗) 小林 靖(小諸商) ○半田 実(屋東) 竹内不二雄(松工) 植田 守(赤穂)	◎竹前友治郎(美須々) 西川 隆一(軽井沢) 宮崎 荘造(長野) 小林 仁(豊科) 小木曾竜夫(風越)	◎薄井 慎吾(蠟ヶ崎) 井出 喜一(小諸商) 土屋 扶雄(長商) 丸山まき美(蠟ヶ崎) 桜井 幸直(中箕輪)	◎更級 勉(小諸商) 依田 保夫(上田) ○湯本 宣政(須東) ○榊原栄一郎(松商) 立石 巖(二葉)	◎土屋 良徳(長市立) 羽田 義雄(東部) ○丸山 保彦(長商) 大沢 寛(松商) 竹淵 次郎(富士見)	◎林 宗男(大町北) 吉沢多喜夫(小諸) ○若林 貞良(篠ノ井) 高山 彦門(桔梗) 牛山 順男(弥生丘)	◎大草 英雄(千曲) 油井孝一郎(小諸商) 中沢 正己(屋代) 有賀 竜之(桔梗)

表1-2

種 年 目 度	陸上競技	バスケットボール	軟式庭球	バレーボール	卓球	ソフトボール	ハンドボール
34	◎宇野 勝房(赤穂) 小林 靖(小諸商) ○半田 実(屋代東) 竹内不二雄(松工) 植田 守(赤穂)	◎伊沢 集治(美須々) ○西川 隆一(軽井沢) 笠原 隆男(長商) 小林 仁(豊科) 小木曾竜夫(風越)	◎薄井 慎吾(蠟ヶ崎) 井出 喜一(小諸商) 土屋 扶雄(長商) ○丸山まき美(蠟ヶ崎) 桜井 幸直(中箕輪)	◎加藤 裕(岡南) 依田 保夫(上田) 湯本 宣政(須東) ○榊原栄一郎(松商) 立石 巖(二葉)	◎土屋 良徳(望月) 半田 義雄(東部) ○和田 圭喜(長西) 大沢 寛(松商) 竹淵 三郎(富士見)	◎林 宗男(大町北) 吉沢多喜夫(小諸) ○若林 貞良(篠ノ井) 高山 彦門(桔梗) 牛山 順男(弥生丘)	◎大草 英雄(千曲) ○油井孝一郎(小諸商) 中沢 正己(屋代東) 有賀 竜之(桔梗)
35	◎宇野 勝房(二葉) 小林 靖(小諸商) ○半田 実(屋代東) 小林 繁人(県ヶ丘) 植田 守(赤穂)	◎伊沢 集治(美須々) 西川 隆一(軽井沢) 笠原 隆男(長西) 小林 仁(豊科) 竹内 康雄(竜上)	◎薄井 慎吾(蠟ヶ崎) 井出 喜一(小諸商) 土屋 扶雄(長商) ○丸山まき美(蠟ヶ崎) 城倉 清志(上伊農)	◎加藤 裕(岡南) 依田 保夫(上田) 湯本 宣政(須東) ○榊原栄一郎(松商) 北沢 忠義(源実)	◎土屋 良徳(望月) 半田 義雄(東部) ○和田 圭喜(長西) 大沢 寛(松商) 為田 勝美(二葉)	◎林 宗男(大町北) 戸塚平四郎(野北) ○若林 貞良(篠ノ井) 高山 彦門(桔梗) 牛山 順男(弥生丘)	◎金子 祐三(屋代東) ○油井孝一郎(小諸商) 中沢 正己(屋代東) 有賀 竜之(北安農) 竹内 康雄(竜上)
36	◎宇野 勝房(二葉) 小林 靖(小諸商) ○山浦 保(吉田) 小林 繁人(県ヶ丘) 植田 守(赤穂)	◎伊沢 集治(屋代東) 西川 隆一(軽井沢) 笠原 隆男(長西) 小林 仁(豊科) 竹内 康雄(竜上)	◎薄井 慎吾(蠟ヶ崎) 井出 喜一(小諸商) 土屋 扶雄(長商) ○丸山まき美(蠟ヶ崎) 城倉 清志(上伊農)	◎加藤 裕(岡南) 依田 保夫(丸子実) 湯本 宣政(須東) ○榊原栄一郎(松商) 北沢 忠美(源実)	◎土屋 良徳(須東) 半田 義雄(東部) ○和田 圭喜(長西) 大沢 寛(松商) 為田 勝美(二葉)	◎林 宗男(木曾西) 望月 豊(野南) ○若林 貞良(篠ノ井) 高山 彦門(桔梗原) 牛山 順男(弥生丘)	◎山本 勳(小諸商) ○油井孝一郎(小諸商) 中沢 正己(屋代東) 有賀 竜之(北安農)
37	◎宇野 勝房(二葉) 小林 靖(小諸商) ○山浦 保(吉田) 小林 繁人(県ヶ丘) 植田 守(赤穂)	◎伊沢 集治(屋代東) 西川 隆一(軽井沢) 竹前 勝(吉田) 小林 仁(豊科) 宮本 守(下伊農)	◎茅野 雄郎(蠟ヶ崎) 井出 喜一(小諸商) ○平栗 寛二(長西) 丸山まき美(蠟ヶ崎) 城倉 清志(上伊農)	◎加藤 裕(弥生丘) 依田 保夫(丸子実) 湯本 宣政(須東) 原 敏(美須々) 立石 巖(二葉)	◎土屋 良徳(須東) 寺島 善藏(夢科) ○和田 圭喜(長西) 大沢 寛(松商) 為田 勝美(岡工)	◎林 宗男(木曾西) 望月 豊(野沢南) ○山田 正俊(須東) 高山 彦門(桔梗原) 牛山 順男(弥生丘)	◎山本 勳(小諸商) ○油井孝一郎(小諸商) 中沢 正己(屋代東) 有賀 竜之(北安農)
38	◎宇野 勝房(飯田) 小林 靖(小諸商) ○山浦 保(吉田) 小林 繁人(穂高) 植田 守(赤穂)	◎伊沢 集治(屋代) 西川 隆一(軽井沢) 竹前 勝(吉田) 小林 仁(豊科) 白鳥 善男(上伊農)	◎茅野 雄郎(蠟ヶ崎) 井出 喜一(小諸商) ○平栗 寛二(長西) 丸山まき美(蠟ヶ崎) 城倉 清志(上伊農)	◎加藤 裕(弥生丘) 依田 保夫(上田) 湯本 宣政(須東) 原 敏(美須々) 立石 巖(二葉)	◎土屋 良徳(須東) 寺島 善藏(夢科) ○和田 圭喜(長西) 大沢 寛(松商) 為田 勝美(岡工)	◎林 宗男(木曾西) 望月 豊(野沢南) ○山田 正俊(須東) 高山 彦門(深志) 牛山 順男(弥生丘)	◎山本 勳(辰野) ○油井孝一郎(小諸商) 中沢 正己(屋代) 有賀 竜之(北安農)
39	◎宇野 勝房(飯田) 小林 靖(小諸商) ○山浦 保(吉田) 小林 繁人(穂高) 植田 守(駒工)	◎伊沢 集治(屋代) 西川 隆一(軽井沢) 竹前 勝(吉田) 小林 仁(穂高) 白鳥 善男(上伊農)	◎茅野 雄郎(蠟ヶ崎) 井出 喜一(小諸商) 平栗 寛二(長西) ○丸山まき美(蠟ヶ崎) 城倉 清志(上伊農)	◎加藤 裕(弥生丘) 依田 保夫(上田) 湯本 宣政(須東) 小沢 清春(松工) 立石 巖(二葉)	◎小松 孝志(須東) 宮本 迪彦(丸子実) ○和田 圭喜(長西) 大沢 寛(松商) 上島 大(辰野)	◎林 宗男(木曾西) 望月 豊(野沢南) ○山田 正俊(須東) 高山 彦門(深志) 久保田良明(赤穂)	◎原 隼人(小諸商) ○油井孝一郎(小諸商) 中沢 正己(屋代) 有賀 竜之(池田)
40	◎宇野 勝房(飯田) 小林 靖(小諸商) ○山浦 保(吉田) 小林 繁人(穂高) 植田 守(箕工)	◎伊沢 集治(屋代) 西川 隆一(軽井沢) 竹前 勝(吉田) 小林 仁(穂高) 白鳥 善男(上伊農)	◎佐藤 昌一(蠟ヶ崎) 井出 善一(小諸商) 平栗 寛二(長西) ○丸山まき美(蠟ヶ崎) 城倉 清志(上伊農)	◎加藤 裕(弥生丘) 依田 保夫(上田) 湯本 宣政(須東) 小沢 清春(松工) 立石 巖(二葉)	◎小松 孝志(須東) 寺島 善藏(夢科) ○和田 圭喜(長西) 大沢 寛(松商) 上島 大(辰野)	◎林 宗男(木曾西) 望月 豊(野沢南) ○山田 正俊(須東) 高山 彦門(深志) 久保田良明(赤穂)	◎原 隼人(小諸商) ○油井孝一郎(小諸商) 中沢 正己(屋代) 有賀 竜之(池田)
41	◎宇野 勝房(飯田) 高山 重之(染谷丘) ○山浦 保(吉田) 小林 繁人(穂高) 植田 守(箕工)	◎伊沢 集治(清陵) 小宮山多賀文(染谷丘) 竹前 勝(吉田) 小林 仁(穂高) 白鳥 善男(上伊農)	◎佐藤 昌一(蠟ヶ崎) 井出 善一(上田東) 平栗 寛二(清泉) ○丸山まき美(蠟ヶ崎) 平沢 浩(岡東)	◎徳武 英夫(長市立) 依田 保夫(上田) 湯本 宣政(須東) 北村 善男(美須々) 立石 巖(二葉)	◎中村 優造(長商) 寺島 善藏(夢科) ○和田 圭喜(長西) 大沢 寛(松商) 上島 大(辰野)	◎河合 義人(松代) 望月 豊(野沢南) ○山田 正俊(須東) 伊藤 昭治(豊科) 牛山 順男(弥生丘)	◎大池 正己(屋代) 柳沢 民弥(北佐農) ○中沢 正己(屋代) 春原 敏一(美須々) 阿部 隆(清陵)
42	◎山田 石男(県ヶ丘) 高山 重之(染谷丘) ○山浦 保(吉田) 小林 繁人(穂高) 植田 守(箕工)	◎伊沢 集治(清陵) 坂坂 憲男(丸子実) 竹前 勝(吉田) 小林 仁(穂高) 白鳥 善男(上伊農)	◎佐藤 昌一(蠟ヶ崎) 坂口 浩(上田) 平栗 寛二(清泉) ○丸山まき美(蠟ヶ崎) 平沢 浩(岡東)	◎徳武 英夫(長市立) 依田 保夫(上田) 湯本 宣政(須東) 北村 善男(美須々) 立石 巖(二葉)	◎中村 優造(長商) 寺島 善藏(夢科) ○和田 圭喜(長西) 大沢 寛(松商) 上島 大(辰野)	◎河合 義人(松代) 望月 豊(野沢南) ○山田 正俊(長工) 伊藤 昭治(豊科) 牛山 順男(弥生丘)	◎大池 正己(屋代) 柳沢 民弥(北佐農) ○中沢 正己(屋代) 春原 敏一(美須々) 阿部 隆(清陵)
43	◎山田 石男(県ヶ丘) 高山 重之(染谷丘) ○山浦 保(吉田) 小林 繁人(穂高) 植田 守(箕工)	◎伊沢 集治(深志) 竹内 康雄(野沢北) 竹前 勝(須園) 茅野 祐男(県ヶ丘) 白鳥 善男(上伊農)	◎薄井 寛介(蠟ヶ崎) 坂口 浩(上田) 平栗 寛二(清泉) ○丸山まき美(蠟ヶ崎) 平沢 浩(岡東)	◎真山 登(美須々) 平林 洋一(野沢南) 湯本 宣政(須東) ○北村 喜男(美須々) 立石 巖(二葉)	◎中村 優造(長商) 寺島 善藏(夢科) ○和田 圭喜(須東) 大沢 寛(松商) 上島 大(辰野)	◎河合 義人(松代) 丸山 孝完(野沢南) ○山田 正俊(長工) 伊藤 昭治(豊科) 牛山 順男(弥生丘)	◎白石 国男(屋代) 柳沢 民弥(小諸商) ○中沢 正己(屋代) 春原 敏一(美須々)

表1-3

種 年 目 度	陸上競技	バスケットボール	軟式庭球	バレーボール	卓球	ソフトボール	ハンドボール
44	◎山田 石男(県ヶ丘) 高山 重之(染谷丘) ○山浦 保(吉田) 小林 繁人(穂高) 植田 守(箕工)	◎森山 豊(飯工) 竹内 康雄(野沢北) ○竹前 勝(須園) 茅野 禎男(県ヶ丘) 白鳥 善男(上伊農)	◎薄井 寛介(蟻ヶ崎) 坂口 浩(上田) 平栗 寛二(清泉) ○丸山まき美(蟻ヶ崎) 平沢 浩(岡東)	◎真山 登(美須々) 平林 洋一(野沢南) 湯本 宣政(須東) ○北村 善男(美須々) 立石 徹(二葉)	◎中村 優造(長野) 寺島 喜藏(蓼科) ○和田 圭喜(須東) 大沢 寛(松商) 上島 大(辰野)	◎桜井 一郎(梓川) 丸山 孝完(野沢南) ○山田 正俊(長工) 伊藤 昭治(豊科) 牛山 順男(弥生丘)	◎白石 国男(屋代) 柳沢 民弥(小諸商) ○中沢 正己(屋代) 春原 紘一(美須々)
45	◎山田 石男(県ヶ丘) 高山 重之(小諸) ○山浦 保(吉田) 小林 繁人(穂高) 両角 千明(伊那北)	◎清水 和彦(篠ノ井) 井出 知旭(野沢南) ○竹前 勝(須園) 茅野 禎男(県ヶ丘) 矢島 寿雄(清陵)	◎薄井 寛介(蟻ヶ崎) 坂口 浩(上田) 平栗 寛二(清泉) ○丸山まき美(蟻ヶ崎) 平沢 浩(岡東)	◎小原 元享(美須々) 平林 洋一(野沢南) ○湯本 宣政(須東) 北村 善男(美須々) 立石 徹(二葉)	◎中村 博二(長野) 寺島 善藏(蓼科) ○和田 圭喜(須東) 大沢 寛(松商) 上島 大(辰野)	◎桜井 一郎(野沢南) 丸山 孝完(蓼科) ○山田 正俊(長工) 竹内 護(塚原) 城田 忠承(阿南)	◎新津 真澄(北佐農) 柳沢 民弥(小諸商) ○中沢 正己(屋代) 春原 紘一(美須々)
46	◎山田 石男(県ヶ丘) 高山 重之(小諸) ○山浦 保(吉田) 小林 繁人(穂高) 両角 千明(伊那北)	◎清水 和彦(篠ノ井) 井出 知旭(野沢南) ○竹前 勝(須園) 茅野 禎男(蟻ヶ崎) 矢島 寿雄(清陵)	◎柳沢 恒夫(蟻ヶ崎) 坂口 浩(上田) 小林 貞男(長商) ○丸山まき美(蟻ヶ崎) 平沢 浩(弥生丘)	◎小原 元享(美須々) 小山 喜(小諸商) ○湯本 宣政(長野西) 白井 康人(塚原) 立石 徹(二葉)	◎中村 博二(長野) 寺島 善藏(蓼科) ○和田 圭喜(須東) 大沢 寛(松商) 上島 大(辰野)	◎桜井 一郎(野沢南) 丸山 孝完(蓼科) ○山田 正俊(長工) 竹内 護(塚原) 城田 忠承(阿南)	◎新津 真澄(北佐農) 柳沢 民弥(小諸商) ○中沢 正己(屋代) 春原 紘一(美須々)
47	◎中村 博二(長野) ○山浦 保(長吉田) 高山 重之(小諸) 小林 繁人(穂高) 福島 康人(飯田)	◎西沢 久宣(篠ノ井) 宮本 守(更農) 浅沼 富夫(軽井沢) 茅野 禎男(蟻ヶ崎) 長谷川孟三(東海三)	◎柳沢 恒夫(上田) 小林 禎雄(長商) 坂口 浩(上田) ○丸山まき美(蟻ヶ崎) 平沢 浩(弥生丘)	◎小原 元享(深志) 渡辺 伊八(長吉田) 小山 喜(上田東) ○庵谷 正近(美須々) 立石 徹(二葉)	◎中村 博二(長野) 寺島 善藏(蓼科) ○和田 圭喜(須東) 大沢 寛(松商) 木下 昭郎(赤穂)	◎桜井 一郎(野沢南) 丸山 孝完(蓼科) ○山田 正俊(長工) 竹内 護(塚原) 城田 忠承(阿南)	◎北原佐久生(北農) ○中沢 正己(屋代) 柳沢 民弥(小諸商) 春原 紘一(美須々)
48	◎中村 博二(長野) ○山浦 保(長吉田) 高山 重之(小諸) 小林 繁人(穂高) 福島 康人(飯田)	◎西沢 久宣(篠ノ井) 宮本 守(更農) 浅沼 富夫(軽井沢) 茅野 禎男(蟻ヶ崎) 長谷川孟三(東海三)	◎柳沢 恒夫(上田) 小林 禎雄(長商) 坂口 浩(上田) ○丸山まき美(蟻ヶ崎) 平沢 浩(弥生丘)	◎小原 元享(深志) 渡辺 伊八(長吉田) 小山 喜(上田東) ○庵谷 正近(美須々) 立石 徹(二葉)	◎中村 博二(長野) 寺島 善藏(蓼科) ○和田 圭喜(須東) 大沢 寛(松商) 木下 昭郎(赤穂)	◎桜井 一郎(野沢南) 丸山 孝完(蓼科) ○山田 正俊(長工) 竹内 護(塚原) 城田 忠承(阿南)	◎北原佐久生(北農) ○中沢 正己(屋代) 柳沢 民弥(小諸商) 春原 紘一(美須々)
49	◎佐藤 穂次(長野西) ○山浦 保(長吉田) 鮎沢 亨(千曲) 小林 繁人(穂高) 福島 康人(飯田)	◎出沢満紀人(蟻ヶ崎) 宮本 守(屋代南) 浅井 英登(小諸) ○茅野 禎男(蟻ヶ崎) 長谷川孟三(東海三)	◎柳沢 恒夫(上田) 小林 禎雄(長商) 坂口 浩(上田) ○丸山まき美(蟻ヶ崎) 平沢 浩(弥生丘)	◎小原 元享(深志) 渡辺 伊八(長吉田) 小山 喜(上田東) ○庵谷 正近(美須々) 立石 徹(二葉)	◎丸山 保彦(長吉田) ○和田 圭喜(須坂東) 美斉津昌夫(野沢南) 大沢 寛(松商) 吉池 保男(飯田)	◎矢島 五郎(野沢南) ○山田 正俊(長工) 丸山 孝完(千曲) 伊藤 昭治(県ヶ丘) 小林 要(風越)	◎北原佐久生(北農) ○中沢 正己(屋代) 高橋 重雄(城南) 春原 紘一(美須々)
50	◎佐藤 穂次(長野西) ○山浦 保(長吉田) 鮎沢 亨(千曲) 小林 繁人(穂高) 福島 康人(飯田)	◎出沢満紀人(蟻ヶ崎) 宮本 守(屋代南) 浅井 英登(小諸) ○茅野 禎男(蟻ヶ崎) 長谷川孟三(東海三)	◎柳沢 恒夫(上田) 小林 禎雄(長商) 坂口 浩(上田) ○丸山まき美(蟻ヶ崎) 平沢 浩(弥生丘)	◎加藤 裕(伊那北) 渡辺 伊八(長吉田) 小山 喜(上田東) ○庵谷 正近(美須々) 立石 徹(二葉)	◎丸山 保彦(長吉田) ○和田 圭喜(須坂東) 美斉津昌夫(須坂東) 秋山 勝(大町) 吉池 保男(飯田)	◎矢島 五郎(蘇南) ○山田 正俊(長工) 丸山 孝完(千曲) 伊藤 昭治(県ヶ丘) 小林 要(風越)	◎北原佐久生(北農) ○中沢 正己(屋代) 高橋 重雄(城南) 春原 紘一(美須々)
51	◎佐藤 穂次(長野西) ○山浦 保(長吉田) 依田 良春(長野南) 小林 繁人(穂高) 福島 康人(飯田)	◎村上 満夫(蟻ヶ崎) 宮本 守(屋代南) 浅井 英登(小諸) ○茅野 禎男(蟻ヶ崎) 長谷川孟三(東海三)	◎柳沢 恒夫(上田) 小林 禎雄(長商) 坂口 浩(上田) ○丸山まき美(蟻ヶ崎) 平沢 浩(弥生丘)	◎加藤 裕(伊那北) 渡辺 伊八(長吉田) 小山 喜(上田東) ○庵谷 正近(美須々) 立石 徹(二葉)	◎丸山 保彦(長吉田) ○和田 圭喜(須坂東) 美斉津昌夫(須坂東) 秋山 勝(大町) 吉池 保男(飯田)	◎矢島 五郎(蘇南) ○山田 正俊(長工) 丸山 孝完(千曲) 伊藤 昭治(県ヶ丘) 岡村 新一(高遠)	◎北原佐久生(北農) ○中沢 正己(屋代) 高橋 重雄(城南) 春原 紘一(美須々)
52	◎佐藤 穂次(長野西) ○依田 良春(長野東) 鮎沢 亨(千曲) 小林 繁人(穂高) 福島 康人(飯田)	◎村上 満夫(蟻ヶ崎) 宮本 守(屋代南) 井出 知旭(野沢南) ○茅野 禎男(蟻ヶ崎) 長谷川孟三(東海三)	◎花岡 久(長商) ○小林 貞男(長商) 坂口 浩(上田) 大池 義高(県ヶ丘) 伊藤 修(下伊農)	◎宮崎 藤作(須坂) 三井 善(長野西) 小山 喜(上田東) ○庵谷 正近(美須々) 立石 徹(二葉)	◎丸山 保彦(長吉田) ○和田 圭喜(須坂東) 美斉津昌夫(須坂東) 秋山 勝(大町) 吉池 保男(飯田)	◎浅田 勝夫(弥生丘) ○山田 正俊(長工) 丸山 孝完(千曲) 伊藤 昭治(県ヶ丘) 岡村 新一(高遠)	◎新津 真澄(上田) ○中沢 正己(屋代) 高橋 重雄(城南) 春原 紘一(美須々)
53	◎栗田 寛(長野西) ○依田 良春(長野東) 原 直巳(野沢北) 小林 繁人(穂高) 小林 要(風越)	◎村上 満夫(蟻ヶ崎) 宮本 守(屋代南) 井出 知旭(野沢南) ○茅野 禎男(蟻ヶ崎) 赤羽 喜郎(伊那北)	◎花岡 久(長商) ○小林 貞男(長商) 坂口 浩(上田) 大池 義高(県ヶ丘) 伊藤 修(下伊農)	◎佐藤 穂次(屋代) 三井 善(長野西) 小山 喜(上田東) ○庵谷 正近(美須々) 立石 徹(二葉)	◎関谷 一郎(飯山北) ○和田 圭喜(須坂東) 美斉津昌夫(野沢南) 高沢 和夫(松商) 吉池 保男(飯田)	◎浅田 勝夫(弥生丘) ○山田 正俊(長工) 丸山 孝完(千曲) 伊藤 昭治(県ヶ丘) 岡村 新一(高遠)	◎新津 真澄(上田) ○中沢 正己(屋代) 高橋 重雄(城南) 春原 紘一(美須々)

表1-4

種 年 目 度	陸上競技	バスケットボール	軟式庭球	バレーボール	卓球	ソフトボール	ハンドボール
54	◎藤森 小真(県ヶ丘) ○依田 良春(長野東) 原 直己(野沢北) 小林 繁人(穂高) 小林 要(風越)	◎内川 武治(蟻ヶ崎) 宮本 守(屋代南) 井出 知旭(野沢南) ○平林 章(白馬) 赤羽 喜郎(伊那北)	◎花岡 久(長商) ○小林 貞男(長商) 坂口 浩(上田) 大池 義高(県ヶ丘) 伊藤 修(下伊農)	◎佐藤 穂次(屋代) 三井 普(長野西) 金井 浩章(佐久) ○庵谷 正近(美須々) 立石 徹(二葉)	◎関谷 一郎(飯山北) ○和田 圭喜(須坂東) 美斉津昌夫(野沢南) 高沢 和夫(松商) 吉池 保男(飯田)	◎浅田 勝夫(弥生丘) ○山田 正俊(長工) 丸山 孝完(千曲) 横川 善信(木曾東) 中津 頼照(風越)	◎新津 真澄(上田) ○中沢 正己(屋代) 高橋 重雄(城南) 春原 紘一(美須々)
55	◎藤森 小真(県ヶ丘) ○依田 良春(長野東) 原 直己(野沢北) 小林 繁人(穂高) 両角 千明(二葉)	◎内川 武治(蟻ヶ崎) ○内田 靖男(須坂東) 五味 秀彦(美須々) 酒井 分長(上田東) 小島 功(弥生丘)	◎原 憲夫(長商) ○小林 貞男(長商) 林 正雄(城南) 玉井 勇(蟻ヶ崎) 伊藤 脩(下伊農)	◎原 敏(須坂東) 三井 普(長野西) 金井 浩章(佐久) ○庵谷 正近(美須々) 立石 徹(二葉)	◎浅田 勝夫(弥生丘) ○湯本 誠(長野西) 戸田 忠雄(上田) 西村 義夫(松工) 吉池 保男(阿南)	◎浅田 勝夫(弥生丘) ○山田 正俊(長工) 丸山 孝完(千曲) 横川 善信(木曾東) 中津 頼照(風越)	◎新津 真澄(上田) ○青木 崇(屋代) 岩下 道範(小諸) 高橋 重雄(城南) 春原 紘一(美須々)
56	◎藤森 小真(県ヶ丘) ○依田 良春(長野東) 原 直己(野沢北) 小林 喜夫(塩尻) 両角 千明(二葉)	◎矢嶋 俊夫(美須々) ○内田 靖男(須坂東) 酒井 分長(上田東) 五味 秀彦(美須々) 小島 功(弥生丘)	◎原 憲夫(長商) ○小林 貞男(長商) 林 正雄(城南) 玉井 勇(蟻ヶ崎) 竹松 杉人(赤穂)	◎原 敏(須坂東) 三井 普(長野西) 金井 浩章(佐久) ○庵谷 正近(美須々) 立石 徹(岡谷南)	◎浅田 勝夫(弥生丘) ○湯本 誠(長野西) 戸田 忠雄(上田) 西村 義夫(松工) 吉池 保男(阿南)	◎田中 啓介(豊科) ○山田 正俊(長工) 丸山 孝完(千曲) 横川 善治(木曾東) 中津 頼照(風越)	◎新津 真澄(上田) ○青木 崇(屋代) 岩下 道範(小諸) 高橋 重雄(城南) 高橋 政則(岡南)
57	◎市村 順太(県ヶ丘) 依田 良春(長野東) 細田 紀一(上田) 荻原 幹雄(木曾) 両角 千明(二葉)	◎小林 弘一(弥生丘) ○内田 靖男(須坂東) 土屋 正敏(蓼科) 五味 秀彦(美須々) 小島 功(弥生丘)	◎原 憲夫(長商) ○小林 貞男(長商) 林 正雄(城南) 玉井 勇(蟻ヶ崎) 竹松 杉人(高遠)	◎原 敏(須坂東) 三井 普(長野西) 金井 浩章(佐久) ○庵谷 正近(美須々) 立石 徹(岡谷南)	◎北沢 輝夫(須坂商) ○湯本 誠(長野西) 戸田 忠雄(上田) 西村 義夫(松工) 吉池 保男(阿南)	◎田中 啓介(豊科) ○山田 正俊(長工) 丸山 孝完(千曲) 横川 善治(木曾東) 中津 頼照(風越)	◎斎藤 嘉郎(上田) ○青木 崇(屋代) 内藤 忠(佐久) 高橋 重雄(城南) 矢島富士雄(飯田工)
58	◎平松 剛(長吉田) ○依田 良春(長野東) 細田 紀一(上田) 藤森 茂幸(田川) 両角 千明(二葉)	◎小林 弘一(弥生丘) ○内田 靖男(須坂東) 土屋 正敏(蓼科) 五味 秀彦(美須々) 小島 功(弥生丘)	◎高橋 博彦(須坂) ○小林喜運治(須坂) 林 正雄(城南) 玉井 勇(蟻ヶ崎) 竹松 杉人(高遠)	◎原 敏(茅野) 三井 普(長野西) 金井 浩章(佐久) 内川 泰男(県ヶ丘) 立石 徹(岡谷南)	◎北沢 輝夫(須坂商) ○湯本 誠(長野西) 小金 敏展(上田東) 西村 義夫(松工) 福沢 定市(飯田工)	◎田中 啓介(小海) ○山田 正俊(長工) 丸山 孝完(千曲) 横川 善治(木曾) 丸山敏一郎(弥生丘)	◎斎藤 嘉郎(上田) ○青木 崇(屋代) 内藤 忠(佐久) 高橋 重雄(城南) 矢島富士雄(飯田工)
59	◎平松 剛(長吉田) ○依田 良春(長野東) 細田 紀一(上田) 松田 達司(池田工) 小出 勉(箕輪工)	◎酒井 清(蟻ヶ崎) 内田 靖男(須坂東) 児玉 房雄(野沢南) ○茅野 禎男(蟻ヶ崎) 赤羽 喜郎(諏訪実)	◎西村 忠彦(須坂) ○小林喜運治(須坂) 林 正雄(城南) 玉井 勇(蟻ヶ崎) 竹松 杉人(高遠)	◎原 敏(茅野) 三井 普(長野西) 金井 浩章(佐久) 内川 泰男(県ヶ丘) 立石 徹(岡谷南)	◎北沢 輝夫(須坂商) ○湯本 誠(長野西) 小金 敏展(上田東) 西村 義夫(松工) 福沢 定市(飯田工)	◎田中 啓介(小海) ○山田 正俊(長工) 丸山 孝完(千曲) 小林 秀人(大町北) 丸山敏一郎(弥生丘)	◎田中 三郎(屋代) ○青木 崇(屋代) 内藤 忠(佐久) 高橋 重雄(城南) 矢島富士雄(飯田工)
60	◎平松 剛(長吉田) ○依田 良春(長野東) 細田 紀一(上田) 松田 達司(池田工) 保科 武夫(箕輪工)	◎酒井 清(蟻ヶ崎) 内田 靖男(須坂東) 児玉 房雄(野沢南) ○茅野 禎男(蟻ヶ崎) 赤羽 喜郎(諏訪実)	◎西村 忠彦(須坂) ○小林喜運治(須坂) 林 正雄(城南) 玉井 勇(蟻ヶ崎) 竹松 杉人(高遠)	◎岡田 善和(岡谷南) 三井 普(長野西) 金井 浩章(佐久) 内川 泰男(県ヶ丘) 立石 徹(岡谷南)	◎北沢 輝夫(須坂商) ○湯本 誠(長野西) 小金 敏展(上田東) 西村 義夫(松工) 福沢 定市(飯田工)	◎金子万次郎(阜月) ○山田 正俊(長工) 丸山 孝完(千曲) 小林 秀人(大町北) 中津 頼照(風越)	◎田中 三郎(屋代) ○青木 崇(屋代) 内藤 忠(佐久) 高橋 重雄(城南) 矢島富士雄(飯田工)
61	◎金子万次郎(上田) ○依田 良春(長野東) 細田 紀一(上田) 藤森 茂幸(田川) 保科 武夫(箕輪工)	◎酒井 清(蟻ヶ崎) 石坂喜久雄(須坂) 児玉 房雄(野沢南) ○山崎 正治(田川) 庄司 勉(阿智)	◎百瀬 安人(須坂) ○小林喜運治(須坂) 林 正雄(城南) 玉井 勇(蟻ヶ崎) 竹松 杉人(高遠)	◎岡田 善和(岡谷南) 三井 普(長野西) 金井 浩章(佐久) 内川 泰男(松本県ヶ丘) 立石 徹(岡谷南)	◎小平 学(須坂商) ○湯本 誠(長野西) 堀内 文武(野沢北) 西村 義夫(松工) 福沢 定市(飯田工)	◎小松 敬弘(阜月) 山際 莊一(長野女子) ○丸山 孝完(小諸) 小林 秀人(大町北) 西村 一夫(弥生丘)	◎田中 三郎(屋代) ○青木 崇(屋代) 内藤 忠(佐久) 高橋 重雄(城南) 矢島富士雄(諏訪清陵)
62	金子万次郎(上田) 依田 良春(長野東) ○細田 紀一(上田) 大川 賢明(松本蟻ヶ崎) 保科 武夫(赤穂)	◎小林 仁(諏訪二葉) 石坂喜久雄(須坂) 児玉 房雄(野沢南) ○山崎 正治(田川) 庄司 勉(阿智)	◎百瀬 安人(須坂) ○小林喜運治(須坂) 両角 正彦(小諸商) 玉井 勇(松本蟻ヶ崎) 竹松 杉人(高遠)	◎岡田 善和(岡谷南) 田中 修(阜月) 金井 浩章(佐久) 内川 泰男(松本県ヶ丘) 立石 徹(岡谷南)	◎小平 学(須坂商業) ○湯本 誠(須坂商業) 堀内 文武(野沢北) 西村 義夫(松本工業) 倉田亜来夫(岡谷工業)	◎小松 敬弘(阜月) 山際 莊一(長野女子) ○丸山 孝完(小諸) 小林 秀人(大町北) 西村 一夫(弥生丘)	◎田中 三郎(屋代) ○青木 崇(屋代) 内藤 忠(佐久) 春原 紘一(塩尻) 矢島富士雄(諏訪清陵)
63	◎山城 昭(上田) 西片 功(長野西) ○細田 紀一(上田) 大川 賢明(松本蟻ヶ崎) 保科 武夫(赤穂)	◎小林 仁(諏訪二葉) 横川 正秀(屋代) 児玉 房雄(野沢南) ○山崎 正治(田川) 庄司 勉(阿智)	◎清水 雅夫(長野南) ○小林喜運治(須坂) 両角 正彦(小諸商業) 玉井 勇(松本蟻ヶ崎) 竹松 杉人(高遠)	◎坂本 保(東部) 田中 修(阜月) 金井 浩章(佐久) 佐藤 鍊二(松本工業) ○浦野 智(飯田)	◎伊藤 悟(須坂商業) ○湯本 誠(須坂商) 堀内 文武(野沢北) 中野 和茂(松商学園) 倉田亜来夫(岡谷工業)	◎小松 敬弘(阜月) 山際 莊一(長野女子) ○丸山 孝完(小諸) 小林 秀人(大町北) 西村 一夫(弥生丘)	◎小林 幹男(屋代) ○竹内 佳明(北部) 内藤 忠(佐久) 小口 政則(塩尻) 矢島富士雄(諏訪清陵)

表1—5

種 年 度	陸上競技	バスケットボール	軟式庭球	バレーボール	卓球	ソフトボール	ハンドボール
平成元	◎山城 昭(上田) 西片 功(長野西) ◎細田 紀一(上田) 大川 賢明(松本工業) 保科 武夫(赤穂)	◎小林 仁(諏訪二業) 横川 正秀(屋代) 児玉 房雄(野沢南) ◎山崎 正治(田川) 庄司 勉(阿智)	◎酒井 秋雄(小諸商業) 関野 敏幸(長野南) ◎両角 正彦(小諸商業) 玉井 勇(鎌ヶ崎) 市東 和美(阿智)	◎坂本 保(東部) 田中 修(卓月) 金井 浩章(佐久) 佐藤 鍊二(松本工業) ◎浦野 智(飯田)	◎伊藤 悟(須坂商業) ◎湯本 誠(須坂商) 堀内 文武(野沢北) 中野 和茂(松商学園) 倉田亜来夫(岡谷工業)	◎小松 尊弘(卓月) 山際 莊一(長野女子) ◎丸山 孝完(小諸) 横川 善信(田川) 西村 一夫(弥生丘)	◎戸田 正明(屋代) 佐藤 純也(坂城) ◎竹内 佳明(上田) 小口 政則(塩尻) 矢島富士雄(諏訪清陵)
2	◎依田 恒雄(上田) 西片 功(長野西) ◎細田 紀一(上田) 保科 武夫(赤穂) 藤森 茂幸(松本深志)	◎小林 仁(諏訪二業) ◎横川 正秀(屋代) 関口 広之(北佐久農) 飯島 真一(赤穂) 五味 秀彦(松本工業)	◎降旗 宗雄(丸子実業) 関野 敏幸(長野南) ◎両角 正彦(小諸商業) 市東 和美(阿智) 玉井 勇(鎌ヶ崎)	◎坂本 保(東部) 高野 邦紀(中条) 腰原 正明(上田東) ◎浦野 智(飯田) 佐藤 鍊二(松本工業)	◎伊藤 悟(須坂商業) ◎湯本 誠(須坂商業) 堀内 文武(野沢北) 倉田亜来夫(岡谷工業) 中野 和茂(松商学園)	◎宮沢 孝(卓月) 山際 莊一(長野女子) ◎丸山 孝完(小諸) 西村 一夫(弥生丘) 多田 尚令(豊科)	◎戸田 正明(屋代) 佐藤 純也(坂城) ◎竹内 佳明(上田) 矢島富士雄(諏訪清陵) 小口 政則(塩尻)
3	竹内 長生(諏訪二業) 西片 功(長野西) ◎細田 紀一(小諸) 保科 武夫(赤穂) 藤森 茂幸(松本深志)	◎中島 道遙(松本工業) 福沢 貴(長野吉田) 関口 広之(北佐久農) 飯島 真一(弥生丘) ◎五味 秀彦(松本工業)	◎降旗 宗雄(丸子実業) 関野 敏幸(須坂東) ◎両角 正彦(丸子実業) 市東 和美(阿智) 大谷 久子(豊科)	◎坂本 保(東部) 高野 邦紀(中条) 腰原 正明(上田東) ◎浦野 智(飯田) 佐藤 鍊二(松本工業)	◎原 淳(須坂商業) ◎湯本 誠(須坂商業) 堀内 文武(上田) 倉田亜来夫(岡谷工業) 中野 和茂(松商学園)	◎宮沢 孝(卓月) 山際 莊一(長野女子) ◎丸山 孝完(小諸) 西村 一夫(弥生丘) 多田 尚令(豊科)	◎小林 武(屋代) 佐藤 純也(坂城) ◎竹内 佳明(上田) 矢島富士雄(諏訪清陵) 小口 政則(塩尻)
4	◎下平 威彦(赤穂) 西片 功(長野西) 細田 完二(野沢南) ◎保科 武夫(赤穂) 藤森 茂幸(松本深志)	◎中島 道遙(松本工業) 福沢 貴(長野吉田) 横山 賢治(丸子実業) 飯島 真一(弥生丘) ◎五味 秀彦(松本工業)	◎塩沢 久夫(丸子実業) 関野 敏幸(須坂東) ◎両角 正彦(丸子実業) 市東 和美(阿智) 長田 哲文(木曾)	◎坂本 保(中野) 高野 邦紀(中条) 腰原 正明(上田東) ◎浦野 智(飯田) 佐藤 鍊二(松本工業)	◎原 淳(須坂商業) ◎湯本 誠(須坂商業) 高野 松生(岩村田) 片塩 安雄(岡谷東) 中野 和茂(松商学園)	◎宮沢 孝(東部) 宮崎 匡躬(中野西) ◎丸山 孝完(小諸) 西村 一夫(弥生丘) 多田 尚令(豊科)	小林 武(屋代) 佐藤 純也(坂城) ◎竹内 佳明(上田) 大平 忠一(阿南) 小口 政則(塩尻)
5	◎下平 威彦(赤穂) 西片 功(長野西) 細田 完二(野沢南) ◎保科 武夫(赤穂) 藤森 茂幸(松本深志)	◎中島 道遙(松本工業) 福沢 貴(長野吉田) 横山 賢治(丸子実業) 飯島 真一(弥生丘) ◎五味 秀彦(松本工業)	◎塩沢 久夫(丸子実業) 関野 敏幸(須坂東) ◎両角 正彦(丸子実業) 市東 和美(阿智) 鋤柄 一夫(松本工業)	◎坂本 保(中野) 土屋 武(長野吉田) 腰原 正明(上田東) ◎浦野 智(飯田) 佐藤 鍊二(松本工業)	◎倉田敬一郎(中野西) ◎山崎 次良(中野西) 高野 松生(岩村田) 片塩 安雄(岡谷東) 中野 和茂(松商学園)	◎宮沢 孝(東部) 山際 莊一(長野女子) ◎丸山 孝完(小諸) 西村 一夫(弥生丘) 多田 尚令(豊科)	◎柳沢 徳明(屋代) 佐藤 純也(坂城) ◎竹内 佳明(上田) 大平 忠一(阿南) 小口 政則(塩尻)
6	◎下平 威彦(赤穂) 藤本 勝彦(須坂) 細田 完二(野沢南) ◎保科 武夫(赤穂) 藤森 茂幸(松本深志)	◎中島 道遙(松本工業) 広田 信一(卓月) 横山 賢治(丸子実業) 松崎 晃(箕輪工業) ◎野竹 俊克(松本工業)	◎塩沢 久夫(丸子実業) 関野 敏幸(須坂東) ◎両角 正彦(丸子実業) 市東 和美(阿智) 鋤柄 一夫(松本工業)	◎三井 晋(北部) 土屋 武(長野吉田) 腰原 正明(軽井沢) ◎浦野 智(飯田) 佐藤 鍊二(豊科)	◎倉田敬一郎(中野西) ◎山崎 次良(中野西) 高野 松生(岩村田) 片塩 安雄(岡谷東) 中野 和茂(松商学園)	◎宮沢 孝(東部) 山際 莊一(長野女子) 尾沢 学(上田) 村田 敏郎(飯田風越) 多田 尚令(豊科)	◎柳沢 徳明(屋代) 佐藤 純也(坂城) ◎竹内 佳明(上田) 大平 忠一(阿南) 小口 政則(塩尻)
7	◎中村 碧根(松本深志) 藤本 勝彦(須坂) 細田 完二(野沢南) 松澤 公治(岡谷南) ◎藤森 茂幸(松本深志)	◎中島 道遙(松本工業) 広田 信一(卓月) 横山 賢治(丸子実業) 市岡 洋一(上伊那農) ◎野竹 俊克(松本工業)	◎武藤 行雄(丸子実業) 関野 敏幸(須坂東) ◎両角 正彦(丸子実業) 市東 和美(飯田風越) 鋤柄 一夫(松本工業)	◎三井 晋(北部) 土屋 武(長野吉田) 腰原 正明(軽井沢) ◎浦野 智(飯田) 佐藤 鍊二(豊科)	◎戸田 忠雄(長野吉田) ◎山崎 次良(中野西) 高野 松生(岩村田) 片塩 安雄(岡谷東) 中野 和茂(松商学園)	◎柏木 喜弘(飯田風越) 山本 寛(飯山北) 尾沢 学(上田) ◎村田 敏郎(飯田風越) 多田 尚令(豊科)	◎柳沢 徳明(屋代) 大平 忠一(坂城) ◎竹内 佳明(上田) 齊藤 仁(諏訪清陵) 小口 政則(塩尻)
8	◎平林 尚武(松本深志) 藤本 勝彦(須坂) 細田 完二(野沢南) 松澤 公治(岡谷南) ◎藤森 茂幸(松本深志)	◎中島 道遙(松本工業) 広田 信一(長野吉田) 横山 賢治(丸子実業) 市岡 洋一(上伊那農) ◎野竹 俊克(松本工業)	◎武藤 行雄(丸子実業) 関野 敏幸(須坂) ◎両角 正彦(丸子実業) 市東 和美(飯田風越) 鋤柄 一夫(松本工業)	◎三井 晋(篠ノ井) 土屋 武(長野吉田) 腰原 正明(軽井沢) ◎浦野 智(飯田) 佐藤 鍊二(豊科)	◎戸田 忠雄(長野吉田) ◎山崎 次良(中野西) 高野 松生(岩村田) 片塩 安雄(岡谷東) 中野 和茂(松商学園)	◎島田 庸夫(弥生丘) 山本 寛(飯山北) 尾沢 学(上田) 寺本 俊也(伊那西) ◎横川 善信(田川)	◎黒矢 勇夫(坂城) 大平 忠一(坂城) ◎竹内 佳明(上田) 齊藤 仁(諏訪清陵) 小口 政則(塩尻)
9	平林 尚武(松本深志) 藤本 勝彦(須坂) 細田 完二(野沢南) 松澤 公治(高遠) ◎藤森 茂幸(松本深志)	◎北島 勲夫(松本工業) 広田 信一(長野吉田) 横山 賢治(丸子実業) 市岡 洋一(上伊那農) ◎野竹 俊克(松本工業)	◎武藤 行雄(丸子実業) 関野 敏幸(須坂東) ◎両角 正彦(丸子実業) 市東 和美(飯田風越) 鋤柄 一夫(松本工業)	◎三井 晋(篠ノ井) 土屋 武(長野吉田) 腰原 正明(軽井沢) ◎浦野 智(飯田) 佐藤 鍊二(豊科)	◎白田 迪夫(中野西) ◎山崎 次良(中野西) 高野 松生(岩村田) 片塩 安雄(岡谷東) 中野 和茂(松商学園)	◎丸山 敏一郎(辰野) 山本 寛(飯山北) 尾沢 学(上田) 寺本 俊也(伊那西) ◎横川 善信(田川)	◎墨矢 勇夫(坂城) 大平 忠一(坂城) ◎竹内 佳明(上田) 佐藤 純也(富士見) 伴野 健一(梓川)

表2-1

種 年 目 度	サ ッ カ ー	体 操 (男)	体 操 (女)	バ ド ミ ン ト ン	柔 道	剣 道	ラ グ ビ ー フ ット ボ ー ル
24		為田 勝美(大町北)	藤沢 美恵(蠟ヶ崎)				
25	長沢 三夫(須西) 須藤 忠直(県ヶ丘)	山口 益治(深志)					
26	○長沢 三夫(須西) 掛川理三郎(松尾) 須藤 忠直(県ヶ丘) 村松 次郎(高松)	○広田 金平(長工) 寺島 善藏(染谷丘) 山口 益治(蠟ヶ崎) 松島 秀晴(岡東)	宮本 栄子(長野西) ○横内 貞(染谷丘) 丸山まき美(蠟ヶ崎) 村上はるみ(岡東)		○北沢 生吉(長野北) 生島 三男(松尾) 林 隆男(県ヶ丘) 赤沼 文雄(高遠)		
27	○長沢 三夫(須西) 掛川理三郎(松尾) 須藤 忠直(県ヶ丘) 村松 次郎(高松)	○広田 金平(長工) 荒井 靖進(岩村田) 山口 益治(深志) 松島 秀晴(高松)	宮本 栄子(長野西) ○横内 貞(染谷丘) 藤沢 美恵(深志) 村上はるみ(岡東)		○北沢 生吉(長野北) 生島 三男(松尾) 林 隆男(県ヶ丘) 赤沼 文雄(高遠)		
28	須藤 忠直(県ヶ丘)	○広田 金平(長工) 荒井 靖雄(岩村田) 大沢 寛(松商) 松島 秀晴(高松)	宮本 栄子(長野西) ○横内 貞(染谷丘) 藤沢 美恵(深志) 村上はるみ(岡東)		篠原 義隆(南実) 林 隆男(県ヶ丘)	○千葉 九吾(飯山北) 降旗 義而(県ヶ丘) 原田 米俊(長姫)	
29	須藤 忠直(県ヶ丘)	◎西村 文雄(長工) 掛川理三郎(松尾) ○広田 金平(長工) 北村 純(深志) 為田 勝美(二葉)	◎西村 文雄(長工) 横内 貞(染谷丘) ○宮本 栄子(長野西) 藤沢 美恵(深志) 守谷とみ江(弥生丘)		◎宮下 清計(高遠) ○篠原 義隆(南実) 北沢 生吉(長野北) 林 隆男(県ヶ丘) 赤沼 文雄(高遠)	寺島 善藏(蓼科) ○千葉 九吾(飯山北) 降旗 義而(県ヶ丘) 原田 米俊(長姫)	
30		◎西村 文雄(長工) 掛川理三郎(松尾) ○広田 金平(長工) 北村 純(深志) 為田 勝美(二葉)	◎西村 文雄(長工) 横内 貞(染谷丘) ○宮本 栄子(長野西) 藤沢 美恵(深志) 守谷とみ江(弥生丘)		◎宮下 清計(高遠) ○篠原 義隆(南実) 北沢 生吉(長野北) 林 隆男(県ヶ丘) 赤沼 文雄(高遠)	大石 治(蓼科) ○千葉 九吾(飯山北) 降旗 義而(県ヶ丘) 原田 米俊(長姫)	
31	長沢 三夫(大町南) 矢島 子郎(清陵)	◎西村 文雄(長工) 掛川理三郎(松尾) ○広田 金平(長工) 山口 益治(深志) 為田 勝美(二葉)	◎西村 文雄(長工) ○宮本 栄子(飯山南) 高山 慶子(蠟ヶ崎) 藤沢 美恵(深志) 守谷とみ江(弥生丘)		◎宮下 清計(高遠) ○篠原 義隆(南実) 北沢 生吉(長野北) 小林 英雄(美須々) 赤沼 文雄(高遠)	大石 治(小泉蚕) ○千葉 九吾(飯山北) 降旗 義而(深志) 山名 軍司(伊那北)	
32		◎片瀬佐伊治(二葉) 掛川理三郎(松尾) ○広田 金平(長工) 土屋 () 為田 勝美(二葉)	◎片瀬佐伊治(二葉) 酒井 園子(丸子実) ○宮本 栄子(飯山南) 藤沢 美恵(深志) 守谷とみ江(弥生丘)		◎宮下 清計(木曾西) 篠原 義隆(南実) 青木 国作(須坂商) ○三村 成美(県ヶ丘) 赤沼 文雄(高遠)	◎吉池 治作(永作) 大石 治(小泉蚕) ○千葉 九吾(飯山北) 降旗 義而(深志) 山名 軍司(伊那北)	
33		◎片瀬佐伊治(須坂) 倉島 安隆(上田) ○広田 金平(長工) 掛川理三郎(蠟ヶ崎) 松島 秀晴(弥生丘)	◎片瀬佐伊治(須坂) 酒井 園子(丸子実業) ○宮本 栄子(飯山南) 高山 慶子(蠟ヶ崎) 守谷とみ江(弥生丘)		◎宮下 清計(木曾西) 篠原 義隆(南実) ○青木 国作(須坂商) 三村 成美(県ヶ丘) 赤沼 文雄(高遠)	◎二ノ宮政治(下高農) ○千葉 九吾(飯山北) 降旗 義而(深志) 原田 米俊(長姫)	

表2—2

種 年 度	サ ッ カ ー	体 操 (男)	体 操 (女)	バ ド ミ ン ト ン	柔 道	剣 道	ラ グ ビ ー フ ツ ト ー ル
34	◎平林 圭介(飯田) 篠田平八郎(千曲) 飯島辰三郎(須坂西) 近藤 忠直(穂高) 片桐 武夫(飯田)	◎片瀬佐伊治(須東) 倉島 安隆(上田) ○広田 金平(長工) 掛川理三郎(蟻ヶ崎) 松島 秀晴(飯田)	◎片瀬佐伊治(須東) 酒井 園子(丸子実業) ○宮本 栄子(飯山南) 高山 慶子(蟻ヶ崎) 守屋とみ江(弥生丘)		◎今井 夏夫(高遠) 篠原 義隆(南実) 北沢 生吉(県ヶ丘) 赤沼 文雄(高遠)	◎吉沢 治作(茅野) 大石 治(小泉蚕) ○千葉 九吾(飯山北) 降旗 義而(深志) 原田 米俊(長姫)	
35	◎平林 圭介(飯田) 齊藤 嘉郎(上田) 飯島辰三郎(須西) ○青柳 岡(深志) 片桐 武夫(阿智)	◎片瀬佐伊治(須東) 倉島 安隆(上田) ○広田 金平(長工) 吉沢 文雄(美須々) 松島 秀晴(飯田)	◎片瀬佐伊治(須東) 酒井 園子(丸子実) 香山田鶴子(長市立) ○藤沢 美恵(深志) 守屋とみ江(弥生丘)		◎今井 夏夫(高遠) 篠原 義隆(南実) 北沢 生吉(長野) ○小林 英雄(美須々) 矢島今朝英(茅野)	◎小出 武(須商) 大石 治(小泉蚕) ○千葉 九吾(飯山北) 降旗 義而(深志) 原田 米俊(長姫)	
36	◎平林 圭介(飯田) 齊藤 嘉郎(上田) 飯島辰三郎(須西) ○青柳 岡(深志) 片桐 武夫(阿智)	◎片瀬佐伊治(須東) 倉島 安隆(上田) ○広田 金平(長工) 吉沢 文雄(美須々) 松島 秀晴(飯田)	◎片瀬佐伊治(大町北) 塚田 圭子(染谷丘) 香山田鶴子(長市立) ○藤沢 美恵(深志) 守屋とみ江(弥生丘)	◎中村 優造(長市立) 友野 稔(野沢南) ○和田 圭喜(長野西) 青柳 岡(深志) 金子今朝英(富士見)	◎今井 夏夫(穂高) 篠原 茂(白田) 北沢 生吉(長野) ○小林 英雄(美須々) 矢島今朝英(茅野)	◎小出 武(美須々) 大石 治(小泉蚕) ○千葉 九吾(飯山北) 高野 朝彦(松商) 原田 米俊(長姫)	◎伊藤 昌治(下伊農) 宮城 文治(県ヶ丘) ○堀尾 克己(下伊農)
37	◎平林 圭介(深志) 上野 隆雄(上田) 百瀬 文雄(埴生) 青柳 岡(深志) 片桐 武夫(飯田)	◎土田 安(長工) 倉島 安隆(上田) 広田 金平(長工) 吉沢 文雄(蟻ヶ崎) 山岸 重夫(茅野)	◎土田 安(長工) 原田 岸子(小諸) 小山 生(屋代南) ○藤沢 美恵(深志) 守屋とみ江(弥生丘)	◎中村 優造(長市立) 友野 稔(野沢南) ○和田 圭喜(長野南) 平林 功(蟻ヶ崎) 金子 忍(富士見)	◎小林 俊直(野沢北) 篠原 茂(白田) 北沢 生吉(長野) 小林 英雄(美須々) 赤沼 文雄(高遠)	◎二ノ宮政治(下高農) 大石 治(上田東) ○千葉 九吾(飯山北) 高野 朝彦(松商) 原田 米俊(長姫)	◎伊藤 昌治(下伊農) 宮城 文治(県ヶ丘) ○堀尾 克己(下伊農)
38	◎平林 圭介(深志) 上野 隆雄(上田) ○青柳 岡(深志) 片桐 武夫(飯田)	◎土田 安(長工) 倉島 安隆(上田) 広田 金平(長工) 吉沢 文雄(蟻ヶ崎) 山岸 重夫(茅野)	◎土田 安(長工) 原田 岸子(小諸) 小山 生(屋代南) ○高山 慶子(蟻ヶ崎) 守屋とみ江(弥生丘)	◎中村 優造(長市立) 友野 稔(野沢南) ○和田 圭喜(長野南) 平林 功(蟻ヶ崎) 金子 忍(富士見)	◎小林 俊直(野沢北) 篠原 茂(白田) 北沢 生吉(長野) 小林 英雄(美須々) 赤沼 文雄(高遠)	◎二ノ宮政治(下高農) 大石 治(上田東) ○千葉 九吾(飯山北) 高野 朝彦(松商) 原田 米俊(長姫)	◎宮城 文治(県ヶ丘) ○堀尾 克己(下伊農)
39	◎平林 圭介(深志) 山崎 次男(上田) ○小野沢 洋(塩尻) 中曾根 浩(長姫)	◎土田 安(長工) 倉島 安隆(上田) 広田 金平(長工) 小口 正行(深志) 梅瓶 巴(阿南)	◎土田 安(長工) 原田 岸子(小諸) 酒井 園子(須東) 高山 慶子(蟻ヶ崎) 守屋とみ江(弥生丘)	◎中村 優造(長市立) 友野 稔(野沢南) ○和田 圭喜(長野南) 平林 功(蟻ヶ崎) 金子 忍(富士見)	◎小林 俊直(野沢北) 篠原 茂(南佐久) 北沢 生吉(長野) ○宮沢 喜義(深志) 赤沼 文雄(高遠)	◎二ノ宮政治(下高農) 大石 治(上田東) ○千葉 九吾(飯山北) 高野 朝彦(松商) 原田 米俊(長姫)	◎上条 善昌(下伊農) 宮城 文治(県ヶ丘) ○堀尾 克己(下伊農)
40	◎赤羽 誠(深志) 山崎 次男(上田) ○小野沢 洋(塩尻) 中曾根 浩(長姫)	◎土田 安(長工) 倉島 安隆(上田) 広田 金平(長工) 小口 正行(深志) 池田 実(阿南)	◎土田 安(長工) 原田 岸子(小諸) 酒井 園子(須東) 高山 慶子(蟻ヶ崎) 守屋とみ江(下伊農)	◎中村 優造(長姫) 友野 稔(野沢南) ○和田 圭喜(長野西) 平林 功(蟻ヶ崎) 金子 忍(富士見)	◎小林 俊直(野沢北) 篠原 茂(南佐久) 北沢 生吉(長野) ○宮沢 喜義(深志) 赤沼 文雄(高遠)	◎二ノ宮政治(下高農) 大石 治(上田東) ○千葉 九吾(飯山北) 高野 朝彦(松商) 原田 米俊(長姫)	◎上条 善昌(下伊農) 宮城 文治(県ヶ丘) ○堀尾 克己(下伊農)
41	◎赤羽 誠(深志) 山崎 次男(上田) ○小野沢 洋(塩尻) 小宮山 守(飯田)	◎市川 浄(須坂東) 倉島 安隆(上田) 宮本 金作(長商) 木内 淳(木曾東) 池田 実(阿南)	◎市川 浄(須坂東) 原田 岸子(小諸) 香山田鶴子(長市立) ○藤沢 美恵(蟻ヶ崎) 守屋とみ江(下伊農)	◎新津 真澄(富士見) 川又 勇(上田) 和田 圭喜(長野西) 平林 功(蟻ヶ崎) 金子 忍(富士見)	◎小林 俊直(野沢北) 安藤義太郎(野沢北) 北沢 生吉(長野) 中村 一幸(塩尻) 赤沼 文雄(高遠)	◎小出 武(長野) 大石 治(上田東) ○千葉 九吾(飯山北) 上條 重俊(信工) 原田 米俊(長姫)	◎上条 善昌(下伊農) 宮城 文治(県ヶ丘) ○堀尾 克己(下伊農)
42	◎赤羽 誠(深志) 山崎 次男(上田) 江尻 耕導(須坂) ○小野沢 洋(塩尻) 小宮山 守(飯田)	◎市川 浄(須坂東) 倉島 安隆(上田) 宮本 金作(長商) 木内 淳(木曾東) 池田 実(阿南)	◎市川 浄(須坂東) 原田 岸子(小諸) 香山田鶴子(長市立) ○藤沢 美恵(蟻ヶ崎) 守屋とみ江(下伊農)	◎新津 真澄(富士見) 萩原 剛(上田) 和田 圭喜(長野西) 平林 功(蟻ヶ崎) 金子 忍(富士見)	◎小林 俊直(上田) 安藤義太郎(野沢北) 北沢 生吉(長野) 中村 一幸(塩尻) 赤沼 文雄(高遠)	◎小出 武(長野) 大石 治(上田東) ○千葉 九吾(飯山北) 上條 重俊(信工) 原田 米俊(長姫)	◎宮島 武四(下伊農) 宮城 文治(県ヶ丘) ○堀尾 克己(下伊農)
43	◎平林 圭介(深志) 菱田 宏(上田) 江尻 耕導(須坂) ○小野沢 洋(塩尻) 小宮山 守(飯田)	◎市川 浄(須坂東) 倉島 安隆(上田) 齊藤元之助(須坂園) 木内 淳(木曾東) 中津 頼照(飯工)	◎市川 浄(須坂東) 原田 岸子(小諸) 小山 生(屋代南) ○藤沢 美恵(蟻ヶ崎) 守屋とみ江(下伊農)	◎新津 真澄(富士見) 橋詰 政勝(野沢南) 長浦 音吉(更農) 平林 功(蟻ヶ崎) 金子 忍(富士見)	◎小林 俊直(上田) 安藤義太郎(野沢北) 北沢 生吉(長野) 三沢 政近(県ヶ丘) 赤沼 文雄(高遠)	大石 治(岩村田) ○千葉 九吾(飯山北) 北林 澄郎(州工) 為田 勝美(岡工)	◎宮島 武四(下伊農) 宮城 文治(県ヶ丘) ○藤本 忠彦(下伊農)

表2—3

種 年 目 度	サ ッ カ ー	体 操 (男)	体 操 (女)	バ ド ミ ン ト ン	柔 道	剣 道	ラ グ ビ ー フ ッ ト ボ ー ル
44	◎平林 圭介(松 商) 菱田 宏(上 田) 江尻 耕尊(下 高農) ○青木 伴文(深 志) 小宮山 守(飯 田)	◎市川 淨(須 東) 倉島 安隆(上 田) 船木 政明(中 央) ○木内 淳(木 曾東) 中津 頼照(飯 田工)	◎市川 淨(須 東) 原田 岸子(小 諸) 小山 生(生 代南) ○藤原 美恵(蟻ヶ崎) 守屋とも江(下 高農)	◎新津 真澄(北 佐農) 橋詰 政勝(野 沢南) 長浦 音吉(更 農) 平林 巧(蟻ヶ崎) 金子 忍(富 士見)	◎小林 俊直(上 田) 安藤義太郎(野 沢北) ○北沢 生吉(長 野) 三沢 政近(県ヶ丘) 赤治 文雄(高 遠)	◎小林 信義(飯 山北) 大石 治(岩 村田) ○千葉 九吾(飯 山北) 北林 澄郎(信 工) 為田 勝美(岡 工)	◎宮島 武四(下 伊農) 宮城 文治(県ヶ丘) ○藤本 忠彦(下 伊農)
45	◎平林 圭介(松 商) 岸田 宏(上 田) 江尻 耕尊(下 高農) ○青木 伴文(深 志) 横内 (飯 田)	◎市川 淨(須 東) 倉島 安隆(上 田) 船木 政明(中 央) 木内 淳(木 曾東) 岡庭 己(長 姫)	◎市川 淨(須 東) 原田 岸子(小 諸) 香山田鶴子(長 野西) ○藤原 美恵(蟻ヶ崎) 守屋とみ江(下 高農)	◎北原佐久生(富 士見) 橋詰 政勝(野 沢南) 長浦 音吉(更 農) 平林 巧(蟻ヶ崎) 金子 忍(富 士見)	◎小林 俊直(上 田) 安藤義太郎(野 沢北) ○北沢 生吉(長 野) 三沢 政近(県ヶ丘) 赤治 文雄(高 遠)	◎小林 信義(飯 山北) 大石 治(岩 村田) ○千葉 九吾(飯 山北) 北林 澄郎(信 工) 原田 米俊(長 姫)	◎宮島 武四(下 伊農) 岩下 光雄(県ヶ丘) ○藤本 忠彦(下 伊農)
46	平林 圭介(松 商) 菱田 宏(上 田) 江尻 耕尊(下 高農) ○青木 伴文(深 志) 小宮山 守(飯 田)	◎北沢 高明(須 坂東) 倉島 安隆(上 田) 船木 政明(中 央) ○木内 淳(筑 摩) 岡庭 己(長 姫)	◎北沢 高明(須 坂東) 原田 岸子(小 諸) 香山多鶴子(長 野西) ○藤原 美恵(蟻ヶ崎) 守屋とみ江(下 高農)	◎北原佐久生(富 士見) 橋詰 政勝(野 沢南) 長浦 音吉(更 農) 平林 巧(蟻ヶ崎) 金子 忍(富 士見)	◎新井 通明(軽 井沢) 小山 富一(小 諸商) ○清水 泰雄(屋 代) 三沢 政近(県ヶ丘) 赤沼 文雄(高 遠)	◎古畑 正直(飯 山北) 大石 治(岩 村田) 千葉 九吾(飯 山北) 北林 澄郎(信 工) 原田 米俊(長 姫)	◎宮島 武四(下 伊農) 岩下 光雄(県ヶ丘) ○藤本 忠彦(下 伊農)
47	◎栗田 寛(県ヶ丘) 菱田 宏(上 田) 江尻 耕尊(下 高農) ○青木 伴文(深 志) 小宮山 守(飯 田)	◎吉村 七蔵(筑 摩) 倉島 安隆(上 田) 船木 政明(中 央) ○木内 淳(筑 摩) 中津 頼照(飯 田工)	◎北沢 高明(須 坂東) ○酒井 園子(ヶ) 香山田鶴子(長 野西) 久保田和子(深 志) 守屋とみ江(下 高農)	◎藤森 慎(弥 生丘) 玉井 重遠(坂 城) 西村 善次(染 谷丘) 平林 巧(蟻ヶ崎) ○百瀬 健司(弥 生丘)	◎小林 俊直(坂 城) 小山 富一(小 諸商) ○清水 泰雄(屋 代) 三沢 政近(県ヶ丘) 福島 毅(下 伊農)	◎赤羽 誠(信 州工) 依田 和武(松 代) 千葉 九吾(飯 山北) 北林 澄郎(信 州工) 畠山 英夫(下 伊農)	◎小林 茂雄(下 伊農) 岩下 光雄(県ヶ丘) 勝野 徹(岡 工)
48	◎栗田 寛(県ヶ丘) 菱田 宏(上 田) 江尻 耕尊(下 高農) ○青木 伴文(深 志) 小宮山 守(飯 田)	◎吉村 七蔵(筑 摩) 倉島 安隆(上 田) 船木 政明(中 央) ○木内 淳(筑 摩) 中津 頼照(飯 田工)	◎北沢 高明(須 坂東) ○酒井 園子(ヶ) 香山田鶴子(長 野西) 久保田和子(深 志) 守屋とみ江(下 高農)	◎藤森 慎(弥 生丘) 玉井 重遠(坂 城) 西村 善次(染 谷丘) 太田 辰雄(蟻ヶ崎) ○百瀬 健司(弥 生丘)	◎小林 俊直(城 南) 小山 富一(小 諸商) 清水 泰雄(屋 代) 小林 優(信 州工) 福島 毅(下 伊農)	◎赤羽 誠(信 州工) 依田 和武(松 代) 千葉 九吾(飯 山北) 北林 澄郎(信 州工) 畠山 英夫(下 伊農)	◎小林 茂雄(下 伊農) 岩下 光雄(県ヶ丘) 勝野 徹(岡 工)
49	◎花田 信平(松 工) ○江尻 耕尊(松 代) 菱田 宏(上 田) 瀬川 皓資(松 商) 小川 田彦(駒 工)	◎斉藤 嘉郎(須 坂東) 倉島 安隆(上 田) 石井 元明(丸 子実) ○木内 淳(筑 摩) 中津 頼照(飯 田工)	◎北沢 高明(須 坂東) ○香山田鶴子(長 野西) 久保田和子(深 志) 守屋とみ江(下 高農) 今井 順子(風 越)	◎坂田 芳雄(中 野実) 長浦 音吉(更 農) 西村 善次(染 谷丘) 太田 辰雄(蟻ヶ崎) 百瀬 健司(弥 生丘)	◎小林 俊直(城 南) 石田 和増(小 諸商) 清水 泰雄(屋 代) 細田 寿(梓 川) 福島 毅(下 伊農)	◎金森 真夫(信 州工) 依田 和武(松 代) 千葉 九吾(飯 山北) 北林 澄郎(信 州工) 原田 米俊(長 姫)	◎小林 茂雄(下 伊農) 岩下 光雄(県ヶ丘) 勝野 徹(岡 工)
50	◎花田 信平(中 条) ○江尻 耕尊(松 代) 菱田 宏(上 田) 瀬川 皓資(松 商) 石田 義雄(飯 田)	◎斉藤 嘉郎(須 坂東) 倉島 安隆(上 田) 石井 元明(丸 子実) ○木内 淳(筑 摩) 中津 頼照(飯 田工)	◎北沢 高明(須 坂東) ○香山田鶴子(長 野西) 久保田和子(深 志) 守屋とみ江(下 高農) 今井 順子(風 越)	◎坂田 芳雄(中 野実) 長浦 音吉(更 農) 西村 善次(染 谷丘) 平林 良治(大 町北) 金子 忍(富 士見)	◎小林 俊直(城 南) 石田 和増(小 諸商) 清水 泰雄(屋 代) 山崎 寿一(丸 子実) 細田 寿(梓 川) 福島 毅(下 伊農)	◎金森 真夫(信 州工) 依田 和武(松 代) 千葉 九吾(飯 山北) 清沢 清(県ヶ丘) 原田 米俊(長 姫)	◎臼井 啓(岡 谷工) 岩下 光雄(県ヶ丘) 勝野 徹(岡 谷工)
51	◎花田 信平(中 条) ○江尻 耕尊(松 代) 菱田 宏(上 田) 小宮山 守(大 町) 石田 義雄(飯 田)	◎斉藤 嘉郎(須 坂東) 倉島 安隆(上 田) 石井 元明(丸 子実) ○木内 淳(筑 摩) 中津 頼照(飯 田工)	◎北沢 高明(須 坂東) ○香山田鶴子(長 野西) 久保田和子(深 志) 守屋とみ江(下 高農) 今井 順子(風 越)	◎柳沢 邦彦(中 野) 長浦 音吉(更 農) 西村 善次(染 谷丘) 平林 良治(大 町北) 金子 忍(富 士見)	◎小林 俊直(城 南) 石田 和増(小 諸商) 清水 泰雄(屋 代) 山崎 寿一(丸 子実) 細田 寿(梓 川) 福島 毅(下 伊農)	◎酒井志之輔(白 馬) 依田 和武(松 代) 千葉 九吾(飯 山北) 袖山 隼雄(大 町) 原田 米俊(長 姫)	◎臼井 啓(岡 谷工) 岩下 光雄(県ヶ丘) 勝野 徹(岡 谷工)
52	◎花田 信平(中 条) ○江尻 耕尊(松 代) 小野沢 洋(丸 子実) 青木 伴文(深 志) 石田 義雄(飯 田)	◎小林 直之(中 央) 倉島 安隆(上 田) 石井 元明(丸 子実) ○木内 淳(筑 摩) 中津 頼照(飯 田工)	◎北沢 高明(須 坂東) ○香山田鶴子(長 野西) 久保田和子(深 志) 守屋とみ江(下 高農) 今井 順子(風 越)	◎芦部 隆彦(更 農) 長浦 音吉(ヶ) 和田 栄二(染 谷丘) 平林 良治(大 町北) 金子 忍(富 士見)	◎小林 俊直(城 南) 石田 和増(小 諸商) 清水 泰雄(屋 代) 山崎 寿一(丸 子実) 細田 寿(梓 川) 福島 毅(下 伊農)	◎酒井志之助(白 馬) 依田 和武(長 野商) 千葉 九吾(飯 山北) 袖山 隼雄(大 町) 原田 米俊(長 姫)	◎佐々木孝夫(岡 谷工) 小島喜博雄(県ヶ丘) 勝野 徹(岡 谷工)
53	◎小松 広(大 町) ○江尻 耕尊(松 代) 小野沢 洋(丸 子実) 青木 伴文(深 志) 宮下 洋治(長 姫)	◎小林 直之(中 央) 池田 実(長 野) 石井 元明(丸 子実) ○木内 淳(筑 摩) 湯沢 勉(岡 谷工)	◎北沢 高明(須 坂東) ○香山田鶴子(長 野西) 久保田和子(深 志) 守屋とみ江(下 高農) 今井 順子(風 越)	◎芦部 隆彦(更 農) 長浦 音吉(ヶ) 和田 栄二(染 谷丘) 平林 良治(大 町北) 金子 忍(富 士見)	◎小林 俊直(城 南) 石田 和増(小 諸商) 清水 泰雄(屋 代) 山崎 寿一(丸 子実) 細田 寿(梓 川) 福島 毅(下 伊農)	◎酒井志之助(白 馬) 依田 和武(長 野商) 千葉 千吾(飯 山北) 有賀 健二(池 田工) 原田 米俊(長 姫)	◎佐々木孝夫(岡 谷工) 小島喜美雄(県ヶ丘) 勝野 徹(岡 谷工)

表2-4

種 年 目 度	サ ッ カ ー	体 操 (男)	体 操 (女)	バ ド ミ ン ト ン	柔 道	剣 道	ラ グ ビ ー フ ツ ト ー ル
54	◎小松 広(大町) ○江尻 耕導(松代) 小野沢 洋(丸子実) 青木 伴文(深志) 宮下 洋治(長姫)	◎小林 直之(中央) 池田 実(長野) 石井 元明(丸子実) ○木内 淳(筑摩) 湯沢 勉(岡谷工)	◎北沢 高明(須坂東) ○香山田 鶴子(長野西) 久保田和子(深志) 守屋とみ江(下高農) 今井 順子(風越)	◎寺沢 文晴(更農) ○長浦 音吉(〃) 和田 栄二(染谷丘) 平林 良治(大町北) 金子 忍(富士見)	◎小林 俊直(上城南) 石田 和増(長吉田) ○小山 富一(上田) 細田 寿(梓川) 福島 毅(下伊農)	◎酒井志之助(白馬) 依田 和武(長野商) 千葉 千吾(飯山北) 有賀 健二(池田工) ○原田 米俊(長姫)	◎佐々木孝夫(岡谷工) 加藤 義幸(長野工) 小島喜美雄(県ヶ丘) 勝野 徹(岡谷工)
55	◎山川 広(大町) ○江尻 耕導(松代) 小野沢 洋(丸子実) 松田 正己(筑摩) 渋谷 博光(清陵)	◎小林 直之(中央) 池田 実(長野) 小林 史夫(染谷丘) 木内 淳(筑摩) 湯沢 勉(岡谷工)	◎北沢 高明(須坂東) 香山田 鶴子(長野西) 久保田和子(深志) 伊藤 隅子(美須々) 奥村 睦子(二葉)	◎御子柴秀雄(更農) ○長浦 音吉(〃) 和田 栄二(染谷丘) 平林 良治(大町北) 金子 忍(富士見)	◎小林 俊直(上城南) 石田 和増(長吉田) ○小山 富一(上田) 細田 寿(梓川) 福島 毅(風越)	◎佐々木孝夫(飯田工) 依田 和武(長野商) 羽田 敏幸(上田) 有賀 健二(池田工) ○原田 米俊(長姫)	◎加納 洋(岡谷工) 加藤 義幸(長野工) 小島喜美雄(県ヶ丘) 勝野 徹(岡谷工)
56	◎山川 広(大町) ○江尻 耕導(松代) 小野沢 洋(丸子実) 松田 正己(筑摩) 渋谷 博光(清陵)	◎小林 直之(中央) 池田 実(長野) 小林 史夫(染谷丘) 木内 淳(筑摩) 湯沢 勉(長姫)	◎北沢 高明(須坂東) 香山田 鶴子(長野西) 真島 亮子(丸子実) ○伊藤 隅子(美須々) 奥村 睦子(二葉)	◎牧野 嘉雄(更農) ○長浦 音吉(〃) 和田 栄二(染谷丘) 平林 良治(深志) 金子 忍(富士見)	◎小林 俊直(上城南) 石田 和増(屋代) ○小山 富一(上田) 細田 寿(梓川) 福島 毅(風越)	◎佐々木孝夫(飯田工) 依田 和武(長野商) 羽田 敏幸(上田) 有賀 健二(池田工) ○原田 米俊(長姫)	◎加納 洋(岡谷工) 加藤 義幸(長野工) 小島喜美雄(県ヶ丘) 勝野 徹(岡谷工)
57	◎山川 広(大町) ○江尻 耕導(松代) 小野沢 洋(丸子実) 松田 正己(筑摩) 伊東 洋治(長姫)	◎小林 直之(中央) 船木 政明(〃) 小林 史夫(染谷丘) 駒村 尚子(塩尻) ○湯沢 勉(長姫)	◎北沢 高明(須坂東) 米沢 明子(屋代南) 真島 亮子(丸子実) ○伊藤 隅子(美須々) 守屋とみ江(風越)	◎牧野 嘉雄(更農) ○長浦 音吉(〃) 和田 栄二(染谷丘) 木内 淳(筑摩) 金子 忍(富士見)	◎小林 俊直(上城南) 石田 和増(屋代) 佐藤 亘彦(岩村田) 細田 寿(梓川) 福島 毅(風越)	◎山本 吉夫(阿智) 依田 和武(長野商) 井出 忠順(東部) 有賀 健二(木曾) ○原田 米俊(長姫)	◎加納 洋(岡谷工) 加藤 義幸(長野工) 小島喜美雄(県ヶ丘) 勝野 徹(岡谷工)
58	◎山川 広(大町) ○江尻 耕導(松代) 小野沢 洋(丸子実) 松田 正己(筑摩) 奈良井 薫(東海三)	◎小林 直之(中央) 船木 政明(〃) 小林 史夫(染谷丘) 駒村 尚子(塩尻) ○湯沢 勉(長姫)	◎北沢 高明(須坂東) 米沢 明子(屋代南) 真島 亮子(丸子実) ○伊藤 隅子(美須々) 守屋とみ江(風越)	◎古川 彦次(更農) ○長浦 音吉(〃) 金森 禪(望月) 木内 淳(筑摩) 金子 忍(富士見)	◎小林 俊直(上城南) 石田 和増(屋代) 佐藤 亘彦(岩村田) 細田 寿(梓川) 福島 毅(風越)	◎山本 吉夫(阿智) 依田 和武(長野商) 井出 忠順(東部) 有賀 健二(木曾) ○原田 米俊(長姫)	◎芦部 隆彦(下伊農) 宮下 嘉光(長野) 丸山 国広(県ヶ丘) ○西沢 和平(下伊農)
59	◎土屋 芳正(大町) ○江尻 耕導(松代) 小野沢 洋(丸子実) 平林 正光(深志) 山田 秀樹(箕輪工)	◎宮沢 誠(長姫) 船木 政明(中央) 小林 史夫(染谷丘) 小林 正幸(塩尻) ○湯沢 勉(長姫)	◎北沢 高明(須坂東) 米沢 明子(屋代南) 真島 亮子(丸子実) 伊東 隅子(美須々) 小口 和子(二葉)	◎丸林 一富(筑摩) 平林 良人(長中央) 金森 禪(望月) 木内 淳(筑摩) 野口新太郎(向陽)	◎内山 宏志(岩村田) 石田 和増(屋代) 佐藤 亘彦(岩村田) 小林 優(信州工) 百瀬 一彦(茅野)	◎山本 吉夫(阿智) 依田 和武(長野商) 井出 忠順(東部) 有賀 健二(木曾) ○原田 米俊(長姫)	◎久保田泰正(下伊農) 宮下 嘉光(長野) 小林 正明(県ヶ丘) ○西沢 和平(下伊農)
60	◎土屋 芳正(大町) ○江尻 耕導(松代) 小野沢 洋(丸子実) 平林 正光(深志) 山田 秀樹(箕輪工)	◎宮沢 誠(長姫) 船木 政明(中央) 小林 史夫(染谷丘) 小林 正幸(塩尻) ○湯沢 勉(長姫)	◎北沢 高明(須坂東) 米沢 明子(屋代南) 真島 亮子(丸子実) 伊東 隅子(美須々) 小口 和子(二葉)	◎満沢 敏(田川) 平林 良人(長中央) 金森 禪(望月) 木内 淳(筑摩) 野口新太郎(向陽)	◎馬場 修司(岩村田) 石田 和増(屋代) 佐藤 亘彦(岩村田) 小林 優(信州工) 百瀬 一彦(茅野)	◎山本 吉夫(阿智) 依田 和武(長野商) 井出 忠順(東部) 有賀 健二(木曾) ○原田 米俊(長姫)	◎久保田泰正(下伊農) 宮下 嘉光(長野) 小林 正明(県ヶ丘) ○西沢 和平(下伊農)
61	◎土屋 芳正(大町) ○江尻 耕導(松代) 小野沢 洋(丸子実) 平林 正光(深志) 山田 秀樹(箕輪工)	◎足助 治(塩尻) 船木 政明(中央) 小林 史夫(染谷丘) 小林 正幸(塩尻) ○湯沢 勉(長姫)	◎北沢 高明(須坂東) 米沢 明子(屋代南) 真島 亮子(丸子実) 久保田和子(蟻ヶ崎) 小口 和子(二葉)	◎北村 純(飯田) 平林 良人(長中央) 金森 禪(望月) 木内 淳(筑摩) 矢野 貴直(飯田)	◎馬場 修司(岩村田) 石田 和増(屋代) 佐藤 亘彦(岩村田) 小林 優(信州工) 百瀬 一彦(岡谷工)	◎山本 吉夫(阿智) 依田 和武(長野南) 井出 忠順(東部) 有賀 健二(木曾) 吉谷幸一郎(岡谷南)	◎小林 元亨(長野) 宮下 嘉光(〃) 小林 正明(県ヶ丘) 金子 俊夫(長姫)
62	◎土屋 芳正(大町) ○江尻 耕導(須園芸) 飯島 秀明(上田千曲) 平林 正光(松本深志) 山田 秀樹(箕輪工業)	◎吉池 保男(飯田長姫) 船木 政明(長野中央) 小林 史夫(染谷丘) 小林 正幸(塩尻) ○湯沢 勉(飯田長姫)	米沢 明子(屋代南) 真島 亮子(丸子実業) 久保田和子(蟻ヶ崎) 小口 和子(諏訪二葉)	◎畑谷 智雄(飯田) 百瀬 健司(長野西) 金森 禪(望月) 木内 淳(田川) 矢野 貴直(飯田)	◎岩村 亀夫(更級農) 石田 和増(屋代) 佐藤 亘彦(白田) 小林 優(信州工業) 百瀬 一彦(岡谷工業)	◎山本 吉夫(須坂東) 依田 和武(須坂東) 高橋 正明(上田東) 有賀 健二(木曾) 吉谷幸一郎(岡谷南)	◎小林 元亨(長野) 宮下 喜光(長野) 小林 正明(県ヶ丘) 金子 俊夫(飯田長姫)
63	◎土屋 芳正(大町) 丸山 朗(長野南) ○飯島 秀明(上田千曲) 石田 義雄(豊科) 唐沢 陽司(伊那北)	◎吉池 保男(飯田長姫) 森山 邦夫(中野西) 小林 史夫(上田染谷) 甘利 道子(大町北) ○湯沢 勉(飯田長姫)	米倉 明子(屋代南) 真島 亮子(丸子実業) 久保田和子(蟻ヶ崎) 小口 和子(諏訪二葉)	◎畑谷 智雄(飯田) 百瀬 健司(長野西) 金森 禪(望月) 木内 淳(田川) 矢野 貴直(飯田)	◎岩村 亀夫(更級農) 中村 一幸(更級農) 佐藤 亘彦(白田) 小林 優(信州工業) 百瀬 一彦(岡谷工業)	◎赤松 光雄(須坂東) 依田 和武(須坂東) 高橋 正明(上田東) 有賀 健二(木曾) 古谷幸一郎(岡谷南)	◎西村 忠彦(長野) 宮下 喜光(長野) 池田 雅紀(丸子実業) 加藤 義幸(大町) 金子 俊夫(飯田長姫)

表2—5

種 年 度	サ ッ カ ー	体 操 (男)	体 操 (女)	バ ド ミ ン ト ン	柔 道	剣 道	ラ グ ビ ー フ ツ ト ー ル
平成元	◎青島 三郎(大町) 丸山 朗(長野南) ○飯島 秀明(上田千曲) 石田 義雄(豊科) 唐沢 陽司(伊那北)	◎吉池 保男(飯田長姫) 森山 邦夫(中野西) 小林 史夫(染谷丘) 甘利 道子(大町北) ○湯沢 勉(飯田長姫)	米沢 明子(屋代南) 真島 亮子(丸子実業) 久保田和子(蟻ヶ崎) ○小口 和子(諏訪二業)	◎中山 茂(田川) 百瀬 健司(長野西) 今井 靖(染谷丘) ○木内 淳(田川) 矢野 貴直(飯田)	◎巢山第三郎(更級農業) ○中村 一幸(更級農業) 佐藤 亘彦(臼田) 小林 優(信州工業) 百瀬 一彦(岡谷工業)	◎赤松 光雄(須坂東) ○依田 和武(須坂東) 高橋 正明(上田東) 有賀 健二(木曾) 吉谷幸一郎(岡谷南)	◎吉池 保男(飯田長姫) 幅 国洋(長野南) 小林 正明(県ヶ丘) ○金子 俊夫(飯田長姫)
2	青島 三郎(大町) 丸山 朗(長野南) ○飯島 秀明(上田千曲) 唐沢 陽司(伊那北) 石田 義雄(豊科)	◎吉池 保男(飯田長姫) 森山 邦夫(中野西) 小林 史夫(染谷丘) ○湯沢 勉(飯田長姫) 甘利 道子(大町北)	米沢 明子(屋代南) 長田 芳子(野沢南) ○小口 和子(諏訪二業) 久保田和子(蟻ヶ崎)	◎小岩井 淳(中野実業) ○松久 和弘(中野実業) 今井 靖(染谷丘) 清水 達郎(諏訪二業) 上條 利昭(塩尻)	◎巢山第三郎(更級農業) ○中村 一幸(更級農業) 井出 英孝(小諸商業) 百瀬 一彦(岡谷工業) 津金 武寿(松本第一)	◎依田 守史(須坂東) ○依田 和部(須坂東) 中野 稔(臼田) 吉谷幸一郎(岡谷南) 有賀 健二(木曾)	◎春日 進(下伊農) 幅 国洋(長野南) ○小澤 健(下伊農) 小林 敏春(大町)
3	◎青島 三郎(大町) 丸山 朗(長野南) ○飯島 秀明(上田千曲) 唐沢 陽司(伊那北) 石田 義雄(豊科)	◎原 均(飯田長姫) 森山 邦夫(中野西) 小林 史夫(丸子実業) ○湯沢 勉(飯田長姫) 小林 正幸(塩尻)	米沢 明子(屋代南) 長田 芳子(野沢南) ○小口 和子(諏訪二業) 久保田和子(蟻ヶ崎)	◎小岩井 淳(中野実業) ○松久 和弘(中野実業) 今井 靖(染谷丘) 清水 達郎(諏訪二業) 上條 利昭(松本工業)	◎巢山第三郎(更級農業) ○中村 一幸(更級農業) 井出 英孝(小諸商業) 百瀬 一彦(岡谷工業) 津金 武寿(松本第一)	◎依田 守史(須坂東) ○依田 和武(須坂東) 中野 稔(臼田) 吉谷幸一郎(岡谷南) 有賀 健二(木曾)	◎春日 進(下伊農) 幅 国洋(長野南) ○小澤 健(下伊農) 小林 敏春(大町)
4	青島 三郎(大町) 丸山 朗(長野南) ○飯島 秀明(上田千曲) 唐沢 陽司(伊那北) 石田 義雄(豊科)	◎塩沢 久夫(丸子実業) 森山 邦夫(中野西) ○小林 史夫(丸子実業) 長谷川浩一(辰野) 小林 正幸(塩尻)	長田 芳子(野沢南) ○小口 和子(諏訪二業) 伊藤 隅子(美須ヶ丘)	◎佐野 敬一(長野南) ○荒井 和人(長野南) 今井 靖(染谷丘) 清水 達郎(諏訪二業) 小林 公廣(松本工業)	◎鶴岡 一藏(更級農業) ○中村 一幸(更級農業) 井出 英孝(小諸商業) 石田 修(辰野) 津金 部寿(松本第一)	◎依田 守史(大町北) 布施 紀彦(長野) ○依田 和武(東部) 吉谷幸一郎(岡谷南) 有賀 健二(木曾)	◎春日 進(下伊農) 幅 国洋(長野南) ○小澤 健(下伊農) 橋爪 正男(県ヶ丘)
5	◎青島 三郎(長野南) 丸山 朗(長野南) ○飯島 秀明(上田千曲) 唐沢 陽司(伊那北) 石田 義雄(豊科)	◎塩沢 久夫(丸子実業) 森山 邦夫(中野西) ○小林 史夫(丸子実業) 長谷川浩一(辰野) 小林 正幸(塩尻)	米沢 明子(屋代南) 長田 芳子(野沢南) ○小口 和子(諏訪二業) 伊藤 隅子(美須ヶ丘)	◎青島 三郎(長野南) ○荒井 和人(長野南) 今井 靖(染谷丘) 清水 達郎(諏訪二業) 小林 公廣(松本工業)	◎鶴岡 一藏(更級農業) ○中村 一幸(更級農業) 井出 英孝(小諸商業) 石田 修(辰野) 津金 武寿(松本第一)	◎依田 守史(大町北) 布施 紀彦(長野) ○依田 和武(東部) 有賀 健二(岡谷南) 斎藤 達(昭和園芸)	◎春日 進(下伊農) 幅 国洋(長野南) ○小澤 健(下伊農) 荒井 徹(大町)
6	◎唐沢 近一(伊那北) 丸山 朗(長野吉田) 渡辺 善和(上田西) ○唐沢 陽司(伊那北) 高橋 裕之(信州工業)	◎荻野 浩(辰野) 森山 邦夫(中野西) 小島 昭英(上田) ○長谷川浩一(辰野)	甘利 道子(大町北) 長田 芳子(野沢南) 植松喜美子(諏訪二業) 林 律子(松本深志)	◎宮沢 孝(東部) 倉田 吉春(松代) ○荒井 和人(東部) 尾崎 広明(赤穂) 小林 公廣(松本工業)	◎小宮山 修(明科) 滝沢 啓郎(長野工業) 白田 一海(岩村田) 石田 修(辰野) ○細田 寿(明科)	◎跡部 和夫(長野東) ○小田 弘文(長野南) 青柳 俊幸(臼田) 吉村 洋一(下伊農) 斎藤 達(昭和園芸)	◎鶴岡 一藏(下伊農) 奥脇 教(長野) ○小澤 健(下伊農) 荒井 徹(大町)
7	◎上平 慶治(伊那北) 丸山 朗(長野吉田) 渡辺 善和(上田西) ○唐沢 陽司(伊那北) 高橋 裕之(信州工業)	◎荻野 浩(辰野) 森山 邦夫(中野西) 小島 昭英(上田) ○長谷川浩一(辰野)	甘利 道子(大町北) 長田 芳子(野沢南) 植松喜美子(諏訪二業) 林 律子(松本深志)	◎仲村 武人(東部) 倉田 吉春(松代) ○荒井 和人(東部) 尾崎 広明(赤穂) 小林 公廣(松本工業)	◎斎藤 金司(明科) 滝沢 啓郎(長野工業) 春日 啓孝(上田千曲) 石田 修(辰野) ○細田 寿(明科)	◎跡部 和夫(長野東) ○小田 弘文(長野南) 青柳 俊幸(臼田) 吉村 洋一(下伊農) 斎藤 達(昭和園芸)	◎鶴岡 一藏(下伊農) 奥脇 教(長野) ○小澤 健(下伊農) 木村 俊昭(県ヶ丘)
8	上平 慶治(伊那北) 丸山 朗(長野吉田) 渡辺 善和(上田西) ○唐沢 陽司(伊那北) 高橋 裕之(信州工業)	◎丸山 敏一郎(辰野) 森山 邦夫(中野西) 小島 昭英(上田) ○長谷川浩一(辰野)	甘利 道子(大町北) 長田 芳子(臼田) 植松喜美子(諏訪二業) 長屋 和恵(穂高商業)	◎仲村 武人(東部) 渡辺 藤夫(須坂) ○荒井 和人(東部) 尾崎 広明(赤穂) 小林 至(大町北)	◎斎藤 金司(明科) 滝沢 啓郎(長野工業) 春日 啓孝(上田千曲) 石山 修(岡谷東) ○細山 寿(明科)	◎傳田 利勝(飯田長姫) ○小山 弘文(長野南) 井出 忠順(上田東) 吉村 洋一(下伊農) 青柳 俊幸(南安農)	◎鶴岡 一藏(下伊農) 奥脇 教(長野) ○小澤 健(飯田山) 木村 俊昭(県ヶ丘)
9	◎北原 明(伊那北) 丸山 朗(長野吉田) 渡辺 善和(上田西) ○唐沢 陽司(伊那北) 高橋 裕之(信州工業)	◎竹松 杉人(赤穂) 小島 昭英(上田) ○長谷川浩一(松川) 甘利 道子(大町北)	清水 順子(長野吉田) 玉田 雅美(中野) ○長田 芳子(臼田) 植松喜美子(諏訪二業) 大月 綾子(蟻ヶ崎)	◎大池 明(東部) 渡辺 藤夫(飯山照丘) ○荒井 和人(東部) 尾崎 広明(辰野) 小林 至(大町北)	◎神林三喜雄(明科) 滝沢 啓郎(長野工業) 春日 啓孝(上田染谷) 石田 修(岡谷東) ○細田 寿(明科)	◎傳田 利勝(飯田長姫) ○小田 弘文(長野南) 井出 忠順(小諸) 吉村 洋一(下伊農) 青柳 俊幸(南安農)	◎塚田 紀昭(飯田) 奥脇 教(長野) ○小澤 健(飯田山) 木村 俊昭(県ヶ丘)

表3—1

種 年 目 度	弓 道	相 撲	水 泳	ス キ ー	ス ケ ー ト	硬 式 庭 球	研 究 調 査
24				丸山 彰(大町南)	石田 里次(南農)		
25				丸山 彰(大町南)	石田 里次(南農)		
26				内堀 純一(小諸実) ○千葉 九吾(飯山北) 丸山 彰(大町南) 矢島 寿雄(岡工)	篠原 茂(白田) 依田 良春(長商) 石田 里次(南農) ○小浜 尚三(岡工)		
27				大石 治(小泉蚕) ○千葉 九吾(飯山北) 丸山 彰(大町南) 春日 友衡(下伊農)	篠原 茂(白田) 西片 庄平(長野西) 石田 里次(南農) ○小浜 尚三(岡工)		
28				○千葉 九吾(飯山北) 丸山 彰(大町南)	手塚 民郎(南農)		
29				◎宮本 卓樹(飯山北) ○千葉 九吾(飯山北) 丸山 彰(大町南) 佐々木利平(岡工)	◎金子 祐三(岡南) 篠原 茂(白田) 西片 庄平(長野西) 平林 章(大町北) ○今井 重信(岡南)		
30				◎宮本 貞樹(飯山北) 大石 治(小泉北) ○千葉 九吾(飯山北) 丸山 彰(大町南) 佐々木利平(岡工)	◎金子 祐三(岡南) 篠原 茂(白田) 西兵 庄平(長野西) 石田 里次(豊科) ○白馬 善男(岡東)		
31				◎宮本 貞樹(飯山北) 大石 治(小泉蚕) ○千葉 九吾(飯山北) 丸山 彰(大町南) 平林 章(岡東)	篠原 茂(白田) 石田 里次(豊科) 佐々木利平(岡工)		
32				◎清水 次郎(飯山北) 清水 泉一(小泉蚕) ○宮本 金作(長野) 佐々木利平(岡工)	◎増沢 俊介(岡工) 西片 庄平(長野西) 依田 多助(豊科) ○鈴木 忠彦(岡南)		
33				◎清水 次郎(飯山北) 柳田 幸雄(岩村田) ○宮本 金作(長野) 丸山 彰(大町南) 篠原 重郎(辰野)	◎加藤 裕(岡南) 篠原 茂(白田) ○西片 庄平(長野西) 依田 多助(豊科) 鈴木 忠彦(岡南)		

表3-2

種 年 目 度	弓 道	相 撲	水 泳	ス キ ー	ス ケ ー ト	硬 式 庭 球	研 究 調 査
34				◎新井 泰雄(飯山北) ○宮本 金作(長野) 柳田 幸雄(北佐農) 丸山 彰(大町北) 篠原 重郎(辰野)	◎吉沢 治作(茅野) 入野 勝行(長工) 篠原 茂(豊科) 依田 多助(豊科) ○鈴木 忠彦(岡南)		
35				◎新井 泰雄(飯山北) ○宮本 金作(長野) 柳田 幸雄(北佐農) 丸山 彰(大町北) 平林 彰(岡東)	◎吉沢 治作(茅野) 入野 勝行(長工) 井出 宗雄(南実) 宮沢 喜雄(深志) ○鈴木 忠彦(岡南)		
36	◎新井 泰雄(飯山北) 暮沼 一馬(屋代東) 宮坂 崇(桔梗原) 柴 韓治郎(伊那北)	◎上條 善昌(山林) ○宮沢 喜義(深志) 大輪 勝(清陵)	◎早川 勝(岩村田) ○甲崎 元(長野) 安藤義太郎(野沢北) 上条 貞雄(深志) 鶴川 千里(飯田)	◎新井 泰雄(飯山北) ○宮本 金作(長野) 柳田 幸雄(北佐農) 丸山 彰(大町北) 平林 彰(岡東)	◎吉沢 治作(茅野) 入野 勝行(長工) 井出 宗雄(南実) 宮沢 喜雄(深志) ○鈴木 忠彦(岡南)		
37	◎新井 泰雄(飯山北) 柳沢 博喜(小諸商) ○暮沼 一馬(屋代) 宮坂 崇(桔梗原) 柴 韓治郎(伊那北)	◎上條 善昌(山林) ○神津 和美(木曾西)	◎早川 勝(岩村田) 安藤義太郎(野沢北) ○甲崎 元(長野) 茶谷 義男(松工) 鶴川 千里(飯田)	◎新井 泰雄(飯山北) 柳田 幸雄(岩村田) ○宮本 金作(長野) 丸山 彰(大町北) 矢島 寿雄(清陵)	◎吉沢 治作(茅野) 井出 宗雄(南実) 入野 勝行(長工) 宮入 利満(北安曇) ○鈴木 忠彦(岡南)		
38	◎新井 泰雄(二葉) 栗本 宗男(屋代) ○暮沼 一馬(屋代) 宮坂 崇(桔梗原) 柴 韓治郎(伊那北)	◎上條 善昌(山林) ○福村 武雄(山林)	◎早川 勝(岩村田) 安藤義太郎(野沢北) ○甲崎 元(長野) 茶谷 義男(松工) 鶴川 千里(飯田)	◎新井 泰雄(飯山北) 柳田 幸雄(岩村田) ○宮本 金作(長野) 丸山 彰(大町北) 矢島 寿雄(清陵)	◎久保田文雄(長商) 井出 宗雄(南実) 入野 勝行(長工) 宮入 利満(北安曇) ○鈴木 忠彦(岡南)		
39	◎新井 泰雄(二葉) 佐藤 昭三(小諸商) 暮沼 一馬(屋代) 宮坂 崇(桔梗原) ○柴 韓治郎(伊那北)	◎宮下 清計(県ヶ丘) ○福村 武雄(県ヶ丘)	◎三輪 誠一(須坂東) 安藤義太郎(野沢北) ○甲崎 元(長野) 茶谷 義男(穂高) 鶴川 千里(飯田)	◎北沢 公平(飯山北) 寺島 善藏(蓼科) ○宮本 金作(長野) 丸山 彰(大町北) 平沢 浩(岡東)	◎久保田文雄(長商) 井出 宗雄(南実) 入野 勝行(長工) 宮入 利満(池田) ○鈴木 忠彦(岡南)		
40	◎新井 泰雄(二葉) 佐藤 昭三(小諸商) 暮沼 一馬(屋代) 矢彦沢 皖(松商) ○柴 韓治郎(伊那北)	◎宮下 清計(県ヶ丘) ○福村 武雄(県ヶ丘)	◎林 大太郎(須坂東) 安藤義太郎(野沢北) ○甲崎 元(長野) 茶谷 義男(穂高) 鶴川 千里(飯田)	◎北沢 公平(飯山北) 柳田 幸夫(岩村田) ○宮本 金作(長野) 丸山 彰(大町北) 平沢 浩(岡東)	◎山極 真平(諏訪実) 井出 宗雄(南実) 入野 勝行(長工) 佐々木利平(県ヶ丘) ○鈴木 忠彦(丘南)		
41	◎千村 保(二葉) 小山 禪(上田) 暮沼 一馬(屋代) 矢彦沢 皖(松商) 柴 韓治郎(伊那北)	◎神田 令二(木曾西) ○松橋 昌美(木曾西)	◎林 大太郎(須坂東) 山岸 道弘(上田) ○甲崎 元(長野) 藤原 敏行(梓川) 鶴川 千里(飯田)	◎北沢 公平(飯山北) 柳田 幸夫(岩村田) ○宮本 金作(長商) 丸山 彰(大町北)	◎吉村 七藏(岡南) 井出 宗雄(南実) 入野 勝行(長工) 穂刈 勇(松商) ○鈴木 忠彦(岡南)		
42	◎千村 保(二葉) 小山 洋(上田) 暮沼 一馬(屋代) 矢彦沢 皖(松商) 柴 韓治郎(伊那北)	◎神田 令二(木曾西) ○渡辺 治登(木曾西)	◎平林 六弥(飯田) 山岸 道弘(上田) ○甲崎 元(長野) 藤原 敏行(梓川) 鶴川 千里(飯田)	◎小林 信義(飯山北) 柳田 幸夫(岩村田) ○宮本 金作(長商) 丸山 彰(大町北)	◎吉村 七藏(岡南) 井出 宗雄(南実) 入野 勝行(長工) 穂刈 勇(松商) ○鈴木 忠彦(岡南)		
43	◎千村 保(二葉) 柳沢 順一(小諸商) 暮沼 一馬(屋代) 小沢 光顕(深志) ○柴 韓治郎(伊那北)	◎神田 令二(木曾西) ○渡辺 治登(木曾西)	◎林 大太郎(長商) 安藤義太郎(野沢北) ○甲崎 元(長野) 佐々木利平(県ヶ丘) 鶴川 千里(飯田)	◎小林 信義(飯山北) 橋詰 武入(上田) ○宮本 金作(長商) 有賀 竜之(池田) 水田 敦郎(駒工)	◎吉村 七藏(岡南) 井出 宗雄(南実) 石田 和増(長商) 石川 繁美(大町) ○鈴木 忠彦(岡南)	○臼井 始(深志)	◎山田 石男(県ヶ丘) 竹内 康雄(野沢北) 清水 泰雄(屋代) ○小口 正行(深志) 小出 勉(高遠)

表3-3

種年度	弓道	相撲	水泳	スキー	スケート	硬式庭球	研究調査
44	◎千村 保(卑月) 柳沢 順一(小諸商) 暮沼 一馬(屋代) 矢彦沢 皖(松商) ◎柴 韓治郎(伊那北)	◎西沢 久宣(木曾西) ◎渡辺 治登(木曾西)	◎林 大太郎(長商) 安藤義太郎(野沢北) ◎甲崎 元(長野) 佐々木利平(県ヶ丘) 鶴川 千里(飯田)	◎小林 信義(飯山北) 橋詰 武人(上田北) ◎千葉 九吾(飯山北) ◎斉藤 節朗(飯山南) 山田 栄一郎(飯山照田) 有賀 竜之(池田工) 水田 敦郎(駒工)	◎吉村 七藏(須坂) 井出 宗雄(南実) 石田 和増(長商) 石川 繁美(大町) ◎鈴木 忠彦(丘南)	◎臼井 始(深志)	◎山田 石男(県ヶ丘) 竹内 康雄(野沢北) ◎清水 義雄(屋代) 平林 章(大町北) 上島 大(辰野)
45	◎千村 保(伊那北) 馬場 順一(上田) 宮崎今朝一(篠ノ井) 高橋 恒夫(深志) ◎柴 韓治郎(伊那北)	◎西沢 久宣(木曾西) ◎上條 理昭(木曾西)	◎林 大太郎(長商) 山岸 道弘(上田) ◎甲崎 元(長野) 土崎 義衛(松南) 鶴川 千里(飯田)	◎徳竹 英夫(飯山南) 橋詰 武人(上田北) 集田 万喜雄(飯山北) ◎斉藤 節朗(飯山南) 山田 栄一郎(飯山照田) 有賀 竜之(池田工) 宮崎 国躬(諏訪)	◎金川 祐(南実) 井出 宗雄(南実) 石田 和増(長商) 降旗 教彦(塩尻) ◎牛山 雅弘(清陵)	◎平林 六弥(深志) 安江 昭祐(上田) 臼井 始(深志)	◎山田 石男(県ヶ丘) ◎竹内 康雄(野沢北) 小出 勉(中野) 栗林 茂(深志) 鈴木 忠彦(岡南)
46	◎千村 保(伊那北) 馬場 順一(上田) 宮崎今朝一(篠ノ井) 矢彦沢 皖(松商) ◎柴 韓治郎(伊那北)	◎西沢 久宣(木曾西) ◎丸山 紘一郎(木曾西)	◎林 大太郎(長商) 山岸 道弘(上田) ◎甲崎 元(長野) 土崎 義衛(松南) 鶴川 千里(飯田)	◎古田 正直(飯山北) 橋詰 武人(上田北) ◎集田 万喜雄(飯山北) 有賀 竜之(池田工) 宮崎 国躬(諏訪)	◎金川 祐(南実) 井出 宗雄(南実) 石田 和増(長商) 降旗 教彦(塩尻) ◎牛山 雅弘(清陵)	◎平林 六弥(深志) 坂口 浩(上田) 臼井 始(深志)	◎中村 博二(長野野) ◎竹内 康雄(野沢北) 若林 秀司(中野) 栗林 茂(深志) 鈴木 忠彦(岡南)
47	◎馬場 重人(岡谷東) 馬場 順一(上田) 宮崎今朝一(篠ノ井) ◎矢彦沢 皖(松商) 矢彦沢 皖(松商)	◎新井 通明(木曾西) ◎山田 栄一郎(")	◎宮沢 哲(長吉田) ◎甲崎 元(長野野) 小宮山多賀文(染谷丘) 土崎 義衛(松商) 鶴川 千里(飯田)	◎古田 正直(飯山北) ◎集田 万喜雄(") 小池 宗男(飯山南) 富井 捷人(下高農) 小出 徹治郎(飯山照田) 橋詰 武人(上田北) 有賀 竜之(池田工) 北沢 忠義(諏訪)	◎北原 真人(岡谷南) 石田 和増(長吉田) 井出 宗夫(佐久実) 降旗 教彦(塩尻) ◎牛山 雅弘(岡谷南)	◎小原 元亨(深志) ◎丸山 叔孝(県ヶ丘)	◎中村 博二(長野野) ◎竹内 康雄(野沢北) 大竹 義雄(須坂野) 原 哲夫(長野野) 鮎田 次雄(長野野) 栗林 茂(蘇南) 小出 勉(上伊農)
48	◎馬場 重人(伊那北) 青木 邦一(小諸商) 宮崎今朝一(篠ノ井) 矢彦沢 皖(松商) ◎柴 韓治郎(伊那北)	◎新井 通明(木曾西) ◎山田 栄一郎(")	◎宮沢 哲(長吉田) ◎甲崎 元(長野野) 小宮山多賀文(染谷丘) 土崎 義衛(松商) 鶴川 千里(飯田)	◎古田 正直(飯山北) ◎集田 万喜雄(") 小池 宗男(飯山南) 富井 捷人(下高農) 小出 徹治郎(飯山照田) 橋詰 武人(上田北) 有賀 竜之(池田工) 北沢 忠義(諏訪)	◎北原 真人(岡谷南) 石田 和増(長吉田) 井出 宗夫(佐久実) 降旗 教彦(塩尻) ◎牛山 雅弘(岡谷南)	◎小原 元亨(深志) ◎丸山 叔孝(県ヶ丘)	◎中村 博二(長野野) ◎竹内 康雄(野沢北) 大竹 義雄(須坂野) 原 哲夫(長野野) 鮎田 次雄(長野野) 栗林 茂(蘇南) 小出 勉(上伊農)
49	◎馬場 重人(伊那北) 青木 邦一(小諸商) 宮崎今朝一(篠ノ井) 茶谷 義男(塩尻) ◎柴 韓治郎(伊那北)	◎新井 通明(木曾西) ◎樋 英雄(")	◎池田 邦夫(卑月) ◎中村 郷児(坂城) 西沢 久雄(城南) 土崎 義衛(松南) 鶴川 貴宏(飯田)	◎北沢 高明(飯山北) ◎集田 万喜雄(") 橋詰 武人(上田北) 有賀 竜之(南安農) 北沢 忠義(諏訪)	◎木内 一雄(南佐実) 遠藤 六郎(松代) 井出 宗夫(南佐実) 降旗 教彦(池田工) ◎牛山 雅弘(岡谷南)	◎栗田 寛(県ヶ丘) ◎丸山 叔孝(")	◎佐藤 穂次(長野野) ◎竹内 康雄(野沢北) 菊地 光雄(長野野) 鮎田 次雄(長野野) 斎藤 節朗(") 栗林 茂(蘇南) 上島 大(辰野)
50	◎馬場 重人(伊那北) 青木 邦一(小諸商) 宮崎今朝一(篠ノ井) 茶谷 義男(塩尻) ◎柴 韓治郎(伊那北)	◎新井 通明(木曾西) ◎樋 英雄(")	◎池田 邦夫(卑月) ◎中村 郷児(坂城) 西沢 久雄(城南) 土崎 義衛(松南) 鶴川 貴宏(飯田)	◎北沢 高明(飯山北) ◎集田 万喜雄(") 橋詰 武人(上田北) 有賀 竜之(南安農) 北沢 忠義(諏訪)	◎木内 一雄(南佐実) 遠藤 六郎(松代) 井出 宗夫(南佐実) 降旗 教彦(池田工) ◎牛山 雅弘(岡谷南)	◎栗田 寛(県ヶ丘) 菅 茂(東部) ◎丸山 叔孝(豊科)	◎佐藤 穂次(長野野) ◎竹内 康雄(野沢北) 深井 真一(長野野) 鮎田 次雄(長野野) 横川 勉(松本工) 栗林 茂(長野野) 上島 大(辰野)
51	◎小松 武夫(塩尻) 宮崎今朝一(篠ノ井) 青木 邦一(小諸商) ◎茶谷 義男(塩尻) 小林 正人(諏訪)	◎新井 通明(木曾西) ◎樋 英雄(")	◎池田 邦夫(坂城) ◎中村 郷児(坂城) 西沢 久雄(城南) 土崎 義衛(松南) 鶴川 貴宏(飯田)	◎北沢 高明(飯山北) ◎集田 万喜雄(飯山南) 橋詰 武人(上田北) 山田 栄一郎(白馬) 北沢 忠義(諏訪)	◎木内 一雄(小海) 井出 忠順(北部) 井出 宗雄(軽井沢) 降旗 教彦(池田工) ◎牛山 雅弘(岡谷南)	◎横田 邦男(松本工) 遠藤 六郎(松代) 菅 茂(東部) ◎丸山 叔孝(豊科) 町田 暁世(駒工)	◎佐藤 穂次(長野野) ◎竹内 康雄(野沢北) 深井 真一(長野野) 鮎田 次雄(長野野) 横川 勉(松本工) 栗林 茂(長野野) 松沢 明(清陵)
52	◎飯田 正夫(篠ノ井) ◎宮崎今朝一(") 中曾根 浩(上田東) 矢彦沢 皖(松商) 小林 正人(諏訪)	◎牧野 嘉雄(山林) ◎柿崎庫之助(") 丸山 峻一(長野東) 原田 行夫(丸子実)	◎池田 邦夫(坂城) 西沢 光一(卑月) ◎西沢 久雄(城南) 巖川 貴宏(松商) 鶴川 貴宏(")	◎北沢 高明(飯山北) ◎集田 万喜雄(飯山南) 細田 完二(岩村田) 林 孟彦(大町) 北沢 忠義(諏訪)	◎夏目 恒雄(軽井沢) 尾田美恵子(長文化) 井出 宗雄(軽井沢) 降旗 教彦(池田工) ◎牛山 雅弘(岡谷南)	◎轟 義豊(豊科) 遠藤 六郎(松代) 菅 茂(東部) ◎丸山 叔孝(豊科) 町田 暁世(駒工)	◎丸山 保彦(長野野) 米沢 右博(長野野) 石坂 喜久雄(長野野) ◎鮎田 次雄(長野野) 竹内 康雄(野沢北) 横川 勉(県ヶ丘) 北沢 勝昭(茅野)
53	◎飯田 正夫(篠ノ井) ◎宮崎今朝一(") 中曾根 浩(上田東) 矢彦沢 皖(松商) 小林 正人(諏訪)	◎牧野 嘉雄(山林) ◎柿崎庫之助(") 土屋 和好(丸子実)	◎池田 邦夫(坂城) 西沢 光一(卑月) ◎西沢 久雄(上城南) 藤原 敏行(南安農) ◎斉藤 重夫(茅野)	◎関谷 一郎(飯山北) ◎集田 万喜雄(飯山南) 細田 完二(岩村田) 林 孟彦(大町) 北沢 忠義(諏訪)	◎夏目 恒雄(軽井沢) 尾田美恵子(長文化) 柏木 喜雄(野沢北) 降旗 教彦(池田工) ◎牛山 雅弘(岡谷南)	◎酒井 清(松代) ◎遠藤 六郎(松代) 菅 茂(東部) 丸山 叔孝(鎌ヶ崎) 町田 暁世(駒工)	◎栗林 寛(長野野) ◎宮沢 源太郎(卑月) 鮎田 次雄(長野野) 竹内 康雄(野沢北) 村上 茂登(深志) 北沢 勝昭(茅野)

表3—4

種年目度	弓道	相撲	水泳	スキー	スケート	硬式庭球	研究調査
54	◎塚田 元好(篠ノ井) ○宮崎今朝一(〃) 宮原 泰助(千曲) 矢彦沢 皖(松商) 高島 成中(飯田女)	◎清水 吉平(山林) ○柿崎庫之助(〃) 土屋 和好(丸子実)	◎草間 由雄(南安農) 西沢 光一(阜月) ○西沢 久雄(城南) 藤原 敏行(南安農) 齊藤 重史(茅野)	◎関谷 一郎(飯山北) ○串田万喜雄(飯山南) 細田 完二(岩村田) 林 孟彦(大町) 北沢 忠義(諏訪実)	◎夏目 恒雄(東部) 尾田美恵子(長文化) 柏木 喜雄(野沢北) 降旗 教彦(池田工) ○牛山 雅弘(岡谷南)	◎酒井 清(松代) ○遠藤 六郎(〃) 菅 茂(東部) 丸山 叔孝(蟻ヶ崎) 平沢 浩(弥生丘)	◎藤森 慎(県ヶ丘) ○宮沢源太郎(阜月) 竹内 康雄(野沢北) 村上 茂登(深志) 横川 勉(県ヶ丘) 北沢 勝昭(茅野)
55	◎塚田 元好(篠ノ井) ○宮崎今朝一(〃) 宮原 泰助(千曲) 矢彦沢 皖(松商) 高島 成中(飯田女)	◎清水 吉平(山林) ○柿崎庫之助(〃) 飯沼 尚隆(丸子実)	◎草間 由雄(南安農) 市岡 洋一(長野東) 腰原 正明(北佐農) ○藤原 敏行(南安農) 西村 昭男(茅野)	◎藤原 俊英(白馬) 池田 穰(下高農) 細田 完二(岩村田) ○林 孟彦(大町) 北沢 忠義(諏訪実)	◎浜 栄助(富士見) 尾田美恵子(長文化) 細田 完二(岩村田) ○降旗 教彦(池田工) 伊藤 勇(茅野)	◎酒井 清(松代) ○遠藤 六郎(〃) 菅 茂(東部) 丸山 叔孝(蟻ヶ崎) 水田 敦郎(飯田)	◎藤森 慎(県ヶ丘) 山岸 重夫(長野商) 阿部 隆(小海) 村上 茂登(深志) ○北沢 勝昭(茅野)
56	◎小山 洋(長野西) ○斉藤 節朗(〃) 宮原 泰助(千曲) 矢彦沢 皖(松商) 高島 成中(飯田女)	◎古川 彦次(山林) ○柿崎庫之助(〃) 飯沼 尚隆(丸子実)	◎御子柴英雄(南安農) 市岡 洋一(長野東) 腰原 正明(北佐農) ○藤原 敏行(南安農) 瀬志本 潔(茅野)	◎藤原 俊英(白馬) 池田 穰(下高農) 細田 完二(岩村田) ○林 孟彦(大町) 北沢 忠義(岡谷東)	◎市村順太郎(軽井沢) 〃 菅 茂(軽井沢) ○降旗 教彦(弥生丘) 〃	◎市村順太郎(軽井沢) ○遠藤 六郎(松代) 菅 茂(軽井沢) 丸山 叔孝(蟻ヶ崎) 平沢 浩(弥生丘)	◎藤森 慎(県ヶ丘) 山岸 重夫(長野商) 阿部 隆(小海) 村上 茂登(深志) ○北沢 勝昭(茅野)
57	◎浜 栄助(長野西) ○斉藤 節朗(〃) 碓井 孝之(小諸) 矢彦沢 皖(松商) 高島 成中(飯田女)	◎古川 彦次(山林) ○柿崎庫之助(〃)	◎御子柴英雄(南安農) 齊藤 重夫(須坂東) 腰原 正明(北佐農) ○藤原 敏行(南安農) 瀬志本 潔(茅野)	◎北村 純(白馬) 古沢 金藏(飯山南) 細田 完二(岩村田) ○林 孟彦(白馬) 北沢 忠義(諏訪実)	◎柳沢 全三(軽井沢) 尾田美恵子(長文化) 細田 完二(岩村田) 降旗 教彦(大町) ○牛山 雅弘(岡谷南)	◎柳沢 全三(軽井沢) ○遠藤 六郎(松代) 菅 茂(軽井沢) 白木 健助(松商) 平沢 浩(弥生丘)	◎市村純太郎(県太郎) 松橋 昌夫(須坂商) 村上 茂登(深志) 齊藤 明人(美須々) ○北沢 勝昭(茅野)
58	◎浜 栄助(長野西) ○斉藤 節朗(〃) 碓井 孝之(小諸) 矢彦沢 皖(松商) 高島 成中(飯田女)	◎橋渡 良知(山林) ○柿崎庫之助(〃)	◎御子柴英雄(南安農) 齊藤 重夫(須坂東) 腰原 正明(北佐農) ○藤原 敏行(南安農) 溝口 正孝(風越)	◎北村 純(白馬) 古沢 金藏(飯山南) 細田 完二(岩村田) ○林 孟彦(白馬) 北沢 忠義(諏訪実)	◎柳沢 全三(軽井沢) 尾田美恵子(長文化) 細田 完二(岩村田) 降旗 教彦(大町) ○牛山 雅弘(岡谷南)	◎柳沢 全三(軽井沢) ○遠藤 六郎(松代) 菅 茂(軽井沢) 白木 健助(松商) 水田 敦郎(飯田)	◎平松 剛(長吉田) 松橋 昌夫(須坂商) 村上 茂登(深志) 齊藤 明人(美須々) ○北沢 勝昭(茅野)
59	◎浜 栄助(長野西) ○斉藤 節朗(〃) 碓井 孝之(小諸) 矢彦沢 皖(松商) 高島 成中(飯田女)	◎橋渡 良知(山林) ○柿崎庫之助(〃) 池田 雅弘(丸子実)	◎金井 福雄(南安農) 齊藤 重夫(須坂東) 腰原 正明(上田東) ○藤原 敏行(南安農) 溝口 正孝(風越)	◎松沢 徳雄(白馬) ○林 孟彦(〃) 古沢 金藏(飯山南) 富松 健夫(染谷丘) 北沢 忠義(岡谷東)	◎柳沢 全三(軽井沢) ○牛山 雅弘(岡谷南) 尾田美恵子(文大長) 柏木 喜雄(野沢北) 降旗 教彦(大町)	◎鈴木 脩(田川) ○遠藤 六郎(松代) 菅 茂(軽井沢) 白木 健助(松商) 水田 敦郎(飯田)	◎平松 剛(長吉田) ○阿部 隆(小海) 塚田 修三(飯山北) 宮入 利満(大町北) 藤本 忠彦(飯田)
60	◎中山 博(長野西) ○斉藤 節朗(〃) 碓水 孝之(小諸) 矢彦沢 皖(松商) 北原 領一(弥生丘)	◎橋渡 良知(山林) ○柿崎庫之助(〃) 池田 雅弘(丸子実)	◎武井 佳朝(筑摩) 齊藤 重夫(須坂東) 腰原 正明(上田東) ○藤原 敏行(筑摩) 溝口 正孝(風越)	◎松沢 徳雄(白馬) ○林 孟彦(〃) 古沢 金藏(飯山南) 富松 健夫(染谷丘) 北沢 忠義(諏訪実)	◎赤松 光雄(軽井沢) ○牛山 雅弘(岡谷南) 尾田美恵子(文大長) 柏木 喜雄(岩村田) 降旗 教彦(筑摩)	◎赤松 光雄(軽井沢) ○遠藤 六郎(松代) 菅 茂(軽井沢) 白木 健助(松商) 水田 敦郎(飯田)	◎平松 剛(長吉田) ○阿部 隆(小海) 塚田 修三(飯山北) 宮入 利満(大町北) 藤本 忠彦(飯田)
61	◎中山 博(長野西) ○斉藤 節朗(〃) 碓水 孝之(小諸) 矢彦沢 皖(松商) 北原 領一(弥生丘)	◎橋渡 良知(山林) ○柿崎庫之助(〃) 池田 雅弘(丸子実)	◎武井 佳朝(筑摩) 齊藤 重夫(須坂東) 腰原 正明(上田東) ○藤原 敏行(筑摩) 溝口 正孝(風越)	◎松沢 徳雄(白馬) ○林 孟彦(〃) 古沢 金藏(飯山南) 富松 健夫(染谷丘) 宮沢 誠(辰野)	◎赤松 光雄(軽井沢) ○牛山 雅弘(二葉) 尾田美恵子(文大長) 柏木 喜雄(岩村田) 降旗 教彦(筑摩)	◎赤松 光雄(軽井沢) ○遠藤 六郎(松代) 久保田良明(上田東) 白木 健助(松商) 水田 敦郎(飯田)	◎平松 剛(長吉田) ○阿部 隆(小海) 中村 一幸(更級農) 宮入 利満(大町北) 藤本 忠彦(飯田)
62	◎中山 博(長野西) ○斉藤 節朗(長野西) 内藤正人(北佐久農業) 矢彦沢 皖(松商学園) 北原 領一(弥生ヶ丘)	◎二木 重光(木曾山林) 池田 雅紀(丸子実業) ○柿崎庫之助(木曾山林)	◎松沢 徳雄(松本筑摩) 齊藤 重夫(犀峽) 西沢 久雄(上田西) ○藤原 敏行(松本筑摩) 溝口 正孝(飯田風越)	◎松沢 徳雄(松本筑摩) 滝沢嘉夫(下高井農林) 富松 健夫(上田染谷) ○林 孟彦(白馬) 宮沢 誠(辰野)	◎赤松 光雄(軽井沢) 尾田美恵子(文大長野) 柏木 喜雄(岩村田) 降旗 教彦(松本筑摩) ○牛山 雅弘(諏訪二葉)	◎赤松 光雄(軽井沢) ○遠藤 六郎(松代) 久保田良明(上田東) 白木 健助(松商学園) 水田 敦郎(飯田)	◎高橋 重造(長野吉田) 中村 一幸(更級農) ○阿部 隆(小海) 猪又 正雄(大町) 藤本 忠彦(飯田)
63	◎中山 博(長野西) ○斉藤 節朗(長野西) 内藤正人(北佐久農業) 矢彦沢 皖(松商学園) 北原 領一(弥生ヶ丘)	◎二木 重光(木曾山林) ○柿崎庫之助(木曾山林)	◎松沢 徳雄(松本筑摩) 西沢 光一(篠ノ井) 西沢 久雄(上田西) ○藤原 敏行(松本筑摩) 溝口 正孝(飯田風越)	◎松沢 徳雄(松本筑摩) 滝沢嘉夫(下高井農林) 富松 健夫(上田染谷) ○林 孟彦(白馬) 宮澤 誠(辰野)	◎草間 文男(軽井沢) 尾田美恵子(文大長野) 柏木 喜雄(岩村田) 井出 宗雄(軽井沢) 伊藤 勇(軽井沢) 降旗 教彦(松本筑摩) ○牛山 雅弘(諏訪二葉)	◎小林 健治(長野女子) ○遠藤 六郎(松代) 久保田良明(上田東) 浅輪 賢治(豊科) 水田 敦郎(飯田)	◎小林 仁(諏訪二葉) 海川 章(長野吉田) ○阿部 隆(小海) 井口 直仁(豊科) 藤本 忠彦(飯田)

表3—5

種 年 目 度	弓 道	相 撲	水 泳	ス キ ー	ス ケ ー ト	硬 式 庭 球	研 究 調 査
平成元年	◎山岸 治雄(長野西) ○斉藤 節郎(長野西) 内藤正人(北佐久農業) 矢彦沢 皖(松商学園) 北原 領一(弥生ヶ丘)	◎二本 重光(木曾山林) 奈良 重秋(北 部) 池田 雅紀(丸子実業) ○柿崎庫之助(木曾山林)	◎酒井 清(上田西) 西沢 光一(篠ノ井) ○西沢 久雄(上田西) 藤原 敏行(松本筑摩) 溝口 正孝(飯田風越)	◎木下 金藏(白 馬) 滝沢嘉夫(下高井農林) 富松健夫(上田染谷丘) ○林 孟彦(白 馬) 宮沢 誠(辰 野)	◎草間 文男(軽井沢) 尾田美恵子(文大長野) 大工原陽一(白 田) 藤牧 克(池田工業) ○牛山 雅弘(諏訪二業)	◎小林 健治(長野女子) ○遠藤 六郎(松 代) 久保田良明(上田東) 浅輪 賢治(豊 科) 水田 敦郎(弥生ヶ丘)	◎小林 仁(諏訪二業) 海川 章(長野吉田) 阿部 隆(小 海) 井口 直仁(豊 科) ○藤本 忠彦(飯 田)
2	◎戸田 正明(屋 代) ○小林 武(屋 代) 内藤正人(北佐久農業) 北原 領一(弥生ヶ丘) 矢彦沢 皖(松商学園)	◎二本 重光(木曾山林) 奈良 重秋(北 部) 池田 雅紀(丸子実業) ○柿崎庫之助(木曾山林)	◎酒井 清(上田西) 西沢 光一(篠ノ井) ○西沢 久雄(上田西) 溝口正幸(上伊那農業) 藤原 敏行(松本筑摩)	◎木下 金藏(白 馬) 滝沢嘉夫(下高井農林) 富松健夫(上田染谷丘) 宮澤 誠(辰 野) ○林 孟彦(白 馬)	◎友野 稔(軽井沢) 尾田美恵子(文大長野) 大工原陽一(白 田) ○牛山 雅弘(諏訪二業) 藤巻 克(池田工業)	◎塩澤 久夫(松 代) ○遠藤 六郎(松 代) 久保田良昭(上田東) 水田 敦郎(弥生ヶ丘) 浅輪 賢治(豊 科)	◎小林 仁(諏訪二業) 鈴木 賢一(長野西) ○阿部 隆(小 海) 藤本 忠彦(飯 田) 小島喜美雄(大 町)
3	◎小林 武(屋 代) ○小林 武(屋 代) 内藤正人(北佐久農業) 北原 領一(弥生ヶ丘) 矢彦沢 皖(松商学園)	◎門原 満雄(木曾山林) 奈良 重秋(北 部) ○柿崎庫之助(木曾山林)	◎酒井 清(上田西) 西沢 光一(松 代) ○西沢 久雄(上田西) 溝口正孝(上伊那農業) 藤原 敏行(松本筑摩)	◎笹岡 道夫(白 馬) 滝沢嘉夫(下高井農林) 富松健夫(上田染谷丘) 宮澤 誠(辰 野) ○林 孟彦(白 馬)	◎友野 稔(軽井沢) 尾田美恵子(文大長野) 大工原陽一(白 田) ○牛山 雅弘(諏訪二業) 藤巻 克(池田工業)	◎塩沢 久夫(松 代) ○遠藤 六郎(長野南) 久保田良昭(上田東) 水田 敦郎(弥生ヶ丘) 浅輪 賢治(豊 科)	◎竹内 長生(諏訪二業) 鈴木 賢一(篠ノ井) ○阿部 隆(野沢北) 藤本 忠彦(飯 田) 小島喜美雄(大 町)
4	◎田中 哲明(篠ノ井) ○小林 武(篠ノ井) 山浦 博(白 田) 山口 安彦(赤 穂) 矢彦沢 皖(松商学園)	◎塩沢 久夫(丸子実業) 奈良 重秋(北 部) ○山本 元和(丸子実業) 巻山 圭一(木曾山林)	◎酒井 清(上田西) 山下 純一(長野西) ○西沢 久雄(上田西) 溝口正孝(上伊那農業) 藤原 敏行(松本筑摩)	◎笹岡 道夫(白 馬) 滝沢嘉夫(下高井農林) 富松健夫(上田染谷丘) 過当 輝夫(箕輪工業) ○林 孟彦(白 馬)	◎友野 稔(軽井沢) 尾田美恵子(文大長野) 井出 敏彦(小 海) ○牛山 雅弘(諏訪二業) 藤巻 克(池田工業)	佐野 敬一(長野南) ○遠藤 六郎(長野南) 久保田良明(上田東) 水田 敦郎(弥生ヶ丘) 鈴木 宗夫(松本松南)	◎藤沢 愛信(上 田) 清水 博(須 坂) ○阿部 隆(野沢北) 城田 忠承(伊那北) 小島喜美雄(大 町)
5	◎竹内 長生(篠ノ井) ○小林 武(篠ノ井) 山浦 博(白 田) 山口 安彦(赤 穂) 矢彦沢 皖(松商学園)	◎唐木 孝之(北 部) ○奈良 重秋(北 部) 柿崎庫之助(木曾山林)	◎酒井 清(上田西) 山下 純一(長野西) ○西沢 久雄(上田西) 溝口正孝(上伊那農業) 藤原 敏行(松本筑摩)	◎笹岡 道夫(白 馬) 秋山 兼範(飯山南) 富松健夫(上田染谷丘) 加藤 輝夫(箕輪工業) ○林 孟彦(白 馬)	◎友野 稔(軽井沢) 尾田美恵子(文大長野) 井出 敏彦(小 海) ○牛山 雅弘(諏訪二業) 藤巻 克(池田工業)	◎青島 三郎(長野西) ○遠藤 六郎(長野南) 久保田良明(上田東) 水田 敦郎(弥生ヶ丘) 鈴木 崇夫(松本松南)	◎藤沢 愛信(上 田) 清水 博(須 坂) ○阿部 隆(野沢北) 城田 忠承(伊那北) 小島喜美雄(大 町)
6	◎竹内 長生(篠ノ井) ○小林 武(篠ノ井) 山浦 博(白 田) 山口 安彦(赤 穂) 山田雅亮(美須ヶ丘)	◎三井 晋(北 部) ○奈良 重秋(北 部) 巻山 圭一(木曾山林)	◎酒井 清(上田西) 山下 純一(長野西) ○西沢 久雄(上田西) 溝口正孝(上伊那農業) 守矢 秀明(塩 尻)	◎笹岡 道夫(中 野) 佐藤 清光(飯山南) ○富松健夫(上田染谷丘) 加藤 輝夫(箕輪工業) 小林 敏彦(大 町)	◎竹松 杉人(軽井沢) 尾田美恵子(文大長野) 土屋 幸彦(佐 久) ○牛山 雅弘(諏訪二業) 藤巻 克(池田工業)	◎青島 三郎(長野南) ○遠藤 六郎(長野南) 久保田良明(上田東) 牧島 鉄(諏訪二業) 鈴木 崇夫(松本松南)	◎藤沢 愛信(上 田) 清水 博(須 坂) 阿部 隆(野沢北) 白鳥 正(赤 穂) 小島喜美雄(大 町)
7	◎竹内 長生(篠ノ井) ○小林 武(篠ノ井) 山浦 博(白 田) 山口 安彦(赤 穂) 山田雅亮(美須ヶ丘)	◎三井 晋(北 部) ○奈良 重秋(北 部) 巻山 圭一(木曾山林)	◎酒井 清(上田西) 山下 純一(長野西) ○西沢 久雄(上田西) 溝口正孝(上伊那農業) 守矢 秀明(塩 尻)	◎中山 賢(飯山南) 佐藤 清光(飯山南) ○富松健夫(上田染谷丘) 加藤 輝夫(箕輪工業) 小林 敏彦(大 町)	◎竹松 杉人(軽井沢) 尾田美恵子(文大長野) 土屋 幸彦(佐久長聖) ○牛山 雅弘(諏訪二業) 藤巻 克(池田工業)	◎上原 孝(長野南) ○遠藤 六郎(長野南) 久保田良明(上田東) 牧島 鉄(諏訪二業) 鈴木 崇夫(松本松南)	◎藤沢 愛信(上 田) 清水 博(須 坂) 阿部 隆(野沢北) 白鳥 正(赤 穂) 小島喜美雄(大 町)
8	◎三井 晋(篠ノ井) ○小林 武(篠ノ井) 山浦 博(白 田) 北島 晋(諏訪二業) 山田 雅亮(池田工業)	◎清水 彦治(北 部) ○奈良 重秋(北 部) 柿崎庫之助(木曾山林)	◎竹松 杉人(赤 穂) 山下 純一(長野西) 西沢 久雄(上田西) ○溝口 正孝(赤 穂) 伊藤 道(山 川)	◎中山 賢(飯山南) 佐藤 清光(飯山南) ○富松健夫(上田染谷丘) 加藤 輝夫(箕輪工業) 中島 悦男(大 町)	◎小山 隆(軽井沢) 登玉 貴子(松 代) 土屋 幸彦(佐久長聖) ○牛山 雅弘(諏訪二業) 藤巻 克(大町北)	◎上原 孝(長野南) ○遠藤 六郎(長野南) 久保田良明(上田東) 百瀬 仁志(伊那北) 下岡 隆志(塩 尻)	◎海沼 清美(長野) ○清水 博(須 坂) 阿部 隆(野沢北) 大和 政治(富士見) 小島喜美雄(大 町)
9	◎山口 利幸(長野南) ○古沢 金藏(中野西) 山浦 博(白 田) 北島 晋(諏訪二業) 山田 雅亮(池田工業)	◎萩原 孝(豊 科) 中村 一幸(更級農業) ○西村 敏文(豊 科)	◎竹松 杉人(赤 穂) 内山 博幸(中野西) 西沢 久雄(上田西) ○溝口 正孝(赤 穂) 伊藤 道與(田 川)	◎宮坂 正篤(飯山南) 佐藤 清光(飯山南) 八田 茂敏(中野実業) ○富松 健夫(東 部) 加藤 輝夫(箕輪工業) 中島 悦男(大 町)	◎小山 隆(軽井沢) 登玉 貴子(松 代) 土屋 幸彦(佐久長聖) 吉沢 規至(軽井沢) ○降旗 教彦(岡谷東) 藤巻 克(大町北)	◎山口 利幸(長野南) ○遠藤 六郎(長野南) 高沢 茂吉(軽井沢) 平出 智也(諏訪二業) 下岡 隆志(塩 尻)	◎本山 綱規(長野) ○清水 博(須 坂) 阿部 隆(野沢北) 為田 勝英(諏訪二業) 望月 勝夫(豊 科)

表4-1

種 年 目 度	漕	艇	登	山	レスリング	定・通	ホッケー	フェンシング	ウェイトリフティング
44	○牛山 正雄(清 陵)		丸山 彰(大町北)		小林 靖(小諸商)				
45	◎三村 秀夫(清 陵) ○牛山 正雄(")		◎小松 孝志(大町) 西沢 正尹(野沢北) 和田 圭喜(須坂東) ○丸山 彰(大町北) 剣持 二郎(阿 智)						
46	◎村上 満夫(清 陵) ○牛山 正雄(")		◎小松 孝志(大町) 西沢 正尹(野沢北) 和田 圭喜(須坂東) ○丸山 彰(大町北) 剣持 二郎(阿 智)	◎関 夢彦(小諸商) ○小林 靖(")					
47	◎村上 満夫(清 陵) ○牛山 正雄(")		◎片山 寛(大町北) ○丸山 彰(")	◎関 夢彦(小諸商) ○小林 靖(")	◎坂本 勝三(須坂園) ○上条 利昭(筑 摩)				
48	◎村上 満夫(清 陵) ○牛山 正雄(")		◎片山 寛(大町北) ○丸山 彰(")	◎関 夢彦(県教委) ○小林 靖(小諸商)	◎坂本 勝三(須坂園) ○上条 利昭(筑 摩)				
49	◎北原 真人(岡谷南) ○降旗 郁司(")		◎片山 寛(大町北) ○丸山 彰(")	◎佐々木利夫(小 諸) ○小林 靖(小諸商)	◎吉村 七蔵(筑 摩) ○上条 利昭(")	◎横田 邦男(駒 工) ○水田 敦郎(")	◎吉川 哲夫(箕輪工) ○岡村 経好(軽井沢)	◎遠藤 清仁(豊 科) ○榑原 進哉(松 商)	
50	◎小林 弘一(岡谷南) ○降旗 郁司(")		◎片山 寛(大町北) ○丸山 彰(")	◎高野 禎二(小 諸) ○小林 靖(小諸商)	◎吉村 七蔵(筑 摩) ○小林 秀人(")	◎原 和海(駒 工) ○水田 敦郎(")	◎吉川 哲夫(箕輪工) ○岡村 経好(軽井沢)	◎遠藤 清仁(豊 科) ○榑原 進哉(松 商)	
51	◎小菅 重男(清 陵) ○中山 正雄(")		◎窪田 耕平(大町北) ○丸山 彰(")	◎高野 禎二(小 諸) ○小林 靖(小諸商)	◎吉村 七蔵(筑 摩) ○小林 秀人(")	◎原 和海(駒 工) ○水田 敦郎(")	◎吉川 哲夫(箕輪工) ○岡村 経好(軽井沢)	◎轟 義顕(豊 科) ○榑原 進哉(松 商)	
52	◎矢島 五郎(清 陵) ○牛山 正雄(")		◎窪田 耕平(大町北) ○沖 大啓(北 部)	◎高野 禎二(小 諸) ○小林 哲夫(")	◎小菅 重男(筑 摩) ○小林 秀人(")	◎原 和海(駒 工) ○水田 敦郎(")	◎木下 経保(箕輪工) ○田村 経好(軽井沢)	◎瀬川 邦人(松 商) ○榑原 進哉(松 商)	
53	◎守屋 隆輔(岡谷南) ○上島 俊一(")		◎小山 洋(大町北) ○沖 大啓(北 部)	◎黒柳 政幸(小 諸) ○小林 哲夫(")	◎小菅 重男(筑 摩) ○渡辺 治登(")	◎原 和海(駒 工) ○水田 敦郎(")	◎木下 経保(箕輪工) ○田村 経好(軽井沢)	◎瀬川 邦人(松 商) ○榑原 進哉(松 商)	

表4—2

種 年 目 度	漕	艇	登	山	レスリング	定	通	ホッケー	フェンシング	ウェイトリフティング
54	◎守屋 隆輔(岡谷南) ○上島 俊一(")	◎小山 洋(大町北) ○勝野 順(阿南)	◎黒柳 政幸(小諸) ○小林 哲夫(")	◎小菅 重男(筑摩) ○渡辺 治登(")	◎赤羽 富男(中条) ○北原 勲(中条)	◎高橋 博彦(箕輪工) ○田村 経好(軽井沢)	◎瀬川 邦人(松南) ○榎原 進哉(松商)			
55	◎山田 常弥(阿南) ○熊谷 賢二(")	◎平林 照雄(大町北) ○勝野 順(阿南)	◎小林 盤男(小諸) ○小林 哲夫(小諸商)	◎小菅 重男(筑摩) ○平林 洋一(")	◎赤羽 富夫(中条) ○北原 勲(長工)	◎高橋 博彦(箕輪工) ○松沢 公治(")	◎瀬川 邦人(松南) ○榎原 進哉(松商)			
56	◎山田 常弥(阿南) ○熊谷 賢二(")	◎平林 照雄(大町北) ○勝野 順(長姫)	◎小林 盤男(小諸) ○小林 哲夫(小諸商)	◎清水 英樹(筑摩) ○平林 洋一(")	◎吉川 哲夫(駒工) ○北原 勲(長工)	◎川上 輝(箕輪工) ○松沢 公治(")	◎中堀 幸彦(松南) ○榎原 進哉(松商)			
57	◎宮沢 秀治(向陽) ○熊谷 賢二(")	◎山川 廣(大町) ○渡会 意士(深志)	◎酒井 清(小諸商) ○小林 哲夫(")	◎清水 英樹(筑摩) ○平林 洋一(")	◎村松 次郎(赤穂) ○北沢 康吉(")	◎川上 輝(箕輪工) ○福沢 憲一(")	◎中堀 幸彦(松南) ○榎原 進哉(松商)			
58	◎平林 太尾(向陽) ○熊谷 賢二(向陽)	◎山川 廣(大町) ○渡会 意士(深志)	◎酒井 清(小諸商) ○小林 哲夫(")	◎清水 英樹(筑摩) ○平林 洋一(")	◎村松 次郎(赤穂) ○藤澤 則明(")	◎川上 輝(箕輪工) ○福沢 憲一(")	◎中堀 幸彦(松南) ○榎原 進哉(松商)			
59	◎小沢 幸彦(岡谷東) ○伊藤 好穂(岡谷東)	◎太田 信彦(大町北) ○宮本 義彦(中野実) 丸山 純一(野沢南) 渡会 意士(深志) 高橋 清(長姫)	◎滝沢 莊衛(小諸商) 阿部 洋祐(長野南) ○小林 哲夫(小諸商) 田島 春男(下伊農)	◎丸林 一富(筑摩) 岡村 新一(須坂) 小林 俊幸(野沢南) ○平林 洋一(筑摩) 大島 明(長姫)	◎樋口 忠次(駒工) ○吉沢 豊文(")	◎山極 隆久(箕輪工) ○末松 英司(伊那北)	◎中堀 幸彦(松南) ○榎原 進哉(松商)			
60	◎小沢 幸彦(岡谷東) ○伊藤 好穂(岡谷東)	◎太田 信彦(大町北) ○宮本 義彦(中野実) 丸山 純一(野沢南) 渡会 意士(深志) 高橋 清(駒工)	◎滝沢 莊衛(小諸商) 阿部 洋祐(長野南) ○小林 哲夫(小諸商) 田島 春男(下伊農)	◎武井 佳朝(筑摩) 岡村 新一(須坂) 小林 俊幸(野沢南) ○平林 洋一(筑摩) 大島 明(長姫)	◎樋口 忠次(駒工) ○吉沢 豊文(")	◎山極 隆久(箕輪工) ○末松 英司(伊那北)	◎中堀 幸彦(松南) ○榎原 進哉(松商)			
61	◎小田切光威(清陵) ○柳沢 均(")	◎太田 信彦(大町北) 大脇 洋三(長野工) 仁科 利章(野沢北) ○松田 大(蟻ヶ崎) 遠藤八州男(駒工)	◎滝沢 莊衛(筑摩) 幅 国洋(長野南) ○小松 哲夫(小諸商) 田島 春男(松川)	◎武井 佳朝(筑摩) 岡村 新一(須坂) 小林 俊幸(野沢南) ○平林 洋一(筑摩) 大島 明(長姫)	◎小林 幹男(赤穂) ○阿部 金光(")	◎山極 隆久(箕輪工) ○末松 英司(伊那北)	◎中堀 幸彦(松南) ○榎原 進哉(松商)			
62	◎中山 茂(諏訪清陵) ○柳沢 均(諏訪清陵)	◎太田 信彦(大町北) 大脇 洋三(長野工業) 伊沢 利幸(上田) ○松田 大(蟻ヶ崎) 遠藤八州男(駒ヶ根)	◎滝沢 莊衛(小諸商業) 幅 国洋(長野南) ○小林 哲夫(小諸商業) 田島 春男(松川)	◎松沢 徳雄(松本筑摩) 岡村 新一(須坂) 小林 聡子(丸子実業) ○平林 洋一(松本筑摩) 小林 喜夫(箕輪工業)	◎小林 幹男(赤穂) ○豊 富夫(赤穂)	◎相馬今朝一(箕輪工業) ○末松 英司(伊那北)	◎丸林 一富(松商学園) ○榎原 進哉(松商学園) 土屋 善裕(岡谷工業)			
63	◎岡田 善和(岡谷南) ○日岐 正明(岡谷南)	◎太田 信彦(大町北) 中尾 順悟(長野工業) 伊沢 利幸(上田) ○松田 大(蟻ヶ崎) 二村 洋(岡谷工業)	◎酒井 秋雄(小諸商業) 浮須 由実(長野南) ○大池 毅(丸子実業) 田島 春男(松川)	◎松沢 徳雄(松本筑摩) 手塚 一藏(長野吉田) 小林 聡子(丸子実業) ○平林 洋一(松本筑摩) 向山 昇治(飯田長姫)	◎中島 道遥(駒ヶ根) ○有賀 嘉郎(駒ヶ根)	◎相馬今朝一(箕輪工業) ○末松 英司(伊那北)	◎丸林 一富(松商学園) ○榎原 進哉(松商学園) 土屋 善裕(岡谷工業)			

表4-3

種 年 目 度	漕	艇	登	山	レスリング	定	通	ホッケー	フェンシング	ウェイトリフティング
平成元年	◎岡田 善和(岡谷南) ○日岐 正明(岡谷南)		◎小林 俊樹(大町北) 中尾 順悟(長野工業) 伊沢 利幸(上田) 松田 大(白馬) ○高橋 清(駒ヶ根)	◎酒井 秋雄(小諸商業) 浮須 由実(長野南) ○大池 毅(丸子実業) 田島 春男(松川)	◎下平 威彦(松本筑摩) 手塚 一藏(長野吉田) 小林 聡子(丸子実業) ○平林 洋一(松本筑摩) 鈴木 幸夫(諏訪実業)		◎中島 道遥(駒ヶ根) ○有賀 嘉郎(駒ヶ根)	◎相馬今朝一(箕輪工業) ○末松 英司(伊那北)	◎丸林 一富(松商学園) ○榑原 進哉(松商学園) 土屋 善裕(岡谷工業)	
2	◎上平 慶治(向陽) ○松木 代治(向陽)		◎小林 俊樹(大町北) 中尾 順悟(長野工業) 伊沢 利幸(上田) ○高橋 清(駒ヶ根) 矢口 和茂(池田工業)	◎斎藤 博彦(小諸) 浮須 由実(長野南) ○大池 毅(丸子実業) 田島 春男(松川)	◎下平 威彦(松本筑摩) 手塚 一藏(吉田戸隠) 小島 昭英(上田) 安川 裕幸(上伊農) ○平林 洋一(松本筑摩)		◎宮島 昭六(赤穂) ○平林 浩一(赤穂)	◎相馬今朝一(箕輪工業) ○末松 英司(伊那北)	◎丸林 一富(松商学園) 関 善裕(岡谷工業) ○榑原 進哉(松商学園)	
3	◎平島 佐一(向陽) ○松木 代治(向陽)		◎小林 俊樹(大町北) 中尾 順悟(長野工業) 伊沢 利幸(上田) ○高橋 清(駒ヶ根) 飯沼 健樹(松本松南)	◎佐藤 彦雄(小諸) 浮須 由実(長野南) ○大池 毅(丸子実業) 田島 春男(松川)	◎下平 威彦(松本筑摩) 手塚 一藏(吉田戸隠) 小島 昭英(上田) 大和 政治(飯田工業) ○齋藤 安正(松本筑摩)		◎宮島 昭六(赤穂) ○平林 浩一(赤穂)	◎杉崎 斌(箕輪工業) ○末松 英司(伊那北)	◎丸林 一富(松商学園) 関 善裕(岡谷工業) ○榑原 進哉(松商学園)	
4	◎窪田 孝美(岡谷東) ○橋本 智(岡谷東)		◎依田 守史(大町北) 舟田 正志(屋代) ○伊沢 利幸(上田) 杉山 昭久(飯田風越) 飯沼 健樹(松本松南)	◎佐藤 彦雄(小諸) ○大池 毅(小諸) 田島 春男(松川)	◎高見沢俊雄(松本筑摩) 北原 勲(須坂) 小林 哲夫(上田千曲) 赤羽 喜郎(諏訪実業) ○齋藤 安正(松本筑摩)		◎小川 迪彦(駒ヶ根) ○八角 裕之(駒ヶ根)	◎杉崎 斌(箕輪工業) ○末松 英司(伊那北)	◎丸山 一富(松商学園) 田中 寛人(岡谷工業) ○榑原 進哉(松商学園)	
5	◎窪田 孝美(岡谷東) ○橋本 智(岡谷東)		◎依田 守史(大町北) 舟田 正志(北部) ○伊沢 利幸(染谷丘) 杉山 昭久(飯田風越)	◎渡辺 史郎(小諸) ○大池 毅(小諸) 田島 春男(松川)	◎高見沢俊雄(松本筑摩) 北原 勲(須坂) 小林 哲夫(上田千曲) 赤羽 喜郎(諏訪実業) ○齋藤 安正(松本筑摩)		◎小川 迪彦(駒ヶ根) ○八角 裕之(駒ヶ根)	◎杉崎 斌(箕輪工業) ○末松 英司(伊那北)	◎丸林 一富(松商学園) 田中 寛人(岡谷工業) ○榑原 進哉(松商学園)	
6	◎持田 明夫(諏訪清陵) ○天野 修一(諏訪清陵)		◎依田 守史(大町北) ○中尾 順悟(長野工業) 重田 肇(小諸商業) 杉山 昭久(飯田風越)	◎渡辺 史郎(小諸) ○大池 毅(小諸) 田島 春男(松川)	◎高見沢俊雄(松本筑摩) 北原 勲(須坂) 岩下 道範(野沢南) 小川 五男(飯田長姫) ○齋藤 安正(松本筑摩)		◎下平 威彦(赤穂) ○成沢 良昭(赤穂)	◎杉崎 斌(箕輪工業) ○末松 英司(伊那北)	◎丸林 一富(松商学園) 土屋 善裕(岩村田) 田中 寛人(岡谷工業) ○牛山 成剛(松商学園)	
7	◎松下 勲(諏訪清陵) ○天野 修一(諏訪清陵)		◎腰原 基弘(大町北) ○中尾 順悟(長野工業) 重田 肇(上田東) 杉山 昭久(飯田風越) 大西 浩(美須ヶ丘)	◎渡辺 史郎(小諸) ○大池 毅(小諸) 田島 春男(松川) 宮澤 正(下伊農)	◎鴨居 憲雄(松本筑摩) 北原 勲(須坂) 草間 清光(野沢南) 小川 五男(飯田長姫) ○渡辺 治登(松本筑摩)		◎下平 威彦(赤穂) ○井原 宙(赤穂)	◎石田 英勝(箕輪工業) 中川 直昭(阜月) ○末松 英司(伊那北)	◎丸山 一富(松商学園) 土屋 善裕(岩村田) 田中 寛人(岡谷工業) ○牛山 成剛(松商学園)	
8	◎内藤 好昭(岡谷南) ○芦戸 俊雄(岡谷南)		◎腰原 基弘(大町北) 舟田 正志(北部) 重田 肇(上田東) 杉山 昭久(飯田風越) ○大西 浩(美須ヶ丘)	◎渡辺 史郎(小諸商業) ○大池 毅(小諸) 宮澤 正(下伊農)	◎鴨居 憲雄(松本筑摩) 依田 正輝(長野商業) 小林 俊一(小諸商業) 西村 一夫(赤穂) ○渡辺 治登(松本筑摩)		◎木内 一男(駒ヶ根) ○滝沢 真一(駒ヶ根)	◎石田 英勝(箕輪工業) 中川 直昭(阜月) ○末松 英司(伊那北)	◎丸林 一富(松商学園) 土屋 善裕(岩村田) 山中 寛人(岡谷工業) ○牛山 成剛(松商学園)	
9	◎内藤 好昭(岡谷南) 伊藤 和夫(岡谷南)		◎腰原 基弘(大町北) 舟田 正志(北部) 重田 肇(上田東) 杉山 昭久(飯田風越) ○大西 浩(美須ヶ丘)	◎渡辺 史郎(小諸) ○大池 毅(小諸) 宮澤 正(下伊農)	◎鴨居 憲雄(松本筑摩) 依田 正輝(長野商業) 小林 俊一(小諸商業) 西村 一夫(赤穂) ○笠原 孝夫(松本筑摩)		◎木内 一男(駒ヶ根) ○滝沢 真一(駒ヶ根)	◎石田 英勝(箕輪工業) 中川 直昭(阜月) ○末松 英司(箕輪工業)	◎丸林 一富(松商学園) 土屋 善裕(上田千曲) 田中 寛人(岡谷工業) ○牛山 成剛(松商学園)	

表5-1

種 年日 度	自 転 車	ヨ ッ ト	空 手	会 報 編 集	高 体 連 史 編 集
44					
45					
46					
47					
48					
49	◎宮原 弘(南安農) ○穂刈 勇(松商)	◎上条 勲(茅野) ○為田 勝美(〃)			
50	同上	同上			
51	◎岡部善次郎(南安農) ○穂刈 勇(松商)	◎宮内 敏(茅野) ○為田 勝美(〃)			
52					
53		◎山内 大助(茅野) ○為田 勝美(〃)			

表5—2

種 年 目 度	自 転 車	ヨ ッ ト	空 手	会 報 編 集	高 体 連 史 編 集
54	◎小原 元亨(松 商) ○穂刈 勇(")	◎山内 大助(茅 野) ○為田 勝美(")			
55	◎小原 元亨(松 商) ○穂刈 勇(")	◎小松 広(茅 野) ○広瀬 一彦(")		◎藤森 慎(県ヶ丘) 山岸 重夫(長野商) 阿部 隆(小 海) 大川 賢明(鐵ヶ崎) 横川 勉(県ヶ丘) ○村上 茂登(深 志) 北沢 勝昭(茅 野)	
56	◎岩垂 潔(松 商) ○穂刈 勇(")	◎小松 広(茅 野) ○広瀬 一彦(")		◎藤森 慎(県ヶ丘) 山岸 重夫(長野商) 阿部 隆(小 海) 大川 賢明(鐵ヶ崎) 横川 勉(県ヶ丘)	
57	◎岩垂 潔(松 商) ○穂刈 勇(")	◎小松 広(茅 野) ○広瀬 一彦(")		◎市村順太郎(県ヶ丘) 山岸 重夫(長野商) 由井 正己(北 佐農) ○斉藤 明人(美 須々) 北沢 豊治(飯 田)	
58	◎岩垂 潔(松 商) ○穂刈 勇(")	◎原 敏(茅 野) ○広瀬 一彦(")		◎平松 剛(吉 田) ○宮坂 正篤(松 代) 由井 正己(北 佐農) 伊藤 洋治(豊 科) 北沢 豊治(飯 田)	
59	◎岩垂 潔(松 商) ○穂刈 勇(")	◎原 敏(茅 野) ○横河 秀明(")		◎平松 剛(吉 田) ○山田栄一郎(須 坂) 由井 正己(北 佐農) 伊東 洋治(豊 科) 藤本 忠彦(飯 田)	
60	◎丸林 一富(松商学園) ○穂刈 勇(")	◎丑山 登(茅 野) ○横川 秀明(")	(発 足) ◎井上 昭英(北 部) ○根橋 寛(") 佐々木俊一郎(野沢南) 笠原 哲雄(松 商) 久保田 元(飯 田)	◎平松 剛(吉 田) ○山田栄一郎(須 坂) 細田 完二(岩 村田) 伊東 洋治(豊 科) 藤本 忠彦(飯 田)	◎平松 剛(吉 田) ○清水 博(須 坂) 若林 秀司(屋 代南) 小林 要(駒 工) 石井 元明(上 田) 佐藤 鍊二(松 本工) 市岡 洋一(長 野東) 杉山 昭久(飯 山南)
61	◎丸林 一富(松商学園) ○穂刈 勇(")	◎丑山 登(茅 野) ○横川 秀明(")	(発 足) ◎井上 昭英(北 部) ○根橋 寛(") 佐々木俊一郎(野沢南) 笠原 哲雄(松 商) 久保田 元(飯 田)	◎平松 剛(吉 田) ○牛村 一雄(北 部) 細田 完二(野 沢南) 伊東 洋治(豊 科) 奈良井 薫(東 海三)	◎平松 剛(吉 田) ○清水 博(須 坂) 若林 秀司(屋 代南) 小林 要(駒 工) 石井 元明(上 田) 佐藤 鍊二(松 本工) 杉山 洋一(長 野東) 宮本 哲夫(長 野東)
62	◎丸林 一富(松商学園) ○穂刈 勇(松商学園)	◎丑山 登(茅 野) ○横川 秀明(茅 野)	◎林 雅彦(北 部) ○根橋 寛(北 部) 佐々木俊一郎(野沢南) 笠原 哲雄(松商学園) 久保田 元(飯 田)	◎高橋 重造(吉 田) ○牛村 一雄(北 部) 細田 完二(野 沢南) 北野 亨(豊 科) 奈良井 薫(東 海三)	◎高橋 重造(吉 田) ○清水 博(須 坂) 石井 元明(上 田) 佐藤 鍊二(松本工業) 小林 要(駒ヶ根) 杉山 昭久(飯 山南)

表5—3

種 年 目 度	自 転 車	ヨ ッ ト	空 手 道	ボ ク シ ン グ	ア ー チ ョ ー リ ー	な ぎ な た	会 報 編 集
63	◎塚平 正廣(松本工業) ○小林 秀一(松本工業) 長林 栄一(岡谷工業)	◎山岸 幸雄(茅野) ○横川 秀明(茅野)	◎林 雅彦(北部) ○根橋 寛(北部) 佐々木俊一郎(岩村田) 笠原 哲雄(松商学園) 新海健一郎(阿南)				◎小林 仁(諏訪工業) 広田 信一(阜月) 細田 完二(野沢南) 鏡味 照明(松本深志) ○為田 勝英(岡谷東)
平成 元年	◎中沢 貞夫(松本工業) ○小林 秀一(松本工業) 松島 賢治(岡谷工業)	◎山岸 幸雄(茅野) ○沖村 啓次(茅野)	◎海沼 清美(北部) ○根橋 寛(北部) 佐々木俊一郎(岩村田) 笠原 哲雄(松小学園) 新海健一郎(阿南)	◎牧野 昌泰(丸子実業) ○小宮山泰典(丸子実業)			◎小林 仁(諏訪工業) 広田 信一(阜月) 細田 完二(野沢南) 鏡味 照明(松本深志) ○為田 勝英(岡谷東)
2	◎中沢 貞夫(松本工業) 松島 賢治(岡谷工業) ○小林 秀一(松本工業)	◎山岸 幸雄(茅野) ○沖村 啓次(茅野)	◎海沼 清美(北部) ○根橋 寛(北部) 佐々木俊一郎(岩村田) 新海健一郎(阿南) 笠原 哲雄(松商学園)	◎降旗 宗雄(丸子実業) ○小宮山泰典(丸子実業)			◎小林 仁(諏訪工業) 平井準一郎(篠ノ井) 伴野 栄治(岩村田) ○為田 勝英(岡谷東) 横川 善信(田川)
3	◎中島 道遥(松本工業) 松島 賢治(岡谷工業) ○小林 秀一(松本工業)	◎古川 進(茅野) ○沖村 啓次(茅野)	◎上平 慶治(長野吉田) ○根橋 寛(長野吉田) 佐々木俊一郎(岩村田) 新海健一郎(阿南) 笠原 哲雄(松商学園)	◎降旗 宗雄(丸子実業) ○小宮山泰典(丸子実業)			◎竹内 長生(諏訪工業) 平井準一郎(篠ノ井) 伴野 栄治(岩村田) ○為田 勝英(岡谷東) 横川 善新(田川)
4	◎中島 道遥(松本工業) 松島 賢治(岡谷工業) ○小林 秀一(松本工業)	◎古川 進(茅野) ○青木 一男(茅野)	◎春日 芳茂(上田東) 齊藤 定善(中野西) ○根橋 寛(上田) 新海健一郎(阿南) 笠原 哲雄(松商学園)	◎塩沢 久夫(丸子実業) ○小宮山泰典(丸子実業)	◎田中 哲明(篠ノ井) ○小山田 保(篠ノ井)		◎藤澤 愛信(上田) 飯島 秀幸(長野) 伴野 栄治(岩村田) ○為田 勝英(岡谷東) 横川 善信(田川)
5	◎中島 道遥(松本工業) 松島 賢治(岡谷工業) ○小林 秀一(松本工業)	◎古川 進(茅野) ○青木 一男(茅野)	◎春日 芳茂(上田東) 齊藤 定善(中野西) ○根橋 寛(上田) 新海健一郎(飯田) 笠原 哲雄(松商学園)	◎塩沢 久夫(丸子実業) ○小宮山泰典(中条)	◎青島 三郎(長野南) ○山上 達夫(長野南)		◎藤澤 愛信(上田) 飯島 秀幸(長野) 伴野 栄治(岩村田) 笠原 浩(諏訪清陵) ○横川 善信(田川)
6	◎中島 道遥(松本工業) 松島 賢治(岡谷工業) ○小林 秀一(松本工業)	◎古川 進(茅野) ○青木 一男(茅野)	◎春日 芳茂(上田東) 平林 洋一(須坂) ○根橋 寛(上田) 新海健一郎(飯田) 笠原 哲雄(松商学園)	◎塩沢 久夫(丸子実業) ○小宮山泰典(中条) 尾形 悟(丸子実業)	◎青島 三郎(長野南) ○山上 達夫(長野南)		◎藤澤 愛信(上田) 藤田 佳弘(長野商業) ○関口 廣之(野沢北) 庄司 勉(飯田) 荻原 幹雄(県ヶ丘)
7	◎中島 道遥(松本工業) 松島 賢治(岡谷工業) ○小林 秀一(松本工業)	◎古川 進(茅野) ○青木 一男(茅野)	◎丸林 一富(松商学園) 平林 洋一(須坂) ○根橋 寛(上田) 新海健一郎(飯田) 笠原 哲雄(松商学園)	◎武藤 行雄(丸子実業) 小宮山泰典(中条) ○尾形 悟(丸子実業)	◎上原 孝(長野南) ○山上 達夫(長野南)		◎藤澤 愛信(上田) 藤田 佳弘(長野商業) ○関口 廣之(野沢北) 庄司 勉(飯田) 荻原 幹雄(県ヶ丘)
8	◎中島 道遥(松本工業) 松島 賢治(岡谷工業) ○小林 秀一(松本工業)	◎内藤 靖(茅野) ○青木 一男(茅野)	◎丸林 一富(松商学園) 齊藤 定善(中野西) 佐々木俊一郎(野沢南) 新海健一郎(飯田) ○笠原 哲雄(松商学園)	◎武藤 行雄(丸子実業) 小宮山泰典(中条) ○尾形 悟(丸子実業)	◎上原 孝(長野南) ○山上 達夫(長野南)	◎中村 武人(東部) ○依田 和武(東部)	◎海沼 清美(長野) ○平井準一郎(犀峽) 山下 晃広(上田東) 天野 修一(諏訪清陵) 荻原 幹雄(県ヶ丘)
9	◎北島 勲夫(松本工業) 松島 賢治(岡谷工業) ○小林 秀一(松本工業)	◎藤岡 良平(茅野) ○青木 一男(茅野)	◎丸林 一富(松商学園) 中澤 健一(北部) 佐々木俊一郎(野沢南) 新海健一郎(飯田) ○笠原 哲雄(松商学園)	◎武藤 行雄(丸子実業) 小宮山泰典(中条) ○中沢 剛(丸子実業)	◎山口 利幸(長野南) ○山上 達夫(長野南) 市川 忠臣(上田西)	◎中村 武人(中野実業) ○依田 和武(東部)	◎本山 綱規(長野) ○平井準一郎(犀峽) 山下 晃広(上田東) 天野 修一(諏訪清陵) 大谷 久子(蠟ヶ崎)

第1節 昭和20（1945）年代

——長野県高体連誕生前後の学校体育振興期——

1 戦前までの学校運動部活動

こゝでは主として『長野県スポーツ史』の概説の項によって戦前の学校体育特に運動部活動を概観してみたいと思う。

長野県での学校運動部は明治30年に長野師範に設けられたのが初めである。学友会が集會部、尚武団、図書部の三部局を設け、尚武団は撃剣部・野球部・弓術部・探検遠足部の4部を置いた。39年には柔道部・庭球部・器械体操部の三部を加え7部制となったが、その後さらに水泳部が増設された。この外では、明治34年には松本中学校に庭球部・野球部・角力部・柔術部・撃剣部ができていた。また明治32年独立した長野中学校ではすぐに校友会が組織され、運動部として撃剣・柔道・野球・庭球の4部を設けた。

さてこれら各部の活動であるが、野球の対校試合に始まり明治35年には師範学校の主催で県下中等学校の聯合運動会が開催された。「あいにくの雨天となり撃剣のみ仕合を行い後茶話会を催した」ということである。長野・松本・諏訪の三中学、長野商業、上伊那農業等が参加した。以後36年は松本中学、37年は長野中学、38年は上田中学と持ち回りで行われている。36年10月17、18の両日開かれた深志城下の大会の競技種目は野球、庭球、撃剣の三種目であった。出場校も明治39年には飯山中学、野沢中学、大町中学、長野商業、松本商業などを加えて12校となり、ますます盛会になっていった。高等女学校の運動部も庭球を中心に活発に活動がなされており、明治38年には県下高等女学校庭球連合会が長野高等女学校主催で11月11日飯田、松本、上田、長野の四校親善交流の場としての意義をもって開催された。これらの運動会が現在の長野県高校体育大会の原点とみて良からう。

明治35年に始まった中等学校聯合運動会は13回（大正3年）まで続いたところ野球弊害説に

よって中止された。その弊害とは、学業がおろそかになる、参加生徒が全生徒に比べ少数、正課の体育軽視、応援がお祭りさわぎ、勝敗にこだわりすぎ、大規模校に有利、経費がかゝりすぎなどである。これらは現在の運動部活動にも共通する問題点であり永遠の課題と言えよう。その後聯合運動会は野球・軟式野球を除外し、陸上競技を中心に大正6年再興された。この時から野球は独自の道を歩み始めた。そして弊害を内包しながらも小学生野球大会が開かれる程に広く普及し、県勢は全国大会でも好成績を修めるようになった。

この頃の国のスポーツに目を転じると、明治44年大日本体育協会が設立され翌年ストックホルムの第5回オリンピックへ初めて三島、金栗の二選手を送り日本のスポーツもいよいよ国際舞台へと発展していく。大正2年には東洋オリンピック（後の極東大会）も始まった。陸上・水泳・野球と次々に全国大会が開催され協会、連盟が設立されてスポーツの組織化と競技化が進んだ。大正13年には現在の国民体育大会の前身である明治神宮競技大会が内務省主催で始まった。長野県では大正15年に体育協会が設立され、大正末期から昭和初期は中等学校の課外活動として各種スポーツが盛んに行われた。昭和3年に甲子園大会で松本商業が優勝、昭和8年には明治神宮大会でバスケットボールの長野商業が、昭和10年には同大会柔道で長野中学がそれぞれ優勝という快挙を成しとげた。

昭和6年の柳条溝事件に端を発した15年戦争はしだいに泥沼化し、昭和13年オリンピック東京大会返上決定後は各国際競技会からも手を引き、国内の体育は総力戦体制の手段と化してゆく。大日本学徒体育振興会（昭和16年結成）などにより学校体育は一元的に支配され競技より国民体力の錬成をめざすものとなった。長野中学では昭和16年従来の校友会が解散され新たに報告団が組織された。名称も今までの部が班と

変った。校長が団長となりすぐ下に中枢機関として総務部を置き更にその下に4つの部を置いた。従来の運動部は鍛練部の中に班として組み込まれた。部長、班長は全て団長（校長）が任命した職員であった。

昭和18年9月には全ての学徒体育大会が禁止された。

2 戦後学校体育の開花

「スポーツは平和再建の象徴のように、どの街角にも子供の野球姿が食糧難をけとばしてはらんしている」と信濃毎日新聞（21, 10・14）が報道したように、終戦直後から野球をはじめ各種スポーツが急速に興隆した。長野県の多くの種目別団体は昭和21～22年に再興または新設され、21年11月の京都・大阪を中心に開催された第1回の国民体育大会から選手を送っている。

学校体育については21年『学校校友会運動部の組織運営に関する件』の文部省通達が出、全生徒の参加、運動部の閉鎖性の除去、校内競技の振興と全校運動の普及、シーズン制の採用などを強調し、戦後における新しい運動部の方向が明示された。翌年には『学校体育指導要綱』が出され課外体育の重要性が指摘された。

現在の長野県高体連の前身と考えられる長野県学校体育連盟（会長 松岡一郎）は、当時の信毎記事によると21年には設置されており北信中等学校駅伝大会を主催している。また、中信地区中等学校体育大会（籠球・排球・庭球・駅伝競走・卓球）を同年に主催した記録もある。

22年6月には連盟の年間計画が次のように発表された。（22, 6・3 信毎）「認88057」

民主化政策が押しすすめられる中で「剣道のような武道精神を鼓吹する右典スポーツは完全に放棄されなければならない。体育は今後精神教育と関連を持ってはならず、単に柔軟体操を行なうのではなくゲームその他娯楽運動に重点が置かれなくてはならない」（日本の教育制度刷新に関する極東委員会指令22, 4・19信毎）ということで武道は禁止されていた。

学制改革により現在の高等学校が発足した23年4月、県体育課は初めて各種スポーツ団体が自主的にたてたプランに基いて一年間のスポーツプログラムをつくり発表した。4月には飯田市復興感謝祭県下庭球大会を皮切りに、陸上競技講習会・バスケットボール技術及審判講習会があり、以下毎月4～5回の選手権大会や予選大会が計画されている。6月26、27日と7月3、4日には新制高校体育大会ということで松本市県営グラウンドほか市内各校で軟式野球・籠球・陸上競技・排球・卓球・相撲が行なわれることになっており、時期が少しずつ野球・水泳・送球も上っている。（23, 4・9 信毎）これが最初の高校大会で県学校体育連盟が運営に関ったと見て差し支えないであろう。

対外試合が盛んになるに従って選手中心勝負中心主義的に傾向も見え始め、教育的運営が課題となってきた。22年10月文部省は全国都道府県体育主管会議を東京に招集した。そこで出された代表的な意見は「中等学校の生徒の大会を教育関係者でない人が主催するのは教育上支障があるから、中等学校自体がやるべきである」

「大会を計画的に調整する必要がある」であった。（群馬高体連『三十年史』）23年3月には文部省が「学校の対外試合について」通達を出し、新制高校は地方的大会に重点を置き全国的大会は年一回程度にとどめること、出場選手は固定することなく本人の意志・健康・年令等を考慮してきめること、対外試合は放課後又は授業のない日に行なうことなど細部にわたって方針を出

学校スポーツ開幕

縣學校體育連盟一カ年の計畫★

期日	種目	場所
六月上旬	縣男女中等學校選手権大會	長野
六月中旬	縣球大會(中・高)各校	長野
六月下旬	縣球大會(中)	長野
七月上旬	縣球大會(高)	長野
七月下旬	縣球大會(中)	長野
七月下旬	縣球大會(高)	長野
七月上旬	水泳大會(一)國民體育大會 縣球大會(高)各校	長野
七月下旬	水泳大會(二)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(三)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(四)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(五)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(六)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(七)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(八)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(九)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(十)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(十一)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(十二)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(十三)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(十四)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(十五)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(十六)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(十七)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(十八)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(十九)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(二十)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(二十一)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(二十二)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(二十三)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(二十四)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(二十五)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(二十六)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(二十七)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(二十八)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(二十九)國民體育大會	長野
七月下旬	水泳大會(三十)國民體育大會	長野

した。こうした状況の中から、高校体育の健全な発達を図るという目的を持って、昭和23年6月28日全国高等学校体育連盟が結成されたのである。

3 長野県高等学校体育連盟設立

全国高体連設立後上京して調査をした長野工業高校の刈間今朝雄（当時、体育指導者連盟理事長）は、長野県としても高体連を結成し全国組織に加盟すべきであるとの認識に立ち、その組織化を模索した。まず既存の四地区高体連に相談し、それらを基盤に連合体としての県組織をつくる方向にまとめた。そして県庁のお膝下の長野工業高校に事務局を置き、同校々長で高野連会長もやっている西村文雄を会長に刈間理事長他の役員体制で、昭和24年6月4日長野県高等学校体育連盟が発足したのである。

西村の手記によると「創立当初は次の様な方針が進められたと記憶している」と次の5項目をあげている。（原文のまま）

- ① 四地区高体連は地区の実状に即し準則に基いて組織された独立体とする。
- ② 県高体連は地区高体連の連合体として、其の会長及理事長を本部に送り本部会長は地区会長の合議により選出し、役員会を組織して本部の運営に当る。
- ③ 各種目別団体との円滑な連絡を計るために、高体連会長は副会長として各団体に参与し、適当数の高体連理事を運営の議に参加させる。
- ④ 高校生の各種目別団体への加入は個人又は高校毎には行わず県高校体育連盟が種目別団体と協議の上適當の基準数を以て一括加入して大会出場資格を与える。
- ⑤ 高校生の全国大会に通ずる予選会に出場するものは、国体及び全国高校選手権大会の二回を原則とする。

これらの基本方針は大部分現在まで引き継がれている。当初の規約も骨子は今と殆んど変わらないが、総則の第三条に「本連盟は高等学校体育全般の振興を図ると共に民主日本進展のため

体育文化を信暢することを以て目的とする」があり、事業のトップに「体育に関する研究・調査」を上げているあたりに当時の社会環境下での高体連の使命と、新組織としての気概が感じとれる。（6ページ参照）

長野県高体連30周年記念座談会で刈間初代理事長は当時のことを次のように語っている。

「昭和23年の全国高体連発足時は、準備ができておらず、まず、4地区から組織をつくり、それから県高体連を作ることにし、連合体でやっていくことにしました。当時、何もわからず、理事長の私が東京へ勉強にいき、協会関係とか、他府県の状況を調べ、皆さんに図って4地区連合体で運営することにしました。そのため、仕事は地区ごとに独立してやってもらい、県で統一するものは、県高体連でやるようにしました。

当時、一番心配したのは、高体連を作った時に協会のない種目があり、協会に加盟していないと国体に参加できなかったので、会長にお願いし、協会のない3種目（体操・ハンド・ソフト）を高体連でありながら協会を作り、二枚看板でやりました。

もう一つは、県大会の開催で、当時は予算が少なく、県大会の地区代表を4チームとか多くて8チームに制限しました。しかし、バスケット協会から苦情が出、理事長として説得し、生徒は、学業と体育の両立をさせなければいけないということで、全校を集めなく、各地区4チームで試合をすることにしたのはよかったと思います。

もう一つは、財源の不足で苦勞が多かったことで、現在は県から相当出してもらっているが、当時は、全国陸上をやるにしても、皆地元の寄附で行いました。また、体操などは、用具がないのに国体に出場するというので、会長にお願いして、長野工業で鉄棒などを作ってもらい希望の学校に配布し、大会を行ったことを思い出します。」

創立初年度の事業については、記録が残っていないので、高体連事務局に現存する唯一の資料である会計簿の内容から紹介してみる。



事務費会議費の項に全国および北信越高体連会議への出席、国体視察、評議員会理事会の旅費がある。松本市立高火災見舞金といった特殊な支出もあった。大会費の項では北信越陸上・駅伝・スキー・スケート・ソフトに出費されているだけで多くの種目名が見当らない。大部分は種目別協会が財政面を受け持っていたと考えてよい。次に研究調査費として東京への視察旅費と講習会費が上っている。ハンドボールの講習会を中央から講師（第一高等学校 高島 清）を招へいして深志高校で盛大に開催している。

以上のように高体連の事業は、最初としては当然のことながら関係方面との連絡調整や視察・講習会といった地道で基礎的な小規模な活動から始まった。現在のように事務局員が居た訳ではないし、財政規模も生徒一人5円の拠出による四地区分担金のみであったという状況からしても、無理からぬ順調なスタートだったといえる。

4 全国大会で次々に優勝

20年代の競技成績は、40年に及ぶ長野県高体連の歴史の中で比類のない輝やかしいものである。現在では至難の業となった団体の全国優勝を実に男子4校が延べ7回女子3校が延べ5回為し遂げた。本県得意の冬季2種目はもとより球技4種目にまで栄冠を勝ち取ったのである。具体的には次の通りである。

- スキー男子 下高井農林(26年度)
- 飯山北 (29年度)
- スケート男子 岡谷南 (27年度)
- 岡谷工 (28・29・30年度)
- スケート女子 岡谷東 (26年度)

諏訪二葉 (28・29年度)

- 軟式庭球女子 松本蟻ヶ崎(26年度)
- ソフトボール女子 豊科 (26年度)
- バレーボール男子 岡谷南 (26年度)
- バスケットボール女子 岡谷東 (27年度)

準優勝もスケート男子で岡谷南 (28・30年度)、同女子で二葉 (26年度)・南佐久実 (28年度)・岡谷東 (29年度)、軟式庭球女子で蟻ヶ崎 (27年度)、バスケットボール女子で上田染谷丘 (26年度)・飯田風越 (29年度)がある。3位以下の上位入賞もいくつかあった。これらの勝因は何かを分析した資料はないが、戦後の復興といった社会的条件や指導者など高校現場の教育条件が、他県より一歩先んじていたのではないかと推測される。当時の新聞(信毎)報道は次のようであった。「認88057」

岡谷東優勝

全日本高校バスケット

バスケット・ボール第五回全日本高校選手権最終日は十一日酒田市琢成コートで行われ女子決勝戦で岡谷東高が福島女高を破って優勝した。

岡谷東高 36 (1323) 26 福島女高 (長野) 36 (1214) 26 (福島)

勝 体力にまさる岡谷はC小松F市村、清水の三人で福島を押し寄せ、ゴール下のフオローを強くきめて前半23-14とリードを奪い、後半もポイントゲッターF清水の活躍で福島を破り初優勝を挙げた。福島は前半C五十嵐が四反則でベンチに下つたためチームワイクとれず、後半八分五十分が五反則で退場、優勝の夢は破れた。F下藤原のドリフトと片岡の運球ユニットで25-12と岡谷に迫る健闘をみせた。しかし反則総出で岡谷の得点を有利にし敗れさつた。

御苦労でした

岡谷南に熱烈の出迎え

松江で開かれた全国高校バレー大会に優勝した岡谷南校選手は東西対抗戦に出場する小口、土井、田島三君をのこして七日後午後五時十分岡谷駅南口で優勝旗、カップ、トロフィーなど数々の賞品をだいて帰ってきた。この日駅頭に同校生、生徒、PTA、一般市民など三千余名が出迎え熱狂的歓迎をし駅前広場で歓迎式を行い市長代理久保助政、河西市会副市長の歓迎の辞があり終って選手はトラックに乗って御礼回りに市内を二巡母校に入った。写真には岡谷駅頭で歓迎に応える選手たち



次に『豊科高校60年史』から当時の顧問小笠原千秋の回想記の一部を抜粋して優勝までの経過を見る。

いよいよ夢に見た全国大会出場です。7月26日より31日まで合宿練習に入りました。苛酷な練習が始まりました。男子生徒が毎日ノックしてくれたり、気の付いた事などアドバイスしてくれました。男女共学の実に美しい姿でした。また、男子チームと練習試合をして、試合運び、要領等を研究しました。こうした男子生徒の協力は、夢と根性を持った部員に大きな力となりました。「練習に泣くな、優勝旗を手にして泣け。」と自己に言い聞かせては、苛酷な練習に堪えたのです。

5月の中信大会、6月の県大会等は、ほとんどコールドゲームで試合になりません。7月、宇治山田市における東海大会に臨みました。この大会も豊科高校のペースで試合が運ばれ優勝を遂げました。再び東

海地区代表として全国大会に出場する事になりました。

8月7日、西宮球場に全国から10チームの精鋭が集まって来ました。第1回戦は京都家政学院です。体格もよくないし、たいした事はないだろうと試合に入ったが、なかなか強いのです。双方ともねばりにねばって、実に苦しい一戦でした。ようやくの事で1点入れ、1対0で勝ち、第2回戦に進みました。あとで聞いたのだが、京都家政学院は、優勝候補の筆頭に上げられていたそうです。それが、信州の山国から出て来た豊科高校に破れたというので、本部では大きな話題となったということです。

2回戦、3回戦は、いずれも豊科高校のペースで試合が運ばれ、決勝は、四国代表の丸亀高校と争う事になりました。丸亀は半数近くが新顔であり、豊科高校はほとんど昨年通りのメンバーです。そうして事実が我が方に大きな力を与え、自信を持って対戦することができました。「負けるものか、よしやろう。」と、選手の顔には力強い自信の色がうかがわれました。

円陣を作り、「最後の1戦だ。必ず勝つ。全力を注げ。思う存分やって見よ。」と青木監督から激励されて、試合は開始されました。

ああ、遂に全国優勝 夢に終わるかと思った全国制覇が、今成し遂げられました。選手も、顧問も、感激の涙を流して全国優勝を喜びました。この喜びを一刻も早く学校にと、早速、「ゼンコクユウショウナルソフト」と打電しました。

やがて、準備が出来て、「優勝、長野県豊科高等学校」と放送されました。宮島主将が進み出て一礼し、大会会長から渡された紫紺の大優勝旗を両手でしっかりと握りしめたのです。

長野縣高等学校体育連盟規約

第一章 總 則

- 第一條 本連盟は長野縣高等学校体育連盟と稱し事務所を會長在任校に置く。
- 第二條 本連盟は長野縣内四地区(南信、中信、東信、北信)高等学校体育連盟を以て組織する。
- 第三條 本連盟は同高等学校体育全般の振興を図ると共に、民衆自來進歩の爲の体育文化を伸揚するを以て目的とする。

第二章 事 業

- 第四條 本連盟は前條の目的を達成するため次の事業を行ふ。
 - 一 高等学校体育に関する研究、調査、調査。
 - 二 高等学校体育大會の開催。
 - 三 体育に関する諸団体との連絡。

第三章 會 議

- 第五條 本連盟の會議は次の通りとする。
 - 一 評議員會。
 - 二 理事會。
- 第六條 評議員會は會長、副會長、評議員を以て組織し、毎年四月會長を招集し本連盟の予算決算、事業について議決決定する。常任理事は評議員會より出席を定むるが、出席をしない者は、理事會より補選する。
- 第七條 評議員會は、理事會を以て組織し、理事會長を選任し、本連盟の事業を運営する。
- 第八條 會議は總出席者数の三分二以上の出席を以て、所定議決の議決は出席者の過半数を以て決す可也。同数あるときは、議長が之を定む。但し書面を以て出席に代ることを承認する。

第四章 役 員

- 第九條 本連盟に次の役員を置く。

會長一名 副會長三名 理事長一名 理事十二名(内常任理事四名)

評議員二名 監事四名 幹事 若干名

前項役員の外本連盟に顧問を置く。

- 第十條 會長は各地区連盟會長の互選により決す。日本連盟を代表する。
- 第十一條 副會長は會長在任地区以外の各地区連盟會長が半り會長を補佐し、會長事故あるときは之を代理する。
- 第十二條 理事長は理事の互選により決す。會長の指示を受け理事會を代表する。
- 第十三條 理事、評議員、監事は各地区連盟に選出する。
- 第十四條 監事は會計の監査をする。
- 第十五條 幹事は會長が之を承認し、事務、會計その他の會務に従事する。
- 第十六條 顧問は評議員會の議を経て會長が之を本盟とする。
- 第十七條 本連盟の役員任期は二年とし、再選を妨げない。但し、幹事役員は前年度の残任期間とする。

第五章 會 計

- 第十八條 本連盟の經費は次に掲げるものより支辨する。
 - 一 分担會
 - 二 未附會
 - 三 その他
- 第十九條 本連盟の會計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日迄とする。

第六章 附 則

- 第二十條 本規約を改訂しようとするときは評議員會の議決を経て行ふが、本規約施行に必要の規則は理事會に於て定める。
- 第二十一條 本規約は昭和二十四年六月四日より施行する。
- 第二十二條 本連盟の事務所に次の書類を備へる。
 - 一 役員名簿
 - 一 會計簿
 - 一 會議録
 - 一 備置台帳
 - 一 事業記録

第2節 昭和30（1955）年代

—県・北信越・全国高体連組織の確立発展期—

1 種目別大会から総合体育大会へ

(1) 学校体育の在り方について

日本はオリンピック大会（27年 ヘルシンキ）に戦後初参加し国際スポーツ界へ復帰した。スポーツ熱が高まる中で文部省は「学徒対

外競技の基準」（29年）を発表し教育への影響に歯止めをかけた。こうした状況下で長野県高校長協会は、30年度に学校体育研究委員会を設置し、学校体育の在り方について次のように方向づけをし各高校長へ報告した。

昭和31年3月9日

長野県各高等学校長 殿

長野県高等学校長協会理事長

千葉 正 志

学校体育研究の報告について

このことについて本会学校体育研究委員会の研究報告を理事会で検討研究の結果、別紙のようになりましたので新年度の年次計画の上に参考とされるようお送りいたします。

なお実施方法等については、各地区校長会において詳細御研究のほどお願いいたします。

学 校 体 育 の 在 り 方 に つ い て

右について本委員会は三回に互り慎重審議の結果左記ののとおり結論を得たのでこれを報告する。

記

(一) 総合体育日の設定について

(1) 総合体育日を年間前期、後記の各二日間これを授業日の中に設定する

その期日は6月1、2日及び8月31日、9月1日を適当と認める。

(2) 県高体連主催の各地区（東信、北信、南信、中信）競技会は、これを総合体育日に実施するものとする。

(3) 総合体育日の在校生徒の指導は学校長の裁量によるが体育日設定の趣旨に添うようその計画を樹立する。

(二) 大会参加基準について

(1) 全国大会への選手参加は全国高体連主催の大会と国民体育大会との二本建とする。

(2) 高体連主催の大会へは原則として参加する。共催へのはなるべく参加する。

(3) スポーツ団体主催の選手権大会は、これを高体連の共催とするよう関係者へ申入れる。

(4) 地区又は地方の競技会への参加は、経費、授業、生徒指導の上に支障がなく宿泊を要しない限度において参加してもよい。

(5) 新人大会は地区又は地域を単位として開催するよう関係者へ要望し、この大会へはなるべく参加する。

(三) 各種野球の大会参加について

(1) 全国大会への参加は

全国高等学校野球連盟及び毎日新聞社主催の全国高等学校選抜野球大会、全国高等学校野球連盟主催の全国高等学校優勝野球大会及び国民体育大会の三者とする。

(2) 全国高等学校優勝野球大会の県予選大会へ参加する地区代表チームは16チームを適当と認め

る。この旨高野連へ要望する。

- (3) 右県大会の予選会は7月の夏季休暇中に実施するものとする。
- (4) 秋の新人北信越大会はこれを認めるが春の北信越野球大会は大会参加基準の上から不合理であるの、その考慮を高野連に申入れる
- (5) 伊那、上田の選抜野球大会は地方の正しい野球振興に資するので授業、経費等に支障ない限りこれを認める。
- (6) 大会は総て休日又は土曜日の午後に行うものとする。総合体育日はこれを全面的に利用する。

学 校 体 育 委 員 会 経 過 報 告

第1回委員会

- (一) 期日 1月24日
- (二) 会場 長野西高校
- (三) 協議内容

千葉理事長挨拶後、羽生委員を委員長として今後の議事を進行することにする。

羽生委員長司会の下に校長協会より委任された次の事項を問題点として採上げ再確認する。

- (1) 総合体育日の設定
 - (2) 運動競技会参加基準について
 - (3) その他
- (1) 総合体育日の設定について
 - (イ) 春秋各2日間(金、土)を体育日としたい。
 - (ロ) 体育日を設定した際、各スポーツ団体に協力を求める。
 - (ハ) 地区審判員の数の検討。
 - (ニ) 高体連及びスポーツ団体の年間スケジュールの検討。
 - (ホ) 体育日の各学校における一般生徒の指導
 - (ヘ) 一般生徒の指導はその校の校長の適宜とするが体育検定、植樹、クラスマッチ等を実施することが望ましい。
 - (2) 運動競技会参加基準について
 - (イ) 文部省通達の「学徒の対外競技について」を研究する。
 - (ロ) 全国大会への参加は文部省通達の趣旨により年2回としたい。
 - (ハ) 県内において高体連主催の競技会へは参加する。
 - (ニ) 高体連の後援は止め必要により共催とする。
 - (ホ) 地域社会における各種競技会への参加態度。
 - (ヘ) 高体連の中で部制のないものはどんな種目か。
(サッカー、バドミントン、ボート、ラグビー、水泳、相撲、剣道、弓道)
 - (ト) スキー、スケートの予選会を適当な方法で実施する必要がある。
- 以上は当日論議された重要な意見であった。

(第2回、第3回委員会報告は省略)

昭和31年7月10日

体育研究委員会

長野県高等学校長協会理事長殿

秋の総合体育日の実施について

このことについては、二回の研究委員会を開催して、慎重に検討したところ別紙春の体育日実施状況調査集計表の示す通り区々の結果が出ており、総合体育日の趣旨はよいが、其の実施方法に幾多困難が認められ、これが解決については、更に今後の研究に持つものがあります。よって、秋の総合体育日は左記により、各学校の実情に応じて出来る限り学校体育日を設定して行うことが望ましいと思います。

記

1. 学校体育日は各学校毎に設定する。
2. 学校体育日の行事は各学校長の裁量によるものとする。
3. 秋の学校体育日は各地区の秋の体育大会に合せて行うものとする。

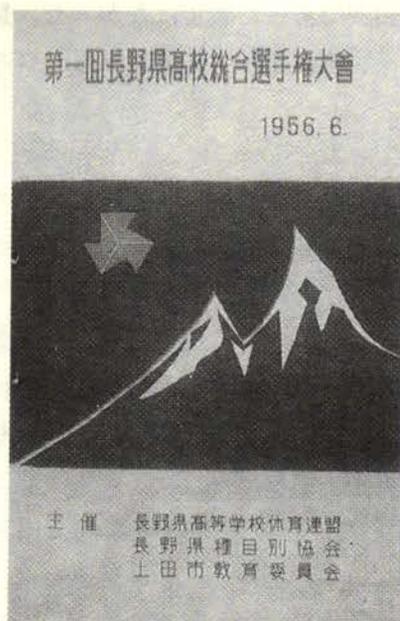
右報告いたします。

体育実施状況集計表

A 体育の扱	第1日目	1. 授業日 11	2. 休業日 15	3. 登校日 38	4. 農繁休業中 14	5. その他 3	計81校	
	第2日目	1. 授業日 13	2. 休業日 21	3. 登校日 28	4. 農繁休業中 15	5. その他 4	計81校	
B 体育日と年間授業計画との関係	1. 当初から予定してあった 59校		2. 予定しなかった 22校			計81校		
C 体育大会参加生徒数	第1日目	参加選手数① 4638名	応援生徒数② 12754名	在籍生徒数③ 56168名	①+② ③ 30%			
	第2日目	参加選手数① 3739名	応援生徒数② 12223名	在籍生徒数③ 56168名	全 上 28%			
D 選手以外の生徒に対する学校の指導内容	第 一 日 目	1. 授業実施	11		1	1	1	
		2. 研究クラブ活動					6	
		3. 体育行事			17		7	1
		4. 学有林作業				4		1
		5. 応 援						11
		6. その他						13
	計		81 校					
	第 二 日 目	1. 授業実施	12		1		1	
		2. 研究クラブ活動		3			6	
		3. 体育行事			9	1	5	
		4. 学有林作業						
		5. 応 援					11	13
6. その他							19	
計		81 校						
E 感想反省	1. 有意義である 24 校		2. 今後研究する必要あり 56 校		3. あまり意義がないと思はれる 1 校		計81校	
備考1. この調査は全日制についてだけのものである。								

(2) 長野県高校総合選手権大会の始まり

校長協会の報告に基いて、総合体育日は前述のような経過をたどって、問題をはらみながらも前向きにとり組まれた。そして、この年に総合という主旨に呼応して、県大会も種目別大会から総合大会へと形を変え、最初の長野県高校総合選手権大会が開催されたのである。主催は長野県高等学校体育連盟、長野県種目別協会、上田市教育委員会の三者であった。その時のプログラムは、当時の高体連旗を三色刷で表紙にデザインした32ページの冊子(写真)で、現在の陸上のプロに加えて他種目の組み合わせ等が掲載されたような内容のものであった。1ページには次のようにあいさつと日程が記されている。



第一回長野県高校総合選手権大会を迎えて

智・徳・体の併進により心身共に健全な国民として次の世紀の形成者を期し、人格完成に精進する高校学徒の試練の機会として企画された本大会に各地区代表として参加の榮譽を得られた諸君を祝福する。諸君は平素勉学と共に練習に努力せられた競技の実力を充分に発揮して高校学徒の意気を昂揚して世の期待に答えるよう切望する。

本大会開催に絶大な援助と協力を与えられた関係方面諸団体に厚く感謝の意を表する。

日 時	種 目	会 場
6月16日(土) 13時より	軟式庭球(学校対抗)	上田市営庭球場
6月17日(日) 8時30分より	軟式庭球(個人選手権)	上田市営庭球場
	陸上競技	上田市営陸上競技場
	ソフトボール	上田市営野球場
6月23日(土) 14時より	体 操	長野工業高校体育館
	ハンドボール	上田千曲高校
6月24日(日) 8時30分より	体 操	長野工業高校体育館
	ハンドボール	上田千曲高校
	排 球	上田市営排球場
	卓 球(学校対抗・個人選手権)	上田松尾高校
	柔 道	上田市営体育関 (公園内)
相 撲	上田市営相撲場	
6月23日 6月24日	籠 球	長 野 市

総合大会も、特に当初は予期しない問題も出てきて全て順調であった訳ではなかった。長野県バレーボール協会『四十年史』から一つの具体例を記す。

県高校総体も、バレーボール競技においては発足2年目の昭和32年に思いがけないトラブルをひき起すことになった。

この年の第2回県高校総体バレーボール競技大会は、6月22日～23日、松本県営排球場において、男女各12チーム（各地区3代表）を集めて開かれ、男子上田松尾高、女子岡谷東高がそれぞれ優勝した。ところが、全国大会出場の「推薦権」をにぎる県バレーボール協会は、これにストップをかけ、緊急理事会を開いた結果「協会に相談なく大会が行われた」として、両チームを推薦せず、あらためて予選会を開くことをきめた。「その理由は、①高体連が一方的に日程、運営をきめた。②大会の審判員の内容からみて、全国大会の予選とは認められない。③したがって、上田松尾と岡谷東は全国大会に推薦できない。④あらためて7月7日に県下4地区から男女各2チームを推薦して予選会を開く。」（「 」内32, 6.24付信毎記事による。）ということであった。

当時、高体連は協会との交渉には、理事長の刈間今朝雄が直接にその任にあたっていたが、結論的には、県高体連が、連絡不十分の点を陳謝し、県協会がこれを了承した形で終わっている。この点については、6月26日開かれた県協会理事会の結論として「①22日、23両日の県高校選手権大会は、全国大会の予選とは認めがたい。②しかし、高体連の誠意ある陳謝は率直にうけいれる。③高校生の純真な気持ちをふみにじらない。④したがって、30日に予定した予選会はやらない。」（「 」内信毎記事による。）となっている。

2 初の事務局移転

高体連発足以来、20年代は西村会長、刈間理事長という体制で長野工業高校に事務局を置いて

て運営されてきた。北信高体連もずっと兼ねてやっていたのであるが、30年代に入ってから少しずつ変化しはじめる。会長が30年田中、31年西村、32・33年塚田と年毎に変わり、30年からは副理事長というポストが設けられ宮坂仁吾（上田松尾）がその任に当たった。

30年の田中会長は松本工校長であり退職によって会長職を降りたのであるが、北信以外の地区でもやらなければいけないという考えを持っていたようである。32・33年は北信高体連事務局を長野工業高校から分離し、長野高校が担当した。かくして長野工での県高体連は、誕生から一人歩きできるまでの重要な役割を務め10年という一つの節目を迎えた。第2代理事長丸山保彦はこの時の事務局移転について、『北信高体連史』に次のような回想記を寄せている。

「高体連事務局は当時長野工業高校にありましたので、34年度総会が同校で開催された。吾々は当然会長、理事長の留任を予想して出席したが、案に相違して事務局校として長野商業高校が決定された。会長は更級校長が引受けられたが、理事長として丸山とのこと、全く突然であり、校内事情もあってその席で受けられず、いずれ会長が後日紙上で発表するということが総会では了承して閉会となった。校内事情というのは、新学期が発足して担任が発表され同僚に推されて分不相応にも学年主任を引受けた3週間後のことであった。学校長、体育科、学年会の理解と御協力を支えにして引受けたもの大変であった。翌月から北信地区大会、翌々月は県大会、つづいてインターハイのための全国会議、その間に学年会、担当事務、授業にと完全にグロッキーになってしまった。当時の持時間は24時間だったと記憶している。学校泊込みの日がづき、原紙切り、印刷に追われ朝方就寝したこともしばしばであった。

こんな状態で、県、北信の理事長がよく勤まったものだと不思議な気がするが、それは和、同様の持時間をかゝえながら休憩時間、空時間、放課後暗くなるまで、それこそ寸暇を割

いて御協力いたゞいた内外の先輩、同僚の先生方がおられたればこそと、今更ながら只々頭の下がる想いで一杯である。」

表には出ない様々な経験があっただろうと推測されるが、いずれにしろ最初の事務局移転劇は、今では考えられない短期間の内に為されたのである。

3 北信越高等学校体育連盟

新制高校がスタートした23年、北信越高体連という組織が存在していた。当時の信毎に次のような記事が載っている。「認88057」

**北信越新制高校の
スポーツプラン**

北信越新制高校体育連盟は今年度のスケジュールを次のように発表。野球は八月八日から十日まで、その他は八月上期の予定。

△総球＝金沢市、各縣男女三チーム、縣対抗△野球＝新潟市宮球場、各縣一チーム地元四チーム△総球＝金沢市、各縣男女一チーム、北陸三縣二チーム△陸上＝松本市、男女リレー一チーム、一綱目二名△排球＝富山市各縣男女チーム、地元四チーム△卓球＝高岡市、各縣男女チーム、地元四チーム△スキー＝飯山、男女(二月上旬)△水泳＝松任町、一綱目二名△相撲＝佐野、各縣二級五名、地元四級△体操＝高田、男女五名(日取り決定)

長野県高体連の発足は24年であるので、この時は学校体育連盟がそれに代る役割を果たしていたと推測される。24年には長野県高体連として北信越の会議へ出席していることが会計簿によって明らかである。しかし翌年にはこの組織も無くなる。

「全国高体連のブロック割りで昭和24年に北陸三県ブロックになった」(『福井県高体連史』)

「長野県は昨年(24年)までは北陸ブロック、今年からレベルの高い東海地区に入れられました」(『豊科高校60年史』ソフトボール記事)

ということで、種目によるばらつきもあったようであるが、組織替えが行われ25年4月28日に信越高体連が誕生したのである。10年で再び北信越になるまで活動した信越高体連の規約は次のようであった。

信越高等学校体育連盟規約

第一章 総則

第一条

本連盟は信越高等学校体育連盟と称する。

第二条

本連盟の事務所は会長在住県に置く。

第三条

本連盟は長野県と新潟県の高等学校体育連盟で組織する。

第四条

本連盟は信越における高等学校体育の健全な発達を図ることを目的とする。

第五条

本連盟は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1 学校体育に関する審議並に研究調査
- 2 全国高等学校体育連盟其の他体育に関する諸団体との連絡
- 3 生徒体育大会の開催
- 4 其の他本連盟の目的達成に必要な事項

第二章 役員

第六条

本連盟に次の役員を置く。

会長一名、副会長二名、理事長一名、理事若干名(各県四名)、評議員若干名(各県二名)、幹事若干名、

第七条

会長及び副会長は評議員会でこれを選ぶ。

会長は本連盟を代表し会務を統轄する。

副会長は会長を補佐し会長事故ある時はその職務を代行する。

第八条

理事長は理事の互選による。

理事長は会務を掌握する。

第九条

理事は評議員の互選による。

理事は会の常務を執行する。

理事は理事会を構成し第十条の事項を審議決

定することが出来る。

前項の場合は次の評議員会に報告しなければならない。

第十條

評議員は各県高等学校体育連盟において選ぶ。

評議員は評議員会を組織し次の事項を審議決定する。

- 1 予算及び決算
- 2 規約の改正
- 3 事業の計画
- 4 その他重要な事項

第十一條

幹事は会長が委嘱し本連盟の事務を処理する。

第十二條

役員任期は一ケ年とする。但し重任を妨げない。

補欠役員任期は前任者の残任期間とする。

第十三條

本連盟に顧問を置くことが出来る。

顧問は評議員会で推薦し会長が委嘱する。

顧問は重要な事項に関し会長の諮問に応ずる。

第三章 会議

第十四條

理事会は必要に応じ会長が召集する。

評議員会は毎年四月会長が召集する。但し必要あるときは臨時に召集する。

第四章 会計

第十五條

本連盟の経費は次のもので支弁する。

- 1 分担金
- 2 寄附金
- 3 その他の収入

第十六條

各県の分担金は年額5,000円とする。

第十七條

本年度の会計年度は毎年4月1日に始まり翌

年3月31日に終る。

第五章 附則

第十八條

本規約は昭和25年4月28日から実施する。

『新潟高体連年報』では毎年県は勿論ブロックおよび全国の規約や役員を掲載している。それによると34年に、34年5月9日施行の規約をもって北信越高体連が誕生している。その前後の経過を『福井県高体連史』は次のように書いている。

「北信越各県高体連は、35年のブロック再編成前の31日5月各県より3名の理事を出して理事会を構成し、年2回（春・秋）の会議を各県持ち廻りで開催し、各県スポーツの状況やスポーツ行事および運営上の諸問題を話し合う機関として、北信越高等学校体育連盟を結成してあったので、ブロックの再編成は混乱なく経過した。当時北信越ブロック内では、各県の高体連専門部間で話し合い、各県の種目別協会（連盟）の絶大な協力のもとにブロック大会を開催していた。

昭和34年度は軟式庭球大会、35年度より柔道競技大会が加わり2種目となった。その後ブロック組織の変更にともない、全国高校種目別選手権大会の地区予選を行なっている種目が、高体連のブロックを単位とする地区予選に変更するなどがあって、各専門部ともブロック大会開催の意欲高まり、年々開催種目が増加するとともに盛大になった。また逐次その規模も増大してきたので、規模の適正化が問題になつてきた。

北信越高体連では昭和41年1月理事会を開催し、これらの問題について協議した結果、北信越高校（種目別）体育大会開催基準要綱を判定し、周知徹底を図った。」

その後の経過の一部を石川県の『高体連30年あゆみ』で見ると、

「昭和34年度より実質的に出発した北信越大会も昭和52年度で22種目の競技を開催するに

至った。昭和52年9月北信越理事会でバドミントン競技の新設が決定された。五県専門部役員
の思惑も絡み四年間に及ぶ才月を費した。石川
県が中心となって設置の努力をしたのであった
が全国的に高いレベルを誇る石川バドミントン
と北信四県がインターハイの前哨戦として大会
を開催することに抵抗があった。ブロック内で
みると北陸三県大会があり信越大会があるとい
う実情からその機が熟さなかった。然し昭和53
年度以降の北三の動きも絡み又五県内の専門部
の意見も急速にまとまり設置への足がかりと
なった。同じような情勢の中からラグビー競技
の新設も提案された。又全国高体連規模適正化
と縮小化のため、ホッケー競技のブロック予選
が急務となり昭和53年の秋の理事会でラグビー
競技とホッケー競技の二種目を昭和54年度より
開催することが決定された。この十年間に北信
越大会の開催種目も全国高校総体並となり今後
の開催運営に各県高体連は苦慮しているのが現
状である。」

4 全国大会も総合体育大会へ

県大会は前述のように31年から総合大会とい
う形で開催されてきたが、全国大会は38年にそ
れまでの種目毎の全国高校選手権大会から現在
のような全国高校総合体育大会に変わった。この
時長野県高体連は次のような文書をもって意見
集約をし全国の会議に臨んだ。

昭和37年4月7日
長野県高等学校体育連盟会長

新田 稔

加盟高等学校長

副会長・評議員 殿

専門部長並びに委員

全国高校総合体育大会についての意
見聴取について

このことについて昭和37年3月28日付
全国高等学校体育連盟会長名を以って当連
盟会長宛意見聴取を下記の通り求めて参り
ましたので御連絡申し上げます。つきまし

ては甚だ恐縮に存じますが地区高校長会、
地区高体連総会等に於て御意見の表明を願
い度く、いつれ4月下旬に予定されてお
ります当連盟評議員会に於て態度決定の上全
国高体連へ意志表明を致し度く存じますの
で宜敷くお願い申し上げます。

尚専門部としての意志表明もあります
ので委員各位は5月上旬に予定されてお
ります当連盟専門委員会に於て御意見を承
り度く存じますので地区専門委員会の意向取
纏め方御願ひ致します。

記

1. 総合体育大会実施の趣旨

本連盟創設以来14年、結成当時より総合大
会の実現を理想として、今日まで、その基盤
を築いてまいりました。こゝ数年来、その実
績を認められ、国庫補助金の交付を受け、経
済的裏付があれば大会の実現も可能な段階に
立ち至りました。しかしながら現在の本連盟
の財政面から考えた場合、国庫補助金の増額
のみでは実現は到底困難であります。たまた
まN・H・Kが本連盟の事業を認め、本連盟
が左記新企画の大会を実施する意志があれば
資金面において全面的に協力を惜まない旨の
申入れがあり、N・H・Kとしては、あくま
でも高体連の自主性を尊重し、恒久的に援助
することを言明しております。

わが国スポーツ界は2年後に迫ったオリン
ピック東京大会に全力を傾注しております
が、本連盟としてはむしろ東京オリンピック
後における高校スポーツの興隆を考慮して
おり、このオリンピックを契機として、総合大
会の実現により高校スポーツの一大躍進を期
しております。それがとりもなおさずわが国
スポーツの発展となり、民族興隆の基盤にな
ることは疑う余地がありません。

2 総合体育大会開催方法

- (1) 各種目を1ヶ所（1県またはその周辺の
県）に集めて実施することを理想とする。
- (2) 最初から1ヶ所で開催不可能の場合はさ
しあたり数ブロックにおいて実施する。

- (3) 昭和37年度は現状で実施し、38年度より新しい企画で実施する。
 - (4) 大会は夏季及び冬季に分けて実施する。
3. 総合体育大会に要する経費
- (1) 大会開催費は国庫補助金とN・H・Kの協力金によってまかなう。
 - (2) 開催地元都道府県の負担金はなくする方針である。
 - (3) N・H・Kは大会開催費以外に、大会開催に要する準備金も考慮する。
4. その他
- (1) 新企画の大会は現在の各種目別大会の規模を縮小することはない。
 - (2) 新企画の大会開催についてN・H・Kは大会を放送網にのせることを計画している。
 - (3) 新企画の大会計画が実施出来る見通しがいたら、従来の大会に協力していただいている方面とも話し合いをする。

長野県高体連の立場はどうであったかという
と、30周年の記念座談会で時の新田会長、丸山
理事長はそれぞれこう述懐している。

「私ども本県として、一つの高校教育に即した
ものでなければならない。すなわち単なるオリ
ンピックの模倣であってはならない。一つは
各地方の絶えざる体育向上に果して寄与でき
るかという点でありました。そのへんを検討して
反対を表明したのですが少数意見として、残
念ながら通りませんでした。今からみればご批
判のあるところでしょう。

この問題に附随して、NHKが総体開催を援
助するという案が出てまいりました。初めの説
明では、無条件援助という話でありました。こ
れについては、公的団体にあつて無条件援助を
するはずはない、何らかの制約が生ずる。それ
よりは、困難であろうとも、高体連独自の主体
性を守るべきだと考えて、その意見を開陳した
こともありました。」

「新田会長時代の思い出は、スケート専門部
長を青森に押しつけたことと、現在の高校総合

大会の構想ができ、国体の向こうを張ろうとい
う発想で考えられたものです。

そこで、私は、全国の会議で、反対演説を行
いました。その時、北信越や九州、四国が賛同
してくれたのですが、関東、東北、近畿が賛成
し、3割の反対で総体の構想が決ったわけ
です。

38年新潟で総合体育大会と名打って大会をし
ましたが、選手団を編成したのは、39年の山口
大会からです。三村先生に引継ぐ時、団旗が39
年から必要になるということで、突如作ること
になり、デザインも私が考え、緊急理事会で決
定したのが、現在の長野県高体連旗です。」

総合体育大会が日本体育協会に認知されたの
は、40年の大分県が中心会場となって行われた
大会からである。

尚、高体連旗については26年に冒頭のグラビ
アページのものが作られ現在も残っているの
であるが、総合大会を契機に新調された団旗がそ
のまま高体連旗となり、その時点で自然にモデ
ルチェンジされたという結果になった。

5 全国高校スケート大会で南佐久実業（現小 海）9連勝

この年代の競技成績（団体）についてみる
と、数ある種目の中で全国優勝はスピードス
ケートにあるのみである。だがこの一種目の活
躍たるや、他種目を補って余りあるすばらしい
ものであった。南佐久実業（現小海）は30年度
に二葉の3連勝を阻んで初優勝して以来、39年
度に県大会では押えた二葉に敗れるまで、実に
9年連続して総合優勝の栄冠を勝ち取った。ま
た男子では30年度に岡谷工（3連勝）、31年度
に野沢北が優勝したので、長野県のアベック優
勝が4年連続した。これも大記録である。この
他に準優勝男子岡谷南（30年度）、岡谷工（31、
32年度）、南佐久実（33、34年度）、野沢北（39
年度）、同女子岡谷東（30年度）、軽井沢（35
年度）、二葉（38年度）、南佐久実（39年度）と
いった具合に上位を県勢が独占しスケート王国
の名を全国に轟かせた。

38年度南佐久実業『生徒会誌ハケ嶺』に特集

されたスケート班のページより、井出監督へのインタビューの最初の部分を商会する。

昨年（37年）11月3日には信毎文化賞を受賞し、今春1月22日には堂々八連勝の偉業を成し遂げた女子スケート班の育ての親、井出宗雄監督を訪ね今までの労苦や思い出と抱負とを語ってもらった。

委員 先生どうも八連勝おめでとうござ
います。

監督 やあどうもありがとうございます。

委員 それでは帯広大会の感想を

監督 行く前から今年がピンチという事
で覚悟して行った訳ですがね

行ってすぐ北海道新聞を見て北海道の
選手がどう活躍したか全道大会の記録
を調べたわけですが、苫小牧のリンク
が悪く、コンディションが良くもないの
に大谷高校の選手が活躍したので、こ
れはと感じました。

高校の大会に11回引率して行ったが、
こういう心配の大会は始めてでした
ね。

委員 それだけホットしたというところ
ですね。又それだけ喜びも大きいで
しょう。

監督 感慨無量というところですね。

委員 ところで七連勝、八連勝ときたわ
けですが、スケート班が結成されて何
年目ですか。

監督 23年4月に出来たわけですよ。

委員 高見沢さん、いや長久保さんが入
る前ですか？

監督 はい。長久保は26年に入ったので
それ以前に出来ていたわけですよ。

女子は松原湖大会に出場していたぐら
いであったが、27年の正月に県の大会
に出場した。その時長久保は一年でし
た。

委員 では、長久保さんが三年生の時に
初優勝したわけですか。

監督 いや卒業してからですね。

委員 では母校の基礎を築いたわけだ
よね。

初めての優勝はいつですか。

監督 我々のスケートは冬期練習だけ
でしたが、諏訪の方は夏のトレーニング
もやっていたわけですね。本校で夏の
トレーニングを始めたのは30年でし
た。そして31年に初優勝したわけ
ですよ。

委員 現在見るようなトレーニングはそ
の頃はしてなかったのですね。

監督 そうです。やはり夏のトレーニ
ングが必要ですね。氷にのればすぐ出
来るといようにしなければね。

委員 何回も大会に臨んで来られたわけ
ですが、一番思い出に残るのは？

監督 やはり昭和31年の5回大会にお
ける女子初優勝の時ですね。いわゆるこ
の時諏訪二葉が三連勝するか？という
時でしたから、第一回の優勝はまさか
するとは思いませんでしたよ。

委員 全国大会に出て三年目に優勝した
というわけですね。



(右 井出監督)

スケート以外での上位入賞は次のようであ
った。スキーでは男子で白馬定（30年度）、飯山
北（38年度）女子で飯山南（31、32年度）が準
優勝をした。軟式庭球女子でも蟻ヶ崎（30、32
年度）が準優勝に輝いた。染谷丘（31年度）も
4位に入った。県大会でトラブルのあったバ
レーボールでは上田松尾、岡谷東がその年（32
年度）ベスト8まで進出した。松商男子も同様

の成績を残した。(39年度)またバスケットボール女子で染谷丘(34年度)が3位、美須々丘(36年度)が4位に入賞した。

6 四種目が県内で全国大会を開催

長野県での全国高校大会の開催は、過去にスケート(26年度蓼科湖、29年度美鈴湖)と陸上競技(27年度松本市)がある。30年代にはこれが四種目にわたって延べ7回と史上最も高い頻度となった。スケートが34年度(蓼科湖)、35年度(軽井沢)、39年度(茅野城ノ平)と3回、スキーが31年度(飯山)、39年度(志賀高原)の2回と大半が本県の自然条件に合致した冬季スポーツであった。他の二種目はいずれも39年度に行われたハンドボール(上田市)とソフトボール(伊那市)である。全国大会が総合大会となり愛知県を中心会場に開催された年であったのだが、実質的にはまだ種目毎に会場が分散しており二種目を長野県が担当したのである。

飯山市でのスキー大会の状況については、『飯山北高スキー史』に次のように記されている。

全国規模の競技会を開催するためには、飯山スキー場としてはアルペン競技場を開発する必要にせまられていた。第6回大会を招致するに当たってこの問題を解決することが先決であったのである。

幸に関係者の熱意と、地元外様地区の理解と好意によって、黒岩アルペン競技場が昨年のシーズン前に開発され、本大会を契機として、黒岩スキー場が全国に紹介されることになったのである。

主催は全国高等学校体育連盟、長野県教育委員会、それに飯山市、主管は実質的に長野県スキー連盟と飯山市体育協会が負うことになり、本校も地元高校として一ケ年に亘る準備に忙殺された。

飯山市の歓迎ぶりも、精一杯のもので要所には数基の歓迎門が立てられ、各所に得意の雪の芸術作品が作られて遠来の客を慰めた。

2月6日午後1時から飯山市公民館に於て監督会議、2月7日は開会式に先だて、飯山南高等学校々庭から開会式会場である飯山小学校々庭まで、堂々の市中行進が行われた。つづいて高松宮をお迎えして開会式、そのあと小学校講堂において選手会、前夜祭と開会行事が進められたが、全市をあげての歓待は参加者に快い印象を与えた。前全国高校スキー部長加治千三朗氏は飯山大会の印象を次のように語っている。

「飯山では市長の陳頭指揮の新興の気運が溢れた雰囲気、競技以外に選手に与えた精神的影響が非常に多かったと思います。第2回からの招致でよく辛棒してもらってその間にリフトの建設、アルペン競技場の開発、その他のスキー場の整備に力を入れられた堅実さに感心しました。尚選手と民家の人々とのとけ合った風景はまことにより教育の場でありました。」また、高校スキー年鑑編集部常任委員の林千春氏は「私も選手の民家分宿については本当によい印象を受けました。自分もはじめてだけに非常に感激が深く、生徒達が帰りに、又ぜひ訪ねたいと言って目ににじむものがありました。」と語っている。

35年度スケート大会を時の更級会長は思い出として次のように綴っている。

「36年は、青森県の八戸市で開催する予定だったのですが、前年同市に大火災が惹起し、そのため大会を受け入れることが不可能になりました。当時は本県の会長が全国高体連のスケート部長を兼ねておりました関係上、また同年は軽井沢で国体のスケート競技大会を開催することになっていましたので、急に長野県で国体の前に開催するよう強く要望されました。軽井沢町や県スケート協会では、国体関係の仕事で手一杯ではありましたが、国体のリハーサルという意味で物心両面にわたって出来るだけの援助をするからと快諾され、またスケートセンターでは、出来上ったばかりの施設・設備を無償で提供し、従業員も国体同様に協力して下さることになりました。今回はパイピングリンクの冷却が利いて氷が硬くなり過ぎ、天然氷に馴

染んでいた選手たちには氷に乗り切れない状態
でありましたので、前年とは反対に競技の開始
を1時間程遅らせました。またアイスホッケー
とフィギュアを同センターの屋内リンク2面を
併用して、スピード競技と併行して実施するこ
とが出来ましたので、高校の大会としては最初
の完備された大会であったと自負しておりま

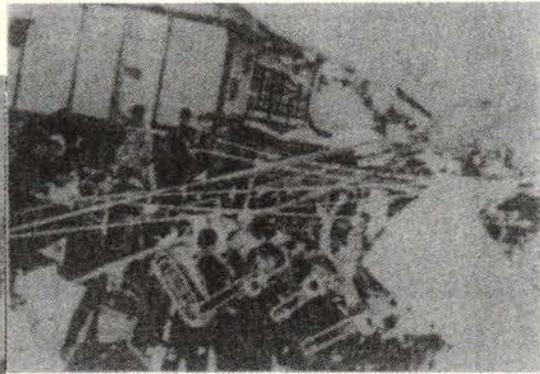
す。

通信連絡の面では、冬季は別荘の電話回線が
暇になるので、格別の心配もなく利用するこ
とができましたので、報道関係者から、これなら
国体の場合も大安心だといって大いに喜ばれた
ものです。」

(52年度会報30周年記念号より)



開会式全景



市中行進 長工プラスバンド



高松宮御来飯記念



雪のカーニバル

(飯山北高校 スキー史より)

第3節 昭和40（1965）年代

—東京五輪後の社会的環境下での高体連充実期—

1 学校体育と社会体育

(1) 運動部指導と勤務とのかかわり

41年12月の理事会で「体育指導手当獲得運動」の経過と会計報告がされた。100万円程の資金で会議や陳情等の運動を全国高体連が進めたというものである。「文部省としても、超過勤務手当等根本的な問題によりかかって超過勤務の形にするか、教育職の特殊生にかんがみ本俸に繰り入れるか等の問題もあり、どのようにすべきか検討中とのことである。」との報告であった。41年には教員の勤務時間の合理化に関するILO87号条約が批准され、さらにユネスコの「教育の地位に関する勧告」が採択されるに及んで、教員の勤務時間を明確に規定する必要に迫られた。時間外の運動部指導や休日の対外試合引率は校務とは認めがたいとの見解が強まり、さらに勤務時間外に発生した事故責任の問題も法廷で争われる事例も出てくるようになった。

理事会の報告にもこうした情勢を反映した内容が多くなった。三村理事長の報告文によると「(県高校駅伝の主催団体について)高教組が代休等請求の訴訟をおこしている現時点では、県教委としては争いの種を県側から多くするような休日の行事を主催することはできない。平日ならばいくらかでも共催する。」
「教育のことは一時もおろそかにすることはできないし、また現実の問題として休日の利用はやむを得ない。従って県大会は土・日を利用せざるを得ない。代休は学校によって与えられるところは可能の範囲で、また困難なところは時間を区切って空時間をとらせて貰うなど配慮を学校長に願いたい。」
という具合に、県も高体連も勤務時間を意識して対応している様子が随所に出てくる。

駅伝は共催負担金は出すが名は出さないという苦肉の策で例年通り実施されたのである。同様な苦肉の策として山田会長談によると「超過勤務については、高体連では超勤手当を出せないし、超勤命令も出せないということで、各高校長に、出張命令を出してもらわなくとも、高体連会長名で本人の了解を得て出張してもらい、高体連で手当を出すから、もし、事故が起きたら、さかのぼって出張命令を出したことにしてもらおうことで、当分の間は切り抜けた。

その間、文部省や全国高体連に申し入れ、是非教員にも超勤手当が出るよう運動をし、だんだん実って、今日のような給特法が通ったわけです。ただ、給特法はなるべく超勤命令を出さないことが前提条件になっており、今から考えると、本当に生徒と共に指導された先生方に応じた超勤手当を出した方がよかったと思う。」(30周年記念座談会)

45年からは「高校生運動部活動指導費」がわずかではあったが支給されるようになった。8条からなる規程によって補助金が出されたのであるが、その内3条までを上げておく。

高等学校運動クラブ振興助成規程

目 的

第 1 条 この規程は、県立高等学校における学校教育活動外の運動クラブ（以下高等学校運動クラブという）の活動を活発にするため、学校教育活動の範囲を超えて運動クラブが行なう活動に要する経費について、補助金を交付するに必要な事項を定めるものとする。

補助金の種類・経費

第 2 条 第1条に規程する補助金の種類および補助対象経費は次のとおりとする。

種 類	補 助 対 象 経 費
高等学校運動クラブ活動補助	つぎに掲げる運動クラブの活動に要する経費 (1) 教育活動外の対外競技会への指導者の参加 (2) 教育活動外の活動に対する指導 (3) 教育活動外の活動に関する研究と連絡

補助額

第 3 条 第 2 条に規程した補助対象経費に対す補助の額は、長野県体育協会（以下協会という）が毎年度、長野県から交付をうける。高等学校運動クラブ振興事業補助金をあて、協会が定めた交付基準要項による額とする。

(2) 学校教育活動としての対外運動競技

44年度当時の状況は次のようであった。

「都内の主な学校は殆ど軒並に学園紛争、大阪をはじめ全国各地もひどく、そのため今日も欠席が多い。高体連もいろいろ複雑な問題をかかえておるので、前からのしきたりだけで事を運んだら問題がおこる。今の学校教育は、教育ママに代表されるよりよい大学への進学という社会的要請の中で、体育軽視の風潮がある。学園紛争の根底にはこの辺の問題がある。

今日こそ知・情・意のバランスのとれた人間形成をはからねばならない。そのためには高体連もまた体質改善をはからねばならない。というのは、専門部のセクショナリズム化——選手制度——オリンピックの選手養成を喜こんでいるくらいがある。これを逐次改善する知・情・意を持たなければならない。」（全国高体連理事会での新井会長挨拶要旨メモ）

また「児童生徒の運動競技の基準」が出され本県高体連としては次のように対応した。昭和44年7月3日出された文部次官通達によると、児童・生徒の運動競技は、①学校教育活動としての対外運動競技、②学校教育活動以外の運動競技、の2つに分けられる。

従来より全国高等学校体育連盟は、全国高校総合体育大会は、①学校教育活動としての対外

運動競技としての立場を堅持してき、今後もその大方針には変りはない。しかし日本体育協会の理事の中には、全国高校総体を高体連からとりもどして体協の手に収め、昭和37年以前のような種目別の選手権に移すべきだとの意見が強く、9月4日の新聞報道にもなった。その後日本体育協会は傘下の各競技団体を通じて、これに対する各都道府県競技団体の意向をアンケートしているが、その結果はまだ発表されていない。

これに対して全国高体連では9月末に副会長会議を召集して態度を協議し、さらに10月の中央委員会12月の理事会で検討し、全国高校総体はあくまで、①学校教育活動としての対外運動競技の立場を堅持する方針を明らかにしている。しかし全国高等総体もマンモス化して批判の声もあるから、反省すべきは反省して、より教育的なものにしなければならない。

そのためには①全国高校総体規模の適正化、②高体連の体質改善、③学校体育の領域外→社会体育に高体連がどのようにタッチするか—接点の問題等の問題がある。

① 全国高校総体の規模の適正化については
○開催基準の四日間を原則とするとあるが原則を厳則にすべきだ。

○数を減ずるためにはブロック代表制も検討すべきではないか。

○開会式も国体を連想させるようなことはやめるべきだとの意見があり、さらにまた総体云々より高校生の国体参加が妥当かどうかを検討すべきだとの意見もある。

②高体連の体質改善について

新井会長の挨拶にもあるように状況は高体連の体質改善を求めている。このような状況から早速小委員会をつくって3月末までには成案を出すことになっている。

(3) 高体連と種目別協会

この頃の高体連と種目別協会との間に出てきた具体的事例を、会議資料の中からひろってみる。

① 水泳連盟登録料（41年度理事会報告）

日本水泳連盟は各県の水連に対し、高校生も個人50円・1校500円の登録料を納入しなければ一切の競技会出場を認めないとの強い指令を出したため、長野県水連でも各学校長宛そのような文書を勝手に出して混乱を招き、東北信の高校は登録のとき、これを納入した。中南信の高校は事前に事務局でこのことを察知して、その納入を見あわせ、高体連の経費で立替え払いして、全県的な解決について県水連との折衝を重ねてきた。

しかし登録料は全額日本水連に納入して、県水連には1円も残らないということであり、そのため幾度か折衝を重ねたが、県水連側が次のように要望して話が進展しない。

「東北信地区で納入した額を返すにも水連に金がない。県高体連の登録分担金だけでは赤字でどうにもならない。そこで、今年のところは日本水連の規定どおり納入してもらいたい。そのかわり高体連の分担金は今年は納めなくてよい。なお来年からは高体連の分担金（現在8,000円を相当値上げして）だけで登録手続きをするようにする。」

このような状態で解決の見とおしがつかないので全国高体連の会議でただしたところ、各県とも混乱した事態になっており、26県が水連の要求に従っているとのことである。そこで高体連としては、常任理事会で検討の結果、今年の水連の要望を入れて東北信の納入したのはそのままとし、中南信が納入するより止むを得ないだろうということになった。

② ソフトボール協会登録料（同上）

ソフトボール県協会は、分担金の少ないことから登録分担金のほかに1チーム1,000円の登録料を納入するよう各学校長宛文書を出した。これは専門部の努力によって新人大会に参加料をとるということで解決された。

③ 県縦断駅伝に高校生の参加要請（同上）

現要項から「高校生の出場を認めない」箇所をとって、本年は定時制の生徒については所属学校長が学業・生活指導上・健康上の立場から判断して参加の可否を決める。但し、この場合

も特に健康上の立場から原則として高学年生とする。

その他については校長協会と連絡をとり、理事会評議員で充分検討した上、明年までに結論を出す。

④ 新人大会について（42年度理事会報告）

新人大会は競技団体が競技力向上等の立場からやってくれるならば高体連は共催するというのが従来からの高体連の基本的態度である。従って、高体連は経費の負担もないし単なる名目共催がたて前である。だから高校の先生方が新人大会の役員として参加する場合は、その協会員としての立場であって高体連主催の大会とは異なる。また、オープン参加が原則で地区の予選を行なう必要があれば、これも競技団体が行なうべきである。

⑤ 種目別協会登録料等について（同上）

登録分担金は一括納入ということになっていくがだんだんくずれてきて、現在は登録料を個人負担している種目に水泳・スキーがありその他協力費として全国高体連の専門部に個人またはチームで拠出しているものに陸上競技・バスケットボールがある。その他、バレーボール・相撲・剣道は高体連から出している。また柔道は、研究誌を売ることによってその費用を捻出している。このように内容が複雑で不公平の向きが多くなってきているので、高体連の経費難のおりから登録分担金は根本的に再検討する必要がある。

⑥ 長野県体操協会の独立（44年度評議員会報告）

43年当初より独立を心がけ会長・理事長の適任者を探していた。昨秋にいたり夏目長野市長さんが会長を心よく引き受けて下され、理事長には長野商業の宮本金作氏をおし、年度末に一応の事務を宮本理事長に申し送る。3月に至って体操器具（段違い平行棒）の修理弁償の決算もできたので、4月18日残金13,370円を添えて一切の引き継ぎを終了し、ここに体操協会は高体連の手をはなれて完全に独立いたしました。

⑦ スケート大会高体連主催に（47年度会報、

事業報告)

県高校総合体育大会スケート競技が、従来の長野県総合体育大会兼国体予選スケート競技とは別に県高体連の主催として開催されるようになった。(理事長)

独立開催についてはスケート専門部永年の念願であり、競技方法についても国体方式でなくインターハイ方式——スピード競技の予選はシングルトラックレース、決勝はダブルトラックレース——で実施できた意義は大変大きく永年続けていく方針である。(専門委員長)

2 規約の改正

44年5月10日諏訪二葉高校で開催された評議員会において、高体連規約と大会開催基準要領が大巾に改正された。その時の会議資料によると、改正の趣旨・主な狙い・主な改正点が次のように書かれている。

(1) 長野県高等学校体育連盟規約

① 改正の趣旨

現規約が施行(33年4月29日、5章23条)されて10余年、その間いつしか高体連は大会主催団体であるという固定した考え方が運営の根底

に根強く流れておるが明らかに第3条の目的(高等学校体育の振興を図る)にそわない考え方である。従って目的に応じた事業内容を再検討する必要があること。また運営も時の流れに応じ、だんだん規約からずれておる向きもあること。一方、さらに高体連をとりまく最近の諸情勢は複雑な諸問題をかかえておるため、その機能を再確認する必要があることなどから1年間再検討の準備をして来た。

② 改正の主な狙い

- イ、目的に応じ、事業内容を明確にして果すべき役割りををはっきりさせること。
- ロ、だんだん便宜的に行われて規約にずれておる向きを再検討すること。
- ハ、条文を整理し、また役職員の任務をより明確にすること。

③ 改正された主な点

- イ、第4条(目的を達成するため必要な事業を行う)従来事業内容が明確に規定されず、第1・第3項だけを事業内容としておったが、目的にそうよう第2・4項を明示したこと。
- ロ、第15条 従来慣行的に行っておった常任

体育大会開催(共催)方針
長野県高等学校体育連盟

高等学校の全国大会(団体は除く)は年一回、方針を改め、県高体連に於いてもこの方針に準じ、県高体連公認大会(主催共催)の次の基準に依る。

(一) 全国大会は、全国高体連共催の大会一回を公認する。
 (二) 県大会(団体予選を除く)は、(一)の全国大会より進大会並に新人大会を公認する。持て、世帯と認められる場合、一回に限って追加公認する。

(三) 県大会一回の内容は、次の基準に依る。
 (1) 県大会は、工程日曜に実施することを本会とする。
 (2) 各種目参加者数基準下

(1) 陸上競技 各種目 各地区	男女	各二名同一種目(四種目以上)
(2) 籠球	男女	各三チーム
(3) 排球	男女	各四チーム
(4) 卓球	男女	各二名同一種目、各二校以上、進大会は各二校以上、学校対抗
(5) 軟入走球	男女	各二名同一種目、進大会は各二校以上、学校対抗
(6) ハンドボール	男女	各二名同一種目、進大会は各二校以上、学校対抗
(7) ソフトボール	女	各二名同一種目
(8) 体操 団体徒手	男女	二校(二チーム)
(9) 体操 体操競技	男女	各校対抗三校(二十名)種目別(持て一名)個人総合三名以内
(10) 柔道	男女	四チーム
(11) 剣道 個人	男女	四チーム
(12) 剣道 個人	男女	八名
(13) 駅伝	男女	三(四)チーム

④ 新人大会の開催については、進大会並に学校対抗とする。

理事会を明確に位置づけたこと。これは、理事会は諸種の事情から年2回が限度であること。四地区の高体連の実情に最も通じておる常任理事の機能を活用した方がより民主的な運営ができるとの考え方による。

ハ、第21条 会議の成立は従来3分の2以上となっていたが、校務をもっている関係上、困難であるということから2分の1に改めた。

ニ、第24条 新条項 従来出場を公認されておる各種目の全日本選手権大会及びその予選等の出場にこの条項は適用しないとの考え。

ホ、第26条(次の書類を備える) 高体連20年の歴史の記録が極めて不備であるため、明確に規定した。

(2) 長野県高等学校体育連盟大会開催基準要項

① 改正の趣旨

現行の「体育大会開催(共催)方針」は規約同様10年以上前のもので、現状は有名無実になっておること。また一方新人戦等においては開催時期・参加方式・運営等について、かなりの苦情が年々あること。大会が多くて困るという声もあり、規約とともに1年間再検討の準備をしてきた。

② 改正の狙い

イ、最近のスポーツ界はアマチュア規定の問題、生徒の対外試合基準緩和の問題、或は高体連内部の問題としては超過勤務・代休の問題等大きな問題をかかえておるが、それらは簡単に解決されるものではない。一方青少年の体力の低下がさげばれておるにもかかわらず、高校生の運動クラブ参加状況は停滞乃至は減少の傾向すら伺われる現況である。

これらの現状を考えると、徒らに上からの解決策をまっておれない。そこで高体連としては学校体育と社会体育の担当すべき領域を現時点において、それなりにはっきりさせて、高等学校体育の振興をはか

り、それによって長野県体育振興に寄与しようとするのが最大の狙いである。換言すれば、我々自身の問題としては学校体育の推進者としての立場と社会体育の推進者としての立場をはっきりさせて、学校における混乱をなくし、体育振興をはかるのが狙い。

ロ、高体連の公認する大会はすべて高等学校教育の一環であるという立場から、高体連の責任体制を明確にすること。

③ 主なる改正点

イ、目的を明確にし、高体連の公認する大会は学校体育の領域として位置づけたこと。

ロ、主催・共催・後援する大会を規定し、制限した。

ハ、従来新人戦は、種目別の競技団体で開催してくれれば共催するということで、名義だけの共催であったものを主管に加って責任体制を明確にしたこと。

ニ、大会の規模を参加チーム(人数)・日程により規定したこと。

3 全国高校スキー大会で飯山南7連勝

「第15回全国高校スキー大会で、同市内にある南北両高校が男子・女子同時優勝という、全国高校大会はじまって以来の珍しくもまた記念すべき記録を樹立をした。」(「飯山北高スキー史」)時が、飯山南の全国大会初優勝である。40年度のこの花輪大会から47年度十和田大会まで7連勝(46年度神鍋大会は雪不足で中止)という、おそらく不滅の記録になるであろう偉業を達成した。長野県としては、前節で述べたスケート女子の南佐久実が9連勝の後、一年置いて40年度に再び全国優勝してスキー女子の飯山南へバトンタッチした形となり、冬季スポーツ長野の名を更に強く全国に印象づけた。

49年度の「飯山南高スキー部後援会報」に当時の後援会長片桐匡(現県スキー連盟会長)は次のように書いている。

「優勝を逸してみても痛切に感ずるのは、過去七回にわたって連続全国優勝という輝かしい栄

光を守り通してきたということは、いかに偉大なできごとであったか、そしてそれはいかに困難なことの実現であったかを、今さらのように身にしみて感ぜずにはられません。全国の強豪のひしめく中で優勝するということは、単なる力とか強さとかいうものだけでは実現できるものではなく、そこにはめぐり合せとか運というようなものにやはり大きく左右されるものであるということも思い知らされました。

それは、過去においても幾たびか、もうダメだという絶望的な境地の中からも優勝の女神に救われて栄光に輝いたこともしばしばあったり、また当然得点し得るといふまんまたる自信を持ちながらも得点に結びつくことのできなかったこともありました。

ことにスキー競技というものは、どんなに自信があったり、力があったりしても、やはりやってみなければ判らないといった水ものであるため、常に優勝を続けるということのむずかしさは、他のスポーツの比ではありません。

こうしたことは、連勝を重ねるたびに、とかく忘れがちとなって、勝つことがむしろあたりまえのような観念となってしまうのが事実で、それだけにこのあたりまえと思われる優勝のむずかしさ、心の負担の大きさ、圧力めいたものを改めて認識しない訳にはいきません。

いろいろな意味で今回の敗北は、苦い、貴重な体験であり、いくつかの教訓を得、さらに新しい闘志をわきたたせてくれるとも言えます。

ここに決意を新たにして、再度の優勝を目指してみんなで協力一致して頑張って参りたいものと思います。」

48年度は惜しくも3位であった。49年度には男子で飯山北が全国優勝を飾り、飯山南も準優



勝と2度目の南北同時優勝にあと一步であった。

他の種目の全国大会上位入賞を見るとやはりスケートに多い。準優勝に男子で南佐久実(41年度)、野沢北(43年度)、女子で南佐久実(41・43年度)二葉(45年度)がある。また3位には男子臼田(41・46年度)、野沢北(47・48年度)、軽井沢(49年度)があり、女子南佐久実(42・44年度)、二葉(43年度)、野沢南(45・49年度)が入賞している。

総体種目では弓道男子諏訪実(41年度)、同女子飯田女子(49年度)の3位が最高である。他にバスケットボール女子蟻ヶ崎の4位(43年度)、登山男子優秀校辰野(48年度)、バレーボール女子塚原のベスト8(40年度)がある。

4 高体連史編纂と高体連会報の発刊

(1) 高体連会報の発刊まで

47年度の会報が創刊号(写真)であるが、その編集後記に発刊に至るまでの経過が次のように記されている。

「数年前から高体連の歩みを記録に残しておこうではないかとの意向が強くなり、高体連史編纂の事業に着手しましたが、資料不足のため遅々として仕事が進まない状態です。このままでは毎年の記録も散逸しがちであり、将来のために芳しくないので高体連史とは別に毎年の記録や反省・感想等を盛りこんだ「会報」を作成することになりました。本来ならば、研究調査部とは別に会報編集部を組織し仕事を進めるべきでしょうが、それではまた一年遅れることになるので、昭和47年度については研究調査部で編集した次第です。」

逆上って会議資料等をひもといてみると、41年に出てくる「高体連誌」がこの起点である。即ち、この年に分担金を値上げするに当り説明のための資料を出した中に、12項目あげた値上げ理由の一つとして「高体連20年誌編集の調査・準備をしなければならぬ」とある。その後の経過を見ていくと、会議録に「本として2・3年中にまとめるのは困難で、せいぜい資

料をまとめておくだけになりそうだ」(5月評議員会)、「インターハイ準備その他で手が廻らず繰り返し」(12月理事会)という理事長の発言がメモされており実際には進まなかったようである。

43年には、当面する諸問題を解決してゆくためにはそれらに対する基礎的な調査研究活動が必要であるということで「研究調査部」が設置される。その研究調査部の調査研究項目として、超過勤務・生徒減による経費減・体協との関係・クラブの実態などと合せて、高体連誌が理事会記録に記されている。しかしこの時も具体的進展はなかった。

45年度になってやっと「高体連史は高体連創立当初から30年頃までの資料が無くて困るので、当時の事情に明るい方々に協力を願ったり、当時の資料を持っておられる先生方や学校の協力を得たい旨研究部からも要望された。」(12月理事会)となる。

46年12月の理事会で「事務局のある地区でその所在する市およびその附近の学校より、高体連史編纂委員2名を選出する。」ということが決った。



(2) 高体連史発刊見送りまで

48年から研究調査部は具体的な高体連史編纂の作業を開始した。その内容は会報に詳細に報告されている。54年に発刊見送りが決まる訳であるが、年度を追って会報から関係事項を抜粋して記す。

① 49年度(会報3号)

第一回会議 7月9日 於 長野西(以下同)
高体連史の作成 昭和51年度に完成を目途として作業を前年にひきつづいて行なう。24年より33年までの役員表の完成と歴代会長および理事長に原稿を依頼する。

第二～四回会議 8月・9月(泊)・11月
役員名簿の校正およびその原稿確認のための校正依頼書500部作成して発送。

第五回会議 50年1月14日
33年までの役員表の補充ほぼ完成。各校の県大会以上の高体連系統の大会の競技成績調査(発送)。発刊予定、昭和51年7月末日。

本年度の反省および感想

前年度より51年完成をめざして長野県高体連史の編纂に務めたが、高体連スタートから昭和30年中頃までの役員表調査には多大の苦勞を要した。当時の資料はまったくなく、また、当時活動された方々に調査書を託して返送を求めたが、思うにまかせなかった点が多々あった。さらに現職におられる方々に苦言を呈するようだが、返送下さった方が半分にも満たなかったことは、まことに残念であった。こちらの依頼の仕方が悪かったのか今後もよく検討してみるつもりである。しかしながら、33年度までの役員表は苦難の末、ほぼ完成した。それ以後の役員表は資料もあり安易である。次の階段として各校の全県的大会以上の好成績のあげたものを調査し、それを整理し完成していく予定である。前途は多難である。

② 50年度(会報4号)

9回の会議が持たれ7回までが高体連史の資料作成に当てられた。特徴的な2回についてみると、第四回会議 8月11日～12日(合宿)

- ・長野県高体連史「25のあゆみ」について具体的構想をワラ紙一枚一枚記入し、その完成日時・資料依頼者等を決める。

- ・34年より46年までの役員表を整理

- ・県立図書館にて信毎マイクロフィルム閲覧

第五回会議 8月25日

- ・予算・決算について収入合計・支出合計・残額加盟校数・会員数・分担金額を四地区

別及び全定別に調査する。

- ・行事・大会については種目別団体及び高体連のどちらで主催したのか、また県大会以上の開催年月日・場所・種目について調査し、それをまとめながら歴史年表を作成する。

本年度の反省および感想

本年は51総体を記念して「長野県高体連史」の発刊をめざして、作業を進めてみたが、予算編成上難点があり、総体に全力投球するというところでやってきたが、途中で小休止せざるを得なくなってしまったことは、誠に残念である。これに対しては委員全部が猛烈な情熱を燃やして取り組んでいたもので、この決定をみた時には、一時は全く放心状態に陥って何も手につかなかった。しかし、半世紀に一回しか開催できない総体を成功させるためであれば、涙をのんで予定変更もやむを得ないだろう。また、いつの日か完成されることを期待し頑張らねばと、焰を消すことのないように固く心に誓い合った次第である。

51総体が終了したら再び高体連史の資料収集・編集に取り組む訳だが、その際は各専門部の絶大な協力をお願い致します。

③ 51年度（会報5号）

全年度の反省にあるように51年度発刊は見送られたが、この年も10回の会議のうち7回までは高体連史関係の仕事が殆んどであった。第四回会議では次のような具体的構想が確認された。

表紙ならびに製本

500～600頁・B5版・横書き・1頁2段
天地21cm(46段)・左右15cm(25字×2)

経費

印刷製本	1,000部	2,500,000円
編集費		710,000円

しかし、10月末の第七回会議の項に記された「予算の見通しつかず一時保留」という事態に立ち至るのである。

52・53年度はそれぞれ4回ずつしか会議は行われず、高体連史については今後のとりくみについて討議がなされた程度である。35周年記念史ということも議題に上ったが新たな動きにはならなかった。

④ 55年度（会報9号）

54年に設置された規約等検討委員会によって、県高体連30年史編集委員会についてということ次のようにまとめられ、54年度末の評議員会で採択された。かくして、およそ10年前からこつこつと積み上げられてきた調査研究部を中心とする活動は、実を結ばずに幕を引くことになったのである。

“県高体連史”の刊行については、近い将来実現さるべく53年度より15万円ずつ積立をしてきたところであるが、その実現には膨大な経費を要すること論をまたない。当委員会としては、その機未だ熟せずと判断して次の二点を提議するにとどめた。

- ・当面基礎的諸資料の収集・整理・保存ならびに編集準備等緊急な必要性は認められるので、「高体連の記録」（仮称）編集委員会を組織して、将来の「県高体連史」に備えるべきである。なお、この活動費は県高体連の予算の許す範囲内で計上するものとする。
- ・年々発行中の「会報」の編集は上記委員会の担当とする。

この報告に基いて55年度に会報編集専門部が設置され、二点目の会報の編集の分野のみをその任務として現在に至っている。

5 全国高校総体誘致

47年の全国高体連理事会で、51年度全国高校総体を長野県を主会場に北信越で担当することが内定した。高校生の大会とはいえ、莫大な費用と人手が必要とされるので、県知事を実行委員会々長に全県あげてのとり組みとなった。詳しくは第四章で述べる。

高体連としては、48年7月に総務・競技・式典の3特別委員会を発足させ「体育方面に立ち遅れの感のある本県といたしましては、一大飛躍を期し得る絶好の機会であります。高体連の責任の重大さを痛感するとともに、高体連の総力を結集してこれにあたらなければなりません。」(中村会長 会報2号巻頭言)ということと組織を固め意欲的に準備を始めた。その一つとして開催基本方針について学校現場の意見を集約し次のようにまとめた。(49・1・26)

昭和51年度全国高等学校総合体育大会 開催基本方針について

このことについては、昨年以来各学校においてご検討いただきかつ多くの貴重な意見・要望をお寄せいただき有難う存じました。1月21日、常任理事会においてこれらを集約検討の上、原案を修正し、さらに1月25日、県評議員会において討議の上、若干の修正を加え別紙のとおり決定いたしました。ご了承いただくと共に今後のご協力の程お願い申し上げます。

なお、各学校から寄せられた意見・要望等のうち主なものをまとめました。ご理解をいただくため若干の説明を加えさせていただきます。

1. 「方針」に長野県としての特性が出ていないということについて

- (1) 選手中心とするのではなく授業・部活動・クラブ活動等高校体育の充実・発展を特に重視し、その上でスポーツに適性を有する生徒をさらに伸ばそうとするものであり、当然のこのようではありますが、大きな特色と思います。
- (2) 大会を一時的なものに終わらせることなく、着実な底の深い、継続的なものとするため大会の準備や参加を通じて、学校体育は勿論、施設・設備等にいたるまで将来にわたって、県高校教育進展の一つの基盤となることを期しております。
- (3) 大会開催や、開催方針等の重要事項については、各学校の意見を集結して決定運営にあたる方法は長野県の特徴であります。今後も学校教育の立場から高体連が主体性をもって運営にあたる所存です。ただし関係機関との協力のもとに大会が開催されますので、細部に関してはそれぞれの機関で計画されることとなりますが、決定された本基本方針に従って実行いたす所存です。

2. 施設・備品等の整備の年次計画を具体的に示して欲しいということについて

体育に関しては、たとえば理科教育振興法による基準のようなものがないので、明確なよりどころは現在のところありません。父兄負担の軽減の努力とともにこの方面の研究をすすめておりますので、この基準に従って、年次的・計画的に高校教育課に予算計上を要請していくことになっております。

3. 教職員の勤務が過重にならないよう、また

授業に支障のないよう十分配慮して欲しい、ということについて

開催方針通りに関係機関に要請するとともに、高体連としても充分配慮していきたいと思えます。

4. 資金について

独自の資金の獲得方法については生徒負担を避けてほしい。との意見がかなりありました。学校負担は最小限にとどめ、極力募金等により調達をはかることにいたしますが、今後の進展に応じて具体的に総務委員会等で検討してできるだけ早い時期に明らかにしたいと存じます。なお、高体連が独自の経費を必要とすると思われる主な理由は次の通りです。

- (1) 役員・補助員その他実際に活動する人達の経費の個人負担は絶対に避けたい。
- (2) 主体性をもつためには必要に応じて独自の資金支出が可能でなければならない。
- (3) 計画以外のことが生じて運営に支障を来すことが憂慮される。

5. その他

かなり具体的な細部にわたるご意見・ご要望もありましたが、今後それぞれ部門別に具体的な方針が樹てられ実行に移されることと思われる。関係機関・関係諸団体と密接な連絡をとり基本方針に即して遺憾のないよう努力していきたいと存じます。

49年度には未成熟種目であったウェイトリフティング・自転車・フェンシング・ヨット・ホッケーの5種目が、高体連の専門部として認められ仲間入りをした。それぞれクラブを有する学校は2・3校に限られていたが、周囲の期待を背負って活発な活動を展開した。

施設面では、できるだけ既存の施設・設備を拡充するという方針で進められた。それでも長野東・松本工・中野に体育館が、また長野東に50mのプールが新設された。社会体育施設の新設は、総合開会式が行われた長野市営陸上競技場をはじめ長野市民プール・松本自転車競技場・岡谷、中野の市民体育館・箕輪町武道館であった。蟻ヶ崎・県ヶ丘・豊科・岡谷東・岡谷工の体育館改修・上田染谷のグラウンド改修も行われた。

第4節 昭和50（1975）年代

——全国高校総体により組織強化・競技力向上がされた時期——

1 51年度全国高校総体開催

第四章に詳しく記したように、51年度の全国高校総体は長野県で開催した。閉幕後の10月、総務特別委員会で『回顧』と題する大会のまとめの冊子（第四章グラビア）を刊行した。冒頭のあいさつで、時の佐藤高体連会長はこの大会を次のように評価している。

「準備の段階から、大会の終了に至るまでの長い期間にわたって、大勢の先生方、生徒の皆さんが、各種役員、出演者、補助員、推進委員などの立場で、献身的にご尽力をいただいた活躍振りを、いちいち申し述べる紙面の余裕がありませんが、実にすばらしいものがありました。総体成功に向けて、それぞれの任務に黙々と取り組まれた真摯な態度には、胸をうたれるものがあり、深く敬意を表します。

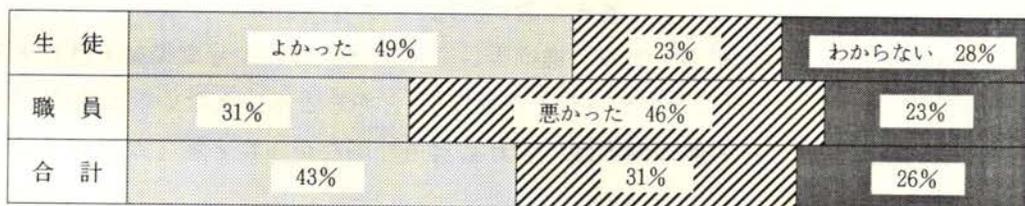
大会を終って、各方面から好評をいただいておりますことは同慶にたえません。特に、

高校生諸君の活躍については、県外からも多くの賛辞をいただいております。「主役はわれら」の意気込みで、本県の高校生として、その面目を遺憾なく発揮され、立派な成果を挙げられたことに対して、重ねて敬意を表します。

本県から選手として参加された諸君も、日頃の精進の成果を発揮し、力いっぱい活躍によって、従来大会では見られなかった成績を収め、上位進出者の層の厚さを示してくれました。」

この冊子には40人を越える関係者の回顧等がつづられているが、いずれも大役を果たした満足感が読み取れる。いちいち紹介できないので割愛して、ここでは総務特別委員会が県下103校の生徒2名職員1名を抽出し、309名を対象に実施したアンケートのまとめによって51総体を総括してみる。尚調査期日は51年9月下旬、回収率は68%であった。

Q 独自資金のカンパ方法についてどう思いますか。



独自資金については生徒は49%が「よかった」と答えたが職員は46%が「悪かった」と答え、合計でも「よかった」が43%「悪かった」が31%「わからない」が26%と分散した。

しかし、26%の「わからない」と答えた者の分析は不十分ではあるが、「よかった」と答えた者が「悪かった」と答えた者より12%多く、問題はあったがいたしかたないと判断する。

又、「悪かった」と答えた31%にその方法をたずねると、分担金制度、40%、任意カンパ、31%、県費、17%、寄付、6%という結果を得た。しかしいずれの方法についても、一長一短があり、むずかしい問題であることを痛感した。

Q 総体準備のためのリハーサル、講習会、その他の講習会等、学校運営に支障があったと思いますか。

生徒	あった 37%	なかった 49%	14%
職員	22%	50%	わからぬい 28%
合計	27%	49%	23%

学校運営に支障が「なかった」と答えた者が49%あり、「あった」が27%、「わからぬい」が23%であった。これは全体的には、この大事業からみて支障があったとはいえないが、特定地域にあっては多少の支障があったことは見逃すことは出来ない。

又「あった」と答えた者の具体的内容は教師の出張が45%、授業の欠課が35%、体育授業の内容12%等であり、特定教師の出張についてはある程度対策を講じたがさけることは出来なかった。

Q あなたは高校総体開催中何か競技を観戦しましたか。

観戦した 34%	係員、補助員として観戦した 26%	観戦しない 40%
----------	-------------------	-----------

「観戦した」と答えた者が34%、「係員、補助員」が26%、「観戦しなかつた」が40%あり、一般の者の観戦者は悪天候も影響して少なかつたことは実証される。

Q あなたは高校総体推進のために作られた推進委員会をどう評価しますか。

成果を上げた 50%	成果を上げることは出来なかつた 16%	どちらともいえない 30%	→その他
------------	---------------------	---------------	------

推進委員会については「成果を上げた」と答えた者が50%、「どちらともいえない」が30%であり、地域によって競技会のなかつた場面もあり、推進委員会は総体成功に十分成果を上げたと考えたい。しかし、「成果を上げることができなかつた」が16%、「どちらともいえない」が30%「その他」が4%を合すると50%あり、その他の内容はいずれも自主性がなかつたと答えた者が多くこの点、十分反省が必要である。

Q あなたは高校総体が終わりましたが、スポーツに対する高校生の関心度は高くなつたと思いますか。

高くなつた 32%	変らぬい 56%	1%低くなつた	→わからぬい 11%
-----------	----------	---------	------------

「変らぬい」と答えた者が56%あり、これは東京オリンピック以来スポーツに対する関心度は急激にのびているがテレビの普及と相まって、見るスポーツから脱皮することが出来ないことを物語っている。

Q あなたは高校総体が開かれたことによって県内高校生の運動クラブに著しい伸展を見ることが出来ると思いますか。

出来る 17%	少し出来る 60%	できない 8%	わからない 15%
---------	-----------	---------	-----------

この頃については、特に今後の高校クラブ活動のレベルの向上についてみようとしたのであるが、「みることが出来る」と答えたのが17%、「少し出来る」が60%あり、両者を合せると77%になることを考えると、他の要因（例えば、体力、精神力）を加味することによって、かなり今後のクラブ活動の伸展が可能である。

Q あなたは高校総体開催がプラスになったと思いますか。

なった 69%	ならない 6%	わからない 25%
---------	---------	-----------

高校総体が開催されたことに69%がプラスになったと答えている。その理由は、体育施設の充実が33%、スポーツ振興が38%、環境の美化が、12%、道徳の向上が8%、学校体育への成果が7%となっている。このことから、高校総体が、単なるスポーツ活動ではなく（勝敗だけでなく）、少なくとも、スポーツの大衆化、環境の美化、道徳感等の向上に貢献するものであるということを理解していたことがうかがえる。

ま と め

県高体連、特別委員会が準備段階として行った事前事業を客観的に考察すると次のとおりである。

- ① 総体ニュースはPRの方法として成果を上げることが出来た。
- ② 独自資金のカンパについては、問題を投げかけた時期がおそく、必要性の徹底と十分な理解を得ることができず、むずかしい問題であることを痛感した。
- ③ 「自然と友情と躍進と」というテーマは長野総体としてすばらしいテーマであった。
- ④ 総合ポスターについては、かならずしも好評であったとはいえない。
- ⑤ リハーサル、講習会、練習会等については、特定地域にあっては多少の支障が出たことは見逃すことは出来ない。又特定教師の出張については、ある程度対策を講じたが、さけることは出来なかった。
- ⑥ 推進委員会の設置は総体成功に十分成果を上げた。しかし自主性（主体性）という面がもう少しほしかった。

以上のように総務委員会の行った事業を顕著に反省し、今後の高体連及び教育活動に生かしたい。次に51高校総体と今後のスポーツについて考察すると、

- ① スポーツの大衆化（県民皆スポーツ）の理解は出来ているが、見るスポーツから脱皮することが出来ない点は今後における課題である。
- ② 高校生の運動クラブのレベルの向上については、今後の体力と精神力をいかに育てるかによって、かなりの伸展が可能である。
- ③ この問題については質問の数も少なく（アンケート）又大会出場者、クラブ員からの資料がなかった為、十分な分析は出来なかった。

以上、紙面の関係で簡単にまとめて見ましたが、高校総体は高校生に対し、多くの影響を与え、スポーツの進むべき方向と大衆化スポーツ（県民皆スポーツ）の基礎を築いた点は意義があったのではなからうか。

2 長野県高体連30周年記念座談会

52年度の会報（第6号に）収録されている座談会の記事より、既に本史に引用した部分と原稿参加の部分は除いて転載する。

期 日 昭和53年2月16日（木）

会 場 ホテル信濃路

出席者 会 長

初代 西村 文雄（S24～31）、

2代 塚田 隆雄（S32・33）、

5代 久保田文雄（S38・39）、

7代 山田 石男（S41～45）、

現 丸山 保彦（S52～）

理 事 長

初代 刈間今朝雄（S24～33）、

2代 丸山 保彦（S34～39）、

3代 三村 成美（S40～45）、

4代 北沢 生吉（S46～48）、

現 湯本 宣政（S49～）

現 役 員

清水和彦副会長、平林忠章副会長、関谷一郎副会長、北村喜男副理事長、渡辺伊八常任理事、油井考一郎常任理事、上島大常任理事、坂本保幹事、荒井瀧衛幹事

原稿参加

更科勉3代会長（S34・35）、新田稔4代会長（S36・37）、

宮下清計6代会長（S40）、中村博二8代会長（S46～48）、

佐藤穂次9代会長（S49～51）

丸山現会長 本日は、全国的に氷点下という寒い日になりましたが、新制高校30年の間で長野県学校体育振興のためにご苦労いただきました代々会長・理事長の方々にご案内申しあげましたところ、ご多忙のところご参加頂きまして、現役員一同感激いたしております。ご案内のうち、更級3代会長、新田4代会長、宮下6代会長がご都合で欠席されます。（中略）

お陰をもちまして高体連も発展してまいりました。しかし、その反面、先輩各位から見

ればいろいろの問題点がおありと思います。今日は、気楽な立場で昔を語っていただくと同時に、現高体連に対するご指導をいただき、よりよい高体連に発展してまいりたいと思います。

今日は、時間が十分ございませんが、気楽に座談会でいろいろの思い出を語っていただきまして有意義な会合にいたしたいと思いません。

西村初代会長 私は、高体連の会長として長い間勤めました。私が、青森から長野工業に来た当時は、いろいろ問題がありました。とにかく、来た以上は好きな事をやる以外にないと考え、やるだけやれと決めたわけです。幸にして、運動関係の仕事がぶつけられたわけです。終戦の翌年に、県高野連の会長に押され、8年間会長をさせられました。昭和24年からは、高野連と高体連の会長をやっていましたが、8年間でやめました。

私は、多くの運動関係の仕事やらせてもらい、大変気持ちのよい学校生活を送らせてもらい、お陰様で、1昨年勲4等ももらいました。

そこで、皆さんにお願いですが、体育の専門家でおられる皆さんは、種目別協議大会の幹部になって、もっと積極的にやり、体育は永久におれ達の仕事だと思って頑張ってもらいたい。教科の仕事については、それに一生をささげた先輩の皆さんが、よりよい指導をされるのが健全と思います。

塚田2代会長 私は、西村先生や刈間先生が作られた基礎の後に乗ったということで、ベテランの刈間先生の指示で大会のあいさつを行うことでしたが、大変勉強になり、更に若い者の中へ入っていったことで若返り、高体連に大変感謝しております。

思い出として、全国高校スケート大会が北海道の帯広で行ったとき、長野県高体連会長は全国スケート部会の部長をやることになっており、宿舍のルンペン（ストーブ）を燃し

ながら酒をくみかわし語り明したことが印象に残っています。

久保田 5 代会長 79才であまり遠出はできないのですが、皆さんが頑張っておられるのに敬意を表さずにはいられなくなり、参りました。

私は、長野商業の校長時代に会長を仰せつかったのですが、体育はずぶの素人で、高体連ではロボットの存在で、ほとんどは丸山理事長が采配を振ってくれました。しかし、2年間の在任中、体育に関し教えられることが多く、特に、理事長はじめ皆さんが熱心に体育振興のために努力されている姿を見て、高体連を非常に力強く感じた一人であります。

また、新潟国体、山口国体、北信越大会等に参加し、若人の活躍する姿を見まして、非常に力強く思い、長野県高体連が健在だという感じを受け、同時に、体育の必要性を痛感させられました。その後、牛に引かれて善光寺参りでなく、子供に引かれて神奈川県にまいり、現在、法政二高で週3回勤務しております。

山田 7 代会長

(前略)

北信越高体連会長をやってみて感じたことですが、北信越大会は、全国大会の出場権が決ってから行われるので、強化大会の感じが強く問題があり、何とか陸上競技のように予選会を加味した大会にしたいと思い、北信越5県の了解を得て全国に提案したのですが、種目別委員が非常に強く、結局、それは聞きおく程度で終わってしまった。

また、県体育協会の不祥事件の時、体協の副会長をやっており、体協役員総辞職ということになりまして、その後の再建にはいささか力をつくし、再建委員会で今日のような形にしたのです。

当時、不祥事のため、文部省や日体協からの補助金がこないということで、体育課長や関係者が苦慮し、日体協に相談したところ、

立派に再建できたら補助金を出すと言われ、その付帯条件として、国体のスケート大会の長野県開催と体協の法人化をすることで、引き受けました。法人化はそれ相当の基金を集めてできたわけです。

スケート大会は、一億円の援助を受け、本郷村の三村村長のお骨折りで、美鈴湖の国際スケートリンクができ、翌年、全国高校と国体を行ったことを覚えています。

今になってみますと、根が正直で強引な男です。随分先生方にご迷惑をお掛けしたと思います。

三村 3 代理事長 40年、いろいろの事情から松本県ヶ丘で事務局を受けざるを得なくなり、丸山前理事長のところへ引き継ぎにいったのですが、経理面は繊細に引継いだのですが、運営面は、古い事は知らずに新しい感覚でやった方がよいといわれ、当時は大変冷酷な先生と思ひ引き受けました。しかし、1年を経てみて丸山先生の胸中が非常にわかりました。

そこで、1年間は勉強しようと思ひまして、古い書類を引っ張り出して勉強し、最初の1年は前年度を踏襲してやりましたが、一番苦しんだのは金の問題でした。

大会をやるにも金がなく、各部の専門委員長が全国や北信越の専門委員会に各年ごとに出席してもらっていたのですが、その金がなくて打切り旅費で相当の自己負担をして行ってもらいました。それでも予算措置ができず、規定の改正を考えたわけです。そこで、何とか財政を豊かにしようと、6年間金のことばかり心配し、山田会長には値上げのことばかり相談して過しました。

金の面でもう一つの問題は、体協との関係で、国体の役員の高体連関係者の旅費を県体協から出してもらおうよう働きかけたのですが、思うように実現できませんでした。

丸山 2 代理事長 (現会長)

(前略)

一番印象のあるのは、全国スケート大会の開催です。当時、全国スケート部長は、長野県の会長が務めることになっており、理事長を受けた年度の1月に偲う蓼科湖で全国スケート大会を開くことになっていたわけです。

そこで、県に話をしたのですが、お付き合いで10万円出してくれただけで、大会では確か84万円かかったと思います。それで、手伝ってもらった南信の先生方にあげる費用もないので、諏訪地区の生徒のうち商売をしている家をまわって200円ずつの広告を出してもらい、プログラムに小さな広告を沢山出しました。

資金不足のため、朝霧の駐とん地へ行き、テントを借り、選手・役員の控所を作り、更に冬期演習ということで、自衛隊の協力を得た。ところが、運悪く、雨と雪が降り、1日大会が延期になり、何10万の赤字になり、先生方の費用を各校で負担してもらおうよう、更級会長とお願いに廻ったことを思い出します。

在任6年間で、スケート大会は、蓼科湖、軽井沢、蓼科湖上の平人工リングで3回実施しました。当時、スピード長野ということで、スピード以外何もなくて、アイスホッケーを作ろうということで、軽井沢高校を訪ね、校長にお願いして、スケート連盟で用具は買ってやり、コーチは国土計画の小平君、軽井沢スケートセンターは無料で貸してくれるという条件で、野球部の選手の冬季練習としてやり、国体に出、青森県に大敗したことがありました。

こんなことで、全国のスケート専門部長は、長野県で独専するのはまずいということで、初代の西村会長から14年間続いた部長を無理やり青森県に押しつけてしまいました。(後略)

北沢4代理事長 46年長野高校で引受けましたが、1年間はわからないままにやって来ましたが、47年6月の全国理事会に行き、たまた

ま県陸上大会のため1日早く帰ってきた日に、全国総体の当番が北信越という話が持ち上がったわけです。それから、いろいろの経過を経て、とにかく長野県が主催会場を受け持ち、5県でそれぞれの種目を引受けることに決めたのが48年6月頃かと思います。

とにかく、県、開催市、各校の協力を得て実施しなければならないが、中を固めるために特別委員会を作ったわけです。その間、県と補助金の交渉をやり、48年に100万をもらい、高体連としても独自資金を作って、大会運営に役立てました。

この間、私の記憶にあるのは、47年度版の1号会報に出したこと、47年から定通部が高体連に加盟したこと、大町、松本駅伝が23年間続いたのを48年に中止になったこと、スケートの県大会が、48年から国体と切り離し高体連独自の大会になったことです。

これからの方にお願ひですが、全国高校総体への参加補助金を、国体同様に県費を出してもらおうよう努力してほしい。全て県費で出場している県もあり、今後、大いに県に働きかけて実現できるようにしてほしい。

湯本現理事長 今まで、代々の会長、理事長さん方から、ご苦心談、思い出話をお聞きしたわけですが、長い期間を経ても解決されない問題が沢山あります。例えば、規模の適正化については、全国高体連でもようやく54年度から縮小していこう考えになっています。北信越大会を全国大会の予選会にしたらという声もありましたが、一昨年当りから文部省も言い出しています。

経済面では、現在も窮屈で、51総体では県補助金や独自資金でやりくりしましたので、運営が楽でした。しかし、52年度からは従来通り苦しくなりましたが、先輩方のお骨折りで、県補助金も段々につきつつあります。昨年からは、全国大会、ブロック大会の派遣費が文部省から出、約200万つきました。その他、県大会、新人大会等にも補助金がつくようになりました。スケート大会は、3種目を

別会場で開催されましたが、53年度は、本県で1本にまとめて開催する予定になっていますが、まだ結論は出ていません。

私達は、51総体の大きな経験を、今後の体育振興に生かしていきたいと思いますが、先

輩各位におかれては、私達後輩のために、一尺のご指導をお願いいたします。

本日はお忙しい中、本当にありがとうございました。

県高体連30周年記念座談会



出席者



座談会

長野県高等学校体育連盟会長 殿

昭和54年12月17日

規約等検討委員会
委員長

牛山之雄

報 告 書

本委員会は昭和54年5月7日付で諮問のありました下記事項について、6回にわたり検討し、次のような結論に達しましたので報告します。

記

- 一、種目別競技団体への登録加盟金の取り扱いについて
- 二、障害見舞金規程の制定について
- 三、県高体連の規約の改定について
- 四、県高体連大会開催基準要項の改正について
- 五、県高体連30年史編集委員会について

3 規約等検討委員会

51総体、53国体と大事業を終えて平常の運営に戻った高体連は、表記委員会を設置して以下のような報告書をまとめた。これは54年度末の評議員会で採択され、55年度より実施に移された。

一、種目別競技団体への登録加盟金の取り扱いについて

この問題は県高体連30有余年の歴史の中で、絶えず協会との間にもされた曲折の交渉経過を含んでいる問題であり、今日まで高体連により一括加盟方式によって一応の了解が保持されて来たものの、協会はそれぞれに名目を変えて選手から拠出金の徴収を始め出し、そのため各高校よりは加盟登録金の二重取りであるという苦情が続出する仕儀となっている。高体連による一括加盟方式は実質的

に崩壊し始めたといつてよい実情である。

本委員会は以上の問題に対する解決策乃至の対応策を模索する中で、先ず問題点を次のように整理した。

(中略)

具体的改善策

- 1 生徒の負担を少なくするための措置を講ずること。
 - イ 県教委に対し、高体連への補助金の増額をはかるべく陳情等強化すること。
 - ロ 種目別競技団体に対し、その運営財源として生徒から徴収する協力費等については、教育的考慮を以って対処してほしい旨、訴える努力を怠らないこと。
- 2 一括加盟方式の堅持

一括加盟方式の可否については、種々の角度から検討が加えられ、その際、次のような意見がその代表的意見として述べられた。

イ 一括加盟方式をはずした場合、金銭だけのことでない。強化合宿その他、指導上の問題において事態は一方的に協会と生徒—学校の間で直接のやりとりで進められ、高体連の指導の手を離れることになる。協会と各学校の間に種々のトラブルを起こす危険のあることは過去の経験に照らして明かである。一括加盟方式は高体連の

伝統的知恵の遺産である。

ロ 一括加盟方式を廃止してオープンにしても、生徒からの徴収金は極端にはね上がることなく、適当なところで治定するであろう。一括加盟方式は長野県のみで、天下の趨勢には抗し得まい。かりに3倍程度増額してみたところで歯止めの効果は期待できないであろう。

これらの意見について慎重に審議を重ねた結果、委員会としては次の三案についてその選択を定めることにした。三案というのは、

- (1) 「一括加盟方式」を廃止する。(協会に対しては1チーム5000円止りにしてほしい旨申し入れる。)
- (2) イ「一括加盟方式」の維持 (54年度分程度の負担金を種目別団体に送り、当該団体の本協会への登録加盟金程度のものを生徒からの徴収は之を認めていく。)

ロ「一括加盟方式」の堅持

登録加盟金を増額(1人100円程度—現行1人50円程度)、高体連の意のあるところを説いて協会の良識に訴え、教育的配慮からその程度の増額にて忍んでいただくべく努力する。

当委員会は最終的に(2)ロ案を採択することとし、有力な少数意見として(1)案のあったことを特記するに決した。尚、これに関して 収入科目(予算書)とその名称を次のとおりに改めるのが適当であるとして、これを提議することに決した。

(旧) 3 登録加盟金 → (新) 3 種目別団体登録加盟金
4 選手分担金

二、障害見舞金規程の制定について

この問題については、別表(1)のように制定する必要があるので所要の手續を取りたい。(別表は省略)

三、県高体連の規約の改定について

県教育委員会からの補助金の増額を期する上で組織上の不備が指摘されるので、別表2のように新たな規約を制定する必要がある。(別表は省略)

四、大会開催基準要項の改正について

大会運営の実際に即して幾多の不備の指摘があり、改善の要請がなされている実情に鑑み、別表(3)のように改正する必要がある。(別表は省略)

五、県高体連30年史編集委員会について

(略—第3節参照)

4 新人大大会高体連主催に

42年度の理事会報告にもあるように、新人大大会は競技団体主催で高体連は共催という立場で関わってきた。(第3節参照)これが51総体を契機に次第に高体連が自分達の手で運営するという方向に変わってきた。52年度にはバレーボール、バスケットボール、バドミントン、弓道、軟式庭球、相撲の6種目が高体連主催で行なわれた。この年が高体連主催第1回新人大大会となった軟式庭球は、会報に次のような反省を載せている。

参加料2500円は高いという声があったが、最初であったので多くしたので次回は考慮する。本年度は団体戦のみであったが、個人戦も是非高体連側で主催したいので県連と交渉済み。

こうして各種目毎に競技団体との折衝を重

ね、以下のように年々主催種目が増えていくのである。

- 53年度 庭球、ハンドボール、卓球、漕艇、ホッケー、柔道、合計12種目となる。
- 54年度 剣道、レスリング、合計14種目となる。
- 55年度 陸上競技、ソフトボール、体操、ラグビー、ヨット、合計19種目となる。
- 56年度 サッカー、スケート、スキー、フェンシング、合計23種目となる。

この年で殆んど種目が出揃った。期日、会場、参加人数は次のようであった。

5 全国大会での活躍

全国大会を開催したことにより、50年代は競技力が向上し多くの種目で好成績を残された。団体種目の全国大会上位入賞に限ってまとめて

56年度 長野県高等学校新人体育大会

	種 目	期 日	会 場	参加選手数
1	陸 上 競 技	10/24~25	長野市運動公園陸上競技場	810人
2	柔 道	11/ 7~ 8	松本市市営武道館	256
3	剣 道	11/ 7~ 8	上田市民体育館	512
4	軟 式 庭 球	10/24~25	長野市営運動公園テニスコート	264
5	庭 球	10/24~25	松本市県営テニスコート	288
6	バスケットボール	12/12~14	松本市営体育館ほか	955
7	バレーボール	12/12~13	長野市運動公園体育館 長野中央高校・長野皐月高校	832
8	ハンドボール	12/ 5~ 6	戸倉町体育館・更埴市民体育館	264
9	ソフトボール	10/24~26	上田市営野球場	481
10	卓 球	11/14~15	戸倉町総合体育館	549
11	バドミントン	11/21~22	岡谷市民体育館	352
12	体 操	11/ 7~ 8	長野市市民体育館	225
13	相 撲	10/18	木曾福島町営相撲場	11
14	弓 道	10/24~25	松本市長野県護国神社弓道場	378
15	サ ッ カ ー	12/5・6・13	5・6上田城南高校・上田高校・飯田長姫高校 13松本運動公園サッカー場	768
16	ラ グ ビ ー	3/7・21・24	飯田長姫高校	140
17	ス ケ ー ト	2/28~3/1	軽井沢スケートセンター	57
18	ス キ ー	3/29~30	野沢温泉スキー場	148
19	レ ス リ ン グ	11/ 7	小諸商業体育館	24
20	漕 艇	10/ 3~ 4	下諏訪町漕艇場	76
21	フ ェ ン シ ン グ	11/15	箕輪町市民体育館	15
22	ヨ ッ ト	10/18	諏訪湖ヨットハーバー	8
23	ホ ッ ケ ー	10/25	駒ヶ根市総合運動場	30
	計			7, 443

みると次のようである。

スキーは飯山南（女子）が51、52、59年度に優勝、白馬（女子）が地元開催の60年度に優勝した。白馬（女子）では56、57、61年度にも準優勝と健闘している。男子では中野実が57、58、60年度に準優勝して気をはいた。

スケートは三部門同一会場という、これまでに例の無い好条件で開催した53年度軽井沢インターハイで、男子の岡谷南が優勝、同校はその勢いにかけて55年度にも優勝した。小海が59、60年度と準優勝し名門復活を印象づけた。女子の二葉も61年度に準優勝した。

登山は上記2種目のような競技性な少ないが、長野県の自然条件を生かした得意種目として共通のものである。男子の大明（51年度）、長野工（53、55年度）、女子の大明（52年度）、豊科（53年度）、長野西（57年度）が優秀校に選ばれた。

漕艇は諏訪湖で生まれ育ち、ナックルフォアで男子岡谷南が51長野総体と56年度に優勝、シェルフォアでも清陵が56年度に優勝するまでに成長した。59年度には女子ナックルフォアで岡谷東が準優勝と健闘した。

卓球は望月の活躍がすばらしかった。やまびこ国体の53年度に準優勝したのを皮切りに、54年度再び準優勝、55年度3位、56年度3度目の準優勝、57年度3位と5年間に亘って2、3位入賞を果たした。

弓道の飯田女子も52年度に優勝、55年度に準優勝と輝やかな成績を収めた。男子の長野中央（53年度）屋代（61年度）の3位入賞も立派であった。

バスケットボールでは50年度に飯田風越（女子）が準優勝した。

6 長野県高体連史の発刊

前節で詳しく述べたように、高体連史は51総体前に発刊寸前まで進んだが、54年の規約等検討委員会で一時保留ということになった。しかし、資金の積み立てと会報編集専門部を新設して記録を保存するという発刊準備は続けられた。

59年度になって基金が100万円を越えたところで、41年以来の悲願を達成しようという気運が盛り上がり機関で検討が成された。その結果、既存の専門部にまかせるのではなく、高体連史の編纂のみをその事業内容とする特別専門部を新設することになった。60年5月の理事会、評議員会で「高体連史編集専門部」の設置が承認され、会長・理事長の他4地区から各1名、事務局のある北信から3名、事務局から1名という構成による10名の編集委員会が発足した。

60年度には9月19日（木）に初会合を持ち、以後月1回ずつ計6回の編集委員会を開催した。高体連史の概要、編纂作業日程、任務分担等基礎的な事項について協議した訳であるが、最初に次のような編集の基本方針を確認して進めていった。

- ① 高体連は、教育期間としての役割を負ったスポーツ団体であるという視点に立って編集する。
- ② できるだけ多くの資料と大勢の関係者の話し等を総合して、公平で正確な内容になるよう努める。
会報発刊（47年度）以前についてはかなり困難が予想されるがこの際重点的に調査する。
- ③ 資料の羅列にならないよう、歴史の流れを教育界は勿論行政やスポーツ関係団体の動きと合せてまとめ、将来への展望が持てる内容になるよう努める。
- ④ 写真、図表、回想等を記述内容に応じて適切に配置し、読み易く分かり易い構成にする。
- ⑤ 各学校の都合や高体連の日程を考慮して編集会議の日取りを決め、協力を得やすいようにする。作業は、委員が個人的にできることをできるだけ平均に分担し、全体会議は短期間に集中して能率的に行なう。

61年度は前年度の倍以上になる14回の会議を重ねた。多くの時間を翌年に発刊された「長野県体協史」のための原稿作成に充てた。

62年度には20回に及ぶ会議や作業を行ない63年3月に「長野県高体連史」が発刊された。

第5節 昭和60年代および平成年代

——高校生生徒の減少が続く変革期——

1 高体連活動の概要

(1) 事務局4地区持ち回り制

長野県高等学校体育連盟の組織と運営は全国でも数少ない方式でおこなわれている。県内を4ブロックに分け、それぞれに独立した高体連の組織があり地区大会を実施すると共に地区独自の活動もしている。

地区高体連の連合体として県高体連を組織し、40年間は県庁の所在地長野市と中信の松本市内の高等学校に事務局を置き運営してきた。

58年長野吉田高校に事務局が移転した頃、事務局について4地区持ち回り案や東北、中南の2ブロックで交代案等が再三検討されている。

そして62年5月常任理事会で、交通網の整備、地区の振興、負担の公平化等を考慮して下記のような確認がなされることになった。

- ① 今回を持ち回り制のスタートとする。
- ② 63年度事務局は南信地区とする。
- ③ 任期は2期4年とする。
- ④ 持ち回り順序は、南信→東信→北信→中信とする。

長野吉田高校の後、63年度に諏訪二葉高校が受け入れを了承し北信から南信へと具体的に動き出した。その後平成4年度より東信高体連で検討の結果上田高校に移転し、更に4年後、平成8年に北信地区の長野高校に移り長野吉田高校の前の松本県ヶ丘高校以来県内を一巡した。

(2) 大会基準要項の改訂

——県大会参加枠拡大——

昭和55年に大会開催基準要項の改正以後10年が経過する中で、幾つかの専門部より地区大会の上位4チームを改めて8チームを県大会に出場させたいという要望が出されるようになった。大会規模の拡大にかかわる問題であり、大会は高校教育の一環として行われていることから慎重に検討する必要があるということで、平

成元年地区理事長と各地区2名の委員。計14名による検討委員会を設置し、予算、参加数の要望、日程の問題等を調査し検討を重ねた。県総体は高校生メインの大会であり、多くの生徒に県大会の機会を与えてやりたいという専門部の強い意向をくんで、生徒の体力的な負担や、予算、日程等に無理のない運営をする前提で次のような改訂案が11月に決定された。

「現行の要項」

・県高校総体出場枠

- ① 団体戦 男女 16チームを限度
- ② 個人戦 “ 32名を限度
ダブルスの場合は男女それぞれ16組を限度

・県高校新人大会出場枠

- ① 団体戦 男女 32チームを限度
- ② 個人戦 “ 32名を限度
ダブルスの場合は男女それぞれ16組を限度

「改訂案」

(総体、新人大会区別なく)

- ① 団体戦 男女それぞれ32チームを限度とする。
- ② 個人戦 “ それぞれ32名を原則とする。
ダブルスの場合は男女それぞれ16組を原則とする。
ただし、個人戦でこの原則をこえるものについては、理事会の承認を得るものとする。

この結果平成2年度の総合体育大会から団体戦のある9種目でチーム枠が増えた。また大会日数も、「2日を越えないことを原則とする」という基準要項があるが、1日の試合数の限

度、選手の体力的問題等により、3日間で実施する種目が、総体については従来の理事会承認の専門部に新たにバスケットボールが加わった。大会規模は全体的に拡大の方向となった。

「出場枠拡大による総体参加者数の比較」

No.	種 目	平成元年			平成2年		
		男子	女子	計	男子	女子	計
1	陸上競技	580	335	915	569	347	916
2	柔道	176	59	235	352	115	467
3	剣道	144	144	288	256	256	512
4	ソフトテニス	192	192	384	256	256	512
5	テニス	336	336	672	336	336	672
6	バスケットボール	255	255	510	480	480	960
7	バレーボール	204	204	408	384	384	768
8	ハンドボール	205	135	340	221	254	375
9	ソフトボール	98	258	356	93	261	354
10	卓球	174	165	339	262	252	514
11	バドミントン	176	176	352	192	192	384
12	体操	46	46	92	53	48	101
	新体操	28	122	150	20	122	142
13	相撲	32	0	32	42	0	42
14	弓道	144	144	288	256	256	512
15	水泳	236	179	415	235	195	430
16	サッカー	320	0	320	319		319
17	ラグビーフットボール	292	0	292	314		314
18	スケート	55	40	95	61	35	99
19	スキー	303	77	380	289	76	365
20	登山	159	41	200	148	43	191
21	レスリング	103	0	103	66		66
22	漕艇	77	23	100	53	25	78
23	ウェイトリフティング	38	0	38	30		30
24	自転車(ロード)	73	0	73	54	1	55
25	フェンシング	52	53	105	32	48	80
26	ヨット	8	4	12	8	4	12
27	ホッケー	30	0	30	30		30
28	空手道	123	61	184	239	149	388
29	ボクシング	25	0	25	20		20
30	駅伝	190	133	323	117	83	200
31	定通大会	156	101	257	186	144	330
		2,030	3,283	8,313	5,973	4,265	10,238

長野県高等学校「総体」各地区種目別出場枠

平成7年度

No.	種 目	団 体		個 人		備 考
		男子	女子	男子	女子	
1	陸上競技			種目×8 一校1種目3名以内		1人3種目以内(リレー別)
2	柔道	男・地区×8チーム 女・地区×4チーム		男・5種目×8名 女・3種目×8名		
3	剣道	男女各・地区×8チーム		男女各地区×8名		
4	ソフトテニス	男女各・地区×8チーム		男女各地区×16チーム		
5	テニス	男女各・地区×4チーム		複、地区×4チーム 単、地区×8名		
6	バスケットボール	男女各・地区×8チーム				
7	バレーボール	男女各・地区×8チーム				
8	ハンドボール	男女オープン				
9	ソフトボール	男・オープン 女・オープン				
10	卓球	男・北10、東6、南8、中8 女・北10、東6、南10、中6チ		ダ、地区×4チーム シ、地区×8名		
11	バドミントン	男女各・地区×6チーム		ダ、地区×4チーム シ、地区×8名		
12	体操	オープン		地区×6名		
	新体操	男・各地区×3チーム 女・オープン		男女各地区×8名		
13	相撲	オープン		オープン		
14	弓道	男女各・北9、東6、南9、中8チーム		男女各・北9、東6、南9、中8名		
15	水泳			男女各地区地区×4位+記録突破者		
16	サッカー	男・地区×4チーム				
17	ラグビーフットボール	オープン				
18	スケート			1校1距離3名以内、1人2距離以内		リレー別
19	スキー			1校1種目6名以内、1人2種目以内		リレー別
20	登山	オープン(各校1チーム)				
21	レスリング	オープン		オープン		
22	漕艇	1校1クルー・シングル制限なし(一部)		制限なし(2部)		
23	ウェイトリフティング	オープン		オープン		
24	自転車(ロード)	オープン		オープン		
25	フェンシング	オープン		オープン		
26	ヨット	オープン		オープン		
27	ホッケー	オープン				
28	空手道	男・組手、東、中6チーム他4チーム型各4チーム		女各4チーム 組手、型各種目×8名		
29	ボクシング	オープン		オープン		
30	定通	各種目男女各1チーム		個人男女各4名又4組		
31	アーチェリー	オープン		オープン		平成4年より
32	駅伝	オープン				平成4年よりオープン
33	なぎなた					

(3) 学校分担金値上げ

高体連の予算収入は現在約1億1千6百万円である。その主たる財源は地区分担金、補助金、選手負担金、参加料、その他であり、これらの収入で運営されている。このうち地区分担金は、加盟校数即ち生徒数が起算になっており予算に占めるウェイトは大きい。その分担金がこの10年間に2度の値上げをせざるを得なかった訳であるが、その経緯をたどってみた。

昭和57年度より分担金は生徒1人当たり200円（内訳は地区高体連120円、県高体連80円の配分）の計算で行われ、県収入額は約740万円前後で6～7年間推移した。しかし諸物価の値上がり、交通費の値上がりが続ぎ高体連予算に対する影響が出始めた。加えて3年度より生徒数が漸次減少してきたため収入減となった。57年より8年が経過し据え置かれてきている分担金は、大会運営費の増額を図りたい、役員、審判手当ての改善を図りたい等の理由により、地区高体連、県高体連共に検討され、平成元年11月の評議会で平成2年より5%の値上げが決定された。その結果大会参加枠の拡大と相俟っ

て大会運営費が増額され、役員、審判手当ても800円から1,000円に値上げがなされた。

その後6年が経過する中で生徒数の急減期を迎え学校分担金、参加料、選手登録金等の自主財源が減少し、県、地区高体連の運営に支障を来たすようになってきた。特に平成3年よりの生徒の減少は地区高体連にも財政面で大きな影響が出た。

平成6年度末、学校分担金値上げ検討委員会が設置され、翌年には3回の委員会を経て9月臨時評議員会で下記のような改正案が承認がされた。

- 生徒1人300円→500円
- 配分比 地区6（300円）：県4（200円）
- 平成8年度より値上げする

県費補助金も昭和58年度以降増加しておらず、競技種目の増加、公共施設の有料化と値上げ、役員手当ての改善等今後に残された予算に対する課題はまだまだ多い。

県高体連予算の主な収入の推移

年度	学校分担金 (円)	生徒数 (分担金納入者数)	種目別団体登録加盟費・選手分担金 (円) (生徒数)		参加料		共催負担金の推移(円) 県より (事務局運営補助費除く)	
昭和 62	(1人 80円) 7,420,560	前年比+1,619 92,757	(1人100円) 3,244,800	32,448	(1人200円) 6,489,600	(1人400円) 5,555,600	13,889人	北信越県内開催種目数×200,000 県総体 5,600,000 県新人 4,100,000
63	7,606,320	95,079	3,236,700	32,367	6,473,400	5,674,400	14,186	以下同類
平成 元	7,772,560	97,157	3,293,100	32,931	6,586,200	5,754,400	14,386	〃
2	(1人 120円) 11,755,440	97,962	3,339,200	33,392	6,678,400	6,500,400	16,251	〃
3	11,532,480	96,104	3,382,300	33,823	6,764,600	6,602,400	16,506	〃
4	11,191,320	93,261	3,527,800	35,278	7,055,600	(1人600円) 10,677,600	17,796	〃
5	10,750,320	89,586	3,427,200	34,272	6,854,400	10,483,200	17,472	〃
6	10,519,360	87,403	3,331,900	33,391	6,663,800	10,485,000	17,475	〃
7	10,164,000	84,867	3,251,700	32,517	6,503,400	10,544,400	17,536	〃
8	(1人 200円) 16,346,000	81,575	3,073,100	30,731	6,416,200	10,284,100	17,020	〃
9	15,555,800	77,619	2,854,400	28,544	5,708,800	10,099,200	16,690	〃

(4) ジュニア競技力向上問題

51年全国高校総体、53年やまびこ国体開催から10年が経過する中で、県内のスポーツ界も競技成績が緩やかではあるが下降線をたどり、昭和62、63年と国民体育大会（秋季）および高校総体に於いては深刻なレベルダウンが見られ、成績面でも不振を極めた。特に国体は63年に全国で40位と振るわず、高校生（ジュニア）の競技力即ち部活動のあり方に注目が集まった。

平成元年7月には県体育協会が中心になり県高体連、中体連の会長、常任理事が参加し初の会議が持たれた。中学校のクラブ活動を中心に競技力問題等が話し合われ、国体の北信越予選会では少年男女の成績はここ数年最下位との指摘も出た。12月には県体育協会が高体連、中体連と「ジュニア競技力向上連絡協議会」を組織するという事で合意が成された。高体連側からは遠征、合宿が必要であるので金銭面の充実を要請したり、強化の為に指定校制の導入が必要といった提言も出た。教育委員会も平成3年にはジュニア競技力向上対策について次のようなテーマで論議をはじめた。

<主な内容>

1. 指導者の確保
 - (1)適正配置 (2)資質の向上
2. 選手の育成と強化
 - (1)競技団体等との連携
 - (2)中、高連携の確立
 - (3)選手の発掘
3. 運動部活動のあり方
4. 施設等の有効利用
5. 県教育委員会表彰対象者の拡大

平成5年4月には高体連、中体連の各専門委員長も参加し競技力向上問題を討議する中で平成4年度の国体方式で換算する高校総体の成績は夏季大会で33位、冬季大会合わせては11位と、本県ジュニア勢の成績は急速にアップを示しているとの競技力向上委員長の挨拶も出た。しかし次の5年度の全国総体の成績は冬季をのぞき47位に終わってしまった。

平成6年度より県体協はジュニア選手強化重点校、指定校の制度を各競技団体、高体連と連

絡調整を取りながら導入した。

にもかかわらず、生徒数の急減、競技人口の減少による選手確保の問題、高校生の考え方の多様化と部活動のあり方の問題等、困難な問題をかかえる厳しい状況を迎えた。高体連研究調査専門部も7年より「競技力向上に関する問題」を取り上げた。全国総体の各県選手の成績、近県の競技力向上の対策、総体上位入賞監督の提言等を会報冊子に発表した中で次のような特徴を指摘している。

- ① 長野県は冬季種目（スキー、スケート）で北海道、新潟、と並んで大量入賞している
全国高校総体長野県成績

	夏 季				夏 ・ 冬 季			
	個人	団体	合計	順位	個人	団体	合計	順位
平成4年	17	7	24	42	154	68	222	5
平成5年	19	0	19	47	142	58	200	8
平成6年	33	5	38	42	154	56	210	7

- (説明) 団体、個人共に1～6位迄を点数化
・団体、学校対抗の入賞も点数化した

- ② 長野県のスキー、スケートは参加人数の割には入賞者数が多い。限られた学校に選手が集中しているという事が好結果を生んでいるのかもしれない。
- ③ 最近の得点種目はスキー、スケートの他弓道、レスリング、漕艇、バレー、体操、陸上がある。
- ④ 都市圏周辺県が比較的好成績である。

長野県はベストテンの常連である。しかし内訳を見ると、総得点の8～9割がスキー、スケートによるもので夏季、秋季種目は最下位に近い方で不振と言わざるを得ない。この点については高体連としても全く無関心ではられないというのが今日の状況である。

競技力向上問題は、県、体育協会、中体連、高体連連携し、時間をかけて取り組む問題でありあくまでも学校教育の一貫と位置付け対応していく必要があるであろう。

(7年度会報より)

2 全国総合体育大会での主なる活躍

夏季大会での活躍を挙げる昭和60年代では、まず陸上競技で男子800mに中村恵一郎（篠ノ井）が60、61年と連続優勝をし、61年には1500mにも優勝する活躍からはじまる。62年は優勝種目がなく、空手個人型の部の三村由紀（松本深志）の2位が最高と淋しい年であった。しかし63年には同選手は見事優勝を果たすが、その他の種目はやはり全般に不振であった。

平成年度に入り陸上女子100mハードルで青木利佳（中野実）が優勝、弓道女子個人で伊藤三枝（長野吉田）の優勝と女子の活躍があり、自転車のタイムトライアルで塩原（松本工）2位、フェンシングで伊那北が入賞するなど新たな競技での活躍がみられた。2年にはチームゲームで久しぶりの大活躍の岡谷工業の男子バレーボールの準優勝である。優勝こそないが個人種目で陸上400m障害の相沢（野沢北）、走高跳小柳（中野実）、柔道の重量級の山岸（更級農）の2位とここ数年では好成績であった。また、12月の京都駅伝では上伊那

農業が9年連続出場で初の9位入賞と健闘した。3年には団体弓道で飯田女子高校が2回目14年ぶりの優勝を果たした。4年は男子舵手付フォアの岡谷南が豪快なレースで初優勝し、女子舵手付フォアでも3位とボート男女が活躍した。6年にはレスリングで上田西高校が個人58kg級で高橋利典（上田西）、46kg級で吉澤克洋

（北佐久農）が優勝と気を吐いた。9年には久しぶり陸上競技の1500mで佐藤清治（佐久長聖）が優勝し、バレーボール男子岡谷工業が準優勝した。岡谷工は15年連続出場、63年ベスト16、平成2、9年の2回の準優勝、3年連続（4～

6）ベスト8入りと全国のトップレベルで活躍した。他の種目においても今後を期待したい。

冬季大会は63年全国スケート大会を開催した。県内開催は10年ぶり8回目となり、軽井沢では2回目の大会となったが2種目だけの優勝に終わった。平成3年には冬季五輪「シテール オブ ナガノ」の開催が決まり、ジュニア強化対策が始まった。平成5年のインターハイには佐久高校が団体に初優勝したが、実に53年岡谷



スケート男子学校対抗 優勝（3年連続）佐久長聖



平成3・4・5年度 全国高校総体 スキー 学校対抗三連覇 中野実業高校

工業以来13年ぶりであった。入賞者数も25人と長野オリンピックに向けて特別強化策の成果が出たといえる。佐久高校は6、7年と3年連続優勝を達成した。そして8年には、5種目に優勝、11種目全部に3位以内に入るという活躍であった。この年東海大第三高校女子が31年ぶりの総合優勝を奪回した。

スキーは61年に続き63年、元年と白馬高校女子が連続優勝した。平成4年小谷村梅池で開催された全国総体では、あらゆる種目に大活躍した。特に距離男子堀米光男（中野実）の15kmクラシカルでの3連覇をはじめとして中野実業は2年連続総合優勝、飯山南、白馬、下高井農林も入賞し上位を長野県が独占するという史上初の快挙を達成した。中野実業は5年にも優勝し3連覇を達成した。6年には体育科新設3年目の飯山南が初の男子総合優勝に輝き、8年にも再び優勝した。

スケート、スキーと冬季種目はすばらしい成果を挙げ10年2月の長野オリンピックとその勢いが波及していった。

3 将来に向けて

現時点の課題を生徒、指導者、高体連組織の

3点について分析検討し展望してみる。

まず生徒であるが、少子化の上に部活動離れということで、私立高校と一部の推薦入学のある学校に優秀選手が集まり県の上位で活躍しているものの、他の学校では運動部員数は下降気味である。その打開策として大会の持ち方の研究や、県立の普通高校においても運動部員推薦入学制度を導入することも一つの方法である。つぎに指導者については、やはり社会的な傾向として本県も高齢化が問題になってきている。体育以外の教師による指導、学校以外からのコーチの招聘などについて時間的、経済的保障を中心に道を探っていく必要がある。また社会体育サイドでの高校生の受け皿、即ち地域のクラブとそこへの指導者としての教師のかかわりの問題もでてくると思われる

最後に高体連の組織についてであるが、事務局を高校持ち回りでなく固定化できないかと言う問題や、そしていわゆる財政改革の問題、研究部門や競技力向上部門などの問題等多岐にわたっており、できることから一つずつ対処していかなければならない。

（この項「全国高体連50周年記念誌」

原稿より）



平成10年度の事務局スタッフ

第 4 章

四地区高等学校体育連盟の概況

歴代役員・事務局一覧

長野県の高体連は北信、東信、中信、南信の四地区高体連によって構成されている。各地区は地区大会兼県大会予選を主事業に、いくつか

の独自の事業を行っている。上記の順番で最近10年を中心に概況をまとめてみた。

		北 信	東 信	中 信	南 信
昭和62年度 (1987)	会 長	福 田 芳 典	牧 野 昌 泰	小 須 田 清 雅	西 沢 照 夫
	理 事 長	玉 井 重 遠	赤 羽 福 次 郎	伊 藤 裕 元	北 沢 忠 義
	事 務 局	篠 ノ 井	丸 子 実 業	豊 科	諏 訪 実 業
昭和63年度 (1988)	会 長	百 瀬 安 人	牧 野 昌 泰	井 出 健 次	武 田 良 寛
	理 事 長	石 坂 喜 久 雄	赤 羽 福 次 郎	宮 城 文 治	城 田 忠 承
	事 務 局	須 坂	丸 子 実 業	松 本 深 志	伊 那 北
平成1年度 (1989)	会 長	坂 本 明 由	北 野 進	春 日 親 夫	武 田 良 寛
	理 事 長	石 坂 喜 久 雄	柏 木 善 雄	宮 城 文 治	城 田 忠 承
	事 務 局	須 坂	岩 村 田	松 本 深 志	伊 那 北
平成2年度 (1990)	会 長	坂 本 明 由	北 野 進	中 山 茂	松 下 勲
	理 事 長	石 坂 喜 久 雄	柏 木 善 雄	山 崎 正 治	坂 卷 道 弘
	事 務 局	須 坂	岩 村 田	田 川	飯 田 風 越
平成3年度 (1991)	会 長	斉 藤 博 彦	下 村 和 彦	中 山 源 司	松 下 勲
	理 事 長	石 坂 喜 久 雄	柏 木 善 雄	山 崎 正 治	坂 卷 道 弘
	事 務 局	須 坂	岩 村 田	田 川	飯 田 風 越
平成4年度 (1992)	会 長	櫻 井 啓 造	吉 岡 知 雄	中 山 源 司	藤 森 弘
	理 事 長	内 田 靖 男	鮎 沢 亨	山 崎 正 治	百 瀬 一 彦
	事 務 局	長 野 東	上 田 染 谷 丘	田 川	岡 谷 工 業
平成5年度 (1993)	会 長	跡 部 和 夫	吉 岡 知 雄	柳 原 俊 幸	藤 森 弘
	理 事 長	内 田 靖 男	鮎 沢 亨	山 崎 正 治	百 瀬 一 彦
	事 務 局	長 野 東	上 田 染 谷 丘	田 川	岡 谷 工 業
平成6年度 (1994)	会 長	跡 部 和 夫	小 出 志 郎	佐 藤 彦 夫	島 田 庸 夫
	理 事 長	内 田 靖 男	鮎 沢 亨	茶 谷 義 男	水 田 敦 郎
	事 務 局	長 野 東	上 田 染 谷 丘	松 本 県 ケ 丘	伊 那 弥 生 ケ 丘
平成7年度 (1995)	会 長	跡 部 和 夫	小 出 志 郎	腰 原 哲 朗	島 田 庸 夫
	理 事 長	内 田 靖 男	鮎 沢 亨	茶 谷 義 男	水 田 敦 郎
	事 務 局	長 野 東	上 田 染 谷 丘	松 本 県 ケ 丘	伊 那 弥 生 ケ 丘
平成8年度 (1996)	会 長	白 沢 寛 人	田 中 正	腰 原 哲 朗	傳 田 利 勝
	理 事 長	青 木 崇	浅 沼 富 夫	茶 谷 義 男	南 嶋 俊 三
	事 務 局	屋 代	小 諸 商 業	松 本 県 ケ 丘	飯 田 長 姫
平成9年度 (1997)	会 長	白 沢 寛 人	田 中 正	佐 藤 貞 治	傳 田 利 勝
	理 事 長	青 木 崇	浅 沼 富 夫	青 木 功	南 嶋 俊 三
	事 務 局	屋 代	小 諸 商 業	松 本 蟻 ケ 崎	飯 田 長 姫

第1節 北信高等学校体育連盟



昭和22年に発足した学校体育連盟北信支部が学制改革によって発展的に解散し、昭和24年5月1日北信高体連が設立された。昭和61年発行の『北信高体連のあゆみ』および昨年（平成9年）発行された『北信高体連のあゆみ—50周年記念誌—』に、設立から現在までの半世紀にわたる組織、活動、競技記録等の詳細が掲載されている。その中から最近10年の特徴的ないくつかの事柄についてまとめてみる。

1 事務局輪番制の確立

51総体、やまびこ国体というビッグイベントを終えてからしばらくたった昭和58年、県高体連事務局がみたび長野市へくることになり、北信と兼務で長野吉田高校が担当することになった。高体連発足後16年も続いた県と北信兼務の事務局という状況が再び出てきた訳である。これを契機に、事務局を決めるには一定のルールが必要ではないかという声が高まり具体的な検討が開始された。結局2年間にわたって6回の理事会（うち2回は臨時会）、定例の評議員会、ブロックの理事・体育主任会を経て、昭和60年3月2日の理事会で61年度からの事務局は篠ノ井高校に決定した。ルールは次の三項目を原則とするということになった。

- ① 輪番制とする
- ② 順序は更埴、須高、長水の順とする
- ③ 任期は2期4年とする

ただし、来年度の更埴に限っては3年とする。

2 諸規約の整備

(1) 大会開催基準要項

平成2年12月の専門委員長会に、調査研究委員会から素案が出され新規に要項を制定する作業が始まった。その時の資料の中で「大会開催基準要項」の必要性は次のように記されている。

- a 慣例としてやってきた原則や申し合わせをまとめて明文化する時期にきている。
- b 種目、チーム、出場者の増減もあり、学校現場や専門部の方針もある中で、それらに対応できる権威ある基準が欲しい。
- c 事務局を担当するには、運営のよりどころが欲しい。

定例の機関会議でその都度要項案について検討を重ねながら、平成3年9月の理事会は議題を「大会開催基準要項」の審議に絞って開催された。この時点までにまとまってきた成案に近い要項案を北信33校に送付し、職員会等では出された現場の質疑、意見を加味するという手順を踏んだ。平成3年12月20日の理事会、評議員会でおよそ2年間の検討を経て成案となった。

(2) 表彰規定

平成3年4月の理事会、評議員会で理事長提案により表彰委員会の設置が認められた。この委員会が県の表彰規定を参考に北信の規定案策定に取り組み、上記の大会開催基準要項と同日をもってやはり成案となった。

直ちに被表彰者の人選に入り、翌年4月には初の表彰式が行われた。平成8年度までの被表彰者は功労章61名、指導功績章67名、栄光章個人、チーム合わせて196件となっている。

(3) 規約・内規の大幅改正

「大会開催基準要項」策定の過程で、昭和24年制定の旧規約と当時の規約・内規を読むにつけ、いくつかの問題点が目につくようになった。基準要項の最終案決定を待って、平成4年9月の理事会に問題提起をし改正案作りを引き続き調査研究委員会が担当することとなった。

まず、平成5年9月全高校現場に、改正の必要性について、次のような理由を資料によって示し了解を得た上で具体的作業にとりかかった。

- ① 事務局が持ち回り制となり、担当者が変わっても一貫性を欠くことなく運営がなされるための、しっかりした基準が従来にも増して必要となった。
- ② 規約と現状が合わないという矛盾がある。
- ③ 他団体などの規約と比較しても構成や記述上に不十分な点が数多くある。
- ④ “大会開催基準要項” “表彰規定” “傷病等見舞金規定” ができこれらを位置付ける必要がある。

平成6年12月の評議員会で承認されるまでに5回の理事会と3回の評議員会の審議を経た。この間には2回にわたって学校現場での検討をお願いした。大きな改正点は次のようであった。

- ① 規約全体の構成および記述方法については、昭和24年の6章構成に改め、記述内容に問題ある箇所を改正した。
- ② 目的、組織、事業の記述が不十分であったのではっきり分かる条文にした。
- ③ それぞれの会議（評議員会、理事会、専門委員長会、専門委員会、全体会）の役割を明記した。
- ④ 評議員各学校2名（内1名は校長）を1名とした。
- ⑤ 理事、理事長の選出について一部改正した。

3 大会および競技成績について

(1) 北信大会の規模の変化

北信高体連創立（昭和24年）当初の専門委員会は、陸上競技、バスケットボール、卓球、バレーボール、ソフトテニスの5種目であった。11年後の昭和35年には新たに体操男、女、バドミントン、剣道、サッカー、柔道、ソフトボール、弓道、水泳、ハンドボール、スキー、スケートの専門委員会ができており3倍以上に増加した。その後、下表のようにその時点での種目や委員会は徐々に増え現在に至っている。そ

の他加盟校（全校加盟）の生徒数＝会員数や分担金等についても、同表のように50年を経過してきた。他にも大会会場や会期、役員や予算、競技内容等、いずれも時代の流れに沿って大きく変化してきている。たとえば、51総体の際整備された長野市東和田運動公園では、その後陸上競技をはじめ多くの種目が行われている。それによって大会運営も競技内容も格段に充実し予算等も肥大化した。これら個々のケースについては、資料も乏しい上スペースもないので『北信校体連のあゆみ』等を参照願いたい。

年代 項目	昭和 24年 1949年	昭和 35年 1960年	昭和 45年 1970年	昭和 55年 1980年	平成 2年 1990年	平成 9年 1997年
専門委員 会数 および 新設 専門 委員会	5	17	19 登山	21 テニス 定通	26 空手 相撲 ラグビー	27 アーチェ リー
種目以外 の新設 委員会			調査 研究		障害 審査 表彰	
会員数 (加盟校 の全 校生 徒数)	11,528 名	20,220	25,355	24,330 定664	30,467 定692	23,997 定635
学校分 担金 (1人 当り)	10 円	20	50	100 定70	300 定300	500 定500
選手登 録金 (1人 当り)	0 円	0	80	300	300	300

(2) 全国大会での活躍

全国優勝についてみると、積雪地帯という自然環境条件を利用したスキー競技がほとんどを占めている。優勝者、優勝チームは紙面の関係でここには紹介できないが合計で30件となる。最近10年のインターハイの中から特記すべき輝かしい記録に限ってみると次のようなものがある。

三年連続優勝

(平成2～4年度)

男子 15Kク 堀込 光男 (中野実)

(平成3～5年度)

男子 学校対抗 中野実業高校

(平成3～5年度)

男子 リレー 中野実業高校

二年連続優勝

(平成2～3年度)

男子 コンバインド 富井 彦

(下高井農林)

(平成3～4年度)

男子 15Kフ 神津 正昭(中野実)

(平成5～6年度)

女子 リレー 中野実業高校

二種目優勝

(平成6年度)

男子15Kフ 10Kク 島田 武彦

(飯山南)

スキー以外で最近10年のインターハイでの全国制覇は次の三名のみであり、ベスト8以上の入賞チーム、入賞者は33件だった。

定通 連続優勝(平成3、4年)

柔道中量級 岡村 秀輝(中野実業)

平成元年度

陸上100MH 青木 利佳(中野西)

平成元年度

弓道 伊藤 三枝(長野吉田)

4 50周年記念事業

平成7年長野東高校(事務局)で内田理事長を中心に記念事業の基本構想が検討された。企画の一つとして記念誌の編集が計画され、長い時間が必要ということで実行委員会に先立ってその年の9月に編集委員会が設置された。平成8年度に屋代高校へ事務局が移ってから、会長以下の役員・理事・前および前々理事長・編集委員で構成する実行員会が年度末にスタートし次のような事業を行った。詳しくは「50周年記念誌」を参照願いたい。

(1) 組織と会議

白沢会長および4名の副会長、4名の監事の下に青木理事長を実行委員長として下表のように組織作りをした。

総務部	部長 牛村 一雄 副部長 千野 和彦	内田 靖男 石田 和増 桜井 敦	石坂喜久雄 綿貫 義文
式典部	部長 中村 一幸 副部長 相沢 和典	宮原 一治 清水 博雄 西沢 健一 下城 康彦 若林 精一 鈴木 精一	北原三代志 平井準一郎 滝沢 隆一 中沢 正輝 依田 正嗣 酒井 正嗣
講演部	部長 福沢 貴文 副部長 鈴木 文雄	山崎 芳弘 米沢 右博	武藤 英司
編集部	部長 清水 博 副部長 酒井 正嗣	平井準一郎 滝沢 司 下城 公一 鈴木 精一 北原三代志	中沢 隆一 西沢 健雄 依田 正輝 若林 康彦
会計部	部長 小林 武広	山本 臣也	

編集委員会は2年半にわたって21回の会議を持ち390ページの記念誌を発刊した。実行委員会は9年度のみ活動で、4回の全員会議と2回の関係小委員会を開催し以下のような記念式典を開催した。

(2) 事業

記念式典

期日 平成9年11月24日(月)

午後1時より

会場 長野市 山王共済会館 天竜の間

式次第 開式の言葉 黙祷 会長挨拶

来賓祝辞 経過報告 功労賞贈呈

感謝状贈呈 祝電披露 閉式の言葉

参加者 約200人

座談会

期日 平成9年11月24日(月)

午前10時～11時45分

会場 長野市 山王共済会館 梓の間

出席者 旧会長、旧理事長あわせて7人

および現会長、理事長

司会・記録 編集委員

座談概要 編集委員会で用意した資料(記念誌原稿)に沿って、出席者各位が関わった時代の高体連運営の回想や教訓等を語り合う

講演会

期日、会場 記念式典に引き続き開催

講師 ロスアンゼルスオリンピック

日本代表 元全日本チーム主将

野口 京子氏(旧姓 石田)

演題 「オリンピックに賭けた青春」

記念誌

書名 『北信高体連のあゆみ』

—50周年記念誌—

書式 B5版 横書き 390ページ 500部

内容 発刊のことば グラビア 歴代会長、理事長回想記 沿革と概況 全種目競技成績 活躍したOB、OGの回想記 加盟校の紹介 50周年記念事業

北信高等学校体育連盟規約

第1章 総 則

- 第1条 本連盟は北信高等学校体育連盟と称し、事務局を会長の指定する学校におく。
第2条 本連盟は北信地区（5市3郡）内の高等学校を以って組織する。
第3条 本連盟は高等学校の体育・スポーツ全般の振興を図ることを目的とする。

第2章 事 業

- 第4条 本連盟は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
- 1 高等学校体育大会の開催
 - 2 高等学校体育に関する調査・研究
 - 3 体育関係諸団体との連絡・調整
 - 4 その他本連盟の目的達成に必要な事業

第3章 役 員

- 第5条 本連盟には次の役員を置く
- 1 会長 1名
 - 2 副会長 4名
 - 3 理事長 1名
 - 4 理事 若干名（10名程度）
 - 5 評議員 各校1名
 - 6 専門委員長 各専門部1名
 - 7 専門委員 各専門部若干名
 - 8 監事 4名
 - 9 幹事 若干名
- 第6条 会長は評議員会で選出し、本連盟を代表する。
第7条 副会長は評議員会で選出し、会長を補佐し会長の事故ある時はこれに代わる。
第8条 理事長は理事の内より選出し、会長が委嘱する。
第9条 理事は評議員会で選出し、会長の指示を受けて会務を執行する。
第10条 評議員は加盟高等学校代表者1名とする。
第11条 専門委員長は専門委員会で選出し、会長が委嘱する。
第12条 専門委員は評議員会で選出し、会長が委嘱する。
第13条 監事は評議員会で選出し、会計の監査をする。
第14条 幹事は会長が委嘱し、庶務・会計を行う。
第15条 役職員の任期は2年とする。ただし再任は妨げない。また補欠の者は前任者の任期を継ぐ。

第4章 会 議

- 第16条 本連盟の会議は次の通りとする。
- 1 評議員会
 - 2 理事会
 - 3 専門委員長会
 - 4 専門委員会
 - 5 その他の会議
- 第17条 評議員会は本連盟の最高議決機関であり、年1回以上会長が招集し、次のことを行う。
- 1 事業計画及び事業報告の審議・決定
 - 2 予算及び決算の審議・承認・決定
 - 3 役員を選出及び承認
 - 4 会則の変更
 - 5 その他目的の達成に必要な事項の審議・決定

第18条 理事会は必要に応じ会長が招集し、本連盟の運営についての原案を作成し、会務の執行にあたる。

第19条 専門委員長会は必要に応じ会長が招集し、大会開催に関する連絡・整理を行う。

第20条 専門委員会は必要に応じ会長が招集し、本連盟の大会の計画、運営に関する事項を扱う。

第21条 会議はその構成員の2分の1以上の出席で成立する。ただし、文書を以って出席に代えることができる。

議決は出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長がこれを決する。

第5章 会 計

第22条 本連盟の経費は、次のものを以ってこれにあてる。

1 分担金 2 大会参加料 3 補助金 4 その他

第23条 本連盟の会計年度は、毎年4月1日に始まり、3月31日に終わる。

第24条 本連盟の監査は年1回とする。

第6章 附 則

第25条 本規約の内規及び細則は別に定める。

第26条 本連盟には下記の書類を備える。

1 加盟校名簿 2 備品台帳 3 役員名簿 4 事業記録 5 会計簿
6 会議録 7 その他事業実施上必要な書類

第27条 本規約は昭和24年5月1日より施行する。

昭和52年2月10日改正 昭和56年4月17日改正

平成2年4月14日改正 平成6年12月13日改正

北信高等学校体育連盟内規

I 総則関係内規

1 本連盟を次の地区に分ける。

須高地区 下高井郡 飯山市 中野市 須坂市

長水地区 上水内郡 旧長野市内

更埴地区 その他長野市内 更埴市 埴科郡

2 事務局担当校は更埴・須高・長水の順で輪番制とし任期は2期4年とする。

3 事務局には北信高体連負担の臨時職員をおくことができる。

4 高等学校および生徒、職員の参加資格に関することは県高校体育連盟の基準による。

II 事業関係内規

1 大会の開催は「北信高等学校体育連盟大会開催基準要項」による。

2 調査・研究は調査研究委員会を設置して推進していく。

3 表彰委員会を設け「北信高等学校体育連盟表彰規定」により該当者を表彰する。

4 審査会を設け「北信高等学校体育連盟傷病等見舞金規定」「運営規定」に従って、不測の事態に対処する。

III 役員関係内規

1 会 長 会長は本連盟を代表し、県連盟の副会長を兼ねる。

2 副会長 副会長の内3名は県連盟の評議員を兼ね、1名は県連盟の監事を兼ねる。

3 理事長 理事長は事務局より選出し、県連盟常任理事を兼ねる。

4 理 事 理事の内3名は県連盟理事、2名は県連盟評議員を兼ねる。

- 5 専門委員長 専門委員長は、県の専門委員を兼ねる。
- 6 専門委員 本連盟には下記の専門部と専門委員をおく。
 - A 陸上競技(9) 体操競技・新体操(男女各4) 水泳(6) スキー(4) スケート(2)
 - B バスケットボール(6) バレーボール(6) ソフトボール(5) サッカー(5) ハンドボール(3) ラグビー(4)
 - C 柔道(6) 剣道(6) 弓道(5) 空手道(3) 登山(4) 相撲(1) アーチェリー(2)
 - D ソフトテニス(6) テニス(5) バドミントン(6) 卓球(5) 定通(4)

Ⅳ 会議関係内規

- 1 会議の構成と選出は次のようにする。
 - ①理事会 理事長、地区代表6名 専門部代表4名および必要に応じて委員会代表を加えて構成する。代表は次のように選出する。
 - (地区) 長野市内1名と長水地区1名、更埴地区1名、須坂地区1名
飯山・中野地区1名、私立学校1名
 - (専門部) 内規Ⅲ-6のA、B、C、Dグループより各1名
 - (委員会) 調査研究、傷病等見舞金審査、表彰
 - ②傷病等見舞金審査会 長野市内と長水地区2名、更埴地区1名、須坂地区1名、
飯山・中野地区1名、事務局1名、以上6名と理事長で構成。
 - ③調査研究委員会 長野市内2名と長水地区1名、更埴地区に1名、須坂地区1名
飯山・中野地区1名、事務局1名、以上7名と理事長で構成。
 - ④表彰委員会 長野市内と長水地区2名、更埴地区1名 須坂地区1名、飯山・中野地区1名、
以上5名と会長、副会長、理事長で構成。
- 2 その他の会議 全体会については毎年1回全校職員対象に開催することができる。

Ⅴ 会計関係内規

- 1 分担金 5月1日現在の生徒数1人500円とし、5月31日までに納入する。
- 2 大会参加料 1人400円とする。
- 3 旅費
 - ①役員、審判の旅費は、加盟校職員においては勤務校より出張先市町村までの実費とし、生徒引率の場合は至急しない。
高校職員以外においては自宅より出張先市町村までの実費とする。但し、同一市町村の場合は支給しない。
 - ②役員・審判の日当は教職員1,000円、協会審判員2,000円とする。
 - ③補助員の日当は700円とする。
 - ④大会等が都合で未実施の場合は交通費のみとし、日当は支給しない。
- 4 会場費
 - ①高校施設は1種目2,000円とする。但し、水泳大会は10,000円とする。
 - ②高校施設以外の施設は実費とする。
 - ③会議、講習会などの燃料代、茶等は実費とする。
- 5 講習会
 - ①講師が加盟校職員の場合は旅費のみで、1日2,000円とする。
 - ②講師が上記以外の場合は事務局と相談して、旅費・日当を決める。
 - ③講習会に必要な昼食代・茶菓子代は事務局と相談して決める。
- 6 旅費流用
50,000円までは会長の専決とし、それ以上は会長・副会長・監事・理事の会議で決める。

平成8年2月20日 改正

以上

第2節 東信高等学校体育連盟



1 沿革

(1) 事務局校の変遷

年 度	事務局校	会 長	理 事 長	事務局長
昭和22年	上田中学	北島修一郎	宮坂仁悟(上田中)	
23	上田松尾	"	"	
24	上田染谷丘	丸山 諒男	半田 実(染谷丘)	
25	上田松尾	中沢睦次郎	内堀純一(小諸実)	
26~28	"	高野 豊文	宮坂仁悟(上田松尾)	
29~32	"	川口横三郎		
33	上田千曲	大草 英雄	丸山登一郎(上田千曲)	
34				宮本迪彦
35・36	"	早川 勝	"	
37~45	"	小林 俊直	"	清水泉一
46	"	宮脇 昌三	"	"
47~50	"	庄田 文雄	"	"
51	"	塩原 松美	"	
52~55	小諸商業	平林 忠章	油井孝一郎(小 商)	田中寿男
56	"	酒井 清	"	"
57・58	小 諸	小林 盤男	小林 靖(小 諸)	浅井英登
59~61	"	池田 清作	"	小宮山守
62・63	丸子実業	牧野 昌泰	赤羽福次郎(丸子実)	小宮山泰典
平成元・2	岩 村 田	北野 進	柏木喜雄(岩村田)	白田一海
3	"	小出 志郎	"	"
8~9	小諸商業	田中 正	浅沼富夫(小 商)	児玉房雄
10~	"	丸山 直	児玉房雄(小 商)	井出英孝

以上のように事務局の変遷をしてみると昭和33年より19年間にわたって上田千曲高校にあり、紆余曲折の中、昭和52年から小諸商業に事務局が移り、油井孝一郎先生が理事長に就任した。以後事務局をA地区校(佐久地区)、B地区校(上小地区)に分け、二期4年間のシステムが各校評議員を中心に話し合いがもたれ、現在ではスムーズに事務局の移動が行なわれている。

なお昭和61年9月26日(金)に東信体育大会、第100回を記念して、東信高体連40周年記

念式典が小林靖理事長(小諸)の時に行なわれた。19校から運動部生徒代表120名が参加し、今まで高体連に深くかかわった諸先輩や、市町村代表、さらに各競技団体でお世話になった協会の方々等の参加を得て、盛大なセレモニーが行なわれた。

以後10年間、生徒数の減少、運動クラブ離れ等、高体連の歩みもさまざまな変化があったが、各校先生方の力により、他地区高体連に劣らぬよう努力がなされ、平成8年12月21日(土)、東信高体連50周年記念式典を浅沼富夫理事長(小諸商業)のもとで行ない、今日に至っている。

(2) 専門部の発足

昭和23年 7 専門部発足(陸上競技・バスケットボール・軟式庭球・バレーボール・卓球・スケート)

昭和24年 1 専門部発足(研究調査)

昭和26年 3 専門部発足(ハンドボール・柔道・水泳)

昭和27年 2 専門部発足(体操男子・体操女子)

昭和36年 4 専門部発足(サッカー・バドミントン・剣道・弓道)

昭和37年 1 専門部発足(スキー)

昭和45年 1 専門部発足(レスリング)

昭和47年 2 専門部発足(登山・定通)

昭和49年 1 専門部発足(フェンシング)～昭和54年まで

昭和50年 1 専門部発足(テニス)

昭和61年 1 専門部発足(空手道)

(3) 研究協議会 講演会

実施日	場 所	講 師 名
H元.12.16	小諸市浅間農協会館	黒沢 正憲 氏 県公認スポーツドクター
H2.12.15	小諸市浅間農協会館	阿部 隆 氏 県調査研究専門委員長
H4.11.28	小諸グランドキャッスルホテル	小林 靖 氏 日本アマチュアレスリング協会理事
H6.12.17	小諸グランドキャッスルホテル	黒沢 正憲 氏 県公認スポーツドクター
H8.12.21	小諸グランドキャッスルホテル	50周年記念式典 小関 英雄 氏 大商学園高校B. B総監督

2 東信大会の変化

(1)種目

平成9年度(現行)

陸相・柔道・剣道・ソフトテニス・
テニス・バスケットボール・
バレーボール・ハンドボール・
ソフトボール・卓球・バドミントン・
体操・弓道・水泳・サッカー・登山・
スケート・スキー・レスリング・
空手道・定通

昭和55年度 フェンシング専門部廃止

昭和57年度 硬式テニス専門部がテニス専門部に名称変更

平成5年度 軟式テニス専門部がソフトテニス専門部の名称変更

(2)事業費

	事業費決算額	参加料 (ひとり)	分担金 (ひとり)	備考
S53	1939170円	250円	100円	S57参加料値上げ S57分担金値上げ
S61	3785739円	300円	200円	
H2	4407421円	300円	300円	H2分担金値上げ H4参加料値上げ
H9	5150047円	400円	500円	H8分担金値上げ

参加選手数の増加による試合数の増加、社会体育施設の借用の必要性、上級審判の派遣等の理由・事情により、事業費決算額は年々増加の傾向にある。近年はそれに加え、生徒数の減少に伴う参加選手の減少の傾向から、参加料の値上げが予想される。

3 全国大会での活躍

東信地区の全国大会出場者の中でも特筆するは、平成7年度東信高体連表彰において、特別栄光賞を受賞した以下の選手である。

佐久長聖高校男子スピードスケート部
3年連続全国高校総体優勝
軽井沢高校アイスホッケー部
3年連続全国大会入賞
佐藤武留(東部)ノルディック
3年連続全国大会入賞
市村 雅(野沢北)スピードスケート
3年連続全国大会入賞
中島昇秀(佐久長聖)スピードスケート
3年連続全国大会入賞
佐久長聖高校女子バスケットボール部
3年連続全国大会出場
上田西高校レスリング部
3年連続全国大会出場
上田高校定時制女子バスケットボール部
3年連続全国大会出場

最近10年のインターハイ優勝は、下記のとおりである。ほとんどが冬季種目に偏り、また個人種目である。その中でレスリングは東信のお家芸とも呼べる種目であり、今後を期待したい。

平成5年度	スピードスケート	総合 1000m 1000m	佐久 高校(男子) 土屋和花子(野沢北) 宮川 洋平(佐 久)
平成6年度	スピードスケート	総合 500m 1000m	佐久 高校(男子) 今井 裕介(佐 久) 今井 裕介(佐 久)
	スキー レスリング	複合 58kg級	佐藤 武留(東 部) 竹花 良二(上田西)
平成7年度	スピードスケート	総合	佐久長聖高校(男子)
平成8年度	スピードスケート	500m 1000m	井出 真博(野沢北) 井出良直(佐久長聖)
	レスリング	46kg級 50kg級	吉澤克洋(北佐久農) 高橋 利典(上田西)
平成9年度	スピードスケート	1000m	野本 繁(小 海)
	陸上	1500m	佐藤清治(佐久長聖)

4 「東信体育」

昭和23年、東信高体連発足以来、調査研究専門部によって編集・発刊され続けている「東信体育」は、第50号を数える。東信大会の記録のまとめを中心に、東信高体連の歴史と御活躍なされた先生方、選手諸君の努力のあとが詳細に刻まれている。

50周年を記念して、竹内康雄先生保管の貴重な資料を拝借し、1号から50号までを完全復刻し、ファイルに閉じ東信19校全てに寄贈した。

この歴史ある「東信体育」は各方面から多大な称賛を受け、編集に当たる専門部も大きな責任を感じながら任務遂行している。今後も60号、70号そして100号までも発刊され続けることであろう。

5 技術講習会

平成元年度より、ABCランクに分け選手強化、指導者の資質向上のため技術講習会が実施されている。Aは全国範囲、Bは県内、Cは東信地区から講師を招き、競技力の向上・指導方法の研究・ルールの徹底等を目的として、各専門部平等に計画されている。

全国レベルの講師については下記のとおりである。

陸上競技 H6・7・17
内藤重人氏 日体大陸上部コーチ
ソフトテニス H5・11・14
木口利充氏 ヨネックス株式会社
テニス H4・12・12
平沢 潤氏 ヨネックス株式会社
バレーボール H7・8・8

前田 健氏 カナダナショナルチーム監督
 卓 球 H9・9・21
 内山鉄山氏 日本卓球株式会社
 バドミントン H4・2・9
 佐藤輝行氏 ブリジストンスポーツ
 体 操 H2・12・9
 広瀬千恵子氏 日本女子体育大学コーチ
 弓 道 H元・11・4
 斉藤節明氏 全国高体連弓道専門部会長
 サ ッ カ ー H5・8・6
 長沢 隆氏 日本サッカー協会C級コーチ
 登 山 H4・9・26
 洞井孝雄氏 愛知県山岳連盟理事長
 レスリング H3・2・23
 長島偉之氏 足利工業高校教諭
 ス キ ー H5・1・4～
 竹村幸則氏 全日本スキー連盟
 デモンストレーター

6 スキー指導者講習会

記録によると、昭和40年以来開催されているスキー指導者講習会は、毎年1月上旬3日間の日程で、菅平高原スキー場において学校関係者を対象に行っている。各学校の指導者不足の解消と、技術の向上を目的としている。また、スノーボードの普及によりスキー教室の形態が様変わりする予想のもと、いちはやくスノーボードの技術講習会も取り入れ、生徒のニーズにも応える準備を始めている。

7 50周年記念事業

平成7年、上田染谷丘高校事務局当時、鮎沢理事長を中心に50周年記念事業の基本構想が検討され、平成8年、小諸商業高校に事務局移転後は浅沼理事長のもと、具体的企画、実行委員会の組織作りがなされ、他地区に先駆けて記念式典が行われた。式典には佐久・小諸・上田市市長をはじめ、各地区校体連会長歴代理事長をお招きし、東信校体連の礎を築かれた先輩方とともに懇親を深めた。

(1)組織(実行委員会)

田中 正	会 長	(小諸商業高校校長)
中村 武人	副 会 長	(東部高校校長)
渡辺 史郎	副 会 長	(小諸高校校長)
浅沼 富夫	理 事 長	(小諸商業高校)
原 雅幸	副理事長	(上田千曲高校)
田中 寿男	委員 長	(野沢南高校)
酒井 分長	代表理事	(上田高校)
細田 紀一	代表理事	(小諸高校)
阿部 隆	調査研究	(野沢北高校)
山下 晃広	調査研究	(上田東高校)
堀内 雅司	調査研究	(臼田高校)
児玉 房雄	事務局 長	(小諸商業高校)

(部門別担当者)

式典・渉外部	浅沼 富夫 児玉 房雄 飯島 秀明 小林 俊一	原 雅幸 田中 寿男 小林 史夫
記念誌部	阿部 隆 堀内 雅雄 児玉 房夫	山下 晃広 田中 寿男
予算・経費部	酒井 分長 児玉 房雄 原 直巳 岩下 道範	細田 紀一 田中 寿男 小林 哲夫

(2)事業

① 座談会

期 日 平成8年7月8日(月)
 会 場 小諸商業高校高体連事務局
 出席者 小林 靖氏 赤羽福次郎氏
 柏木喜雄氏
 鮎沢 亨氏(旧理事長)
 司 会 浅沼 富夫
 記 録 原 知恵 記念誌部
 内 容 発足 100回大会
 事務局校 AB地区
 技術講習会 今後の課題

②記念式典

期 日 平成8年12月12日(土)
 会 場 小諸グランドキャッスルホテル
 式次第 開会の言葉 黙祷 会長挨拶
 理事長挨拶 経過報告
 感謝状贈呈 来賓祝辞
 祝電披露 閉会の言葉

③ 講演会

期 日 平成8年12月12日(土)
 会 場 小諸グランドキャッスルホテル
 講 師 大商学園高校
 バスケットボール部監督
 山岡 秀雄氏
 演 題 「チームづくり」

④記念誌

書 名 「五十周年記念誌」
 書 式 B5版 横書き
 163ページ 750部
 内 容 グラビア 発刊に寄せて
 思い出の記 専門部のあゆみ
 東信加盟校19校の歴史と運動
 部のあゆみ
 東信地区出身者の活躍のあと

東信高等学校体育連盟規約

昭和24年4月1日施行
昭和31年4月1日改正
昭和47年4月1日改正
昭和49年2月18日改正
昭和52年4月 日改正
昭和58年4月19日改正
昭和61年12月9日改正

第1章 総 則

- 第1条 本連盟は東信高等学校体育連盟と称し事務局を会長指定の学校に置く。
- 第2条 本連盟は東信地区内の高等学校単位の参加によって組織し、長野県高等学校体育連盟に連けいする。
- 第3条 本連盟を次の地区に分ける。
A地区
B地区
- 第4条 本連盟は東信地区高等学校の保健体育の振興をはかると共に生徒の体育の正しい指導をなすを目的とする。
- 第5条 本連盟は前状の目的を達成するため、研究会、競技会、講習会の事業を行う。

第2章 機 関

- 第6条 本連盟に下の機関を置く。
(1) 評議員会 (2) 理事会
- 第7条 評議員会は本連盟の最高議決機関であり、年二回定期に会長が召集する。過半数の出席を以て成立し、予選決議、役員選出、事業大綱等重要事項を議決する。理事会又は評議員の1/3以上の要求があった場合会長は評議員会を開かねばならない。
- 第8条 理事会は会長が召集し、事業遂行上の計画及び会務ならびに県連盟との連けいその他緊急事項等を処理する。

第3章 役 職 員

- 第9条 本連盟に下に役職員を置く。
(1) 会長 1名 (2) 副会長 2名
(3) 理事 11名 (内理事長1名、福理事長1名、低次制1名)
(4) 評議員 若干名 (内定時制1名) (5) 幹事 若干名 (6) 監事 2名
- 第10条 会長、副会長、理事、監事は評議員会に於て選任し、理事長及び福理事長は理事の互選とし、幹事は会長の委嘱による。
- 第11条 会長は本連盟を代表し会務を掌理する。
副会長は会長を補佐し会長に事故ある場合はその職を代行する。
理事長は会無を処理する。福理事長は理事長を補佐する。
幹事は庶務及び会計の事務を行う。
監事は会計の監査にあたる。
- 第12条 評議員は各校2名とし、内1名は校長とする。
(定時制は東信地区より1名を選出する)

第13条 各役職員の任期は二年とし重任を妨げない。但し補欠役職員の任期は前任者の残任機関とする。

第4章 会 計

第14条 本連盟の経費は加盟校の拠出金を以て充てる。

第15条 本連盟の会計年度は4月1日より始まり翌年3月31日に終る。年度中1回以上会計監査を行わなければならない。

第5章 付 則

第16条 本連盟の役員は県連盟と連けいするのための下の如く県連盟の役員を兼ねるものとする。

- (1) 本連盟の会長は県練磨英の会長又は副会長。
- (2) 本連盟の副会長は県連盟の評議員。
- (3) 本連盟の理事長は県連盟の理事。
- (4) 本連盟の理事のうち3名は県連盟の評議員。
- (5) 本連盟の理事のうち2名は県連盟の理事。
- (6) 本連盟の監事のうち1名は県連盟の監事。

第17条 本連盟の目的達成のため専門部を置き事業の遂行に当らせることができる。専門部は専門委員3名(内専門委員長1名)を選出し、その委嘱は理事会の議を経て会長が行う。

第18条 本連盟は表彰規定を定め表彰する。

第19条 本連盟の事務所には下の書類にそなえ置くものとする。

- (1) 本連盟規約 (2) 会議録 (3) 役職員名簿 (4) 各校会員数調査簿 (5) 備品台帳
- (6) 会計簿 (7) 事業記録

東信高等学校体育連盟申し合せ事項

1. 総則第3条のA地区、B地区高等学校は次の通りとする。

A地区

小海、臼田、野沢北、野沢南、岩村田、北佐久農業、軽井沢、小諸、小諸商業、佐久

B地区

望月、蓼科、東部、上田千曲、上田、上田染谷丘、上田東、丸子実業、上田西

2. 理事の選出について

イ 5名の選挙管理委員を選出する。

(A地区、B地区評議員から2名ずつ、事務局1名)

ロ 選出人員

11名(A地区 5名、B地区 5名、定通 1名)

ハ 選出方法

5名連記(地区別に投票を行う)

同一校2名は避ける。

ニ 補欠について

a 投票結果を明確にし、順位をつけておき、繰上げについては、A地区、B地区で考慮する。

b 異動等により理事の増減が生じた場合は、A地区、B地区とも5名となるように調整する。

3. 事務局について

イ 事務局はA地区、B地区交互の持ち回りを原則とする。

ロ 事務局の任期は4年を原則とする。

以上

第3節 中信高等学校体育連盟



昭和22年に中信新制高等学校体育連盟（仮称）が発足し、昭和24年には中信高等学校体育連盟と改称され現在に至っている。平成8年には中信高体連50周年を迎え、50周年記念講演会や生徒スキー講習会50周年記念祝賀会等が盛大に行われる。ここに中信高体連の特徴的なことをまとめてみた。

1. 特徴的な事業

- (1) 中信高体連生徒スキー講習会
- (2) 中信高体連研究調査事業
- (3) 一般者大会
- (4) 職員球技大会
- (5) 中信高体連結果報告集

(1) 中信高体連生徒スキー講習会

昭和22年、細野咲花スキー場（現八方尾根スキー場）で始まったこの講習会も平成8年度には50回を数え、平成9年1月6日に中信高体連生徒スキー講習会50周年記念祝賀会が飯森スキー場にて関係各位の多数の出席者を得ながら盛大に挙行される。以下ここにスキー講習会50年の歩みをまとめてみる。

第1回 昭和22年度 細野咲花スキー場
（現八方尾根スキー場）

受講料 24円

宿泊料 3泊4日300円米1.5升、

味噌100匁、野菜若干持参。

参加人数・指導者も含めて約150名、
細野民家へ分宿。

北安曇郡北城村細野に疎開中のスキー研究者・故福岡孝行氏（法制大学教授）にスキー専門委員長・丸山彰氏が意見を請い、また、当地方スキー開発者小谷温泉山田 寛氏、地元丸山武四氏、大谷定雄氏他に相談しながら講習会の原案を作成実施。

第11回 昭和32年度まで細野咲花スキー場にて実施（11年間）

第12回 昭和33年度 細野咲花スキー場、東急ケーブル設置等により一般者多く運営難しく 美麻村新行の有識者小林八重郎氏と相談。大町スキー場へ会場を移す。

受講料 100円

宿泊料 3泊4日750円、

米（男1.8升、女1.5升）持参。

参加人数 456名。

第1回指導者スキー講習会生徒講習会と分離開催。

第26回 昭和47年度 業務多忙のためスキー専門部を競技スキー専門部と普及スキー専門部に分離、普及スキー専門委員長有賀龍之。

第30回 昭和51年度 30年記念式典・和田公八氏宅にて祝賀会

夜・キャンドル行進、ファイヤーストーム実施。

第31回 昭和52年度まで大町スキー場にて実施（20年間）

第32回 昭和53年度 大町スキー場雪不足のため飯森の組合長田中安秋氏他と相談、飯森スキー場へ会場を移す。

受講料 300円

宿泊料 3泊4日5300円

参加人数 2,089名

第38回 昭和59年度会場・五竜とおみスキー場いいもりゲレンデと改名

参加人数 2,389名

豚 汁 380円 (2 回分)

第40回 昭和61年度 40年記念式典・打上げ
花火、餅つき。

第41回 昭和62年度 第30回指導者スキー講
習会

第43回 平成元年度

参加人数 3,834名

第44回 平成2年度

普及スキー専門委員長 手塚 翼。

第48回 平成6年度 五竜とおみスキー場と
白馬47スキー場共通券に。

第49回 平成7年度

参加人数 2,331名

受 講 料 700円

宿 泊 料 3泊4日14,000円

豚 汁 450円 (2回)

第50回 平成8年度・記念ポスターの配布
(加盟各校2枚)、記念バッヂ配布
(第50回講習会に参加した生徒、職
員に配布)

平成9年1月5～7日 第39回指導
者スキー講習会

1月6日・中信高体連生徒スキー講
習会50年記念祝賀会

会 場・いいもりレストハウス

生徒スキー講習会

前 期 1月27日～30日

後 期 2月3日～6日実施。

参加人数 1,765名 職員 189名

(2) 中信高体連研究調査事業

研究調査専門部主催で毎年9月に行われてお
り昭和62年度以前は公開授業がおもな事業で
あったが最近では実技講習会や講演会を行って
いる。以下ここに昭和62年度以降の事業をまとめ
てみた。(右表)

(3) 一般者大会

分担金を一般生徒に還元する意味で高体連発
足当時より行っている行事で、10月の中旬、3
地区(木曾、松塩筑、南北安曇)で運動部に所
属していない生徒を対象に、バレーボール、バ
スケットボール、サッカー、テニス、卓球等を

年度日	内 容	講 師	場 所	参加人数
S62 9/18	公開授業(柔道、器 械)・施設見学	戸塚 国彦氏 (2年柔道) 島崎 貴史氏 (1年器械)	明科高校	34
63 9/22	講演 「スポーツ医学」	牧田 豊氏 (元国立療養所 城山病院院長)	深志高校	31
H1 9/14	ヨガ見学・施設見学 エアロビクス講習		ヘルスパ 塩尻	38
2 9/14	軽スポーツ (ユニホック・イ ンディアカ・パウ ンドテニス)	茅野・西村・関田氏 体育センター専 門主事	体育 センター	48
3 9/26	軽スポーツ (ターゲットパー ドゴルフ・ベタン ク)	茅野・西村・関田氏 体育センター専 門主事	体育 センター	45
4 9/22	軽スポーツ (マレットゴルフ)	茅野・西村・関田氏 体育センター専 門主事	体育 センター	43
5 9/21	簡単な器具を利用し た部活動に必要なト レーニング方法	山本 敬也 青木 裕子氏 フィットネス・ アポロ・ジャパ ン	田川高校	63
6 9/20	スポーツ選手におけ る効果的なトレーニ ング法とミールトレ ーニング (スポーツと栄養)	山本 敬也 海老久美子氏 フィットネス・ アポロ・ジャパ ン	県ヶ丘高 校	40
7 9/14	スポーツ障害の防止 と予防のためのトレ ーニング法(PNF) とメンタルトレー ニング	山本 敬也 丸尾 明教氏 フィットネス・ アポロ・ジャパ ン	県ヶ丘高 校	40
8 12/21	50周年記念講演 「生涯スポーツと 健康」	教授 千葉 茂俊氏 信州大学医学部 薬理学	県ヶ丘高 校	65
9 9/19	講演 メンタルトレー ニング	講師 ハラルドーホ ルスター氏 ライブチヒ総合 大学	蟻ヶ崎高 校	52

行っているが、年々参加人員の減少にともない
各地区、時期、種目、参加資格等、独自に考慮
しながら実施している。以下ここに昭和62年度
以降の事業をまとめてみた。(次ページ)

(4) 職員球技大会

中信高体連発足以来、毎年5月連休第1日目
に学校対抗の軟式野球大会が松本市内4校(松
商学園、松本工業、美須々ヶ丘、県ヶ丘)のグ
ランドで行われる。当日抽選でA・Bブロック
に分かれて優勝を争う。最近では参加校も減少の

一般者大会

(S62~H9までの各地区の実施時期・種目等について)

	安曇地区	木曾地区	松・塩・筑地区
S62	(10月18日) バレーボール・サッカー・バスケットボール・卓球	(10月18日) バレーボール・ソフトボール バスケットボール・卓球	未実施
S63	(10月16日) バレーボール・サッカー・バスケットボール・卓球	(10月16日) バレーボール・サッカー バスケットボール・軟式庭球・卓球・剣	未実施
H1	(10月15日) バレーボール・サッカー・バスケットボール・卓球・軟式庭球	(10月15日) バレーボール・バドミントン バスケットボール・サッカー	未実施
H2	(10月14日) バレーボール・サッカー・バスケットボール・卓球・軟式庭球	(10月14日) バレーボール・バドミントン バスケットボール・サッカー	未実施
H3	(10月13日) バレーボール・サッカー・バスケットボール・テニス・軟式庭球	(10月13日) バレーボール・バドミントン バスケットボール・サッカー	(10月13日) バレーボール・テニス・バスケットボール・バドミントン
H4	(10月11日) バレーボール・サッカー・バスケットボール・卓球・ソフトテニス	(8月30日) バレーボール・ソフトテニス バスケットボール・卓球・柔道・剣道	(10月4日) バレーボール バスケットボール
H5	(10月11日) バレーボール・テニス・バスケットボール	(9月1日) バレーボール・ソフトテニス バスケットボール・サッカー	(10月4日) バレーボール サッカー
H6	(9月25日) バレーボール・サッカー・バスケットボール・テニス・卓球・ソフトテニス	(8月28日) バレーボール・ソフトテニス バスケットボール・サッカー	未実施
H7	(9月24日) バレーボール・サッカー・バスケットボール	(9月3日) バレーボール・バドミントン 柔道・剣道・弓道	(10月8日) 卓球
H8	(9月15日) バレーボール・サッカー・バスケットボール	(9月1日) バレーボール・バドミントン バスケットボール・卓球	未実施
H9	(10月12日) バレーボール・サッカー・バスケットボール・テニス・バドミントン・卓球	(9月3日) バレーボール・バドミントン バスケットボール・卓球	(10月12日) バレーボール・サッカー バスケットボール

傾向がみられ、会場も3校になり、種目も平成9年度よりソフトボールにかわり女子職員の参加もみられ新たな一步を踏み出した。

(5) 中信高体連結果報告集

昭和62年度から発刊され平成9年度には第11

集が出される。結果報告集にはその年の役員表、大会実施報告、決算書、中信総合、新人大大会結果一覧表、各種目大会結果、職員球技大会一般者大会、普及スキー専門部事業、研究調査部事業、全国高等学校総合体育大会出場者成績一覧などが掲載されている。

2 全国大会上位入賞者

昭和62年から平成9年までの全国大会上位入賞者を種目別にまとめてみた。スキー関係がやはり多いのが目立っている。

(陸上競技)

H4 一志 学(池田工) 800m 5位

6 帯刀 秀幸(大町) 1500m 6位

(柔道)

H7 団体男子(松本第一) 5位

H8 団体男子(松本第一) ベスト8

百瀬 渡(松本第一) 中量級 3位

(テニス)

H7 団体男子(松商) ベスト8

(登山)

S62 女子(蟻ヶ崎) 6位

(自転車)

H1 塩原 正長(松本工) 1000m 2位

8 百瀬 匡(松本工) スプリント 4位

9 原 篤(松本工) 300m 7位

(空手)

S62 三村 由紀(松本深志) 型個人 2位

63 三村 由紀(松本深志) 型個人 1位

H5 杉山 裕美(大町) 型個人 2位

H9 西沢智代美(松商) 型個人 6位

(水泳)

H9 早田 和重(田川) 100m

バタフライ 2位

(定時制・通信制)

H3 バレーボール(男子)(松本工) 3位

H7 陸上競技 佐原 誠(筑摩定)

1500m・5000m 4位

(スケート)

H2 学校対抗(女子) 松本深志 5位

清水 美映(松本深志)

1500m・3000m 1位

H 3 清水 美映(松本深志) 1500m・5位
3000m・4位

降旗 克子(大町北) 3000m・5位

H 4 学校対抗(女子) 松本深志 5位

清水 美映(松本深志)

1500m、3000m・1位

降旗 克子(大町北)

1500m、3000m・3位

(スキー)

学校対抗(男子)

学校対抗(女子)

S63 (白馬) 4位

S62 (白馬) 5位

H 4 (白馬) 3位

S63 (白馬) 1位

5 (白馬) 5位

H 1 (白馬) 1位

7 (白馬) 2位

H 2 (白馬) 2位

H 3 (白馬) 2位

H 4 (白馬) 3位

アルペン(男子)

S62 太田 勝(白馬) SL 6位

S63 白河 和也(白馬) SL 5位

H 1 太田 光洋(白馬) GSL 3位

H 4 塩沢 典彦(白馬) SL 6位

深沢 哲(白馬) GSL 3位

H 5 木谷 逸郎(白馬) SL 5位

H 7 西村 斉(白馬) SL 3位

GSL 4位

アルペン(女子)

S62 白河 三枝(白馬) GSL 3位

北林 万里(白馬) GSL 6位

丸山 有紀(白馬) SL 2位

北林 万里(白馬) SL 4位

63 田原 恵(白馬) GSL 2位

北林 万里(白馬) GSL 3位

丸山 有紀(白馬) SL 1位

北林 万里(白馬) SL 4位

H 1 丸山 有紀(白馬) GSL 6位

切久保深雪(白馬) SL 1位

丸山 有紀(白馬) SL 3位

田原 恵(白馬) SL 4位

2 切久保深雪(白馬) GSL

SL 1位

3 切久保深雪(白馬) GSL 5位

SL 1位

4 松田美登里(白馬) GSL 2位
SL 6位

宮田 苗帆(白馬) SL 3位

7 嶺村 聖佳(白馬) GSL 5位

8 福島のり子(白馬) GSL 2位

9 福島のり子(白馬) GSL 5位

リレー(女子)

H 3 白馬 4位

クロスカンントリー(男子)

S63 太田 敏朗(白馬) 15km 3位

H 3 中村 洋隆(白馬) 15kmフリー
6位

4 中村 洋隆(白馬) 15kmフリー
5位

石塚 仁(白馬) 15kmフリー
5位

8 横川 澄広(白馬) 15kmフリー
5位

クロスカンントリー(女子)

H 1 中村 由紀(白馬) 5km 4位

2 中村 由紀(白馬) 10kmフリー
4位

3 中村 由紀(白馬) 10kmフリー
2位

コンバインド

H 2 山田 和由(白馬) 2位

3 中村 幸志(白馬) 5位

4 中村 幸志(白馬) 4位

5 中村 幸志(白馬) 1位

田村 暢康(白馬) 5位

8 横沢 慎介(白馬) 6位

スペシャルジャンプ

H 4 中村 幸志(白馬) 5位

9 梅崎 慶太(大町) 3位

宮沢 岳二(白馬) 4位

中信高等学校体育連盟規約

57年4月20日一部改正

63年4月11日一部改正

平成2年4月10日一部改正

平成5年4月9日一部改正

平成8年4月9日一部改正

第1章 総 則

- 第1条 本連盟は中信高等学校体育連盟と称し、その事務所を会長の所在する学校におく。
- 第2条 本連盟は中信地区高等学校体育全般の刷新、振興を図ることを目的とし、これによって新しい日本文化の伸長を期する。
- 第3条 本連盟は長野県高等学校体育連盟との関連においては、その連合体の一環として長野県体育協会に加盟し、県内各運動競技種目団体と密接な連繋のもとに学校体育並びに社会体育一般の進展に寄与する。

第2章 組 織

- 第4条 本連盟はその目的及び事業に賛同する中信3市4群の高等学校を以って組織する。

第3章 事 業

- 第5条 本連盟はその目的を達成するため次の事業を行なう。
1. 学校体育についての調査研究
 2. 体育関係諸団体との連絡調整
 3. 各校及び各校生徒会運動部活動の連絡
 4. 地区体育大会の開催
 5. その他必要な事業
- 第6条 本連盟に下記の役員をおく。
- 会長 1名 副会長 1名 評議員 各校1名 理事長 1名 副理事長 1名
理事 8名 専門委員長 部門別各1名 専門委員 部門別若干名
監査委員 2名 幹事 若干名
- 第7条 会長副会長は評議員の決議によって決定する。
会長は本連盟を代表して事業を総理する。
副会長は会長を補佐し事故のあるときはその職務を代理する。
- 第8条 理事長・副理事長は理事十名の決議によって決定する。理事長は会長の指示によって事業を執行する。副理事長は理事長を補佐し、理事長に事故あるときはその職務を代理する。
- 第9条 評議員は各学校長これに当る。評議員は評議員会を組織し本連盟の運営について審議する。
- 第10条 理事は松本市2名、北安（大町市含む）、南安（明科町含む）、東筑（塩尻市含む）、木曾各1名 全地区より2名計8名を総会の決議によって決定する。理事は事業を管理する。
- 第11条 専門委員長および専門委員は総会で推薦し、理事会の決議によって決定する。専門委員は所属する部門別に研究と運営に当る。
- 第12条 本連盟に下記の専門部をおく。
- 陸上、バスケットボール、バレーボール、テニス、ソフトテニス、卓球、サッカー、体操、新体操、柔道、剣道、弓道、相撲、ソフトボール、バドミントン、水泳、ハンドボール、普及スキー、競技スキー、スケート、ウエイトリフティング、自転車、ラグビー、定通、登山、研究調査、編集、空手道

第13条 監査委員は評議員会で推薦されたものを会長が委嘱する。

監査委員は財務を監査する。

第14条 幹事は理事会で推薦されたものを会長が委嘱する。幹事は事務を処理する。

代15条 役員の任期は2年とする。但し再選を妨げない。補欠役員の任期は前任者残任期間とする。
役員は任期が満了しても後任者が就任するまではその職務を行なうものとする。

第16条 本連盟に事務員1名おく。

第4章 会 議

第17条 会議は評議員会、理事会、専門委員会、総会とする。

第18条 評議員会は毎年4月会長が招集して本連盟の予算決算事業運営についての事項を審議する。
評議員会は必要に応じて招集することができる。

第19条 理事会は会長が必要に応じて招集し、規約に定められた事項や評議員会より委任された事項を審議する。

第20条 専門委員会は会長の承認を得て委員長が招集し、所管事項について審議執行する。

第21条 総会は評議員、各校職員をもって構成し役員の選出、予算、決算、行事その他必要な事項を審議決定する。

第22条 本規約の形成は総会により審議決定する。

第5章 会 計

第23条 本連盟の経費は下記によって施行する。

1. 分担金
2. 参加料
3. 補助金
4. 寄付金
5. その他

第24条 前条の分担金は各校において全定生徒及び職員1人あたり500円とする。

代25条 分担金の算定の基準は各校において5月1日現在の在籍数により、納期は5月31日までに終るものとする。

第26条 前条の参加料は、中信高等学校体育連盟主催大会の種目エントリー人数分（マネージャーを含む）一人あたり500円とする。

第27条 本連盟の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日までに終えるものとする。

第28条 理事長は毎年事業年度の終りにおいて下記の書類をととのえ4月の評議員会の前にこれを監査委員に提出して監査を受けるものとする。

1. 事業報告
2. 事業収支決算報告

第29条 監査委員は前条の書類を監査し意見書を添えて理事長に送付するものとする。理事長は前条の書類と監査委員の意見書を評議員会に提出してその承認を求めるものとする。

第30条 本連盟の事務所には下記の書類をそなえておく。

1. 組織単位である学校及びその責任者の名簿
2. 役員の名簿
3. 会計簿
4. 会議録
5. 事業記録
6. その他規約ならびに事業実施上必要な関係書類

注 1. 第1章第1条は58年4月1日から施行する。

2. その他は57年4月20日より施行する。

以上

第4節 南信高等学校体育連盟



昭和23年に初代事務局伊那北高校を皮切りに南信高体連が発足し、平成10年、オリンピックが開催された記念すべき年度に、発足50周年記念式典・講演会・祝賀会を行い、加えて記念会報を発刊した。

過去において、昭和55～56年の岡谷南高校事務局時代に南信高体連33年史が発刊されており、その後の17年間を記録した50周年記念誌と合わせた内容から、ここ10年間の足跡を振り返ってみた。

1 継続する「会報」発刊

昭和58年12月9日、代議員会において今後南信高体連の活動状況を正確に後年に伝えるために、2年ごとに会報を編集することが決定された(第1号のみ56～58年の3年度分)。

以後、平成10年3月に会報第8号が発刊されるまで、2年ごとに諏訪、上伊那、下伊那と輪番で担当した各事務局の努力によりまとめられてきたのである。

その内容は ①名簿 ②収入、支出決算 ③事業報告 ④南信総体成績 ⑤南信新人大会成績 ⑥南信総体参加生徒数 ⑦指導者講習会実施報告である。

2 「講習会」の充実

(1)各専門部主催の指導者講習会

専門部主催の指導者講習会が、指導者の確保と資質向上のために技術、審判、指導法等について実施されるようになったのは昭和50年であ

る。この年は卓球、バスケットボールなど6つの専門部において専門委員や協会関係者を講師として行なった。以後、平成9年度には、17に及ぶ専門部が講習会を持つというように発展してきているのである。

(2)20年の歴史を持つ「スキー 指導者講習会」

昭和53年度から始まったこの講習会は平成9年度で20回となった。基礎スキーの指導を内容として、安全で楽しいスキー教室の運営法や、スキーの正しい指導法についての講習が、会場を車山高原スキー場を定着させて続けられた。

この間、スキー教室の実施校は着実に増え、また、体育科以外の教員の積極的参加が大きな特徴である。

3 「諸規約」の制定・整備

(1)大会開催基準要項

平成5年11月25日にこの要項は制定された。

主旨としては、南信高体連は全国・北信越・県高体連の傘下としての団体であるため、南信大会開催にあたってはそれらの団体の目的及び参加資格等の基準が前提となるからとしている。

内容としては ①大会の主催、主管及び役員 ②開催種目 ③大会運営 ④大会経費 ⑤表彰である。なお、この要項は平成9年4月11日に改正された。

(2)表彰規定

昭和63年11月24日に制定される。連盟の向上発展に尽力した者、全国総体等で優秀な成績を収めた生徒、チーム、優秀選手、チームの指導者を対象として表彰することとなる。

なお、この規定は「細則」と「申し合わせ」をさらに加えている。

(3)傷病等見舞金規定

この規定は平成3年4月1日施行された。(平成4年11月26日一部改訂)規定の運用には「審査会運営規定」により委員長が召集して決定する。

4 大会および競技成績について

全国での活躍をみると、スケートの活躍がめざましい。2年以上連続3位以内は、男子では野明（岡谷南）がH2～4にかけて、1500M・5000Mの両種目で2・3位、田中（東海三）はH3～5で1500Mにいずれも3位となった。

女子では、上原（清陵）が63～H1に1000Mが1位、3000M3位、外ノ池（東海三）がH6に1500M、H8 1000Mにそれぞれ優勝。H8に1500Mに2位となった。

学校対抗では、S63に諏訪二葉が3位、H8に東海三が全国優勝している。

他種目の優勝者をあげてみる。

陸上でH6男5000M競歩で唐沢（伊那北）が弓道でH3飯田女子、漕艇ではH4男子舵付フォアで岡谷南がそれぞれ1位となった。

5 節目となった「50周年記念事業」の実施

平成9年度、南信高体連はついに発足50周年を迎えることとなった。これを記念すべく事業をどうするか、50周年記念実行委員会はさっそく内容の検討となった。

事業の2つの中心は記念誌の発行と、式典・講演会・祝賀会の実施とした。

(1) 記念誌発行

昭和56年に33年史が発刊されているので、昭和57年以後の17年間の活動について記載することとした。その内容は、四つの章で構成される。

- ① 組織の変遷（歴代役員と事務局の推移）
- ② 思い出・回想（寄稿）

専門委員や活躍した選手からの寄稿集

- ③ 専門部のあゆみ（17年間の活動状況）
- ④ 50周年記念式典の記録

以上160ページ

(2) 記念式典・講演会・祝賀会

1. 実行委員会の経過

発足からの経過

- 1) 南信高体連発足 昭和23年（1948年）
初代事務局 伊那北高校
50周年 平成9年（1997年）
- 2) 平成7年度前事務局（弥生ヶ丘高校）
で9年度に開催決定

3) 平成8年4月の代議員会で準備委員会を承認

4) 準備委員会（17名）10/8 2/18

5) 平成9年4月の代議員会で実行委員会を承認（11/28（金）に決定）

6) 実行委員会（会長、副会長、監事、評議員、専門委員長、事務局）

第1回 4/11 第2回 6/10

第3回 9/4 第4回 10/23

第5回 11/18（火）全体会

2. 当日

(1) 式典

1) 参加者名簿

2) 次第と分担（敬称略）

進行（常任理事 湯沢）

① 開会の言葉（理事長 南嶋）

② 黙祷（15秒）

③ 会長あいさつ

（南信高体連会長 傳田）

④ 実行委員長あいさつ

（実行委員長 城田）

⑤ 来賓祝辞

（県高体連会長 本山、歴代会長・南信校長会長 松下）

〈来賓紹介〉（進行 湯沢）

⑥ 祝電披露（事務局 鹿野）

⑦ 感謝状贈呈

（南信高体連会長 傳田）

被表彰者5名（別紙）

（被表彰者代表の謝辞 翠尾）

⑧ 閉会の言葉（常任理事 伊藤）

(2) 参加人数

	式典	講習会	祝賀会
県高体連	4	4	4
歴代会長	1	1	1
歴代理事長	10	10	10
講師	1	1	1
被表彰者	4	4	4
南信学校長	10	10	10
役員	5	6	6
一般会員	117	123	107
合計	152	159	142

(3) 講演会 (14:00~16:00)

- 1) 次第と分担 (敬称略)
進行 (県評議員 松沢)
- ① 講師紹介
(南信高体連副会長 丸山)
- ② 講演
- ③ 謝辞 (南信高体連副会長 名取)
- 2) 講師と演題
- ・講師 酒井 浩文 氏
下伊那農業高校卒業 国土館大学卒業
陸上競技 (競歩)

ソウルオリンピック出場
世界選手権出場 アジア大会出場

- ・演題 「未知への挑戦」

プロフィール

昭和40年2月10日 下伊那郡豊丘村生まれ

58年3月 下伊那郡農業高校卒業

4月 飯田地区広域消防組合勤務

平成2年4月 国土館大学入学

6年3月 " 卒業

6年4月 国土館大学 (助手) 勤務

9年4月 酒井事務所設立

主な大会成績

ソウルオリンピック出場
世界選手権出場3回
アジア大会優勝1回
国民体育大会8連勝
日本選手権優勝3回

(4) 祝賀会 (16:15~18:00)

〈アトラクション〉 飯田長姫高校吹奏楽部
(東海大会出場) 16:15~16:30 (15分間)

1) 式次第と分担 (敬称略)

進行 (祝賀会係 天野)

① 開会の言葉

(南信高体連副会長 植田)

② 会長あいさつ

(南信高体連会長 傳田)

③ 来賓祝辞

(南信高体連歴代理事長 柴)

④ 乾杯 (県高体連副会長 白沢)

〈祝宴〉

⑤ 万歳三唱 (県高体連副会長 田中)

⑥ 閉会の言葉 (進行)

南信高等学校体育連盟規約

第一章 総 則

(名称及び事務局)

第1条 本連盟は南信高等学校体育連盟と称し事務局を理事長の在任校に置く。

(組 織)

第2条 本連盟は南信地区における加盟高等学校をもって組織する。

第3条 本連盟を次の地区に分ける。

(諏訪地区) 諏訪郡 岡谷市 諏訪市 茅野市

(上伊那地区) 上伊那郡 伊那市 駒ヶ根市

(下伊那地区) 下伊那郡 飯田市

(目 的)

第4条 本連盟は南信地区高等学校の保健体育の振興をはかると共に高等学校相互の親善と融和を期して健全なスポーツの発展に努力する。

(事 業)

第5条 本連盟は前条の目的を達するための研究会、競技会、その他必要事業を行なう。

第二章 役員及び機関

(役 員)

第6条 本連盟に次の役員を置く。

- 1、会長1名、副会長3名(内1名は定通部会を代表する者)、代議員若干名、理事長1名、常任理事3名(理事長を含む)、理事若干名、専門部委員長若干名、専門部委員若干名、監事2名
- 2、会長は代議員会において選出する。会長は本連盟を代表し会務を総括総理する。
- 3、副会長は代議員会において選出する。副会長は会長を補佐し会長事故ある時はその職務を代行する。
- 4、代議員は加盟高等学校長と当該高等学校の職員中より1名、計2名をもってこれにあてる。
- 5、理事長は常任理事の互選により選出し、代議員会の承認を得て会長が委嘱する。理事長は常任理事会の決定するところにより会長の承認を得て会長が委嘱する。
- 6、常任理事は各地区より推薦された者で代議員会の承認を得て会長が委嘱する。
- 7、理事は各専門委員会より選出された委員長で、代議員会の承認を得て会長が委嘱する。
- 8、幹事は会長が委嘱し庶務・会計等の業務に従事する。
- 9、専門委員長は当該専門委員の互選により選出し、代議員会の承認を得て会長が委嘱する。
- 10、専門部委員は各地区より推薦された者で代議員会の承認を得て会長が委嘱する。専門部委員は専門部委員会を組織する。
- 11、監事は代議員が推薦し代議員会の承認を得て会長が委嘱する。監事は本連盟にかかわる会計を年1回以上監査する。

(役員任期)

第7条 役員任期は2ヶ年とする。補欠による役員任期は前任者の残任期間とする。

(機 関)

第8条 本連盟に下記の機関を置く。

1、代議員会 2、常任理事会 3、理事会 4、専門部委員会 5、事務局

(代議員会)

第9条 代議員会は本連盟の最高議決機関であって、会長が招集し、年間行事計画、予算、規約改正、本規約に定める役員選出及び承認等の重要事項を審議決定する。

2、代議員会は毎年4月に開催する。但し、会長が必要と認めた時は臨時代議員会を開くことができる。又、加盟高等学校の半数以上の要求があった時は会長は臨時代議員会を開かねばならない。

3、代議員会は加盟高等学校の過半数の出席をもって成立する。

4、代議員会における議決権数は各校1票とする。

5、代議員会の議決は加盟高等学校の過半数の出席をもって成立し、可否同数の時は議長が決定する。

6、県評議員は代議員会に出席するものとする。

(常任理事会)

第10条 常任理事会は代議員または理事会の決定に基づき本連盟の運営にあたる。但し、緊急の必要ある時は会長がこれを専決することができる。この場合会長は最近の常任理事会に報告しその承認を得るものとする。

(理事会)

第11条 理事会は会長が招集し、会長、副会長、理事長、常任理事、理事(各専門委員長)をもって構成する。

2、理事会は各専門委員長を統一し本連盟運営の企画にあたる。

(専門部委員会)

第12条 専門部委員会は会長が招集し、会長、副会長、理事長、常任理事、理事並びに所属部門の専門委員をもって構成する。

2、専門部委員会はそれぞれ所管時候の業務を遂行する。

3、専門部委員会は下記の通りとする。

陸上競技、バスケットボール、ソフトテニス、卓球、バレーボール、バドミントン、サッカー、柔道、剣道、弓道、体操、水泳、ラグビー、空手、登山、ウエイトリフティング、ソフトボール、漕艇、テニス、スケート、フェンシング、ヨット、ホッケー、レスリング、調査研究、定通部会、ハンドボール、スキー

4、新しく専門部を設置するにあたっては代議員会の承認を得なければならない。

(事務局)

第13条 事務局は会長、理事長、幹事をもって構成する。

第三章 会計その他

(拠出金)

第14条 本連盟の経費は加盟高等学校の毎年5月1日現在の生徒数によって算出した、拠出金、大会参加料、その他補助金をもてこれにあてる。金額は代議員会において決定する。

2、本条の拠出金は5月31日までに本連盟に納入しなければならない。

(会計年度)

第15条 本連盟の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(帳簿)

第16条 本連盟の事務局には下記の書類を備えるものとする。

- 1、規約並びに関係書類
- 2、役員名簿
- 3、加盟高等学校役員名簿
- 4、出納簿
- 5、備品台帳

(永年保存書類)

第17条 本連盟の事務局には下記の書類を永年保存するものとする。

- 1、役員一覧表
- 2、収入・支出決算書
- 3、事業報告書
- 4、大会成績一覧表
- 5、その他永年保存を要するもの

第四章 付 則

(県高体連)

第18条 長野県高等学校体育連盟南信地区理事及び評議員は代議員会において選出する。副会長は県評議員を兼ねるものとする。

(定通大会)

第19条 定通大会は年1回とし定通部会を代表する本連盟の副会長(副会長不在の時は最寄りの定時制教頭が(代行する)が大会運営の責任者として会長を積極的に補佐する。

第20条 本連盟規約は昭和38年4月1日よりこれを施行する。

(昭和31年4月制定)

(昭和50年12月一部改訂)

以上

第 5 章

専門部の概要と競技記録

1 陸上競技	131	17 ラグビー	249
2 柔 道	158	18 スケート	253
3 剣 道	167	19 スキー	266
4 軟式野球	175	20 登 山	273
5 庭 球	178	21 レスリング	275
6 バスケットボール	183	22 漕 艇	281
7 バレーボール	190	23 ウェイトリフティング	286
8 ハンドボール	197	24 自転車	288
9 ソフトボール	204	25 フェンシング	291
10 卓 球	210	26 ヨット	295
11 バドミントン	214	27 ホッケー	297
12—1 体 操	218	28 空手道	298
12—2 新体操	223	29 ボクシング	308
13 相 撲	227	30 定 通	310
14 弓 道	229	31 アーチェリー	317
15 水 泳	232	32 なぎなた	318
16 サッカー	245	33 研究調査	322
全国高等学校総合体育大会記録	334		
北信越高等学校体育大会記録	342		

1 陸 上 競 技

こ の 十 年

平成十年は、長野県の歴史に特別な輝きを発する一頁が加えられた年である。長年の悲願であり夢であったオリンピック大会と、それに続くパラリンピック大会が成功のうちに終了し、世界の長野として大いに誇りと自信を持った年である。この経験が、これからの長野県のスポーツ熱と、その発展に大きく貢献される事を願うものである。実は二十年前にもこのような事があった。規模こそオリンピックには及ばなかったが、全国高校総体と国民体育大会の開催であった。

あの時は全県が会場になった事から、オリンピックとは又違った意味で大いに盛り上がり、その後のスポーツ隆盛が期待されたが、思った程の成果が上らなかった。高校生の全国大会での入賞と、大学合格率が奇妙に一致し、全国の下位に低迷したのは我々の記憶に新しい事である。

あれから十年、こと陸上競技の様な個人競技でも、残念ながら飛躍的に記録が伸び、全国大会での大量入賞とまでには至らなかった。

ある年の高校総体での事。その開催市の駅で、長野の地元紙の記者とバッタリ顔を合わせた。彼は陸上競技場へは一度も顔を出していないという。「陸上は今回予定がないんですよ」と言う。

あの時の淋しさやら恥ずかしさは今も忘れる事は出来ない。そんな苦い思い出の中にも、高校生達の必死の活躍から、年々記録は向上してきた。この十年で書き替えられた高校記録を記したいと思う。

昭和六十三年、中津敦喜（飯田）100M10"50、全国ランキング7位の好記録。平成二年走高跳、小柳和朗（中野実）2M17、全国ランキング3位、同種目 堀内宗和（篠ノ井）2M13、ランキング7位。平成三年 本田速人（野沢

南）400MH52"08、5000M 競歩、伊藤和也（松川）20'57"83、いずれもレベルの高い好記録で、特に競歩は、長野県のお家芸と言われるように次々と好選手が誕生した。平成五年、塚田英彦（上田東）400M、46"98全国ランキング3位、混成競技、小林諭（飯田風越）、5398点、夫々好記録に輝いた。平成六～七年、長野日大が4×100、4×400 リレーの記録を次々に塗り替えた。そして平成九年、まさに十年に一人と言われるスーパールーキー、佐藤清治（佐久長聖）が登場し、一年生ながら、初の全国大会1500Mにいきなり優勝し、記録もこの年、日本人高校生最高をマークした。これからは日本の佐藤として活躍してくれる事だろう。

女子は、跳躍種目と短距離種目以外のほとんどの種目で県高校記録が更新されたが、全国ランキング上位に顔を出すまでには至らなかった。平成元年、青木利佳（中野西）、100MH全国優勝。中長距離は、宮下三華、石原さつき（ともに諏訪実）が800Mから5000Mまでの記録を全て更新した。平成四年、丸山由香（皐月）3000競歩、14'03"41。やり投げ、山本晴美（長野南）、49M44ともに好記録をマークした。平成八年、高畑志野（県ヶ丘）400MH60"74、長崎寛子（中野実）100MH14"28で、全国ランキングに顔を出した。

この十年間の特徴は上伊那農業に代表されていた長距離に、東海大三や佐久長聖が台頭し、混戦になり、女子の同種目も諏訪実業の独走に佐久長聖や長野日大が迫って来るという、好ましい状況になって来た。又、文武両道の長野高校の伝統的な強さ、松代の台頭、須坂園芸の活躍、茅野の頑張り等々新しい風が吹き始めた。

（専門委員長 藤森 茂幸）

長野県高等学校総合体育大会 (男子の部)

期日 S62 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	1位		2位		3位		4位		5位		6位			
	順位	氏名	順位	氏名	順位	氏名	順位	氏名	順位	氏名	順位	氏名		
100m	10'8	北村 和久	10'9	中津 敦喜	10'9	市川 正道	11'1	勝野 寿樹	11'2	白田 正幸	11'2	吉沢 正樹		
200m	21'8	市川 正道	21'9	北村 和久	22'0	松澤 公博	22'0	勝野 寿樹	22'2	中津 敦喜	22'2	内瀬 俊彦		
400m	※○47'6	白田 正幸	49'7	松田 孝志	49'8	青木 憲太郎	49'8	児玉 知己	50'1	岡沢 清彦	50'3	伊藤 祐次		
800m	1'58'6	白田 正幸	2'00'2	山内 武巳	2'00'9	手塚 寿利	2'01'4	伊東 秀和	2'01'9	児玉 知己	2'02'0	上條 和明		
1,500m	4'02'0	野瀬 幸弘	4'02'3	宮崎 久司	4'02'9	大島 晴仁	4'05'2	根橋 光	4'06'9	伊東 昌樹	4'07'4	伊東 秀和		
5,000m	15'15'3	根橋 光	15'26'3	野瀬 幸弘	15'26'6	村山 厚也	15'29'4	宮崎 久司	15'35'5	大島 晴仁	15'39'6	藤牧 守		
110mH	△15'2	白井 健一	△15'2	加藤 和行	15'3	高橋 成海	15'4	正村 宣広	15'7	白井 和樹	15'9	棚沢 史則		
400mH	※○63'4	山崎 茂	○54'3	正村 宣広	55'2	白井 和樹	55'6	中田 正史	55'9	伊藤 祐次	56'0	小松 共一		
3,000mSC	9'33'1	高野 和彦	9'37'8	山越 晋	9'37'8	今井 博幸	9'37'9	青木 透	9'40'6	高橋 良和	9'40'9	境沢 栄一		
5,000mW	24'00'6	酒井 弘	25'04'1	棚沢 晋	25'20'3	岡本 仁	25'20'4	矢ヶ崎 智彦	25'53'5	芳川 雅彦	25'54'4	塚原 毅		
4×100mリレー	△42'8	西山忠光2 松澤公博2 大塚英樹3 北村和久3	43'6	山崎 茂3 内瀬俊彦3 水沢康一3 高見賢司3	43'8	中島憲一3 原 幸三3 小松共一3 山崎健二3	44'0	伊藤 北2 河合雄一2	44'2	村松健司2 菊池俊彦3 押木健二3 菅根原 卓也	44'2	美須 孝 古林隆利3 白沢聖樹2 市川正道3		
4×400mリレー	3'24'4	五味幸栄3 北村和久3 松沢公博2 伊藤祐次3	3'26'4	高見賢司3 水沢康一3 内瀬俊彦3 山崎 茂3	3'26'9	勝野寿樹3 内山善登3 宮本真孝3 松田孝志3	3'27'2	大 町 林 隆行3 棚沢清彦3	3'27'4	山田一夫2 白井和樹3 森下 淳3 原 幹夫2	3'27'7	網谷 剛 小池龍也3 輪井文夫3 森下 淳3	3'27'7	中島憲一3 小松共一3 矢沢 豊2 山崎健二3
走高跳	2m00	下城 武司	1m95	丸山 文隆	1m95	更級 農1	1m95	誠倉 博文	1m95	小林 尚輝	1m90	奥原 建		
棒高跳	4m40	吉田 昇	4m00	山崎 勇	4m00	土屋 巧	3m90	岩村田3	3m90	北川原 幸	3m80	酒井 剛		
走幅跳	6m99	藤沢 浩由	6m97	内瀬 俊彦	6m72	西元 淳	6m69	岡谷南2	6m69	上村 聡	6m67	上條 健		
三投球	14m42	宮沢 基	14m00	宮沢 基	13m87	内瀬 俊彦	13m87	岩村田3	13m58	井出 智久	13m52	藤森 真一		
砲丸投	13m95	野田 貴幸	13m92	高橋 司	13m88	中谷 恒久	13m85	福沢 遼明	13m85	福沢 遼明	13m85	福沢 遼明		
円盤投	40m34	小田切 宏久	40m08	福沢 遼明	37m68	早川 崇	37m40	早川 崇	37m40	榎本 雄三	37m18	高橋 司		
ハンマー投	53m06	宮本 昌彦	52m70	宮川 浩長	50m26	島田 充也	49m96	藤ノ井3	49m96	小林 将伸	48m82	杉村 秀樹		
やり投	55m72	久保田 広広	54m18	須崎 一弘	53m98	土肥 浩幸	53m86	丸ノ井3	53m86	山本 治	51m96	畑中 浩		
8種競技	4,697.0点	高見賢司	4,584	徳廣 伸治	4,527	白井 健一	4,397	青藤 勝栄	4,343	松井 慎二	4,122	春日 広一		

(女子の部)

期日 S62 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
	順位	氏名	順位	氏名	順位	氏名	順位	氏名	順位	氏名	順位	氏名
100m	12'3	山崎なおみ	12'4	山崎なおみ	12'4	滝川 尚美	12'4	真嶋久美子	12'6	松沢 智子	12'6	下村 寿美
200m	25'9	山崎なおみ	26'5	真嶋久美子	26'7	松沢 智子	26'9	山崎なおみ	27'0	高根善代子	27'0	和久井典子
400m	○67'9	山崎なおみ	59'1	郡田真知子	59'3	高根善代子	59'4	栗原 綾子	59'4	土屋 直美	59'8	田中ゆかり
800m	2'20'6	森田 明美	2'21'1	板沢麻里子	2'25'3	中谷 玲子	2'25'6	大橋 典子	2'25'7	中村佐和子	2'25'7	柴 純子
3,000m	10'29'6	森田 明美	10'31'7	板沢麻里子	10'32'4	久保田有希	10'32'4	茶谷 孝子	10'41'7	長谷部みどり	10'43'8	北沢 紗子
100mH	15'4	青木 利佳	15'4	滝川 尚美	15'8	上原 三枝	15'9	今井万紀子	16'0	松崎 佐織	16'2	白鳥 和美
4×100mリレー	50'9	永田知子2 陣橋瑞穂2 青木久仁子3 滝川尚美3	51'3	花岡京+絵2 藤かほる2 大谷留美子1 郡田真知子1	51'5	遠山恵子3 久保田美子2 山崎なおみ3	51'8	風 越 中込祐子3 内沢志保2 山崎なおみ3	52'0	伊藤幸子3 陣橋美穂子2 藤原くす子2 宮川美加3	52'1	長 野 西 教田みゆき2 小島智恵2 白鳥和美3
走高跳	1m65	宮崎三知代	1m65	太田麗矢子	1m60	小沢咲恵子	1m60	横谷 晶子	1m55	高柳 千帆	1m55	古川 友美
走幅跳	5m48	宮川 美加	5m21	真嶋久美子	5m16	宮沢 崇恵	5m14	郡田真知子	5m07	山本 千愛	5m06	宮本奈賀子
砲丸投	9m85	塩原さゆり	9m61	藤 かほる	9m54	北沢 裕恵	9m44	宮尾 慶子	9m31	山崎 満希	9m13	富田美佐枝
円盤投	33m06	塩原さゆり	31m22	中島 純	30m06	滝沢 則子	28m72	宮尾 慶子	27m46	加納 文子	27m42	細田伊津美
やり投	39m80	田中 真紀	39m78	北沢 裕恵	35m56	下村 寿美	34m16	棚沢由美子	33m84	依田あけみ	33m76	山崎 満希
7種競技	3,584	横谷 晶子	3,482	吉沢美早子	3,424	唐沢 玲子	3,342	西尾由美子	3,211	久保田とみ	3,197	山崎 浩子

長野県高等学校新人体育大会（男子の部）

期日 S62.10.16~18 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位											
	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド
38点	長野中央	31.5点	赤穂	24点	飯山北	23点	松本県ヶ丘	22点	長野南	21点	松商学園	

種目	1			2			3			4			5			6		
	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
100m	11"25	中津 教善	飯田 1	11"34	青木 直久	嬬ヶ崎 1	11"36	横沢 貴永	藤ノ井 1	11"45	曾根原卓也	美須ヶ丘 3	11"58	教 大誠	中央 1	11"69	梨子田康秀	深 志 2
200m	※21"85	中津 教善	飯田 1	22"53	白沢 聖樹	松商 2	22"57	曾根原卓也	美須ヶ丘 2	22"58	梨子田康秀	深 志 2	22"59	教 大誠	中央 1	22"65	柳沢 裕	野沢南 2
400m	50"04	小林 聖樹	松商 1	50"66	原 幹夫	岡谷南 2	50"90	大沢 康宏	中央 1	50"92	児玉 知己	須 坂 2	51"79	利根川裕雄	藤ノ井 1	53"24	輪湖 裕	南安農 2
800m	2'00"15	今村 文勇	風 越 1	2'00"93	児玉 知己	須 坂 2	2'01"46	上島 満	上伊農 1	2'02"23	成田 健二	中央 2	2'04"62	伊東 昌樹	風 越 2	2'05"12	笠原 公博	辰 野 2
1,500m	4'06"6	中村 守	上 田 2	4'07"5	上島 満	上伊農 1	4'08"0	境沢 栄一	上伊農 2	4'09"5	大島 晴仁	赤 穂 2	4'12"0	堤野 茂雄	飯田工 2	4'13"4	高見 武司	赤 穂 1
5,000m	15'38"2	中村 守	上 田 2	15'40"6	松下 学	上伊農 1	15'45"6	山田 展行	県ヶ丘 1	15'49"0	高見 武司	赤 穂 1	15'50"8	青木 透	飯山北 2	15'55"1	上島 英樹	伊那北 2
110mH	15"94	中村 誠	長野南 2	16"04	柳沢 史則	深 志 2	16"10	松井 誠二	中央 1	16"30	白井 孝夫	徳高商 2	16"63	堀内 雅巳	長野東 2	16"96	岩下 博明	丸手実 2
400mH	57"79	伊藤 隆幸	長野工 2	57"88	輪湖 裕	南安農 2	58"00	大塚 淳	長野工 1	58"12	渡辺 広樹	風 越 2	58"81	佐藤 友吾	長野東 1	59"25	松井 誠二	中央 1
3,000mSC	9'45"4	青木 透	飯山北 2	9'52"4	上島 英樹	伊那北 2	10'00"2	高井 和夫	飯山北 2	10'10"3	戸枝 康男	赤 穂 2	10'11"2	中山 浩樹	赤 穂 2	10'16"6	竹田 和正	下高農 2
5,000mW	22'42"3	酒井 弘	北 部 2	24'34"3	金成 弘臣	野沢南 2	25'33"8	佐々木 崇	下伊農 2	26'31"6	河野 洋之	飯山北 2	26'46"4	富井 信	飯山北 1	27'23"1	倉科 孝明	南安農 2
4 × 100m リレー	43"48	青木浩康 1 牧 大誠 1 松平雅彦 1 松井誠二 1	長野中央	44"15	中津教善 1 松沢直喜 2 後藤 保 2 今村真二郎 2	飯 田	44"16	北沢昌俊 1 白沢聖樹 2 西村久一 2 長田謙幸 2	松 商	44"30	大沢秀世 1 中島孝之 2 帯刀 啓 1 青木直久 1	嬬ヶ崎	44"54	中村 正樹 北沢 育夫 松沢 康弘 北原 晋也	赤 穂	44"65	高橋俊介 2 山本 寿 2 白沢文彦 1 有馬滋雄 2	徳 高 商
		吉沢達也 2 白沢聖樹 2 藤井 豊 1 小林聖幸 1	松 商	3'29"50	青山和成 1 西元 淳 2 長田 剛 2 原 幹夫 2	岡谷南	3'29"77	津平雅彦 1 小出正志 1 松井誠二 1 大沢康宏 1	中 央	3'30"77	望月 航 1 山田一夫 2 山本 崇 1 石原英樹 2	上 田	3'32"30	渡辺 広樹 下平 弘和 今村 文勇 大崎 文隆	風 越	3'35"27	酒井 慎 1 山野井誠 2 中村 敬 2 酒井利和 2	長 野 南
走 高 跳	1m90	白井 孝夫	徳高商 2	1m85	城倉 博文	赤 穂 2	1m85	丸山 文隆	更野農 1	1m85	小林 孝二	中央 1	1m85	徳竹 克彦	中野西 2	1m85	木原 均	飯山北 2
棒 高 跳	4m20	吉田 昇	吉田 2	4m10	山崎 勇	中央 1	3m80	吉岡 弘樹	弥生丘 2	3m80	戸谷 隆	北 部 2	3m80	中村慎一郎	赤 穂 2	3m60	木村 直樹	野沢南 1
走 幅 跳	6m99	上藤 健	梓川 2	6m93	中島 孝之	嬬ヶ崎 2	6m83	青木 浩康	中央 1	6m75	西元 淳	岡谷南 2	6m73	宮沢 基	県ヶ丘 2	6m71	松沢 康弘	赤 穂 2
三 段 跳	14m42	宮沢 基	県ヶ丘 2	13m98	井出 智久	東郷三 2	13m86	柳沢 裕	松商 2	13m80	中島 孝之	嬬ヶ崎 2	13m67	吉沢 昭文	弥生丘 2	13m48	伊藤 豊 1	豊 科 2
砲 丸 投	12m99	町田 貴幸	藤ノ井 2	12m97	宮崎 繁生	飯山北 2	12m19	滝沢 裕二	堀 尻 1	11m64	大野 宏道	弥生丘 1	11m62	斉藤 毅	長 野 1	11m56	芝田 博和	木 曾 1
円 盤 投	37m20	佐藤 浩之	野沢北 1	36m24	酒井 寛文	伊那北 2	35m36	内藤 恵可	野沢南 1	35m02	堀 藤 茂	野沢南 2	34m90	坂井 智	野沢北 2	33m52	宮崎 繁生	飯山北 2
ハンマー投	51m44	杉村 秀樹	長野南 2	46m40	山本 義明	屋代南 2	44m88	長友 克也	県ヶ丘 1	44m34	伝田 功	長野南 1	41m78	平沢 譽	上伊農 2	41m74	岩本 久義	上田東 2
や り 投	53m00	永田 真樹	藤ノ井 1	51m06	芳賀 光昭	赤 穂 2	49m10	酒井 寛文	伊那北 2	48m10	中村 安広	県ヶ丘 1	46m44	柳沢 孝史	染谷丘 1	46m30	佐藤 浩之	野沢北 1
8 種 競 技	4,979.点	中村 誠	長野南 2	4,291.点	北沢 育夫	赤 穂 2	4,235.点	青柳 昌彦	県ヶ丘 2	4,152.点	木下 一英	飯田工 2	4,059.点	松松 俊典	野沢南 1	4,035.点	金子 幸	諏訪実 2

(女子の部)

期日 S62.10.16~18 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位											
	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
	総合	トラック	フィールド									
66点	豊 月	37点	野沢南	17点	豊 科	16点	赤 穂	12点	中野西	12点	長野西	

種目	1			2			3			4			5			6			
	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	
100m	12"63	青木 利佳	中野西 1	12"67	長沢富美恵	大 町 1	12"99	高根善代子	野沢南 1	12"99	藤田 伸子	染谷丘 1	13"05	松沢 智子	弥生丘 2	13"20	太田 美香	田川 2	
200m	26"41	高根善代子	野沢南 1	26"44	長沢富美恵	大 町 1	26"91	丸山 教美	豊 科 2	27"14	松沢 智子	弥生丘 2	27"35	小林 美樹	豊 科 2	27"60	牧田みゆき	伊那北 2	
400m	57"96	郡田真知子	豊 月 2	59"10	高根善代子	野沢南 1	60"45	丸山 教美	豊 科 2	61"62	牧田みゆき	伊那北 2	62"10	三村さきり	松 南 1	62"24	秋葉 朋美	深 志 2	
800m	2'19"75	坂沢麻里子	豊 月 2	2'20"37	大橋 典子	豊 月 2	2'20"95	田中 桂	飯山北 1	2'22"94	小池三佳子	長野西 1	2'24"37	磯和 知美	長野西 2	2'25"66	柴 純子	辰 野 2	
3,000m	10'21"2	久保田有希	赤 穂 1	○10'22"6	坂沢麻里子	豊 月 2	10'36"5	大橋 典子	豊 月 2	10'39"5	浜島由里子	諏訪実 1	10'42"0	藤塚 栄子	長野工 1	10'45"3	田中 桂	飯山北 1	
100mH	15"43	青木 利佳	中野西 1	15"94	上原 三枝	清 陵 1	16"88	石山せいか	野沢南 1	17"11	唐沢 真美	赤 穂 1	17"39	山崎久美子	野沢北 2	17"67	群田真知子	豊 月 2	
3,000mW																			
4 × 100m リレー	51"02	花岡奈々 2 轟かおる 2 大谷留美子 1 郡田真知子 2	豊 月	51"28	百瀬浩美 1 小林美樹 2 小穴敦子 2 丸山教美 2	豊 科	51"36	上村純子 2 伊藤奈美子 2 林 容子 1 藤本由紀子 1	木 曾	52"15	石山せいか 井上由美子 清水 幸 高根善代子	野 沢 南	52"47	山辺由美子 1 藤塚美智子 2 猪又真弓 2 池内礼子 1	上 田 東	52"52	郡田久美子 1 久保田美子 2 吉澤雪恵 1 後藤もと美 1	風 越	
走 高 跳	1m60	横谷 晶子	豊 月 2	1m55	高柳 千帆	木 曾 1	1m55	岡島 弘恵	風 越 2	1m50	吉沢 里美	赤 穂 1	1m50	須江 渡江	野沢南 2	1m50	久保田美香	長野東 1	
走 幅 跳	5m43	郡田真知子	豊 月 2	5m21	宮沢 崇恵	須 坂 1	5m14	宮本奈賀子	嬬ヶ崎 1	5m03	清水 幸	野沢南 1	5m01	伊藤奈美子	木 曾 2	4m97	桐原くみ子	長野西 2	
砲 丸 投	10m05	宮尾 慶子	豊 月 2	9m79	轟 かおる	豊 月 2	9m68	長谷川久美	藤ノ井 1	9m58	富田美佐枝	堀 尻 1	9m35	山崎 満希	嬬ヶ崎 2	9m18	成田 泰子	長野南 1	
円 盤 投	31m78	中島 純	長野 2	30m18	中沢 裕香	長野南 2	30m10	成田 泰子	長野南 1	29m70	宮尾 慶子	豊 月 2	28m16	藤野 貴子	大町北 2	27m50	降坂かおり	深 志 2	
や り 投	35m46	小池万智子	長野西 2	33m94	轟 かおる	豊 月 2	31m60	宮沢 智美	長野南 2	31m50	山崎 満希	嬬ヶ崎 2	31m18	宮尾 慶子	豊 月 2	30m98	馬嶋ちよ子	辰 野 1	
7 種 競 技	◎ 3,643	須江 渡江	野沢南 2	◎ 3,546	清水 幸	野沢南 1	3,307	唐沢 真美	赤 穂 1	3,292	久保田ひとみ	吉 田 2	3,252	小穴 敦子	豊 科 2	3,246	吉沢美早子	飯田 2	

長野県高等学校総合体育大会（男子の部）

期 日 S63.5.27~29 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table of track and field results for the men's section. It includes columns for school names, event types (e.g., 100m, 400m), and performance details like time and names of participants from various schools.

(女子の部)

期 日 S63.5.27~29 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table of track and field results for the women's section. It includes columns for school names, event types (e.g., 100m, 400m), and performance details like time and names of participants from various schools.

長野県高等学校新人体育大会（男子の部）

期日 S63.10.21~23 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位			
		45点		33点		23点		21点		20点		17点			
		長野日大		飯田風越		中野実業		松本県ヶ丘		篠ノ井		赤穂			
種目	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
100m	10'76	中津 教喜	飯田2	10'87	青木 直久	横ヶ崎2	11'16	池田 良晴	中野実2	11'20	横沢 貴永	篠ノ井2	11'21	金田 晃典	長野日大1
200m	22'43	青木 直久	横ヶ崎2	22'99	高見沢 剛	須坂1	23'10	小林 聖孝	松商2	23'18	中嶋 正樹	赤穂2	23'22	中村 正樹	赤穂2
400m	50'04	小林 聖孝	松商2	50'32	保塚 秀彦	豊科2	50'72	大沢 泰宏	長野日大2	50'98	徳光 勇	長野日大1	51'29	小林 進	小諸2
800m	2'00'2	今村 文男	風越2	2'00'6	利根川裕雄	篠ノ井2	2'01'1	大塚 淳	長野日大2	2'01'3	大野 忠明	田川2	2'05'0	吉村 和彦	飯田工2
1,500m	4'05'3	山田 展行	県ヶ丘2	4'06'2	大塚 淳	長野日大2	4'06'4	田中 正和	上伊農2	4'07'9	増田 和久	田川2	4'10'0	小田切徹州	深志1
5,000m	15'23'8	今村 浩史	長郷2	15'25'1	高見 武司	赤穂2	15'36'8	丸山 康之	白馬2	15'41'2	山田 展行	県ヶ丘2	15'54'4	小田切徹州	深志1
110mH	15'52	松井 祐二	長野日大2	15'58	藤森 要	二葉1	16'18	赤羽 剛	岡谷南2	16'31	清水 充	風越2	16'46	宮沢 英典	岡谷工2
400mH	55'49	臼井 哲也	筑摩2	56'49	荒井 仁	岩村田2	56'95	相沢 伸也	野沢北2	57'58	滝沢 心	染谷丘2	58'30	佐藤 友吾	長野東2
3,000mSC	○9'31'4	今村 浩史	長郷2	9'52'9	高見 武司	赤穂2	9'56'0	増井 良輔	長野西2	10'02'0	木下 健	長野日大1	10'03'1	小沢 浩司	伊那北2
5,000mW	25'17'8	高井 信	飯山北2	25'46'6	高根 英典	岩村田1	25'52'4	望月 紀和	中野実1	26'26'3	小林 孝郎	長野日大1	26'45'0	米沢 孝司	中野実2
4×100mリレー	43'57	藤平雅彦2 牧 大誠2 金田晃典1 松井祐二2	長野日大	44'48	一本木晋2 酒井一夫2 松下幸喜1	赤穂	44'54	吉村 剛1 白厚 龍1 高橋利弘1	深志	44'66	水野直昭2 池田克文1 小林幸彦2	風越	45'11	山根 基1 小林誠昭1 堀田英志2	長野
4×400mリレー	3'24'7	小出正志2 松井祐二2 徳光 勇1 大沢康宏2	長野日大	3'28'5	伊藤 良彰 清水 充 小林 幸彦 今村 文男	風越	3'29'1	中山 真一 田中 大輔 橋本 隆雄 中津 教喜	飯田	3'29'4	薄井 豊 岡本 涉 松村 久 小林 聖孝	松商	3'29'7	山根 基1 西山真仁1 戸谷直幸 井出遼夫1	長野
走高跳	2m00	堀内 宗和	篠ノ井1	1m90	小柳 和朗	中野実1	1m90	丸山 文紀	更級農2	1m90	西沢 剛	東海三2	1m85	東条 正史	横ヶ崎2
棒高跳	4m20	山崎 努	長野日2	4m90	水野 直昭	風越2	3m80	北沢 健亮	赤穂2	3m60	深沢 伸一	中野実2	3m60	真島 佳紀	赤生丘1
走幅跳	6m81	名取 洋一	岡谷南2	6m55	青木 浩康	長野日2	6m53	池田 良晴	中野実2	6m51	高山 力	須坂東1	6m51	川上 寿則	田川2
三段跳	13m92	植松 俊典	野沢南2	13m84	名取 洋一	岡谷南2	13m57	川上 寿則	田川2	13m57	峰村 章弘	長野日1	13m43	青木 剛	長野日2
砲丸投	△14m63	手塚 一幸	木曾2	13m74	芝田 博和	木曾2	13m62	滝沢 裕二	塩尻2	12m98	奥田 英幸	佐久2	11m88	高遠 裕治	長野日2
円盤投	45m40	佐藤 浩之	長野北2	40m00	芝田 博和	木曾2	39m54	岡田 功	長野南2	39m12	内藤 恵司	野沢南2	37m66	高遠 裕治	長野日2
ハンマー投	49m66	長坂 克也	県ヶ丘2	48m18	藤田 功	長野南2	40m00	山本 昌樹	篠ノ井2	35m46	田中 真一	上田東1	34m96	金子 隆幸	飯田南2
やり投	○55m50	中村 安広	県ヶ丘2	52m18	伊藤 智浩	吉田2	50m16	成沢 剛	向陽2	49m76	柳沢 泰史	染谷丘2	49m50	高遠 裕治	長野日2
8種競技	4741点	田辺 和則	須坂1	4703点	植松 俊典	野沢南2	4640点	塚田 浩道	長野南1	4594点	常田 真樹	長野日大1	4586点	堀田 英志	長野日2

(女子の部)

期日 S63.5.27~29 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位			
		54点		22点		22点		21点		15点		12点			
		野沢南		中野西		長野南		豊科		赤穂		篠ノ井			
種目	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
100m	12'75	青木 利佳	中野西2	13'07	高根香代子	野沢南2	13'10	長沢富美恵	大町2	13'23	丸山 理恵	豊科1	13'43	藤本由紀子	木曾2
200m	25'77	青木 利佳	中野西2	25'90	高根香代子	野沢南2	26'24	丸山 理恵	豊科1	26'84	長沢富美恵	大町2	26'91	吉澤 雪恵	風越2
400m	57'74	高根香代子	野沢南2	59'10	吉澤 雪恵	風越2	59'53	本多めぐみ	豊科1	59'90	藤沢 美香	須坂東1	60'45	池野 裕子	長野南2
800m	2'22'4	池野 裕子	長野南2	2'22'7	原田 香	野沢南2	2'22'8	小池三佳子	長野西2	2'23'3	吉川真由美	県月2	2'23'9	小池 恵美	諏訪実1
3,000m	○10'13'5	藤塚 栄子	長野日大2	○10'16'4	原田 香	野沢南2	○10'17'8	沢島由里子	諏訪実2	○10'19'7	久保田有希	赤穂2	○10'20'6	滝原 綾	野沢南2
110mH	15'04	清水 幸	野沢南2	15'34	青木 利佳	中野西2	15'99	本多めぐみ	豊科1	16'12	石山せいか	野沢南2	16'34	宮沢 優子	県月1
4×100mリレー	50'66	百瀬浩美2 古幡由紀1 丸山理恵1 本多めぐみ1	豊科	51'14	栗林智子2 佐藤和可子2 青木利佳2	中野西	51'91	丸山明美2 堀島 紗1 矢口順子1 長沢富美恵2	大町	52'17	林 容子2 小宮由美2 藤本由紀子2	木曾	52'56	宮沢優子1 高野由美子1 津澤道代1	県月
走高跳	1m65	高柳 千帆	木曾2	1m55	高野由美子	県月1	1m50	安藤 陽子	須坂2	1m50	久保田美幸	長野東2	1m45	川手 清江	飯田2
走幅跳	5m62	清水 幸	野沢南2	5m29	宮沢 崇恵	須坂2	5m14	三輪真由美	筑摩2	4m99	宮本奈賀子	横ヶ崎2	4m96	山岸 路子	篠ノ井1
砲丸投	10m80	長谷川久美	篠ノ井2	10m11	成田 泰子	長野南2	9m85	高田美佐枝	塩尻2	9m78	谷口 典子	梓川2	9m48	滝沢 真美	赤穂2
円盤投	○37m00	成田 泰子	長野南2	32m30	富田美佐枝	塩尻2	30m76	吉田いづみ	長野西2	30m48	谷口 典子	梓川2	28m92	寺沢 麻江	岩村田2
やり投	39m10	馬場ちよえ	文長野2	37m88	唐沢 真美	赤穂2	34m10	宮尾 由紀	篠ノ井2	33m44	斉藤 文代	千曲1	32m50	西沢百合子	長野南2
7種競技	※4018点	清水 幸	野沢南2	○3667点	唐沢 真美	赤穂2	3533点	石山せいか	野沢南2	3349点	湘美 帆	伊那北1	3317点	比田井節子	上田2

長野県高等学校総合体育大会 (男子の部)

期日 H元.6/2~4 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
		65点	長野日大	29点	松本県ヶ丘	23点	上伊那農業	22点	藤ノ井	21点	田川	20点	飯田風越
種目	風力	1		2		3		4		5		6	
		記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
100m	+3.2	10'55	中津 教喜	飯田3	10'70	青木 直久	磯ヶ崎3	10'86	横沢 貴永	藤ノ井3	10'96	牧 大誠	長野日大3
200m	0	21'92	中津 教喜	飯田3	22'00	青木 直久	磯ヶ崎3	22'36	漆平 雅彦	長野日大3	22'57	高見沢 剛	須坂2
400m		49'18	大沢 康宏	長野日大3	49'21	小林 聖幸	松商3	50'91	今村 文明	風越3	51'29	徳光 秀	長野日大2
800m		1'54'25	大沢 康宏	長野日大3	1'55'75	今村 文明	風越3	1'56'53	大野 忠明	田川3	1'56'94	船井 晴	美郷ヶ丘2
1,500m		4'01'42	山田 展行	県ヶ丘3	4'02'04	田中 正和	上伊農3	4'02'87	森田 和也	藤ノ井3	4'04'55	松下 宇	上伊農3
5,000m		014'51'4	松下 宇	上伊農3	014'58'1	田中 正和	上伊農3	15'20'4	山田 展行	県ヶ丘3	15'26'3	竹内 一晴	上伊農2
110mH	+4.2	15'01	川上 勇剛	田川3	15'05	松井 誠二	長野日大3	15'30	高橋 成高	千曲3	15'33	藤森 要	諏訪二重2
400mH		54'75	松井 誠二	長野日大3	55'62	臼井 哲也	茨 塚3	56'81	小出 正志	長野日大3	56'95	青山 和成	岡谷南3
3,000mSC		9'45'27	高見 武司	赤穂3	9'45'62	平林 州司	県ヶ丘3	9'48'57	今村 浩史	飯田風越3	9'50'33	与曾井良輔	長野西3
5,000mW		23'53'00	高根 英貴	岩村田2	24'31'50	富井 恒	飯山北3	25'10'60	米沢 秀司	中野実3	25'29'50	望月 紀和	中野実3
4x100mリレー		43'68	大沢秀世3 桜井弘幸2 帯刀 啓3 青木直久3	松本県ヶ丘	45'77	丸山哲巳3 吉村 武2 白澤 龍3 高橋利弘2	松商	43'84	一本木晋3 坂井一夫3 松下幸喜2 小林 智2	大 町	43'94	木久保志2 長崎聖一朗3 高崎強之2 宮沢伸一3	県ヶ丘
4x400mリレー		03'20'54	小出正志3 松井誠二3 徳光 秀2 大沢康宏3	長野日大	03'22'65	藤井 豊3 松村 久2 岡本 渉2 小林聖幸3	松 商	3'23'66	中沢賢一3 山本 崇3 望月 剛3	上 田	3'23'85	水野直昭3 清水 充3 小林幸彦3 今村文明3	風 越
走高跳		2m05	堀内 宗和	藤ノ井2	2m05	丸山 文隆	更級農3	1m95	堀本 延吉	中野実3	1m90	小林 孝二	長野日大3
棒高跳		4m30	山崎 勇	長野日大3	4m20	深沢 伸一	中野実3	4m20	水野 直昭	風 越3	3m80	木村 直樹	野沢南3
走幅跳		6m87	青木 浩康	長野日大3	6m85	塚田 浩道	長野南2	6m83	川上 勇剛	田川3	6m83	一本木 晋	大 町3
三段跳		14m60	宮澤 雪彦	豊科2	14m40	川上 勇剛	田川3	14m30	峰村 寛弘	長野日大2	14m26	名取 洋一	岡谷南3
砲丸投		14m50	滝沢 裕二	塩 尻3	14m10	手塚 一章	木 曾3	13m63	芝田 博和	木 曾3	13m45	高藤 毅	長 野3
円盤投		51m00	佐藤 浩之	野沢北3	48m86	佐藤 浩司	上田東3	40m76	内藤 恵司	野沢南3	40m34	芝田 博和	木 曾3
ハンマー投		52m66	長坂 克也	松本県ヶ丘3	52m22	小林 強	上田東3	51m34	樽田 功	長野南3	44m56	山本 昌樹	藤ノ井3
やり投		60m54	小林 強	上田東3	58m54	中村 安広	県ヶ丘3	57m26	伊藤 智浩	長野吉田3	56m02	吉沢 正治	駒ヶ嶺工3

(女子の部)

期日 H元.6/2~4 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
		27点	野沢南	23点	中野西	18点	長野西	16点	豊 月	15点	長野南	14点	木 曾
種目	風力	1		2		3		4		5		6	
		記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
100m	+3.4	12'02	青木 利佳	中野西3	12'29	蓮田 伸子	染谷ヶ丘3	12'63	長澤富美恵	大 町3	12'74	栗山 美幸	文大長野3
200m	+1.6	24'81	青木 利佳	中野西3	26'07	大谷留美子	豊 月3	26'47	高根香代子	野沢南3	26'72	林 美由紀	長野西3
400m		59'82	藤沢 美香	須坂東2	59'97	吉沢 雪恵	風 越3	60'85	井出 芳恵	白 田3	61'00	高根香代子	野沢南3
800m		2'18'54	小池三佳子	中野西3	2'18'73	原田 香	野沢南3	2'19'49	石原さつき	諏訪実1	2'19'67	小池 恵美	諏訪実2
3,000m		010'07'85	久保田有希	赤穂3	010'08'37	藤塚 栄子	長野工3	010'10'14	本島 佳子	風 越2	010'11'11	土屋 広美	小 諸3
100mH	+3.0	14'14	青木 利佳	中野西3	14'51	清水 幸	野沢南3	15'55	藤原 夕子	野沢北2	15'67	飯塚 美穂	岡谷南1
4x100mリレー		49'86	宮原朱美3 宮沢優子2 袴津道代2 大谷留美子3	豊 月	50'34	木野真生子2 栗林智子3 佐藤和可子3 青木利佳3	中野西	50'95	日下麗々2 林 容子3 戸田幸子1 藤本由紀子3	木 曾	51'01	坂田久美子3 林恵美子3 藤藤4と美3 吉澤雪恵3	風 越
走高跳		1m68	高橋 千帆	木 曾3	1m60	吉澤 里美	赤穂3	1m60	久保田美幸	長野東3	1m60	堀 美帆	伊那北2
走幅跳		5m76	清水 幸	野沢南3	5m62	宮沢 崇恵	須 坂3	5m61	蓮田 伸子	染谷ヶ丘3	5m40	栗山 美幸	文大長野3
砲丸投		11m13	長谷川久美	藤ノ井3	10m51	成田 華子	長野南3	10m28	磯口 玲子	長野西2	10m26	川上 松枝	白 馬1
円盤投		38m80	成田 華子	長野南3	33m46	谷口 典子	梓 川3	33m40	富田美佐枝	塩 尻3	30m34	吉田いづみ	長野西3
やり投		41m04	金井 亜矢	県ヶ丘2	38m64	宮尾 由紀	藤ノ井3	38m16	馬嶋ちよえ	文大長野3	33m94	小川 千恵	東海大三3

長野県高等学校新人体育大会 (男子の部)

期 日 H元.10/27~29 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 合 トランプ フィールド	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位		6 位	
		29点	松本筑摩	27点	長野	25点	上伊那農業	22点	伊那外生丘	21点	中野実業	20点	篠ノ井
種目	風力	1		2		3		4		5		6	
		記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
100m	0	11'06	百瀬 寛和	筑摩1	11'12	向山 俊勝	高遠2	11'17	窪田 英治	外生ヶ丘2	11'18	金田 晃典	長野日大2
200m	+1.0	22'58	窪田 英治	外生ヶ丘2	22'89	百瀬 寛和	筑摩1	22'93	向山 俊勝	高遠2	22'96	木下 雅夫	飯田1
400m		50'47	池田 剛宏	佐久2	50'89	高崎 雅之	外生ヶ丘2	51'03	井出 浩夫	長野2	51'23	相沢 伸也	野沢北2
800m		1'59'41	西山 典仁	長野2	1'59'66	片桐 政志	上伊農2	2'00'28	池田 剛宏	佐久2	2'03'45	松下 茂樹	中野西2
1,500m		4'07'0	竹内 一晴	上伊農2	4'07'3	小田切 敏洲	深志2	4'13'2	松山 克敏	飯田工1	4'13'6	平山 勝重	上伊農1
5,000m		15'29'1	松山 克敏	飯田工1	15'37'9	瀬戸 八州	上伊農1	15'42'4	木下 健	長野2	15'53'9	清水 達雄	東海大三2
110mH	+0.8	15'35	藤森 要	二葉2	15'95	下嶋 正義	筑摩2	16'16	相沢 伸也	野沢北2	16'17	常田 義文	長野東2
400mH		54'97	相沢 伸也	野沢北2	56'58	並木 豊	小諸2	57'45	井出 宗秀	白田2	57'75	萩原 雅之	松川2
3,000mSC		9'33'0	松山 克敏	飯田工1	9'44'1	木下 健	長野2	9'50'2	前島 啓一	屋代1	9'52'6	竹村 茂	赤穂2
5,000mW		23'42'2	高根 英貴	岩村田2	24'17'6	望月 紀和	中野東2	25'21'2	松下 栄一	飯田2	25'44'6	中村 弘道	東海大三2
4 × 100mリレー		43'55	成沢淳一2 百瀬寛和1 猪股武2 小宮山晃2	松本筑摩	43'56	常田真樹2 羽生田俊一1 金田晃典2 峰村章弘2	長野日大	43'98	岡田 啓2 小林鉄也2 倉田宣章2	中野実	44'02	山田 忠2 藤森卓也2 青木隆秀1	風越
4 × 400mリレー		3'28'60	宮原 優1 松村 久2 後藤 謙2 岡本 渉2	松商	3'29'67	和山武志2 山根 基2 西山典仁2 井出浩夫2	長野	3'30'06	山田 忠2 五味清親1 上田孝行1	諏訪実	3'30'43	北川佳範1 藤森卓也2 佐原秀樹2 内田 教1	松商
走高跳		2m06	小柳 和朗	中野東2	1m90	松山 晃伸	吉田2	1m90	菊池 博之	磯ヶ崎2	1m90	本堂 勝也	大町2
棒高跳		4m00	真島 佳紀	外生ヶ丘2	3m80	唐沢 慎二	赤穂2	3m80	有賀 友和	外生ヶ丘2	3m60	武井 洋	上井農2
走幅跳		6m99	猪股 武	筑摩2	6m89	塚田 浩道	長野南2	6m82	常田 真樹	長野日大2	6m81	池田 克文	風越2
三段跳		13m88	峰村 章弘	長野日大2	13m69	宮澤 雅彦	豊科2	13m56	猪股 武	筑摩2	13m30	遠藤 宇	大町2
砲丸投		13m13	三浦 理	篠ノ井1	12m99	倉島 周史	染谷丘2	12m53	矢島 哲治	松高1	12m38	向井 弘樹	美須ヶ丘2
円盤投		35m60	吉池 康彦	上田東2	36m48	倉島 周史	染谷丘2	35m00	林 雄二郎	染谷丘2	34m90	野呂 秀樹	吉田2
ハンマー投		41m40	三浦 理	篠ノ井1	38m70	宮坂 裕二	東海大三2	37m62	鷲谷 巧	篠ノ井1	37m02	石井 義明	上田東1
やり投		50m18	鮎沢 英之	上田2	49m10	田中 克治	大町北1	48m16	倉野 広和	木曾2	48m12	矢崎 雅一	東海大三1
7種競技		4868点	塚田 浩道	長野南2	4777点	田辺 和則	須坂2	4358点	平山 哲也	諏訪実2	4270点	野地 宏道	吉田2

(女子の部)

期 日 H元.10/27~29 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 合 トランプ フィールド	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位		6 位	
		39点	単月	23点	大町	20.5点	篠ノ井	17点	東海大三	15点	須坂東	15点	諏訪実業
種目	風力	1		2		3		4		5		6	
		記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
100m	+2.1	12'60	高橋美貴子	単月1	12'82	打保奈美子	向陽1	12'92	四方麗紀子	美須ヶ丘2	13'01	藤沢 薫	岡谷南1
200m	+1.8	26'05	高橋美貴子	単月1	26'64	津津 道代	単月2	26'71	飯田真由美	大町1	26'74	桐原 香織	単月2
400m		58'34	藤沢 美香	須坂東2	59'17	斉藤理恵子	松高2	59'34	安野 啓子	野沢南1	60'39	春原 夕子	野沢北2
800m		2'23'01	市川 孝恵	外生ヶ丘1	2'24'27	藤沢 美香	須坂東2	2'26'80	小池 恵美	諏訪実2	2'27'08	林 純子	岡谷南2
3,000m		10'03'3	本島 佳子	風越2	10'22'1	石原さつき	諏訪実1	10'39'6	市川 孝恵	外生ヶ丘1	10'39'8	三枝 節子	豊科2
100mH	+0.3	15'77	春原 夕子	野沢北2	15'83	宮沢 優子	単月2	15'27	奥野恵利子	外生ヶ丘	16'29	影山 朋子	大町1
4 × 100mリレー		50'14	桐原香織2 宮沢優子2 津津道代2 高橋美貴子1	単月	51'38	林 晃子1 古藤由紀2 丸山理恵2 本多めぐみ2	豊科	51'54	塚本弘美2 北沢啓子2 倉内美帆2	長野南	51'56	藤原香苗2 中沢千春2 井出和美1 春原夕子2	野沢北
走高跳		1m60	堀 美帆	伊那北2	1m55	津津 道代	単月2	1m55	田畑としえ	高遠2	1m50	早川 昌子	須坂東2
走幅跳		5m22	矢島 良美	篠ノ井2	5m11	影山 朋子	大町1	5m10	矢口 順子	大町2	5m10	山岸 路子	篠ノ井2
砲丸投		10m66	川上 松枝	白馬1	9m72	高田 真香	東海大三2	9m60	井沢 操	諏訪実2	9m47	溝口 玲子	長野西2
円盤投		31m44	高田 真香	東海大三2	31m36	三村 奈々	塩尻2	30m54	川上 松枝	白馬1	27m78	清水美知世	飯山北2
やり投		39m72	高田 真香	東海大三2	39m10	柳町小百合	篠ノ井2	36m26	藤野 利枝	大町1	33m62	赤羽真知子	松高2
7種競技		3799点	堀 美帆	伊那北2	3584点	赤羽真知子	松高2	3458点	小林まゆみ	岡谷東2	3237点	高野由美子	単月2

長野県高等学校総合体育大会 (男子の部)

期日 H2.6/1~3 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	1位		2位		3位		4位		5位		6位								
	総合 トラック フィールド	34点	長野日大	32点	篠ノ井	25点	伊那赤ヶ丘	24点	上伊那農業	21点	長野	16.5点	佐久						
種目	風力	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名						
100m	+2.5	10'91	林 憲司	豊科3	10'92	松下 幸喜	大町3	10'98	百瀬 寛和	沢庵2	10'98	金田 晃典	長野日大3						
200m	+0.8	22'07	窪田 英治	赤ヶ丘3	22'36	百瀬 寛和	沢庵2	22'56	山田 純一	上田東3	22'65	高崎 雅之	赤ヶ丘3						
400m		49'45	高崎 雅之	赤ヶ丘3	49'55	木下 雅夫	飯田2	49'97	相沢 伸也	野沢北3	50'39	原 英之	赤穂2						
800m		1'56'93	船井 篤	美須ヶ丘3	1'56'46	池田 剛宏	佐久3	1'57'74	西山 典仁	長野3	1'57'75	片桐 政志	上伊良3						
1,500m		4'00'89	船井 篤	美須ヶ丘3	4'02'63	竹内 一晴	上伊良3	4'03'68	松山 克敏	飯田工2	4'04'90	小田切 勝州	深志3						
5,000m		15'11'24	竹内 一晴	上伊良3	15'11'62	松山 克敏	飯田工2	15'13'66	柳川 八州	上伊良2	15'14'65	小平 剛志	二葉3						
110mH	-2.9	○ 15'30	藤森 要	二葉3	○ 15'73	常田 義文	長野東3	○ 15'92	伊藤 和典	赤生3	16'08	下崎 正義	箕野3						
400mH		○ 53'28	相沢 伸也	野沢北3	55'71	木田 達人	野沢南2	55'75	井出 宗秀	白田3	56'41	細川 康二	南安農3						
3,000mSC		○ 9'22'17	松山 克敏	飯田工2	9'25'36	木下 建	長野3	9'25'39	藤家 敏	松商3	9'36'08	竹村 茂	赤穂3						
5,000mW		○ 22'36'47	高根 英貴	岩村村3	○ 22'50'25	望月 紀和	中野東3	23'36'53	小池 昭彦	長野2	25'01'98	松下 栄一	飯田3						
4 × 100mリレー		43'30	平山哲也3 山田 忠3 藤森卓也3 青木隆秀2	諏訪実	43'36	常田真樹3 藤一1 長野日大 金田晃典3 津田章弘3	長野日大	43'57	伊藤和典3 浜島雅典1 赤生ヶ丘 北原克彦2 窪田英治3	赤生ヶ丘	43'60	相馬正章3 岡田 啓3 小林鉄也3 倉田宜章3	中野実	43'68	宮入史行2 安藤孝紀3 岡田 徹3 隈内宗和3	篠ノ井	43'68	成沢淳一3 百瀬寛和2 猪股 武3 小宮山晃3	沢庵
4 × 400mリレー		3'24'45	藤森卓也3 青木隆秀2 山田 忠3 上田孝行2	諏訪実	3'24'63	峰村章弘3 常田真樹3 神野 仁2 徳光 勇3	長野日大	3'24'92	吉田知樹1 松村 久3 後藤 謙3 岡本 渉3	松商	3'25'00	川端貴裕1 西村真仁3 山根 基3 山出雄夫3	長野	3'25'16	百瀬佳実3 中村春樹2 船井 篤3 太田茂吉3	美須ヶ丘	3'25'65	倉田宜章3 小林 武3 相馬正章3 岡田 啓3	中野実
走高跳	△	2m10	小橋 和朗	中野東3	2m00	堀内 昌明	長野日大2	2m00	原 明	赤生2	2m00	隈内 宗和	篠ノ井3						
棒高跳		4m00	唐沢 慎二	赤穂3	4m00	大野 様可	赤生2	4m00	武井 洋	上伊良3	4m00	横沢 実	大町2						
走幅跳	+2.5	6m94	池田 克文	風越3	+2.0	6m91	塚田 浩道	長野南3	+2.2	6m83	峰村 章弘	長野日大3	+2.2	6m79	常田 真樹	長野日大3			
三段跳	※(-1.4)	14m90	堀内 宗和	篠ノ井3	14m03	峰村 章弘	長野日大3	+0.5	13m91	高山 力	須坂東3	0	13m72	宮澤 雅彦	豊科3				
砲丸投		14m96	三浦 理	篠ノ井2	14m05	倉島 周史	染谷丘3	12m77	鷺谷 巧	篠ノ井2	12m59	矢島 晋治	松商2	12m50	牧 直樹	中野3			
円盤投		40m92	吉池 康彦	上田東3	39m04	佐藤 淳次	佐久3	37m58	矢沢 慎也	須坂3	37m04	野呂 秀樹	吉田3	35m88	林 祐二	染谷丘3			
ハンマー投		51m00	三浦 理	篠ノ井2	44m58	福井 真吾	篠ヶ崎2	44m18	鷺谷 巧	篠ノ井2	43m84	矢島 宏光	東海三3	41m70	古見 正樹	上田東3			
やり投		55m16	田中 克次	大町北2	55m00	佐藤 淳次	佐久3	54m12	小林 敏昭	長野3	53m68	矢崎 雅一	東海三3	51m92	船沢 英之	上田3			

(女子の部)

期日 H2.6/1~3 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	1位		2位		3位		4位		5位		6位								
	総合 トラック フィールド	24点	篠ノ井	21.5点	早	19点	諏訪実業	17点	長野西	16点	伊那北	16点	諏訪実業						
種目	風力	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名						
100m	+2.2	12'49	高橋美貴子	早月2	12'63	打保奈美子	向陽2	12'71	宮下 典子	篠ノ井2	12'73	飯田真由美	大町2						
200m	+0.5	25'74	四方重紀子	美須ヶ丘3	25'95	高橋美貴子	早月2	26'16	丸山 理恵	豊科2	26'29	藤沢 美香	須坂東3						
400m		○ 58'00	藤沢 美香	須坂東3	○ 58'89	斉藤理恵子	松商3	59'54	安野 啓子	野沢南2	59'94	山下 聖心	木曾3						
800m		△ 1'17'60	宮下 三幸	諏訪実1	2'19'14	松島 里枝	風越1	2'19'25	山田 美也	長野日大3	2'19'52	林 純子	岡谷南3						
3,000m		○ 10'10'48	石原さつき	諏訪実2	○ 10'04'44	手塚亜希子	赤ヶ丘1	○ 10'06'36	本島 佳子	風越3	10'25'03	松島 里枝	風越1						
100mH	-2.7	15'75	飯塚 美穂	岡谷南2	15'93	春原 夕子	野沢北3	16'28	小林 晴子	白田3	16'48	竹内 千栄	深志3						
3,000W																			
4 × 100mリレー		○ 49'70	朝原 香織 宮沢 優子 袴津道代2 高橋美貴子2	早月	50'03	村田瑞穂1 伊藤光代2 山田 泉3 堀 美帆3	伊那北	50'04	榎原香苗3 中沢千春3 井出和美2 春原夕子3	野沢北	50'33	木下雅美子2 古崎由紀3 丸山理恵3 林 晃子2	豊科	50'69	塚本弘美3 塚本夏美2 北沢啓子3 倉内美帆3	長野南	50'81	塚田祥子3 宮下典子2 宮川典子3 山岸路子3	篠ノ井
走高跳		1m60	堀 美帆	伊那北3	1m60	早川 晶子	須坂東3	1m60	平藤 栄	早月3	1m55	田畑としえ	高遠3						
走幅跳	+1.4	5m54	山岸 路子	篠ノ井3	+2.6	5m37	飯塚 美穂	岡谷南2	+2.5	5m34	前林美智子	伊那北2	±0	5m24	吉川 明美	嶋ヶ崎3			
砲丸投		11m20	溝口 玲子	長野西3	10m48	山中 恵美	篠ノ井3	10m41	井澤 操	諏訪実3	10m36	清水 美映	深志1	10m18	川上 松枝	白馬2			
円盤投		33m60	佐藤 美玲	長野西3	32m78	三村 奈*	塩尻3	31m84	高田 真希	東海三3	31m52	清水 美映	深志1	30m88	川上 松枝	白馬2			
やり投		42m22	棚町小百合	篠ノ井3	41m50	藤野 科技	大町2	37m36	溝口 玲子	長野西3	37m00	高田 真希	東海三3	36m36	中田千登勢	赤ヶ丘3	35m86	樽田 由佳	赤ヶ丘3

長野県高等学校新人体育大会(男子の部)

期日 H2.10/26~28 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
		記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名
100m	-0.4	11'11	百瀬 寛和	11'25	山村 洋二	11'36	青木 隆秀	11'40	市川 裕康	11'42	北原 克彦	11'45	原 英之
200m	+1.7	22'40	山村 洋二	22'60	百瀬 寛和	22'75	青木 隆秀	22'81	原 英之	22'84	羽生田俊一	22'98	木下 雅夫
400m		50'36	木下 雅夫	50'56	本田 連人	50'70	中島 裕司	50'76	後藤 貴博	51'02	横田 真一	52'04	北川 佳範
800m		1'59'91	上田 孝行	2'00'28	横田 真一	2'00'70	細田 大祐	2'01'13	中村 高志	2'02'90	伊藤 裕次	2'03'31	名取 和訓
1,500m		4'09'78	北沢 洋	4'10'31	中村 高志	4'11'53	宮下 敏	4'12'98	若林 敏	4'17'62	神谷 善之	4'21'42	壬生 幸夫
5,000m		15'30'90	中村 洋隆	15'30'96	宮下 敏	15'41'27	松本 剛	15'41'31	手塚 勇志	15'54'36	東 隆也	15'57'44	秋山 教志
110mH	-1.2	15'91	石井 文貴	16'31	宮下 雅史	16'42	茂田 敬幸	16'70	牧野 博明	16'71	丸山 誠一	17'07	塩崎 和憲
400mH		54'98	石井 文貴	55'11	小林 敬宏	56'90	小池 健風	57'89	細沢 幹雄	58'16	五味 清規	58'31	北川 佳範
3,000mSC		9'43'20	前島 謙一	9'47'11	松本 剛	9'48'98	中村 洋隆	9'53'89	東 隆也	9'53'99	手塚 勇志	10'00'29	秋山 教志
5,000mW		23'22'67	小池 昭彦	23'32'02	佐藤 孝洋	24'46'18	中嶋 宏文	24'48'92	小平 伸吾	25'14'69	高波 豊	25'14'80	柳沢 高弘
4x100mリレー		43'70	市川 裕康 吉田 知剛 宮原 謙 山村 洋二	44'02	懸 祥一 水沢 一憲 沖村 仁 羽生田俊一	44'55	小松 忍 小松 真人 平野 拓也 小林 雄一	44'60	中谷善樹1 内山勝雄2 大住 英昭 橋本直啓2	44'76	倉石 賢一 加藤 正広 宮入 史行 中川 優	44'93	小林 文彦 池田 光宏 小林 武則 白田 茂一
4x400mリレー		3'24'10	中島裕司2 柴田 悟1 辻 昌尚1 後藤貴博1	3'25'16	内山 剛2 沖村 仁1 羽生田俊一 増田 賢2	3'26'16	野谷裕二2 市川裕康1 吉田知樹1 宮原 謙2	3'27'67	松 商 八幡和幸2 橋本直啓2 内山勝雄2	3'27'69	伊 那 北 青木隆秀2 宮下直也1 上田孝行2	3'28'18	陣 助 実 野 沢 南 伊藤裕次2 本田連人2
走高跳		1m95	堀内 昌明	1m90	関 正也	1m90	上原 昭彦	1m90	原 明	1m85	佐藤 忠由	1m85	横川 誠
棒高跳		3m90	佐々木 幸彦	3m80	丸山 誠一	3m80	横沢 実	3m60	小島 謙	3m60	吉沢 知剛	3m40	中嶋 秀樹
走幅跳		±0 6m64	村上 淳也	+1.3 6m64	町田 貴之	+1.0 6m58	小林 雄一	+1.0 6m43	沖村 晃平	-0.3 6m37	堀入 明	±0 6m37	片岡 輝雄
三投球		14m15	小出 隆太	+2.2 13m96	堀入 明	+1.8 13m66	黒田 一輝	-1.6 13m51	村山 泰彦	+0.2 13m44	五味 清規	+2.1 13m39	沖村 晃平
砲丸投		15m55	三浦 理	14m15	佐藤 光秀	12m96	矢島 哲治	12m92	巖谷 功	12m42	巖谷 尚	12m38	山田 修二
円盤投		38m62	三浦 理	37m76	佐藤 光秀	36m14	北沢 和也	34m70	土屋 政芳	34m30	中沢 安之	33m58	山田 景明
ハンマー投		53m78	三浦 理	45m38	福井 真吾	44m72	清水 理宏	44m64	大日向祐一	42m98	巖谷 功	41m90	滝久保史史
やり投		58m58	田中 完次	57m32	長瀬 智彦	54m52	矢崎 雅一	53m50	佐藤 光秀	51m56	下里 貴志	51m04	高木 直樹
8種競技		4,718点	星島 尚純	4,672点	本田 連人	4,543点	大久保貴光	4,481点	関 正也	4,352点	北澤 慶	4,346点	石井 文貴

(女子の部)

期日 H2.10/26~28 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
		記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名
100m	-1.3	12'44	高橋美貴子	12'70	宮下 典子	12'85	飯塚真由美	12'95	村田 瑞恵	13'10	戸田 幸子	13'22	赤羽 史子
200m	+2.0	25'38	高橋美貴子	25'98	宮下 典子	26'05	村田 瑞恵	26'47	倉田恵里子	26'56	安野 啓子	26'71	井出 和美
400m		60'16	安野 啓子	60'60	生玉小百合	60'69	市川 泰恵	61'63	杉本 弘美	62'07	倉田恵里子	62'49	小池まなみ
800m		2'18'60	市川 泰恵	2'20'60	手塚亜希子	2'21'20	山寺 麻代	2'21'25	中川 静重	2'21'50	安野 啓子	2'22'10	丸山 文恵
3,000m		10'15'24	上藤 有希	10'42'16	塚地 京子	10'46'58	宮下由美子	10'55'31	奥田 麻子	10'56'36	中村 由紀	11'00'62	小松 三香
100mH	-1.7	15'55	飯塚 美穂	16'05	伊藤 里奈	17'06	伊藤 京子	17'17	新井 利香	17'18	渡辺 浩子	17'20	斉藤 ルィ
3,000mW		15'43'05	笠原 千穂	16'34'70	藤原加代子	17'35'02	岩崎 令子	17'36'90	伊藤ふゆり	17'37'02	川崎 瑞穂	17'37'38	川尻 真弓
4x100mリレー		50'68	森田恵美1 宮沢綾子1 名和真理子2 高橋美貴子2	51'35	長瀬智美1 横井和子1 中村美美2 田中美鈴1	51'50	杉本弘美2 倉田恵里子2 足助春美1 藤沢香苗2	52'00	藤沢典代2 小林恵美1 花島奈津子	52'02	下川加代1 藤沢典代2 山崎真由美2 影山朋子2	52'18	平林弘美1 大 町 矢野有紀子2 永田久子2 山崎麻紀子2 一ノ瀬真知2
走高跳		1m60	高橋 京	1m55	藤原みずき	1m50	上水 由美	1m50	新元 香苗	1m50	新元 康恵	1m45	磯谷 佳恵
走幅跳		+4.0 5m20	飯塚 美穂	+2.2 5m42	横井 和子	+1.6 5m38	前林美智子	+1.1 5m25	一ノ瀬真知	+2.3 5m13	伊藤 光代	4m95	等々力綾子
砲丸投		10m40	宇都宮まきこ	9m46	小川 聡子	9m30	倉根 奈穂	9m18	山本 晴美	8m80	藤川 真希	8m75	久保田典子
円盤投		30m16	倉根 奈穂	27m78	勝野 利枝	27m62	菊地まどか	26m98	小川 紀子	26m56	小野沢ふゆり	26m46	清沢 亜紀
やり投		38m66	山本 晴美	36m54	勝野 利枝	34m60	山本 悦子	34m34	藤口 恵子	32m38	桜井 法子	29m76	町田 泰子
7種競技		3,633点	勝野 利枝	3,396点	伊藤 里奈	3,353点	小林亜矢子	3,307点	前田 優	3,289点	萩原志保利	3,276点	斉藤 由佳

長野県高等学校総合体育大会（男子の部）

期日 H3.5/31~6/2 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位		6 位		
		35点	篠ノ井	34点	野沢南	22点	長野日大	20点	上伊那農業	18点	飯田工業	16点	屋代	
種目	風力	1		2		3		4		5		6		
		記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	
100m	-0.2	11'07	百瀬 寛和	筑摩3	11'27	青木 隆秀	諏訪東3	11'33	浜島 雅典	弥生丘2	11'33	奥原 幸	県ヶ丘2	
200m	+0.6	22'47	百瀬 寛和	筑摩3	22'48	原 英之	赤穂3	22'69	関 明徳	中野西3	22'70	羽生田俊一	長野日大3	
400m		49'76	本田 達人	野沢南3	49'80	木下 雅夫	飯田3	49'90	原 英之	赤穂3	50'04	中嶋 裕司	東海三3	
800m		1'59'34	上田 孝行	諏訪東3	1'59'59	一志 宇	池田工3	1'59'82	横田 真一	長野南3	2'00'92	細田 大徳	飯田3	
1,500m		4'01'89	松山 克敏	飯田工3	4'04'18	北沢 斉	上伊農3	4'04'29	北川原一敏	長野南3	4'05'02	北原 芳美	上伊農3	
5,000m		15'07'90	松山 克敏	飯田工3	15'15'60	前島 啓一	屋代3	15'16'55	瀬戸 八州	上伊農3	15'18'87	宮下 敏	上伊農3	
110mH	±0	15'90	石井 文貴	野沢南3	15'91	小林 敏宏	白田3	16'02	丸山 誠一	長野3	16'10	茂田 敬幸	上田3	
400mH		56'49	小池 健風	阿智3	56'74	石井 文貴	野沢南3	56'21	北沢 敬宏	白田3	56'64	横田 泰聖	二葉3	
3,000mSC		9'16'38	松山 克敏	飯田工3	9'20'98	前島 啓一	屋代3	9'29'20	北沢 斉	上伊農3	9'32'10	手塚 篤志	野沢北2	
5,000mW		22'28'13	小池 昭彦	長野3	22'36'40	佐藤 孝洋	野沢南2	23'24'82	小平 伸吾	薩月2	23'31'25	中島 宏文	中野東3	
4 × 100m リレー		43'36	小松 忍3 小松真人3 平野拓也3 小林雄一3	田川	43'50	百瀬貴之2 吉田知樹2 宮原 傑3 市川裕康2	松商	43'65	赤岩 可3 津田 彰3 岡本宏光2 石井英明3	美須 *	43'70	懸 洋一2 水沢一憲2 沖村 仁2 羽生田俊一3	長野日大	
		3'21'07	辻 昌尚2 柴田 悟2 後藤貴博2 中島祐司3	東海三	3'21'46	石井文貴3 伊藤裕次3 白田 茂2 本田達人3	野沢南	3'22'68	中谷春樹2 八幡和幸3 嶋崎直啓3 内山勝雄3	伊那北	3'23'58	下平 悟2 細田大徳3 神谷善之3 木下雅夫3	飯田	
		2m00	堀内 昌明	長野日大3	2m00	原 明	弥生丘3	1m95	上原 昭彦	佐久3	1m95	佐藤 忠由	須坂3	
		4m20	佐々木忠幸	赤穂3	4m00	小島 潤	筑摩工2	2位4m00	横沢 実	大町3	3m60	丸山 誠一	長野3	
走高跳		4m20	佐々木忠幸	赤穂3	4m00	小島 潤	筑摩工2	2位4m00	横沢 実	大町3	3m60	丸山 誠一	長野3	
走幅跳	-0.2	7m03	町田 貴之	中野3	6m99	大久保貴光	向陽3	6m83	横村 秀夫	長野日大3	6m68	村上 淳也	屋代南3	
三段跳	-0.2	14m76	小出 隆大	長野日大2	14m17	金井一郎	長野西3	13m78	堀入 明	美須+3	13m77	村山 泰彦	木曾3	
砲丸投	15m61	三浦 理	篠ノ井3	14m08	佐藤 光秀	篠ノ井3	13m58	矢島 哲治	松商3	13m31	田中 完次	大町北3	13m13	山田 修次
円盤投	39m38	佐藤 光秀	篠ノ井3	38m44	小林 景	明科3	37m48	二本松 達	吉田3	37m26	本田 達人	野沢南3	36m08	中沢 宏之
ハンマー投	58m38	三浦 理	篠ノ井3	50m12	鷲谷 巧	篠ノ井3	47m92	清水 理宏	篠ノ井3	46m68	大日方祐一	屋代南3	46m44	福井 真吾
やり投	58m12	田中 完次	大町北3	57m38	小林 敏彦	千曲3	56m44	斎藤 尚	吉田3	55m64	長瀬 哲彦	東海三3	55m04	佐藤 忠由

(女子の部)

期日 H3.5/31~6/2 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1 位		2 位		3 位		4 位		5 位		6 位	
		44点	諏訪東美	28点	篠ノ井	26点	伊那北	21点	華月	18点	大町	17.5点	松本県ヶ丘
種目	風力	1		2		3		4		5		6	
		記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
100m	-0.5	12'44	高橋美貴子	華月3	12'44	宮下 典子	篠ノ井3	12'87	林 晃子	豊科3	12'90	村田 瑞恵	伊那北2
200m	-0.2	25'68	宮下 典子	篠ノ井3	26'32	村田 瑞恵	伊那北2	26'40	倉田恵利子	辰野3	26'50	井出 和美	野沢北3
400m		58'89	豊口 恵	諏訪東1	59'51	名和真理子	華月3	59'61	生玉小百合	中野東2	60'08	市川 泰恵	県ヶ丘3
800m		2'13'87	宮下 三華	諏訪東2	2'16'00	手塚亜希子	県ヶ丘2	2'16'79	石原さつき	諏訪東3	2'17'56	市川 泰恵	県ヶ丘3
3,000m		9'35'16	石原さつき	諏訪東3	9'44'00	宮下 三華	諏訪東2	9'45'22	手塚亜希子	県ヶ丘2	10'24'50	小松 三香	諏訪東3
100mH	±0	15'38	飯塚 美穂	岡谷南3	15'75	伊藤 聖奈	岩村田3	15'93	飯田真由美	大町3	16'24	高藤 由佳	染谷丘3
3,000mW		14'49'84	笠原 千穂	辰野3	15'43'93	藤原加代子	野沢南3	16'01'82	浜 久美	諏訪東2	16'27'87	上藤 有希	諏訪東2
4 × 100m リレー		49'65	森田恵美2 宮沢綾子2 名和真理子3 高橋美貴子3	華月	49'92	宮川典子3 丸山 桂2 宮沢恵美2 宮下典子3	篠ノ井	50'30	藤沢典代3 小林聖恵美2 花島奈津子3 川久保久美1	長野日大	50'47	夏川依子2 小林千穂2 須江昭子2 井出和美2	野沢北
		1m60	堀 奈帆	伊那北1	1m55	上原 美香	諏訪東1	1m55	清水 敦子	岩村田3	1m55	藤原みづき	深志2
		5m38	前林美智子	伊那北3	5m34	飯田真由美	大町3	5m34	飯塚 美穂	岡谷南3	5m26	伊藤 光代	伊那北3
		10m70	宇都宮まき	篠ノ井3	10m70	斎藤 奈穂	野沢南3	10m20	小川 紀子	篠ノ井2	10m03	川上 松枝	白馬3
砲丸投	10m70	宇都宮まき	篠ノ井3	10m70	斎藤 奈穂	野沢南3	10m20	小川 紀子	篠ノ井2	10m03	川上 松枝	白馬3	
円盤投	36m26	川上 松枝	白馬3	31m40	斎藤 奈穂	野沢南3	30m58	緑川 真希	長野南3	29m86	藤野 利枝	大町3	
やり投	41m92	山本 精美	長野南2	38m36	藤野 利枝	大町3	37m08	藤口 恵子	松南2	33m74	前田 憂	伊那北3	

長野県高等学校新人体育大会 (男子の部)

期日 H3.10/18~20 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合		1位		2位		3位		4位		5位		6位						
	44点	東海大三	34点	大町	32点	長野日大	20.5点	藤ノ井	20点	長野東	20点	野沢南							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14					
種目	風力	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名			
100m		10'96	高橋 雅也	長野工2	11'09	塚田 英彦	上田東1	11'15	市川 裕康	松高2	11'16	浜島 雅典	弥生丘2	11'16	武田 満	中野東1	11'40	宮川 誠	織ヶ崎2
200m		22'40	市川 裕康	松高2	22'49	塚田 英彦	上田東1	22'74	後藤 貴博	東海三2	22'85	中川 謙	藤ノ井2	22'87	岩崎 文明	小諸南2	22'98	浜島 雅典	弥生丘2
400m		1'56'48	名取 和訓	二葉2	50'40	名取 和訓	二葉2	50'64	日井 茂	野沢南2	50'69	辻 昌尚	東海三2	51'21	中谷 春樹	伊那北2	51'24	吉田 芳伸	田川1
800m		4'04'71	中島 秀雄	東海三2	4'05'19	西沢 祥隆	東海三1	4'06'84	荒井 貴大	大町1	4'07'10	八木陽一郎	二葉2	4'07'15	鈴木 俊文	松本工1	4'10'78	白鳥 吉保	上伊藤2
1,500m		15'12'66	鈴木 俊文	松工1	15'29'14	西沢 祥隆	東海三1	15'30'54	白鳥 吉保	上伊藤2	15'40'18	羽生 吉治	上伊藤2	15'44'65	中村 祥隆	白馬2	15'45'95	平林 誠司	大町2
5,000m		16'01	宮下 雅史	上田2	16'25	赤羽 浩一	伊那北2	16'33	飯田 左一	大町2	16'46	宮沢 秀樹	吉田2	16'48	中村 大樹	上田西2	16'53	宮入 洋	野沢北2
110mH		55'13	日田 茂	野沢南2	56'18	辻 昌尚	東海三2	56'38	中島 崇樹	長野南2	56'38	藤田 季之	須賀2	57'23	細沢 幹雄	信州工2	57'27	吉田 芳伸	田川1
400mH		9'35'38	中村 祥隆	白馬2	9'35'43	神津 正昭	中野東2	9'44'94	真道 純也	東海三1	9'53'95	手塚 雅志	野沢北2	9'57'28	畑中 一夫	大町2	10'00'07	関原 裕正	上伊藤1
3,000mSC		23'03'49	佐藤 洋平	野沢南2	25'15'90	原 直志	松川2	25'21'17	関口 安幸	岩村田2	25'25'20	宮本 晃一	大町2	25'26'14	田村 鉄也	長野日大2	25'31'01	久保田康弘	飯田2
4x100mリレー		44'07	唐沢修司1 片桐輝雄2 山根康弘1 沢渡 一	赤穂	44'11	今村賢一 小林 豊2 渡辺新次1	佐久	44'12	萩原勇二1 中島崇樹2 百瀬 公剛 町田和論2	長野南	44'24	市川裕康2 古畑幸行2 百瀬貴之2 吉田知樹2	松商	44'32	原田知博2 下田 勉1 山岸智治2 武田 満1	中野東	44'45	高山浩一2 小出康広1 竹内 潤2 塚田英彦1	上田東
4x400mリレー		3'26'59	辻 昌尚2 飯田 聡1 柴田 悟2 中島秀雄2	東海大三	3'27'06	小林 豊2 中島崇樹2 町田和論2 萩原勇二1	長野南	3'27'29	小出友和1 水沢 一憲2 小口泰幸2 神村 仁2	長野日大	3'27'89	中島貴代志2 三浦一樹2 藤田定一2 渡辺新次1	佐久	3'31'22	宮田正信1 浅川真秀1 吉田芳伸1 萩原康司2	田川	3'31'99	田口和登2 平林和樹2 金森智幸2 一志 学2	松田工
走高跳		1m90	春原 由宏	中野西1	1m90	横川 誠	大町北2	1m90	小林 諭	飯田風2	1m85	小林 正二	弥生丘2	1m85	原 真一	松川2	1m85	等々力功治	藤ノ井1
棒高跳		4m00	吉沢 知剛	大町2	4m00	細田 英樹	赤穂1	3m80	宮沢 正宏	長野日大1	3m60	岩本 則男	中野東1	3m60	中嶋 秀樹	尾代南2	3m60	野沢 祐司	尾代2
走幅跳		7m08	小出 隆大	長野日大2	6m83	小林 諭	飯田風1	6m79	百瀬 公剛	塚志2	6m78	片桐 輝雄	赤穂2	6m60	北沢 慶	藤ノ井2	6m51	武田 満	中野東1
三段跳		14m70	小出 隆大	長野日大2	14m03	坂田 忍	須賀東2	13m89	飯田 左一	大町2	13m47	小林 諭	飯田風1	13m29	小牧 正二	弥生丘2	13m28	宮沢 重二	梓川2
砲丸投		13m98	上條 清雄	長野東2	13m82	山田 修次	松川2	12m85	田辺 晴輝	須賀2	12m40	林部洋次郎	長野東2	12m32	大田 三博	上田東2	12m00	小松原秀之	伊那北2
円盤投		42m96	上條 清雄	長野東2	39m16	松田新太郎	長野日大2	38m26	中村 宏之	野沢北2	37m04	大田 三博	上田東2	36m96	宮沢 圭司	美須ヶ2	34m78	日向 健太	岩村田1
ハンマー投		46m30	薄田 明	長野南2	45m52	梨子田昌史	大町2	44m26	小野 政剛	藤ノ井1	41m50	古殿 尚文	美須ヶ2	41m40	荒井 克弘	須賀2	40m98	中村 宏之	野沢北2
やり投		54m98	渡辺 哲基	染谷丘2	52m28	林部洋次郎	長野東2	48m70	木次 勝秀	野沢北2	48m62	原 知憲	伊那北2	47m12	小林 則之	長野日大2	46m38	梨子田昌史	大町2
8種競技		4,867.6点	北沢 慶	藤ノ井2	4,645.6点	木次 勝彦	野沢北2	4,610.6点	日田 茂	野沢南2	4,579.6点	北村 将人	長野1	4,312.6点	等々力功治	藤ノ井1	4,249.6点	麻崎 広輝	小諸2

(女子の部)

期日 H3.10/18~20 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合		1位		2位		3位		4位		5位		6位						
	43点	諏訪実業	28点	伊那北	25点	長野南	17点	長野日大	16.5点	松本織ヶ崎	16点	華月							
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14					
種目	風力	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名			
100m		12'57	村田 瑞恵	伊那北2	12'72	西浦由美子	松川2	12'82	川久保久美	長野日大1	12'83	甘利 織江	岩村田1	12'84	山崎 麻紀	佐久1	12'90	三井美智子	佐久1
200m		25'95	生玉小百合	中野東2	26'09	村田 瑞恵	伊那北2	26'47	矢沢 悦子	東海三1	26'49	山崎 麻紀	佐久1	26'54	宮沢 綾子	華月2	26'72	西浦由美子	松川2
400m		58'09	生玉小百合	中野東2	60'21	矢沢 悦子	東海三1	61'14	村田 瑞恵	伊那北2	61'21	保坂真由子	黒ヶ丘2	61'44	上條 有紀	岡谷南2	61'70	石戸谷まどり	織ヶ崎2
800m		2'20'53	寺島 清江	上田東1	2'20'59	小林 亜紀	野沢南2	2'23'17	西山 知花	美須ヶ2	2'23'66	山寺 康代	男科2	2'24'00	小池まなみ	東海三2	2'24'42	上條 有希	諏訪実2
3,000m		9'51'72	上條 有希	諏訪実2	10'30'97	綿内智恵美	長野1	10'34'01	小尾 麻美	清 陵1	10'36'19	小林めぐみ	諏訪実1	10'37'71	寺島 清江	上田東1	10'41'01	田村めぐみ	飯田風2
100mH		15'69	上原 美香	諏訪実1	15'95	西浦由美子	松川2	16'31	成沢 友紀	上田東2	16'47	渡辺 浩子	織ヶ崎2	16'73	原田 聖	長野清3	16'77	志摩 順子	佐久1
3,000W		015'19'42	川尻 真可	飯田女2	15'46'90	川崎 瑞恵	木曾2	16'11'32	浜 久美	諏訪実2	17'09'68	佐藤 晶子	華月2	17'21'56	平井 美和	辰野1	17'33'77	岩松 徳子	野沢南2
4x100mリレー		51'48	清水知夏2 阿部静江2 小林星恵美2 川久保久美1	長野日大	51'87	金子亜紀2 上原美香1 若林美奈2 豊口 恵1	諏訪実	51'93	関 智子1 日向祥子2 三井美智子1 山崎麻紀1	佐久	52'07	夏川依子2 宮崎こずえ1 須江昭子2 小林千穂2	野沢北	52'12	小林厚子1 上條有紀2 小口ゆづり1 宮下千香2	岡谷南	52'17	小林亜矢子2 渡辺浩子2 井口亜枝子2	織ヶ崎
走高跳		1m60	堀 奈帆	伊那北1	1m55	田中 美保	大町2	1m55	藤原みづき	塚志2	1m55	磯谷 佳恵	長野日大2	1m55	上原 美香	諏訪実1	1m55	山崎希美子	吉田1
走幅跳		5m46	渡辺 浩子	織ヶ崎2	5m24	豊口 恵	諏訪実1	5m18	駒津 真可	長野日大2	5m11	小林亜矢子	織ヶ崎2	5m02	星加 典子	弥生丘2	5m02	古川 和美	華月2
砲丸投		11m14	小川 紀子	藤ノ井2	10m37	山本 晴美	長野南2	9m95	久保田典子	華月2	9m48	藤川 真希	長野南2	8m70	小林 亜紀	野沢南2	8m61	山口 恵子	松南2
円盤投		31m18	山本 晴美	長野南2	29m20	藤川 真希	長野南2	28m82	久保田典子	華月2	28m46	保科 裕子	伊那北2	27m76	清沢 亜紀	織ヶ崎2	26m36	三上 和美	木曾2
やり投		44m14	山本 晴美	長野南2	41m28	豊口 恵子	松南2	34m92	林 美香	尾代南2	34m26	桜井 美保	上田東1	32m62	丸山 英子	華月2	32m24	本道 一美	佐久1
7種競技		3,918.6点	豊口 恵	諏訪実1	3,641.6点	上原 美香	諏訪実1	3,530.6点	堀 奈帆	伊那北1	3,382.6点	宮沢 恵美	藤ノ井2	3,271.6点	宮下 麻子	染谷丘1	3,225.6点	須江 昭子	野沢北2

長野県高等学校総合体育大会 (男子の部)

期日 H4.5/29~31 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	1 位			2 位			3 位			4 位			5 位			6 位						
	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド				
種目	1			2			3			4			5			6						
風力																						
100m	-2.3	11'22	高橋 雅也	長野工 3	11'26	高橋 雅也	赤生丘 3	11'38	塚田 英彦	上田東 2	11'44	大谷 和宏	深志 3	11'44	奥原 孝	須ヶ丘 3	11'46	松下 昌隆	松川 2			
200m	+3.5	22'28	高橋 雅也	赤生丘 3	22'52	高橋 雅也	長野工 3	22'61	市川 裕康	松 蔭 3	22'73	塚田 英彦	上田東 2	22'73	奥原 孝	須ヶ丘 3	22'83	中川 廉	松ノ井 3			
400m		○ 49'06	塚田 英彦	上田東 2	49'61	一志 学	池田工 3	49'78	中谷 春樹	伊那北 3	49'88	藤田 孝之	須ヶ丘 3	50'29	後藤 貴博	東海三 3	50'63	市川 康	松ノ井 3			
800m		1'54'18	一志 学	池田工 3	1'55'41	名取 和訓	二 葉 3	1'56'34	矢島 祐二	風 越 3	1'56'75	小野 剛	堀 尻 2	1'56'92	中谷 春樹	伊那北 3	1'56'96	八木陽一郎	二 葉 3			
1,500m		3'58'53	西澤 祥勝	東海三 3	3'58'66	八木陽一郎	二 葉 3	4'00'76	向山 幸博	上伊那 3	4'02'92	鈴木 俊文	松本工 2	4'04'45	荒井 貴	大 町 2	4'06'30	中島 雄雄	東海三 3			
5,000m		○ 14' 51' 05	西澤 祥勝	東海三 3	○ 14' 51' 03	鈴木 俊文	松本工 2	15' 08' 99	荒井 一貴	大 町 2	15' 15' 23	中村 洋暉	白 馬 3	15' 16' 56	白鳥 吉崇	上伊那 3	15' 16' 66	羽生 吉浩	上伊那 3			
110mH	+2.6	15'51	塩崎 和志	須ヶ丘 3	15'59	中村 大樹	上田西 3	15'80	白田 茂	野沢南 3	15'95	大住 英昭	伊那北 3	15'97	宮入 洋	野沢南 3	16'01	赤羽 浩一	伊那北 3			
400mH		53'75	白田 茂	野沢南 3	53'99	藤田 夢之	須ヶ丘 3	54'33	辻 昌尚	東海三 3	55'98	小口 泰幸	長野日大	56'47	中島 崇樹	長野南 3	56'33	関 利康	諏訪東 3			
3,000mSC		9'25'16	中村 洋暉	白 馬 3	9'25'48	真道 純也	東海三 2	9'33'37	手塚 篤志	野沢北 3	9'35'22	南沢 繁	須ヶ丘 3	9'35'56	國原 裕正	上伊那 2	9'40'89	河野 雅展	東海三 1			
5,000mW		○ 22' 18' 46	佐藤 孝洋	野沢南 3	23' 39' 37	原 直志	松 川 3	24' 02' 49	関口 幸宏	岩村田 3	24' 09' 34	久保田孝裕	飯 田 3	24' 33' 56	宮本 晃一	大 町 3	25' 06' 39	佐藤 伸一	下高農 3			
4 × 100m リレー		42'98	懸 伴一 水沢一憲 管沢 豊 山本彰一	長野日大	43'18	横井謙大 古澤孝行 吉田知樹 市川裕康	松 蔭	43'32	柳沢寛文 竹内 謙 小出康広 塚田英彦	上 田 東	43'46	馬場雅彦 今村賢一 三浦一樹 渡辺新次	佐 久	43'50	唐沢修司 片桐輝雄 山崎康弘 沢渡 一	赤 穂	43'63	神田智之 華田孝之 小宮山俊夫 東原秀樹	須 坂			
4 × 400m リレー		3'20'59	辻 昌尚 柴田 悟 宮澤英和 後藤貴博	東 海 三	3'22'09	中野直浩 吉田芳伸 萩原康司 浅川貴秀	田 川	3'22'38	神田 仁 小出友和 水沢一憲 小口泰幸	長野日大	3'23'66	大住英昭 小池雄也 赤羽浩一 中谷春樹	伊 那 北	3'24'52	神田智之 栗原秀樹 高田 守 藤田孝之	須 坂	3'25'35	小林 豊 中島崇樹 町田和訓 萩原勇二	長 野 南			
走 高 跳		1m92	横川 誠	大町北 3	1m90	宮澤 穂二	神 川 3	1m90	小池 純平	厘 代 2	4位	1m90	小牧 正二	赤生丘 3	4位	1m90	等ヶ力功治	藤ノ井 2	4位	1m90	市川 吉幸	松本工 1
棒 高 跳		4m20	細田 英樹	赤 穂 2	4m20	清沢 修司	赤 穂 2	4m20	清水 大輔	赤 穂 2	4m10	吉澤 知朗	大 町 3	4m00	小林 猛人	藤ノ井 2	4m00	宮澤 正宏	長野日大 2			
走 幅 跳		+3.4 7m16	百瀬 公則	深志 3	+5.3 7m07	平出 世幸	向 陽 3	+1.1 6m98	飯田 庄一	大 町 3	-0.1 6m87	小林 諭	風 越 2	+3.4 6m87	飯田 忍	須ヶ丘 3	+3.9 6m79	古岩井陽太	長野日大 2			
三 段 跳		0 14m20	小出 隆太	長野日大 3	0 14m06	飯田 忍	須ヶ丘 3	0 13m89	飯田 庄一	大 町 3	0 13m40	山口 武男	長野西 3	0 13m25	小牧 正二	赤生丘 3	0 13m02	松村 哲	赤 穂 3			
砲 丸 投		14m61	山田 修次	松 川 3	14m28	上条 清雄	長野東 3	13m52	小松原秀司	伊那北 3	13m30	石川 千年	藤ノ井 1	13m00	田辺 晴雄	須 坂 3	12m88	林部洋次郎	長野東 3			
円 盤 投		44m74	上條 晴雄	長野東 3	40m54	大田 三博	上田東 3	39m88	宮澤 圭司	美須ヶ丘 3	37m70	日向 健太	岩村田 2	37m46	油井 日向	大 町 3	37m20	二本松 康	吉 田 3			
ハンマー投		51m98	齊田 明	長野南 3	48m80	小野 政則	藤ノ井 2	47m10	梨子田昌英	大 町 3	45m84	中沢 宏之	野沢北 3	44m40	荒井 克弘	藤ノ井 3	43m46	古越 敬光	藤ノ井 3			
やり 投		57m90	渡辺 哲基	染谷丘 3	55m68	林部洋次郎	長野東 2	53m90	宮入 清志	南安曇 3	52m92	木次 勝秀	野沢北 3	51m72	上條 清雄	長野東 3	51m60	鶴野 孝英	長野工 2			

(女子の部)

期日 H4.5/29~31 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	1 位			2 位			3 位			4 位			5 位			6 位			
	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド	
種目	1			2			3			4			5			6			
風力																			
100m	-2.1	12'82	西浦由美子	松 川 3	12'83	村田 瑞恵	伊那北 3	12'93	宮沢 敏子	泉 月 3	3位 12'93	田中 英美	諏訪東 1	13'02	三井美智子	佐 久 2	13'06	原田 朋美	磯ヶ崎 3
200m	+1.6	25'70	生玉小百合	中野東 3	25'74	西浦由美子	松 川 3	25'79	森田 恵美	泉 月 3	25'85	村田 瑞恵	伊那北 3	26'15	山崎 麻紀	佐 久 2	26'16	甘利 麻江	岩村田 2
400m		57'83	生玉小百合	中野東 3	59'15	森田 恵美	泉 月 3	59'36	矢澤 悦子	東海三 2	60'28	小林 遥紀	野沢南 3	60'38	高藤 美英	二 葉 3	61'02	酒井 清美	東海三 3
800m		2'18'99	宮下 三華	諏訪東 3	2'21'47	小池まなみ	東海三 3	2'21'63	小林 恵紀	野沢南 3	2'21'66	大高 和美	佐 久 2	2'22'04	大高 智美	磯ヶ崎 3	2'22'28	寺島 清江	上田東 2
3,000m		9'51'17	手塚亜希子	須ヶ丘 3	9'53'19	上條 希希	諏訪東 3	10'11'87	宮下 三華	諏訪東 3	10'19'47	小尾 麻美	清 陵 2	10'34'37	山本 桂子	諏訪東 1	10'41'39	松島 里枝	風 越 3
100mH	+4.4	15'35	上原 美香	諏訪東 2	15'71	西浦由美子	松 川 3	15'91	春原 優子	中野東 3	16'00	志摩 順子	佐 久 2	16'07	堀 奈帆	伊那北 2	16'35	大西 裕子	野沢南 2
3,000mW		○ 14' 24' 73	丸山 由香	泉 月 3	15' 24' 37	川尻 真可	飯田女 3	15' 34' 35	原田 瑞穂	木 曾 3	16' 10' 32	牛山さつき	諏訪東 3	16' 20' 40	小林てるみ	文長野 3	16' 22' 30	轟山 陽子	野沢南 2
4 × 100m リレー		50'05	池田亜希子 宮沢敏子 高藤愛寿美 森田恵美	泉 月	50'47	金子亜紀 上原美香 田中英美 豊口 恵	諏 訪 東	50'74	小林亜美 渡辺浩子 井口美保子	磯 ヶ 崎	51'03	日向祥子 三井美智子 山崎麻紀	佐 久	51'20	星加典子 桂川里奈 北林博美	赤 生 丘	51'23	保倉美香 藤沢和恵 高橋こず恵	中 野
走 高 跳		1m65	藤原みずき	深志 3	1m60	山崎希美子	吉 田 2	1m60	磯谷 佳恵	長野日大 3	1m60	堀 奈帆	伊那北 2	1m55	獅子榮美和	清 陵 2	5位 1m55	奥原 由子	松 蔭 1
走 幅 跳		+1.3 5m50	渡辺 浩子	磯ヶ崎 3	+2.3 5m42	関 知子	佐 久 2	+1.4 5m33	深村佳津子	中 野 3	+0.4 5m32	駒津 真弓	長野日大 3	+1.1 5m27	丸山 桂	藤ノ井 3	+0.6 5m20	古川 和美	泉 月 3
砲 丸 投		12m19	小川 紀子	藤ノ井 3	11m07	山本 晴美	長野南 3	10m29	久保田典子	泉 月 3	10m14	黒岩 有紀	藤ノ井 3	10m12	藤川 真希	長野南 3	9m31	長崎 志保	諏訪東 1
円 盤 投		33m80	山本 晴美	長野南 3	33m62	藤川 真希	長野南 3	31m58	小川 典子	藤ノ井 3	28m86	村山 瑞枝	飯田女 2	28m68	三上 和美	木 曾 3	28m36	久保田典子	泉 月 2
やり 投		○ 46m22	山本 晴美	長野南 3	40m66	豊口 恵子	松 蔭 3	39m80	本道 一佳	佐 久 2	37m06	甲田由紀子	千 曲 2	32m24	浅見 明子	大 町 1	34m78	林 美香	厘代南 3

長野県高等学校新人体育大会 (男子の部)

期日 H4.10/16~18 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table with columns for school names, positions (1st-6th), and various track and field events (100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 5000m, 110mH, 400mH, 3000mSC, 5000mW, 4x100mリレー, 4x400mリレー, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 砲丸投, 円盤投, ハンマー投, やり投, 8種競技). Rows list school names and athlete names with their respective times and positions.

(女子の部)

期日 H4.10/16~18 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table with columns for school names, positions (1st-6th), and various track and field events (100m, 200m, 400m, 800m, 3000m, 100mH, 3000mW, 4x100mリレー, 走高跳, 走幅跳, 砲丸投, 円盤投, 投げ, 7種競技). Rows list school names and athlete names with their respective times and positions.

長野県高等学校総合体育大会（男子の部）

期日 H5.5/27~29 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
		記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名
100m	-0.2	10'82	深田 英彦	10'85	松下 昌靖	10'95	清水 広樹	10'98	武田 潤	11'05	小宮山明浩	11'14	横井 謙太
200m	+0.4	21'85	深田 英彦	22'17	松下 昌靖	22'25	清水 広樹	22'27	萩原 勇二	22'53	横井 謙太	22'54	山本 彰一
400m	○	48'61	深田 英彦	49'66	萩原 勇二	49'89	浅川 貴秀	49'92	岩原 秀樹	50'38	久保 和幸	50'53	城内 昌徳
800m	△	1'56'23	田幸 将徳	1'56'69	小出 友和	1'57'53	中野 直治	1'57'74	片桐 裕也	1'57'75	佐久 久三	1'58'15	久保 貴裕
1,500m	△	4'05'63	西澤 祥祐	4'05'94	荒井 貴大	4'07'85	木本 明仁	4'08'81	田村 朗	4'08'91	山本 晋一	4'09'10	小松 昌利
5,000m	△	15'26'46	西澤 祥祐	15'27'28	河野 雅哉	15'31'12	鈴木 俊文	15'32'56	上山 剛	15'33'49	田嶋 浩一	15'37'98	荒井 貴大
110mH	+0.2	15'69	高橋 智男	15'85	田中 潤	15'96	橋沢 寛文	16'19	小林 大吾	16'22	丸茂 敏文	16'29	土屋 光輝
400mH	△	55'14	岡村 浩男	55'39	吉田 芳伸	55'93	西沢 慎一	55'99	下田 勉	56'93	藤巻 隆幸	57'22	橋本 正仁
3,000mSC	△	9'28'52	河野 雅哉	9'34'58	山本 晋一	9'37'86	岡沢 利正	9'40'23	中村 深志	9'43'49	真道 純也	9'43'53	小松 昌利
5,000mW	△	23'18'77	神野 英人	24'01'07	橋本 浩徳	24'29'99	筒井 竜郎	24'40'32	藤沢 将実	24'40'57	福丸 聡明	24'48'24	伊藤 和也
4 × 100mリレー	○	42'58	桐沢寛文3 小出康広3 児玉英嗣2 深田英彦3	42'73	油井正和3 高橋智之2 藤巻隆幸3 山本彰弘3	42'73	野沢南 山本彰一2 菅澤豊3	42'92	長野日大 長野日大 菅澤豊3	43'09	飯田 赤穂 小野田圭三3	43'42	赤穂 松商 横井謙太2
4 × 400mリレー	○	3'19'39	宮田正信3 吉田芳伸3 中野直浩3 浅川貴秀3	3'20'60	山本彰一2 菅澤豊3 長田智之3 小出友和3	3'21'18	長野日大 長野日大 黒谷新弥1 田幸将徳1	3'22'88	中野実 武田潤3 下田勉3 黒谷新弥1	3'23'33	東海三 宮沢英知2 久保和幸2 小野田圭三3	3'23'57	飯田 赤穂 小池雄也3
走高跳	△	2m00	等々力功治	2m00	小林 諭	1m95	高橋 智男	1m95	小池 純平	1m90	山崎 徹也	1m90	上田 将之
棒高跳	△	4m40	唐沢 修司	4m30	清水 大輔	4m20	宮沢 正宏	4m20	藤田 英樹	4m00	中村 太全	4m00	荒井 教久
走幅跳	-0.4	7m02	武田 潤	7m02	小林 諭	6m96	小泉 茂樹	6m89	今村 賢一	6m87	伊藤 健一	6m86	古岩井陽太
三段跳	+0.0	14m70	黒岡 秀木	14m61	小泉 茂樹	14m53	等々力功治	13m79	小池 純平	13m65	神保 貴之	13m62	古岩井陽太
砲丸投	△	14m39	石川 千年	13m27	堀内 俊秀	13m17	油井 正和	12m98	望月 貴徳	12m89	岩井 純徳	12m88	矢崎 大輝
円盤投	△	44m34	日向 健太	40m34	小野 政則	39m74	油井 正和	38m92	八田 隆	38m50	池田 聡	38m04	清水 将司
ハンマー投	△	50m14	小野 政則	49m98	石川 千年	47m86	橋本 章祥	47m70	伊藤 達哉	46m30	日向 健太	45m94	近藤 輝夫
やり投	△	53m48	宮原 直幸	53m04	横沢 祥友	51m82	小田切雄雄	51m26	磯野 尊寛	51m02	土屋 俊之	49m70	岩井 純徳

（女子の部）

期日 H5.5/27~29 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
		記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名
100m	-2.4	12'48	三井美智子	12'51	川久保久美	12'56	山崎 麻紀	12'65	甘利 麻江	12'66	田中 英美	12'82	日下部恵里
200m	+0.5	25'26	山崎 麻紀	25'66	川久保久美	25'74	三井美智子	25'93	甘利 麻江	25'97	藤原 深雪	25'99	日下部恵里
400m	△	59'00	矢澤 悦子	59'42	内藤 美香	59'64	植原 圭子	60'11	二本由美香	60'18	豊口 恵	60'50	棚嶋美美子
800m	△	2'15'57	内藤 美香	2'16'59	矢澤 悦子	2'17'12	大高 和美	2'18'30	小林千穂香	2'19'02	豊口 恵	2'19'12	松沢 美幸
3,000m	△	10'08'86	宮坂 美穂	10'16'89	小尾 麻美	10'27'90	大高 和美	10'28'22	山本 桂子	10'28'30	松澤 美幸	10'32'73	小林めぐみ
100mH	+1.9	15'11	上原 美香	15'37	横沢 美ゆき	15'39	志摩 順子	15'49	中村 みお	15'68	細堂 美帆	15'78	白鳥ひかる
3,000mW	△	15'35'00	六川由香里	16'01'05	庄田真由美	16'01'12	六川智佳子	16'04'25	高根 由生	16'33'63	佐藤 千枝	16'34'68	三澤 真紀
4 × 100mリレー	○	48'75	関 知子3 三井美智子3 志摩順子3 山崎麻紀3	49'49	伊藤育美2 藤原深雪2 上原美香3 田中美美2	50'10	関 知子2 二本由美香2 酒井清美3	50'38	東海三 長野日大 菅原美勢子1 川久保久美3	50'60	長野日大 赤穂 宮沢宗津3	50'93	松商 赤穂 豊口教子2
走高跳	△	1m60	宮沢 陽子	1m60	藤子美美和 奥原 由子	1m56	清松 尚2	1m60	山崎希美子	1m55	堀 奈帆	1m55	松沢 貴子
走幅跳	+0.4	5m40	関 知子	5m25	保倉 美香	5m21	豊口 恵	5m12	藤沢 和恵	5m12	萩原 美奈	5m11	上海友香代
砲丸投	△	10m41	清水 久子	10m02	長崎 志保	9m93	橋口 美穂	9m92	堀内 香江	9m69	中山 裕子	9m68	杉本 華美
円盤投	△	32m72	樋口 美保	32m14	堀内 香江	30m04	中島 朋江	29m70	清水 久子	29m54	中山 裕子	29m34	浅川由美
やり投	△	40m80	本道 一美	36m72	中山 裕子	35m14	坂井 美保	34m70	岩下 美緒	34m62	滝沢 麻衣	34m30	唐沢美奈子

長野県高等学校新人体育大会 (男子の部)

期日 H5.10/15~17 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table with columns for 種目 (Event), 風力 (Wind), 順位 (Rank), 校名 (School Name), 記録 (Record), 氏名 (Name), 校名 (School Name). Rows include 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 5000m, 110mH, 400mH, 3000mSC, 5000mW, 4x100mリレー, 4x400mリレー, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 砲丸投, 円盤投, ハママー投, ヤリ投, 8種競技.

(女子の部)

期日 H5.10/15~17 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table with columns for 種目 (Event), 風力 (Wind), 順位 (Rank), 校名 (School Name), 記録 (Record), 氏名 (Name), 校名 (School Name). Rows include 100m, 200m, 400m, 800m, 3000m, 100mH, 3000mW, 4x100mリレー, 走高跳, 走幅跳, 砲丸投, 円盤投, ヤリ投, 8種競技.

長野県高等学校総合体育大会 (男子の部)

期日 H6.5/27~29 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table with columns for school name, rank, and various track and field events (100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 5000m, 110mH, 400mH, 3000mSC, 5000mW, 4x100mリレー, 4x400mリレー, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 砲丸投, 円盤投, ハンマー投, やり投).

(女子の部)

期日 H6.5/27~29 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table with columns for school name, rank, and various track and field events (100m, 200m, 400m, 800m, 3000m, 100mH, 3000mW, 4x100mリレー, 走高跳, 走幅跳, 砲丸投, 円盤投, やり投).

長野県高等学校新人体育大会 (男子の部)

期日 H6.10/14~16 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table with columns for event name, wind speed, and six ranking positions (1-6). Each position lists the athlete's name, school, and time. Includes events like 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 5000m, 110mH, 400mH, 3000mSC, 5000mW, 4x100mリレー, 4x400mリレー, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三段跳, 砲丸投, 円盤投, ハンマー投, ヤリ投.

(女子の部)

期日 H6.10/14~16 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table with columns for event name, wind speed, and six ranking positions (1-6). Each position lists the athlete's name, school, and time. Includes events like 100m, 200m, 400m, 800m, 1500m, 3000m, 100mH, 400mH, 3000mW, 4x100mリレー, 走高跳, 走幅跳, 砲丸投, 円盤投, ヤリ投, 7種競技.

長野県高等学校総合体育大会 (男子の部)

期日 H7.6/2~4 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位		
		中野実業 52.5点		長野日大 49点		野沢南 29点		上伊那農業 24点		松本深志 23点		伊那北 22点		
		中野実業 45点		長野日大 43点		野沢南 23点		野沢南 20点		野沢南 20点		伊那北 16点		
		伊那北 18点		篠ノ井 13点		野沢南 9点		諏訪実業 9点		松本農ヶ丘 8点		上田 8点		
種目	風速	1位		2位		3位		4位		5位		6位		
		記録	氏名 校名	記録	氏名 校名	記録	氏名 校名	記録	氏名 校名	記録	氏名 校名	記録	氏名 校名	
100m	-0.4	10'98	大矢 陽一 深志3	11'00	高橋 邦幸 長野日大3	11'06	丸山 主税 豊科3	11'16	高橋 一将 岩村田3	11'26	山田 信明 岩村田3	11'27	矢口 順 大町3	
200m	0	21'98	大矢 陽一 深志3	22'04	高橋 邦幸 長野日大3	22'07	丸山 主税 豊科3	22'34	山田 信明 岩村田3	22'41	小林 修 長野日大3	22'46	丸山 晃広 長野日大3	
400m		49'36	市瀬 重明 飯田3	49'41	今井 洋平 長野日大3	49'72	小林 修 長野日大3	49'91	藤野 大樹 伊那北3	50'11	沖村 智 深志3	50'15	川瀬 信治 吉田3	
800m		1'56'65	市瀬 重明 飯田3	1'57'13	田幸 将徳 中野実3	1'57'24	斉藤 真一 須坂3	1'57'36	栗山 真治 木曾3	1'57'61	沖村 智 深志3	1'57'93	今井 洋平 長野日大3	
1,500m		4'01'54	黒岩 新弥 中野実3	4'02'39	田幸 将徳 中野実3	4'05'10	栗山 真治 木曾3	4'06'63	佐藤 栄治 長野3	4'06'24	丸山 光昭 上伊那3	4'07'06	富永 紀国 上伊那3	
500m		15'07'13	佐藤 栄治 長野3	15'08'69	井ノ口直義 上伊那3	15'11'73	宮下 宏之 上伊那2	15'12'60	藤沢 一茂 上伊那3	15'12'88	黒岩 新弥 中野実3	15'13'92	折井 正幸 東海三3	
110mH	+3.3	15'44	田中 哲次 長野日大3	15'46	小林 俊樹 中野実3	15'61	棚沢 則光 中野実2	15'65	山田 秀樹 岡谷東3	15'96	中塚 晋博 弥生丘3	16'18	佐藤 雄治 中野実2	
400mH		55'36	小林 俊樹 中野実3	55'06	中塚 晋博 弥生丘3	56'54	棚沢 則光 中野実2	57'20	田中 哲次 長野日大3	57'31	井出 裕也 野沢南3	57'38	長沼 信明 鳳 3	
3,000mSC		9'21'42	今井 博和 野沢南3	9'28'70	徳武 正康 野沢南3	9'29'76	金子 幸平 中野実2	9'32'20	清水 英彦 東海三3	9'32'63	市川 光 野沢南2	9'38'55	佐藤 俊宏 松川2	
5,000mW		23'10'08	今井 博和 野沢南3	24'29'23	徳武 正康 野沢南3	24'52'01	金子 幸平 中野実2	25'18'31	清水 英彦 東海三3	25'54'91	市川 光 野沢南2	25'57'73	佐藤 俊宏 松川2	
4×100m リレー		※	山田信明3	◎	丸山晃広3		藤澤雄馬2		沖村智3		清水崇良1		平塚和幸2	
		◎	木内歩3	◎	宮入義勝1		久保田晃夫2		奥村祥3		炭牧祥隆2		萩原信幸2	
			藤原俊行2		小林修3	長野日大	43'63	浅野佳章2	池田工	43'74	深志	43'94	飯田	44'16
4×100m リレー			高橋一将3		高橋邦幸3		野口良治3		大矢陽一3		土井研吾3		勝野大樹3	
			田中哲次3		萩原 馬2		沖村 祥3		北村岳久2		土井研吾3		海野浩司1	
		3'18'21	小林修3	3'20'05	小小平敏3	東海三	3'20'52	沖村 祥3	深志	3'22'07	長野	3'22'44	飯田	3'22'46
		今井洋平3		平林義弘2		大矢陽一3		八木澤一郎2		市瀬重明3		田幸将徳3		
走高跳		1m95	奥村 剛志 上田東3	1m95	金子 良平 伊那北3	1m90	吉村 勝彦 長野工3	1m85	上田 友之 中野実3	1m85	阿部 和也 下伊那1	1m85	福沢 一将 信州工3	
棒高跳		4m90	上杉 丈夫 農ヶ丘2	4m20	白鳥 真也 伊那北1	4m20	唐沢 健 上伊那3	4m10	加藤 渡 信州工3	4m00	山中 宏之 赤穂3	4m00	山崎 祐二 赤穂3	
走幅跳		+1.8 7m07	戸塚 啓介 野沢南2	+1.9 6m32	佐藤 雄治 中野実2	+4.1 6m78	萩原 信幸 伊那北3	+4.6 6m73	関 幸徳 上田2	+2.9 6m71	松沢 昭男 農ヶ丘3	+3.9 6m70	池田 崇 中野3	
三股跳		14m26	近藤 重昭 長野日大3	13m33	野上 和希 長野東3	13m24	金子 良平 伊那北3	13m22	畔上 浩一 中野3	+0.2 13m09	野村 和幸 木曾3	+1.5 12m80	中村 貴徳 長野南3	
砲丸投		14m65	長谷川幸二 篠ノ井3	13m82	太田 正樹 田川1	13m38	内藤 忍 長野ろふ3	13m35	棚沢 敏彦 佐久3	13m14	町田 敏宏 茅野3	13m09	上塚 敏 塩尻2	
円盤投		43m48	長谷川幸二 篠ノ井3	40m10	木内 歩 岩村田3	39m62	北沢 修巳 赤穂3	38m42	今村 武士 染谷丘3	37m56	岡村 康和 東海三3	37m36	前田 祐之 小諸3	
ハンマー投		44m44	宮下 貴弘 松川3	43m90	遠藤 伸二 諏訪実3	43m56	藤田坂道3	41m60	斉藤 究 染谷丘3	40m12	小池 正明 中野3	40m08	荒井 裕可 染谷丘3	
やり投		53m72	内田 賢司 松本工3	51m86	棚沢 大輔 上田3	51m24	大映 慎一 須坂3	50m72	馬場 洋平 野沢南2	50m62	森本 剛史 糠ヶ崎2	49m50	北山 隼二 篠ノ井2	

(女子の部)

期日 H7.6/2~4 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位			
		長野日大 43点		野沢南 23点		諏訪実業 21点		上田染谷丘 19点		田川 18点		中野実業 15点			
		長野日大 33点		野沢南 23点		諏訪実業 21点		長野 14点		中野実業 14点		松本農ヶ丘 9点			
		田川 12点		上田染谷丘 10点		長野日大 10点		岩村田 9点		篠ノ井 8点		松本農ヶ丘 7点			
種目	風力	1位		2位		3位		4位		5位		6位			
		記録	氏名 校名	記録	氏名 校名	記録	氏名 校名	記録	氏名 校名	記録	氏名 校名	記録	氏名 校名		
100m	-0.6	12'84	長崎 寛子 中野実2	13'00	横川 絵美 松ヶ丘1	13'01	日向 理恵 野沢南3	13'05	佐藤 恵 諏訪実3	13'06	曾根美弥子 長野日大3	13'08	依田あゆみ 上田2		
200m	-0.1	25'96	矢野 沙織 長野2	26'11	高畑 志野 農ヶ丘2	26'15	日向 理恵 野沢南3	26'44	曾根美弥子 長野日大3	26'52	成沢真保子 長野日大2	26'79	伊藤 恵 諏訪実3		
400m		57'79	矢野 沙織 長野2	58'01	嶋沢真保子 長野日大2	58'91	高橋 美和 中野西2	59'50	金子 衣花 諏訪実3	59'65	市川 美晴 長野日大3	60'58	清水 奈美 染谷丘3		
800m		2'15'74	小林千穂香 東海三3	2'15'80	岩原 恵美 長野日大2	2'16'95	高橋 美和 中野西2	2'17'57	高橋三紗子 長野日大2	2'18'41	竹内 依織 長野3	2'20'05	遠藤さゆり 野沢北3		
3,000m		9'46'64	嶋沢 美保 諏訪実3	9'53'98	嶋井 美保 諏訪実2	9'56'10	徳永 優子 長野日大2	9'57'64	嶋沢 恵美 弥生丘1	9'59'92	酒井 葉子 諏訪実3	10'16'07	高橋三紗子 長野日大2		
100mH	+5	14'61	細堂 美帆 田川3	14'91	白鳥ひかる 佐久3	14'93	高畑 志野 農ヶ丘2	15'04	長崎 寛子 中野実2	15'37	日向 理恵 野沢南3	15'60	奥島 美佳 松川3		
3,000mW		14'33'53	関 由香里 野沢南2	15'14'31	長井 智子 染谷丘2	15'54'45	柏木 実樹 野沢南2	15'16'72	松田 千枝 染谷丘2	15'17'70	大野 美香 松川3	15'35'21	宮林 宏枝 篠ノ井2		
4×100m リレー			川村未来2		菅原 梢3		山本佳世3		斉木春美2		西澤志織3		宮沢のむす3		
			成澤真保子2		高坂聖絵1	中野実	50'83	大久保京子2	松 高	50'01	平島京子3	和田純枝2	大 町	51'14	金子衣花3
			市川美晴3	長野日大	50'81	山崎琴代1		三澤凉子2		轟見知恵子2		純麻智子2		北藤多恵子3	諏訪実
		曾根美弥子3		長崎寛子2		横川絵美1		日向理恵3		工藤綾子2		伊藤 恵3			
走高跳		1m60	今井久美子 田川3	1m55	小堀外明子 木曾3	1m55	大月 沙織 糠ヶ崎3	1m50	堀 智帆 弥生丘3	1m50	木村 由美 松南3	1m50	山田 恭子 岡谷東2		
走幅跳		+0.2 5m44	山岸久美子 野沢北2	+1.7 5m29	河村 未来 長野日大2	+0.6 5m19	遠山 直子 深志3	+0.4 5m18	田中 美妃 上田3	+0.4 5m12	宮澤 摩耶 糠ヶ崎2	+1.2 5m11	長崎 寛子 中野実2		
砲丸投		10m69	上原 綾 田川1	10m29	三浦 麻美 篠ノ井3	9m96	山口 実樹 更級嵐1	9m88	小林 三奈 弥生丘3	9m67	斉藤 裕美 大町3	9m35	田中 輝子 塩尻3		
円盤投		34m30	宮下 美穂 染谷丘3	32m88	日向 千春 岩村田3	32m42	六川 知子 染谷丘2	30m68	三浦 麻美 篠ノ井3	29m98	出崎 隼 松川2	29m80	嶋沢 里美 塩尻3		
やり投		36m90	酒井希世美 長野西2	33m52	吉澤 礼子 長野日3	33m28	須江 清華 岩村田3	33m06	木村 由美 松南3	32m36	根岸 里見 中野西3	32m10	松本 梢 糠ヶ崎2		

長野県高等学校新人体育大会 (男子の部)

期日 H7.10/13~15 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table with columns for event (種目), wind (風力), and 6 positions (1位 to 6位). Each position lists the athlete's name (氏名) and school (校名). Events include 100m, 200m, 400m, 800m, 1.500m, 5.000m, 110mH, 400mH, 3.000mSC, 5.000mW, 4x100mリレー, 4x400mリレー, 走高跳, 棒高跳, 走幅跳, 三枚跳, 砲丸投, 円盤投, ハンマー投, やり投, and 8種競技.

(女子の部)

期日 H7.10/13~15 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table with columns for event (種目), wind (風力), and 6 positions (1位 to 6位). Each position lists the athlete's name (氏名) and school (校名). Events include 100m, 200m, 400m, 800m, 1.500m, 3.000m, 100mH, 400mH, 3.000mW, 4x100mリレー, 走高跳, 走幅跳, 砲丸投, 円盤投, やり投, and 7種競技.

長野県高等学校総合体育大会（男子の部）

期日 H8.5/31~6/2 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table showing school names and points for various categories. Columns include school name, points, and medal colors (gold, silver, bronze).

Main table of sports results for boys' events. Columns include event name, wind, 1st-6th place records with names and schools, and medal status.

(女子の部)

期日 H8.5/31~6/2 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

Table showing school names and points for girls' categories. Columns include school name, points, and medal colors.

Main table of sports results for girls' events. Columns include event name, wind, 1st-6th place records with names and schools, and medal status.

長野県高等学校新人体育大会 (男子の部)

期 日 H8.10/11~13 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点	順位					
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
総合	長野日大 89点	岩村田 50.5点	長野 47点	須坂 46.5点	中野実業 43点	伊那北 37点
トランプ						
フィールド						

種目	風力	1			2			3			4			5			6		
		記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
100m	-1.3	11'16	山口 光	岩村田2	11'20	宮入 義勝	長野日大2	11'28	松沢 康徳	岩村田2	11'47	森本 和樹	岩村田2	11'47	藤本健太郎	松高学館2	11'55	片瀬 謙	松本厚志2
200m	+0.5	22'28	横山 昭仁	長野日大1	22'37	山口 光	岩村田2	22'62	松沢 康徳	岩村田2	23'01	森本 和樹	岩村田2	23'02	河原 克幸	長野日大2	23'18	小池 賢志	諏訪商校2
400m		49'38	海野 浩司	中野実業2	50'11	上野 直樹	上野実業2	50'41	松沢 博幸	茅野2	50'64	横山 昭仁	長野日大1	51'18	市瀬 芳明	阿南2	51'43	松沢 光	大町2
800m		1'59'24	市瀬 芳明	阿南2	1'59'53	和田 裕樹	長野日大2	1'59'54	海野 浩司	中野実業2	2'00'03	宮沢 治幸	須坂2	2'00'73	筑 和波	岡谷2	2'02'41	渡部 芳泰	野沢北2
1,500m		4'01'90	矢野 圭介	長野日大2	4'02'12	田村 亮	中野実業2	4'08'73	戸田 博明	長野日大2	4'09'85	大畑 陽希	木曾2	4'11'88	野々村卓夫	諏訪商校2	4'12'42	矢野 陽介	長野日大2
5000m		15'26'09	伊藤 正幸	松本厚志2	15'29'94	宮入 一海	在久長型2	15'34'74	細井 淳一	在久長型2	15'36'57	福原 初幸	中野実業1	15'39'18	竹村 真	伊那北1	15'42'65	高橋 桂彦	長野日大2
110mH	-0.6	16'09	小林 豊	長野日大1	16'16	油井 伸介	野沢南2	16'22	土屋 智義	中野2	16'25	酒井 通友	伊那北2	16'40	小林 満久	須坂2	16'54	宮本 聡	須坂2
400mH		56'21	上野 直樹	上野実業2	56'50	小林 満久	須坂2	56'61	油井 伸介	野沢南2	57'11	山本 晃一	中野実業2	57'47	村山 五月	木曾2	57'50	宮崎 文彦	中野西2
3,000mSC		9'36'41	矢野 圭介	伊那北2	9'44'03	小嶋 卓也	在久長型2	9'46'47	高橋 桂彦	長野日大1	9'49'08	岩間 敬裕	上田2	9'50'68	大野 玄	在久長型2	10'02'68	柳澤 謙	松本工業2
5,000mW		24'26'30	下平 賢哉	飯田2	25'36'64	伊波 諒	松川2	26'17'86	大井 哲哉	野沢北2	26'59'16	金子 直樹	長野日大2	27'58'14	友野 直樹	野沢南2	28'00'92	山崎 悠	須坂1
4 × 100m リレー		○ 42'63	河原克幸2 戸谷幸一郎2 横山昭仁1 宮入義勝2	長野日大	43'13	岡部健史2 森本和樹2 松沢康徳2 山口光2	岩村田	44'27	伊藤 昇2 勝野 淳1 片瀬 謙2	松本厚志	44'40	福米一樹1 池田 聡2 丸山智洋2 雨澤一平2	中野実業2	44'49	中島正和2 伝田恭章2 岡谷信一1 雨澤茂幸2	篠ノ井	45'09	塚田 剛1 和田卓也2 近藤大輔2	長野日大2
		3'23'18	森井祐樹1 和田裕樹2 河原克幸2 横山昭仁1	長野日大	3'23'88	駒沢 健1 吉田真昭2 新津 崇1 小林 豊1	長野	3'25'08	橋沢一行2 山本晃一2 池田 聡2 海野浩司2	中野実業	3'26'96	横田 謙2 小林満久2 日黒 結2 宮沢治幸2	須坂	3'29'19	高田友之1 星野 祐2 斉藤 渉2 松本雅之鶴2	3'29'32	小池賢志2 熊谷 聖2 堀内弘晃2 宮原大貴2	諏訪商校	長野日大2
走高跳		1m95	吉田 剛	小諸1	1m95	小林 豊	長野日大1	1m85	松下 和雄	伊那北2	1m83	高野 謙吾	長野日大1	1m83	坂谷 健	長野日大2	1m80	細野 賢	長野日大2
棒高跳		4m20	白鳥 真也	伊那北2	3m90	松橋 拓三	長野日大2	3m80	山野井信彰	松本厚志1	3m80	野村真佐也	長野日大2	3m60	雨角 忠	岡谷南2	3m00	守屋 亮臣	茅野2
走幅跳		(+0.8) 6m89	宮入 義勝	長野日大2	(+0.5) 5m47	戸谷幸一郎	長野日大2	(+0.1) 6m45	滝口 和彦	須坂2	(+0.7) 6m38	近藤 大輔	長野日大2	(+2.1) 6m31	永原 浩希	飯田2	(+1.1) 6m16	南原 敏史	松本厚志1
三段跳		(0.2) 13m28	南原 敏史	松本厚志1	(+1.2) 13m19	土屋 智義	中野2	(+1.9) 12m86	小林 満久	須坂2	(+1.5) 12m59	滝口 和彦	須坂2	(1.8) 12m66	奥村多加志	在久長型2	(+0.9) 12m63	藤本健太郎	松高学館2
砲丸投		13m72	大田 正樹	田川2	13m33	宮川 秀雄	長野日大2	12m23	牛越 寛生	松代2	12m17	本木 克典	長野日大1	11m69	油井 春彦	野沢北2	11m78	斉藤 正樹	松本厚志1
円盤投		44m76	池田 直人	中野2	39m94	宮入 弘光	長野日大2	38m74	山口 大輔	篠ノ井2	38m42	宮川 秀雄	長野日大2	37m46	油井 春彦	野沢北2	36m56	大田 正樹	田川2
ハンマー投		48m30	牛越 寛生	松代2	40m10	荻 孝明	諏訪商校2	39m20	西澤 佑介	長野日大2	39m04	大田 正樹	田川2	38m46	東條 香寿	北部1	36m94	井上 大輔	松本厚志1
やり投		50m98	伊藤 文	松本厚志2	50m38	白鳥 真也	伊那北2	48m88	油井 伸介	野沢南2	47m08	小林 永樹	塩尻1	46m92	給木 竹雄	塩尻1	46m74	木内 崇文	岩村田2
8種競技		4478	吉田 剛	小諸1	4144	赤穂 勝貴	松本厚志2	4045	土屋 智義	中野2	3972	岡本 拓海	須坂東2	3923	大塚 龍	松川2	3905	酒井 孝輔	上田2

(女子の部)

期 日 H8.10/11~13 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点	順位					
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
総合	東海大第三 74点	中野実業 71点	松本操々崎 47点	岩村田 36点	長野 35点	長野日大 30点
トランプ						
フィールド						

種目	風力	1			2			3			4			5			6		
		記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名
100m	0.0	12'90	千代 薫	諏訪実業2	13'04	横川 絵美	松高学館2	13'15	三枝 夏季	諏訪二業2	13'22	井原 裕美	在久長型2	13'28	阿田紗矢香	長野日大1	13'34	山崎 琴代	中野実業2
200m	+1.5	26'40	横川 絵美	松高学館2	26'47	宮下麗乃美	松高厚志2	26'66	阿田紗矢香	長野日大1	26'69	千代 薫	諏訪実業2	26'88	町田 千智	上田東2	27'33	栗 裕美	松本厚志1
400m		59'79	小沢 知史	松高厚志2	59'92	中島 あや	松高厚志2	60'15	阿田紗矢香	長野日大1	60'60	高橋 友子	須坂2	60'66	掛川友紀子	野沢南2	60'93	相場 桂子	上野実業2
800m		2'16'33	小沢 知史	松高厚志2	2'19'72	中郷由香利	在久長型2	2'20'19	柏木 真澄	野沢南2	2'22'19	掛川友紀子	野沢南2	2'24'31	宇田 由佳	在久長型2	2'24'96	原田 美香	松高厚志2
1500m		4'45'57	小沢 知史	松高厚志2	4'51'35	吾妻 薫	長野日大2	4'52'94	ビスカス ツバキ ヨシノボリ	松高厚志2	4'54'33	木村 美香	田川2	4'59'06	南沢由佳里	長野日大1	5'00'85	小池ゆかり	諏訪実業1
3000m		10'03'22	吾妻 薫	長野日大2	10'13'33	倉科真美子	在久長型2	10'16'14	小山美由紀	在久長型2	10'24'64	関 麻由子	在久長型2	10'35'46	木村 美香	田川2	10'40'52	南沢由香里	長野日大2
100mH	-0.4	15'81	横井久美子	松高学館1	15'95	山崎 琴代	中野実業2	16'27	河野 綾子	伊那北2	16'46	菅沼 友紀	飯田厚志2	16'86	井原 裕美	在久長型2	17'03	倉沢 和枝	在久長型1
400mH		66'13	掛川友紀子	野沢南2	66'78	柏木 真澄	野沢南2	67'08	宮崎 祐子	松高厚志1	70'66	櫻山ゆかり	下諏訪商校2	72'71	須江 知美	野沢南1	72'81	島村 美香	松高厚志2
3000mW		16'18'51	米川 真代	野沢南2	16'40'24	伊藤 香	飯田女子2	16'49'60	市川さゆり	野沢南2	17'19'28	須江 知美	野沢南1	17'48'22	高見 一枝	松川2	18'06'83	高橋 絵美	松代2
4 × 100m リレー		50'96	宮崎祐子2 坂住千鶴2 中島あや2 高角八千代2	東海大第三	51'07	竹枝美智恵2 横澤るりこ1 横井久美子1 松川絵美2	松高学館	51'13	轟 幸枝2 頼所由梨1 阿田紗矢香1	長野日大	51'33	藤原奈美2 津金かおり2 降旗伴美1 千代 薫2	諏訪実業	51'44	井原裕美2 笹森裕美1 井戸由美2	在久長型2	61'98	山崎琴代2 丸山朝美2 高板梨絵2	中野実業
		1m55	増田 知史	田川1	1m55	兒玉 和恵	上田2	1m50	大久保あゆ美	夏島厚志1	1m50	原 のり子	中野実業1	1m45	諏訪 律子	松高学館1	1m45	丸山 明香	松高厚志1
走高跳		(+1.3) 5m35	井原 裕美	在久長型2	(+0.8) 5m17	坂住 千鶴	松高厚志2	(+1.9) 5m15	三枝 夏季	諏訪二業2	(+1.9) 5m13	塚田はるみ	長野日大	(+0.7) 4m82	林 恵美	松川2	(+1.2) 4m81	司 裕子	在久長型2
走幅跳		○ 11m83	上原 綾	田川2	10m20	丸山 里佳	松本厚志1	9m85	津田 詩織	諏訪商校2	9m58	竹内 美夏	須坂厚志1	9m33	山崎紗矢香	松高厚志2	9m21	斉川和佳奈	松本厚志1
砲丸投		34m88	上原 綾	田川2	32m02	横谷 仁美	岩村田2	30m16	丸山 里佳	松本厚志1	28m80	竹内 美夏	須坂厚志1	27m74	樋口 郁絵	上野実業2	27m04	金井 春香	野沢北1
円盤投		40m64	片桐 留子	松代1	38m96	高見沢 円	在久長型2	36m94	斉川和佳奈	松高厚志1	33m18	小口 則子	松本厚志1	31m18	伊藤 千里	須坂2	29m00	清水 恵美	野沢北2
やり投		3730	坂住 千鶴	松高厚志2	3412	丸井 文恵	飯田女子2	3347	河野 綾子	伊那北2	3304	津田 詩織	諏訪商校2	3036	塚田はるみ	長野日大1	2911	上原 千佳	野沢南1

長野県高等学校総合体育大会 (男子の部)

期日 H9.5/30~6/1 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
		記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名
100m	-0.3	11'04	下平 正明	11'11	松沢 康徳	11'12	山口 光	11'13	宮入 義勝	11'25	宮田 英典	11'37	堀内 弘晃
200m	±0	22'07	横山 昭仁	22'42	山口 光	22'52	松沢 康徳	22'70	河原 克幸	22'76	小池 賢司	22'89	片瀬 徹
400m		48'45	横山 昭仁	49'67	新津 崇	49'69	市瀬 秀明	49'94	松沢 博幸	50'20	市村 悠	50'23	宮坂 大朗
800m		1'54'18	佐藤 清治	1'56'57	市瀬 秀明	1'57'08	橋沢 裕貴	1'58'19	和田 裕樹	1'58'35	濱 和波	1'58'36	山本 卓史
1,500m		4'03'52	佐藤 清治	4'05'31	中川 敬介	4'05'34	矢野 圭介	4'08'33	張 昌弘	4'08'58	野々村 卓美	4'09'57	永島 貴史
5,000m		15'14'14	矢野 圭介	15'15'90	矢野 誠	15'17'36	伊藤 正幸	15'18'86	高橋 桂彦	15'20'60	宮入 一海	15'35'93	木藤 良彦
110mH	+0.9	15'19	小林 豊	15'73	土屋 智義	16'83	油井 伸介	15'94	酒井 遼友	15'95	小林 謙久	16'14	西尾 洋介
400mH		54'41	小林 豊	55'05	油井 伸介	55'56	上野 直樹	56'88	高野 浩司	57'08	村山 五月	57'09	小林 和幸
3,000mSC		9'23'39	矢花 誠	9'27'96	宮入 一海	9'30'48	高橋 桂彦	9'30'50	小嶋 拓也	9'41'06	大原 威雄	9'41'63	北原 英一
5,000m W		23'11'26	下平 賢哉	23'54'30	西澤 大作	24'27'75	大井 哲哉	24'48'52	吉澤 永一	24'54'06	高橋 真悟	25'13'10	平出 和也
4 × 100m リレー		※○ 42'02	河原克幸3 下平正明2 横山昭仁2 宮入義勝3	長野日大 43'16	大井宗紀3 森本和樹3 松沢康徳3 山口光3	岩村田 43'46	宮川卓也1 池田聡3 丸山智洋3 柳沢一行3	中野実業 43'53	黒柳知志2 穴戸卓矢2 吉田基昭3 新津崇3	長野 43'77	吉川久基2 伊藤昇3 勝野淳2 片瀬徹3	松本深志 44'06	丸山久基3 勝野卓2 山本玄和3 藤本健太郎3
4 × 400m リレー		3'20'70	河原克幸3 和田裕樹3 下平正明2 横山昭仁2	長野日大 3'22'74	宮田英典3 松沢光3 一柳幸雄2 大日方泰典3	大町 3'25'38	小池篤志3 能谷 豊3 堀内弘晃3 宮坂大朗3	諏訪清陵 3'25'41	佐藤清治1 佐藤雅彦3 森向真樹1 市村 悠3	佐久長型 3'26'32	駒沢 健2 吉田基昭3 小林 豊2	長野 3'26'47	山本晃一3 池田 聡3 有賀 隼3 高野浩司3
走高跳		2m00	阿部 和也	1m95	細野 賢	2位 1m95	高野 謙吾	1m95	吉田 剛	1m95	岸田 亮	1m90	奥村多加志
棒高跳		4m40	白鳥 真也	4m10	野村真佐也	4m10	守屋 英臣	4m00	北原 正夏	3m90	山野井真彰	3m80	深町 知哉
走幅跳		-1.3 6m78	下藤 正紀	+0.6 6m71	宮入 義勝	+0.9 6m44	一柳 幸雄	+0.4 6m33	神田 卓史	+0.2 6m30	宮本 聡	-0.9 6m25	岡本 拓海
三段跳		+1.0 13m30	松下 和雄	+0.7 13m28	松代 2	+2.3 13m28	村山 五月	+0.1 13m16	酒井 剛一	+0.7 13m15	松川 3	-0.1 13m09	中島 正和
砲丸投		14m02	宮川 秀雄	13m59	大田 正樹	13m44	小林 永樹	12m61	佐藤 祥平	12m41	青藤 正樹	12m16	油井 春彦
円盤投		42m58	宮川 秀雄	41m70	池田 直人	41m42	宮入 弘光	40m34	井上 大輔	40m28	山口 大輔	38m90	太田 康博
ハンマー投		45m56	牛越 寛生	45m02	院 孝明	44m54	西澤 佑介	42m88	東條 香壽	42m84	井上 大輔	39m74	太田 正樹
やり投		52m72	伊藤 文	52m22	関藤 哲也	50m50	白鳥 真也	49m36	木内 崇文	49m30	油井 春彦	49m04	赤澤 勝貴

(女子の部)

期日 H9.5/30~6/1 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位	
		記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名	記録	氏名
100m	+0.5	12'55	藤原 香織	12'87	三枝 夏季	12'88	横川 絵美	12'91	青木 千史	12'98	千代 薫	12'99	細谷 優子
200m	-1.3	26'24	藤原 香織	26'40	岡田紗矢香	26'60	青木 千史	26'64	宮下龍乃美	26'78	三枝 夏季	26'78	横川 絵美
400m		58'73	岡田紗矢香	60'12	高橋 友子	60'17	島村 美香	60'33	柴 裕美	60'52	金森 温子	60'61	小沢 知史
800m		2'16'26	高木沙知代	2'16'48	小沢 知史	2'18'89	八反田恵紀	2'18'99	登内 理恵	2'19'20	倉科真美子	2'19'49	中瀬由香
3,000m		9'51'22	登内 理恵	9'51'51	倉科真美子	9'52'14	吾妻 薫	9'56'99	滝沢 恵美	9'58'08	高木沙知子	10'00'50	関 麻由子
100mH	+1.7	15'33	山崎 琴代	15'64	河野 綾子	15'83	横井久美子	15'99	土田 真理	16'09	倉沢 和枝	16'63	小原 裕子
3,000m W		15'43'49	米川 真代	16'01'59	須江 知美	16'07'34	市川さゆり	16'16'09	菊地 摩耶	16'19'69	伊藤 香	16'40'17	高見 一枝
4 × 100m リレー		50'18	宮澤千恵3 池内雅恵2 島村美香3 藤原香織2	横ヶ崎 50'25	星山はな3 青木千文2 小原裕子3 宮下龍乃美3	美須 50'83	高梨梨絵3 原のり子2 丸山朝美3 山崎琴代3	中野実業 51'04	竹内美智恵3 清沢もり子2 横井久美子2 横川絵美3	松商学園 51'11	小林夏子1 轟 幸枝3 頼所由梨2	長野日大 51'19	藤原奈美3 津金おかり3 土田真理2 千代 薫2
走高跳		1m65	大久保あゆ美	1m60	増田 知史	1m50	中村亜由美	1m50	杉山 由美	1m50	上原なつみ	1m50	高野 幸恵
走幅跳		-0.7 5m31	井原 裕美	-0.9 5m26	茂住 千鶴	+1.8 5m28	小田切智恵	+0.7 5m10	三枝 夏季	-0.9 4m98	宮沢 千恵	横ヶ崎3	林 恵美
砲丸投		12m36	上原 綾	11m03	宮坂由紀子	10m29	坂井 文恵	10m07	津田 詩織	9m79	津田 詩織	9m48	山崎 沙織
円盤投		37m22	宮坂由紀子	34m00	上原 綾	32m18	樋口 郁映	30m22	小松 志保	30m22	茂呂 仁美	28m86	山崎 沙織
やり投		43m96	片岡 涼子	38m98	高見 円	35m08	小口 則子	34m40	伊藤 千里	33m60	青川和佳奈	32m82	中島美由香

長野県高等学校新人体育大会（男子の部）

期日 H9.9/12~14 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位							
		長野日大	98.5点	長野	64点	東海大第三	49点	松代	48点	佐久長型	46.5点	須坂園芸	35点						
種目	風力	1		2		3		4		5		6							
		記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名						
100m	-0.1	10'91	下平 正明	長野日大	11'37	下藤 正紀	松代2	11'44	宮川 卓也	中野実1	11'48	佐野 貴史	東海三2						
200m	+1.7	22'05	下平 正明	長野日大	23'01	遠崎 友樹	茅野1	23'07	宮川 卓也	中野実1	23'12	北原 敬介	田川2						
400m		50'37	新津 崇	長野日大	50'49	北原 敬介	田川2	50'88	平澤 雄輔	伊那北2	51'11	西田 友之	横ヶ崎2						
800m		1'53'13	佐藤 清治	佐久長1	1'59'78	山本 卓美	染谷丘2	2'00'15	林 善史	諏訪実2	2'01'11	市崎 圭一	松島1						
1,500m		3'57'59	宮入 一海	佐久長2	4'00'27	高橋 桂透	長野2	4'07'51	中川 敬介	東海三2	4'10'73	松崎 雄介	佐久長2						
5,000m		14'45'11	高橋 桂透	長野日大	14'56'82	永島 貴史	東海三2	14'52'07	塩川 健司	東海三2	14'57'34	高見沢 勝	佐久長1						
110mH	+3.3	15'42	小林 豊	長野日大	15'84	木崎 逸斗	木曾1	15'90	小島 良	中野2	16'10	小池 英晃	長野日1						
400mH		54'52	小林 豊	長野日大	56'72	梅本 陽介	東海三2	57'42	寺島 将志	染谷丘2	57'87	田中 大吾	長野日2						
3,000mSC		9'39'20	関 英次	岩村田2	9'42'86	田村 良樹	諏訪清2	9'43'81	鍋西 和也	上伊良2	9'45'81	長谷川久嗣	長野日2						
5,000mW		22'08'88	吉澤 永一	飯田2	22'12'58	西澤 大作	篠ノ井2	24'10'15	町田 創史	長野西2	25'40'81	山崎 悟	須坂2						
4 × 100m リレー		42'57	森井祐樹2 山下正明2 横山昭仁2 神田卓実1	長野日大	43'80	小林 豊2 穴戸卓矢2 黒橋知志2 新津 崇2	長野	44'16	百瀬太部2 池田 晃2 高砂祐二1	長野日1	44'45	篠ノ井2 中野実美 有賀 絵2 金沢清人1	宮川卓也1 萩原部一2 中野実美 黒谷誠一1 前山新二2	44'88	大澤裕介2 黒谷誠一1 前山新二2 下藤正紀2	松代2	44'88	百瀬俊博2 南原敦史2 西田友之2 丸山 啓2	須坂園芸2 須坂園芸2 須坂園芸2
		3'21'84	山下正明2 村崎伸之2 江尻一成2 横山昭仁2	長野日大	3'24'06	小林 豊2 黒橋知志2 新津 崇2	長野	3'29'50	千野州行1 野田 剛2 宮武和広2	長野日1	3'29'58	片桐 純2 丸山 啓2 橋沢孝行2 西田友之2	須坂園芸2	3'30'09	百瀬太部2 高砂祐二1 芦田 学2 池田 晃2	須坂園芸2	3'33'84	小野邦生1 高橋真人1 川田健明2 熊谷 純3	須坂園芸2
		1m95	吉田 剛	小 謙2	1m90	高野 謙吾	吉田2	1m85	下倉 剛雄	篠ノ井2	1m80	小池 英晃	長野日1	1m75	宮澤 勝宏	飯田工2	1m75	岩片 知広	佐久長2
標高跳		4m10	山野井信彰	東海三2	4m10	北原 正寛	上伊良1	4m00	木山 辰徳	筑輪工1	3m90	萩野 直直	長野日1	3m80	深町 知哉	染谷丘2	3m60	宮坂 智臣	茅野2
走幅跳		7m38	下藤 正紀	松代2	+4.5 6m86	神田 卓実	長野日1	+5.5 6m86	一関 幸雄	大町2	+3.3 6m43	山野井信彰	東海三2	+4.0 6m34	長沼 賢吾	飯田2	+1.4 6m30	田口 正剛	上伊良2
三段跳		13m62	奥村多加志	佐久長2	12m89	下倉 剛雄	篠ノ井2	12m85	南原 敦史	横ヶ崎2	12m78	原 卓也	深志1	12m65	久保井康典	染谷丘2	12m57	原田 篤志	野沢南2
砲丸投		13m12	遠藤 邦彦	辰野2	12m94	本木 克典	長野日2	12m83	佐藤 洋平	長野日2	12m32	片桐 謙2	下伊良1	11m85	小林 永樹	塩尻2	11m14	中島 務	松本工1
円盤投		42m56	井上 大輔	須坂園芸2	35m24	花形 康宏	松代2	34m90	酒井 晋也	松代2	33m54	坂口 聡	中野2	31m98	佐藤 洋平	長野日2	31m62	松野 大輝	長野日2
ハンマー投		48m30	井上 大輔	須坂園芸2	43m30	東條 香典	北 部2	39m66	花形 康也	松代2	34m72	宮島由香利	松代2	33m54	滝沢 健大	須坂園芸2	33m08	須坂園芸1	須坂園芸1
やり投		51m50	小林 永樹	塩尻2	47m46	坂口 聡	中野2	47m38	近藤 友樹	松代1	45m22	清水 貴弘	大町2	44m78	畔上 翼	須坂園芸2	44m26	本木 克典	長野日2

(女子の部)

期日 H9.9/12~14 ※=県高校新 ◎=県高校タイ ○=大会新 △=大会タイ

得点 学校名	順位 総合 トラック フィールド	1位		2位		3位		4位		5位		6位							
		中野実美	63.5点	佐久長型	58点	長野日大	42点	松代	38.5点	松本横ヶ崎	38点	野沢南	31点						
種目	風力	1		2		3		4		5		6							
		記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名						
100m	0.0	12'85	藤原 香織	横ヶ崎2	12'97	原 のり子	中野実2	13'10	清水 美恵	野沢南2	13'11	秋元 春奈	中野実1						
200m	0.0	25'89	岡田紗矢香	長野日大	26'69	竹内 晶子	佐久長1	26'98	秋元 春奈	中野実1	27'05	青木 千史	美須+1						
400m		58'64	岡田紗矢香	長野日大	60'48	柴 裕美	篠ノ井2	60'71	和田 香織	穂高南1	60'96	内田 絵美	中野実2						
800m		2'20'05	八反田亜紀	染谷丘2	2'20'09	和田 香織	穂高南1	2'21'41	登内 理恵	伊那北1	2'22'33	中澤 綾子	佐久長1						
1,500m		4'56'63	平田 由佳	佐久長2	5'00'16	近藤 美咲	中野実1	5'00'41	小林 みや	長野西2	5'01'67	小島 恵理	飯田2						
3,000m		10'04'22	登内 理恵	伊那北1	10'30'07	中澤 綾子	佐久長1	10'33'85	南澤由香里	長野日2	10'38'50	近藤 美咲	中野実1						
100mH	-0.48	15'20	横井久美子	松島2	15'27	宮崎 和枝	佐久長2	15'72	土田 真理	諏訪実2	16'39	藤原 志保	篠ノ井1						
400mH		67'69	内田 絵美	中野実2	68'71	宮崎 祐子	東海三2	69'14	上原 千佳	野沢南2	70'51	小林 千夏	吉田2						
3,000mW		16'00'45	須江 知美	野沢南2	16'53'86	黒川 和美	田川2	17'18'56	藤田 朋美	松代1	17'48'23	宮島由香利	松代2						
4 × 100m リレー		50'66	横所由梨2 榎村美保1 小林夏子1 岡田紗矢香2	長野日大	50'72	内田絵美2 秋元春奈1 滝沢綾子2 原のり子2	中野実美	51'57	六川綾子2 竹内晶子1 倉沢和枝2 笹森裕美2	佐久長型	52'07	藤田真由美1 山口香織1 橋根愛紀1 荒井絵美2	長野西	52'38	新村春美2 池内理恵2 平谷清美2 藤原香織2	横ヶ崎	52'66	奥原育子1 榎本りり子2 上藤朋子1 横井久美子2	松島学園
		1m50	原 のり子	中野実2	1m50	杉山 由美	長野東2	1m46	中村亜由美	中野実1	1m45	大久保志歩美	更級農2	1m45	増田 知史	田川2	1m45	上原なつみ	松代2
		+1.6 5m43	小田切智恵	東海三1	+2.7 5m10	塚田はるみ	長野日大	+1.4 4m85	中山 佳子	染谷丘2	+3.4 4m89	宮島 栄子	向 陽1	+0.8 4m88	藤田栄理子	雁代1	+2.9 4m85	佐久 恭子	諏訪清1
砲丸投		10m92	坂井 文恵	岩村田1	9m82	竹内 美夏	須坂園芸2	9m68	竹重 舞	佐久長1	9m65	片桐 涼子	松代2	9m34	林 さくら	長野日1	9m04	斉川和佳奈	横ヶ崎2
円盤投		29m72	坂井 文恵	岩村田1	27m00	松田 晃奈	横ヶ崎2	25m80	岩井 真実	岡谷東2	25m70	斉川和佳奈	横ヶ崎2	25m62	滝沢 衣美	松代2	24m20	中山 千晶	野沢南1
やり投		42m78	片桐 涼子	松代2	37m64	斉川和佳奈	佐久長2	34m50	竹重 舞	佐久長1	33m48	林 さくら	長野日1	31m98	高井かおり	長野日2	31m28	佐藤 恵美	松代2

長野県高等学校駅伝競走大会

男子の部

年度	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
S48	白 田 2' 18' 31	上伊那農業 2' 21' 06	池田工業 2' 21' 13	松本工業 2' 21' 22	更級農業 2' 22' 35	下伊那農業 2' 23' 15
	黒岩・平林・中村・佐々木・北村・梅香・油井	唐沢・宮沢・横山・富永・倉沢・横山・清水	小林・中村・薄井・柳沢・平川・中条・佐藤	小幡・竹岡・丸山・杉本・滝沢・荒崎・野口	西沢・塩野・竹内・五明・真島・今井・岡村	林・佐藤・実原・松沢・東・松下・宮島
49	白 田 2' 25' 30	下伊那農業 2' 28' 13	松本工業 2' 29' 32	阿 南 2' 33' 00	上伊那農業 2' 33' 11	池田工業 2' 33' 12
	黒岩・油井・梅香・中村・柳沢・新井・高見沢	宮島・古沢・実原・佐々木・東・久保田・今村	野口・一柳・丸山・杉本・砂原・竹岡・小野	木下・川手・牧島・上沼・今村・館林・畑野	本田・宮沢・伊藤・木下・横山・那須野・清水	柳沢・今溝・中条・中村・竹内・平林・渡辺
50	飯田長姫 2' 23' 58	池田工業 2' 25' 03	上伊那農業 2' 25' 21	松本工業 2' 25' 51	辰 野 2' 26' 25	白 田 2' 27' 06
51	飯田長姫 2' 24' 09	上伊那農業 2' 24' 42	阿 南 2' 26' 19	池田工業 2' 26' 21	下高井農林 2' 27' 57	蘇 南 2' 30' 46
	杉本・木下真・佐々木・木下春・中塚・清水・吉川	本田・唐沢輝・斉藤・木下・宮沢・唐沢政・市ノ瀬	佐々木正・村松武・畑野・半崎・川手・松村巧・佐々木基	中山・今溝・新井・戸谷・山田・和田・青柳	丸山・堀崎・竹節・富井・西方・河野・新井	北川・盾・太田・坂野・王滝・半場・田口
52	岡 谷 南 2' 24' 10	池田工業 2' 24' 55	上伊那農業 2' 26' 28	飯田長姫 2' 28' 39	白 馬 2' 29' 05	佐 久 2' 29' 24
	花岡・小林・石倉・高橋・小河原武・小河原義・高木	中山・内川・松沢・戸谷・山田・花沢・武田	斉藤・宮沢・酒井・白鳥・二木・林・唐沢	杉本・木下・宮下・佐々木・柴田・中塚・小池	太田・武田・山田・西沢・北村・福島・長沢	関口・小宮山・長谷川・小林・竹内・畠山・三石
53	岡 谷 南 2' 19' 43	上伊那農業 2' 22' 12	上 田 2' 23' 30	飯 田 2' 23' 34	飯田長姫 2' 25' 35	岩 村 田 2' 26' 23
	高橋・小林・高木・小河原義・五味・増沢・石倉	林・二木・白鳥・酒井・竹村・平沢・新村	松尾・小林・坂田・矢沢・山崎・山田・塩入	宮下・西田・川中島・園原・護原・清水・林	小池誠・林・柴田・山田・宮下・中嶋・小池慎	望月・内堀・山田・大池・猿谷・中嶋・上原
54	伊 那 北 2' 23' 02	上 田 2' 25' 37	岡 谷 南 2' 26' 26	飯 山 北 2' 26' 34	上伊那農業 2' 27' 11	長野吉田 2' 28' 27
	三浦・橋爪・小林・丸山・小沢・登内・竹沢	松尾・小林・矢沢・坂田・塩入・伊藤・山田	小河原・小林・増沢・清水・五味・石倉・長田	前橋・前沢・久保田・上野・萩原・比留間・笹岡	酒井・林・草田・平沢・白鳥・小林・唐沢	玉城・深沢・松本・宮入・野池・春日原・池田
55	伊 那 北 2' 22' 39	上伊那農業 2' 22' 50	飯 山 北 2' 23' 55	中野実業 2' 26' 59	塩 尻 2' 27' 49	上水内北部 2' 28' 22
	三浦・登内・小林・野平・竹沢・清水・小沢	平沢・伊藤・白鳥・吉瀬・小林・草田・唐沢	高橋・藤巻上野・森・萩原・佐藤・笹岡	竹節・和田・宮入・秋元・徳竹・東・山口	前沢・一ノ瀬・大和・嶋崎・辻中・百瀬・村井	善財・黒岩・丸山・伊藤・沢沢・富岡・池田
56	伊 那 北 2' 23' 33	中野実業 2' 24' 38	岩 村 田 2' 25' 04	上水内北部 2' 26' 31	赤 穂 2' 27' 07	松本蟻ヶ崎 2' 27' 13
	野平・井口・小林・羽生・竹沢・清水・小沢	竹節・山本・宮入・東・秋元・山口智・山口辰	早川・山崎・宮沢・飯島・甘利・井出・宮沢賢	伊藤・小林・善財・丸山・吉岡・沢沢・木田	村松・宮下・小沢・下平・竹村・久保田・蟹沢	鳥羽・宮嶋・高木・小松・浦田・河野・藤松
57	上伊那農業 2' 19' 29	松本蟻ヶ崎 2' 23' 56	岩 村 田 2' 24' 20	赤 穂 2' 25' 15	伊 那 北 2' 25' 39	岡 谷 南 2' 27' 54
	小塩智・林・清水・塩沢・小塩政・吉瀬・伊藤	鳥羽・高木・甕・下田・大谷・河野・小松	早川・相場・飯島・宮沢・木内・上原・甘利	村松・熊谷・久保田・竹村・小沢・上山・田中	岩村・羽生・井口・野平・久保村・鎌倉・橋倉	増沢・楡井・大場・横内・牛山・唐沢・赤羽
58	上伊那農業 2' 23' 03	岩 村 田 2' 26' 08	赤 穂 2' 28' 43	池田工業 2' 31' 29	松本蟻ヶ崎 2' 31' 40	飯 田 2' 32' 07
	塩沢・飯島・小塩・清水・小林・中山・春宮	宮沢・上原・相場・依田・土屋・木内・岸田	村松・熊谷・菅沼・林・宮下・福島・春宮	西沢・等々力・高橋・長沢・藤沢・横沢・塩原	下田・木村・甕・大谷・腰原・丸山・河野	藤沢・柴田・中島・木下・内田・北島・吉沢
59	上伊那農業 2' 16' 17	飯 田 2' 16' 35	岩 村 田 2' 16' 35	篠ノ井 2' 17' 47	伊 那 北 2' 19' 14	上 田 2' 21' 00
	中山・原・清水・松村・宮崎・伊藤・唐沢	藤沢・塚田・中島・木下・萩元・北島・佐々木	上原・土屋・依田・木内康・三石・木内範・岸田	今井・渡辺・中村・室賀・栗林・田口・酒井	松村・気賀沢・和田・小島・北條・辰野・伊藤	清野・柳沢・竹花・平田・山岸・馬場・神村

60	上伊那農業 2' 21' 23	飯 田 2' 25' 00	伊 那 北 2' 25' 07	篠ノ井 2' 25' 37	松本深志 2' 26' 27	松本巖崎 2' 28' 20
	宮崎久・原・中原・伊藤・飯島・宮崎政・中山	藤沢・萩元・木下・佐々木・塩沢・北島・塚田	和田・気賀沢・小島・松村・辰野・北条・小沢	今井・柳原・中村・青木・栗林・花岡・渡辺	小平・畑山・矢島・山越・忠地・湯口・和田	米倉・上條・高橋・藤牧・丸山・林・羽田野
61	上伊那農業 2' 15' 32	伊 那 北 2' 20' 29	篠ノ井 2' 22' 37	長野吉田 2' 23' 04	赤 穂 2' 23' 49	松本巖崎 2' 24' 19
	伊藤・松村・中原・原・根橋・宮崎久・宮崎政	小沢・和田・上島・加藤・三沢・飯塚・川口	中村・花岡・渡辺・青木智・村田・青木崇・内田	仲・北山・今井・長原・神林・大久保・片山	大島・宮沢・戸枝・野溝・刈谷・中沢・中山	米倉・羽田野・高橋・藤牧・矢崎・上條・丸山
62	上伊那農業 2' 16' 51	赤 穂 2' 20' 22	松本巖崎 2' 22' 09	岡 谷 南 2' 24' 41	篠ノ井 2' 26' 49	上 田 2' 28' 56
	宮崎・田中・松下・滝沢・近藤・根橋・上島	野溝・中沢・高見・大島・刈谷・中山・戸枝	高橋・上條徹・藤牧・杉村・丸山・木村・上條和	原田・原・長野・伊東・小池・小口・植物	森田・村田・青木智・青木崇・花岡・内田・小林	中村・石原・一本槍・清野・山本・馬場・山田
63	上伊那農業 2' 13' 24	赤 穂 2' 20' 31	上 田 2' 22' 10	松本巖崎 2' 23' 30	岩 村 田 2' 23' 34	松本深志 2' 23' 38
	根橋・上島・松下・田中・赤羽・竹内・原	高見・小沢・大島・竹村・中澤・中山・戸枝	中村・山本・清野・一本槍・石坂・木村・馬場	山田・高橋・平林・中村・大久保・赤羽・塚田	柳沢・武藤・高根・小林・木内・平林・土屋	小田切・大木・斉藤・富永・山本・板花・岩村
H 1	上伊那農業 2' 13' 36	篠ノ井 2' 20' 20	松本深志 2' 21' 47	松本県ヶ丘 2' 22' 08	飯田工業 2' 23' 27	下伊那農業 2' 24' 06
	松下・赤羽・竹内・瀬戸・平山・宮下・上島	森田・野本・池田・島田・中村・近藤・利根川	小田切・大木・板花・岩田・山本・斉藤・赤羽	山田・野沢・中村・村上・倉島・赤羽・平林	松山・山口・吉村・栗沢・御堂島・林・荒井	古田・木村忍・清水・木村彰・岩村・矢島・牛山
2	上伊那農業 2' 15' 37	篠ノ井 2' 23' 53	屋 代 2' 23' 53	中野実業 2' 24' 04	東海大第三 2' 25' 28	野 沢 北 2' 27' 38
	木内・木下・赤羽・瀬戸・宮下敏・宮下衛・三沢	池田・野本・近藤・田中・千代田・中村・渡辺	前島・島田・武田・松本・坂本・渡辺・若林	神津・望月・坪井・上原・黒岩・中嶋・久保田	清水・中島裕・中島秀・中村・後藤・菊池・小沢	東・堀籠・手塚・鎌田・塚田・土屋・増田
3	上伊那農業 2' 15' 19	中野実業 2' 19' 37	東海大第三 2' 20' 04	屋 代 2' 20' 22	篠ノ井 2' 21' 09	大 町 2' 22' 59
	宮下衛・向山・平山・白鳥・園原・羽生・上島	坪井・黒岩・佐藤・神津・中村・中嶋宏・中嶋真	西沢・後藤・中嶋・真藤・小沢・両角・川口	前島・布谷・松本・武田・宮川・島田・渡辺	南沢・田島・中村・近藤・川島・千代田・渡辺	平林・千里・荒井・畑中・小山・宮本・大日方
4	上伊那農業 2' 15' 01	東海大第三 2' 17' 48	大 町 2' 18' 58	松本工業 2' 22' 00	諏訪実業 2' 22' 58	篠ノ井 2' 23' 40
	羽生・向山・長田・園原・白鳥・松下・木下	西澤・滝澤・中嶋・河野・小澤・真藤・山本	荒井・帯刀・平林・宮本・柳川・畑中・大日方	鈴木・森・塩原・山田・高木・宇治・千野	田村・木下・古畑・臼田・酒井・斉藤・牛山	南沢・田島・中村・川島・小山・唐木・小林
5	東海大第三 2' 16' 35	上伊那農業 2' 17' 49	長野日大 2' 21' 43	諏訪実業 2' 22' 32	中野実業 2' 22' 52	松本工業 2' 25' 24
	河野・滝澤・西澤・山本・高橋・真藤・折井	松下・渡辺・田畑・向山・井ノ口・松下・藤沢	山崎・目黒・吉越・諸岡・徳永・松岡・小出	田村・丸茂・牛山・斎藤・内藤・酒井・高橋	鈴木・家塚・小林・黒岩・佐藤・稲田・田幸	鈴木・森・千野・塩原・石坂・高木・山田
6	上伊那農業 2' 13' 29	東海大第三 2' 14' 03	中野実業 2' 17' 46	長 野 2' 20' 00	長野日大 2' 20' 53	飯 山 南 2' 22' 50
	藤沢・向山・田畑・井ノ口・松下・富永・渡辺	河野・植松・山本・鈴木・牧内・高橋・成田	黒岩・田幸・鈴木・酒井・佐藤・稲田・家塚	佐藤・野村・酒井・矢野・川浦・北島・諸田	諸岡・阿部・山崎・小林・竹本・荒井・徳永	山田・湯本・島田・高橋・金井・木内・萩原
7	上伊那農業 2' 11' 42	東海大第三 2' 15' 23	中野実業 2' 17' 53	諏訪実業 2' 20' 29	飯 山 南 2' 22' 46	長 野 2' 23' 35
	藤沢・松下・井ノ口・富永・牛山・滝沢・宮下	鈴木・濱・折井・伊藤・植松・永井・成田	酒井・田幸・黒岩・田村・田中・森下・稲田	山本・宮下・小池・南川・守屋・藤森・伊藤	山田・金井・金丸・服部・高橋・木内・駒村	矢野俊・藤田・酒井・佐藤・八木澤・矢野圭・吉田
8	東海大第三 2' 14' 56	上伊那農業 2' 15' 15	中野実業 2' 17' 01	佐久長聖 2' 17' 19	長 野 2' 20' 30	岩 村 田 2' 22' 30
	鈴木・濱・成田・伊藤・長島・永井・木藤	宮下・唐木・長田・細井・中嶋・宮沢・城田	酒井・森下・田村・田中・小林・黒岩・福原	松崎・山田・宮入・北原・大野・小嶋・大畑	矢野圭・吉田・酒井・高橋・永野・田島・矢野陽	関・矢野・掛川・小川・高橋・須江・高橋
9	東海大第三 2' 11' 19	佐久長聖 2' 12' 10	上伊那農業 2' 17' 25	長 野 2' 18' 40	中野実業 2' 19' 32	伊 那 北 2' 23' 16
	伊藤・中川・濱・永島・原・木藤・塩川	宮入・佐藤・松崎・小島・山田・小出・高見沢	中島・中島・細井・池上・萩原・鎌倉・唐沢	矢野圭・駒沢・高橋・矢野陽・小清水・三宅・嶋田	田村・柳沢・福原・高橋・大沢・小林豊・小林康	矢花・大下・竹下・野村芦辺・田中・平澤

長野県高等学校駅伝競走大会

女子の部

年度	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
S61	阜 月 1' 21' 46	赤 穂 1' 23' 03	伊那北 1' 23' 13	飯田女子 1' 24' 36	篠ノ井 1' 25' 24	野沢南 1' 26' 27
	大桃・郡田・小林・千田・桜沢	福沢・長谷川・橋爪・下村・森田	横山・牧田・渡部・唐沢・遠山	長谷部・今井・馬場田・吉沢・大沢	島田・清水・白石・鈴木・中村	須江・井上・依田・重田・跡部
62	赤 穂 1' 22' 10	松本織ヶ崎 1' 25' 26	飯山北 1' 25' 34	阜 月 1' 25' 54	野沢南 1' 26' 58	辰 野 1' 28' 44
	森田・下村・橋爪・大山口・久保田	本山・藤野・津留・平林・茶屋	田中・高橋・村上・山室・祢津	吉川・森川・土屋・竹内・大桃	須江・山崎・梶原・斎藤・原田	柴・瀬戸・中坪・井口・中谷
63	野沢南 1' 20' 58	阜 月 1' 21' 35	諏訪実業 1' 24' 22	赤 穂 1' 25' 09	伊那北 1' 25' 33	中野西 1' 25' 46
	梶尾・高根・斎藤・須江・原田	桜沢・吉川・倉島・郡田・大桃	浜島・小池・野明・清水・奥田	久保田・向山・大山口・橋爪・篠田	松村・中谷・春日・横山・伊藤	宮崎・関・斎藤・千原
H 1	諏訪実業 1' 16' 36	野沢南 1' 21' 14	下伊那農業 1' 23' 09	須坂東 1' 26' 01	中野実業 1' 26' 16	飯田女子 1' 26' 29
	浜島・奥田・小池・小松・石原	原田・安野・高根・山田・梶原	田畑・竹内・壬生・近藤・原	藤沢・高野・武田・早川・野池	清水・三井・岩崎・湯本・川久保	宮下・沢柳・片桐・久保田・芦部
2	諏訪実業 1' 15' 33	松本県ヶ丘 1' 23' 26	辰 野 1' 24' 33	野沢南 1' 25' 09	下伊那農業 1' 25' 24	篠ノ井 1' 25' 59
	石原・奥田・宮下・小池・上條	手塚・溝口・山浦・高橋・市川	小沢・永井・唐沢・杉本・笠原	安野・篠原・石山・相沢・山田	田畑・竹内・上沼・近藤・原	宮下・大原・立川・宮嶋・山崎
3	諏訪実業 1' 13' 28	飯田女子 1' 21' 09	長 野 1' 24' 50	赤 穂 1' 25' 08	上田東 1' 25' 11	篠ノ井 1' 25' 28
	石原・宮下・小池・奥田・上條	宮下・川尻・片桐・内山・田平	綿内・古川・丸山・和田・北村	宮嶋・向山・野溝・鈴木・小松	寺島・久保田・小林・横山・南波	宮下・近藤・宮坂・峰村・宮川
4	諏訪実業 1' 17' 42	飯山北 1' 23' 09	飯田女子 1' 24' 08	野沢南 1' 24' 19	佐久 1' 25' 18	赤 穂 1' 25' 38
	上條・牧野・山本・三浦・小林	鈴木・山崎・西堀・富井・平野	川尻・篠原・矢沢・脇坂・内山	六川由・小林・畠山・六川佳・友野	大高・中嶋・古林・高根・樽本	宮嶋・鈴木・向山・野溝・小林
5	諏訪実業 1' 18' 27	篠ノ井 1' 19' 56	東海大第三 1' 23' 37	佐久 1' 23' 49	飯山北 1' 24' 35	野沢南 1' 25' 40
	上條・牧野・小林・酒井・三浦	松澤・外山・小出・依田・和田	二木・矢澤・内藤・小林・両角	大高・高根・桃沢・志摩・黒河内	鈴木・山崎・富井・保坂・平野	友野・桜井・六川由・西片・六川智
6	諏訪実業 1' 14' 03	長野日大 1' 17' 33	篠ノ井 1' 20' 25	東海大第三 1' 21' 02	野沢南 1' 22' 28	阿 南 1' 23' 20
	上條・碓井・三浦・滝沢・酒井	桜井・高橋・羽生田・岩原・徳永	外山・小出・若林・市村・滝沢	小林・内藤・日下部・上田・両角	渡辺・関・跡部・友野・菊池	生島・伊藤・宮沢・松村・宮島
7	諏訪実業 1' 12' 14	長野日大 1' 17' 01	東海大第三 1' 18' 21	篠ノ井 1' 18' 33	野沢南 1' 21' 12	田 川 1' 22' 07
	滝沢・碓井・浦・伊藤・酒井	高橋・岩原・吾妻・桜井・徳永	小林・小沢・五味・上田・ビレスタコスタペロニック	外山・市村・若林・外山・毛利	渡辺・関・跡部・工藤・岡部	木村・室井・腰原・中嶋・松田
8	佐久長聖 1' 14' 59	諏訪実業 1' 15' 32	長野日大 1' 17' 27	東海大第三 1' 22' 16	長 野 1' 23' 03	野沢南 1' 23' 45
	中瀬・倉科・関・半田・小山	碓井・浦・佐藤・伊藤・高木	吾妻・徳永・岩原・落合・高橋	小沢・ビレスタコスタペロニック・上田・内藤・五味	南沢・春日・矢野・山岡・青木	関・渡辺・掛川・柏木・市川
9	諏訪実業 1' 13' 51	佐久長聖 1' 15' 44	中野実業 1' 20' 22	東海大第三 1' 21' 21	長 野 1' 21' 35	長野日大 1' 23' 04
	高木・清水・浦・佐藤・北村	小山・中瀬・半田・中沢・井出	南雲・山崎・滝沢・一色・近藤	ビレスタコスタペロニック・小沢・井口・内藤・五味	南沢・山岡・北島・石井・春日	吾妻・落合・土屋・小林・南條

長野県高等学校新人駅伝競走大会
伊那市総合運動場付属長距離競走路
男子の部

年度	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
6	上伊那農業 2' 14' 15	東海大第三 2' 17' 32	中野実業 2' 22' 12	松 川 2' 25' 18	長 野 2' 26' 43	野 沢 南 2' 31' 34
	藤沢・宮下・井ノ口・丸山・松下・滝沢	鈴木・成田・折井・植松・牧内・小平	田幸・酒井・黒岩・稲田・森下・田中	宮下・進藤・南島・佐藤・原・伊藤	酒井・矢野・佐藤・北島・福沢・野村	徳武・今井・小平・根津・市川・小出
7	上伊那農業 2' 17' 17	東海大第三 2' 17' 34	中野実業 2' 23' 46	岩 村 田 2' 24' 00	伊 那 北 2' 27' 36	諏訪実業 2' 28' 33
	宮下・細井・長田・唐木・宮沢・城田	鈴木・伊東・濱・永井・成田	田村・酒井・黒岩・森下・小林・田中	星野・掛川・小林・高橋・高橋・須江	登内・大沼・矢花・高見・酒井・河井	山本・小池・藤森・清水・中野・守屋
8	東海大第三 2' 15' 46	佐久長聖 2' 19' 00	上伊那農業 2' 21' 01	伊 那 北 2' 24' 08	松 代 2' 28' 16	長 野 2' 28' 40
	伊藤・永島・木藤・濱・塩川・中川	宮入・小島・北原・山田・松崎・北原	池上・櫛原・中島・細井・伊藤・唐澤	竹村・大沼・矢花・高見・木下・登内	山口・倉島・池田・坂上・丸山・近藤	矢野圭・矢野陽・高橋・島田・駒沢・吉田
9	佐久長聖 2' 11' 49 (大会新)	東海大第三 2' 15' 23	中野実業 2' 22' 20	長 野 2' 23' 27	長野日大 2' 24' 58	伊 那 北 2' 26' 58
	松崎・佐藤・宮入・小島・雪入・矢島	塩川・中川・永島・原・徳武・北原	福原・小林・高橋・柳沢・市川・大沢	高橋・島田・矢野・神津・峰岸・三宅	長谷川・山辺・阿久津・江尻・佐藤・大草	竹村・大下・平沢・野村・田中・芦部

長野県高等学校新人駅伝競走大会
伊那市総合運動場付属長距離競走路
女子の部

年度	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
6	諏訪実業 1' 16' 45 (大会新)	篠ノ井 1' 18' 47	長野日大 1' 19' 18	野 沢 南 1' 22' 54	阿 南 1' 26' 54	田 川 1' 29' 44
	酒井・碓井・大澤・樋口・滝沢	外山・若林・小出・市村・滝沢	徳永・桜井・岩原・宮沢・高橋	岡部・渡辺・跡部・工藤・菊池	生嶋・松村・長谷川・宮澤・宮島	松田・室井・中島・腰原・南百瀬
7	長野日大 1' 17' 13	諏訪実業 1' 18' 05	篠ノ井 1' 21' 25	東海大第三 1' 21' 54	野 沢 南 1' 23' 57	田 川 1' 26' 58
	吾妻・徳永・岩原・羽生田・高橋	蒲・碓井・伊藤・佐藤・大澤	外山・若林・黒岩・宮林・毛利	小沢・五味・円藤・荒木・ピレス・タペロニック	関・斉木・藤本・工藤・渡辺	木村・室井・中島・腰原・松田
8	佐久長聖 1' 14' 02 (大会新)	諏訪実業 1' 15' 28 (大会新)	長野日大 1' 21' 08	東海大第三 1' 23' 12	長 野 1' 23' 33	野 沢 南 1' 28' 07
	倉科・小山・中瀬・半田・関	高木・清水・北沢・小池・佐藤	吾妻・落合・麻田・千葉・宮口	小沢・五味・ピレス・タペロニック・荒木・内藤	南澤・春日・山岡・塚田・青木	柏木・掛川・須江・米川・市川
9	諏訪実業 1' 15' 39	佐久長聖 1' 20' 34	長 野 1' 23' 25	伊 那 北 1' 27' 19	野 沢 南 1' 28' 14	中野実業 1' 28' 21
	北村・北沢・清水理・小池・清水睦	半田・井出・中沢・西澤・関	南澤・山岡・北島・塚田・春日	登内・原・松尾・桜井・埋橋	上原・古越・清水・須江・畠山	近藤・滝沢・岡沢・内田・一色

2 柔 道

長野県高体連は発足50周年を迎えました。県高体連柔道部は昭和27年に発足し、第1回全国高等学校柔道大会の長野県予算会を兼ねた県大会が開催され、翌年の昭和28年に第1回長野県高等学校新人柔道大会が開催されました。その後、高体連を始め柔道連盟の先生方の献身的な努力により、柔道専門部も充実し、競技力も向上してきました。本誌には昭和62年度の長野県高体連史の発刊後についてまとめました。

さて、それ以降を顧みますと、長野県高体連柔道部の歴史の中で動きが見られました。

まずは女子柔道です。昭和60年度第8回全国高校柔道選手権大会に、体重別個人戦4階級が新設され、昭和62年度第10回大会より7階級に増設、更に平成2年のインターハイから待望の団体戦が始まりました。それに伴い、長野県でも昭和59年の新人大会より個人戦、平成元年の新人大会から団体戦を実施しました。そして、江崎史子・泉香澄（共に松本松南高校）は日本代表として、昭和62年第5回世界女子柔道選手権大会に出場して、江崎は48kg級準優勝に輝き、又、泉は昭和62年度第10回全国高校柔道選手権大会の56kg級で優勝しました。

次いで競技力の向上です。平成7年、8年には全国高校総体で、男子団体の松本第一高校がベスト8入りを果たし、昭和51年の長野インターハイの中野実業高校以来の入賞を達成しました。又、個人戦でも近年、北信越大会での優勝者や全国大会での入賞者が増えています。その多くの選手は小・中学校更にはそれ以前からの長い経験者であり、かなり高い技術や体力を持っています。又、試合の勝敗は本当に紙一重であり、今後更に全国の上位を目指すには、小学校頃からの継続的な指導体制が必要であると思います。一方、最近は少子化、そして、部員数の減少のため、出場チームを見ると一部の学校を除き団体戦の選手を揃えるのが精一杯であったり、出場校が少なくなっています。又、高校以前からの経験者と、入学後の初心者との実力

差が非常に大きいのが現状です。

最近とかく高校生の行動には色々と批判のある所ですが、長野県柔道大会で見受ける選手や補助員、更には応援者の態度は良好で嬉しい限りです。これは、顧問の先生方の日頃の柔道を通じての人間教育、嘉納治五郎師範の述べられた“精力善用、自他共栄”の精神のご指導の賜であると感謝を申し上げます。

最後に関係者の皆様方の一層のご協力とご指導をお願い申し上げますと共に、今後の長野県高体連柔道部の限りなき発展を祈念致します。

歴代高体連柔道部部長及び委員長

部 長 宮下清計、今江夏夫、小林俊直、新井通明、内山宏志、馬場修司、岩村亀夫、巢山第三郎、嶋岡一蔵、小宮山修、斉藤金司、神林三喜雄

委員長 北沢生吉、篠原義隆、三村成美、青木国作、小林英雄、宮沢喜義、三沢政近、清水泰雄、小山富一、石田和増、中村一幸、細田寿

競 技 記 録

全国高校総体

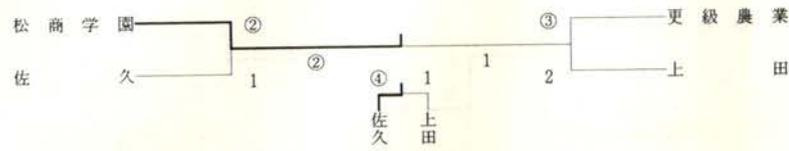
男子個人戦（3位まで）			
平成2年度	重量級	2位	山岸 裕二（更級農業）
平成6年度	軽中量級	3位	上原 英樹（東海大第三）
	軽重量級	3位	中山 三雄（中野実業）
平成8年度	中量級	3位	百瀬 渡（松本第一）

北信越高校総体

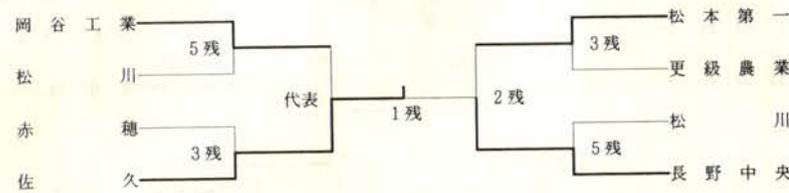
団体戦（3位まで）			
<男子>			
平成8年度	松本第一	3位	
<女子>			
平成6年度	松本第一	3位	
平成7年度	松本第一	2位	
平成8年度	松本第一	2位	
個人戦（優勝者）			
<男子>			
昭和63年度	軽量級	黒岩 匡	（中野実業）
平成4年度	軽中量級	上條 順次	（松商学園）
	重量級	平澤 武夫	（東海大第三）
平成6年度	軽中量級	上原 英樹	（東海大第三）
	中量級	高山 雄太	（松商学園）
平成8年度	軽重量級	中山 三雄	（中野実業）
	軽量級	広瀬 喜広	（松本第一）
平成9年度	中量級	百瀬 渡	（松本第一）
	中量級	青木 和仁	（佐久長聖）
平成9年度	軽量級	高山 司	（松商学園）

（専門委員長 細田 寿）

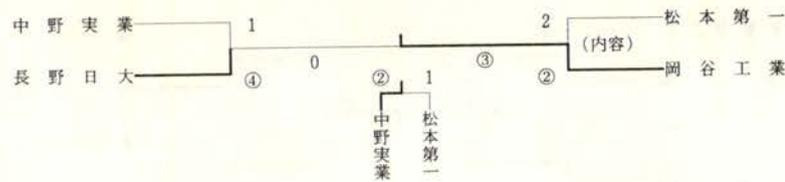
昭和62年度 長野県高等学校総合体育大会
男子



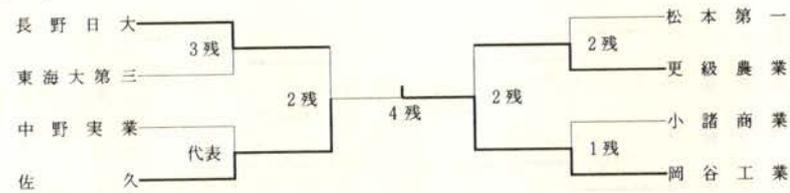
長野県高等学校新人体育大会
男子



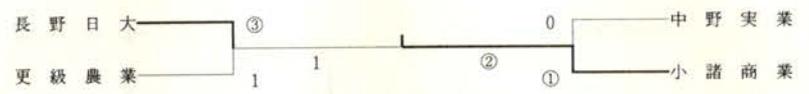
昭和63年度 長野県高等学校総合体育大会
男子



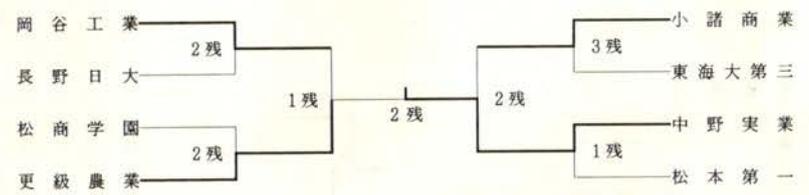
長野県高等学校新人体育大会
男子



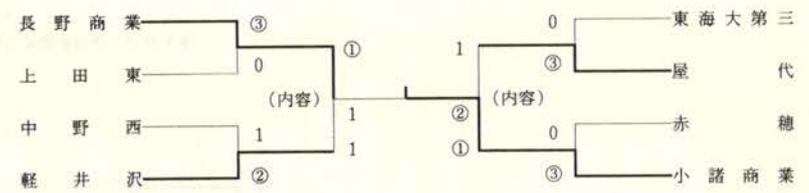
平成元年度 長野県高等学校総合体育大会
男子



長野県高等学校新人体育大会
男子

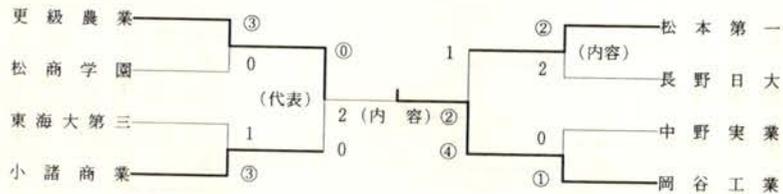


女子

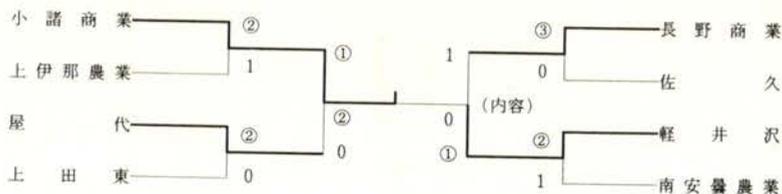


平成2年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

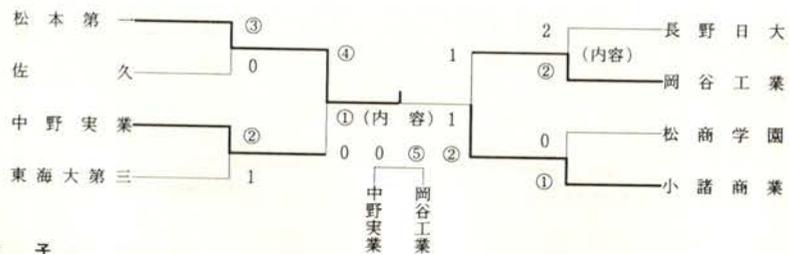


女子

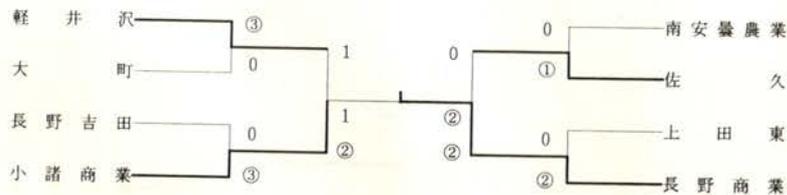


長野県高等学校新人体育大会

男子

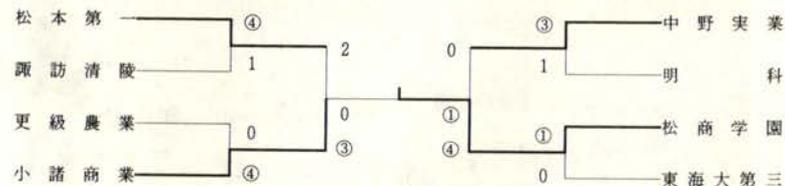


女子

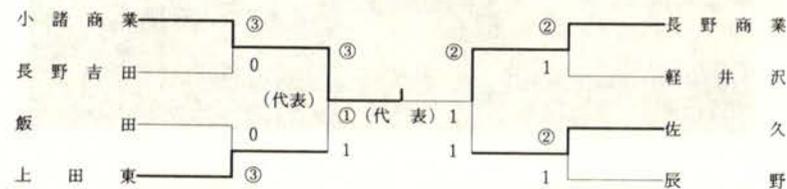


平成3年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

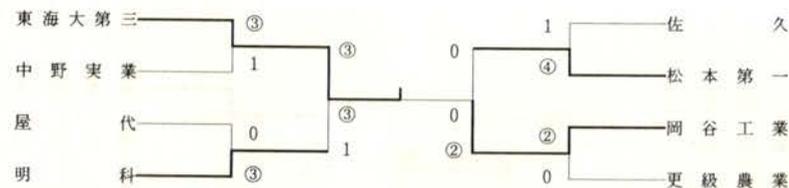


女子

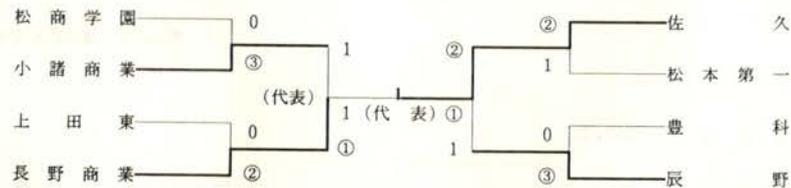


長野県高等学校新人体育大会

男子

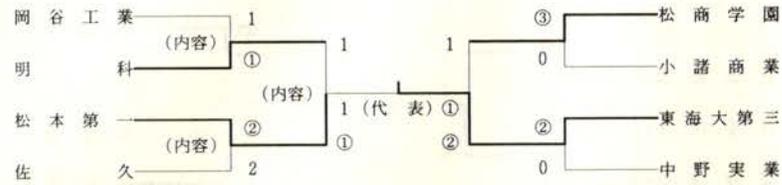


女子

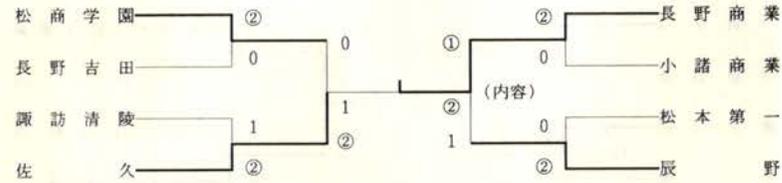


平成4年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

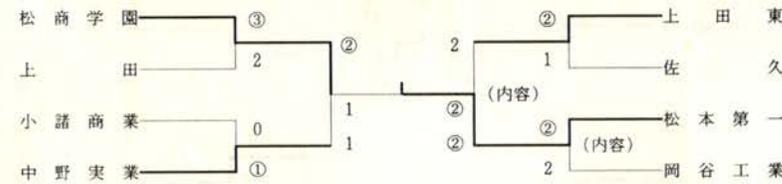


女子

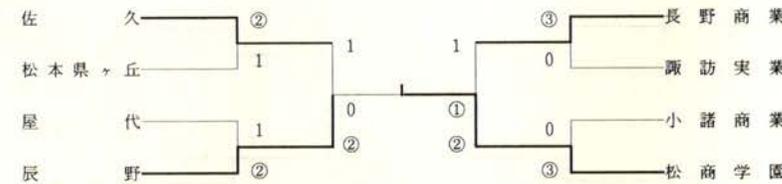


長野県高等学校新人体育大会

男子

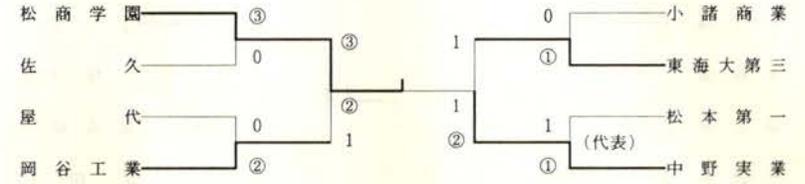


女子

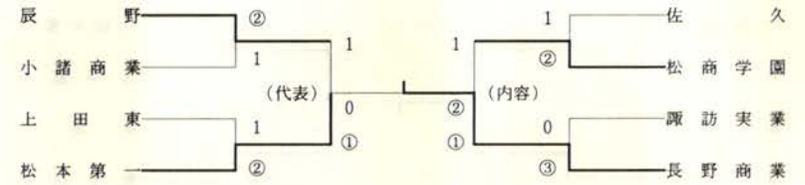


平成5年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

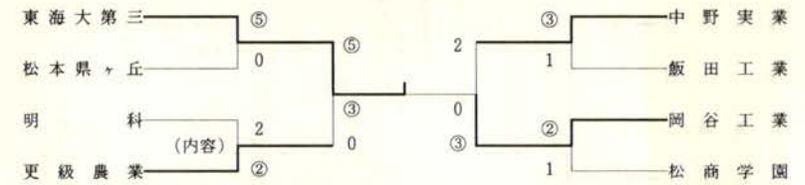


女子

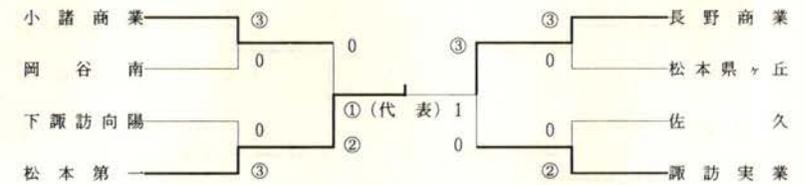


長野県高等学校新人体育大会

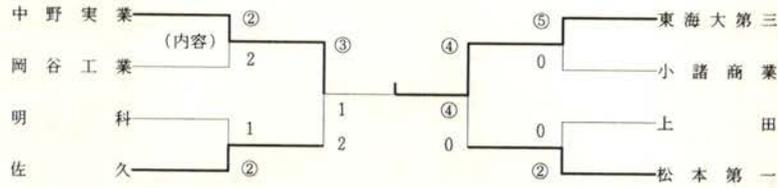
男子



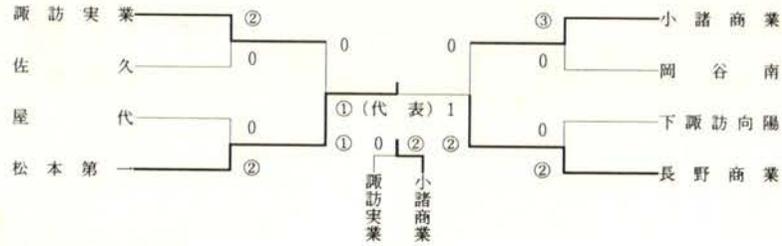
女子



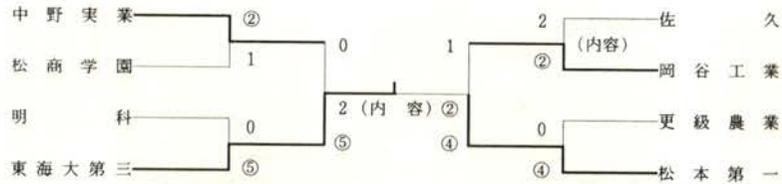
平成6年度 長野県高等学校総合体育大会
男子



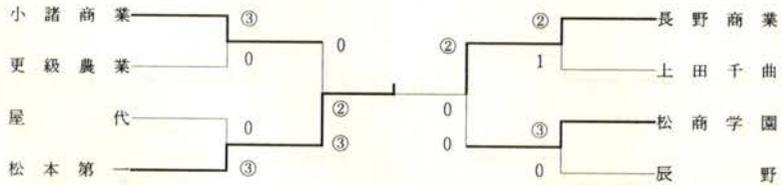
女子



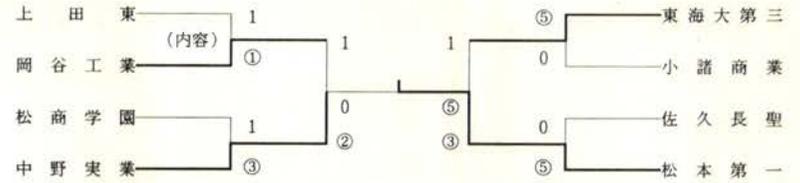
長野県高等学校新人体育大会
男子



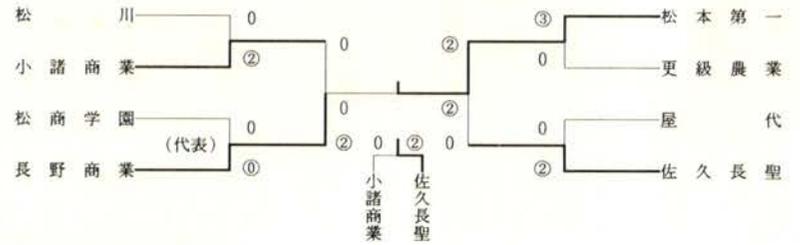
女子



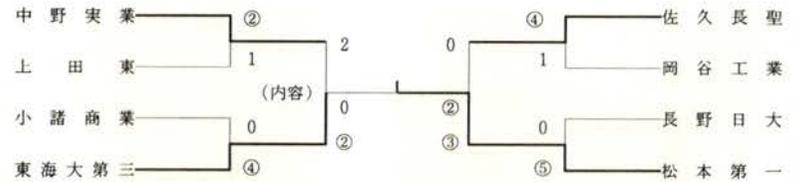
平成7年度 長野県高等学校総合体育大会
男子



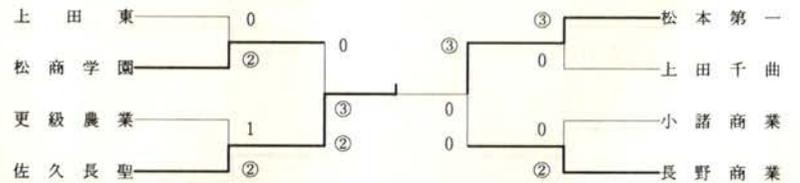
女子



長野県高等学校新人体育大会
男子

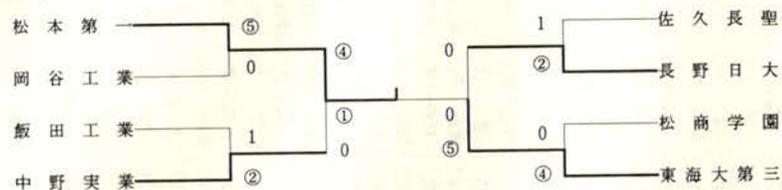


女子

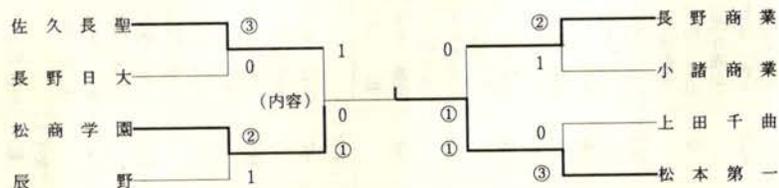


平成8年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

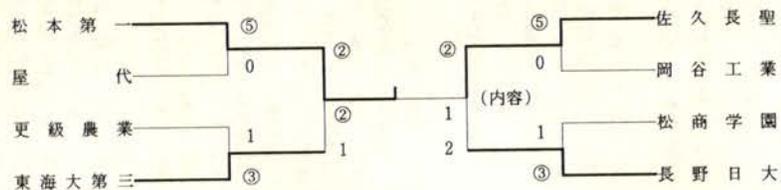


女子

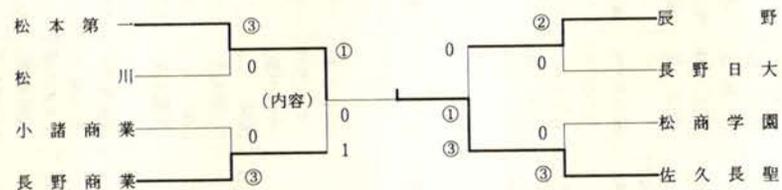


長野県高等学校新人体育大会

男子

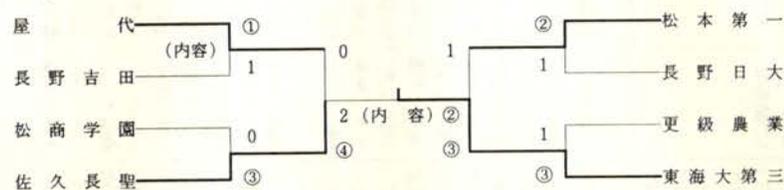


女子

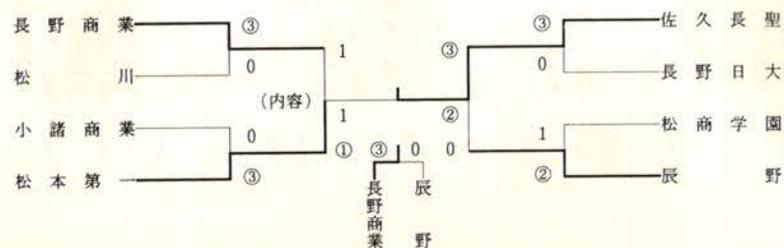


平成9年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

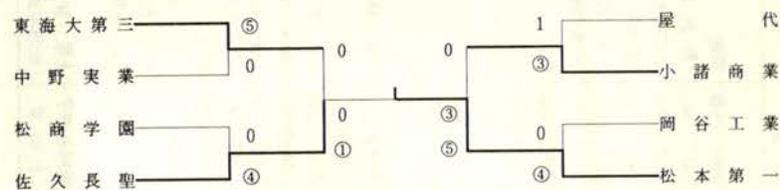


女子

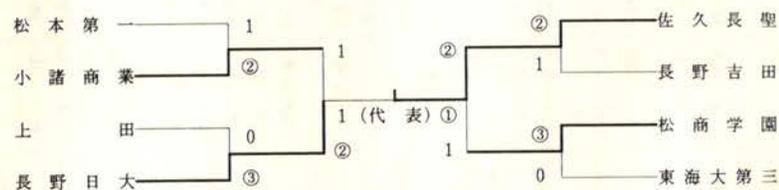


長野県高等学校新人体育大会

男子



女子



長野県高等学校総合体育大会 (個人)

年度	階級	1 位	2 位	3 位	位	
62	(男子)					
	軽	小林 和彦 (中野実業)	林 健夫 (茅 野)	池田 秀登 (須 坂)	菊池 環 (野 沢 北)	
	中	萩原 裕司 (赤 穂)	山口 弘泰 (中野実業)	涌井 孝治 (須 坂)	草間剛太郎 (松本第一)	
	軽重	中村 幸博 (屋 代)	清水 隆幸 (松本第一)	望月 亮三 (上 田 東)	木船 義之 (松商学園)	
	重	溝口 泰司 (茅 野)	土屋 徹 (佐 久)	南沢 大蔵 (松商学園)	松田 豊 (佐 久)	
	(女子)					
	無差別	矢崎 利加 (東海大第三)	泉 香澄 (松本松南)	江崎 史子 (松本松南)		
	63	(男子)				
		軽	北川 大 (上 田 東)	池田 秀登 (須 坂)	小野真二郎 (松本第一)	江崎 陽一 (梓 川)
		軽中	黒岩 匡 (中野実業)	中沢 真樹 (佐 久)	森山 広樹 (中野実業)	川上 隆幸 (岡谷工業)
中		清水 隆幸 (松本第一)	高野 晃一 (長野日大)	富岡 孝 (小諸商業)	長津 浩之 (岡谷工業)	
軽重		堀田 裕一 (松本第一)	中島 康孝 (岡谷工業)	川口 宏光 (長野日大)	荒川 透 (赤 穂)	
重		倉石 宣彦 (長野日大)	松田 豊 (佐 久)	中村 俊之 (松 川)	大沢 裕司 (松本筑摩)	
(女子)						
無差別		赤羽 美鈴 (梓 川)	萩原 菜緒 (屋 代)	塚田みや子 (上 田 東)	土屋 智子 (松商学園)	
元		(男子)				
		軽	清水 直樹 (松本県ヶ丘)	村上 理 (中野実業)	江崎 陽一 (梓 川)	小林 洋 (岡谷工業)
	軽中	中沢 真樹 (佐 久)	奥村 康裕 (岡谷工業)	木船 崇 (松本工業)	中山 重光 (中野実業)	
	中	小林 桂樹 (中野実業)	斉藤 一成 (上 田 東)	富岡 孝 (小諸商業)	高野 晃一 (長野日大)	
	軽重	内山 貴之 (上 田 東)	三井 浩朗 (長野日大)	丸山 清治 (岡谷工業)	小口 忠慶 (東海大第三)	
	重	有賀 博和 (岡谷工業)	割田 稔 (岡谷工業)	緑川 英樹 (更級農業)	吾妻 光浩 (更級農業)	
	(女子)					
	軽	塚田みや子 (上 田 東)	奥石桂奈子 (小諸商業)	堀口その美 (屋 代)	小林 知恵 (長野商業)	
	中	上本由起子 (松商学園)	大月 美江 (梓 川)	滝沢みゆき (長野商業)	江元 靖子 (小諸商業)	
	重	萩原 菜緒 (屋 代)	土屋 智子 (松商学園)	宮下 由美 (長 野 南)	飯ヶ浜奈津子 (長野商業)	
2	(男子)					
	軽	南雲 智則 (松本第一)	江崎 陽一 (梓 川)	松本 尚弥 (中野実業)	村上 理 (中野実業)	
	軽中	白鳥 浩 (岡谷工業)	中山 重光 (中野実業)	清水 昌史 (松商学園)	中洞 正幸 (松本第一)	
	中	小林 桂樹 (中野実業)	八田 芳雄 (更級農業)	浦部 将史 (小諸商業)	堀江 浩二 (東海大第三)	
	軽重	富岡 孝 (小諸商業)	山岸 正裕 (中野実業)	大畑健次郎 (東海大第三)	滝沢 武彦 (上 田 東)	
	重	山岸 裕二 (更級農業)	割田 稔 (岡谷工業)	有賀 博和 (岡谷工業)	五味 豊 (岡谷工業)	
	(女子)					
	48kg	南雲さやか (松本第一)	真山 直美 (小諸商業)	小池 真貴 (佐 久)	曾山 江美 (長野商業)	
	52kg	佐々木人美 (塚原青雲)	洞沢 麻美 (松商学園)	倉沢 裕子 (屋 代)	西村さおり (長野商業)	
	56kg	奥石桂奈子 (小諸商業)	大井 理江 (小諸商業)	堀籠亜希子 (小諸商業)	宮崎 久美 (小諸商業)	
61kg	萩原 菜緒 (屋 代)	江元 靖子 (小諸商業)	中沢 雅恵 (岩 田 村)	原田しのぶ (大 町)		

年度	階級	1 位	2 位	3 位	位
	66kg	中塚 昌子 (長野商業)	関根 幸子 (佐 久)	土屋 志津 (小諸商業)	宮下 史美 (長野商業)
	72kg	黒縄 史子 (長野商業)	大井さおり (軽 井 沢)		
	72kg超	土屋 真理 (軽 井 沢)	飯ヶ浜奈津子 (長野商業)		
	3	(男子)			
	軽	百瀬 秀夫 (松本第一)	出口 将博 (東海大第三)	小坂橋正之 (佐 久)	佐藤 剛 (野 沢 北)
	軽中	百瀬 典明 (松商学園)	上條 順次 (松商学園)	清水 昌史 (松商学園)	東 猛 (中野実業)
	中	高橋 俊充 (小諸商業)	横山 喜章 (松本第一)	古畑 和彦 (松本工業)	太田 博泰 (松商学園)
	軽重	山岸 正裕 (中野実業)	松永 達也 (東海大第三)	森本 英輔 (岡谷工業)	小野沢昭則 (小諸商業)
	重	臼井 貴一 (松本第一)	平澤 武夫 (東海大第三)	加藤 晃康 (上 田)	谷地宗一郎 (屋 代)
	(女子)				
48kg	真山 直美 (小諸商業)	矢島めぐみ (小諸商業)	福島 美砂 (大 町)	花岡 牧恵 (上 田 東)	
52kg	洞沢 麻美 (松商学園)	西村 保子 (軽 井 沢)	野間 由香 (上 田 東)	細川 淳子 (軽 井 沢)	
56kg	南雲さやか (松本第一)	奥石桂奈子 (小諸商業)	上原 純子 (上 田 東)	小林 佐紀 (長野商業)	
61kg	峰村 宣子 (長野商業)	土屋 志津 (小諸商業)	高橋きみえ (大 町)	早武 史子 (上 田 東)	
66kg	黒縄 史子 (長野商業)	関根 幸子 (佐 久)	平林 志織 (豊 科)	樽原 有美 (上 田 東)	
72kg	大井さおり (軽 井 沢)	北沢 恵美 (赤 穂)	黒岩 政美 (小諸商業)	茂木 陽子 (軽 井 沢)	
72kg超	土屋 真理 (軽 井 沢)	割田 佳美 (辰 野)	原山 公薫 (長野吉田)		
4	(男子)				
	軽	手塚 守 (松本第一)	百瀬 太一 (岡谷工業)	市岡 茂 (長野吉田)	高橋 陽一 (明 科)
	軽中	上條 順次 (松商学園)	中島 行則 (長野吉田)	大塚 秀夫 (佐 久)	青木 弘高 (松商学園)
	中	松林 正喜 (中野実業)	堀江 浩二 (東海大第三)	塩川 啓介 (小諸商業)	中村 哲郎 (屋 代)
	軽重	松永 達也 (東海大第三)	吉田 寛 (佐 久)	吉江 貴史 (明 科)	小林 琢磨 (中野実業)
	重	平澤 武夫 (東海大第三)	藤井 誠 (松本第一)	高橋 弘明 (佐 久)	後藤 敦志 (岡谷工業)
	(女子)				
	軽	矢島めぐみ (小諸商業)	山岸亜紀子 (屋 代)	岡村加奈子 (屋 代)	上原 純子 (上 田 東)
	中	南雲さやか (松本第一)	小林 佐紀 (長野商業)	塚田 幸江 (長野商業)	峰村 宣子 (長野商業)
	重	関根 幸子 (佐 久)	桑沢 和恵 (辰 野)	割田 佳美 (辰 野)	黒岩 政美 (小諸商業)
5	(男子)				
	軽	穂刈 金治 (中野実業)	市岡 茂 (長野吉田)	勝山 重樹 (長野日大)	気賀沢洋司 (岡谷工業)
	軽中	手塚 守 (松本第一)	若林 誉 (上 田 東)	鳴沢 力 (小諸商業)	青木 弘高 (松商学園)
	中	中山 三雄 (中野実業)	北村 和幸 (屋 代)	堀内 徳英 (上 田 東)	木下 隆典 (東海大第三)
	軽重	小林 琢磨 (中野実業)	深宮 真 (上 田 東)	百瀬 良 (岡谷工業)	松岡 道裕 (岡谷工業)
	重	藤巻 好道 (松商学園)	塩川 清光 (小諸商業)	藤原 義和 (更級農業)	遠藤 嘉文 (佐 久)
	(女子)				
	軽	小野沢景子 (小諸商業)	小池実希恵 (野 沢 北)	高橋舞衣子 (松商学園)	尾芦美穂子 (上 田 東)
	中	香山 千子 (長野商業)	玉川さゆり (長野商業)	古田 法子 (諏訪清陵)	和田加津子 (長野商業)
	重	徳久 静華 (松本松南)	夔 かづら (松本第一)	中嶋まゆみ (佐 久)	桑沢 和恵 (辰 野)

長野県高等学校新人体育大会

年度	階級	1 位	2 位	3 位	位	
6	(男子)					
	軽	高見 沢崇 (佐 久)	松沢 博和 (松本第一)	井関 玲 (松本県ヶ丘)	湯本 昌造 (中野実業)	
	軽中	上原 英樹 (東海大第三)	柴野 雅也 (明 科)	百瀬 渡 (松本第一)	園原 隆 (阿 智)	
	中	井出 哲也 (東海大第三)	高山 雄太 (松商学園)	山口 勲 (岡谷工業)	百瀬 善規 (松本第一)	
	軽重	中山三雄 (中野実業)	伊東 真一 (岡谷工業)	倉島 裕文 (上 田)	黒田 竜之 (松本第一)	
	重	上條 剛 (東海大第三)	豊田 至 (東海大第三)	山浦 直人 (中野実業)	水野 隆明 (中野実業)	
	(女子)					
	軽	多田佐知子 (松本第一)	長谷川亜紀 (上 田 東)	高橋舞衣子 (松商学園)	下島 裕美 (松本第一)	
	中	香山 千子 (長野商業)	徳久 静華 (松本松南)	丸山 亜美 (上田千曲)	角田 千鶴	
	無差別	夔 かつら (松本第一)	佐々木千夏 (佐 久)	寺島亜佐美 (小諸商業)	栗原 綾子 (中野西)	
	7	(男子)				
		軽	広瀬 喜広 (松本第一)	林 廣司 (東海大第三)	小室 聡 (岡谷工業)	湯本 昌造 (中野実業)
軽中		伊坂 悠 (野沢北)	小林 勇介 (東海大第三)	土屋 元之 (野沢南)	島田喜久雄 (松本第一)	
中		高山 太介 (松商学園)	百瀬 渡 (松本第一)	宮本 陽一 (東海大第三)	両角 達雄 (東海大第三)	
軽重		百瀬 善規 (松本第一)	小澤 強 (松本第一)	浜野 勝宏 (松商学園)	水野 隆明 (中野実業)	
重		原山 幸次 (中野実業)	豊田 至 (東海大第三)	萩原 貴也 (松本第一)	奥原 貴弘 (松本第一)	
(女子)						
軽		高橋舞衣子 (松商学園)	高山 司 (松商学園)	北堀 美喜 (松本第一)	多田佐知子 (松本第一)	
中		玉川 睦子 (長野商業)	池田 玲美 (松本第一)	西田恵理子 (松 川)	伊藤久美子 (松本第一)	
無差別		牧島 美幸 (松本第一)	徳久 静華 (松本松南)	名執香代子 (松本第一)	丸山さくら (佐久長聖)	
8		(男子)				
		軽	広瀬 喜広 (松本第一)	宮下 智幸 (東海大第三)	大畑 敬三 (東海大第三)	百瀬 零士 (東海大第三)
	軽中	伊坂 悠 (野沢北)	本木 洋介 (松商学園)	高橋 健太 (松本第一)	中山 陽一 (東海大第三)	
	中	百瀬 渡 (松本第一)	振原 直樹 (東海大第三)	近藤 圭三 (飯 田)	宮本 陽一 (東海大第三)	
	軽重	百瀬 善規 (松本第一)	松井 孝文 (佐久長聖)	花岡 秀雪 (松本第一)	松村 亘 (長野日大)	
	重	萩原 貴也 (松本第一)	原山 幸次 (中野実業)	上原 正義 (東海大第三)	小澤 強 (松本第一)	
	(女子)					
	軽	北堀 美喜 (松本第一)	高山 司 (松商学園)	岡田なつみ (長野日大)	酒井 和美 (佐久長聖)	
	中	玉川 睦子 (長野商業)	伊藤久美子 (松本第一)	夔奈 保子 (松商学園)	新海 初美 (佐久長聖)	
	無差別	牧島 美幸 (松本第一)	丸山さくら (佐久長聖)	丸山 麻美 (長野商業)	唐沢 早苗 (辰 野)	
	9	(男子)				
		軽	百瀬 零士 (東海大第三)	宮下 智幸 (東海大第三)	宮原 大 (屋 代)	滝沢 哲治 (松 代)
軽中		高橋 健太 (松本第一)	本木 洋介 (松商学園)	百瀬 憲 (長野商業)	久保田博明 (長野吉田)	
中		青木 和仁 (佐久長聖)	相原 隆希 (松本第一)	丸山 将太 (佐久長聖)	長谷川弘樹 (東海大第三)	
軽重		上原 正義 (東海大第三)	高木 康司 (松商学園)	清水 孝博 (更級農業)	清水 佑一 (佐久長聖)	
重		小澤 強 (松本第一)	中沢 富晃 (長野日大)	宮島 和也 (東海大第三)	鷹野 慶一 (佐久長聖)	
(女子)						
軽		北堀 美喜 (松本第一)	高山 司 (松商学園)	赤沢 美恵 (長野商業)		
中		丸山 麻美 (長野商業)	名執香代子 (松本第一)	牧島 美幸 (松本第一)		
無差別		丸山さくら (佐久長聖)	山田 瑞恵 (小諸商業)	赤羽美智香 (辰 野)		

年度	階級	1 位	2 位	3 位	位
62	(男子)				
	軽	池田 秀登 (須 坂)	小野真次郎 (松本第一)	北川 大 (上 田 東)	倉石 宣彦 (長野中央)
	中	長津 浩之 (岡谷工業)	黒岩 匡 (中野実業)	柴野 有史 (松本第一)	宮沢 房枝 (豊 科)
	軽重	清水 隆幸 (松本第一)	手塚 孝幸 (辰 野)	佐藤 弘章 (上 田)	上本由紀子 (松商学園)
	重	倉石 宣彦 (長野中央)	松田 豊 (佐 久)	岡嶋 国久 (上 田)	中塚由里子 (長野商業)
	無差別	清水 隆幸 (松本第一)	黒岩 匡 (中野実業)	長津 浩之 (岡谷工業)	飯島 妙子 (長野商業)
	(女子)				
	48kg	江崎 史子 (松本松南)	中野 満紀 (豊 科)	高野 寿美 (豊 科)	
	52kg	土屋由紀子 (須 坂)	降旗 育代 (豊 科)	堀口その美 (屋 代)	
	56kg	泉 香澄 (松本松南)	宮沢 徳美 (小諸商業)	小林 知恵 (長野商業)	
	61kg	竹下 直美 (松商学園)	古越沙絵子 (軽井沢)	米山 文美 (赤 穂)	
	66kg	土屋 智子 (松商学園)	手塚みどり (穂高商業)	宮崎真理子 (小諸商業)	
72kg	赤羽 美鈴 (梓 川)	与良 増美 (軽井沢)			
63	(男子)				
	軽	江崎 陽一 (梓 川)	清水 直樹 (松本県ヶ丘)	小林 洋 (岡谷工業)	斉藤 孝司 (上 田 東)
	軽中	中沢 真樹 (佐 久)	関三 太郎 (東海大第三)	木船 崇 (松本工業)	前田 浩 (松本深志)
	中	高野 晃一 (長野日大)	富岡 孝 (小諸商業)	前田 和就 (岡谷工業)	山口 茂 (岡谷工業)
	軽重	内山 貴之 (上 田 東)	川口 宏光 (長野日大)	三井 浩朗 (長野日大)	笠原 敏 (岡谷工業)
	重	市川 忠昭 (東海大第三)	有賀 博和 (岡谷工業)	矢島 聖久 (更級農業)	白田 馨 (上 田)
	無差別	市川 忠昭 (東海大第三)	内山 貴之 (上 田 東)	富岡 孝 (小諸商業)	高野 晃一 (長野日大)
	(女子)				
	48kg	清水 美香 (小諸商業)	曾山 江美 (長野商業)	宮沢 房枝 (豊 科)	竹村 史子 (屋 代)
	52kg	塚田みや子 (上 田 東)	上本由紀子 (松商学園)	吉田 智子 (軽井沢)	堀口その美 (屋 代)
	56kg	泉香 澄 (松本松南)	滝沢みゆき (長野商業)	原田しのぶ (大 町)	中村 一枝 (梓 川)
	61kg	萩原 菜緒 (屋 代)	宮崎真理子 (小諸商業)	小林ゆかり (小諸商業)	米山 文美 (赤 穂)
66kg	土屋 智子 (松商学園)	中塚 昌子 (長野商業)	小島 志保 (東海大第三)		
72kg	与良 増美 (軽井沢)	飯ヶ浜津子 (長野商業)	西村 紀子 (上伊那農業)		
72kg超	加藤 恵美 (諏訪実業)	久保 田希 (諏訪実業)			
元	(男子)				
軽	南雲 智則 (松本第一)	江崎 陽一 (梓 川)	松本 尚弥 (中野実業)	村上 理 (中野実業)	
軽中	中山 重光 (中野実業)	渡辺 哲 (中野実業)	白鳥 浩 (岡谷工業)	橋本 明宏 (大 町)	
中	小林 桂樹 (中野実業)	登川 健一 (長野日大)	横山 喜章 (松本第一)	浦部 将史 (小諸商業)	
軽重	富岡 孝 (小諸商業)	羽生 田茂 (更級農業)	山崎 健悟 (更級農業)	大畑健次郎 (東海大第三)	
重	山岸 裕二 (更級農業)	割田 稔 (岡谷工業)	緑川 英樹 (更級農業)	小沢 耕二 (岡谷工業)	
(女子)					

年度	階級	1 位	2 位	3 位	位
	48kg	洞沢 麻美 (松商学園)	真山 直美 (小諸商業)	曾山 江美 (長野商業)	伊沢 和子 (小諸商業)
	52kg	興石桂奈子 (小諸商業)	西村さおり (長野商業)	井出 夕子 (茅野)	倉沢 祐子 (屋代)
	56kg	佐々木人美 (塚原青雲)	宮下 由美 (長野南)	竹村 史子 (屋代)	合津 里美 (大町)
	61kg	萩原 菜緒 (屋代)	原田しのぶ (大町)	羽生 好美 (赤穂)	土屋 志津 (小諸商業)
	66kg	中塚 昌子 (長野商業)	中沢 雅江 (岩田村)	清水 治子 (赤穂)	片桐 ユミ (駒ヶ根工業)
	72kg	飯ヶ浜奈津子 (長野商業)	小島 志保 (東海大第三)	小林さつき (上伊那農業)	外川 忍 (軽井沢)
	72kg超	土屋 真理 (軽井沢)	西村 紀子 (上伊那農業)	大井さおり (軽井沢)	
2	(男子)				
	軽	百瀬 秀夫 (松本第一)	小坂橋正之 (佐久)	館林 安男 (中野実業)	出口 将博 (東海大第三)
	軽中	百瀬 典明 (松商学園)	上條 順次 (松商学園)	清水 昌史 (松商学園)	山本 厚志 (明科)
	中	中島 亨一 (長野日大)	根津 英樹 (東海大第三)	小林 一秀 (岡谷工業)	藤森 伸一 (岡谷工業)
	軽重	山岸 正裕 (中野実業)	大畑健次郎 (東海大第三)	堀 達矢 (岡谷工業)	松永 達也 (東海大第三)
重	臼井 貴一 (松本第一)	平澤 武夫 (東海大第	湯本 国春 (小諸商業)	和光松代子 (佐久)	
3	(男子)				
	軽	百瀬 太一 (岡谷工業)	館林 安男 (中野実業)	高橋 陽一 (明科)	佐藤 剛 (野沢北)
	軽中	上條 順次 (松商学園)	下島 正信 (松本第一)	増田 訓雄 (須坂)	野本 隆次 (東海大第三)
	中	堀江 浩二 (東海大第三)	中村 哲郎 (屋代)	山本 厚志 (明科)	塩川 啓介 (小諸商業)
	軽重	松永 達也 (東海大第三)	吉田 寛 (佐久)	吉江 貴史 (明科)	中村 貴広 (東海大第三)
重	平澤 武夫 (東海大第三)	後藤 敦志 (岡谷工業)	藤井 誠 (松本第一)	山内 哲也 (飯田工業)	
4	(男子)				
	軽	上原 英樹 (東海大第三)	市岡 茂 (長野吉田)	宮島 英雄 (丸子実業)	待井 豊樹 (長野日大)
	軽中	青木 弘高 (松商学園)	若林 誉 (上田東)	野本 隆次 (東海大第三)	高山 雄太 (松商学園)
	中	神農 来栄 (松商学園)	木下 隆典 (東海大第三)	山本 裕司 (松本第一)	中山 三雄 (中野実業)
	軽重	百瀬 良 (岡谷工業)	茂木 広幸 (小諸商業)	小林 琢磨 (中野実業)	下田 拓也 (東海大第三)
重	藤巻 好道 (松商学園)	佐々木 淳 (松本第一)	藤原 義和 (更級農業)	塩川 清光 (小諸商業)	
5	(男子)				
	軽	斉藤 貴弘 (岡谷工業)	上原 英樹 (東海大第三)	春原 淳一 (屋代)	林廣 司 (東海大第三)
	軽中	小林 勇介 (東海大第三)	柴野 雅也 (明科)	曾根原正輝 (松商学園)	関 猛志 (明科)
	中	浜野 勝宏 (松商学園)	山口 勲 (岡谷工業)	高山 雄太 (松商学園)	甲田 智彦 (上田)
	軽重	中山 三雄 (中野実業)	山田 祝 (佐久)	黒田 竜之 (松本第一)	掛川 芳輝 (小諸商業)
重	上條 剛 (東海大第三)	山岸 規彦 (東海大第三)	山浦 直人 (中野実業)	豊田 至 (東海大第三)	
6	(男子)				
	軽	湯本 昌造 (中野実業)	春原 淳一 (屋代)	林廣 司 (東海大第三)	小林 章博 (辰野)
	軽中	小林 勇介 (東海大第三)	百瀬 渡 (松本第一)	松田 賢二 (岡谷工業)	塩沢 正人 (岡谷工業)
	中	百瀬 善規 (松本第一)	高山 太介 (松商学園)	両角 達雄 (東海大第三)	小島 幸庸 (東海大第三)
	軽重	浜野 勝宏 (松商学園)	山口 泰弘 (岡谷工業)	松井 孝文 (佐久)	佐藤 鈍 (東海大第三)

年度	階級	1 位	2 位	3 位	位
7	重	奥原 貴弘 (松本第一)	原山 幸次 (中野実業)	豊田 至 (東海大第	大原 健太 (明科)
	(男子)				
	軽	広瀬 喜広 (松本第一)	三原 岳人 (松本県ヶ丘)	丸山 隆 (岡谷工業)	百瀬 零士 (東海大第三)
	軽中	小林 裕也 (松本第一)	伊坂 悠 (野沢北)	本木 洋介 (松商学園)	水野 岳雄 (長野吉田)
	中	百瀬 渡 (松本第一)	近藤 圭三 (飯田)	伴野 勤 (佐久長聖)	宮本 陽一 (東海大第三)
	軽重	百瀬 善規 (松本第一)	松井 孝文 (佐久長聖)	根橋 宏幸 (東海大第三)	松村 亘 (長野日大)
	重	原山 幸次 (中野実業)	小澤 強 (松本第一)	上原 正義 (東海大第三)	萩原 貴也 (松本第一)
	(女子)				
	軽	北堀 美喜 (松本第一)	高山 司 (松商学園)	桜田 京子 (長野商業)	新村 れい (辰野)
	中	伊藤久美子 (松本第一)	斐奈 保子 (松商学園)	玉川 睦子 (長野商業)	丸山 麻美 (長野商業)
無差別	丸山さくら (佐久長聖)	牧島 美幸 (松本第一)	中野さとみ (松本第一)	唐沢 早苗 (辰野)	
8	(男子)				
	軽	百瀬 零士 (東海大第三)	宮下 智幸 (東海大第三)	松井 勝文 (佐久長聖)	宮原 大 (屋代)
	軽中	本木 洋介 (松商学園)	高橋 健太 (松本第一)	高見 沢潤 (佐久長聖)	黒川 伸也 (丸子実業)
	中	青木 和仁 (佐久長聖)	齋藤 芳幸 (長野日大)	原友 亮 (飯田工業)	武田 隆至 (佐久長聖)
	軽重	上原 正義 (東海大第三)	小澤 強 (松本第一)	小林 昇 (東海大第三)	松村 亘 (長野日大)
	重	中沢 富晃 (長野日大)	阿部 真二 (長野日大)	佐野 清治 (飯田工業)	鷹野 慶一 (佐久長聖)
	(女子)				
	軽	北堀 美喜 (松本第一)	高山 司 (松商学園)	新村 れい (辰野)	岡田なつみ (長野日大)
	中	名執香代子 (松本第一)	正村 泰子 (長野商業)	西沢 真代 (佐久長聖)	水内 美雨 (長野日大)
	無差別	丸山さくら (佐久長聖)	牧島 美幸 (松本第一)	赤羽美智香 (辰野)	唐沢 早苗 (辰野)
9	(男子)				
	60kg	山崎 真 (松本第一)	三井 和弘 (小諸商業)	宮坂 慎 (松代)	中平 公治 (東海大第三)
	66kg	林弘 章 (松本第一)	常田 和司 (松本第一)	小森 正雄 (岡谷工業)	北城 修平 (須坂)
	73kg	黒河 康明 (松本第一)	小松新一郎 (長野商業)	戸谷 健 (東海大第三)	萩田 弘郎 (東海大第三)
	81kg	堀込 誠 (松本第一)	百瀬 尚也 (松本第一)	中山 真吾 (小諸商業)	小柳 輝訓 (上田)
	90kg	相原 隆希 (松本第一)	中田 憲孝 (松本第一)	湯本 卓嗣 (中野実業)	山口 智弘 (東海大第三)
	100kg	中島 慎二 (東海大第三)	高島 豊昭 (佐久長聖)	甘利 勇紀 (佐久長聖)	山本 和也 (中野実業)
	100kg超	宮島 和也	伊藤 裕司	矢島 直良	石田 大介
	(女子)				
	軽	(東海大第三)	(松本第一)	(佐久長聖)	(長野日大)
中	荒川 玲子 (長野日大)	小林 亜未 (長野日大)	高野 千夏 (長野日大)	柳原 薫 (松本第一)	
無差別	酒井 和美 (佐久長聖)	久保井千恵 (小諸商業)	星野 知香 (松商学園)	佐々木寿賀子 (佐久長聖)	
	黒崎亜紀子 (松商学園)	山田 瑞恵 (小諸商業)	山崎 美奈 (松本第一)	荒井 淳子 (東海大第三)	

3 剣 道

○ 国技である剣道は遠く古代より変遷を繰り返し、著しい発展をし、精神文化を作り上げる。明治44年に学校教育に採用され、広く普及したが、第2次世界大戦後禁止され、昭和27年全日本剣道連盟が発足し活動を開始する。

高等学校も昭和27年より体育教材として剣道を実施するようになる。全国高体連剣道部も昭和29年から全国高等学校剣道大会を開始する。

長野県も全国と同時に活動が開始され、全国大会には第4回大会より参加する。昭和32年から昭和61年までに、全国大会で団体戦で飯山北高、蓼科高がベスト8、個人戦小林（飯山北）ベスト8。北信越大会では団体戦で蓼科高、長野商業高が優勝、飯山北高、2、3位飯田長姫高、飯山南高、須坂高が3位に入賞する。個人戦では多くの選手が、入賞している。（長野県高体連40年の歩みを参照）

この時期は各学校で大変盛んに行われていたが、試合経験の不足、県外遠征の不足で全国レベルにはほど遠い状態であった。昭和60年代に入って、剣道人口の減少が始まり、北信越大会、全国大会でほとんど勝てなくなってきた。剣道人口減少をくい止め、レベルアップを図り、活動を活発にするために、中高一貫の指導が必要であると、中学、高校の剣道指導者が中心となって、長野県剣道ジュニア強化委員会が発足し、平成4年に第1回長野県剣道ジュニア強化錬成大会が麻績村の協力によって行われた。6年目を迎え、中体連剣道も飛躍的にレベルアップし全国大会、北信越大会に素晴らしい成果を上げるようになる。また毎年、諏訪湖剣道錬成大会（薙鎌旗、大野操一郎杯争奪大会）が、和歌山東高、高輪高等全国の名門校を招待して、開催されている。各地区の剣道部はこれを契機に遠征試合、強化合宿によって実力をつけ、全国大会、北信越大会で活躍するようになる。昭和62年から平成9年までの活躍の足跡を振り返ってみると、北信越大会で平成元年団体で岡谷南高がベスト8。平成2年渡辺順子（長野日大）ベスト4。平成3年板山信夫（東海大第三高）ベスト4。平成4年町田育哉（長野日大）第2位、細谷玉恵（野沢北）ベスト8。平成5年小山猛（松商学園）第3位、勝又義彦（下伊那農業）、山口英二（松代）ベスト8。平成6年長野県戸倉町総合体育館で北信越大会が開

催され、三澤良子（松商学園）が見事優勝、藤原慎吾（長野日大）第3位、中村美津子（長野南）、森山雪子（上田染谷丘）両角なつみ（東海大第三）ベスト8と活躍する。平成7年藤原久美子（赤穂）第三位、藤原慎吾（長野日大）ベスト8。平成8年団体戦で長野日大高、松代高が決勝トーナメントに勝ち上がりベスト8。倉下実（岡谷南）、藤原慎吾（長野日大）、丸山彰（屋代）ベスト8。平成9年倉下実（岡谷南）第三位、青山武司（長野日大）ベスト8。平成9年団体戦で岡谷南高が決勝トーナメントに勝ち上がりベスト8になる。茅野智美（塩尻）ベスト8。以上多くの選手が活躍し、近年実力を発揮する。全国大会でも、団体戦で1勝を上げるようになる。個人戦でも平成8年藤原慎吾（長野日大、3年連続出場）が3回戦へ勝ち進む。平成9年倉下実（岡谷南、2年連続出場）が活躍する。昭和62年から平成9年までの総合大会、新人大会の成績をみると総合大会男子団体優勝は長野日大7回（昭和63年から5年連続）、長野、上田、松商学園、下伊那農業各高が1回である。新人大会男子団体優勝は長野日大5回、松商学園2回、長野、上田、長野工業、岡谷南各校1回である。新人大会優勝校は全国選抜剣道大会に出場。長野日大が熊本代表に快勝する。総合大会女子団体優勝は松商学園3回、屋代南、岡谷南、長野、上田染谷丘、赤穂、下伊那農業、長野商各校1回である。新人大会女子団体優勝は松商学園7回（平成元年から7年連続）、屋代南、岡谷南、長野商業、佐久長聖各校1回である。4地区の実力校がそれぞれの年度に入賞している。県外遠征、錬成大会、中高一貫のジュニア強化試合等経験も多くなり、全国、北信越レベルに徐々に到達している。これも各地区の歴代の専門委員長（依田、布施、高橋、吉谷、有賀、中野、斎藤、小田、井出、吉村、青柳、）の並々ならぬ努力と指導の功績である。

剣道は今新たな段階に入って来ている百年の計を立て、剣道の本質、素晴らしさを理解し、正しい剣道を身につけさせ、日本文化の剣道精神を後生に伝え残こせるように、英知を絞って努力します。今後とも各関係者のご指導をお願いします。

（専門委員長 小田 弘文）

剣道

長野県高等学校総合体育大会

個人男子

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	細川 豪 (長野)	コ一	中沢 秀敏 (上田)	八木 規明 (東海大第三)	佐藤 浩晃 (長野工業)
63	矢野 武史 (東海大第三)	コ一	塩崎 武彦 (長野)	山浦 康孝 (佐久)	根橋 健徳 (塩尻)
元	川澄 豊 (松商学園)	メ一 メ一ド	小田 弘宣 (長野日大)	市村 和也 (野沢北)	堀内 弘城 (須坂)
2	大久保貴章 (長野日大)	コ一	今牧 和典 (下伊那農業)	小口 俊美 (塩尻)	山下 智典 (長野)
3	板山 信夫 (東海大第三)	コ ド一	町田 育哉 (長野日大)	峰村 直樹 (長野工業)	小出 裕 (上田染谷丘)
4	遠田 保 (松商学園)	メ メ一メ	町田 幸城 (長野日大)	町田 育哉 (長野日大)	小泉 憲明 (野沢北)
5	池田 広光 (長野日大)	メ メ一メ	勝又 義彦 (下伊那農)	矢野 之裕 (東海大第三)	山口 英二 (松代)
6	三村 北斗 (松商学園)	コ コ一メ	藤原 慎吾 (長野日大)	今井 範道 (岡谷南)	岡宮 広欣 (長野日大)
7	藤原 慎吾 (長野日大)	メ一	伊藤 友洋 (岡谷工)	岡山 幸司 (長野日大)	飯島 慈 (下伊那農)
8	藤原 慎吾 (長野日大)	コ一	倉下 実 (岡谷南)	宮尾 太 (長野)	丸山 彰一 (屋代)
9	倉下 享 (岡谷南)	コ一	花岡 秀将 (岡谷南)	八巻 洋之 (佐久長聖)	赤羽慎太郎 (岡谷南)

長野県高等学校新人体育大会

年度	1位	記録	2位	3位	3位
62	矢野 武史 (東海大第三)	コ メ一	横沢 圭彦 (長野吉田)	久保 智昭 (坂城)	高津 哲哉 (臼田)
63	市村 和也 (野沢北)	メ コ一	伊藤 憲明 (下伊那農)	斉藤 浩和 (長野吉田)	小林 俊介 (長野日大)
元	稲玉 仁 (松商学園)	コ一	伊藤 憲明 (下伊那農)	後藤 将史 (東海大第三)	今牧 和典 (下伊那農)
2	宮下 健 (長野日大)	コ一	後藤 将史 (東海大第三)	小林 繁生 (飯山北)	柴屋 義行 (長野工業)
3	板山 信夫 (東海大第三)	コ コ一	勝又 義彦 (下伊那農)	小山 猛 (松商学園)	小泉 憲明 (野沢北)
4	小山 猛 (松商学園)	コ一	遠田 保 (松商学園)	勝又 義彦 (下伊那農)	矢野 之裕 (東海大第三)
5	嶋田 直人 (長野日大)	メ一	今井 範道 (岡谷南)	関口 陽介 (野沢北)	三村 北斗 (松商学園)
6	中島 和成 (岡谷南)	ド一	藤原 慎吾 (長野日大)	宮入 正 (長野日大)	仲條 正人 (飯山北)
7	中島 和成 (岡谷南)	メ一	宮入 正 (長野日大)	竹内 泰久 (松代)	宮尾 太 (長野)
8	倉下 享 (岡谷南)	メ メ一	小澤 哲司 (長野東)	箱山 宗幸 (上田染谷丘)	花岡 秀将 (岡谷南)
9	北川 大輔 (松代)	メ一	久保 田真 (松商学園)	須山 一典 (下伊那農)	有賀 宗 (長野日大)

剣道

長野県高等学校総合体育大会

個人(女子)

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	熊谷 恵 (塩尻)	メ一	中沢美知代 (松商学園)	山浦明日子 (塩尻)	白崎 路子 (長野)
63	中沢 恵美 (松商学園)	コ一	小幡 由香 (木曾)	南 淳子 (木曾)	山田 綾子 (鎌ヶ崎)
元	原 千春 (下伊那農)	メ メ一メ	杉本 麻子 (木曾)	塚田美代子 (上田)	氷川 知世 (松商学園)
2	川口 希 (木曾)	コ一	渡辺 順子 (長野日大)	熊谷 空美 (塩尻)	柳沢かおり (岡谷南)
3	野口真由美 (松商学園)	メ一	依田 美行 (野沢北)	白鳥かづゑ (岡谷南)	仲村 美和 (長野)
4	花岡 裕子 (上田染谷丘)	メ メ一	小田切雪香 (深志)	佐藤 園子 (上田染谷丘)	桐原さと子 (須坂)
5	中野 綾子 (松商学園)	コ一	三澤 良子 (松商学園)	永原美有紀 (松商学園)	須坂 喜江 (長野日大)
6	関 奈美恵 (上田染谷丘)	コ一	森山 雪子 (上田染谷丘)	安田志津代 (松商学園)	両角なつみ (東海大第三)
7	藤原久美子 (赤穂)	コ一	中村 春香 (松商学園)	島仲 幸江 (佐久長聖)	渡島 寿江 (長野日大)
8	伊藤 美奈 (赤穂)	メ一	松村 光 (下伊那農)	松崎 紀子 (上田)	須山 美夏 (下伊那農)
9	松崎 紀子 (上田)	コ一	佐藤 理恵 (佐久長聖)	中村 真弥 (東海大第三)	田中いづみ (赤穂)

長野県高等学校新人体育大会

年度	1位	記録	2位	3位	3位
62	米沢 江 (屋代南)	メ一	中沢 恵美 (松商学園)	堀内かおり (上田東)	小山 直美 (塩尻)
63	杉本 麻子 (木曾)	コ コ一コ	柳沢かおり (岡谷南)	矢野 尚美 (阿南)	吉川 江美 (飯田女子)
元	渡辺 順子 (長野日大)	コ一	熊谷 空美 (塩尻)	筒井 美保 (松商学園)	野口真由美 (松商学園)
2	斉藤 弥生 (長野日大)	メ メ一コ	山口 雅子 (長野)	二木 美帆 (松商学園)	野口 美希 (長野日大)
3	白鳥かづゑ (岡谷南)	コ一	神田美津子 (長野女子)	土屋志津子 (上田染谷丘)	宮本 和美 (塩尻)
4	永原美有紀 (松商学園)	コ一	中野 綾子 (松商学園)	須坂 喜江 (長野日大)	三澤 良子 (松商学園)
5	三澤 良子 (松商学園)	コ一	関 奈美恵 (上田染谷丘)	須坂 喜江 (長野日大)	両角なつみ (東海大第三)
6	大屋 貴恵 (長野南)	メ一	上野 良子 (下伊那農)	宮田 香織 (長野日大)	中村 春香 (松商学園)
7	森山 綱子 (屋代)	コ コ一	森下 満世 (東海大第三)	木村 円 (松商学園)	伊藤 美奈 (赤穂)
8	佐藤 理恵 (佐久長聖)	メ一	志村 梓 (屋代)	小出澤理恵 (松商学園)	中沢 悠子 (長野商業)
9	今井香世子 (佐久長聖)	コ メ一コ	茅野 智美 (塩尻)	太田 朱 (長野日大)	阿藤 夕樹 (長野商業)

昭和62年度 長野県高等学校総合体育大会

男子団体決勝リーグ

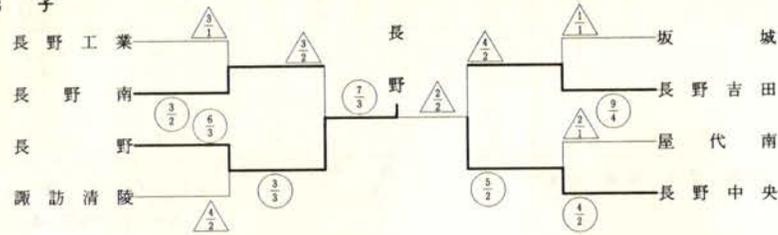
学校名	A 長野	B 中央	C 飯田	D 上田	勝点	勝数	本数	順位
A 長野	-	$\frac{3}{3}$	$\frac{5}{3}$	$\frac{2}{2}$	2	8	10	2
B 中央	$\frac{2}{2}$	-	$\frac{7}{3}$	$\frac{3}{1}$	1	6	12	3
C 飯田	$\frac{2}{2}$	$\frac{1}{2}$	-	$\frac{3}{1}$	0	5	9	4
D 上田	$\frac{3}{3}$	$\frac{7}{3}$	$\frac{3}{4}$	-	3	10	19	1

女子団体決勝リーグ

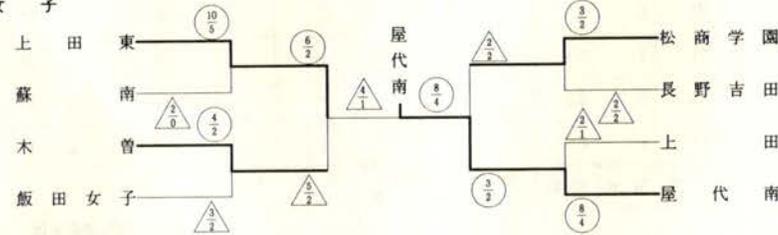
学校名	A 屋代南	B 塩尻	C 木曾	D 松商	勝点	勝数	本数	順位
A 屋代南	-	$\frac{1}{1}$	$\frac{1}{1}$	$\frac{2}{2}$	0	4	7	4
B 塩尻	$\frac{7}{3}$	-	$\frac{5}{2}$	$\frac{5}{2}$	1.5	7	17	3
C 木曾	$\frac{5}{4}$	$\frac{5}{3}$	-	$\frac{2}{1}$	2	8	12	2
D 松商	$\frac{4}{3}$	$\frac{5}{2}$	$\frac{3}{2}$	-	2.5	6	12	1

長野県高等学校新人体育大会

男子



女子



昭和63年度 長野県高等学校総合体育大会

男子団体決勝リーグ

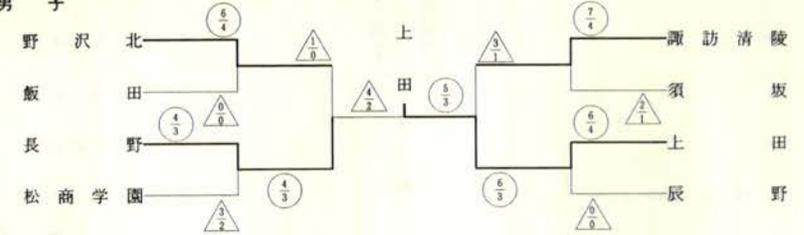
学校名	A 長野南	A 東海大第三	A 吉田	A 長野日大	勝点	勝数	本数	順位
A 長野南	-	$\frac{4}{2}$	$\frac{6}{2}$	$\frac{1}{1}$	1	5	11	3
B 東海大第三	$\frac{5}{2}$	-	$\frac{4}{3}$	$\frac{1}{1}$	2	6	10	2
C 吉田	$\frac{4}{2}$	$\frac{3}{2}$	-	$\frac{2}{3}$	0	6	10	4
D 長野日大	$\frac{4}{3}$	$\frac{2}{2}$	$\frac{6}{3}$	-	3	8	12	1

女子団体決勝リーグ

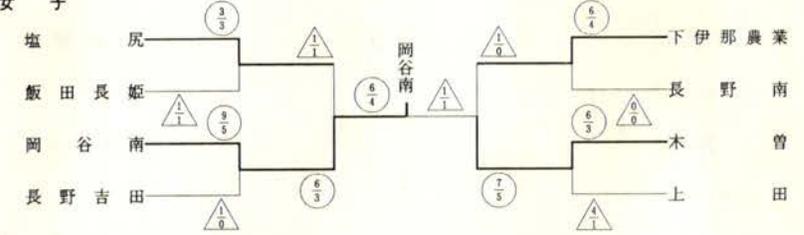
学校名	A 飯田女子	A 屋代南	A 塩尻	A 染谷丘	勝点	勝数	本数	順位
A 飯田女子	-	$\frac{5}{1}$	$\frac{1}{1}$	$\frac{1}{1}$	0	3	7	4
B 屋代南	$\frac{9}{4}$	-	$\frac{6}{4}$	$\frac{3}{2}$	2.5	10	18	1
C 塩尻	$\frac{4}{2}$	$\frac{3}{1}$	-	$\frac{5}{4}$	2	7	12	2
D 染谷丘	$\frac{4}{3}$	$\frac{3}{2}$	$\frac{1}{0}$	-	1.5	5	8	3

長野県高等学校新人体育大会

男子



女子



平成元年度 長野県高等学校総合体育大会

男子団体決勝リーグ

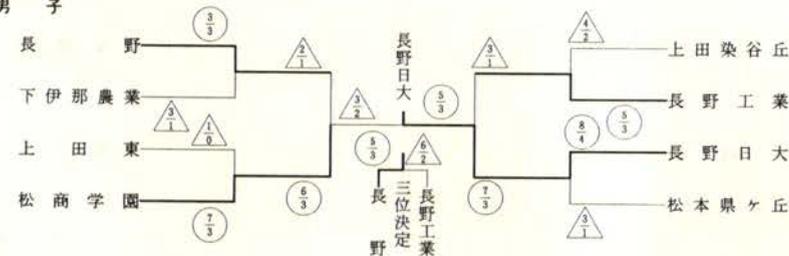
学校名	A 長野日大	A 長野	A 吉田	A 松商	勝点	勝数	本数	順位
A 長野日大	-	6/2	5/2	3/3	2	1	14	2
B 長野	6/2	-	7/3	6/3	2.5	2	19	1
C 吉田	5/2	4/2	-	6/4	1.5	1	15	3
D 松商	4/2	3/1	4/2	-	0	0	12	4

女子団体決勝リーグ

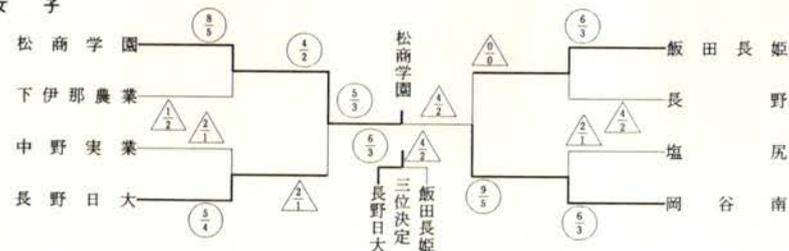
学校名	A 岡谷南	A 下伊農	A 松商	A 上田	勝点	勝数	本数	順位
A 岡谷南	-	7/4	6/3	6/2	3	3	19	1
B 下伊農	2/1	-	4/2	6/4	1	1	12	3
C 松商	3/1	5/3	-	4/3	2	2	12	2
D 上田	5/2	1/0	4/2	-	1	1	10	4

平成2年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

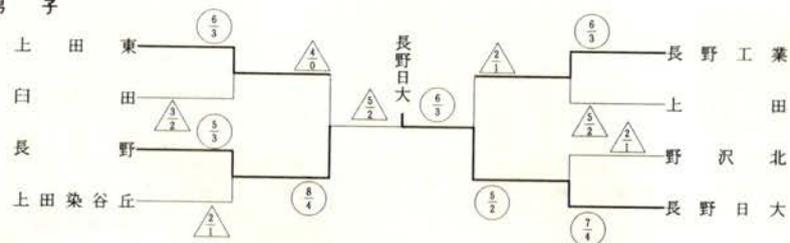


女子

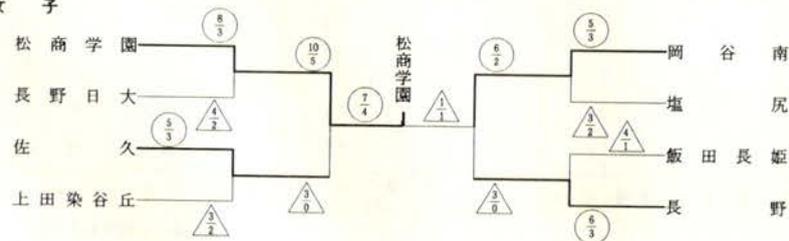


長野県高等学校新人体育大会

男子

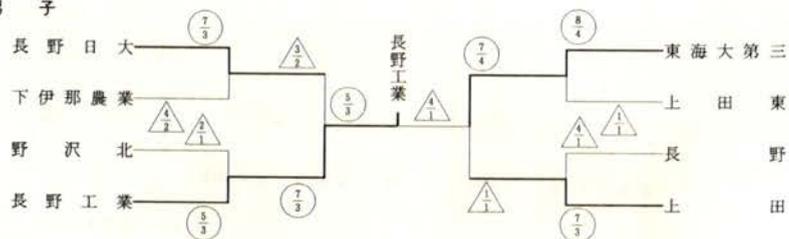


女子

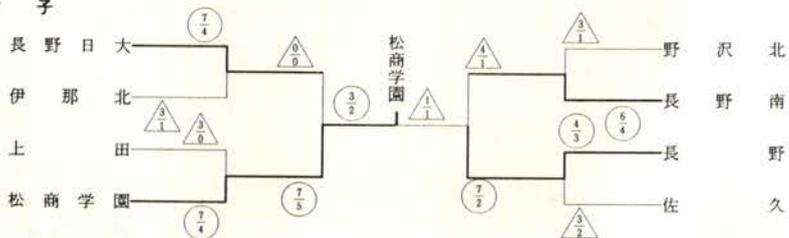


長野県高等学校新人体育大会

男子

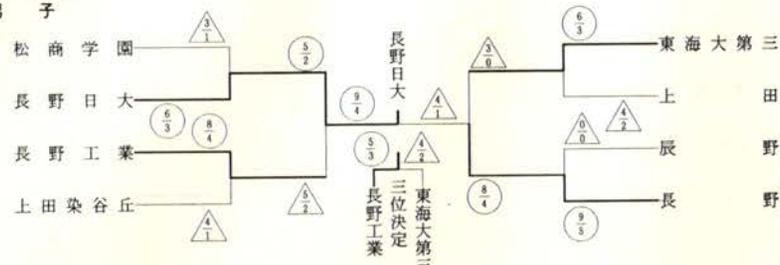


女子

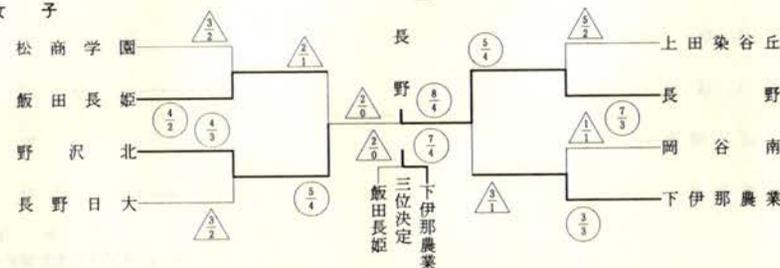


平成3年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

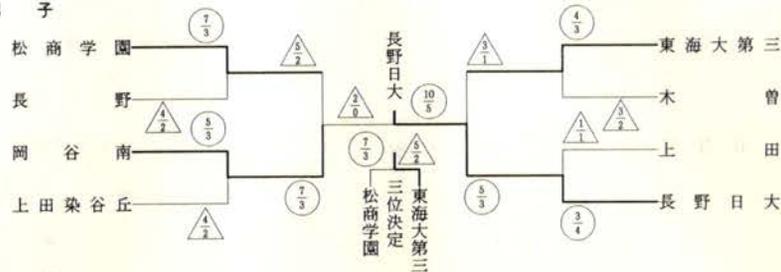


女子

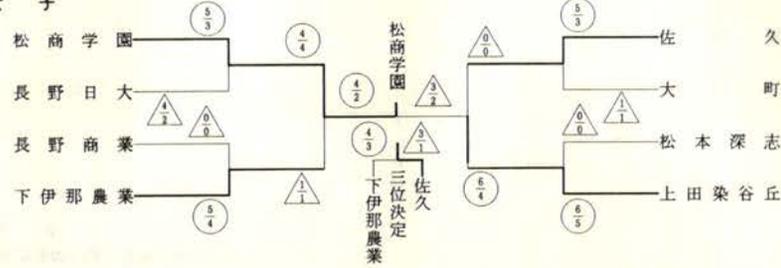


平成4年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

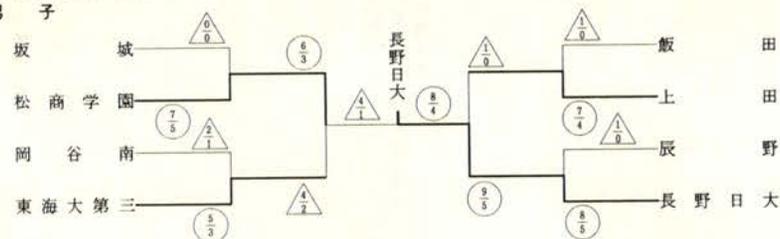


女子

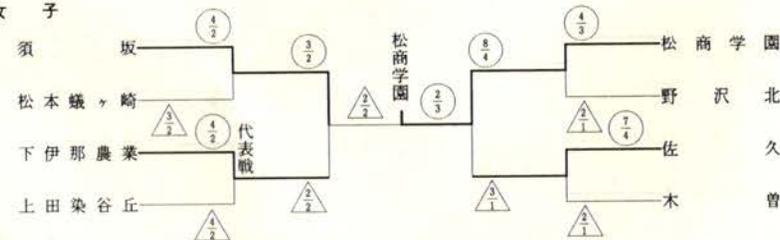


長野県高等学校新人体育大会

男子

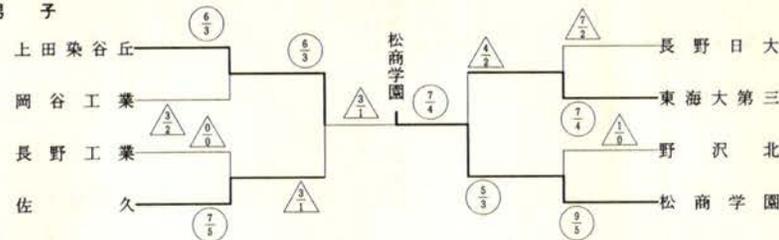


女子

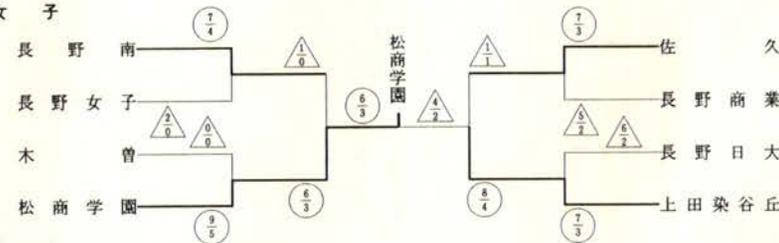


長野県高等学校新人体育大会

男子

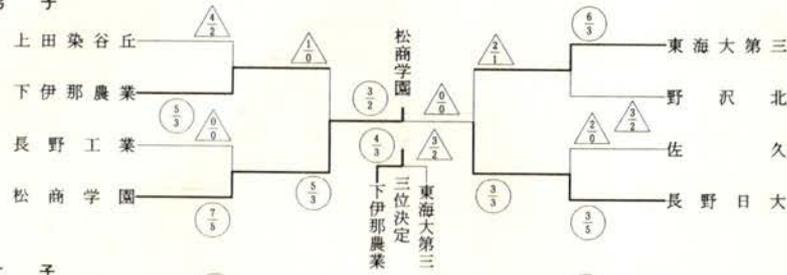


女子

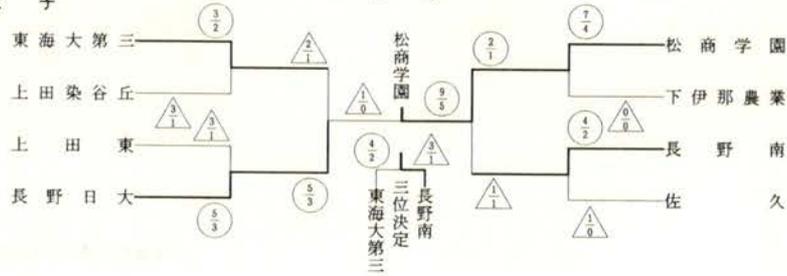


平成5年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

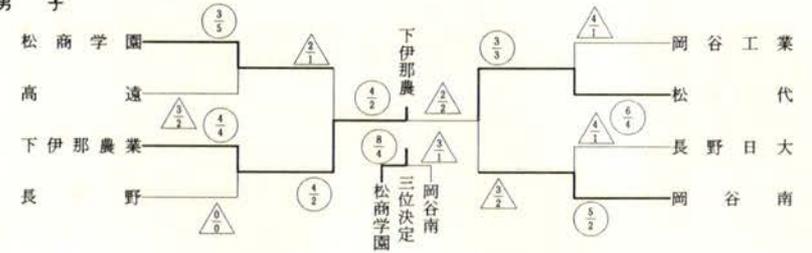


女子

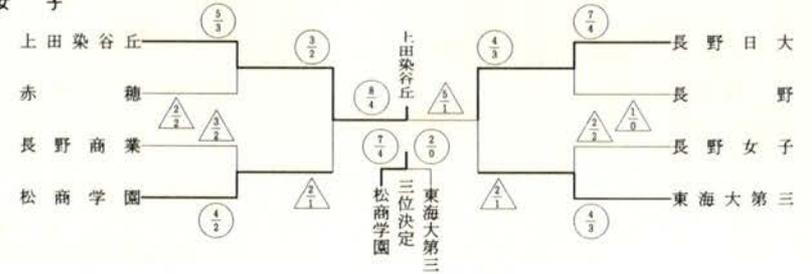


平成6年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

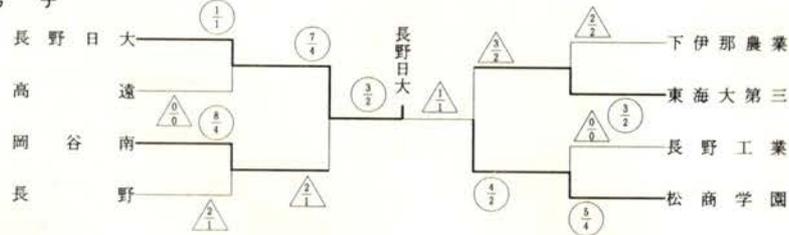


女子

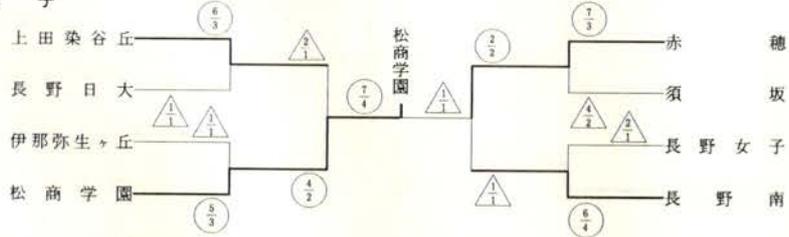


長野県高等学校新人体育大会

男子

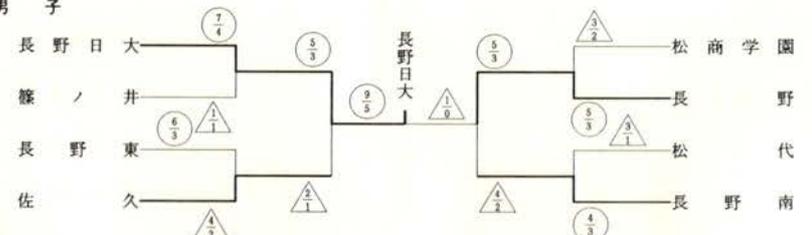


女子

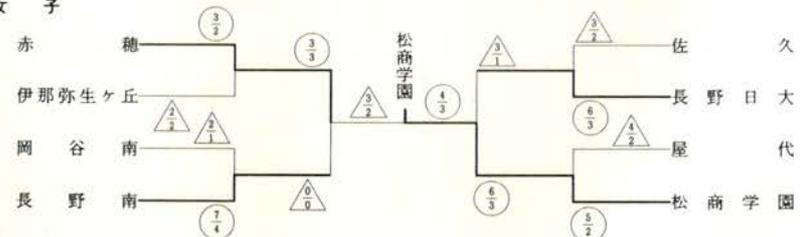


長野県高等学校新人体育大会

男子

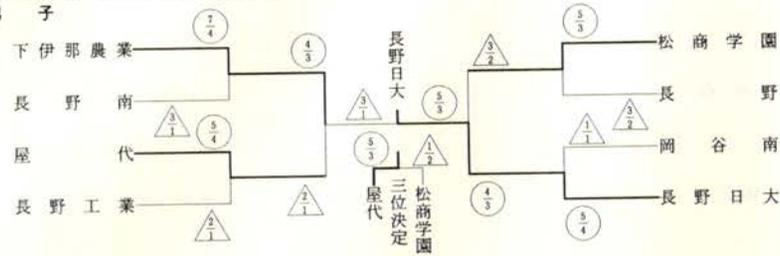


女子

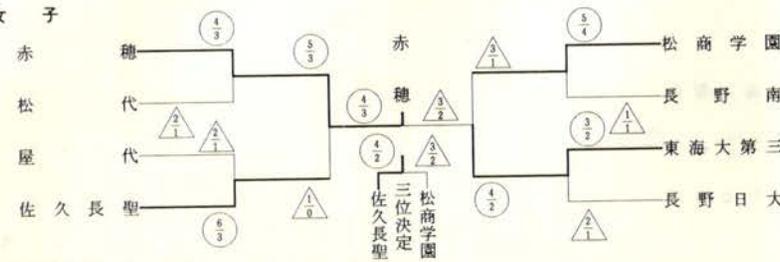


平成7年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

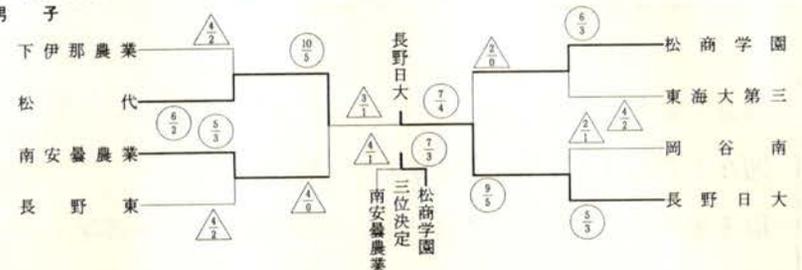


女子

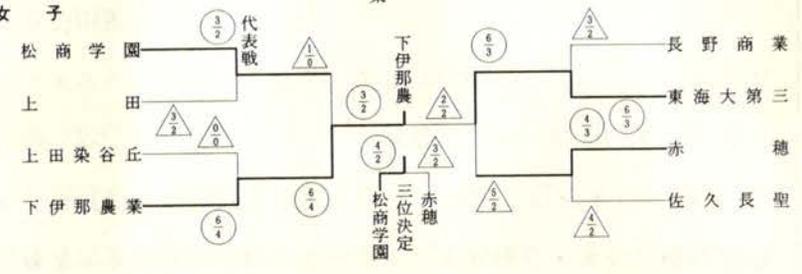


平成8年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

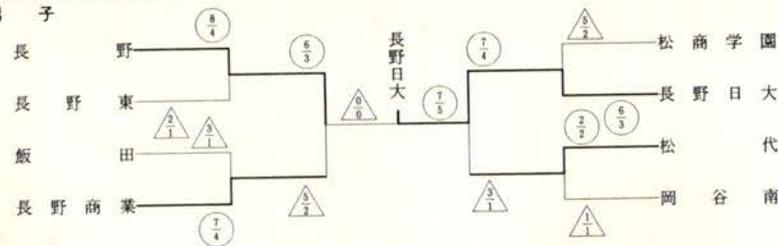


女子

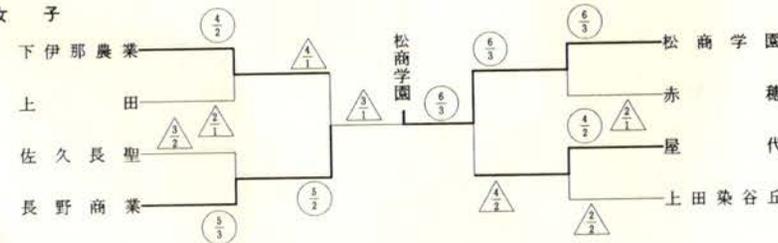


長野県高等学校新人体育大会

男子

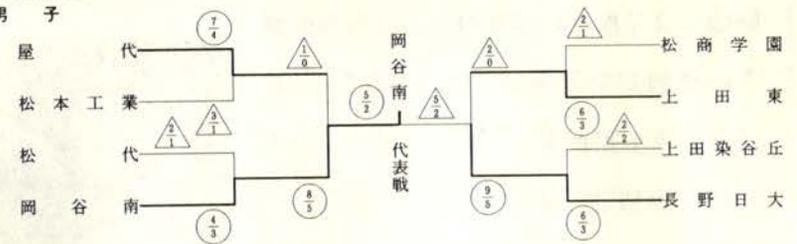


女子

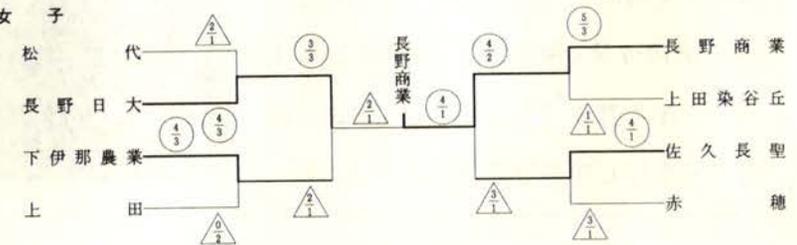


2 長野県高等学校新人体育大会

男子

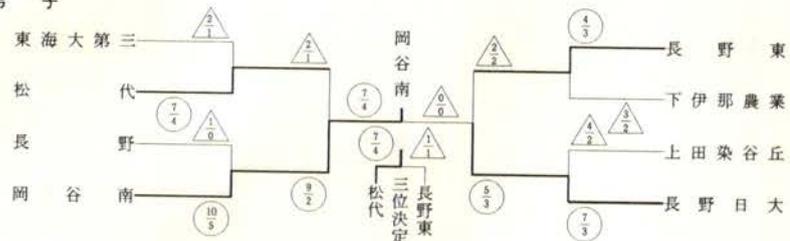


女子

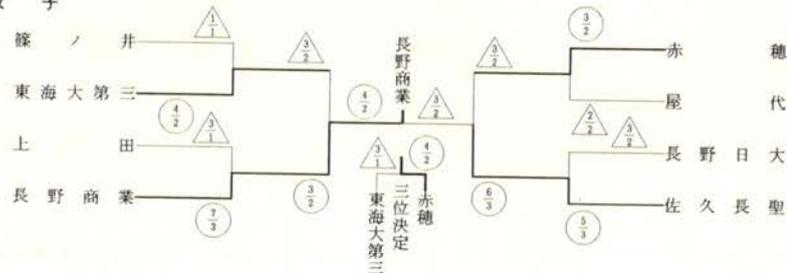


平成9年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

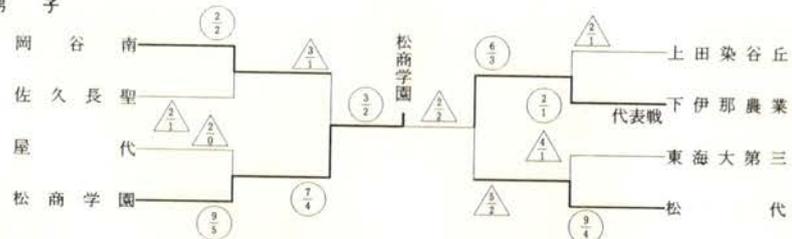


女子

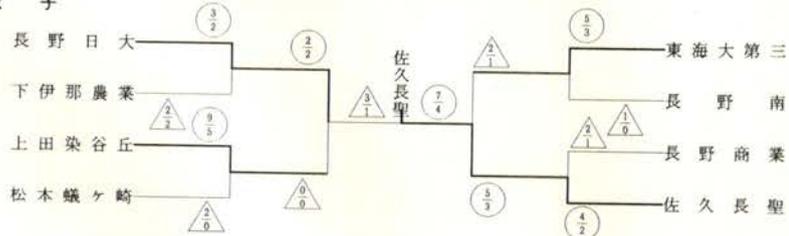


長野県高等学校新人体育大会

男子



女子



高体連会報紹介 第16号



今年の一年間の活動を振り返ると、県総合体育大会を6月5、6日を中心に県下全域で開催し生徒6,802名が出場。新人大会は10月初旬から3月初旬まで実施し、生徒7,040名の出場。北信越大会は本県で5種目開催し、他県選手を含め生徒1,897名の出場。昨年とほぼ同数の生徒が参加し、学校教育の一環としての高

体連の大会が成功裡に終了した。

全国大会は「はばたけ若人北の大地に」のスローガンのもと、全国総合体育大会が北の大地、北海道で夏季26種目・冬季2種目が開催され、長野県からは選手監督・役員を含め、夏季大会は総勢546名が出場した。駅伝競技は12月、京都府で上伊那農業高校が出場。ラグビー・フットボールは岡谷工業高校が出場し、待望の一勝をあげることが出来た。

スケート大会は、北海道帯広市で1月20日から開催され、選手他99名が参加し、スキー大会は同じく北海道旭川市で2月8日より開催され、選手他149名が出場。クロスカントリー15kmで今井（長野吉田）が優勝した。

4 ソフトテニス

木製のフレームに鯨筋のガットを張ったラケットの話をしていても現在の高校生には通じなくなりました。プラスチック製のフレームとガットのラケットでボールを打ち、全天候型のコートが大会に使えるようになってきました。昔は雨のために競技が中断や中止になるのはラケットやガットの保護、コートの保全のためでした。昨今は、選手の健康管理が第一のためです。この辺りにも時代の移り変わりを感じます。

創始100年を越える斯界で、長野県高体連ソフトテニス部がかかわってきた歴史については、先の40周年記念誌の中で当時の専門委員長小林喜運治先生が大変詳しくまとめられています。ちょうど、軟式庭球創始100周年記念行事が行われた頃でした。是非ご覧いただきたいと思えます。

昭和から平成に年号が移ったこの10年を顧みると、社会情勢の変化とスポーツ人気の多様化の中でこれまでにない大変革がありました。

長年続いた白一色のテニスウェアスタイルから、ウェアのカラー、絵柄の自由化が実現しました。

また、平成4年には軟式庭球の名称がソフトテニスへ改称となりました。

さらに、平成5年にはこれまでにないルール“国際ルール”が新設されました。以後、国内大会は漸次国際ルールの採用となり、現在はほとんどの大会がこのルールで行われるようになりました。

これらの“改革”は斯界にとっては平成の大革新ともいえるものでしたが、経過の中では賛否を含んで大変な論議が繰り返されたものでした。そして、現在ではほぼ歓迎された形で定着しています。

しかしながら、競技人口については小、中学生の隆盛や年輩者の現状維持の一方で、高校生や若者の競技離れや他のスポーツへの嗜好変わりが目立ちはじめ、競技人口の減少が著しくな

りました。

10年前ソフトテニスの高体連登録者数は全県で3千数百名ありましたが、毎年その数は減少し、現在（H8）では2千百余名となりました。

関係先生方のご協力により、これまで各種競技会、研修会、強化練習会、顧問総会等々を通じてソフトテニス部の組織力は充実しているものと自負して来ましたが、今後の課題は選手数の復活への方策と全国レベルの競技力向上のための研究と指導があると思えます。幸い、新台頭の上田西高校女子は柄沢先生の指導のもとに北信越を3連覇し、全国を視野に入れる所まで来ています。この刺激を全県的に広げたいものです。

50周年の歴史でこれまでご尽力頂いた専門委員長をご紹介し、その時代の表裏で活躍された先生方や関係各位に改めて感謝申し上げます。

昭和24年度 刈間今朝雄

昭和25～29年度 城倉 清志

昭和30～32年度 内堀 純一

昭和33～51年度 丸山まき美

昭和52～57年度 小林 貞男

昭和58～63年度 小林喜運治

平成元年～9年度 両角 正彦

関野敏幸（北信） 鋤柄一夫（中信）

市東和美（南信）

敬称略

（専門委員長 両角正彦）

長野県高等学校総合体育大会

(男子団体戦)

	1 位	2 位	3 位	4 位
S62	阿 智	長野吉田	上田染谷丘	飯田風越
63	上田染谷丘	阿 智	長野吉田	須 坂
H 1	上田染谷丘	阿 智	東 部	伊 那 北
2	上田染谷丘	飯 田	伊那弥生ヶ丘	木 曾
3	上田染谷丘	阿 智	伊那弥生ヶ丘	長 野
4	上田染谷丘	赤 穂	須 坂	野 沢 南
5	長野吉田	阿 智	赤 穂	上 田
6	阿 智	岩 村 田	須 坂	伊那弥生ヶ丘
7	須 坂	阿 智	上 田	上 田 東
8	上 田	長 野	松本工業	阿 智

(女子団体戦)

	1 位	2 位	3 位	4 位
S62	松商学園	田 川	伊 那 北	阿 智
63	田 川	上田染谷丘	松商学園	高 遠
H 1	伊那弥生ヶ丘	小 諸 商 業	上田染谷丘	野 沢 南
2	伊那弥生ヶ丘	阿 智	上田染谷丘	飯田風越
3	阿 智	松商学園	上田染谷丘	伊那弥生ヶ丘
4	松商学園	丸子実業	上田染谷丘	上田千曲
5	松商学園	上田染谷丘	飯田風越	木 曾
6	松商学園	阿 智	丸子実業	赤 穂
7	松商学園	飯田風越	丸子実業	飯山南
8	上 田 西	丸子実業	飯田風越	松商学園

(男子個人戦)

	1 位	2 位	3 位	4 位
S62	横関 康寿 林 雄一 (上田染谷)	植月 靖 佐々木祐介 (飯田風越)	仙石 幸雄 芝波田 豊 (木曾山林)	小宮山健一 高橋 淳哉 (長野吉田)
63	高橋 淳哉 山口 光隆 (長野吉田)	山上 聡司 飯塚 正明 (須 坂)	香山 司 松田 貴幸 (東 部)	高橋 忠幸 中城 和彦 (上田染谷丘)
H 1	香山 司 清水 義和 (東 部)	荒井 毅 塩崎 仁志 (須 坂)	林 満夫 臼井陽二郎 (上 田)	後藤 清彦 近藤 秀文 (阿 智)
2	小林 直人 義家 敏幸 (須 坂)	林 秀樹 栗林 誠 (上田染谷丘)	後藤 英幸 紀岡 毅 (阿 智)	千葉 晃 池上 充 (伊 那 北)
3	赤池 光司 佐藤 晃央 (上田染谷丘)	吉池 正樹 栗林 誠 (上田染谷丘)	大沼 亘 黒河内武司 (赤 穂)	矢島 政志 市川 崇 (上 田)
4	内川 文彦 出沢 英一 (東 部)	赤池 光司 荻原 慎也 (上田染谷丘)	八田 嘉裕 徳間 光宏 (北 部)	小木曾文博 平沢浩二郎 (赤 穂)
5	横沢 俊幸 竹花 和敏 (上田染谷丘)	義家 秀一 相沢 昌幸 (長野日大)	鳥毛 信幸 島田 賢一 (上 田)	一ノ沢 俊 池田 淳一 (屋 代)
6	佐々木伸充 後藤 広孝 (阿 智)	林 公之 平沢 典 (赤 穂)	大沼 勇 吉江 満 (赤 穂)	藤沢 孝浩 佐藤 智晴 (須 坂)
7	佐々木俊亮 杉野 和久 (阿 智)	藤沢 孝浩 佐藤 智晴 (須 坂)	佐々木伸充 牧之瀬和志 (阿 智)	牧野 学 山本 哲生 (上 田 東)
8	倉嶋 裕 村山 武史 (長 野)	若林 靖史 丸山 直孝 (長 野)	嶋 直仁 牧之瀬和志 (阿 智)	望月 英悟 五味 淳史 (下諏訪向陽)

(女子個人戦)

	1 位	2 位	3 位	4 位
S62	杉浦 敦子 塩原 美佳 (田 川)	坂口やちよ 山崎 優子 (須 坂)	小関 美恵 竹内のり子 (長野商業)	羽場崎ゆみ 村松 敬子 (阿 智)
63	牛丸 裕子 下平 智香 (伊那弥生丘)	生田亜由美 岡村真由美 (須 坂)	杉浦 敦子 塩原 美佳 (田 川)	柴田喜美代 村松 敬子 (阿 智)
H 1	上条さより 林 文恵 (松商学園)	矢ヶ崎政美 中野ゆかり (松商学園)	近藤 友里 梅田和歌子 (阿 智)	塩原 由理 城戸由紀子 (田 川)
2	斎藤 久美 稲田 美和 (松本深志)	近藤 友里 宮崎 幹子 (阿 智)	杉浦 陽子 上条 美嘉 (松商学園)	田畑 京子 長沢ふみ子 (上田染谷丘)
3	町田 陽子 旗町 和代 (松商学園)	落合 由香 葛西 公子 (松商学園)	上沢 和枝 清水 有子 (上田染谷丘)	杉山視津枝 宮崎 幹子 (阿 智)
4	落合 由香 柳沢 千史 (松商学園)	関 裕子 鈴木 時水 (松本県ヶ丘)	上原 聖美 葛西 公子 (松商学園)	渡辺 彰子 高田 愛子 (須 坂)
5	竹下 佳代 西窪 昌枝 (松商学園)	砂子 静江 碓氷 知世 (上田染谷丘)	牧 百合子 宇野加都子 (飯田風越)	関 優子 大槻 玲子 (松本県ヶ丘)
6	竹下 佳代 西窪 昌枝 (松商学園)	小林 美香 忠地 映美 (松商学園)	宮島和佳子 上原 美里 (松商学園)	古平亜沙記 小林 幸恵 (松商学園)
7	中島 令奈 前山 幸恵 (丸子実業)	内山 里美 作原江江子 (松商学園)	河野 恵美 飯島 育代 (上田染谷)	内田久実子 清水 君恵 (白 田)
8	吉田 恵 前山 幸恵 (丸子実業)	竹内めぐみ 松沢 慶子 (上 田 西)	横山 仁美 北沢 恵美 (上 田 西)	木下 貴子 原 智恵美 (阿 智)

長野県高等学校新人体育大会

(男子団体戦)

	1 位	2 位	3 位
S62	上田染谷丘	阿 智	長野吉田、伊 那 北
63	上田染谷丘	伊 那 北	東 部、上 田
H 1	阿 智	伊 那 北	上 田、染 谷 丘
2	上田染谷丘	阿 智	長 野、北 部
3	上田染谷丘	赤 穂	長野吉田、須 坂
4	長野吉田	長 野	野 沢 南、上伊那農業
5	上 田	阿 智	長野吉田、須 坂
6	須 坂	長野吉田	長 野、阿 智
7	長 野	上 田	松本工業、長野日大
8	長 野	上 田 西	赤 穂、伊那弥生ヶ丘

(女子団体戦)

	1 位	2 位	3 位
S62	田 川	松商業学園	上田染谷丘、高 速
63	伊那弥生ヶ丘	阿 智	松 商 学 園、阜 月
H 1	松 商 学 園	阿 智	小 諸 商 業、伊那弥生ヶ丘
2	上田染谷丘	上田千曲	須 坂、松 商 学 園
3	松 商 学 園	阿 智	須 坂、松本松南
4	飯田風越	松 商 学 園	篠 ノ 井、赤 穂
5	松 商 学 園	阿 智	染 谷 丘、諏訪二葉
6	松 商 学 園	丸子実業	飯 山 南、赤 穂
7	飯田風越	丸子実業	松 商 学 園、長野吉田
8	上 田 西	飯田風越	丸子実業、松 商 学 園

(男子個人戦)

	1 位	2 位	3 位	4 位
S62	高橋 淳哉 山口 光隆 (長野吉田)	山上 聡司 飯塚 正明 (須 坂)	高橋 忠幸 中城 和彦 (上田染谷)	須田 信広 塩崎 仁志 (須 坂)
63	南沢 一雅 古川 和安 (上田染谷)	荒井 毅 塩崎 仁志 (須 坂)	代田 英俊 増子 長之 (阿 智)	香山 司 松田 貴幸 (東 部)
H 1	押金 浩 山本 幸男 (上 田)	林 秀樹 佐藤 晃央 (上田染谷)	伊藤 正樹 池上 充 (伊 那 北)	竹内 明 高橋 祥造 (小諸商業)
2	吉池 正樹 栗林 誠 (上田染谷)	八田 嘉裕 徳間 光安 (北 部)	南沢 優司 小林 祐二 (須 坂)	木下 和美 岡庭 潤 (阿 智)
3	八田 嘉裕 徳間 光安 (北 部)	赤池 光司 荻原 慎也 (上田染谷)	八田 修 早川 博輝 (長野吉田)	西沢 義徳 岩崎 俊彦 (上田染谷)
4	義家 秀一 相沢 昌幸 (長野日大)	一ノ沢 俊 池田 淳一 (屋 代)	堀 裕 高見慎太郎 (長 野)	鳥毛 信幸 島田 賢一 (上 田)
5	海沼 元 竹内 雅智 (長野吉田)	大沼 勇 吉川 満 (赤 穂)	岩下 忠善 羽毛田拓史 (野 沢 北)	荒井 俊史 中村 利尊 (長野日大)
6	佐々木俊亮 杉野 和久 (阿 智)	佐々木伸充 後藤 広孝 (阿 智)	渡辺正太郎 久保 敦 (上 田)	小林 秀人 待井 大作 (長野吉田)
7	渡辺正太郎 久保 敦 (上 田)	傳刀 大輔 村山 博行 (穂高商業)	倉嶋 宏明 村山 武史 (長 野)	三浦 亮 相原 浩幸 (松本工業)
8	細萱 敦 来野 智彦 (松本工業)	堰免 誠 中村 英将 (長 野)	中村 幸彦 上屋直樹 (上 田 東)	中村 和宏 小島 健司 (長野日大)

(女子個人戦)

	1 位	2 位	3 位	4 位
S62	杉浦 敦子 塩原 美佳 (田 川)	生田亜由美 岡村真由美 (須 坂)	中野 恵 斎藤かおり (松本深志)	町田 尚美 徳永かおり (長野商業)
63	上条さより 林 文恵 (松商学園)	斎藤かおり 青木 恵美 (松本深志)	塩原 由理 城戸由紀子 (田 川)	飯島 文子 下平 智香 (伊那弥生ヶ丘)
H 1	斎藤 久美 稲田 美和 (松本深志)	甲田 明美 水出理映子 (上田千曲)	町田 陽子 旗町 和代 (松商学園)	上村友紀子 宮崎久美子 (須 坂)
2	町田 陽子 旗町 和代 (松商学園)	柳沢 しの 内山恵美子 (篠ノ井)	小出弘美 田中真奈美 (上田千曲)	杉浦 陽子 曾根しず枝 (松商学園)
3	上沢 和枝 清水 有子 (上田染谷)	宮島和佳子 小林 幸江 (松商学園)	竹下 佳代 西窪 昌枝 (松商学園)	山崎 京子 花村さおり (美須ヶ丘)
4	半田架可奈子 北沢可奈子 (上田千曲)	宮島和佳子 小林 幸江 (松商学園)	竹下 佳代 西窪 昌枝 (松商学園)	山崎 京子 花村さおり (美須ヶ丘)
5	竹下 佳代 西窪 昌枝 (松商学園)	小林 美香 小林 幸江 (松商学園)	宮島和佳子 上原 美里 (松商学園)	酒井 美樹 木村 理恵 (飯田風越)
6	古平亜沙紀 忠地 映美 (松商学園)	内山 里美 上原 美里 (松商学園)	中島 令奈 中村 弘美 (松商学園)	小林 江美 佐藤佳代子 (飯 山 南)
7	河野 恵美 飯島 育代 (上田染谷)	吉田 恵 前山 幸恵 (丸子実業)	小林 江美 佐藤佳代子 (飯 山 南)	中村 邦子 松沢 瞳 (飯 山 南)
8	成沢 浩子 松沢 慶子 (上 田 西)	竹内めぐみ 竹内 敏恵 (上 田 西)	中島由紀子 北川 恵美 (上 田 西)	米持 恵理 福島 千夏 (松商学園)

5 テ ニ ス

昭和37年、初の県高体連主催で長野県高校総合体育大会が開かれ、男子9、女子3校が参加、昭和53年には、男子13、女子16校の参加で、第1回の県高校新人大会を松本で開催、この年丸山叔孝長野県専門委員長が退任し、3代目委員長に遠藤六郎（松代）が選出される。今迄オープン参加だった県高校総体も、参加校が増加したため地区予選が行われるようになった。又第1回全国高校選抜庭球大会が、九州福岡で行われ、男子松代、女子松商が参加。県高体連登録数も、昭和59年40校、平成元年50校、6年64校、9年70校を数えるようになった。テニス専門部の発足年代と創設に貢献した、各地区初代専門委員長、中信43年、臼井始（深志）、東信50年、菅茂（東部）、南信51年、町田暁世（駒工）、北信51年、遠藤六郎（松代）、以下別表年次別委員一覧表を参照。

参加校も増え技術面でも充実した10年間を迎えることとなる。56年には男子団体で松代が北信越大会に10年ぶりの優勝を飾り、全国総体でも個人戦男子シングルスで、岡田浩一（松代）が4回戦に進みベスト16入を果し、全国ランキング15位の実績を残した。57年には、男子団体で軽井沢が優勝、2位松代、3位松商と北信越総体で上位独占、上記のような経過を経て、参加校も増え技術面でも充実した10年を迎えることとなる。

昭和62年～平成1年、63年県総体、団体戦男子上田東、女子松代が三連覇、松代は田島姉妹の活躍で、北信越大会で準優勝、全国大会では3回戦ベスト16入を果した。県大会は精神面が如実に現われた大会でもあった。女子団体戦では、大久保（上田東）は予想に反して田島（松代）に、精神的な不安から調子を崩し敗退した。個人戦、女子シングルスでは、前年度優勝の三澤（松商）は決勝で大久保（上田東）に、精神的な弱さの為か敗退し連覇はできず、男子でも、古川（上田東）は遠藤（屋代）に大接戦の末、タイブレークの1ポイントに泣いた。遠

藤尚樹は2連覇、尚三澤香織は次年度に優勝し2回目の優勝を果した。平成1年度では、男子団体で長野南、女子長野西がそれぞれ初優勝、長野西のエース佐藤と松商1年生斉藤との一騎打となり、精神的なプレッシャーで守りに入った斉藤に佐藤は、積極的に攻撃し打ち勝った。普段勝っていた相手であっても、精神的弱さか、プレッシャーに負ける。地道な練習と基本を大切に、自分のプレーに自信を持ち果敢に攻める決断が防御となり勝負を決める。2～5年、ジュニア育ちの選手が活躍した年、平成2年では男子団体上田東、混戦の中から伝統校らしく、そつなくチームをまとめ抜き出した。女子は松商、斉藤、花岡を中心としたチームで苦い経験をした斉藤は、精神的にも大きく成長し、全国大会女子団体3回戦ベスト16入の立役者でもあった。平成3年、男女共松商が優勝、特に3冠を達成した斉藤、小松の活躍が目立った。個人戦では斉藤兄弟の優勝、斉藤亜希（松商）は2連覇、平成4年、団体男女松商の2連覇、北信越大会でも男子は優勝、女子2位、2年連続の3冠を成しとげた斉藤は精神的にも技術的にも揃った好選手。個人ダブルスで小松浩康（松商）も2連覇と成る。平成5年、団体男女共松商の3連覇達成、軽井沢で行われた北信越大会でも男子は2連覇となる。個人戦女子シングルスは大畑陽子（深志）が2連覇し伸び伸びしたプレーが目立った。

上田東は2年連続で団体男女共2位に終わったが、高校から始めた選手ばかりである。学校クラブ活動の理想とする人間形成の部分を、重要視した指導は、監督自身の長い間の地道な努力の上で育てあげるもの、逆境経験の無い選手をよくここまで育てた。

団体戦は己の利害をかえりみず、チームのためにと励み勝敗を争うその努力に、ある種の若者の純なものを感じる。喜び、悲しみ、苦しさを知る経験は青春の貴重な体験の一つで価値のある大切なこと。平成6～9年、6年県総体、

男子団体松商の4連覇を阻んだのは県ヶ丘。突出した選手はいないが監督、選手一丸となって地道な努力をした成果である。女子団体は松商の5連覇、個人では男子弓田悟、尾又綾香の松商エースの2冠達成、平成7年、県総体、男女共松商の優勝、男子は北信越でも優勝し全国では4回戦に進出、日大三島に敗れたとはいえ、念願のベスト8入りを果し、専門部発足以来の功績を残した。又エースの弓田悟選手は県総体で3冠を達成、全国大会でもシングルスで4回戦に進出し、陳(柳川)に敗れたが、全国高校ランキング初の12位に入る実績を残した。ダブルスペアの金山武史も県総体2連覇を達成、8年、県総体では男子諏訪清陵が宿敵、松商の連勝を阻んだ。女子は松商7連勝中、全国でもベスト16入している。9年度、県総体では男女共松商が優勝、女子は8連勝、個人戦シングルスは男子若月一真(上田)、女子長沢朋美(松商)が揃って2連覇を達成、全国総体でも共に3回戦まで進み、若月は辻(千葉)に5-7の惜敗、長沢は堀川(東京)に6-1で敗退した。3月に行われた全国選抜大会では初のフリー抽選が行われ、松商女子団体は全国ベスト4に入る功績を残している。

全国で上位を狙う選手を育てるには、ゲーム中のコンセントレーションを真剣に考え対処す

ることが必要で、勝負どころの一本の集中力がゲームを左右する。精神力や集中力は簡単にはできない。指導者は苦しく困難な場を練習の中でつくりだす工夫をオフシーズンのトレーニングの中でプログラム化したり、ほんのわずかの時間意識が途切れる迂回現象などの点にも意識を傾け、すきのない選手、チームをつくっていききたいもの。松商はジュニア育ちのメンタル面の弱さをカバーする監督の指導力がある。松商北野あすか選手は身体に障害を持ちながらインターハイでベスト16入した。女子団体のメンバーとして活躍、障害による技術的な難題を強い意志と努力で克服し実力を備えたりつばな選手であった。以上長野県高校総体を中心に、ここ10年の戦績をふり返ってみました。

この10年の前半は生徒数増加、更にテニスブームに乗って部員数も増え活気を程した。後半になると生徒減、クラブが加入率の減少などによって漸減している。しかしこの10年間は今迄になく技術面で大きな飛躍を遂げた。他県の選手がそうであるように、小中学校からの経験者が各大会で活躍していることに注目したい。長野県においても全国レベルで活躍するには、1日も早く中学校にテニスクラブが生まれその普及が今後の課題となるのである。

(専門委員長 遠藤六郎)



長野県高等学校総合体育大会男子団体

年度	1 位	2 位	3 位	
62	上田東	軽井沢	長野	上田
63	上田東	松本深志	飯田	松本県ヶ丘
1	長野南	松本深志	飯田	長野吉田
2	上田東	松本蟻ヶ崎	松本筑摩	松本深志
3	松商学園	上田染谷丘	松本深志	長野南
4	松商学園	上田東	上田	長野
5	松商学園	上田東	松本深志	松本県ヶ丘
6	松本県ヶ丘	松商学園	赤穂	松本深志
7	松商学園	長野南	長野西	上田東
8	諏訪清陵	松商学園	岡谷東	長野西
9	松商学園	諏訪清陵	松代	上田

長野県高等学校総合体育大会男子シングル

年度	1 位	2 位	3 位	
62	遠藤尚樹 (屋代)	遠藤武次 (上田東)	西島英典 (上田東)	神戸光一 (軽井沢)
63	遠藤尚樹 (屋代)	南川洋一 (上田東)	丸山英樹 (松本深志)	古川敬二 (上田東)
1	野村智弘 (松本深志)	古畑順也 (松本深志)	池田健一 (松本県ヶ丘)	中沢栄一 (長野南)
2	金子子 (軽井沢)	長谷川結城 (上田東)	関沢一宏 (松本蟻ヶ崎)	小松浩康 (松商学園)
3	斉藤政宏 (松商学園)	小松浩康 (松商学園)	牧野崇 (松代)	坂田尚士 (上田染谷丘)
4	斉藤政宏 (松商学園)	三村貴裕 (松本深志)	小松佳道 (東海大三)	伊藤進 (上田東)
5	佐藤宏行 (上田東)	小宮山仁 (上田東)	古旗隆善 (松商学園)	永沢仁志 (松本深志)
6	弓田悟 (松商学園)	一志淳 (松本県ヶ丘)	伊藤光昭 (赤穂)	金山武史 (松商学園)
7	弓田悟 (松商学園)	若月一真 (上田)	山本和正 (長野南)	金山武史 (松商学園)
8	若月一真 (上田)	宮下英也 (松商学園)	犬飼允 (松商学園)	花岡武 (諏訪清陵)
9	若月一真 (上田)	福田将史 (松商学園)	犬飼允 (松商学園)	谷内耕平 (諏訪清陵)

長野県高等学校総合体育大会女子団体

年度	1 位	2 位	3 位	
62	松代	上田	松商学園	田川
63	松代	上田東	飯田風越	軽井沢
1	長野西	松商学園	松代	飯田風越
2	松商学園	松本蟻ヶ崎	松代	岡谷東
3	松商学園	田川	伊那弥生丘	上田東
4	松商学園	上田東	丸子実業	松本県ヶ丘
5	松商学園	上田東	長野南	松本県ヶ丘
6	松商学園	松本県ヶ丘	長野南	上田東
7	松商学園	長野南	上田東	田川
8	松商学園	長野女子	上田東	長野南
9	松商学園	長野南	長野女子	上田

長野県高等学校総合体育大会女子シングル

年度	1 位	2 位	3 位	
62	三沢香織 (松商学園)	中曽根美穂 (上田)	高沢 (須坂)	荻上真代 (田川)
63	大久保恵美 (上田東)	三沢香織 (松商学園)	田島由紀 (松代)	倉島千枝 (上田東)
1	三沢香織 (松商学園)	丸山かずえ (松代)	北沢綾香 (長野南)	池田ひかる (長野西)
2	斉藤亜希 (松商学園)	北沢綾香 (長野南)	花岡史穂理 (松商学園)	田井美由紀 (松代)
3	斉藤亜希 (松商学園)	花岡史穂理 (松商学園)	佐藤理香 (上田東)	藤松由喜枝 (田川)
4	大畑陽子 (松本深志)	花岡史穂理 (松商学園)	山崎多恵子 (松商学園)	森本彩子 (松商学園)
5	大畑陽子 (松本深志)	尾又綾香 (松商学園)	金沢千佳 (長野西)	佐藤奈美枝 (上田東)
6	尾又綾香 (松商学園)	小林真利子 (中野西)	峰村葉月 (長野)	藤澤牧子 (長野南)
7	尾又明日香 (岡谷南)	長沢朋美 (松商学園)	峰村葉月 (長野)	大野田史恵 (松商学園)
8	長沢朋美 (松商学園)	中曽根咲子 (松商学園)	松原真弓 (松商学園)	田村加代子 (松商学園)
9	長沢朋美 (松商学園)	川上絵美 (松商学園)	小林真悠香 (上田)	丸山総子 (松商学園)

長野県高等学校総合体育大会男子ダブルス

年度	1 位	2 位	3 位	
62	遠藤 武次 西島 英典 (上田東)	田中 文隆 湯沢 英之 (飯田)	神戸 光一 佐藤 克也 (軽井沢)	森 春 尻原 原 (染谷丘)
63	湯沢 英之 宮田 芳則 (飯田)	古川 敬二 中村 洋一 (上田東)	田島 裕紀 清沢 佳典 (松本深志)	千北 原島 北 (上田東)
1	中沢 栄一 寺島 洋樹 (長野南)	高田 永宏 関沢 一宏 (松本蠶ヶ崎)	奈良本憲泰 三浦 剛基 (長野南)	野村 智弘 大滝 崇 (松本深志)
2	山岸 正人 長谷川結城 (上田東)	関沢 一宏 半沢 健 (松本蠶ヶ崎)	佐藤 知行 古瀬 智通 (上田東)	高田 和 宮下 泰巨 (松本蠶ヶ崎)
3	小松 浩康 齊藤 政宏 (松商学園)	菊原 良一 北沢 勉 (上田東)	島崎 克也 宮下 進一 (染谷丘)	大滝 篤 小松 智徳 (松本深志)
4	齊藤 政宏 小松 浩康 (松商学園)	小松 佳道 鎌田 孝広 (東海大三)	伊藤 進 佐藤 宏行 (上田東)	林部 敬 小林 信一 (長野野)
5	佐藤 宏行 小宮山 仁 (上田東)	三村 貴裕 油野 崇 (松本深志)	清水 志郎 竹内 剛規 (染谷丘)	古瀬 隆善 弓田 悟 (松商学園)
6	弓田 悟 金山 武史 (松商学園)	小林 和成 元木 寛 (丸子実業)	村山 聖 山本 道夫 (松本県ヶ丘)	伊藤 光昭 齊藤 昌雄 (赤穂)
7	弓田 悟 金山 武史 (松商学園)	百瀬 真二 高津 豪介 (塩尻)	小林 孝典 中野 高志 (田川)	山口 貴仁 藤沢 仁 (長野西)
8	花岡 武 今井 茂樹 (諏訪清陵)	宮下 英也 福田 将史 (松商学園)	若月 一真 中澤 広徳 (上田東)	長澤 卓郎 若林裕二郎 (松代)
9	福田 将史 犬飼 允 (松商学園)	谷内 耕平 大浦 信輔 (諏訪清陵)	長澤 卓郎 島田 錬代 (松)	若月 一真 霜坂 和秀 (上田東)

長野県高等学校総合体育大会新人男子団体

年度	1 位	2 位	3 位	
62	上田東	松本深志	飯田	丸子実業
63	長野南	上田	長野東	長野工業
1	上田東	松本蠶ヶ崎	松本深志	長野南
2	松本深志	上田染谷丘	上田東	長野南
3	松商学園	上田東	屋代	松本深志
4	上田東	松商学園	東海大第三	飯田
5	松商学園	松本県ヶ丘	赤穂	松本深志
6	松商学園	長野南	長野西	諏訪清陵
7	松商学園	諏訪清陵	岡谷東	伊那北
8	松商学園	諏訪清陵	長野	伊那北
9	松本深志	松商学園	諏訪清陵	上田

長野県高等学校総合体育大会女子ダブルス

年度	1 位	2 位	3 位	
62	田島 智夏 田島 由紀 (松代)	加藤 悦子 佐藤 静 (松代)	新井 井 羽場内弓恵 (松本深志)	小山 直美 中沢 寿恵 (上田東)
63	大久保恵美 倉島 千枝 (上田東)	丸山かずえ 田島 由紀 (松)	三沢 香織 小松 恵理 (松商学園)	池田ひかる 佐藤 信子 (長野西)
1	池田ひかる 佐藤 信子 (長野西)	丸山かずえ 野池麻里子 (松)	三沢 香織 齊藤 亜希 (松商学園)	可知 幸子 桜井 禄子 (松本美須ヶ丘)
2	齊藤 亜希 花岡史穂理 (松商学園)	田井美由紀 花岡 香織 (松代)	佐藤 理香 山辺かおり (上田東)	草深百合子 武居 康恵 (松本蠶ヶ崎)
3	久保田紀子 浅原 緑 (松本蠶ヶ崎)	齊藤 亜希 花岡史穂理 (松商学園)	藤松由喜枝 大池 和美 (田川)	大畑 陽子 高田よし恵 (松本深志)
4	花岡史穂理 森本 彩子 (松商学園)	朝倉奈々 岩井 里加 (松商学園)	上野 真弓 小松恵理奈 (丸子実)	大畑 陽子 清水 彰子 (松本深志)
5	岩井 里加 久田美和子 (松商学園)	佐藤奈美枝 寺島貴代美 (上田東)	尾又 綾香 榊原 暁子 (松商学園)	北沢 朱美 久田 寛子 (上田東)
6	尾又 綾香 榊原 暁子 (松商学園)	藤澤 牧子 関谷 裕美 (長野南)	松沢 藍 萩久保光子 (上田東)	小林真利子 久米美智子 (中野西)
7	大野田史恵 井伊 慶恵 (松商学園)	中曽根咲子 田村加代子 (松商学園)	北野あすか 丸山 総子 (松商学園)	松原 真弓 長沢 朋美 (松商学園)
8	中曽根咲子 長沢 朋美 (松商学園)	田村加代子 小出沢あすか (松商学園)	中曽根美穂 池田 宏美 (上田東)	松原 真弓 丸山 総子 (松商学園)
9	長沢 朋美 川上 絵美 (松商学園)	丸山 総子 小出沢千夏 (松商学園)	松山 由佳 渡辺 叔佳 (松商学園)	遠藤 寿江 小平 貴子 (松商学園)

長野県高等学校総合体育大会新人女子団体

年度	1 位	2 位	3 位	
62	上田東	松代	軽井沢	飯田風越
63	松代	松商学園	長野西	軽井沢
1	松代	飯田風越	松本蠶ヶ崎	松本県ヶ丘
2	松商学園	上田東	岡谷東	丸子実業
3	松商学園	上田東	上田染谷丘	丸子実業
4	上田東	松商学園	松本県ヶ丘	長野西
5	松商学園	松本県ヶ丘	長野南	長野
6	松商学園	長野南	長野女子	松商学園
7	松商学園	上田東	長野南	長野女子
8	松商学園	篠ノ井	長野女子	長野南
9	松商学園	篠ノ井	屋代	長野

長野県高等学校総合体育大会新人男子シングル

年度	1 位	2 位	3 位	
62	遠藤 尚樹 (屋 代)	千 原 (長 野 東)	湯澤 英之 (飯 田)	羽生田哲哉 (北 部)
63	野 村 (松本深志)	中沢 栄一 (長 野 南)	峯村 和孝 (上 田)	田中 直樹 (上 田)
1	関沢 一宏 (松本巖ヶ崎)	金 子 (軽 井 沢)	米沢 健 (松本巖ヶ崎)	山岸 正人 (上 田 東)
2	小松 浩康 (松商学園)	菊原 良一 (上 田 東)	大森 新吾 (伊那弥生丘)	西脇 広治 (丸子実業)
3	斉藤 政宏 (松商学園)	小松 浩康 (松商学園)	三村 貴裕 (松本深志)	小松 佳道 (東海大第三)
4	斉藤 政宏 (松商学園)	三村 貴裕 (松本深志)	小松 佳道 (東海大第三)	飯嶋 洋文 (丸子実業)
5	弓田 悟 (松商学園)	伊藤 光昭 (赤 穂)	金山 武史 (松商学園)	村山 聖 (松本県ヶ丘)
6	弓田 悟 (松商学園)	金山 武史 (松商学園)	宮下 英也 (松商学園)	羽生田 聡 (長 野 南)
7	若月 一真 (上 田)	宮下 英也 (松商学園)	花岡 武 (諏訪清陵)	田中 章司 (松商学園)
8	若月 一真 (上 田)	福田 将史 (松商学園)	谷内 耕平 (諏訪清陵)	肥野 竜也 (駒ヶ根工業)
9	近藤廉太郎 (松商学園)	西村 幸一 (松 代)	谷内 耕平 (諏訪清陵)	杉戸 大輔 (長 野 西)

長野県高等学校総合体育大会新人男子ダブルス

年度	1 位	2 位	3 位	
62	中村 洋一 古川 敬三 (上 田 東)	土井 郁也 山崎 徹 (丸子実業)	丸 山 竹 洩 (松本深志)	川 誠司 篤 淳 (上 田)
63	中沢 栄一 寺島 洋樹 (長 野 南)	野 村 滝 (松本深志)	大沢 純司 池田 健一 (松本県ヶ丘)	吉川 泰教 宇佐美茂樹 (飯 田)
1	佐藤 知行 古瀬 智通 (上 田 東)	新井 浩一 武居 貴光 (松本深志)	高田 和 関沢 一宏 (松本巖ヶ崎)	北 沢 松 坂 (屋 代)
2	水野 秀樹 中 村 (長 野 南)	岡庭 正和 村松 篤 (飯 田)	北 沢 勉 菊原 良一 (上 田 東)	坂田 尚士 春日 憲吉 (上田染谷丘)
3	斉藤 政宏 小松 浩康 (松商学園)	三村 貴裕 花村 哲和 (松本深志)	島田 剛志 浴本 徹 (長 野)	若林 英一 高山 祐司 (松本筑摩)
4	斉藤 政宏 古旗 隆善 (松商学園)	清水 志郎 竹内 剛規 (上田染谷丘)	小松 佳道 山岡 慎一 (東海大第三)	宮本 孝 滝之入 孝 (上 田 東)
5	弓田 悟 金山 武史 (松商学園)	小沢 広信 等々力直也 (上田染谷丘)	伊藤 光昭 斉藤 昌雄 (赤 穂)	上條 匡史 清水 哲司 (松本美須々)
6	弓田 悟 金山 武史 (松商学園)	宮下 英也 岩崎 丁蔵 (松商学園)	倉嶋 和彦 幡場 茂雄 (長 野 南)	大石 剛 西沢 道博 (上 田 東)
7	花岡 武 今井 茂樹 (諏訪清陵)	若月 一真 横関 章一 (上 田)	田中 善和 笠原 進 (岡 谷 東)	宮下 英也 福田 将史 (松商学園)
8	福田 将史 犬飼 允 (松商学園)	谷内 耕平 大浦 信輔 (諏訪清陵)	若月 一真 霜坂 和秀 (上 田)	松村健太郎 小泉 禎紀 (長 野)
9	濱 正樹 滝沢 久嗣 (松商学園)	谷内 耕平 齊川征志郎 (諏訪清陵)	若林 宏治 中沢 善雄 (篠ノ井)	池内 貴志 緑川 康男 (篠ノ井)

長野県高等学校総合体育大会新人女子シングル

年度	1 位	2 位	3 位	
62	荻上 真代 (田 川)	大久保恵美 (上 田 東)	池田ひかる (長 野 西)	中村 恵子 (上 田 東)
63	三沢 香織 (松商学園)	丸山かづえ (松 代)	池田ひかる (長 野 西)	野池麻里子 (松 代)
1	斉藤 亜希 (松商学園)	北沢 綾香 (長 野 南)	中野 真紀 (岡 谷 東)	武居 康恵 (松本巖ヶ崎)
2	斉藤 亜希 (松商学園)	花岡史穂理 (松商学園)	久保田紀子 (松本巖ヶ崎)	北沢 綾香 (長 野 南)
3	大畑 陽子 (松本深志)	花岡史穂理 (松商学園)	森本 彩子 (松商学園)	山崎多恵子 (松商学園)
4	大畑 陽子 (松本深志)	佐藤奈美枝 (上 田 東)	尾又 綾香 (松商学園)	金沢 千佳 (長 野 西)
5	尾又 綾香 (松 商 西)	小林真利子 (中 野 西)	藤澤 牧子 (長 野 南)	中村 裕美 (長野女子)
6	峰村 葉月 (長 野)	井伊 慶恵 (松商学園)	中曾根咲子 (松商学園)	関谷 裕美 (長 野 南)
7	長沢 朋美 (松商学園)	中曾根咲子 (松商学園)	田村加代子 (松商学園)	松原 真弓 (松商学園)
8	長沢 朋美 (松商学園)	川上 絵美 (松商学園)	丸山 総子 (松商学園)	山田 翠 (諏訪清陵)
9	川上 絵美 (松商学園)	石坂 美樹 (篠ノ井)	小平 貴子 (松商学園)	小林真悠香 (上 田)

長野県高等学校総合体育大会新人女子ダブルス

年度	1 位	2 位	3 位	
62	大久保恵美 倉島 千枝 (上 田 東)	中島 靖子 和泉 弥生 (飯田風越)	中村 恵子 岡野 初美 (上 田 東)	草深 芳枝 小岩井尚美 (松本巖ヶ崎)
63	三沢 香織 小松 恵理 (松商学園)	土屋いずみ 石田 紫 (軽 井 沢)	丸山かづえ 野池麻里子 (松 代)	池田ひかる 佐藤 信子 (長 野 西)
1	斉藤 亜希 永田恵美子 (松商学園)	草深百合子 武居 康恵 (松本巖ヶ崎)	田井美由紀 岡村 香織 (松 代)	北沢 綾香 横島 久美 (長 野 南)
2	斉藤 亜希 花岡史穂理 (松商学園)	浅原 緑 久保田紀子 (松本巖ヶ崎)	北沢 綾香 中 島 (長 野 南)	山崎多恵子 入野 奈美 (松商学園)
3	花岡史穂理 森本 彩子 (松商学園)	山崎多恵子 久田美和子 (松商学園)	朝倉奈々絵 岩井 里加 (松商学園)	入野 奈美 臼 井 (松商学園)
4	佐藤奈美枝 寺島貴代美 (上 田 東)	岩井 里加 尾又 綾香 (松商学園)	久田美和子 榛葉加奈子 (松商学園)	柳沢さやか 竹花 陽子 (上 田 東)
5	尾又 綾香 榊原 暁子 (松商学園)	藤澤 牧子 関谷 裕美 (長 野 南)	中村 裕美 竹内百合子 (長野女子)	松沢 藍 荻久保光子 (上 田 東)
6	田村加代子 中曾根咲子 (松商学園)	関谷 裕美 滝沢 千恵 (長 野 南)	中村 真純 宮入 浩美 (長 野 南)	宮澤紀美枝 飯田 純代 (長野女子)
7	長沢 朋美 遠藤 寿江 (松商学園)	中曾根咲子 菊池 才子 (松商学園)	田村加代子 北野あすか (松商学園)	松原 真弓 丸山 総子 (松商学園)
8	長沢 朋美 川上 絵美 (松商学園)	丸山 総子 菊池 才子 (松商学園)	松山 由佳 小出澤千夏 (松商学園)	遠藤 寿江 小平 貴子 (松商学園)
9	川上 絵美 小平 貴子 (松商学園)	米山奈緒美 中曾根香織 (松商学園)	大澤亜喜子 中澤真利子 (屋 代)	犬 飼 松 原 (松商学園)

6 バスケットボール

1 バスケットボールの概況

昭和62年以降を振り返ってみるとき、衛星放送によるアメリカのプロバスケットボール(NBA)や全米大学バスケットボール(NCAA)の放映によって、バスケットボール指導者や愛好者は本場の技術と戦術をリアルタイムで見ることができ、大きな影響を与えられた。さらに拍車をかけたのが、1992年バルセロナ大会からのオリンピックへのプロ選手の出場である。その結果、NBAのみならずヨーロッパのプロ選手もが一堂に会して競うことになり、世界の人々が注目する大会が最も高いレベルの大会となった。

アトランタ大会で、日本女子が7位になったことは特筆すべきことである。

また、日本でNBAの公式戦が開催されたことや、女子のプロWNBAで日本人選手がコートに立つなどして、徐々にではあるが広く関心が高まってきている。こういなかで、5月ドイツで女子が、男子は6月ギリシャでの世界選手権大会(31年振り)の出場権を得た。

2 昭和62年以降の高校バスケットボールの変遷

(1) 大会の変遷

昭和63年度 ・全国選抜優勝大会の開催時期が3月から12月に移動、これに伴って3年生の出場が認められた。

平成元年度 ・北信越高校新人大会が開催される(平成2年3月)。

平成2年度 ・県高校総体の各地区出場チーム数を8チームにする。
・全国選抜優勝大会が都道府県対抗戦となり、信越予選会が無くなって、県予選会の優勝チームが自動的に出場できるようになった。

(2) ゲーム

3ポイントルールの導入により、シューティングエリアが広がったため、オフェンスのみ

ならずディフェンスの戦術までが大きく変わった。それまでのゆっくりしたリズムのゲームからスピーディでスリリングな試合が展開されるようになった。その結果、10点位の点差はセーフティリードとはいえなくなった。

(3) 施設

県下で唯一の4面のバスケットボールコートが使用できる体育館として平成3年度に松本市総合体育館が落成。

(4) 昭和62年度以降の県下勢力図の変遷

男子は、平成3年までは吉田を軸に展開していたが、東海大第三が平成4年から全国総体に5回出場(最近3年は3回戦まで進出)し、全国選抜優勝大会には松商が5年連続出場するなど、この2校に吉田が挑戦する図式となっている。

女子では、豊科・野沢南を軸に展開してきたが、佐久長聖(佐久)が全国総体に最近8年間に6回、全国選抜優勝大会にも最近7年間に6回出場と県下強豪チームに成長してきた。その中で、平成5年清泉が、平成9年には東海大三が全国総体に出場した。全体としては、有力私立校に対して、各地区の公立校が挑戦するという構図である。

(5) 県出身選手の活躍(現在JBLで活躍している選手)

女子 竹田さゆり(豊科高一筑波大一三井生命)

三澤美保(赤穂中一名短付一愛知学泉大一デンソー)

黒河内幸子(伊那東部中一佐久長聖一東芝)

男子 野口勇人(東海大三一日体大一愛知機械)

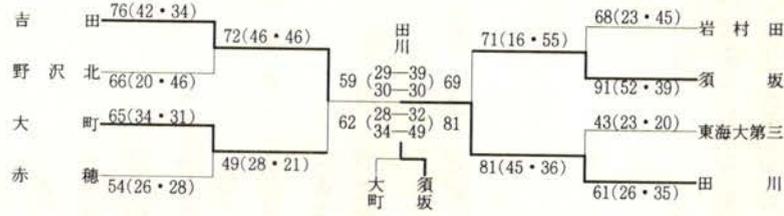
村田啓一郎(長野吉田一中央大一豊田通商)

小沼義博(長野吉田一順天大一丸紅)

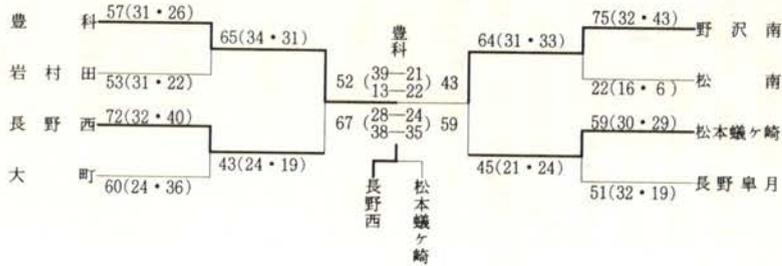
(専門委員長 野竹 俊克)

昭和62年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

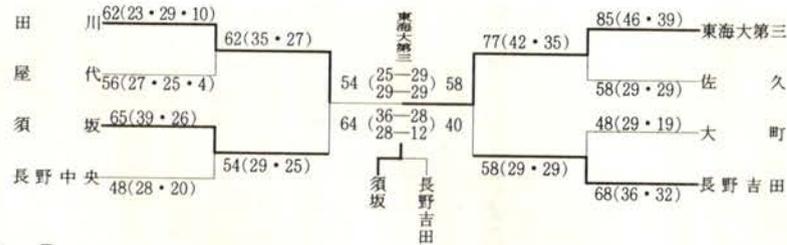


女子

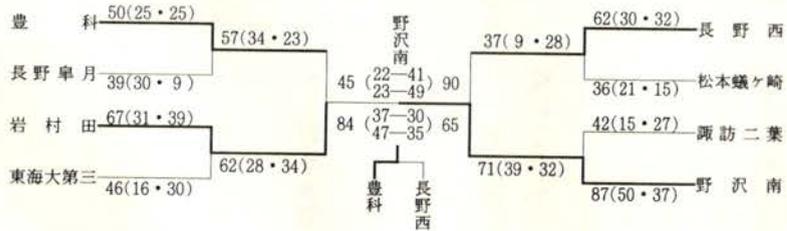


長野県高等学校新人体育大会

男子

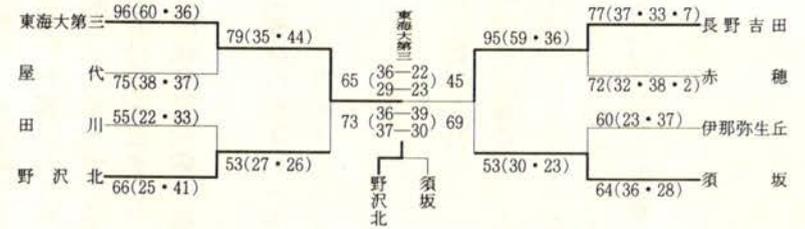


女子

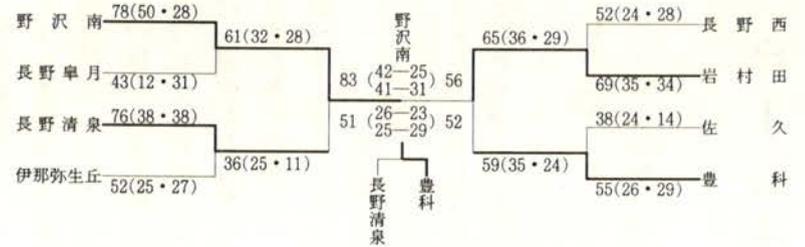


昭和63年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

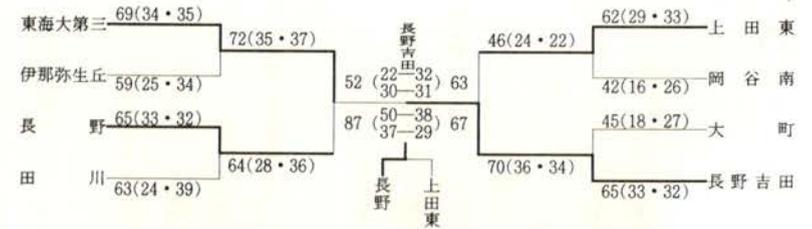


女子

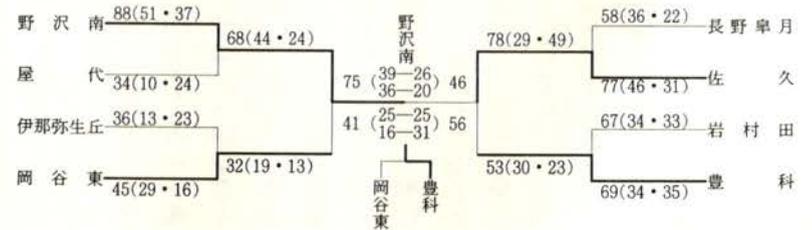


長野県高等学校新人体育大会

男子

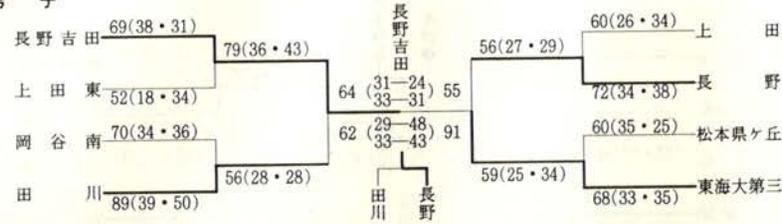


女子

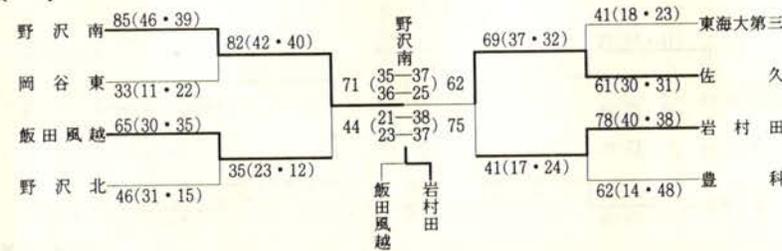


平成元年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

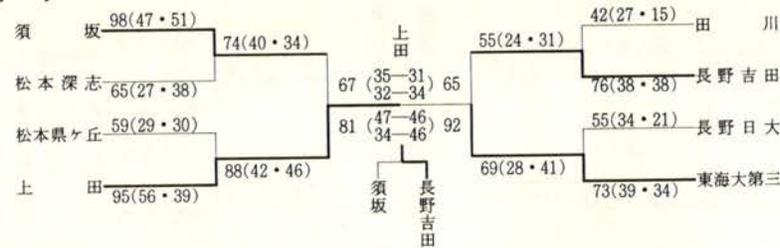


女子

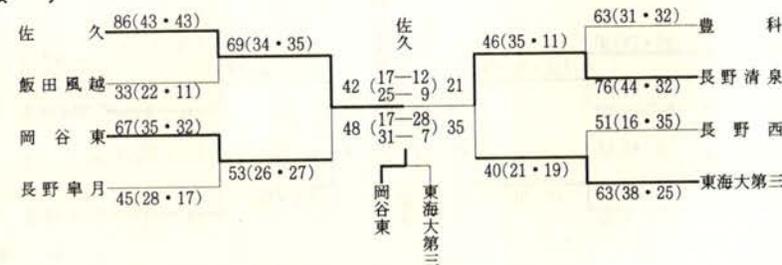


長野県高等学校新人体育大会

男子

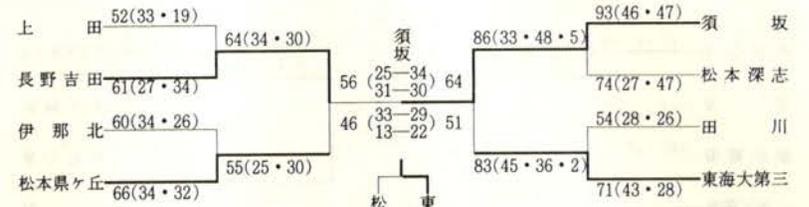


女子

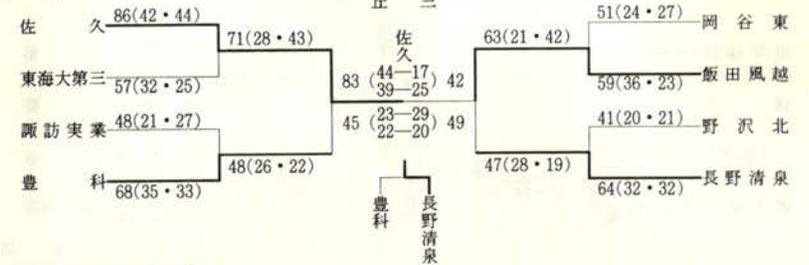


平成2年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

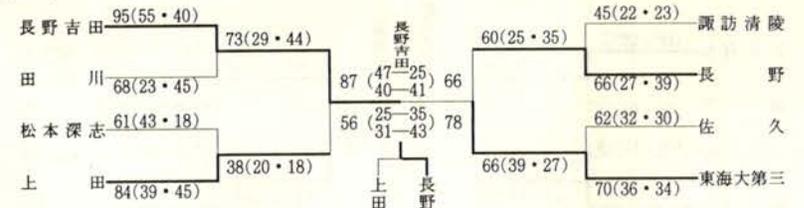


女子

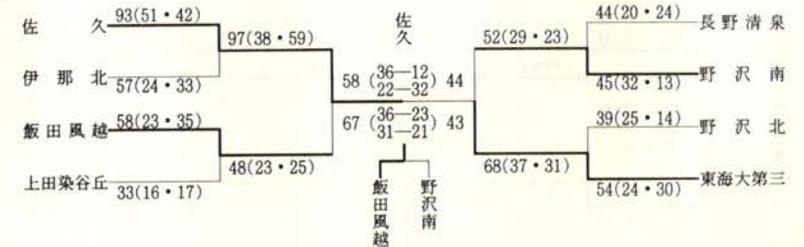


長野県高等学校新人体育大会

男子

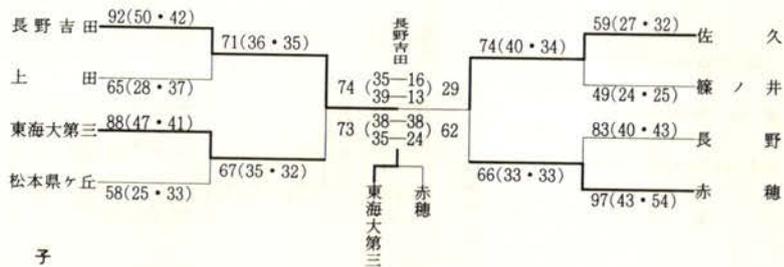


女子



平成3年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

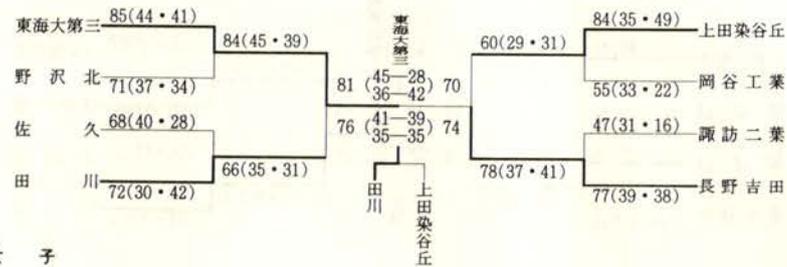


女子

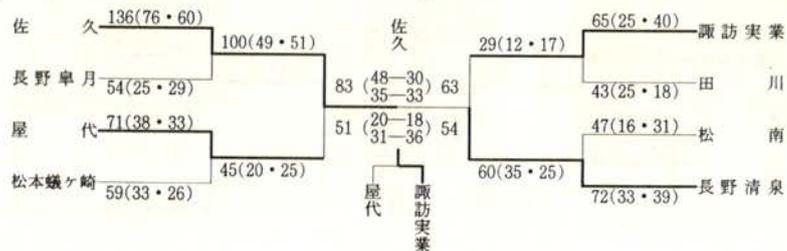


平成4年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

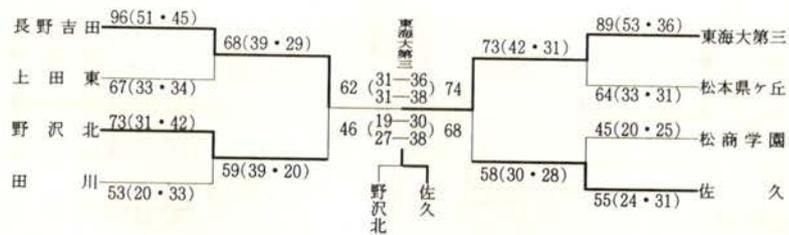


女子

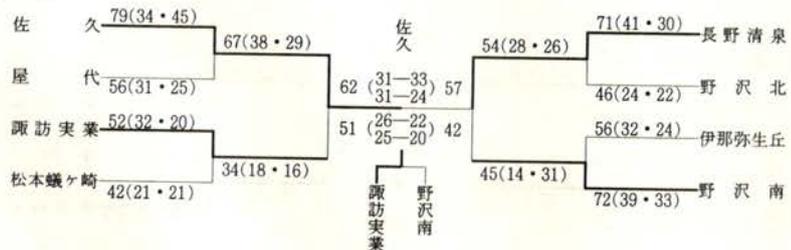


長野県高等学校新人体育大会

男子

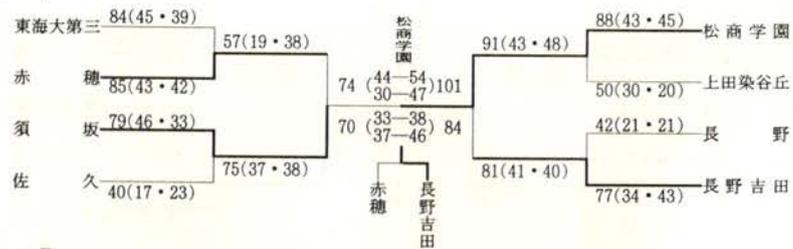


女子

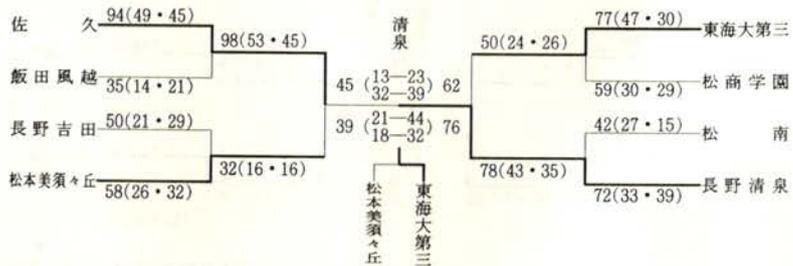


長野県高等学校新人体育大会

男子

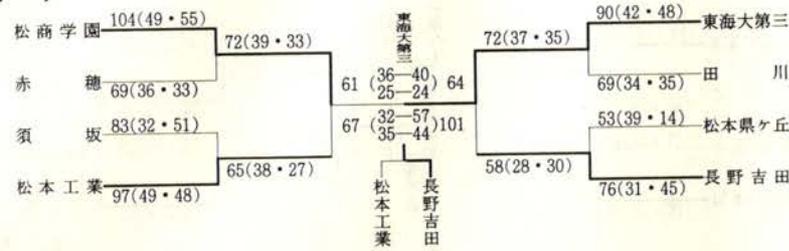


女子

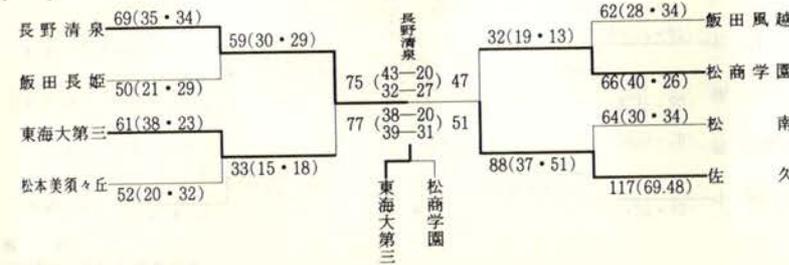


平成5年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

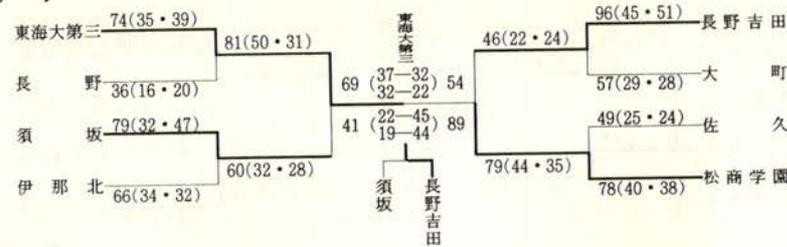


女子

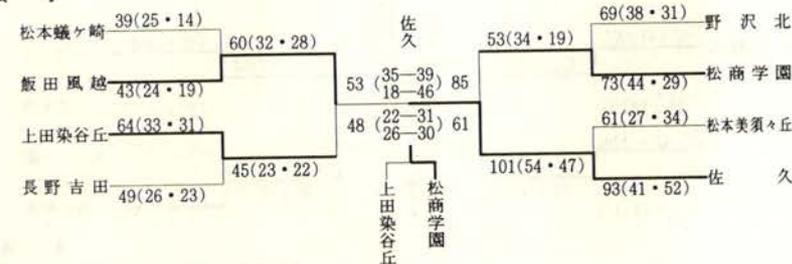


長野県高等学校新人体育大会

男子

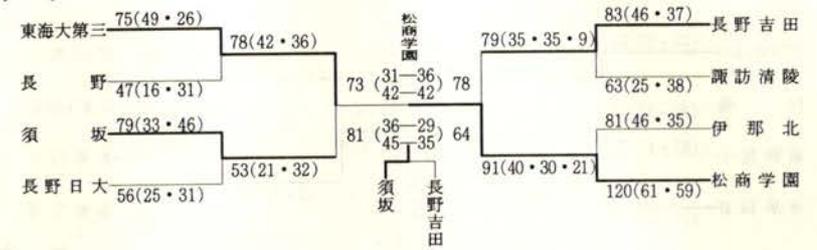


女子

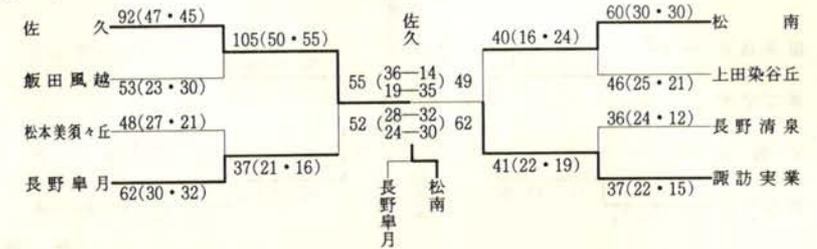


平成6年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

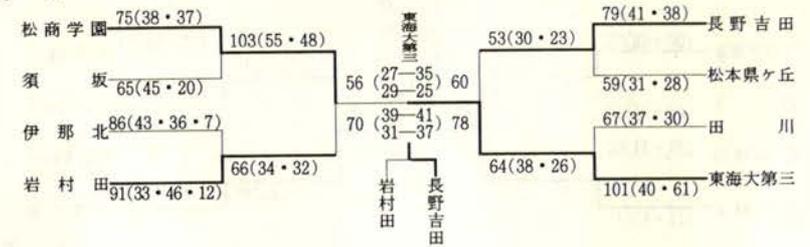


女子

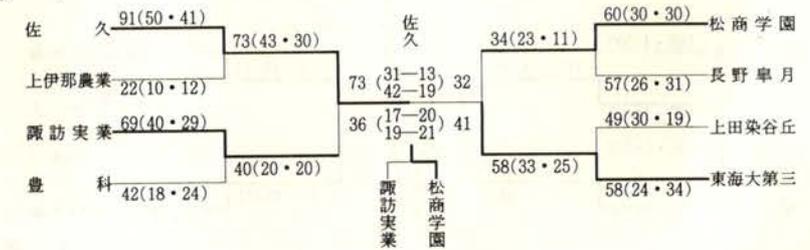


長野県高等学校新人体育大会

男子

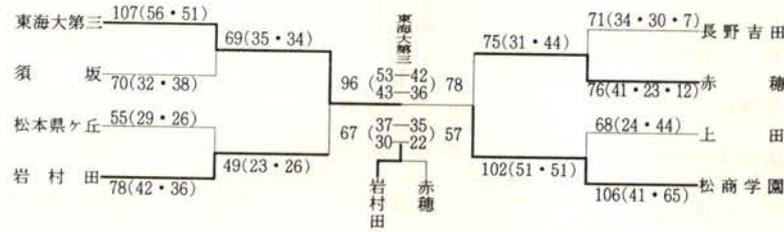


女子



平成7年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

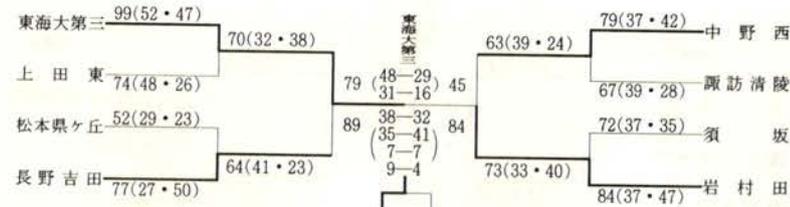


女子



長野県高等学校新人体育大会

男子

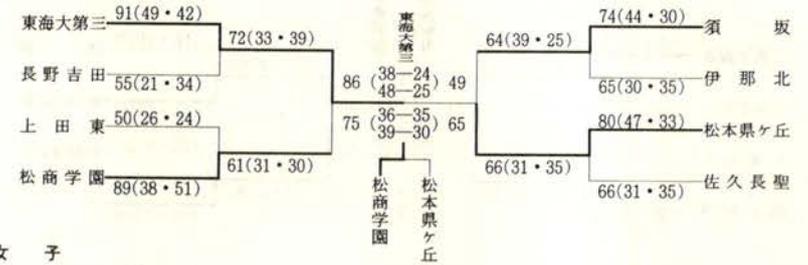


女子

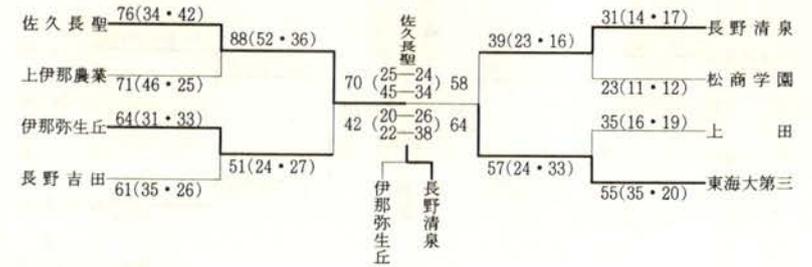


平成8年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

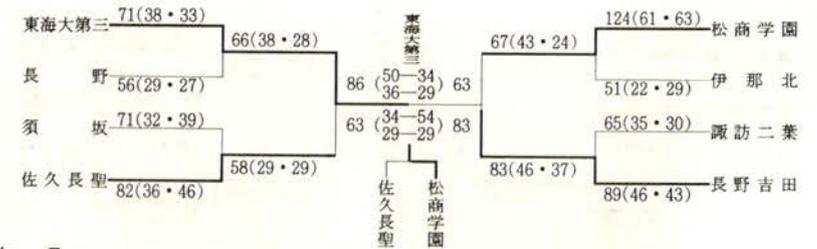


女子

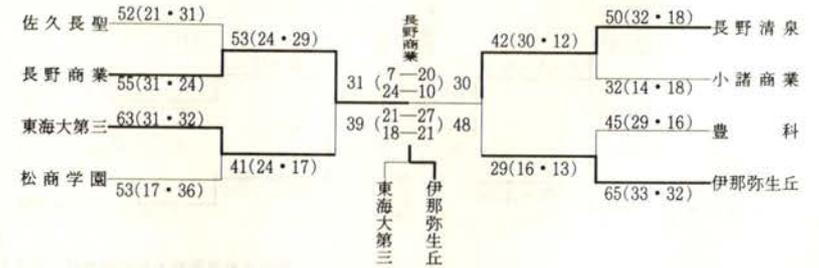


長野県高等学校新人体育大会

男子

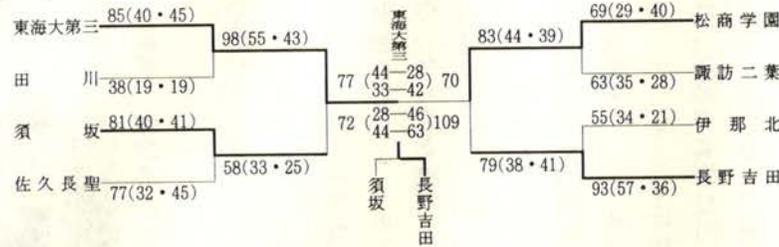


女子

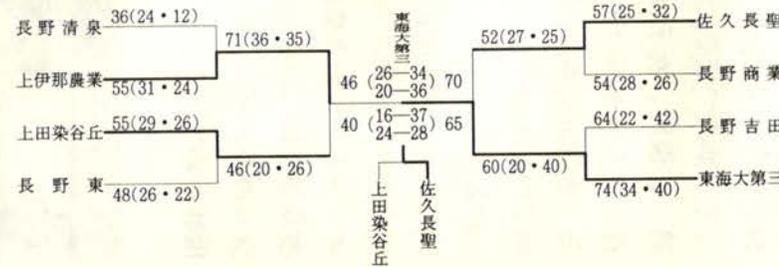


平成9年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

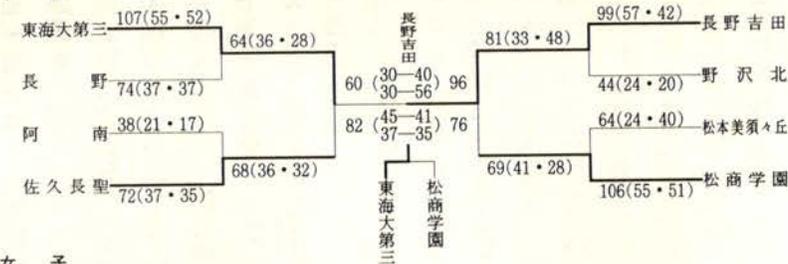


女子

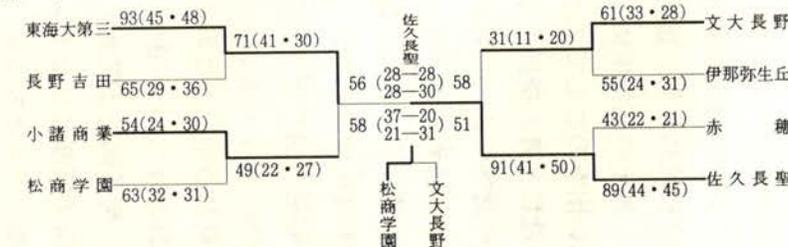


長野県高等学校新人体育大会

男子



女子



本年度の活動をふり返りますと、地区高体連が新たに北信須坂高校、中信深志高校、南信伊那北高校に決まり、5月2日の理事会、評議員会をもってスタートしました。県総合体育大会は、6月4日、5日を中心に県下全域で開催され、生徒6,336名が参加し、全国大会、北信越大会の出場権をかけて熱戦が繰り広げられました。北信越大会、本県で軟式野球、弓道、漕艇、卓球、ボクシングの5種目が開催され、他県も含めて1,672名が参加しました。全国高校総体夏季大会は、7月31日から神戸市を中心に近畿6県で開催され、本県選手団は生徒職員合せて957名参加し、

全国の仲間と競い、そして交流し多くを学ぶことができました。しかし、成績では、空手女子個人で三村由紀選手(松本深志)が優勝、弓道女子個人で野神綾子選手(飯田女子)が4位、水泳で伊部敏行選手(飯田)の100、200バタフライ6位入賞をあげる以外目立つものなく、団体種目入賞0のさみしい結果でした。また、全国高校駅伝は12月25日京都市で行われ、連続出場の上伊那農業がすばらしい健闘をし念願の10分の壁を破り2時間9分54秒で13位に入る成果をあげ得たことは特筆すべき快挙でした。

全国高校総体スケート競技大会が1月16日より20日まで、地元軽井沢で開催されました。女子1000m、1500mに上原三枝選手(諏訪清陵)堀内佳子選手(諏訪二葉)がそれぞれ優勝したのをはじめ、男子1500m、5000mに土屋純二選手(軽井沢)10,000mに遠藤亮治選手(佐久)、女子3000m菊池美千子選手(小海)が2位に入賞するなどすばらしい成績をあげました。学校対抗でも男子で軽井沢高校、女子で諏訪二葉が共に3位になる健闘を示しました。続く全国高校総体スキー競技大会は2月9日から青森県の大鰐町で開催され、本県勢は期待通りの活躍を示し、特に女子回転で丸山有紀選手(白馬)が優勝したのをはじめ、大回転でも白馬高校の田原恵選手、北林万里選手が2位、3位に入賞、5kで佐藤恵美子選手(中野実業)が2位、男子15kで太田敏朗選手、大回転で竹節一夫選手(中野実業)が3位に入賞するなどの活躍が目立ち、学校対抗でも女子で白馬高校が総合優勝を果しました。

7 バレーボール

昭和63年より5期10年間専門委員長の大役を無事終了できたのは、高体連事務局をはじめ、(財)長野県バレーボール協会、そして関係各位の皆様のご協力と御支援のお陰と感謝申し上げます。昭和62年まで諏訪二葉高校の全盛期を築き、いくつかの輝かしい戦績をのこした立石徹専門委員長が全国高体連専門部副部長に就任することになり、浦野智が委員長になる。昭和37年第17回国民体育大会教員の部3位、昭和41年飯田風越(女子)、51年赤穂高校(男子)監督として総体に出場する。(昭和62年度)東信地区(女子)の活躍が顕著であった。大型チームの松商学園女子チームがインターハイにおいて見事3回戦に駒を進める活躍。北信越大会が長野市で開催される。(昭和63年度)バレーボール専門部より県高体連に県総体の参加チーム数32チーム(各地区8)にさせていただけるように要望書を提出。その理由は(1)県下高等学校数の増大(2)男女共学の完全実施と新設校の増大(3)部員数4405名で県下1(2)競技力の向上のため(3)高校時代の思い出と日頃の活動意欲増大のため。県下の高校生にクラブ活動を通して、良き思い出をのこしてあげるのも高体連として重要な役目と考え提出する。(平成元年)昨年度からの懸案であった県高校総体の夢が県高体連を初め、諸先生方の深い理解とご支援により実現する運びとなった。これにより高体連の大会規約も文中に改訂されることになった。岡谷工業北信越大会で優勝。春高バレーでベスト8位(平成2年)県高校総体が32校の夢が実現した最初の年。この年を境に県下の父母が応援に多数かけつけて頂き盛り上りのある大会となる。男子岡谷工業北信越大会で優勝。宮城県古川市で開催されたインターハイで初の準優勝し全国レベルとなる。(平成3年)女子は太田美穂選手を中心として攻守揃った長野日大が念願の全国大会に出場し、3回戦まで駒を進める活躍。北信越優秀選手強化合宿が飯田(喬木村)で開催される。(平成4年)北信越大会松本市

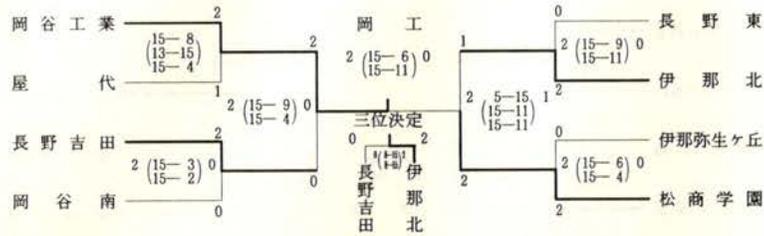
で開催、岡谷工業が国民体育大会で2位、インターハイベスト8位、大森陽祐選手が(岡工)全日本選手として、アジアジュニア大会に出場する。(平成5年)男子岡谷工業は、丸山を中心にしたコンビバレーで、総体、ベスト8位、北信越大会では男子が1、2、3位となる好成績、全日本高校合宿に男子竹村祐(岡工)、女子青木利恵(松南)が参加、春高バレーで岡工が3位入賞する。(平成6年)6年間専門部長として、北信越大会、北信越強化合宿等々で御苦勞頂いた坂本部長が勇退し、新部長として三井晋氏を迎え専門部の発足となる。岡谷工業がインターハイでベスト8位、3国対抗の日本代表チームに推薦される。(平成7年)県南端の地である飯田地区で高校総体を開催、岡谷工業が12連勝、女子松本松南が念願の初優勝。北信越大会で男女とも上位独占し、男子1位岡谷工業、2位長野日大、女子1位長野日大、2位松本松南、3位松商学園(平成8年)常勝岡谷工業、準決で東海大第三に破れる波乱、東海大第三初優勝、女子は昨年のレギュラーを多数持った松本松南が松商を破り、2連覇達成する。北信越優勝選手強化合宿を丸子町で開催。岡工の松本慶彦君が全国の高校選抜合宿に参加(平成9年)新生になった岡谷工業は、インターハイにて準優勝の好成績をのこす。全国高校選抜チームのキャプテンとして関貴秀君、エースとして松本慶彦君が上海遠征で大活躍、委員浦野智広報担当として同行する。岡谷工業堂々の金メダル。春高バレーボール念願の全国優勝おめでとう。

(専門委員長 浦野 智)

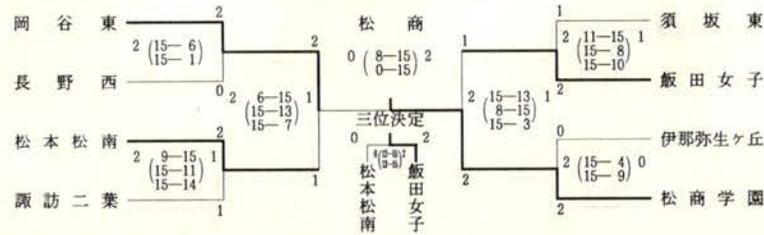


昭和62年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

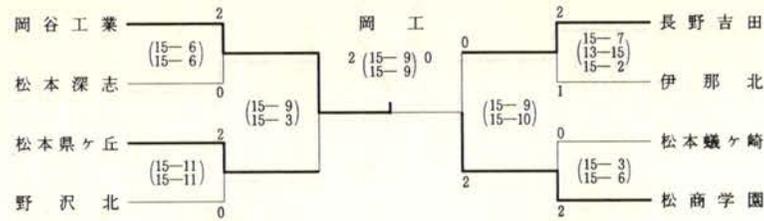


女子

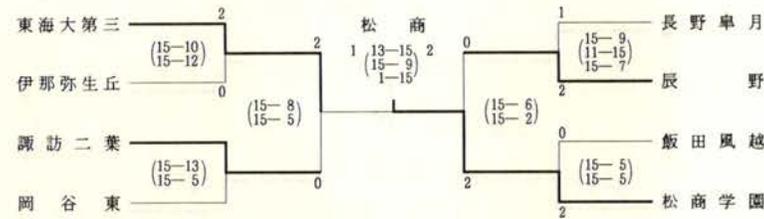


長野県高等学校新人体育大会

男子

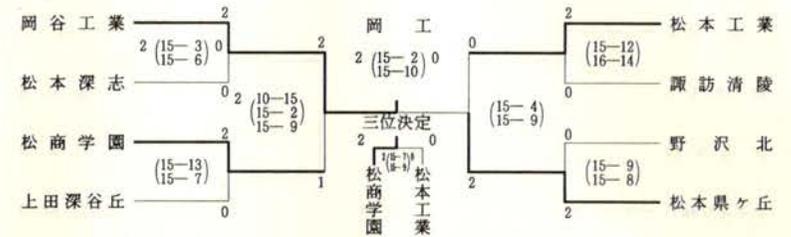


女子

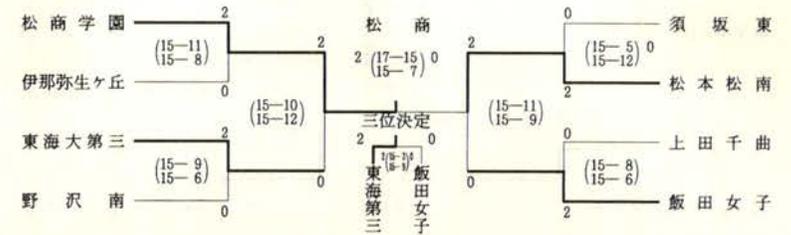


昭和63年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

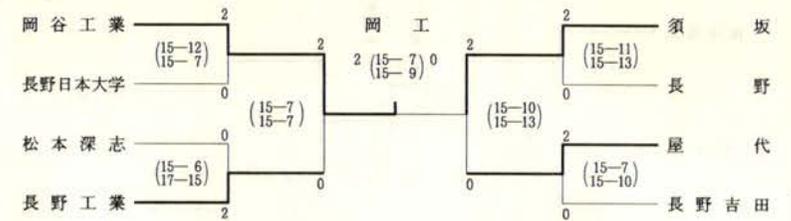


女子

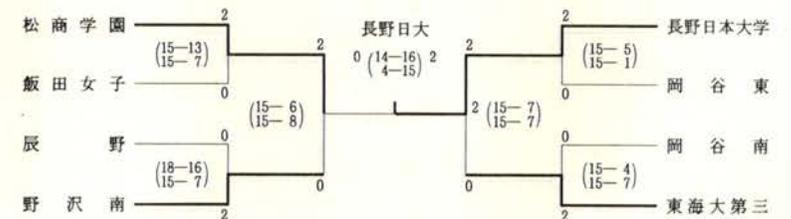


長野県高等学校新人体育大会

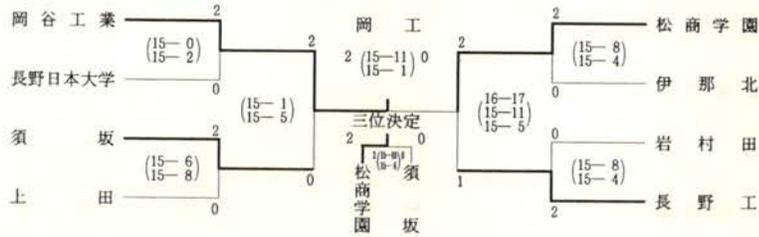
男子



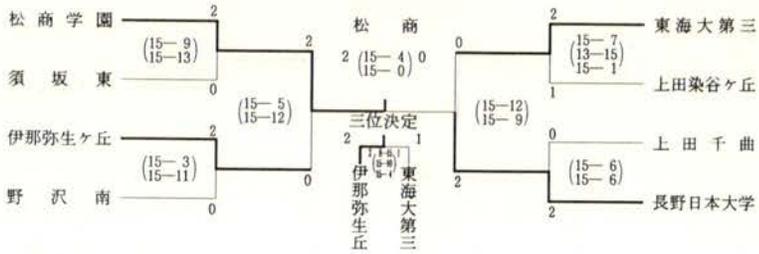
女子



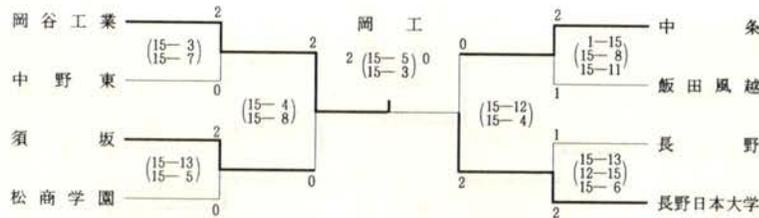
平成元年度 長野県高等学校総合体育大会
男子



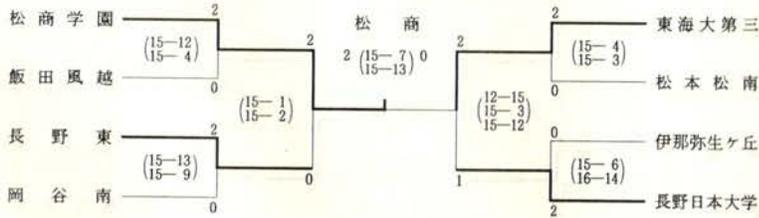
女子



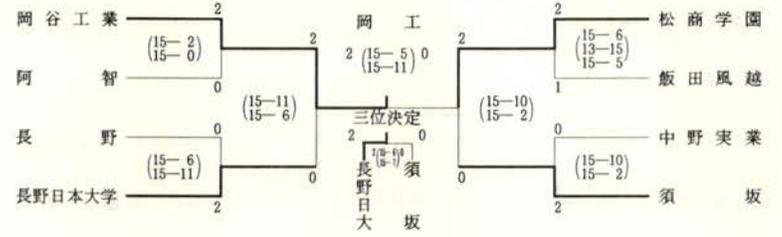
長野県高等学校新人体育大会
男子



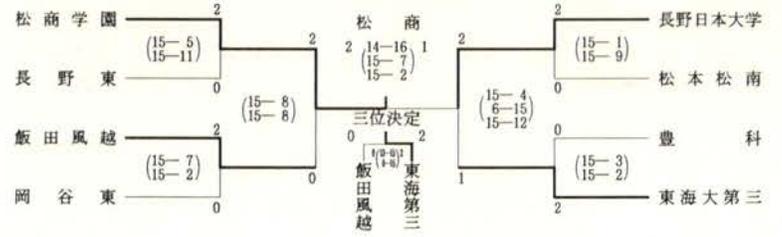
女子



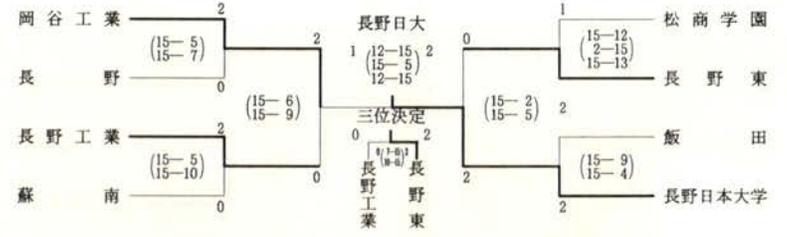
平成2年度 長野県高等学校総合体育大会
男子



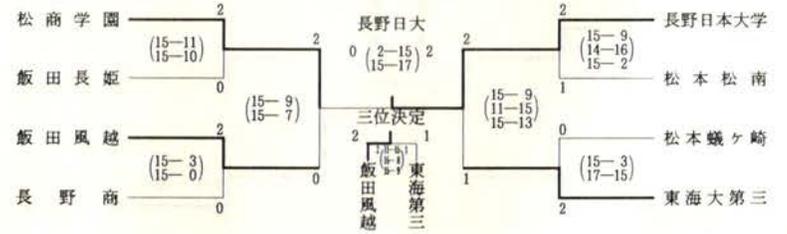
女子



長野県高等学校新人体育大会
男子

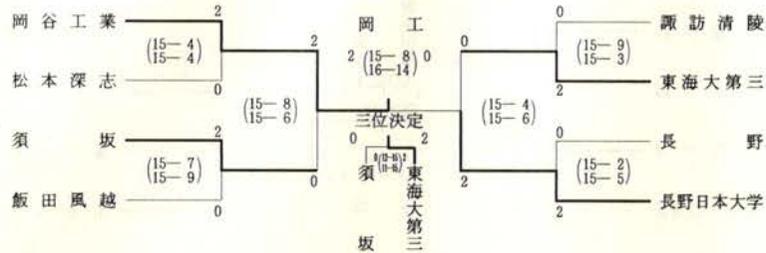


女子

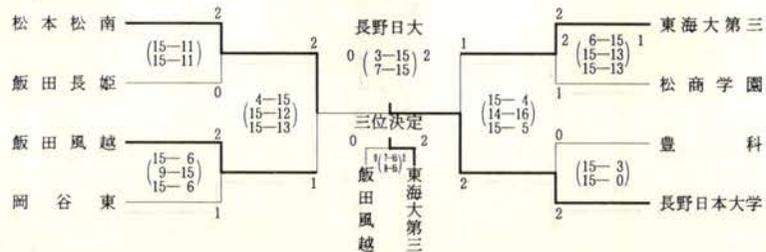


平成3年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

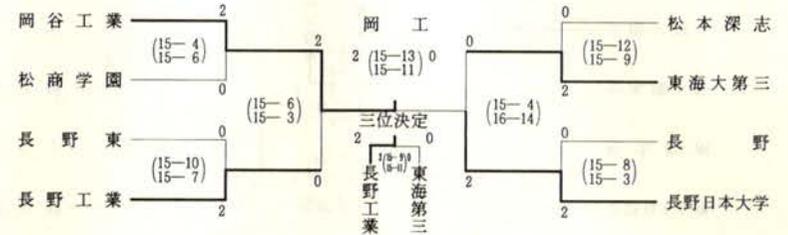


女子

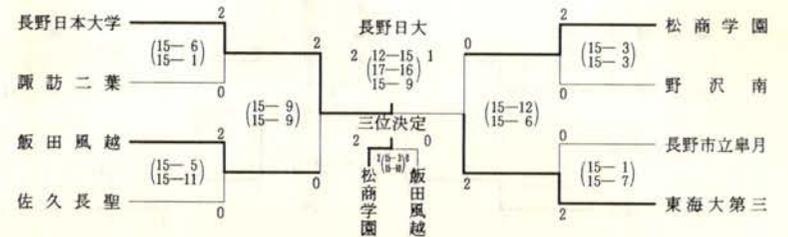


平成4年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

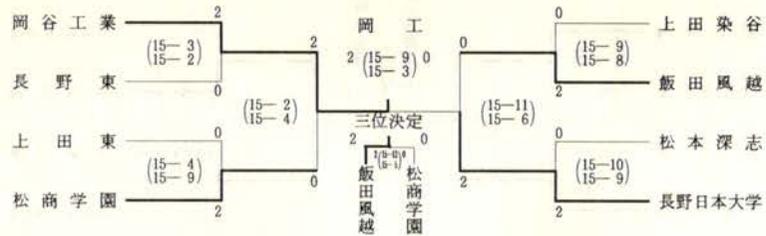


女子

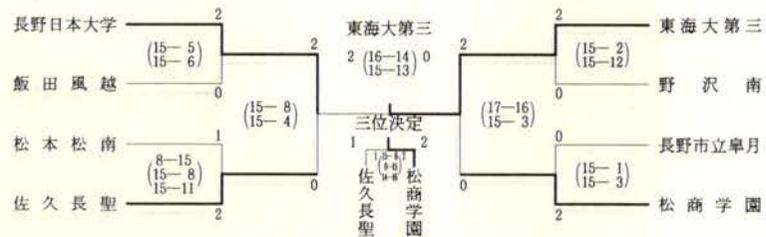


長野県高等学校新人体育大会

男子

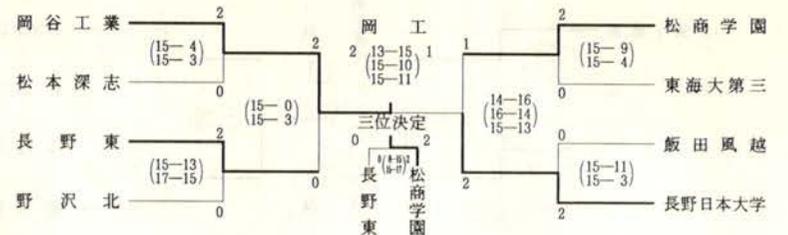


女子

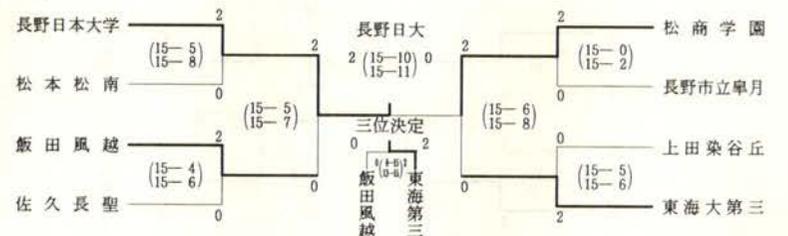


長野県高等学校新人体育大会

男子

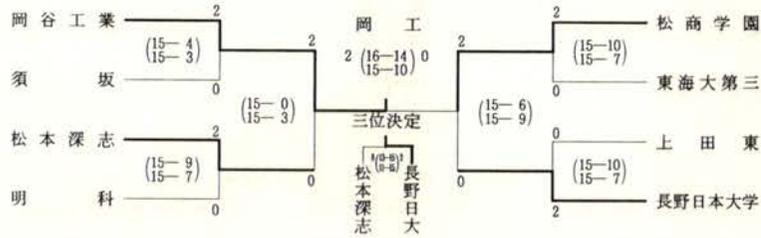


女子

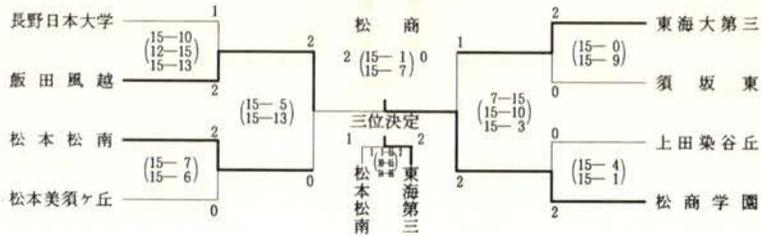


平成5年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

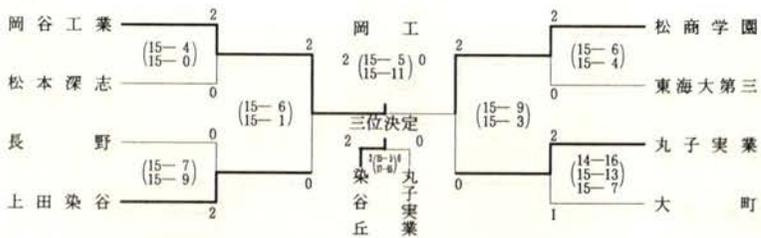


女子

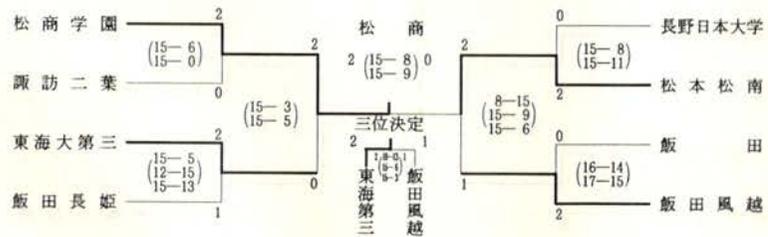


長野県高等学校新人体育大会

男子

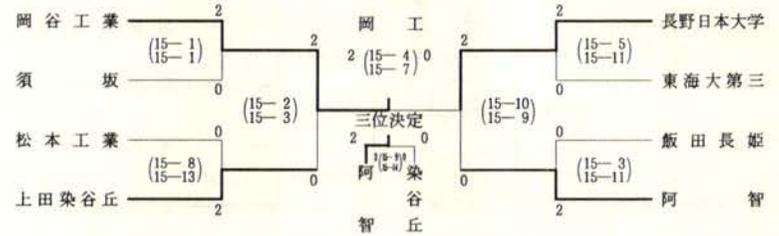


女子

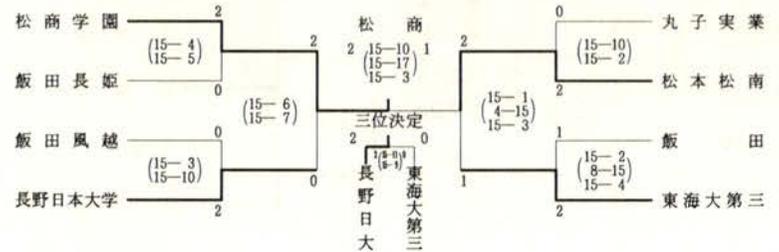


平成6年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

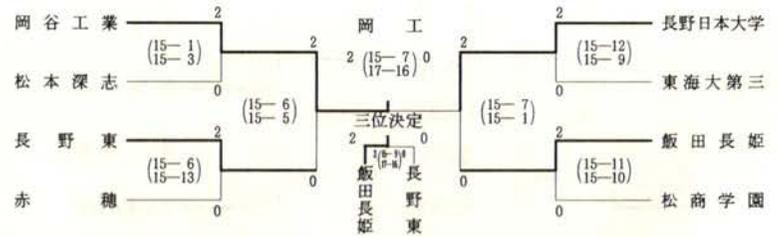


女子

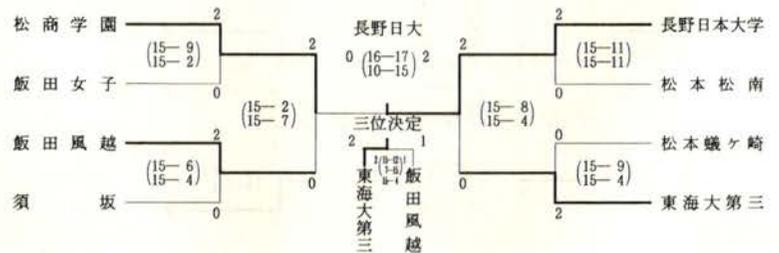


長野県高等学校新人体育大会

男子

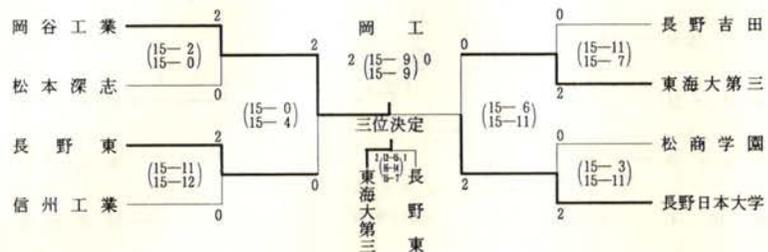


女子

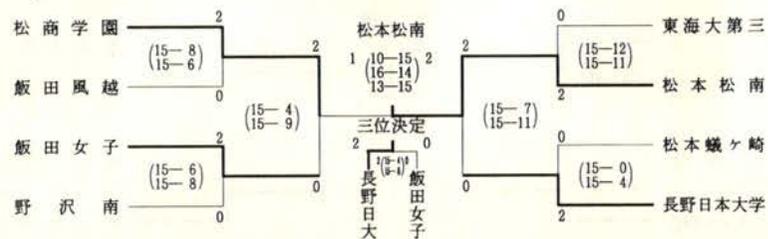


平成7年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

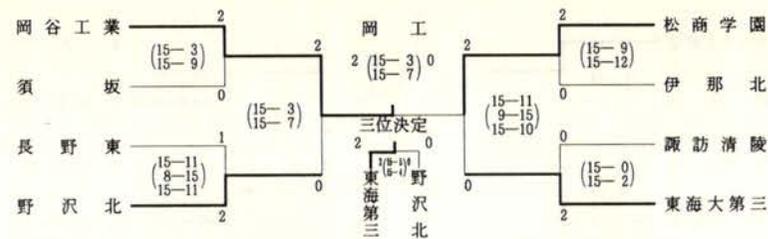


女子

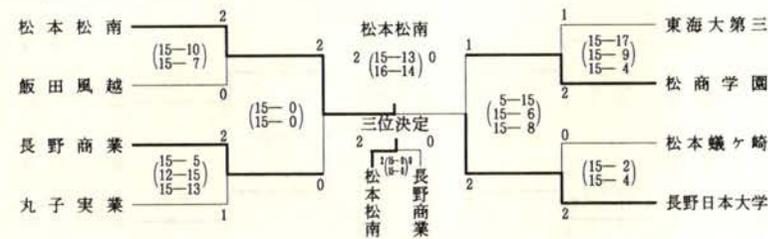


長野県高等学校新人体育大会

男子

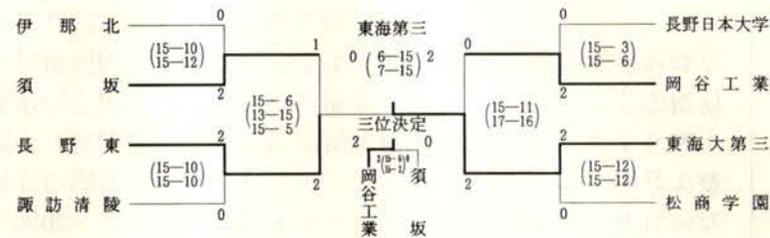


女子

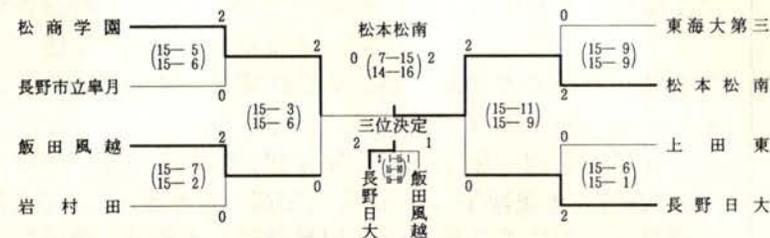


平成8年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

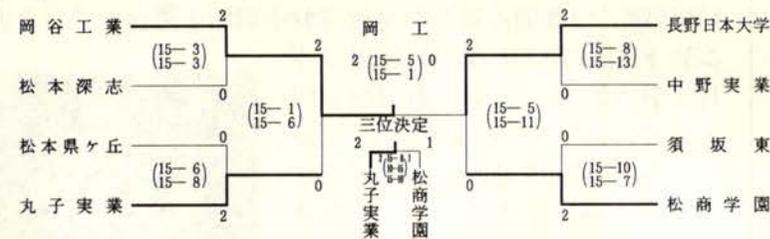


女子

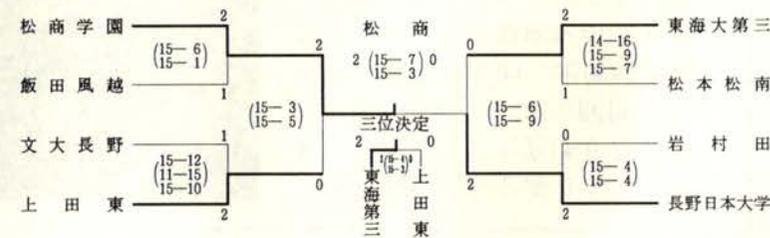


長野県高等学校新人体育大会

男子

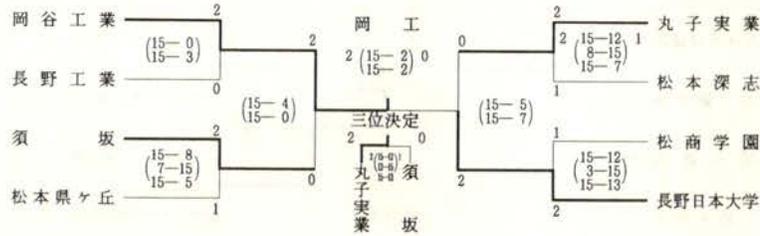


女子

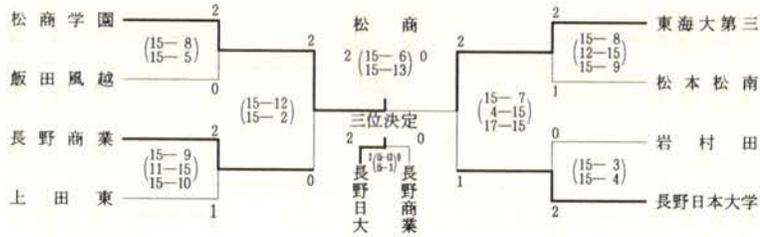


平成9年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

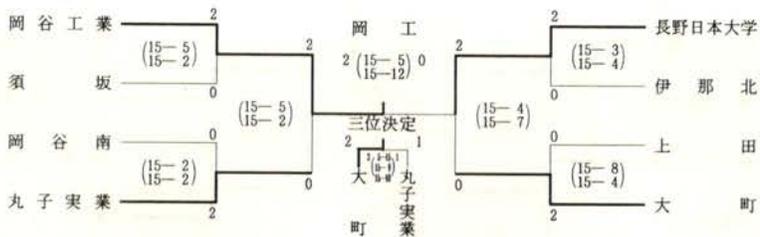


女子

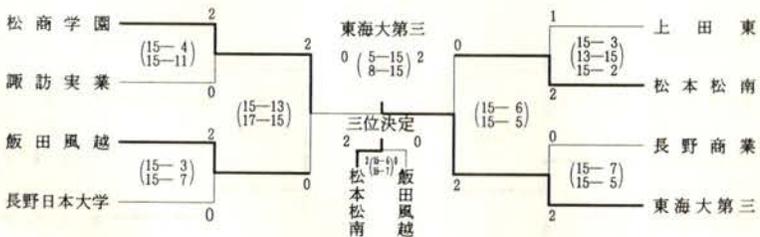


長野県高等学校新人体育大会

男子



女子



高体連会報紹介 第18号



本年度の活動をふりかえりますと、県総合体育大会は6月3日4日を中心に県下全域で開催され、生徒6,998名が参加し北信越大会、全国大会、の出場権をかけて熱戦が展開されました。続く北信越大会は、本県では陸上競技、駅伝、庭球、フェンシング、ホッケー、定通大会の6種目が開催され、本県選手は448名が参加しました。全国高校総体の夏の大会は8月1日から南国高知を中心に四国4県で

開催され、本県選手団は小林仁高体連会長を団長に、総勢621名が参加し、灼熱の太陽のもと力いっぱいの活躍をし、陸上競技女子100mハードルで青木利佳選手(中野西)と弓道女子個人で伊藤三枝選手(長野吉田)が優勝しました。また陸上男子200mで中津選手(飯田)と800mで大沢選手(長野日大)が5位に、女子走幅跳で清水選手(野沢南)が6位、フェンシング個人サーブルで唐沢選手(箕輪工)が4位、ウェイトリフティング60kg級で永田選手(篠ノ井)が5位に入賞するなど、個人の活躍が目立ちました。

本県期待の冬季大会は、スケートは1月20日より盛岡で、スキーは2月6日より塩沢町六日町で開催されました。昨年度元開催で盛り上がったスケートでは、今年は優勝種目がなく淋しい結果に終わりましたが、スキー大会では男子複合で森敏選手(飯山北)女子回転で切久保深雪(白馬)女子5kmで佐藤恵美子選手(中野実)が優勝しました。また女子学校対抗で白馬高校が大量得点で2年連続4度目の総合優勝をはたすなど立派な成果をあげました。

8 ハンドボール

ハンドボール専門部10年の概況

S62 : ルールが大幅に改正(バルセロナ4項目)された。世界に先駆けて日本が採用したが、国際ルールが改正されず63年度に打ち切りとなり現場ではかなりの戸惑いがあった。新人大会において屋代高が初の男女アベック優勝した。以後H2・3・5・8とつづく。

H63 : 本年度より北信越総体の出場枠が2から3チームになり、総合大会において3位決定戦が行われた。総合大会において屋代高が初の男女アベック優勝した。以後H3・5・6・9とつづく。

H1 : 全国高体連ハンドボール専門部40周年記念式典にて、柳沢民弥氏特別表彰、内藤忠氏表彰、上田高(20回以上出場)、屋代高男子

(10回以上出場)が優秀校で表彰された。

H2 : 男子の参加校数が総合・新人大会とも16校を越え、理事会において3日間開催が次年度より承認された。また、初めての3会場開催となり審判員不足という新たな問題が出始めた。

長野県で北信越総体が開催された。

H3 : 男子の参加校数が急激に伸び始め、専門部として今後の対策を検討した。(各地区比例配分等の出場制限を検討したが、次年度以降の動向をみるという結論に達した。)

H4 : 総合大会において参加校数男子22・女子13と過去最大規模の大会となり、新人大会も含め大会運営上非常にハードな年であった。屋代高女子が全国大会ベスト16になった。

H5 : 総合大会規模は平成3年度に戻ったが、3日間・3会場開催は変わらず大会運営費も厳しい状況になってきた。新人大会は男子の参加校数が急激に減少した。

H6 : 全国高体連ハンドボール専門部45周年記念式典にて、青木崇氏特別表彰、小林昌光氏が表彰された。

H7 : 長野県で北信越総体が開催された。

H8 : 新人大会より手縫いボールを使用し、ゴールキーパーの安全性確保の点で好評であった。

H9 : 総合・新人大会とも参加校数が急激に減少した。本年度より全国大会が全試合室内で行われるようになった。国際ルールが大幅に改正され、次年度より高体連でも一部採用することが決定された。(競技時間の延長・タイムアウト制・スローオフのポイント)これにより大会運営が今後さらに困難になることが予想される。

(専門委員長 竹内佳明)

総合・新人大会参加(登録)チーム数 <男子>

総 合	年度	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	北信	3	4	4	5	5	7	5	4	4	3	2
東信	7	7	7	7	7	7	6	7	8	8	7	
中信	2	2	3	3	3	5	5	4	4	5	4	
南信	0	0	1	2	3	3	2	2	2	2	2	
合計	12	13	15	17	18	22	18	17	18	18	15	

新 人	年度	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	北信	4	4	5	4	6	5	4	3	3	3	2
東信	7	5	6	7	7	7	5	6	7	8	7	
中信	2	3	3	3	3	5	3	4	5	4	4	
南信	0	1	1	3	3	2	2	2	2	2	2	
合計	13	13	15	17	19	19	14	15	17	17	15	

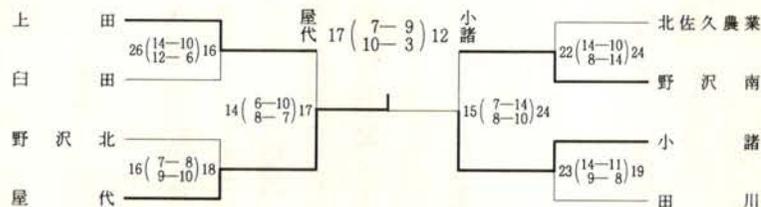
<女子>

総 合	年度	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	北信	1	1	1	2	2	3	4	4	4	4	4
東信	5	5	5	6	6	5	3	4	4	4	5	
中信	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4	
南信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
合計	10	10	10	12	12	13	12	13	13	14	14	

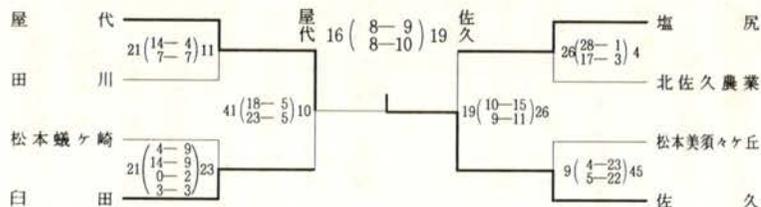
新 人	年度	62	63	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	北信	1	1	2	2	3	4	4	4	4	4	3
東信	5	4	3	5	4	4	2	5	4	4	5	
中信	4	4	4	4	4	4	5	5	4	4	3	
南信	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	
合計	10	9	10	11	11	12	11	14	13	12	12	

昭和62年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

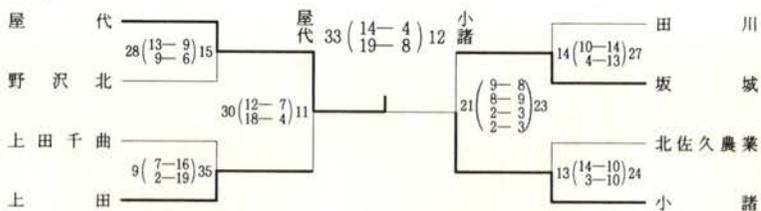


女子

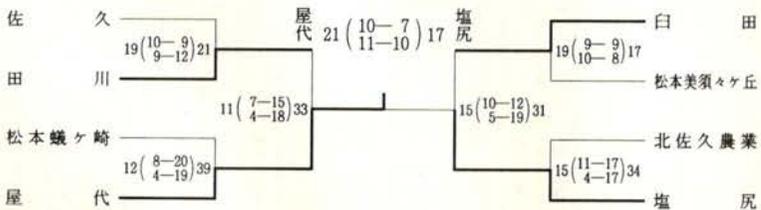


長野県高等学校新人体育大会

男子

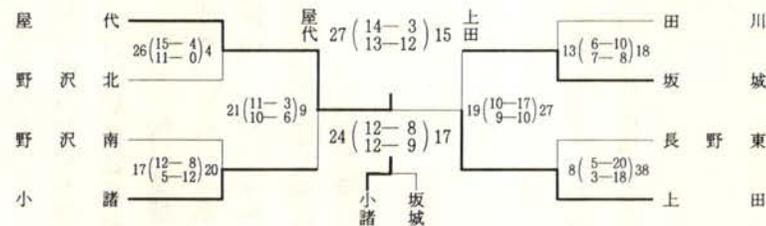


女子

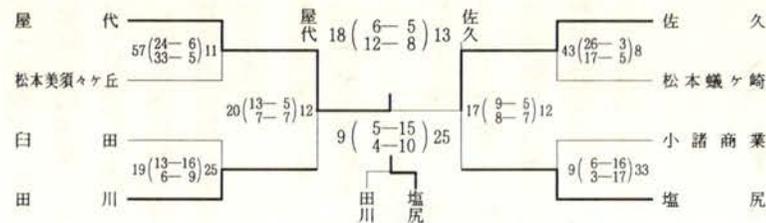


昭和63年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

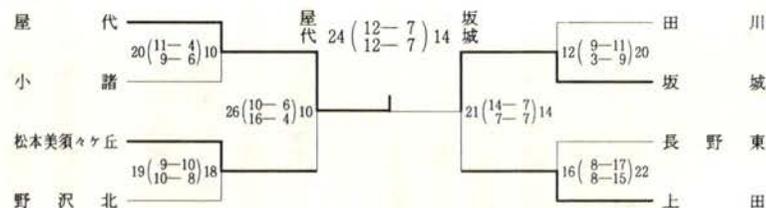


女子

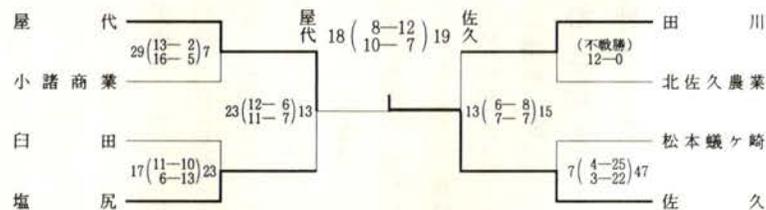


長野県高等学校新人体育大会

男子

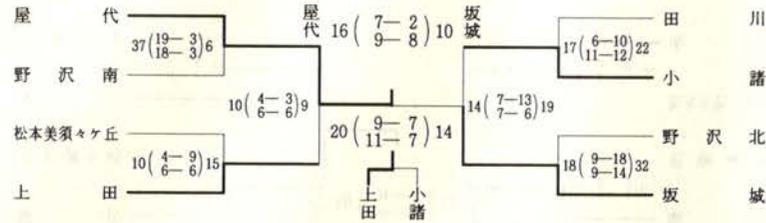


女子

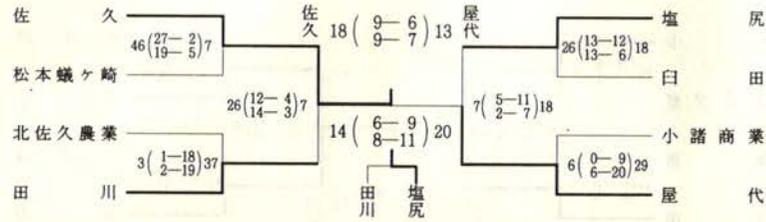


平成元年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

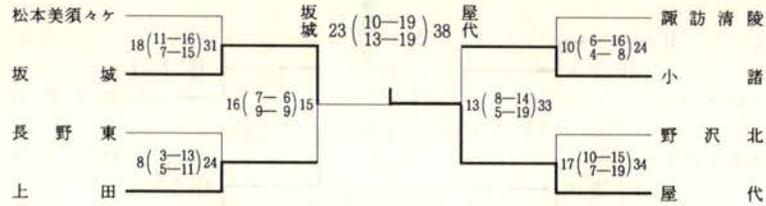


女子

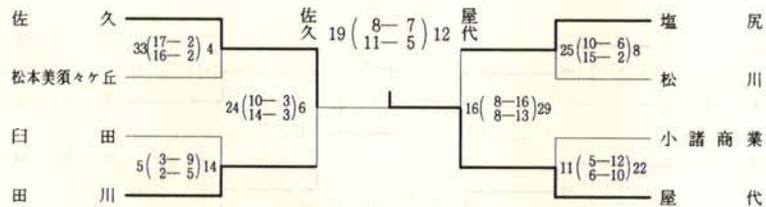


長野県高等学校新人体育大会

男子

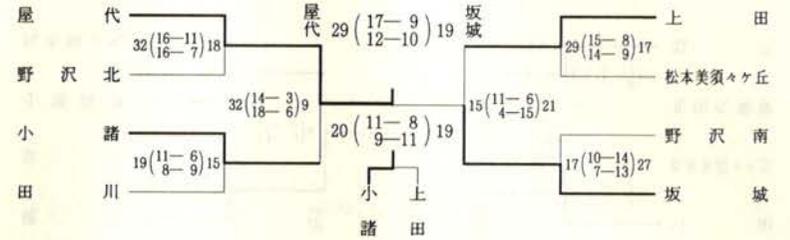


女子

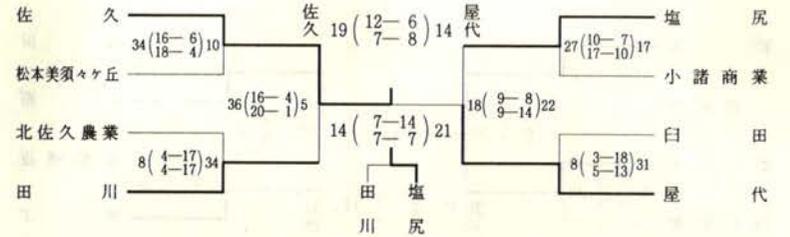


平成2年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

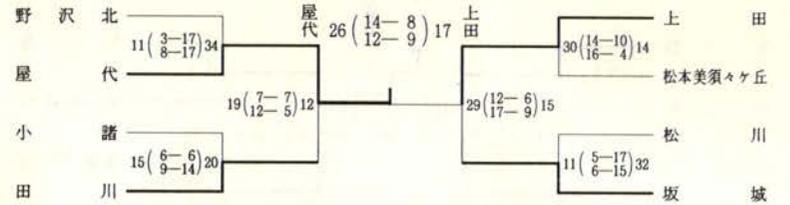


女子

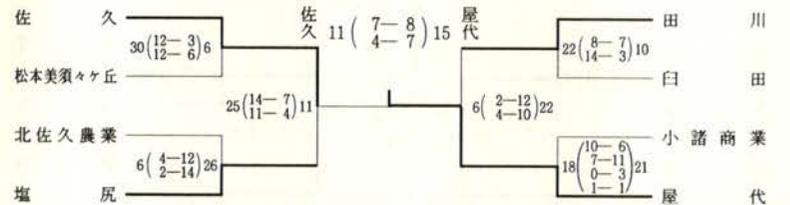


長野県高等学校新人体育大会

男子

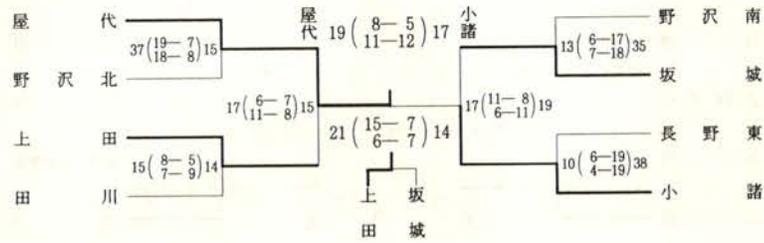


女子

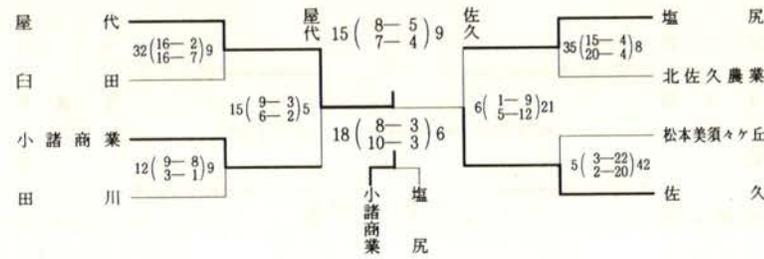


平成3年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

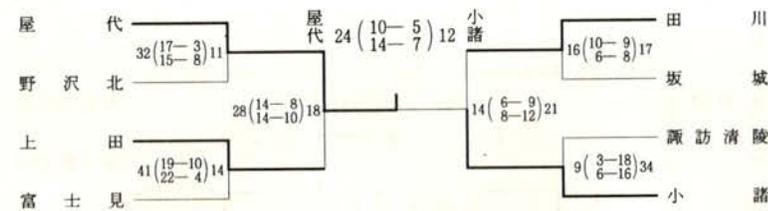


女子

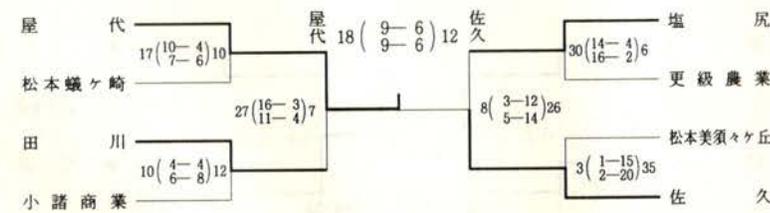


長野県高等学校新人体育大会

男子

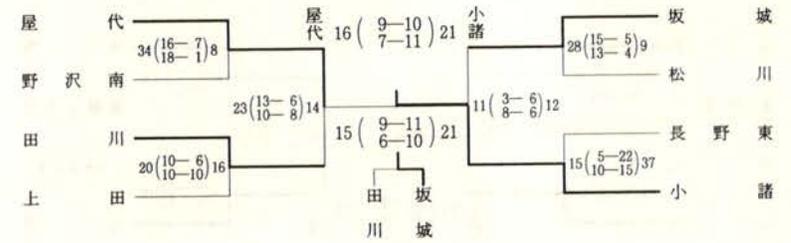


女子

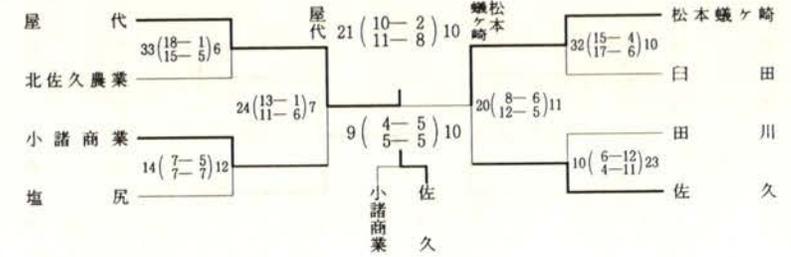


平成4年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

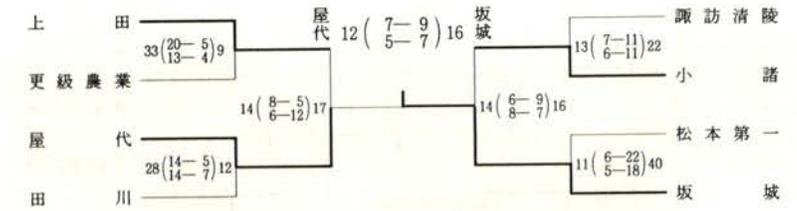


女子

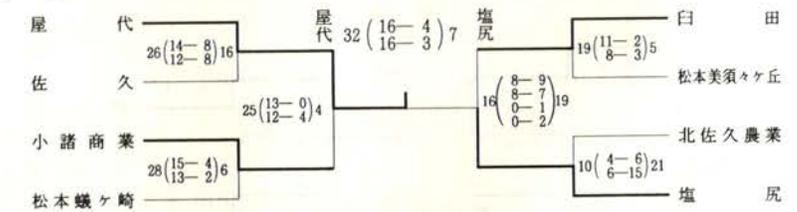


長野県高等学校新人体育大会

男子

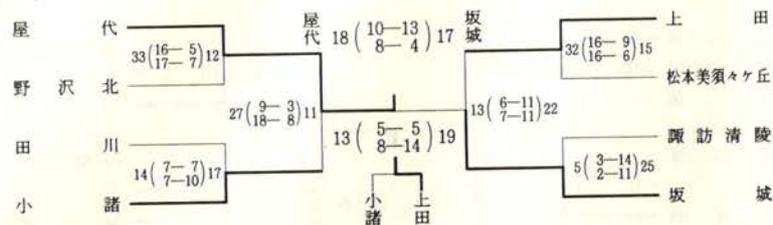


女子

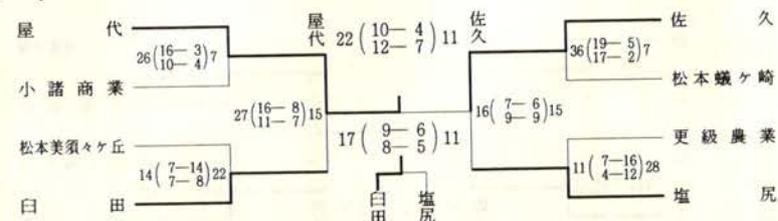


平成5年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

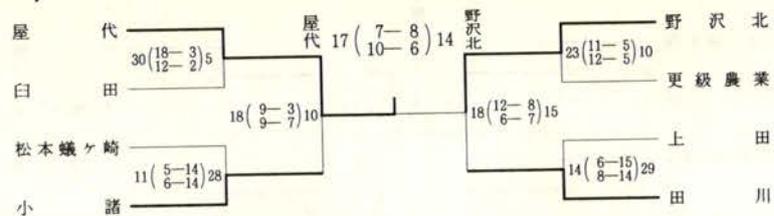


女子

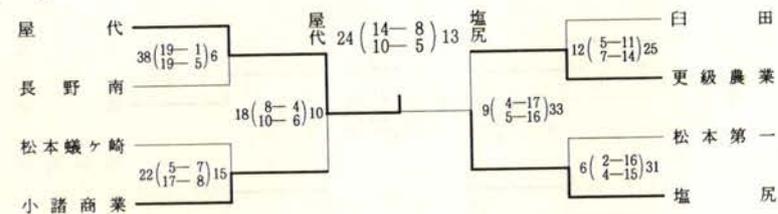


長野県高等学校総合体育大会

男子

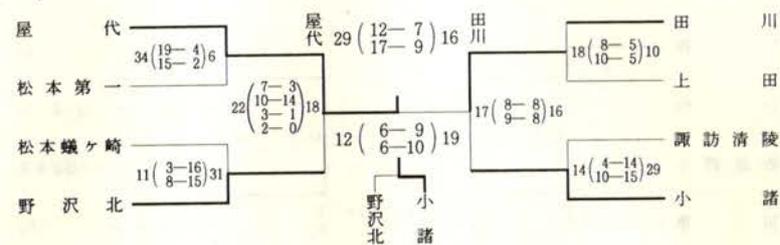


女子

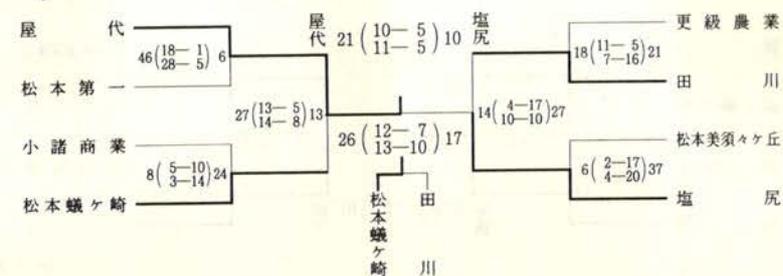


平成6年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

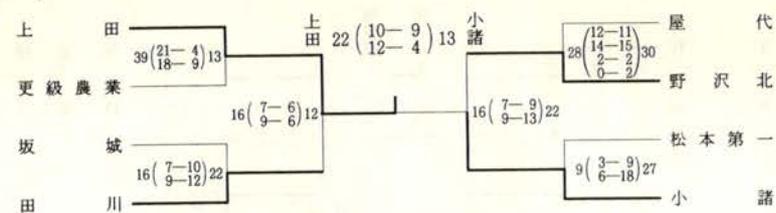


女子

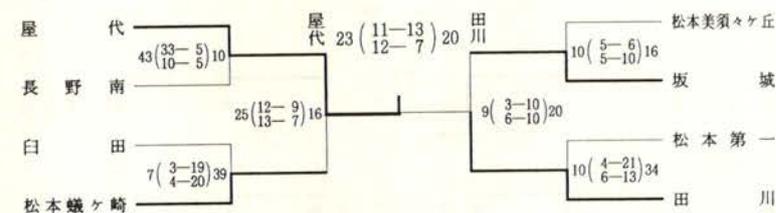


長野県高等学校新人体育大会

男子

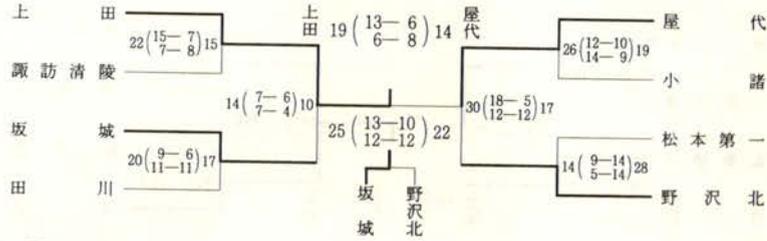


女子

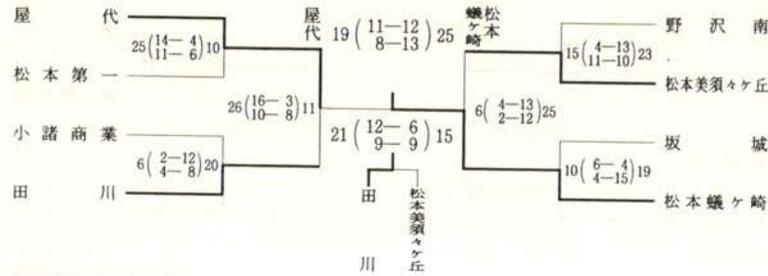


平成7年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

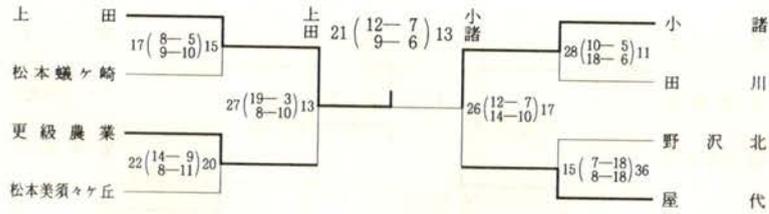


女子

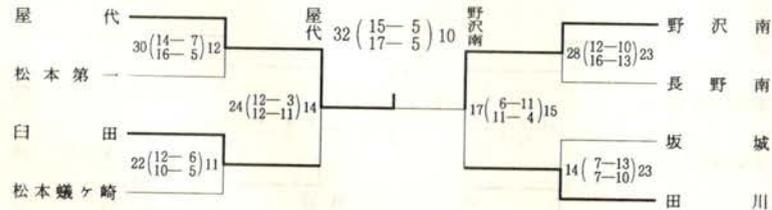


長野県高等学校新人体育大会

男子

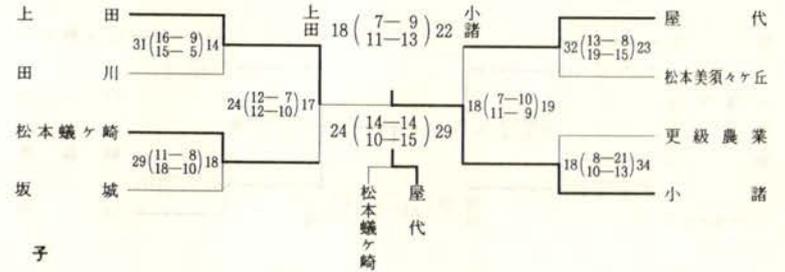


女子

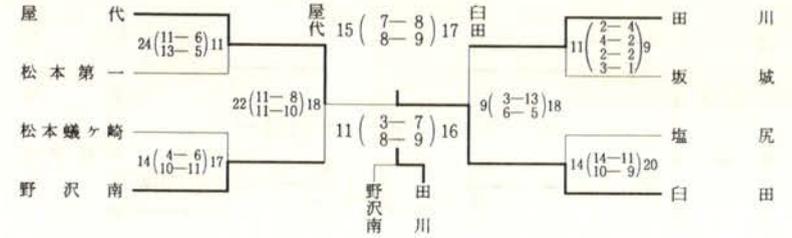


平成8年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

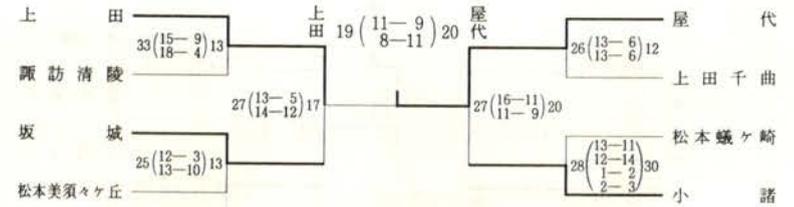


女子

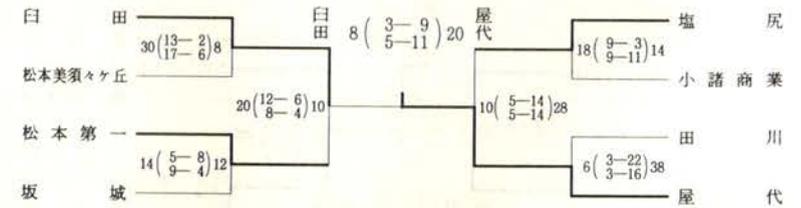


長野県高等学校新人体育大会

男子

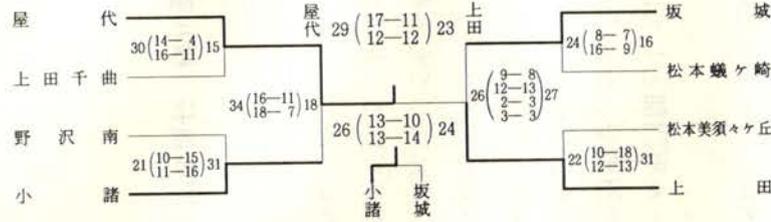


女子

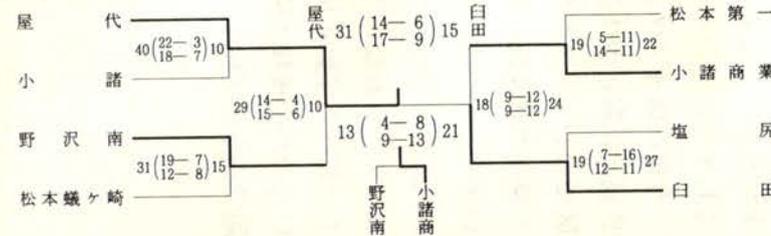


平成9年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

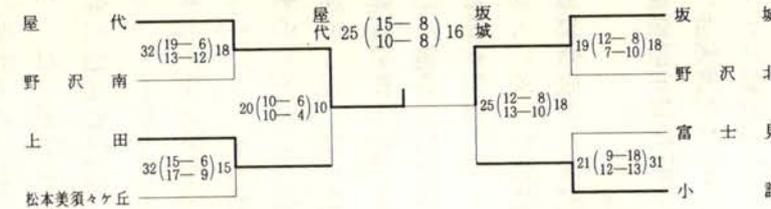


女子

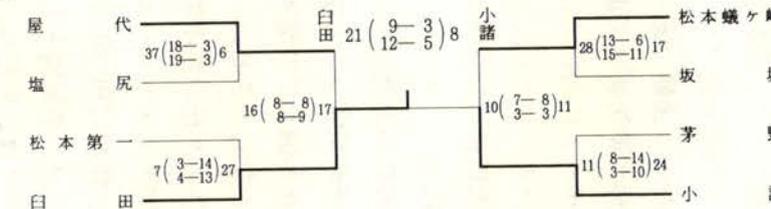


長野県高等学校新人体育大会

男子



女子



本年度の活動をふりかえりますと、県総体は6月県下各地で開催され参加数は8,680名に及び、北信越、全国大会の出場権をかけて熱戦が展開されました。続く北信越大会は1,759名が参加しました。本県では7種目が開催されましたが、準備運営には専門部及び競技団体に多大なご協力をいただき無事終了できました。憧れの全国高校総体は7月31日より宮城県で開催され、小林高体連会長を団長に総勢575名が参加しました。成績は男子バレーボールで岡谷工業が本県としては39年ぶりに決勝進出をし、上宮(大阪)と対戦し惜敗

したものの準優勝の成果をあげ、待望久しかった団体種目での上位入賞をはたすことができました。陸上競技では相沢伸也選手(野沢北)柔道重量級で山岸裕二選手(更級農業)漕艇男子舵手付フォアで岡谷南がそれぞれ2位に入賞し、弓道で今井文明選手(岡谷工業)空手道女子個人型で朝倉美奈子選手(坂城)が3位に入賞しました。冬季大会では、全国高校駅伝が12月京都で行われ、男子は上伊那農業が9年連続15回目の出場で大健闘し9位となり、県勢最高記録の2時間8分26秒で初入賞しました。女子は諏訪実業が連続出場し昨年を上回る23位と成績を上げました。続く全国高校ラグビーは東大阪で行われ、岡谷工業が連続7回目の出場で前回に続き初戦の壁を大差で突破し、2回戦では地元強豪淀川工業と対戦互角の勝負に持ち込む健闘をし抽選で敗れる不運もあったが、この健闘が今後に大きな期待をいだかせました。本県期待のスケートは山梨で、スキーは山形で開催されました。スケートでは清水美映選手(松本深志)が女子1,500M、3,000Mで2冠を獲得し、スキーでは切久保深雪選手(白馬)が女子回転、大回転の2冠に輝き、複合で富井彦選手(下高井農林)が、男子15Kクラシカルで堀米光男選手(中野実業)が優勝するなど大活躍をしました。

9 ソフトボール

昭和24年4月1日、長野県高等学校体育連盟に長野県高等学校ソフトボール専門部と、合わせて長野県ソフトボール協会が併置され、ソフトボール競技の計画や運営の第一歩がスタートした。

長野県の高校女子ソフトボールを語る上でどうしても欠くことのできないことが二つある。一つは、長野県におけるソフトボール発祥の地が伊那であり、伊那弥生ヶ丘高校を中心とした伊那地方のレベルの向上であり、もう一つは、昭和26年8月兵庫県西宮球場で行なわれた第3回全国ソフトボール選手権大会での豊科高校の優勝である。以来、高校女子ソフトボールの発達の歴史もこの伊那、豊科の二地区を中心に展開されてきたといっても過言ではない。又、弥生ヶ丘、豊科高校は良きライバルとして共に火花を散らしお互いを目標に励んできたといえる。その後この二強に割って入ってきたのが野沢南高校であり、昭和36年から3年連続でインターハイ出場を遂げた。それからは全国大会で勝ち進むのは至難であったが、昭和44年塚原高校が国体で準決勝まで進んだ。

男子チームにおいては、昭和51年全国高校総体（インターハイ）が上田で開催されることを機会に上田染谷丘を筆頭に少しずつ注目を浴びるようになってきた。この大会には、小海高校上田染谷丘が出場した。その後強化を重ね昭和53年長野県開催のやまびこ国体では、並いる強敵を次々と倒しての堂々第3位というところまでレベルを向上させた。その後、チャンピオンは伊那弥生ヶ丘の独壇場であり連勝を続け、本県高校男子ソフトボールにおいては常勝チームとなり、特に昭和59年3月の全国高校選抜大会においては、準優勝として偉業を達成した。

一般的には、生涯スポーツが叫ばれる昨今、ソフトボール熱は高まる一方で、各市町村ではこぞって施設の整備・拡充がなされ、ナイター施設も続々と整えられるなど環境が急激に整備されはじめ、家庭婦人、一般男女、壮年、実年

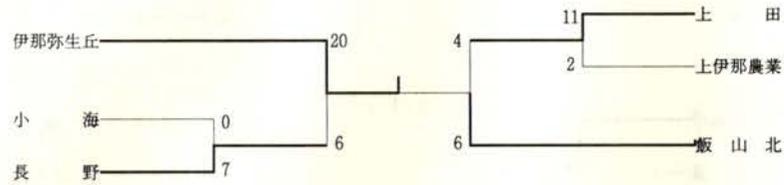
等ソフトボールブームは広がっていく一方である。このような現状に高校ソフトボール部も、部員の増加、レベルの向上と一致してくれば関係者一同万々才であるが、昭和から平成に元号が改められる頃から、全県的な生徒減により部員不足が深刻となってきた。そんな不安な状況の中で、常勝チームに割って入って長野県を制したのが中野西高校であり、長野商業高校であった。又、男子チームにおいては弥生ヶ丘の一角を飯山北が崩すという展開も表われた。いずれも熱心な指導者の努力の結果であり、優勝したチーム以外にも、常に県レベルまでチームを育て続けている優秀な指導者がたくさん存在している。男子チームも7チームをピークにじり貧であり、新人大会には部員不足で3チームしか参加できない年もあった。一県に6チーム以上のエントリーが無い場合は、インターハイへ1県1チームの権利が消え、北信越での勝ち上がりというますます困難を極めることになってしまう。

今後高体連ソフトボール専門部としては、長期展望に基き中体連との連携や、それぞれの地区でのジュニアの育成とか、長野県ソフトボール協会の普及部、強化部等と打開策作成、新しいソフトボールの歴史作りへとスタートをきらねばと思案している。いずれにしても手をこまねいていられない時期に来ている。全県を見渡し一校ならず県単位でのレベルアップを計っていくのが今後我々関係者に課せられた重大な宿題であると実感する。

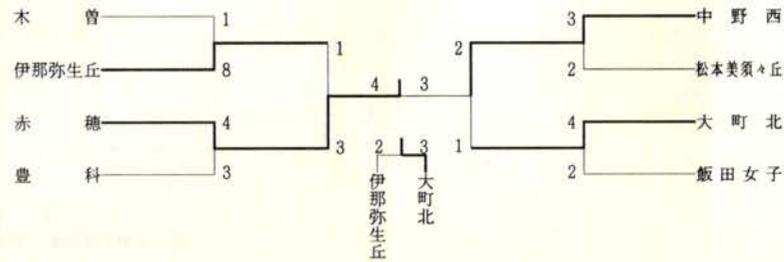
（専門委員長 横川善信）

昭和63年 長野県高等学校総合体育大会

男子

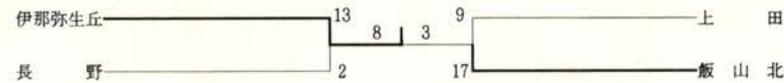


女子

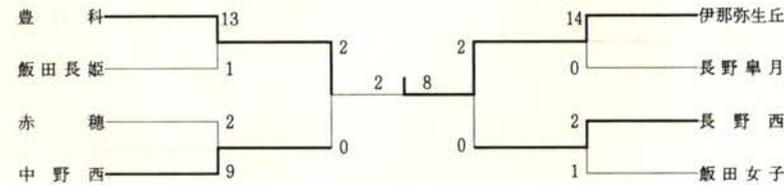


長野県高等学校新人体育大会

男子

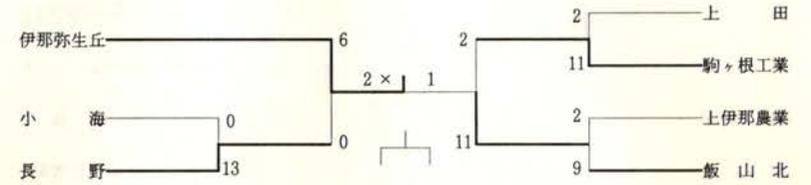


女子

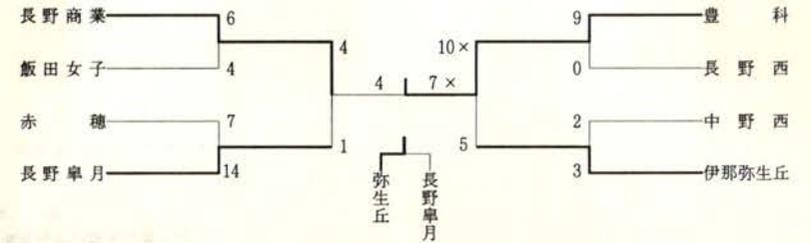


平成元年 長野県高等学校総合体育大会

男子

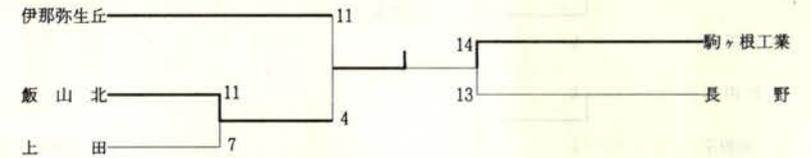


女子

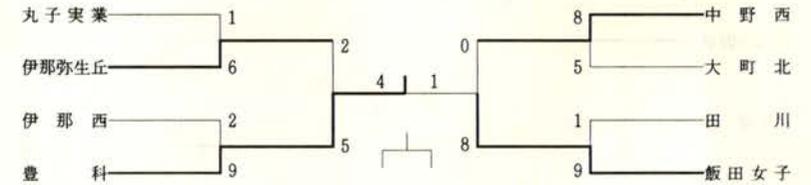


長野県高等学校新人体育大会

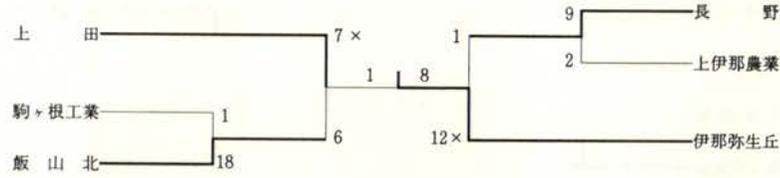
男子



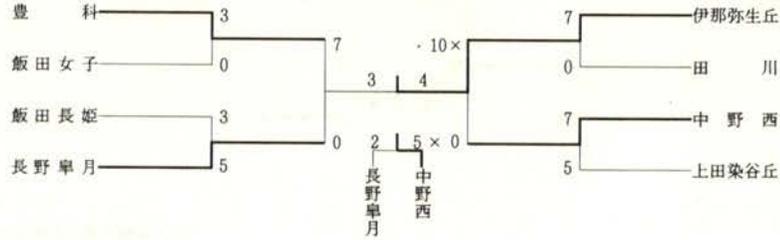
女子



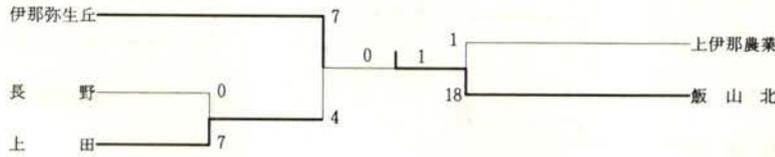
平成2年 長野県高等学校総合体育大会
男子



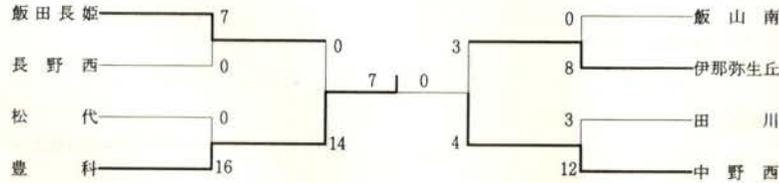
女子



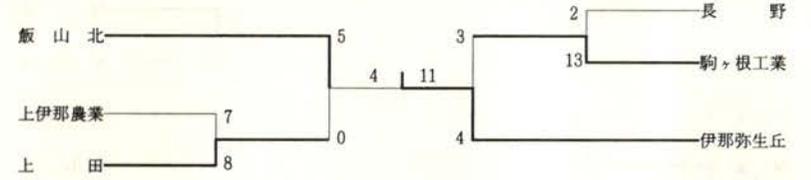
長野県高等学校新人体育大会
男子



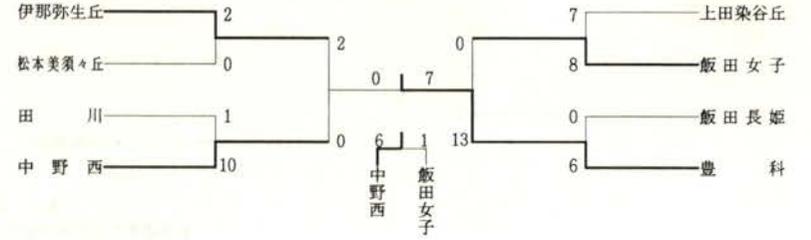
女子



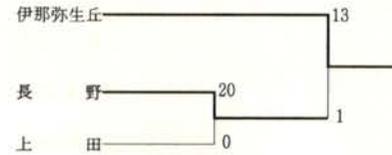
平成3年 長野県高等学校総合体育大会
男子



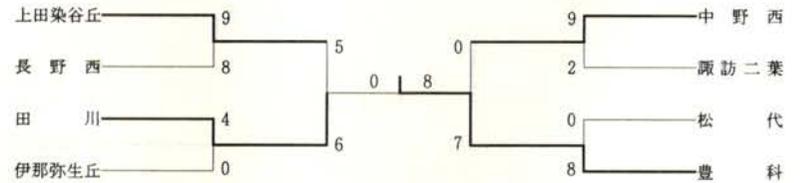
女子



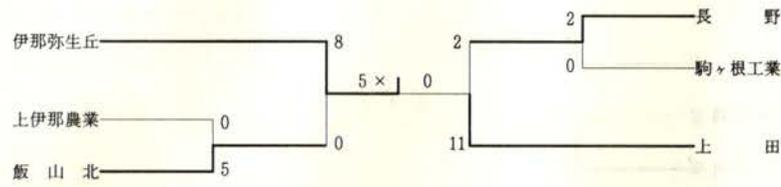
長野県高等学校新人体育大会
男子



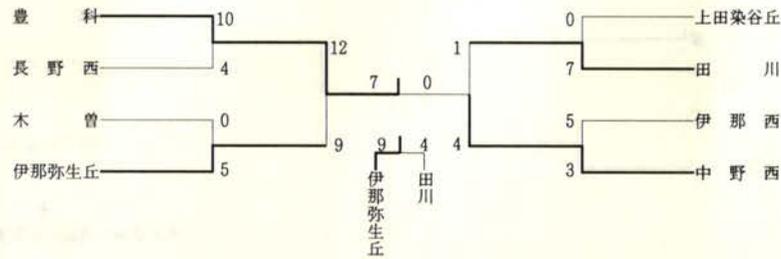
女子



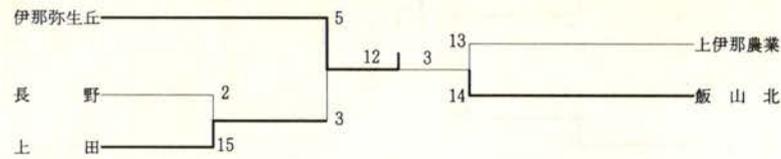
平成4年 長野県高等学校総合体育大会
男子



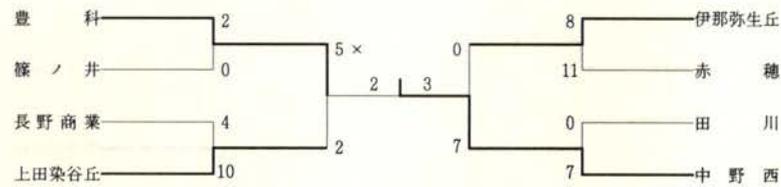
女子



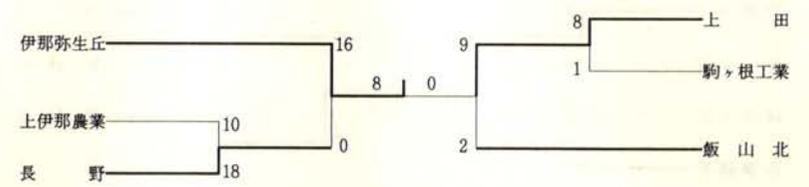
長野県高等学校新人体育大会
男子



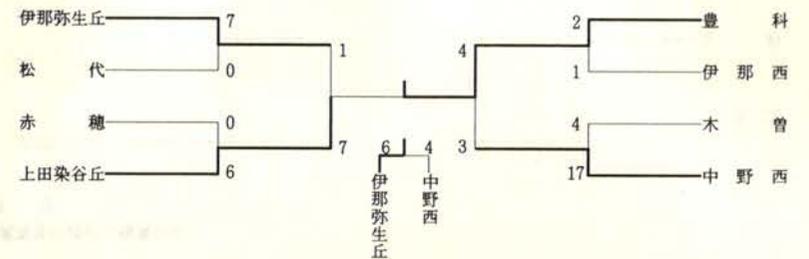
女子



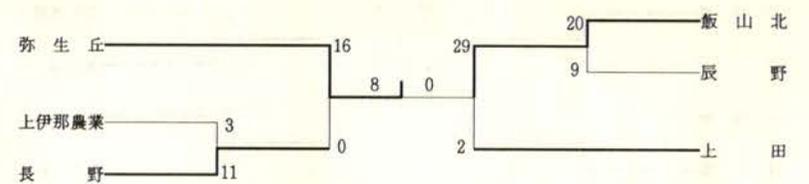
平成5年 長野県高等学校総合体育大会
男子



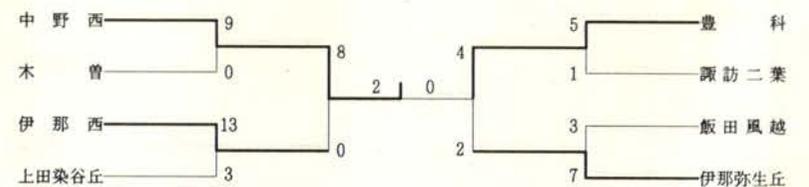
女子



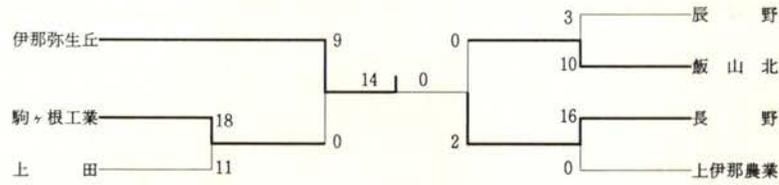
長野県高等学校新人体育大会
男子



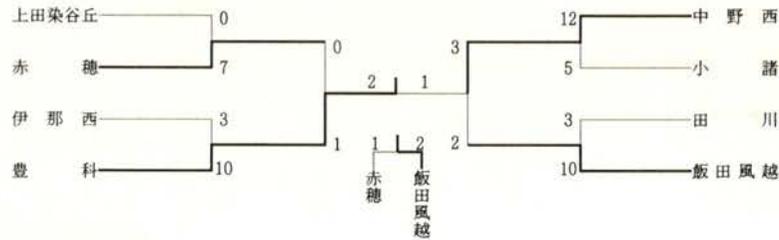
女子



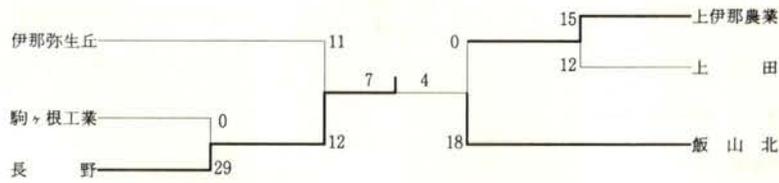
平成6年 長野県高等学校総合体育大会
男子



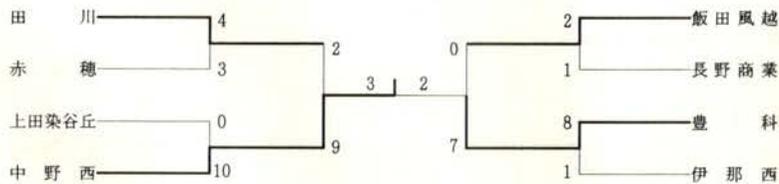
女子



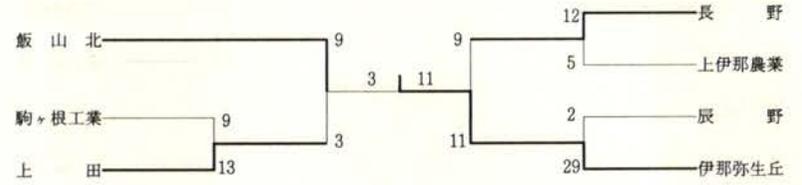
長野県高等学校新人体育大会
男子



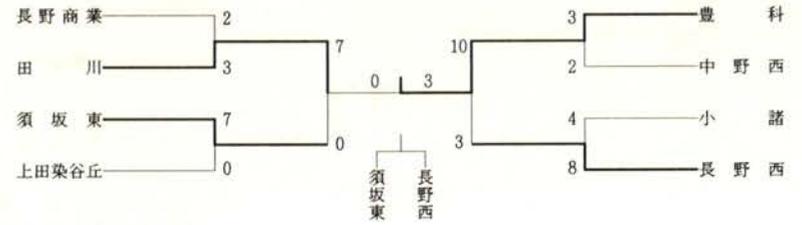
女子



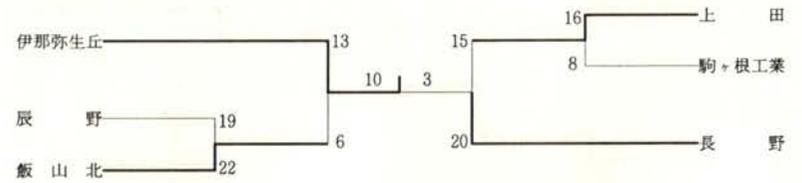
平成7年 長野県高等学校総合体育大会
男子



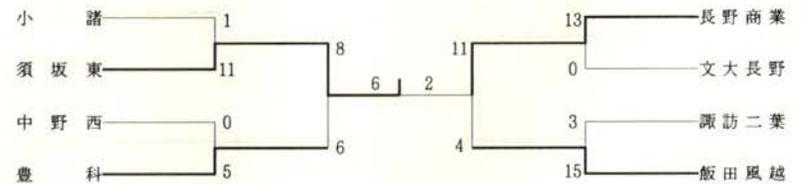
女子



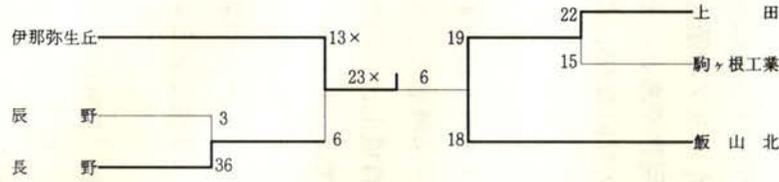
長野県高等学校新人体育大会
男子



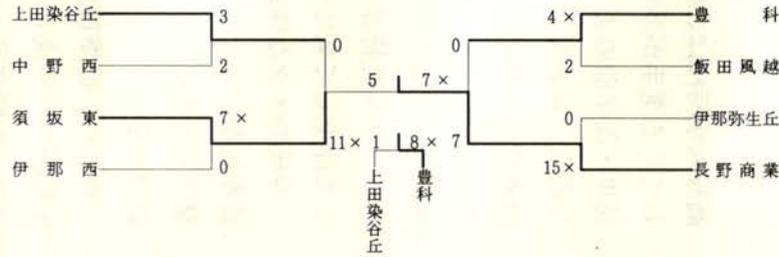
女子



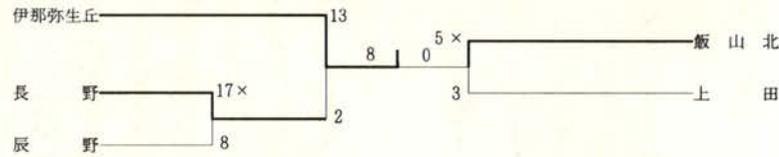
平成8年 長野県高等学校総合体育大会
男子



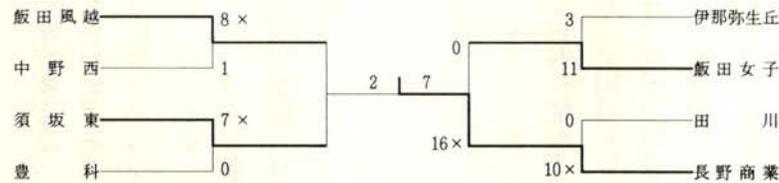
女子



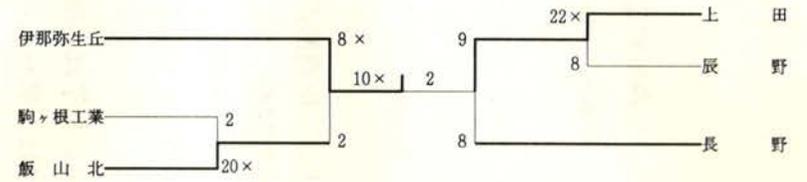
長野県高等学校新人体育大会
男子



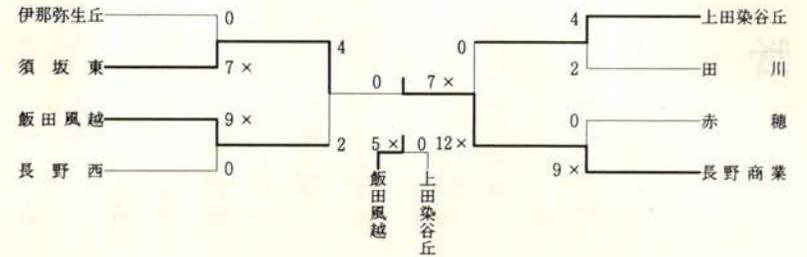
女子



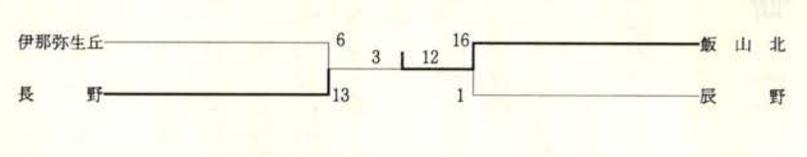
平成9年 長野県高等学校総合体育大会
男子



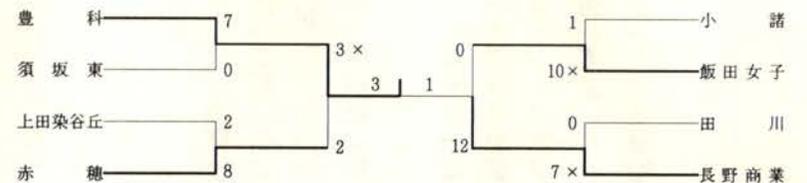
女子



長野県高等学校新人体育大会
男子



女子



10 卓 球

昭和62年から、平成9年までの11年間を見るに、男女共、松商学園時代であった。

男子を見ると、学校対抗では、昭和60年より13年連続優勝を継続中であり、今後もその松商時代に終止符を打つような対抗勢力が出現する可能性を見出すことは難しいと思われる。この頃の情勢を見るに、県外選手の移入も少しは存在するが、その大勢は、県内の上位選手が、年々、松商の門戸を叩く、現状から考えると、その種々環境からしてまだしばらくは、松商時代が、続くものと思われる。願わくば、その対抗勢力の現出があれば、県内のレベルアップも、堅実なものとなってくるのではないかと考えられます。

松商以外では、飯田・松本工業・岡谷工業・小諸商業・岩村田・須坂商業・伊那弥生ヶ丘高等、年々、松商城を攻めてはみたが、その茅城を崩すには到っていない。

一方、県外での成績では、北信越大会で、10年間に5回優勝するという、かつての女子望月に続く結果を出しており、徐々にではあるが、全国クラスに近づいているといったところである。唯、全国大会でのベスト8入りという、大きな厚い壁に阻まれ、インターハイ、国体共その壁、突破が、当面の大きな課題となっている。

個人戦に転ずると、毎年、ダブルス、シングルス共、通算では、8割以上の確率で優勝を重ね、半ば、常勝に近い実績を残して来ているのが、松商である。

他方、女子では、昭和50年代の望月高校黄金時代から、2～3年のクッションを置き昭和62年より11年間男子共々、アベック優勝を継続中であり、松商黄金期を象徴する結果となっている。

その松商に迫っているのが、松本松南であり、この所、その力は、毎年ほぼ、互角の戦いを繰り返して来ている。

松商・松南以外の学校では、須坂商業・伊那

西・飯田長姫・小諸商業等、松商城に迫っては押し返されているのが、この数年の歩みである。

県外でも北信越大会で、平成8年には初優勝を果し、近年のインターハイでも、男子同様、ベスト8の壁に突き当たり、揆ね返されているこの頃である。

個人戦でも、その全んどは、松商勢が優勝してきているが、中でもその間隙をつき、男女の須坂商業、男子の岩村田・飯田・岡谷工業の選手が、1位の座を占めていることは特筆ものである。

今後の推移を推察すると、男子は、松商時代が、まだしばらく続くのではと思われるし、女子は、松商を松南が、何時、その座を脅かすのか、興味あるところである。

選手育成の観点からは、このところ、中学時代より育成されている選手というより、この頃は、そのスタートを小学校時代へと低年令化し高校入学時には、相当なキャリアを積んで入学してくる選手が多いのが現状である。その為に15年・20年前のような、入学時皆初心者といった時代は過ぎ去り、却って、初心者と経験者の両者指導に頭を痛めているのが、現場の状況である。またそれと共に、スタート以来4年5年と経過してくると、選手と指導者の、コミュニケーション維持等も選手育成上、大切な事柄として浮上して来ているのではなかろうか。

今後の大きな課題として、生徒減に伴う、部員不足をどんな手段で乗り切るか、中学時の活発ムードをいかに高校まで継続させるか、等問題は山積している。

終りに、前委員長湯本誠（長野西～須坂商・昭和55年～平成4年）の後任に、平成5年4月より、山崎次良（中野～飯山南～中野西）が専門委員長に就任、その任に当たっている。

（専門委員長 山崎次良）

長野県高等学校総合体育大会 男子学校対抗

	1 位	2 位	3 位
S62	松商学園	飯田	須山 坂北
63	松商学園	松本工業	飯田山長 姫北
H1	松商学園	中野実業	更須 級坂 農商 業業
2	松商学園	小諸商業	篠岩 ノ村 井田
3	松商学園	須坂商業	須中 野 坂西
4	松商学園	飯田	伊須坂那商 北業
5	松商学園	須坂商業	岩村 田田
6	松商学園	飯田	小岩 諸村商 業田
7	松商学園	岡谷工業	小岩 諸村商 業田
8	松商学園	伊那弥生ヶ丘	飯須坂商 田業
9	松商学園	松本工業	岩伊那弥生ヶ 田丘

長野県高等学校総合体育大会 男子シングルス

	1 位	2 位	3 位
S62	本島章三 (松商)	小椋豊 (松商)	宮本典和 (松商) 大和伸光 (松商)
63	田中 (松商)	宮沢輝 (飯山北)	本島章三 (松商) 中沢勝利 (飯山北)
H1	岡野研二 (松商)	池田典雅 (須坂商)	佐藤拓哉 (松商) 山本幸夫 (中野実)
2	佐藤拓哉 (松商)	志水誠 (松商)	小島智幸 (松商) 小林康雄 (須坂商)
3	小林康雄 (須坂商)	北原成人 (松商)	市原知郷 (松商) 小島智幸 (松商)
4	市原知郷 (松商)	新井洋一 (松商)	村上篤亮 (松商) 清水亮 (松商)
5	清水亮 (松商)	村上直人 (松商)	牛山兼司 (松商) 土屋充彦 (飯田)
6	村上直人 (松商)	井上直紀 (松商)	浅田嘉智 (松商) 宮坂伸勝 (松商)
7	井上直紀 (松商)	高須恒征 (松商)	藤木久人 (松商) 宮坂伸勝 (松商)
8	高須恒征 (松商)	池上明彦 (伊那北)	鳥羽勇樹 (松商) 平林一洋 (松商)
9	都築大輔 (松商)	市川修一 (松商)	平林一洋 (松商) 峯村卓志 (長野商)

長野県高等学校総合体育大会 男子ダブルス

	1 位	2 位	3 位
S62	大和伸光 (松商) 田中	宮本典和 (松商) 小椋豊	塩原悟 (岡谷工) 林直哉 (輝利) 宮沢勝利 (飯山北) 中沢
63	本島章三 (松商) 佐藤拓哉	宮沢輝 (飯山北) 中沢勝利	小松一志 (松本工) 伊藤克二 (松商) 藤田学 (松商) 細川一草
H1	岡野研二 (松商) 佐藤拓哉	林志水 守洋誠 (松商)	飯島貴一 (更級農) 内山孝進 (野沢南) 河西北正徳
2	志水誠 (松商) 青木良治	島山孔博 (池田工) 神原恵介	小林康雄 (須坂商) 布川敏輝 (松商) 佐藤青嶋拓光
3	北原成人 (松商) 市原知郷	小島智幸 (松商) 青嶋光洋	島田成明 (更級農) 阿沢秀樹 (小諸商) 山井清治 小沢一豊
4	古村寛 (岡谷工) 船戸浩明	新井洋一 (松商) 村上篤	山岸陽介 (中野西) 渡辺功二 (梓川) 木村隆直也 望月
5	土屋充彦 (飯田) 宮島慎	羽入田昌明 (須坂商) 小野正人	牛山兼司 (松商) 羽入秀和 (松商) 清水亮直人 (松商) 村上
6	村上直人 (松商) 井上直紀	倉見勝 (岩村田) 宮下公彰	林和正 (岡谷工) 石川嘉智 (松商) 浅田文俊 今溝
7	塚田泰明 (岩村田) 永井駿	宮坂伸勝 (松商) 高須恒征	古田也 (岡谷工) 中條崇伸 (小諸商) 中島雄一 中村
8	高須恒征 (松商) 都築大輔	中村光伸 (弥生ヶ丘) 中村稔	霧見善之介 (須坂商) 北澤良一 (岩村田) 高橋孔一 松本政志
9	平林一洋 (松商) 都築大輔	三島清 (松商) 小野寿生	松本政志 (岩村田) 重田浩志 (松本工) 百瀬直洋 平田洋一

長野県高等学校総合体育大会 女子学校対抗

	1 位	2 位	3 位
62	松商学園	伊那西	中野 野北
63	松商学園	須坂商業	小松 諸本 商松 業南
1	松商学園	須坂商業	野飯 沢 風 北越
2	松商学園	松本松南	小伊 諸那 業西
3	松商学園	小諸商業	須松 坂本 商松 業南
4	松商学園	松本松南	白上 田染 谷 田丘
5	松商学園	松本松南	岩須 坂村 商 田業
6	松商学園	松本松南	飯伊 田那長 姫北
7	松商学園	松本松南	伊飯 田那長 西姫
8	松商学園	松本松南	伊小 諸那商 西業
9	松商学園	松本松南	伊松 本那 西ヶ丘

長野県高等学校総合体育大会 女子シングルス

	1 位	2 位	3 位
62	伊藤 智子 (松本工)	寺島さつき (中野)	田中美代子 (松商) 片桐ひさみ (松風)
63	山本 利江 (松商)	柳沢 由枝 (松商)	湯本 朱美 (松商) 美濃輪明美 (松商)
1	佐野里江子 (須坂商)	猿田弥栄子 (松商)	柳沢美奈子 (松商) 大沢そのみ (松風)
2	猿田弥栄子 (松商)	柳沢美奈子 (松商)	大塚八重美 (小諸商) 市川瑞枝子 (岩村田)
3	柳沢美奈子 (松商)	三島 香 (松商)	小松かおり (松商) 田中奈緒美 (松商)
4	小松かおり (松商)	井上 綾美 (松南)	中村由加里 (松南) 青柳 敏江 (松商)
5	小松かおり (松商)	高沢 宏佳 (松商)	三ツ井美恵子 (松商) 中村 幸絵 (松商)
6	高沢 宏佳 (松商)	永森 千映 (松商)	小松 亜子 (松商) 中田さゆり (松商)
7	小林 範子 (松商)	小松 亜子 (松商)	岩原加津美 (松南) 宮下 京子 (松商)
8	小松 亜子 (松商)	王 娜 (長野女)	浅川 恵梨 (松南) 永井 友子 (伊那北)
9	王 娜 (長野女)	小林 泉 (松商)	黒岩 明子 (松商) 髙橋ひとみ (松商)

長野県高等学校総合体育大会 女子ダブルス

	1 位	2 位	3 位
62	田中美代子 (松商) 柳沢 由枝 (松商)	中野さおり (松商) 美濃輪明美 (松商)	小林 桂子 (松南) 中島 加江 (中野) 寺島さつき (中野) 池田美枝子 (中野)
63	美濃輪明美 (松商) 山本 利江 (松商)	柳沢 由枝 (松商) 湯本 朱美 (松商)	有賀美智代 (伊那西) 唐木めぐみ (須坂商) 佐野江里子 (須坂商) 山本 圭子 (須坂商)
1	佐野江里子 (須坂商) 山本 圭子 (須坂商)	猿田弥栄子 (松商) 柳沢美奈子 (松商)	江守 理恵 (松商) 柳沢佳代子 (松風) 大沢そのみ (松風) 折山千寿子 (松風)
2	北村美由紀 (松商) 三島 香 (松商)	猿田弥栄子 (松商) 柳沢美奈子 (松商)	杉原 えみ (岩村田) 市川瑞枝子 (松南) 野田さとみ (松南) 北林 尚子 (松南)
3	柳沢美奈子 (松商) 三島 香 (松商)	本島 清代 (松風) 山岸真由美 (松風)	北林 尚子 (松南) 笹川 弥生 (松南) 田中奈緒美 (松南) 青柳 敏江 (松南)
4	青柳 敏江 (松商) 小林由利子 (松商)	太田 美香 (松商) 小松かおり (松商)	中村由加里 (松南) 西村 明子 (松南) 松田 尚子 (岩村田) 市川千恵子 (岩村田)
5	小松かおり (松商) 田中みどり (松商)	山本 香代 (須坂商) 波多 江美 (須坂商)	堀内 陽子 (松南) 志賀 深雪 (小諸商) 油井友佳里 (小諸商) 中林しのぶ (小諸商)
6	高沢 宏佳 (松商) 永森 千映 (松商)	中田さゆり (松商) 小林 範子 (松商)	須甲 幸枝 (長姫) 小田切真奈美 (小諸商) 中村しのぶ (小諸商) 林 奈津江 (小諸商)
7	小林 範子 (松商) 赤羽 麻美 (松商)	宮下 京子 (松商) 黒岩 明子 (松商)	小田切美香 (長姫) 本島奈津子 (松南) 小岩アカネ (松南) 上原 恵子 (松南)
8	小松 亜子 (松南) 小林 泉 (松南)	北原真由美 (松商) 髙橋ひとみ (松商)	相河 千織 (松南) 遠藤真由美 (松南) 浅川 恵利 (松南) 岩原加津美 (松南)
9	小林 泉 (松商) 矢野奈保子 (松商)	内田 幸子 (松南) 宮島 可奈 (松南)	勝野真喜子 (松南) 内間 菜美 (松南) 髙橋ひとみ (松商) 萩原 紗織 (松商)

長野県高等学校新人体育大会 男子学校対抗

	1 位	2 位	3 位
S62	松商学園	松本工業	中野山実業
63	松商学園	岡谷工業	岩村深田
H1	松商学園	須坂商業	小中諸野
2	松商学園	須坂商業	中野野
3	松商学園	須坂商業	中岡谷工
4	松商学園	池田工業	岩岡谷村工
5	松商学園	岩村田	小岡諸谷商工
6	松商学園	岡谷工業	小岩諸村
7	松商学園	梓川	須坂商ケ
8	松商学園	松本工業	伊那弥生ケ
9	松商学園	伊那弥生ケ	小飯諸田商風

長野県高等学校新人体育大会 男子シングルス

	1 位	2 位	3 位
S62	宮沢 輝 (飯山北)	宮沢 正起 (松商)	小松 一志 (松本工) 本島 章三 (松商)
63	志水 誠 (松商)	林 守洋 (松商)	岡野 研二 (松商) 中沢 孝明 (長野)
H1	佐藤 拓哉 (松商)	小島 智幸 (松商)	斉藤 一路 (飯山北) 畠山 孔博 (池田工)
2	小島 智幸 (松商)	小林 康雄 (須坂商)	北原 成人 (松商) 市原 知郷 (松商)
3	新井 洋一 (松商)	市原 知郷 (松商)	山口 博樹 (須坂商) 鎮西 武 (下伊農)
4	村上 直人 (松商)	小島 英樹 (松商)	清水 亮 (松商) 秋葉 和美 (岡谷工)
5	井上 直紀 (松商)	浅田 嘉智 (松商)	宮坂 伸勝 (松商) 村上 直人 (松商)
6	宮坂 伸勝 (松商)	井上 直紀 (松商)	高須 恒征 (松商) 星川 武志 (松商)
7	高須 恒征 (松商)	鶴見善之介 (須坂商)	中村 光伸 (弥生丘) 三村 将幸 (松商)
8	都築 大輔 (松商)	平林 一洋 (松商)	百瀬 雅直 (松本工) 三島 渚 (松商)
9	小野寿史生 (松商)	三島 渚 (松商)	中村 稔 (弥生丘) 清水 一博 (松商)

長野県高等学校新人体育大会 女子学校対抗

	1 位	2 位	3 位
S62	松 商 学 園	須 坂 商 業	小 伊 諸 商 業 西 那 那 西
63	松 商 学 園	飯 田	伊 須 那 西 坂 那 西 商 業
H 1	松 商 学 園	松 本 松 南	小 岩 諸 商 業 村 田
2	松 商 学 園	松 本 松 南	須 坂 商 業 長 野 阜 月
3	松 商 学 園	松 本 松 南	飯 田 風 越 須 坂 商 業
4	松 商 学 園	須 坂 商 業	松 本 松 南 小 諸 商 業
5	松 商 学 園	松 本 松 南	飯 田 風 越 須 坂 商 業
6	松 商 学 園	松 本 松 南	飯 田 女 子 飯 田 長 子 姫
7	松 本 松 南	松 商 学 園	飯 田 女 子 飯 田 長 子 姫
8	松 本 松 南	松 商 学 園	松 本 県 ケ 丘 赤 穂
9	松 商 学 園	松 本 松 南	豊 岩 村 科 田

長野県高等学校新人体育大会 女子シングルス

	1 位	2 位	3 位
S62	美濃輪明美 (松 商)	柳沢 由枝 (松 商)	山本 利江 (松 商) 湯本 朱美 (松 商)
63	柳沢佳代子 (松 商)	大沢そのみ (風 越)	江守 理恵 (松 商) 飯島 範子 (長野西)
1	柳沢美奈子 (松 商)	猿田弥栄子 (松 商)	北村美由紀 (松 商) 三島 香 (松 商)
2	柳沢美奈子 (松 商)	三島 香 (松 商)	成田 陽子 (松 南) 田中奈緒美 (松 商)
3	井上 綾美 (松 商)	小松かおり (松 商)	小林由利子 (松 商) 青柳 敏江 (松 商)
4	小松かおり (松 商)	山本 香代 (須坂商)	志賀 深雪 (松 南) 山田 薫 (伊那北)
5	中田さゆり (松 商)	高沢 宏佳 (松 商)	黒岩 明子 (松 商) 小林 範子 (松 商)
6	小林 範子 (松 商)	小松 亜子 (松 商)	赤羽 麻美 (松 商) 黒岩 明子 (松 商)
7	北原真由美 (松 商)	小松 亜子 (松 商)	浅川 惠梨 (松 南) 岩原加津美 (松 南)
8	王 娜 (長野女)	小林 泉 (松 商)	永井 友子 (伊那北) 渡辺 綾子 (伊那北)
9	王 娜 (長野女)	小林 泉 (松 商)	矢野奈保子 (松 商) 福田起代子 (松 商)

高体連会報紹介 第20号



今年度をふりかえってみますと、県高校総体には31種目10205名、新人大会には26種目9180名の生徒が参加し、役員・補助員、更に関係競技団体の皆様の多大なご協力を得て実施することが出来ました。北信越大会においては、31種目2136名が参加、種目によっては全国大会の出場をかけ、また5県の競技力の向上と友好の輪を広げる大会が行われました。本県では4種目が実施され成功裡に終了することが出来ました。全国高校総体夏季大会は8月1日より静岡県下で開催され、本県選手団は竹内長生会長を団長とし役員・選手総勢1003名が参加。総合開会式へは7種目203名が参加し長野冬季五輪開催決定の場内放送の中、県旗の小旗を振って堂々の入場行進を行いました。主な競技成績をみますと弓道女子団体が飯田女子が安定した力で勝ち抜き14年ぶり2回目の優勝に輝きました。フェンシング(サーブル)では木下進一選手(伊那北)が2位になり、空手道女子個人型では朝倉美奈子選手(坂城)が昨年に続き3位に入賞。陸上競技400mハードルで本田速人選手(野沢南)が、また漕艇男子舵手付フォアで岡谷南がいずれも3位入賞と

健闘しました。12月の京都で行われた駅伝では昨年9位男子の上伊那農業が11位に、女子の諏訪実業が9位になり陸上競技の長距離陣もいよいよ全国上位に入りました。日光市で行われたスケート大会では北海道勢の強さが目を引きましたがその中において野明弘幸選手(岡谷南)が、1500m・5000mで2位に、学校対抗でも2位に入賞しました。更に篠原浩一郎選手(小海)が500mで2位、男子リレーで小海が3位に入賞し、田中慎也選手(東海大三)が1500mで3位に入賞しました。2月に入り大山で行われたスキー大会では県勢男子ノルディック陣が全種目優勝の快挙を果しました。男子学校対抗で初優勝した中野実業は堀米光男選手、神津正昭選手が15Kフリー・クラシカルでそれぞれ1・2位を占め、又リレーでも両選手を軸に優勝。学校対抗で2位になった飯山北もスペシャルジャンプで杉山恵亮選手が県勢として8年ぶりに優勝、富井正樹選手もコンバインドで2位、15Kクラシカルで畦上大地選手も3位に入賞し学校対抗得点争いに貢献しました。富井彦選手(下高井農林)はコンバインドで前評判通りの活躍で2連覇を達成しました。女子学校対抗2位の白馬勢では回転で切久保深雪選手が3連覇の偉業を達成、15Kフリーで中村由紀選手が2位に入賞しました。

11 バドミントン

①最近10年間の専門部の概況

大会参加校の数は、着実に増加しており、平成9年度は男子61校、女子は65校であった。参加校増加にともない、中野実業を筆頭に、県下の高校に多くの熱心な指導者がでてきた。各高校が競う中、中野実業は、県総体において、昭和62年から平成1年まで男子学校対抗で三連覇し、続く平成4年から平成7年まで同種目で、四連覇し、通算8回の優勝をしている。また、平成4年度、長野県で行われた全国高等学校選抜北信越予選会では、関健（中野実）が、男子シングルスで優勝し、男子学校対抗では中野実業が高岡工芸を破り、ともに全国高等学校選抜大会に出場するという快挙を成し遂げた。しかし、競技力については、平成4年度の北信越選抜予選を除くと、現在残念ながら低迷しており、全国高校総体では、1、2回戦突破に終わっている。指導者・選手の奮起が望まれる。

②今後の課題

北信越ブロックの他県は、全国大会での優勝経験もあり、全国的に見てもレベルの高いブロックである。高校に入って初めてシャトルを打つ者が大部分の現状を打開するためには、小・中学校からバドミントンをするような環境作りの働きかけを強めていく必要がある。北信越ブロックで勝つことが全国に通じる道であることを念頭において、関係者が一丸となって努力を続けたいものである。また、生徒急減期中、クラブ離れの傾向もあり、部員確保に頭を悩ませているところもある。普及の面にも努力する必要がある。

（専門委員長 荒井和人）

【長野県高等学校総合体育大会】

[男 子]

〈学校対抗〉

年度	1 位	2 位	3 位
昭62	中野実業	松 代	岡谷工業・長野中央
63	中野実業	伊 那 北	上田染谷丘・長野西
平 1	中野実業	松 代	長野日大・長野西
2	須 坂	長 野 南	松 代・岡谷工業
3	松 代	上田染谷丘	伊 那 北・中野実業
4	中野実業	岡谷工業	丸子実業・上田染谷丘
5	中野実業	松 代	木 曾・須 坂
6	中野実業	松 代	岡谷工業・中野西
7	中野実業	岡谷工業	長 野・須 坂
8	岡谷工業	中野実業	松 代・須 坂
9	長野商業	中野実業	岡谷工業・須 坂

[女 子]

〈学校対抗〉

年度	1 位	2 位	3 位
昭62	中野実業	長 野 西	飯 田・諏訪二業
63	長 野 西	諏訪二業	飯 田・上田染谷丘
平 1	松 代	上田染谷丘	須 坂・長野日大
2	田 川	諏訪二業	中野実業・須 坂
3	中野実業	松 代	下諏訪向・伊 那 北
4	長野商業	松 代	須 坂・上田染谷丘
5	中野実業	木 曾	田 川・須 坂
6	中野実業	長 野 南	長野商業・松 代
7	須 坂	松 代	中野実業・長野商業
8	松 代	須 坂	長 野 南・中野実業
9	須 坂	上 田 東	松 代・長野商業

【長野県高等学校総合体育大会】

〔男子〕

〈シングルス〉

年度	1 位	2 位	3 位
昭62	岩下 達也(中野実)	小林 隆之(中野実)	会田 重信(坂城) 石田 仁志(上田)
63	山川 雅元(大町北)	北原 朋幸(伊那北)	山崎 豊(中野実) 金児 耕二(更級農)
平1	上田 英司(松代)	丸山 和宏(中野実)	小池 裕之(松代) 大日方優次(松代)
2	福沢 猛(伊那北)	常田 洋行(松代)	小林 真二(中野実) 越 則章(須坂)
3	清水 淳(染谷丘)	常田 洋行(松代)	山崎 繁(中野実) 矢島 努(染谷丘)
4	関 健(中野実)	清水 潔(岡谷工)	山名 敏晶(中野実) 上條 研一(丸子実)
5	関 健(中野実)	横山 和宏(岡谷工)	五味 昭一(岡谷工) 岩下 士郎(中野実)
6	山岸 栄一(中野実)	本道 由幸(松代)	斎藤 禅(松代) 小山 眞(岡谷工)
7	平間 和富(中野実)	岩垂 潤(岡谷工)	今井 眞(岡谷工) 関 巧(中野実)
8	関 巧(中野実)	今井 貴幸(長野商)	西島 壮(深志) 元島 理(岡谷工)
9	今井 貴幸(長野商)	達家 大輔(中野実)	久保 俊一(松代) 山崎 広一(須坂)

〔女子〕

〈シングルス〉

年度	1 位	2 位	3 位
昭62	武藤 明子(蟻ヶ崎)	太田 暁美(清陵)	有賀 康恵(岡谷東) 石原ひとみ(飯田)
63	山本 法子(長野西)	宇佐美恵理(飯田)	鈴木 里香(二葉) 山倉 理恵(中野実)
平1	本道 香織(松代)	北沢真奈美(大町北)	白石奈菜子(染谷丘) 西尾 千絵(染谷丘)
2	藤沢さおり(中野実)	丸山さゆり(松代)	藤村 明美(田川) 伊藤 勲子(長野)
3	太田 詞子(中野実)	富岡 美幸(中野実)	竹内真紀子(伊那北) 川上 知夏(塩尻)
4	今井 里香(長野商)	松本ひとみ(長野商)	河野 英美(長野日大) 荒木 香代(染谷丘)
5	小嶋 早織(中野実)	小山 美香(須坂)	湯藤 静香(木曾) 須崎弓美子(中野実)
6	藤沢亜希子(松代)	原 ナナ美(須坂)	山本 由香(上田東) 森山 綾子(長野南)
7	中村 真希(染谷丘)	倉石江里子(長野南)	和田 美恵(中野実) 南波千恵美(上田東)
8	川上 ふみ(須坂)	平松 志保(赤穂)	松村 美夢(長野南) 大池いづみ(中野実)
9	清水恵美子(長野商)	竹内由香利(長野商)	阿部 章子(松南) 平出 千夏(岡谷工)

〔男子〕

〈ダブルス〉

年度	1 位	2 位	3 位
昭62	岩下 達也 小林 隆之(中野実)	上原 克士 若林 和彦(松代)	石田・春原(上田) 戸谷・荻原(中野実)
63	下田 裕一 山崎 豊(中野実)	小林 親実 北原 朋幸(伊那北)	太田・渡辺(長野西) 金児・松本(更級農)
平1	上田 英司 大日方優次(松代)	丸山 和宏 岩下 直也(中野実)	市川・小布施(長野西) 佐々木・阿藤(長野西)
2	小林 功一 常田 洋行(松代)	矢沢 哲也 中島 陵(飯田)	小坂・平林(岡谷工) 越・小宮山(須坂)
3	常田 洋行 小林 功一(松代)	清水 淳 矢島 努(染谷丘)	吉野・上條(丸子実) 増田・太田(田川)
4	土屋 渡 清水 潔(岡谷工)	駒津 吉臣 関 健(中野実)	今井・塚田(須坂) 矢崎・大橋(岡谷工)
5	関 健 岩下 士郎(中野実)	五味 昭一 横山 和宏(岡谷工)	小林・松本(松代) 本道・斎藤(松代)
6	小山 眞 岩垂 潤(岡谷工)	本道 由幸 斎藤 禅(松代)	山岸・平間(中野実) 小野沢・小平(長野西)
7	岩垂 潤 野村多津朗(岡谷工)	平間 和富 竹内 淳(中野実)	小林・関(中野実) 土屋・酒井(須坂)
8	今井 眞 中野 智之(岡谷工)	関 巧 小玉 亘(中野実)	今井・芳川(長野商) 小淵・北原(須坂商)
9	今井 貴幸 芳川 安宏(長野商)	山崎 広一 小林英一郎(須坂)	久保・竹内(松代) 達家・池田(中野実)

〈ダブルス〉

年度	1 位	2 位	3 位
昭62	田中美恵子 笠原奈美子(中野)	藤森 康恵 清水 禎子(長野西)	宇佐美・石原(飯田) 西山・常田(中野実)
63	山本 法子 小林 真理(長野西)	青木奈穂子 山内 里佳(長野西)	宮崎・武田(中野) 小平・田中(染谷丘)
平1	山崎 麻里 阿部百合江(中野)	白石奈菜子 西尾 千絵(染谷丘)	本道・塚田(松代) 北沢・小林(大町北)
2	北沢 美佳 藤村 明美(田川)	伊藤 勲子 唐木 智子(長野)	内川・和田(田川) 横山・宮沢(長野商)
3	中沢理絵子 木村 理恵(松代)	太田 詞子 富岡 美幸(中野実)	跡部・望月(中野実) 横山・熊谷(田川)
4	今井 里香 松本ひとみ(長野商)	森田 亜紀 野俣 香織(松代)	山野井・長沢(須坂) 荒木・久保田(染谷丘)
5	小嶋 早織 須崎弓美子(中野実)	湯藤 静香 横平 考美(木曾)	須合・原(蘇南) 金子・土井(長野日大)
6	藤沢亜希子 今井 明美(松代)	小林 恵 和田 美恵(中野実)	西村・山本(田川) 原・三木(須坂)
7	永井さやか 二木 智子(松商)	波田見尚美 柳沢 泰子(大町北)	塩原・山口(向陽) 和田・大池(中野実)
8	滝沢久美子 柳沢 千織(松代)	川上 ふみ 鶴田知恵子(須坂)	大池・小林(中野実) 西沢・松村(長野南)
9	澤登 弘美 桑原利江子(松代)	大森 沙織 春原 陽子(上田東)	伊藤・小林(須坂) 赤岩・綱島(松南)

【長野県高等学校新人体育大会】

[男 子]

〈学校対抗〉

年度	1 位	2 位	3 位
昭62	長 野 西	伊 那 北	上田染谷丘・更級農業
63	中野実業	松 代	長野日大・長野西
平 1	岡谷工業	松 代	長野南・飯 田
2	松 代	上田染谷丘	田 川・伊那北
3	中野実業	岡谷工業	丸子実業・長野南
4	中野実業	岡谷工業	木 曾・篠ノ井
5	松 代	中野実業	中野西・須 坂
6	岡谷工業	中野実業	須 坂・長野南
7	岡谷工業	須坂商業	松 代・中野実業
8	須 坂	長野商業	中野実業・松 代
9	須 坂	長野商業	茅 野・岡谷工業

[女 子]

〈学校対抗〉

年度	1 位	2 位	3 位
昭62	長 野 西	飯 田	諏訪二葉・上田染谷丘
63	松 代	上田染谷丘	松本蠟ヶ崎・須坂商
平 1	田 川	諏訪二葉	長野商業・大町北
2	中野実業	田 川	塩 尻・松本蠟ヶ崎
3	長野商業	上田染谷丘	長 野 西・須 坂
4	中野実業	木 曾	田 川・須 坂
5	中野実業	松 代	長 野 南・長野商業
6	長野商業	松 代	須 坂・長野西
7	松 代	須 坂	蘇 南・田 川
8	長野商業	上 田 東	松 代・岡谷工業
9	長野商業	松本松南	松商学園・下諏訪向陽

[男 子]

〈シングルス〉

年度	1 位	2 位	3 位
昭62	金児 耕二(更級農)	山川 雅元(大町北)	下田 裕一(中野実) 小沢興一郎(飯 田)
63	丸山 和宏(中野実)	上田 英司(松 代)	岩下 直也(中野実) 大日方優次(松 代)
平 1	平林 千治(岡谷工)	小宮山聖文(須 坂)	小坂 崇(岡谷工) 橋爪 寿(弥生丘)
2	清水 淳(染谷丘)	常田 洋行(松 代)	小林 功一(松 代) 増田 尊幸(田 川)
3	関 健(中野実)	駒津 吉臣(中野実)	土屋 渡(岡谷工) 小島 淳(中野実)
4	関 健(中野実)	岩下 士郎(中野実)	竹内 秀文(中野西) 五味 昭一(岡谷工)
5	本道 由幸(松 代)	山岸 栄一(中野実)	両角 晃輔(松 代) 岩垂 潤(岡谷工)
6	岩垂 潤(岡谷工)	関 巧(中野実)	平間 和富(中野実) 竹内 淳(中野実)
7	関 巧(中野実)	今井 真(岡谷工)	水野 将臣(中野西) 北原 富章(須坂商)
8	今井 貴幸(長野商)	達家 大輔(中野実)	芳川 安弘(長野商) 山崎 広一(須 坂)
9	金井 真介(長野商)	酒井 洋介(岡谷工)	清水 昭宏(茅 野) 田中 隆也(東海大)

[男 子]

〈ダブルス〉

年度	1 位	2 位	3 位
昭62	小林 親実 北原 朋幸(伊那北)	金児 耕二 松本 福治(更級農)	太田・塚田(長野西) 北村・渡辺(長野西)
63	丸山 和宏 岩下 直也(中野実)	島田 英和 原田 洋一(中野実)	市川・佐々木(長野西) 上田・大日方(松代)
平 1	小宮山聖文 越 則幸(須 坂)	川島 篤 宮下 譲一(長野南)	小林・佐藤(長野南) 小林・福沢(伊那北)
2	常田 洋行 小林 功一(松 代)	増田 尊幸 太田 泰基(田 川)	吉野・上條(丸子実) 清水・矢島(染谷丘)
3	駒津 吉臣 島田 将光(中野実)	上條 研一 工藤 克美(丸子実)	樋口・田中(染谷丘) 小島・関(中野実)
4	関 健 岩下 士郎(中野実)	五味 昭一 横山 和宏(岡谷工)	上野・大谷(岡谷工) 牧・伊藤(木 曾)
5	山岸 栄一 平間 和富(中野実)	小山 眞 岩垂 潤(岡谷工)	瀧沢・荒井(松 代) 本道・斎藤(松 代)
6	岩垂 潤 野村多津朗(岡谷工)	平間 和富 竹内 淳(中野実)	小松・田中(深 志) 竹内・大月(松木工)
7	関 巧 小玉 亘(中野実)	今井 眞 中野 智之(岡谷工)	水野・下田(中野西) 小沢・北原(須坂商)
8	今井 貴幸 芳川 安宏(長野商)	福住弘太郎 金井 真介(長野商)	山崎・小林(須 坂) 元島・北原(岡谷工)
9	金井 真介 西 俊紀(長野商)	酒井 洋介 林 健二(岡谷工)	土屋・古村(向 陽) 土屋・平尾(須 坂)

【長野県高等学校新人体育大会】

[女 子]

〈シングルス〉

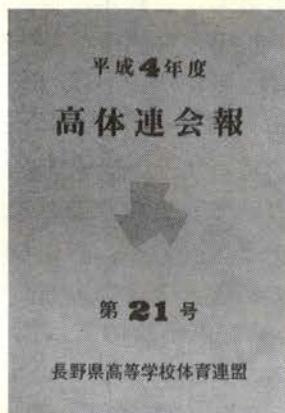
年度	1 位	2 位	3 位
昭62	山本 法子(長野西)	鈴木 里香(諏訪二業)	宇佐美恵理(飯田) 丸山 央(飯田)
63	本道 香織(松代)	佐藤 由美(蟻ヶ崎)	白沢美穂子(染谷丘) 北沢真奈美(大町北)
平1	丸山さゆり(松代)	藤村 明美(田川)	横山 薫(長野商) 白木 麻美(田川)
2	富岡 美幸(中野実)	太田 詞子(中野実)	横山 祥子(田川) 見波かおり(中野実)
3	今井 里香(長野商)	山野井紀子(須坂)	安藤 恵子(長野商) 松本ひとみ(長野商)
4	小嶋 早織(中野実)	金子 亜紀(長野日大)	小山 美香(須坂) 関 あずさ(中野実)
5	藤沢亜希子(松代)	小林 恵(中野実)	山本 由香(上田東) 原 ナナ美(須坂)
6	和田 美恵(中野実)	倉石江里子(長野商)	藤沢 美里(松代) 中村 佳代(須坂)
7	滝沢久美子(松代)	大池いづみ(中野実)	正村 宏美(松代) 平出 千夏(岡谷工)
8	平出 千夏(岡谷工)	清水恵美子(長野商)	阿部 章子(松南) 越 けさみ(中野西)
9	竹内由香利(長野商)	吉田 深可(向陽)	田中ゆう子(岡谷工) 草間美彩都(向陽)

[女 子]

〈ダブルス〉

年度	1 位	2 位	3 位
昭62	山本 法子 小林 真理(長野西)	須田 典子 山内 里佳(長野西)	山倉・石沢(中野実) 百瀬・小坂(塩尻)
63	本道 香織 塚田 由美(松代)	山下 理 白沢美穂子(染谷丘)	宮島・山岸(長野南) 竹内・山小(須坂商)
平1	藤村 明美 北沢 美佳(田川)	小松 美菜 岸田 絵里(田川)	中沢・栗林(長野南) 内川・白木(田川)
2	太田 詞子 富岡 美幸(中野実)	中沢理絵子 木村 理恵(松代)	跡部・望月(中野実) 佐藤・中村(長野日大)
3	中田智香子 田村 悦子(田川)	今井 里香 松本ひとみ(長野南)	沢島・竹沢(赤穂) 荒木・久保田(紫谷丘)
4	湯藤 静香 横平 考美(木曾)	小嶋 早織 須崎弓美子(中野実)	須合・原(蘇南) 小山・小林(須坂)
5	藤沢亜希子 今井 明美(松代)	森山 綾子 安藤みゆき(長野南)	小林・和田(中野実) 立花・山田(田川)
6	藤沢 美里 飛田 泉(松代)	塩原 陽子 山口 陽子(向陽)	渋谷見・柳沢(大町北) 永井・二木(松葉学園)
7	滝沢久美子 柳沢 千織(松代)	西沢 佳美 松村 美夢(長野南)	大池・小林(中野実) 川上・鶴田(須坂)
8	平出 千夏 田中ゆう子(岡谷工)	清水恵美子 中嶋 友香(長野商)	大森・春原(上田東) 阿部・藤田(松本南)
9	竹内由香利 中嶋 友香(長野商)	北村 幸恵 平出 恵美(松南)	帯刀・矢澤(松本南) 小池・弥津(長野商)

高体連会報紹介 第21号



今年度をふりかえってみますと、アーチェリー競技の加盟により県総体32種目9125名、新人大会27種目7915名の選手が参加し、各競技団体の方々をはじめ、役員、補助員の皆さんの多大なご協力を得て実施することができました。全国高校総体夏季大会は8月1日から宮崎県で開催され、藤澤愛信会長を団長に1043名の役員選手団が参加しています。漕艇男子舵手付きフォアで岡谷南クルーが優勝、女子でも諏訪清陵クルーが第3位入賞、男女ダブルスカルでも岡谷南チームが6位と4位に入賞しています。陸上競技では県選手団旗手を務めた山本晴美選手(長野南)が女子槍投げで47m30、4位入賞、男子800m走で一志学選手(池田工)が1分53秒90で5位入賞しています。女子体操競技では文大長野チームが団体総合で4位、個人総合7位の中嶋真弓選手はゆかで3位、跳馬でも5位に入賞、岩井涼子選手もゆかで5位に入賞しています。弓道では男子個人で竹花匡史選手(屋代)が2位入賞、空手道型女子個人で杉山裕美選手(松本深志)が7位入賞しています。この他にベスト8に進出した種目ではバレーボールの岡谷工業、ソフトボール男子の伊那弥生ヶ丘があげられます。定通全国大会では柔道個人中量級で岡村秀輝選手(中野実業)が昨年に引続き2連続優勝を果たしています。

苫小牧市で行われた全国スケート競技会では、清水美映選手(松本深志)の1500・3000m2種目制覇を筆頭に野明弘幸選手(岡谷南)の1500m2位、3000m4位、降旗克子選手(大町北)の1500m・3000m3位、田中慎也選手(東海大三)の1500m3位、篠原浩一郎選手(小海)の100m3位、学校対抗第3位の小海高校などがあげられます。アイスホッケーの軽井沢高もベスト8入り活躍しました。

小谷村で行われた全国スキー競技会では層の厚いノルディック陣をかまえた中野実業高校の学校対抗総合二連続優勝をはじめ、2位飯山南、3位白馬、4位下高井農林、6位飯山北と、男子は本県勢の圧倒的な強さが見られました。女子では白馬高の3位、飯山北4位と、飯山北女子リレーチームが本県勢として初のリレー優勝を果たしています。個人では堀米光男選手(中野実)の15kmクラシカル3連勝を筆頭に15kmクラシカル4位、竹田高広選手(同)SL2位、男子リレーでも優勝に輝きました。この他第2位入賞者には女子GSLで松田美登里選手(白馬)、女子10kmフリーで石井文香選手(飯山南)、コンバインドでも佐藤正彦(飯山南)、市川雄一(下高井農)の両選手が2・3位に入賞、森知広選手(下高井農)が15kmクラシカル、3位には男子15kmで久保田裕(飯山北)、SLで下平匠(上田)、宮田奈帆(白馬)、GSLで深沢哲(白馬)の各選手および飯山南高男子リレーチームが入賞しています。

12-1 体 操

「最近10年の専門部の概況および競技成績」

長野県高体連50周年記念おめでとうございます。一言で50年と言いましてもその間大勢の方々の協力・努力の積み重ねがあって築かれてきた結晶だと思います。この原稿を書くにあたって昭和63年に発行された長野県高体連史に目を通す中でその歴史の重みを感じさせられます。また、私自身もかつてその中で活動の場を与えられ高校3年間を有意義に過ごすことができたことを思い返すと、この高体連の活動に感謝したいと思います。

さて、前高体連史が発行されて10年が経過しようとしています。私が専門委員長として今年度で4年が経過します。まだまだ経験が浅く10年の歩みを振り返り、その流れをまとめるには困難を感じますが、前委員長であった湯沢先生・小林先生の書かれた会報のまとめを参考にしながら専門部の概況を総合体育大会を中心にまとめたいと思います。

男子においては、昭和60年より数年強さを誇った岡谷工業も選手層が年々薄くなり63年にはそれに替って長野日大が一年生を中心にレギュラーを揃え優勝、以後ゆずらぬ強さを見せています。両校の競り合う中、62年中野実業・平成5年飯田風越の2位は立派でありました。さらに、競技人口が減少する中であって平成3年より下伊那農・飯田長姫・赤穂とよく選手を集め3位に入賞していることも見逃がすことはできません。

女子においては、相変わらず文大長野が強さを誇った10年間でありました。しかし、平成の時代に入るころよりジュニア選手が各校へ散って入学した為に力が混戦するようになり、平成元年岡谷南が全体のまとまりを見せて初優勝を果たしました。2位に入賞している学校を見ても、昭和62年塩尻・昭和63年上田染谷丘・平成元年飯田風越・3・4年長野・5・6・7年長野東・8・9年赤穂と4地区で競り合っており、意味のあることであったように思います。現在東信地区に競技者がいなくなってしまうことは大変残念なことでありますが今後の再復帰を期待するところです。さらに、長

野南・長野西・辰野といった学校もよく頑張って3位に入賞していることも嬉ばしいことです。

県で優勝・北信越でも上位入賞を果たしながら全国では予選通過を果たせなかった長野日大が、県体育センターの先生方のジュニア指導を受けた選手たちを船木先生が育て上げ平成3年に念願であった予選を通過し団体13位という快挙を成しとげました。また、女子の文大長野は竹内先生のもと、平成4年北信越で優勝、全国では団体4位と上位入賞、個人でも中嶋7位・岩井15位とすばらしい成果を収めたことは特記すべき事です。

体操は特殊性の強い競技であればこそ、選手を発掘し養成することにとどの学校・どの監督も頭を抱えながらの毎日が実践であると思います。さらに、選手層の低年齢化・器具の改良それに伴う高額化も手伝って選手育成の困難さを更に増しているのが現状です。競技採点規則も年々変更され「美しさ」よりも「難度」が要求される傾向が強まったように思われます。また規定演技が廃止されたこともここ数年の特徴です。しかしながら、この規定の重要性を考え、高体連として独自に残すことに決定しこの平成10年より内容を変更し新たに実施する方向に決定しています。しかし、特に女子の規定内容を見ますと高度な技も盛り込まれており指導者は頭の痛いところだと思います。等々、多くの問題はあるものの今までの経験と今後中・高連携などの方法を模索しながら更に競技人口の拡大・競技力の向上を図ることが必要だと思います。長い歴史の礎の上に更に一歩ずつ歴史を重ね新たな歴史が築かれることを願うものです。

最後に、毎日指導にあたられている顧問の先生方に敬意を表わすとともに、今後更なる選手の活躍を期待し、合わせてこれまでご尽力いただきました各関係の方々に感謝申し上げ10年間の概況といたします。

(専門委員長 長谷川浩一)

長野県高等学校総合体育大会
男子個人総合

	1位		2位		3位	
62	津金 幸一 (岡谷工)	103.15	林 徹 (岡谷工)	100.20	古橋 史好 (中野実)	99.05
63	竹林 伸一 (長野日大)	104.40	大郷 守利 (岡谷工)	100.65	田川 直己 (中野実)	95.25
1	矢島 稔 (岡谷工)	103.15	杉本 利昭 (長野日大)	99.15	斎藤 隆幸 (長野日大)	97.40
2	杉本 利昭 (長野日大)	106.50	峯村 裕 (長野日大)	106.30	斎藤 隆幸 (長野日大)	104.20
3	杉本 利昭 (長野日大)	108.40	峯村 裕 (長野日大)	106.75	斎藤 隆幸 (長野日大)	106.65
4	藤林 悟志 (長野日大)	106.65	中田 大貴 (長野日大)	99.60	内田 和孝 (長野日大)	99.55
5	藤林 悟志 (長野日大)	105.00	吉越 徹 (長野日大)	97.85	杉田 実 (長野日大)	92.45
6	竹本 稔 (下伊那農)	101.20	渡辺 玄 (長野日大)	100.95	太田 大造 (赤穂)	98.75
7	渡辺 玄 (長野日大)	103.05	松澤 年展 (長野日大)	96.40	寺島 斉 (長野日大)	94.65
8	内山 仁 (長野日大)	105.90	松澤 年展 (長野日大)	102.15	寺島 斉 (長野日大)	100.70
9	内山 仁 (長野日大)	107.50	坂口 勝昭 (長野日大)	104.00	松沢 晃 (岡谷工業)	99.20

女子個人総合

62	井田 広子 (文大長野)	74.65	坪井ひろみ (文大長野)	73.60	中沢 真理 (文大長野)	70.95
63	井田 広子 (文大長野)	74.00	樋口 康代 (文大長野)	66.30	新津 未央 (長野東)	65.75
1	井田 広子 (文大長野)	76.10	新津 未央 (長野東)	69.30	堤 美佐子 (長野南)	62.10
2	中嶋 真弓 (文大長野)	76.30	岩井 涼子 (文大長野)	73.60	山本 綾子 (長野)	72.50
3	中嶋 真弓 (文大長野)	73.80	岩井 涼子 (文大長野)	72.60	山本 綾子 (長野)	70.20
4	中嶋 真弓 (文大長野)	74.90	山本 綾子 (長野)	73.35	塚田 昌代 (文大長野)	72.30
5	塚田 昌代 (文大長野)	73.25	滝本 好 (文大長野)	68.50	滝本 吏 (長野東)	66.80
6	塚田 昌代 (文大長野)	72.85	宮本 静恵 (文大長野)	72.05	滝本 吏 (長野東)	66.50
7	宮本 静恵 (文大長野)	72.30	坪井たつ代 (文大長野)	64.10	原山 綾子 (文大長野)	62.15
8	宮本 静恵 (文大長野)	73.00	坪井たつ代 (文大長野)	69.50	高橋 里奈 (文大長野)	66.90
9	坪井たつ代 (文大長野)	72.65	田中 裕子 (文大長野)	70.15	高橋 里奈 (文大長野)	67.00

長野県高等学校新人体育大会
男子個人総合

62	竹林 伸一 (長野中央)	52.30	左右田 光 (長野中央)	49.15	和田 崇 (中野実)	49.00
63	矢島 稔 (岡谷工)	49.60	古川 幸史 (長野日大)	46.40	鈴木 真一 (長野日大)	43.95
1	杉本 利昭 (長野日大)	52.55	斎藤 隆幸 (長野日大)	52.20	峯村 裕 (長野日大)	51.20
2	杉本 利昭 (長野日大)	53.80	峯村 裕 (長野日大)	52.45	斎藤 隆幸 (長野日大)	51.90
3	藤森 悟志 (長野日大)	50.85	中田 大貴 (長野日大)	50.20	井上 薫貴 (岡谷工)	48.15
4	藤森 悟志 (長野日大)	53.10	吉越 徹 (長野日大)	48.35	実原 基成 (飯田風越)	45.95
5	渡辺 玄 (長野日大)	48.80	竹本 稔 (下伊那農)	46.50	太田 大造 (赤穂)	45.75
6	渡辺 玄 (長野日大)	51.00	太田 大造 (赤穂)	48.55	寺島 斉 (長野日大)	46.90
7	内山 仁 (長野日大)	53.00	寺島 斉 (長野日大)	51.70	松澤 年展 (長野日大)	51.20
8	内山 仁 (長野日大)	52.80	山田健太郎 (長野日大)	49.80	坂口 勝昭 (長野日大)	48.80
9	坂口 勝昭 (長野日大)	50.35	小林雄一郎 (長野日大)	48.60	山口 修一 (長野日大)	46.15

女子個人総合

62	新津 未央 (長野東)	35.45	竜野 裕子 (長野南)	35.30	樋口 唐代 (文大長野)	32.80
63	井田 広子 (文大長野)	37.20	新津 未央 (長野東)	36.05	堤 美佐子 (長野南)	33.35
1	久保田 司 (文大長野)	30.10	荒井 理恵 (篠ノ井)	28.10	村山恵美子 (長野東)	27.45
2	中嶋 真弓 (文大長野)	38.20	山本 綾子 (長野)	37.05	岩井 涼子 (文大長野)	36.65
3	岩井 涼子 (文大長野)	37.15	中嶋 真弓 (文大長野)	36.90	山本 綾子 (長野)	35.65
4	塚田 昌代 (文大長野)	36.30	塚本 好 (文大長野)	33.85	滝本 吏 (長野東)	32.40
5	塚本 昌代 (文大長野)	35.90	滝本 吏 (長野東)	33.50	早川 靖子 (長野東)	29.75
6	宮本 静恵 (文大長野)	35.40	早川 靖子 (長野東)	31.25	原山 綾子 (文大長野)	29.55
7	宮本 静恵 (文大長野)	36.15	新江 由理 (長野)	31.30	西尾 里紗 (長野東)	28.90
8	坪井たつ代 (文大長野)	35.10	高橋 里奈 (文大長野)	31.55	宮坂早紀子 (文大長野)	29.60
9	田中 裕子 (文大長野)	34.75	高橋 里奈 (文大長野)	33.95	宮坂早紀子 (文大長野)	32.85

	4位		5位		6位	
62	長谷川 学 (中野実)	95.35	竹林 伸一 (長野中央)	95.35	富田 博則 (長野中央)	93.50
63	村松 治幸 (岡谷工)	95.05	和田 崇 (中野実)	93.85	小林 和彦 (長野日大)	93.10
1	峰村 裕 (長野日大)		山本 哲也 (長野日大)		古川 幸史 (長野日大)	
2	山本 哲也 (長野日大)	99.90	池田 隆光 (長野日大)	98.00	両角 昌祥 (岡谷工)	93.55
3	池田 隆光 (長野日大)	105.05	久保田義和 (長野南)	103.00	御子柴新吾 (岡谷工)	100.55
4	浅野 浩昭 (長野日大)・井上 薫貴 (岡谷工)	98.70			坂本 幹夫 (岡谷工)	94.70
5	実原 基成 (飯田風越)	91.00	渡辺 玄 (長野日大)	86.50	竹内 隆之 (飯田風越)	82.45
6	大橋 慎悟 (岡谷工)	96.05	平沢 明典 (赤穂)	94.50	松澤 年展 (長野日大)	91.15
7	内山 仁 (長野日大)	88.55	倉田 洋平 (岡谷工)	84.20	木幡 俊宏 (岡谷工)	83.95
8	倉田 洋平 (岡谷工)	99.10	坂口 勝昭 (長野日大)	97.15	山口健太郎 (長野日大)	95.70
9	松井 隆敏 (長野日大)	96.90	山口健太郎 (長野日大)	94.45	加藤 俊平 (長野日大)	89.00

62	竜野 裕子 (長野南)	70.60	新津 未央 (長野東)		樋口 康代 (文大長野)	
63	堤 美佐子 (長野南)	60.25	佐藤 理恵 (須坂東)	55.25	城子かおり (飯田風越)	48.60
1	荒井 理絵 (篠ノ井)	53.80	古山 里美 (長野西)	53.15	篠原 千津 (岡谷南)	50.40
2	久保田 司 (文大長野)	63.60	村山恵美子 (長野東)	62.45	林 博子 (岡谷南)	56.75
3	村山恵美子 (長野東)	62.60	羽入田きみ江 (長野東)	52.75	菊池あや子 (長野西)	52.45
4	岩井 涼子 (文大長野)	72.20	滝本 好 (文大長野)	65.80	滝本 吏 (長野東)	62.30
5	寺島 若菜 (長野東)	60.55	百瀬波流華 (長野東)	55.55	山沢 文恵 (飯田風越)	51.75
6	滝本 好 (文大長野)	66.30	寺沢 紀代 (飯田風越)	59.90	原山 綾子 (文大長野)	57.65
7	早川 靖子 (長野東)	61.55	新江 由理 (長野)	59.45	関 敦子 (飯田風越)	52.75
8	新江 由理 (長野)	61.80	西尾 里紗 (長野東)	58.30	小田切ゆき (赤穂)	54.25
9	宮坂早紀子 (文大長野)	65.35	小川 由香 (赤穂)	57.25	酒井真由美 (赤穂)	56.25

62	中山 明浩 (長野中央)	47.10	田川 直己 (中野実)	46.07	村松 治幸 (岡谷工)	46.06
63	浦野 隆昌 (長野日大)	43.85	坂井 仁 (長野日大)	43.50	山本 哲也 (長野日大)	40.95
1	山本 哲也 (長野南)	48.90	池田 隆光 (長野日大)	48.85	両角 昌祥 (岡谷工)	48.15
2	池田 隆光 (長野日大)	50.40	久保田義和 (長野南)	48.70	御子柴新吾 (岡谷工)	46.20
3	内田 和孝 (長野日大)	47.60	塩沢 英明 (岡谷工)	46.55	浅野 浩昭 (長野日大)・坂本 幹夫 (岡谷工)	46.50
4	杉田 実 (長野日大)	43.15	竹内 隆之 (飯田風越)	42.45	藤田 充弘 (下伊那農)	40.05
5	大橋 慎悟 (岡谷工)	45.10	平沢 明典 (赤穂)	42.95	竹下 卓志 (長野日大)	41.90
6	中村 信幸 (長野日大)	46.30	松澤 年展 (長野日大)	45.05	岡庭 秀和 (下伊那農)	44.25
7	山口健太郎 (長野日大)	47.35	倉田 洋平 (岡谷工)	46.90	松井 隆敏 (長野日大)	46.15
8	松井 隆敏 (長野日大)	48.75	松沢 晃 (岡谷工)	48.15	加藤 俊平 (長野日大)	46.25
9	峰村 隆 (長野日大)	45.85	福沢 昭則 (中野実)	45.10	今井 陽平 (岡谷工)	44.65

62	佐藤 理恵 (須坂東)	27.60	堤 美佐子 (長野南)	27.55	渡辺 里菜 (上田染谷)	24.25
63	古山 里美 (長野西)	27.70	林 博子 (岡谷南)	25.85	大野 真弓 (辰野)	24.30
1	林 博子 (岡谷南)	26.25	石原 三和 (赤穂)	22.70	中村志津子 (大町北)	22.50
2	久保田 司 (文大長野)	30.20	羽入田きみ江 (長野東)・村山恵美子 (長野東)	27.15		
3	星 仁美 (飯田風越)	24.10	山口真由実 (中野西)	23.00	石川 美香 (文大長野)	22.25
4	寺島 若菜 (長野東)	29.60	百瀬波流華 (長野東)	28.75	佐藤裕美子 (長野西)	27.90
5	寺沢 紀代 (飯田風越)	28.75	唐沢 優子 (赤穂)	27.95	小平由香利 (赤穂)	27.10
6	新江 由理 (長野)	28.40	那須野美保 (辰野)	24.45	関 敦子 (飯田風越)	23.90
7	小田切ゆき (赤穂)	26.75	向山百合香 (赤穂)	25.90	西村 昌子 (辰野)	25.40
8	酒井真由美 (赤穂)	24.55	小川 由香 (赤穂)	23.15	小林 春枝 (長野東)	22.80
9	東金 千春 (赤穂)	29.85	小池 佳奈 (県ヶ丘)	29.60	座光寺春美 (赤穂)	27.75

長野県高等学校総合体育大会

男子団体総合

	1位	2位	3位
62	岡谷工業 (298.20) 津金・林・手塚・小泉	中野実業 (286.90) 海野・古橋・長谷川・和田	長野中央 (282.50) 富田・和田・竹林・左右田
63	長野日大 (293.60) 竹林・左右田・中山・小林	岡谷工業 (292.95) 大郷・滝沢・村松・矢島	中野実業 (211.45) 和田・田川・小出・滝沢
1	長野日大 (301.20) 浦野・松本・斎藤・峯村	岡谷工業 (277.90) 矢島・伊藤・中島・両角	塩尻 (208.45) 中島・小嶋・中島・長沢
2	長野日大 (318.25) 斎藤・杉本・峯村・池田	岡谷工業 (276.55) 小林・両角・宮越・御小柴	塩尻 (228.85) 徳原・中島・小島・田村
3	長野日大 (327.85) 斎藤・杉本・峯村・池田	岡谷工業 (283.15) 御小柴・山田・井上・坂本	下伊那農業 (230.05) 小平・小倉・川手・市原
4	長野日大 (311.90) 浅野・中田・内田・藤林	岡谷工業 (288.00) 井上・塩沢・花岡・坂本	飯田長姫 (261.30) 宮嶋・伊藤・松沢・河辺
5	長野日大 (298.40) 藤林・吉越・杉田・渡辺	飯田風越 (239.00) 竹内・実原・西村・田辺	下伊那農業 (219.70) 石川・森田・篠田・竹本
6	長野日大 (283.30) 竹下・渡辺・中村・松沢	岡谷工業 (265.40) 大橋・小林・木幡・寺島	赤穂 (264.95) 平沢・西村・筒井・太田
7	長野日大 (296.70) 渡辺・中村・松澤・寺島	岡谷工業 (256.60) 小林・木幡・寺島・倉田	赤穂 (227.30) 筒井・西村・下村・丹羽
8	長野日大 (308.75) 松澤・寺島・内山	岡谷工業 (253.15) 倉田・松沢・新田・今井	赤穂 (229.10) 唐沢・中平・宮原・有賀
9	長野日大 (311.95) 松井・内山・山口・坂口	岡谷工業 (261.90) 松沢・新田・今井	赤穂 (227.50) 有賀・下島・福沢

女子団体総合

62	文大長野 (219.30) 高森・坪井・中沢・井田	塩尻 (168.05) 羽柴・平栗・松本・百瀬	長野南 (165.35) 竜野・堤・丸山・内山
63	文大長野 (183.75) 樋口・小松・伊田・柳沢	上田染谷丘 (128.40) 渡辺・平本・山崎・毎田	飯田風越 (125.45) 城子・松田・武藤・松沢
1	岡谷南 (139.80) 篠原・室賀・林・木村	飯田風越 (125.25) 林・澤柳・酒井・松澤	文大長野 (123.90) 伊田・内山・久保田
2	文大長野 (213.50) 久保田・中嶋・岩井	岡谷南 (125.25) 松尾・小平・木村	長野東 (147.85) 中沢・原山・埴生田・村山
3	文大長野 (174.55) 岩井・中嶋・俣野・石川	長野 (157.40) 安藤・池内・三沢・山本	長野西 (131.95) 原・荒井・大屋・菊池
4	文大長野 (220.30) 岩井・中嶋・塚田・滝本	長野 (171.50) 山本・三沢・池内・平出	長野東 (162.15) 小林・百瀬・寺島・滝本
5	文大長野 (190.60) 塚田・滝本・本田・守谷	長野東 (183.20) 滝本・寺島・百瀬・小林	飯田風越 (152.60) 横前・山沢・吉沢・寺沢
6	文大長野 (211.20) 塚田・滝本・宮本・原山	長野東 (175.00) 伊藤・渡辺・早川・滝本	長野 (155.50) 荒井・榊原・新江・片岡
7	文大長野 (198.55) 宮本・原山・坪井	長野東 (158.30) 西尾・宮本・早川・香坂	辰野 (144.50) 唐木・那須野・萩原・五十嵐
8	文大長野 (209.40) 宮本・関・坪井・高橋	赤穂 (159.25) 向山・小田切・酒井・小川	飯田風越 (97.90) 永井・井坪・宮入
9	文大長野 (211.75) 坪井・高橋・宮坂・田中	赤穂 (166.75) 酒井・小川・野笹・有賀	塩尻 (99.00) 五味・小林・竹下・真田

男子団体総合

	4位	5位	6位
62	赤穂 (216.30)		
	松沢・小林(豊)・坂間・小林(由)		
63	赤穂 (216.30)		
	坂間・春日・大久保・小林		
1	中野実業 (208.00)		
	滝沢・佐野・西沢・遠山		
2			
3	飯田長姫 (213.35)		
	堀内・奥田・清水・河辺		
4	塩尻 (244.00)		
	清水・高橋・山田・小杭		
5	飯田長姫 (186.60)		
	塩沢・片桐・片桐・山口		
6	下伊那農業 (258.05)		
	松枝・竹本・岡庭・北原		
7	飯田長姫 (180.65)		
	伊藤・木下・松沢・清水		
8	中野実業 (215.55)		
	本田・井坪・宮入		
9	中野実業 (219.50)		
	下平・福沢・宮沢・高田		

女子団体総合

62	上田染谷丘 (142.05)	諏訪二葉 (69.10) 規定のみ	長野西 (68.75) 規定のみ
	土屋・久保田・平本・渡辺	花岡・伊藤・延川・浜	伊部・宮田・湯本・重田
63	辰野 (119.25)		
	赤羽・有賀・唐沢・大野		
1	辰野 (117.80)		
	大野・根橋・高橋・新井		
2			
3	長野東 (130.95)		
	村山・羽入田・龍野		
4	長野西 (136.50)		
	菊池・村田・和泉・佐藤		
5	赤穂 (135.30)		
	酒井・上柳・唐沢・小平		
6	赤穂 (154.05)		
	西村・小平・唐沢・小田切		
7	飯田風越 (141.80)		
	関・福与・伊藤・永井		
8			

12-2 新 体 操

新体操競技は、昭和50年代前半に開催された長野インターハイ・やまびこ国体をピークに、全国大会上位の成績を残し、めざましい活躍をみせた。しかし50年代後半においては、それまでの課題であった底辺拡大の為に各方面、先生方にご努力していただき、高校における部員数は増加傾向を示すものの全国大会等での成績は今一步であった。原因としては、指導者不足により、小・中・高等学校の一貫した選手強化ができず、高校入学後より選手を育てるといった他府県に遅れていた実態からと考えられる。しかし男子においては明るい材料もあった。昭和62年小樽市での全国総体で長野東高校、山西了君が個人総合第5位という素晴らしい成績を残したのである。

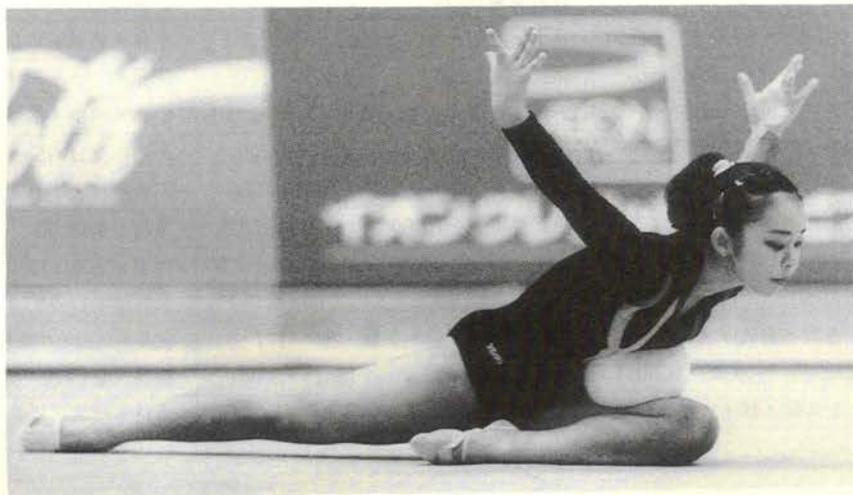
昭和63年度より専門部が体操専門部（男子・女子）といった分け方から、体操専門部（体操競技・新体操競技）と専門部内の分け方が変わった。大会運営上それぞれの競技に専念できる状況をつくっていただき、大変ありがたく深く感謝している。

平成に入り、徐々に個人競技を主に、小・中より社会体育のなかで育ってきた生徒が大会に出場し、上位の成績を取めるようになってきた。更に、ジュニアの育成が盛んになるにつれ、個人競技のみでなく団体競技においてもめざましい活躍をみせるようになった。この様な流れは、審判規則の度重なる改正により、低年

齢からの身体づくりが重要となってきた背景があると考えられる。特筆すべきは、平成8年山梨県・平成9年京都府での全国総体で伊那弥生ヶ丘高校が2年連続団体競技第8位、平成8年度選抜大会、全国第5位と近年にない成績を残したことである。小・中の頃より同校監督がジュニアクラブで育てあげた選手がチーム内の半数以上を占め、ジュニアからの育成を改めて痛感させられた結果であった。

現在県内各地にジュニアクラブができ、幼い頃より新体操に触れることのできる環境は整いつつある。しかし新体操部のある中学校は本当に少なく、そのような中、新体操以外への競技種目に興味を移してしまう子供達も多くいる。高校では能力的にはレベルの高い選手が増えているが、各高校での部員数は減少し、参加校も減少傾向にあるのがここ数年の実態である。残された課題は多く、新体操専門部に限ることではない課題もある。今後も高校での部活動だけに期待することは難しく、社会体育指導者（特にジュニア指導者）の先生方にたよる状況が続いてしまうのはやむをえない。専門部としては、社会体育指導者の先生方と各高校顧問の先生方との連携を密にし互いに協力する体制づくりを早急にしていき、高校での競技人口を増やす必要を痛感し、実現するよう努力していきたい。

（専門委員長 長田 芳子）



昭和62～平成8

長野県高等学校総合体育大会男子団体総合

年度	1 位 構成・実施	2 位 構成・実施	3 位 構成・実施
62	長野東17.70 (9.10・8.60)	中野16.70 (8.70・8.00)	
	山西・西沢・小林・石川・金子・熊井	三木・名郷・大川・小林・矢野・椎名	
63	長野東17.70 (9.00・8.70)	中野西14.70 (7.80・7.20)	
	熊井・原田・大日方・古谷・中村・新井	徳武・山岸・丸山・養田・宮島・小林	
1	長野東16.80 (8.60・8.20)	中野西16.25 (8.40・7.85)	
	古谷・原田・新井・大日方・中村・岡村	山岸・丸山・養田・小林・宮島・土屋	
2	長野東16.80 (8.50・8.30)	中野西16.30 (8.30・8.00)	
	荻原・岡村・米倉・青木・坂口・町田	小林・土屋・岡村・土屋・宮島・湯本	
3	長野東17.00 (8.70・8.30)		
	山口・町田・山上幸・坂口・山上重・祖山		
4	長野東16.80 (8.55・8.25)	中野西15.60 (8.00・7.60)	
	山口・加藤・猪又・藤沢・横山・池浦	植木・宇原・内藤・本藤・笠原・黒岩	
5	中野西17.30 (8.80・8.50)	長野東16.30 (8.30・8.00)	
	本藤・内藤・斎藤・藤沢・笠原・黒岩	矢口・横山・大日方・伊藤・大前・伊藤	
6	長野東14.80 (7.60・7.20)		
	伊藤・大前・山口・伊原・中沢・高野		
7	長野東14.00 (7.20・6.80)		
	竹村・関・中沢・高野・小林・山崎		
8	長野東14.90 (7.80・7.10)		
	三俣・久保田・宮尾・宮野尾・小林・中嶋		
9	長野東15.45 (8.35・7.10)		
	久保田・檀原・宮尾・宮野尾・小林・中嶋		

長野県高等学校総合体育大会女子団体総合

62	諏訪二葉16.55 (8.65・7.90)	松本美須々ヶ丘15.65 (8.55・7.10)	松本蟻ヶ崎15.40 (8.45・6.95)
	小峯・小林・伊藤・藤森・両角・若松	宮内・西沢・大野・降旗・村上・大坪	北村・古畑・二村・日下部・丸山・旗町
63	諏訪二葉16.85 (8.55・8.30)	野沢南15.65 (7.90・7.75)	松本蟻ヶ崎15.15 (8.40・6.75)
	横山・永田・三枝・桜田・丸茂・中島	日向・町田・伊沢・中沢・柳沢・篠原	大神・伊東・羽山・古畑・二村・北村
1	諏訪二葉15.90 (7.90・8.00)	松本蟻ヶ崎13.65 (7.00・6.65)	松本美須々ヶ丘13.60 (7.35・6.25)
	桜田・丸茂・中島・池田・小口・矢花	岡村・降旗・波田・松浦・南沢・大神	大沢・小口・三島・藤森・中島・荻沢
2	松本美須々ヶ丘14.85 (8.05・6.80)	松本蟻ヶ崎14.85 (7.90・6.95)	諏訪二葉14.25 (8.00・6.25)
	山田・荻原・中島・三島・古旗・市川	滝沢・藤巻・松浦・降旗・岡村・南沢	矢花・百瀬・白鳥・寺島・代田・宮下
3	諏訪二葉16.35 (8.55・7.80)	松本美須々ヶ丘13.90 (7.30・6.60)	伊那弥生ヶ丘13.90 (7.00・6.90)
	代田・宮下・矢崎・深谷・増木・古田	青木・高柳・花立・松沢・登内・小林	丸太・木ノ嵐・小林・紫・新井・登内
4	諏訪二葉15.85 (8.50・7.35)	長野清泉15.15 (7.95・7.20)	伊那弥生ヶ丘14.25 (7.50・6.75)
	山田尚・山本・山田み・竹村・南雲・長岡	宮下・渡辺・小林・佐藤・梶・上原	小林・新井・小島・登内・宮崎・岡
5	長野清泉15.60 (8.10・7.50)	諏訪二葉15.45 (7.75・7.70)	伊那弥生ヶ丘14.00 (7.30・6.70)
	渡辺・中野・駒村・佐藤・太田・上原	竹村・河西・小池・若林・高野・太田	小島・伊東・武藤・和田・土屋・岡
6	長野清泉14.90 (7.90・7.00)	伊那弥生ヶ丘14.35 (7.15・7.20)	諏訪二葉11.75 (6.45・5.30)
	中野・太田・駒村・小林・大井・鳥海	岡・小島・伊藤・土屋・毛利・三輪	五味・林・小口・中村・村田・伊東
7	長野清泉16.05 (8.45・7.60)	伊那弥生ヶ丘15.60 (8.10・7.55)	諏訪二葉13.30 (7.00・6.30)
	土屋・小林・大井・鳥海・中曾根・武田	三輪・清水川・吉江・古沢・小松・上久保	村田・北原・伊東・浜・小松・林
8	伊那弥生ヶ丘16.50 (8.60・7.90)	諏訪二葉13.05 (7.00・6.05)	長野清泉12.95 (6.90・6.05)
	吉江・溝口・古沢・上久保・小松・林	中村・小林・浜・小松・林・竹村	大井・鳥海・中曾根・武田・丸山・石黒
9	伊那弥生ヶ丘18.40 (9.35・9.05)	松本松南14.25 (8.45・5.80)	諏訪二葉13.85 (8.00・5.85)
	小松・古澤・上久保・林・小林・根橋	土川・斎藤・工藤・加藤・関森・布施	竹村・鳴沢・小林・窪田・高林・林

長野県高等学校総合体育大会男子個人総合

	1 位	2 位	3 位
62	山西 了(長野東) 18.10	藤本 晃(中野西) 17.10	徳武 秀明(中野西) 16.30
63	徳竹 秀明(中野西) 17.10	熊井 博志(長野東) 16.80	山岸 隆弘(中野西) 16.10
1	大日方秀成(長野東) 16.80	山岸 隆弘(中野西) 16.45	中村 一也(長野東) 14.60
2	湯本 政和(中野西) 15.85	小林 亮次(中野西) 15.35	岡村 幸松(長野東) 15.25
3	湯本 政和(中野西) 17.60	坂口 慎也(長野東) 17.35	呉羽 拓人(中野西) 16.60
4	加藤 貴之(長野東) 16.55	植木 彰(中野西) 16.35	宇原 智茂(中野西) 15.85
5	黒岩 大(中野西) 16.60	内藤 信也(中野西) 16.00	笠原 康洋(中野西) 15.50
6	伊藤 英司(長野東) 15.30	大前 辰憲(長野東) 14.45	北岡 隆洞(中野西) 14.40
7	関 真一(長野東) 16.10	高野 智史(長野東) 15.90	北岡 隆洞(中野西) 15.40
8	三俣 憲司(長野東) 15.70	小林 弘幸(長野東) 15.40	宮野尾直也(長野東) 13.40
9	小林 弘幸(長野東) 16.60	檀原 義一(長野東) 15.65	伊藤 淳児(長野東) 13.30

女子個人総合

62	日下部雅美(松本蟻ヶ崎) 15.60	鈴木 千春(長野清泉) 15.45	若松弓美子(諏訪二葉) 15.05
63	三枝美由紀(諏訪二葉) 16.15	木ノ島みつる(伊那弥生ヶ丘) 15.90	小池 和子(諏訪二葉) 15.40
1	丸茂 和枝(諏訪二葉) 14.60	桜田 直美(諏訪二葉) 14.35	藤森 ゆき(松本美須ヶ丘) 13.95
2	代田 恵理(諏訪二葉) 15.30	南沢あおい(松本蟻ヶ崎) 15.25	矢花 真紀(諏訪二葉) 15.15
3	代田 恵理(諏訪二葉) 15.55	平野千恵子(長野清泉) 14.80	船田 高子(松本深志) 14.50
4	宮下 知子(長野清泉) 15.95	山田 尚美(諏訪二葉) 15.65	登内 忍(伊那弥生ヶ丘) 15.30
5	佐藤 信恵(長野清泉) 15.15	岡田なぎさ(飯田) 14.35	中野 和佳(長野清泉) 14.05
6	中野 和佳(長野清泉) 14.25	岡 直美(伊那弥生ヶ丘) 13.15	大井もも子(長野清泉) 12.70
7	大井もも子(長野清泉) 15.70	小松 三紗(伊那弥生ヶ丘) 15.70	古沢 麻衣(伊那弥生ヶ丘) 15.25
8	大井もも子(長野清泉) 17.30	小松 三紗(伊那弥生ヶ丘) 17.10	上久保麻理(伊那弥生ヶ丘) 16.55
9	小松 三紗(伊那弥生ヶ丘) 17.04	古澤 麻衣(伊那弥生ヶ丘) 16.50	上久保麻理(伊那弥生ヶ丘) 16.09

長野県高等学校新人体育大会男子個人総合

62	徳竹 秀明(中野西) 17.40	熊井 博(長野東) 17.05	大日方秀成(長野東) 15.80
63	山岸 隆弘(中野西) 17.45	大日方秀成(長野東) 17.25	中村 一也(長野東) 16.75
1	湯本 政和(中野西) 16.20	宮嶋 盛雄(中野西) 16.00	小林 亮次(中野西) 15.80
2	湯本 政和(中野西) 15.80	呉羽 拓人(中野西) 15.00	坂口 慎也(長野東) 14.85
3	山口 智(長野東) 15.55	加藤 貴之(長野東) 14.70	植木 彰(中野西) 14.30
4	矢口 和人(長野東) 14.20	黒岩 大(中野西) 14.20	内藤 信也(中野西) 14.00
5	伊藤 英司(長野東) 15.30	大前 辰憲(長野東) 14.70	北岡 隆洞(中野西) 13.45
6	北岡 隆洞(中野西) 15.70	中澤 佳久(長野東) 14.60	関 真一(長野東) 13.25
7	小林 弘幸(長野東) 13.50	三俣 憲司(長野東) 12.80	久保田祐基(長野東) 12.00
8	小林 弘幸(長野東) 15.40	檀原 義一(長野東) 14.70	宮尾 周平(長野東) 13.90
9	金井 尚徳(長野東) 14.65	轟 晃一(長野東) 12.90	風間 健太(長野東) 12.20

女子個人総合

62	二村由佳里(松本蟻ヶ崎) 15.65	遠藤 久美(松本美須ヶ丘) 15.05	太田貴和子(長野清泉) 15.05
63	丸茂 和枝(諏訪二葉) 15.80	中島 美奈(諏訪二葉) 15.40	桜田 直美(諏訪二葉) 15.30
1	三島 愛香(松本美須ヶ丘) 14.45	代田 恵理(諏訪二葉) 14.30	矢花 真紀(諏訪二葉) 13.35
2	代田 恵理(諏訪二葉) 15.60	船田 高子(松本深志) 15.20	滝沢 恵美(松本蟻ヶ崎) 15.20
3	船田 高子(松本深志) 15.60	宮下 知子(長野清泉) 14.95	山田 尚美(諏訪二葉) 14.65
4	佐藤 信恵(長野清泉) 14.80	上原 真奈(長野清泉) 13.10	岡田なぎさ(飯田) 12.30
5	中野 和佳(長野清泉) 13.10	岡 直美(伊那弥生ヶ丘) 13.00	堤 久美子(長野清泉) 12.30
6	大井もも子(長野清泉) 15.20	吉江 桃子(伊那弥生ヶ丘) 14.40	鳥海 麗(長野清泉) 13.30
7	上久保麻理(伊那弥生ヶ丘) 15.90	小松 三紗(伊那弥生ヶ丘) 15.60	古沢 麻衣(伊那弥生ヶ丘) 15.25
8	小松 三紗(伊那弥生ヶ丘) 17.45	古沢 麻衣(伊那弥生ヶ丘) 17.00	上久保麻理(伊那弥生ヶ丘) 16.30
9	小林 亜樹(伊那弥生ヶ丘) 15.93	加藤 綾子(松本松南) 15.79	戸枝 美和(伊那弥生ヶ丘) 14.45

	4 位	5 位	6 位
62	西沢 千明 (長野 東) 16.10	小林 正史 (長野 東) 15.20	石川 潔 (長野 東) 14.40
63	大日方秀成 (長野 東) 15.90	中村 一也 (長野 東) 14.10	新井 英利 (長野 東) 13.30
1	原田 直樹 (長野 東) 14.40	宮嶋 盛雄 (中野 西) 13.60	新井 英利 (長野 東) 13.35
2	宮嶋 盛雄 (中野 西) 14.20	北村 清治 (中野) 13.25	青木 卓也 (長野 東) 11.45
3	山口 智 (長野 東) 16.40	宇原 智茂 (中野 西) 14.85	植木 彰 (中野 西) 14.30
4	山口 智 (長野 東) 15.40	笠原 康洋 (中野 西) 14.65	内藤 信也 (中野 西) 14.60
5	藤沢 秀治 (中野 西) 14.50	矢口 和人 (長野 東) 14.50	横山 豊 (長野 東) 14.10
6	高野 智史 (長野 東) 11.90	柄沢 哲 (中野 西) 10.90	関 真一 (長野 東) 9.30
7	中沢 佳久 (長野 東) 15.30	竹村 優一 (長野 東) 14.90	
8	中島 論 (長野 東) 13.00	久保田祐基 (長野 東) 12.65	長沼 智明 (長野 東) 12.45
9	宮野尾直也 (長野 東) 13.00	山崎 大介 (長野 東) 12.35	久保田祐基 (長野 東) 12.25

62	小泉 直美 (諏訪 二葉) 14.60	小峯 双美 (諏訪 二葉) 14.35	上野 容子 (長野 清泉) 14.35
63	遠藤 久美 (松本美須ヶ丘) 15.30	伊沢 信子 (野沢 南) 15.20	西山 明美 (中野) 14.65
1	徳竹貴美江 (長野 西) 13.55	上原 三保 (長野 清泉) 13.00	中島 美奈 (諏訪 二葉) 12.75
2	白鳥 律子 (諏訪 二葉) 14.85	三島 愛香 (松本美須ヶ丘) 14.60	宮下 由紀 (諏訪 二葉) 14.20
3	宮下 知子 (長野 清泉) 14.10	深谷 佳子 (諏訪 二葉) 13.95	滝沢 恵美 (松本蟻ヶ崎) 13.85
4	梶 真由美 (長野 清泉) 14.90	荒井めぐみ (伊那弥生ヶ丘) 14.80	登内 裕子 (松本美須ヶ丘) 14.105
5	岡 直美 (伊那弥生ヶ丘) 13.65	柳沢 千史 (松本松南) 13.15	二橋ゆかり (飯田) 12.85
6	下里 志野 (松本松南) 11.70	五味 佳恵 (諏訪 二葉) 11.60	堤 久美子 (長野 清泉) 11.00
7	上久保麻理 (伊那弥生ヶ丘) 14.50	吉江 桃子 (伊那弥生ヶ丘) 13.65	下里 志野 (松本松南) 13.35
8	古沢 麻衣 (伊那弥生ヶ丘) 15.90	平沢 絵里 (伊那 西) 15.40	吉江 桃子 (伊那弥生ヶ丘) 13.85
9	平澤 絵里 (伊那 西) 15.91	加藤 綾子 (松本松南) 14.86	小林 亜樹 (伊那弥生ヶ丘) 14.69

62	山岸 隆弘 (中野 西) 15.25	古谷 正利 (長野 東) 14.95	中村 一也 (長野 東) 14.65
63	宮嶋 盛雄 (長野 東) 16.20	北村 清治 (中野) 15.85	原田 直樹 (長野 東) 15.75
1	岡村 幸松 (長野 東) 15.30	滝沢 博 (中野) 12.90	北村 清治 (中野) 12.90
2	町田 篤志 (長野 東) 13.90	山上 幸彦 (長野 東) 13.15	山口 智 (長野 東) 13.00
3	宇原 智茂 (中野 西) 14.10	内藤 信也 (中野 西) 13.40	黒岩 大 (中野 西) 11.70
4	伊藤 正明 (長野 東) 13.90	笠原 康洋 (中野 西) 13.55	藤沢 秀治 (中野 西) 13.30
5			
6	竹村 優一 (長野 東) 13.10		
7	宮尾 周平 (長野 東) 11.90	宮野尾直也 (長野 東) 11.90	和田佳一郎 (長野 東) 11.60
8	久保田祐基 (長野 東) 13.50	村松 健一 (長野 東) 12.70	伊藤 淳児 (長野 東) 12.50
9	島田 宗明 (長野 東) 12.15	戸谷 直紀 (長野 東) 11.15	

62	木ノ島みつる (伊那弥生ヶ丘) 14.95	関 紀子 (伊那弥生ヶ丘) 13.90	宮内 由美 (松本美須ヶ丘) 13.85
63	藤森 ゆき (松本美須ヶ丘) 15.05	徳竹貴美江 (長野 西) 14.50	朝田志のぶ (野沢 南) 13.95
1	南沢あおい (松本蟻ヶ崎) 13.25	平野千恵子 (長野 清泉) 13.00	宮下 由紀 (諏訪 二葉) 12.85
2	宮下 由紀 (諏訪 二葉) 14.40	平野千恵子 (長野 清泉) 13.70	宮下 知子 (長野 清泉) 13.65
3	西村真奈美 (松本蟻ヶ崎) 14.20	登内 忍 (伊那弥生ヶ丘) 13.70	梶 真由美 (長野 清泉) 13.60
4	竹村 真帆 (諏訪 二葉) 11.25	二橋ゆかり (飯田) 11.10	河西 香織 (諏訪 二葉) 11.05
5			
6	下里 志野 (松本松南) 12.75	村田真理子 (諏訪 二葉) 12.30	土屋恵理子 (長野 清泉) 11.30
7	大井もも子 (長野 清泉) 15.20	吉江 桃子 (伊那弥生ヶ丘) 14.40	下里 志野 (松本松南) 14.20
8	平沢 絵里 (伊那 西) 16.15	小林 亜樹 (伊那弥生ヶ丘) 15.55	武田 真理 (長野 清泉) 15.40
9	伊藤奈緒美 (伊那 西) 14.41	布施 奈美 (松本松南) 14.32	佐藤 友香 (長野 清泉) 14.01

13 相 撲

長野県高校相撲界の明日 ——昭和62年以降の相撲専門部の概況および競技成績——

長野県高等学校体育連盟が昭和24年6月に発足してから50年目の節目にあたり、記念事業の一環として50周年記念誌を刊行するのご通知をいただき、はからずも前年に専門委員長の仕事をしてきた関係で原稿執筆の依頼を受けましたことを誠に光栄に存じます。私も高校時代から大学、教員とかれこれ37年間現在に至るまで国技相撲と共に歩んで参りました。微力ではありますが、相撲に対する情熱だけは人一倍持っているとお自負しております。在学していた松本県ヶ丘高校に相撲部を新設したことがつい昨日のこのように思われます。相撲愛好の同志を十数人集め、深志高校から廻しを借りて県大会に初出場し、並居る強豪を押さえ、初優勝を果たした時の感激は今でも甦ってきます。腰にぬぐい下駄履きのバンカラ気風がまだ残っていた良き時代、仲間の心意気が結集され、県陵相撲部で流した稽古の汗は青春時代の尊い汗に思われてなりません。相撲部を創って本当に良かったと思えました。みんなで土を運び手作りで土俵を仕上げたこと、雨が降っても稽古が出来るようにと桜の木を幹から幹へ、はぜ木を渡し、シートで覆う屋根をかけ、そこで稽古した思い出など……。高校卒業後、県陵相撲部は7～8年存続し、立派な相撲場も完成しましたが学校火災があり、取り壊され、それ以降無くなってしまったと聞いております。どんな競技種目団体にも栄枯盛衰はあるものです。県高校相撲界も、昭和45年頃までは、大会参加校が多く、競技人口も多かったのがそれ以降50年代に入ると、時代の変化と共に大会への参加校が徐々に減少して寂しくなり、県下でも相撲部が存続しているのは中信の木曾山林、木曾西（現在の木曾高校）と東信の丸子実業とわずか数校に限られるほどに減少してきました。昭和30年代中頃から後半は土俵から食出さんばかりの多数の大会参加者がいたことが懐かしく思える程

に減りました。県高体連相撲専門部としても何とか立て直しを図るべく53年やまびこ国体を契機に、県相撲連盟の力を借りながらタイアップして競技人口の拡大、競技力向上の方策を見出すべく関係各方面への働きかけの努力をしてきました。現状を打破する方法の1つとして、社会体育の相撲指導者と連携をとり、小中学生から相撲に興味関心を持たせ、忍耐強く指導していくこと。学校体育（クラブ活動）だけに任せることには限界もあるので、地域の相撲指導者による社会体育での相撲指導の協力を仰ぎ、一貫指導をしていく。2つ目は、もっと多くの指導者の確保であります。現在の高校相撲部の弱点は、選手と一緒に裸で実技指導のできる若い指導者が他府県に比べておびただしく不足していることがあげられます。相撲の指導のできる体育教師を何故もっと多く採用してくれないのか県教委の採用方針を聞いてみたいものです。3つ目は、夏期・冬期に関係なく練習のできる室内練習場の設置等の環境づくりが要求されます。

長野県の高校相撲が、今後発展するためには、以上のような点を改善することによって、相撲競技環境が整い、中学校、高等学校との連携も万全となり、競技力向上に結びつき、発展するものと思われます。

幸いなことに、小学校時代より少年相撲クラブで育ち、中高での活躍をバネに大学に進学し、猛稽古を積み、国体青年の部2連覇という輝かしい実績をあげた田島選手や尾羽林選手等全国レベルでも有数の実力を持つ選手が育ち、長野県に戻って指導者になってくれたことは大変心強い限りであります。

（専門委員長 西村 紘文）

長野県高校総合体育大会

団体戦

個人戦

年 度	1 位	2 位	3 位
昭和62	山 林	丸 子 実	
63	山 林	丸 子 実	
平成1	山 林	北 部	丸 子 実
2	山 林	北 部	丸 子 実
3	山 林	北 部	丸 子 実
4	山 林	丸 子 実	北 部
5	山 林	更 級 農	上 田 千 曲
6	松 本 県 ケ 丘	上 田 千 曲	更 級 農
7	山 林	更 級 農	北 部
8	更 級 農	山 林	丸 子 実
9	更 科 農 A	山 林	更 級 農 B

年 度	1 位	2 位	3 位
昭和62	滝沢 良彦 (山 林)	杉本 一彦 (山 林)	吉田 薫 (山 林)
63	滝沢 良彦 (山 林)	小平 明弘 (丸 子 実)	杉本 一彦 (山 林)
平成1	杉本 一彦 (山 林)	赤羽 清吉 (山 林)	佐幸 寛之 (山 林)
2	尾羽林英樹 (山 林)	赤羽 清吉 (山 林)	田島 大助 (山 林)
3	田島 大助 (山 林)	滝沢 誠 (山 林)	尾羽林英樹 (山 林)
4	滝沢 誠 (山 林)	植原 健 (山 林)	宮下 貴弘 (山 林)
5	宮下 貴弘 (山 林)	伊藤 裕樹 (山 林)	伊作 辰平 (千 曲)
6	宮崎 雄介 (更 級 農)	金田 太輔 (県 ケ 丘)	伊藤 裕樹 (山 林)
7	滝沢 雅志 (山 林)	清水 孝博 (更 級 農)	三沢 剛之 (山 林)
8	福海 勇 (山 林)	小山 臣市 (更 級 農)	清水 孝博 (更 級 農)
9	小山 臣市 (更 級 農)	清水 孝博 (更 級 農)	吉原 幹雄 (更 級 農)

長野県高校新人体育大会

団体戦

個人戦

年 度	1 位	2 位	3 位
昭和62			
63			
平成1	山 林 A	北 部	山 林 B
2	山 林 A	山 林 B	丸 子 実
3	山 林	北 部	丸 子 実
4	山 林	北 部	
5	更 級 農	山 林	上 田 千 曲
6	更 級 農	山 林	北 部
7	山 林	更 級 農	
8	更 級 農 A	更 級 農 B	丸 子 実
9	山 林 A	更 級 農	山 林 B

年 度	1 位	2 位	3 位
昭和62			
63	杉本 一彦 (山 林)	佐幸 寛之 (山 林)	越 秀寿 (山 林)
平成1	田島 大助 (山 林)	赤羽 清吉 (山 林)	尾羽林英樹 (山 林)
2	滝沢 誠 (山 林)	田島 大助 (山 林)	赤羽 清吉 (山 林)
3	植原 健 (山 林)	滝沢 誠 (山 林)	太田 悟 (北 部)
4	宮下 貴弘 (山 林)	古畑 伸一 (山 林)	伊藤 裕樹 (山 林)
5	伊藤 裕樹 (山 林)	中村 年希 (北 部)	内山 誠二 (更 級 農)
6	内山 英祐 (更 級 農)	笠原 貴幸 (更 級 農)	山本 剛太 (山 林)
7	小山 臣市 (更 級 農)	滝沢 雅志 (山 林)	清水 孝博 (更 級 農)
8	小山 臣市 (更 級 農)	清水 孝博 (更 級 農)	吉原 幹雄 (更 級 農)
9	大屋 亮太 (山 林)	野口陽一郎 (山 林)	鈴木 希芳 (山 林)

14 弓 道

長野県高体連が50周年を迎えますが、私達弓道部が高体連に創設されて、40年程になることと思われます。昭和30年代に10数校の実施校からスタートし、昭和33年の全国高校総体の初参加が長野県高体連弓道の幕開けでした。

以降、幸にも年々実施校および弓道部員数も増加し、平成3年には弓道部員数3500名になりました。現在では、生徒数減少に伴い、県内弓道実施校84校、男子1073名、女子1474名合計2547名となり、実施生徒数全国で第4位という状況になっています。また高校弓道指導者も教職員を中心に数多くの仲間が集まり、長野県教職員弓道連盟を結成し、現在104名で切磋琢磨活動しています。

成績では、別表のように長野県高校生の最近10年程は、群雄割拠の時代とでも表現できるでしょうか。昭和50年代の飯田女子のような連覇のできる学校が消え、毎年毎回優勝校が代わる状況といえます。ただその中で、男女とも南・北信地区の高校が大半をしめており、特に東信地区の高校の奮起が望まれる。個人成績についても、団体の成績と似た状況になっています。

全国大会に目を移すと、県大会同様に昭和50年代では、飯田女子の活躍を筆頭に数多くの上位入賞をしてきました。

昭和62年以降の全国大会の成績では、
全国高校総体

63年	女子個人	野神綾子(飯田女子)	4位
元年	女子個人	伊藤三枝(長野吉田)	優勝
2年	男子個人	今井文明(岡谷工業)	3位
3年	女子団体	飯田女子	優勝
		(橋爪、原、鶴飼、松村、福澤、平澤)	
〃	男子個人	小松正彦(赤穂)	4位
4年	男子個人	竹花匡史(屋代)	2位
6年	女子個人	長尾真樹子(諏訪二葉)	4位
9年	男子個人	高木秀訓(岡谷南)	3位

全国高校選抜大会

62年	女子団体	豊科	2位
63年	女子団体	飯田女子	3位
7年	女子団体	諏訪二葉	3位
10年	女子団体	飯田女子	3位

国民体育大会(少年の部)

63年	少年女子	近的3位	遠的2位
		(大田、野神、元島)	種別優勝
3年	少年女子	近的優勝	遠的8位
		(橋爪、鶴飼、福澤)	種別3位

4年 少年男子 近的4位 遠的優勝
(湯川、熊谷、小松) 種別優勝

7年 少年男子 遠的3位

以上のような上位成績を残し、長野県弓道の名を全国に知らしめてくれています。しかし、最近5年間の活躍が若干物足りなく感じます。今後の高校生諸君の健闘を期待したいとおもいます。

このような成績をおさめ、全国での長野県の実在を揺るぎないものにしていただいておりますのも、ひとえに陰で支えてくれている、各校の指導者の先生方のおかげです。10年の歳月とともに、県専門委員長(S56~H元)、前全国高体連弓道部長(H2~3)斎藤節朗先生をはじめ、東信委員長内藤正人先生、中信委員長矢彦澤皖先生、南信委員長北原領一先生、山口安彦先生、他、山田光宏先生、須藤虎夫先生、碓氷孝之先生、野口利人先生等が第一線を退かれました。また、高畠成中先生は出身地富山県へお帰りになられました。

県高体連弓道専門委員長は斎藤節朗先生から平成2年に小林武先生へ引き継がれました。以後小林先生は、長野県高校弓道界を7年間引っ張って下さいました。9年より私がその任を負っています。今回県高体連の50周年にあたり過去の成績等をまとめながら、改めて事の重大さに気付きながら、いままで以上に先生方のお力を結集して、長野県高校生のより一層の飛躍をめざして努力して参りたいとおもいます。

終わりに、誠意と情熱をもって長野県高校弓道界にご尽力され、県弓道連盟ならびに多くの先輩の先生方に、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。(専門委員長 古澤金藏)



(撮影 財全日本弓道連盟)

長野県高等学校総合体育大会

個人（男子）

年度	1 位	2 位	3 位
62	今井 弘之 長野吉田	小椋 信洋 下伊那農業	外谷 直基 長野西
63	桜田 智也 屋代	熊谷 厚水 田川	砂原 佳典 田川
元	大日方 誠 長野西	金澤 義博 阿智	大沼 敬 伊那北
2	今井 文明 岡谷工業	月岡 靖雄 長野	篠沢 英次 小諸
3	小松 正彦 赤穂	佐藤 富洋 中野実業	北原 崇弘 岡谷工業
4	高田 真義 塩尻	竹花 匡史 屋代	外谷 太郎 長野日大
5	原田 覚 松代	大久保喜仁 木曾	小椋 勇二 赤穂
6	深井 陽介 飯山北	井浦 徹 屋代	神戸 直己 長野
7	徳嵩 伸悟 松代	村田 聡 屋代	岡村 洋一 長野吉田
8	森 健一朗 長野	下条 貴光 松代	土橋 利章 東海大第三
9	鈴木 司 中野実業	高木 秀訓 岡谷南	滝澤 弘幸 田川

長野県高等学校総合体育大会

個人（女子）

年度	1 位	2 位	3 位
62	佐野真佐美 飯田女子	三沢かおる 伊那西	浜 千恵 豊科
63	野神 綾子 飯田女子	岡田 睦子 長野吉田	元島 啓江 飯田女子
元	米山 美奈 田川	伊藤 三枝 長野吉田	木ノ瀬友貴 篠ノ井
2	三好 恵美 伊那弥生ヶ丘	奥原めぐみ 木曾	松井 邦江 田川
3	橋爪 睦恵 飯田女子	正木 千穂 松本深志	酒井 麻実 伊那西
4	庄司由香里 岡谷南	池上 裕子 明科	荻原美奈子 篠ノ井
5	原 智恵子 飯田女子	原田由加子 飯田女子	亘 千香子 松代
6	長尾真樹子 諏訪二葉	橋倉 仁美 田川	小松 暁子 松代
7	上原みゆき 岡谷南	桜井 敦子 松代	中村 奈美 松本美須ヶ丘
8	中村 志伸 屋代	北村 瞳 伊那弥生ヶ丘	芳田千徳子 蘇南
9	山崎 智子 長野西	小布施香奈 中野	宮坂 智子 諏訪二葉

長野県高等学校新人体育大会

個人（男子）

年度	1 位	2 位	3 位
62	内田 克彦 長野吉田	矢澤 秀樹 伊那北	松村喜代志 長野西
63	宮坂 寿昭 南安曇農業	笹岡 彰治 中野西	北村 弥浩 赤穂
元	上条 浩義 岡谷工業	月岡 靖雄 長野	桑原 行弘 屋代
2	田中 和幸 箕輪工業	西澤 賢 長野	北原 崇弘 岡谷工業
3	小松 正彦 赤穂	小林 徳久 下諏訪向陽	伊東 弘二 下諏訪向陽
4	大島 征二 屋代	土屋 誠 小諸	倉本 泰志 小諸
5	柳澤 泰任 松代	開嶋 義昭 塩尻	小宮山 喬 松代
6	等々力昌尚 明科	中村 宏 岡谷南	横地 保宏 飯山北
7	下条 貴光 松代	竹内 永吉 松代	宮下 修二 岩村田
8	高木 秀訓 岡谷南	大橋 武史 屋代	平林 明 屋代
9	花岡 崇文 諏訪二葉	金丸 慎司 下諏訪向陽	古川 広幸 屋代

長野県高等学校新人体育大会

個人（女子）

年度	1 位	2 位	3 位
62	野神 綾子 飯田女子	元島 啓江 飯田女子	武田 英美 長野西
63	酒井 寿恵 田川	伊藤 三枝 長野吉田	西澤 泰子 屋代
元	村井 美穂 明科	北澤ひろ子 長野西	松井 邦江 田川
2	石原 泉 文大長野	宮下 明子 飯田	福沢由起子 飯田女子
3	矢澤めぐみ 阿智	青木麻紀子 田川	松尾 悦子 辰野
4	伊藤えり子 諏訪二葉	宮崎 琴江 屋代	福井 理恵 屋代
5	清水 佳織 下伊那農業	下村友香理 木曾	丸山 真理 飯田女子
6	上原みゆき 岡谷南	宮下 美紀 長野吉田	小口 幸子 諏訪二葉
7	桜井 純子 岩村田	松島美智恵 飯田女子	宮前 真美 田川
8	佐竹亜貴子 篠ノ井	中原 純子 伊那弥生ヶ丘	上原 麻紀 飯山北
9	林 玲子 飯田女子	清澤早百合 田川	井原 寿恵 飯田女子

長野県高等学校総合体育大会

団体（男子）

年度	1 位	2 位	3 位
62	駒ヶ根工業	飯田風越	田 川
63	田 川	阿 智	中野西
元	阿 智	田 川	塩 尻
2	田 川	岡谷工業	岡谷東
3	阿 智	須 坂	長野日大
4	長 野	木 曾	屋 代
5	松 代	木 曾	諏訪二葉
6	東海大第三	下伊那農業	長野日大
7	屋 代	長野吉田	赤 穂
8	松 代	岡谷南	長 野
9	飯田工業	伊那北	岡谷南

長野県高等学校総合体育大会

団体（女子）

年度	1 位	2 位	3 位
62	飯田女子	田 川	伊那西
63	田 川	飯田女子	長野西
元	田 川	長野日大	木 曾
2	飯田女子	塩 尻	明 科
3	飯田女子	田 川	屋 代
4	明 科	田 川	赤 穂
5	伊那西	諏訪二葉	長野吉田
6	飯田女子	屋 代	松 代
7	松 代	飯田女子	伊那西
8	諏訪二葉	長野西	伊那西
9	屋 代	長野西	伊那弥生ヶ丘

長野県高等学校新人体育大会

団体（男子）

年度	1 位	2 位	3 位
62	田 川	駒ヶ根工業	岡谷工業
63	東海大第三	阿 智	伊那弥生ヶ丘
元	岡谷工業	長野日大	田 川
2	阿 智	長 野	赤 穂
3	下諏訪向陽	阿 智	赤 穂
4	長野吉田	屋 代	長野東
5	松 代	長野商業	諏訪二葉
6	中野西	須 坂	伊那北
7	松 代	屋 代	中野実業
8	松本美須ヶ丘	屋 代	田 川
9	蘇 南	屋 代	下伊那農

長野県高等学校新人体育大会

団体（女子）

年度	1 位	2 位	3 位
62	飯田女子	田 川	長野西
63	長野吉田	伊那弥生ヶ丘	長野西
元	長 野	田 川	飯山北
2	飯田女子	田 川	豊 科
3	飯山北	飯田女子	阿 智
4	伊那西	屋 代	飯山北
5	飯田女子	松 代	下伊那農業
6	諏訪二葉	飯田女子	赤 穂
7	田 川	伊那西	飯田女子
8	長野西	飯田女子	岡谷東
9	飯田女子	蘇 南	下諏訪向陽

平成10年度に第72回を数える長野県高等学校水泳競技大会は戦前は長野県中学校水上大会が名称を替えて、昭和23年に再出発をした。昭和24年高体連の発足と同時に水泳専門部も発足し、初代委員長に甲崎元氏、2代に中村郷見氏、3代に西沢久雄氏（上田西）、4代に藤原敏行氏（松本筑摩）、5代西沢久雄氏、6代に溝口正孝（飯田長姫高）がその任にあり、現在に至っている。

県総合体育大会水泳競技大会は、北信越大会の予選を兼ねるが、北信、東信、中信、南信と大会会場が持ち回りで、実施されている。北信は昭和51年度に全国高等学校総合体育大会水泳競技大会が行われた長野市東和田の長野市運動公園総合市民プールで実施していましたが、平成10年の冬季長野オリンピックでホッケー会場に使用されたため、オリンピック終了後、全天候型の水泳プールとして再構築され平成12年度北信越水泳大会の会場として予定されている。

51年総体、53年やまびこ国体で新設された長野東高校での水球プールでも北信越大会も行われるが、県下ただひとつの長野東高校水球チー

ムも北信越大会に常時出場しているが、その活躍が期待される。

県大会での優勝校は、男子では長野日大（以前は長野中央）が最も回数が多く、東海大学第三が続き、佐久長聖が最近伸びて来ている。女子は長野日大が回数が多く、諏訪二葉が続き、東海大学第三、佐久長聖も常時上位に入賞して活躍が期待されている。

個人種目では、飯田、田川、長野、各校でも優秀な選手を輩出し全国大会にも出場している。平成9年度には新潟市で行われた北信越大会で男子優勝校が佐久長聖で以前も長野日大も優勝経験もある。男女とも長野県は上位に入賞している。

競技種目も29年度よりバタフライ、400 mメドレーリレー、36年に男子400 mリレー、39年より個人メドレー、62年度より50m自由形が加わり、これからも短水路が増える傾向にある。

それだけ1500m、800 m自由形、400 mメドレーなどの長距離に出場する選手が減少する傾向にあるように思える。

競技規則も年々改正され、指導が加えられて



平成9年度全国高校総体水泳競技大会風景
京都府立山城総合運動公園プール



平成9年度全国高校総体水泳競技大会
100mバタフライ決勝2位 田川高校 早田和重選手

いるが、水泳国際大会に合わせるためにもスタートが一回になって来ている。

近年は県下各地にスイミングスクールができて、年間通して水泳選手の育成ができるようになってきている。高体連としても、学校では冬場はプールが使用できないためスイミングクラブに頼らざるを得ない部分もあるが、高体連もその中に加わり、活動の一助になっている。

また長野県水泳連盟のもとに、県下各地区に水泳協会が設置されて、年間を通して活動できるようになっている。

当初は各校に水泳部も少なかったが、近年は水泳部を持つ学校も増えて、どの学校にもプールができて、夏場の活躍が期待される。

近年、思い出に残ることと言えば昭和24年発足と同時に信濃毎日新聞社より寄贈された総合優勝校に贈られる優勝旗が、信毎のご厚意により平成9年度に新調されたことである。

贈呈式が信毎本社社長室で行われ、高体連会長、高体連理事長、専門委員長が平成9年2月16日に参列いたしました。小坂健介社長より、およそ50年ぶりに真新しい優勝旗を贈呈していただきました。

女子総合校に贈られる優勝杯も同時に長野県水泳連盟より寄贈され、平成9年飯田運動公園プールで開催された県大会で、男女とも総合優勝した佐久長聖高校に授与された。

本県の水泳競技力も徐々に向上してきている。全国大会にも近年30余名が出場してきて、入賞の数も増えてきている。

これからも益々精進して、水泳競技向上に努力したいと思います。

(専門委員長 溝口正孝)

昭和62年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

種目	順位	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			第 6 位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自由形	50m																		
	100m	西村 博志	松 蔭	1:57.90	平松 浩樹	県ヶ丘	1:57.96	和田 裕人	長野	1:58.50	藤原 俊貴	野沢北	1:59.01	小野 貴彦	諏訪清陵	1:59.07	中村 元昭	駒 工	1:59.58
	200m	平松 浩樹	県ヶ丘	2:07.71	西沢 秀幸	中 央	2:09.62	和田 裕人	長野	2:10.13	藤原 俊貴	野沢北	2:11.05	小野 貴彦	諏訪清陵	2:11.73	西村 博志	松 蔭	2:12.40
	400m	木原 博彦	野	4:36.79	増田 順一	中 央	4:39.17	村沢 龍一	飯 田	4:44.17	藤原 俊貴	深 志	4:45.47	大野 正樹	中 央	5:01.30	岩井 琢也	池田工	5:04.09
	800m	木原 博彦	野	18:21.30	増田 順一	中 央	18:26.63	藤原 俊貴	深 志	18:41.71	村沢 龍一	飯 田	18:59.91	小嶋 毅人	中 央	19:56.24	小松 誠	県ヶ丘	20:55.51
平泳	100m	河西 篤中	中 央	1:11.90	林 清久	岡谷南	1:13.40	島崎 毅	野沢北	1:14.68	藤 宜	東海大三	1:14.72	飯島 国博	須 賀	1:16.50	増田 毅	千 曲	1:16.66
	200m	河西 篤中	中 央	2:34.14	島崎 毅	野沢北	2:41.34	林 清久	岡谷南	2:43.40	藤 宜	東海大三	2:48.25	太田 都夫	深 志	2:48.34	増田 毅	千 曲	2:48.56
背泳	100m	小林 明夫	吉 田	1:06.35	安富 光晴	長 野	1:07.90	近藤志乃夫	諏訪二葉	1:08.67	藤原 牧人	県ヶ丘	1:09.27	相沢 知幸	岡谷南	1:09.98	小林 秀一	中 央	1:10.10
	200m	小林 明夫	吉 田	2:24.50	近藤志乃夫	諏訪二葉	2:28.31	相沢 知幸	岡谷南	2:32.47	藤原 牧人	県ヶ丘	2:32.63	小林 秀一	中 央	2:32.89	安富 光晴	長 野	2:33.33
バタフライ	100m	伊部 敏行	飯 田	1:00.41	星野 英明	中 央	1:02.33	渡辺 徹	深 志	1:03.69	小林 義昌	長 野	1:05.39	玉木 剛上	田 1:05.55	藤原 好朗	飯田長郷	1:06.12	
	200m	伊部 敏行	飯 田	2:15.53	星野 英明	中 央	2:17.35	藤原 好朗	飯田長郷	2:23.91	渡辺 徹	深 志	2:24.64	村上 忠昭	中 央	2:35.48	中尾 弘幸	染谷	2:41.70
個人メド	200m	根津 順司	高 遠	2:26.88	青木 潤	中 央	2:28.94	小栗 隆	諏訪清陵	2:32.22	上嶋 行雄	信州工	2:39.22	三浦 克友	屋 代	2:40.73	田島 武彦	伊那北	2:45.77
	400m	根津 順司	高 遠	5:10.78	青木 潤	中 央	5:14.50	小栗 隆	諏訪清陵	5:23.86	岩井 琢也	池田工	5:51.33	高橋 俊司	諏訪清陵	5:47.92	小川 浩司	中 央	5:51.33
リレー	400m	・	長 野	3:58.47	・	中 央	3:59.79	・	吉 田	4:12.11	・	茅 野	4:13.82	・	岡谷南	4:16.17	・	上 田	4:16.58
	800m	・	中 央	8:48.15	・	飯 田	9:06.51	・	長 野	9:11.27	・	県ヶ丘	9:30.28	・	深 志	9:43.09	・	茅 野	9:44.00
メドレー	400m	・	中 央	4:23.00	・	飯 田	4:28.84	・	長 野	4:29.82	・	岡谷南	4:39.88	・	深 志	4:43.05	・	吉 田	4:43.18
	総合順位	長野中央	78点	長 野	32点	飯 田	31点	県ヶ丘	22点	岡谷南	20点	深 志	22点						

昭和62年度 長野県高等学校総合体育大会

女子

種目	順位	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			第 6 位		
		氏名	校名	記録															
自由形	50m																		
	100m	岡宮 千恵	吉 田	1:07.87	笹岡亜希子	長 野	1:07.99	土屋 節子	風 越	1:08.13	藤原 明子	赤 穂	1:08.64	藤原真智子	単 月	1:09.31	五味しおみ	岡谷南	1:09.56
	200m	土屋 節子	風 越	2:27.49	笹岡亜希子	長 野	2:31.35	岡野 絹子	中 央	2:31.43	早川 佳恵	県ヶ丘	2:31.83	南 麻里	須 賀	2:32.71	滝沢 敏絵	中 央	2:36.05
	400m	桐生 美香	風 越	5:19.75	早川 佳恵	県ヶ丘	5:23.16	原田 志保	諏訪清陵	5:24.12	南 麻里	須 賀	5:24.26	丸山史絵子	中 央	5:25.95	下嶋 和枝	赤 穂	5:26.51
	800m	桐生 美香	風 越	11:01.65	丸山史絵子	中 央	11:06.58	大田 美幸	諏訪清陵	11:14.64	原田 志保	諏訪清陵	11:28.83	福沢由希子	飯 田	11:34.80	清水 美子	単 月	12:18.96
平泳	100m	河西美奈子	諏訪清陵	1:23.32	長沢 直美	中 央	1:26.08	岡野真由美	伊那北	1:26.89	小林 綾子	上 田	1:27.88	河西久美子	松 代	1:31.39	由良 智春	長 野	1:31.45
	200m	河西美奈子	諏訪清陵	3:02.05	長沢 直美	中 央	3:02.80	岡野真由美	伊那北	3:04.51	小林 綾子	上 田	3:10.34	武居まゆみ	諏訪二葉	3:15.14	由良 智春	長 野	3:18.52
背泳	100m	南沢 幸枝	屋 代	1:10.39	宮坂さおり	諏訪二葉	1:14.83	岡野まより	岡谷南	1:14.87	伊藤 祐子	上 田	1:19.09	島崎 理恵	中 央	1:20.10	一柳 弘江	諏訪二葉	1:20.15
	200m	南沢 幸枝	屋 代	2:37.39	宮坂さおり	諏訪二葉	2:41.51	岡野まより	岡谷南	2:43.24	伊藤 祐子	上 田	2:49.64	島崎 理恵	中 央	2:52.04	一柳 弘江	諏訪二葉	2:53.80
バタフライ	100m	岡野 祐子	中 央	1:10.74	高野 靖子	中 央	1:13.84	小泉 華子	諏訪二葉	1:18.53	南 亜希子	千 曲	1:19.95	前田 民代	上 田	1:23.53	村山 友紀	田 川	1:30.05
	200m	岡野 祐子	中 央	2:39.51	高野 靖子	中 央	2:46.41	小泉 華子	諏訪二葉	3:18.85	小倉 玲子	野沢北	3:29.90	塚越 薫	諏訪実美	3:41.82	熊谷富美子	藤ノ井	3:49.59
個人メド	200m	角田まゆみ	中 央	2:41.70	佐野 操子	飯田女	2:42.76	中村 浩子	諏訪二葉	2:48.52	遠藤 貴子	諏訪二葉	2:55.55	和田 由香	飯田長郷	2:55.72	丸山睦理江	中 央	2:58.62
	400m	角田まゆみ	中 央	5:42.30	佐野 操子	飯田女	5:45.45	中村 浩子	諏訪二葉	5:59.48	滝沢 敏絵	中 央	6:02.17	和田 由香	飯田長郷	6:24.19	遠藤 貴子	諏訪二葉	6:27.21
リレー	400m	・	中 央	4:34.93	・	諏訪二葉	4:47.93	・	岡谷南	4:56.32	・	県ヶ丘	5:01.12	・	単 月	5:02.05	・	長 野	5:05.00
	800m	・			・			・			・			・			・		
メドレー	400m	・	中 央	5:04.54	・	諏訪二葉	5:19.86	・	岡谷南	5:37.74	・	単 月	5:43.16	・	吉 田	5:51.77	・	県ヶ丘	5:53.52
	総合順位	中 央	83点	諏訪二葉	43点	諏訪清陵	25点	風 越	25点	岡谷南	17点	屋 代	14点						

昭和63年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

種目	順位	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			第 6 位		
		氏名	校名	記録															
自 由 形	50m																		
	100m	中村 千倉	箕輪工	1:57.64	西村 博志	松高丘	1:57.93	中野 博之	吉田	1:59.68	古畑 剛	長野日大	1:00.08	佐藤 進	飯田	1:00.12	渡辺 昌彦	東海大三	1:00.43
	200m	和田 祐人	長野	2:07.17	中島 一生	織ヶ崎	2:11.39	庄村 貴光	長野日大	2:12.07	西村 博志	松高	2:13.18	和田 圭史	東海大三	2:13.18	渡辺 昌彦	東海大三	2:15.24
	400m	中島 一生	織ヶ崎	4:37.54	横内 仁	長野	4:40.18	大野 正樹	長野日大	4:42.92	和田 圭史	東海大三	4:45.91	濱 宜	岡谷工業	5:00.22	小松 毅人	長野日大	5:02.18
	1500m	横内 仁	長野	18:43.62	大野 正樹	長野日大	19:03.98	早川 康司	織ヶ崎	19:21.18	濱 宜	岡谷工業	19:46.09	赤羽 徳彦	赤生丘	20:06.56	中沢 徳男	佐久	20:22.61
平 泳	100m	林 靖久	岡谷南	1:12.16	立岩 俊之	須坂	1:14.43	横爪 浩一	辰野	1:15.03	飯島 国博	須坂	1:15.21	大沢 英樹	千曲	1:15.81	篠月 慎也	藤井旭	1:17.32
	200m	林 靖久	岡谷南	2:35.84	横爪 浩一	辰野	2:44.43	立岩 俊之	須坂	2:46.74	飯島 国博	須坂	2:49.14	大沢 英樹	千曲	2:49.38	西沢 淳	長野	2:49.88
背 泳	100m	小林 明夫	吉田	1:04.42	安斎 光晴	長野	1:04.43	徳永 啓	吉田	1:06.48	近藤志乃夫	諏訪二葉	1:08.94	藤原 敬人	織ヶ崎	1:09.06	藤原 俊英	深志	1:09.46
	200m	小林 明夫	吉田	2:18.85	安斎 光晴	長野	2:23.67	近藤志乃夫	諏訪二葉	2:28.47	徳永 啓	吉田	2:28.6	藤原 俊英	深志	2:29.13	相沢 知幸	岡谷南	2:32.09
バ タ フ ライ	100m	伊部 敏行	飯田	1:00.42	渡辺 敬深	志	1:02.55	小林 義昌	長野	1:03.87	窪田 満	岡谷南	1:06.68	中尾 弘喜	染谷丘	1:07.13	轟 清志	長野日大	1:07.13
	200m	伊部 敏行	飯田	2:11.01	渡辺 敬深	志	2:20.98	小林 義昌	長野	2:25.17	窪田 満	岡谷南	2:25.83	村上 忠昭	長野日大	2:29.39	中尾 弘喜	染谷丘	2:35.01
個 人 メ ド	200m	青木 潤	長野日大	2:22.72	根津 順可	高遠	2:22.95	中島 章	伊那北	2:25.37	矢沢 文雄	飯田	2:32.76	高野 伸	長野日大	2:34.44	上嶋 行雄	信州工	2:35.14
	400m	根津 順可	高遠	5:05.59	青木 潤	長野日大	5:06.03	早川 康司	織ヶ崎	5:38.19	小川 浩治	長野日大	5:43.34	藤松 邦宏	田川	5:49.65	古川 義志	上田	5:56.44
リ レ イ	400m	・	長野	3:57.81	・	長野日大	3:59.70	・	吉田	4:03.89	・	上田	4:09.85	・	佐久	4:12.56	・	田川	4:18.92
	800m	・	長野	8:46.12	・	長野日大	8:48.93	・	岡谷南	9:21.41	・	諏訪清陵	9:22.21	・	飯田	9:29.24	・	田川	9:29.27
	メ ド レ イ 400m	・	長野	4:23.93	・	吉田	4:25.55	・	飯田	4:30.09	・	岡谷南	4:34.29	・	長野日大	4:37.45	・	諏訪清陵	4:39.01
総合順位		長野	59点	長野日大	49点	吉田	34点	飯田	32点	岡谷南	21点	織ヶ崎	20点						

昭和63年度 長野県高等学校総合体育大会

女子

種目	順位	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			第 6 位		
		氏名	校名	記録															
自 由 形	50m																		
	100m	岡宮 千恵	吉田	1:07.09	下嶋 和枝	赤穂	1:09.04	小池 峰子	松高	1:09.16	熊谷ゆみ	屋代	1:09.53	小池ゆかり	須坂東	1:09.71	一柳 弘江	諏訪二葉	1:11.18
	200m	宮川 知子	長野日大	2:25.88	土屋 節子	風越	2:28.42	岡宮 千恵	吉田	2:29.47	小池 峰子	松高	2:32.86	小池ゆかり	須坂東	2:33.27	松木理枝子	東海大三	2:37.05
	400m	宮川 知子	長野日大	5:02.88	土屋 節子	風越	5:11.99	田中 理沙	長野日大	5:16.13	原田 志保	諏訪清陵	5:34.40	小松やよい	田川	5:40.60	市川 和美	須坂	5:44.40
	800m	田中 理沙	長野日大	10:39.15	小松やよい	田川	11:45.36	市川 和美	須坂	11:59.97	清水美子	奉月	12:38.48	遠藤真智子	須坂東	12:42.77	桐生 真樹	風越	12:44.94
平 泳	100m	石坂いづみ	長野日大	1:20.99	河西美奈子	諏訪清陵	1:25.41	長沢 直美	長野日大	1:27.33	巖 史絵	大町	1:28.75	神谷 忍	坂城	1:29.10	滝沢 步	佐久	1:30.10
	200m	河西美奈子	諏訪清陵	3:05.79	長沢 直美	長野日大	3:07.98	深沢 広美	伊那北	3:09.80	神谷 忍	坂城	3:12.55	久崎美千子	諏訪二葉	3:13.39	河野真由実	伊那北	3:15.39
背 泳	100m	南沢 幸枝	屋代	1:11.02	春日麻理子	屋代	1:12.04	岡野さより	岡谷南	1:14.48	南沢 克恵	屋代	1:15.13	伊藤 裕子	上田	1:17.27	柳 節子	吉田	1:18.49
	200m	南沢 幸枝	屋代	2:36.30	春日麻理子	屋代	2:36.30	南沢 克恵	屋代	2:40.60	岡野さより	岡谷南	2:42.82	伊藤 裕子	上田	2:45.71	田村ゆきこ	田川	3:00.83
バ タ フ ライ	100m	岡田 裕子	長野日大	1:11.21	今村 弥生	風越	1:12.27	岡田三枝子	長野日大	1:15.08	小泉 華子	諏訪二葉	1:17.23	前田 氏代	上田東	1:18.10	古士 寛子	上田東	1:18.30
	200m	岡田 裕子	長野日大	2:34.49	今村 弥生	風越	2:49.07	岡田三枝子	長野日大	5:52.97	斎藤せり子	岩村田	3:04.62	小泉 華子	諏訪二葉	3:09.94	小倉 祐子	野沢北	3:27.68
個 人 メ ド	200m	中村 浩子	諏訪二葉	2:47.52	巖 史絵	大町	2:50.48	野上 恵子	吉田	2:54.89	和田由香	飯田長郷	2:55.93	遠藤 貴子	諏訪二葉	2:57.78	小平さゆり	東海大三	3:01.94
	400m	石坂いづみ	長野日大	5:37.70	中村 浩子	諏訪二葉	5:56.81	和田 由香	飯田長郷	6:17.68	野上 恵子	吉田	6:18.72	遠藤 貴子	諏訪二葉	6:29.40	東野原奈美	奉月	6:39.05
リ レ イ	400m	・	長野日大	4:37.46	・	屋代	4:41.97	・	諏訪実業	4:45.81	・	諏訪二葉	4:46.07	・	岡谷南	4:51.09	・	須坂東	4:52.88
	800m	・	長野日大	5:00.65	・	諏訪二葉	5:16.47	・	屋代	5:17.51	・	風越	5:27.82	・	吉田	5:34.79	・	岡谷南	5:53.46
	メ ド レ イ 400m	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
総合順位		長野日大	84点	屋代	43点	諏訪二葉	33点	風越	24点	吉田	21点	清陵	15点						

平成元年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

種目	順位	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			第 6 位		
		氏名	校名	記録															
自由形	50m																		
	100m	中村 千倉	箕輪工	56.78	山本 幸仁	藤ノ井	57.76	庄村 貴光	長野日大	58.95	木下 勝貴	飯田長嶺	59.08	北島 典和	長野日大	59.49	中沢 徳男	佐久	59.49
	200m	中島 一生	横ヶ崎	2:09.37	中島 章	伊那北	2:09.86	吉畑 剛	長野日大	2:11.38	北島 典和	長野日大	2:12.12	和田 圭史	東海大三	2:12.46	花岡 智哉	松本工	2:12.65
	400m	中島 一生	横ヶ崎	4:31.98	中島 善紀	深志	4:33.97	横内 仁	長野	4:38.47	吉畑 剛	長野日大	4:40.65	和田 圭史	東海大三	4:49.66	佐藤 進	飯田	4:48.12
	1500m	横内 仁	長野	18:06.70	中島 善紀	深志	18:07.11	上藤 勇	塩尻	18:57.63	藤沢 幸輝	飯野	19:12.56	佐藤 進	飯田	19:16.12	渡 亘	岡谷工	19:16.46
平泳	100m	林 清久	岡谷南	1:11.62	立岩 俊之	須坂	1:11.98	横爪 浩一	飯野	1:12.40	西沢 淳	長野	1:15.39	松村 和亮	吉田	1:15.50	櫻山 忠友	茅野	1:15.71
	200m	林 清久	岡谷南	2:35.42	立岩 俊之	須坂	2:39.91	横爪 浩一	飯野	2:41.17	三村 達也	向陽	2:44.45	西沢 淳	長野	2:44.68	有坂 春彦	野沢北	2:47.05
背泳	100m	石橋 一彦	東海大三	1:05.37	安斎 光晴	長野	1:05.50	徳永 啓	吉田	1:05.51	藤原 俊英	深志	1:08.04	近藤志乃夫	諏訪二葉	1:08.59	藤原 教人	横ヶ丘	1:09.31
	200m	石橋 一彦	東海大三	2:22.00	徳永 啓	吉田	2:25.03	藤原 俊英	深志	2:28.51	近藤志乃夫	諏訪二葉	2:31.72	藤原 教人	横ヶ丘	2:33.00	宮下 栄之	上田東	2:30.49
バタフライ	100m	渡辺 徹	深志	1:00.94	窪田 満	岡谷南	1:03.20	荒井 政昭	佐久	1:03.54	村上 忠昭	長野日大	1:04.87	中尾 弘喜	桑谷丘	1:05.04	小平 和志	諏訪清陵	1:08.60
	200m	渡辺 徹	深志	2:17.64	窪田 満	岡谷南	2:23.44	村上 忠昭	長野日大	2:23.77	荒井 政昭	佐久	2:33.78	小平 和志	諏訪清陵	2:38.07	桃井 昌寿	田川	2:38.26
個人メド	400m	中島 章	伊那北	2:23.69	朝比奈 拓	東海大三	2:25.81	早川 康司	横ヶ崎	2:31.52	小林 潤	長野日大	2:32.78	水崎 厚史	長野日大	2:33.57	小林 清広	田川	2:33.84
	400m	朝比奈 拓	東海大三	5:08.60	早川 康司	横ヶ崎	5:27.12	小川 浩治	長野日大	5:38.39	上嶋 行雄	信州工	5:38.49	倉石 修吾	長野	5:38.65	小林 潤	長野日大	5:39.60
リレー	400m	・	長野日大	3:58.35	・	長野	4:00.44	・	東海大三	4:00.82	・	吉田	4:03.14	・	佐久	4:04.99	・	田川	4:07.26
	800m	・	東海大三	8:53.37	・	長野日大	8:54.72	・	長野	9:01.32	・	深志	9:05.95	・	田川	9:12.50	・	横ヶ崎	9:16.29
メドレー400m	メドレー400m	・	吉田	4:24.48	・	長野	4:31.76	・	岡谷南	4:32.61	・	長野日大	4:35.05	・	佐久	4:37.73	・	田川	4:38.56
	総合順位																		

平成元年度 長野県高等学校総合体育大会

女子

種目	順位	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			第 6 位		
		氏名	校名	記録															
自由形	50m																		
	100m	小林 弘珠	諏訪二葉	1:05.81	河野 嗣子	長野日大	1:06.31	小池 峰子	松高	1:08.24	岡宮 千恵	吉田	1:08.66	吉土 寛子	上田東	1:08.96	白井 泉	飯田	1:09.34
	200m	小林 弘珠	諏訪二葉	2:21.40	河野 嗣子	長野日大	2:23.75	小池 峰子	松高	2:21.15	水間 千尋	鳳	2:31.48	高坂 美樹	諏訪実業	2:34.29	松木理枝子	東海大三	2:34.31
	400m	宮川 知子	長野日大	4:58.46	河野 美紀	長野日大	5:22.25	田中 理紗	長野日大	5:22.25	水間 千尋	鳳	5:26.10	土屋 友美	飯田長嶺	5:27.03	高坂 美樹	諏訪実業	5:28.64
	800m	宮川 知子	長野日大	10:28.24	田中 理紗	長野日大	10:47.68	河野 美紀	長野日大	10:47.68	土屋 友美	飯田長嶺	10:52.01	小林しのぶ	諏訪二葉	11:38.23	二本 淑子	東海大三	11:50.91
平泳	100m	慶 史絵	大町	1:26.57	松野 美香	諏訪実業	1:28.94	松沢ゆかり	吉田	1:29.13	清水 美好	長野日大	1:29.94	矢崎美千子	諏訪二葉	1:32.22	河西久美子	松代	1:32.93
	200m	石坂いづみ	長野日大	2:56.26	松野 美香	諏訪実業	3:11.12	深沢 広美	伊那北	3:11.92	清水 美好	長野日大	3:16.42	三沢祐美子	松高	3:19.79	横山 裕子	中西西	3:22.83
背泳	100m	春日麻理子	星代	1:09.99	綿貫 良江	長野日大	1:15.37	岡野さより	岡谷南	1:15.85	南沢 克恵	星代	1:17.33	勝 隆子	吉田	1:18.52	竹中 紀和	伊那北	1:19.23
	200m	春日麻理子	星代	2:38.83	綿貫 良江	長野日大	2:43.76	南沢 克恵	星代	2:43.80	宮坂まゆ美	岡谷南	2:48.00	伊藤 裕子	上田	2:51.12	竹中 紀和	伊那北	2:52.26
バタフライ	100m	今村 弥生	鳳	1:10.24	窪田 佳世	岡谷東	1:13.38	岡田三枝子	長野日大	1:16.14	前田 民代	上田東	1:16.78	小泉佳成子	諏訪清陵	1:19.65	斉藤せり子	岩村田	1:20.30
	200m	今村 弥生	鳳	2:38.83	窪田 佳世	岡谷東	2:40.19	岡田三枝子	長野日大	2:53.22	小泉佳成子	諏訪清陵	2:59.81	前田 民代	上田東	3:03.73	中村さおり	諏訪二葉	3:09.03
個人メド	200m	山本理絵子	長野日大	2:43.11	慶 史絵	大町	2:46.62	丸山純理江	長野日大	2:53.51	遠藤 貴子	諏訪二葉	2:55.18	畔上 恵子	吉田	2:58.51	松木理枝子	東海大三	2:59.87
	400m	石坂いづみ	長野日大	5:35.82	山本理絵子	長野日大	5:57.64	斎藤せり子	岩村田	6:21.38	遠藤 貴子	諏訪二葉	6:23.34	松下 恵枝	梓川	6:45.59	宇都宮和子	伊那北	7:14.60
リレー	400m	・	長野日大	4:31.60	・	諏訪二葉	4:39.30	・	星代	4:45.39	・	岡谷南	4:52.48	・	東海大三	4:54.31	・	鳳	4:54.31
	800m	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
メドレー400m	メドレー400m	・	長野日大	4:59.04	・	諏訪二葉	5:15.76	・	吉田	5:19.61	・	岡谷南	5:32.56	・	鳳	5:34.72	・	田川	5:35.10
	総合順位																		

平成2年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自由泳	100m	徳永 啓	長野吉田	大会新 56.41	山本 幸司	篠ノ井	57.73	渡辺 昌彦	東海大三	58.22	原 光男	飯田長郷	59.86	住村 貴光	長野日大	1:00.22	佐藤 進	飯田	1:00.25
	200m	徳永 啓	長野吉田	大会新 2:03.95	水崎 厚史	長野日大	2:08.06	原 光男	飯田長郷	2:10.86	中島 一生	横ヶ崎	2:11.93	佐藤 進	飯田	2:11.94	小松 潔樹	横ヶ崎	2:12.33
	400m	水崎 厚史	長野日大	4:33.91	中島 善紀	深 志	4:35.69	中島 一生	横ヶ崎	4:42.34	濱 亘	岡谷工業	4:44.94	藤原 輝岳	美須ヶ	4:46.93	藤沢 幸輝	辰野	4:47.28
型	1500m	中島 善紀	松本深志	18:19.02	藤原 輝岳	美須ヶ丘	18:23.87	藤沢 幸輝	辰野	18:23.87	濱 亘	岡谷工業	19:14.48	白井 義明	長野日大	19:14.96	上塚 勇	塩 尻	19:15.67
平泳	100m	宮坂 大輔	東海大三	大会新 1:10.63	近江 寛	大 町	1:13.32	嶋爪 浩一	辰野	1:32.56	三村 達也	下諏訪向陽	1:14.05	柳原 弘幸	田 川	1:15.07	西沢 淳	長 野	1:15.11
	200m	宮坂 大輔	東海大三	2:40.36	三村 達也	下諏訪向陽	2:41.40	嶋爪 浩一	辰野	2:43.08	秋山 昌昭	長野日大	2:46.40	西沢 淳	長 野	2:47.27	近江 寛	大 町	2:48.14
バタフライ	100m	篠田 満	岡谷南	1:03.15	松沢 力	飯田	1:03.64	小平 和志	諏訪清陵	1:05.28	向山 剛史	東海大三	1:05.35	伊東 清浩	東海大三	1:05.71	早田賢二郎	美須ヶ	1:05.83
	200m	篠田 満	岡谷南	2:21.09	向山 剛史	東海大三	2:22.88	松沢 力	飯田	2:23.72	中島 章	伊那北	2:26.28	小平 和志	諏訪清陵	2:27.99	武田 慎也	篠ノ井	2:35.00
背泳	100m	石橋 一彦	東海大三	1:06.36	山岡 智樹	東海大三	1:07.60	羽田 和幸	長野日大	1:08.99	櫻山 英生	茅 野	1:10.36	宮下 栄之	上田東	1:10.93	藤沢 昭紀	田 川	1:11.42
	200m	石橋 一彦	東海大三	2:22.88	山岡 智樹	東海大三	2:29.04	藤沢 昭紀	田 川	2:32.69	宮下 栄之	上田東	2:34.77	櫻山 英生	茅 野	2:35.33	山浦 健二	美須ヶ	2:38.89
個人メドレー	200m	中島 章	伊那北	2:25.39	早川 康司	横ヶ崎	2:31.45	若林 政紀	大 町	2:33.92	倉石 能見	屋 代	2:34.89	松島 宏	阿 南	2:36.87	倉石 修吾	長 野	2:39.89
	400m	北島 典和	長野日大	5:12.81	早川 康司	横ヶ崎	5:24.18	倉石 能見	屋 代	5:37.67	堀場 大幸	上田千曲	5:42.48	倉石 修吾	長 野	5:43.25	松島 宏	阿 南	5:43.87
リレー	400m	北島 典和 水崎 厚史 庄村 貴光	長野日大	大会新 3:57.33	石橋 一彦 伊東 清浩 和田 渡辺	東海大三	3:58.76	徳永 啓 義水 清太 谷津 浩也	長野吉田	4:06.52	中沢 山田 荒井 龍雄	佐 久	4:08.09	白川 渡辺 横内 小林	長 野	4:08.74	若林 政紀 近江 寛 田 川	大 町	4:11.46
	800m	石橋 一彦 伊東 清浩 和田 渡辺	東海大三	8:49.59	住村 貴光 北島 典和 水崎 厚史	長野日大	8:54.58	小林 孝一 小松 潔樹 中島 一生	横ヶ崎	9:11.64	小林 貴石 白川 慎内	長 野	9:16.41	神野 高野 高野 中沢	佐 久	9:22.62	徳永 啓 義水 清太 谷津 浩也	長野吉田	9:31.43
	メドレー 400m	石橋 一彦 宮坂 大輔 山岡 智樹	東海大三	4:23.06	羽田 和幸 山岡 智樹 庄村 貴光	長野日大	4:28.95	藤沢 昭紀 神沢 勇 小松 潔樹	田 川	4:36.94	竹内 中 荒井 龍雄	佐 久	4:37.88	徳永 啓 松村 谷津 清水 浩也	長野吉田	4:39.15	福田 近江 若林 政紀 田 川	大 町	4:39.64
総合	東海大三	71	長野日大	71	東海大三	47	長野吉田	22	岡谷南	21	辰野	14	飯田	13					

平成2年度 長野県高等学校総合体育大会

女子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自由泳	100m	小林 弘珠	諏訪二業	大会新 1:03.83	長谷川恵美	篠ノ井	1:05.15	伊部 典子	飯田	1:05.81	熊原 ゆみ	屋 代	1:06.45	熊井 文恵	田 川	1:07.14	宮島 愛	飯田	1:07.40
	200m	小林 弘珠	諏訪二業	大会新 2:20.62	伊部 典子	飯田	2:21.33	長谷川恵美	篠ノ井	2:22.04	熊井 文恵	田 川	2:27.91	宮島 愛	飯田	2:28.90	小林 明子	須 坂	2:31.34
	400m	宮川 知子	長野日大	4:57.77	森口 久枝	諏訪実業	5:01.99	宮坂まゆ美	岡谷南	5:11.13	河野 美紀	長野日大	5:14.24	水間 千尋	飯田風越	5:38.85	兼沢ひとみ	横ヶ崎	5:54.50
型	800m	宮川 知子	長野日大	10:08.29	森口 久枝	諏訪実業	10:12.27	宮坂まゆ美	岡谷南	10:42.46	河野 美紀	長野日大	10:54.88	二木 淑子	東海大三	12:02.62	兼沢ひとみ	横ヶ崎	12:29.78
平泳	100m	石坂いづみ	長野日大	大会新 1:18.18	斎藤理佐子	長野商	1:23.87	柳沢 綾	諏訪二業	1:25.52	慶 史絵	大 町	1:25.94	清水 美好	長野日大	1:26.75	松野 美香	諏訪実業	1:27.60
	200m	石坂いづみ	長野日大	2:49.31	斎藤理佐子	長野商	3:01.73	柳沢 綾	諏訪二業	3:04.85	清水 美好	長野日大	3:06.19	浅野 美幸	美須ヶ	3:14.24	松野 美香	諏訪実業	3:16.34
バタフライ	100m	今村 弥生	風 越	1:09.40	窪田 佳世	岡谷東	1:11.97	岡田三枝子	長野日大	1:14.97	倉島 百恵	長野西	1:17.21	小泉佳成子	諏訪清陵	1:19.97	中村さおり	諏訪二業	1:20.95
	200m	今村 弥生	風 越	2:34.32	窪田 佳世	岡谷東	2:42.13	岡田三枝子	長野日大	2:49.32	倉島 百恵	長野西	2:51.75	中村さおり	諏訪二業	3:00.83	神沢 緑	諏訪二業	3:01.59
背泳	100m	春日麻理子	屋 代	1:10.89	熊谷しのぶ	飯田女子	1:13.51	綿貫 良江	長野日大	1:14.69	越原 結恵	豊 科	1:18.51	竹中 紀和	伊那北	1:19.45	小林 瑞穂	諏訪二業	1:22.00
	200m	春日麻理子	屋 代	大会新 2:29.93	熊谷しのぶ	飯田女子	2:39.52	綿貫 良江	長野日大	2:41.96	越原 結恵	豊 科	2:50.48	小泉佳成子	諏訪清陵	2:52.22	竹中 紀和	伊那北	2:52.36
個人メドレー	200m	山本理絵子	長野日大	2:40.30	慶 史絵	大 町	2:46.24	古土 寛子	上田東	2:47.06	水間 千尋	飯田風越	2:55.05	畔上 恵子	長野吉田	2:58.56	山田 百菜	長野商業	2:59.28
	400m	山本理絵子	長野日大	5:49.41	松本枝子	東海大三	6:28.44	山浦 智枝	佐 久	6:37.21	松下 恵枝	梓 川	6:52.63	宇都宮和子	伊那北	7:04.10	加藤 由香	諏訪実業	7:38.50
リレー	400m	宮川 知子 岡田三枝子 沼野 美紀 石坂いづみ	長野日大	4:33.47	熊沢 綾 伊藤 智恵 中村さおり 小林 弘珠	諏訪二業	4:45.20	滝沢 歩 小林 依田 相模 希	佐 久	4:45.60	伊部 典子 白井 福寿 宮島 愛	飯田	4:46.30	白田 美矢子 二木 淑子 松本理絵子 久保みどり	東海大三	4:51.92	井浦 望 久子 中村 明子 小林 明子	須 坂	4:55.46
	800m		
メドレー 400m	400m	綿貫 良江 石坂いづみ 岡田三枝子 宮川 知子	長野日大	4:57.53	伊藤 智恵 柳沢 綾 中村さおり 小林 弘珠	諏訪二業	5:18.98	花岡 清子 林 血紀子 渡辺美佐子 松村 和泉	長 野	5:35.45	櫻村 明子 青木よしみ 小林 井浦	須 坂	5:37.09	新村 浩子 松本 美久 藤口 加藤	諏訪実業	5:38.50	伊部 典子 倉田 敬子 宮島 愛 白井 福寿	飯田	5:40.57
	総合	長野日大	83	諏訪二業	37	飯田風越	19	屋 代	17	飯田	16	諏訪実業	15						

平成3年度 長野県高等学校体育大会

男子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自由形	50m	北島 典和	長野日大	大会記録 1:26.01	丸山 淳	伊那北	:26.38	大野 弘紀	松本深志	:26.43	石橋 一彦	東海大三	:26.54	上田 純	伊那北	:27.27	牧内 宏造	鳳 越	:27.35
	100m	丸山 淳	伊那北	:57.44	花岡 智哉	松本工業	:58.71	谷津 茲也	長野吉田	:59.59	飯田 宏 須 坂	59.65	小松 潔紀	磯ヶ崎	1:00.25	平林陽一郎	東海大三	1:00.54	
	200m	水崎 厚史	長野日大	大会新 2:02.50	花岡 智哉	松本工業	2:07.72	平林陽一郎	東海大三	2:13.71	山本 義智	須 坂 東	2:14.98	雷田 武志	長野日大	2:16.81	川島 渉	諏訪実業	2:17.07
	400m	水崎 厚史	長野日大	大会新 4:22.20	藤原 輝岳	美 須 ♪	4:31.28	丸田誠一郎	長野日大	4:33.00	白井 義朗	長野日大	4:43.83	丹下 康章	岡谷工業	4:44.50	藤沢 幸輝	辰 野	4:46.10
	1500m	藤原 輝岳	美 須 ♪	18:02.76	丸田誠一郎	長野日大	18:16.61	藤沢 幸輝	辰 野	18:39.19	白井 義朗	長野日大	18:56.88	丹下 康章	岡谷工業	18:58.54	大平 文彦	辰 野	19:21.21
平泳	100m	宮坂 大輔	東海大三	1:10.89	近江 寛 大 町	1:13.14	小平 祐	岡谷工業	1:13.34	三村 達也	向 陽	1:13.74	柳原 弘幸	田 川	1:14.15	宮坂 哲平	東海大三	1:14.18	
	200m	宮坂 大輔	東海大三	2:37.39	森 直樹	須 坂 東	2:39.34	海野 裕紀	長野日大	2:40.69	宮坂 哲平	東海大三	2:42.23	三村 達也	向 陽	2:42.65	秋山 昌昭	長野日大	2:42.98
背泳	100m	山岡 裕樹	東海大三	1:04.82	宮坂 貴之	東海大三	1:05.21	石橋 一彦	東海大三	1:05.99	北林 保 飯 田	1:06.04	藤松 昭紀	田 川	1:08.55	櫻山 英生 茅 野	1:10.88		
	200m	山岡 裕樹	東海大三	2:21.54	北林 保 飯 田	2:22.66	宮坂 貴之	東海大三	2:23.58	藤松 昭紀	田 川	2:30.65	櫻山 英生 茅 野	2:31.14	山浦 健二 染 谷 丘	2:32.55			
バタフライ	100m	向山 剛史	東海大三	1:02.54	松沢 力 飯 田	1:03.34	小平 和志	諏訪清陵	1:04.08	荒井 政田 佐 久	1:05.45	武田 慎也	藤ノ井	1:05.92	早田賢二郎	鳳ヶ丘	1:07.13		
	200m	向山 剛史	東海大三	2:16.88	小平 和志	諏訪清陵	2:29.25	松沢 力 飯 田	2:26.44	林 健太郎	岡谷南	2:36.33	星野 博之 佐 久	2:37.17	渡辺 大洋	辰 野	2:40.96		
個人メド	200m	朝比 奈拓	東海大三	大会新 2:20.70	小平 順一	岡谷工業	大会新 2:21.73	北島 典和	長野日大	2:23.62	倉石 能見 屋 代	2:30.51	西村 隆 屋 代	2:32.18	吉沢 晋史	大 町	2:33.00		
	400m	朝比 奈拓	東海大三	大会新 5:01.45	小平 順一	岡谷工業	5:11.37	倉石 能見 屋 代	5:26.72	堀場 大幸 千 曲	5:32.70	三井 博史 佐 久	5:35.35	馬場 宏康	上 田 東	6:13.14			
リレー	400m	水崎 厚史 北島 典和 丸田誠一郎 白井 義智	長野日大	大会新 3:19.97	石橋 一彦 伊藤 裕樹 山岡 平林陽一郎	東海大三	大会新 3:56.13	鈴木 一雄 川原 聖弘 中村 飯田	須 坂	4:04.06	荒井 清木 清水 博野 舟本	佐 久	4:08.72	矢沢 昭義 沼田 武行 藤松 昭紀 下田 敏文	田 川	4:09.68	中大三 野文一志 大塚 修 大塚 修	4:11.11	
	800m	北島 典和 丸田誠一郎 白井 義智	長野日大	大会新 8:30.26	伊東 清浩 宮坂 大輔 平林陽一郎	東海大三	9:03.05	山本 中野上 飯田	須 坂	9:16.59	太平 文彦 山本 浩志 西村 隆	屋 代	9:20.57	荒井 三井 二井 野 舟本	佐 久	9:24.99	宮下 隆 下田 敏文 立木 大輔 大塚 修 大塚 修	千 曲	9:31.83
メドレー	400m	山岡 剛史 宮坂 大輔 丸田誠一郎	東海大三	大会新 4:15.70	福田 幸和 山岡 昌昭 丸田誠一郎	長野日大	4:25.31	藤松 昭紀 沼田 武行 下田 敏文	田 川	4:28.13	北林 保志 伊藤 聖行 松沢 力	飯 田	4:36.33	高野 裕 佐久 久	佐 久	4:38.27	鈴木 正樹 三田 正樹 川原 聖弘	須 坂	4:41.28
	総合順位	東海大三 149			長野日大 118			佐 久 43			須 坂 42			田 川 37			飯 田 35		

平成3年度 長野県高等学校体育大会

女子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自由形	50m	井浦 望 須 坂	大会記録 :30.77	清水 聖	長野日大	:30.94	宮島 愛 飯 田	:30.95	小林 綾美 佐 久	:31.10	清水美佐子	長野西	:31.27	日詰 清香	辰 野	:31.28			
	100m	小林 弘珠	諏訪二業 大会新 1:03.38	伊那 典子	飯 田	1:05.14	宮島 愛 飯 田	1:07.85	日詰 清香	辰 野	1:08.77	折笠久美子	屋 代 南	1:08.82	井浦 望 須 坂	1:09.19			
	200m	長谷川恵美	藤ノ井 大会新 2:19.27	伊那 典子	飯 田	大会新 2:19.29	小林 明子	須 坂	2:28.45	宮坂まゆ美	岡谷南	2:31.39	折笠久美子	屋 代 南	2:33.31	小西 香苗	鳳ヶ丘	2:34.65	
	400m	森口 久枝	諏訪実業	4:49.02	長谷川恵美	藤ノ井	4:51.87	倉島 百恵	長野西	4:54.07	河野 美紀	長野日大	5:11.34	宮坂まゆ美	岡谷南	5:20.28	水間 千尋	鳳 越	5:23.76
	800m	森口 久枝	諏訪実業	10:04.93	倉島 百恵	長野西	10:36.60	河野 美紀	長野日大	10:48.20	松村 和泉	辰 野	11:23.47	林 実和 佐 久	11:25.31	新村 美香	諏訪実業	11:27.91	
平泳	100m	義家理佐子	長 商	1:22.52	林那 園子	長野日大	1:23.14	松沢 ゆか 吉 田	1:23.80	松沢 美香	諏訪実業	1:25.56	清水 美好	長野日大	1:26.20	林 聖紀子	辰 野	1:26.96	
	200m	義家理佐子	長 商	3:01.37	林那 園子	長野日大	3:04.89	清水 美好	長野日大	3:07.38	松野 美香	諏訪実業	3:09.68	林 聖紀子	辰 野	3:09.82	大島 美保	鳳 越	3:11.26
背泳	100m	熊谷しのぶ	飯田女子	1:13.62	綿貫 良江	長野日大	1:14.32	越原 路恵 豊 科	1:15.87	安藤 英里	長野日大	1:15.88	水岸 敦子	諏訪二業	1:16.73	牧内 久子	鳳 越	1:18.02	
	200m	熊谷しのぶ	飯田女子	2:33.01	安藤 英里	長野日大	2:40.91	綿貫 良江	長野日大	2:43.98	越原 路恵 豊 科	2:45.96	平林 明子	松 南	2:47.24	小泉佳成子	諏訪清陵	2:48.55	
バタフライ	100m	小林 弘珠	諏訪二業	1:09.01	中藤 秀子	松本第一	1:14.02	中村さおり	諏訪二業	1:16.30	神沢 緑	諏訪二業	1:19.58	渡辺美佐子	辰 野	1:19.81	山浦 智枝	佐 久	1:23.07
	200m	中村さおり	諏訪二業	2:46.78	神沢 緑	諏訪二業	2:54.33	栗田千恵子	長野日大	3:19.32	岡井佐千子	阿 南	3:27.63	大津 紀子	野 沢 北	3:32.71	木下 裕輪	飯田長野	3:39.60
個人メド	200m	山岡その子	諏訪二業	2:40.54	山本理絵子	長野日大	2:40.78	水間 千尋	鳳 越	2:48.30	木村 愛 美 須 ♪	3:01.60	木下 知美	磯ヶ崎	3:03.48	堀内ひと美	佐 久	3:05.57	
	400m	山本理絵子	長野日大	5:43.42	花岡その子	諏訪二業	5:49.77	山浦 智枝 佐 久	6:34.76	新村 美香	諏訪実業	6:35.30	山田 百栄	長 商	6:40.33	金子 智江	佐 久	6:53.72	
リレー	400m	花岡その子 伊藤 純 小林 弘珠	諏訪二業	4:30.97	河野 美紀 山本理絵子 安藤 英里 清水	長野日大	4:32.22	新村 美香 有岐 友枝 森口 久枝	諏訪実業	4:39.19	林 聖紀子 吉田 相嶋 小林	佐 久	4:42.18	伊那 典子 羽嶋 美香 白井 義智	飯 田	4:42.76	井浦 望 松田 弘子 小林 明子	須 坂	4:45.49
	800m																		
メドレー	400m	水岸 敦子 柳沢 純 小林 弘珠 花岡その子	諏訪二業	4:53.63	綿貫 良江 林那 園子 山本理絵子 河野 美紀	長野日大	4:57.42	牧内 久子 大島 美保 水間 千尋	鳳 越	5:17.70	新村 美香 松野 美香 森口 久枝	諏訪実業	5:20.71	神 眞知子 日詰 清香	辰 野	5:26.04	梶村 明子 青木よし子 小林 明子 井浦 望	須 坂	5:29.87
	総合順位	長野日大 117			諏訪二業 98			諏訪実業 56			佐 久 39			辰 野 37			飯 田 36		

平成4年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自 由 形	50m	橋爪 俊成	東海大三	25.82	丸山 淳	伊那北	26.43	浦野 雄二	佐久	26.64	嶋本 大介	諏訪二業	26.78	飯田 圭	須坂	27.03	上田 純	伊那北	27.07
	100m	橋爪 俊成	東海大三	57.59	増田 真治	佐久	58.04	丸山 純	伊那北	58.14	武井 公徳	飯田長郷	58.73	飯田 圭	須坂	59.03	嶋本 大介	諏訪二業	59.05
	200m	武井 公徳	飯田長郷	2:07.23	伊東 清浩	東海大三	2:09.85	大平 文彦	屋代	2:12.76	小林 義則	中西西	2:12.90	増田 真治	佐久	2:12.91	平林隆一郎	東海大三	2:12.97
	400m	漆原 輝岳	美須ヶ丘	4:30.1	丸田誠一郎	長野日大	4:31.06	丹下 康章	岡谷工業	4:38.09	藤本 智敬	東海大三	4:42.47	和田 泉	長野日大	4:43.35	島田 大成	長野日大	4:46.44
	500m	漆原 輝岳	美須ヶ丘	17:41.37	丹下 康章	岡谷工業	17:58.95	丸田誠一郎	長野日大	18:05.02	和田 泉	長野日大	19:11.74	島田 大成	長野日大	19:21.05	片桐千重紀	佐久	20:12.54
平 泳	100m	海野 裕紀	長野日大	1:11.18	宮坂 大輔	東海大三	1:11.18	近江 寛大	大町	1:11.75	小平 裕一	岡谷工業	1:13.41	坂井 威人	佐久	1:13.62	平林 貴宏	大町北	1:13.95
	200m	海野 裕紀	長野日大	2:33.52	宮坂 大輔	東海大三	2:34.86	杉田 修一	大町	2:37.97	坂井 威人	佐久	2:39.88	平林 貴宏	大町北	2:41.43	宮坂 哲平	東海大三	2:43.40
背 泳	100m	宮坂 貴之	東海大三	1:03.04	北林 保	飯田	1:05.98	山岡 裕樹	東海大三	1:07.10	田中 芳美	大町北	1:07.87	櫻山 英生	茅野	1:09.49	関 武郎	長野工	1:10.25
	200m	宮坂 貴之	東海大三	2:18.77	北林 保	飯田	2:21.29	山岡 裕樹	東海大三	2:28.68	横井 正典	佐久	2:29.25	田中 芳美	大町北	2:30.20	小林 弘治	須坂	2:38.39
バ ト フ ラ イ	100m	松沢 力	飯田	1:02.30	向山 剛史	東海大三	1:02.86	林 健太郎	岡谷南	1:04.48	井出 聖久	佐久	1:04.59	宮沢 正史	長野日大	1:04.72	伊東 清浩	東海大三	1:05.23
	200m	向山 剛史	東海大三	2:18.20	松沢 力	飯田	2:19.25	小坂 寛之	大町	2:26.71	井出 聖久	佐久	2:27.20	林 健太郎	岡谷南	2:29.08	佐藤 洋平	長野日大	2:35.11
個 人 メ ド	200m	小平 順一	岡谷工業	2:21.78	近江 寛大	大町	2:23.63	宮武伸太郎	赤穂	2:27.12	植木 拓磨	須坂	2:29.25	吉沢 省央	大町	2:31.16	三井 博史	佐久	2:31.27
	400m	小平 順一	岡谷工業	5:06.98	小坂 寛之	大町	5:10.65	三井 博史	佐久	5:31.60	西村 隆	屋代	5:34.41	倉石 龍見	屋代	5:34.81	前田 賢三	東海大三	5:41.26
リ レ ー ク ラ ム	400m	伊東 清浩	東海大三	3:55.26	丸田誠一郎	長野日大	3:57.14	川原田 基星	須坂	3:58.29	増田 真治	佐久	3:58.47	近江 寛大	大町	4:04.04	宮坂 哲平	東海大三	4:05.30
	800m	伊東 清浩	東海大三	8:47.35	丸田誠一郎	長野日大	8:48.97	川原田 基星	須坂	8:54.12	増田 真治	佐久	8:55.13	近江 寛大	大町	9:04.49	宮坂 哲平	東海大三	9:04.79
	1600m	宮坂 貴之	東海大三	17:41.37	丸田誠一郎	長野日大	17:41.37	川原田 基星	須坂	17:41.37	増田 真治	佐久	17:41.37	近江 寛大	大町	17:41.37	宮坂 哲平	東海大三	17:41.37
	400m	宮坂 貴之	東海大三	4:14.79	丸田誠一郎	長野日大	4:14.79	川原田 基星	須坂	4:14.79	増田 真治	佐久	4:14.79	近江 寛大	大町	4:14.79	宮坂 哲平	東海大三	4:14.79
総合順位		東海大三	145	長野日大		94	佐久		91	大町		50	須坂		48	岡谷工業		48	

平成4年度 長野県高等学校体育大会

女子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録															
自 由 形	50m	山崎 瑞恵	佐久	30.28	清水 聖	長野日大	30.62	原 奈緒子	深志	30.62	日誌 清香	長野	30.97	井浦 望	須坂	31.23	白鳥 香織	伊那北	31.26
	100m	伊部 典子	飯田	1:05.99	小林真佐美	大町北	1:07.18	原 奈緒子	深志	1:07.28	清水 聖	長野日大	1:07.72	磯戸 祐子	池田工	1:07.80	白鳥 香織	伊那北	1:07.95
	200m	原 梢	長野日大	2:17.54	倉島 百恵	長野西	2:21.09	伊部 典子	飯田	2:28.08	小西 香苗	県ヶ丘	2:31.77	相嶋 乃弥	佐久	2:36.02	新村 美香	諏訪実業	2:37.33
	400m	原 梢	長野日大	4:53.30	森口 久枝	諏訪実業	4:53.63	倉島 百恵	長野西	5:00.48	田中 聡美	佐久	5:09.57	木下美津保	飯田女子	5:32.73	西澤夕里香	田川	5:37.60
	800m	森口 久枝	諏訪実業	10:02.22	田中 聡美	佐久	10:40.77	木下美津保	飯田女子	11:28.31	向山 久美	伊那北	11:43.96	河野 穂高	長野日大	12:08.59	宮島 早代	上田	12:14.83
平 泳	100m	品田 理絵	長野日大	1:22.35	義家理佐子	長野商	1:24.17	林部 園子	長野日大	1:24.50	林重 紀子	長野	1:27.09	栗山 由梨	長野	1:27.62	大島 美保	風越	1:27.77
	200m	品田 理絵	長野日大	2:53.32	林部 園子	長野日大	3:01.49	小林 和泉	文大長野	3:06.27	島山 味加	佐久	3:06.96	平林真佐美	大町北	3:07.12	大島 美保	風越	3:07.58
背 泳	100m	熊谷しのぶ	飯田女子	1:13.61	安藤 美理	長野日大	1:14.05	水岸 教子	諏訪二業	1:15.07	宮沢 麻希	長野商	1:17.70	牧内 久子	風越	1:17.78	平林 明子	松南	1:18.80
	200m	熊谷しのぶ	飯田女子	2:38.19	安藤 美理	長野日大	2:43.51	水岸 教子	諏訪二業	2:45.02	平林 明子	松商	2:52.85	宮沢 麻希	長野商	2:50.25	財津 友希	松商	2:52.85
バ ト フ ラ イ	100m	木村 愛	美須ヶ丘	1:15.18	神沢 緑	諏訪二業	1:18.95	栗田千恵子	長野日大	1:21.25	宮下 広子	染谷丘	1:21.33	片倉 綾	諏訪二業	1:22.97	林 実和	佐久	1:23.90
	200m	神沢 緑	諏訪二業	3:00.15	栗田千恵子	長野日大	3:02.32	鎌倉 文絵	茅野	3:12.75	金子 智江	佐久	3:17.70						
個 人 メ ド	200m	小平 香織	東海大三	2:34.45	花岡その子	諏訪二業	2:42.27	小林 千鶴	佐久	2:49.04	赤羽 有香	深志	2:54.48	小西 香苗	県ヶ丘	2:55.64	松村 和泉	長野	2:56.32
	400m	小平 香織	東海大三	5:28.80	花岡その子	諏訪二業	5:43.36	小林 千鶴	佐久	5:52.79	片倉 綾	諏訪二業	6:06.87	宮内 愛	飯田長郷	6:25.57	赤井美樹子	吉田	6:32.36
リ レ ー ク ラ ム	400m	原 安藤	長野日大	4:26.39	田中 聡美	佐久	4:36.39	水岸 教子	諏訪二業	4:38.63	新村 美香	諏訪実業	4:39.13	日誌 清香	長野	4:52.28	林部 園子	飯田	4:53.36
	800m	原 安藤	長野日大	8:52.78	田中 聡美	佐久	9:07.78	水岸 教子	諏訪二業	9:17.27	新村 美香	諏訪実業	9:22.27	日誌 清香	長野	9:37.27	林部 園子	飯田	9:42.36
メ ド レ ー ク ラ ム	400m	安藤 美理	長野日大	4:56.60	水岸 教子	諏訪二業	5:05.75	吉田 高山	佐久	5:14.61	内田 淳子	長野	5:23.00	関谷 美緒	染谷丘	5:28.47	新村 美香	諏訪実業	5:32.81
	総合順位		長野日大	120	佐久		83	諏訪二業		76	諏訪実業		38	深志		26	飯田女子		26

平成5年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自由形	50m	嶋爪 俊成	東海大第三	県高大会新 25.02	丸山 淳	伊那北	26.12	増田 真治	佐久	26.24	嶋本 大介	諏訪二業	26.49	宮沢 正史	長野日大	26.64	飯田 宏	須賀	26.87
	100m	嶋爪 俊成	東海大第三	県高大会新 55.14	宮沢 正史	長野日大	56.80	増田 真治	佐久	56.88	丸山 純	伊那北	57.12	小林 幸人	長野日大	57.65	嶋本 大介	諏訪二業	58.42
	200m	武井 公徳	飯田長郷	2:04.91	植木 拓磨	須賀	2:05.97	小林 幸人	長野日大	2:06.16	小林 義則	中野西	2:07.91	小平 裕一	岡谷工業	2:08.93	藤本 智敏	東海大第三	2:09.72
	400m	植木 拓磨	須賀	4:26.06	丹下 康章	岡谷工業	4:29.13	小林 義則	中野西	4:33.76	藤本 智敏	東海大第三	4:33.79	小平 裕一	岡谷工業	4:39.21	誠倉 裕一	須賀	4:40.68
	1500m	丹下 康章	岡谷工業	17:45.89	伊藤 悦郎	飯田長郷	18:57.34	嶋田 大成	長野日大	19:13.29	和田 泉	長野日大	19:24.87	米窪 雅居	塩尻	19:26.14	誠倉 裕一	須賀	19:35.89
平泳	100m	海野 裕紀	長野日大	1:12.10	杉田 修一	大町	1:12.19	平林 貴宏	大町北	1:12.26	岸田 俊也	諏訪二業	1:12.89	由井 朋晃	佐久	1:14.43	宮坂 晋平	東海大第三	1:14.52
	200m	海野 裕紀	長野日大	2:33.97	杉田 修一	大町	2:38.43	岸田 俊也	諏訪二業	2:39.89	平林 貴宏	大町北	2:40.24	宮坂 晋平	東海大第三	2:42.83	由井 朋晃	佐久	2:42.98
背泳	100m	宮坂 貴之	東海大第三	県高大会新 1:02.20	横井 正典	佐久	1:04.85	北林 保	飯田	1:04.95	宮崎新太郎	須賀	1:06.92	田中 秀美	大町北	1:08.14	関 武郎	長野工業	1:08.42
	200m	宮坂 貴之	東海大第三	大 2:15.80	北林 保	飯田	大 2:18.69	宮崎新太郎	須賀	2:26.27	横井 正典	佐久	2:28.73	田中 秀美	大町北	2:29.31	関 武郎	長野工業	2:31.13
バタフライ	100m	小坂 貴之	大町	1:00.77	丸田誠一郎	長野日大	1:00.83	竹田 正樹	長野日大	1:02.22	宮島 大助	飯田長郷	1:02.54	小山 裕松	代	1:02.79	林 健太郎	岡谷南	1:03.75
	200m	林 健太郎	岡谷南	2:21.39	宮島 大助	飯田長郷	2:22.52	竹田 正樹	長野日大	2:23.04	井出 聖久	佐久	2:26.57	相澤 周平	佐久	2:28.64	柴崎 勉	上田染谷丘	2:28.90
個人メドレー	200m	小平 順一	岡谷工業	県高大会新 2:18.37	宮沢伸太郎	赤穂	2:20.72	河野 隆孝	長野日大	2:23.80	北川原竜太	長野日大	2:24.45	小松 孝行	松本県ヶ丘	2:30.61	船崎 昌幸	東海大第三	2:31.70
	400m	小坂 寛之	大町	大会新 4:56.65	丸田誠一郎	長野日大	大 4:59.20	小平 順一	岡谷工業	5:06.09	北川原竜太	長野日大	5:07.97	宮沢伸太郎	赤穂	5:15.04	丸山 雅朗	松本県ヶ丘	5:16.77
リレー	400m	丸田・宮沢 和田・小林	長野日大	県高大会新 3:48.24	藤本・三橋 嶋爪・宮坂	東海大第三	県高大会新 3:48.42	片岡・舟本 井出・増田	佐久	3:55.21	山本・宮崎 嶋木・飯田	須賀	3:55.49	金原・小坂 杉田・矢島	大町	4:02.39	玉井・西沢 宮下・井上	上田	4:03.71
	800m	丸田・小林 和田・宮沢	長野日大	大会新 8:24.49	小平・丹下 小平・野明	岡谷工業	8:39.10	山本・宮崎 嶋木・飯田	須賀	8:41.14	藤本・三橋 嶋爪・宮坂	東海大第三	8:45.63	武井・宮島 伊藤・原	飯田長郷	8:55.67	片岡・増田 保村・舟本	佐久	9:02.44
	400m メドレー	河野・海野 丸田・宮沢	長野日大	大会新 4:14.27	宮坂・宮坂 嶋爪・藤本	東海大第三	4:17.17	横井・由井 相澤・増田	佐久	4:21.94	金原・杉田 小坂・矢島	大町	4:28.45	宮崎・嶋木 飯田・山本	須賀	4:29.26	丹下・小平 野明・小平	岡谷工業	4:30.11
総合順位	長野日大	145点	東海大第三	91点	佐久	78点	須賀	67点	岡谷工業	57点	大町	52点							

平成5年度 長野県高等学校体育大会

女子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自由形	50m	山崎 瑞恵	佐久	大会新 29.06	原 奈緒子	松本深志	大会新 29.87	林那 園子	長野日大	大会新 30.11	前田さやか	白馬	30.77	白鳥 香織	伊那北	31.03	日詰 清香	長野	31.04
	100m	原 奈緒子	松本深志	1:04.94	山崎 瑞恵	佐久	1:05.06	林那 園子	長野日大	1:05.38	松本 文	諏訪二業	1:06.26	平林真佐美	大町北	1:07.38	前田さやか	白馬	1:08.30
	200m	原 栞	長野日大	県高大会新 2:15.97	瀬戸 祐子	池田工業	2:23.49	宮沢真知子	須賀	2:26.78	田中 聡美	佐久	2:26.86	平林真佐美	大町北	2:27.68	老野 順子	田川	2:23.51
	400m	渡辺 浩恵	長野日大	大会新 4:47.83	花岡その子	諏訪二業	4:53.59	瀬戸 祐子	池田工業	5:08.64	木下美津保	飯田女子	5:18.86	北林 美奈	飯田女子	5:31.40	西澤夕里香	田川	5:32.72
	800m	渡辺 浩恵	長野日大	9:57.4	花岡その子	諏訪二業	10:05.0	田中 聡美	佐久	10:55.5	木下美津保	飯田女子	11:10.7	北林 美奈	飯田女子	11:34.6	向山 久美	伊那北	11:59.0
平泳	100m	品田 理恵	長野日大	大会新 1:17.52	小池 律子	野沢北	大会新 1:17.83	浅川 和与	松本深志	1:24.50	高橋 恵美	佐久	1:25.25	轟山 味加	佐久	1:26.10	薬山 由梨	長野	1:28.45
	200m	品田 理恵	長野日大	2:50.89	小池 律子	野沢北	2:53.82	轟山 味加	佐久	3:04.30	浅川 和与	松本深志	3:06.11	大島 美保	飯田風越	3:06.49	唐澤 和子	伊那赤生丘	3:08.53
背泳	100m	保坂真理子	伊那西	県高大会新 1:07.72	小松 陽子	伊那赤生丘	1:11.12	勝田 香織	長野日大	1:13.01	安藤 英里	長野日大	1:14.34	遠藤 亜紀	大町	1:14.69	笠原 祐子	諏訪二業	1:14.86
	200m	保坂真理子	伊那西	県高大会新 2:24.33	勝田 香織	長野日大	2:37.35	佐々木 瞳	岩村田	2:37.99	小松 陽子	伊那赤生丘	2:29.30	遠藤 亜紀	大町	2:39.70	安藤 英里	長野日大	2:39.84
バタフライ	100m	原 栞	長野日大	1:08.84	向山 恭子	東海大第三	1:09.41	宮沢 麻希	長野商業	1:13.83	木村 愛	美須ヶ丘	1:14.00	花岡 岳美	松本深志	1:14.38	小林 千鶴	佐久	1:16.88
	200m	向山 恭子	東海大第三	2:31.13	片倉 綾	諏訪二業	2:49.74	木村 愛	美須ヶ丘	2:50.79	松本 文	諏訪二業	2:52.90	下川 祥子	長野南	2:56.65	小市 暁子	飯田	3:01.28
個人メドレー	200m	小平 香織	東海大第三	大会新 2:34.35	近江 陽子	長野日大	2:37.64	田村 千晶	岡谷東	2:41.38	赤羽 有香	松本深志	2:44.77	山田 鞠子	飯田	2:50.39	田村 美紀	飯田長郷	2:55.08
	400m	小平 香織	東海大第三	大会新 5:24.76	近江 陽子	長野日大	5:35.78	田村 千晶	岡谷東	5:42.59	小林 千鶴	佐久	5:52.08	山田 鞠子	飯田	6:08.05	中野恵津子	伊那西	6:41.42
リレー	400m	原・渡辺 勝田・林那	長野日大	県高大会新 4:17.80	松本・笠原 片倉・花岡	諏訪二業	4:30.79	田中・吉田 小林・山崎	佐久	4:35.30	湯沢・小市 山田・山田	飯田	4:45.47	向山・小平 久保・白木	東海大第三	4:46.00	林・藤森 原田・田中	岡谷南	4:42.17
	400m メドレー	勝田・品田 原・渡辺	長野日大	大会新 4:46.09	田中・高橋 小林・山崎	佐久	5:08.96	水原・片倉 松本・花岡	諏訪二業	5:11.67	小平・久保 向山・白木	東海大第三	5:16.94	赤羽・浅川 原・樋口	松本深志	5:24.10	小市・林 山田・山田	飯田	5:25.73
総合順位	長野日大	129	佐久	79点	諏訪二業	65点	東海大第三	49点	松本深志	39点	飯田	28点							

平成6年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自由形	50m	橋爪 俊成	東海大三	25.14	橋井 正典	佐久	25.72	宮沢 正史	長野日大	26.36	笠原 裕矢	東海大三	26.42	藤本 智敬	東海大三	26.60	小山 勝章	長野日大	26.73
	100m	橋爪 俊成	東海大三	55.27	宮沢 正史	長野日大	56.60	藤本 智敬	東海大三	58.17	小山 勝章	長野日大	58.22	井出 正寛	岩村田	58.58	横内 拓磨	佐久	58.62
	200m	小林 隼人	長野日大	大会新 2:01.71	宮崎新太郎	須坂	2:02.69	武井 公徳	飯田長郷	2:04.49	井出 正寛	岩村田	2:09.32	佐々木裕二	駒ヶ根工	2:10.83	荒深 誠司	県ヶ丘	2:11.82
	400m	小林 隼人	長野日大	大会新 4:19.19	植木 拓磨	須坂	4:26.92	武井 公徳	飯田長郷	4:28.67	和田 泉	長野日大	4:32.49	城倉 裕一	須坂	4:43.45	小山 剛史	田川	4:47.57
	1500m	植木 拓磨	須坂	17:42.99	和田 泉	長野日大	18:45.72	山本 圭二	長野工業	19:06.97	小山 剛史	田川	19:08.56	米隆 雅居	塩尻	19:25.97	丸山 秀之	豊科	19:34.20
平泳	100m	岸田 俊也	諏訪二業	大会新 1:09.48	北川原竜大	長野日大	1:11.79	平林 貴宏	大町北	1:12.42	由井 朋晃	佐久	1:12.83	羽生田秀高	長野	1:13.30	杉田 修一	大町	1:13.35
	200m	岸田 俊也	諏訪二業	大会新 2:31.73	北川原竜大	長野日大	2:35.50	平林 貴宏	大町北	2:38.92	由井 朋晃	佐久	2:39.70	杉田 修一	大町	2:40.10	磯井 智範	長野日大	2:41.73
背泳	100m	清水 悟	長野日大	大会新 1:01.35	黒沢 晃弘	佐久	大会新 1:01.54	丹下 智幸	諏訪二業	1:02.41	河野 隆孝	長野日大	1:03.98	池上 裕士	伊那北	1:04.25	橋井 正典	佐久	1:05.48
	200m	丹下 智幸	諏訪二業	大会新 2:12.51	黒沢 晃弘	佐久	大会新 2:14.49	清水 悟	長野日大	大会新 2:14.60	池上 裕士	伊那北	2:21.05	河野 隆孝	長野日大	2:21.88	田中 秀英	大町北	2:28.18
バタフライ	100m	小山 裕松	代	大会新 59.56	宮島 大助	飯田長郷	大会新 1:00.21	笠原 裕矢	東海大三	1:01.08	宮沢伸太郎	赤穂	1:01.36	竹田 正樹	長野日大	1:01.57	井出 聖久	佐久	1:04.33
	200m	小山 裕松	代	2:17.16	竹田 正樹	長野日大	2:18.77	宮島 大助	飯田長郷	2:18.87	野明 正教	岡谷工業	2:23.62	宮沢伸太郎	赤穂	2:23.76	相沢 周平	佐久	2:26.15
個人メド	200m	小坂 寛之	大町	大会新 2:15.55	嶺村 直毅	南安農	2:24.86	丸山 雅朗	蝶ヶ崎	2:24.93	藤森 和彦	東海大三	2:33.38	羽生田秀高	長野	2:34.48	宮沢賢一郎	野沢北	2:27.25
	400m	小坂 寛之	大町	大会新 4:53.56	大田 雅朗	蝶ヶ崎	5:05.95	嶺村 直毅	南安農	5:17.44	藤森 和彦	東海大三	5:27.80	金木 祥紀	長野南	5:35.24	坂井 崇也	佐久	5:45.03
リレー	400m	小林・和田 清水・宮沢	長野日大	大会新 3:45.84	橋井・井出 植木・増田	佐久	3:53.54	笠原・飯田 藤本・橋爪	東海大三	3:53.79	宮崎・城倉 橋本・黒岩	須坂	4:00.34	春日・関野 上・山本	長野工業	4:04.48	宮島・沢野 上野・武井	飯田長郷	4:04.88
	800m	小林・和田 清水・宮沢	長野日大	大会新 8:24.14	宮崎・渡辺 植木・城倉	須坂	8:34.63	笠原・藤森 橋本・藤本	東海大三	8:35.63	井出・片桐 横内・増田	佐久	9:04.43	宮島・沢野 上野・武井	飯田長郷	9:14.56	春原・関野 上・山本	長野工業	9:23.81
リレー	400m メドレー	清水・北川 竹田・宮沢	長野日大	大会新 4:09.68	黒沢・由井 相沢・増田	佐久	4:15.44	金原・杉田 小坂・矢島	大町	4:20.17	藤本・橋爪 笠原・飯田	東海大三	4:23.59	宮崎・玉井 渡辺・城倉	須坂	4:36.50	川尻・横田 山田・藤	飯田	4:41.51
総合順位		長野日大	150点	佐久	89点	東海大三	81点	須坂	62点	飯田長郷	39点	大町	39点						

平成6年度 長野県高等学校体育大会

女子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自由形	50m	藤本 文香	東海大三	大会新 28.54	武土 真弓	屋代	大会新 28.74	小松 陽子	弥生ヶ丘	29.49	山崎 瑞恵	佐久	29.70	古土 愛子	上田	30.43	林 枝実子	佐久	30.69
	100m	武土 真弓	屋代	大会新 1:02.64	原 梢	長野日大	1:02.76	花岡 岳美	松本筑摩	1:05.27	宮沢真知子	須坂	1:06.04	山崎 瑞恵	佐久	1:06.33	小松 永	松本深志	1:07.34
	200m	原 梢	長野日大	2:17.50	松木 文	諏訪二業	2:21.60	藤戸 祐子	池田工業	2:25.33	小松 永	松本深志	2:26.51	米川 麻衣	長野日大	2:26.95	平林真佳美	大町北	2:29.50
	400m	太田さきり	東海大三	4:48.18	渡辺 浩恵	長野日大	4:50.55	松木 文	諏訪二業	5:01.72	田中 聡美	佐久	5:02.92	古藤 裕巳	塩尻	5:08.47	藤戸 祐子	池田工業	5:13.55
	800m	太田さきり	東海大三	9:47.77	渡辺 浩恵	長野日大	10:05.44	田中 聡美	佐久	10:23.00	古藤 裕巳	塩尻	10:45.23	宮沢真知子	須坂	10:56.45	向山 久美	伊那北	11:33.81
平泳	100m	小池 律子	野沢北	1:18.68	品田 理絵	長野日大	1:19.32	井上 由香	屋代	1:19.84	坂田 友美	中野西	1:22.54	大塚 玲子	車月	1:24.83	高橋 恵美	佐久	1:25.06
	200m	井上 由香	屋代	大会新 2:48.06	品田 理絵	長野日大	2:49.96	小池 律子	野沢北	2:54.14	高橋 恵美	佐久	3:00.08	林 聖矢子	赤穂	3:03.52	大塚 玲子	車月	3:04.00
背泳	100m	保坂真理子	伊那西	大会新 1:06.86	藤本 文香	東海大三	1:08.63	小松 陽子	弥生ヶ丘	1:11.40	藤田 香織	長野日大	1:11.87	小坂 寛奈	豊科	1:13.70	佐々木 麗	岩村田	1:14.14
	200m	保坂真理子	伊那西	大会新 2:22.52	藤田 香織	長野日大	2:32.01	佐々木 麗	岩村田	2:36.72	小坂 寛奈	豊科	2:36.9	笠原 祐子	諏訪二業	2:41.98	遠藤 亜紀	大町	2:43.44
バタフライ	100m	向山 恭子	東海大三	1:08.82	花岡 岳美	松本筑摩	1:11.72	長沼あゆ美	飯田長郷	1:12.63	山田絵里子	飯田	1:15.71	宮沢 麻希	長野商業	1:15.77	小林由起子	須坂	1:17.35
	200m	向山 恭子	東海大三	2:34.32	長沼あゆ美	飯田長郷	2:43.36	片倉 綾	諏訪二業	2:53.00	下川 洋子	長野南	2:55.57	老野 順子	田川	3:17.96			
個人メド	200m	小平 香織	東海大三	2:34.49	近江 陽子	長野日大	2:37.71	田村 千晶	岡谷東	2:42.10	小林 千鶴	佐久	2:45.60	奥 和美	長野吉田	2:48.56	田村 美樹	飯田長郷	2:51.24
	400m	小平 香織	東海大三	大会新 5:24.41	田村 千晶	岡谷東	5:35.22	近江 陽子	長野日大	5:44.14	小林 千鶴	佐久	5:48.12	朝日智恵美	佐久	6:08.69	田村 美樹	飯田長郷	6:12.45
リレー	400m	太田・藤本 向山・小平	東海大三	4:18.33	藤田・渡辺 近江・原	長野日大	4:19.08	田中・朝日 林・山崎	佐久	4:27.89	笠原・山田 片倉・松木	諏訪二業	4:35.02	田中・長沼 田村・遠山	飯田長郷	4:36.80	武土・井上 小川・合津	屋代	4:43.84
	400m メドレー	藤田・品田 原・渡辺	長野日大	大会新 4:45.99	林・高橋 小林・山崎	佐久	5:05.27	田村・本島 長沼・田中	飯田長郷	5:07.83	小川・井上 武土・滝沢	屋代	5:12.64	笠原・藤森 片倉・松木	諏訪二業	5:18.03	小松・唐沢 吉村・平川	伊那南	5:20.88
総合順位		長野日大	104点	東海大三	79点	佐久	74点	諏訪二業	45点	屋代	45点	飯田長郷	40点						

平成7年度 長野県高等学校体育大会

男子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録															
自由形	50m	笠原 裕矢	東海大三	25.32	早田 和重	田川	25.52	池上 裕士	伊那北	25.53	横内 拓馬	佐久長型	26.06	金原 裕大	町	26.15	小山 勝章	長野日大	26.54
	100m	井出 正寛	岩村田	57.86	小山 勝章	長野日大	58.69	横内 拓馬	佐久長	58.80	木村 洋平	長野日大	58.93	下平 裕志	田川	59.73	清水 達朗	風越	1:00.55
	200m	小林 隼人	長野日大	2:04.06	宮崎新太郎	須坂	2:05.24	佐々木裕二	駒ヶ根	2:09.01	井出 正寛	岩村田	2:09.23	下平 裕志	田川	2:10.79	大村 洋平	長野日大	2:11.85
	400m	小林 隼人	長野日大	4:25.40	佐々木裕二	駒ヶ根	4:36.92	和田 忍	長野日大	4:45.78	黒岩 勇介	須坂	4:50.83	小林 尚也	長野日大	4:52.04	小山 剛史	田川	4:53.67
	1500m	和田 忍	長野日大	18:18.92	山本 圭二	長野工	19:20.00	丸山 秀之	豊科	19:22.37	市川 洋輔	長野工	19:27.21	小林 俊彦	佐久長型	19:35.11	北原 孝隆	岡谷工業	19:37.60
平泳	100m	岸田 俊也	諏訪二業	1:10.80	新井 邦宗	長野日大	1:13.78	小口 昭典	東海三業	1:13.94	横山 黄	東海三業	1:14.12	玉井 浩介	須坂	1:14.19	由井 朋生	佐久長型	1:14.82
	200m	岸田 俊也	諏訪二業	2:33.14	羽生田秀高	長野	2:38.75	蟹江 孝哉	諏訪二業	2:40.88	小口 昭典	東海三業	2:41.12	新井 邦宗	長野日大	2:41.36	横山 黄	東海大三	2:42.79
背泳	100m	清水 悟	長野日大	1:00.40	黒沢 晃弘	佐久長型	1:00.99	河野 隆幸	長野日大	1:03.90	池上 裕士	伊那北	1:04.18	伊東 章成	諏訪清陵	1:09.65	倉田 洋史	東海大三	1:09.79
	200m	黒沢 晃弘	佐久長型	2:09.76	清水 悟	長野日大	2:12.81	河野 隆幸	長野日大	2:22.50	倉田 洋史	東海三業	2:27.89	藤原 久田	川	2:36.21	伊東 章成	諏訪清陵	2:37.08
バタフライ	100m	早田 和重	田川	59.11	竹田 正樹	長野日大	1:02.12	大畑 滋矢	長野日大	1:05.64	矢田 直也	伊那北	1:06.02	相澤 周平	佐久長型	1:07.21	永井 克仁	東海大三	1:08.08
	200m	竹田 正樹	長野日大	2:23.58	相澤 周平	佐久長型	2:32.71	笠原 健	須ノ井	2:34.42	永井 克仁	東海三業	2:36.25	向山 知成	伊那北	2:48.45	宮下 勝彦	長野南	2:01.84
個人メド	200m	丹下 智幸	諏訪二業	2:19.20	丸山 雅朗	駒ヶ根	2:23.31	横村 直毅	南安農	2:26.23	松澤 啓之	伊那北	2:29.16	小松 孝行	黒ヶ丘	2:30.86	鈴木 達成	北部	2:31.49
	400m	丹下 智幸	諏訪二業	4:52.68	丸山 雅朗	駒ヶ根	5:08.47	横村 直毅	南安農	5:15.19	藤森 和彦	東海三業	5:16.29	小松 孝行	黒ヶ丘	5:22.12	松澤 啓之	伊那北	5:23.46
リレー	400m	清水・小山・大村・小林	長野日大	3:54.54	笠原・小口・倉田・藤森	東海大三	4:04.44	飯倉・宮崎・黒沢・渡辺	須坂	4:04.81	黒沢・相沢・由井・横内	佐久長型	4:05.72	北原・清水・米倉・飯沢	岡谷工業	4:07.55	藤原・桑原・小山・下平	田川	4:09.32
	800m	清水・和田・大村・小林	長野日大	8:42.42	早田・野口・小山・下平	田川	9:03.30	宮崎・飯倉・黒沢・渡辺	須坂	9:05.79	藤森・小口・倉田・飯沢	東海三業	9:08.39	北原・木倉・飯沢・清水	岡谷工業	9:20.17	黒沢・小林・由井・横内	佐久長型	9:20.73
1メドレー	400m	清水・新井・竹田・小林	長野日大	4:14.62	黒沢・由井・相沢・横内	佐久長型	4:19.05	宮崎・玉井・飯倉・黒沢	須坂	4:34.80	池上・伊東・向山・池上	伊那北	4:36.08	藤原・野口・早田・下平	田川	4:42.54	丹下・蟹江・岸田・山田	諏訪二業	4:46.18
総合順位		長野日大	163	佐久長型	79	東海大三	74	田川	64	須坂	54	伊那北	46						

平成7年度 長野県高等学校体育大会

女子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自由形	50m	藤本 文香	東海三	鼎高大会新 27.80	武士 真弓	屋代	鼎高大会新 28.26	林 枝実子	佐久長	29.09	島田 里美	更級農	49.45	木下 夏絵	風越	30.23	山崎 夏枝	千曲	30.32
	100m	武士 真弓	屋代	1:02.96	島田 里美	更級農	1:04.94	林 枝実子	佐久長	1:05.81	木下 夏絵	風越	1:06.64	高橋 緑	諏訪二	1:07.78	丸山 春香	松商	1:08.20
	200m	長沼有希子	飯田女	2:20.33	吉江 貴子	東海三	2:24.70	松本 文	諏訪二	2:24.86	小松 永輝	志	2:25.59	高橋 緑	諏訪二	2:28.22	宮沢真知子	須坂	2:28.99
	400m	太田さきり	東海三	4:48.75	渡辺 浩恵	長野日	4:49.04	長沼有希子	飯田女	4:59.64	吉江 貴子	東海三	5:01.01	米川 麻衣	長野日	5:01.81	松本 文	諏訪二	5:03.68
	800m	太田さきり	東海三	9:47.78	渡辺 浩恵	長野日	10:00.90	米川 麻衣	長野日	10:21.89	滝沢 隼	長野日	10:24.35	若林加奈恵	佐久長	10:56.74	吉田いづみ	更級農	11:03.45
平泳	100m	井上 由香	屋代	1:19.21	坂田 友美	中野西	1:20.19	高橋 恵美	佐久長	1:25.54	荒井多栄子	中野西	1:26.68	林 聖矢子	赤穂	1:26.94	高山志穂美	長野日	1:27.56
	200m	井上 由香	屋代	2:48.79	坂田 友美	中野西	2:56.11	高橋 恵美	佐久長	3:03.09	荒井多栄子	中野西	3:04.63	高山志穂美	長野日	3:07.14	林 聖矢子	赤穂	3:07.27
背泳	100m	藤本 文香	東海三	1:09.34	勝田 香織	長野日	1:11.46	小坂 寛奈	豊科	1:12.28	小松 陽子	弥生丘	1:12.92	勝野 美美	木曾	1:14.22	小林 千夏	長野日	1:14.33
	200m	勝田 香織	長野日	2:34.48	小坂 寛奈	豊科	2:36.35	小松 陽子	弥生丘	2:36.72	佐々木 謙	岩村田	2:38.47	小林 千夏	長野日	2:39.81	塚田 奈穂	須坂	2:48.50
バタフライ	100m	向山 恭子	東海三	1:10.14	酒井 圭子	須ノ井	1:11.87	長沼あゆみ	飯田原	1:16.39	小林由起子	須坂	1:18.59	老野 順子	田川	1:18.84	春日 綾	弥生丘	1:20.71
	200m	向山 恭子	東海三	2:39.87	酒井 圭子	須ノ井	2:42.96	長沼あゆみ	飯田原	2:48.60	小林由起子	須坂	2:53.80	春日 綾	弥生丘	3:01.25	老野 順子	田川	3:09.50
個人メド	200m	保坂真理子	伊那西	大会新 2:29.54	久保田あかね	風越	2:36.36	田村 千晶	岡谷東	2:37.43	近江 陽子	長野日	2:42.91	朝日智恵美	佐久長	2:46.51	山田 純子	飯田	2:48.02
	400m	保坂真理子	伊那西	県高大会新 5:13.65	久保田あかね	風越	5:32.67	近江 陽子	長野日	5:37.64	田村 千晶	岡谷東	5:38.61	奥田やよい	飯田女	5:55.43	朝日智恵美	佐久長	5:56.22
リレー	400m	吉恵・太田・向山・藤木	東海大三	4:20.10	勝田・近江・滝沢・渡辺	長野日大	4:26.89	朝日・岩井・若林・林	佐久長型	4:32.85	高橋・山田・守屋・松木	諏訪二業	4:33.35	宮沢・井土・塚田・鈴木	須坂	4:33.60	久保田・林・吉川・木下	飯田風越	4:46.80
	800m																		
1メドレー	400m	藤本・太田・向山・吉江	東海大三	4:46.39	勝田・近江・渡辺・米川	長野日大	4:50.58	塚田・宮沢・小林・鈴木	須坂	5:06.29	堀竹・吉川・久保田・木下	飯田風越	5:11.87	林・高橋・朝日・岩井	佐久長型	5:12.02	小松・松下・春日・平川	伊那北	5:14.75
総合順位		長野日大	99	東海大三	92	佐久長型	69	須坂	40	飯田風越	39	諏訪二業	35						

平成 8 年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

種目	順位	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			第 6 位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自 由 形	50m	笠原 裕矢	東海大三	26.07	小口 昭典	東海大三	26.39	池上 裕士	伊那北	26.66	田中 慎一	佐久長型	26.77	前田 大白	馬	26.84	大畑 源矢	長野日大	26.92
	100m	笠原 裕矢	東海大三	57.23	佐々木裕二	駒根工	57.41	中村 真悟	佐久長型	57.51	井出 正寛	岩村田	57.84	大村 洋平	長野日大	58.01	田中 慎一	佐久長型	58.07
	200m	横村 直毅	南安農	2:03.91	中村 真悟	佐久長型	2:04.59	佐々木裕二	駒根工	2:04.62	大村 洋平	長野日大	2:06.67	小林 尚也	長野日大	2:16.33	木之下 貴	岡谷工業	2:17.24
	400m	大工原 克	佐久長型	4:23.37	和田 忍	長野日大	4:28.14	小林 俊彦	佐久長型	4:35.11	河野 裕光	長野日大	4:38.36	大嶋 崇也	上 田	4:47.45	宮澤 誠	中 桑	4:49.96
	1500m	大工原 克	佐久長型	大会新 17:20.31	和田 忍	長野日大	17:42.74	小林 俊彦	佐久長型	17:55.86	河野 裕光	長野日大	18:24.68	丸山 秀之	豊 科	18:58.92	大嶋 崇也	上 田	19:09.77
平 泳	100m	羽生田秀高	長 野	1:10.27	横山 貴	東海大三	1:12.41	青木 佑太	佐久長型	1:12.44	長坂 孝彦	長野専	1:13.25	松崎 祥史	長野日大	1:13.66	金丸 京平	伊那北	1:15.66
	200m	羽生田秀高	長 野	2:33.30	横山 貴	東海大三	2:38.79	新井 邦宗	長野日大	2:41.21	長坂 孝彦	長野専	2:41.52	松崎 祥史	長野日大	2:44.73	荒井 友希	上 田	2:46.39
背 泳	100m	黒沢 晃弘	佐久長型	大会新 1:00.02	清水 悟	長野日大	1:01.60	池上 裕士	伊那北	1:03.44	倉田 祥史	東海大三	1:07.72	伊藤 康弘	風 越	1:08.16	伊藤 章成	諏訪清陵	1:08.54
	200m	黒沢 晃弘	佐久長型	大会新 2:09.72	清水 悟	長野日大	2:16.41	倉田 祥史	東海大三	2:25.77	伊藤 康弘	風 越	2:25.86	松本 俊之	諏訪二業	2:29.99	小川 清光	東 部	2:30.51
バ ト フ ラ イ	100m	早田 和重	田 川	58.89	鈴木 達也	北 部	1:02.58	大畑 源矢	長野日大	1:03.66	笠原 健	藤ノ井	1:05.32	矢田 直也	伊那北	1:05.55	清水 克郎	岡谷工業	1:05.67
	200m	早田 和重	田 川	大会新 2:15.79	新井 邦宗	長野日大	2:23.52	鈴木 達也	北 部	2:25.81	笠原 健	藤ノ井	2:28.64	矢田 直也	伊那北	2:29.75	永井 克仁	東海大三	2:31.06
個 人 メ ド	200m	丹下 智之	諏訪二業	県新大会新 2:10.04	松沢 啓之	伊那北	2:24.07	藤森 和彦	東海大三	2:27.65	二木 俊也	長野日大	2:33.75	塩原 基史	筑 摩	2:36.39	渡辺 靖之	須 坂	2:37.54
	400m	丹下 智之	諏訪二業	4:40.63	横村 直毅	南安農	5:13.30	藤森 和彦	東海大三	5:13.70	松沢 啓之	伊那北	5:14.27	渡辺 靖之	須 坂	5:48.03	臼井 智治	鳥ヶ丘	5:51.75
リ レ	400m	黒沢・中村 大工原田中	佐久長型	3:48.75	清水・大村 河野・和田	長野日大	3:53.22	藤森・笠原 横山・小口	東海大三	4:02.95	早田・野口 武居・小山	田 川	4:04.82	池上・池上 松沢・矢田	伊那北	4:06.08	野上・坂田 市川・春原	長野工業	4:10.32
	800m	中村・小林 田中大工原	佐久長型	8:25.11	和田・清水 河野・大村	長野日大	8:35.98	小口・笠原 倉田・藤森	東海大三	8:57.19	早田・野口 武居・小山	田 川	9:04.90	池上・池上 向山・松沢	伊那北	9:15.12	木之下 貴 門田・清水	岡谷工業	9:18.43
メ ド レ ー 400m	清水・松崎 大畑・和田	長野日大	4:12.51	黒沢・青木 伏見・田中	佐久長型	4:15.19	倉田・横山 永井・笠原	東海大三	4:23.61	池上・伊藤 矢田・松沢	伊那北	4:28.76	伊藤・鈴木 清水・熊谷	飯田風越	4:37.34	門田木之下 藤澤・清水	岡谷工業	4:43.29	
総合順位		長野日大		131点	佐久長型		121点	東海大三		113点	伊那北		62点	田 川		36点	岡谷工業		29点

平成 8 年度 長野県高等学校総合体育大会

女子

種目	順位	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			第 6 位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自 由 形	50m	藤本 文香	東海大三	28.28	古川由香里	長野日大	28.86	丸山 絵里	長野日大	29.64	木下 夏絵	風 越	29.72	大嶋 香織	須 坂	29.74	島田 里美	更 級 農	29.86
	100m	藤本 文香	東海大三	1:00.69	古川由香里	長野日大	1:02.79	林 枝実子	佐久長型	1:02.89	丸山 絵里	長野日大	1:03.23	朝日智恵美	佐久長型	1:04.27	島田 里美	更 級 農	1:04.78
	200m	長沼有希子	飯田 女	2:16.39	林 枝実子	佐久長型	2:16.87	吉江 貴子	東海大三	2:17.03	秋田 瞳	下伊 農	2:18.10	朝日智恵美	佐久長型	2:19.76	林実 鈴	佐久長型	2:26.31
	400m	大田さきり	東海大三	県高大会新 4:39.01	吉江 貴子	東海大三	4:49.30	滝沢 瞳	長野日大	4:51.63	長沼有希子	飯田 女	4:55.85	米川 麻衣	長野日大	5:01.86	林実 鈴	佐久長型	5:11.76
	800m	大田さきり	東海大三	大会新 9:38.29	滝沢 瞳	長野日大	10:03.19	米川 麻衣	長野日大	10:13.59	倉澤 佳那	大町北	10:38.20	佐藤 奈穂	佐久長型	10:43.09	倉持加奈子	佐久長型	10:49.23
平 泳	100m	井上 由香	屋 代	1:19.79	渡邊自帆子	長野日大	1:21.02	坂田 友美	中野西	1:23.50	清水 智香	諏訪二業	1:24.83	松下 美紀	弥 生	1:25.78	本島 房子	飯田長崎	1:25.93
	200m	井上 由香	屋 代	2:47.38	渡邊自帆子	長野日大	2:56.97	新井多栄子	中野西	2:03.28	山岸由佳里	吉 田	3:05.17	高山志穂美	長野日大	3:05.92	山崎 由佳	染谷 丘	3:06.99
背 泳	100m	藤森 順子	長野日大	1:12.78	小林 千夏	長野日大	1:12.78	小坂 寛香	豊 科	1:13.18	中山 理香	佐久長型	1:13.75	老野智江子	鳥ヶ丘	1:17.14	勝田 沙織	文 大	1:18.31
	200m	藤森 順子	長野日大	2:28.58	中山 理香	佐久長型	2:34.38	小坂 寛香	豊 科	2:37.64	小林 千夏	長野日大	2:38.18	塚田 奈穂	須 坂	2:47.47	丸山 恵子	豊 科	2:49.06
バ ト フ ラ イ	100m	大宮めぐみ	佐久長型	1:07.44	黒岩 梓	佐久長型	1:08.00	但馬由佳里	佐久長型	1:10.13	酒井 圭子	藤ノ井	1:10.24	長沼あゆ美	飯田長崎	1:13.39	小林由起子	須 坂	1:16.72
	200m	黒岩 梓	佐久長型	2:30.16	但馬由佳里	佐久長型	2:37.71	大宮めぐみ	佐久長型	2:38.08	酒井 圭子	藤ノ井	2:39.11	長沼あゆ美	飯田長崎	2:46.43	春日 融	弥 生	2:49.99
個 人 メ ド	200m	久保田あかほ	風 越	2:32.98	下山 悦子	長野日大	2:35.93	野口 佳那	伊那北	2:48.70	高橋 緑	諏訪二業	2:48.74	奥田やよい	飯田 女	2:51.82	鈴木久美子	須 坂	2:52.35
	400m	久保田あかほ	風 越	5:23.25	下山 悦子	長野日大	5:30.23	高橋 緑	諏訪二業	5:57.49	野口 佳那	伊那北	6:02.33	清水 鮎美	鳥ヶ丘	6:50.74			
リ レ	400m	藤森・丸山 古川・栗川	長野日大	4:14.76	朝日・大宮 黒岩・林	佐久長型	4:20.01	吉江・大田 三村・藤本	東海大三	4:29.05	塚田・上野 鈴木・大嶋	須 坂	4:32.58	林・堀竹 久保田木下	飯田風越	4:40.72	高橋・藤森 清水・守屋	諏訪二業	4:41.22
	800m																		
メ ド レ ー 400m	藤森・渡辺 滝沢・丸山	長野日大	4:46.18	藤本・宮坂 大田・吉江	東海大三	4:53.55	堀竹・田切 久保田木下	飯田風越	5:13.55	塚田・森川 小林・大嶋	須 坂	5:14.00	藤森・清水 守屋・高橋	諏訪二業	5:16.95	下嶋・松下 春日・平川	伊那弥生	5:23.79	
総合順位		長野日大		141点	佐久長型		107点	東海大三		71点	飯田風越		41点	須 坂		38点	諏訪二業		31点

平成9年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自 由 形	50m	前田 大白	馬	25.84	土屋 秀彰	佐久長型	26.15	下平 裕志	田川	26.38	伊藤 真人	長野東	26.45	松崎 祥史	長野日大	26.54	中村 公治	諏訪二業	26.71
	100m	土屋 秀彰	佐久長型	57.14	中村 真悟	佐久長型	57.18	前田 大白	馬	57.63	大村 洋平	長野日大	58.61	熊谷 智史	飯田風	58.63	小林 義典	中野西	58.65
	200m	大工原 克	佐久長型	大会新 2:00.26	中村 真悟	佐久長型	2:06.17	大村 洋平	長野日大	2:09.79	平野 直樹	下伊農	2:09.82	市川 洋輔	長野工	2:12.77	宮澤 誠	中条	2:13.40
	400m	伊原 裕貴	飯田	大会新 4:11.84	大工原 克	佐久長型	大会新 4:12.12	清水 淳一	佐久長型	4:19.52	和田 忍	長野日大	4:23.82	河野 裕亮	長野日大	4:30.51	小林 俊彦	佐久長型	4:32.09
	1500m	伊原 裕貴	飯田	大会新 16:48.90	清水 淳一	佐久長型	大会新 17:01.50	小林 俊彦	佐久長型	17:34.18	和田 忍	長野日大	17:50.21	河野 裕亮	長野日大	18:01.51	飯澤 直也	岡谷工業	18:34.54
平 泳	100m	黒沢 真朗	佐久長型	大会新 1:07.76	青木 佑太	佐久長型	1:10.21	天満 宏	東海大三	1:10.24	横山 貴	東海大三	1:11.32	新井 邦宗	長野日大	1:11.84	笠井 浩直	屋代	1:12.24
	200m	黒沢 真朗	佐久長型	大会新 2:29.09	天満 宏	東海大三	大会新 2:29.33	新井 邦宗	長野日大	2:38.16	横山 貴	東海大三	2:39.19	青木 佑太	佐久長型	2:39.62	笠井 浩直	屋代	2:40.07
背 泳	100m	竹内 聖也	佐久長型	1:04.51	伊藤 康弘	飯田風	1:04.74	桜井 勇介	佐久長型	1:05.24	北沢 克教	東海大三	1:05.58	倉田 祥史	東海大三	1:06.34	湯川 晋人	伊那北	1:07.51
	200m	伊藤 康弘	飯田風	2:19.68	竹内 聖也	佐久長型	2:20.17	桜井 勇介	佐久長型	2:20.24	倉田 祥史	東海大三	2:22.69	松木 俊之	諏訪二業	2:25.54	北沢 克教	東海大三	2:26.12
バ タ フ ラ イ	100m	鈴木 達也	北 部	1:01.39	永井 克仁	東海大三	1:03.07	関田 真幸	岡谷工業	1:03.82	伏見 大樹	佐久長型	1:03.91	平出 之則	大 町	1:04.11	向山 和成	伊那北	1:04.50
	200m	鈴木 達也	北 部	2:21.66	永井 克仁	東海大三	2:24.30	伏見 大樹	佐久長型	2:29.24	向山 和成	伊那北	2:33.39	原田 直	飯田	2:35.68	門田 真幸	岡谷工業	2:35.93
個 人 メ ド	200m	斉藤 拓	佐久長型	2:18.92	松澤 啓之	伊那北	2:23.53	赤羽慎寿之	佐久長型	2:26.61	旗村 美輝	大 町	2:27.52	高原 大和	県ヶ丘	2:28.67	北澤 翼	飯田	2:30.85
	400m	斉藤 拓	佐久長型	5:01.50	松澤 啓之	伊那北	5:06.38	赤羽慎寿之	佐久長型	5:09.84	旗村 美輝	大 町	5:11.29	小宮山 晋	上 田	5:31.84	浦沢 茂樹	県ヶ丘	5:37.34
リ レ	400m	中村・土屋 清水・小林	佐久長型	3:47.85	河野・大村 松崎・和田	長野日大	3:50.72	伊藤・山田 高橋・北澤	飯田	4:03.12	酒井・海谷 若林・大嶋	中野西	4:04.85	清水・天満 横山・倉田	東海大三	4:08.23	白井・高原 浦沢・田中	県ヶ丘	4:09.01
	800m	大工原 小工原 清水・中村	佐久長型	大会新 8:16.35	和田・河野 大村・新井	長野日大	8:33.10	北沢・中川 倉田・天満	東海大三	9:05.54	小宮山馬場 若林・大嶋	上 田	9:23.10	向山・向山 松澤・金丸	伊那北	9:28.47	飯澤・門田 木之下・飯上	岡谷工業	9:29.01
1 メ ド レ ー 400m	竹内・黒沢 斉藤・中村	佐久長型	4:14.39	河野・新井 和田・大村	長野日大	4:23.51	倉田・横山 永井・北澤	東海大三	4:26.32	伊原・北澤 原田・北澤	飯田	4:30.19	松澤・伊東 向山・金丸	伊那北	4:33.65	田中・高原 浦沢・白井	県ヶ丘	35.38	
総合順位	佐久長型	207点	長野日大	86点	東海大三	86点	飯田	48点	伊那北	38点	飯田風越	26点							

平成9年度 長野県高等学校総合体育大会

女子

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
自 由 形	50m	古川由香里	長野日大	28.98	丸山 絵里	長野日大	29.24	大嶋 香織	須 坂	29.56	清水 智香	諏訪二業	29.76	島田 里美	更 級 島	29.83	木下 夏絵	飯田風	30.51
	100m	丸山 絵里	長野日大	1:02.84	古川由香里	長野日大	1:03.02	大嶋 香織	須 坂	1:04.02	大村 莉恵	上田西	1:04.26	清水 智香	諏訪二業	1:05.52	林 実鈴	佐久長型	1:06.04
	200m	藤森 順子	長野日大	大会新 2:13.09	吉江 貴子	東海大三	大会新 2:13.12	長沼有希子	飯田女	2:19.68	林 実鈴	佐久長型	2:24.39	樋口恵利子	須 坂	2:26.27	太田 輝美	篠ノ井	2:26.52
	400m	藤森 順子	長野日大	4:40.10	吉江 貴子	東海大三	4:44.63	秋田 瞳	下伊農	4:46.30	長沼有希子	飯田女	4:50.26	滝沢 瞳	長野日大	4:50.61	大村 莉恵	上田西	4:52.76
	800m	秋田 瞳	下伊農	9:55.62	滝沢 瞳	長野日大	10:07.80	若林加奈恵	佐久長型	10:23.62	倉澤 佳那	大町北	10:27.32	佐藤 奈緒	佐久長型	10:44.46	守屋 美紀	諏訪二業	11:09.98
平 泳	100m	田中 美緒	佐久長型	大会新 1:16.96	渡辺白帆子	長野日大	1:23.22	山崎 由香	上田 栄	1:25.50	松下 美紀	伊那北	1:25.73	北村 幸恵	佐久長型	1:26.13	石原 志保	大 町	1:26.79
	200m	田中 美緒	佐久長型	大会新 2:46.77	渡辺白帆子	長野日大	2:55.16	山崎 由香	上田 栄	3:04.33	池田 佳織	野沢北	3:07.85	北村 幸恵	佐久長型	3:08.48	宮澤由希子	飯田	3:10.83
背 泳	100m	中山 理香	佐久長型	1:10.74	佐藤 祐子	須 坂	1:12.70	小林 千夏	長野日大	1:13.89	田中 理絵	須 坂 東	1:14.02	丸山 恵子	豊 科	1:15.92	老野智江子	県ヶ丘	1:16.02
	200m	中山 理香	佐久長型	2:31.66	田中 理絵	須 坂 東	2:37.21	佐藤 祐子	須 坂	2:40.36	丸山 恵子	豊 科	2:43.47	小林 千夏	長野日大	2:46.53	宮坂 幸乃	岡谷東	2:50.96
バ タ フ ラ イ	100m	黒岩 梓	佐久長型	大会新 1:06.71	大宮めぐみ	佐久長型	1:07.60	酒井 圭子	篠ノ井	1:08.83	但馬由佳里	佐久長型	1:09.01	宮崎和歌子	中野西	1:10.78	春日 綾	伊那北	1:16.09
	200m	黒岩 梓	佐久長型	大会新 2:27.01	但馬由佳里	佐久長型	2:30.94	大宮めぐみ	佐久長型	2:34.25	酒井 圭子	篠ノ井	2:34.60	久保田あかね	飯田風	2:36.00	宮崎和歌子	中野西	2:39.08
個 人 メ ド	200m	下山 悦子	長野日大	2:33.93	野口 佳那	伊那北	2:46.06	小林 世実	文 大 長	2:46.57	矢島加奈子	美 須 *	2:55.90	三宅 智美	上田 栄	2:56.02	笹原 麻里	串 月	3:00.90
	400m	下山 悦子	長野日大	5:18.05	野口 佳那	伊那北	5:56.65	原 江利子	大町北	6:13.08									
リ レ	400m	丸山・古川 滝沢・藤森	長野日大	大会新 4:11.36	佐藤・樋口 上野・大嶋	須 坂	4:24.57	青沼・林 若井・若林	佐久長型	4:26.11	木下・関竹 寺久保田	飯田 越	4:35.03	吉江・小平 竹内・伊東	東海大三	4:41.25	小林・池田 神林・宮崎	中野西	4:45.39
	800m																		
1 メ ド レ ー 400m	中山・田中 但馬・黒岩	佐久長型	大会新 4:38.84	藤森・渡辺 滝沢・古川	長野日大	大会新 4:40.02	樋口・鈴木 佐藤・大嶋	須 坂	5:08.96	関竹・田切 寺久保木下	風 越	5:14.81	神林・森 宮崎・小林	中野西	5:15.60	下嶋・松下 春日・白鳥	伊那北	5:15.79	
総合順位	佐久長型	134点	長野日大	127点	須 坂	59点	東海大三	30点	飯田風越	27	中野西	22点							

16 サ ッ カ ー

県高体連50年の後半は、登録加盟校数が80校を越し（現在88校）大所帯の専門部となり発展期から充実期を迎えています。この間に専門委員長も江尻耕導先生（昭和48年～62年現屋代高校、飯島秀明先生（昭和63年～平成5年現上田東高校）平成6年度から現在の私唐澤へと変わりました。元、前委員長には、現在の充実期を迎えたサッカー専門部の土台を作っていただき感謝申し上げます。

〈総合体育大会について〉

昭和50年代から60年代にかけては、中信地区対東信地区の図式が強く、県大会の優勝校も東信の上田東、上田の伝統校、中信地区の松本県ヶ丘、松本深志の伝統校に豊科、田川といった新興勢力などが代わる代わる勝ちどころが勝ち上がるのか本当に混戦の時期でした。しかし、この二地区の争いの中、昭和61年には北信から久しぶりに長野が県制覇をなしとげ増々混戦の様相を呈しました。平成に入ると私立校の躍進が目立ち、その先陣は松商学園でした。平成元年からの6連破は過去に例がなく偉業といえます。しかし、それを止めたチームも私立の信州工業であり、私立上位の展開がここ数年であり、それは各地区も同様で北信の長野日大、東信の上田西、南信の東海大第三等が最近は地区を引っばっている現状です。公立校の奮起を期待するところです。ここ数年の代表校は全国大会でも初戦は必ず突破ベスト8までもう少しの戦いをするようになり今後期待するもの大といった感じがします。

〈新人大会について〉

東北信、中南信ブロックに別れ一回戦から準々決勝まで行った昭和63年までと現在のよう
に全県オープン型の、各地区間の差は少々あるものの、それぞれの地区から優勝校が出ています。総体でまだ一度も優勝経験のない南信地区も昭和58年の伊那北、59年飯田風越平成6、8年の東海大第三と優勝をし次年度の活躍が期待されましたが、「新人大会優勝校は総体に勝て

ない。」といったジンクスのようなものがあり壁に突き当たっています。しかしそんなジンクスも平成4年に松商学園が解決してくれました新たな出発点となりました。

新人大会も次につながる大会があれば盛上がりもちがうかなと感じています。

〈大会運営等〉

総体の会場は長野インターハイ以後大町市のサッカー場をお借りし平成9年まで行なってきました。芝のグラウンドの少ない長野県としては大変にありがたく感謝する次第です。子供達に芝でのゲームをが今も専門部の程題となっています。

役員についても各校の顧問の先生方の協力により組織作りも着々と進み、専門部の役員だけでなく大会運営に多くの先生方が参加していただけるようになった事も先輩の先生方のお力があつたからこそと思います。これからももっともっと強い長野県になっていくものと思います。

〈今後期待するもの〉

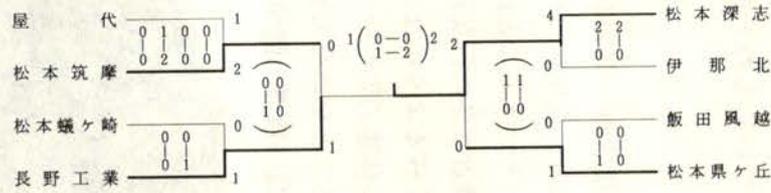
総体、新人大会と選手権大会（県高体連共催）の3大会を行っています。全国につながる総体、選手権大会でベスト8へ入ることはそう遠いとは思わない。特に最近冬に行なわれる選手権大会に3年生が多く残るようになり結果も現れ出しています。県高体連50周年を一つの節目として大きく飛躍することを期待します。

（専門委員長 唐澤 陽司）



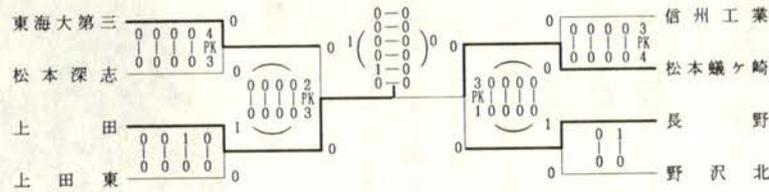
昭和62年度 長野県高等学校総合体育大会

男子



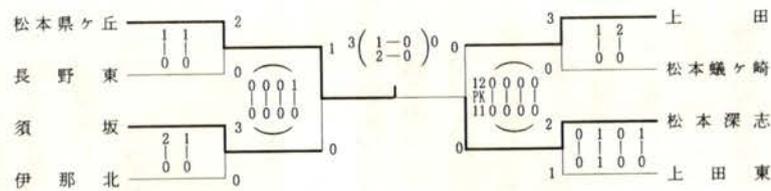
長野県高等学校新人体育大会

男子



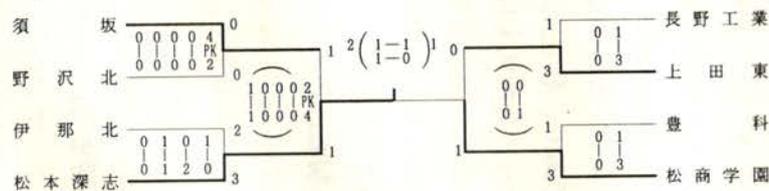
昭和63年度 長野県高等学校総合体育大会

男子



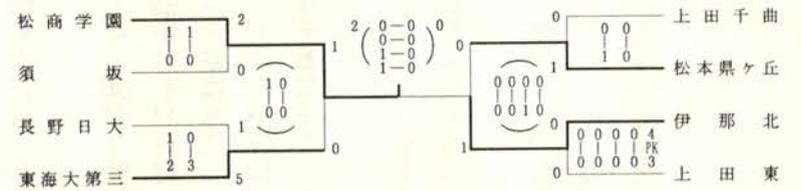
長野県高等学校新人体育大会

男子



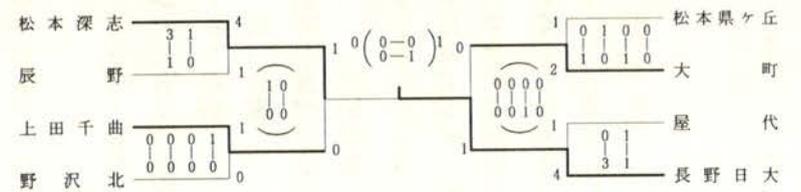
平成元年度 長野県高等学校総合体育大会

男子



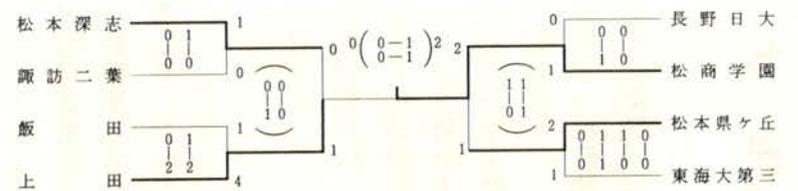
長野県高等学校新人体育大会

男子



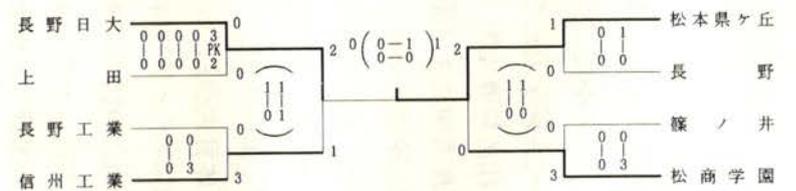
平成2年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

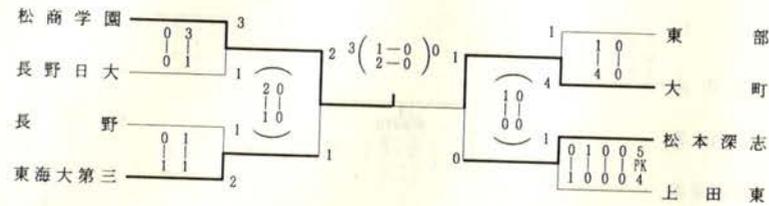


長野県高等学校新人体育大会

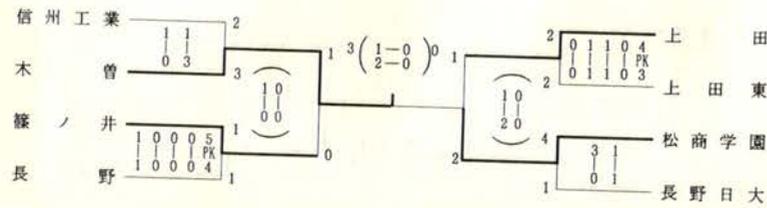
男子



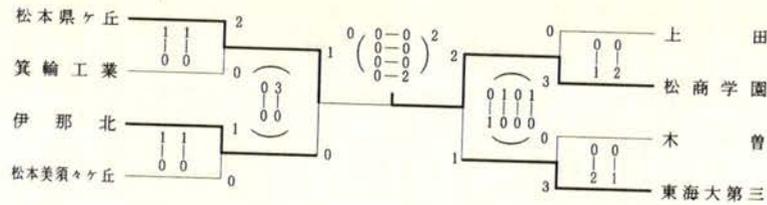
平成3年度 長野県高等学校総合体育大会
男子



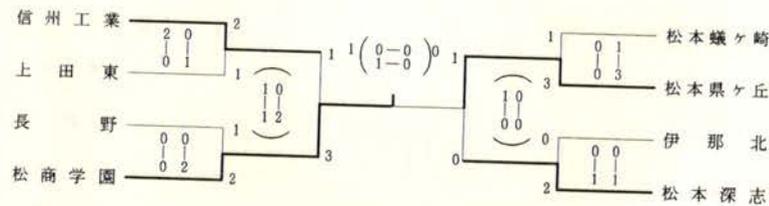
長野県高等学校新人体育大会
男子



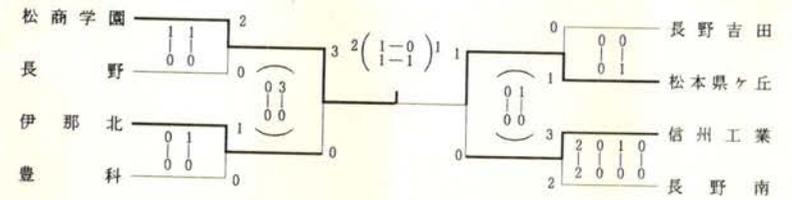
平成4年度 長野県高等学校総合体育大会
男子



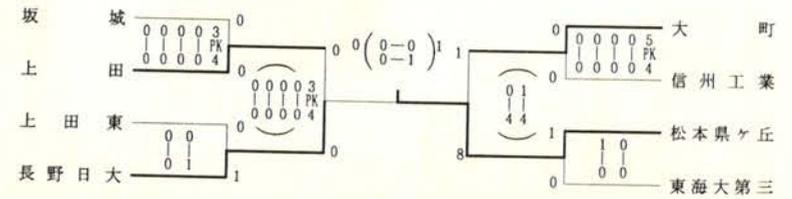
長野県高等学校新人体育大会
男子



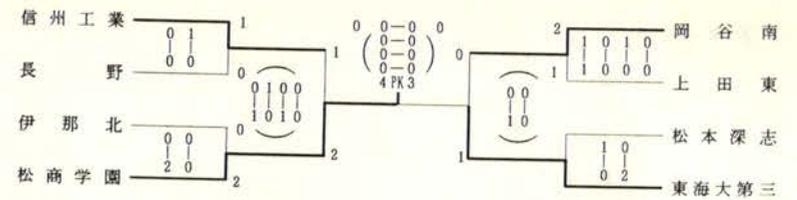
平成5年度 長野県高等学校総合体育大会
男子



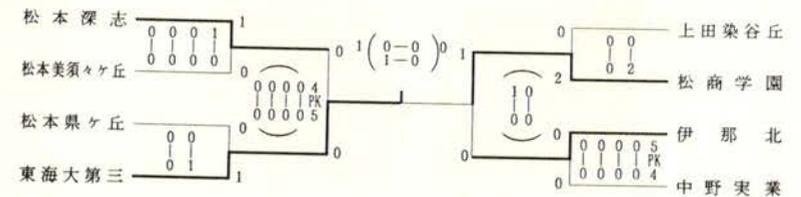
長野県高等学校新人体育大会
男子



平成6年度 長野県高等学校総合体育大会
男子

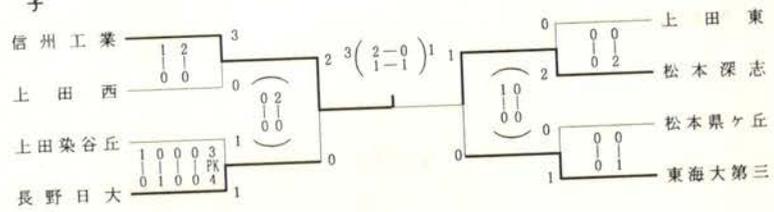


長野県高等学校新人体育大会
男子



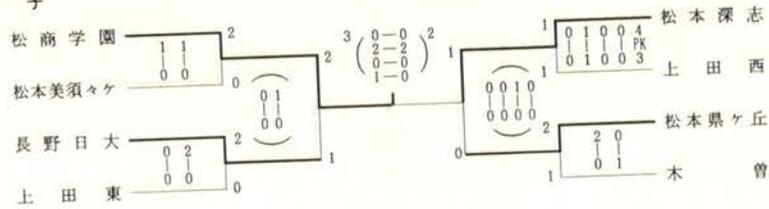
平成7年度 長野県高等学校総合体育大会

男子



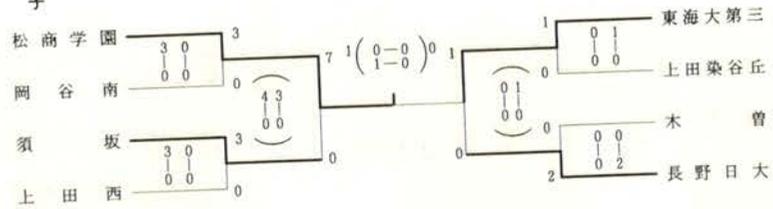
長野県高等学校新人体育大会

男子



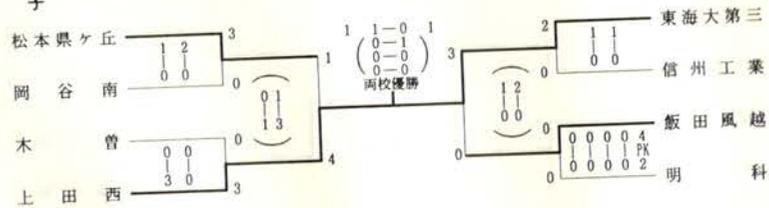
平成8年度 長野県高等学校総合体育大会

男子



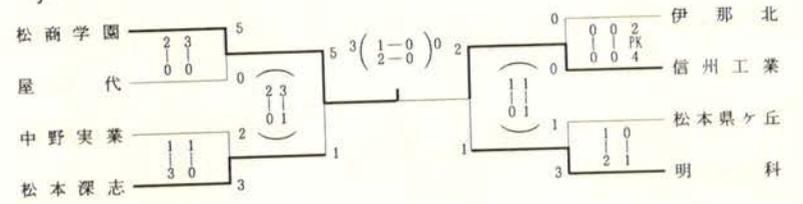
長野県高等学校新人体育大会

男子



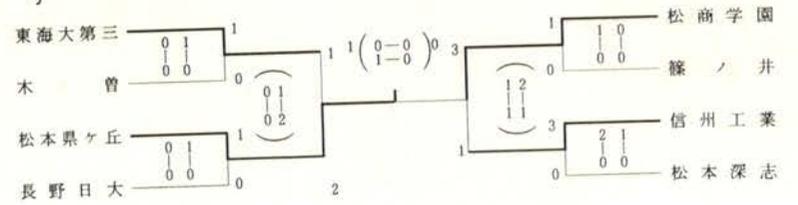
平成9年度 長野県高等学校総合体育大会

男子



長野県高等学校新人体育大会

男子



17 ラグビー

創設期 昭和22年に長野県ラグビーフットボール協会が発足し、高等学校において活動が開始されたのが昭和24年だった。この年飯田にラグビー部ができ、翌25年には下伊那農・県ヶ丘・長野北（現長野）・松本市立（現美須々）が活動を開始した。そしてこの年から県大会が開始され、最初の優勝校は県ヶ丘であった。この中で美須々は数年後に活動を停止したが、残りの4校は（長野は途中休部の時期があったが）現在でも伝統校として活動を続けている。

成長・発展期 昭和30年代から40年代前半にかけてが県高校ラグビーが最初の成果を上げた時期といえる。昭和33年の飯田の全国大会初出場に始まり、45年の下伊那農までの間、飯田が3回、下伊那農が4回、長姫が1回と一県一校になる前の段階としては全国大会出場がこの時期に集中している、特筆すべきは、昭和43年の下伊那農の全国大会ベスト8である。

また、この間に多くの高校で部が創設され発展に寄与した。富士見・伊那北・前出の飯田長姫・天竜・飯田工・岡谷工・長野工がそれであり、現在でもこの中のチームの多くが実力校として活躍している。

混戦から2強対立期 昭和40年代後半から50年代初頭にかけては毎年優勝校が変わる戦国時代の様相を呈した。また、静岡県が力をつけてきたことにより全国大会の予選信静大会においては昭和46年から12年間も負け続け、昭和55年の記念大会など以外では全国大会に出場できなかった。しかし、この頃から伝統校下伊那農と実力校岡谷工との2強時代が始まったといえる。下伊那農は昭和53年に8年ぶりに優勝し、この年行われたやまびこ国体の中心チームとして活躍した。その後昭和58年まで6連覇を果たしその間全国大会に3回出場した。その中でも特筆されるのは昭和56年の滋賀国体出場、57年には14年ぶりになる全国大会一回戦突破、58年のこれも14年ぶりになる静岡に勝っての全国大会出場があげられる。続く昭和59年から全国大会が一県一校になり信静大会がなくなった。そしてこの年から岡谷工の連覇が始まり、インターハイ予選においては現在まで14年連続優勝

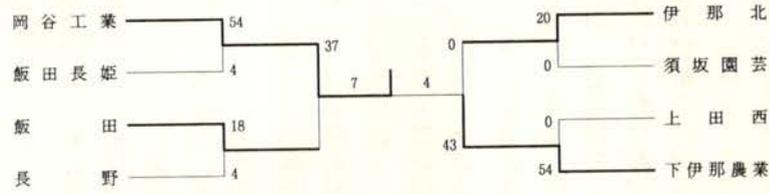
している。この間、飯田が2回、長野が3回決勝に進んでいるが、結果としては岡谷工と下伊那農の2校の間で決勝戦が行われ2強時代を築いていた。その岡谷工の14連覇の中で特筆されるのが、中心チームとして参加した平成4年のやまがた国体と平成5年の東四国国体での2年連続準優勝と、11年の間県下で圧倒的な強さで勝ち続け110連勝以上の記録を作ったことである。また全国大会ではほとんどが一回戦を突破。ベスト16のチームと二回戦で同点で、惜しくも抽選で三回戦に進出できなかった年もある。北信越大会では昭和61年から平成9年の12年の中で一回の準優勝を除き、残り11回をブロック優勝し、全国レベルのチームとしてその名を知られるようになった。この間、箕輪工・須坂園芸・長野南・大町・上田西・須坂・中野実が相次いで創部し県大会出場を果たした。この中で特筆されるのは、大町と長野南が創部数年で県大会でベスト4になったことである。

三校県立戦国時代 平成8年の新人大会で飯田が11年ぶりに優勝。その年のインターハイ予選では準決勝において飯田と下伊那農が同点抽選。平成9年度の新人大会準決勝では下伊那農が14年ぶりに岡谷工に勝ち決勝進出。この事からいえるように岡谷工・下伊那農の対決に飯田が加わり、過去の県大会優勝回数が多い3校による三巴の展開が今後行われると予想される。

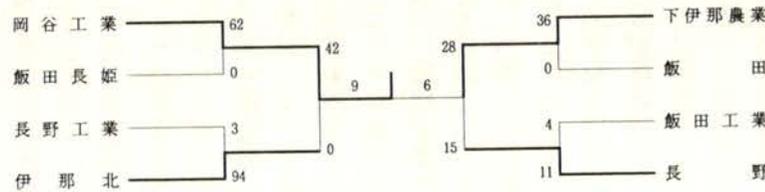
今後の課題 一時県大会が14・15チームの出場で実施できていたが、ここ数年部員の減少による大会不参加および廃部が多くなり、特に新人大会においてはそれが顕著に現れている。平成9年の新人大会は15人揃うチームが7チームにまで減ってしまった。各大会において7人制の試合を実施するなど鋭意努力はしているが今後が心配である。また、昭和60年代の前半までに創部した特に中北信地区のチームの多くが廃部や廃部の危機に直面している。全県的な生徒減に伴う部員不足と、県下における南北問題（南信地区のチームが常時ベスト4を占め、中北信が多くチーム減になっている）の解決が急務だと考える。

（専門委員長 小沢 健）

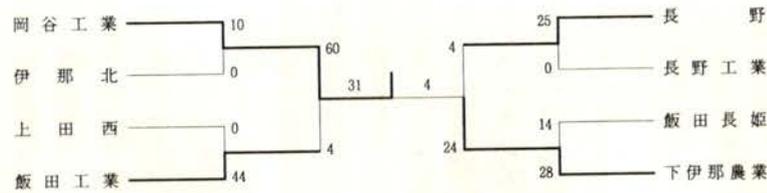
昭和62年度 長野県高等学校総合体育大会



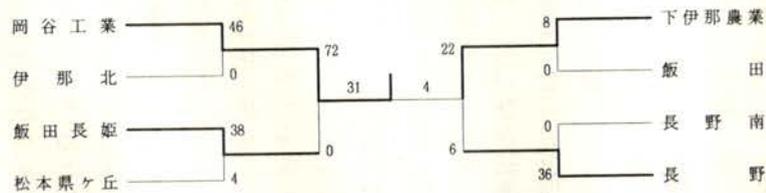
長野県高等学校新人体育大会



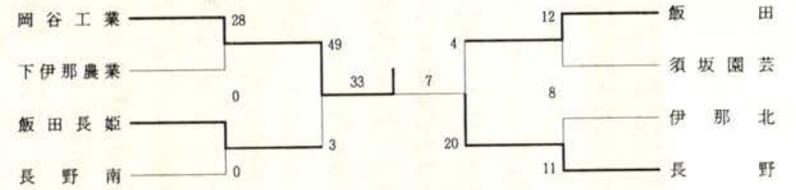
昭和63年度 長野県高等学校総合体育大会



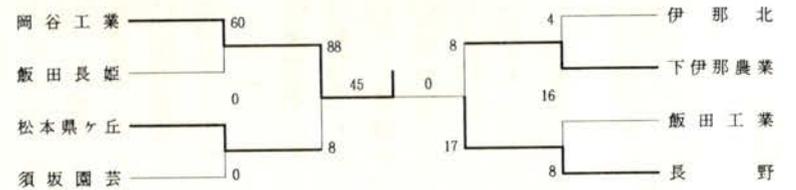
長野県高等学校新人体育大会



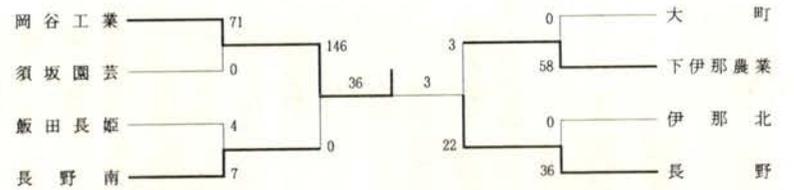
平成元年度 長野県高等学校総合体育大会



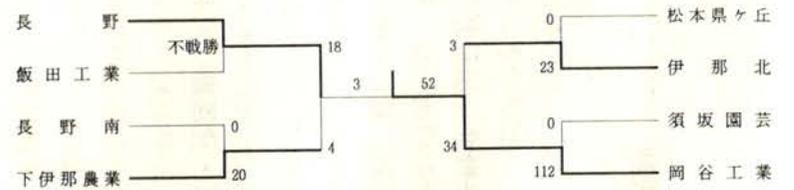
長野県高等学校新人体育大会



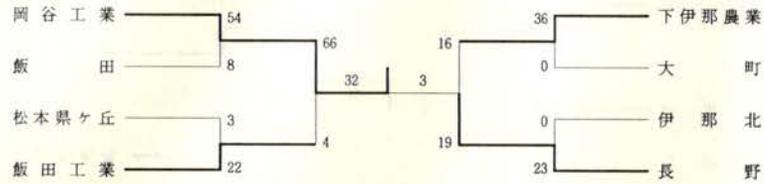
平成2年度 長野県高等学校総合体育大会



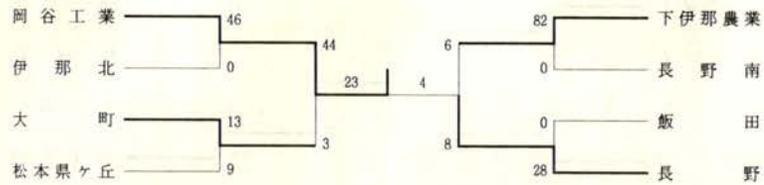
長野県高等学校新人体育大会



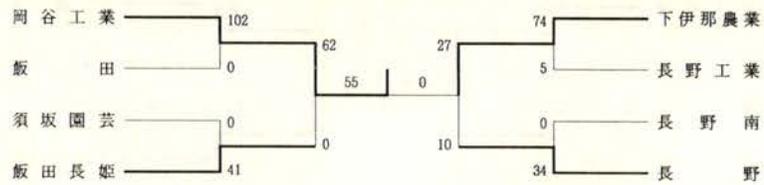
平成3年度 長野県高等学校総合体育大会



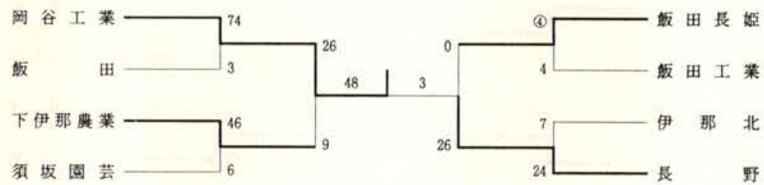
長野県高等学校新人体育大会



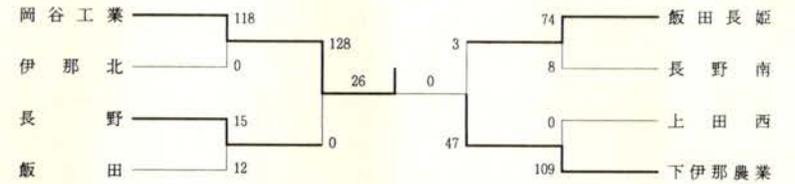
平成4年度 長野県高等学校総合体育大会



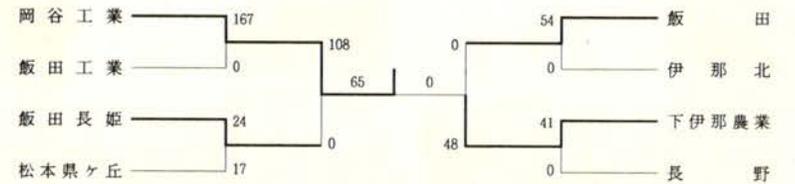
長野県高等学校新人体育大会



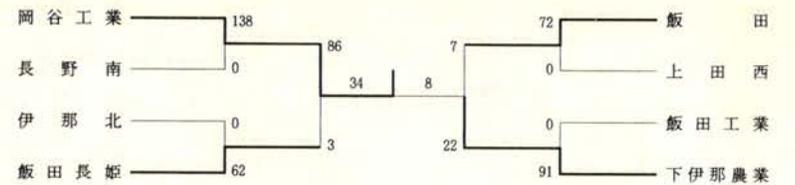
平成5年度 長野県高等学校総合体育大会



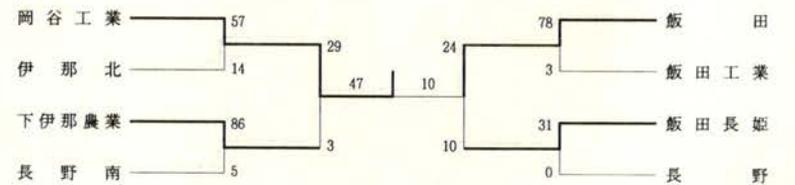
長野県高等学校新人体育大会



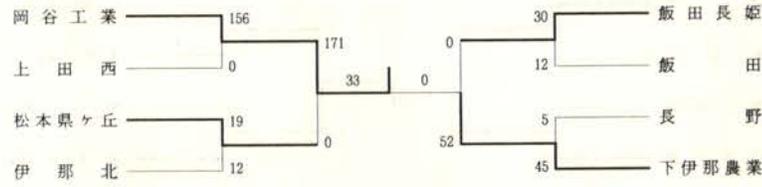
平成6年度 長野県高等学校総合体育大会



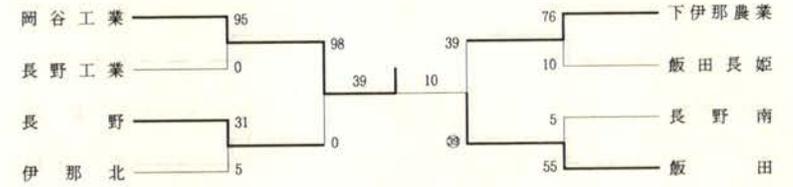
長野県高等学校新人体育大会



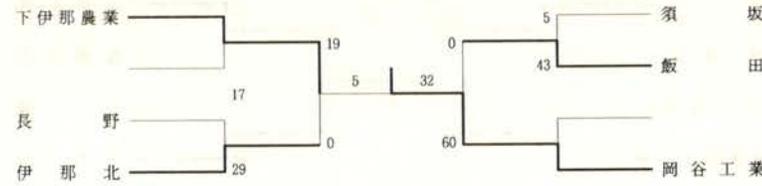
平成7年度 長野県高等学校総合体育大会



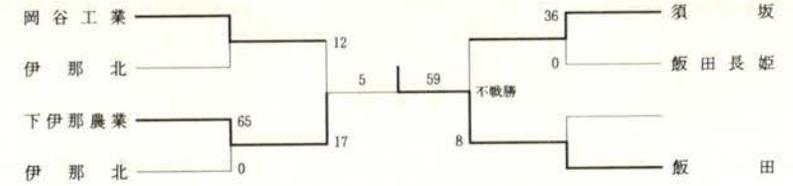
平成9年度 長野県高等学校総合体育大会



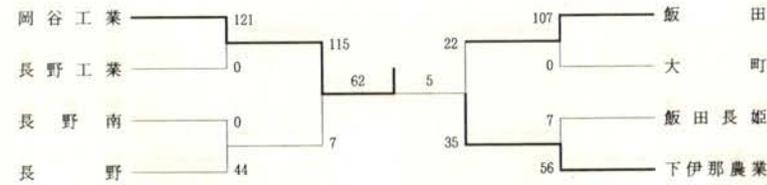
長野県高等学校新人体育大会



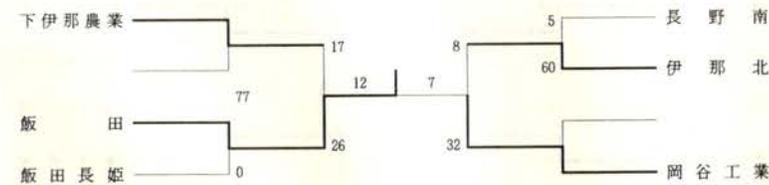
長野県高等学校新人体育大会



平成8年度 長野県高等学校総合体育大会



長野県高等学校新人体育大会



18 ス ケ ー ト

本年は高体連発足50周年を迎える節目に当たり、記念すべき年に凶らずもスケート専門委員長の責を担うことになりました。もとより、微力ではありますが皆様方のご協力をお願いしたいと思います。

本県のスピードスケートは、伝統校がそれぞれ全国優勝を遂げているが、中でも特筆すべきは南佐久実業高校の輝かしい足跡があります。当時クラブを指導された井出宗雄監督の好指導を上げねばなりません。

スケートの練習が冬季に重点が置かれがちであったことは当然であります。先生は夏季練習を重視され従来のスケート・トレーニングに対する考え方を改革され、そこに30年代を勝ち抜いた所以があり、実に総合9連覇につながりました。

さて、スケート界も1972年には第11回札幌冬季大会を開催しておりますが、この期を前後して北海道勢が盛り上がり、選手にたいする強化策も実り、スピード長野の、かつての黄金時代がすっかり北海道勢へとバトンタッチされたかのような感があり、特に短距離勢の力の差が顕著にみられました。

わが長野県にも冬季オリンピックをの願いは古く1940年と68年に過去2回の招致を志しましたが県民の合意を得る事ができず断念をした経過があります。しかしその夢は消えることなく85年には三たび大きな声となり第18回冬季大会開催地として招致を決議しました。それが1991年6月にはイギリス・バーミンガムで開かれたIOCの総会で長野市が第18回冬季オリンピック競技大会の開催地として正式に決定され、93年には祭典の第2幕である第7回のパラリンピック長野大会も決定しております。両大会開催に伴う楽しい盛り上がりの中で「長野で日の丸を」と長野県スケート連盟によるオリンピック特別強化対策が検討され、長野県体育協会の中に専任コーチ（宮坂雅昭氏）を派遣しジュニア勢の強化態勢も整えられました。予算面でも

大変であったと思われませんが、1年を2シーズンに分割し、夏場にも氷上練習を取り入れられるという画期的な発想があり、幸いこの時期に滑走可能なリンクをもつ第15回オリンピック開催会場であるカナダ・カルガリーでの合宿練習がジュニアの高校生選手諸君にも取り入れられその成果が着実にあらわれてきました。

昭和62年以降の県勢の活躍をみると、男子学校対抗では昭和55年岡谷南高校総合優勝以来久々に佐久長聖高校の学校対抗総合3連覇（平成5年～7年）を成し遂げ、実に13年ぶりであり、これまで北海道勢の強さに押されがちであったが、かつてのスピード長野復活を感じさせた。一方女子に至っては総合3位に入ることさえ難しい状況が続きましたが、第45回全国高校総体での東海大三高校の活躍があって久しぶりに総合3位の成績を収め、平成8年度第46回大会では外ノ池・安田両選手の活躍により、第15回大会の南佐久実業高校以来実に31年ぶりの総合優勝に沸いた。ふりかえてみると、昭和62年度3000mの菊池美千子（小海）が浅間選抜競技会・昭和63年度33回県総体では、1500mの堀内佳子（諏訪二葉）が日本高校新記録を樹立し、同年全国高校総体でも、1000mで上原美枝（諏訪清陵）が、1500mで堀内佳子（諏訪二葉）が優勝しスピード長野の展望もあかるくなった。年号が平成に変わり元年度県高校総体では佐久高校が伝統校を押しつけて学校対抗で男子総合で初優勝・女子は2位となる活躍が光った。平成2年度は全体的に1年生の活躍が目立ったが全国高校大会では清水美映（松本深志）の1500m・3000mの2冠の活躍は立派であった。平成3年は全体に選手のレベルアップがみられ、全国高校総体でも久々に男子500mで篠原浩一郎（小海）が2位に入賞し、黒沢（佐久）野明（岡谷南）田中（東海大三）の中距離勢もよく健闘した。平成4年は長野オリンピック強化対策の成果もありこれまで北海道勢に圧倒されてきた県勢も活躍がみられて来た。

清水美映は1500m・3000mの2冠を果たし気をはいた。平成5年は県高校総体で男子総合5連勝中の佐久高校が全国高校総体スピード競技でも学校対抗で初優勝を遂げ、昭和55年度の第30回大会優勝の岡谷南高校以来13年ぶりの大健闘があった。平成6年は県高校総体スピード競技女子総合で東海大三高校が初優勝を飾り、佐久・東海大三高校の時代が到来したと言える。平成7年は全国高校総体のスピード競技男子学校対抗で佐久長聖が3連覇を達成した。県勢は各種目で活躍をみせ今井裕介が2種目・外ノ池亜希（東海大三）が2種目・新谷志保美（伊那北）が500mで、土橋貴子（佐久長聖）が3000mで勝ち、実に9種目中6種目に優勝する大活躍であった。平成8年は全国高校大会のスピード競技で男子総合3連勝中の佐久長聖は4位に後退したが、女子学校対抗で東海大三高校の初優勝は、第15回大会の南佐久実業以来31年ぶりの優勝であった。平成9年度は長野オリンピックの開催年である。県高校総体では男子総合得点で小海高校が佐久長聖の9連覇を阻み10年ぶりの総合優勝を果たした。全国高校大会では多くの選手が決勝進出を果たし、男子5種目32名・女子4種目30名であった。これは長野オリンピック強化策の成果であるといえよう。アイスホッケー競技は、昭和36年以来軽井沢高校のみであったが、平成7年に長野工業高校にチームが誕生し競技会が開催できるようになったことは喜ばしいことである。

フィギュア競技については依然として不振を続けているが、競技人口の拡大と選手諸君の精進に期待するものである。

スピードスケート世界ジュニア選手権大会日本代表選手氏名

昭和62年度 岩下清人（小海） 1500m
3位入賞

昭和63年度 土屋純二（軽井沢）・堀内佳子（諏訪二葉）
平成元年度 上原三枝（諏訪清陵）1500m
2位入賞 総合6位
平成2年度 野明弘幸（岡谷南） 総合4位・清水美映（松本深志）総合8位
平成3年度 野明弘幸（岡谷南） 総合2位・黒沢 誠（佐久）
平成4年度 野明弘幸（岡谷南） 500m
1位・清水美映（松本深志）総合2位
平成5年度 田中慎也（東海大三）
平成6年度 今井裕介（佐久長聖）総合3位・外ノ池亜希（東海大三）
平成7年度 今井裕介（佐久長聖）・外ノ池亜希（東海大三）
平成8年度 平田浩一（東海大三）・安田有希（東海大三）
平成9年度 篠原泰洋（小海）総合9位・野本 繁（小海）総合14位
冬季アジア大会参加選手（平成7年度）
今井裕介（佐久長聖）・外ノ池亜希（東海大三）・新谷志保美
今井裕介（佐久長聖）1000m・1500m2種目1位で金メダル
外ノ池亜希（東海大三）1000m・1500m2種目2位で銀メダル

なお今井・外ノ池は世界ジュニア選手権大会へも参加している。

平成8年度 外ノ池亜希（東海大三）ワールドカップ大会参加

（専門委員長 降旗教彦）

昭和62年度 第32回長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	佐藤 恒樹	軽井沢	39.25	渡辺 猛	佐久	39.81	高橋 朝行	小海	40.36	北原 優	岡谷南	40.52	真寿田聖也	岡谷南	40.65	土屋 泰仁	軽井沢	40.69
	1500m	荒井 律生	小海	2.02.62	佐藤 恒樹	軽井沢	2.03.15	鷹野 満	小海	2.05.60	渡辺 猛	佐久	2.05.85	北原 優	岡谷南	2.07.84	平出 博章	東海三	2.10.75
	5000m	岩下 清人	小海	7.25.34	小平 寛	岡谷南	7.34.21	土屋 純二	軽井沢	7.35.98	長田 博孝	東海三	7.47.05	荒井 律生	小海	7.48.08	西沢 剛	東海三	7.56.11
	10000m	岩下 清人	小海	15.13.25	土屋 純二	軽井沢	15.41.89	小平 寛	岡谷南	15.48.26	遠藤 亮治	佐久	15.55.44	長田 博孝	東海三	15.55.44	木下 泰一	岡谷南	16.32.36
	2000mR		岡谷南	2.38.27		軽井沢	2.40.54		小海	2.41.25		佐久	2.44.14		東海三	2.44.44		岡谷工	3.02.96
	学校対抗		小海	49点		岡谷南	40点		軽井沢	38点		佐久	24.5点		東海三	22.5点		岡谷工	3点
女子	500m	鶴田 一枝	小海	44.64	吉田 亜紀	野沢北	44.65	上原 三枝	諏訪清陵	45.16	北林みあき	諏訪二葉	45.47	山田美佐子	岡谷東	46.22	小池美佐子	諏訪二葉	46.27
	1000m	吉田 亜紀	野沢北	1.30.25	山本絵理子	軽井沢	1.30.69	鶴田 一枝	小海	1.31.52	上原 三枝	諏訪清陵	1.31.53	山田美佐子	岡谷東	1.32.75	小池美佐子	諏訪二葉	1.33.08
	1500m	菊池美千子	小海	2.18.69	堀内 佳子	諏訪二葉	2.19.36	原 享子	諏訪二葉	2.24.63	菊池 裕子	岡谷東	2.25.12	浅沼 佐千	野沢北	2.26.60	加藤 澄恵	野沢北	2.27.42
	3000m	菊池美千子	小海	4.42.46	堀内 佳子	諏訪二葉	4.51.41	浅沼 佐千	野沢北	5.01.77	菊池 裕子	岡谷東	5.04.77	竹内 久恵	諏訪二葉	5.11.82	加藤 澄恵	野沢北	5.11.99
	2000mR		諏訪二葉	3.02.19		野沢北	3.05.12												
	学校対抗		諏訪二葉	49点		野沢北	39点		小海	30点		岡谷東	20点		諏訪清陵	11点		軽井沢	10点

フィギュア競技

男子学校対抗 1位 下諏訪向陽 8点 女子学校対抗 1位 文大長野 8点 2位 長野西 7点
 個人成績 1位 徳嵩伸治(向陽) 個人成績 1位 山上ひとみ(文大長野) 2位 吉田千登勢(長野西)

昭和62年度 第8回長野県高等学校新人体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	真寿田聖也	岡谷南	40.09	平林 佐一	岡谷南	40.12	高橋 朝行	小海	40.24	藤原 喜臣	佐久	40.54	土屋 泰仁	軽井沢	40.61	足立 雄一	軽井沢	41.01
	1500m	真寿田聖也	岡谷南	2.05.64	藤原 喜臣	佐久	2.08.24	畠山 忠彦	小海	2.08.59	平出 博章	東海三	2.09.61	小柏謙三郎	佐久	2.10.74	高見沢 充	佐久	2.10.79
	3000m	土屋 純二	軽井沢	4.22.08	遠藤 亮治	佐久	4.31.87	机 宏典	岡谷南	4.38.13	高見沢 充	佐久	4.38.23	畠山 忠彦	小海	4.42.46	土屋 清	軽井沢	4.42.70
	5000m	土屋 純二	軽井沢	7.28.11	遠藤 亮治	佐久	7.40.23	机 宏典	岡谷南	7.59.35	土屋 清	軽井沢	8.08.06	黒岩 賢二	小海	8.13.90	今井 康貴	佐久	8.15.79
女子	500m	鶴田 一枝	小海	44.01	上原 三枝	諏訪清陵	44.75	吉田 亜紀	野沢北	45.05	山田美佐子	岡谷東	45.43	山本絵理子	軽井沢	46.47	柳平 美保	諏訪清陵	46.88
	1000m	上原 三枝	諏訪清陵	1.29.49	堀内 佳子	諏訪二葉	1.29.50	鶴田 一枝	小海	1.30.49	吉田 亜紀	野沢北	1.32.57	滝沢さつき	岡谷東	1.34.29	山田美佐子	岡谷東	1.35.19
	1500m	菊池美千子	小海	2.18.24	堀内 佳子	諏訪二葉	2.21.58	菊池 裕子	岡谷東	2.23.63	加藤 澄恵	野沢北	2.25.53	浅沼 佐千	野沢北	2.28.38	竹内 久恵	諏訪二葉	2.29.60
	3000m	菊池美千子	小海	4.48.51	菊池 裕子	岡谷東	5.11.73	加藤 澄恵	野沢北	5.16.53	浅沼 佐千	野沢北	5.18.32	守屋 恵美	岡谷東	5.21.18	竹内 久恵	諏訪二葉	5.22.59

昭和63年度 第33回長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位				
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録		
男子	500m	真寿田聖也	岡谷南	39.75	平林 佐一	岡谷南	39.93	北原 優	岡谷南	39.97	由井 健史	佐久	40.37	佐藤 文武	佐久	40.67	平出 博章	東海三	40.71	
	1500m	藤原 喜臣	佐久	2.07.31	机 寛典	岡谷南	2.08.76	北原 優	岡谷南	2.09.73	真寿田聖也	岡谷南	2.09.81	高見沢 充	佐久	2.10.14	篠原 茂晴	東海三	2.11.41	
	5000m	土屋 純二	軽井沢	7.10.75	遠藤 亮治	佐久	7.27.13	矢沢 昭	諏訪清陵	7.35.08	土屋 清	軽井沢	7.37.06	桜井 文晃	小海	7.40.32	机 宏典	岡谷南	7.41.48	
	10000m	土屋 純二	軽井沢	15.18.75	遠藤 亮治	佐久	15.36.56	矢沢 昭	諏訪清陵	16.01.49	黒岩 賢二	小海	16.06.81	土屋 清	軽井沢	16.15.18	今井 康貴	佐久	16.57.80	
	2000mR		岡谷南	2.40.34		佐久	2.41.22		軽井沢	2.41.37		小海	2.44.26							
	学校対抗		岡谷南	50点		佐久	45点		軽井沢	32点		小海	21点		諏訪清陵	12点		東海三	9点	
女子	500m	吉田 亜紀	野沢北	43.44	鶴田 一枝	小海	45.65	山田美佐子	岡谷東	46.22	由井 桐子	野沢北	46.30	篠原ひろみ	諏訪二葉	46.48	村越由美子	佐久	46.58	
	1000m	堀内 佳子	諏訪二葉	1.25.43	吉田 亜紀	野沢北	1.28.41	上原 三枝	諏訪清陵	1.31.29	鶴田 一枝	小海	1.31.87	篠原ひろみ	諏訪二葉	1.32.83	滝沢さつき	岡谷東	1.32.92	
	1500m	堀内 佳子	諏訪二葉	2.12.18	上原 三枝	諏訪清陵	2.15.73	菊池美千子	小海	2.17.68	菊池 裕子	岡谷東	2.20.11	浅沼 佐千	野沢北	2.20.28	小原 貴枝	小海	2.22.66	
	3000m	菊池美千子	小海	4.56.12	浅沼 佐千	野沢北	5.05.59	守屋 恵美	岡谷東	5.13.02	菊池 裕子	岡谷東	5.14.22	竹内 久恵	諏訪二葉	5.15.23	沢田 由布	岡谷東	5.23.07	
	2000mR		野沢北	2.59.42		岡谷東	2.59.80		小海	3.04.26		小海	3.04.26							
	学校対抗		野沢北	41点		小海	39点		岡谷東	39点		諏訪二葉	29点		諏訪清陵	13点		佐久	3点	

フィギュア競技

女子学校対抗 1位 長野西 8点 2位 長野東 7点
個人成績 1位 吉田千登勢(長野西) 2位 柳沢 祐子(長野東)

昭和63年度 第9回長野県高等学校新人体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	由井 健史	佐久	40.92	足立 雄一	軽井沢	41.03	畠山 忠彦	小海	41.28	佐藤 嘉泰	岡谷南	41.55	山崎 幸路	東海三	41.56	佐藤 文武	佐久	41.64
	1500m	高見沢 充	佐久	2.09.11	由井 健	佐久	2.10.05	桜井 文晃	小海	2.10.68	畠山 忠彦	小海	2.11.94	山崎 直也	野沢北	2.12.18	由井 健史	佐久	2.12.18
	3000m	土屋 清	軽井沢	4.30.50	矢沢 昭	諏訪清陵	4.33.15	桜井 文昭	小海	4.35.88	原 満輝	小海	4.38.47	今井 康貴	佐久	4.38.49	高見沢 充	佐久	4.38.74
	5000m	土屋 清	軽井沢	7.44.15	矢沢 昭	諏訪清陵	7.52.03	今井 康貴	佐久	7.56.25	原 満輝	小海	8.05.91	西垣 靖	軽井沢	8.07.61	竹内 照央	小海	8.18.99
女子	500m	油井 桐子	野沢北	45.14	山田美佐子	岡谷東	45.49	篠原ひろみ	諏訪二葉	46.45	内堀 美恵	野沢北	46.82	小池真奈美	岡谷東	47.59	濱 木綿子	諏訪清陵	47.74
	1000m	上原 三枝	諏訪清陵	1.28.51	油井 桐子	野沢北	1.33.01	小原 貴枝	小海	1.33.61	山田美佐子	岡谷東	1.34.61	濱 木綿子	諏訪清陵	1.36.75	篠原ひろみ	諏訪二葉	1.36.88
	1500m	上原 三枝	諏訪清陵	2.12.18	菊池 裕子	岡谷東	2.15.73	浅沼 佐千	野沢北	2.17.68	小原 貴枝	小海	2.20.11	守屋 恵美	岡谷東	2.20.28	沢田 由布	岡谷東	2.22.66
	3000m	菊池 裕子	岡谷東	4.55.58	浅沼 佐千	野沢北	4.59.53	守屋 恵美	岡谷東	5.08.73	小口 秀美	岡谷東	5.22.47	博沼 由佳	県ヶ丘	5.27.40	林 絵里子	小海	5.27.40

フィギュア競技 1位 柳沢 祐子(長野東)

平成元年度 第34回長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	足立 雄一	軽井沢	39.83	由井 健史	佐久	40.55	佐藤 文武	佐久	40.74	田口 優	佐久	40.80	佐藤 嘉泰	岡谷南	41.00	武井 乙賢	岡谷東	41.36
	1000m	由井 健史	佐久	1.24.12	佐藤 嘉泰	岡谷南	1.24.86	佐藤 文武	佐久	1.25.28	畑山 忠彦	小海	1.25.57	上原 哲也	長野	1.25.71	岡部 学	小海	1.26.10
	1500m	由井 健史	佐久	2.08.19	桜井 文見	小海	2.09.20	土屋 清	軽井沢	2.09.88	高見沢 充	佐久	2.10.37	今井 康貴	佐久	2.11.01	山崎 直也	野沢北	2.13.99
	5000m	篠原 淳見	小海	7.34.71	矢沢 昭	諏訪青陵	7.38.17	遠藤 亮治	佐久	7.40.19	黒沢 誠	佐久	7.43.29	高見沢 充	佐久	7.50.25	土屋 清	軽井沢	7.53.81
	10000m	篠原 淳見	小海	15.34.47	遠藤 亮治	佐久	15.44.17	矢沢 昭	諏訪清陵	15.44.67	黒沢 誠	佐久	16.24.67	吉岡 豊文	岡谷南	16.33.59	仲川 達也	松本深志	16.38.02
	2000mR 学校対抗		軽井沢 佐久	2.46.66 83点		佐久 小海	2.46.95 40点		小海 軽井沢	2.54.98 27点		諏訪二葉 岡谷南	3.01.60 17点		諏訪清陵	13点		諏訪二葉	9点
女子	500m	田中 千景	岡谷東	44.16	油井 桐子	野沢北	44.32	山田美佐子	岡谷東	45.34	沢田 由布	岡谷東	45.60	市川もとよ	軽井沢	45.72	村越由美子	佐久	46.10
	1000m	上原 三枝	諏訪清陵	1.29.02	田中 千景	岡谷東	1.32.78	油井 桐子	野沢北	1.33.45	村越由美子	佐久	1.35.52	篠原ひろみ	諏訪二葉	1.36.20	小原 貴枝	小海	1.36.72
	1500m	上原 三枝	諏訪清陵	2.15.93	浅沼 佐千	野沢北	2.24.99	名取 美香	佐久	2.25.76	菊池 裕子	岡谷東	2.26.19	小原 貴枝	小海	2.29.43	小池真奈美	岡谷東	2.29.61
	3000m	菊池 裕子	岡谷東	4.55.53	浅沼 佐千	野沢北	5.00.73	名取 美香	佐久	5.03.87	樽沼 由佳	松本県ヶ丘	5.17.40	岩下みち枝	軽井沢	5.20.85	林 絵里子	小海	5.24.44
	2000mR		岡谷東	3.04.18		佐久	3.11.89		松本深志	3.25.20		岡谷南	3.30.36						
	学校対抗		岡谷東	53点		佐久	29点		野沢北	27点		諏訪清陵	16点		小海	10点		軽井沢	8点

フィギュア競技

女子学校対抗 1位 長野西 8点 2位 長野清泉 7点 3位 長野東 6点 4位 文大長野 5点

個人成績 1位 吉田末奈子(長野西) 2位 豊田麻起(長野清泉) 3位 柳沢祐子(長野東) 4位 村田美和(文大長野)

平成元年度 第10回長野県高等学校新人体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	佐藤 嘉泰	岡谷南	40.14	小平 昇一	諏訪二葉	40.48	佐藤 文武	佐久	40.66	由井 健史	佐久	40.85	岡部 学	小海	41.35	鈴木 和也	小海	41.44
	1500m	篠原 淳見	小海	2.04.64	桜井 文見	小海	2.07.44	山崎 直也	野沢北	2.09.38	上原 哲也	長野	2.09.97	佐藤 文武	佐久	2.10.33	鈴木 和也	小海	2.12.02
	3000m	矢沢 昭	諏訪清陵	4.21.79	篠原 淳見	小海	4.23.01	黒沢 誠	佐久	4.25.90	桜井 文見	小海	4.33.77	新谷 逸也	野沢北	4.35.27	吉岡 豊文	岡谷南	4.38.86
	5000m	矢沢 昭	諏訪清陵	7.30.99	黒沢 誠	佐久	7.34.01	新谷 逸也	野沢北	7.50.12	吉岡 豊文	岡谷南	8.00.74	宮坂 映男	諏訪二葉	8.07.01	仲川 達也	松本深志	8.15.15
女子	500m	油井 桐子	野沢北	44.96	田中 千景	岡谷東	45.01	市川もとよ	軽井沢	45.45	井内美貴子	岡谷東	46.56	沢田 由布	岡谷東	46.80	会田由美子	岡谷南	46.87
	1000m	田中 千景	岡谷東	1.30.58	五味 利恵	岡谷東	1.30.70	油井 桐子	野沢北	1.32.32	市川もとよ	軽井沢	1.32.91	村越由美子	佐久	1.33.85	小口 秀美	岡谷東	1.34.51
	1500m	五味 利恵	岡谷東	2.23.29	名取 美香	佐久	2.24.46	林 絵里子	小海	2.26.26	小池真奈美	岡谷東	2.27.02	小口 秀美	岡谷東	2.28.12	樽沼 由佳	松本県ヶ丘	2.29.28
	3000m	名取 美香	佐久	5.02.58	小池真奈美	岡谷東	5.02.98	小原 貴枝	小海	5.10.11	樽沼 由佳	松本県ヶ丘	5.20.62	林 絵里子	小海	5.21.22	今井 美香	佐久	5.26.76

平成2年度 第35回長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	佐藤 嘉泰	岡谷南	39.91	由井 健史	佐 久	40.16	小平 昇一	諏訪二葉	40.17	佐藤 文武	佐 久	40.27	田口 優	佐 久	40.34	篠原浩一郎	小 海	40.34
	1000m	篠原浩一郎	小 海	1.21.06	宮沢 将史	岡谷南	1.21.43	佐藤 嘉泰	岡谷南	1.21.52	佐藤 文武	佐 久	1.22.47	山崎 直也	野沢北	1.22.47	小平 昇一	諏訪二葉	1.22.54
	1500m	日向 功	小 海	2.04.10	野明 弘幸	岡谷南	2.04.16	黒沢 誠	佐 久	2.05.61	五味 一志	東海大三	2.08.56	吉岡 豊文	岡谷南	2.08.59	桜井 文晃	小 海	2.08.79
	5000m	野明 弘幸	岡谷南	7.22.265	篠原 淳晃	小 海	7.24.97	赤沼 健一	佐 久	7.28.16	原 巨樹	佐 久	7.33.07	黒沢 誠	佐 久	7.39.59	吉岡 豊文	岡谷南	7.42.66
	10000m	篠原 淳晃	小 海	15.34.75	北沢富士男	岡谷南	15.59.57	赤沼 健一	佐 久	16.01.32	原 巨樹	佐 久	16.04.65	新谷 逸也	伊那北	16.25.34	関 克教	岡谷南	16.28.30
	2000mR	佐 久	岡谷南	2.38.91	佐 久	岡谷南	2.40.99	小 海	岡谷南	2.41.20	東海大三	東海大三	2.54.56	岡谷東	岡谷東	2.59.01	池田工業	池田工業	3.04.09
	学校対抗	佐 久	岡谷南	64点	佐 久	岡谷南	62点	小 海	岡谷南	47.5点	東海大三	東海大三	10点	諏訪二葉	諏訪二葉	9点	野沢北	野沢北	6.5点
女子	500m	荒崎 江美	佐 久	44.54	田中 千景	岡谷東	44.85	沢田 由布	岡谷東	45.28	金井 悦子	軽井沢	45.58	会田由美子	岡谷南	45.74	油井 桐子	野沢北	45.84
	1000m	田中 千景	岡谷南	1.28.96	沢田 由布	岡谷東	1.30.70	五味 利恵	岡谷東	1.31.00	会田由美子	岡谷南	1.31.42	油井 桐子	野沢北	1.31.64	佐々木志保	佐 久	1.32.01
	1500m	清水 美映	松本深志	2.16.25	名取 美香	佐 久	2.19.79	小原 貴枝	小 海	2.22.16	小池真奈美	岡谷東	2.24.49	五味 利恵	岡谷東	2.24.53	降旗 克子	大町北	2.25.16
	3000m	清水 美映	松本深志	4.51.62	名取 美香	佐 久	4.55.77	小池真奈美	岡谷東	5.05.93	降旗 克子	大町北	5.06.00	小原 貴枝	小 海	5.06.63	佐口 和江	野沢北	5.08.28
	2000mR	佐 久	岡谷南	2.59.14	佐 久	岡谷東	3.02.84	大町北	大町北	3.32.13	松本深志	松本深志	16点	大町北	大町北	14点	小 海	小 海	12点
	学校対抗	佐 久	岡谷南	56点	佐 久	岡谷南	38点	松本深志	松本深志	16点	大町北	大町北	14点	小 海	小 海	12点	野沢北	野沢北	12点
	女子学校対抗(女子)	長野西	長野西	8点	長野清泉	長野清泉	7点	文大長野	文大長野	6点									
個人成績	1位	吉田未奈子(長野西)	2位	豊田 麻起(長野清泉)	3位	村田 美和(文大長野)													

フィギュア競技

女子学校対抗(女子) 1位 長野西 8点 2位 長野清泉 7点 3位 文大長野 6点
個人成績 1位 吉田未奈子(長野西) 2位 豊田 麻起(長野清泉) 3位 村田 美和(文大長野)

平成2年度 第11回長野県高等学校新人体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	小平 昇一	諏訪二葉	39.49	宮沢 将士	岡谷南	39.84	篠原浩一郎	小 海	39.95	田口 優	佐 久	40.36	北原 寛	岡谷南	40.99	中島 和貴	大 町	41.03
	1000m	小平 昇一	諏訪二葉	1.20.35	篠原浩一郎	小 海	1.21.75	上原 哲也	長 野	1.22.64	加藤 剛志	松本深志	1.22.84	田口 優	佐 久	1.23.11	岡部 学	小 海	1.23.58
	1500m	日向 功	小 海	2.02.46	関 克教	岡谷南	2.05.78	五味 一志	東海大三	2.06.73	吉岡 豊文	岡谷南	2.07.46	上原 哲也	長 野	2.09.99	堀内 健司	長野西	2.12.52
	3000m	日向 功	小 海	4.18.10	原 巨樹	佐 久	4.22.15	赤沼 健一	佐 久	4.23.80	関 克教	岡谷南	4.28.07	吉岡 豊文	岡谷南	4.28.76	五味 一志	東海大三	4.35.47
	5000m	赤沼 健一	佐 久	7.38.50	原 巨樹	佐 久	7.43.29	北沢富士男	岡谷南	7.54.47	宮坂 映男	諏訪二葉	8.08.80	高見沢直幸	佐 久	8.17.48	菊池 学	岡谷東	8.18.82
女子	500m	金井 悦子	軽井沢	43.79	荒崎 江美	佐 久	43.83	田中 千景	岡谷東	44.06	市川もとよ	軽井沢	44.53	佐々木志保	佐 久	44.96	井内美貴子	岡谷東	45.18
	1000m	市川もとよ	軽井沢	1.29.12	五味 利恵	岡谷東	1.30.42	荒崎 江美	佐 久	1.30.81	田中 千景	岡谷東	1.31.38	会田由美子	岡谷南	1.32.07	佐々木志保	佐 久	1.32.19
	1500m	名取 美香	佐 久	2.20.02	降旗 克子	大町北	2.22.60	依田美智留	野沢北	2.23.48	五味 利恵	岡谷東	2.26.00	佐口 和江	野沢北	2.26.65	小林 照美	東海大三	2.31.60
	3000m	名取 美香	佐 久	4.50.54	佐口 和江	野沢北	5.01.97	依田美智留	野沢北	5.04.58	降旗 克子	大町北	5.04.97	加藤 浩子	田 川	5.20.54	小林 照美	東海大三	5.26.61

フィギュア競技

①豊田麻起(長野清泉) ②吉田未奈子(長野西) ③村田美和(文大長野) ④進士真由美(岡谷南)

平成3年度 第36回長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	篠原浩一郎	小海	39.22	小平昇一	諏訪二葉	39.35	黒沢誠	佐久	39.52	田口優	佐久	39.57	宮沢将士	岡谷南	39.87	小池嘉則	諏訪二葉	40.01
	1000m	黒沢誠	佐久	1.18.28	向山靖司	佐久	1.20.38	吉岡豊文	岡谷南	1.20.55	五味一志	東海大三	1.20.59	小平昇一	諏訪二葉	1.21.02	加藤剛志	松本深志	1.21.02
	1500m	野明弘幸	岡谷南	1.58.26	日向功	小海	2.02.51	田中慎也	東海大三	2.02.55	五味一志	東海大三	2.02.92	向山靖司	佐久	2.03.01	吉岡豊文	岡谷南	2.03.20
	5000m	野明弘幸	岡谷南	7.19.33	赤沼健一	佐久	7.22.36	原巨樹	佐久	7.28.71	北沢富士男	岡谷南	7.32.10	高見沢敬二	小海	7.32.24	篠原淳晃	小海	7.32.85
	10000m	篠原淳晃	小海	15.12.97	赤沼健一	佐久	15.25.43	原巨樹	佐久	15.33.91	宮木大吾	岡谷南	5.50.16	北沢富士男	岡谷南	15.51.35	高見沢敬二	小海	15.57.37
	2000mR		佐久	2.35.48		岡谷南	2.36.48		東海大三	2.38.57		諏訪二葉	2.39.00		小海	2.39.25		野沢北	2.48.80
	学校対抗		佐久	64点		岡谷南	53点		小海	37点		東海大三	29点		諏訪二葉	19.5点		松本深志	6.5点
女子	500m	田中千景	岡谷東	43.61	井内美貴子	岡谷東	43.97	金井悦子	軽井沢	44.01	平手真由美	諏訪二葉	44.32	荒崎江美	佐久	44.86	市川ともよ	軽井沢	45.03
	1000m	田中千景	岡谷東	1.28.53	荒崎江美	佐久	1.30.42	佐々木志保	佐久	1.30.66	井内美貴子	岡谷東	1.30.71	會田由美子	岡谷南	1.30.90	五味利恵	岡谷東	1.31.68
	1500m	清水美映	松本深志	2.13.81	名取美香	佐久	2.18.75	佐々木志保	佐久	2.19.15	小牧恵	弥生ヶ丘	2.20.38	降旗克子	大町北	2.20.49	五味利恵	岡谷東	2.21.04
	3000m	清水美映	松本深志	4.52.63	降旗克子	大町北	4.58.86	依田美智留	野沢北	5.02.57	名取美香	佐久	5.05.82	小坂直子	岡谷南	5.10.97	小林照美	東海大三	5.11.66
	2000mR		佐久	2.58.28		東海大三	3.05.20												
	学校対抗		佐久	45点		岡谷東	34点		松本深志	16点		大町北	11点		東海大三	11点		野沢北	10点

フィギュア競技

女子学校対抗 1位 長野西 2位 文大長野 3位 佐久

個人成績 1位 吉田末奈子(長野西) 2位 村田美和(文大長野) 3位 宮下麻由(佐久)

平成3年度 第12回長野県高等学校新人体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	篠原浩一郎	小海	38.32	小池嘉則	諏訪二葉	39.50	矢崎文也	諏訪二葉	40.16	加藤剛志	松本深志	40.17	井出裕一	小海	40.29	関康司	大町	40.30
	1000m	五味一志	東海大三	1.20.40	加藤剛志	松本深志	1.20.72	矢崎文也	諏訪二葉	1.22.08	小林由平	諏訪二葉	1.22.09	井出裕一	小海	1.23.46	関康司	岡谷南	1.23.55
	1500m	野明弘幸	岡谷南	2.02.78	日向功	小海	2.02.88	原巨樹	佐久	2.03.01	五味一志	東海大三	2.06.36	鶴田重樹	佐久	2.08.19	小林由平	諏訪二葉	2.08.91
	3000m	北沢富士男	岡谷南	4.26.36	日向功	小海	4.26.36	高見沢敬二	小海	4.28.58	宮坂源亮	東海大三	4.32.09	宮木大吾	岡谷南	4.32.13	関克教	岡谷南	4.34.89
	5000m	北沢富士男	岡谷南	7.25.49	高見沢敬二	小海	7.32.53	赤沼健一	佐久	7.35.18	宮木大吾	岡谷南	7.40.61	宮坂源亮	東海大三	7.44.94	榛葉裕一	松本深志	7.50.28
女子	500m	金井悦子	軽井沢	43.45	土屋和花子	野沢北	44.11	荒崎江美	佐久	44.41	中嶋陽子	佐久	44.48	平手真由美	諏訪二葉	44.83	佐竹美紀	東海大三	45.71
	1000m	佐々木志保	佐久	1.31.10	平手真由美	諏訪二葉	1.32.15	土屋和花子	野沢北	1.33.62	荒崎江美	佐久	1.33.77	佐竹美紀	東海大三	1.34.09	中嶋陽子	佐久	1.34.88
	1500m	佐々木志保	佐久	2.19.45	降旗克子	大町北	2.20.19	小坂直子	岡谷南	2.20.38	佐口和江	野沢北	2.23.79	小林照美	東海大三	2.25.51	加藤浩子	田川	2.30.36
	3000m	小林照美	東海大三	5.06.17	降旗克子	大町北	5.11.99	佐口和江	野沢北	5.13.01	加藤浩子	田川	5.16.44	牛山優子	東海大三	5.19.00	木次千春	白田	5.28.88

フィギュア競技 ①宮下麻由(佐久) ②進士真由美(岡谷南)

平成4年度 第37回長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位				
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録		
男子	500m	篠原浩一郎	小海	39.28	小池 嘉則	諏訪二葉	39.39	矢崎 文也	諏訪二葉	39.40	五味 一志	東海大三	39.51	関 康司	岡谷南	40.00	鈴木 崇大	佐久	4.26	
	1000m	野明 弘幸	岡谷南	1.16.88	篠原浩一郎	小海	1.17.16	向山 靖司	佐久	1.18.61	矢崎 文也	諏訪二葉	1.18.779	五味 一志	東海大三	1.20.17	篠原裕太郎	佐久	1.20.48	
	1500m	原 巨樹	佐久	1.58.49	野明 弘幸	岡谷南	1.59.10	田中 慎也	東海大三	1.59.44	関 克教	岡谷南	2.02.61	伊藤 大理	諏訪二葉	2.03.44	向山 靖司	佐久	2.03.76	
	5000m	原 巨樹	佐久	7.19.82	宮木 大吾	岡谷南	7.24.54	田中 慎也	東海大三	7.25.92	日向 功	小海	7.27.17	鶴田 重樹	佐久	7.27.36	長岡創一郎	野沢北	7.27.99	
	10000m	高見沢敬二	小海	15.03.09	宮木 大吾	岡谷南	15.21.64	赤沼 健一	佐久	15.30.08	北沢富士男	岡谷南	15.30.31	鶴田 重樹	佐久	15.37.12	長岡創一郎	野沢北	15.45.47	
	2000mR		東海大三	2.36.68		諏訪二葉	2.36.89		岡谷南	2.36.93		佐久	2.37.08		小海	2.37.91			2.46.88	
	学校対抗		佐久	53.5点		岡谷南	52.5点		小海	34点		東海大三	29点		諏訪二葉	29点			9点	
女子	500m	土屋和花子	野沢北	43.81	荒崎 江美	佐久	43.85	平手真由美	諏訪二葉	44.15	金井 悦子	軽井沢	44.33	上原 千聖	軽井沢	44.59	佐竹 美紀	東海大三	44.66	
	1000m	荒崎 江美	佐久	1.28.25	佐々木志保	佐久	1.29.32	土屋和花子	野沢北	1.30.15	平手真由美	諏訪二葉	1.30.49	茂木美保子	野沢北	1.32.06	小牧 恵	弥生ヶ丘	1.32.23	
	1500m	清水 美映	松本深志	2.09.74	佐々木志保	佐久葉	2.15.96	降旗 克子	大町北	2.16.06	佐口 和江	野沢北	2.19.46	茂木美保子	野沢北	2.20.85	小牧 恵	弥生ヶ丘	2.20.87	
	3000m	清水 美映	松本深志	4.37.66	降旗 克子	大町北	4.40.83	佐口 和江	野沢北	4.52.99	三浦三枝子	岡谷東	4.57.58	小坂 直子	岡谷南	4.58.66	山口 早苗	岡谷東	4.59.24	
	2000mR		東海大三	2.59.00		佐久	2.59.96		野沢北	3.00.22										
	学校対抗		野沢北	39点		佐久	37点		松本深志	16点		東海大三	15点		大町北	13点			諏訪二葉	12点

フィギュア競技

女子学校対抗

1位 文大長野 2位 佐久

個人成績

1位 松林 春佳(文大長野) 2位 宮下 麻由(佐久)

平成4年度 第13回長野県高等学校新人体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	矢崎 文也	諏訪二葉	39.36	五味 隆二	諏訪二葉	39.72	宮川 洋平	佐久	39.90	井出 祐一	小海	40.05	田代 幸治	東海大三	40.08	小池 嘉則	諏訪二葉	40.27
	1000m	矢崎 文也	諏訪二葉	1.19.48	宮川 洋平	佐久	1.19.83	伊藤 大理	諏訪二葉	1.20.41	小池 嘉則	諏訪二葉	1.20.85	井出 和友	野沢北	1.22.48	土屋 仁	野沢北	1.22.57
	1500m	田中 慎也	東海大三	2.00.99	井出 和友	野沢北	2.04.52	江田 義男	軽井沢	2.05.98	伊藤 大理	諏訪二葉	2.06.04	小林 哲也	岡谷南	2.07.72	藤原 辰明	野沢北	2.08.66
	3000m	田中 慎也	東海大三	4.17.97	高見沢敬二	小海	4.20.44	鶴田 重樹	佐久	4.21.51	宮坂 源亮	東海大三	4.22.18	長岡創一郎	野沢北	4.23.01	宮木 大吾	岡谷南	4.24.70
	5000m	長岡創一郎	野沢北	7.28.16	高見沢敬二	小海	7.32.16	宮木 大吾	岡谷南	7.33.26	鶴田 重樹	佐久	7.38.02	宮坂 源亮	東海大三	7.42.40	林 篤志	東海大三	7.45.16
女子	500m	土屋和花子	野沢北	43.20	上原 千聖	軽井沢	44.89	般若 華子	東海大三	44.90	吉沢こづえ	佐久	45.51	両角 久美	東海大三	45.77	平林久美子	東海大三	46.20
	1000m	土屋和花子	野沢北	1.30.15	上原 千聖	軽井沢	1.31.93	中嶋 陽子	佐久	1.32.36	小牧 恵	弥生ヶ丘	1.32.79	向山しのぶ	東海大三	1.34.84	平林久美子	東海大三	1.36.64
	1500m	小坂 直子	岡谷南	2.20.34	三浦美枝子	岡谷東	2.21.37	小牧 恵	弥生ヶ丘	2.21.37	小林 幸枝	小海	2.23.63	山口 早苗	岡谷東	2.24.65	原 彩香	佐久	2.24.96
	3000m	三浦美枝子	岡谷東	4.58.47	小坂 直子	岡谷南	5.01.84	山口 早苗	岡谷東	5.05.79	原 彩香	佐久	5.06.06	市川 恵子	小海	5.07.99	牛山 優子	東海大三	5.08.25

フィギュア競技

①松林春佳(文大長野) ②宮下麻由(佐久)

平成5年度 第38回長野県高等学校総合体育大会

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録															
男子	500m	篠原裕太郎	小海	38.92	宮川 洋平	佐久	39.58	小池 嘉則	諏訪二葉	39.63	矢崎 文也	諏訪二葉	39.66	田代 幸治	東海大三	39.96	小須田典之	小海	40.07
	1000m	宮川 洋平	佐久	1.16.05	田中 慎也	東海大三	1.18.06	伊藤 大理	諏訪二葉	1.18.10	矢崎 文也	諏訪二葉	1.18.98	篠原裕太郎	佐久	1.19.34	市村 雅	野沢北	1.19.61
	1500m	田中 慎也	東海大三	1.59.73	伊藤 大理	諏訪二葉	2.01.80	鶴田 重樹	佐久	2.01.95	竹淵 貴則	東海大三	2.05.68	井出 和友	野沢北	2.07.19	小林 哲也	岡谷南	2.08.17
	5000m	高見沢敏二	小海	7.37.89	宮木 大吾	岡谷南	7.40.30	中嶋 昇秀	佐久	7.46.43	鶴田 重樹	佐久	7.50.16	長岡創一郎	野沢北	7.52.55	清水 英俊	松本深志	7.56.47
	10000m	長岡創一郎	野沢北	15.26.49	高見沢敏二	小海	15.28.23	清水 英俊	松本深志	15.32.29	宮木 大吾	岡谷南	15.32.69	中島 昇秀	野沢北	15.32.86	佐久	東海大三	15.46.77
	2000mR	佐久		2.35.54			2.36.05		小海	2.40.12		東海大三	2.40.15		野沢北	2.14.63		岡谷南	2.45.04
	学校対抗	佐久		63点			諏訪二葉		東海大三	36点		小海	27点		野沢北	23点		岡谷南	19点
女子	500m	土屋和花子	野沢北	42.82	竹田 久美	東海大三	44.52	上原 千聖	軽井沢	44.56	宮川真紀子	佐久	44.73	小林 美恵	佐久	45.19	小泉 恵	岡谷南	45.53
	1000m	土屋和花子	野沢北	1.27.90	竹田 久美	東海大三	1.29.19	小林 美恵	佐久	1.30.47	市川亜希子	諏訪二葉	1.31.24	上原 千聖	軽井沢	1.31.40	茂木美保子	野沢北	1.31.60
	1500m	土橋 貴子	佐久	2.15.68	三浦美枝子	岡谷東	2.18.45	小林 幸枝	小海	2.21.22	小林 亜弥	東海大三	2.21.29	小坂 直子	岡谷南	2.21.81	茂木美保子	野沢北	2.22.17
	3000m	土橋 貴子	佐久	4.55.49	三浦美枝子	岡谷東	5.07.02	小坂 直子	岡谷南	5.10.42	小林 亜弥	東海大三	5.13.33	山口 早苗	岡谷東	5.15.22	小林 幸枝	小海	5.22.06
	2000mR		東海大三	2.59.02		佐久	2.59.96		軽井沢	3.08.13		小海	3.21.41		軽井沢	16点		小海	14点
	学校対抗		佐久	41点		東海大三	37点		野沢北	22点		岡谷東	22点		軽井沢	16点		小海	14点

フィギュア競技

女子学校対抗 1位 佐久 2位 長野工業

個人成績 1位 宮下 麻由(佐久) 2位 山下 英子(長野工業)

平成5年度 第14回長野県高等学校新人体育大会

種目	順位	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位		
		氏名	校名	記録															
男子	500m	篠原裕太郎	佐久	38.62	宮川 洋平	佐久	39.03	古屋 淳	佐久	39.33	菊池 祐暁	小海	39.42	宮澤 啓司	岡谷南	39.64	小須田典之	小海	39.72
	1000m	宮川 洋平	佐久	1.17.46	伊藤 大理	諏訪二葉	1.20.77	市村 雅	野沢北	1.20.78	篠原裕太郎	佐久	1.21.37	小須田典之	小海	1.21.94	代田 幸治	東海大三	1.22.41
	1500m	市村 雅	野沢北	2.00.34	竹林 正樹	東海大三	2.03.03	竹淵 貴順	東海大三	2.04.56	金井 俊典	東海大三	2.04.82	伊藤 大理	諏訪二葉	2.05.76	伊藤 成二	岡谷工	2.06.18
	3000m	中島 昇秀	佐久	4.25.37	長岡創一郎	野沢北	4.26.75	竹淵 貴順	東海大三	4.27.43	金井 俊典	東海大三	4.30.06	林 篤志	東海大三	4.31.48	日達 慎吾	東海大三	4.32.30
	5000m	中島 昇秀	佐久	7.28.42	長岡創一郎	野沢北	7.30.14	米倉 大介	岡谷南	7.35.13	清水 英俊	松本深志	7.36.11	林 篤志	東海大三	7.39.43	日達 慎吾	東海大三	7.47.32
女子	500m	竹田 久美	東海大三	43.70	上原 千聖	軽井沢	43.83	平林久美子	東海大三	44.43	両角 久美	東海大三	44.57	向山しのぶ	佐久	44.89	小林 美恵	佐久	44.99
	1000m	茂木美保子	野沢北	1.28.98	上原 千聖	軽井沢	1.29.90	小泉 恵	岡谷南	1.30.79	小林 美恵	佐久	1.30.95	竹田 久美	東海大三	1.31.06	原 彩香	佐久	1.31.75
	1500m	土橋 貴子	佐久	2.16.46	茂木美保子	野沢北	2.16.65	小泉 恵	岡谷南	2.17.46	三浦美枝子	岡谷東	2.18.14	小林 亜弥	東海大三	2.19.52	山口 早苗	岡谷東	2.19.73
	3000m	土橋 貴子	佐久	4.55.20	小林 亜弥	東海大三	4.55.59	山口 早苗	岡谷東	4.58.15	三浦美枝子	岡谷東	5.08.15	小林 幸枝	小海	5.16.53	清水千代美	諏訪二葉	5.16.55

平成6年度 第39回長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	篠原裕太郎	佐久	38.90	小須田典之	小海	39.01	宮川洋平	佐久	39.09	代田幸治	東海大三	39.64	古屋淳	岡谷南	39.71	宮澤啓司	岡谷南	40.01
	1000m	今井裕介	佐久	1.16.77	宮川洋平	佐久	1.17.18	市村雅	野沢北	1.17.35	篠原裕太郎	佐久	1.17.82	伊藤大理	諏訪二葉	1.18.35	金井俊典	東海大三	1.19.92
	1500m	今井裕介	佐久	1.58.92	伊藤大理	諏訪二葉	2.00.27	市村雅	野沢北	2.02.78	小林哲也	岡谷南	2.03.36	竹瀝貴順	東海大三	2.03.45	平田浩一	東海大三	2.03.57
	5000m	長岡創一郎	野沢北	7.17.84	米倉大介	岡谷南	7.22.83	日達慎吾	東海大三	7.28.98	竹瀝貴順	東海大三	7.32.19	小林哲也	岡谷南	7.34.17	平田浩一	東海大三	7.35.20
	10000m	米倉大介	岡谷南	15.12.06	中嶋昇秀	佐久	15.22.18	長岡創一郎	野沢北	15.30.84	長岡拓馬	佐久	15.48.26	日達慎吾	東海大三	16.01.81	林篤志	東海大三	16.04.77
	2000mR 学校対抗		野沢北	2.37.74		小海	2.40.49		佐久	2.41.88		軽井沢	2.49.31		茅野	3.01.43			
			66点		東海大三	38点			34点		岡谷南	27点		小海	18点			諏訪二葉	11点
女子	500m	上原千聖	軽井沢	43.16	野明純香	岡谷南	44.22	両角久美	東海大三	44.28	宮川真紀子	佐久	44.37	竹田久美	東海大三	44.38	井内美奈子	岡谷東	44.70
	1000m	上原千聖	軽井沢	1.27.40	小泉恵	岡谷南	1.27.83	竹田久美	東海大三	1.27.98	安田有希	東海大三	1.28.15	井内美奈子	岡谷東	1.28.22	茂木美保子	野沢北	1.28.97
	1500m	三浦美枝子	岡谷東	2.13.98	外ノ池亜希	東海大三	2.15.15	土橋貴子	佐久	2.15.74	安田有希	東海大三	2.16.87	茂木美保子	野沢北	2.17.72	小林亜弥	東海大三	2.17.75
	3000m	外ノ池亜希	東海大三	4.41.30	土橋貴子	佐久	4.41.89	三浦美枝子	岡谷東	4.45.88	小林亜弥	東海大三	4.50.12	小林幸枝	小海	4.50.56	山口早苗	岡谷東	4.55.80
	2000mR		東海大三	2.54.00		佐久	2.57.02		岡谷東	2.59.62		軽井沢	3.07.30		小海	3.13.49			
	学校対抗		東海大三	60点		岡谷東	31点		佐久	28点		軽井沢	21点		岡谷南	16点			小海

フィギュア競技

女子学校対抗 1位 屋代 2位 長野西

個人成績 1位 海沼 寿都(屋代) 2位 浅川 祐紀(長野西)

平成6年度 第15回長野県高等学校新人体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	小須田典之	小海	39.25	井上純也	佐久	39.84	土屋陽一	佐久	40.06	井出貞博	野沢北	40.10	菊池裕暁	小海	40.11	笠原健司	岡谷工業	40.32
	1000m	市村雅	野沢北	1.20.34	土屋陽一	佐久	1.20.50	笠原健司	岡谷工業	1.20.54	小須田典之	小海	1.21.33	金子智洋	東海大三	1.21.51	金井俊典	東海大三	1.21.61
	1500m	市村雅	野沢北	2.03.09	平田浩一	東海大三	2.05.71	金井俊典	東海大三	2.06.31	柿沢与一郎	東海大三	2.07.19	井出良直	佐久	2.07.44	井出貞博	野沢北	2.07.82
	3000m	中島昇秀	佐久	4.19.40	米倉大介	岡谷南	4.22.84	平田浩一	東海大三	4.27.19	岩下草吉	軽井沢	4.32.85	今井康好	小海	4.34.31	柿沢与一郎	東海大三	4.34.72
	5000m	中島昇秀	佐久	7.20.20	米倉大介	岡谷南	7.22.39	長岡拓馬	佐久	7.45.92	岩下草吉	軽井沢	7.52.19	西山卓哉	佐久	7.52.64	今井康好	小海	7.55.22
女子	500m	宮川真紀子	佐久	44.08	井内美奈子	岡谷東	44.15	野明純香	岡谷南	44.29	竹田久美	東海大三	44.37	小林美恵	佐久	44.49	萩原尚美	東海大三	45.06
	1000m	竹田久美	東海大三	1.27.92	遠藤弘恵	佐久	1.28.72	井内美奈子	岡谷東	1.29.02	小泉恵	岡谷南	1.29.28	安田有希	東海大三	1.29.37	小林美恵	佐久	1.30.53
	1500m	遠藤弘恵	佐久	2.15.97	安田有希	東海大三	2.16.02	土橋貴子	佐久	2.19.51	小泉恵	岡谷南	2.19.97	小林亜弥	東海大三	2.21.67	由井園子	小海	2.23.36
	3000m	土橋貴子	佐久	4.49.28	小林亜弥	東海大三	4.59.62	加藤桂子	田川	5.08.68	西澤美奈子	軽井沢	5.08.98	上田杏子	佐久	5.09.16	小池恵	岡谷東	5.12.92

フィギュア競技 ①海沼 寿都(屋代)

平成7年度 第40回長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位				
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録		
男子	500m	小須田典之	小海	38.85	市村 雅	野沢北	38.88	菊池 裕暁	小海	39.03	井出 真博	野沢北	39.14	笠原 健司	岡谷工業	39.31	鈴木 智	佐久長聖	39.56	
	1000m	今井 裕介	佐久長聖	1.15.51	小須田典之	小海	1.18.05	井出 真博	野沢北	1.18.63	土屋 陽一	佐久長聖	1.19.36	市川 一興	岡谷南	1.19.49	市村 雅	野沢北	1.19.51	
	1500m	今井 裕介	佐久長聖	1.56.42	中嶋 昇秀	佐久長聖	2.00.43	篠原 泰洋	小海	2.03.72	井出 良直	佐久長聖	2.04.44	西田 浩紀	岡谷南	2.05.97	柿沢与一郎	東海大三	2.06.20	
	5000m	中嶋 昇秀	佐久長聖	7.20.56	篠原 裕剛	佐久長聖	7.23.86	平田 浩一	東海大三	7.24.29	米倉 大介	岡谷南	7.26.49	岩下 草吉	軽井沢	7.33.47	新海 正文	佐久長聖	7.35.23	
	10000m	米倉 大介	岡谷南	15.14.76	平田 浩一	東海大三	15.15.86	篠原 祐剛	佐久長聖	15.27.83	小澤 晴樹	東海大三	15.44.57	西山 卓哉	佐久長聖	15.50.29	小嶋 直也	岡谷南	15.53.14	
	2000mR		小海	2.36.66		佐久長聖	2.37.76		東海大三	2.40.53		岡谷南	2.40.66							
	学校対抗		佐久長聖	75.5点		小海	39点		東海大三	32.5点		岡谷南	29点		野沢北	21点			軽井沢	5点
女子	500m	新谷志保美	伊那北	42.83	宮川真紀子	佐久長聖	43.44	大井 啓子	東海大三	43.55	野明 純香	岡谷南	43.78	遠藤 弘恵	佐久長聖	44.00	竹田 久美	東海大三	44.12	
	1000m	外ノ池亜希	東海大三	1.24.10	遠藤 弘恵	佐久長聖	1.28.06	野明 純香	岡谷南	1.29.09	安田 有希	東海大三	1.29.81	井内美奈子	岡谷東	1.29.83	小泉 恵	岡谷南	1.30.06	
	1500m	外ノ池亜希	東海大三	2.10.55	土橋 貴子	佐久長聖	2.15.03	安田 有希	東海大三	2.16.38	竹ノ内由香	佐久長聖	2.18.57	小林 亜弥	東海大三	2.18.92	小泉 恵	岡谷南	2.19.57	
	3000m	土橋 貴子	佐久長聖	4.43.05	竹ノ内由香	佐久長聖	4.44.91	五味 佳代	東海大三	4.55.67	小林 亜弥	東海大三	4.56.52	宮崎さやか	東海大三	4.56.87	上田 杏子	佐久長聖	4.57.42	
	2000mR		東海大三	2.52.28		佐久長聖	2.54.63		小海	3.01.65		軽井沢	3.04.77		岡谷東	3.09.03				
	学校対抗		東海大三	65点		佐久長聖	59点		岡谷南	17点		小海	9点		岡谷東	9点			伊那北	8点

フィギュア競技 女子学校対抗 1位 長野西 2位 屋代
個人成績 1位 浅川 祐紀(長野西) 2位 海沼 寿都(屋代)

アイスホッケー競技
軽井沢26-0 長野工業

平成7年度 第16回長野県高等学校新人体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	井出 真博	野沢北	39.12	鈴木 智	佐久長聖	39.42	清水 亮平	岡谷南	39.73	金子 智洋	東海大三	39.81	笠原 健二	岡谷工業	39.86	高見沢正彦	小海	39.90
	1000m	笠原 健二	岡谷工業	1.20.26	高見沢雅彦	小海	1.20.64	鈴木 智	佐久長聖	1.20.72	滝沢 雅樹	東海大三	1.20.94	井出 良直	佐久長聖	1.20.96	清水 亮平	岡谷南	1.21.14
	1500m	井出 良直	佐久長聖	2.03.96	柿沢与一郎	東海大三	2.08.54	柳平 一寿	東海大三	2.08.83	萩原 文彦	佐久長聖	2.09.08	木本 弘介	佐久長聖	2.09.81	市川 一興	岡谷南	2.10.38
	3000m	平田 浩一	東海大三	4.20.39	小澤 晴樹	東海大三	4.27.51	井出 治	佐久長聖	4.30.74	西山 卓哉	佐久長聖	4.31.74	新海 正文	佐久長聖	4.35.97	岩下 草吉	軽井沢	4.36.04
	5000m	平田 浩一	東海大三	7.28.42	小澤 晴樹	東海大三	7.38.38	井出 治	佐久長聖	7.40.57	小嶋 直也	岡谷南	7.41.28	岩下 草吉	軽井沢	7.43.73	新海 正文	佐久長聖	7.43.77
女子	500m	新谷志保美	伊那北	42.43	野明 純香	岡谷南	43.58	遠藤 弘恵	佐久長聖	43.88	大井 啓子	東海大三	43.96	由井 園子	小海	44.13	鶴田 恵子	小海	44.27
	1000m	遠藤 弘恵	佐久長聖	1.28.62	新谷志保美	伊那北	1.29.18	野明 純香	岡谷南	1.29.67	由井 園子	小海	1.31.65	鶴田 恵子	小海	1.31.70	平林百合子	塩尻	1.33.40
	1500m	安田 有希	東海大三	2.19.38	竹ノ内由香	佐久長聖	2.21.32	上田 杏子	佐久長聖	2.23.14	五味 佳代	東海大三	2.25.51	園部 好美	軽井沢	2.27.00	宮嶋さやか	東海大三	2.28.66
	3000m	竹ノ内由香	佐久長聖	4.51.74	安田 有希	東海大三	5.03.39	上田 杏子	佐久長聖	5.04.99	友野 由香	野沢北	5.11.07	小池 恵	岡谷東	5.12.11	井出香織里	小海	5.17.74

フィギュア ①浅川 祐紀(長野西) ②海沼 寿都(屋代)

アイスホッケー競技 軽井沢20-1 長野工業

平成8年度 第41回長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	笠原 健司	岡谷工業	38.44	清水 亮平	岡谷南	38.64	井出 真博	野沢北	38.82	高見沢雅彦	小海	38.85	鈴木 智	佐久長聖	39.13	金子 智洋	東海大三	39.34
	1000m	井出 良直	佐久長聖	1.19.21	笠原 健司	岡谷工業	1.20.00	鈴木 智	佐久長聖	1.20.06	柳平 一寿	東海大三	1.20.46	井出 真博	野沢北	1.20.65	清水 亮平	岡谷南	1.21.06
	1500m	篠原 泰洋	小海	2.00.62	井出 良直	佐久長聖	2.00.95	野本 繁	小海	2.02.12	柳平 一寿	東海大三	2.03.54	柿沢与一郎	東海大三	2.04.40	萩原 文彦	佐久長聖	2.05.76
	5000m	平田 浩一	東海大三	7.39.31	小嶋 直也	岡谷南	7.41.52	岩下 草吉	軽井沢	7.45.93	関 喜治	岡谷南	7.46.88	菊池 千年	小海	7.49.79	西山 卓哉	佐久長聖	7.50.15
	10000m	西山 卓哉	佐久長聖	15.12.04	菊池 千年	小海	15.25.80	平田 浩一	東海大三	15.34.98	岩下 草吉	軽井沢	15.37.71	小嶋 直也	岡谷南	15.37.91	鈴木 一	軽井沢	15.55.14
	2000mR		東海大三	2.40.44		小海	2.41.59		佐久長聖	2.42.22		岡谷南	2.45.44		軽井沢	2.50.13		茅野	3.01.03
	学校対抗		佐久長聖	49点		東海大三	47点		小海	40点		岡谷南	31点		軽井沢	18点		岡谷工業	15点
女子	500m	新谷志保美	伊那北	41.98	遠藤 弘恵	佐久長聖	42.84	野明 純香	岡谷南	43.09	栗林美奈子	佐久長聖	43.62	大井 啓子	東海大三	43.83	由井 園子	小海	44.34
	1000m	外ノ池亜希	東海大三	1.26.30	野明 純香	岡谷南	1.29.91	遠藤 弘恵	佐久長聖	1.30.15	由井 園子	小海	1.32.90	大井 啓子	東海大三	1.33.35	中村 由美	東海大三	1.33.56
	1500m	外ノ池亜希	東海大三	2.09.84	竹ノ内由香	佐久長聖	2.14.69	安田 有希	東海大三	2.15.05	大木 房実	佐久長聖	2.17.05	上田 杏子	佐久長聖	2.17.63	藤森由香里	東海大三	2.18.99
	3000m	竹ノ内由香	佐久長聖	4.49.90	大木 房実	佐久長聖	4.55.38	安田 有希	東海大三	4.57.84	宮嶋さやか	東海大三	5.01.31	江村さやか	小海	5.01.78	上田 杏子	佐久長聖	5.02.91
	2000mR		東海大三	2.58.52		佐久長聖	2.58.73		小海	3.05.81		軽井沢	3.06.69						
	学校対抗		佐久長聖	60点		東海大三	57点		小海	26点		岡谷南	13点		伊那北	8点		軽井沢	6点

アイスホッケー競技

軽井沢43-0 長野工業

フィギュア競技

女子学校対抗 1位 長野文化 2位 岡谷工業 3位 諏訪二葉

個人成績 1位 小森亜耶(岡谷工業) 2位 稲田有香(文大長野) 3位 阿部詩織(諏訪二葉) 4位 広森みづほ(文大長野)

平成8年度 第17回長野県高等学校新人体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	鈴木 智	佐久長聖	39.04	宮川 亮佑	佐久長聖	39.18	渡辺壮一郎	東海大三	39.68	市村 充	佐久長聖	39.70	田口 新	佐久長聖	39.78	伊藤 勇祐	岡谷南	40.16
	1000m	鈴木 智	佐久長聖	1.19.81	柳平 一寿	東海大三	1.20.30	萩原 文彦	佐久長聖	1.20.39	宮川 亮佑	佐久長聖	1.20.42	土屋 陽祐	佐久長聖	1.20.67	渡辺壮一郎	東海大三	1.21.01
	1500m	野本 繁	小海	2.03.30	柳平 一寿	東海大三	2.05.62	柳澤 豊和	東海大三	2.07.20	萩原 文彦	佐久長聖	2.07.21	渡辺伸太郎	東海大三	2.08.08	土屋 陽祐	佐久長聖	2.08.30
	3000m	野本 繁	小海	4.18.81	関 喜治	岡谷南	4.25.79	菊池 千年	小海	4.28.82	井出 治	佐久長聖	4.30.38	小澤 晴樹	東海大三	4.30.85	柳澤 豊和	佐久長聖	4.31.54
	5000m	菊池 千年	小海	7.31.67	小嶋 直也	岡谷南	7.31.91	小澤 晴樹	東海大三	7.37.58	新海 正文	佐久長聖	7.38.72	関 喜治	岡谷南	7.43.13	井出 治	佐久長聖	7.50.56
女子	500m	栗林美奈子	佐久長聖	43.55	遠藤 智子	軽井沢	44.50	鶴田 恵子	小海	44.61	三浦 知子	軽井沢	44.65	草間 亜樹	佐久長聖	44.87	阿久津奈々	佐久長聖	45.46
	1000m	栗林美奈子	佐久長聖	1.31.11	唐澤 由紀	岡谷東	1.31.89	鶴田 恵子	小海	1.31.95	遠藤 智子	軽井沢	1.32.60	阿久津奈々	佐久長聖	1.33.29	三浦 知子	軽井沢	1.33.43
	1500m	宮嶋さやか	東海大三	2.18.43	大木 房実	佐久長聖	2.19.91	藤森由香里	東海大三	2.21.75	中嶋みゆき	小海	2.24.23	佐藤美由紀	小海	2.24.33	唐澤 由紀	岡谷東	2.24.54
	3000m	大木 房実	佐久長聖	4.56.22	宮嶋さやか	東海大三	4.56.66	佐藤美由紀	小海	5.02.63	藤森由香里	東海大三	5.05.82	中嶋みゆき	小海	5.09.31	園部 好美	軽井沢	5.12.95

フィギュア ① 小森亜耶(岡谷工業) ② 稲田有香(文大長野) ③ 広森みづほ(文大長野) ④ 阿部詩織(諏訪二葉) アイスホッケー競技 軽井沢20-0 長野工業

平成9年度 第42回長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位				
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録		
男子	500m	高見沢雅彦	小海	38.06	宮川 亮佑	佐久長聖	38.09	清水 亮平	岡谷南	38.11	柳平 一寿	東海大三	38.33	鈴木 智	佐久長聖	38.35	渡辺社一郎	東海大三	38.39	
	1000m	鈴木 智	佐久長聖	1.16.06	篠原 泰洋	小海	1.16.29	渡辺伸太郎	東海大三	1.16.35	宮川 亮佑	佐久長聖	1.16.47	野本 繁	小海	1.16.86	清水 亮平	岡谷南	1.17.02	
	1500m	野本 繁	小海	1.58.25	篠原 泰洋	小海	1.59.39	西田 浩紀	岡谷南	2.01.93	萩原 文彦	佐久長聖	2.02.54	知久 隆徳	岡谷南	2.03.02	土屋 陽祐	佐久長聖	2.03.10	
	5000m	小嶋 直也	岡谷南	7.11.80	小澤 晴樹	東海大三	7.18.35	菊池 千年	小海	7.19.14	関 喜治	岡谷南	7.25.60	牛山 貴広	諏訪清陵	7.25.92	伊藤 隼	東海大三	7.26.55	
	10000m	菊池 千年	小海	15.01.71	小澤 晴樹	東海大三	15.15.54	牛山 貴広	諏訪清陵	15.17.20	小嶋 直也	岡谷南	15.18.20	新海 正文	佐久長聖	15.24.25	伊藤 明利	小海	15.43.06	
	2000mR		佐久長聖	2.32.05		小海	2.32.88		岡谷南	2.33.63										
	学校対抗		小海	63点		佐久長聖	46点		岡谷南	46点		東海大三	34点		諏訪清陵	10点			軽井沢	2点
女子	500m	上原 寿香	佐久長聖	41.64	大井 啓子	東海大三	41.96	新谷志保美	伊那北	42.41	栗林美奈子	佐久長聖	42.41	森下 恭子	諏訪清陵	42.98	鶴田 恵子	小海	43.69	
	1000m	上原 寿香	佐久長聖	1.23.91	栗林美奈子	佐久長聖	1.25.98	大井 啓子	東海大三	1.26.33	鶴田 恵子	小海	1.29.50	三浦 知子	軽井沢	1.29.87	唐澤 由紀	岡谷東	1.30.91	
	1500m	大木 房実	佐久長聖	2.14.09	竹ノ内由香	佐久長聖	2.14.29	宮嶋さやか	東海大三	2.15.70	藤森由香里	東海大三	2.16.87	濱 美咲	東海大三	2.19.38	茅野 理奈	小海	2.20.29	
	3000m	大木 房実	佐久長聖	4.36.42	竹ノ内由香	佐久長聖	4.38.08	藤森由香里	東海大三	4.41.47	宮嶋さやか	東海大三	4.44.22	濱 美咲	東海大三	4.47.62	茅野 理奈	小海	5.00.00	
	2000mR		佐久長聖	2.50.65		東海大三	2.55.88		軽井沢	2.56.07		小海	3.01.38							
	学校対抗		佐久長聖	70.5点		東海大三	53点		小海	20点		軽井沢	14点		伊那北	5.5点			諏訪清陵	4点

フィギュア競技

女子学校対抗 1位 文大長野 2位 岡谷工業 3位 諏訪二葉

個人成績 1位 小森亜耶(岡谷工業) 2位 稲田有香(文大長野) 3位 阿部詩織(諏訪二葉) 4位 広森みづほ(文大長野) 5位 林 千加(文大長野) 6位 岡村明子(長野清泉)

アイスホッケー競技

軽井沢24-0 長野工業

平成9年度 第18回長野県高等学校新人体育大会

順位 種目	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			第6位			
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子	500m	宮川 亮佑	佐久長聖	37.97	土屋 陽祐	佐久長聖	38.34	小嶋 雅之	岡谷東	38.55	市村 充	佐久長聖	38.84	渡辺 憂	小海	39.32	田口 新	佐久長聖	39.32
	1000m	宮川 亮佑	佐久長聖	1.15.87	土屋 陽祐	佐久長聖	1.17.98	小嶋 雅之	岡谷東	1.17.99	渡辺 憂	小海	1.19.06	市村 充	佐久長聖	1.19.07	金沢 拓	軽井沢	1.19.79
	1500m	関 喜治	岡谷南	1.59.90	知久 隆徳	岡谷南	2.01.21	伊藤 隼	東海大三	2.02.09	柳澤 豊和	佐久長聖	2.02.49	上原 啓一	茅野	2.02.74	小澤 竜一	岡谷南	2.09.02
	3000m	知久 隆徳	岡谷南	4.11.40	牛山 貴広	諏訪清陵	4.13.98	関 喜治	岡谷南	4.14.04	荒井 大輔	佐久長聖	4.16.45	菊池 千年	小海	4.16.49	伊藤 隼	東海大三	4.18.62
	5000m	伊藤 明利	小海	7.30.57	荒井 大輔	佐久長聖	7.31.23	小林 雅人	東海大三	7.44.19	志摩 哲也	小海	7.55.33	佐藤 了	軽井沢	7.58.33	黒沢 貴信	軽井沢	8.06.07
女子	500m	上原 寿香	佐久長聖	42.24	栗林美奈子	佐久長聖	43.02	森下 恭子	諏訪清陵	43.56	斉川和佳奈	松本嶺ヶ崎	44.99	草間 亜樹	佐久長聖	45.02	唐澤 由紀	岡谷東	45.39
	1000m	上原 寿香	佐久長聖	1.25.81	栗林美奈子	佐久長聖	1.27.21	森下 恭子	諏訪清陵	1.29.29	阿久津奈々	佐久長聖	1.31.25	丸山 望	軽井沢	1.31.60	斉川和佳奈	松本嶺ヶ崎	1.32.09
	1500m	大木 房実	佐久長聖	2.13.00	茅野 理奈	小海	2.15.61	藤森由香里	東海大三	2.16.10	濱 美咲	東海大三	2.19.03	中嶋みゆき	小海	2.21.14	丸山 望	軽井沢	2.28.02
	3000m	大木 房実	佐久長聖	4.39.79	藤森由香里	東海大三	4.43.78	茅野 理奈	小海	4.49.81	濱 美咲	東海大三	4.50.96	中嶋みゆき	小海	4.57.82			

フィギュア ① 小森亜耶(岡谷工業) ② 稲田有香(文大長野) ③ 広森みづほ(文大長野) ④ 阿部詩織(諏訪二葉) アイスホッケー競技 軽井沢32-0 長野工業

スキー

今年で50回を迎えた県高校スキー大会は、戦後のスポーツの中でも特に早い時期に復活した種目であった。昭和23年に飯山市で、長野県教育委員会、長野県スキー連盟主催で、第1回長野県学生スキー競技会が開催された。その後大会の主催者が参加範囲などに多少の移り変わりはあったものの、昭和31年から長野県高等学校スキー競技会として現在のような大会の基礎が築かれた。(元専門委員長 宮本金作氏)

本年の高校大会は奇しくも、第1回大会から30年の永きに亘って開催地としてご尽力いただいた飯山市で行なわれた。

エルニーニョ現象の為、何十年振りの少雪に加えて、オリンピックの関係で開催時期が早まった事が重なって、なんとか高校と中学校大会のみ実施し、他の大会は中止という状況でありました。飯山市、県スキー連盟に心より感謝を申しあげたいと思います。

スキー大会週間の見直し

高校大会がスキー大会週間という新しい形式の方法で行なわれるようになって、本年は20回を数える。大会の規模はさながらインターハイ規模の大型化した大会になっている。開催地の負担(運営費、運営スタッフ、大会パーンの確保)は大変なものであります。加えて近年の雪不足からか、経済不況の為なのか、スキー場を始めとするスキー関係者へのダメージが大きく大会開催が困難になってきています。他競技と違ってコース造りや競技運営面に莫大な資金を必要とするスキー大会の引き受け手がなくなっているのが近年の状況であります。

他の競技団体のように高体連サイドに力があり、組織の中心となって動けるような組織づくりを、真剣に取り組む時期に来ています。スキー連盟からの要望も強く、課題として検討中の問題があります。

オリンピック(競技役員としての参加、協力)

長野オリンピックのスキー競技運営は、長野県スキー連盟にまかされ、県スキー連盟は地元中心の役員編成を行った。自薦、他薦の役員候補が多い中から、オリンピックの後、長野に何が残るか、残さなければならぬかを第一に考えて選考された。『子供達と直接かかわっている教師が体験することは、今後有形無形に残るものがあるはずだ。』(佐藤俊幸 NAOCSスキー競技担当)の意を得て県下各高校より140名の先生と180名の高校生が競技役員として参加した。

悪天候で大変な状況であったが、多くの人々に感動を与えたオリンピックに参加する機会を与えていただいた事に感謝したいと思います。

第49回インターハイ 飯山市開催決定

平成11年度に行われるインターハイが正式決定した。本県では42回大会(梅池)が5年前に行なわれており、過去5回の開催実績をもつ。本県の大会運営の素晴らしさは、オリンピックでも実証済みで、FISの関係者からお誉めの言葉をいただいている。県スキー連盟の歴史と伝統が作りあげたものと思っております。

オリンピックで活躍した選手達(長野)

アルペンの富井剛志(飯山南)、クロスカントリーの堀米光男、神津正昭(中野実業)今井博幸(長野吉田)コンバインドの森敏(飯山北)富井彦(下高井農林)河野孝典(飯山南)(リレハンメルで大活躍、今回選手村の副村長)はこの10年間に巣立って行った選手である。又インターハイで活躍し、主だった成績を見ると、中野実業高校の男子総合、連続3年間優勝を筆頭に、1年から3年間優勝した選手は2人。1人は堀米光男(中野実業)。もう1人はスラロームの切久保深雪(白馬)の活躍である。この外現在スキー界のトップクラスで活躍している選手が多数おります。増々の活躍をお祈りします。

(専門委員長 富松健夫)

昭和62年度 長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位	
	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録
男子 フルマラソン	Gスラローム	高井 剛志 飯山南 ① 1' 06' 19	山岸 信也 白馬 ① 1' 06' 61	猪股 修白 馬 ② 1' 06' 64	橋本 勇一 中野実 ③ 1' 06' 95	久保 智広 大町 ④ 1' 06' 96	西村 卓男 下高農 ⑤ 1' 07' 20					
	スラローム	太田 勝白 馬 ① 1' 41' 76	太田 光洋 白馬 ① 1' 41' 83	猪股 修白 馬 ② 1' 42' 00	関 高行 中野実 ③ 1' 43' 44	森 五月 下高農 ④ 1' 44' 32	竹節 晃 中野実 ⑤ 1' 44' 49					
女子 フルマラソン	Gスラローム	山本香代子 中野実 ② 1' 08' 23	北林 万里白 馬 ② 1' 09' 72	田原 恵白 馬 ① 1' 10' 01	丸山 尚子 白馬 ① 1' 10' 43	森 美智子 飯山南 ② 1' 11' 01	永吉 雪絵 大町北 ① 1' 11' 38					
	スラローム	丸山 尚子 白馬 ① 1' 41' 30	山本香代子 中野実 ② 1' 41' 89	北林 万里白 馬 ② 1' 42' 00	森 美智子 飯山南 ② 1' 42' 22	田原 恵白 馬 ① 1' 43' 32	片桐 朝美 飯山南 ① 1' 45' 36					
男子 クロスカントリー	10kmクラシ											
	15kmフリー	清水 博樹 中野実 ③ 42' 47' 0	今井 博幸 吉田 ⑤ 42' 57' 6	青木 英幸 中野実 ③ 43' 49' 8	青木 透 飯山北 ② 44' 54' 7	太田 敏明 白馬 ② 46' 17' 5	竹田 和正 下高農 ② 46' 45' 5					
女子 クロスカントリー	リレー	中野実 ② 2' 28' 44" 5	下高農 ② 2' 33' 54" 5	飯山北 ② 2' 39' 12" 0	中野西 ② 2' 39' 44" 9	飯山南 ② 2' 41' 02" 5	照 丘 ② 2' 43' 40" 7					
	5kmクラシ	株津ひかる 飯山北 ② 18' 19" 4	竹節佐貴子 中野実 ② 18' 19" 4	佐藤恵美子 中野実 ① 18' 49" 3	宮崎ゆみ子 中野実 ③ 19' 05" 5	村上 弥生 飯山北 ② 19' 29" 0	栗田 恵 飯山南 ① 19' 56" 7					
女子 フルマラソン	10kmフリー	村上 弥生 飯山北 ② 33' 13" 4	佐藤恵美子 中野実 ① 33' 19" 6	栗田 恵 飯山南 ① 33' 35" 7	株津ひかる 飯山北 ② 33' 42" 5	宮崎ゆみ子 中野実 ③ 33' 51" 1	竹節佐貴子 中野実 ② 34' 24" 9					
	リレー	中野実 ② 1' 03' 48" 9	飯山北 ② 1' 05' 10" 1	飯山南 ② 1' 08' 21" 7	白馬 ② 1' 10' 08" 0							
ジャンプ	富井 啓介 飯山北 ② 191.7	河野 大輔 下高農 ① 181.3	三好 英次 上田 ③ 174.8	富井 勝美 下高農 ③ 169.8	上野 隆 飯山北 ① 169.1	小泉 仁 飯山南 ② 165.1						
コンバインド	小泉 仁 飯山南 ② 425.500	高沢 義仁 飯山北 ③ 384.945	富井 勝美 下高農 ③ 381.710	森 敏 飯山北 ① 380.685	三好 英次 上田 ③ 378.180	上野 隆 飯山北 ① 363.585						
男子学校対抗	飯山北	65点	白馬	61	中野実	59.5	下高農	54.5	飯山南	31	上田	14
女子学校対抗	中野実	80点	白馬	70	飯山北	47	飯山南	44	大町北	9	佐久	2

昭和63年度 長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位	
	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録
男子 フルマラソン	Gスラローム	太田 光洋 白馬 ② 1' 08' 00	望月 彰 中野実 ② 1' 09' 48	白河 和也 白馬 ② 1' 09' 74	橋沢 順次 中野実 ③ 1' 10' 27	富井 竜一 飯山北 ② 1' 11' 57	猪股 秀史 白馬 ① 1' 11' 59					
	スラローム	白河 和也 白馬 ① 1' 21' 41	山本 治 中野西 ① 1' 21' 57	猪股 秀史 白馬 ① 1' 21' 67	山岸 信也 白馬 ② 1' 22' 44	松田富士人 白馬 ③ 1' 22' 52	富井 竜一 飯山北 ② 1' 23' 12					
女子 フルマラソン	Gスラローム	丸山 有紀 白馬 ② 1' 12' 89	北林 万里白 馬 ③ 1' 13' 24	山本香代子 中野実 ③ 1' 14' 08	田原 恵白 馬 ② 1' 15' 52	保沢 奈穂 白馬 ① 1' 16' 24	石原 明子 東海三 ② 1' 17' 41					
	スラローム	北原 万里白 馬 ③ 1' 19' 50	田原 恵白 馬 ② 1' 20' 59	丸山 有紀 白馬 ② 1' 20' 94	丸山 由佳 白馬 ① 1' 21' 63	山本香代子 中野実 ③ 1' 21' 76	竹節 惠恵 長野日 ② 1' 22' 87					
男子 クロスカントリー	10kmクラシ											
	15kmフリー	青木 透 飯山北 ③ 50' 27" 7	竹田 和正 下高農 ① 51' 58" 9	吉池 孝二 中野実 ② 52' 18" 4	勝山 泰広 下高農 ③ 53' 00" 0	太田 敏明 白馬 ③ 53' 00" 2	春原 直人 中野実 ② 53' 19" 8					
女子 クロスカントリー	リレー	下高農 ② 2' 17' 22" 1	飯山北 ② 2' 17' 36" 6	中野実 ② 2' 18' 55" 4	白馬 ② 2' 25' 16" 2	照 丘 ② 2' 29' 07" 5	中野西 ② 2' 29' 19" 0					
	5kmクラシ	佐藤恵美子 中野実 ② 19' 29" 3	細野なつこ 中野実 ② 19' 40" 0	株津ひかる 飯山北 ③ 19' 46" 5	竹節佐貴子 中野実 ③ 20' 12" 8	切久保あづ美 白馬 ① 20' 31" 8	宮崎 康子 中野西 ① 21' 06" 4					
女子 フルマラソン	10kmフリー	竹節佐貴子 中野実 ③ 39' 03" 8	株津ひかる 飯山北 ③ 39' 29" 3	佐藤恵美子 中野実 ② 39' 47" 6	切久保あづ美 白馬 ① 40' 33" 7	栗田 恵 飯山南 ② 40' 49" 3	村上 弥生 飯山北 ② 41' 08" 0					
	リレー	飯山北 ② 58' 25" 0	中野実 ② 1' 00' 38" 2	白馬 ② 1' 02' 57" 7	飯山南 ② 1' 06' 02" 9	中野西 ② 1' 15' 05" 7						
ジャンプ	河野 大輔 下高農 ② 167.5	森 敏 飯山北 ② 156.3	富井 啓介 飯山北 ③ 154.0	小泉 仁 飯山南 ③ 149.4	久保田真一郎 飯山北 ② 148.1	山田 和由 白馬 ① 145.4						
コンバインド	森 敏 飯山北 ② 406.300	小泉 仁 飯山南 ③ 403.080	山田 和由 白馬 ① 390.380	上野 隆 飯山北 ② 364.645	久保田真一郎 飯山北 ② 362.495	津久井 琢也 飯山南 ① 353.260						
男子学校対抗	白馬	94点	飯山北	87	中野実	45	下高農	44	飯山南	29	中野西	14
女子学校対抗	白馬	96点	中野実	83	飯山北	33	飯山南	21	中野西	11	長野日大	11

平成元年度 長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位	
	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録
男子 フルマラソン	Gスラローム	太田 光洋 白馬 1' 02' 44	白河 和也 白馬 1' 02' 49	宮下 征樹 白馬 1' 02' 90	山本 治 中野西 1' 03' 15	森 五月 下高井農 1' 03' 39	篠又 誠 白馬 1' 03' 46					
	スラローム	山本 治 中野西 1' 36' 75	太田 光洋 白馬 1' 37' 54	篠又 誠 白馬 1' 38' 49	森 五月 下高井農 1' 38' 56	望月 彰 中野西 1' 38' 86	富井 竜一 飯山北 1' 39' 59					
	Gスラローム	竹節 嘉恵 野大 1' 07' 11	竹節 恭江 野大 1' 07' 50	渡辺 由美 野大 1' 07' 52	片桐 朝美 飯山南 1' 07' 54	切久保探雪 白馬 1' 07' 91	佐々木 幸洋 清泉 1' 08' 11					
	スラローム	切久保探雪 白馬 1' 40' 45	田原 恵 白馬 1' 40' 82	竹節 嘉恵 野大 1' 40' 97	深沢 奈穂 白馬 1' 44' 03	飯井伊佐子 飯山北 1' 44' 26	芦原 桂子 中野西 1' 44' 49					
男子 クロスカン	15km	畔上 大地 飯山北 49' 09" 3	吉池 孝二 中野実業 50' 08" 9	佐藤 新一 飯山北 50' 56" 3	小境 啓之 下高井農 51' 19" 7	松村 慎也 飯山南 51' 20" 2	保坂 寿男 中野西 51' 57" 4					
	15kmフリー											
	リレー	赤津 誠 下高井農 1' 57' 36" 9	保坂 孝二 中野実業 1' 57' 53" 3	畔上 大地 飯山北 1' 58' 34" 1	太田 北村 山田 松本 2' 02' 45" 5	市村 邦彦 山丘 2' 10' 37" 0	坪井 健 野大 2' 15' 10" 7					
	5kmクラシカ	佐藤 恵美子 中野実業 18' 00" 2	中村 由紀 白馬 18' 29" 1	横川 恵里 白馬 19' 11" 1	村上 弥生 飯山北 19' 24" 7	山本 陽子 中野西 19' 26" 9	細野なつ子 中野西 19' 45" 9					
女子 フルマラソン	10kmフリー	佐藤 恵美子 中野実業 31' 44" 6	中村 由紀 白馬 32' 06" 0	山本 陽子 中野西 32' 50" 3	村上 弥生 飯山北 33' 12" 2	横川 恵里 白馬 33' 49" 0	細野なつ子 中野西 34' 26" 5					
	リレー	切久保あづさ 中野実業 51' 34" 6	細野なつ子 中野西 52' 35" 4	村上 弥生 飯山北 58' 27" 7	池田 翠 飯山南 1' 05' 57" 0							
	ジャンプ	富井 正樹 飯山北 173.1点	森 誠 飯山北 156.5点	上野 真吾 飯山北 156.3点	富井 彦 下高井農 150.1点	上野 隆 飯山北 149.7点	河野 大輔 下高井農 145.8点					
	コンバインド	森 誠 飯山北	山田 和由 白馬	富井 彦 下高井農	上野 隆 飯山北	富井 正樹 飯山北	河野 大輔 下高井農					
男子学校対抗	飯山北 106.5点	白馬 74点	下高井農 52点	中野実業 39点	中野西 25点	長野日大 12点						
女子学校対抗	白馬 87点	中野実業 70点	長野日大 39点	飯山北 28点	飯山南 19点	清泉 9点						

平成2年度 長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位	
	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録	氏名	校名 記録
男子 フルマラソン	Gスラローム	笠原 広 中野実業 1' 07' 62	宮下 征樹 白馬 1' 08' 19	横沢 清 白馬 1' 08' 21	片桐 貴司 飯山南 1' 08' 29	竹田 高広 中野西 1' 08' 67	渡辺 克彦 野大 1' 08' 72					
	スラローム	中野 基博 野大 1' 36' 58	宮下 征樹 白馬 1' 36' 93	横沢 清 白馬 1' 38' 42	片桐 貴司 飯山南 1' 38' 82	西方 康浩 飯山南 1' 39' 14	平 匠 上田 1' 39' 17					
	Gスラローム	切久保探雪 白馬 1' 06' 14	竹節 恭江 野大 1' 06' 14	丸山 由佳 白馬 1' 06' 91	宮田 直帆 白馬 1' 07' 19	飯井伊佐子 飯山北 1' 07' 41	芦原 佳子 中野西 1' 07' 46					
	スラローム	切久保探雪 白馬 1' 21' 61	芦原 佳子 中野西 1' 25' 15	宮田 直帆 白馬 1' 26' 19	高橋 香絵 白馬 1' 26' 29	丸山 由佳 白馬 1' 26' 41	黒岩 久美 野大 1' 26' 69					
男子 クロスカン	15kmクラシ	堀米 光男 中野実業 45' 43" 0	神津 正昭 中野実業 47' 55" 0	池田 好伸 中野実業 48' 11" 6	赤津 誠 下高井農 48' 13" 0	畔上 大地 飯山北 48' 23" 8	森 知弘 下高井農 48' 26" 5					
	15kmフリー	堀米 光男 中野実業 41' 22" 2	神津 正昭 中野実業 41' 38" 1	畔上 大地 飯山北 42' 55" 6	中村 祥隆 白馬 43' 48" 5	赤津 誠 下高井農 43' 57" 8	松本 茂白 馬 44' 46" 6					
	リレー	池田 好伸 野大 2' 13' 32" 5	中村 北村 山田 松本 2' 19' 45" 6	久保田 裕 野大 2' 21' 22" 6	山田 真紀 下高井農 2' 21' 33" 3	野口 直 飯山南 2' 23' 46" 3	田中 史生 野大 2' 35' 43" 9					
	5kmクラシカ	佐藤 雪野 中野実業 17' 32" 9	中村 由紀 白馬 18' 01" 7	水野小百合 飯山北 18' 43" 4	横川 恵里 白馬 18' 44" 2	石井 康希 長野日大 19' 12" 4	富井 美樹 飯山北 19' 28" 1					
女子 フルマラソン	10kmフリー	中村 由紀 白馬 32' 43" 6	佐藤 雪野 中野実業 34' 13" 1	水野小百合 飯山北 34' 13" 8	横川 恵里 白馬 34' 15" 3	山田 恵白 馬 35' 14" 1	山本 陽子 中野西 35' 14" 2					
	リレー	横川 恵里 白馬 58' 33" 8	佐藤 雪野 中野実業 59' 15" 6	富井 美樹 飯山北 1' 03' 19" 6	市川 寛子 野大 1' 11' 25" 7							
	ジャンプ	富井 彦 下高井農 171.6点	上野 真吾 飯山北 156.3点	高沢 公治 飯山南 148.8点	富井 正樹 飯山北 142.1点	山田 和由 白馬 140.3点	河野 智海 下高井農 138.5点					
	コンバインド	富井 彦 下高井農	山田 和由 白馬	富井 正樹 飯山北	上野 真吾 飯山北	高沢 公治 飯山南	市川 雄一 下高井農					
男子学校対抗	白馬 79点	中野実業 77点	飯山北 71点	下高井農 59点	飯山南 51点	長野日大 23点						
女子学校対抗	白馬 111.5点	中野実業 59.5点	長野日大 38.5点	飯山北 36.5点	大町 5点	飯山南 3点						

平成3年度 長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子 フルバ ン女子	Gスロウローム	佐藤 福大 中野 野葉	1' 00" 83	宮下 征樹 白馬	1' 01" 93	竹田 高広 中野 野葉	1' 02" 27	笠原 広 中野 野葉	1' 02" 42	渡辺 和宣 中野 野葉	1' 02" 73	富井 次郎 飯山北	1' 02" 76
	スロウローム	竹田 高広 中野 野葉	1' 36" 70	木谷 拓郎 白馬	1' 37" 50	富井 次郎 飯山北	1' 37" 62	下平 匠上 田	1' 37" 69	宮下 征樹 白馬	1' 37" 79	関 貴彦 長野 野大	1' 38" 19
	Gスロウローム	竹節 恭江 長野 野大	1' 07" 00	坂口奈津実 中野 野葉	1' 07" 54	宮田 苗帆 白馬	1' 08" 24	中沢 真緒 大町北	1' 08" 34	平田 真弓 長野 野大	1' 08" 84	田島まこも 白馬	1' 08" 87
	スロウローム	竹節 恭江 長野 野大	1' 51" 53	宮田 苗帆 白馬	1' 52" 23	坂口奈津実 中野 野葉	1' 52" 94	宮沢 恵美 大町	1' 54" 37	小島 美奈 中野 野葉	1' 55" 27	松田美登里 白馬	1' 55" 44
男子 クロス カント ン女子	15km クラシ	神津 正昭 中野 野葉	46' 41" 0	堀米 光男 中野 野葉	47' 08" 7	佐藤 威 中野 野葉	47' 55" 3	久保田 裕 飯山北	48' 16" 8	畔上 大地 飯山北	48' 38" 7	黒岩 拓吾 中野 野葉	49' 48" 2
	15km フリー	堀米 光男 中野 野葉	38' 43" 5	神津 正昭 中野 野葉	39' 29" 9	畔上 大地 飯山北	41' 27" 3	森 知弘 下高井 農林	41' 41" 2	中村 祥隆 白馬	42' 05" 6	佐藤 威 中野 野葉	42' 13" 8
	リレー	佐藤 威 中野 野葉 堀米 光男 中野 野葉 佐藤 正昭 中野 野葉	2' 00" 25" 5	久保田 裕 飯山北 畔上 大地 飯山北 片畑 崇 飯山北	2' 07" 56" 8	黒岩 拓吾 長野 野大 宮崎 木内川 長野 野大 正 卓 長野 野大	2' 10" 56" 5	森山 和徳 飯山南 地田 直輝 飯山南 小松 友晴 飯山南	2' 11" 24" 5	中村 祥隆 白馬 北村 本 白馬 松本 石塚 白馬	2' 11" 27" 0	堀米 直 下高井 農林 森 知弘 下高井 農林 佐藤 和伸 下高井 農林	2' 11" 35" 5
	5km クラシ	佐藤 雪野 中野 野葉	19' 12" 4	中村 由紀 白馬	19' 27" 2	横川 恵里 白馬	19' 42" 9	西沢美智子 中野 野葉	20' 01" 6	富井 美樹 飯山北	20' 25" 4	水野小百合 飯山北	20' 40" 3
女子	10km フリー	中村 由紀 白馬	32' 03" 4	佐藤 雪野 中野 野葉	33' 24" 2	山田 恵白 馬	33' 36" 5	水野小百合 飯山北	33' 53" 0	横川 恵里 白馬	34' 10" 3	児玉 駿子 中野 野葉	34' 21" 7
	リレー	西沢美智子 中野 野葉 佐藤 雪野 中野 野葉 児玉 駿子 中野 野葉	54' 13" 2	横川 恵里 白馬 中村 由紀 白馬 山田 恵白 馬	54' 13" 6	富井 美樹 飯山北 水野小百合 飯山北 平野 正美 飯山北	56' 55" 6	櫻嶋 恵美子 長野 野大 丸山 志乃 長野 野大 石井 康香 長野 野大	1' 05" 36" 1				
	ジャンプ	杉山 恵亮 飯山北	215.0点	富井 彦 下高井 農林	192.6点	佐藤 正彦 飯山南	173.1点	中村 幸志白 馬	171.3点	森 卓也 飯山南	160.3点	上野 真吾 飯山北	159.7点
コンバインド	富井 彦 下高井 農林		市川 雄一 下高井 農林		富井 正樹 飯山北		佐藤 正彦 飯山南		高沢 公治 飯山南		小泉 教 飯山北		
男子 学校対抗	中野実業	111点	飯山北	89点	白馬	61点	下高井農林	50点	飯山南	39点	長野日大	17点	
女子 学校対抗	白馬	83点	中野実業	82点	長野日大	39点	飯山北	33点	大町北	10点	大町	7点	

平成4年度 長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子 フルバ ン女子	Gスロウローム	片桐 貴司 飯山南	1' 51" 86	竹田 高広 中野 野葉	1' 52" 00	富井 次郎 飯山北	1' 52" 80	徳 俊光 中野 野葉	1' 53" 35	深沢 哲白 馬	1' 53" 57	下平 匠上 田	1' 53" 57 (5位2人)
	スロウローム	下田 匠上 田	1' 30" 41	富井 次郎 飯山北	1' 30" 97	片桐 貴司 飯山南	1' 31" 11	塩沢 典彦 白馬	1' 31" 40	竹田 高広 中野 野葉	1' 31" 58	田島あづみ 白馬	1' 31" 85
	Gスロウローム	松田美登里 白馬	2' 02" 81	坂口奈津実 中野 野葉	2' 03" 57	太田真由美 白馬	2' 04" 53	飯沼 幸恵 白馬	2' 06" 36	宮田 苗帆 白馬	2' 06" 85	小坂かおり 中野 野葉	2' 07" 31
	スロウローム	松田美登里 白馬	1' 33" 14	宮田 苗帆 白馬	1' 34" 97	田中加寿子 長野 野大	1' 35" 04	理奈 長日 野大	1' 35" 32	平田 真弓 長野 野大	1' 35" 55	太田真由美 白馬	1' 36" 10
男子 クロス カント ン女子	10km クラシ	堀米 光男 中野 野葉	39' 42" 8	神津 正昭 中野 野葉	40' 25" 3	常田 武彦 中野 野葉	40' 57" 6	竹節 竜二 中野 野葉	40' 58" 4	佐藤 威 中野 野葉	41' 14" 4	中村 浩 中野 野葉	41' 37" 2
	15km フリー	堀米 光男 中野 野葉	36' 33" 5	神津 正昭 中野 野葉	37' 30" 8	竹節 竜二 中野 野葉	37' 34" 9	森 知弘 下高井 農林	38' 03" 6	常田 武彦 中野 野葉	38' 24" 7	佐藤 威 中野 野葉	38' 56" 6
	リレー	佐藤 威 中野 野葉 堀米 光男 中野 野葉 常田 武彦 中野 野葉	1' 44" 16" 2	久保田 裕 飯山北 小松 高 飯山北 佐藤 威 飯山北	1' 48" 27" 1	常田 武彦 下高井 農林 藤原 康 下高井 農林 佐藤 威 下高井 農林	1' 48" 59" 9	久保田 裕 飯山北 片桐 貴司 飯山北 松本 村 飯山北	1' 51" 10" 1	中村 浩 白馬 石山 宮 白馬 村 本 白馬	1' 54" 09" 5	木梨山 村 飯山南 内 飯山南 無 飯山南 笠 飯山南	1' 56" 20" 7
	5km クラシ	佐藤 雪野 中野 野葉	16' 06" 8	西沢美智子 中野 野葉	16' 41" 0	平野 正美 飯山北	16' 45" 2	山田 恵白 馬	16' 49" 2	水野小百合 飯山北	16' 55" 7	石井文香 飯山南	16' 58" 3
女子	10km フリー	佐藤 雪野 中野 野葉	29' 32" 8	水野小百合 飯山北	29' 50" 7	石井文香 飯山南	30' 27" 4	平野 正美 飯山北	31' 42" 8	西沢美智子 中野 野葉	31' 50" 8	山崎 千夏 飯山北	31' 55" 9
	リレー	平水 山 野 飯山北 野 飯山北 崎 飯山北	47' 00" 3	山田 林 白馬 小 林 白馬 猪 林 白馬	49' 43" 8	西沢 小 飯山南 佐 中野 野葉 林 中野 野葉	50' 31" 2	宮本 井 飯山南 石 飯山南 村 飯山南	51' 15" 9	高嶋 大 下高井 農林 方 下高井 農林 三 下高井 農林	57' 09" 8		
	ジャンプ	杉山 恵亮 飯山北	215.5	河野 智海 下高井 農林	191.5	中村 幸志白 馬	189.0	高沢 公治 飯山南	187.4	佐藤 正彦 飯山南	180.6	森 卓也 飯山南	178.8
コンバインド	佐藤 正彦 飯山南	208.2 41' 44" 2	中村 幸志白 馬	218.0 43' 32" 1	高沢 公治 飯山南	207.4 43' 42" 4	市川 雄一 下高井 農林	162.1 39' 31" 6	佐藤 信義 長野 野大	187.6 42' 29" 2	山本哲也 白馬	187.9 42' 47" 5	
男子 学校対抗	中野実業	116	飯山南	83	白馬	62.5	飯山北	49	下高井農林	36	上田	15.5	
女子 学校対抗	白馬	76	中野実業	61	飯山北	53	飯山南	35	長野日大	26	下高井農林	7	

平成5年度 長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位								
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録							
男子 フルマ ソーン	Gスラローム	関 俊光	中野実業	1' 02" 29	片桐 貴司	飯山南	1' 02" 77	西村 斉白	馬	1' 03" 66	深沢 哲白	馬	1' 04" 14	鷲沢 慎二	白馬	1' 04" 18	上野 英一	飯山北	1' 05" 05
	スラローム	片桐 貴司	飯山南	1' 19" 47	木谷 逸郎	白馬	1' 20" 13	関 俊光	中野実業	1' 20" 76	神倉 仁司	白馬	1' 20" 80	萩原 功士	飯山南	1' 20" 99	深沢 哲白	馬	1' 21" 13
	Gスラローム	太田真由美	白馬	55" 70	大谷 美果	白馬	56" 29	大久保 優	飯山南	56" 41	飯沼 幸恵	白馬	56" 41	田中加芳子	長野大	56" 96	横村 聖佳	白馬	57" 07
	スラローム	関 理奈	長野大	1' 33" 03	大久保 優	飯山南	1' 33" 70	田中加芳子	長野大	1' 34" 29	山本千恵子	中野実業	1' 36" 07	佐藤絵里子	中野実業	1' 36" 09	渡石久美子	上田染谷	1' 36" 35
男子 クロス カント リ	15kmクラシ	黒岩 拓吾	中野実業	27' 24" 2	中村 浩	中野実業	27' 29" 0	竹節 竜二	中野実業	27' 41" 7	島田 武彦	飯山南	27' 50" 2	久保田 貴	飯山南	27' 59" 1	大日方正喜	飯山北	28' 02" 4
	15kmフリー	竹節 竜二	中野実業	39' 00" 2	島田 武彦	飯山南	40' 02" 7	高橋幸一郎	飯山南	40' 38" 7	黒岩 拓吾	中野実業	40' 48" 5	小松 祐一	飯山南	41' 16" 6	山田 雅浩	中野実業	41' 26" 3
	リレー	佐中竹黒	藤村中東	2' 04" 42	久保田内島	飯山南	2' 09" 30	大日方高太郎	飯山北	2' 11" 10	湯常裕弥	本木農	2' 12" 31	宮伊石田	沢藤中	2' 19" 57	斉梨山丸	藤本山	2' 21" 02
	5kmクラシカ	宮本 由紀	飯山南	16' 13" 1	大口奈津美	中野実業	16' 14" 9	西沢美智子	中野実業	16' 30" 2	山崎 千夏	飯山北	16' 31" 1	堀米 千恵	飯山南	16' 32" 9	石井 文香	飯山南	16' 40" 9
女子 リ	10kmフリー	宮本 由紀	飯山南	31' 11" 8	石井 文香	飯山南	31' 34" 4	堀米 千恵	飯山南	32' 00" 9	桜井いづみ	中野実業	32' 04" 9	平野 正美	飯山北	32' 81" 7	山崎 千夏	飯山北	32' 16" 2
	リレー	宮石堀	本井飯山	48' 57" 4	大塚法	口井中野	48' 57" 5	山平平	野飯山北	49' 48" 6	江山市	津田白馬	53' 37" 4						
ジャンプ	池田 義治	飯山南	223.5	中村 幸志	白馬	175.0	田村 謙夫	白馬	170.4	金井 伸吾	飯山南	173.0	三尾 英之	飯山南	1171.0	宮尾 憲典	白馬	170.5	
コンバインド	中村 幸志	白馬	207.5 45' 10" 9	三尾 英之	飯山南	191.0 47' 28" 7	関 勇樹	飯山南	150.5 43' 30" 1	田村 謙夫	白馬	174.5 46' 10" 1	宮尾 憲典	白馬	182.0 38" 2	佐藤 武留	東部	173.5 47' 04" 9	
男子学校対抗	飯山南	127	白馬	103	中野実業	85	飯山北	27	飯山原丘	9	下高井農林	9							
女子学校対抗	飯山南	77.5	中野実業	68	白馬	47.5	々	31	長野日大	24	上田染谷丘	5							

平成6年度 長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位								
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録							
男子 フルマ ソーン	Gスラローム	大藤 徹也	飯山南	56" 16	山崎 聡	飯山南	56" 50	木谷 逸郎	白馬	56" 93	西村 斉白	馬	57" 15	桜井 元樹	上田東	57" 24	河野 透	飯山北	57" 62
	スラローム	西村 斉白	馬	1' 34" 90	木谷 逸郎	白馬	1' 35" 38	原山 永治	長野日大 伊豆分校	1' 37" 36	小林 宏	飯山南	1' 38" 97	上野 英一	飯山北	1' 39" 39	高橋 直人	飯山南	1' 39" 62
	Gスラローム	田原 温子	飯山南	1' 04" 47	関 理奈	長野大	1' 06" 43	山本千恵子	中野実業	1' 06" 57	渡石久美子	上田染谷	1' 06" 80	大久保 優	飯山南	1' 07" 34	小林 治美	飯山南	1' 07" 39
	スラローム	太田真由美	白馬	1' 40" 43	関 理奈	長野大	1' 40" 58	大久保 優	飯山南	1' 40" 77	山本千恵子	中野実業	1' 41" 32	栗田 悦子	飯山南	1' 44" 72	小林 利恵	飯山南	1' 45" 35
男子 クロス カント リ	10kmクラシ	島田 武彦	飯山南	30' 58" 6	児玉 勝成	中野実業	31' 17" 1	大山 勝広	中野実業	31' 51" 5	湯本 竜也	下高井農林	31' 59" 6	大日方正喜	飯山北	32' 04" 1	高橋幸一郎	飯山南	32' 13" 5
	15kmフリー	島田 武彦	飯山南	40' 34" 5	湯本 竜也	下高井農林	42' 14" 8	小松 祐一	飯山南	42' 38" 8	児玉 勝成	中野実業	42' 40" 2	大山 勝広	中野実業	42' 55" 5	高橋幸一郎	飯山南	43' 05" 0
	リレー	久保小島	飯山南	2' 00" 00	大塚中竹	山玉中野	2' 03" 45	河大聖	野飯山北	2' 06" 01	宮深伊田	沢藤中	2' 06" 58	嶋湯倉河	田本高井農林	2' 10" 06	斉山丸	藤本山	2' 21" 56
	5kmクラシカ	大口奈津美	中野実業	18' 05" 05	石井 文香	飯山南	18' 26" 9	法華 まり	中野実業	18' 28" 5	堀米 千恵	飯山南	18' 35" 9	桜井いづみ	中野実業	19' 01" 3	村上みどり	飯山北	19' 08" 7
女子 リ	10kmフリー	大口奈津美	中野実業	32' 01" 1	桜井いづみ	中野実業	33' 13" 0	石井 文香	飯山南	32' 29" 0	堀米 千恵	飯山南	33' 55" 8	小林みき	中野実業	33' 55" 9	法華 まり	中野実業	34' 20" 6
	リレー	大法塚	口井飯山	51' 04" 9	宮石堀	本井飯山	51' 43" 8	畔平高	上野飯山北	53' 41" 0	柏塚小	原野白馬	55' 04" 5						
ジャンプ	池田 義治	飯山南	91.0	佐藤 武留	東部	83.0	宮尾 憲典	白馬	75.5	佐藤草之助	飯山南	64.0	深沢 慎白	白馬	61.0	三尾 英之	飯山南	58.5 58.5	
コンバインド	富井 竜也	飯山南	147.0 46' 41" 2	佐藤 武留	東部	168.5 49' 27" 4	宮尾 憲典	白馬	152.5 47' 56" 6	金井 伸吾	飯山南	137.0 47' 27" 5	土屋 和貴	飯山南	175.5 52' 36" 7	富井 謙大	飯山南	84.0 47' 54" 1	
男子学校対抗	飯山南	150	白馬	76	中野実業	44	飯山北	34	下高井農林	23	東部	18							
女子学校対抗	飯山南	91	中野実業	86	白馬	27	飯山北	20	長野日大	18	上田染谷丘	7							

平成7年度 長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位								
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録							
男子 フルバ ン	Gスラローム	小林 修一	中野実業	2' 03" 98	山崎 純白	白馬	2' 04" 32	西村 斉白	白馬	2' 04" 41	上野 正之	飯山南	2' 04" 59	上野 英一	飯山北	2' 06" 22	徳竹 剛	中野実業	2' 06" 42
	スラローム	小林 修一	中野実業	1' 21" 31	西村 斉白	白馬	1' 21" 52	宮田 陽平	白馬	1' 23" 17	徳竹 剛	中野実業	1' 23" 80	五十嵐啓晃	飯山南	1' 24" 51	清水 哲	中野実業	1' 25" 96
女子 フルバ ン	Gスラローム	神坂 理沙	長野大	2' 03" 43	小林 治美	飯山南	2' 05" 66	渡辺 幸枝	飯山南	2' 06" 91	田原 温子	飯山南	2' 06" 93	佐藤由加里	中野実業	2' 08" 05	栗田 悦子	飯山南	2' 08" 32
	スラローム	横村 聖佳	白馬	1' 25" 39	渡石久美子	上田染谷	1' 26" 17	福島のり子	白馬	1' 26" 98	渡辺 幸枝	飯山南	1' 27" 50	吉沢亜希子	白馬	1' 29" 25			
男子 クロス スカ ン	15km クラシカ	池田 新一	中野実業	26' 53" 0	中山 啓希	中野実業	26' 56" 1	児玉 勝成	中野実業	27' 07" 1	横川 達広	白馬	27' 22" 3	羽入田洋一	中野実業	27' 22" 9	山田 琢也	飯山南	27' 23" 2
	15km フリー	児玉 勝成	中野実業	37' 03" 7	山田 琢也	飯山南	37' 10" 8	横川 達広	白馬	37' 15" 1	駒村 俊介	飯山南	37' 16" 3	山岸 修	中野実業	37' 21" 2	広瀬 将文	中野実業	37' 25" 0
女子 クロス スカ ン	リレー	大山 元也	山岸山中	2' 05" 59" 0	駒村 俊介	飯山南	2' 07" 06" 6	福宮 深伊	川村白馬	2' 11" 48" 4	嶋倉 栄茂	田科下高井	2' 15" 02" 6	河内 内河	野原野	2' 16" 42" 3			
	5km クラシカ	大口奈津美	中野実業	15' 01" 1	松岡 由里	中野実業	15' 16" 1	白鳥真紀子	中野実業	15' 35" 0	堀米 千恵	飯山南	15' 35" 3	桜井いづみ	中野実業	15' 39" 4	法華 まり	中野実業	15' 43" 3
女子 フルバ ン	10km フリー	大口奈津美	中野実業	28' 00" 0	桜井いづみ	中野実業	28' 06" 2	柏原 靖子	白馬	28' 11" 4	堀米 千恵	飯山南	28' 14" 4	白鳥真紀子	中野実業	28' 29" 7	法華 まり	中野実業	28' 38" 3
	リレー	大法 桜	口野井	47' 30" 7	服部 智	飯山南	49' 06" 4	柏原 靖子	原川白馬	52' 24" 1	群 上	野原野	52' 24" 1						
男子	ジャンプ	宮崎 慎一	飯山北	231.7	佐藤 武留	東部	222.3	太田 泰彦	大町	221.4	横沢 慎介	白馬	214.8	宮尾 憲典	白馬	212.2	正木 栄二	下高井	211.2
男子	コンバインド	正木 栄二	下高井		正木 誠	下高井		佐藤 武留	東部		土屋 和貴	飯山南		山崎 慎一	飯山南		横沢 慎介	白馬	
男子	学校対抗	中野実業	110	白馬	90	飯山南	83	下高井	31	飯山北	23	東部	17						
中野実業	中野実業	91	飯山南	72	白馬	53	上田染谷	13	長野日大	12	飯山北	12							

平成8年度 長野県高等学校総合体育大会

順位 種目	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位								
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録							
男子 フルバ ン	Gスラローム	深沢 祐介	白馬	1' 58" 03	石田 廉彦	飯山南	1' 58" 92	岡沢 研太	白馬	1' 58" 95	徳竹 剛	中野実業	1' 59" 29	上野 正之	飯山南	1' 59" 62	水落 亮太	飯山南	2' 00" 46
	スラローム	深沢 大輔	白馬	1' 37" 92	徳竹 剛	中野実業	1' 38" 15	岡沢 研太	白馬	1' 38" 99	渡辺 亮	飯山南	1' 39" 47	五十嵐啓晃	飯山南	1' 39" 93	石田 廉彦	飯山南	1' 40" 40
女子 フルバ ン	Gスラローム	神坂 理沙	長野大	2' 06" 87	福島のり子	白馬	2' 07" 84	佐藤由加里	中野実業	2' 08" 22	佐藤 西	飯山南	2' 09" 03	山崎 有可	中野実業	2' 09" 23	竹節 香織	長野大	2' 10" 03
	スラローム	神坂 理沙	長野大	1' 36" 30	栗田 悦子	飯山南	1' 37" 45	山崎 有可	中野実業	1' 39" 56	福島のり子	白馬	1' 39" 62	佐藤由加里	中野実業	1' 39" 68	竹節 香織	長野大	1' 40" 72
男子 クロス スカ ン	10km クラシカ	駒村 俊介	飯山南	31' 00" 9	青木 正和	飯山南	32' 12" 0	山岸 修	中野実業	32' 14" 3	服部 正秋	飯山南	32' 18" 5	大山 勝広	中野実業	32' 30" 3	斉藤 亮	飯山南	32' 31" 8
	15km フリー	駒村 俊介	飯山南	41' 21" 3	服部 正秋	飯山南	41' 50" 1	金丸 富男	飯山南	41' 53" 1	中山 晋治	中野実業	42' 09" 8	山岸 修	中野実業	42' 13" 7	斉藤 亮	飯山南	42' 24" 0
女子 クロス スカ ン	リレー	山 大	山岸山中	2' 01" 03" 1	服部 智	飯山南	2' 02" 55" 3	藤 倉	川村白馬	2' 12" 06" 8	米倉 高	田科下高井	2' 14" 38" 4						
	5km クラシカ	大日方純恵	飯山南	18' 06" 2	松岡 由里	中野実業	18' 59" 6	武田 共代	白馬	19' 08" 8	柏原 靖子	白馬	19' 09" 3	片塩 佳子	飯山南	19' 11" 1	服部 美紀	飯山南	19' 15" 3
女子 フルバ ン	10km フリー	大日方純恵	飯山南	32' 02" 4	片塩 佳子	飯山南	32' 12" 1	白鳥真紀子	中野実業	33' 20" 3	武田 共代	白馬	33' 26" 0	柏原 靖子	白馬	33' 34" 3	松岡 由里	中野実業	33' 38" 2
	リレー		飯山南	52' 02" 7	武 田	原川白馬	52' 39" 5	松 白	岡野	中野実業	54' 26" 5								
男子	ジャンプ	横沢 慎介	白馬	184.5	太田 泰彦	大町	168.0	山崎 慎一	飯山南	147.5	久保田大介	飯山南	145.5	土屋 和貴	飯山南	142.5	成澤 洋平	飯山南	142.0
男子	コンバインド	山崎 慎一	飯山南		佐藤 祐作	飯山北		横沢 慎介	白馬		土屋 和貴	飯山南		竹田 元	飯山南		成澤 洋平	飯山南	
男子	学校対抗	飯山南	180	白馬	76	中野実業	60	飯山北	34	大町	9	下高井	7						
女子	学校対抗	飯山南	81	中野実業	64	白馬	57	長野日大	34	飯山北	7	上田	4						

順位 種目	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		第6位		
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録	
男子 フルマイン	Cスラローム	徳竹 剛 中野実業	42' 21	宮嶋 浩明 白馬	42' 22	森 鉄平 飯山南	42' 29	深沢 大輔 白馬	42' 39	鈴木 賢可 上田染谷	42' 44	岡田 健 中野実業	42' 46
	スラローム	徳竹 剛 中野実業	1' 07' 99	大沢 大輔 白馬	1' 08' 11	原山 周三 長野市立	1' 08' 15	石田 廉 飯山南	1' 08' 36	北村 明史 飯山南	1' 08' 59	吉沢 航一 白馬	1' 08' 96
女子	Gスラローム	湯本 浩美 飯山南	43' 55	佐藤由加里 中野実業	43' 56	古畑 奈美 中野実業	44' 21	丸山 知諭 白馬	44' 27	星 沙也香 飯山南	44' 65	栗生田雪乃 白馬	44' 71
	スラローム	福島のり子 白馬	1' 13' 84	山崎 有可 中野実業	1' 14' 22	竹節 香織 長野大	1' 15' 70	栗生田雪乃 飯山南	1' 16' 09	徳竹 美雪 飯山南	1' 16' 31	佐藤 西 飯山南	1' 16' 33
男子 クросスカン	15km クラシカ	駒村 俊介 飯山南	25' 37" 4	中村 順一 中野実業	26' 06" 1	山岸 修 中野実業	26' 06" 1	金丸 富男 飯山南	26' 08" 8	恩田 祐一 飯山南	26' 11" 7	青木 正和 飯山南	26' 25" 7
	15km フリー	駒村 俊介 飯山南	36' 19" 9	山岸 修 中野実業	36' 31" 8	服部 正秋 飯山南	36' 48" 0	金丸 富男 飯山南	37' 00" 5	黒田 恵 中野実業	37' 37" 8	斉藤 亮 飯山南	37' 40" 7
女子 リレー	山 中 平 黒	岸村 中実 野業	1' 47" 43" 5	内 依 池	飯山北	1' 50" 01" 2	青 原 金山	飯山南	1' 50" 48" 6	深 松 白馬	1' 52" 31" 6	米 田 下高井 原 農 林	1' 55" 47" 1
	5km クラシカ	大日方純恵 飯山南	15' 17" 7	武田 共代 白馬	15' 08" 4	萩原可菜子 飯山北	15' 21" 5	服部 美紀 飯山南	15' 25" 7	加藤 望実 飯山南	15' 28" 5	田村 直美 飯山南	15' 43" 3
女子 リレー	10km フリー	大日方純恵 飯山南	29' 07" 7	服部 美紀 飯山南	29' 43" 8	武田 共代 白馬	29' 46" 4	植野 由香 中野実業	29' 57" 4	栗田あずみ 白馬	30' 19" 7	野口 磨利 飯山北	30' 39" 3
	リレー	服 大 日 方 飯山南	47' 22" 0	荻 野 原 口 飯山北	48' 16" 0	松 本 中野実業	49' 28" 6						
ジャンプ	崎崎 慶大 大町	233.9	岡田 良 飯山北	221.3	池田 雄三 飯山南	218.0	飯原 隆 飯山南	206.9	宮澤 岳二 白馬	206.4	常田 博史 飯山南	199.2	
コンバインド	井出 直也 飯山北		正木 栄二 下高井 農 林		岡田 良 飯山北		富井 祐介 飯山南		佐藤 祐作 飯山北		竹田 元 飯山南		
男子学校対抗	飯山南	140	中野実業	77	白馬	54	飯山北	50	下高井農林	17	大町	14	
女子学校対抗	飯山南	109	中野実業	51	白馬	43	飯山北	30	長野日大	10	上田千曲	3	

高体連会報紹介 第22号



平成5年度の県高体連の活動を振り返って見ますと、6月の総合体育大会は28競技に8,307名の選手の参加を得て開催することができました。この結果、1,672名の選手が北信越大会に出場し、陸上競技・水泳等全国総体へ出場権をかけて熱い戦いを繰り広げました。

全国高校総体(夏季)の出場者は水泳、陸上混成競技、全国定通大会の参加者を含めて総勢で573名に上りました。この中で、久しぶりに入賞をはたした水泳、陸上競技・空手道・レスリングの複数の上位入賞、バレーボールの入賞等が主な成績となりました。また、ボクシングの入賞者は2年生でした。定通大会では卓球女子個人で上位入賞者がでています。

12月の全国高校駅伝大会には東海大三高校・諏訪実業高校が参加しました。男子1区西沢君の快走がとても印象的でした。ラグビーフットボールは2回戦敗退が惜しまれました。

1月の全国高校総体スケートでは総勢104名の選手が参加し、佐久高校男子がスピード競技総合で初優勝を飾っています。アイスホッケーも入賞を果しています。個人でも男女1000mでの優勝をはじめ多数の上位入賞者を出し、オリンピックへ向けての選手強化が確実に実を結びつつあるようです。

2月の全国高校総体スキーでは、総勢105名の選手が参加し、中野実業高校男子が総合優勝を飾り同時に3連続制覇を成し遂げています。堀米・神津君を卒業させ苦しい戦いを強いられましたが、最終種目のリレー競技での逆転勝利でした。また、総合では2位に飯山南、5位に白馬高校が入りました。

登山の大会とは何をどう競うものなのでしょう。この問いに対する明確な答えはないというのが、本当のところかも知れません。そもそも競技とは無縁のものであったはずの登山という一つの文化活動が、高体連の一専門部として名を連ねるようになったのは、長野でのインターハイ開催が大きな契機になっています。昭和51年に開催されることになったインターハイをにらんで、昭和47年に初の県大会が白馬大雪渓で開かれました。その登山大会も今年平成10年で27回を数えるに至りました。白馬でのインターハイ開催のためにやむを得ずつくられた大会ではありましたが、現在までこの大会が高校生の登山に果たしてきた役割は大きいものがあります。

紆余曲折を経て始まった県大会ですが、自然が相手の競技ゆえ、フィールドが異なれば、当然状況は変わってきます。そんな中、登山という本来競技とは対極にあったものにそれを取り入れるということで、草創期以来の苦労は並大抵なものではありませんでした。しかし、次第に競技内容も整備され、昭和52年からは開催地を4地区2年持ち回り制で行うようになりました。大会の性格も全国大会出場権獲得のみではなく、各校の安全登山技術、クラブ運営の向上を全県交流の中で目指すものとなりました。ここ10年間の開催地は、昭和62・63年が飯田市大平、平成元年が真田町湯の丸高原、同2年が佐久市荒船山、以後、松本市美ヶ原、大町市五竜遠見尾根、山ノ内町志賀高原、牟礼村飯縄山、茅野市ハケ岳、飯田市大平高原、真田町菅平高原と原則にそって大会開催地が決められ平成10年は川上村金峰山で実施されました。

一方、県大会と同様な理由で、なかなか実施がなされなかったのが北信越大会でした。しかし、平成元年からは懸案であったこの北信越大会も開催されるようになり、今年で10回を数え、各県2回ずつ開催の経験をしました。長野県が開催したのは、平成2年第2回の飯縄山、平成7年第7回のハケ岳の大会です。

飯縄山での大会は土砂降りの雨という過酷な条件のもとで行われ、最終日の交流登山は中止

にせざるを得ませんでした。しかし、そのような条件の中、前年第一回新潟大会の松本美須々ヶ丘に続いて、須坂の男子が優秀校に選ばれました。ハケ岳の大会は、天候にも恵まれた上、北信越地区の高校生にとってはこのハケ岳が憧れの山でもあるということも相俟って、赤岳の山頂では交流の輪が広がりました。北信越大会では、このほかに平成3年に池田工業が男子優秀校に選ばれています。

県大会においては昭和50年代後半から60年代にかけて、全盛を誇った松本蟻ヶ崎に加えて、男子の上田・大町、女子の飯田風越などが力をつけてきていますが、インターハイでは、この10年、やや力不足の感は否めません。

その他、登山部独自の活動としては、平成8年8月、白馬村において、全国高体連登山専門部の創立40周年記念事業が行われました。この事業は三日間の日程で、全国各地から登山部の専門委員長及びその経験者などが集い、登山のメッカ長野の地で安全登山、高校登山部の今後の展望などについて語り合う分科会、記念登山や記念講演など盛り沢山の内容で開催され、高校登山部の持つ様々な点を全国の仲間と語り合える有意義なものでした。地元での開催ということで、この事業にあたっては県高体連登山部からも実行委員を2名選出し、開催に力を尽くしました。

(専門委員長 大西浩)

	専門部長	専門委員長
昭和62年	太田 信彦	松田 大
昭和63年	太田 信彦	松田 大
平成元年	小林 俊樹	高橋 清
平成2年	小林 俊樹	高橋 清
平成3年	小林 俊樹	高橋 清
平成4年	依田 守史	伊沢 利幸
平成5年	依田 守史	伊沢 利幸
平成6年	依田 守史	中尾 順悟
平成7年	腰原 基弘	中尾 順悟
平成8年	腰原 基弘	大西 浩
平成9年	腰原 基弘	大西 浩
平成10年	腰原 基弘	大西 浩

男子

女子

順位 年度	1 位	2 位	3 位	4 位	1 位	2 位	3 位	4 位
昭和62	長野西89.5	松本蠶ヶ崎87.0	岡谷南85.5	長野工業85.0	松本蠶ヶ崎92.5	松本美須ヶ丘79.5	長野西74.5	屋 代69.5
63	松本美須ヶ丘94.5	伊那北91.5	長野工業90.0	屋 代89.5	松本蠶ヶ崎96.0	岡谷南84.0	松本美須ヶ丘83.5	長野西81.5
平成1	松本蠶ヶ崎84.0	須 坂75.5	松本美須ヶ丘73.5	飯田風越70.5	松本蠶ヶ崎73.0	岡谷南70.0	松本美須ヶ丘64.0	長野西50.5
2	上 田89.0	松本蠶ヶ崎83.0	須 坂82.0	大 町78.0	松本蠶ヶ崎91.0	長野西66.0	屋 代56.0	松本美須ヶ丘51.5
3	上 田92.5	池田工業89.1	松本蠶ヶ崎86.5	岡谷南79.7	田 川79.3	松本蠶ヶ崎63.5	長野西47.5	松本美須ヶ丘44.5
4	上 田87.0	屋 代86.6	飯田風越84.9	長野工業84.0	飯田風越68.5	松本蠶ヶ崎53.1	長野西34.0	
5	須 坂97.0	松本蠶ヶ崎93.6 松本美須ヶ丘93.6		上 田91.1	松本蠶ヶ崎90.4	飯田風越85.3	須 坂77.0	
6	松本蠶ヶ崎91.9	屋 代90.4	飯田風越90.4	大 町89.9	飯田風越56.9	松本蠶ヶ崎47.6		
7	松本蠶ヶ崎96.5	大 町94.0	上 田91.0	屋 代89.5	飯田風越84.0	松本蠶ヶ崎77.2	上田染谷丘47.7	須 坂17.0
8	大 町96.4	飯田風越89.6	下伊那農業89.0 上 田89.0		上 田91.4	上田染谷丘85.5	松本蠶ヶ崎81.1	飯田風越77.4
9	大 町91.6	上 田85.5	松本蠶ヶ崎80.9	長野吉田79.6	上 田94.5	上田染谷丘90.6	松本蠶ヶ崎84.6	須 坂79.8

21 レスリング

最近10年の専門部の概要及び競技成績

専門部は、小林靖氏（現協会副会長）により昭和40年に小諸商業にレスリング同好会としてスタート、昭和46年に県高体連に加盟し、まもなく30年を数えるが、この10年で大きく変化した。昭和61年中嶋則行教諭により北佐久農業にレスリング同好会が出来3年目（平1年11月）の県新人大会において初優勝を遂げ、翌年の県総体（平2年6月）でも初優勝し、IHに初出場（3年連続出場）、翌年の平成3年には井出真一教諭が上田西にレスリング部を創部し県内の高校の競争意識がより高まった。そして平成4年11月県新人大会において創部1年目にして念願の団体戦初優勝を遂げた。この5年間（昭63年～平4年）の北信越では個人戦はまずまずだが団体戦では小諸商業（S63）、北佐久農業（H4）の3位が最高でよい結果がでなかった。しかし平成4年3月の全国選抜で68kg級高見沢

（小諸）3位（県17年ぶり）が他の選手の自信となり、平成5年北信越選抜で上田西が初優勝（県16年ぶり）北佐久農業も2位となる。個人戦でも8階級中6階級に優勝、全国選抜（平6年3月）62kg級石田（上田西）が2位、平成6年の北信越総体でも上田西が初優勝（県16年ぶり）しその後3連覇、平成9年には北佐久農業が初優勝した。全国大会での大きな話題は平成6年のIHで58kg級竹花（上田西）長野県初のチャンピオンに、全国選抜で上田西3位（平8年3月県18年ぶり）IHでも3位（県初）個人では46kg級吉澤（北佐久農業；全国選抜、IH）2冠、50kg級高橋（上田西；IH、広島国体）2冠を達成した。この50周年を一区切りとしさらに飛躍できるよう専門部一同頑張りたいと思いますのでこれからも皆様のなご一層のご支援ご協力をお願い致します。

（専門委員長 大池毅）



山梨IH、学校対抗戦で上田西高校3位入賞（長野県初）

長野県高等学校総合体育大会

長野県高等学校新人体育大会

学校対抗戦

年度	1位	2位	3位	4位	年度	1位	2位	3位	4位
昭和62	小諸高校	小諸商業高校	下伊那農業高校	北佐久農業高校	昭和62	小諸商業高校	小諸高校	下伊那農業高校	—
63	小諸商業高校	小諸高校	北佐久農業高校	長野南高校	63	小諸商業高校	小諸高校	北佐久農業高校	下伊那農業高校
平成1	小諸商業高校	小諸高校	北佐久農業高校	下伊那農業高校	平成1	北佐久農業高校	小諸高校	小諸商業高校	下伊那農業高校
2	北佐久農業高校	小諸高校	小諸商業高校	—	2	北佐久農業高校	小諸高校	小諸商業高校	下伊那農業高校
3	北佐久農業高校	小諸高校	小諸商業高校	更級農業高校	3	北佐久農業高校	小諸高校	下伊那農業高校	更級農業高校
4	北佐久農業高校	小諸高校	上田西高校	更級農業高校	4	上田西高校	北佐久農業高校	小諸高校	下伊那農業高校
5	上田西高校	北佐久農業高校	小諸高校	下伊那農業高校	5	上田西高校	北佐久農業高校	小諸高校	下伊那農業高校
6	上田西高校	北佐久農業高校	小諸高校	下伊那農業高校	6	上田西高校	北佐久農業高校	小諸高校	小諸商業高校
7	上田西高校	北佐久農業高校	小諸高校	下伊那農業高校	7	上田西高校	北佐久農業高校	下伊那農業高校	小諸高校
8	上田西高校	北佐久農業高校	下伊那農業高校	小諸高校	8	北佐久農業高校	上田西高校	下伊那農業高校	小諸高校
9	上田西高校	北佐久農業高校	下伊那農業高校	小諸高校	9	上田西高校	北佐久農業高校	—	—

長野県高等学校総合体育大会

長野県高等学校新人体育大会

個人戦 48kg → 46kg → kg級
(S62) (S63) ~ (H9)

個人戦 46kg → 49kg
(S62) (H9)

年度	1位	2位	3位	4位
昭和62	清水久三	武井久雄	柳沢忠彦	/
63	小山稔	大工原毅	柿崎隆二	/
平成1	小山稔	大工原毅	柿崎隆二	北村大典
2	大工原毅	柿崎隆二	大沢俊英	藤沢賢治
3	松村大蔵	藤沢賢治	伊壺一輝	島岡一樹
4	松村大蔵	堀切邦晃	中沢竜二	伊壺一輝
5	堀切邦晃	嶋岡一樹	塩川貴宏	稲場徳道
6	堀切邦晃	吉沢克洋	町田紀章	武井章洋
7	吉沢克洋	石川道則	松下潤	小林竹雪
8	吉沢克洋	吉澤宏	松下潤	清水康弘
9	吉澤宏	清水康弘	小杉山優	堀切盛寛

年度	1位	2位	3位	3位
昭和62	柳沢忠彦	/	/	/
63	小山稔	大工原毅	柿崎竜二	/
平成1	大工原毅	北村大典	/	/
2	吉沢克次	伊壺一輝	藤沢賢治	/
3	中沢竜二	伊壺一輝	稲場徳道	島岡一樹
4	堀切邦晃	川又康助	鈴木基弘	島岡一樹
5	堀切邦晃	/	/	/
6	吉沢克洋	井出和寿	山崎聡	松下潤(4位)
7	吉沢克洋	石川道則	小林竹雪	/
8	吉澤宏	清水康弘	小杉山優	/
9	相良比呂樹	町田勇人	/	/

長野県高等学校総合体育大会

長野県高等学校新人体育大会

個人戦 52kg → 50kg → kg級
(S62) (S63) ~ (H9)

年度	1位	2位	3位	4位
昭和62	齊藤 浩康 小 諸 商	壬生 親 下伊那農	依田 和也 小 諸	木内 勝敏 小 諸 商
63	柳沢 忠彦 小 諸 商	齊藤 潤一 小 諸 商	菊原 文典 北佐久農	寺尾 和也 北佐久農
平成1	柳沢 忠彦 小 諸 商	齊藤 潤一 小 諸 商	菊原 文典 北佐久農	黒岩 明 北佐久農
2	山本 純也 小 諸 商	桜井 泰行 小 諸	寺尾 和也 北佐久農	美齊津宏行 小 諸
3	小林 健志 北佐久農	美齊津宏行 小 諸	北村 大典 北佐久農	吉沢 克次 小 諸 商
4	吉沢 克次 小 諸 商	嶋岡 正樹 下伊那農	大森 仁 上田西	小林 伸一 更級農
5	大森 仁 上田西	中沢 竜二 北佐久農	川又 康助 北佐久農	嶋岡 正樹 下伊那農
6	大森 仁 上田西	高橋 利典 上田西	鈴木 基弘 下伊那農	三井 隆弘 小 諸 商
7	高橋 利典 上田西	井出 和寿 上田西	山崎 聡 北佐久農	掛川 大司 小 諸
8	高橋 利典 上田西	小林 竹雪 上田西	笠原 満夫 北佐久農	細谷 健二 小 諸
9	笠原 健二 北佐久農	細谷 健二 小 諸	横田 紘幸 北佐久農	町田 勇人 北佐久農

個人戦 50kg → 52kg
(S62) (H9)

年度	1位	2位	3位	3位
昭和62	齊藤 潤一 小 諸 商	吉村 豊 下伊那農		
63	柳沢 忠彦 小 諸 商	菊原 文典 北佐久農	長谷川 明 小 諸	寺尾 和也 北佐久農
平成1	山本 純也 小 諸 商	桜井 泰行 小 諸	黒岩 明 北佐久農	寺尾 和也 北佐久農
2	黒岩 明 北佐久農	井出 大志 小 諸 商	土屋 和良 小 諸	宮下 将洋 松 川
3	吉沢 克次 小 諸 商	宮下 将洋 松 川	小林 伸一 更級農	松村 大蔵 小 諸 商
4	大森 仁 上田西	嶋岡 正樹 下伊那農	鈴木 剛 上田千曲	中沢 竜二 北佐久農
5	大森 仁 上田西	川又 康助 北佐久農	鈴木 基弘 下伊那農	佐々木 大 松 川
6	高橋 利典 掛川 大司	掛川 大司 小 諸		
7	高橋 利典 上田西	井出 和寿 上田西	山崎 聡 北佐久農	吉澤 宏 北佐久農
8	笠原 満夫 北佐久農	細谷 健二 小 諸		
9	清水 康弘 上田西	細谷 健二 小 諸	花里 一成 北佐久農	水上巧司(4位) 下伊那農

長野県高等学校春季総合体育大会

長野県高等学校新人体育大会

個人戦56kg → 54kg → kg級
(S62) (S63) ~ (H9)

年度	1位	2位	3位	4位
昭和62	青木真砂水 小 諸 商	福沢 光高 飯田長姫	山岸 義孝 小 諸	桜井 秀文 小 諸 商
63	桜井 秀文 小 諸 商	依田 和也 小 諸	木内 勝利 小 諸 商	新井 裕一 小 諸 商
平成1	小林 和仁 北佐久農	小山 知洋 小 諸	山本 純也 小 諸 商	寺尾 和也 北佐久農
2	菊原 文典 北佐久農	長谷川 明 小 諸	小林 健志 北佐久農	比田井 学 小 諸
3	黒岩 明 北佐久農	比田井 学 小 諸	土屋 和良 小 諸	島岡 正樹 下伊那農
4	美齊津宏行 小 諸	青木 潤 北佐久農	井出 大志 小 諸 商	宮下 将洋 松 川
5	吉田 武司 上田西	井出 将光 北佐久農	山浦 成永 北佐久農	田中 健 下伊那農
6	吉田 武司 上田西	山浦 成永 北佐久農	川又 康助 北佐久農	井出 和寿 上田西
7	平井 進悟 上田西	武藤 弘幸 上田西	清水 孝夫 下伊那農	稲葉 均 上田西
8	平井 進悟 上田西	石川 道則 北佐久農	稲葉 均 上田西	加藤 雅一 下伊那農
9	花里 一成 北佐久農	佐藤 泰夫 北佐久農	相良比呂樹 上田西	

個人戦 54kg → 56kg
(S62) (H9)

年度	1位	2位	3位	3位
昭和62	依田 和也 小 諸	桜井 秀文 小 諸 商	荻原 正和 小 諸 商	新井 裕一 小 諸 商
63	小林 和仁 北佐久農	新井 裕一 小 諸 商	齊藤 潤一 小 諸 商	吉村 豊(4位) 下伊那農
平成1	高山 昭夫 北佐久農	長谷川 明 小 諸		
2	小林 健志 北佐久農	花田 孝 小 諸 商	比田井 学 小 諸	高栖 真一 下伊那農
3	青木 潤 北佐久農	美齊津宏行 小 諸	嶋岡 正樹 下伊那農	伊藤 彰英 松 川
4	吉田 武司 上田西	伊藤 貴晃 松 川	井出 将光 北佐久農	橋本 論 松 川
5	吉田 武司 上田西	井出 将光 北佐久農	山浦 成永 北佐久農	熊須 忠 小 諸 商
6	平井 進悟 上田西	檀山 浩 北佐久農	清水 孝夫 下伊那農	塩沢友則(4位) 小 諸 商
7	平井 進悟 上田西	稲葉 均 上田西	加藤 雅一 下伊那農	竹村滋洋(4位) 下伊那農
8	石川 道則 北佐久農	稲葉 均 上田西	横田 紘幸 北佐久農	
9	岩田 直之 上田西	白鳥 昇 上田西	大森 司 北佐久農	

長野県高等学校総合体育大会

長野県高等学校新人体育大会

個人戦 60kg → 58kg

個人戦 58kg → 60kg

(S62) (S63) ~ (H9)

(S62) (H9)

年度	1位	2位	3位	4位
昭和62	武藤 誉 小 諸	西垣 義久 小 諸	上原 聡 小 諸 商	青山 忠 下伊那農
63	山岸 義孝 小 諸	上原 聡 小 諸 商	長岡 聡 小 諸	荻原 正和 小 諸 商
平成1	長岡 聡 小 諸	荻原 正和 小 諸 商	横田 博文 北佐久農	高山 昭夫 北佐久農
2	高山 昭夫 北佐久農	花田 孝 小 諸 商	小川 聡 小 諸	由井 知孝 北佐久農
3	大井 源裕 北佐久農	山岸 茂孝 小 諸	青木 潤 北佐久農	島田 貴章 更級農
4	山岸 茂孝 小 諸	小泉 義和 北佐久農	宇佐美良二 上 田 西	西尾 元希 小 諸
5	竹花 良二 上 田 西	山崎 篤史 北佐久農	西尾 元希 小 諸	鈴木 和成 下伊那農
6	竹花 良二 上 田 西	三井 恵助 北佐久農	土屋 聡 上 田 西	竹之内設男 小 諸 商
7	今村 勝利 上 田 西	土屋 聡 上 田 西	森住 悠樹 北佐久農	塩沢 友則 小 諸 商
8	今村 勝利 上 田 西	武藤 弘幸 上 田 西	森住 悠樹 北佐久農	臼田 育男 北佐久農
9	武藤 弘幸 上 田 西	岩田 直之 上 田 西	田口 大輔 上 田 西	大森 司 北佐久農

年度	1位	2位	3位	3位
昭和62	山岸 義孝 小 諸	戸谷 寿男 松 代	長岡 聡 小 諸	壬生 成己 下伊那農
63	小山 知洋 小 諸	荻原 正和 小 諸 商	高山 昭夫 北佐久農	清水健一(4位) 小 諸 商
平成1	菊原 文典 北佐久農	小川 聡 小 諸	花田 孝 小 諸 商	小林 健志 北佐久農
2	新井 英孝 北佐久農	青木 潤 北佐久農	中込 岳士 小 諸 商	田島 貴光 長野南
3	二見 洋一 北佐久農	鈴木 和成 下伊那農	土屋 和良 小 諸	/
4	宇佐美良二 上 田 西	山崎 篤史 北佐久農	広瀬 友宣 小 諸 商	西尾 元希 小 諸
5	竹花 良二 上 田 西	竹之内設男 小 諸 商	三井 恵助 北佐久農	安藤 政志 下伊那農
6	土屋 聡 上 田 西	小林 孝 小 諸	森住 悠樹 北佐久農	花岡進一(4位) 小 諸
7	今村 勝利 上 田 西	森住 悠樹 北佐久農	工藤 晋士 小 諸	/
8	武藤 弘幸 上 田 西	臼田 育男 北佐久農	桜井 文彰 上 田 西	片桐 雅幸 下伊那農
9	臼田 育男 北佐久農	田口 大輔 上 田 西	市川 誠 北佐久農	/

長野県高等学校総合体育大会

長野県高等学校新人体育大会

個人戦 65kg → 63kg → kg級

個人戦 63kg → 65kg

(S62) (S63) ~ (H9)

(S62) (H9)

年度	1位	2位	3位	4位
昭和62	井出 剛生 小 諸	夏坂 昭博 小 諸 商	佐々木敏宣 下伊那農	新井 啓積 長野南
63	夏坂 昭博 小 諸 商	甘利 嘉一 小 諸 商	寺内 進 松 代	小山 知洋 小 諸
平成1	北村 哲朗 北佐久農	児玉 直哉 小 諸	甘利 嘉一 小 諸 商	小林 将人 北佐久農
2	大井 源裕 北佐久農	新井 英孝 北佐久農	水口 真一 長野南	菊池 章二 北佐久農
3	花田 孝 小 諸 商	新井 英孝 北佐久農	田仲 清司 下伊那農	池田 寿士 更級農
4	二見 洋一 北佐久農	石田 亮一 上 田 西	池田 寿士 更級農	土屋 和良 小 諸
5	石田 亮一 上 田 西	土屋 忍 北佐久農	原田 靖昭 北佐久農	小林 孝 小 諸
6	石田 亮一 上 田 西	山崎 篤史 北佐久農	原田 靖昭 北佐久農	椎名 真 下伊那農
7	原田 靖昭 北佐久農	吉沢 剛 上 田 西	櫃山 省二 北佐久農	伊藤 哲也 北佐久農
8	櫃山 省二 北佐久農	吉沢 剛 上 田 西	伊藤 哲也 北佐久農	熊谷 俊亮 下伊那農
9	伊藤 哲也 北佐久農	桜井 文彰 上 田 西	柳沢 文昭 上 田 西	多田 一郎 下伊那農

年度	1位	2位	3位	3位
昭和62	上原 聡 小 諸 商	朝倉 俊一 小 諸 商	広田 啓一 小 諸 商	風間 朋哉 松 代
63	児玉 直哉 小 諸	北村 哲朗 北佐久農	壬生 成己 下伊那農	小林 将人 北佐久農
平成1	大井 源裕 北佐久農	土屋 善信 小 諸	新井 英孝 北佐久農	塩川 勇 小 諸 商
2	大井 源裕 北佐久農	小林 治彦 小 諸	田仲 清司 下伊那農	滝沢 勝仁 更級農
3	中込 岳士 小 諸 商	比田井 学 小 諸	宮嶋 英雄 丸子 実	池田 寿士 更級農
4	石田 亮一 上 田 西	堀籠 孝信 北佐久農	土屋 忍 北佐久農	/
5	石田 亮一 上 田 西	土屋 忍 北佐久農	堀籠 孝信 北佐久農	原田 靖昭 北佐久農
6	原田 靖昭 北佐久農	吉沢 剛 上 田 西	今村 勝利 上 田 西	関 久光(4位) 下伊那農
7	吉沢 剛 上 田 西	櫃山 省二 北佐久農	伊藤 哲也 北佐久農	熊谷俊亮(4位) 下伊那農
8	伊藤 哲也 北佐久農	熊谷 典明 上 田 西	柳沢 文昭 上 田 西	多田 一郎 下伊那農
9	桜井 文彰 上 田 西	高橋 龍太 上 田 西	安齊 和洋 北佐久農	/

長野県高等学校総合体育大会

長野県高等学校新人体育大会

個人戦 70kg → 68kg

(S62) (S63) ~ (H9)

年度	1位	2位	3位	4位
昭和62	柳沢 昇 小 諸	樽沼 利之 下伊那農	春原 宗一 小 諸 商	塩川 和仁 北佐久農
63	朝倉 俊一 小 諸 商	佐々木鉄也 小 諸 商	大平 文弘 下伊那農	児玉 直哉 小 諸
平成1	朝倉 俊一 小 諸 商	竹内 一政 北佐久農	下城 晃 丸子実	清水 弘一 長野南
2	竹内 一政 北佐久農	小林 治彦 小 諸	中沢 岳彦 丸子実	神津 政志 北佐久農
3	小林 治彦 小 諸	樋本 隆紀 更級農	二見 洋一 北佐久農	中沢 岳彦 丸子実
4	高見沢俊彦 小 諸	樋本 力 更級農	安藤 崇 上田西	内山 敬 更級農
5	高見沢俊彦 小 諸	大井 将憲 北佐久農	関戸 一智 北佐久農	矢澤 満照 下伊那農
6	大井 将憲 北佐久農	関戸 一智 北佐久農	堀籠 孝伸 北佐久農	与川 猛 上田西
7	甘利 芳紀 上田西	森角 裕介 北佐久農	西沢 浩輔 小 諸	土屋 篤司 小 諸
8	甘利 芳紀 上田西	佐々木和行 上田西	森角 裕介 北佐久農	市村 順 上田西
9	佐々木和行 上田西	森角 裕介 北佐久農	市村 順 上田西	金井 信一 小 諸

個人戦 68kg → 70kg

(S62) (H9)

年度	1位	2位	3位	3位
昭和62	夏坂 昭博 小 諸 商	大峽 正憲 小 諸 商	児玉 直哉 小 諸	
63	朝倉 俊一 小 諸 商	大平 文弘 下伊那農	佐々木鉄也 小 諸 商	竹内 一政 北佐久農
平成1	竹内 一政 北佐久農	塩沢 昌浩 下伊那農	小林 治彦 小 諸	渡辺 清紀 下伊那農
2	樋本 隆紀 更級農	菊地 章二 北佐久農	中沢 岳彦 丸子実	河本 裕司 長野南
3	赤塚 貴弘 更級農	下平 桂嗣 松 川	内山 敬 更級農	矢澤 満照 下伊那農
4	高見沢俊彦 小 諸	大井 将憲 北佐久農	矢澤 満照 下伊那農	児玉賢太郎 丸子実
5	大井 将憲 北佐久農	関戸 一智 北佐久農	満木 孔児 小 諸	平沢龍久(4位) 下伊那農
6	甘利 芳紀 上田西	樺山 省二 北佐久農	清水 浩司 小 諸 商	西沢浩輔(4位) 小 諸
7	森角 裕介 北佐久農	甘利 芳紀 上田西	佐々木和行 上田西	土屋篤司(4位) 小 諸
8	森角 裕介 北佐久農	佐々木和行 上田西	市村 順 上田西	竹村 直起 下伊那農
9	市村 順 上田西	塩川 克実 北佐久農		

長野県高等学校総合体育大会

長野県高等学校新人体育大会

個人戦 75kg → 74kg

(S62) (S63) ~ (H9)

年度	1位	2位	3位	4位
昭和62	小山 克志 小 諸	中村 行男 小 諸 商	高見沢友規 小 諸 商	市瀬 一成 下伊那農
63	伊藤 剛志 小 諸	高見沢友規 小 諸 商	井出 克徳 小 諸 商	山浦 秀樹 小 諸 商
平成1	小林 真 小 諸 商	伊藤 剛志 小 諸	高橋 聡 小 諸	新海 正義 小 諸
2	三井 源昭 北佐久農	塩沢 昌浩 下伊那農	清水 君輝 下伊那農	熊谷 貴輝 下伊那農
3	三井 源昭 北佐久農	木下 義哉 下伊那農	松本 光也 更級農	佐藤 誠 長野南
4	木下 義哉 下伊那農	興川 猛 上田西	上原 和剛 北佐久農	塚本 聡 下伊那農
5	田守 太郎 上田西	古越 和孝 北佐久農	上原 和剛 北佐久農	塚本 聡 下伊那農
6	田守 太郎 上田西	上原 和剛 北佐久農	土屋 忍 北佐久農	花里 康弘 小 諸
7	柳沢 一志 上田西	鈴木 忍 北佐久農	中澤 孝哉 北佐久農	小杉山 仁 下伊那農
8	鈴木 忍 北佐久農	柳沢 一志 上田西	小笠原賢幸 上田西	金井 真一 小 諸
9	鈴木 忍 北佐久農	小笠原賢幸 上田西	田守 竹夫 北佐久農	飯田 俊介 上田西

個人戦 74kg → 76kg

(S62) (H9)

年度	1位	2位	3位	3位
昭和62	伊藤 剛志 小 諸	高橋 義英 小 諸 商		
74kg 63	小林 真 小 諸 商	伊藤 剛志 小 諸	井出 克徳 小 諸 商	
74kg 平成1	三井 源昭 北佐久農	熊谷 貴輝 下伊那農	小林 善然 小 諸 商	
74kg 2	三井 源昭 北佐久農	松本 光也 更級農	下平 光雄 更級農	佐藤 誠 長野商
74kg 3	高見沢俊彦 小 諸	木下 義哉 下伊那農	古越 和孝 北佐久農	塚本 聡 下伊那農
74kg 4	古越 和孝 北佐久農	上原 和剛 北佐久農	田守 太郎 上田西	塚本 聡 下伊那農
74kg 5	田守 太郎 上田西	上原 和剛 北佐久農	花里 康弘 小 諸	西沢浩輔(4位) 小 諸
74kg 6	柳沢 一志 上田西	金井 進一 小 諸		
74kg 7	柳沢 一志 上田西	金井 信一 小 諸		
74kg 8	鈴木 忍 北佐久農	小笠原賢幸 上田西	飯田 俊介 上田西	
76kg 9	飯田 俊介 上田西	田守 竹夫 北佐久農		

個人戦+75kg → +74kg → 115kg

個人戦+74kg → 115kg

(S62) (S63) ~ (H5)

(S62) ~ (H5)

年度	1位	2位	3位	4位
昭和62	坂下 晋	清水 秀徳	竹内 孝彦	小平 克博
	下伊那農	小 諸 商	北佐久農	丸子 実
63	坂下 晋	小林 真	富岡 孝	清水 秀徳
	下伊那農	小 諸 商	小 諸 商	小 諸 商
平成1	田中 智弘	高橋 訓	佐藤 正彦	山田 重信
	小 諸	下伊那農	小 諸	北佐久農
2	田中 智弘	小林 薫	萩原 利行	美斉津 修
	小 諸	小 諸 商	小 諸	北佐久農
3	美斉津 修	久保田大介	高見沢俊彦	小林 薫
	北佐久農	更 級 農	小 諸	小 諸 商
4	久保田大介	萩原 龍一	山口 宏	竹内 智之
	更 級 農	小 諸	更 級 農	北佐久農
5	竹内 智之	塚田 良	伊藤 幸司	長井 克浩
	北佐久農	上 田 西	北佐久農	上 田 西
6	竹内 智之	塚田 良	伊藤 幸司	花里 洋介
	北佐久農	上 田 西	北佐久農	北佐久農
7	塚田 良	茂木 祥吾	花里 洋介	小林 正文
	上 田 西	小 諸	北佐久農	小 諸
8	丸山真太郎	石山 圭介	佐藤 博俊	矢沢 靖人
	上 田 西	北佐久農	上 田 西	下伊那農
9	丸山真太郎	石山 圭介	依田 智之	矢沢 靖人
	上 田 西	北佐久農	北佐久農	下伊那農

年度	1位	2位	3位	3位
昭和62	坂下 晋	清水 秀徳	小林 真	高橋 聡
	下伊那農	小 諸 商	小 諸 商	小 諸
63	富岡 孝	田中 智弘	高橋 訓	
	小 諸 商	小 諸	下伊那農	
平成1	田中 智弘	美斉津 修	小林 薫	
	小 諸	北佐久農	小 諸 商	
2	柳沢 宏	久保田大介	渡辺 清紀	曲尾 裕二
	北佐久農	更 級 農	下伊那農	更 級 農
3	久保田大介	山口 宏	萩原 龍一	柳沢 宏
	更 級 農	更 級 農	小 諸	北佐久農
4	伊藤 幸司	竹内 智之	伊坪 亮	花里 康弘
	北佐久農	北佐久農	下伊那農	小 諸
5	竹内 智之	塚田 良	小林 正文	伊藤 幸司
	北佐久農	上 田 西	小 諸	北佐久農
6	塚田 良	花里 洋介	小林 正文	茂木 祥吾(4位)
	上 田 西	北佐久農	小 諸	小 諸
7	丸山真太郎	鈴木 忍	矢沢 靖人	
	上 田 西	北佐久農	下伊那農	
8	丸山真太郎	石山 圭介		
	上 田 西	北佐久農		
9	石山 圭介	柳沢 勇希	依田 智之	
	北佐久農	北佐久農	北佐久農	

高体連会報紹介 第23号



平成6年度を振り返ってみますと、6月の県高校総合体育大会は29種目に8,426名の選手の参加を得て開催することができました。この結果、1,815名の選手が北信越大会に出場し、陸上競技・水泳では全国大会の出場権をかけて熱い戦いが繰り広げられました。全国高校総体(夏季)への出場者は、水泳・陸上競技混成・長距離走・全国通制大会への参加者を含め616名の参加がありました。この中で、レスリング競技の活躍が注目を集めました。団体戦は優勝校に惜敗し入賞こそ逸しましたが個人戦58kg級竹花良二君(上田西)の優勝を筆頭に63kg級石田亮一君(同)の第2位、74kg級田守太郎君(同)の3位入賞と複数入賞を果たしています。柔道競技も久しぶりに個人戦で軽重量級中山三雄君(中実)・軽中量級上原英樹君(東海三)の2名が3位入賞をしています。陸上競技は混成競技を含め8名の入賞を果たしています。この他に個人競技では、弓道、フェンシング・漕艇ダブルスカル・水泳競技等7種目、バレーボール男子岡谷工業高校のベスト8入りで8種目での入賞を果たしました。また、定・通

制全国大会では飯田長姫高校がバスケットボールでベスト8の成績を残しています。

12月の全国高校駅伝大会は男子は上伊那農業・東海大三高2校、女子は諏訪実業高校が出場しましたが、女子の諏訪実業高校の健闘が光りました。ラグビーフットボールは2回戦進出という結果でした。

1月の全国総体スケートでは佐久高校男子がスピード総合で2連勝を飾りました。この中で、今井裕介選手(佐久高校)の2種目(男子1500m・500m)優勝、外ノ池亜希選手(東海大第三高校)の(1500m)優勝が特筆されます。また、この2人はジュニア選手権でも優勝し、スピードのジュニア世界選手権代表となっています。

2月の全国総体スキーでは、昨年までに総合3連勝を達成した中野実業高校、体育科ができて3年目となった飯山南高校を軸に優勝争いが展開されましたが、島田武彦選手の距離2種目制覇(史上初)とリレー優勝を果たした飯山南高校が初優勝を飾りました。女子総合でも飯山南高校が3位、中野実業高校が4位となっています。他の種目では佐藤武留選手(東部高校)コンバインド、宮崎優選手(飯山北高校)スペシャルジャンプでともに優勝しています。

「やまびこ国体」から数えて来年度（1998年度）で20年となる。この間、マイナーで地味なスポーツにも拘らず、1987（昭和62）年度以降96（平成8）年度までの10年間に、全国選抜大会を含む全国大会ではほぼ毎年入賞クルーを輩出してきた。活動校が諏訪湖周辺の4～5校に限られ、しかも北信越大会・全国大会を除けば、対外試合と呼べるのは中日本・相模湖の両レガッタだけという極めて特殊な競技であることを考えると、この成績は立派というに十分であろう。これも長野県漕艇協会の全面的な支援のもと、各校顧問の先生方の尽力の賜物と考える。

以下に過去10年間に、『高体連会報』と記憶をもとに全国高校総体を中心に辿ってみたい。

▷1987（昭和62）～1989（平成元）年度

各種目とも準決勝まで進みながらも決勝まで残れず、全国高校総体での入賞ゼロがつづいた。1988年度より女子SFが新設され、代りに男女KFが、1県1クルーから北信越ブロックより2クルーに代表枠が縮小された。

▷1990（平成2）年度 長沼（宮城県迫町）

男子SF・岡谷南が2位に入賞し、この余勢をかけて国体でも2位となり、久々の快挙に漕艇関係者の間は大いに沸いた。本年度限りで、長く行われてきた男女KFが廃止となり、次年度からは男女WSが新設されることとなった。

▷1991（平成3）年度 天竜（静岡県天竜市）

男子SF・岡谷南が3位に入賞し、国体でも4位入賞を果たして、2年連続の快挙に漕艇関係者一同大いに喜んだ。また、男子WS・岡谷南も新設種目にも拘らず、いきなり5位に入賞し、男子は全国レベルの実力にあることを証明した。

▷1992（平成4）年度 富田浜（宮城県新富町）

男子SF・岡谷南が優勝、女子SF・清陵が3位、男子WS・岡谷南が6位、女子WS・岡谷南が4位と6種目中の4種目に入賞という、1981年度以来の好成績を残した。加えてSF・岡谷南は国体でも優勝し、同校にとっては1976年度に次ぐ2度目の完成制覇という偉業を達成して、「岡谷南」の名を全国に轟かした。水沢・小松・共田・伊藤・中島から成るこのクルーは、3月の全国選抜で2位となり、全国大会優勝を狙うに十分な力をつけていたが、5月

の信毎諏訪湖レガッタでは、3分18秒という高校生としては驚異的なタイムで優勝し、その前評判どおりの実力を遺憾なく発揮して二大全国大会を制覇したのであった。尚、女子SF・清陵も国体で3位入賞を果たしており、この年は長野県漕艇界にとっての最高の年でもあった。

▷1993（平成5）年度 戸田（埼玉県戸田市）

前年度の反動か入賞ゼロに終わったが、年度末の全国選抜で女子SF・岡谷南が7位に入賞し、次年度に期待をつないだ。

▷1994（平成6）年度 富山（富山県大沢野町）

男子WS・岡谷南が4位入賞を果たし、全国選抜では男子SF・清陵が5位に入賞した。

▷1995（平成7）年度 錦海（鳥取県米子市）

男子SF・岡谷南が2位、男子WS・清陵も2位、女子SF・清陵が5位、女子SS・岩本（岡谷南）が6位に入賞し、92年度以来の快挙を達成した。SF・岡谷南は国体でも4位となり、クルー5名の内4名は現在も、大学ポート部で現役選手として活躍している。

▷1996（平成8）年度 河口湖（山梨県河口湖町）

異常渇水のために900mの変則レースとなり、後半に強い女子WS・清陵の健闘ももう一步及ばず、惜しくも2位となったが、その力漕は光っていた。世界Jr選手権（英国グラスゴー）の4×に出場した岩本亜希子（岡谷南）が、国体では実力を発揮して2位となり、SSとしては10年ぶりの全国大会入賞を果たした。

今年度（97年度）も男子WS・岡谷東が全国高校総体5位、国体7位と健闘した。また諏訪実業が新たに加入し、活動校がふえたことは喜ばしいことである。しかし、反面で各校共通の悩みは部員数の大幅減少である。少ないながらも全国レベルの選手を育てられる環境があるので、これを何とか生かして再生したいと顧問全員が考えている。幸い岡西（中央大・清陵卒）・池田（中央大・岡谷南卒）・金子（明治大・岡谷南卒）・岩本（早大・岡谷南卒）らが全日本選手として、本年度のアジア選手権で優勝・入賞メンバーとなっているので、この実績を訴えて部員確保につなげたいと思っている。決して悲観してはいない、これからである。

（専門委員長 伊藤和夫）

男子ナックルフォア

女子ナックルフォア

順位 年度	1 位	2 位	3 位	4 位	1 位	2 位	3 位	4 位
昭和62	岡谷南 3'47"42	清 陵 3'47"79			岡谷東 4'18"4	向 陽 4'25"87		
63	岡谷南 4'00"32	向 陽 4'06"55	岡谷東 4'14"73		清 陵 4'39"66			
平成 1	岡谷南 4'01"41	向 陽 4'03"56	清 陵 4'09"63	岡谷東 4'19"8	岡谷東 5'04"92			
2	岡谷南 3'58"75	清 陵 3'59"74	向 陽 4'10"57					
3	岡谷南 4'01"12	清 陵 4'06"65	向 陽 4'10"01		岡谷東タイムなし			
4								
5								
6								
7								
8								

男子舵手付フォア

女子舵手付フォア

順位 年度	1 位	2 位	3 位	4 位	1 位	2 位	3 位	4 位
昭和62	岡谷南 3'29"22	向 陽 3'33"69	清 陵 3'35"12					
63	岡谷南 3'34"49	清 陵 3'39"39	向 陽 3'40"91		岡谷東 4'12"05	岡谷南 4'16"15	向 陽 4'18"40	
平成 1	岡谷南 3'32"94	向 陽 3'35"21	清 陵 3'41"50		向 陽 4'08"44	岡谷南 4'15"56	清 陵 4'20"66	
2	岡谷南 3'28"33	清 陵 3'36"22	向 陽 3'46"19		岡谷南 4'06"88	清 陵 4'07"58	向 陽 4'08"96	
3	岡谷南 3'29"89	清 陵 3'32"62	向 陽 3'33"25		清 陵 3'59"19	岡谷南 4'04"14	岡谷東 4'19"18	
4	岡谷南A 3'20"33	向 陽 3'37"03	清 陵 3'42"36		清 陵 3'46"62	岡谷南 3'49"11	岡谷東 4'04"27	
5	清陵A 3'27"69	岡南A 3'27"83	岡東A 3'38"27	向 陽 3'48"31	清 陵 3'53"49	岡谷南 3'59"12	岡谷東 4'01"44	向 陽 4'12"77
6	岡谷南A 3'30"15	清陵A 3'34"45	岡谷東 3'45"57	向 陽 3'49"41	清 陵 3'51"99	岡谷南 3'55"33	岡谷東 4'08"83	
7	岡谷南 3'28"93	清 陵 3'30"09	岡谷東 3'34"14	向 陽 3'57"32	清 陵 3'58"61	岡谷南 4'05"75		
8	向 陽 3'35"05	岡谷東 3'36"44	清 陵 3'37"20	岡谷南 3'40"83	岡谷東 4'01"13	清 陵 4'01"59	向 陽 4'24"10	

男子シングルスカル

順位 年度	1	2	3	4
昭和62	小池 朋広(岡 南) 3'49"65	亀割 英人(向 陽) 3'50"72		
63	田中 敏文(岡 南) 4'01"79	宮坂 仁(向 陽) 4'14"26	望月 一弘(清 陵) 4'17"46	
平成 1	吉池 敬芳(岡 南) 4'03"83	山田 実(清 陵) 4'05"69	黒田 州司(向 陽) 4'27"36	上津原 淳(岡 南) 4'39"04
2	共田 武史(岡 南) 4'25"69	矢島 孝一(清 陵) 4'29"11		
3	遠藤 (岡 南) 3'55"56	赤津 (向 陽) 4'00"37	矢島 (清 陵) 4'05"46	
4	両角 (清 陵) 3'49"54	赤羽 (岡 南) 3'49"71	五味 (岡谷東) 3'56"89	
5	山田 (岡 南) 3'57"26	滝沢 (岡 南) 4'00"58	伊賀 (清 陵) 4'04"18	
6	武井 (岡 南) 3'56"91	小口 (清 陵) 3'58"15	佐藤 (向 陽) 4'02"84	柴 (岡 南) 4'03"52
7	菊池 (清 陵) 3'58"09	北沢 (清 陵) 3'58"42	遠藤 (岡 南) 4'03"93	北原 (岡 南) 4'05"64
8	山田 (岡 東) 3'49"66	笠原 (岡 南) 3'54"39	小野 (向 陽) 4'05"41	上條 (岡 南) 4'17"30

女子シングルスカル

順位 年度	1	2	3	4
昭和62	伊藤久美子(岡 東) 4'27"80	宮坂真由美(向 陽) 4'38"65	登内佐知子(清 陵) 4'44"29	
63	西沢 美香(岡 南) 4'30"62	金高 弘子(向 陽) 4'44"32		
平成 1	宮坂 綾子(岡 東) 4'54"61	知久 佳代(向 陽) 4'57"32	望月 希(岡 南) 5'15"07	
2	花岡久美枝(岡 東) 4'46"85	望月 希(岡谷南) 4'53"11	小口 彰子(清 陵) 5'30"54	
3	小澤 (岡 南) 4'37"73	立石 (岡谷東) 5'00"29	今井 (向 陽) 5'10"40	
4	小林 (岡 東) 4'44"25	後藤 (清 陵) 4'56"74		
5	菊池 (岡 南) 4'36"87	小林 (岡 東) 4'37"35	坂爪 (向 陽) 4'48"89	宮川 (岡 南) 5'47"27
6	菊池 (岡 南) 4'24"79	伊東 (清 陵) 4'35"10	柳沢 (清 陵) 4'43"51	小川 (岡 南) 4'46"82
7	岩本 (岡 南) 4'26"51	樋代 (岡 南) 5'18"67	小口 (向 陽) 6'57"12	
8	篠原 (岡 東) 4'23"18	山崎 (岡 南) 4'44"30	古谷 (向 陽) 5'04"90	西山 (岡 南) 5'07"70

男子ダブルスカル

順位 年度	1 位	2 位	3 位	4 位
平成1				
2				
3	岡谷南	清 陵		
4	岡谷南A 3'27"40	清 陵 3'28"05	向 陽A 3'33"34	
5	岡谷南A 3'37"50	清 陵A 3'41"89	向 陽A 3'50"68	
6	岡谷南A 3'35"05	清 陵A 3'36"20	向 陽 3'48"41	
7	清 陵 3'34"32	岡谷東 3'44"73	岡谷南 3'46"79	向 陽 4'06"85
8	岡谷南 3'42"34	向 陽 3'45"71	清 陵 4'02"00	

女子ダブルスカル

順位 年度	1 位	2 位	3 位	4 位
平成1				
2	岡谷南 3'42"16			
3	岡谷南			
4	岡谷南 3'57"84	清 陵 4'01"75		
5	清 陵A 4'01"21	岡谷南A 4'26"87	岡谷東 4'29"37	
6	清 陵 4'02"19	岡谷南A 4'08"31	向 陽 4'28"97	
7	清 陵 4'16"99	岡谷南 4'27"98	向 陽 4'34"44	
8	清 陵 4'04"53	岡谷南 4'21"14	岡谷東 4'22"76	向 陽 4'44"11

北信越大会(その2)

種目 年度	男子ダブルスカル	女子ダブルスカル
1		
2		
3		2位 岡谷南 4'16"25
4	1位 岡谷南A 3'36"80 2位 清 陵 3'38"07	1位 岡谷南 3'56"78 4位 清 陵 4'00"36
5		2位 清 陵 3'56"19
6		1位 清 陵 3'48"91
7	1位 清 陵 3'51"27	
8		1位 清 陵 3'45"45

全国大会(インターハイ)

種目 年度	男子舵手付きフォア	男子ダブルスカル	女子舵手付きフォア	女子ダブルスカル
平成2	2位 岡谷南 3'19"46			
3	3位 岡谷南 3'28"84	5位 岡谷南 3'39"10		
4	1位 岡谷南 3'20"01	6位 岡谷南 3'38"61	3位 清 陵 3'46"59	4位 岡谷南 3'59"30
5				
6		4位 岡谷南 3'49"25		
7	2位 岡谷南 3'39"69	2位 清 陵 3'33"80	5位 清 陵 4'10"87	
8				2位 清 陵 3'58"35

種目 年度	女子シングルスカル	男子シングルスカル
7	6位 岩本(岡南) 4'14"49	

北信越大会(その1)

年度	順位 男子ナックル フ ★ オ ア	順位 女子ナックル フ ★ オ ア	順位 男子舵手付き フ ★ オ ア	順位 女子舵手付き フ ★ オ ア	男子シングルスカル	女子シングルスカル
昭和62	2位 清 陵 4'17"71 4位 岡谷南 4'23"01	1位 岡谷東 4'31"50 4位 向 陽 4'39"46	3位 岡谷南 3'42"28 4位 向 陽 3'43"02		1位 小池 朋広(岡南)4'48"94 2位 亀割 英人(向陽)4'49"14	1位 宮坂真由美(向陽)5'27"10 2位 伊藤久美子(岡東)5'32"31
63	3位 岡南A 4'04"93		3位 岡南A 3'39"96	4位 向 陽 4'17"18	1位 田中 敏文(岡南)4'02"58	
平成1	2位 岡谷南 3'37"98		2位 岡谷南 3'12"90	4位 向 陽 3'44"30		3位 知久 佳代(向陽)4'15"95
2	4位 岡谷南 4'11"61		3位 岡谷南 3'35"06		2位 共田 武史(岡南)4'00"11	
3	1位 岡谷南 3'57"69 4位 清 陵 4'04"06	2位 岡谷東 4'45"97	4位 岡谷南 3'26"67			
4			1位 岡南A 3'18"90 3位 岡 南 3'26"42 4位 清 陵 3'26"99	2位 清 陵 3'51"15		
5						
6				4位 岡 南 4'01"30		
7			2位 岡 南 3'41"36	1位 清 陵 4'14"17 3位 岡谷東 4'21"75		2位 岩本 (岡南)4'57"05
8						

○新人大会

男子ナックルフォア

女子ナックルフォア

年度	順位 1	順位 2	順位 3	順位 4	順位 1	順位 2	順位 3	順位 4
昭和62	岡谷南 4'10"82	向 陽 4'13"87	清 陵 4'14"01		清 陵 4'38"90	向 陽 4'42"49	岡谷東 4'44"13	
63	岡谷南 4'07"73	岡谷東 4'19"45	向 陽 4'19"68		清 陵 4'46"91	岡谷南 4'55"70		
平成1	清 陵 4'19"56	岡谷南 4'27"36	向 陽 4'28"96	岡谷東 4'53"86				
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								

男子舵手付フォア(新人)

女子舵手付フォア(新人)

年度	順位 1	順位 2	順位 3	順位 4	順位 1	順位 2	順位 3	順位 4
昭和62	清 陵 3'43"70	岡谷南 3'44"83	向 陽 3'50"62					
63	岡谷南 3'30"56	向 陽 3'38"13	清 陵 3'40"48		向 陽 4'10"47	岡谷東 4'20"65	岡谷南 4'22"96	
平成1	岡谷南 3'39"27	清 陵 3'43"47	向 陽 3'49"61		岡谷東 4'33"79	向 陽 4'34"09	岡谷南 4'34"22	清 陵 4'36"60
2	岡谷南 3'38"78	清 陵 3'43"27	向 陽 3'48"65		清 陵 4'14"29	岡谷南 4'17"77	岡谷東 4'30"56	
3	岡谷南 3'34"16	清 陵 3'40"44	向 陽 3'47"72		清 陵 4'00"04	岡谷南 4'16"42	岡谷東 4'28"38	
4	岡谷南A 3'43"28	清陵A 3'43"87	岡東A 3'46"77		岡谷東 4'14"17	清 陵 4'14"76	向 陽 4'22"71	
5	清陵A 3'30"66	岡谷南A 3'36"09	岡谷東 3'49"87		岡谷南A 3'55"23	清陵A 3'56"50		
6	清 陵 3'35"83	岡谷南A 3'38"99	岡谷東 3'45"08	向 陽 3'57"92	清 陵 4'01"62	岡谷東 4'04"60	岡谷南 4'31"64	
7	向 陽 3'55"34	岡谷東 4'00"40	清 陵 4'09"13	岡 南 4'22"90	岡谷南 4'20"09	清 陵 4'58"85	向 陽 5'29"77	
8	向 陽 3'36"21	清 陵 3'36"56	岡谷南 3'39"26		清 陵 4'21"58			

男子シングルスカル(新人)

年度	順位 1	順位 2	順位 3	順位 4
昭和62	田中 敏文(岡 南) 4'14"08	宮坂 仁(向 陽) 4'32"31	上津原 淳(岡 東) 4'42"75	
63	宮坂 仁(向 陽) 4'05"13	吉池 敬芳(岡谷南) 4'13"10		
平成1	共田 武史(岡 南) 4'16"67	福田 英次(清 陵) 4'51"96	山岸 隆之(向 陽) 5'06"13	
2	遠藤 (岡 南) 4'07"59	矢島 (清 陵) 4'10"98	岡本 (向 陽) 4'29"76	
3	岡本 (向 陽) 4'05"46	吉江 (岡谷南) 4'07"55	市川 (岡谷南) 4'11"69	
4	牛山 (清 陵) 4'23"45	滝沢 (岡谷南) 4'23"46	矢島 (岡谷東) 4'25"51	
5	滝沢 (岡 南) 4'04"38	矢島 (岡谷東) 4'06"22	小口 (清 陵) 4'09"38	小松 (岡谷南) 4'10"81
6	北澤 (清 陵) 4'23"73	鎌倉 (清 陵) 4'26"47	田畑 (岡 南) 4'32"87	武居 (岡谷東) 4'45"39
7	山田 (岡 東) 3'59"14	小野 (向 陽) 4'13"94	小阪 (岡 南) 4'57"19	笠島 (向 陽) 5'18"48
8	笠原 (岡 南) 4'06"39	上條 (岡 南) 4'18"74	小口 (岡 南) 4'21"10	芳沢 (清 陵) 4'22"76

女子シングルスカル(新人)

順位 年度	1位	2位	3位	4位
昭和62	西沢 美香(岡 南) 4'49"25	金高 弘子(向 陽) 4'58"37		
63	知久 佳代(向 陽) 5'01"51	百瀬 美里(清 陵) 5'14"84	宮坂 綾子(岡谷東) 5'48"97	小松 美紀(岡谷南) 6'41"54
平成 1	望月 希(岡 南) 4'53"92	花岡久美枝(岡 東) 4'57"75	小口 彰子(清 陵) 5'52"03	
2	小澤 (岡 南) 5'07"19	今井 (向 陽) 5'40"68		
3	村田 (岡 南) 4'00"04	岩本 (岡 南) 4'48"94	小林 (岡谷東) 5'31"40	
4	小林 (岡谷東) 4'49"32	秋山 (清 陵) 5'08"03	菊池 (岡谷南) 5'40"83	
5	菊池 (岡谷南) 4'23"10	花岡 (岡 東) 5'04"80	伊東 (清 陵) 5'08"51	金井 (岡 南) 5'34"84
6	伊東 (清 陵) 4'26"99	岩本 (岡 南) 4'36"59	小口 (向 陽) 6'52"58	
7	岩本 (岡 南) 4'18"81	篠原 (岡 東) 4'50"22	古谷 (向 陽) 5'48"40	
8	内澤 (岡 東) 4'35"30	森 (向 陽) 4'54"37	名取 (岡 南) 4'57"27	

男子ダブルスカル(新人)

順位 年度	1位	2位	3位	4位
平成 1	岡谷南 4'11"18			
2	清 陵 4'05"61	岡谷南 4'16"29	向 陽 5'00"53	
3	岡谷南A 3'57"66	向 陽A 4'13"63		
4	岡谷南A 3'52"83	富士見 4'11"19	向 陽 4'23"16	
5	清 陵A 3'32"17	岡谷南A 3'44"03	向 陽 4'23"80	
6	清 陵A 3'37"38	岡谷南A 3'50"80	岡谷東 4'02"49	向 陽 4'21"03
7	岡谷南 3'49"22	向 陽 4'03"94	清 陵 4'17"11	
8	岡谷東 3'42"28	清 陵 3'51"35		

女子ダブルスカル(新人)

順位 年度	1位	2位	3位	4位
平成 1	岡谷南 5'16"66			
2	岡谷南 4'24"32			
3	清 陵 4'43"24			
4	清 陵 4'20"81	岡谷南A 4'53"01		
5	清 陵 4'11"21	岡谷南 4'20"62	向 陽 4'33"28	岡谷東 4'54"05
6	向 陽 5'04"15			
7	清 陵 4'05"77	岡谷南 4'25"70	向 陽 4'33"20	岡谷東 4'37"12
8	岡谷東 4'14"58	岡谷南 4'32"02	向 陽 4'33"24	

23 ウェイトリフティング

昭和53年の長野国体開催が決定されると同時に、高校の競技力向上と運営面の強化として、51年全国高校総合体育大会の県内での実施が決まった。これを受けて昭和49年に未成熟種目全ての専門部が設置され、その一つであるウェイトリフティング専門部は部長に遠藤清仁（豊科74～75年）、委員長に榊原進哉（松商74～93年）で発足し、同年第1回の県大会を開催、第2回の北信越大会に参加、翌50年には学校対抗の千曲と個人の松商計5名を初めて全国高校総体に出場させ、51年の豊科町での全国高校総体へと移行していった。しかし専門部ができてから日が浅く大会運営はまずまずの成果を収めたが、強化が間に合わず満足のいくものではなかった。このような設立から全国総体開催までの時期、湯本政宣高体連理事長、北村喜男中信高体連理事長の絶大なる人力によって乗り切り、現在の専門部の基礎が作られたのである。なお部長は初代遠藤清仁に続き、轟義顕（豊科76年）、瀬川邦人（松本松南77～80年）、中堀幸彦（松本松南81～85年）、そして現在の丸林一富（松商86年～）である。委員長は榊原進哉（松商74～93年）が20年間行い、現在は牛山成剛（松商94年～）である。

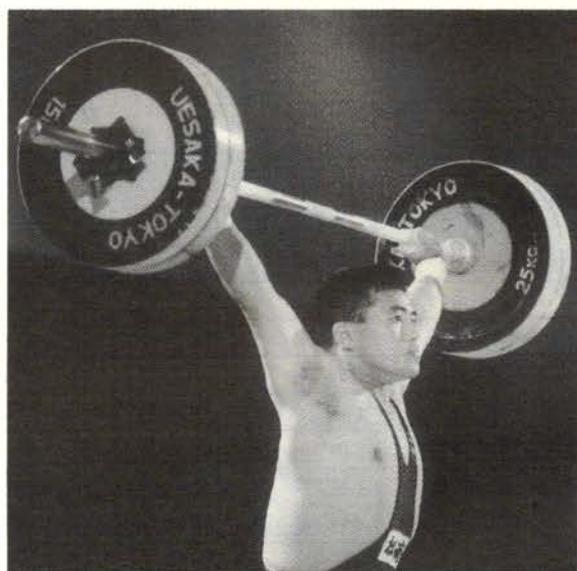
最近10年間で特筆すべきことが2つあります。

1つは、技術力が向上してきたことです。北信越大会では個人優勝者も続出し、団体でも入賞ができるようになってきています。全国高校総体では平成元年に永田真樹（篠ノ井）60kg級5位・平成3年には清沢英彦（松商）82.5kg級7位など、他にも惜しくも入賞を逃した選手が多くいるが、全国大会でも入賞できようになってきています。この技術レベル向上に貢献しているのは、長野県ウェイトリフティング協会の皆様方の全面的な協力と北信越合同強化合宿で海外研修をしてきた先生や他の多くの先生方からの温かいご指導によるものでもあります。各県の先生方に感謝を申し上げます。

もう1つは、平成4年度より中沢次生先生（篠ノ井陸上部顧問）により女子の選手がウェイトリフティングをするようになったことです。しかし、全国高校総体・北信越高校総体・県高校総体どれにも女子の部がないため、まずは県大会でオープンで参加させるようにしました。北信越では女子選手の先駆けとなり、オープンではあるが参加できるようになりました。現在では長野県選手が2階級で大会記録を保持しています。全国高校総体に相当する大会が国体記念杯であり、平成5年杉本泰美・平成6年河合咲子・平成8年松澤美保子（篠ノ井）が入賞をはたしました。今後ますます多くの女子選手の参加を期待したいと思います。

最後に平成9年12月31日までの長野県高校記録は次のとおりです。

（専門委員長 牛山成剛）



（清沢英彦・松商学園）

長野県高校総合体育大会 団体

年度	1 位		2 位		3 位	
昭和62年度	松商学園	32点	岡谷工業	31点	篠ノ井	25点
昭和63年度	松商学園	22点	岡谷工業	21点	篠ノ井	21点
平成1年度	岡谷工業	39点	篠ノ井	24点	松商学園	18点
平成2年度	岡谷工業	32点	篠ノ井	25点	松商学園	25点
平成3年度	松商学園	48点	篠ノ井	34点		
平成4年度	松商学園	48点	篠ノ井	40点	岡谷工業	9点
平成5年度	松商学園	43点	篠ノ井	41点		
平成6年度	篠ノ井	43点	松商学園	15点	塚原青雲	9点
平成7年度	篠ノ井	27点	松商学園	23点	岡谷工業	7点
平成8年度	篠ノ井	26点	松商学園	21点	岡谷工業	19点
平成9年度	篠ノ井	101点	松商学園	69点	岡谷工業	65点

長野県高校総合体育大会 個人

昭和62年度	1 位		2 位		3 位	
56 kg級	百瀬 和明	篠ノ井 187.5				
60 kg級	町井 忠雄	篠ノ井 160.0	藤原 匡範	松商		
68 kg級	島田 充也	篠ノ井 200.0	中野 能和	松商	藤森 弘晃	岡工
75 kg級	吉江 一高	岡工 172.5	松本 峰夫	岡工		
83 kg級	赤穂 常明	松商 150.0	山口 昇	岡工		
90 kg級	柳沢 一洋	松商 160.0				

昭和63年度	1 位		2 位		3 位	
52 kg級	川窪 雅史	松商 97.5	清水 秀幸	岡工		
56 kg級	山口 清志	岡工 110.0	桑井 敏郎	岡工		
60 kg級	永田 真樹	篠ノ井 180.0	中島 豊彦	岡工	早川 和徳	岡工
68 kg級	町井 忠雄	篠ノ井 190.0	釜崎 龍也	松商	赤羽 宏文	岡工
75 kg級	穂刈 努	岡工 120.0	上原 千広	篠ノ井		
83 kg級	柳沢 一洋	松商 185.0	山口 昇	岡工	松本 仁志	篠ノ井

平成1年度	1 位		2 位		3 位	
52 kg級	川窪 雅史	松商 135.0	清水 秀幸	岡工	宮沢 卓也	岡工
56 kg級	唐沢 勝	岡工 110.0				
60 kg級	永田 真樹	篠ノ井 210.0	赤羽 宏文	岡工	長崎 洋一	岡工
68 kg級	上原 千広	篠ノ井 165.0	林 建次	岡工	箕輪 裕之	岡工
75 kg級	川窪 豊	松商 165.0	工藤 和将	岡工	松本 仁志	篠ノ井
83 kg級	穂刈 努	岡工 185.0				

平成2年度	1 位		2 位		3 位	
56 kg級	川窪 雅史	松商 145.0	清水 秀幸	岡工	丸山 淳一	松商
60 kg級	赤羽 宏文	岡工 170.0	塩川 正樹	松商	中沢 公昭	松商
68 kg級	上原 千広	篠ノ井 195.0	赤羽 嵩	岡工		
75 kg級	鷲谷 巧	篠ノ井 170.0				
83 kg級	川窪 豊	松商 185.0	塩入 昭博	篠ノ井		
90 kg級	穂刈 努	岡工 185.0				

平成3年度	1 位		2 位		3 位	
52 kg級	内山 正	篠ノ井 130.0				
56 kg級	田中 宏樹	松商 90.0	赤羽 大輪	松商	野村 省二	松商
60 kg級	籠田 浩明	松商 100.0	曾根原路人	松商	倉科 勝啓	松商
68 kg級	荒井 克弘	岡工 145.0	阿部 健介	松商	北村 武	松商
75 kg級	鷲谷 巧	篠ノ井 185.0	古越 敬兒	篠ノ井		
90 kg級	清沢 英彦	松商 235.0				

平成4年度	1 位		2 位		3 位	
52 kg級	内山 正	篠ノ井 160.0	田中 宏樹	松商		
56 kg級	増沢 忍	岡工 147.5	中尾 久揮	松商		
60 kg級	籠田 浩明	松商 190.0				
68 kg級	北村 武	松商 155.0	阿部 健介	松商		
75 kg級	古越 敬兒	篠ノ井 190.0	伊藤 賢一	松商		
90 kg級	塩入 昭博	篠ノ井 200.0	松村 洋	篠ノ井	寺沢 哲也	篠ノ井
100 kg級	深沢 悟	松商 125.0				

平成5年度	1 位		2 位		3 位	
59 kg級	倉科 勝啓	松商 150.0	中尾 久揮	松商		
64 kg級	籠田 浩明	松商 170.0	北村 武	松商		
70 kg級	伊藤 賢一	松商 195.0	阿部 健介	松商		
76 kg級	岩井 純徳	篠ノ井 180.0	竹田 哲章	篠ノ井	古畑 卓	篠ノ井
83 kg級	寺沢 哲也	篠ノ井 160.0	塚田 和広	篠ノ井		
91 kg級	松村 洋	篠ノ井 180.0	谷口 祐二	松商		
99 kg級	深沢 悟	松商 165.0				

平成6年度	1 位		2 位		3 位	
54 kg級	波多野 龍	青雲 110.0				
59 kg級	中尾 久揮	松商 160.0				
64 kg級	籠田 浩明	松商 170.0	北村 武	松商		
70 kg級	竹田 哲章	篠ノ井 175.0	福沢 斉	岡工	松浦 達也	松商
76 kg級	岩井 純徳	篠ノ井 220.0	塚田 和広	篠ノ井		
83 kg級	寺沢 哲也	篠ノ井 195.0				
91 kg級	松村 洋	篠ノ井 180.0				

平成7年度	1 位		2 位		3 位	
64 kg級	大嶋 良謙	篠ノ井 140.0				
70 kg級	松浦 達也	松商 175.0	中村 友	松商		
76 kg級	竹田 哲章	篠ノ井 210.0	福沢 斉	岡工		
83 kg級	塚田 和広	篠ノ井 225.0	村田 卓弥	松商		

平成8年度	1 位		2 位		3 位	
54 kg級	前沢 規雄	篠ノ井 120.0				
59 kg級	中村 洋生	篠ノ井 127.5	遠藤 克彦	岡工		
64 kg級	中村 友	松商 177.5	大嶋 良謙	篠ノ井	太田 秀文	篠ノ井
70 kg級	飯沼 美明	松商 137.5				
76 kg級	村田 卓弥	松商 192.5				
83 kg級	大西 洋平	岡工 87.5	小口 勝弘	岡工		

平成9年度	1 位		2 位		3 位	
54 kg級	久保田 浩	松商 130.0	前沢 規雄	篠ノ井		
59 kg級	中島 正和	篠ノ井 165.0	中村 洋生	篠ノ井	丸山 純和	松商
64 kg級	遠藤 俊和	松商 180.0	五十嵐敦司	篠ノ井	太田 秀文	篠ノ井
70 kg級	丸山 弘	篠ノ井 180.0	飯沼 美明	松商		
76 kg級	村田 卓弥	松商 192.5				
83 kg級	村田 卓弥	松商 220.0	滝沢 健太	篠ノ井	大西 洋平	岡工

女子

平成5年度	1 位		2 位	
59 kg級	河合 咲子	篠ノ井 115.0	土佐 広美	松商
64 kg級	杉本 泰美	篠ノ井 72.5		
平成6年度	1 位		2 位	
59 kg級	河合 咲子	篠ノ井 112.5	芝崎真理子	松商
平成7年度	1 位		2 位	
50 kg級	松澤美保子	篠ノ井 102.5		
54 kg級	宮澤 瞳	篠ノ井 110.0	佐藤亜香利	松商
59 kg級	芝崎真理子	松商 105.0		
70 kg級	菅原 香菊	松商 107.5		
平成8年度	1 位		2 位	
50 kg級	松澤美保子	篠ノ井 115.0	佐藤亜香利	松商
54 kg級	宮澤 瞳	篠ノ井 115.0		
平成9年度	1 位		2 位	
50 kg級	大須賀樹里	篠ノ井 82.5		
54 kg級	佐藤 恵美	松代 77.5		

24 自 転 車

自転車競技専門部は昭和51年全国高校総体昭和53年長野国体の開催が決定したのをうけて昭和49年4月に部長宮林弘(南安曇農校長)専門委員長穂刈勇(松商学園高)で発足しました。その穂刈先生より専門委員長を昭和63年に引き継いで10年がたちました。前年の昭和62年にかりがね運動公園に自転車競技場が新設されたのをうけ昭和63年より新人県大会を実施するようになりました。同時に春と秋一般道を使つての道路競走ができるようになりました。特に新人県大会では平成4年より麻積村役場の全面的な協力が得られ聖高原クリテリウム大会として現在にいたっています。又審判員も高校の顧問の多くの先生が2級3級の資格を取ってくれ県内の実業団、学連所属の審判員の協力も得られて全国的にもトップクラスの運営と内容の県大会と言われるようになって来ました。

全国高校総体では昭和58年の松本工業の道路競走5位入賞からはじまった入賞の記録は昭和62年松本工業青沼正悟君の4kmの速度競走3位入賞、平成元年松本工業塩原正長君の1kmタイムトライアル2位入賞と続きました。(塩原君はその後早大に進学し、全日本選手権優勝、前橋での世界選手権出場、広島でのアジア大会優勝と大活躍しています。)それ以後は部員不足に悩む松本工業と共に県全体としても低迷期に入りました。しかしながら池田工業・箕輪工業・松商学園・長野工業・長野西・駒ヶ根工業・松本筑摩といった部員の少ない学校の選手ががんばってつないでくれました。平成8年から松本工業がもりかえしてきて百瀬匡君のスプリント4位入賞原篤史君の3km個人追い抜き競走8位入賞。平成9年も原君の同種目7位入賞と続いています。平成10年も入賞を目差して練習に熱が入っています。女子選手も平成8年全国選抜大会入賞の稲垣じゅんさん、平成9年全国選抜大会、JOCジュニアオリンピック大会連続入賞の塩原和愛さん、岩淵海季さん(3人とも松本工業)と活躍してくれましたが、残念ながら本年度で女子選手はいなくなりました。

各校とも部員不足を解消すべく層の拡大に務めるとともに高校卒業後も競技を続ける選手を増やしていく事が今後の課題だと思われます。やる気のある選手やる気のある指導者がどんど

ん出て来てくれる事を願っています。

※歴代の専門部長・専門委員長

- S62 丸林一富 穂刈 勇 (ともに松商学園)
 S63 塚平正廣 小林秀一 (ともに松本工業)
 H1～中沢貞夫 〃 (ともに松商学園)
 H3～中島逍遙 〃 (ともに松商学園)
 H9～北島勲夫 〃 (ともに松商学園)
 (専門委員長 小林 秀一)

長野県高等学校総合体育大会

○1000mタイムトライアル

年度	1 位	2 位	3 位
62	青沼 正悟(松工)	青嶋 宏充(池工)	塩原 正長(松工)
63	塩原 正長(松工)	山川 政行(池工)	青嶋 宏充(池工)
1	塩原 正長(松工)	為田 学(池工)	石川 雅康(箕工)
2	為田 学(池工)	石川 雅康(箕工)	井口 達也(池工)
3	三浦 伸夫(池工)	井口 達也(池工)	伊藤 大介(岡工)
4	藤井 欣也(池工)	牧野 広二(松工)	城戸 正巳(岡工)
5	有賀 昌美(岡工)	飯塚 朗(松商)	池上 誠(岡工)
6	西牧 大(松工)	飯塚 朗(松商)	高山 真寛(松工)
7	宮澤 崇史(長工)	百瀬 匡(松工)	上沼 悟(岡工)
8	百瀬 匡(松工)	原 篤史(松工)	原田 充(岡工)
9	原 篤史(松工)	原田 充(岡工)	小峰 烈(松工)

○スプリント

年度	1 位	2 位	3 位
62	山川 政行(池工)	遠山 圭太(松工)	田口 慎也(松工)
63	山川 政行(池工)	田口 慎也(松工)	五十嵐憲行(岡工)
1	為田 学(池工)	山本 壮紀(松工)	津田 和博(松工)
2	為田 学(池工)	伊藤 大介(岡工)	林 健次(岡工)
3	井口 達也(池工)	伊藤 大介(岡工)	藤井 欣也(池工)
4	藤井 欣也(池工)	牧野 広二(松工)	田中 誓士(長工)
5	小野 貴広(岡工)	有賀 昌美(岡工)	西牧 大(松工)
6	西牧 大(松工)	名取 学(松工)	高山 真寛(松工)
7	湯原 正行(高専)	百瀬 匡(松工)	上沼 悟(岡工)
8	百瀬 匡(松工)	鷹野 智浩(松工)	宮田 光雄(池工)
9	原田 充(岡工)	鷹野 智浩(松工)	原 篤史(松工)

○4000m速度競走

年度	1 位	2 位	3 位
62	青沼 正悟(松工)	矢島 義将(箕工)	白田 博司(岡工)
63	河口 巻成(岡工)	山本 壮紀(松工)	奥水 誠(岡工)
1	山本 壮紀(松工)	為田 学(池工)	名取 正志(松工)
2	為田 学(池工)	石川 雅康(箕工)	山本 雄仁(池工)
3	伊藤 大介(岡工)	藤井 欣也(池工)	山本 雄仁(池工)
4	中島 誠(松工)	藤井 欣也(池工)	城戸 正巳(岡工)
5	池上 誠(岡工)	飯塚 朗(松商)	関 森介(岡工)
6	飯塚 朗(松商)	高山 真寛(松工)	宮澤 崇史(長工)
7	小野 勝哉(岡工)	宮澤 崇史(長工)	高山 真寛(松工)
8	原 篤史(松工)	百瀬 匡(松工)	丸山 厚(駒工)
9	小峰 烈(松工)	宇山 正幸(松工)	鷹野 智浩(松工)

○ポイントレース

年度	1 位	2 位	3 位
62	永井 誠(松工)	塩原 正長(松工)	河口 巻成(岡工)
63	塩原 正長(松工)	青嶋 宏充(池工)	巢山 有紀(松工)
1	北原 司郎(松工)	輿水 誠(岡工)	石川 雅康(箕工)
2	石川 雅康(箕工)	三浦 伸夫(池工)	栗林 忍(池工)
3	三浦 伸夫(池工)	小林 誠(岡工)	城戸 正巳(岡工)
4	中島 誠(松工)	城戸 正巳(岡工)	有賀 昌美(岡工)
5	星 雅人(岡工)	有賀 昌美(岡工)	飯塚 朗(松商)
6	飯塚 朗(松商)	宮澤 崇史(長工)	星 雅人(岡工)
7	宮澤 崇史(長工)	小野 勝哉(岡工)	篠木 孝裕(岡工)
8	北村政剛(長野西)	原 篤史(松工)	久保田達也(岡工)
9	原田 充(岡工)	原 篤史(松工)	三沢 昌樹(松工)

○個人追い抜き競走

年度	1 位	2 位	3 位
62	青嶋 宏充(池工)	永井 誠(松工)	塩原 正長(松工)
63	青嶋 宏充(池工)	塩原 正長(松工)	北原 司郎(松工)
1	塩原 正長(松工)	北原 司郎(松工)	石川 雅康(箕工)
2	石川 雅康(箕工)	為田 学(池田工)	三浦 伸夫(池工)
3	三浦 伸夫(池工)	伊藤 大介(岡工)	井口 達也(池工)
4	中島 誠(松工)	上條 徹(筑摩)	田中 誉士(長工)
5	池上 誠(岡工)	飯塚 朗(松商)	関 森介(岡工)
6	飯塚 朗(松商)	星 雅人(岡工)	小野 勝哉(岡工)
7	宮澤 崇史(長工)	小野 勝哉(岡工)	大塚 章文(松工)
8	原 篤史(松工)	丸山 厚(駒工)	原田 充(岡工)
9	原 篤史(松工)	原田 充(岡工)	小峰 烈(松工)

○イタリアンチームレース

年度	1 位	2 位	3 位
62	松 本 工	岡 谷 工	池 田 工
63	松 本 工	池 田 工	岡 谷 工
1	松 本 工	岡 谷 工	箕 輪 工
2	池 田 工	箕 輪 工	松 本 工
3	池 田 工	岡 谷 工	松 本 工
4	松 本 工	池 田 工	岡 谷 工
5	岡 谷 工	松 本 工	池 田 工
6	松 本 工	岡 谷 工	
7	松 本 工	岡 谷 工A	岡 谷 工B
8	松 本 工	岡 谷 工A	岡 谷 工B
9	松 本 工		

○団体追い抜き競走

年度	1 位	2 位	3 位
62	松 本 工	岡 谷 工	池 田 工
63	松 本 工	池 田 工	岡 谷 工
1	松 本 工	岡 谷 工	箕 輪 工
2	池 田 工	松 本 工	岡 谷 工
3	池 田 工	岡 谷 工	松 本 工
4	松 本 工	池 田 工	岡 谷 工
5	岡 谷 工A	岡 谷 工B	松 本 工
6	岡 谷 工	松 本 工	
7	松 本 工	岡 谷 工	
8	松 本 工	岡 谷 工A	岡 谷 工B
9	松 本 工	岡 谷 工	

○道路競走

年度	1 位	2 位	3 位
62	松 本 工	池 田 工	岡 谷 工
63	岡 谷 工	松 本 工A	松 本 工B
1	松 本 工	池 田 工	岡 谷 工
2	池 田 工A	松 本 工	池 田 工B
3	岡 谷 工	池 田 工	松 本 工
4	岡 谷 工	池 田 工	
5	岡 谷 工	松 本 工	池 田 工
6	岡 谷 工	松 本 工	長 野 工
7	岡 谷 工A	松 本 工	岡 谷 工B
8	岡 谷 工	松 本 工	
9	松 本 工	岡 谷 工	

長野県高等学校新人体育大会

○エリミネーションレース

年度	1 位	2 位	3 位
63	塩原 正長(松工)	永岩 佳和(松工)	輿水 誠(岡工)
1	為田 学(池田工)	名取 正志(松工)	小島 欣巳(松工)
2	井口 達也(池工)	山本 雄仁(池工)	伊藤 大介(岡工)
3	藤井 欣也(池工)	高井 潤(松工)	斉藤 敦(松工)
4	関 森介(岡工)	池上 誠(岡工)	浅野 泰弘(池工)
5	飯塚 朗(松商)	名取 学(松工)	都竹 祐治(松商)
6	平林 研吾(松工)	宮澤 崇史(長工)	湯原 正行(高専)
7	大塚 章文(松工)	北村政剛(長野西)	久保田達也(岡工)
8	原 篤史(松工)	原田 充(岡工)	小峰 烈(松工)
9	小峰 烈(松工)	岡本 峻(松工)	平田 昌志(松工)

○1000mタイムトライアル

年度	1 位	2 位	3 位
62	塩原 正長(松工)	河口 巻成(岡工)	青嶋 宏充(池工)
63	塩原 正長(松工)	為田 学(池田工)	興水 誠(岡工)
1	為田 学(池田工)	石川 雅康(箕工)	杉本 政幸(池工)
2	伊藤 大介(岡工)	井口 達也(池工)	山本 雄仁(池工)
3	藤井 欣也(池工)	牧野 広二(松工)	斉藤 敦(松工)
4	有賀 昌美(岡工)	池上 誠(岡工)	西牧 大(松工)
5	西牧 大(松工)	飯塚 朗(松商)	都竹 祐治(松商)
6	宮澤 崇史(長工)	高山 真寛(松工)	平林 研吾(松工)
7	百瀬 匡(松工)	大塚 章文(松工)	久保田達也(岡工)
8	原 篤史(松工)	原田 充(岡工)	鷹野 智浩(松工)
9	小峰 烈(松工)	平田 昌志(松工)	桑沢 和展(岡工)

○スプリント

年度	1 位	2 位	3 位
62	塩原 正長(松工)	五十嵐憲行(岡工)	田口 慎也(松工)
63	津田 和博(松工)	為田 学(池田工)	石川 雅康(箕工)
1	為田 学(池田工)	林 健次(岡工)	伊藤 大介(岡工)
2	伊藤 大介(岡工)	井口 達也(池工)	高井 潤(松工)
3	藤井 欣也(池工)	牧野 広二(松工)	嶋崎 光弘(松工)
4	小野 貴広(岡工)	石田 将人(岡工)	名取 学(松工)
5	西牧 大(松工)	名取 学(松工)	飯塚 朗(松商)
6	湯原 正行(高専)	高山 真寛(松工)	平林 研吾(松工)
7	百瀬 匡(松工)	北村政剛(長野西)	久保田達也(岡工)
8	原田 充(岡工)	小峰 烈(松工)	鷹野 智浩(松工)
9	小峰 烈(松工)	平田 昌志(松工)	岡本 峻(松工)

○4000m速度競走

年度	1 位	2 位	3 位
62	河口 巻成(岡工)	北原 司郎(松工)	興水 誠(岡工)
63	塩原 正長(松工)	興水 誠(岡工)	山本 壮紀(松工)
1	為田 学(池田工)	石川 雅康(箕工)	小林 誠(岡工)
2	伊藤 大介(岡工)	井口 達也(池工)	小林 誠(岡工)
3	藤井 欣也(池工)	斉藤 敦(松工)	城戸 正巳(岡工)
4	浅野 泰弘(池工)	関 森介(岡工)	池上 誠(岡工)
5	飯塚 朗(松商)	平林 研吾(松工)	都竹 祐治(松商)
6	高山 真寛(松工)	平林 研吾(松工)	大塚 章文(松工)
7	大塚 章文(松工)	北村政剛(長野西)	丸山 厚(駒工)

○ケイリン

年度	1 位	2 位	3 位
8	鷹野 智浩(松工)	宇山 正幸(松工)	原田 充(岡工)
9	小峰 烈(松工)	岡本 峻(松工)	桑沢 和展(岡工)

○ポイントレース

年度	1 位	2 位	3 位
62	青嶋 宏充(池工)	臼田 博司(岡工)	北原 司郎(松工)
63	山本 雄仁(池工)	熊木 隆司(岡工)	加藤 賢(箕工)
1	石川 雅康(箕工)	名取 正志(松工)	浜 健太郎(岡工)
2	三浦 伸夫(池工)	井口 達也(池工)	小林 誠(岡工)
3	大輪 昌記(岡工)	中島 誠(松工)	栗林 忍(池工)
4	星 雅人(岡工)	浅野 泰弘(池工)	池上 誠(岡工)
5	飯塚 朗(松商)	平林 靖規(池工)	宮澤 隆志(岡工)
6	篠木 孝裕(岡工)	小野 勝哉(岡工)	宮澤 崇史(長工)
7	大塚 章文(松工)	北村政剛(長野西)	上嶋 浩(岡工)
8	原 篤史(松工)	宇山 正幸(松工)	原田 充(岡工)
9	小峰 烈(松工)	平田 昌志(松工)	桑沢 和展(岡工)

○個人追い抜き競走

年度	1 位	2 位	3 位
62	青嶋 宏充(池工)	津田 和博(松工)	青木 高弘(松工)
63	塩原 正長(松工)	石川 雅康(箕工)	山本 雄仁(池工)
1	石川 雅康(箕工)	為田 学(池田工)	小林 誠(岡工)
2	井口 達也(池工)	山本 雄仁(池工)	伊藤 大介(岡工)
3	中島 誠(松工)	藤井 欣也(池工)	城戸 正巳(岡工)
4	池上 誠(岡工)	関 森介(岡工)	有賀 昌美(岡工)
5	飯塚 朗(松商)	西牧 大(松工)	星 雅人(岡工)
6	平林 研吾(松工)	高山 真寛(松工)	小野 勝哉(岡工)
7	大塚 章文(松工)	丸山 喜文(長工)	上嶋 浩(岡工)
8	原 篤史(松工)	宇山 正幸(松工)	原田 充(岡工)
9	小峰 烈(松工)	桑沢 和展(岡工)	平田 昌志(松工)

○道路競走

年度	1 位	2 位	3 位
62	岡谷 工	松本 工	
63	岡谷 工	松本 工	箕輪 工
1	松本 工	池田 工	岡谷 工
2	池田 工	岡谷 工	松本 工
3	松本 工	岡谷 工B	岡谷 工A
4	飯塚 朗(松商)	有賀 昌美(岡工)	関 森介(岡工)
5	飯塚 朗(松商)	星 雅人(岡工)	宮澤 崇史(長工)
6	平林 研吾(松工)	大塚 章文(松工)	丸山 厚(駒工)
7	丸山 厚(駒工)	大塚 章文(松工)	上嶋 浩(岡工)
8	原田 充(岡工)	原 篤史(松工)	鷹野 智浩(松工)
9	井上 淳也(長工)	桑沢 和展(岡工)	平田 昌志(松工)

25 フェンシング

フェンシング競技が長野県に発足し20数年になります。全国高校総体、国体を契機に箕輪町を中心に大会が開催され定着してまいりました。

当初より指導者が少なく、特殊な用具を使用しなければならぬ点から普及の面では大変苦労してまいりました。高体連への加盟校も2～3校と少なく現在も小人数の専門部として活躍していますが、全国規模の大会を開催し専門部としての活動の充実と選手の意欲向上を計る目的で、平成7年度に全国高等学校選抜大会を箕輪町で開催致しました。当初は大会を成功させれば良いという軽い気持ちでスタートを切りましたが、実際始めると多くの課題が出てまいりました。1つは体育館が小さく8ピストの試合会場が取れなくタイムテーブルを大きく変更しなければならなかったこと。2点目は国体以降用具の補充が十分でなく購入しなければならなかったこと。3点目は大会運営費が少なく協賛金に頼らなければならなかったことです。幸い全国高体連専門部・長野県教育委員会体育課・箕輪町の方々の絶大なるご支援を得ることができ、幾つかの問題を克服し大会が運営できたことを忘れてはならないと考えています。また、補助員の面でも他校のバスケットボール部の部員に講習会を何度か実施させて頂き活躍いただいたり、各高校のOBまたは父兄の方々にお手伝い頂き大会運営ができたことにも感謝申し上げます。

地元で全国大会を開催したことが成績の面においても好結果に結び付いた点も上げられます。20年前少年男子が長野国体で優勝、宮崎国体でベスト8入賞を果たして以来、国体入賞から遠ざかる一方で他府県との差をつめる事ができなかったのが現状でした。しかし、この全国選抜大会を期に選手の中にも全国での戦いというものが自然に競技姿勢の中に現れてくるようになりました。目の前にしっかりとした目標を持ち練習することがいかに大切であるかということ、監督であった私自身に教えてくれたよ

うな気が致します。

平成8年度のインターハイでは個人入賞者を出すことができ、秋季国体においては、自分自身が高校の時国体で入賞した経験を持つ草間監督（現・箕輪工業高校職員）率いる少年男子チームが広島国体で18年ぶりに3位に入賞することができました。本県のフェンシング競技の歴史に新しい1ページを築いて頂いたことは関係者にとって大きな喜びでありました。インターハイでの個人入賞はここ10年で数多くの選手が結果を出してくれましたが、団体戦での入賞は今後の競技成績におおきな影響をもたらしてくれたと考えています。

海外遠征の実施、全国講習会への参加、年間を通しての多くの県外遠征や大会への参加等、日程的にみても非常に大変な部分もありますが大きな目標に向け今後も強化に取り組んでいきたいと思っています。

近年少子化の影響もあり競技人口の激減が心配されるようになってきました、当専門部においても選手の確保、競技力の向上等の課題も残されていますが、ここまでフェンシング競技を支えてくださった方々の為にも一歩一歩前進できるように、今後も努力していきたいと考えています。

（専門委員長 末松 英司）



長野県高等学校総合体育大会

団体（男子）

年度	1 位	2 位	3 位	4 位
62	伊那北A	箕輪工A	箕輪工B	伊那北B
63	箕輪工A	箕輪工B	伊那北A	箕輪工C
元	伊那北A	箕輪工A	伊那北B	伊那北C
2	伊那北B	伊那北A	伊那北C	箕輪工A
3	伊那北A	伊那北B	箕輪工A	伊那北C
4	伊那北A	伊那北B	箕輪工A	伊那北C
5	伊那北A	箕輪工A	伊那北B	伊那北C
6	伊那北A	伊那北B	伊那北D	箕輪工A
7	伊那北A	箕輪工A	伊那北B	箕輪工B
8	伊那北A	箕輪工A	伊那北B	駒ヶ根工A
9	伊那北	箕輪工		

長野県高等学校新人体育大会

年度	1 位	2 位	3 位	4 位
62	箕輪工A	伊那北A	箕輪工C	箕輪工B
63	伊那北A	箕輪工A	伊那北B	
元	伊那北B	伊那北A	伊那北C	
2	伊那北B	伊那北A	箕輪工A	
3	伊那北A	伊那北B	伊那北C	箕輪工A
4	伊那北A	箕輪工A	伊那北B	伊那北C
5	伊那北A	箕輪工A	伊那北B	
6	伊那北A	伊那北B	伊那北C	箕輪工A
7	伊那北A	箕輪工A	駒ヶ根工A	
8	伊那北A	箕輪工A		
9	伊那北	箕輪工		

長野県高等学校総合体育大会

団体（女子）

年度	1 位	2 位	3 位	4 位
62	伊那北A	箕輪工A	箕輪工B	伊那北B
63	伊那北A	箕輪工A	伊那北B	箕輪工B
元	伊那北A	箕輪工A	伊那北B	箕輪工B
2	伊那北A	箕輪工A	伊那北B	伊那北C
3	伊那北A	伊那北B	伊那北C	伊那北D
4	伊那北B	伊那北A	伊那北C	伊那北D
5	伊那北A	伊那北B	伊那北D	伊那北C
6	伊那北C	伊那北B	伊那北A	
7	伊那北A	伊那北B		
8	伊那北B	伊那北A	伊那北D	伊那北C
9	伊那北A	箕輪工A	伊那北B	伊那北C

長野県高等学校新人体育大会

年度	1 位	2 位	3 位	4 位
62	箕輪工A	伊那北A	箕輪工B	伊那北B
63	伊那北A	伊那北B	伊那北C	箕輪工A
元	伊那北A	伊那北B	箕輪工A	伊那北C
2	伊那北B	伊那北A	伊那北C	箕輪工A
3	伊那北B	伊那北A	伊那北C	伊那北D
4	伊那北B	伊那北A	伊那北C	伊那北D
5	伊那北A	伊那北B		
6	(試合なし)			
7	(試合なし)			
8	伊那北A	伊那北C	伊那北B	
9	伊那北	箕輪工		

長野県高等学校総合体育大会

個人（男子）フルーレ

年度	1 位	2 位	3 位	4 位
62	森 康夫 (伊北)	太田 豪利 (箕工)	宮下 健治 (伊北)	板倉 健一 (伊北)
63	藤原 千史 (箕工)	上原 純司 (箕工)	上久保和芳 (伊北)	沢井 正幸 (箕工)
元	沢井 正幸 (箕工)	山本 政典 (伊北)	唐沢 一寿 (箕工)	小松 賢治 (箕工)
2	唐沢 智之 (箕工)	中村 兼吾 (伊北)	菅沼 昌尚 (伊北)	菅沼 智浩 (伊北)
3	木下 進一 (伊北)	唐沢 智之 (箕工)	菅沼 智浩 (伊北)	白鳥 憲司 (伊北)
4	塩沢 径 (伊北)	山本 勲 (伊北)	小口 勝 (箕工)	村沢 正樹 (伊北)
5	斉藤 和志 (伊北)	小口 勝 (箕工)	村沢 正樹 (伊北)	伊藤 淳一 (箕工)
6	下平 剛之 (伊北)	大槻 高範 (伊北)	高畑 敦史 (伊北)	武田 操 (箕工)
7	大槻 高範 (伊北)	北條 徳則 (伊北)	三澤 彰大 (伊北)	唐沢 俊章 (伊北)
8	唐沢 俊章 (伊北)	武田 操 (箕工)	三沢 高志 (箕工)	小牧 利之 (伊北)
9	三沢 高志 (箕工)	伊井島伸也 (伊北)	湯沢 将志 (伊北)	上田 義邦 (箕工)

長野県高等学校新人体育大会

年度	1 位	2 位	3 位	4 位
62	藤原 千史 (箕工)	上原 純司 (箕工)	唐沢 一寿 (箕工)	上久保和芳 (伊北)
63	山本 政典 (伊北)	唐沢 一寿 (箕工)	関川 将 (箕工)	浜 光重 (箕工)
元	唐沢 智之 (箕工)	中村 兼吾 (伊北)	野溝 宏之 (伊北)	渡辺 直樹 (伊北)
2	菅沼 智浩 (伊北)	唐沢 智之 (箕工)	山本 勲 (伊北)	福井 竜夫 (伊北)
3	山本 勲 (伊北)	塩沢 径 (伊北)	村澤 正樹 (伊北)	北沢 涉 (伊北)
4	川崎 大輔 (伊北)	村沢 正樹 (伊北)	小松 聖司 (伊北)	吉瀬 健二 (伊北)
5	大槻 高範 (伊北)	河手 健 (箕工)	下平 剛之 (伊北)	大槻 賢治 (箕工)
6	大槻 高範 (伊北)	下平 剛之 (伊北)	唐沢 俊章 (伊北)	北條 徳則 (伊北)
7	三沢 高志 (箕工)	唐沢 俊章 (伊北)	武田 操 (箕工)	飯島 潤一 (箕工)
8	三沢 高志 (箕工)	伊井島伸也 (伊北)	上田 義邦 (箕工)	中村 功平 (伊北)
9	中村 功平 (伊北)	大野 寛務 (伊北)	岡 澄嘉 (箕工)	湯沢 将志 (伊北)

長野県高等学校総合体育大会

個人（女子）フルーレ

年度	1 位	2 位	3 位	4 位
62	額額 知子 (箕工)	唐沢 春美 (伊那北)	小松いづみ (箕工)	浦野みどり (伊北)
63	鈴木 明子 (伊北)	伊藤美由貴 (伊北)	伊藤 弥み (箕工)	奥沼亜紀子 (伊北)
元	伊藤美由貴 (伊北)	池上みゆき (箕工)	鈴木 明子 (伊北)	的場 英恵 (伊北)
2	原 由里子 (箕工)	縣 真由美 (伊北)	赤羽 恵里 (伊北)	小野 早苗 (伊北)
3	赤羽 恵里 (伊北)	安部 美里 (伊北)	北原 慶子 (伊北)	原 ゆかり (伊北)
4	小田倉綾香 (伊北)	原 幸恵 (伊北)	武井 美穂 (伊北)	加藤 志津 (伊北)
5	根橋 玉英 (伊北)	野沢 紀子 (伊北)	松下 玲子 (伊北)	馬場 美佳 (伊北)
6	神田 美紀 (伊北)	小林 香織 (伊北)	上島 文枝 (伊北)	城倉 章子 (伊北)
7	上條 智子 (伊北)	井口 尚美 (伊北)	寄藤 牧子 (伊北)	福田 愛 (伊北)
8	井口 尚美 (伊北)	福田 愛 (伊北)	寄藤 牧子 (伊北)	原 みずほ (伊北)
9	原 みずほ (伊北)	北野 友紀 (箕工)	大金 由季 (箕工)	中村 華子 (伊北)

長野県高等学校新人体育大会

年度	1 位	2 位	3 位	4 位
62	伊藤ちふみ (箕工)	伊藤美由貴 (伊北)	的場 英恵 (伊北)	奥沼亜紀子 (伊北)
63	的場 英恵 (伊北)	鈴木 明子 (伊北)	縣 真由美 (伊北)	伊藤美由貴 (伊北)
元	小野 早苗 (伊北)	縣 真由美 (伊北)	野村 美緒 (箕工)	原 由里子 (箕工)
2	安部 美里 (伊北)	赤羽 恵里 (伊北)	北原 慶子 (伊北)	大根田美香 (伊北)
3	飯島 陽子 (伊北)	小田倉綾香 (伊北)	原 幸恵 (伊北)	武井 美穂 (伊北)
4	山田 智美 (伊北)	平沢 幸恵 (伊北)	野沢 紀子 (伊北)	松下 玲子 (伊北)
5	神田 美紀 (伊北)	小林 香織 (伊北)	城倉 章子 (伊北)	中村みゆき (伊北)
6	井口 尚美 (伊北)	上條 智子 (伊北)	寄藤 牧子 (伊北)	福田 愛 (伊北)
7	井口 尚美 (伊北)	寄藤 牧子 (伊北)	福田 愛 (伊北)	原 みずほ (伊北)
8	原 みずほ (伊北)	北原 千佳 (伊北)	小林美奈子 (伊北)	北條 亜岐 (伊北)
9	北野 友紀 (箕工)	大金 由季 (箕工)	中村 華子 (伊北)	氣賀澤優子 (伊北)

長野県高等学校総合体育大会

個人(男子)エペ

年度	1位	2位	3位	4位
62	埋橋 理生 (伊北)	北原 武志 (箕工)	熊谷 健一 (伊北)	片桐 和広 (箕工)
63	上原 純司 (箕工)	山本 政典 (伊北)	片桐 和広 (箕工)	上久保和芳 (伊北)
元	関川 将 (箕工)	田村 大 (伊北)	上久保和芳 (伊北)	山本 政典 (伊北)
2	中村 兼吾 (伊北)	中村 雅広 (伊北)	福井 竜夫 (伊北)	小池 隆司 (伊北)
3	白鳥 憲司 (伊北)	福井 竜夫 (伊北)	山本 勲 (伊北)	小池 隆司 (伊北)
4	北沢 渉 (伊北)	山本 勲 (伊北)	三沢 克大 (伊北)	宮崎 博之 (清陵)
5	吉瀬 健二 (伊北)	小松 聖司 (伊北)	村沢 正樹 (伊北)	三沢 克大 (伊北)
6	高畑 敦史 (伊北)	北原良次郎 (伊北)	北條 徳則 (伊北)	
7	北條 徳則 (伊北)	北原良次郎 (伊北)	三沢 高志 (箕工)	飯島 潤一 (箕工)
8	三沢 高志 (箕工)	飯島 潤一 (箕工)	大槻龍太郎 (伊北)	小林 洋文 (伊北)
9	三沢 高志 (箕工)	大野 寛務 (伊北)	上田 義邦 (箕工)	河手 奨 (箕工)

長野県高等学校総合体育大会

個人(男子)サーブル

年度	1位	2位	3位	4位
62	宮下 健治 (伊北)	山崎 宮一 (箕工)	太田 豪利 (箕工)	藤原 千史 (箕工)
63	唐沢 一寿 (箕工)	沢井 正幸 (箕工)	小松 賢治 (箕工)	藤原 千史 (箕工)
元	唐沢 一寿 (箕工)	沢井 正幸 (箕工)	小松 賢治 (箕工)	野溝 宏之 (伊北)
2	野溝 宏之 (伊北)	菅沼 智浩 (伊北)	倉田 昌尚 (伊北)	唐沢 智之 (伊北)
3	木下 進一 (伊北)	菅沼 智浩 (伊北)	唐沢 智之 (箕工)	倉田 昌尚 (伊北)
4	庄村 康人 (伊北)	塩沢 径 (伊北)	北原 章裕 (伊北)	小口 勝 (箕工)
5	庄村 康人 (伊北)	小口 勝 (箕工)	斉藤 和志 (伊北)	林 崇仁 (伊北)
6	大槻 高範 (伊北)	伊井島宏和 (伊北)	下平 剛之 (伊北)	
7	大槻 高範 (伊北)	小牧 利之 (伊北)	三澤 彰大 (伊北)	唐沢 俊章 (伊北)
8	唐沢 俊章 (伊北)	三澤 彰大 (伊北)	武田 操 (箕工)	小牧 利之 (伊北)
9	伊井島伸也 (伊北)	湯沢 将志 (伊北)	中村 功平 (伊北)	岡 澄嘉 (箕工)

個人(女子)エペ

7	寄藤 牧子 (伊北)	福田 愛 (伊北)	上條 智子 (伊北)	井口 尚美 (伊北)
8	福田 愛 (伊北)	井口 尚美 (伊北)	寄藤 牧子 (伊北)	原 みずほ (伊北)
9	北野 友紀 (箕工)	原 みずほ (伊北)	中島 睦 (伊北)	福沢佳代子 (伊北)

長野県高等学校新人体育大会

個人(男子)エペ

年度	1位	2位	3位	4位
6	下平 剛之 (伊北)	北條 徳則 (伊北)	小林 洋文 (伊北)	飯島 潤一 (箕工)
7	三沢 高志 (箕工)	小林 洋文 (伊北)	上田 義邦 (箕工)	飯島 潤一 (箕工)
8	三沢 高志 (箕工)	伊井島伸也 (伊北)	上田 義邦 (箕工)	湯沢 将志 (伊北)
9	岡 澄嘉 (箕工)	大野 寛務 (伊北)	湯沢 将志 (伊北)	中村 功平 (伊北)

個人(女子)エペ

6	寄藤 牧子 (伊北)	上條 智子 (伊北)	井口 尚美 (伊北)	福田 愛 (伊北)
7	井口 尚美 (伊北)	寄藤 牧子 (伊北)	北原 千佳 (伊北)	原 みずほ (伊北)
8	北原 千佳 (伊北)	中島 睦 (伊北)	福沢佳代子 (伊北)	中村 華子 (伊北)
9	大金 由季 (箕工)	氣賀澤優子 (伊北)	北野 友紀 (箕工)	中村 華子 (伊北)

長野県高等学校新人体育大会

個人(男子)サーブル

6	大槻 高範 (伊北)	小牧 利之 (伊北)	原 竜彦 (伊北)	武田 操 (箕工)
7	武田 操 (箕工)	唐沢 俊章 (伊北)	小牧 利文 (伊北)	三澤 彰大 (伊北)
8	三沢 高志 (箕工)	伊井島伸也 (伊北)	湯沢 将志 (伊北)	上田 義邦 (箕工)
9	中村 功平 (伊北)	湯沢 将志 (伊北)	大野 寛務 (伊北)	岡 澄嘉 (箕工)

前期（昭和62年から平成3年まで）

昭和53年のやまびこ国体に向けて、諏訪湖周辺の高校で活動が開始されたヨット競技は、長野県ヨット連盟のバックアップで大きく発展してきた。殊に昭和60年の鳥取国体では茅野高校の片倉、中村組が第6位に入賞するなど輝かしい結果を残し、スナイブ級において、その前後北信越では常勝の高校となった。昭和62年には茅野高校で、県内では初めてのヨット部が誕生し、茅野高校ヨット部の充実基とも呼べる時代が続いた。

一方、茅野以外の諏訪湖周辺校では指導者の不足や、もともと部員の少なかったことなどが原因で、相次いで同好会が消滅して行き、茅野高校とは反対の径路を辿ることになった。その後、昭和63年須坂商業で2名の女子部員による同好会が、平成元年には長野西、諏訪清陵、平成5年には北部と、それぞれ1・2名の選手による同好会の活動があったが、単発的でその選手が卒業すると同時に自動的に同好会も消滅するという結果になった。それらの選手はほとんどが、小中学校時代に長野県ヨット連盟のジュニアヨットクラブで活躍していた生徒であり、茅野高校のように高校からヨットを始める選手に比べ、高校入学当初より基本的な技術を持っているので、実力的には高いものを持っていたが、後に続く選手の育成にはならなかった。須坂商業、長野西、北部の3校については、練習場所が野尻湖であり、地理的な環境から平日の練習ができないことが大きなネックとなったようだ。

昭和63年から平成2年にかけては茅野高校のFJ級において好成績を残した。FJ級男子は平成元年と2年に、FJ級女子は昭和63年と平成元年に北信越で優勝し、特にFJ級女子の藤原、石山組は平成元年北信越大会（富山県）で男子をも抑えてトップフィニッシュし優勝。同年インターハイ（高松）においては、第2レース、2位以下を大きく（1レグ以上）引き離してトップでフィニッシュした。総合では9位に甘んじたものの、長野県ヨットの歴史に残る快挙を見せた。

後期（平成4年から平成9年まで）

平成5年、国体の種目からスナイブ級が廃止された。翌年（平成6年）からは高校総体の種目からもスナイブ級は外された。スナイブ級の艇の価格があまりに高く、学校レベルの予算ではなかなか購入することが難しいというのが、理由の一つだった。代わりにFJ級がチームレース化され、北信越の出場枠は、スナイブ級、FJ級それぞれ1艇から、FJ級男子4艇、女子3艇に変更された。それまで長野県ヨット連盟には3艇のFJ級しかなく、絶対的に艇の不足が生じたことから、ヨット連盟が中心となり、更に茅野高校PTA・同窓会、茅野高校ヨット部OB会等の協力を得て、長野県体育協会から3艇のFJ級を貸与されることとなった。平成6年には4年ぶりのインターハイ出場を勝ち取ることができた。

しかしながら、平成8年からは茅野高校ヨット部員の激減でその存亡が危ぶまれ、現在もその状況は続いている。それまで単発的に存在した茅野高校以外の高校ヨット選手が途絶え、茅野高校自体も男女各1名の部員に減り、平成7年の新人戦はついに中止せざるを得ない状況に至った。平成8年に多少盛り返したものの、選手数の激減は競技力の低下につながり、結果的にそれがヨット人気の低下を生むという悪循環に陥る結果となった。生徒数の激減期や慢性的な指導者の不足、クラブに対する価値観の変化等も原因となって、その後選手数は減少し続け、平成9年は総体の開催をも断念せざるを得ない状況となった。

この状況を打開するため、現在長野県ヨット連盟との話し合いを持ちながら、検討策を練っている。ヨット競技はその特殊性からなかなか高校単位での活動は難しい。むしろフリート単位（水域単位）の活動が最も有効と考えられる。今後はジュニアヨットクラブの活動に重点を置き長期的展望を持って選手層の拡大をはかることを計画している。現在、諏訪湖、野尻湖に加え、木崎湖でもジュニアヨットクラブの活動が開始され、後の若き選手たちが育ってきている。

（専門委員長 青木一男）

長野県高等学校総合体育大会

男子F J級

年度	1 位	2 位
62	下島・伊藤 (茅野)	宮坂・横山 (茅野)
63	横山・伊藤 (茅野)	
1	横山・湯田坂 (茅野)	小山・山田 (長野西)
2	湯田坂・小池 (茅野)	小山・山田 (長野西)
3	小池・藤森 (茅野)	
4	西沢・市川 (茅野)	
5	西沢・市川 (茅野)	
6	西沢・八幡 (茅野)	塩沢・山田 (茅野)
7		
8	小林・小口 (茅野)	山田・三石 (茅野)

女子F J級

年度	1 位	2 位
62		
63	藤原・石山 (茅野)	山本・宮沢 (須高)
1	藤原・石山 (茅野)	尾垣・宮坂 (清陵)
2	尾垣・宮坂 (清陵)	笠原・伊藤 (茅野)
3	尾垣・宮坂 (清陵)	
4	藤森・名取 (茅野)	
5	名取・上原 (茅野)	篠遠・中沢 (茅野)
6	名取・牛山 (茅野)	
7	牛山・入野・中沢 (茅野)	
8	入野・中沢 (茅野)	笠原・河原田 (茅野)

長野県高等学校新人体育大会

男子F J級

年度	1 位
62	
63	
1	小山・山田 (長野西)
2	小池・藤森 (茅野)
3	
4	西沢・市川 (茅野)
5	八幡・塩沢 (茅野)

女子F J級

年度	1 位	2 位
62		
63	藤原・石山 (茅野)	
1	石山・新海・伊藤 (茅野)	尾垣・宮坂 (清陵)
2	尾垣・宮坂 (清陵)	藤森・小松 (茅野)
3		
4	名取・上原 (茅野)	
5	名取・中沢・山本 (茅野)	

男子スナイプ級 (平成6年からはSH級)

年度	1 位	2 位	3 位
62	今井・今井 (茅野)	平林・小池 (茅野)	藤森・矢崎 (茅野)
63	小池・湯田坂 (茅野)	矢崎・江嶋 (茅野)	今井・土田 (茅野)
1	今井・矢崎 (茅野)	沢田・岩田 (茅野)	
2	沢田・矢沢 (茅野)	東・岩田 (茅野)	
3	東・岩田・矢沢 (茅野)	原・小松 (茅野)	
4	原・藤森 (茅野)		
5	八幡・塩沢 (茅野)		
6			
7	稲垣 (北部)	山田 (茅野)	小口 (茅野)

女子スナイプ級 (平成6年からはSH級)

年度	1 位	2 位
62		
63		
1		
2		
3	河原田・矢崎・藤森 (茅野)	白川・小泉 (茅野)
4	河原田・矢崎 (茅野)	白川・小泉 (茅野)
5		
6		
7		

男子スナイプ級 (平成5年からはSH級)

年度	1 位	2 位	3 位
62	横山・矢崎 (茅野)	小池・伊藤 (茅野)	今井・藤原 (茅野)
63	今井・矢崎 (茅野)	湯田坂・沢田 (茅野)	横山・伊藤 (茅野)
1	東・岩田 (茅野)	小池・矢沢 (茅野)	
2	東・小松 (茅野)	矢沢・沢田 (茅野)	岩田・原 (茅野)
3	東・小松 (茅野)		
4	八幡・塩沢 (茅野)		
5	西沢 (茅野)		
6	山田 (茅野)		

女子スナイプ級 (平成5年からはSH級)

年度	1 位	2 位
62		
63		
1		
2	河原田・矢崎 (茅野)	白川・小泉 (茅野)
3	河原田・矢崎 (茅野)	白川・小泉・藤森 (茅野)
4		
5		
6	牛山 (茅野)	

27 ホ ッ ケ ー

ホッケー競技は、やまびこ国体の開催にあわせ駒ヶ根市を中心に育成がはかられ、高校においても男子チームは赤穂高校と駒ヶ根工業高校。女子チームは上伊那農業高校と中条高校に設置され、かつては全国大会出場もねらえる競技力を有していた。後に、中条・上農のチームは消滅し、赤穂高校に女子チームが設置された。現在では県下においてホッケー部を有する学校は赤穂高校（男・女）および駒工（男）という県下で3チームという体制である。ホッケー部を男女ともに県下の多くの高校に設置し、競技力の向上と底辺の拡充をはかることはホッケー専門部創設時からの課題としてとりくまれてきたが、厳しい情勢の中では実現にはいたらなかった。現実には、赤穂、駒工の両校でさえも、市内の赤穂中学校において、中学クラブ活動としてホッケー競技を経験した生徒が、高校のホッケー部員のほとんどを占めているという状況であり、高校に入学後からホッケーを始めるという生徒はごく稀で、きわめて特殊性の強いイメージを与えてしまっている。

高体連関係の大会は最初から県大会として実施されているが、近年までは男子の実力は両校ともに負けず劣らず、一年おき程度の割合どちらかが北信越大会へ出場していた。また、女子は赤穂高校のみであるので無条件で北信越大会に出場する権利を有している。

最近10年間ほどの成績を見ると、北信越大会には出場しているが、全国レベルの富山、福井のチームはもとより石川、新潟チームなどにもおおよそ男子チームは最下位。女子チームはかろうじて1勝して3位または4位という成績にとどまっている。

私が専門委員長として担当した平成8年度の総合体育大会ホッケー競技会では、赤穂高校男子チームと駒ヶ根工業高校男子チームの試合に

おいては、1回戦2回戦ともに同点で延長戦まで行い雌雄を決するという拮抗した試合を展開したため、北信越大会への出場権を得た赤穂高校男子には大きな期待をかけたが、結果は北信越5位とふるわなかった。赤穂高校女子も同じく北信越で5位という成績だった。やはり、練習量の不足・試合経験の少なさ等、競い合う相手が県内にいないことが大きく影響しているものと思われる。

それにもまして、平成8年度の新人戦からは、競技人口の減少という深刻な問題が発生してしまった。そもそも、ホッケー競技はサッカーと同じく11人で行われる競技であるが、他のクラブでさえ部員不足が騒がれている中、特殊性の強いクラブにおいて11人（補欠もあわせると15人）を確保することは困難を極めているようだ。

こうした状況になる以前から、両校のホッケー部では、新入部員の確保・部員の拡大を大きな課題として取り組みを進めていただいている。しかしながら、昨今の少子化に伴う学級減や定員割れの影響もあり思うように進まない。

こうした危機的な状況を打開するため、これからは長野県ホッケー協会にも協力を仰ぎながら、ホッケー競技の魅力をアピールする機会をなるべく多く設け、赤穂・駒工の両校においての新入部員を多く獲得できるようとりくみを一段と強化していかなければならない。きわめてインターハイに近い競技でもあるので、専用グラウンドや施設・用具の充実も図り、指導者等の育成に努力することで、練習試合はおろか本格的なチーム練習もままならない現在の状況から一日も早く脱し、北信越大会においても上位入賞がねらえるようなチームを作り出せるような様々な条件整備が急務であると考える。

（専門委員長 滝澤 真一）

長野県高校総合体育大会（男子）

年度	第1位	第2位
62	赤穂	駒ヶ根工業
63	赤穂	駒ヶ根工業
1	赤穂	駒ヶ根工業
2	駒ヶ根工業	赤穂
3	赤穂	駒ヶ根工業
4	駒ヶ根工業	赤穂
5	赤穂	駒ヶ根工業
6	駒ヶ根工業	赤穂
7	駒ヶ根工業	赤穂
8	赤穂	駒ヶ根工業

長野県高校新人体育大会（男子）

年度	第1位	第2位
62	赤穂	駒ヶ根工業
63	赤穂	駒ヶ根工業
1	赤穂	駒ヶ根工業
2	駒ヶ根工業	赤穂
3	赤穂	駒ヶ根工業
4	赤穂	駒ヶ根工業
5	駒ヶ根工業	赤穂
6	実施しなかった	
7	赤穂	駒ヶ根工業
8	実施しなかった	

28 空 手 道

<昭和62年度以降 概況>

昭和60年2月に県高体連加盟が承認され、翌61年度には登録校も16校に増加し、その後も年をおうごとに増加し、今年度は45校が加盟しています。この数はここ数年ほぼ一定し定着した感があります。少なくとも北信越地区では最も多数であり、短期間での急増は嬉しいことです。北信越レベルでの他県から見た本県の評価は従来「形の長野」というイメージがあり、歴代の実績は団体・個人兩種目共、男女にわたって秀れた選手を輩出してきました。団体では松商学園が男女共常勝の感があり、個人では62年度の男子上位3名独占、女子で1・3位入賞、平成2年度は女子がやはり上位3名独占といった快挙をあげています。その後、世界チャンピオンになった三村（深志）や全国高校総体上位連続入賞の朝倉（坂城）、杉山姉妹（共に深志）、今年度の西澤（松商学園）と女子の活躍が目立つが、県高体連に加盟以後のこの10年は徐々に組手競技の実力アップ、発展の歴史とあってよいと思われれます。特に平成5年の松商学園の男女団体アベック優勝、女子個人の3位まで独占という北信越新人大会としてすばらしい結果も残しています。この当時、特筆されるものに全国選抜大会の山田（松商学園）のベスト8（5位）入賞による全日本代表候補選手指定、その後の全国高校総体にやはりベスト8（5位）入賞した笠原（松商学園）が全日本代表選手に指定されたことであります。このことを契機に現在に至るまで形とならんで組手にも一定の高い評価を周囲から得られるようになった気がしています。

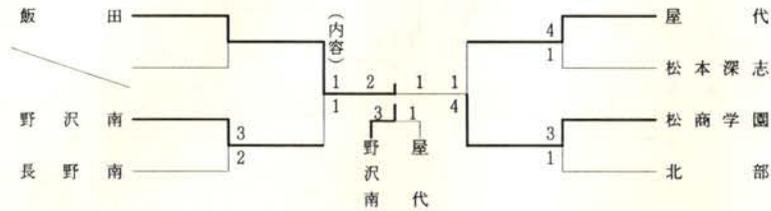
対外試合を多くし、自ら他県の強豪と積極的に交流することが上達の強化の早道のような気がします。習うより慣れろの言葉が最もあてはまるような気がします。資金面での努力が伴うことであり、大変なことでもありますが、できるだけ機会を増すべきです。その一貫として、平成7年度に松商学園として他県に呼びかけ、

強豪中心に42校が全国より参加し練習試合を実施しました。今年度は3年目で準備完了、定着して実施されますが、本県のレベルアップに有形・無形の大きなインパクトになっています。2年目から（昨年から）県高体連専門部の主催にし、全県レベルで開催という形にして、底辺の拡大にも努めています。確実に力になってゆくと思われれます。御仕着せの講習会よりも余力になると思います。また、これとは別に昨年度の反省により、今年度から夏の合同合宿に形の講習会を開きましたが、評判上々でした。「本物」を求めて、これからも努力してゆくつもりですが、選手の減少は全競技共通の課題でしょう。「底辺」の拡大は大切なことです。この点が最も重要で、かつ困難なことではあります。地道に努力し生涯の仲間作りの一端が担えればと思って活動してゆきます。

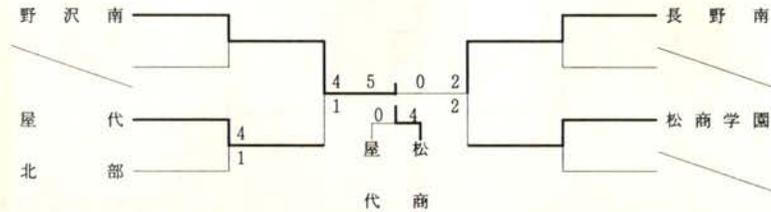
（専門委員長 笠原 哲雄）

昭和62年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

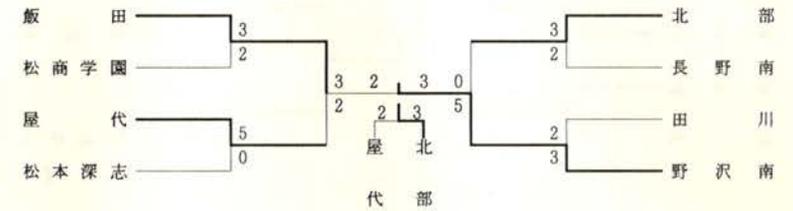


女子

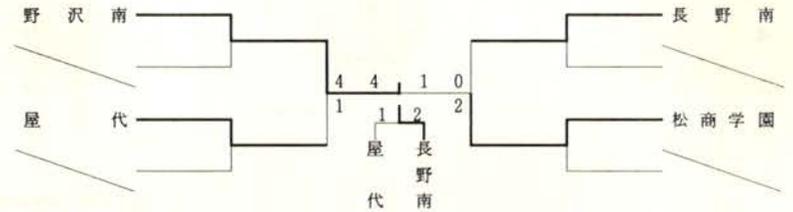


昭和63年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

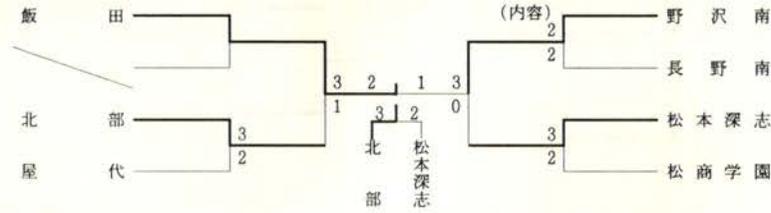


女子

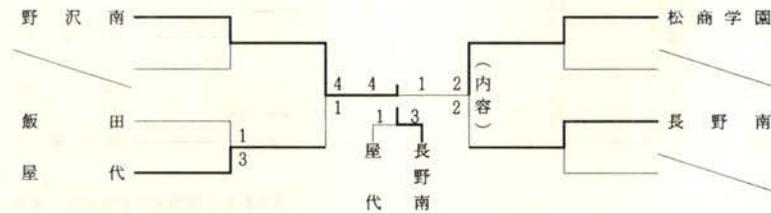


長野県高等学校新人体育大会

男子

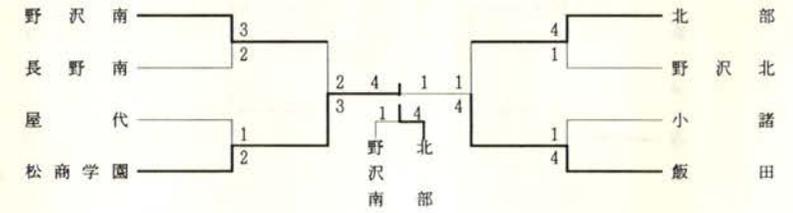


女子

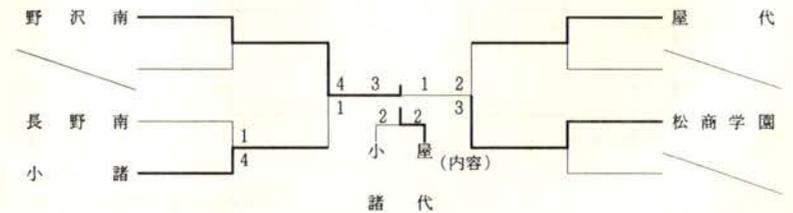


長野県高等学校新人体育大会

男子

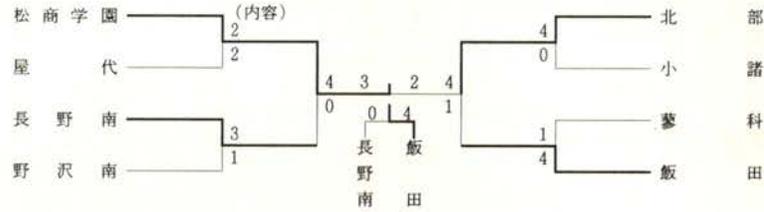


女子

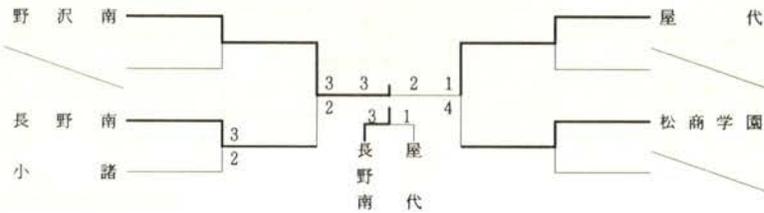


平成元年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

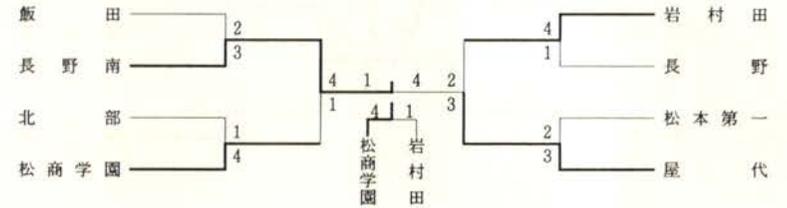


女子

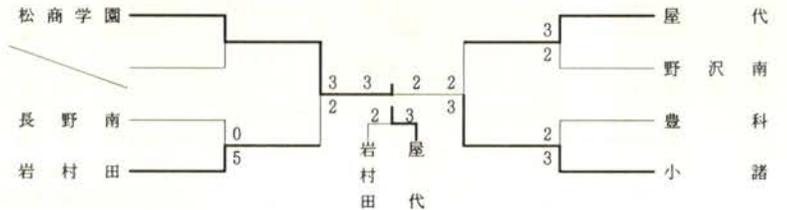


平成2年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

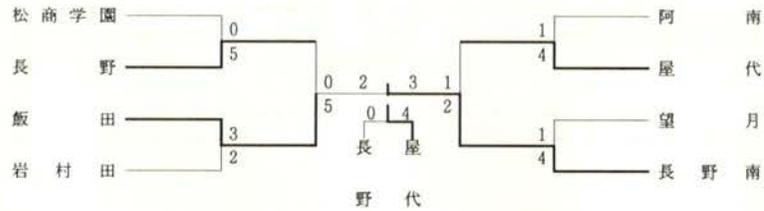


女子

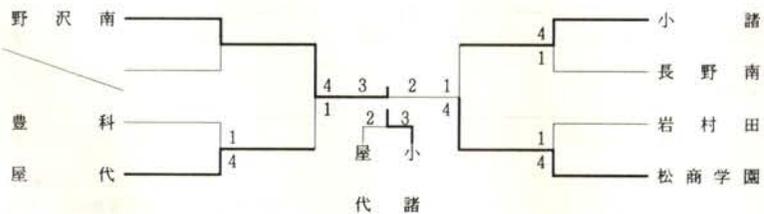


長野県高等学校新人体育大会

男子

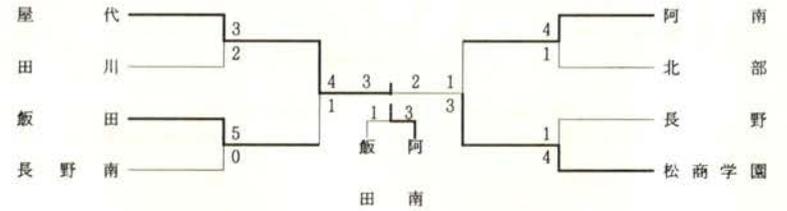


女子

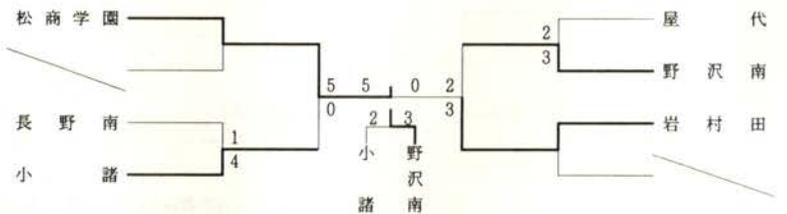


長野県高等学校新人体育大会

男子

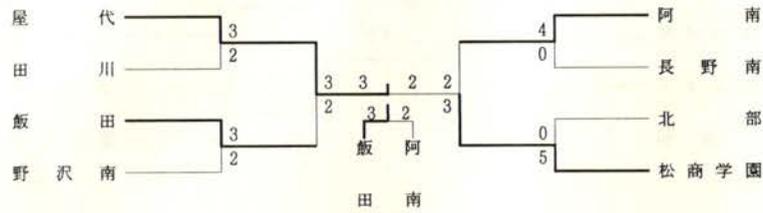


女子

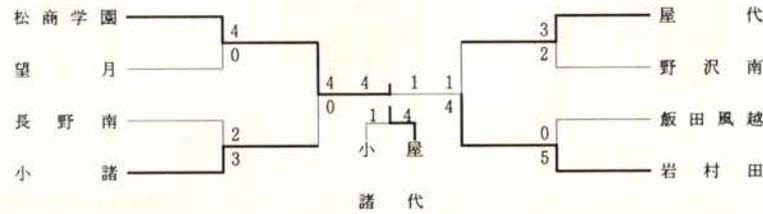


平成3年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

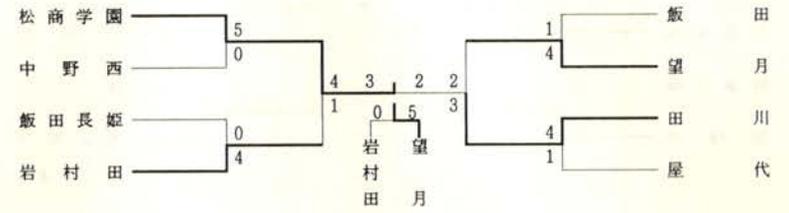


女子

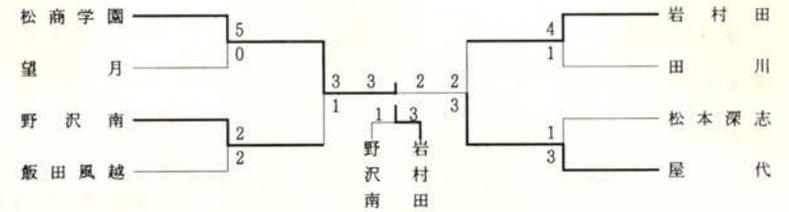


平成4年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

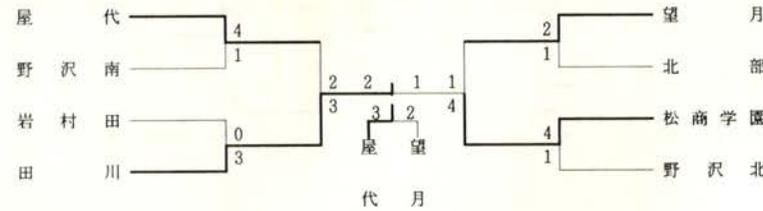


女子

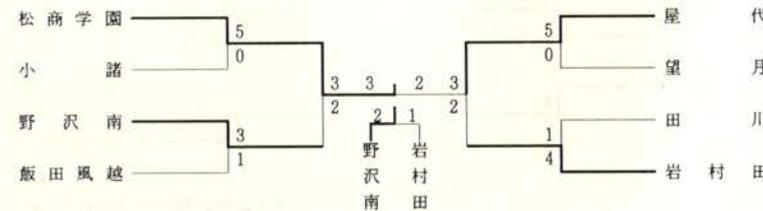


長野県高等学校新人体育大会

男子

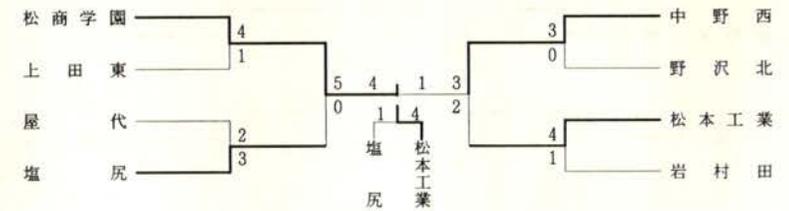


女子

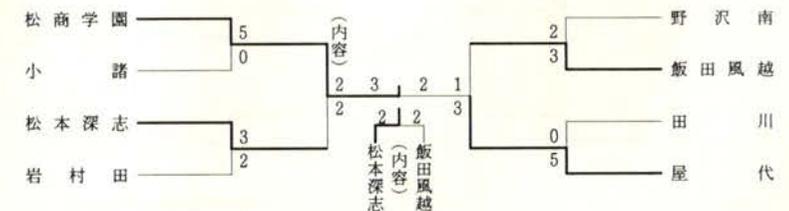


長野県高等学校新人体育大会

男子

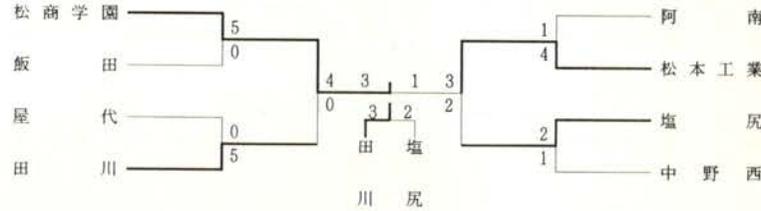


女子

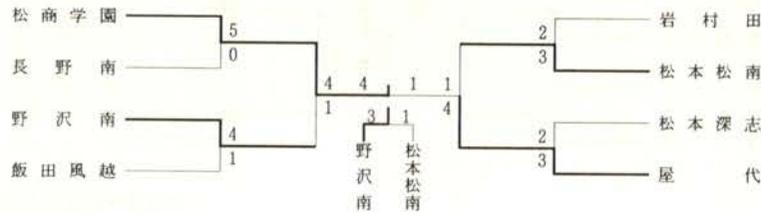


平成5年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

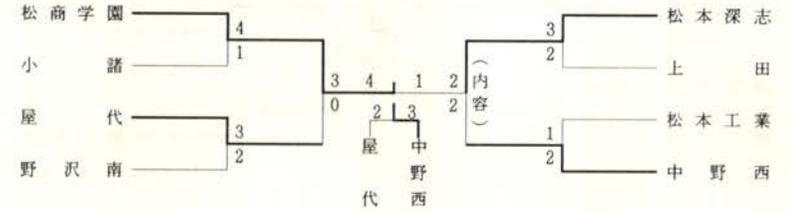


女子

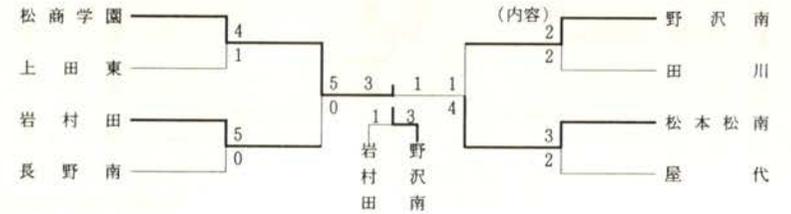


平成6年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

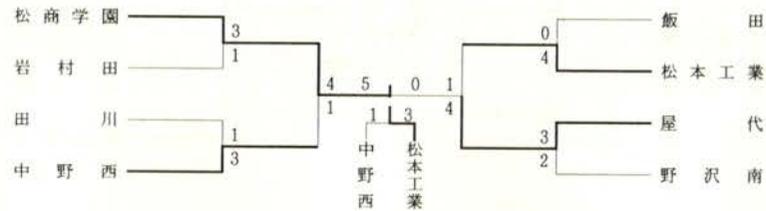


女子

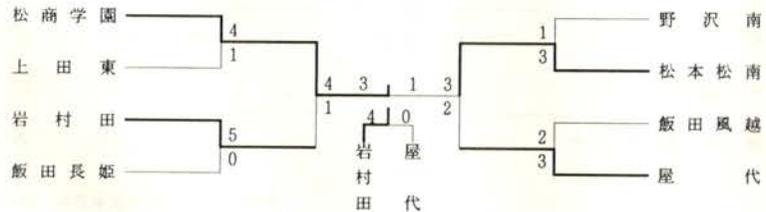


長野県高等学校新人体育大会

男子

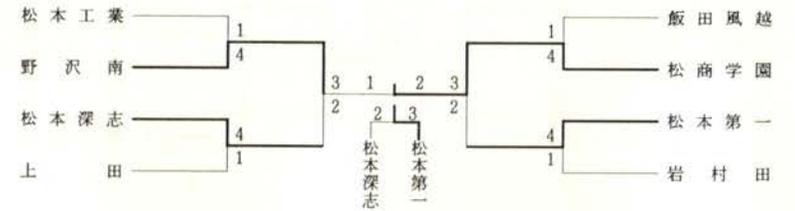


女子

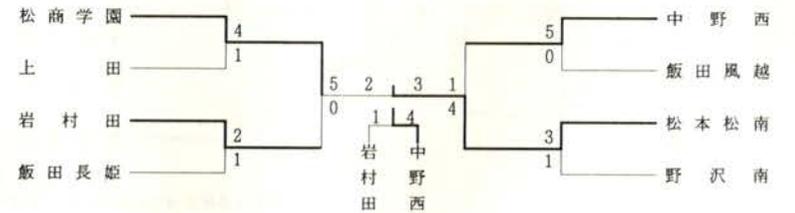


長野県高等学校新人体育大会

男子

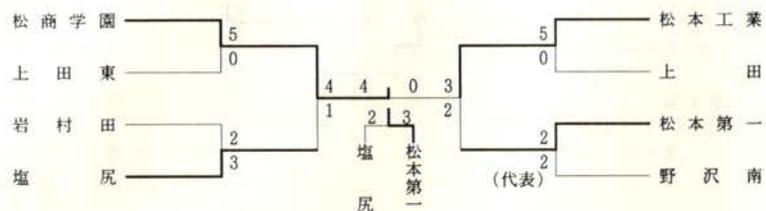


女子

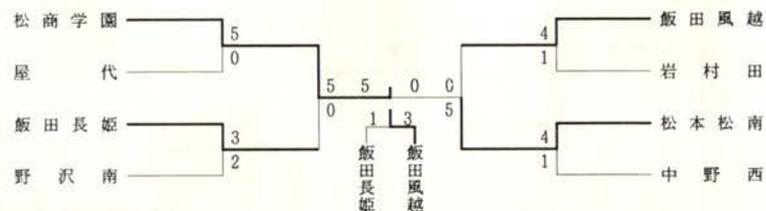


平成7年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

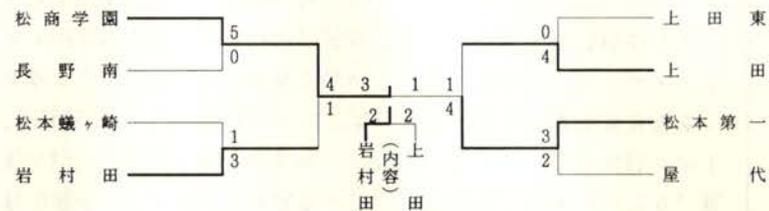


女子

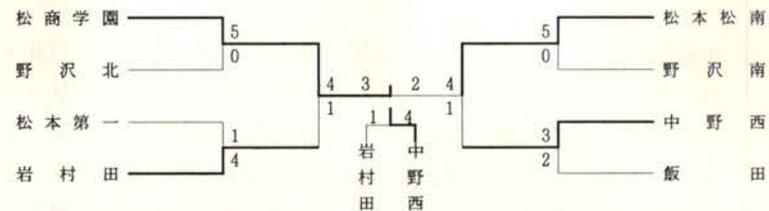


平成8年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

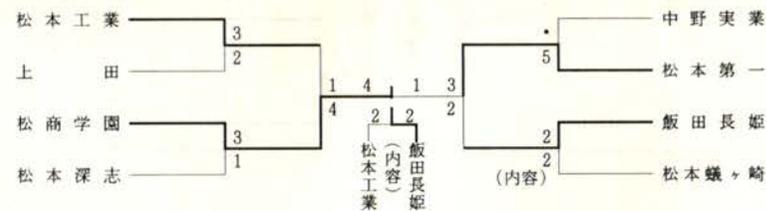


女子

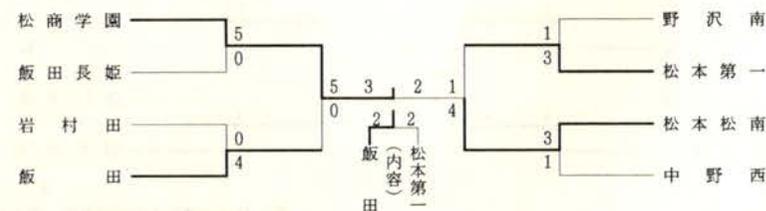


長野県高等学校新人体育大会

男子

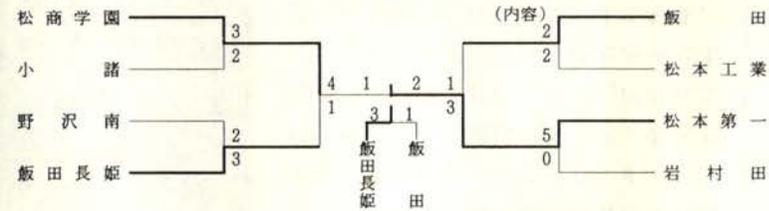


女子

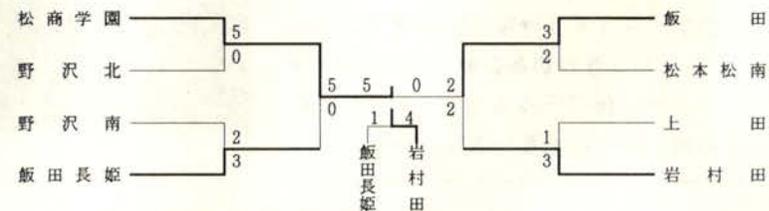


長野県高等学校新人体育大会

男子

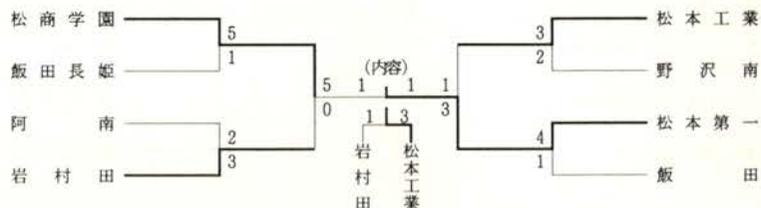


女子

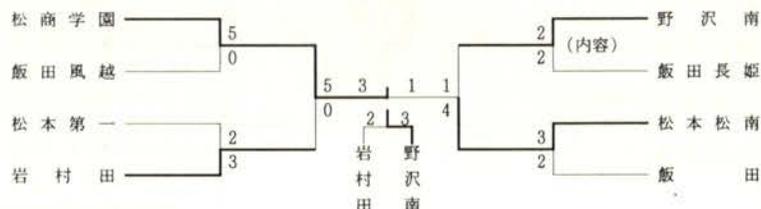


平成9年度 長野県高等学校総合体育大会

男子

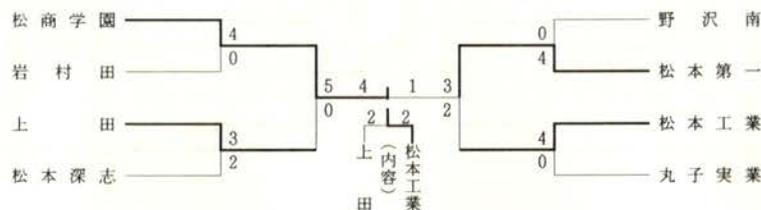


女子

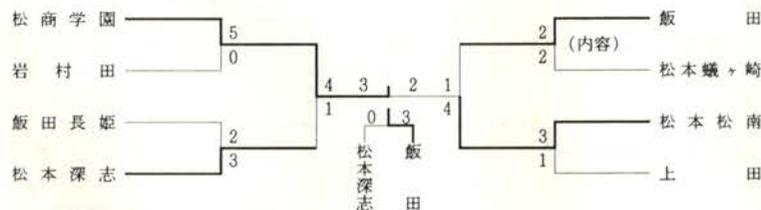


長野県高等学校新人体育大会

男子



女子



高体連会報紹介 第24号



平成7年度の夏季全国高校総合体育大会は、鳥取県を主会場に中国5県で開催され、藤澤愛信会長をはじめ、選手団総数578名が参加しました。漕艇競技の複数入賞を筆頭に選手はよく頑張っています。本年度の成績のうち特徴的な事柄について述べてみますと、団体種目での活躍がありベスト8入りを果たした種目がいくつか上げられます。また、近年淋しい成績であった水泳でも複数の入賞者がでてきており、入賞種目も増加しています。

冬季種目のスピードスケートでは今井裕介・外ノ池亜希選手の1000・1500m 2種目制覇を筆頭にリレーを含む11種目中6種目で優勝し、佐久長聖高校男子はスピード学校対抗で3連勝を果たし、パイピングリンクが整備された小海高校も第4位となっています。女子も東海大学第三高校が第3位、佐久長聖高校女子が第4位となっています。2年生・1年生の上位入賞者では女子外ノ池・安田(東海三)・新谷(伊那北)・竹ノ内(佐久長聖)、男子では平田(東海三)・篠原(佐久長聖)・井出(野沢北)選手など有力選手が残っており、今後の成長が大きく期待されます。

スキー競技は秋田県鹿角市で2月5日から開催されましたが、各学校の有力選手がノルディック世界ジュニア選手権と日程が重なり、長野県勢の総合5連勝は果たせませんでした。しかし、複合競技での1~4位上位独占、女子10kmフリーで大口奈津美選手の優勝等目覚ましい活躍をしています。学校対抗総合の部では、男子はアルペン・ノルディック両分野で得点を重ねた白馬高校が2位、飯山南高校が3位、女子では中野実業高校が3位となっています。

長野県高等学校春季総合体育大会
型の部団体（男子）

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	松商学園	36.2	飯田	野沢南	長野南
63	松商学園	21.5	飯田	野沢南	北 部
元	松商学園	24.9	小 諸	飯 田	長野南
2	松商学園	22.7	屋 代	長野南	北 部
3	松商学園	22.5	田 川	屋 代	北 部
4	松商学園	22.6	中野西	岩村田	塩 尻
5	松商学園	25.8	岩村田	野沢南	飯 田
6	松商学園	25.6	松本深志	野沢南	岩村田
7	松本深志	26.4	松商学園	岩村田	野沢南
8	松商学園	22.7	岩村田	野沢南	松本深志
9	松商学園	25.9	松本第一	岩村田	飯 田

長野県高等学校新人体育大会

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	飯 田	35.6	野沢南	北 部	長野南
63	松商学園	21.6	屋 代	小 諸	飯 田
元	松商学園	22.8	長野南	屋 代	岩村田
2	松商学園	22.2	屋 代	野沢南	松本第一
3	松商学園	23.1	北 部	岩村田	飯 田
4	松商学園	23.3	中野西	岩村田	野沢南
5	松商学園	23.0	野沢南	松本深志	飯 田
6	松商学園	23.1	松本深志	岩村田	野沢南
7	岩村田	22.6	松本深志	松本第一	野沢南
8	松商学園	23.0	岩村田	松本第一	飯 田
9	松商学園	23.1	松本第一	岩村田	上 田

長野県高等学校春季総合体育大会
個人（男子）組手の部

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	深沢 兼司 (松 商学)		嶽野 英樹 (飯 田)	丸山 博樹 (長野南)	秋広 哲次 (飯田長姫)
63	竹田 祐毅 (松 商学)		原田 勇 (飯 田)	丸山 博樹 (長野南)	畔上 信嗣 (蠟ヶ崎)
元	原田 勇 (飯 田)		篠塚 啓蔵 (須坂商)	坂内 健 (中 野)	丸山 英久 (田 川)
2	深沢 和紀 (松 商学)		窪田 英稔 (阿 南)	上沢 博之 (屋 代)	吉沢 武彦 (望 月)
3	山田 高照 (松 商学)		小林 隆之 (松 商学)	櫻井 功 (松本工)	飯島 康弘 (飯 田)
4	高橋 貴政 (田 川)		樋口 大樹 (北 部)	岩井 大士 (松 商学)	櫻井 功 (松本工)
5	山田 高照 (松 商学)		笠原 鉄平 (松 商学)	樋口 大樹 (北 部)	櫻井 功 (松本工)
6	小島 庸稔 (松 商学)		中野 倫展 (塩 尻)	竹村研太郎 (松本工)	矢崎 広路 (野沢南)
7	神農 来信 (松 商学)		中野 倫展 (塩 尻)	川手 和人 (蠟ヶ崎)	大塚 賢一 (岩村田)
8	塚原 隆通 (松 商学)		吉竹 秀至 (松 商学)	萩原 文彦 (上 田)	藤澤 正敏 (松本第一)
9	竹内 一真 (松本第一)		清水 陽 (松 商学)	吉竹 秀至 (松 商学)	林 寿雄 (松 商学)

長野県高等学校新人体育大会

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	丸山 博樹 (長野南)		坂内 健 (中 野)	浦上 幸成 (北 部)	杉野 晃 (下伊那農)
63	原田 勇 (飯 田)		根萩 義紀 (松 商学)	中沢日出樹 (飯 田)	小林健太郎 (屋 代)
元	堀金 伸次 (松 商学)		小宮山隆美 (長野南)	内川 勲 (蠟ヶ崎)	坂谷内康明 (飯 田)
2	窪田 英稔 (阿 南)		小松 広学 (筑 摩)	内川 勲 (蠟ヶ崎)	小森 直樹 (中野西)
3	山田 高照 (松 商学)		塩沢 正裕 (田 川)	笠原 鉄平 (松 商学)	高橋 貴政 (田 川)
4	山田 高照 (松 商学)		櫻井 功 (松本工)	笠原 鉄平 (松 商学)	岩井 大士 (松本学)
5	丸山 広海 (松 商学)		奥原 大介 (松 商学)	上條 育朋 (松 商学)	横川 喜辰 (深 志)
6	上條 育朋 (松 商学)		竹村研太郎 (松本工)	清水 貴志 (松本工)	山田 究 (松 商学)
7	中野 的幸 (松本工)		丸山 陽平 (松本工)	竹内 一真 (松本第一)	中島 和宏 (飯 田)
8	望月 永次 (松本第一)		高山 徹次 (松本第一)	清水 陽 (松 商学)	鈴木日出城 (松本第一)
9	宮澤 朋成 (松 商学)		神農 来吉 (松 商学)	林 寿雄 (松 商学)	岡村 和夫 (松本第一)

長野県高等学校春季総合体育大会
個人（男子）型の部

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	嶽野 英樹 (飯 田)	41.6	丸山 博樹 (長 野 南)	坂内 健 (中 野)	深沢 兼司 (松 商 学)
63	丸山 博樹 (長 野 南)	21.6	坂内 健 (中 野)	畔上 信嗣 (蠶ヶ崎)	篠塚 啓藏 (須坂商)
元	坂内 健 (中 野)	25.0	篠塚 啓藏 (須坂商)	内川 勲 (蠶ヶ崎)	深沢 和紀 (松 商 学)
2	田中 篤志 (松 商 学)	22.5	深沢 和紀 (松 商 学)	内川 勲 (蠶ヶ崎)	丸山 恵次 (北 部)
3	内川 勲 (蠶ヶ崎)	22.6	佐々木克哉 (県ヶ丘)	雨宮 秀樹 (飯田長姫)	笠原 鉄平 (松 商 学)
4	笠原 鉄平 (松 商 学)	22.8	櫻井 功 (松 本 工)	夔 論 (塩 尻)	小林 徹 (長野日大)
5	櫻井 功 (松 本 工)	25.9	笠原 鉄平 (松 商 学)	小林 徹 (長野日大)	小島 庸稔 (松 商 学)
6	小島 庸稔 (松 商 学)	26.4	酒井 健児 (屋 代)	高木 勇規 (中野西)	中野 倫展 (塩 尻)
7	上條 育朋 (松 商 学)	26.5	中野 的幸 (松 本 工)	酒井 健児 (屋 代)	中野 倫展 (塩 尻)
8	酒井 健児 (屋 代)	23.4	中野 的幸 (松 本 工)	中野 佳典 (松 本 工)	伊藤 高志 (田 川)
9	中野 的幸 (松 本 工)	26.0	伊藤 高志 (田 川)	佐藤 正彦 (松 商 学)	松田幸志郎 (松 本 工)

長野県高等学校新人体育大会

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	丸山 博樹 (長 野 南)	36.6	坂内 健 (中 野)	篠塚 啓藏 (須坂商)	中川 孝勇 (松 本 商)
63	坂内 健 (中 野)	21.9	篠塚 啓藏 (須坂商)	丸山 英久 (田 川)	深沢 和紀 (松 商 学)
元	田中 篤志 (松 商 学)	22.5	深沢 和紀 (松 商 学)	雨宮 秀樹 (飯田長姫)	内村 浩一 (野 沢 南)
2	内川 勲 (蠶ヶ崎)	22.5	佐々木克哉 (県ヶ丘)	森 一嵩 (蘇 南)	雨宮 秀樹 (飯田長姫)
3	笠原 鉄平 (松 商 学)	23.3	櫻井 功 (松 本 工)	古川 卓也 (長 野)	小林 徹 (長日大)
4	笠原 鉄平 (松 商 学)	23.4	櫻井 功 (松 本 工)	夔 論 (塩 尻)	小島 庸稔 (松 商 学)
5	小島 庸稔 (松 商 学)	22.5	高木 勇規 (中野西)	丸山 広海 (松 商 学)	中野 倫展 (塩 尻)
6	上條 育朋 (松 商 学)	23.0	中野 倫展 (塩 尻)	松岡 治信 (深 志)	神農 来信 (松 商 学)
7	酒井 健児 (屋 代)	22.8	中野 的幸 (松 本 工)	中野 佳典 (松 本 工)	伊藤 高志 (田 川)
8	中野 的幸 (松 本 工)	23.1	伊藤 高志 (田 川)	高山 徹次 (松 本 工)	佐藤 正彦 (松 商 学)
9	佐藤 正彦 (松 商 学)	22.9	松田幸志郎 (松 本 工)	林 寿雄 (松 商 学)	宮澤 朋成 (松 商 学)

長野県高等学校春季総合体育大会
型の部団体（女子）

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	野 沢 南	35.7	長 野 南	松 商 学 園	
63	長 野 南	21.5	野 沢 南	松 商 学 園	屋 代
元	松 商 学 園	24.9	長 野 南	小 諸	野 沢 南
2	小 諸	22.4	松 商 学 園	豊 科	長 野 南
3	小 諸	22.1	松 商 学 園	松 本 深 志	長 野 南
4	田 川	22.3	松 商 学 園	岩 村 田	野 沢 南
5	松 商 学 園	25.8	中 野 西	野 沢 南	松 本 深 志
6	松 商 学 園	25.9	野 沢 南	田 川	中 野 西
7	松 商 学 園	26.2	中 野 西	野 沢 南	岩 村 田
8	松 商 学 園	22.9	中 野 西	岩 村 田	松 本 第一
9	松 商 学 園	25.9	松 本 松 南	野 沢 南	飯 田

長野県高等学校新人体育大会

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	野 沢 南	35.1	長 野 南	松 商 学 園	飯 田
63	松 商 学 園	21.6	野 沢 南	長 野 南	小 諸
元	小 諸	22.2	野 沢 南	松 商 学 園	豊 科
2	松 商 学 園	22.2	小 諸	長 野 南	岩 村 田
3	田 川	22.9	松 商 学 園	岩 村 田	野 沢 南
4	松 商 学 園	22.7	野 沢 南	岩 村 田	松 本 深 志
5	松 商 学 園	22.9	野 沢 南	岩 村 田	松 本 松 南
6	松 商 学 園	23.1	中 野 西	野 沢 南	岩 村 田
7	中 野 西	23.1	松 商 学 園	松 本 第一	松 本 松 南
8	松 商 学 園	23.1	岩 村 田	飯 田	松 本 松 南
9	松 商 学 園	23.0	松 本 松 南	飯 田	上 田

長野県高等学校春季総合体育大会

個人（女子）組手の部

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	関森 裕恵 (松 商学)		三村 由紀 (深 志)	井出寿美子 (野 沢南)	宮沢 裕子 (須 坂東)
63	杉本 聡子 (野 沢南)		保科真理子 (野 沢南)	工藤 智子 (野 沢南)	松崎由起江 (屋 代)
元	佐々 智子 (飯田女子)		岩間 由紀 (野 沢南)	山岸 香織 (松 商学)	朝倉美奈子 (坂 城)
2	滝沢めぐみ (田 川)		桐山ちづる (豊 科)	杉山 友紀 (深 志)	百瀬 佳代 (松 南)
3	朝倉美奈子 (坂 城)		中沢 理恵 (松 商学)	滝沢めぐみ (田 川)	矢口 綾 (松 商学)
4	滝澤めぐみ (田 川)		鈴木喜美恵 (松 商学)	豊島めぐ美 (松 商学)	佐瀬 英子 (野 沢南)
5	和田志乃舞 (屋 代)		林 実也比 (松 南)	高田 結子 (松 南)	小野 直美 (松 商学)
6	高山真由美 (松 商学)		高田 結子 (松 南)	矢崎 幸枝 (松 南)	藤森加奈子 (松 南)
7	木原 久美 (松 南)		林 佐江子 (松本第一)	堀内千賀子 (松 南)	忠地 慶子 (松 商学)
8	田中 理恵 (松 商学)		荒木 沙織 (松 南)	高山 裕美 (松 商学)	林 佐江子 (松本第一)
9	高山 裕美 (松 商学)		西澤智代美 (松 商学)	杉江沙良子 (松 南)	坪田 尚子 (松 商学)

長野県高等学校新人体育大会

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	三村 由紀 (深 志)		杉本 聡子 (野 沢南)	工藤 智子 (野 沢南)	片桐恵美子 (小 諸)
63	中村 園恵 (長 野南)		岩間 由紀 (野 沢南)	大井 千春 (野 沢南)	佐々 智子 (飯田女子)
元	朝倉美奈子 (坂 城)		塚田 洋美 (篠ノ井)	百瀬 佳代 (松 南)	桐山ちづる (豊 科)
2	滝沢めぐみ (田 川)		山本 志保 (豊 科)	百瀬 佳代 (松 南)	中沢 理恵 (松 商学)
3	滝沢めぐみ (田 川)		飯沼 友美 (松 商学)	豊島めぐ美 (松 商学)	澤田亜希子 (丸 子実)
4	和田志乃舞 (屋 代)		武居 可奈 (松 商学)	北島 優子 (屋 代)	酒井 良子 (中 野西)
5	小野 直美 (松 商学)		武居 可奈 (松 商学)	山本 美帆 (松 商学)	高山真由美 (松 商学)
6	柳沢里絵子 (松 商学)		高木 綾 (中 野西)	堀内千賀子 (松 南)	忠地 慶子 (松 商学)
7	林 佐江子 (松本第一)		荒木 沙織 (松 南)	宇留賀美樹 (松 南)	藤田 和代 (松 南)
8	高山 裕美 (松 商学)		西澤智代美 (松 商学)	杉江沙良子 (松 南)	小平恵里子 (野 沢南)
9	神農 正任 (松 商学)		笠原 恵美 (松 商学)	木戸 秀美 (松本第一)	黒岩 みな (松 商学)

長野県高等学校春季総合体育大会

個人（女子）型の部

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	三村 由紀 (深 志)	42.2	関森 裕恵 (松 商学)	鈴木めぐみ (北 部)	長坂 千景 (松 商学)
63	三村 由紀 (深 志)	22.3	鈴木めぐみ (北 部)	小山 知美 (須 坂商)	片桐恵美子 (小 諸)
元	百瀬 佳代 (松 南)	24.6	鈴木めぐみ (北 部)	朝倉美奈子 (坂 城)	白石 千晴 (大 町北)
2	朝倉美奈子 (坂 城)	22.8	滝沢めぐみ (田 川)	杉山 友紀 (深 志)	百瀬 佳代 (松 南)
3	朝倉美奈子 (坂 城)	23.1	滝沢めぐみ (田 川)	杉山 友紀 (深 志)	百瀬 佳代 (松 南)
4	滝澤めぐみ (田 川)	22.8	杉山 裕美 (深 志)	酒井 良子 (中 野西)	丸山 瑞穂 (松 商学)
5	杉山 裕美 (深 志)	26.0	酒井 良子 (中 野西)	鳥羽理恵子 (中 野西)	高山真由美 (松 商学)
6	高山真由美 (松 商学)	25.9	小森 理恵 (中 野)	杉山 正美 (大 町)	武居 可奈 (松 商学)
7	杉山 正美 (大 町)	26.7	小森 理恵 (中 野)	西澤智代美 (松 商学)	宮坂 真由 (長 野南)
8	宮坂 真由 (長 野南)	23.1	西澤智代美 (松 商学)	児玉七奈美 (中 野西)	伊藤 真弓 (田 川)
9	宮坂 真由 (長 野南)	26.3	西澤智代美 (松 商学)	児玉七奈美 (中 野西)	高橋 典子 (松 南)

長野県高等学校新人体育大会

年度	1位	記録	2位	3位	4位
62	三村 由紀 (深 志)	37.7	鈴木めぐみ (北 部)	中村 園恵 (長 野南)	片桐恵美子 (小 諸)
63	鈴木めぐみ (北 部)	22.0	白石 千晴 (大 町北)	佐々 智子 (飯田女)	中村 園恵 (長 野南)
元	朝倉美奈子 (坂 城)	22.7	百瀬 佳代 (松 南)	杉山 友紀 (深 志)	佐々 智子 (飯田女子)
2	朝倉美奈子 (坂 城)	22.8	滝沢めぐみ (田 川)	杉山 友紀 (深 志)	百瀬 佳代 (松 南)
3	滝沢めぐみ (田 川)	23.4	杉山 裕美 (深 志)	酒井 良子 (中 野西)	林 実也比 (松 南)
4	杉山 裕美 (深 志)	23.4	酒井 良子 (中 野西)	鳥羽理恵子 (中 野西)	小野 直美 (松 商学)
5	高山真由美 (松 商学)	22.0	杉山 正美 (大 町)	小野 直美 (松 商学)	武居 可奈 (松 商学)
6	杉山 正美 (大 町)	23.1	小森 理恵 (中 野)	伊藤 真弓 (田 川)	笠原 佑里 (松 商学)
7	西澤智代美 (松 商)	23.0	児玉七奈美 (中 野西)	宮坂 真由 (長 野南)	高山 裕美 (松 商学)
8	宮坂 真由 (長 野南)	23.2	西澤智代美 (松 商学)	児玉七奈美 (中 野西)	高山 裕美 (松 商学)
9	高橋 典子 (松 南)	23.1	伊藤 光恵 (松 南)	田村 美奈 (上 田)	塚原 由梨 (松 商学)

29 ボクシング

池田工業高校、丸子実業高校でボクシングの指導をされていた小宮山泰典教諭の働きかけ等により、平成元年度、県高体連にボクシング専門部が設立されました。専門部長、牧野昌泰先生（当時丸子実業高校長）・専門委員長、小宮山先生（当時丸子実業高校教諭）という体制で発足し、その後も、丸子実業高校に拠点を置いています。

それ以前は、長野県アマチュアボクシング連盟の主催する高校生の大会が、県高校総体に代わる大会として行なわれていました。その時期に高校ボクシングで活躍した選手で大学に進学し、後に全日本選手権大会で活躍した選手には清沢利安（拓大）、中沢剛（東京農大）等がいます。

県高体連に専門部ができ、高等学校のクラブ活動として徐々に定着してきてはいるものの、課題は山積みされています。

高校ボクシングの競技人口は大変少なく、現

在ボクシング部のある学校は、丸子実業高校、長野南高校、飯田高校の3校だけです。他は、個人的にジムで練習している高校生が県大会に参加しています。今の生徒は辛いことを避けがちで、人からあれこれ指導されることもいやがる所があります。そのためか、クラブ離れが進みボクシング部員数も減少しつつあります。

また、指導者の不足も深刻な問題です。せっかく学校にクラブができて顧問の転出により廃部となっています。ボクシングの経験のある教諭の数は、限られています。ですからボクシング経験者の教員採用を願っているのですが、現在の状況ではそれも難しく思います。自身にボクシング経験が無くても、全国大会で立派な成績を残している先生も数多くいらっしゃいます。経験の有無を問わず、クラブ活動に熱心な先生に顧問をしていただければ、大変ありがたいと思います。

（専門委員長 尾形 悟）

長野県高等学校総合体育大会

学校対抗

	1位	2位	3位
平成元年	丸子実業	長野南	
2	丸子実業	長野南	
3	丸子実業	長野南	
4	丸子実業	長野南	
5	丸子実業	佐久	上田染谷丘
6	丸子実業	長野南	下高井農林
7	丸子実業	長野南	上田東
8	丸子実業	長野南	塩尻
9	長野南	丸子実業	穂高商業

モスキート級

1位

平成元年	押金 励	（上田染谷丘）
2	押金 励	（上田染谷丘）
3	池田	（丸子実業）
4	白井 龍	（丸子実業）
5	海藤 央	（丸子実業）
6	海藤 央	（丸子実業）
7	出場者なし	
8	出場者なし	
9	出場者なし	

ライトフライ級

1位

平成元年	関口 茂	（長野南）
2	市河 武	（長野南）
3	清水 武	（丸子実業）
4	齊藤賢志郎	（丸子実業）
5	齊藤 哲也	（丸子実業）
6	福田 誠	（丸子実業）
7	中村 泰彦	（上田東）
8	竹節 良介	（長野南）
9	出場者なし	

フライ級		
1位		
平成元年	堀内 栄二	(長野南)
2	山浦 直人	(丸子実業)
3	斉藤賢志郎	(丸子実業)
4	岩間 英幸	(長野南)
5	鷺見 健	(佐久)
6	宮田 敦広	(丸子実業)
7	宮田 敦広	(丸子実業)
8	吉沢 崇顕	(穂高商業)
9	小島 優司	(長野南)

バンタム級		
1位		
平成元年	太田 二郎	(丸子実業)
2	中沢 哲治	(丸子実業)
3	高山 真一	(丸子実業)
4	神林 省二	(丸子実業)
5	神林 省二	(丸子実業)
6	吉沢 久司	(長野南)
7	吉沢 久司	(長野南)
8	小山 春樹	(長野南)
9	吉沢 崇顕	(穂高商業)

フェザー級		
1位		
平成元年	小林 正文	(丸子実業)
2	堀内 栄二	(長野南)
3	西沢 卓哉	(丸子実業)
4	樋沢 太亮	(丸子実業)
5	樋沢 太亮	(丸子実業)
6	田中 剛	(丸子実業)
7	依田 友之	(丸子実業)
8	梶原 則美	(塩尻)
9	徳嵩 克哉	(長野南)

ライト級		
1位		
平成元年	松崎 明	(丸子実業)
2	小林 寛将	(長野南)
3	田島 貴光	(長野南)
4	橋詰 薫夫	(蠟ヶ崎)
5	春原 敏彦	(丸子実業)
6	伊藤 和弘	(丸子実業)
7	石坂 優一	(丸子実業)
8	濱武 剛	(上田西)
9	小林 晋	(丸子実業)

ライト・ウェルター級		
1位		
平成元年	山川 敦志	(丸子実業)
2	山崎信二郎	(丸子実業)
3	小林 寛将	(長野南)
4	笠原 貴光	(丸子実業)
5	笠原 貴功	(丸子実業)
6	吉川 毅	(丸子実業)
7	出場者なし	
8	宮崎 達也	(長野南)
9	山口 邦雄	(長野南)

ウェルター級		
1位		
平成元年	小林 正直	(上田)
2	出場者なし	
3	山崎信二郎	(丸子実業)
4	勝見 信行	(長野南)
5	及木 規雄	(上田染谷丘)
6	鶴田 智也	(長野南)
7	鶴田 智也	(長野南)
8	出場者なし	
9	宮崎 達也	(長野南)

ライトミドル級		
1位		
平成元年	小林 正直	(上田)
2		
3		
4		
5		
6	竹内 啓	(丸子実業)
7		
8		
9		

長野県高等学校新人体育大会

平成元年		
1年生の部・1位		
モスキート級	池田 隆幸	(丸子実業)
ライトフライ級	清水 武	(丸子実業)
フライ級	丸山 光	(梓川)
バンタム級	斉藤賢志郎	(丸子実業)
フェザー級	中山 剛	(丸子実業)
ライト級	小林 寛将	(長野南)
ライトウェルター級	山崎信二郎	(丸子実業)

モスキート級		
1位		
平成2年	池田 隆幸	(丸子実業)
3	前川 徹男	(丸子実業)

4	海藤 央	(丸子実業)
5		
6		
7		
8		

ライトフライ級		
1位		
平成2年	清水 武	(丸子実業)
3	白井 龍也	(丸子実業)
4	松林 哲也	(長野南)
5	海藤 央	(丸子実業)
6	宮田 敦広	(丸子実業)
7	樋村 隆徳	(丸子実業)
8	出場者なし	

フライ級		
1位		
平成2年	岩間 英幸	(長野南)
3	岩間 英幸	(長野南)
4	出場者なし	
5	宮田 敦広	(丸子実業)
6	寺島 高志	(丸子実業)
7	南波 良則	(丸子実業)
8	樋村 隆徳	(丸子実業)

バンタム級		
1位		
平成2年	坂田 善彦	(丸子実業)
3	神林 省二	(丸子実業)
4	神林 省二	(丸子実業)
5	中山 誠久	(丸子実業)
6	吉沢 久司	(長野南)
7	神津 敬吾	(丸子実業)
8	木内 稔	(長野南)

平成9年		
選抜の部		
ライト級	山口 邦雄	(丸子実業)
1年生の部		
ライトフライ級	粕尾 誠吾	(長野南)
フライ級	北沢 亮	(長野南)
バンタム級	半沢 伸也	(飯田)
フェザー級	北村 寛	(飯田)
ライト級	小林 卓也	(飯田)
ライトウェルター級	下平 慎志	(飯田)
ウェルター級	舟登 佑介	(飯田)

2年生の部・1位		
モスキート級	出場者なし	
ライトフライ級	押金 励	(上田染谷丘)
フライ級	山浦 直人	(丸子実業)
バンタム級	堀内 栄二	(長野南)
フェザー級	小松 利夫	(丸子実業)
ライト級	出場者なし	
ライトウェルター級	出場者なし	

フェザー級		
1位		
平成2年	西沢 卓哉	(長野南)
3	樋沢 太亮	(丸子実業)
4	樋沢 太亮	(丸子実業)
5	田中 剛	(丸子実業)
6	依田 友之	(丸子実業)
7	鈴木 剛	(長野南)
8	原田 智明	(丸子実業)

ライト級		
1位		
平成2年	小林 寛将	(長野南)
3	田島 貴光	(長野南)
4	伊藤 和弘	(丸子実業)
5	伊藤 和弘	(丸子実業)
6	石坂 優一	(丸子実業)
7	春原 謙二	(丸子実業)
8	小林 晋	(丸子実業)

ライトウェルター級		
1位		
平成2年	弦間 龍	(長野南)
3	樋村 信一郎	(長野南)
4	笠原 貴功	(丸子実業)
5	鶴田 智也	(長野南)
6	山田 智己	(更級農業)
7	宮崎 達也	(長野南)
8	山口 邦雄	(丸子実業)

ウェルター級		
1位		
平成2年	上田	(東部)
3		
4		
5		
6	鶴田 智也	(長野南)
7	西原 喜博	(長野南)
8	宮崎 達也	(長野南)

ライトミドル級		
1位		
平成5年	竹内 啓	(丸子実業)

30 定時制通信制



平成元年夜間定時制に赴任して来ました。この年松本で北信越定通制体育大会が開催されましたが専門委員長の平林洋一先生がすべての采配をふるっておられ、私にとっては何もわかっていないままに過ぎた1年でした。翌2年6月、平林先生が突如体調を崩して療休に入られ、専門委員の経験もない私が急きょ後を任されることになりました。早速、北信越大会への申し込み手続等何もわからない儘、あちこちに問い合わせをし迷惑をかけながら何とか済ませました。

翌年、県大会の企画等、事前にどんな準備をしておけばよいのかも知らない儘、3地区の定通専門委員、高体連事務局に迷惑をかけながら何とか大会まで漕ぎ着けることができました。何もわかっていないことに甘えて、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、ソフトテニス、柔道等各種目の専門委員長の先生方のご好意とご協力には全く感謝以外の言葉がありませんでした。

専門種目の運営については全く無力な定通専門部にあっては、各種目専門部のお力添えがないと何ひとつ大会が出来ないことを痛感するのみでありました。平成6年、松本における北信越定通総合体育大会を一区切りとして、定年1年前に渡辺治登先生に後を引き継いでもらいましたが、今後とも、定通部につきましますますのご支援をお願い申し上げる次第です。有り難うございました。

(H2年～6年 専門委員長 齊藤安正)



約20年間のうち2度定通専門部に関わりました。1度目は、北信越定通総合体育大会に長野県が加入した時、2度目は平成7年度、8年度でした。

初めて、北信越の仲間入りをする時は、当然のことながら、多方面にわたり大変でございました。それから本県当番の大会も4回を数えま

した。

「定通の灯を消すな」という言葉は、古くて、新しい言葉だと思います。こと体育大会についても出場人員数、出場者の技術等の、全日制の大会と比較もできない程のレベルですが、晴れがましい活躍の場の少ない定通の生徒に、従前通りのご指導、ご支援をいただきたいと、強くお願いいたします。

(H7年～8年 専門委員長 渡辺治登)



昨年、かつて勤務したことのある通信制へ赴任してきたところ、渡辺治登先生から「俺は、今年で定年だから定通専門部を、今年引き継いでほしい」と依頼されました。

腱板断裂手術入院後で、腕が自由に動かない状況でしたが引き受けざるを得ないと覚悟しました。

何もわからないまま、渡辺先生のご指導や、関係各位のご協力で何とか年間の事業を終わらせましたが、想像以上に仕事の多さに驚きました。全国大会や北信越大会の申し込みだけでも、大変な仕事量だと知りました。大会要項もほとんど理解しないまま、全国大会5種目(開催種目は10種目)、北信越大会7種目(開催種目は9種目)の申し込みをするのは大変気苦労の多い仕事でした。

県によっては定通制体育連盟があり、体育大会等すべて運営している所もあるようですが、本県の場合、定通専門部にそんな組織力はありません。高体連事務局や種目別専門部の力をお借りして大会運営がされているわけです。昭和40年代後半に県定通制体育大会で大きなスポーツ傷害事故があり、それを契機に組織力のある全日制高体連への加盟がされたようです。定通制独自の解決すべき問題もいろいろあると思いますが、今後共関係各位のご協力、ご指導を切にお願い致します。

(H9 専門委員長 笠原孝夫)

(昭和62) 年度長野県高等学校定通制総合体育大会

順種	位目	第 1 位 氏名 校名	第 2 位 氏名 校名	第 3 位 氏名 校名	第 4 位 氏名 校名	
男子	バスケットボール	松本工業	長野工業	上田、飯田長姫		
	バレーボール	長野吉田	飯田長姫	池田工業、上田千曲		
	卓球	団体	飯田長姫	長野工業	木曾	
		個人	小栗 上田千曲	中島 野沢南	山口 飯田長姫	戸谷 長野工業
	バドミントン	団体	長野	上田	松本工業、上伊那農業	
個人		遠山 筑摩通	畔上(博) 長野	畔上(泰) 長野	児玉 上田	
ソフトテニス	団体	長野吉田戸隠				
	個人	秋山・宮沢 長野西	中沢・山口 長野吉田	永原・原田 長野北部	清水・木村 長野吉田	
女子	バスケットボール	須坂	松本筑摩昼	丸子実業		
	バレーボール	長野吉田	松本筑摩通	飯田長姫、丸子実業		
	卓球	団体	上田	松本筑摩昼	上伊那農業	
		個人	和田 筑摩通	本多 箕輪工業	川島 上田	高見沢 野沢南
	バドミントン	団体	松本筑摩昼	諏訪実中心	野沢南	長野西
個人		坂梨 筑摩昼	樋口 長野西	落合 篠ノ井	後藤 諏訪実業	
ソフトテニス	団体	松本筑摩昼	長野吉田			
	個人	諸野脇武 長野西	小林・牧野 飯田長姫	小山・東方 筑摩昼	徳嵩・武井 長野吉田	

(昭和63) 年度長野県高等学校定通制総合体育大会

順種	位目	第 1 位 氏名 校名	第 2 位 氏名 校名	第 3 位 氏名 校名	第 4 位 氏名 校名	
男子	バスケットボール	長野西	上田千曲	飯田長姫、松本筑摩夜		
	バレーボール	松本工業	長野吉田	飯田長姫、小諸商業		
	卓球	団体	飯田長姫	長野工業	松本筑摩通	
		個人	山上 飯田長姫	黒野 松本工業	中島 野沢南	永池 中野実業
	バドミントン	団体	長野	松本工業	上伊那農業、上田	
個人		遠山 筑摩通	畔上 長野	塩原 松代	岩崎 長野	
ソフトテニス	団体	長野吉田				
	個人	永原・原田 長野北部	宮沢・秋山 長野西	山口・中沢 長野吉田	中村・柳沢 長野工業	
女子	バスケットボール	松本筑摩昼	須坂	上田		
	バレーボール	飯田長姫	長野吉田	丸子実業		
	卓球	団体	松本筑摩昼	丸子実業	箕輪工業	
		個人	松田 筑摩昼	和田 筑摩通	山田 筑摩昼	高見沢 野沢南
	バドミントン	団体	松本筑摩昼	長野北部	野沢南、上伊那農業	
個人		坂梨 筑摩昼	加藤 長野北部	小口 諏訪実業	友田 長野北部	
ソフトテニス	団体	松本筑摩昼	長野吉田			
	個人	小山・東方 筑摩昼	諸野脇・立石 長野西	牧野・矢沢 飯田長姫	徳嵩・飯島 長野吉田	

(昭和元) 年度長野県高等学校定通制総合体育大会

順種	位目	第 1 位 氏名 校名	第 2 位 氏名 校名	第 3 位 氏名 校名	第 4 位 氏名 校名	
男子	バスケットボール	長野 西	飯田 長 姫	松本筑摩通、上田		
	バレーボール	松本工業	長野吉田	小諸商業、飯田長姫		
	卓球	団体	飯田 長 姫	中野実業	木曾、小諸商業	
		個人	古田 飯田工業	前野 飯田	黒野 松本工業	永池 中野実業
	バドミントン	団体	長野 西	松本工業	小諸商業、上伊那農業	
個人		畔上 長野	堀田 長野西	菊池 小諸商業	丸山 松本工業	
ソフトテニス	団体					
	個人	宮沢・秋山 長野西	和田・小林 長野吉田	土屋・青木 長野西	山田・北沢 飯田工業	
女子	バスケットボール	上田	松本筑摩昼	篠ノ井		
	バレーボール	長野吉田	飯田長姫	松本筑摩通		
	卓球	団体	野沢南	松本筑摩通	飯田長姫	
		個人	松田 筑摩昼	堀 筑摩通	高見沢(み) 野沢南	高見沢(多) 野沢南
	バドミントン	団体	長野 西	松本筑摩通	上田、上伊那農業	
個人		小口 諏訪実業	樋口 長野西	富田 野沢南	玉井 長野西	
ソフトテニス	団体					
	個人	小山・乾 筑摩昼	徳武・西沢 長野西	立石・野脇 長野西	小島・中島 筑摩昼	

(平成2) 年度長野県高等学校定通制総合体育大会

順種	位目	第 1 位 氏名 校名	第 2 位 氏名 校名	第 3 位 氏名 校名	第 4 位 氏名 校名	
男子	バスケットボール	飯田長姫	須坂	松本筑摩通、上田		
	バレーボール	松本工業	長野吉田	飯田長姫、小諸商業		
	卓球	団体	飯田長姫	松代	上田千曲、松本工業	
		個人	柳原 木曾	山崎 松代	小笠原 筑摩夜	花本 飯田長姫
	バドミントン	団体	長野 野	野沢南	諏訪実業、木曾	
個人		岩崎 長野	畔上 長野	唐沢 木曾	田中 野沢南	
ソフトテニス	団体	飯田工業	長野吉田			
	個人	原山・徳武 長野吉田	原山・和田 長野吉田	山田・北沢 飯田工業	壬生・井原 飯田工業	
女子	バスケットボール	上田	松本筑摩昼	長野西		
	バレーボール	飯田長姫	長野吉田	松本筑摩昼		
	卓球	団体	松本筑摩昼	飯田長姫		
		個人	松田 筑摩昼	高栖 小諸商業	田中 筑摩昼	中村 筑摩昼
	バドミントン	団体	長野 西	上田	上伊那農業、松本筑摩昼	
個人		樋口 長野西	竹花 上田	玉井 長野西	富田 野沢南	
ソフトテニス	団体	長野 西	松本筑摩昼			
	個人	小富山・原 筑摩昼	西沢・徳武 長野西	矢沢・伊藤 飯田長姫	百瀬・中村 筑摩昼	

(平成3) 年度長野県高等学校定通制総合体育大会

順種	位目	第 1 位 氏名 校名	第 2 位 氏名 校名	第 3 位 氏名 校名	第 4 位 氏名 校名	
男子	バスケットボール	飯田長姫	上田	長野西、松本筑摩夜		
	バレーボール	松本工業	長野吉田	丸子実業、飯田長姫		
	卓球	団体	飯田長姫	松本工業	丸子実業、松代	
		個人	熊谷 飯田長姫	丸山 小諸商業	水沢 上田千曲	柳原 木曾
	バドミントン	団体	諏訪実業	松本筑摩夜	上田、長野西	
個人		藤森 諏訪実業	松田 諏訪実業	館山 諏訪実業	小松 長野西	
ソフトテニス	団体	長野吉田	飯田工業			
	個人	徳武・原山 長野吉田	和田・原山 長野吉田	壬生・宮沢 飯田	唐沢・平沢 飯田工業	
女子	バスケットボール	長野西	上田	松本筑摩昼		
	バレーボール	長野吉田	飯田長姫	松本筑摩通		
	卓球	団体	松本筑摩昼	赤穂		
		個人	松田 筑摩昼	細金 筑摩昼	田中 筑摩昼	大戸(綾) 赤穂
	バドミントン	団体	上田	長野西	松本筑摩通、諏訪実業	
個人		竹花 上田	玉井 長野西	畔上 須坂	原 諏訪実業	
ソフトテニス	団体	松本筑摩昼				
	個人	藤森・由木 長野吉田	矢沢・伊藤 飯田長姫	林・荒川 筑摩昼	阿部・和田 筑摩昼	

(平成4) 年度長野県高等学校定通制総合体育大会

順種	位目	第 1 位 氏名 校名	第 2 位 氏名 校名	第 3 位 氏名 校名	第 4 位 氏名 校名	
男子	バスケットボール	飯田長姫	上田	松本筑摩夜、長野西		
	バレーボール	長野吉田	松本工業	小諸商業、飯田長姫		
	卓球	団体	上田千曲	中野実業	木曾、飯田長姫	
		個人	水沢 上田千曲	古田 飯田工業	橋詰(丸子実業)、今村(飯田長姫)	
	バドミントン	団体	諏訪実業	上田千曲	長野西、松本工業	
個人		館山 諏訪実業	橋詰 木曾	大熊 野沢南	佐久間 筑摩夜	
ソフトテニス	団体	長野吉田	飯田工業			
	個人	壬生・宮沢 飯田工業	野池・塚田 長野吉田	和田・原山 長野吉田	徳武・原山 長野吉田	
女子	バスケットボール	松本筑摩昼	長野西	上田		
	バレーボール	長野吉田	飯田長姫	小諸商業、松本筑摩通		
	卓球	団体	飯田長姫	松本筑摩昼		
		個人	仲井 飯田長姫	迫田 筑摩昼	丸山(長野)、鈴木(飯田長姫)	
	バドミントン	団体	野沢南	松本筑摩夜	諏訪実業、須坂	
個人		東沢 長野	北沢 赤穂	飯田 諏訪実業	北原 諏訪実業	
ソフトテニス	団体					
	個人	藤森・由木 長野吉田	林・和田 筑摩昼	阿部・和光 筑摩昼	棚田・北原 飯田長姫	

(平成5) 年度長野県高等学校定通制総合体育大会

順種	位目	第 1 位 氏名 校名	第 2 位 氏名 校名	第 3 位 氏名 校名	第 4 位 氏名 校名	
男子	バスケットボール	飯田長姫	上田	須坂、池田工業		
	バレーボール	長野吉田	丸子実業	飯田長姫、松本工業		
	卓球	団体	飯田長姫	中野実業	丸子実業、木曾	
		個人	小林 中野実業	橋詰 丸子実業	水沢 上田千曲	丸山 小諸商業
	バドミントン	団体	諏訪実業	長野商業	松本筑摩夜、上田	
個人		館山 諏訪実業	金塚 箕輪工業	鈴木 岡谷工業	大石 筑摩夜	
ソフトテニス	団体	長野吉田	飯田工業			
	個人	清水・宮沢 飯田工業	塚田・野池 長野吉田	和田・野池 長野吉田	唐沢・前野 飯田工業	
女子	バスケットボール	上田	松本筑摩昼	上伊那農業		
	バレーボール	長野吉田	飯田長姫			
	卓球	団体				
		個人	仲井 飯田長姫	永田 池田工業	丸山 長野	花里 野沢南
	バドミントン	団体	諏訪実業	長野商業	松本筑摩夜、小諸商業	
個人		原 諏訪実業	北沢 赤穂	沖中 筑摩通	安部 筑摩夜	
ソフトテニス	団体					
	個人	水野・宮沢 筑摩昼	藤森・由木 長野吉田	伝田・長田 長野西	阿部・林 筑摩昼	

(平成6) 年度長野県高等学校定通制総合体育大会

順種	位目	第 1 位 氏名 校名	第 2 位 氏名 校名	第 3 位 氏名 校名	第 4 位 氏名 校名	
男子	バスケットボール	飯田長姫	野沢南	松本工業、長野西	柔道 団体 1位長野商業 個人 軽量級 1位米沢 (箕輪工業) 2位衣川 (長野商業)	
	バレーボール	長野吉田	飯田長姫	松本工業、丸子実業		
	卓球	団体	中野実業	丸子実業	池田工業、飯田工業	
		個人	小林 中野実業	山崎 飯田工業	柳沢 松本工業	小福 池田工業
	バドミントン	団体	長野商業	岡谷工業	松本筑摩夜、野沢南	
個人		鈴木 岡谷工業	金塚 箕輪工業	中村 筑摩夜	伊藤 長野商業	
ソフトテニス	団体	長野吉田	飯田工業			
	個人	宮沢・近藤 飯田工業	和田・野池 長野吉田	山口・森下 長野西	森本・村上 長野吉田	
女子	バスケットボール	上田	上伊那農業	長野西、松本筑摩昼		
	バレーボール	長野吉田	飯田長姫			
	卓球	団体	赤穂			
		個人	仲井 飯田長姫	花里 野沢南	永田(真) 池田工業	米沢 赤穂
	バドミントン	団体	諏訪実業	長野商業	松本筑摩夜、上田	
個人		佐藤 長野	瀬下 上田	藤原 筑摩夜	小田中 丸子実業	
ソフトテニス	団体					
	個人	伝田・長田 長野西	棚田・服部 飯田長姫	岩井・後藤 飯田長姫		

(平成7)年度長野県高等学校定通制総合体育大会

順種	位目	第1位 氏名 校名	第2位 氏名 校名	第3位 氏名 校名	第4位 氏名 校名	
男子	バスケットボール	飯田長姫	上田	須坂、松本筑摩夜		
	バレーボール	長野吉田戸隠分校	飯田長姫	丸子実業、松本工業		
	卓球	団体	中野実業	池田工業	上伊那農業、上田千曲	
		個人	永池(武) 中野実業	小野筑摩昼	山崎(飯田工業)、小福(池田工業)	
	バドミントン	団体	岡谷工業	上田	松本筑摩夜、中野実業	
個人		鈴木 岡谷工業	藤沢筑摩夜	島田(中野実業)、柳沢(上田)		
ソフトテニス	団体	長野吉田戸隠分校	飯田工業			
	個人	山口・森下 長野西	徳武・佐藤 長野西	塚田・芹沢 吉田戸隠	内山・森澤 飯田工業	
女子	バスケットボール	上田	上伊那農業	松本筑摩昼		
	バレーボール	松本筑摩通	長野吉田戸隠分校			
	卓球	団体	赤穂			
		個人	仲井 飯田長姫	米澤 赤穂	宮下 赤穂	大森 筑摩昼
	バドミントン	団体	松本筑摩昼	上田	須坂、上伊那農業	
個人		吉沢 上田	吉川ま 筑摩昼	西條(赤穂)、伴野(上田)		
ソフトテニス	団体					
	個人	長田・小林 長野西	棚田・服部 飯田長姫			

(平成8)年度長野県高等学校定通制総合体育大会

順種	位目	第1位 氏名 校名	第2位 氏名 校名	第3位 氏名 校名	第4位 氏名 校名	
男子	バスケットボール	飯田長姫	須坂	松本筑摩夜、上田		
	バレーボール	諏訪実業	長野吉田戸隠	松本筑摩夜		
	卓球	団体	中野実業	飯田工業	上田千曲、池田工業	
		個人	永池 中野実業	木下 飯田工業	小井戸(松本工業)、柳沢(松本工業)	
	バドミントン	団体	松本筑摩夜	箕輪工業	上田、長野工業	
個人		守谷 箕輪工業	藤野 箕輪工業	島田(中野実業)、青木(筑摩夜)		
ソフトテニス	団体	長野吉田戸隠	飯田工業			
	個人	塚田・芹沢 吉田戸隠	森本・宮下 吉田戸隠	都築・原(飯田長姫)、森沢・野口(飯田工業)		
女子	バスケットボール	上田	上伊那農業			
	バレーボール	松本筑摩通	飯田長姫			
	卓球	団体	赤穂			
		個人	米澤 赤穂	宮下 赤穂	北村(筑摩昼)、並木(野沢南)	
	バドミントン	団体	上田	松本筑摩昼	須坂、上伊那農業	
個人		小沢 筑摩夜	永井 上伊那農	吉沢 上田	伴野 上田	
ソフトテニス	団体	長野西				
	個人	黒岩・鈴木 長野西	工藤・佐々木 筑摩夜	服部・宮内(飯田長姫)、八木・小林(戸隠)		

(平成9)年度長野県高等学校定通制総合体育大会

順種	位目	第 1 位 氏名 校名	第 2 位 氏名 校名	第 3 位 氏名 校名	第 4 位 氏名 校名	
男子	バスケットボール	飯田長姫	松本筑摩夜	上田、長野		
	バレーボール	長野吉田戸隠	松本工業			
	卓球	団体	飯田工業	須坂上田		
		個人	津金伊織 赤穂	永池武士 中野実業	小野裕史 筑摩昼	北原浩志 飯田工業
	バドミントン	団体	長野工業	箕輪工業	松本筑摩夜、上田	
		個人	伊藤貴一 上伊那農	長浦晃一 筑摩夜	柴田俊樹 箕輪工業	伊藤和樹 箕輪工業
	ソフトテニス	団体	長野西	飯田長姫		
		個人	塚田良男 芹澤真一 吉田戸隠	都築啓之 原大輔 飯田長姫	深町武人 佐藤興一 長野西	森下正加 藤祐介 長野西
	女子	バスケットボール	上伊那農業			
		バレーボール	松本筑摩通	飯田長姫		
卓球		団体	丸子実業	上伊那農業		
		個人	秋山美奈 筑摩昼	小野妙子 池田工業	永井久美子 丸子実業	木原敏子 岡谷工業
バドミントン		団体	丸子実業	上伊那農業	須坂	
		個人	有賀久美子 丸子実業	小沢美香 筑摩昼	永井美奈子 上伊那農	藤村美代子 野沢南
ソフトテニス		団体				
		個人	井上紗耶香 壇原美紀 長野西	佐々木和賀子 工藤美登里 筑摩夜		

高体連会報紹介 第25号



本年度をふりかえてみますと、なぎなた競技の加盟により、県総体33種目9,190名新人大会7,250名の選手が参加し、各競技団体の方々をはじめ、大会役員、補助員の皆さんの多大なるご協力を得て実施することができました。

全国高校総体夏季大会は8月1日から山梨県で開催され、海沼清美会長を団長に609名の役員、選手が参加しました。総合開会式は甲府盆地独特の暑さと選手の健康管理を考慮して本年度は初めて午前中に行なわれました。レスリングの上田西高校が春の選抜大会に続いて3位に、また、新体操の伊那弥生ヶ丘高校が初めてベスト8に入賞したことは特筆すべきことでもあります。個人種目においてはレスリングの吉澤(北佐久農)が春の選抜に続いて優勝し、高橋(上田西)の初優勝と夏季大会に花を添えてくれ、また、自転車の百瀬・原(ともに松本工)が7年ぶりに入賞を果たしてくれました。

冬季種目のスピードスケートでは、女子学校対抗で東海大学第三高校が念願の初優勝を果たしました。長野県勢では32年ぶりの快挙であります。男子の種目では、井出真(野沢北)が500mで、井出良(佐久長聖)が1000mでそれぞれ優勝を果たし、平田(東海大第三)が10000mで2位、5000mで3位、篠原(小海)が1500mで3位に、笠原(岡谷工)が500mで3位になるなど活躍しました。女子では、外ノ池(東海大第三)が1000mで3連覇を果たし、2種目3連覇のかかった1500mは同僚の安田(東海大第三)に阻まれて快挙は逸しましたがすばらしい結果であります。また、新谷(伊那北)が500mで2連覇し、来年度に3連覇の期待がかかります。

スキー競技では、男子学校対抗で飯山南高校が2年ぶりに全国制覇を成し遂げました。ノルディック競技は複合競技で山崎(飯山南)が後半の距離で頑張り優勝し、面目を果たしてくれました。女子では大日向(飯山南)が一人気を吐き10kmで3位、5kmで7位と活躍しました。アルペン競技では、男子で大瀧(飯山南)が回転で3位となり、女子では福島(白馬)が大回転で2位、回転で8位、柿坂(長野日大)が大回転で3位、回転で4位と活躍しました。

31 アーチェリー

当専門部は長野県高等学校体育連盟に平成4年度加盟というまだ若い専門部だ。発足当初は大会参加可能なのは篠ノ井ただ1校だけだった。現在、北信越レベルは全国的にみても上位争いに食い込まんとしているが、当時県内レベルはお世辞にも芳しい競技成績とは言えなかった。ライバルなきところに発展はないということなのだろう。そんな県内の状態を打破せんとしたわけではないが、わずか部員3人ながらも長野南が参入すると状況は一変していった。

少年男子は団体でも入賞するまでになった。長野南・駒ヶ根工業・上田西の各精鋭代表が出場し、長野県アーチェリー史上初の入賞という快挙を成し遂げるまでに成長したのだ。また、北信越大会の上位入賞はもちろんインターハイ、世界Jr予選会も兼ねる全国選抜大会に男女ともフルで出場できるまでになった。

ここまでくるのにけっして順風満帆であったわけではない。有審判資格者は私一人という時代が長く続いたし、いまだ県の協会の協力なしでは開催できぬ状態にあるし、初の北信越大会を実施した時も協会と私のみで下準備をした。

無事終了して当たり前の大会だけにここら当たりのことは筆舌に尽くしがたいものがあった。

クラブ活動をするにあたっての環境は他県と比べるとどうしようもない状況であると言っても過言ではない。現在クラブのある学校でも校内に専用射場のある学校は皆無だ。というより県営射場すら整備されていないのは北信越でも本県だけなのだ。生徒は近射のみの練習で距離練習は本試合のみという場合もまれではない。加えて競技経験した専門的指導者がいないという状態。勝ち抜くために、強くなるために、北信越・全国レベルの大会があるたびに様々な人に私は教えを請うた。幸いにして世界レベルの度量の大きな指導者に巡り会うこともでき、県内の競技会のたびに得たばかりの知識を断片的ながら県内の生徒全員に教えることができた。

平成7年からルール変更でますます苦しい状況に立たされているが、彼らは悪環境を打破し、益々発展してくれるだろうと断言できる。

よきライバルの存在があるからだ。

(専門委員長 山上 達夫)

長野県高等学校総合体育大会

男子

年度	1位	得点	2位	3位
4	大沢 岳彦 篠ノ井	549	五明 博彰 篠ノ井	宮本 敏弘 篠ノ井
5	峰村 英治 篠ノ井	957	竹田 雅弘 篠ノ井	小松 享彦 篠ノ井
6	寺沢 幸文 篠ノ井	552	今井 敦 長野南	竹内 潤 篠ノ井
7	太田 有哉 篠ノ井	609	丸山 貴之 長野南	佐藤 弘典 篠ノ井
8	丸山 貴之 長野南	1029	竹内 伸 篠ノ井	寺島 英貴 上田西
9	滝沢 光秋 長野南	1064	鈴木 友司 長野南	長谷川直樹 上田西

女子

年度	1位	得点	2位	3位
4	根石 典子 篠ノ井	514	吉岡 綾子 篠ノ井	小松由美子 篠ノ井
5	坂田 裕子 篠ノ井	1101	吉岡 綾子 篠ノ井	茂木智恵子 篠ノ井
6	茂木智恵子 篠ノ井	524	権田英津子 篠ノ井	池田麻記子 篠ノ井
7	宮下 友子 長野南	559	長坂 紀子 篠ノ井	青木 聡美 篠ノ井
8	宮下 友子 長野南	1048	中原 夏子 上田西	桜井 明子 上田西
9	中原 夏子 上田西	1142	小宮山実希 長野南	伊堀 貴江 長野南

※平成4・6・7年度 50・30mラウンド

平成5年度 50・30mWラウンド

平成8年度以降 シングルラウンド

長野県高等学校新人体育大会

男子

年度	1位	得点	2位	3位
4	高主 和宏 篠ノ井	539	峰村 英治 篠ノ井	中村 和久 篠ノ井
5	寺澤 幸文 篠ノ井	553	小松 享彦 篠ノ井	峰村 英治 篠ノ井
6	太田 有哉 篠ノ井	600	今井 敦 長野南	中村 武治 篠ノ井
7	丸山 貴之 長野南	614	高橋 岳 駒ヶ根工業	竹内 伸 篠ノ井
8	小林 直登 上田西	965	長谷川直樹 上田西	鈴木 友司 長野南
9	小池 栄太 長野南	943	竹中 一広 長野南	大久保正俊 篠ノ井

女子

年度	1位	得点	2位	3位
4	吉岡 綾子 篠ノ井	511	坂田 優子 篠ノ井	茂木智恵子 篠ノ井
5	権田美津子 篠ノ井	494	池田麻記子 篠ノ井	長岡由布子 篠ノ井
6	秋里沙絵香 篠ノ井	329	塚田 直美 篠ノ井	出場2人
7	桜井 明子 上田西	586	宮下 友子 長野南	中原 夏子 上田西
8	中原 夏子 上田西	1116	宮坂 智恵 長野南	岡村和香子 長野南
9	森山 朋子 篠ノ井	847	吉家 志保 篠ノ井	横沢 亜希 長野南

※平成7年度まで 50・30mラウンド

平成8年度以降 シングルラウンド

32 なぎなた

なぎなたの歴史は古く、承平・天慶の乱(935年～941年には、なぎなたを持って戦っている様子が合戦絵巻に描かれているものが最古のものであると記されている。

1146年頃には「奈木奈多」と呼ばれ、源平時代から、南北朝時代にかけて最も隆盛を極めた。その後「長刀」→「薙刀」の文字を使用するようになったが、織田・豊臣時代に槍、更に鉄砲の伝来により、戦闘様式が変わり、なぎなたは次第に衰えた。徳川時代以降(1603年～)は、なぎなたを戦場で使用することはなく、もっぱら僧侶・婦人(武門の婦女子)の護身用として用いられた。

明治以降は、男子の剣道とともに女子の武道として発展し、その目的も人間形成に重むきがおかれ、学校教育の場において実施されるなど女子教育の面に貢献してきた。現在では、「なぎなた」と称し、競技なぎなたとして、学校体育や、社会体育の場において広く普及しつつある。

全日本なぎなた連盟が設立されたのは、昭和30年であるが、長野県においても全国に遅れをとるまいと、昭和31年には、布施芳子(松本市)・山内輝子(上田市)両氏を中心に、井岡美恵子氏(辰野町)らと岡谷市上浜公民館に教室を開設し、地道な活動を行っていたのである。長野県なぎなた連盟として一本立ちしたのは昭和43年(初代会長、夏目録郎氏)のことであるがその間、長野県剣道連盟の傘下に入り、長野県剣道・なぎなた大会等に参加するようになった。昭和49年には、坂城・上田・長野・三郷・山辺・松本・箕輪・田川・茅野の各教室が開設され、次第にその勢力を拡大していったのである。昭和53年に、久保るい氏(坂城町)が会長に就任し、なぎなたの発展は体協加盟にあるとし、県体育協会に加盟したのである。昭和55年には水口米雄氏(元長野県教育長)が会長に就任とともに、久保氏が全日本なぎなた連盟の普及委員に任命され、県下はもと

より山梨県や新潟県の指導育成にも当たられるほど近県において本県は先陣をきって発展していたのである。その証拠に、49回国体には7位(演技)、はまなす国体では少年団体8位、わかしゃち国体では、2部で5位(演技)と活躍し現在の基礎を築いた。昭和64年には、10年にわたる会長の重責を担っていただいた水口氏が退任し、神澤邦雄氏(キッセイ薬品社長)がその後を継ぎ現在に至っている。

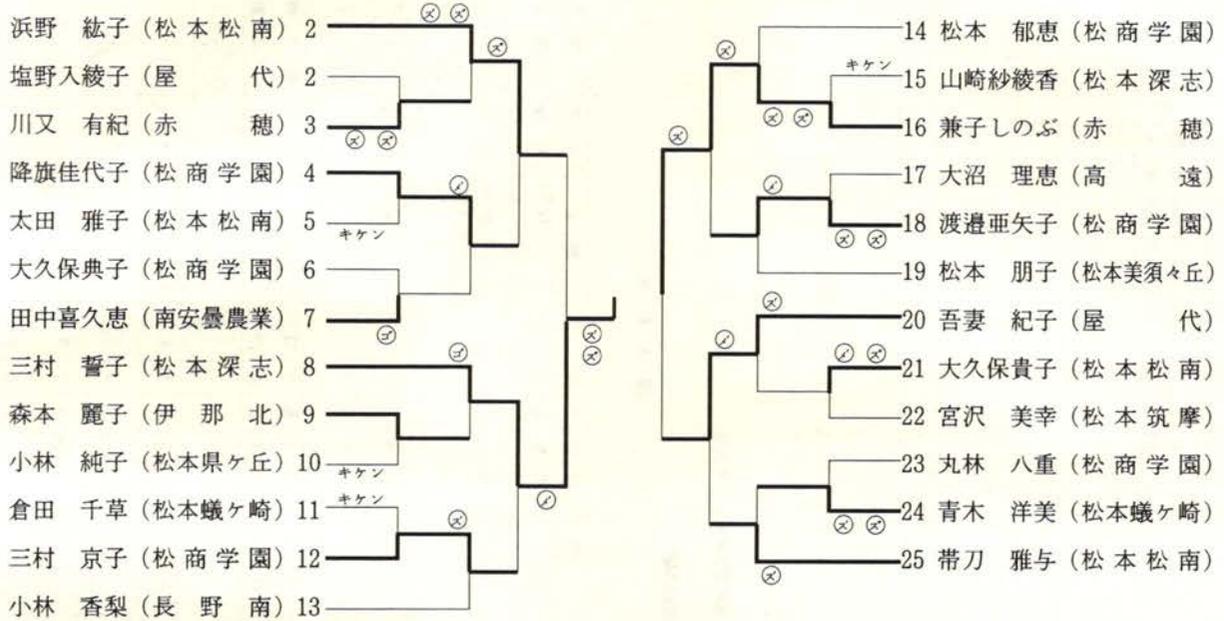
さて、高体連の歴史をさかのぼってみると、全国高等学校なぎなた専門部が発足したのは平成5年のことであり、同時に北信越高等学校なぎなた専門部も発足をしている。本県は、というと、平成8年4月に中村武人部長(現中野実業高校長)と、依田和武(東部高校)を専門委員長として2名で発足をしたのである。

全国の高校生の活動としては、もう36年前から連盟の主催で「全国高等学校なぎなた選手権大会」を行っているが、発達途上の県も多く高体連の加盟(H9年度現在でも3県不加盟)もままならず、ようやく平成5年に全国専門部が発足できたのである。本県もこの選手権大会に参加をしたのは平成5年からと聞いている。北信越大会には、平成5年第1回大会(新潟)から参加をし活躍をしている。また、平成9年度より「全国高等学校総合体育大会」が開催される運びとなり大変喜ばしいことである。

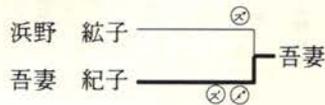
最後に、高体連加盟に際しては、長野県なぎなた連盟の先生方には、何度となく高体連事務局に足を運んでいただき、並々ならぬご尽力をいただいたことに敬意を表するとともに、深く感謝申し上げる次第であります。それについても高体連なぎなた専門部には専門の指導者もなく、練習場所の確保さえままならぬ状況の中、生徒達のなぎなた人口も減少傾向にあり、大変厳しい実情であります。県連盟の先生方のお力添えをいただきながら頑張りたいと思っております。よろしくご指導のほどお願いいたします。
(専門委員長 依田 和武)

平成8年度長野県高等学校総合体育大会

H8. 5. 12 三郷村社会体育館 個人 の 部



3位決定戦

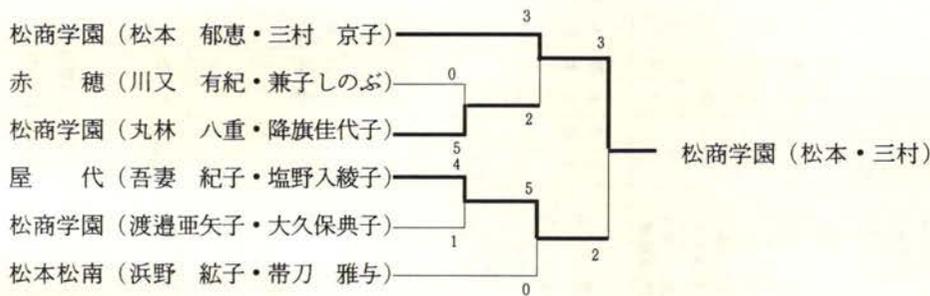


1位 三村 誓子 (松商学園)

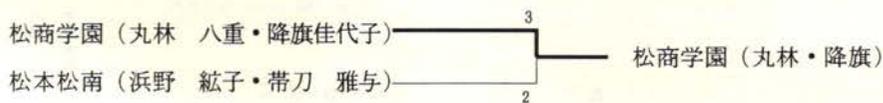
2位 兼子しのぶ (赤穂)

3位 吾妻 紀子 (屋代)

演 技 の 部



3位決定戦



1位 松商学園 (松本 郁恵・三村 京子)

2位 屋 代 (吾妻 紀子・塩野入綾子)

3位 松商学園 (丸林 八重・降旗佳代子)

団体の部 (2チーム参加)

学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数	本数	
松商学園	降旗佳代子	丸林 八重	大久保典子	松本 郁恵	三村 京子	3	6	1位
	〇〇	〇〇			◎◎	1	1	2位
松本松南	キケン	キケン	大久保貴子	帯刀 雅与	浜野 紘子			

平成8年度長野県高等学校新人体育大会

H 8. 12. 8

松本市 松本市柔剣道場

個人の部

予選リーグ

A ブロック	選手名	三村	丸林	春日	勝数	本数	順位
		三村 誓子 (松本深志)	△	○ ○	○	2	3
	丸山 八重 (松商学園)	△	△	△	0	0	3
	春日真由実 (上田千曲)	△	○	△	1	1	2

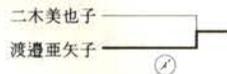
C ブロック	選手名	大久	松本	小林	勝数	本数	順位
		大久保貴子 (松商学園)	△	○	△	1	1
	松本 朋子 (松本美須ヶ丘)	△	△	△	0	0	3
	小林 香梨 (長野南)	○	○	△	2	2	1

E ブロック	選手名	山崎	倉田	森本	勝数	本数	順位
		山崎紗綾香 (松本深志)	△	○	○	2	2
	倉田 千草 (松本蠶ヶ崎)	△	△	○	1	1	2
	森本 麗子 (伊那北)	△	△	△	0	0	3

準決勝リーグ

A ↓ C ブロック	選手名	三村	二木	小林	勝数	本数	順位
		三村 誓子 (深志)	△	△	○	1	1
	二木美也子 (豊科)	○	△	○	2	2	1
	小林 香梨 (長野南)	△	△	△	0	0	3

決勝トーナメント



- 1位 渡邊亜矢子(松商) 2位 二木美也子(豊科)
3位 三村 誓子(深志) 3位 吾妻 紀子(屋代)

B ブロック	選手名	塩野	青木	二木	勝数	本数	順位
		塩野入綾子 (屋代)	△	△	△	0	0
	青木 洋美 (松本蠶ヶ崎)	○	△	△	1	1	2
	二木美也子 (豊科)	○	○	△	2	3	1

D ブロック	選手名	吾妻	大久	宮沢	勝数	本数	順位
		吾妻 紀子 (屋代)	△	○	○	2	2
	大久保典子 (松商学園)	△	△	○	1	1	2
	宮沢 美幸 (松本筑摩)	△	△	△	0	0	3

F ブロック	選手名	帯刀	渡邊	玉木	勝数	本数	順位
		帯刀 雅与 (松本松南)	△	△	○	1	2
	渡邊亜矢子 (松商学園)	○	△	○	2	2	1
	玉木千恵子 (長野女子)	○	△	△	0	1	3

D ↓ F ブロック	選手名	吾妻	山崎	渡邊	勝数	本数	順位
		吾妻 典子 (屋代)	△	○	△	1	1
	山崎紗綾香 (松商)	△	△	△	0	0	3
	渡邊亜矢子 (松商)	○	○	△	2	2	1

演技の部

リーグ戦

	チーム名 (学校名)	吾妻 塩野入	大久保 帯刀	渡邊 大久保	山崎 三村	倉田 青木	勝数	本数	順位
1	しかけ 応じ 吾妻 紀子(屋代) 塩野 入綾	△	○	○	△	○	3	14	1
2	しかけ 応じ 大久保貴子(松南) 帯刀 雅与	△	△	○	○	○	3	12	2
3	しかけ 応じ 渡邊亜矢子(松商) 大久保紀子	△	△	△	○	△	1	8	4
4	しかけ 応じ 山崎紗綾香(深志) 三村 誓子	○	△	△	△	○	2	9	3
5	しかけ 応じ 倉田 千草(蠶ヶ崎) 青木 洋美	△	△	○	△	△	1	7	5

1位 吾妻 紀子・塩野入綾子(屋代) 2位 大久保貴子・帯刀 雅与(松南)

3位 山崎紗綾香・三村 誓子(深志)

◎団体戦は参加チームなし。

平成9年度長野県高等学校総合体育大会

H 9. 6. 8

松本市 松本柔剣道場

個人の部

予選リーグ

A	選手名 (学校名)	三村	塩野入	丸林	仲澤	勝数	本数	順位
		三村 誓子 (深志)	△	○	○	○	3	5
	塩野入綾子 (屋代)	△	△	○	○	1	1	3
	丸林 八重 (松商)	△	○	△	○	2	3	2
	仲澤 宏子 (松南)	△	△	△	△	0	0	4

C	選手名 (学校名)	小林	大久保	松本	宮澤	勝数	本数	順位
		小林 香梨 (長野南)	△	○	○	○	3	3
	大久保典子 (松商)	△	△	○	△	1	1	3
	松本 朋子 (美須ヶ)	△	△	△	△	0	1	4
	宮澤 美幸 (筑摩)	△	○	○	△	2	2	2

B	選手名 (学校名)	渡邊	帯刀	青木	玉木	宮坂	勝数	本数	順位
		渡邊 綾子 (松商)	△	○	○	○	○	4	3
	帯刀 雅与 (松商)	△	△	△	△	○	1	1	4
	青木 洋美 (蠶ヶ崎)	△	○	△	○	○	2	2	3
	玉木千恵子 (長野女)	△	○	○	○	○	3	2	2
	宮坂 朋子 (豊科)	△	△	△	△	△	0	0	5

D	選手名 (学校名)	二木	山崎	春日	大久保	勝数	本数	順位
		二木美也子 (豊科)	△	△	○	○	2	3
	山崎紗綾香 (深志)	△	△	△	△			
	春日真由美 (千曲)	△	△	△	○	1	2	2
	大久保貴子 (塚原)	△	△	△	△	0	0	3

E	選手名 (学校名)	吾妻	大久保	森本	降旗	勝数	本数	順位
1	吾妻 紀子 (屋代)	△	△	△		2	4	1
2	大久保貴子 (松商)	△	△	△		1	2	2
3	森本 麗子 (伊那北)	△	△	△		0	2	3
4	降旗 芳美 (松本一)	キ	ケ	ン				

決勝トーナメント



1位 三村 誓子 (松本深志) 2位 二木美也子 (豊科) 3位 渡邊亜矢子 (松商)

演技の部

リーグ戦

No.	チーム名	宮二	坂本	山崎	吾妻	大久保	渡邊	勝数	本数	順位
1	しかけ 応じ 宮坂 朋子 (豊科) 二木美也子		△	△	△	△	△	0	1	5
2	しかけ 応じ 山崎紗綾香 (松本深志) 三村 誓子	△		△	△	△	△	3	14	2
3	しかけ 応じ 吾妻 紀子 (屋代) 塩野入綾子	△	△		△	△	△	2	12	3
4	しかけ 応じ 大久保貴子 (松本松南) 帯刀 雅与	△	△	△		△	△	1	8	4
5	しかけ 応じ 渡邊亜矢子 (松商学園) 大久保典子	△	△	△	△		△	4	15	1

1位 渡邊亜矢子・大久保典子 (松商学園) 2位 山崎紗綾香・三村 誓子 (松本深志)
3位 吾妻 紀子・塩野入綾子 (屋代)

団体の部

チーム名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝数	本数	順位
松商学園	増田亜矢子		丸林 八重	百瀬由日里	渡邊亜矢子			
	△	△	引き分	不戦勝	△	2	3	1
松本松南	仲澤 宏子		大久保貴子		帯刀 雅与	1	2	2

1位 松商学園 2位 松本松南

平成9年度北信越高等学校体育大会

H. 9. 6. 21~22

松本市 松本平広域公園体育館

個人の部 渡邊亜矢子 (松商学園) 3位入賞

平成9年度長野県高等学校新人体育大会

H. 9. 11. 3

三郷村 三郷村文化公園体育館 (剣道場)

個人の部

リーグ戦

No.	選手名 (学校名)	松本	春日	青木	玉木	降旗	森本	仲澤	大久保	勝数	本数	順位
1	松本 朋子 (松本美須ヶヶ丘)		△	△	△	△	△	△	△	4	5	3
2	春日真由美 (上田千曲)	△		△	△	△	△	△	△	6	7	2
3	青木 洋美 (松本蟻ヶ崎)	△	△		△	△	△	△	△	7	5	1
4	玉木千恵子 (長野女子)	△	△	△		△	△	△	△	3	2	5
5	降旗 芳美 (松本第一)	△	△	△	△		△	△	△	3	2	5
6	森本 麗子 (伊那北)	△	△	△	△	△		△	△	4	3	4
7	仲澤 宏子 (松本松南)	△	△	△	△	△	△		△	0	0	8
8	大久保 瞳 (塚原青雲)	△	△	△	△	△	△	△		1	1	7

1位 青木 洋美 (松本蟻ヶ崎) 2位 春日真由美 (上田千曲)
3位 松本 朋子 (美須ヶヶ丘)

本大会は、各校部員不足のため、演技の部及び団体の部に参加するチームがなかったことは、非常に残念である。

特に上位大会に参加して思うことは、素質を持った選手が多いなか、学校にクラブとして存在しないため、週1回~2回の稽古しかできず、力を十分発揮できない選手が多い。また、このところ、部員減少が目立ち、将来心配である。

33 研 究 調 査

長野県高体連の種目別専門部は32あり、更にそれらと同列扱いで研究調査と会報編集の二組織が設置されている。「沿革」の中にも詳しく記してあるが、改めてここに研究調査部の高体連での役割・活動について50年のあゆみを迫ってまとめ考察してみる。

高体連発足当初は“体育に関する研究調査”が「規約」の『事業』の項に記された三つに事業（他に大会の開催と諸団体との連絡）の最初に上げられている。戦争直後でしかも教育改革という歴史的変革の時にあたり、教育なかんずく体育に対して高体連組織そのものの在り方を研究調査機関的に位置付けていたように思われる。しかし実技講習などが行われたものの、発足後20年近くの間研究調査専門部は無かったし活動も確認されていない。昭和41年から全国高体連の研究大会が開催されるようになり、各県高体連に研究組織の確立が必要になってきた中

で、昭和43年「長野県高体連研究調査部」が設置された。理事会記録によると調査研究項目として、超過勤務、生徒減による経費減、体協との関係、クラブの実態、“高体連誌”があげられている。(88ページ参照) どれだけ具体的な取り組みがなされたかは不明だが、“高体連史”に関してはまとめる時期だという認識に立ち45年度あたりから動き始めている。しかしなかなか進まず、少なくとも記録の保存ということで「会報」の発刊を決め47年度に第一号が出された。

その後51総体開催が決まり“高体連史”は棚上げとなり研究調査部も休部となった。

51総体、53やまびこ国体を終えて、昭和55年度に「会報編集部」を調査研究部から独立させ、やっと設立当初に上げられている本来の研究調査活動を始めた。55年度から現在までの概要を一覧にしてみる。

年度・事務局	研究調査内容	調査対象人数	専門部委員 ○印委員長
昭和55年度 松本県ヶ丘	高校のスポーツに関する調査	10,036人	○北沢 勝昭 山岸 重夫 村上 茂登 阿部 隆
56 松本県ヶ丘	部活動に関する調査	5,158人	○北沢 勝昭 山岸 重夫 村上 茂登 阿部 隆
57 松本県ヶ丘	部活動に関する調査	6,087人	○北沢 勝昭 松橋 昌美 斉藤 明人 阿部 隆
58 長野 吉田	運動部に関する調査	644人	○北沢 勝昭 松橋 昌美 斉藤 明人 阿部 隆
59 長野 吉田	高校生のスポーツに関する調査	4,154人	○阿部 隆 藤本 忠彦 塚田 修三 宮入 利満
60 長野 吉田	運動部に所属する生徒の保護者の意識調査 ※全国研究大会（神奈川県）発表 [阿部]	3,411人	○阿部 隆 藤本 忠彦 塚田 修三 宮入 利満
61 長野 吉田	学校職員の部活動に関する調査	1,351人	○阿部 隆 藤本 忠彦 中村 一幸 宮入 利満
62 長野 吉田	過去5ヶ年間の県総合体育大会の優勝チーム (優勝者)		○阿部 隆 藤本 忠彦 中村 一幸 猪又 正雄
63 諏訪 二葉	運動クラブ活動中の傷害についての調査	38,883人	○藤本 忠彦 海川 章 井口 直仁 阿部 隆

年度・事務局	研究調査内容	調査対象人数	専門部委員○印委員長
平成1年度 諏訪二葉	運動部に所属する生徒の保護者の意識調査 ・全国研究大会（福井県）発表〔藤本〕	3,070人	○藤本 忠彦 海川 章 井口 直仁 阿部 隆
2 諏訪二葉	運動部顧問に対するアンケート調査	1,591人	○阿部 隆 藤本 忠彦 鈴木 賢一 小島喜美雄
3 諏訪二葉	研究調査専門部のあゆみ		○阿部 隆 藤本 忠彦 鈴木 賢一 小島喜美雄
4 上田高校	体育活動に関する調査 一年生の保護者のスポーツ経験について	6,450人 回収4,595人	○阿部 隆 清水 博 小島喜美雄 城田 忠承 堀内 文武
5 上田高校	体育活動に関する調査 クラブ活動の問題点	106校 回収97校	○阿部 隆 清水 博 小島喜美雄 城田 忠承 堀内 文武
6 上田高校	体育活動に関する調査 ・スキー教室およびスキー部活動における健康安全対策 全国発表（小島）	106校 回収99校	○清水 博 阿部 隆 小島喜美雄 白鳥 正 堀内 文武
7 上田高校	体育活動に関する調査 競技力向上に関する問題	現場指導者 8人	○清水 博 阿部 隆 小島喜美雄 白鳥 正 堀内 文武
8 長野高校	体育活動に関する調査 競技力向上の実情と展望		○清水 博 阿部 隆 小島喜美雄 大和 政治 大竹 義雄
9 長野高校	長野県高体連史 編集 —50周年記念誌— 部活動の普及に関する調査研究		○清水 博 阿部 隆 望月 勝夫 為田 勝英 鈴木 精一
10 長野高校	長野県高体連史 編集・発刊 —50周年記念誌— ・部活動（スポーツ）の普及 全国発表		○清水 博 山下 晃広 望月 勝夫 為田 勝英 鈴木 精一

以上のように長いことアンケート調査や資料作りをしてきたが、ややもすると研究テーマが場当たりの、研究の継続性と発展性という点で問題があった。50年の節目にあたるここ2年程は記念誌編集を担当して過去を顧みるにつけ、前述のようないくつかの反省点も出てきた。ちなみに何回か計画しては実現できなかった前述の“高体連史”は、研究調査専門部とは別に編集委員会を設置して昭和63年度末に発刊された。本記念誌にはそれより採録した部分が沿革など数多くある。反省点が出てきた一方、周囲の状況は全国高体連研究大会の研究発表順が確立され、さらに北信越高体連でも9年度から研究委員長会をもつようになるという従来になかった研究部門の組織的整備が進んでいる。こういった状況のもとで長野県としても組織強化と活動の充実をより強く意識するようになってきた。今は次のような方向で21世紀に向けて心新たに活動を展開していこうと関係方面に働きかけ動き始めている。

(1) 県研究調査部の研究テーマは、次の回っ

てくる全国大会発表テーマとする。

- (2) 従来 of 県委員4名による研究調査活動を改め、4地区がそれぞれ(1)のテーマについて県委員が中心になって3年間研究調査しまとめる。
- (3) 県内での研究発表の機会は今のところないので、県高体連の会合（たとえば専門委員長会）の中に時間を設定してもらって4地区それぞれのレポートを発表する。ここで全国研究大会発表レポートを選考する。
- (4) 研究結果は「会報」等で全加盟校に紙上発表する。

平成10年度の全国高体連研究大会は、北信越地区が開催順番となり、新潟県で開催された。長野県はこれも順番でレポート発表となったので、当委員会が2本のレポートを用意した。隣県の大会を盛り上げることとレポート発表の応援で、今だかつてない10数人という大勢の参加者となった。発表された2本のレポートを以下に紹介する。

(専門委員長 清水 博)

運動部活動の最近の傾向について

——長野県北信地区高校の実態の考察——

研究団体 長野県北信高体連調査研究委員会

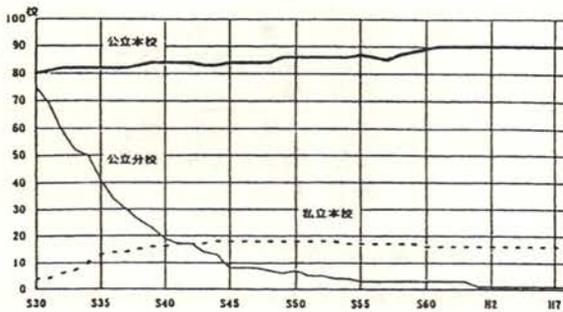
発表者 中野実業高校 北原 三代志

1 はじめに

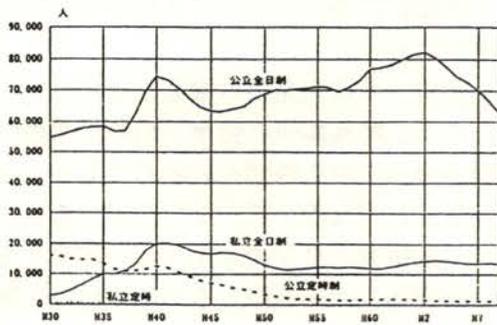
近年、全国的に生徒数の減少に伴い運動部活動の加入者も減少傾向にある。部員不足の部活動低迷は、各大会に参加できないといった単純な問題にとどまらず、生徒の学校生活の中での生き甲斐、喜びや、学校の魅力、活力を奪ってしまう結果にもなりかねない。

長野県の学校数及び生徒数の推移、最近15年の北信地区の運動部の加入状況は図のように下降傾向である。ただし、平成3～4年にかけてはバスケットボール、サッカーの一時的なブームにより、加入率が一時上昇した。

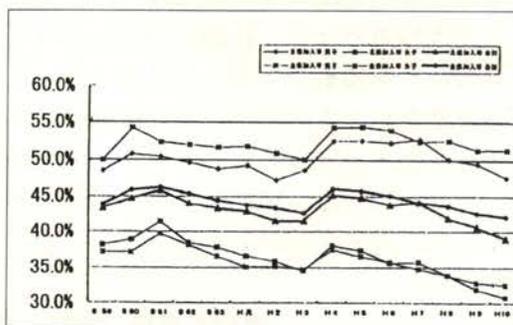
資料1 高等学校数の推移



資料2 高等学校在籍者数の推移



資料3 運動部加入率



長野県北信地区（県立27校・市立1校・私立5校）でも同様に、中には部活動どころか学校そのものの存続さえ問題になっている地域高校もある。

部活動が高校生の心身の健全な育成を担う役割が多大であることは、周知の通りである。長野県北信高体連では、今後さらに厳しい状況になると予想される部活動の状況を、少しでも改善し、活性化できればとの願いから、身近ないくつかの学校の取り組みを例に分析検討してみた。研究の組織、対象、方法等は次のようであった。

(1) 研究団体（組織）

長野県高等学校体育連盟は、4つの地区高校体育連盟（北信・東信・中信・南信）を基盤に構成され、運営されている。34の専門部を擁しているが、その一つとして「研究調査専門部＝委員会」がある。4地区それぞれに同委員会があり、その代表4人が県の委員になっているわけである。今回の研究は県の委員会で計画し、北信地区（7人の委員）に具体的な調査研究活動を委託した形で進められた。（県の委員会は現在“50周年記念誌”の編集も別の委員を加えて同時進行している）尚、次に行う個人発表の伊那弥生ヶ丘高校は南信という別の地区に属する高校である。

(2) 調査対象校と基礎資料

長野県には106校の高校が設置されているが、全県の学校数及び生徒数のデータは「長野県学校要覧」、その推移は「長野県高教組会議資料」を引用した。尚、すべての学校が高校体育連盟に加盟している。

北信地区は33校あるが、これらの高校の「最近15年の生徒数・部員数及びその推移」の資料は北信高体連でまとめたものである。その中から部活動に関して特徴的な学校を選び調査した。

(3) 考察・まとめについて

5回ほどの研究調査委員会を開催し、上記資料の発掘や作成整理、そして分析討論という形で進めた。また、表面的短絡的な結論をさけるため、個人的に聞き取り調査なども行った。会議にしる委員個人の活動にしる、日常の教育活動の枠外での仕事であり、委員の在任高校も広範にわたるため時間的制約は大きかった。従って、長野県全体の傾向にまで視野を広げるに至らず、特徴的な事例をあげるにとどめた。

2 特徴的な事例とその考察

(1) 学校制度の変化に伴う特徴

(2) 男女共学

男女平等・学校選択の自由という名のもとに20年程前から進められてきた高校の男女共学化であるが、部活動にはどのような影響があったのだろうか。

事例ア A高校…女子高から共学14年目

昭和60年度に男女共学を実施、今年で14年目を迎える。女子校時代、北信大会では団体種目のほとんどを優勝するということがあったが、共学以来優勝する種目はだんだん少なくなり、平成になってからはほとんどみられないという残念な結果がでている。進学と部活の両立とはいうものの、最近では自由をエンジョイしたいという傾向が強い。専門種目の指導者がチャンピオンシップを目標に指導すると、体力が続かないとか勉強が遅れるという理由で退部していく生徒が多い。また、男女交際も部活離れの一要因になっていると思われる。ある部活の指導の中で、男女交際をとるか部活を選ぶかということで、生徒と話し合った折り、男女交際をとるということで退部していった生徒があるとのこと、A高校では特に女子の加入率の低下傾向がうかがえる。さらに私服通学(106校中42校)の多い長野県では携帯電話料金や洋服の購入等々にお小遣いが足りず、アルバイトに没頭する毎日になってしまい、部活どころではないのかもしれない。

残念ながら男女共学が実施された学校の中で、その制度がプラスに働いたという事例は聞くことができなかった。

② 推薦入学制度の実施

現在、公立高校の推薦入学は職業科・特殊学科で行われている。職業科については入学意志のある生徒の早期確保、特殊学科については「特色ある学校づくり」を目的に設置され、一つの能力に秀でた生徒を集め、各校の活性化に一役かっている。推薦入学者数は募集定員の30%が目安であるが、各校裁量を任されている部分もある。

事例イ B高校…推薦に人気、県大会制覇

長野市内にある創立明治33年の伝統校である。戦前戦後と長野県スポーツ界の中心的存在であったが、女子生徒の入学増加とともに一時運動部が低迷した時期もあった。しかし、ここ数年女子運動部の活躍は目覚ましいものがある。平成7～8年度において、女子ソフトボール部、男女バドミントン部、女子剣道部、女子バスケットボール部が県大会において団体優勝を果たし、それぞれ全国大会に駒を進めた。

この成果は、学校の部活動への理解、顧問の指導に負うところが大きい。平成5年から推薦入学制度が実施され、目的意識を持った生徒が数多く入学してきたからと思われる。しかし、課題もいくつかある。特色を持って推薦入学した生徒に対する進路指導である。特技を生かした大学進学や就職ができるよう、学校側が進路先を開拓しなければならない。また、検定補習におけるクラブ時間の確保、全国・北信越大会出場など県外遠征費用の捻出等付随した問題もあるようだ。

③ 学校・学科の新設

北信地区で最近新設された高校は2校、長野南(S58)、中野西(S59)。新設学科は体育科(飯山南H4)、理数科(屋代H4)、英語科(中野西H6)がある。

事例ウ C高校…体育科の設置とスキー部の活躍

もともとスキーの伝統校(過去インターハイ女子総合7連覇等)である。しかし、現在学校規模は体育科1クラス、普通科2クラス、全校生徒数400人の地域高校である。

平成4年に長野県下初の体育科を開設、一期

生40人（全員スキー部、県外からも9人）が入学。その後平成6年・8年にスキーインターハイ男子総合優勝を飾り、校舎全面移転改築等で学校に活気がでてくる。運動部加入率も70%前後と県下ではもっとも高い数字で、以前に比べ好成績を残す運動部が増えた。（ソフトテニス・インターハイ出場、野球・県ベスト16）

地域の特徴を生かし、スキーを中心に生徒募集したことが成功した例である。しかし一方では、部員不足に苦しむクラブもあり、二極化が進んでいる。

事例エ D高校…競技人口の少ない競技で全国大会

長野市の南部に位置し、昭和58年全日制普通科として開校した。以来県下最大規模の高校（普通科25クラス、全校生徒数1000人）として今日に至る。

ボクシング、アーチェリーといった県下では競技人口の少ないクラブを作り、創立間もなくインターハイに出場し、現在も活躍中である。新設当初は学校のPRの効果も高く、他の部活（テニス、陸上競技、空手）にも優秀な選手が集まり、同じくインターハイに出場している。

しかし、特殊な競技だけに指導者の転勤や外部にでて練習しなければならない施設の条件など頭の痛い問題があるのも事実である。学校の特色であることには違いないので、今後いかに存続させていくか考えなければならない時期がきている。

(2) 地域の特徴を生かした部活動

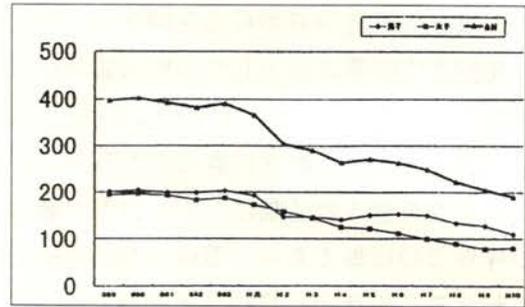
① 施設や自然環境条件

長野県の気候は南北では異なるし、自然環境も変化に富んでいる。特に地域校ではそういった条件をうまく使えるかどうかは重要になるだろう。

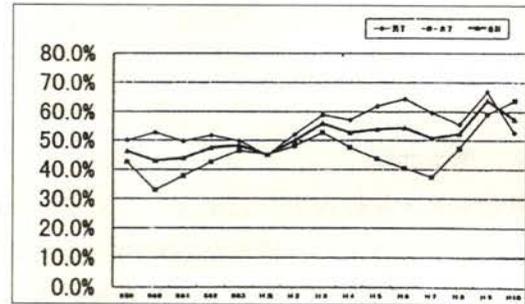
事例オ E高校…地域のバックアップでカヌー一部発足

長野市から20kmほど南にある山間部地域校で普通科9クラス全校生徒数200人余りの小規模高校である。

資料4 E高校生徒数の推移



資料5 E高校運動部加入率の推移



近くに犀川が流れ、カヌーを楽しむ人たちが県外からも数多く訪れている。地元住民も観光の目玉として期待している。

平成8年度試験的にカヌーを3台購入し、中学生の体験入学に利用した。平成9年度、地域校の生き残りを目的として、立地条件を生かし、県カヌー協会の協力のもと体育の授業に導入、同年にカヌー同好会を発足し、職員の研修会等も積極的に行った。同年夏季国体に初出場。

これにより学校全体に活気があられ、職員の専門性と生徒のニーズから新クラブ（剣道・H4、テニス・H7、弓道・H9）も結成された。今後生徒減の影響で部員不足が心配されるが、地元でも小中高一貫したクラブを作ろうとする動きがあるなど、地域の協力体制がしっかりしているのは頼もしい。

まだ日は浅いが、地域と密着しての活動は双方の活性化につながり、今のところは成功しているといえる。

② 地域クラブでの一貫指導

近年は社会体育のになり役割が大きくなりつつある。施設、指導者の問題や学校週5日制に伴う、余暇の利用等で学校以外での活動が目される。おなじみのところではスイミング、リトルリーグ、サッカー、ミニバス、柔剣道教室

といったもの、さらには体操教室、陸上教室など、また、北信地区の地域を生かしたものとしてはスキーがある。特に技術系の競技においては、小学校から基礎をしっかり身に付けることが将来の活躍の条件になると言っても過言ではない。経済的な問題もあり、地域社会とのつながりは大切だろう。

事例力 F 高校…小中高一貫の指導体制

志賀高原の麓に位置し、山ノ内中学の生徒が中心に集まり、H3～H5年度にはスキーインターハイ男子総合3連覇をした。リレハンメル・ナガノといった冬季五輪にもOB、OGが活躍している。学校のすぐ近くにスキー場があるわけではないが、志賀高原のスキークラブのコーチによる一貫指導の体制は、たとえ顧問の移動があったとしても影響は少ない。専任のコーチには志賀高原スキークラブから経済的な援助もあるので、インターハイや国体など費用がかさむ遠征でも選手に同行できる。また、練習のバーンやリフトにかかる経済的な問題も、スキー場並びに索道協会がバックアップしてくれるのである。

他の競技と違い、こうした地域とのつながりがなければ成り立たないものであるが、いったん作られた伝統はそうは簡単に壊れない。

(3) 学校の特色と部活動

① 進学との両立

事例キ 公立進学校G高校…部活と進学の関係を調査

G高校は県下でも有数の進学校である。しかし、運動部活動も盛んで、ここ10年をみてもハンドボール、空手道、弓道、山岳、柔道、水泳、陸上競技など多くの部が全国大会に出場している。そして、学校独自に部活動と進学の関係を調査していた。下図は部活動の内容を4ブロックにわけ、平成8年度に調べた現役進学率(4年制)である。

部活動の内容	調査対象人数	現役進学率(4年制)
a 競技成績重視の運動部	111人	61%
b 活動重視の運動部	83人	78%
c 文化部	86人	70%
d 無所属	81人	60%

進学率が一番よかったのはbであるが、その理由として考えられるのは、競技生活終了後、練習時間をそのまま学習へスライドできたことだと思われる。活動中は評定平均が悪くても引退後伸びてくる生徒が多く、特に男子にその傾向がみられる。推薦入学が多いのもbの特徴であり、各種大会等の成績が結びついている。dの中にも優秀な生徒もいるが少数であり、普段の学習時間が多いとは言い切れない。aにおいては難関校を突破している生徒の割合が多い。G高校の傾向として部活動等で放課後や休日に学校にいる習慣のついている生徒の方が伸びると思われるとのことである。

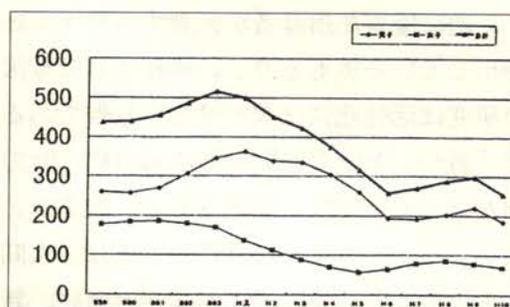
進学校ともなると、とかく部活軽視になりがちであるが、部活と進学率には密接な関係があるとして、1年生に対しては積極的に部活動をするよう指導している。

② 定員割れの地域校

事例ク H高校

H高校は平成11年度90周年を迎える伝統校である。現在普通科一学年3クラスの小規模高校で、生徒の急減期に入り、ここ数年は定員割れが続いている。

資料6 H高校生徒数の推移



運動部の加入率は42%と全県のそれとほぼ同率であるが、全校生徒数が300人に満たないため団体種目の部の成立は困難で、廃部になった部(陸上競技、剣道、ソフトテニス)も少なくない。

ただ、バレーボールが地域で比較的盛んなため、部員が集まりやすく、平成元年度県高校新入大会では3位に入賞した。通学手段が限られる山間部の学校であるため、練習時間も柔軟に設定できない。多く部をそのまま維持していくと共倒れになる可能性があるため、思い切った

部の精選と、地域に根ざした新しい種目を模索していく等の工夫が求められそうだ。

3 運動部活性化のための課題

—まともにかえて—

以上見てきたように、部活動の実態は個人差・種目間格差・学校間格差が非常に大きい。高体連として、あるいは指導者個人としても、部活動という大枠でその課題なり改善策等を論ずることは大変困難である。冒頭に述べた部活動の低迷にどう対処するかについてもケースバイケースの実践によるところが大である。あまりにも無責任なまとめかもしれないが、今回は結論はもちろん提言もせず、手がかりになると思われる事例をもとに課題を整理してみることにした。

(1) 多くの部活動は少しでも上位の競技成績を目指して日々活動している。競技力向上が活性化の大きな要素なので、競技力向上対策が重要である。長野県では私立高校と職業科を有する公立高校で推薦入学制度があり、優秀な選手を早くから確保し、部活動で好成績を取めている。

また、私立高校では転勤がほとんどないので、指導者が定着して好成績を残している例が多い。逆に優秀な指導者が転勤する先々で好成績を出している例もあり、いずれにしても指導法の研究は活性化には欠かせない分野である。

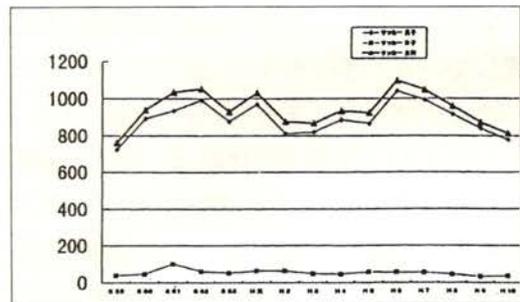
(2) 「勝つ」という目的以外に部活動の魅力とは何かというのが次の問題である。調査などの選択しにでてくる端的な言葉で言えば「人間形成」ということになろう。勉学との両立、新しいスポーツへの挑戦によって希望と意欲に満ちた高校生活を送れた生徒は人並み以上の何かを得たはずである。隠れた実践例はいくつかあると思うので、高体連としても評価と紹介の取り組みが必要である。

(3) スポーツ種目数は増え、さらにその内容は複雑多岐になり、生徒のニーズはスポーツに限らず大変多くなった。受け皿としての高校が、既存の部活動の概念にとらわれず大胆な改革が求められている。複数種目とか複数高校による部活も例がないではないが、信念と見通し

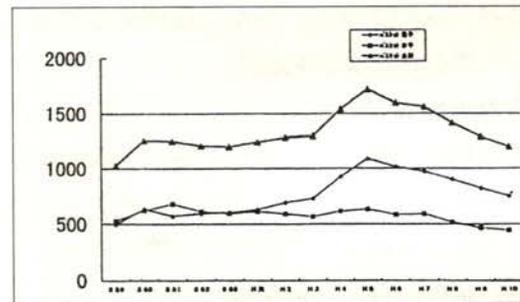
をもって改革した事例は見あたらない。今後できるだけ早い時期に、学校あるいは個人で何らかの教訓的実践が出てくることを期待している。

(4) 長野オリンピックは冬季スポーツひいてはスポーツそのものに高い評価をもたらした。学校体育への波及効果は確認していないが、社会体育・スポーツの運動部活動への影響はサッカーやバスケットボールの加入率に増加がみられた。

資料7 サッカー部員登録者数の推移



資料8 バスケットボール部員登録者数の推移



部活動あるいは学校体育も、社会の動向を視野に入れて運営していくことが大切だし、できることなら積極的に社会体育・スポーツに部活動活性化の手がかりを求めていく研究心と行動力がほしい。

少なくとも、この研究結果を本大会の研究報告も含めて学校現場に還元していく事が、なにがしかの部活動活性化をもたらすはずであるという視点で、調査研究委員会として今後、研究発表や実践例の発掘の活動をより重視して進めていきたい。

底辺拡大と競技者の育成

——新体操におけるジュニア育成のとりくみ——

発表者 伊那弥生ヶ丘高校 橋爪 みすず

1 はじめに

新体操という競技が一般的に知られるようになったのは、今から13年前のロサンゼルスオリンピックに正式種目として登場してからと思われる。新体操の歴史は案外古いのであるが、メジャースポーツの仲間入りを果たしたとはまだまだ言い難い感がある今日この頃である。長野県における新体操の歴史や活躍もかつて、やまびこ国体では野沢南高校が3位に入賞するなど輝かしい成績も残されているが、ここ数年は全国的に見るジュニア育成の波や、強豪チームに全国から優秀選手が集まる中、低迷していた。

私は、大学で新体操を続け長野県の保健体育教員として採用されてから5年目に現在の伊那弥生ヶ丘高校に赴任し、新体操部の顧問だったが、高校生部員の著しい減少や、高校に入学してから初めて新体操を始める選手に対し、全国レベルの新体操を求め競技力を向上させることに限界を感じ、つまづくことが多くなかなか前に進めなかった。そんな現状を分析した結果、やはり『ジュニア育成＝底辺拡大と競技力向上』を自分の手で始めなければという課題にたどりついたのが、平成3年6月であった。公立高校の教員という立場で、公務外にジュニア育成を始めるにはいろいろな問題点や批判も多々あったのであるが、今年で8年目を迎える『伊那ジュニア新体操ポーラ☆スター』という地域に根差したジュニアクラブの育成と、高校のクラブ活動がどのようにつながり成果を上げてきたのか、その経過と今後の課題を述べてみたい。また公立高校の教員という立場でも、ジュニアクラブの育成に関わることでできる方法、高校でのクラブ活動に地域のスポーツ活動とのつながりは必要ななどの点について議論して頂ければ幸いである。

2 ジュニア育成の経過

(1)伊那ジュニア新体操ポーラ☆スター発足

(2)保護者会発足

(3)第1回発表会の開催

(4)小学生、中学生から長野チャンピオン登場

(5)塩尻、飯田にポーラ☆スター支部発足

(6)ジュニア育成から初の高校生選手の誕生

(7)インターハイ初出場

(8)ジュニア育成の現状

(9)現在の活動

3 今後の課題 (P330～332参照)

4 競技力向上の目標 (P330～332参照)

5 おわりに

この8年間、ただ前を見て走り続けてきた感じがある。しかし成果が上がっても抱えている課題はまだ多く、選手たちのレベルも年々上がっている中で、さらによりよいシステム作りをしていかなければならないと痛感している。学校という現場に勤務しながら、できることには限界があるかもしれないが、学校だからこそできることもあるように思う。これから学校がしなければならないことのひとつとして、学校をもっと地域に根差したものにしていくこと、が挙げられると思う。我々が学校という枠を越えて、学校教育と社会体育との共存を探る時期にきているのではないかと思うし、またそのことによって、学校だけが子供を育てるのではなく、多くの人たちの応援のもと学校と地域が子供達を育てていけるようなシステムが私の理想である。そのことがいつか高校でのクラブ活動に対して何らかの良い影響を与えてくれると思っている。夢中で始めた『ジュニア育成』であったが、子供達のためだけでなく、私自身の成長のためでもあったように思う。今後も子供達の成長と共に私自身も一緒に育っていきたいと思う。

新体操クラブ 7年目の挑戦 伊那ポニーラースターの取り組み

〈上〉

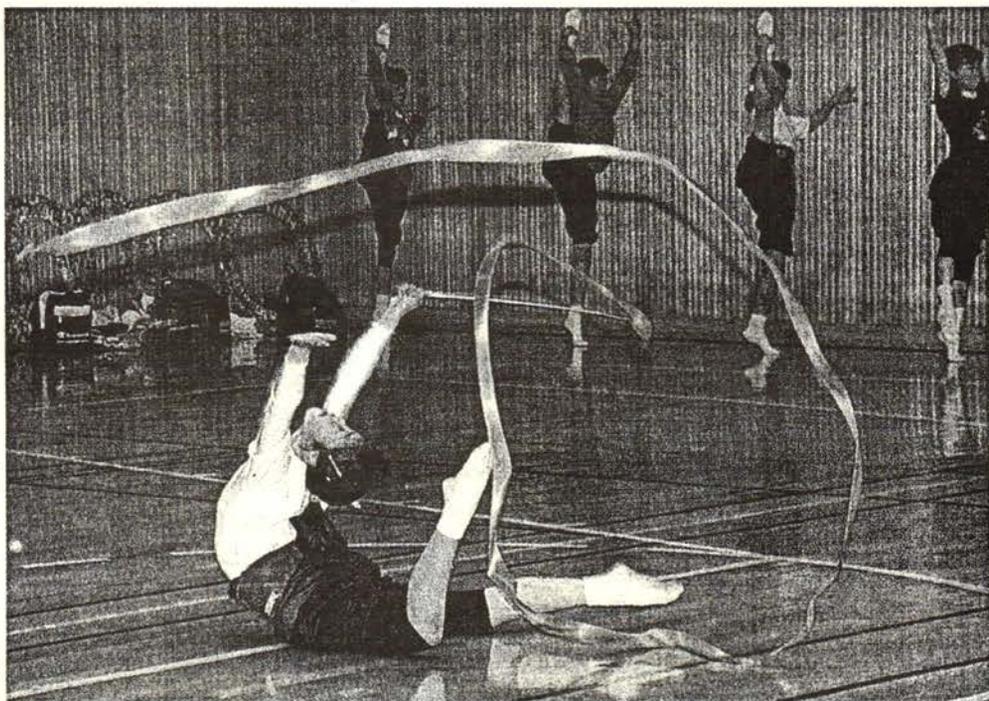
県内の新体操の底辺拡大を目指し、伊那弥生ヶ丘高校の橋爪みずす教諭(三)が地域の子供たちを集めてスタートした「伊那ジュニア新体操クラブ ポニーラースター」が六月で七年目を迎えた。発足当初からの選手が着実に成長し、昨年のインターハイで十三年ぶりに出場を果たした伊那弥生ヶ丘高が、女子団体で8位に入り新風を吹き込んだ。後に続く中学生や小学生たちも力をつけ、「いつかは五輪にも」と夢を膨らませる。全国上位を目指しながら魅力あるチーム作りを模索するクラブの活動を紹介します。

(中山 英子記者)

「あの時は踊っています、」
「あつちよ、楽しかった。」
昨年インターハイで8位の団体演技を、伊那弥生ヶ丘高校新体操部の小松三紗主将(三年)はうれしそうに振り返る。その時出場した六人のうち、四人は「ポニーラースター」の出身だった。
長野県の新体操は、一九七八(昭和五十三)年に野沢南高校がインターハイ9位、同年の地元やまびこ国体で3位に入賞したのが最高成績だ。

インターハイの二十年間では、九一年の諏訪二葉の28位を除けば40位前後で低迷して

いる。採点競技で成績を挙げ
るには、チームの実績、指導
者の知名度など特有の「壁」
があるとされる。それだけに
伊那弥生ヶ丘の全国8位に
は重みがある。
ポニーラースターの産みの
親、橋爪教諭は新体操一直線
に走ってきた。「子供たちに



クラブの活動が軌道に乗り中学生、高校生のトップ選手たちは全国大会で上位入賞を狙えるようになった

【伊那ジュニア新体操クラブ ポニーラースター】一九九一(平成三)年に伊那教室発足。二年後に飯田、塩尻でも始めた。現在、生徒数は三教室で三百五十人。それぞれの教室で、新体操を楽しむ一般コース(乳幼児から小学生)、試合をめざす選手コース(小学二年生から中学生の希望者)、全国レベルの大会をめざす選手選抜コース(高校生も含む)の3コース制をしている。「ポニーラースター」は日本語では北極星。「北極星はどこにいても見つけることができる。人が目標とするような選手になってほしい」という願いを込めて橋爪教諭が命名した。

には高校生からでは遅い」とと痛感し、高校の部活動のほか、地域の子供たちに教える決意をした。翌年、単独で生徒集めを始めた。
手書きのチラシ五百枚を伊那市駅やコンビニエンスストアで配った。三十人が集まり、高校の部活動と一緒に練習が始まった。

最初は周囲の風当たりが強かった。「公私混同ではないか」「目立ちすぎる」。ボランティアで始めた活動だったが、個人が行う「社会体育」に理解は薄かった。橋爪教諭は、教員を辞めるべきなのかと悩んだという。だが「勝てるようになるまで、とにかくやるしかない」と踏ん張った。一年後、クラブの生徒は百

人を超えた。運営はすべて橋爪教諭の持ち出しだったが、会員の母親たちが「ボランティアで教えてもらうのは申し訳ない」と、自発的に保護者を発足させ、一人千円の会費を集めるようになった。それがクラブの活動費になっている。指導者と保護者の、手弁当で成り立っているクラブだ。

全国には、豊富な資金をバックに英才教育を行っているクラブもある。インターハイで上位を占める私立高校には、えりすぐられた生徒が集まってくるといわれる。
そんな中で、ポニーラースターの活躍は異彩を放っている。全日本クラブ選手権でも昨年、百二十チームの中から決勝に残り10位に入った。

橋爪教諭は「地元の子で勝てるチームをつくらせてほしい」といっている。そして「いろいろなレベルの子たちを教えた。どんなに大変でも、底辺拡大の部分にはずっとかわってほしい」と、新体操を地域のスポーツとして広げたい姿勢を少しも崩していない。

地域で育てる

“手弁当” 全国の舞台へ

新体操を教え、インターハイで活躍できるようなチームをつくりたい。松本蟻ヶ崎高

校で新体操を始め、日本女子体育大学でも競技を続けた後、そんな夢を抱いて高校教

諭になった。初任地の穂高商高でさっそく新体操部をつくり、中信地

区大会優勝に導いた。九〇年に伊那弥生ヶ丘高に転任。全国に通用するチームをつくる

人を超えた。運営はすべて橋爪教諭の持ち出しだったが、会員の母親たちが「ボランテ

ィアで教えてもらうのは申し訳ない」と、自発的に保護者を発足させ、一人千円の会費を集めるようになった。それがクラブの活動費になっている。指導者と保護者の、手弁当で成り立っているクラブだ。

新体操クラブ 7年目の挑戦 伊那ポニーラスターの取り組み

〈中〉

「もっと体を使いなさい。そんな中途半端な演技、人に見せられない」「あなたは曲をかけてもつっているのが当たり前だと思ってるよ」

県高校総体南信大会直前の練習で橋爪みずず教諭(ミミ)は、伊那弥生ヶ丘高の選手の演技に声を張り上げ続けた。

ピンと張り詰める体育館内の空気が、カセットテープを途中で止められ、演技を中断した小松三紗主将の表情はゆがむ。橋爪教諭に顔をじっと見据えられ、詰め寄られた小松は、「はい」と低い声で返事をした。

ながら音楽に合わせて演技、レオタードとの調和も含め美しさを追求する新体操。芸術的な側面も持ち合わせ、自由な発想を全身で表現する。だが、華麗でしなやかな演技の裏には、想像以上に厳しい練習がある。

厳しく情熱の指導

内面の美しさを追求



「内面の美しい子に」と願う橋爪教諭。一人ひとり、レベルに応じたきめ細かい指導を心掛けている

小松は「練習中、泣けるほどつらい時もあるけど、一度もやめようと思ったことはない」という。期待の中学生の一人、久保村茉伊(春富中二年)は「大会で納得した演技ができたときは何よりもうれ

しい」と話す。選手たちは、人に見られてる緊張感にむしる喜びを感じると打ち明けた。手先から足の指先まで、一瞬たりとも気を抜くことができない。橋爪教諭が厳しい練習をあえて

課するのは、そのためだ。橋爪教諭は「生徒に嫌われるのでは」と思い、しかった後、ついフォローしたくなることもあります。でも、選手は、気持ちの面でも強く

ないと。ふてくされてしまう選手は試合には出させません」と言い切る。それは橋爪教諭の信念だ。「信念を持ってなかつたら、強くはなれない」と。

という一般コース、幼児コースの子供たちの教室は、全く違った雰囲気だ。幼児たちは、橋爪教諭に飛びついてはしゃぐ。体当たりしてくる子供たちに橋爪教諭も笑顔で力いっぱい接している。

「私についてきてもらう」となどと考えるのは思いがかりと、自分に厳しい。「選手とは同じ目標に向かっていく仲間なんだという気持ちでいたい。だから子供たちが五輪に出たい、と真剣に思ったときはそれにこたえられるよう指導者でいたい」

(中山 英子記者)

「新体操を通じて内面の美しい子になってほしい」という願いは、どの子に対しても共通に持っている。

あいさつなど、礼儀を大事にし、これは幼児クラスまで浸透している。中学生や高校生には練習が始まる前に、学校内の細かな生活態度まで注意する。「頂点を目指すなら、表面の演技だけでは意味がない」と明快だ。

朝は五時に起き、帰宅は午後九時半ごろというハードな生活の合間を縫って、演技の構成を考え、シンセサイザーなどを使いながら曲をアレンジする。「特長を引き出せるように、一人ひとりをイメージしながら」と話す橋爪教諭の表情は楽しそうだ。

新体操クラブ 7年目の挑戦

伊那ポールスターの取り組み

△下▽

「インターハイ全国制覇とクラブの選手の間際試合への出場」。伊那シユニア新体操クラブ「ポールスター」を主宰する橋爪みずす伊那弥生ケ丘高教諭(三)は、当面の目標を二つ掲げている。だが、悩みもある。端的なのは指導者不足だ。

ポールスターの伊那教室は幼児から小学生百八十人と中学生二十九人を、橋爪教諭が一人で指導している。「国際大会に出るような(他のクラブの)子たちは、マンツーマンのコーチがついている。私ももちろんもっときめ細かく一人ひとり見たいけれども」。

伊那教室発足の二年後、新体操の土壌があった塩尻と飯田でも教室がスタートし現在、幼児から中学生までそれぞれ六十人を超える生徒がいる。塩尻教室は、この三月に指

導者が辞めたため、現在は橋爪教諭が週二回の練習に伊那から通っている。飯田教室は、伊那弥生ケ丘高の卒業生の橋爪みつる飯田高教諭(三)を中心に週二回の指導態勢だ。飯田と塩尻の教室には、昨年のインターハイ出場メンバーだった大学生と看護学校生の二人と、飯田市内でOLをしている卒業生(三)の三人が交代で手伝いに訪れる。いずれも橋爪みずす教諭の教え子。恩師の奮闘ぶりを見かねての応援だが「交通費程度しかあげられない」(同教諭)のが実情で、ほとんどボランティアで成り立っている。

「人気」を「強化」に

児童番組で新体操コーナーができた影響や、バレエより安価



子供たちに人気が出てきた新体操。競技を根づかせ選手を育てるためには指導態勢の整備が必要だ

欠かせぬ指導者育成

で手軽な女の子らしいスポーツという印象も働いている

よつだ。県内で活動する新体操のクラブは十前後に増え

た。しかし、人気ぶりが即強化に結びつくほど簡単では

ない。

松本蟻ヶ崎高の新体操部の出身者が中心となって松本市内で十五年前に発足した「WINGまつもとRSG」でも、ここ数年で生徒数が増え、現在、約四百人が所属している。西沢啓子代表(四)は「強い選手の育成を考えたとき、毎日の練習に付き合える指導者がいなかった」という。

会社勤めの傍ら指導していたコーチが専属になって三年目になる。西沢代表は「ポールスターに勝ちたいという気持ちがあります。いい意味でのライバル意識を持ち続けたい」と意欲を燃やす。

インターハイ入賞まで力を伸ばしてきた県内の新体操。ポールスターの活躍は、県内のスポーツ関係者に、新鮮な刺激を与えている。だが、支えているのは熱心な指導者とそれにこたえた選手たちの力。個人の力には限界もある。

学校体育と社会体育の融合の必要性を説く声は以前からある。ここまでの成果を根づかせていくようなネットワークの構築はできるのか。指導者など人材の育成をどうするか。地域や県の競技団体組織がどうかかわっていくのか。課題は少なくない。

(中山英子記者)

全国高等学校総合体育大会記録

(ベスト 8 以上)

—昭和62年度～平成 9 年度—

北信越高等学校体育大会記録

(ベスト 4 以上)

—昭和62年度～平成 9 年度—

全 国 高 等 学 校 総 合 体 育 大 会 記 録

(ベスト8以上) —昭和62年度～平成9年度—

昭和62年度

種 目	氏 名	学 校 名	成 績 お よ び 記 録
陸 上	臼田 正幸	望 月	男子400 m 6位 48' 36
	山崎 茂	岩 村 田	男子400mH 4位 53' 79
新 体 操	西山 了	長 野 東	男子個人 5位
	小椋 信洋	長 野 吉 田	男子個人 ベスト8
弓 道	三沢かおる	伊 那 西	女子個人 ベスト8
	河西 篤	長 野 中 央	男子200 m平泳 7位 2' 28' 60
水 泳	伊部 敏行	飯 田	男子200 mバタフライ 7位 2' 07' 53
		松本嶺ヶ崎	女子 6位
登 山	青沼 正悟	松 本 工 業	男子4000m速度競争 3位
	唐沢 春美	伊 那 北	女子個人フルール ベスト8
自 転 車	巖野 英樹	飯 田	男子個人組手 5位
	三村 由紀	松 本 深 志	女子個人型 2位
フ ェ ン シ ン グ			
空 手 道			
定 通			
陸 上	土屋 英秋	中 野 実 業	男子走高跳 8位 1 m 80
		小 海	男子学校対抗 3位
ス ケ ー ト		軽 井 沢	男子学校対抗 8位
		諏訪二葉	女子学校対抗 7位
	佐藤 恒樹	軽 井 沢	男子500 m 5位 39' 76
	荒井 律生	小 海	男子1500m 6位 2' 05' 95
	佐藤 恒樹	軽 井 沢	男子1500m 7位 2' 06' 32
	岩下 清人	小 海	男子5000m 2位 7' 33' 14
	小平 寛	岡 谷 南	男子5000m 4位 7' 36' 61
	岩下 清人	小 海	男子10000 m 2位 5' 12' 10
		小 海	男子2000mリレー 4位 2' 40' 28
		軽 井 沢	男子2000mリレー 5位 2' 40' 31
	堀内 佳子	諏訪二葉	女子1500m 4位 2' 19' 45
	菊地美千子	小 海	女子3000m 4位 4' 49' 50
	堀内 佳子	諏訪二葉	女子3000m 6位 4' 55' 20
		諏訪二葉	女子2000mリレー 6位 3' 04' 46
		岡 谷 東	女子2000mリレー 7位 3' 04' 48
ス キ ー		中 野 実 業	男子学校対抗 3位
		飯 山 南	男子学校対抗 5位
	中 野 実 業	女子学校対抗 2位	
	白 馬	女子学校対抗 5位	
	富井 剛志	飯 山 南	男子ジャイアントスラローム 3位 1' 22' 95
	竹節 一夫	中 野 実 業	男子スラローム 3位 1' 33' 70
	太田 勝	白 馬	男子スラローム 6位 1' 35' 34
	太田 光洋	白 馬	男子スラローム 7位 1' 35' 61
	関 喜行	中 野 実 業	男子スラローム 8位 1' 35' 99
	今井 博幸	長 野 吉 田	男子15kmクロスカントリー 1位 44' 36' 6
	清水 博樹	中 野 実 業	男子15kmクロスカントリー 4位 45' 02' 7

青木 透	飯 山 北	男子15kmクロスカントリー	8位	46' 14' 5
小泉 仁	飯 山 南	男子コンバインド	3位	378,645
三好 栄次	上 田	男子コンバインド	5位	367,740
富井 勝美	下高井農林	男子コンバインド	7位	352,705
森 敏	飯 山 北	男子コンバインド	8位	346,175
三好 英次	上 田	男子スペシャルジャンプ	6位	
白河 三枝	白 馬	女子ジャイアントスラローム	3位	1' 17' 60
山本香代子	中 野 実 業	女子ジャイアントスラローム	5位	1' 18' 96
北林 万里	白 馬	女子ジャイアントスラローム	6位	1' 19' 22
丸山 有紀	白 馬	女子スラローム	2位	1' 18' 85
北林 万里	白 馬	女子スラローム	4位	1' 19' 84
山本香代子	中 野 実 業	女子スラローム	7位	1' 20' 27
佐藤恵美子	中 野 実 業	女子5 kmクロスカントリー	5位	18' 47' 7
祢津ひかる	飯 山 北	女子5 kmクロスカントリー	6位	18' 52' 3
竹節佐貴子	中 野 実 業	女子5 kmクロスカントリー	7位	18' 54' 9
村上 弥生	飯 山 北	女子15kmクロスカントリー	6位	34' 45' 6
竹節佐貴子	中 野 実 業	女子15kmクロスカントリー	7位	35' 10' 3
	中 野 実 業	女子リレー	2位	55' 08' 4
	飯 山 北	女子リレー	8位	58' 09' 4

昭和63年度

弓 道	野神 綾子	飯 田 女 子	女子個人	4位	
	伊部 敏行	飯 田	男子100 mバタフライ	6位	57' 47
水 泳	伊部 敏行	飯 田	男子200 mバタフライ	6位	2' 05' 50
	三村 由紀	松 本 深 志	女子個人型	1位	
空 手 道		軽 井 沢	男子学校対抗	3位	
		佐 久	男子学校対抗	4位	
ス ケ ー ト		諏訪二葉	女子学校対抗	3位	
		諏訪清陵	女子学校対抗	5位	
	小 海	女子学校対抗	7位		
	真寿田聖也	岡 谷 南	男子500 m	6位	39' 24
	土屋 泰仁	軽 井 沢	男子500 m	8位	39' 53
	土屋 純二	軽 井 沢	男子1500m	2位	7' 23' 99
	遠藤 亮次	佐 久	男子1500m	5位	7' 30' 12
	矢沢 昭	佐 久	男子1500m	6位	7' 34' 27
	遠藤 亮次	佐 久	男子10000 m	2位	15' 45' 72
		佐 久	男子2000mリレー	5位	2' 40' 07
	上原 三枝	諏訪清陵	女子1000m	1位	1' 28' 55
	堀内 佳子	諏訪二葉	女子1000m	4位	1' 29' 03
	吉田 亜紀	野 沢 北	女子1000m	7位	1' 30' 26
	堀内 佳子	諏訪二葉	女子1500m	1位	2' 16' 38
	上原 三枝	諏訪清陵	女子1500m	5位	2' 18' 47

ス キ ー	菊地美千子	小 海	女子1500 m	7位	2' 20' 37	
	菊地美千子	小 海	女子3000 m	2位	4' 53' 82	
	菊地 裕子	岡 谷 東	女子3000 m	8位	5' 12' 09	
		野 沢 北	女子2000 mリレー	5位	3' 00' 35	
		岡 谷 東	女子2000 mリレー	7位	3' 04' 77	
		白 馬	男子学校対抗	4位		
		飯 山 北	男子学校対抗	5位		
		白 馬	女子学校対抗	1位		
		中野実業	女子学校対抗	4位		
		竹節 一夫	中野実業	男子ジャイアントスラローム	3位	1' 20' 93
		太田 光洋	白 馬	男子ジャイアントスラローム	8位	1' 23' 08
		和田 和也	白 馬	男子スラローム	5位	1' 42' 11
		太田 敏朗	白 馬	男子15kmクロスカントリー	3位	43' 21' 3
		青木 透	飯 山 北	男子15kmクロスカントリー	5位	43' 27' 8
		佐藤 新一	飯 山 北	男子15kmクロスカントリー	8位	44' 00' 0
		森 敏	飯 山 北	男子コンバインド	5位	364,436
		小泉 仁	飯 山 南	男子コンバインド	7位	355,111
		田原 恵	白 馬	女子ジャイアントスラローム	2位	1' 02' 59
		北原 万里	白 馬	女子ジャイアントスラローム	3位	1' 02' 90
		丸山 有紀	白 馬	女子スラローム	1位	1' 36' 49
		北原 万里	白 馬	女子スラローム	4位	1' 38' 55
		佐藤恵美子	中野実業	女子5 kmクロスカントリー	2位	15' 38' 7
		祢津ひかる	飯 山 北	女子5 kmクロスカントリー	6位	16' 00' 4
		竹節佐貴子	中野実業	女子5 kmクロスカントリー	7位	16' 11' 6
			中野実業	女子リレー	4位	42' 52' 2

平成元年度

陸 上	中津 敦喜	飯 田	男子200 m	5位	21' 73	
	大沢 康宏	長野日大	男子800 m	5位	1' 52' 63	
	青木 理佳	中野西	男子110mH	1位	14' 48	
	清水 幸	野 沢 南	女子走幅跳	6位	5 m 83	
弓 道	伊藤 三枝	長野吉田	女子個人	1位		
	ウェイトリフティング	永井 真樹	篠ノ井	男子60kg	5位	212,5
自 転 車	塩原 正長	松本工業	1000 mタイムトライアル	2位	1' 08' 35	
	フェンシング	唐沢 一寿	箕輪工業	男子個人サーブル	4位	
定 通		伊 那 北	女子学校対抗フルーレ	ベスト 8		
	自 転 車	吉沢 隆幸	小諸商業	1000 mタイムトライアル	5位	1' 23' 19
ス ケ ー ト		吉沢 隆幸	小諸商業	ロード	6位	1' 13' 10
			佐 久	男子学校対抗	7位	
			岡 谷 東	女子学校対抗	6位	
			諏訪清陵	女子学校対抗	7位	
			佐 久	女子学校対抗	8位	
		黒沢 誠	佐 久	男子1500 m	8位	2' 08' 04
		遠藤 亮次	佐 久	男子5000 m	5位	7' 37' 44
		篠原 淳晃	小 海	男子5000 m	7位	7' 38' 54

ス キ ー	土屋 清	軽 井 沢	男子5000 m	8位	7' 39' 40	
	篠原 淳晃	小 海	男子10000 m	3位	15' 21' 96	
	遠藤 亮次	佐 久	男子10000 m	4位	15' 22' 66	
	上原 三枝	諏訪清陵	女子1500 m	4位	2' 18' 54	
	菊地 裕子	岡 谷 東	女子1500 m	8位	2' 22' 45	
	上原 三枝	諏訪清陵	女子3000 m	3位	4' 48' 72	
	菊地 裕子	岡 谷 東	女子3000 m	4位	4' 59' 14	
	名取 美香	佐 久	女子3000 m	7位	5' 03' 07	
		岡 谷 東	女子2000 mリレー	5位	3' 03' 66	
		佐 久	女子2000 mリレー	7位	3' 06' 85	
		下高井農林	男子学校対抗	4位		
		飯 山 北	男子学校対抗	5位		
		白 馬	女子学校対抗	1位		
		中野実業	女子学校対抗	7位		
		富井 剛志	飯 山 南	男子ジャイアントスラローム	2位	1' 28' 03
		太田 光洋	白 馬	男子ジャイアントスラローム	3位	1' 29' 41
		望月 彰	中野実業	男子ジャイアントスラローム	5位	1' 30' 82
		森 五月	下高井農林	男子スラローム	4位	1' 28' 42
		佐藤 新一	飯 山 北	男子15kmクロスカントリー	7位	45' 38' 4
		森 敏	飯 山 北	男子コンバインド	1位	416,80
		河野 大輔	下高井農林	男子コンバインド	4位	381,04
		富井 彦	下高井農林	男子コンバインド	5位	377,95
		上野 隆	飯 山 北	男子コンバインド	7位	367,49
		丸山 有紀	白 馬	女子ジャイアントスラローム	6位	1' 10' 61
		切久保深雪	白 馬	女子ジャイアントスラローム	8位	1' 11' 83
		切久保深雪	白 馬	女子スラローム	1位	1' 25' 53
	丸山 有紀	白 馬	女子スラローム	3位	1' 26' 35	
	田原 恵	白 馬	女子スラローム	4位	1' 26' 49	
	佐藤恵美子	中野実業	女子クロスカントリー5 km	1位	16' 27' 0	
	中村 由紀	白 馬	女子クロスカントリー5 km	4位	16' 57' 3	
		中野実業	女子リレー	5位	40' 22' 5	

平成2年度

陸 上	相沢 伸也	野 沢 北	男子400mH	2位	52' 77
	小柳 和朗	中野実業	走高跳	4位	2 m 15
	堀内 宗和	篠ノ井	走高跳	6位	2 m 12
	堀内 宗和	篠ノ井	三段跳	6位	14 m 94
柔 道	南雲 智則	松本第一	男子個人軽量級	5位	
	山岸 智二	更級農業	男子個人重量級	2位	
バレーボール		岡谷工業	男子	2位	
弓 道	今井 文明	岡谷工業	男子個人	3位	
水 泳	石坂いづみ	長野日大	女子200 m平泳	8位	2' 45' 30
		岡 谷 南	男子舵手付きファフ	2位	3' 19' 46
漕 艇					
空 手 道	朝倉美奈子	坂 城	女子個人型	3位	

定 通 自 転 車 ス ケ ー ト	吉沢 隆幸	小諸商業	1000mタイムトライアル	2位	1'22'10
		佐 久	男子学校対抗	3位	
		松本深志	女子学校対抗	5位	
		岡谷東	女子学校対抗	7位	
	黒沢 誠	佐 久	男子1000m	7位	1'22'05
	向山 靖司	佐 久	男子1500m	4位	2'04'75
	黒沢 誠	佐 久	男子1500m	5位	2'05'50
	野明 弘幸	岡谷南	男子5000m	3位	7'19'94
	篠原 淳見	小 海	男子5000m	6位	7'29'99
	赤沼 健一	佐 久	男子10000m	7位	15'47'29
		佐 久	男子2000mリレー	3位	2'41'45
		小 海	男子2000mリレー	5位	2'42'78
	市川もとよ	軽井沢	女子500m	8位	43'74
	清水 美映	松本深志	女子1500m	1位	2'12'94
	清水 美映	松本深志	女子3000m	1位	4'56'17
		岡谷東	女子2000mリレー	4位	3'01'24
		佐 久	女子2000mリレー	5位	3'01'52
		中野実業	男子学校対抗	4位	
		白 馬	男子学校対抗	8位	
		白 馬	女子学校対抗	2位	
		中野実業	女子学校対抗	5位	
	山本 治	中野西	男子大回転	6位	1'10'15
	猪又 誠	白 馬	男子大回転	8位	1'10'33
	山本 治	中野西	男子スラローム	3位	1'44'64
	堀米 光男	中野実業	男子15kmクロスカントリークラシカル	1位	43'42'9
	神津 正昭	中野実業	男子15kmクロスカントリークラシカル	4位	44'28'6
	畔上 大地	飯山北	男子15kmクロスカントリークラシカル	7位	45'05'3
	堀米 光男	中野実業	男子15kmクロスカントリーフリー	6位	42'16'2
	上野 信吾	飯山北	男子スペシャルジャンプ	5位	141,1
	山田 和由	白 馬	男子スペシャルジャンプ	8位	134,5
	富田 彦	下高井農林	男子コンバインド	1位	208,5 45'49
	山田 和由	白 馬	男子コンバインド	2位	199,7 45'05
	上野 信吾	飯山北	男子コンバインド	8位	195,9 49'23
	切久保深雪	白 馬	女子ジャイアントスラローム	1位	1'05'14
	切久保深雪	白 馬	女子スラローム	1位	1'31'92
	佐藤 雪野	中野実業	女子5kmクロスカントリークラシカル	4位	17'22'8
	中村 由紀	白 馬	女子5kmクロスカントリークラシカル	8位	17'37'6
	中村 由紀	白 馬	女子10kmクロスカントリーフリー	4位	33'06'0
		中野実業	女子リレー	4位	47'45'5
		白 馬	女子リレー	5位	47'46'4

ス キ ー

平成3年度

陸 上	本田 速人	野 沢 南	男子400mH	3位	52'08
	三浦 理人	篠ノ井	男子ハンマー投	4位	57m64
弓 道	小松 正彦	赤 穂	男子個人	4位	
		飯田女子	女子団体	1位	28'84
漕 艇		岡谷南	男子舵手付きフォア	3位	3'28'84
		岡谷南	男子ダブルスカル	5位	3'39'10
ウエイトリフティング フェンシング	清沢 英彦	松商学園	男子82kg	7位	235,0
	木下 進一	伊 那 北	男子サーブル	2位	
空 手 道	朝倉美奈子	坂 城	女子個人型	3位	
定 通 柔 道 ス ケ ー ト	山浦 直人	中野実業	男子個人重量級	ベスト8	
	岡村 秀輝	中野実業	男子個人中量級	1位	
		岡谷南	男子学校対抗	2位	
		小 海	男子学校対抗	4位	
		松本深志	女子学校対抗	6位	
		佐 久	女子学校対抗	8位	
	篠原浩一郎	小 海	男子500m	2位	38'33
	小平 昇一	諏訪二葉	男子500m	7位	38'91
	黒岩 誠	佐 久	男子1000m	4位	1'17'84
	吉岡 豊文	岡谷南	男子1000m	6位	1'18'71
	日向 功	小 海	男子1000m	7位	1'18'77
	野明 弘幸	岡谷南	男子1500m	2位	1'59'90
	田中 慎也	東海第三	男子1500m	3位	2'00'08
	原 巨樹	佐 久	男子1500m	5位	2'01'88
	野明 弘幸	岡谷南	男子5000m	2位	7'22'73
	田中 慎也	東海第三	男子5000m	7位	7'27'65
	篠原 淳見	小 海	男子10000m	5位	15'33'61
	宮木 大吾	岡谷南	男子10000m	8位	15'39'17
		小 海	男子2000mリレー	3位	2'35'87
		佐 久	男子2000mリレー	6位	2'37'78
		岡谷南	男子2000mリレー	7位	2'37'87
	田中 千景	岡谷東	女子500m	7位	43'73
	市川もとよ	軽井沢	女子500m	8位	43'90
	清水 美映	松本深志	女子1500m	5位	2'12'67
	降旗 克子	大町北	女子1500m	8位	2'16'58
	清水 美映	松本深志	女子3000m	1位	4'47'49
	降旗 克子	大町北	女子3000m	5位	4'49'71
		佐 久	女子2000mリレー	6位	3'00'23
		東海第三	女子2000mリレー	7位	3'05'07
		中野実業	男子学校対抗	1位	
		飯山北	男子学校対抗	2位	
		下高井農林	男子学校対抗	4位	
		白 馬	男子学校対抗	7位	
		白 馬	女子学校対抗	2位	
		中野実業	女子学校対抗	4位	
	猪又 誠	白 馬	男子ジャイアントスラローム	7位	1'16'84

ス キ ー

	竹田 高広	中野 実業	男子スラローム	7位	1' 24' 31
	堀米 光男	中野 実業	男子15kmクロスカントリークラシカル	1位	41' 59' 6
	神津 正昭	中野 実業	男子15kmクロスカントリークラシカル	2位	43' 25' 5
	畔上 大地	飯山 北	男子15kmクロスカントリークラシカル	3位	43' 26' 7
	神津 正昭	中野 実業	男子15kmクロスカントリーフリー	1位	38' 12' 8
	堀米 光男	中野 実業	男子15kmクロスカントリーフリー	2位	38' 22' 0
	中村 洋隆	馬	男子15kmクロスカントリーフリー	6位	40' 12' 6
	杉山 恵亮	飯山 北	男子スペシャルジャンプ	1位	206,9
	富井 彦	下高井農林	男子スペシャルジャンプ	3位	195,7
	上野 真吾	飯山 北	男子スペシャルジャンプ	6位	177,3
	富井 彦	下高井農林	男子コンバインド	1位	216,0 42' 05
	富井 正樹	飯山 北	男子コンバインド	2位	184,3 41' 57
	中村 幸志	白馬	男子コンバインド	5位	177,9 44' 59
	市川 雄一	下高井農林	男子コンバインド	6位	116,2 38' 42
	高沢 公治	飯山 南	男子コンバインド	7位	150,4 42' 33
		中野 実業	男子リレー	1位	1' 52' 41
	切久保深雪	白馬	女子ジャイアントスラローム	5位	1' 10' 42
	坂口奈津実	中野 実業	女子ジャイアントスラローム	7位	1' 10' 54
	切久保深雪	白馬	女子スラローム	1位	1' 19' 57
	竹節 恭江	長野 日大	女子スラローム	8位	1' 22' 36
	佐藤 雪野	中野 実業	女子5kmクロスカントリークラシカル	4位	16' 24' 3
	中村 由紀	白馬	女子5kmクロスカントリークラシカル	8位	16' 52' 6
	中村 由紀	白馬	女子10kmクロスカントリーフリー	2位	30' 18' 1
	佐藤 雪野	中野 実業	女子10kmクロスカントリーフリー	7位	30' 54' 0
		白馬	女子リレー	4位	51' 36' 6
		中野 実業	女子リレー	7位	52' 10' 9
		飯山 北	女子リレー	8位	52' 17' 5

平成4年度

陸上	一志 学	池田工業	男子800 m	5位	1' 53' 94
	山本 晴美	長野 南	女子やり投	4位	47 m 30
バレーボール		岡谷工業	男子	2位	
体操		文大長野	女子団体総合	4位	216,55
	中嶋 真弓	文大長野	女子個人総合	7位	73,00
	中嶋 真弓	文大長野	女子個人跳馬	5位	18,85
	中嶋 真弓	文大長野	女子個人ゆか	3位	18,85
	岩井 涼子	文大長野	女子個人ゆか	4位	18,80
弓道		屋代	男子個人	2位	
漕艇		岡谷南	男子舵手付きフォア	1位	3' 20' 01
		岡谷南	男子ダブルスカル	6位	3' 38' 61
		諏訪清陵	女子舵手付きフォア	3位	3' 46' 59
		岡谷南	女子ダブルスカル	4位	3' 59' 30
空手道		杉山 裕美	松本深志	7位	
定通		岡村	中野実業	1位	
柔道			男子中量級		

スケート		小海	男子学校対抗	3位	
		岡谷南	男子学校対抗	6位	
		東海第三	男子学校対抗	7位	
		松本深志	女子学校対抗	5位	
		野沢北	女子学校対抗	6位	
		大町北	女子学校対抗	7位	
		佐久	女子学校対抗	8位	
	五味 一志	東海第三	男子500 m	7位	39' 57
	篠原浩一郎	小海	男子500 m	8位	39' 71
	篠原浩一郎	小海	男子1000 m	3位	1' 20' 36
	五味 一志	東海第三	男子1000 m	7位	1' 20' 72
	日向 功	小海	男子1000 m	8位	1' 20' 88
	野明 弘幸	岡谷南	男子1500 m	2位	2' 02' 33
	田中 慎也	東海第三	男子1500 m	3位	2' 03' 66
	日向 功	小海	男子1500 m	5位	2' 05' 21
	野明 弘幸	岡谷南	男子5000 m	4位	7' 26' 59
	高見沢敬二	小海	男子5000 m	5位	7' 27' 39
	高見沢敬二	小海	男子10000 m	4位	15' 33' 64
	長岡創一郎	野沢北	男子10000 m	5位	15' 39' 50
		諏訪二葉	男子2000 mリレー	5位	2' 39' 25
		佐久	男子2000 mリレー	6位	2' 39' 53
		東海第三	男子2000 mリレー	7位	2' 40' 62
	土屋和花子	野沢北	女子500 m	4位	44' 01
	荒崎 江美	佐久	女子500 m	6位	44' 38
	上原 千聖	軽井沢	女子500 m	7位	45' 08
	佐々木志保	佐久	女子1000 m	6位	1' 31' 80
	土屋和花子	野沢北	女子1000 m	7位	1' 32' 37
	清水 美映	松本深志	女子1500 m	1位	2' 13' 31
	降旗 克子	大町北	女子1500 m	3位	2' 19' 04
	三浦美枝子	岡谷東	女子1500 m	8位	2' 23' 33
	清水 美映	松本深志	女子3000 m	1位	4' 44' 19
	降旗 克子	大町北	女子3000 m	3位	4' 48' 83
		佐久	女子2000 mリレー	4位	3' 01' 19
		東海第三	女子2000 mリレー	6位	3' 04' 11
		野沢北	女子2000 mリレー	7位	3' 04' 96
スキー		中野実業	男子学校対抗	1位	
		飯山南	男子学校対抗	2位	
		白馬	男子学校対抗	3位	
		下高井農林	男子学校対抗	4位	
		飯山北	男子学校対抗	6位	
	深沢 哲	白馬	男子ジャイアントスラローム	3位	1' 51' 65
	片桐 貴司	飯山南	男子ジャイアントスラローム	6位	1' 52' 19
	竹田 高広	中野実業	男子スラローム	2位	1' 49' 40
	下平 哲	上田	男子スラローム	3位	1' 49' 94
	塩沢 典彦	白馬	男子スラローム	6位	1' 51' 36
	堀米 光男	中野実業	男子15kmクロスカントリークラシカル	1位	43' 09' 9
	森 知広	下高井農林	男子15kmクロスカントリークラシカル	2位	44' 28' 2

久保田 裕	飯山北	男子15kmクロスカントリークラシカル	3位	44'31"6
神津 正昭	中野実業	男子15kmクロスカントリークラシカル	4位	44'57"3
久保田 貴	飯山南	男子15kmクロスカントリークラシカル	7位	45'49"0
神津 正昭	中野実業	男子15kmクロスカントリーフリー	1位	36'29"7
堀米 光男	中野実業	男子15kmクロスカントリーフリー	2位	37'17"7
森 知弘	下高井農林	男子15kmクロスカントリーフリー	4位	38'15"5
中村 洋隆	白馬	男子15kmクロスカントリーフリー	5位	38'15"8
久保田 裕	飯山北	男子15kmクロスカントリーフリー	6位	39'15"7
小松 直輝	飯山南	男子15kmクロスカントリーフリー	7位	39'25"0
杉山 恵亮	飯山北	男子スペシャルジャンプ	3位	193.5
中村 幸志	白馬	男子スペシャルジャンプ	5位	170.2
河野 智海	下高井農林	男子スペシャルジャンプ	7位	164.9
佐藤 正彦	飯山南	男子コンバインド	2位	200,5 44'49
市川 雄一	下高井農林	男子コンバインド	3位	164,6 40'50
中村 幸志	白馬	男子コンバインド	4位	201,5 44'59
佐藤 信義	長野日大	男子コンバインド	5位	174,1 43'35
高沢 公治	飯山南	男子コンバインド	6位	187,6 45'17
山本 哲也	白馬	男子コンバインド	8位	208,4 47'43
	中野実業	男子リレー	1位	1'54'05
	飯山南	男子リレー	2位	1'58'21
	下高井農林	男子リレー	5位	1'59'22
松田美登里	白馬	女子ジャイアントスラローム	2位	1'54'98
坂口奈津実	中野実業	女子ジャイアントスラローム	6位	1'57'26
宮田 苗帆	白馬	女子スラローム	3位	1'32'92
松田美登里	白馬	女子スラローム	6位	1'33'33
西澤美智子	中野実業	女子5kmクロスカントリークラシカル	8位	18'13"3
石井 文香	飯山南	女子10kmクロスカントリーフリー	2位	30'20"8
水野小百合	飯山北	女子10kmクロスカントリーフリー	6位	31'04"1
平野 正美	飯山北	女子10kmクロスカントリーフリー	7位	31'18"1
佐藤 雪野	中野実業	女子10kmクロスカントリーフリー	8位	31'19"7
	飯山北	女子リレー	1位	50'53"3
	白馬	女子リレー	8位	52'33"8

平成5年度

陸上	塚田 英彦	上田東	男子400 m	3位	46'98
	西沢 洋務	東海第三	男子1500 m	8位	3'52"77
	日向 健太	岩村田	男子円盤投	8位	46 m16
水泳	保坂真理子	伊那西	女子200 m背泳	8位	2'20"47
レスリング	竹花	上田西	男子54kg級	ベスト8	
	石田	上田西	男子63kg級	ベスト8	
空手道	杉山 裕美	松本深志	女子個人型	2位	
	笠原 鉄平	松商学園	男子個人組手	ベスト8	
	和田志乃舞	屋代	女子個人組手	ベスト8	
ボクシング	海藤	丸子実業	モスキート級	3位	
定通					
卓球	仲井	飯田長姫	女子個人	3位	

スケート		佐久	男子学校対抗	1位	
		東海第三	男子学校対抗	5位	
		岡谷南	男子学校対抗	7位	
		佐久	女子学校対抗	4位	
		野沢北	女子学校対抗	6位	
		東海第三	女子学校対抗	8位	
	篠原裕太郎	佐久	男子500 m	2位	38'90
	宮川 洋平	佐久	男子500 m	6位	39'41
	宮川 洋平	佐久	男子1000 m	1位	1'18"21
	篠原裕太郎	佐久	男子1000 m	3位	1'19"09
	田中 慎也	東海第三	男子1000 m	4位	1'19"10
	田中 慎也	東海第三	男子1500 m	2位	2'02"98
	鶴田 重樹	佐久	男子1500 m	4位	2'03"57
	伊藤 大理	諏訪二葉	男子1500 m	5位	2'05"88
	宮坂 源亮	東海第三	男子1500 m	6位	2'06"21
	市村 雅	野沢北	男子1500 m	8位	2'08"90
	宮木 大吾	岡谷南	男子5000 m	2位	7'21"89
	中島 昇秀	佐久	男子5000 m	4位	7'31"35
	竹瀬 貴順	東海第三	男子5000 m	6位	7'31"59
	宮木 大吾	岡谷南	男子10000 m	2位	15'35"34
	中島 昇秀	佐久	男子10000 m	3位	15'44"54
	清水 秀俊	松本深志	男子10000 m	8位	16'07"90
		佐久	男子2000 mリレー	2位	2'34"80
		東海第三	男子2000 mリレー	6位	2'38"47
		小海	男子2000 mリレー	8位	2'39"09
	土屋和花子	野沢北	女子500 m	3位	43"01
	上原 千聖	軽井沢	女子500 m	5位	44"25
	土屋和花子	野沢北	女子1000 m	1位	1'27"19
	竹田 久美	東海第三	女子1000 m	3位	1'30"81
	上原 千聖	軽井沢	女子1000 m	4位	1'31"35
	土橋 貴子	佐久	女子1500 m	3位	2'15"90
	三浦美枝子	岡谷東	女子1500 m	5位	2'17"22
	小泉 恵	岡谷東	女子1500 m	7位	2'19"01
	小林 亜弥	東海第三	女子1500 m	8位	2'19"01
	土橋 貴子	佐久	女子3000 m	6位	4'52"33
	小林 亜弥	東海第三	女子3000 m	8位	4'57"11
		佐久	女子2000 mリレー	3位	2'56"00
		東海第三	女子2000 mリレー	4位	2'56"38
		軽井沢	女子2000 mリレー	7位	3'00"84
		中野実業	男子学校対抗	1位	
		飯山南	男子学校対抗	3位	
		白馬	男子学校対抗	5位	
		飯山北	男子学校対抗	6位	
		飯山南	女子学校対抗	3位	
		中野実業	女子学校対抗	4位	
		長野日大	女子学校対抗	6位	
	片桐 貴司	飯山南	男子ジャイアントスラローム	8位	1'45"82

	木谷 逸郎	白 馬	男子スラローム	5位	1' 36" 14
	中村 浩	中野実業	男子10kmクロスカントリークラシカル	4位	28' 36" 3
	黒岩 拓吾	中野実業	男子10kmクロスカントリークラシカル	5位	28' 45" 7
	片塩 崇	飯山北	男子10kmクロスカントリークラシカル	7位	28' 53" 7
	佐藤 威	中野実業	男子10kmクロスカントリークラシカル	8位	28' 58" 1
	高橋幸一郎	飯山南	男子15kmクロスカントリーフリー	1位	38' 05" 3
	竹節 竜二	中野実業	男子15kmクロスカントリーフリー	2位	38' 31" 7
	佐藤 威	中野実業	男子15kmクロスカントリーフリー	4位	38' 46" 4
	中村 幸志	白 馬	男子コンバインド	3位	191,3 42' 20
	佐藤 武留	東 部	男子コンバインド	5位	173,0 41' 55
	田村 暢康	白 馬	男子コンバインド	7位	173,4 42' 07
	関 勇樹	飯山南	男子コンバインド	8位	147,1 40' 23
		中野実業	男子クロスリレー	1位	2' 04" 30
		飯山南	男子クロスリレー	3位	2' 16" 16
	大久保 優	飯山南	女子スラローム	2位	1' 35" 05
	田中加芳子	長野日大	女子スラローム	3位	1' 35" 70
	関 理奈	長野日大	女子スラローム	5位	1' 35" 97
	大口奈津実	中野実業	女子5kmクロスカントリークラシカル	2位	15' 42" 6
	大口奈津実	中野実業	女子10kmクロスカントリーフリー	6位	31' 09" 9
	宮本 由紀	飯山南	女子10kmクロスカントリーフリー	7位	31' 12" 8
	石井 文香	飯山南	女子10kmクロスカントリーフリー	6位	31' 32" 1
		中野実業	女子クロスリレー	1位	48' 20" 7
		飯山北	女子クロスリレー	2位	49' 23" 8

平成6年年度

陸 上	帯刀 秀幸	大 町	男子1500m	6位	3' 48" 92
	伊藤 健一	飯 田	男子走幅跳	8位	7 m36
	石川 千年	篠 ノ 井	男子ハンマー投	6位	54 m86
	日下部恵理	東海第三	女子400 m	5位	56" 07
柔 道	上原 英樹	東海第三	男子軽中量級	3位	
	中山 三雄	中野実業	男子軽重量級	3位	
弓 道	長尾真樹子	諏訪二業	女子個人	4位	
水 泳	保坂真理子	伊 那 西	女子200 m背泳	7位	2' 20" 46
レスリング	竹花	上 田 西	男子58kg級	1位	
	石田	上 田 西	男子63kg級	2位	
	田守	上 田 西	男子74kg級	3位	
漕 艇		岡 谷 南	男子ダブルスカル	4位	3' 49" 25
フェンシング	大槻 高範	伊 那 北	男子サーブル個人	4位	
スケート		佐 久	男子学校対抗	1位	
		東海第三	女子学校対抗	4位	
		軽 井 沢	女子学校対抗	7位	
	今井 裕介	佐 久	男子500 m	1位	38" 27
	伊藤 大理	諏訪二業	男子1000m	2位	1' 18" 79
	市村 雅	野 沢 北	男子1000m	6位	1' 19" 41
	小須田典之	小 海	男子1000m	7位	1' 21" 16

	今井 裕介	佐 久	男子1500m	1位	1' 59" 93
	宮川 洋平	佐 久	男子1500m	2位	2' 03" 00
	伊藤 大理	諏訪二業	男子1500m	5位	2' 03" 94
	中島 昇秀	佐 久	男子5000m	2位	7' 32" 20
	長岡創一郎	岡 谷 南	男子5000m	3位	7' 33" 48
	米倉 大介	野 沢 北	男子5000m	6位	7' 40" 40
	中島 昇秀	佐 久	男子10000 m	4位	15' 26" 07
	米倉 大介	野 沢 北	男子10000 m	5位	15' 26" 53
		佐 久	男子2000mリレー	4位	2' 37" 92
		東海第三	男子2000mリレー	7位	2' 40" 31
	上原 千聖	軽 井 沢	女子500 m	7位	43" 71
	上原 千聖	軽 井 沢	女子1000m	3位	1' 28" 08
	小泉 恵	岡 谷 南	女子1000m	5位	1' 28" 98
	安田 有希	東海第三	女子1000m	6位	1' 29" 35
	外ノ池亜希	東海第三	女子1500m	1位	2' 16" 77
	三浦美枝子	岡 谷 東	女子1500m	2位	2' 18" 69
		東海第三	女子2000mリレー	3位	2' 59" 48
		佐 久	女子2000mリレー	4位	3' 00" 15
ス キ ー		飯 山 南	男子学校対抗	1位	
		中野実業	男子学校対抗	5位	
		飯 山 南	女子学校対抗	3位	
		中野実業	女子学校対抗	4位	
	西村 齊	白 馬	男子ジャイアントスラローム	4位	2' 01" 42
	木谷 逸郎	白 馬	男子スラローム	2位	1' 27" 30
	宮崎 優	飯 山 北	男子スペシャルジャンプ	1位	217,8
	島田 武彦	飯 山 南	男子10kmクロスカントリークラシカル	5位	29' 42" 6
	高橋幸一郎	飯 山 南	男子10kmクロスカントリークラシカル	7位	30' 00" 0
	大山 勝広	中野実業	男子10kmクロスカントリークラシカル	8位	30' 20" 8
	島田 武彦	飯 山 南	男子15kmクロスカントリーフリー	1位	38' 07" 6
	大山 勝広	中野実業	男子15kmクロスカントリーフリー	2位	39' 29" 6
	湯本 竜也	下高井農林	男子15kmクロスカントリーフリー	4位	39' 30" 0
	児玉 勝成	中野実業	男子15kmクロスカントリーフリー	3位	39' 58" 8
	佐藤 武留	東 部	男子コンバインド	1位	182,3 45' 05
		飯 山 南	男子クロスリレー	1位	1' 45" 43
		中野実業	男子クロスリレー	7位	1' 50" 34
	田原 温子	飯 山 南	女子ジャイアントスラローム	6位	2' 15" 06
	関 理奈	長野日大	女子スラローム	7位	1' 28" 92
	大口奈津美	中野実業	女子5kmクロスカントリークラシカル	2位	17' 24" 8
	堀米 千恵	飯 山 南	女子10kmクロスカントリーフリー	2位	29' 21" 5
	大口奈津美	中野実業	女子10kmクロスカントリーフリー	3位	29' 45" 8
	宮本 由紀	飯 山 南	女子10kmクロスカントリーフリー	6位	30' 12" 8
		中野実業	女子クロスリレー	1位	46' 08" 0
		飯 山 南	女子クロスリレー	2位	46' 08" 8

平成7年度

テニス	水道	松商学園	男子団体	ベスト8	
		松代	女子団体	ベスト8	
水泳	清水 悟	長野日大	男子100 m背泳	2位	58' 98
		佐久長聖	男子100 m背泳	6位	59' 91
レスリング	黒岩 晃弘	長野日大	男子200 m背泳	7位	2' 08' 14
		諏訪二葉	男子200 m個人メドレー	8位	2' 11' 37
漕艇	清水 悟	伊那西	女子400 m背泳	7位	5' 01' 42
		上田西	男子115 kg級	2位	
フェンシング	丹下 智幸	岡谷南	男子舵手付きフォア	2位	3' 39' 69
		諏訪清陵	男子ダブルスカル	2位	3' 33' 80
定通	保坂真理子	岡谷南	女子舵手付きフォア	5位	4' 10' 87
		岡谷南	女子シングルスカル	6位	4' 14' 49
陸上	塚田	伊那北	男子サーブル個人	6位	
		佐原	松本筑摩夜	男子1500 m	4位
スケート	佐原	佐原	男子5000 m	4位	16' 31' 23
		小海	男子学校対抗	1位	
陸上	市川 雅	小海	男子学校対抗	4位	
		岡谷南	男子学校対抗	5位	
陸上	小須田典之	東海第三	女子学校対抗	3位	
		佐久長聖	女子学校対抗	4位	
陸上	土屋 陽一	伊那北	女子学校対抗	7位	
		野沢北	男子500 m	3位	38' 16
陸上	菊地 裕暁	小海	男子500 m	5位	38' 21
		佐久長聖	男子500 m	7位	38' 47
陸上	今井 裕介	小海	男子500 m	8位	38' 53
		佐久長聖	男子1000 m	2位	1' 14' 98
陸上	小須田典之	小海	男子1000 m	6位	1' 18' 45
		野沢北	男子1000 m	7位	1' 18' 45
陸上	市村 雅	佐久長聖	男子1500 m	1位	1' 56' 74
		佐久長聖	男子1500 m	4位	2' 00' 61
陸上	今井 裕介	東海第三	男子5000 m	2位	7' 06' 27
		佐久長聖	男子5000 m	3位	7' 09' 24
陸上	中島 昇秀	岡谷南	男子5000 m	4位	7' 10' 23
		佐久長聖	男子5000 m	6位	7' 13' 26
陸上	平田 浩一	岡谷南	男子10000 m	2位	14' 45' 08
		佐久長聖	男子10000 m	5位	15' 05' 94
陸上	藤原 祐剛	東海第三	男子10000 m	7位	15' 10' 88
		佐久長聖	男子2000 mリレー	2位	2' 32' 54
陸上	米倉 大介	小海	男子2000 mリレー	3位	2' 34' 06
		岡谷南	男子2000 mリレー	7位	2' 36' 22
陸上	中島 昇秀	伊那北	女子500 m	1位	41' 41
		岡谷南	女子500 m	7位	42' 93
陸上	米倉 大介	東海第三	女子1000 m	1位	1' 25' 09
		伊那北	女子1000 m	4位	1' 26' 19
陸上	藤原 裕剛	東海第三	女子1000 m	6位	1' 27' 36
		平田 浩一			

スキー	遠藤 弘恵	佐久長聖	女子1000 m	7位	1' 27' 50
		東海第三	女子1500 m	1位	2' 07' 88
スキー	安田 有紀	東海第三	女子1500 m	4位	2' 12' 68
		竹ノ内由香	女子1500 m	5位	2' 13' 31
スキー	土橋 貴子	佐久長聖	女子1500 m	8位	2' 14' 66
		佐久長聖	女子3000 m	1位	4' 38' 85
スキー	土橋 貴子	佐久長聖	女子3000 m	4位	4' 44' 45
		東海第三	女子3000 m	6位	4' 46' 74
スキー	安田 有紀	東海第三	女子2000 mリレー	4位	2' 50' 81
		佐久長聖	女子2000 mリレー	5位	2' 53' 24
スキー	軽井 沢	女子2000 mリレー	8位	2' 55' 09	
		白馬	男子学校対抗	2位	
スキー	飯山南	男子学校対抗	4位		
		中野実業	女子学校対抗	3位	
スキー	飯山南	女子学校対抗	5位		
		白馬	男子ジャイアントスラローム	3位	1' 58' 18
スキー	山崎 純	白馬	男子ジャイアントスラローム	4位	1' 58' 56
		池田 義治	男子スペシャルジャンプ	5位	204.9
スキー	佐藤 武留	東部	男子スペシャルジャンプ	6位	201.6
		宮尾 憲典	白馬	男子コンバインド	1位
スキー	正木 誠	下高井農林	男子コンバインド	2位	171.8 40' 48
		土屋 和貴	飯山南	男子コンバインド	3位
スキー	横沢 慎介	白馬	男子コンバインド	4位	192.5 43' 30
		山崎 慎一	飯山北	男子コンバインド	8位
スキー	駒村 俊介	飯山南	男子15kmクロスカントリーフリー	3位	40' 21' 0
		飯山南	男子クロスリレー	3位	2' 02' 29
スキー	中野実業	男子クロスリレー	4位	2' 03' 24	
		白馬	男子クロスリレー	5位	2' 03' 47
スキー	田原 温子	飯山南	女子ジャイアントスラローム	2位	2' 07' 76
		柿坂 理沙	長野日大	女子ジャイアントスラローム	5位
スキー	小林 治美	飯山南	女子ジャイアントスラローム	6位	2' 09' 17
		嶺村 聖佳	白馬	女子スラローム	5位
スキー	流石久美子	上田染谷丘	女子スラローム	7位	1' 41' 18
		大口奈津美	中野実業	女子5 kmクロスカントリークラシカル	4位
スキー	大口奈津美	中野実業	女子10kmクロスカントリーフリー	1位	30' 18' 6
		中野実業	女子クロスリレー	4位	46' 10' 0

平成8年度

陸上	山崎久美子	野沢北	女子走幅跳	4位	5 m 90
		松本第一	男子団体	ベスト8	
柔道	百瀬 渡	松本第一	男子中量級	3位	
		伊那弥生丘	女子団体	8位	
新体操	下条 貴光	松代	男子個人	7位	
		早田 和重	田川	男子100 mバタフライ	7位
水泳	黒岩 晃弘	佐久長聖	男子200 m背泳	4位	2' 07' 38

レスリング	丹下 智幸	諏訪 二業	男子200 m個人メドレー	3位	2'07'08	
	丹下 智幸	諏訪 二業	男子400 m個人メドレー	3位	4'31'48	
		上田 西	男子学校対抗	3位		
	吉澤	北佐久農業	男子46kg級	1位		
	高橋	上田 西	男子50kg級	1位		
	平井	上田 西	男子54kg級	3位		
	榎山	北佐久農業	男子63kg級	ベスト 8		
	漕 艇		諏訪 清陵	女子ダブルスカル	2位	3'58'35
		漕 艇	百瀬 匡	男子スプリント	4位	11'510
	自 転 車		原 篤史	男子3000 m	8位	3'43'58
自 転 車		唐沢 俊章	男子サーブル個人	4位		
フェンシング		福田 愛	女子エペ個人	8位		
	フェンシング					
定 通						
	定 通					
陸 上		佐原 誠	男子1500 m	5位	4'14'69	
	陸 上	佐久長聖	男子学校対抗	1位		
ス ケ ー ト		東海 第三	男子学校対抗	4位		
	ス ケ ー ト	小 海	男子学校対抗	5位		
		東海 第三	女子学校対抗	1位		
		佐久長聖	女子学校対抗	4位		
	井出 真博	野 沢 北	男子500 m	1位	39'08	
	笠原 健可	岡谷 工業	男子500 m	3位	39'26	
	清水 亮平	岡谷 南	男子500 m	5位	39'67	
	高見沢雅彦	小 海	男子500 m	6位	39'70	
	井出 良直	佐久長聖	男子1000 m	2位	1'20'24	
	井出 良直	佐久長聖	男子1500 m	1位	2'03'87	
	篠原 泰洋	小 海	男子1500 m	4位	2'04'43	
	平田 浩一	東海 第三	男子5000 m	3位	7'25'12	
	平田 浩一	東海 第三	男子10000 m	2位	15'44'13	
	西山 卓哉	佐久長聖	男子10000 m	8位	15'59'65	
		佐久長聖	男子2000 mリレー	3位	2'37'53	
		小 海	男子2000 mリレー	5位	2'38'60	
		東海 第三	男子2000 mリレー	6位	2'39'27	
	新谷志保美	伊 那 北	女子500 m	1位	43'08	
	野明 純香	岡谷 南	女子500 m	5位	44'69	
	大井 啓子	東海 第三	女子500 m	6位	44'70	
	外ノ池亜希	東海 第三	女子1000 m	1位	1'28'03	
	遠藤 弘恵	佐久長聖	女子1000 m	4位	1'31'01	
	野明 純香	岡谷 南	女子1000 m	6位	1'31'24	
	安田 有希	東海 第三	女子1500 m	1位	2'15'57	
	外ノ池亜希	東海 第三	女子1500 m	2位	2'16'01	
	竹ノ内由香	佐久長聖	女子1500 m	5位	2'19'07	
	安田 有希	東海 第三	女子3000 m	2位	4'55'41	
	竹ノ内由香	佐久長聖	女子3000 m	3位	4'57'23	
		東海 第三	女子2000 mリレー	2位	2'55'17	
		佐久長聖	女子2000 mリレー	5位	2'58'33	
		小 海	女子2000 mリレー	8位	3'01'65	
		飯 山 南	男子学校対抗	1位		

ス キ ー		中野 実業	男子学校対抗	4位	
		飯 山 南	女子学校対抗	3位	
	大瀧 徹也	飯 山 南	男子スラローム	3位	
	山崎 慎一	飯 山 南	男子コンバインド	1位	
	横沢 慎介	白 馬	男子コンバインド	6位	
	正木 誠	下高井農林	男子コンバインド	7位	
	金丸 富男	飯 山 南	男子15km クロスカントリーフリー	4位	39'08'0
	横川 澄広	白 馬	男子15km クロスカントリーフリー	5位	39'14'2
	服部 正秋	飯 山 南	男子15km クロスカントリーフリー	6位	39'17'1
	山岸 修	中野 実業	男子10km クロスカントリークラシカル	3位	27'14'8
	大山 勝広	中野 実業	男子10km クロスカントリークラシカル	4位	27'22'0
	駒村 俊介	飯 山 南	男子10km クロスカントリークラシカル	6位	27'28'3
		飯 山 南	男子リレー	1位	1'49'50
		中野 実業	男子リレー	2位	1'50'41
	福島のり子	白 馬	女子ジャイアントスラローム	2位	1'41'87
	柿坂 理沙	長野 日大	女子ジャイアントスラローム	3位	1'41'97
	佐藤由加里	中野 実業	女子ジャイアントスラローム	4位	1'42'19
	佐藤 茜	飯 山 南	女子ジャイアントスラローム	8位	1'43'0
	柿坂 理沙	長野 日大	女子スラローム	4位	1'32'74
	栗田 悦子	飯 山 南	女子スラローム	5位	1'33'85
	福島のり子	白 馬	女子スラローム	8位	1'35'98
	大日方純恵	飯 山 南	女子5 km クロスカントリークラシカル	7位	15'38'2
	大日方純恵	飯 山 南	女子10km クロスカントリーフリー	3位	29'16'8
		中野 実業	女子リレー	5位	45'57'6
		飯 山 南	女子リレー	6位	45'47'6

平成9年度

陸 上	佐藤 清治	佐久長聖	男子1500 m	1位	3'49'98
	竹花 誠	伊 那 北	男子3000mSC	4位	9'01'65
バレーボール	宮入 一海	佐久長聖	男子3000mSC	8位	9'04'36
	下平 賢哉	飯 田	男子5000mW	7位	22'52'30
新 体 操	阿部 和也	下伊那農業	男子走高跳	3位	2 m06
		岡谷 工業	男子	2位	
弓 道		伊那弥生丘	女子団体	8位	
		飯田工業	男子団体	5位	
水 泳	高木 秀訓	岡谷 南	男子個人	3位	
	井原 裕貴	飯 田	男子400 m自由形	6位	4'07'37
レスリング	早田 和重	田 川	男子100 mバタフライ	2位	56'15
	笠原 武藤	北佐久農業	男子50kg級	ベスト 8	
漕 艇	丸山	上田 西	男子58kg級	ベスト 8	
		上田 西	男子115 kg級	ベスト 8	
自 転 車		岡谷 東	男子ダブルスカル	5位	4'03'02
	原 篤史	松本工業	男子3000 m追い抜き競争	7位	3'46'31
空 手 道	西澤智代美	松商学園	男子個人型	6位	
定 通					
陸 上	村沢 靖之	松本筑摩夜	男子1500 m	3位	4'15'87

スケート	村沢 靖之	松本筑摩夜	男子5000 m	6位	6'00'13	
		小 海	男子学校対抗	2位		
		東海第三	男子学校対抗	4位		
		岡谷南	男子学校対抗	5位		
		佐久長聖	男子学校対抗	6位		
		佐久長聖	女子学校対抗	2位		
		清水 亮平	岡谷南	男子500 m	5位	38'17
		高見沢雅彦	小 海	男子500 m	6位	38'37
		鈴木 智	佐久長聖	男子500 m	7位	38'48
		野本 繁	小 海	男子1000 m	1位	1'18'44
		清水 亮平	岡谷南	男子1000 m	3位	1'19'20
		柳沢 一寿	東海第三	男子1000 m	5位	1'19'93
		宮川 亮佑	佐久長聖	男子1000 m	6位	1'20'21
		篠原 泰洋	小 海	男子1500 m	2位	2'00'11
		小澤 晴樹	東海第三	男子1500 m	3位	2'00'15
		野本 繁	小 海	男子1500 m	4位	2'00'50
		篠原 泰洋	小 海	男子5000 m	5位	7'18'81
		菊池 千年	小 海	男子5000 m	7位	7'22'90
		菊池 千年	佐久長聖	男子10000 m	5位	15'02'32
			佐久長聖	男子2000 mリレー	1位	2'35'20
			小 海	男子2000 mリレー	3位	2'37'88
			東海第三	男子2000 mリレー	5位	2'38'22
			岡谷南	男子2000 mリレー	6位	2'38'88
		新谷志保美	伊那北	女子500 m	4位	42'22
		栗林美奈子	佐久長聖	女子500 m	5位	42'27
		上原 寿香	佐久長聖	女子500 m	6位	42'32
		栗林美奈子	佐久長聖	女子1000 m	2位	1'26'51

スキー	上原 寿香	佐久長聖	女子1000 m	4位	1'28'60	
	大木 房実	佐久長聖	女子1500 m	2位	2'16'36	
	竹ノ内由香	佐久長聖	女子1500 m	8位	2'20'02	
	竹ノ内由香	佐久長聖	女子3000 m	6位	4'51'66	
		軽井沢	女子2000 mリレー	5位	2'57'88	
		小 海	女子2000 mリレー	7位	2'58'84	
		飯山南	男子学校対抗	6位		
		中野実業	男子学校対抗	7位		
		飯山南	女子学校対抗	7位		
		中野実業	女子学校対抗	8位		
		正木 栄二	下高井農林	男子コンバインド	4位	
		梅崎 慶大	大 町	男子スペシャルジャンプ	3位	
		宮澤 岳二	白 馬	男子スペシャルジャンプ	4位	
		常田 博史	飯山南	男子スペシャルジャンプ	7位	
		山岸 修	中野実業	男子10kmクロスカントリークラシカル	1位	30'11'1
			飯山南	男子リレー	1位	1'56'02
			中野実業	男子リレー	6位	1'57'54
		柿崎 理沙	白 馬	女子ジャイアントスラローム	2位	1'36'28
		福島のり子	長野日大	女子ジャイアントスラローム	5位	1'37'10
		山崎 有可	中野実業	女子ジャイアントスラローム	6位	1'37'37
		古畑 奈美	中野実業	女子ジャイアントスラローム	7位	1'37'63
		山崎 有可	中野実業	女子スラローム	4位	1'35'80
		竹節 香織	長野日大	女子スラローム	7位	1'37'16
		大日方純恵	飯山南	女子5kmクロスカントリークラシカル	7位	17'33'7
		大日方純恵	飯山南	女子10kmクロスカントリーフリー	4位	32'30'3
			飯山南	女子リレー	4位	52'10'6

北信越高等学校体育大会記録

(ベスト4以上) 一昭和62年度～平成9年度一

昭和62年度

種目	氏名	学校名	成績および記録		
陸上		長野中央	男子学校対抗	2位	
		阜 月	女子学校対抗	2位	
		北村 和久	長野中央	男子100 m	1位 11'11
		市川 正道	松商学園	男子200 m	2位 21'98
		中津 教喜	飯 田	男子200 m	3位 22'24
		白田 正幸	望 月	男子400 m	2位 48'16
		白田 正幸	望 月	男子800 m	2位 1'55'51
		野溝 幸弘	赤 穂	男子1500 m	3位 4'03'83
		根橋 充	上伊那農業	男子5000 m	1位 15'04'5
		加藤 和行	大 町	男子110mH	3位 15'34
		山崎 茂	岩村田	男子400mH	1位 53'67
			長野中央	男子4×100 mリレー	1位 42'64

柔道	下城 武司	丸子実業	男子走高跳	1位	2 m06	
	吉田 昇	長野吉田	男子棒高跳	3位	4 m10	
	内畑 俊彦	岩村田	男子走幅跳	3位	6 m89	
	高橋 司	岩村田	男子円盤投	3位	42 m30	
	酒井 弘	北 部	男子5000mW	3位	23'33'8	
	山崎なおみ	諏訪二葉	女子400 m	2位	58'58	
	桜沢麻里子	阜 月	女子3000 m	2位	10'01'1	
	横谷 晶子	阜 月	女子走高跳	2位	1 m65	
	太田亜矢子	阜 月	女子走高跳	3位	1 m60	
	郡田真知子	阜 月	女子走巾跳	3位	5 m69	
	市川 中村	佐 久	男子個人重量級	2位		
		屋 代	男子個人軽重量級	2位		
	剣道		松商学園	女子団体	3位	
			上田染谷丘	男子団体	1位	
			松 代	女子団体	1位	

バスケットボール バレーボール	豊科	女子	3位		
	岡谷工業	男子	2位		
ソフトボール 体操 新体操 体操 新体操 弓道	長野吉田	男子	3位		
	松商学園	女子	2位		
	豊科	女子	3位		
	岡谷工業	男子団体	3位		
	長野東	男子団体	3位		
	山西了	男子個人	3位		
	文大長野	女子団体	1位		
	井田広子	文大長野	女子個人	1位	
	坪井ひろみ	文大長野	女子個人	3位	
	諏訪二葉	女子団体	3位		
水泳	日下部雅美	松本蠅ヶ崎	女子個人	3位	
	森本和博	飯田風越	男子団体	2位	
		駒ヶ根工業	男子個人	2位	
		伊那西	女子団体	1位	
		飯田女子	女子団体	2位	
		田川	女子団体	3位	
		長野中央	男子総合	1位	
		長野東	男子飛込	3位	
		長野東	男子水球	3位	
		平松浩樹	松本県ヶ丘	男子自由形100 m	3位 56' 76
	平松浩樹	松本県ヶ丘	男子自由形200 m	2位 2' 03' 75	
	河西篤	長野中央	男子平泳100 m	1位 1' 09' 51	
	河西篤	長野中央	男子平泳200 m	1位 2' 29' 51	
	伊部敏行	飯田	男子バタフライ100 m	1位 59' 95	
	星野英明	長野中央	男子バタフライ100 m	3位 1' 01' 16	
	星野英明	長野中央	男子バタフライ200 m	1位 2' 11' 11	
	伊部敏行	飯田	男子バタフライ200 m	2位 2' 12' 96	
		長野	男子400 mリレー	3位 3' 57' 99	
		長野中央	男子400 mリレー	4位 4' 01' 62	
		長野中央	男子800 mリレー	2位 8' 36' 99	
		長野中央	男子400 mメドレーリレー	2位 4' 18' 56	
		長野	男子400 mメドレーリレー	3位	
	河西美奈子	諏訪清陵	女子平泳100 m	2位 1' 23' 11	
	河西美奈子	諏訪清陵	女子平泳200 m	3位 2' 59' 24	
	青沼英二郎	長野東	男子高飛込	3位	
	青沼英二郎	長野東	男子板飛込	3位	
	坂本歩	文大長野	女子高飛込	3位	
サッカー レスリング		松本深志	男子	2位	
		清水	小諸	男子個人48kg級	2位
		斉藤	小諸商業	男子個人52kg級	2位
		壬生	下伊那農業	男子個人52kg級	3位
		青木	小諸商業	男子個人56kg級	3位
		武藤	小諸	男子個人60kg級	1位
		井出	小諸	男子個人65kg級	1位
		柳沢	小諸	男子個人70kg級	2位

漕艇	小山	小諸	男子個人75kg級	3位	
	坂下	下伊那農業	男子個人75kg級以上	3位	
		諏訪清陵	男子KF	2位	
		岡谷南	男子KF	4位	
		岡谷東	女子KF	1位	
		下諏訪向陽	女子KF	4位	
		岡谷南	男子SF	3位	
		下諏訪向陽	男子SF	4位	
		岡谷南	男子SS	1位	
		亀割	下諏訪向陽	男子SS	2位
ウエイトリフティング	宮坂	下諏訪向陽	女子SS	1位	
	伊藤	岡谷東	女子SS	2位	
	百瀬	和明	岡谷工業	男子個人60km	3位
	島田	充也	篠ノ井	男子個人67,5km	4位
	青沼	正悟	松本工業	1000 mタイムトライアル	3位
	遠山	圭太	松本工業	スプリント	2位
	河口	巻成	岡谷工業	4000 m速度競走	3位
	青嶋	宏充	池田工業	4000 m追抜競走	2位
			松本工業	イタリアンチームレース	4位
			松本工業	学校対抗	4位
自転車	伊那北	男子学校対抗	4位		
	伊那北	女子学校対抗	2位		
	宮下健治	伊那北	男子個人フルール	2位	
	唐沢春美	伊那北	女子個人フルール	3位	
	今井・平林	茅野	男子スナイプ級	2位	
	下島・宮坂	茅野	男子FJ級	2位	
		松商学園	男子団体組手	3位	
	深沢兼司	松商学園	男子個人組手	2位	
	丸山博樹	長野南	男子個人組手	3位	
	獄野英樹	飯田	男子個人組手	3位	
フェンシング		松商	男子団体型	1位	
	獄野英樹	飯田	男子個人型	1位	
	丸山博樹	長野南	男子個人型	2位	
		野沢南	女子団体型	2位	
		北	女子個人型	2位	
	鈴木めぐみ	北	女子個人型	2位	
	ヨット		長野吉田	男子	1位
			長野吉田	女子	3位
			須坂	女子	3位
			永原・原田	北	男子個人
		中沢・山口	長野吉田	男子個人	3位
		小林・牧野	北	女子個人	3位
			長野	男子団体	2位
			松本筑摩昼	女子団体	3位
		坂梨	松本筑摩昼	女子個人	2位
		樋口	長野西	女子個人	3位
空手道		長野西	男子	3位	
定通					
バレーボール					
バスケットボール					
軟式テニス					
バドミントン					
軟式野球					

昭和63年度

陸上	中津 敦喜	飯 田	男子100 m	1位	10' 58
	中津 敦喜	飯 田	男子200 m	1位	21' 68
	宮川 実	明 科	男子200 m	3位	22' 13
	根橋 充	上伊那農業	男子5000 m	1位	14' 42' 25
	青木 透	飯 山 北	男子3000 m SC	2位	9' 21' 99
	滝沢 栄一	上伊那農業	男子3000 m SC	3位	9' 23' 51
		飯 田	男子4 × 400 m リレー	2位	3' 21' 39
	中村真一郎	赤 穂	男子棒高跳	3位	4 m 30
	町田 貴幸	篠 ノ 井	男子砲丸投	1位	14 m 79
	佐藤 浩之	野 沢 北	男子円盤投	3位	44 m 48
	杉村 秀樹	長 野 南	男子ハンマー投	2位	51 m 54
	青木 利佳	中 野 西	女子100 m	1位	12' 31
	高根香代子	野 沢 南	女子400 m	2位	57' 97
	青木 利佳	中 野 西	女子100mH	1位	14' 74
	清水 幸	野 沢 南	女子100mH	3位	15' 33
	高柳 千帆	木 曾	女子走高跳	3位	1 m 63
	郡田真知子	卓 月	女子走幅跳	2位	2 m 55
柔道	清水 隆幸	松本第一	男子個人中量級	3位	
	黒岩 匡	中野実業	男子個人軽中量級	1位	
軟式テニス		田 川	女子団体	2位	
		松商学園	女子団体	3位	
バスケットボール		阿 智	男子個人	2位	
		野 沢 南	女子	1位	
バレーボール		岡谷工業	男子	1位	
		屋 代	男子	3位	
ハンドボール		松商学園	男子学校対抗	1位	
		松商学園	男子シングルス	3位	
卓球		松商学園	男子ダブルス	2位	
	宮沢	松商学園	男子ダブルス	1位	
体操	田中・細川	松商学園	男子個人	2位	
	井出 広子	文大長野	男子個人	1位	
新体操		長 野 東	男子団体	2位	
		諏訪二葉	女子団体	3位	
弓道		田 川	男子団体	2位	
		中 野 西	男子個人	2位	
水泳	笹岡 彰治	飯 田 女子	女子個人	1位	
	太田 緑	長 野 野	男子総合	2位	
		長 野 東	男子飛込	3位	
	林 靖久	岡 谷 南	男子100 m 平泳	3位	1' 11' 74
	林 靖久	岡 谷 南	男子200 m 平泳	2位	2' 34' 65
	伊部 敏行	飯 田	男子100 m バタフライ		59' 76
	伊部 敏行	飯 田	男子200 m バタフライ	1位	2' 09' 69
	安斎 光晴	長 野 野	男子100 m 背泳	1位	1' 04' 39
	小林 明夫	長 野 吉田	男子100 m 背泳	3位	1' 04' 96
	小林 明夫	長 野 吉田	男子200 m 背泳	1位	2' 19' 61
	安斎 光晴	長 野 野	男子200 m 背泳	2位	2' 20' 85
	根津 順司	高 遠	男子200 m 個人メドレー	3位	2' 23' 82
	青木 潤	長 野 日大	男子400 m 個人メドレー	1位	5' 02' 14

サッカー レスリング	根津 順司	高 遠	男子400 m 個人メドレー	2位	5' 02' 52	
		長 野	男子400 m リレー	2位	3' 54' 31	
		長 野 日大	男子400 m リレー	3位	3' 57' 70	
		長 野 吉田	男子400 m リレー	4位	4' 00' 84	
		長 野 野	男子800 m リレー	4位	8' 44' 78	
		長 野 日大	男子800 m リレー	4位		
		長 野 野	男子400 m メドレーリレー	4位	4' 23' 56	
		長 野 東	男子飛板飛込	3位		
	青沼英二郎	長 野 東	男子高飛込	3位		
	石坂いづみ	長 野 日大	女子100 m 平泳	3位	1' 22' 78	
	岡田 裕子	長 野 日大	女子100 m バタフライ	3位	1' 08' 92	
	岡田 裕子	長 野 日大	女子200 m バタフライ	3位	2' 30' 73	
	南沢 幸枝	屋 代	女子100 m 背泳	2位	1' 10' 92	
	春日麻里子	屋 代	女子100 m 背泳	3位	1' 12' 05	
	春日麻里子	屋 代	女子200 m 背泳	2位	2' 33' 47	
	南沢 幸枝	屋 代	女子200 m 背泳	3位	2' 35' 01	
	漕艇		松本県ヶ丘	男子	2位	
		小 諸 商業	男子学校対抗	3位		
柳沢		小 諸 商業	男子個人50kg級	3位		
桜井		小 諸 商業	男子個人54kg級	1位		
山岸		小 諸 商業	男子個人58kg級	3位		
夏坂		小 諸 商業	男子個人63kg級	3位		
伊藤		小 諸 商業	男子個人74kg級	3位		
坂下		下伊那農業	男子個人74kg級up	3位		
		岡 谷 南	男子ナックルフォア	3位		
		岡 谷 南	男子舵手付フォア	3位		
		下諏訪向陽	女子舵手付フォア	4位		
		岡 谷 南	男子シングルスカル	1位		
田中		松本工業	1000 m タイムトライアル	2位	1' 11' 25	
塩原 正長		池田工業	4000 m 個人追抜競走	1位	5' 15' 13	
青嶋 宏充		松本工業	4000 m 団体追抜競争	2位	4' 54' 79	
自転車			松本工業	イタリアンチームレース	2位	1' 51' 81
			松本工業	男子学校対抗	3位	
		箕輪工業	男子個人フルーレ	2位		
	藤原 千史	箕輪工業	男子個人フルーレ	3位		
	上原 純司	箕輪工業	女子個人フルーレ	2位		
	伊藤 ちふみ	箕輪工業	男子スナイプ級	3位		
	小池・今井	茅 野	男子FJ級	2位		
	横山・伊藤	茅 野	女子FJ級	1位		
	藤原・石山	赤 穂	男子	3位		
		野 沢 南	男子団体組手	3位		
		松商学園	男子団体型	2位		
		長 野 南	男子個人型	1位		
	丸山 博樹	中 野	男子個人型	2位		
	坂内 健	野 沢 南	女子団体組手	2位		
		野 沢 南	女子個人組手	1位		
	工藤 智子	野 沢 南	女子個人組手	3位		
	杉本 聡子	野 沢 南	女子個人組手	3位		
ホッケー 空手道		野 沢 南	男子	3位		
		松商学園	男子団体型	2位		
	長 野 南	男子個人型	1位			
	中 野	男子個人型	2位			
	野 沢 南	女子団体組手	2位			
	野 沢 南	女子個人組手	1位			
	野 沢 南	女子個人組手	3位			

定 通 バスケットボール バレーボール 卓 球 軟式テニス バドミントン	三村 由紀	野 沢 南	女子団体型	4 位	
		松本深志	女子個人型	1 位	
	和田 宮沢・秋山 牧野・矢澤 板梨 加藤	長 野 西	男子	2 位	
		松本工業	男子	2 位	
		松本筑摩通	女子個人	2 位	
		長 野 西	男子個人	1 位	
		飯田長姫	女子個人	2 位	
		松本筑摩昼	女子団体	1 位	
		松本筑摩昼	女子個人	1 位	
		北 部	女子個人	2 位	

平成元年度

陸 上	長 野 日 大	男子学校対抗	4 位		
	中 野 西	女子学校対抗	3 位		
	野 沢 南	女子学校対抗	4 位		
	中津 敦喜	飯 田 男子100 m	1 位	10' 81	
	青木 直久	松本蠟ヶ崎 男子100 m	3 位	11' 00	
	青木 直久	松本蠟ヶ崎 男子200 m	1 位	21' 61	
	中津 敦喜	飯 田 男子200 m	2 位	21' 67	
	小林 聖	松商学園 男子400 m	3 位	48' 56	
	大沢 康宏	長 野 日 大 男子800 m	1 位	1' 53' 58	
	山田 展行	松本県ヶ丘 男子1500 m	2 位	4' 01' 09	
	松下 学	上伊那農業 男子5000 m	1 位	14' 58' 64	
	田中 正和	上伊那農業 男子5000 m	2 位	14' 58' 79	
	松井 慎二	長 野 日 大 男子110mH	3 位	15' 37	
		長 野 日 大 男子4×400 mリレー	1 位	3' 16' 42	
	小柳 和朗	中野実業 男子走高跳	1 位	2 m	
	丸山 大隆	更級農業 男子走高跳	3 位	1 m 90	
	名取 洋一	岡 谷 南 男子三段跳	3 位	14 m 72	
	手塚 一章	木 ノ 曾 男子砲丸投	2 位	15 m 13	
	佐藤 浩之	野 沢 北 男子円盤投	2 位	44 m 86	
	小林 強	上 田 東 男子やり投	1 位	61 m 54	
	青木 利佳	中 野 西 女子200 m	1 位	24' 72	
	青木 利佳	中 野 西 女子100mH	1 位	14' 59	
	清水 幸	野 沢 南 女子100mH	2 位	15' 06	
	高柳 千帆	木 ノ 曾 女子走高跳	1 位	1 m 65	
	清水 幸	野 沢 南 女子走幅跳	1 位	5 m 79	
	長谷川久美	篠ノ井 女子砲丸投	1 位	11 m 57	
	成田 泰子	長 野 南 女子円盤投	1 位	37 m 08	
		諏訪実業 女子駅伝	2 位	1' 17' 00	
	柔 道	岡村 康裕	岡谷工業 男子軽中量級	3 位	
		小林 桂樹	中野実業 男子中量級	3 位	
	軟式テニス		上田染谷丘 男子団体	2 位	
			阿 智 男子団体	3 位	
	テ ニ ス		松商学園 女子団体	3 位	
	バスケットボール		野 沢 南 女子	3 位	

バレーボール ソフトボール	岡谷工業	男子	1 位		
	豊 科	女子	2 位		
卓 球 バドミントン 新 体 操	伊那弥生丘	女子	3 位		
	松商学園	男子学校対抗	3 位		
	中野実業	男子 〃	3 位		
	長 野 東	男子団体	2 位		
	中 野 西	男子団体	4 位		
	長 野 東	男子個人	3 位		
	諏訪二葉	女子団体	3 位		
	塩 尻	男子団体	1 位		
	田 川	女子団体	2 位		
	長 野 東	男子飛込	3 位		
弓 道	林 靖久	岡 谷 南 男子100 m 平泳	3 位	1' 11' 01	
	林 靖久	岡 谷 南 男子200 m 平泳	3 位	2' 32' 67	
	安斎 光晴	長 野 男子100 m 背泳	1 位	1' 03' 72	
		長 野 日 大 男子400 m リレー	3 位	3' 54' 06	
	宮川 知子	長 野 日 大 女子400 m 自由形	3 位	4' 53' 59	
	宮川 知子	長 野 日 大 女子800 m 自由形	3 位	10' 12' 12	
	石坂いづみ	長 野 日 大 女子200 m 平泳	3 位	2' 48' 56	
	春日麻理子	屋 代 女子100 m 背泳	3 位	1' 11' 22	
	春日麻理子	屋 代 女子200 m 背泳	2 位	2' 30' 34	
	石坂いづみ	長 野 日 大 女子400 m 個人メドレー	2 位	5' 24' 12	
水 泳	青沼英二郎	長 野 東 男子高飛込	2 位		
		松商学園 男子	3 位		
		松本美須ヶ丘 男子	優秀校		
	柳 沢	小 諸 商業 男子個人50kg級	3 位		
	朝倉	小 諸 商業 男子個人68kg級	3 位		
	小林	小 諸 商業 男子個人74kg級	3 位		
		岡 谷 南 男子舵手付きフォア	2 位		
		下諏訪向陽 女子舵手付きフォア	4 位		
		岡 谷 南 男子ナックルフォア	2 位		
		諏訪清陵 男子シングルスカル	3 位		
サ ッ カ ー 登 山 レスリング	下諏訪向陽 女子シングルスカル	3 位			
	永田 真樹	篠ノ井 男子個人60km	1 位		
	塩原 正長	松本工業 1000 m タイムトライアル	1 位		
	山本 社紀	松本工業 4000 m 速度競走	2 位		
	塩原 正長	松本工業 スプリント	1 位		
	津田 和博	松本工業 スプリント	2 位		
		松本工業 イタリアンチームレース	4 位		
		松本工業 4000 m 団体追い抜き競走	4 位		
		松本工業 学校対抗	4 位		
		箕輪工業 男子学校対抗	2 位		
漕 艇	伊 那 北	男子 〃	3 位		
	伊 那 北	女子 〃	2 位		
	沢井 正幸	箕輪工業 男子個人フルーレ	2 位		
	唐沢 一寿	箕輪工業 男子個人フルーレ	3 位		
	鈴木 明子	伊 那 北 女子個人フルーレ	3 位		
	ウエイトリフティング 自 転 車 フェンシング				

ヨット	今井・矢崎 横山・湯田坂 藤原・石山 尾垣・宮坂	茅野 茅野 茅野 諏訪清陵 赤穂	男子スナイブ級 男子FJ級 男子FJ級 女子FJ級 女子	3位 1位 1位 3位 3位	
ホッケー	原田 勇	飯田	男子個人組手	2位	
空手道	坂内 健	松商学園 中野	男子団体型 男子個人型	1位 1位	
	岩間 由紀 朝倉美奈子	野沢南 野沢南	女子団体組手 女子個人組手	1位 2位	
	朝倉美奈子	坂城	女子個人組手	3位	
	百瀬 佳代 鈴木めぐみ	松商学園 松本松南 北	女子団体型 女子個人型 女子個人型	1位 2位 3位	
定通					
バスケットボール		長野西 上田	男子 女子	1位 3位	
バレーボール		松本工業	男子	1位	
卓球	古田 松田	飯田工業 松本筑摩昼	男子個人 女子個人	2位 2位	
バドミントン		長野野 長野西	男子団体 女子団体	3位 3位	
軟式テニス	堀田 宮沢・秋山 小山・乾	長野西 長野西 松本筑摩昼	男子個人 男子個人 女子個人	2位 1位 2位	

平成2年度

陸上		篠ノ井	男子学校対抗	2位	
	窪田 英治	伊那弥生丘	男子200 m	2位	22' 03
	鮎井 篤	松本美須々	男子800 m	1位	1' 52' 67
	鮎井 篤	松本美須々	男子1500 m	1位	3' 58' 92
	赤羽 洋道	上伊那農業	男子5000 m	3位	15' 07' 19
	相沢 伸也	野沢北	男子400 mH	1位	52' 59
	松山 克敏	飯田工業	男子3000 m SC	1位	9' 13' 70
	木下 健	長野野	男子3000 m SC	2位	9' 15' 85
	小柳 和朗	中野実業	男子走高跳	1位	2 m15
	堀内 宗和	篠ノ井	男子走高跳	2位	2 m12
	塚田 浩道	長野南	男子走幅跳	3位	7 m00
	堀内 宗和	篠ノ井	男子三段跳	2位	14 m92
	三浦 理	篠ノ井	男子砲丸投	1位	14 m88
	三浦 理	篠ノ井	男子ハンマー投	1位	53 m44
	石原さつき	諏訪実業	女子3000 m	2位	9' 52' 99
	手塚亜希子	松本県ヶ丘	女子3000 m	3位	9' 59' 04
	飯塚 美穂	岡谷南	女子100 mH	3位	15' 20
	堀 美帆	伊那北	女子高跳	2位	1 m65
	早川 晶子	須坂東	女子高跳	3位	1 m60

柔道	飯塚 美穂	岡谷南	女子走幅跳	2位	5 m65
		上伊那農業	男子駅伝	1位	2' 10' 49
		諏訪実業	女子駅伝	1位	1' 13' 24
	南雲 智則	松本第一	男子個人軽量級	3位	
	小林 桂樹	中野実業	男子個人中量級	2位	
バスケットボール		須坂	男子	4位	
		佐久	女子	3位	
バレーボール		岡谷工業	男子	1位	
		長野日大	女子	3位	
		松商学園	女子	3位	
ハンドボール		屋代	男子	3位	
		佐久	女子	3位	
ソフトボール		豊科	女子	2位	
		伊那弥生丘	女子	3位	
卓球		松商学園	女子学校対抗	3位	
	佐藤	松商学園	男子個人シングルス	1位	
	猿田・柳沢	松商学園	女子個人ダブルス	3位	
	志水・青木	松商学園	男子個人ダブルス	3位	
体操		長野日大	男子団体総合	2位	
		文大長野	女子団体総合	1位	
	岩井 涼子	文大長野	女子個人総合	1位	
	中嶋 真弓	文大長野	女子個人総合	2位	
新体操		長野東	男子団体	3位	
		中野西	男子団体	4位	
		塩尻	女子個人	3位	
弓道	永原 三佳	岡谷東	男子団体	3位	
		飯田女子	女子団体	1位	
		明科	女子団体	2位	
		長野日大	女子総合	1位	
水泳		長野吉田	男子100 m自由形	1位	55' 55
	徳永 啓	長野吉田	男子200 m自由形	2位	2' 01' 07
	徳永 啓	東海第三	男子100 m平泳	1位	1' 09' 36
	宮坂 大輔	東海第三	男子200 m平泳	1位	2' 29' 39
	宮川 知子	長野日大	女子400 m自由形	2位	4' 50' 83
	森口 久枝	諏訪実業	女子800 m自由形	3位	9' 54' 53
	石坂いづみ	長野日大	女子100 m平泳	1位	1' 16' 11
	石坂いづみ	長野日大	女子200 m平泳	1位	2' 41' 95
	今村 弥生	飯田風越	女子200 mバタフライ	3位	2' 29' 49
	春日麻理子	屋代	女子100 m背泳ぎ	2位	1' 09' 71
	春日麻理子	屋代	女子200 m背泳ぎ	2位	2' 28' 24
		長野日大	女子400 mメドレーリレー	1位	4' 47' 04
		松商学園	男子	3位	
サッカー		須坂			
登山					優秀校
レスリング	大工原	小諸商業	男子個人46kg級	3位	
	高山	北佐久農業	男子個人58kg級	3位	
	田中	小諸	男子個人115 kg級	3位	
漕艇		岡谷南	男子舵手付きフォア	3位	

自転車 フェンシング ヨット ホッケー 空手道	共田	岡谷南	男子シングルスカル	2位
	為田学	岡谷南	男子ナックルフォア	4位
	為田学	池田工業	1000mタイムトライアル	1位
		池田工業	スプリントレース	2位
		伊那北	女子団体	2位
	縣真由実	伊那北	女子個人フルーレ	3位
	沢田・東	茅野	男子スナイプ級	3位
	湯田坂・小池	茅野	男子FJ級	1位
	笠原・伊藤・新橋	茅野	女子FJ級	2位
		赤穂	女子	4位
		松商学園	男子団体組手	2位
	深沢和紀	松商学園	男子個人組手	1位
		松商学園	男子団体型	1位
	田中篤志	松商学園	男子個人型	3位
		松商学園	女子団体組手	3位
	滝沢めぐみ	田川	女子個人組手	1位
	小林	小諸	女子団体型	2位
	朝倉美奈子	松商学園	女子団体型	3位
	滝沢めぐみ	坂城	女子個人型	1位
	小林	田川	女子個人型	3位
		上田	ライトミドル級	1位
ボクシング 定通		飯田長姫	男子	2位
バスケットボール		松本工業	男子	2位
バレーボール		飯田長姫	女子	2位
		長野野	男子	3位
		長野西	女子	3位
バドミントン	岩崎	長野野	男子個人	3位
	樋口	長野西	女子個人	3位
		飯田長姫	男子	3位
		松本筑摩昼	女子	1位
卓球	松田	松本筑摩昼	女子個人	3位
	高橋	小諸商業	女子個人	3位
	岡村	中野実業	男子個人中量級	1位
		長野西	男子	2位
		長野吉田	男子団体	1位
柔道 軟式野球 軟式テニス		長野西	女子団体	2位
	徳武・西沢	長野西	女子個人	3位
	小山・富士原	松本筑摩昼	女子個人	1位

平成3年度

陸上		篠ノ井	男子学校対抗	2位
		諏訪実業	女子学校対抗	2位
	上田孝行	諏訪実業	男子800m	2位 1'52'40
	横田真一	長野南	男子800m	3位 1'53'29
	松山克敏	飯田工業	男子5000m	1位 14'59'57
	瀬戸八州	上伊那農	男子5000m	3位 15'02'66
	本田速人	野沢南	男子400mH	3位 52'80
	松山克敏	飯田工業	男子3000mSC	1位 9'15'27
	松本剛	屋代	男子3000mSC	3位 9'25'72
		東海第三	男子4×400mリレー	4位 3'19'
	堀内昌明	長野日大	男子走高跳	2位 2m06
	佐々木恭幸	赤穂	男子棒高跳	3位 4m30
	小出隆太	長野日大	男子三段跳	3位 14m58
	三浦理	篠ノ井	男子砲丸投	1位 15m81
	三浦理	篠ノ井	男子ハンマー投	1位 55m73
	田中宗次	大町北	男子やり投	2位 57m36
	小林敏彦	上田千曲	男子やり投	3位 56m75
	高橋美貴子	阜月	女子100m	3位 12'35
	宮下三華	諏訪実業	女子800m	1位 2'12'37
	手塚亜希子	松本県ヶ丘	女子800m	3位 2'14'48
	石田さつき	諏訪実業	女子3000m	1位 9'27'10
	宮下三華	諏訪実業	女子3000m	2位 9'31'31
	手塚亜希子	松本県ヶ丘	女子3000m	3位 9'33'31
	高橋京	松本県ヶ丘	女子走高跳	2位 1m60
	掘奈帆	伊那北	女子走高跳	3位 1m60
	篠原みずき	松本深志	女子走高跳	3位 1m60
	山本晴美	長野南	女子やり投	1位 43m58
		上伊那農業	男子駅伝	1位 2'10'51'
		諏訪実業	女子駅伝	1位 1'13'23'
柔道	百瀬秀夫	松本第一	男子個人軽量級	3位
	山岸正裕	中野実業	男子個人軽重量級	3位
バレーボール		岡谷工業	男子	1位
		長野日大	男子	2位
		長野日大	女子	2位
		東海第三	女子	3位
卓球		松商学園	男子学校対抗	1位
	小島・青嶋	松商学園	男子個人ダブルス	1位
	北原・市原	松商学園	男子個人ダブルス	2位
	柳沢・三島	松商学園	女子個人ダブルス	3位
	市原	松商学園	男子個人シングルス	1位
	小島	松商学園	男子個人シングルス	2位
	三島	松商学園	女子個人シングルス	3位
体操		長野日大	男子団体総合	2位
		文大長野	女子団体総合	3位
	中嶋真弓	文大長野	女子個人総合	1位
新体操		長野東	男子団体	3位

弓 道	宮下 尚幸 福沢由起子 木村亜紀子	諏訪 二葉	女子団体	4位			
		阿 智	男子個人	2位			
水 泳	向山 剛史	飯田 女子	女子個人	1位			
		田 川	女子個人	3位			
		飯田 女子	女子団体	1位			
		諏訪 二葉	女子総合	1位			
		長 野 商	女子飛込	4位			
		長 野 東	男子水球	4位			
		東海 第三	男子200 m バタフライ	3位	2' 15" 39		
		長野 日大	男子400 m リレー	4位	3' 57" 22		
		長野 日大	男子800 m リレー	4位	8' 28" 79		
		小林 弘味	諏訪 二葉	女子100 m 自由形	2位	1' 03" 73	
		伊部 典子	飯 田	女子200 m 自由形	3位	2' 18" 25	
		小林 弘味	諏訪 二葉	女子100 m バタフライ	2位	1' 07" 61	
			諏訪 二葉	女子400 m リレー	3位	4' 27" 79	
			諏訪 二葉	女子400 m メドレーリレー	3位	4' 50" 83	
			長野 日大	女子400 m メドレーリレー	4位	4' 55" 55	
		サッカー 登山 レスリング 漕 艇	大井	松商学園	男子	3位	
				池田工業		優秀校	
北佐久農業	男子個人58kg級			2位			
岡谷 南	男子舵手付きフォア			4位			
岡谷 東	女子ナックルフォア			2位			
岡谷 南	男子ナックルフォア			1位			
ウエイトリフティング フェンシング	清沢 英彦			松商学園	男子90kg級	1位	
	伊 那 北			男子学校対抗	4位		
ヨ ッ ト	伊 那 北			女子学校対抗	2位		
	唐沢 智之			箕輪工業	男子個人フルーレ	1位	
	赤羽 恵理	伊 那 北	女子個人フルーレ	1位			
	東・岩田・矢澤	茅 野	男子スナイブ級	4位			
	小池・藤森	茅 野	男子FJ級	4位			
	矢崎・河原田・藤森	茅 野	女子スナイブ級	4位			
	尾垣・宮坂	諏訪 清陵	女子FJ級	2位			
	ホ ッ ケ ー 空 手 道	赤 穂	女子	3位			
		屋 代	男子団体組手	3位			
		山田 高照	松商学園	男子個人組手	3位		
		松商学園	男子団体型	2位			
内川 勲		松本蟻ヶ崎	男子個人型	2位			
笠原 鉄平		松商学園	男子個人型	3位			
		松商学園	女子団体組手	1位			
滝沢めぐみ		田 川	女子個人組手	2位			
		小 諸	女子団体型	4位			
		朝倉美奈子	坂 城	女子個人型	1位		
定 通	滝沢めぐみ	田 川	女子個人型	3位			
		長 野 西	女子	3位			
		松本工業	男子	1位			
		諏訪実業	男子団体	2位			

軟式野球 卓球 軟式テニス	竹花	上 田	女子個人シングルス	3位	
		長野 西	男子	2位	
柔 道	徳武・原山 岡村 山浦	松本筑摩屋	女子団体	2位	
		長野 吉田	男子団体	1位	
		長野 吉田	男子個人	3位	
		中野実業	男子個人中量級	1位	
		中野実業	男子個人重量級	2位	

平成4年度

陸 上	浜島 雅典	伊那弥生丘	男子100 m	3位	10' 82	
	塚田 英彦	上 田 東	男子400 m	1位	48' 89	
	一志 学	池田工業	男子400 m	2位	49' 15	
	一志 学	池田工業	男子800 m	2位	1' 53' 44	
	名取 和訓	諏訪 二葉	男子800 m	3位	1' 54' 50	
	八木陽一郎	諏訪 二葉	男子1500 m	2位	3' 57' 66	
	臼田 茂	野 沢 南	男子400 m H	1位	52' 72	
	藤田 泰之	須 坂	男子400 m H	3位	53' 86	
		東海 第三	男子4 × 400 m リレー	2位	3' 19' 50	
	山田 修次	松 川	男子砲丸投	2位	15 m 48	
	上条 靖男	長 野 東	男子円盤投	3位	46 m 24	
	傳田 明	長 野 南	男子ハンマー投	3位	50 m 64	
	生玉小百合	中野実業	女子400 m	3位	57' 49	
	宮下 三華	諏訪実業	女子800 m	1位	2' 15' 67	
	小池まなみ	東海 第三	女子800 m	3位	2' 18' 24	
	宮下 三華	諏訪実業	女子3000 m	1位	9' 43' 26	
	手塚亜希子	松本県ヶ丘	女子3000 m	2位	9' 43' 91	
	山本 晴美	佐 久	女子4 × 100 m リレー	4位	49' 29	
	柔 道	長野 南	女子やり投	1位	48 m 08	
		東海 第三	男子駅伝	4位	2' 12' 56	
諏訪実業		女子駅伝	4位	1' 14' 16		
上條 順次		松商学園	男子個人軽中量級	1位		
平沢 武夫		東海 第三	男子個人重量級	1位		
町田 育哉		長野 日大	男子個人	2位		
剣 道		松商学園	女子団体	3位		
		松商学園	女子団体	3位		
軟式テニス		大沼・黒河内	赤 穂	男子個人	1位	
			松商学園	男子団体	2位	
テ ニ ス		松商学園	女子団体	2位		
		佐 久	女子	1位		
バスケットボール バレーボール		岡谷工業	男子	1位		
		長野 日大	男子	2位		
ソフトボール 卓 球		伊那弥生丘	男子	3位		
		松商学園	男子学校対抗	1位		
	新井・村上	松商学園	男子個人ダブルス	1位		
	市原・尾日向	松商学園	男子個人ダブルス	3位		
	市原	松商学園	男子個人シングルス	1位		

体 操	中嶋 真弓 岩井 涼子	文大長野	女子団体総合	1位	
		文大長野	女子個人総合	1位	
新 体 操		文大長野	女子個人総合	2位	
		中野西	男子団体	2位	
		長野東	男子団体	3位	
弓 道	竹花 匡史 大島 征二	諏訪二葉	女子団体	1位	
		屋代	男子個人	1位	
		屋代	男子個人	3位	
		屋代	男子団体	3位	
水 泳	宮坂 大輔 宮坂 大輔 宮坂 貴之 松沢 力 向山 剛史 小平 順一 原 栢	赤穂	女子団体	3位	
		東海第三	男子総合	2位	
		長野日大	女子総合	4位	
		長野東	男子水球	4位	
		東海第三	男子100 m平泳	2位	1' 08" 63
		東海第三	男子200 m平泳	3位	2' 31" 64
		東海第三	男子200 m背泳	2位	2' 14" 70
		飯田	男子100 mバタフライ	3位	1' 00" 89
		東海第三	男子200 mバタフライ	3位	2' 14" 81
		岡谷工業	男子200 m個人メドレー	3位	2' 18" 94
レスリング	中沢 山岸 二見 高見沢	東海第三	男子400 mメドレーリレー	2位	4' 09" 29
		長野日大	女子200 m自由形	2位	2' 16" 76
		長野日大	女子400 mリレー	4位	4' 22" 58
		長野日大	女子400 mメドレーリレー	2位	4' 45" 77
		北佐久農業	男子学校対抗	3位	
		北佐久農業	男子個人46kg級	3位	
		小諸	男子個人58kg級	3位	
		北佐久農業	男子個人63kg級	3位	
		小諸	男子個人68kg級	3位	
		漕 艇		岡谷南	男子舵手付きフォア
諏訪清陵	女子舵手付きフォア			2位	
岡谷南	男子ダブルスカル			1位	
諏訪清陵	男子ダブルスカル			2位	
ウエイトリフティング	内山 正 田中 宏樹	岡谷南	女子ダブルスカル	1位	
		篠ノ井	男子52kg級	1位	
フェンシング		松商	男子52kg級	3位	
		伊那北	男子学校対抗	4位	
		伊那北	女子学校対抗	3位	
		伊那北	男子個人フルーレ	3位	
ヨ ッ ト	塩沢 径 原・藤森 河原田・矢崎 白川・小泉	茅野	男子スナイプ級	4位	
		茅野	女子スナイプ級	2位	
		茅野	女子スナイプ級	4位	
ホ ッ ケ ー 空 手 道	赤穂 松商学園 樋口 大樹 笠原 鉄平	赤穂	女子	4位	
		松商学園	男子団体組手	3位	
		北 部	男子個人組手	3位	
		松商学園	男子団体型	1位	
		松商学園	男子個人型	1位	

定 通	櫻井 功 滝沢めぐみ 滝沢めぐみ 杉山 裕美	松本工業	男子個人型	3位			
		田川	女子個人組手	2位			
		田川	女子団体型	1位			
		松商学園	女子団体型	3位			
		田川	女子個人型	1位			
		松本深志	女子個人型	2位			
		バスケットボール	東沢	飯田長姫	男子	1位	
				松本筑摩昼	女子	3位	
				長野吉田	男子	2位	
				諏訪実業	男子団体	3位	
バレーボール バドミントン	東沢	長野	女子個人シングルス	3位			
		松本筑摩夜	男子	4位			
軟式野球 卓球	水澤	松本筑摩昼	女子団体	2位			
		上田千曲	男子個人	3位			
軟式テニス	壬生・宮沢 野池・塚田 岡村	長野吉田	男子団体	1位			
		飯田工業	男子個人	1位			
柔道 アーチェリー	宮本 敏弘	長野吉田	男子個人	2位			
		中野実業	男子個人中量級	1位			
		篠ノ井	男子個人	3位			
		篠ノ井	男子団体	2位			
		篠ノ井	女子団体	1位			

平成5年度

陸 上	松下 昌靖 清水 広樹 塚田 英彦 塚田 英彦 萩原 勇二 浅川 貴秀 田幸 将徳 西沢 洋務 西沢 洋務 吉田 芳伸 河野 雅展 山本 晋一 神津 英人 等々力功治 等々力功治 日向 健太 小野 政則 日下部恵理 矢沢 悦子	篠ノ井	男子総合	3位	
		東海第三	男子総合	4位	
		松川	男子100 m	1位	10' 89
		長野吉田	男子100 m	2位	10' 90
		上田東	男子200 m	1位	21' 60
		上田東	男子400 m	1位	47' 67
		長野南	男子400 m	2位	48' 78
		田川	男子400 m	3位	48' 92
		中野実業	男子800 m	3位	1' 54' 79
		東海第三	男子1500 m	1位	3' 54' 86
		東海第三	男子5000 m	3位	14' 52' 70
		東海第三	男子400 m H	3位	55' 61
		東海第三	男子3000 m SC	2位	9' 18' 76
		東海第三	男子3000 m SC	3位	9' 19' 66
		岩村田	男子5000 m W	2位	22' 45' 09
		野沢南	男子4 × 100 m リレー	3位	43' 07
		篠ノ井	男子走高跳	2位	2 m 00
		篠ノ井	男子三段跳	3位	14 m 67
		岩村田	男子円盤投	1位	48 m 06
		篠ノ井	男子ハンマー投	1位	54 m 58
東海第三	女子200 m	3位	25' 24		
東海第三	女子400 m	2位	58' 04		

柔 道	穂刈 金治	佐 久	女子4 ×100 mリレー	4位	49' 28
		東海第三	男子駅伝	1位	2' 10' 27
剣 道	中山 三雄	中野実業	男子個人軽量級	2位	
		中野実業	男子個人中量級	3位	
ソフトテニス	小山 猛	松商学園	男子個人	3位	
		松商学園	女子個人	2位	
テ ニ ス	三澤 良子	飯田風越	女子団体	2位	
		松商学園	女子団体	3位	
バレーボール		松商学園	男子団体	1位	
		上田東	男子団体	3位	
ハンドボール		松商学園	女子団体	3位	
		岡谷工業	男子	1位	
卓 球		松商学園	男子	2位	
		長野日大	男子	3位	
		松商学園	女子	3位	
		屋 代	男子	3位	
		屋 代	女子	3位	
		松商学園	男子学校対抗	2位	
		松商学園	女子学校対抗	3位	
		松商学園	女子個人ダブルス	1位	
		清水・村上	男子個人ダブルス	3位	
		秋葉・船戸	女子個人ダブルス	1位	
		小松・田中	女子個人ダブルス	2位	
		青木・高沢	男子個人シングルス	1位	
		清水	男子個人シングルス	3位	
		村上	女子個人シングルス	3位	
バドミントン		松商学園	男子学校対抗	3位	
		中野実業	女子団体総合	3位	
体 操		文大長野	男子団体	1位	
		中野西	女子団体	4位	
新 体 操		長野清泉	男子団体	3位	
		長野東	男子個人	2位	
弓 道		中野西	男子個人	3位	
		内藤 伸也	男子個人	2位	
		原田慎一郎	男子個人	1位	
		下島はづき	女子個人	1位	
		伊那西	女子団体	1位	
		諏訪二葉	女子団体	2位	
水 泳		諏訪二葉	男子総合	2位	
		長野日大	男子総合	3位	
		東海第三	女子総合	1位	
		長野日大	男子50 m自由形	1位	24' 82
		橋爪 俊成	男子100 m自由形	3位	54' 94
		橋爪 俊成	男子200 m自由形	3位	2' 02' 26
		小林 隼人	男子100 m平泳	1位	1' 08' 38
		海野 裕紀	男子200 m平泳	2位	2' 30' 72
		杉田 修一	男子100 m背泳	2位	1' 02' 03
		宮坂 貴之	男子200 m背泳	1位	2' 13' 06
		宮坂 貴之	男子100 mバタフライ	3位	1' 00' 10
		小坂 寛之			

		小平 順一	男子200 m個人メドレー	2位	2' 17' 59
		小坂 寛之	男子400 m個人メドレー	3位	4' 52' 05
		岡谷工業	男子400 mリレー	2位	3' 47' 41
		大 町	男子800 mリレー	1位	8' 18' 24
		長野日大	男子400 mメドレーリレー	2位	4' 11' 66
		長野日大	女子200 m自由形	3位	2' 14' 34
		原 梢	女子100 m平泳	2位	1' 17' 34
		小池 律子	女子200 m平泳	3位	2' 47' 57
		品田 理絵	女子100 m背泳	1位	1' 06' 22
		保坂真理子	女子200 m背泳	2位	2' 24' 19
		保坂真理子	女子100 mバタフライ	3位	1' 07' 80
		原 梢	女子200 mバタフライ	1位	2' 27' 76
		向山 恭子	女子200 m個人メドレー	2位	2' 30' 23
		小平 香織	女子400 m個人メドレー	3位	5' 21' 00
		小平 香織	女子400 mリレー	1位	4' 17' 19
		長野日大	女子400 mメドレーリレー	1位	4' 40' 10
レスリング		堀切 小	男子個人46kg級	2位	
		吉田 上田西	男子個人54kg級	3位	
		石田 上田西	男子個人63kg級	3位	
		大井 北佐久農業	男子個人68kg級	2位	
		高見沢 小	男子個人68kg級	3位	
		田守 上田西	男子個人74kg級	1位	
漕 艇		岡谷南	男子舵手付きフォア	3位	
		諏訪清陵	男子舵手付きフォア	4位	
		諏訪清陵	男子ダブルスカル	4位	
		諏訪清陵	女子ダブルスカル	2位	
ウエイトリフティング		伊藤 賢一	男子70kg級	1位	
		深沢 悟	男子99kg級	1位	
		龍田 浩明	男子59kg級	2位	
		松村 洋	男子91kg級	3位	
フェンシング		松商学園	男子学校対抗	2位	
		伊那北	男子学校対抗	2位	
		野沢 紀子	女子個人フルーレ	2位	
		庄村 康人	男子個人サーブル	2位	
ヨ ッ ト		八幡・塩沢	男子スナイプ級	2位	
		赤 穂	女子	3位	
ホ ッ ケ ー		松商学園	男子団体組手	1位	
		山田 高照	男子個人組手	1位	
空 手 道		櫻井 功	男子個人組手	3位	
		櫻井 功	男子団体型	1位	
		松本工業	男子個人型	1位	
		笠原 鉄平	男子個人型	3位	
		松商学園	女子団体組手	2位	
		松商学園	女子団体型	1位	
		松本深志	女子団体型	3位	
		中野西	女子団体型	4位	
		杉山 裕美	女子個人型	1位	

ボクシング	酒井 良子	中野 西	女子個人型	3位		
	海藤 丸子	丸 実業	男子個人モスキート級	1位		
	鷺見 佐久	久	男子個人フライ級	2位		
	及木 上田	栄谷	男子個人ウェルター級	2位		
	定 通					
		バスケットボール	上 田	女子	3位	
		バレーボール	長野 吉田	男子	1位	
	バドミントン		長野 吉田	女子	2位	
			諏訪 実業	男子団体	2位	
	卓 球	館山	諏訪 実業	男子個人シングルス	3位	
仲井		飯田 長姫	女子個人シングルス	3位		
ソフトテニス		長野 吉田	男子個人	2位		
		飯田 工業	男子団体	3位		
アーチェリー	塚田・野池	篠ノ井	女子団体	1位		

6年度

陸 上		長野 日大	男子総合	3位	
		諏訪 実業	女子総合	1位	
	山本 彰一	長野 日大	男子400 m	1位	49' 12
	目黒 武志	長野 日大	男子400 m	3位	49' 70
	田幸 将徳	中野 実業	男子800 m	3位	1' 54' 70
	帯刀 秀幸	大 町	男子1500 m	1位	4' 05' 26
	帯刀 秀幸	大 町	男子5000 m	1位	14' 43' 47
	河野 雅展	東海 第三	男子3000 m SC	2位	9' 21' 83
	伊藤 和也	松 川	男子5000 m W	1位	21' 33' 53
	大井 茂	須 坂	男子5000 m W	2位	21' 56' 49
		長野 日大	男子4 × 400 m リレー	1位	3' 18' 29
		伊 那 北	男子4 × 400 m リレー	3位	3' 20' 01
	上杉 丈夫	松本 県ヶ丘	男子棒高跳	3位	4 m 50
	伊藤 健一	飯 田	男子走幅跳	1位	7 m 41
	石川 千年	篠ノ井	男子ハンマー投	1位	54 m 48
	岩井 純徳	篠ノ井	男子やり投	3位	58 m 68
	田中 美美	諏訪 実業	女子100 m	1位	12' 16
	日下部 恵理	東海 第三	女子200 m	1位	25' 38
	田中 美美	諏訪 実業	女子200 m	2位	25' 79
	日下部 恵理	東海 第三	女子400 m	1位	55' 78
	篠原 深雪	諏訪 実業	女子400 m	2位	55' 79
	桃沢 みゆき	松 川	女子100 m H	3位	14' 56
	庄田 真由美	阜 月	女子3000 m W	2位	14' 32' 69
		諏訪 実業	女子4 × 100 m リレー	1位	48' 24
	山岸 久美子	野 沢 北	女子走幅跳	2位	5 m 86
	中山 裕子	高 遠	女子砲丸投	1位	12 m 56
	長崎 志保	諏訪 実業	女子円盤投	2位	36 m 74
	浅見 明子	大 町	女子やり投	3位	40 m 38
		東海 第三	男子駅伝	1位	2' 13' 22
		上伊那 農業	男子駅伝	3位	2' 14' 19

柔 道		諏訪 実業	女子駅伝	2位	1' 14' 29	
		長野 日大	女子駅伝	3位	2' 15' 58	
		松本 第一	女子団体	3位		
	松沢 博和	松本 第一	男子個人軽量級	3位		
	高見沢 崇	佐 久	男子個人軽量級	3位		
	上原 英樹	東海 第三	男子個人軽中量級	1位		
	高山 雄太	松商 学園	男子個人中量級	1位		
	中山 三雄	中野 実業	男子個人軽重量級	1位		
	藤原 慎吾	長野 日大	男子個人	3位		
	三澤 良子	松商 学園	女子個人	1位		
剣 道		松商 学園	女子団体	3位		
		阿 智	女子団体	3位		
	竹下・西窪	松商 学園	女子個人	3位		
		松商 学園	男子団体	2位		
	テ ニ ス	松商 学園	男子	4位		
	バスケットボール	松商 学園	男子	1位		
	バレーボール	岡谷 工業	男子	1位		
		松本 松南	女子	3位		
	ハンドボール	屋 代	女子	3位		
	卓 球	松商 学園	男子学校対抗	1位		
	井上・村上	松商 学園	男子個人ダブルス	2位		
	中田・小林	松商 学園	女子個人ダブルス	3位		
体 操		文大 長野	女子団体総合	2位		
		文大 長野	女子個人総合	2位		
	塚田 昌代	長 野 東	男子団体	3位		
		飯田 女子	女子個人	1位		
		長野 日大	男子団体	3位		
		松 代	女子団体	2位		
		長野 日大	男子総合	1位		
		東海 大三	男子総合	4位		
		長野 日大	女子総合	1位		
		東海 大三	女子総合	2位		
新 体 操		長 野 東	男子水球	3位		
		橋爪 俊成	東海 大三	男子50 m 自由形	1位	24' 51
		横井 正典	佐 久	男子50 m 自由形	2位	25' 16
		橋爪 俊成	東海 大三	男子100 m 自由形	2位	54' 88
		宮沢 正史	長野 日大	男子100 m 自由形	3位	56' 67
		小林 隼人	長野 日大	男子200 m 自由形	3位	2' 01' 33
		北川原 竜大	長野 日大	男子200 m 平泳	2位	2' 31' 65
		杉田 修一	大 町	男子200 m 平泳	3位	2' 32' 86
		清水 悟	長野 日大	男子100 m 背泳	1位	1' 01' 08
		丹下 智幸	諏訪 二葉	男子100 m 背泳	3位	1' 01' 85
水 泳		丹下 智幸	男子200 m 背泳	1位	2' 13' 31	
		清水 悟	長野 日大	男子200 m 背泳	3位	2' 13' 70
		小山 裕	松 代	男子100 m バタフライ	3位	59' 09
		小坂 寛之	大 町	男子200 m 個人メドレー	1位	2' 13' 96
		小坂 寛之	大 町	男子400 m 個人メドレー	1位	4' 48' 77
		長野 日大	男子400 m リレー	1位	3' 45' 93	

レスリング	藤本 文香 保坂真理子 藤本 文香 保坂真理子 勝田 香織 小平 香織	東海大三	男子400 mリレー	4位			
		長野日大	男子800 mリレー	2位	3' 50' 46		
		長野日大	男子400 mメドレーリレー	1位	8' 21' 91		
		大町	男子400 mメドレーリレー	4位	4' 07' 65		
		東海大三	女子50 m自由形	3位	4' 19' 16		
		伊那西	女子100 m背泳	1位	28' 67		
		東海大三	女子100 m背泳	2位	1' 06' 69		
		伊那西	女子200 m背泳	2位	1' 07' 62		
		長野日大	女子200 m背泳	3位	2' 20' 25		
		東海大三	女子400 m個人メドレー	2位	2' 31' 27		
		長野日大	女子400 mリレー	2位	5' 19' 99		
		東海大三	女子400 mリレー	4位	4' 15' 83		
		長野日大	女子400 mメドレーリレー	1位	4' 18' 72		
		上田西	男子学校対抗	1位	4' 39' 77		
		小諸	男子個人46kg級	2位			
		漕 艇	堀切 吉沢 竹花 三井 石田 大井 田守 竹内 塚田	北佐久農業	男子個人46kg級	3位	
				上田西	男子個人58kg級	1位	
北佐久農業	男子個人58kg級			3位			
上田西	男子個人63kg級			1位			
北佐久農業	男子個人68kg級			1位			
上田西	男子個人74kg級			1位			
北佐久農業	男子個人115 kg級			1位			
上田西	男子個人115 kg級			3位			
諏訪清陵	女子舵手付きフォア			3位			
岡谷南	女子舵手付きフォア			4位			
諏訪清陵	女子ダブルスカル			1位			
ウエイトリフティング	竹田 哲章 中尾 久輝 塚田 和広 寺沢 哲也			篠ノ井	男子70kg級	1位	
				松商	男子59kg級	2位	
				篠ノ井	男子76kg級	2位	
				篠ノ井	男子83kg級	3位	
				篠ノ井	男子学校対抗	3位	
				伊那北	男子学校対抗	4位	
		伊那北	女子学校対抗	4位			
		赤穂	女子	3位			
		松商学園	男子団体組手	1位			
		松商学園	男子団体型	3位			
		フェンシング	小島 庸稔	松商学園	男子個人型	3位	
				松商学園	女子団体組手	1位	
				野沢南	女子団体組手	3位	
				松本松南	女子団体組手	3位	
				松本松南	女子個人組手	1位	
				松本松南	女子個人組手	3位	
				松商学園	女子団体型	1位	
野沢南	女子団体型			3位			
ホッケー	高田 矢崎			丸子実業	男子個人モスキート級	1位	
				丸子実業	男子個人ライトミドル級	2位	
空手道	海藤 竹内						
ボクシング							

定 通	バスケットボール バレーボール バドミントン 卓 球 ソフトテニス 柔 道 アーチェリー	鈴木 仲井 小林 宮沢・近藤 和田・野池 伝田・長田 井沢	飯田長姫	男子	2位	
			上 田	女子	3位	
			長野吉田	男子	1位	
			長野商業	女子団体	3位	
			岡谷工業	男子個人シングルス	2位	
			中野実業	男子団体	3位	
			赤 穂	女子団体	3位	
			飯田長姫	女子個人シングルス	2位	
			中野実業	男子個人シングルス	3位	
			長野吉田	男子団体	3位	
			飯田工業	男子個人	1位	
			長野吉田	男子個人	2位	
			長野西	女子個人	3位	
			箕輪工業	男子個人	3位	
			篠ノ井	女子団体	4位	

平成7年度

陸 上	大矢 陽一 高橋 邦幸 大矢 陽一 市瀬 重明 小林 修 田幸 将徳 市瀬 重明 黒岩 新弥 松下 伸太 上杉 丈夫 唐沢 健 近藤 重昭 長谷川幸二 矢野 沙織 滝沢 美保 滝沢 恵美 細萱 美帆 広瀬 喜広 土屋 元之 百瀬 渡 百瀬 善規 藤原久美子	長野日大	男子総合	2位			
		中野実業	男子総合	4位			
		松本深志	男子100 m	3位	10' 71		
		長野日大	男子200 m	2位	21' 80		
		松本深志	男子200 m	3位	21' 82		
		飯 田	男子400 m	2位	49' 04		
		長野日大	男子400 m	3位	49' 13		
		中野実業	男子800 m	2位	1' 55' 76		
		飯 田	男子800 m	3位	1' 56' 25		
		中野実業	男子1500 m	1位	4' 04' 45		
		上伊那農業	男子3000 m SC	3位	9' 18' 74		
		長野日大	男子4 × 400 mリレー	2位	3' 18' 30		
		中野実業	男子4 × 400 mリレー	4位	3' 20' 06		
		松本県ヶ丘	男子棒高跳	1位	4 m 96		
		上伊那農業	男子棒高跳	2位	4 m 60		
		長野日大	男子三段跳	2位	14 m 50		
		篠ノ井	男子円盤投	2位	48 m 74		
		長 野	女子400 m	3位	57' 68		
		諏訪実業	女子3000 m	2位	9' 46' 55		
		伊那弥生丘	女子3000 m	3位	9' 49' 10		
		田 川	女子100 m H	2位	14' 58		
		松本第一	女子団体	2位			
		松本第一	男子個人軽量級	2位			
		野沢南	男子個人軽量中級	2位			
		松本第一	男子個人中量級	2位			
		松本第一	男子個人軽重量級	3位			
		赤 穂	女子個人	3位			
		柔 道					
		剣 道					

ソフトテニス	松商学園	女子団体	2位	
テニス	佐々木・杉野	阿智 男子個人	1位	
バレーボール	松商学園	男子団体	1位	
	松商学園	女子団体	3位	
	岡谷工業	男子	1位	
	長野日大	男子	2位	
	長野日大	女子	1位	
	松本松南	女子	2位	
	松商学園	女子	3位	
卓球	松商学園	男子学校対抗	1位	
	松商学園	女子学校対抗	3位	
	井上・星川	松商学園 男子個人ダブルス	2位	
	井上	松商学園 男子個人シングルス	2位	
	高須	松商学園 男子個人シングルス	3位	
体操	小林	松商学園 女子個人シングルス	3位	
新体操		長野日大 男子団体総合	4位	
		文大長野 女子団体総合	4位	
		長野東 男子団体	3位	
弓道	大井もも子	長野清泉 女子個人	2位	
		屋代 男子団体	2位	
		松代 女子団体	2位	
		伊那西 女子団体	3位	
水泳	福島里美	飯田女子 女子個人	1位	
		長野日大 男子総合	1位	
		東海第三 女子総合	3位	
		松代 男子飛込総合	2位	
	小林隼人	長野日大 男子200m自由形	1位	2'00"94
	宮崎新太郎	須坂 男子200m自由形	3位	2'03"19
	小林隼人	長野日大 男子400m自由形	2位	4'17"82
	清水悟	長野日大 男子100m背泳	1位	58"79
	黒沢晃弘	佐久長聖 男子100m背泳	2位	1'00"51
	清水悟	長野日大 男子200m背泳	1位	2'08"48
	黒沢晃弘	佐久長聖 男子200m背泳	2位	2'08"96
	早田和重	田川 男子100mバタフライ	1位	58"16
	丹下智幸	諏訪二葉 男子200m個人メドレー	1位	2'12"41
	丹下智幸	諏訪二葉 男子400m個人メドレー	1位	4'45"60
		長野日大 男子400mリレー	1位	
		長野日大 男子800mリレー	1位	8'16"26
		長野日大 男子400mメドレーリレー	1位	4'06"12
	窪田育生	松代 男子飛板飛込	3位	
	窪田育生	松代 男子高飛込	2位	
	武士真弓	屋代 女子50m自由形	1位	28"16
	藤本文香	東海第三 女子50m自由形	3位	28"39
	武士真弓	屋代 女子100m自由形	1位	1'02"51
	藤本文香	東海第三 女子100m背泳	2位	1'08"05
	勝田香織	長野日大 女子200m背泳	3位	2'31"06
	保坂真理子	伊那西 女子200m個人メドレー	1位	2'26"25

サッカー	保坂真理子	伊那西 女子400m個人メドレー	1位	5'08"63
		東海第三 女子400mメドレーリレー	3位	4'42"70
レスリング	松本深志	男子	1位	
	信州工業	男子	3位	
	上田西	男子学校対抗	1位	
	吉澤	北佐久農業 男子個人46kg級	1位	
	高橋	上田西 男子個人50kg級	1位	
	井出	上田西 男子個人50kg級	2位	
	平井	上田西 男子個人54kg級	1位	
	今村	上田西 男子個人58kg級	3位	
	吉沢	上田西 男子個人63kg級	3位	
	森角	北佐久農業 男子個人68kg級	3位	
	塚田	上田西 男子個人115kg級	1位	
漕艇		岡谷南 男子子舵手付きフォア	2位	
		諏訪清陵 女子舵手付きフォア	1位	
		岡谷東 女子舵手付きフォア	3位	
		諏訪清陵 男子ダブルスカル	1位	
		岡谷南 女子シングルスカル	2位	
ウエイトリフティング	岩本	籾ノ井 男子70kg級	1位	
	竹田哲章	籾ノ井 男子83kg級	1位	
	塚田和広	籾ノ井 女子50kg級	1位	
	松沢美保子	籾ノ井 女子50kg級	2位	
	佐藤亜香利	松商学園 女子54kg級	1位	
	宮沢瞳	松商学園 女子59kg級	1位	
	芝崎真理子	松商学園 女子70kg級	1位	
	菅原香菊	伊那北 女子学校対抗	4位	
フェンシング	大槻高範	伊那北 男子個人サーブル	2位	
	北條徳則	伊那北 男子個人エペ	1位	
	稲垣光一	北部 男子シーホッパー級	2位	
ヨット		駒ヶ根工業 男子	4位	
ホッケー		松商学園 男子団体組手	3位	
空手道		松本深志 男子団体型	3位	
	酒井健児	屋代 男子個人型	3位	
		松商学園 女子団体組手	1位	
		松本松南 女子個人組手	2位	
	木原久美	松本松南 女子個人組手	3位	
		中野西 女子団体型	2位	
		松商学園 女子個人型	3位	
	杉山正美	大町 女子個人型	1位	
	小森理恵	中野 女子個人型	2位	
	宮坂真由	長野南 女子個人型	3位	
ボクシング		長野南 男子ウェルター級	2位	
	鶴田	上田東 男子ライト・フライ級	3位	
	中村	丸子実業 男子フライ級	3位	
	宮田	丸子実業 男子フェザー級	3位	
	依田			
定通		飯田長姫 男子	1位	
バスケットボール				

バレーボール バドミントン 軟式野球 卓球 アーチェリー	仲井	上田	女子	3位	
		長野吉田	男子	1位	
		岡谷工業	男子団体	3位	
		飯田長姫	男子	2位	
		中野実業	男子団体	3位	
		赤穂	女子団体	2位	
		飯田長姫	女子個人	1位	
		篠ノ井	男子団体	1位	

平成8年度

陸上	山口光	岩村田	男子100 m	3位	10' 76	
	山口光	岩村田	男子200 m	2位	22' 30	
	市瀬芳明	阿南	男子800 m	1位	1' 57' 60	
	和田裕樹	長野日大	男子800 m	3位	1' 57' 93	
	小嶋卓也	佐久長聖	男子3000 m SC	3位	9' 41' 88	
	下平賢哉	飯田	男子5000 m W	3位	23' 20' 35	
		長野日大	男子4 × 100 m リレー	1位	43' 77	
		岩村田	男子4 × 100 m リレー	3位	44' 02	
		長野日大	男子4 × 400 m リレー	3位	3' 23' 25	
		吉田剛	小諸	男子走高跳	1位	1 m 90
		宮入義勝	長野日大	男子走幅跳	1位	7 m 00
		池田直人	中野	男子円盤投	2位	43 m 48
		牛越寛生	松代	男子ハンマー投	2位	47 m 26
		伊藤文	長野西	男子やり投	3位	46 m 04
		横川絵美	松商学園	女子200 m	3位	26' 23
		吾妻薫	長野日大	女子3000 m	1位	10' 09' 23
		倉科喜美子	佐久長聖	女子3000 m	2位	10' 09' 34
		山崎琴代	中野実業	女子100 m H	2位	14' 99
		井原裕美	佐久長聖	女子走幅跳	3位	5 m 44
		上原綾	田川	女子砲丸投	1位	12 m 15
		高見沢円	佐久長聖	女子やり投	1位	41 m 40
		片桐涼子	松代	女子やり投	2位	36 m 92
		齊川和佳奈	松本嶽ヶ崎	女子やり投	3位	35 m 18
			東海第三	男子駅伝	1位	2' 11' 40
			諏訪実業	女子駅伝	1位	1' 12' 07
			佐久長聖	女子駅伝	3位	1' 14' 08
			松本第一	男子団体	3位	
			松本第一	女子団体	2位	
		広瀬喜広	松本第一	男子個人軽量級	1位	
		小林裕也	松本第一	男子個人軽量中級	3位	
		百瀬渡	松本第一	男子個人中量級	1位	
		百瀬善規	松本第一	男子個人軽重量級	3位	
	ソフトテニス		長野	男子団体	2位	
			上田西	女子団体	1位	
			飯田風越	女子団体	3位	
			長野	男子個人	2位	

テニス	河野・飯島	上田染谷丘	女子個人	1位		
	竹内・松沢	上田西	女子個人	3位		
		松商学園	男子団体	1位		
		諏訪清陵	男子団体	2位		
		松商学園	女子団体	2位		
		東海第三	男子	3位		
		松本松南	女子	3位		
		松商学園	女子学校対抗	1位		
		小林・小林	松商学園	女子個人ダブルス	1位	
		北原・藤岡	松商学園	女子個人ダブルス	2位	
バスケットボール	王 娜	長野女子	女子個人シングルス	1位		
	小林 泉	松商学園	女子個人シングルス	2位		
	小松 亜子	松商学園	女子個人シングルス	3位		
		長野日大	男子団体総合	2位		
		文大長野	女子団体総合	3位		
		長野東	男子団体	2位		
		伊那弥生丘	女子団体	1位		
		長野清泉	女子個人	1位		
		伊那弥生丘	女子個人	3位		
		河角由起子	諏訪二葉	女子個人	3位	
体操		長野日大	男子総合	4位		
	大井もも子	東海第三	男子50 m 自由形	3位	25' 34	
	小松 三紗	駒ヶ根工業	男子100 m 自由形	3位	56' 10	
	河角由起子	駒ヶ根工業	男子200 m 自由形	2位	2' 02' 04	
		大工原克	佐久長聖	男子400 m 自由形	3位	4' 16' 62
		清水 悟	長野日大	男子100 m 背泳	1位	59' 70
		黒沢 晃弘	佐久長聖	男子100 m 背泳	2位	59' 95
		黒沢 晃弘	佐久長聖	男子200 m 背泳	1位	2' 07' 50
		清水 悟	長野日大	男子200 m 背泳	2位	2' 10' 37
		羽生田秀高	長野	男子200 m 平泳	3位	2' 32' 05
弓道	早田和重	田川	男子100 m バタフライ	2位	57' 43	
	早田和重	田川	男子200 m バタフライ	1位	2' 10' 45	
	丹下智幸	諏訪二葉	男子200 m 個人メドレー	1位	2' 09' 14	
	丹下智幸	諏訪二葉	男子400 m 個人メドレー	1位	4' 34' 98	
		長野日大	男子400 m リレー	3位	3' 47' 06	
		佐久長聖	男子400 m リレー	4位	3' 47' 93	
		長野日大	男子800 m リレー	3位	8' 22' 13	
		東海第三	男子400 m メドレーリレー	4位	4' 15' 11	
		藤本 文香	東海第三	女子50 m 自由形	1位	27' 60
		藤本 文香	東海第三	女子100 m 自由型	1位	59' 55
水泳	藤森 順子	長野日大	女子100 m 背泳	2位	1' 09' 42	
	藤森 順子	長野日大	女子200 m 背泳	2位	2' 25' 94	
	黒岩 梓	佐久長聖	女子200 m バタフライ	3位	2' 26' 92	
	下山悦子	長野日大	女子400 m 個人メドレー	2位	5	
		上田西	男子学校対抗	1位		
		北佐久農業	男子学校対抗	2位		
		吉澤	北佐久農業	男子個人46kg級	1位	

漕 艇 ウエイトリフティング	高橋	上田西	男子個人50kg級	1位	
	平井	上田西	男子個人54kg級	1位	
	武藤	上田西	男子個人58kg級	2位	
	佐々木	上田西	男子個人68kg級	2位	
	鈴木	北佐久農業	男子個人74kg級	3位	
	丸山	上田西	男子個人115kg級	2位	
		諏訪清陵	女子ダブルスカル	1位	
		佐藤亜香利	松商学園	女子50kg級	2位
		宮沢 瞳	篠ノ井	女子50kg級	1位
		松澤美保子	篠ノ井	女子54kg級	1位
自 転 車 フェンシング	丸山 厚	駒ヶ根工業	ポイントレース	4位	
	原 篤史	松本工業	3000m追い抜き競争	2位	
		伊那北	男子学校対抗	4位	
		伊那北	女子学校対抗	3位	
		武田 操	箕輪工業	男子個人フルーレ	2位
		三沢 高志	箕輪工業	男子個人エペ	1位
		福田 愛	伊那北	女子個人フルーレ	3位
		福田 愛	伊那北	女子個人エペ	2位
		茅 野	FJ級デュエット	3位	
		塚原 隆通	松商学園	男子個人組手	3位
ヨ ッ ト 空 手 道		松商学園	男子団体型	2位	
		酒井 健児	屋代	男子個人型	1位
			松本松南	女子団体組手	2位
			中野西	女子団体型	3位
			長野南	女子個人型	1位
			松商学園	女子個人型	3位
	定 通 バスケットボール バレーボール バドミントン 卓 球 ソフトテニス アーチェリー		上田	女子	2位
			松本筑摩夜	男子	1位
			飯田長姫	女子	3位
			松本筑摩夜	男子団体	3位
		上田	女子団体	3位	
		中野実業	男子団体	3位	
		赤 穂	女子団体	3位	
		中野実業	男子個人	2位	
		赤 穂	女子個人	3位	
		長野吉田	男子団体	2位	
	長野西	女子団体	3位		
	長野南	女子団体	2位		
	宮下 友子	長野南	女子個人	2位	

9年度

陸 上		長野日大	男子総合	1位	
		佐久長聖	男子総合	2位	
	横山 昭仁	長野日大	男子400 m	1位	
	佐藤 清治	佐久長聖	男子800 m	1位	
	佐藤 清治	佐久長聖	男子1500 m	1位	
	宮入 一海	佐久長聖	男子5000 m	1位	
	矢花 誠	伊那北	男子5000 m	2位	
	伊藤 正幸	東海第三	男子5000 m	3位	
	矢花 誠	伊那北	男子3000 m SC	1位	
	宮入 一海	佐久長聖	男子3000 m SC	2位	
	高橋 桂逸	長野	男子3000 m SC	3位	
	下平 賢哉	飯田	男子5000 m W	3位	
		長野日大	男子4 × 100 m リレー	1位	
		長野日大	男子4 × 400 m リレー	1位	
	井上 大輔	須坂園芸	男子円盤投	3位	
	牛越 寛生	松代	男子ハンマー投	3位	
	岡田紗矢香	長野日大	女子200 m	2位	
	岡田紗矢香	長野日大	女子400 m	3位	
	小沢 知史	東海第三	女子800 m	3位	
	登内 理恵	伊那北	女子3000 m	2位	
	上原 綾	田川	女子砲丸投	2位	
	宮坂由紀子	諏訪実業	女子円盤投	1位	
	片桐 涼子	松代	女子やり投	2位	
		東海第三	男子駅伝	1位	
		佐久長聖	男子駅伝	3位	
		諏訪実業	女子駅伝	1位	
		佐久長聖	女子団体	3位	
	柔 道	青木 和仁	佐久長聖	男子個人中量級	1位
		上原 正義	東海第三	男子軽重量級	3位
		高木 康司	松商学園	男子軽重量級	3位
		小沢 弘	松本第一	男子重量級	2位
		高山 司	松商学園	女子52kg級	1位
丸山 麻美		長野商業	女子66kg級	3位	
丸山さくら		佐久長聖	女子無差別級	3位	
倉下 実		岡谷南	男子個人	3位	
		長野	男子団体	3位	
		上田西	女子団体	1位	
剣 道 ソフトテニス		松商学園	女子団体	2位	
	松沢・成沢	上田西	女子個人	1位	
	横山・望月	上田西	女子個人	3位	
		松商学園	男子団体	2位	
		松商学園	女子団体	2位	
		東海第三	男子	3位	
		岡谷工業	男子	1位	
		松商学園	女子	3位	
		東海第三	女子	3位	

ハンドボール		屋 代	男子	3位	
ソフトボール		長野 商業	女子	2位	
卓 球		松商学園	男子団体	2位	
	王 娜	長野 女子	女子個人シングルス	1位	
	小林 泉	松商学園	女子個人シングルス	2位	
体 操		長野日大	男子団体総合	3位	
新 体 操		文大長野	女子団体総合	2位	
		長 野 東	男子団体	2位	
		伊那弥生丘	女子団体	1位	
	壇原 義一	長 野 東	男子個人	3位	
	小松 三紗	伊那弥生丘	女子個人	1位	
弓 道		飯田工業	男子団体	1位	
		長 野 西	女子団体	1位	
		屋 代	女子団体	3位	
	高木 秀訓	岡 谷 南	男子個人	2位	
	永井 弘樹	岡 谷 南	男子個人	3位	
	大井 一井	長 野 西	女子個人	3位	
水 泳		佐久長聖	男子総合	1位	
		佐久長聖	女子総合	2位	
	前田 大	白 馬	男子50m自由形	2位	25' 55
	大工原 克	佐久長聖	男子200m自由形	1位	2' 01' 71
	中村 真悟	佐久長聖	男子200m自由形	3位	2' 04' 05
	伊原 裕貴	飯 田	男子400m自由形	2位	4' 09' 63
	大工原 克	佐久長聖	男子400m自由形	3位	4' 14' 23
	伊原 裕貴	飯 田	男子1500m自由形	1位	16' 26' 24
	黒沢 貴朗	佐久長聖	男子100m平泳	2位	1' 09' 24
	黒沢 貴朗	佐久長聖	男子200m平泳	2位	2' 30' 79
	天満 宏	東海第三	男子200m平泳	3位	2' 31' 40
	早田 和重	田 川	男子100mバタフライ	1位	56' 23
	早田 和重	田 川	男子200mバタフライ	1位	2' 09' 23
	齊藤 卓	佐久長聖	男子400m個人メドレー	3位	5' 00' 33
	藤森 順子	長野日大	女子200m自由形	3位	2' 12' 59
	田中 美緒	佐久長聖	女子100m平泳	3位	1' 18' 03
	田中 美緒	佐久長聖	女子200m平泳	3位	2' 44' 63
	黒岩 梓	佐久長聖	女子100mバタフライ	2位	1' 06' 05
	黒岩 梓	佐久長聖	女子200mバタフライ	1位	2' 25' 01
	但馬由佳里	佐久長聖	女子200mバタフライ	2位	2' 28' 84
	下山 悦子	長野日大	女子200m個人メドレー	2位	2' 31' 64
	下山 悦子	長野日大	女子400m個人メドレー	3位	5' 15' 04
		佐久長聖	男子400mリレー	3位	
		長野日大	男子400mリレー	4位	
		佐久長聖	男子800mリレー	3位	
		佐久長聖	男子400mメドレーリレー	3位	
		長野日大	女子400mリレー	3位	
		佐久長聖	女子400mメドレーリレー	2位	
サッカー		松商学園		1位	
		信州工業		3位	

レスリング		北佐久農業	男子学校対抗	1位	
		上 田 西	男子学校対抗	2位	
	清水	上 田 西	男子個人46kg級	1位	
	細谷	小 諸	男子個人50kg級	3位	
	武藤	上 田 西	男子個人58kg級	1位	
	桜井	上 田 西	男子個人63kg級	3位	
	伊藤	北佐久農業	男子個人63kg級	3位	
	佐々木	上 田 西	男子個人68kg級	1位	
	鈴木	北佐久農業	男子個人74kg級	1位	
	小笠原	上 田 西	男子個人74kg級	3位	
	丸山	上 田 西	男子個人115kg級	1位	
漕 艇		諏訪清陵	男子舵手付きフォア	3位	
		岡 谷 東	男子ダブルスカル	3位	
		岡 谷 東	女子ダブルスカル	1位	
		岡 谷 南	男子シングルスカル	3位	
ウエイトリフティング	五十嵐教司	岡 谷 工業	男子64kg級	2位	
	滝沢 伸治	岡 谷 工業	男子64kg級	1位	
	大西 洋平	岡 谷 工業	男子83kg級	2位	
フェンシング	三澤 高志	箕輪工業	男子個人フルーレ	1位	
	伊井島伸也	伊 那 北	男子個人サーブル	1位	
	三澤 高志	伊 那 北	男子個人エペ	1位	
	椎名 晴子	諏訪清陵	女子シーホップバーSR	2位	
		松商学園	男子団体組手	3位	
ヨ ッ ト		松商学園	男子団体型	1位	
空 手 道		松本工業	男子個人型	1位	
	中野 的幸	松商学園	女子団体組手	2位	
	高山 裕美	松商学園	女子個人組手	3位	
	西澤智代美	松商学園	女子個人組手	3位	
		松商学園	女子団体型	1位	
		松本松南	女子団体型	2位	
	宮坂 真由	長 野 南	女子個人型	1位	
	西澤智代美	松商学園	女子個人型	2位	
	小島 優次	長 野 南	フライ級	3位	
	徳嵩 克哉	長 野 南	フェザー級	3位	
ボクシング	宮崎 達也	長 野 南	ウェルター級	2位	
		飯田長姫	男子	1位	
定 通		上伊那農業	女子	3位	
バスケットボール		長野吉田	男子	2位	
		丸子実業	女子団体	2位	
バレーボール	糸賀	丸子実業	女子個人	1位	
バドミントン	秋山	松本筑摩昼	女子個人	1位	
		長野吉田	男子団体	2位	
卓 球	佐々木・工藤	松本筑摩夜	女子個人	2位	
ソフトテニス	塚田・芹沢	長野吉田	男子個人	3位	
	加藤・深町	長 野 西	男子個人	3位	

第 6 章

加 盟 校 紹 介

- 【北 信】
- ・飯山照丘高校 358
 - ・飯山北高校 358
 - ・飯山南高校 359
 - ・下高井農林高校 359
 - ・中野高校 360
 - ・中野実業高校 360
 - ・中野西高校 361
 - ・須坂商業高校 361
 - ・須坂東高校 362
 - ・須坂高校 362
 - ・須坂園芸高校 363
 - ・北部高校 363
 - ・長野吉田高校 364
 - ・長野高校 364
 - ・長野西高校 365
 - ・長野商業高校 365
 - ・長野東高校 366
 - ・長野工業高校 366
 - ・中条高校 367
 - ・犀峽高校 367
 - ・長野南高校 368
 - ・篠ノ井高校 368
 - ・更級農業高校 369
 - ・松代高校 369
 - ・屋代高校 370
 - ・屋代南高校 370
 - ・坂城高校 371
 - ・皐月高校 371
 - ・清泉女学院高校 372
 - ・文化女子大長野高 372
 - ・長野女子高校 373
 - ・長野日大高校 373
 - ・篠ノ井旭高校 374
- 【東 信】
- ・上田千曲高校 374
 - ・上田高校 375
 - ・上田染谷丘高校 375
 - ・上田東高校 376
 - ・丸子実業高校 376
 - ・東部高校 377
 - ・蓼科高校 377
 - ・望月高校 378
 - ・小諸商業高校 378
 - ・小諸高校 379
 - ・軽井沢高校 379
 - 北佐久農業高校 380
 - ・岩村田高校 380
 - ・野沢北高校 381
 - ・野沢南高校 381
 - ・臼田高校 382
 - ・小海高校 382
 - ・上田西高校 383
 - ・佐久長聖高校 383
- 【南 信】
- ・富士見高校 384
 - ・茅野高校 384
 - ・諏訪実業高校 385
 - ・諏訪清陵高校 385
 - ・諏訪二葉高校 386
 - ・下諏訪向陽高校 386
 - ・岡谷南高校 387
 - ・岡谷工業高校 387
 - ・辰野高校 388
 - ・箕輪工業高校 388
 - ・上伊那農業高校 389
 - ・高遠高校 389
 - ・伊那北高校 390
 - ・伊那弥生ヶ丘高校 390
 - ・赤穂高校 391
 - ・駒ヶ根工業高校 391
 - ・松川高校 392
 - ・飯田高校 392
 - ・飯田風越高校 393
 - ・飯田工業高校 393
 - ・飯田長姫高校 394
 - ・下伊那農業高校 394
 - ・阿智高校 395
 - ・阿南高校 395
 - ・飯田女子高校 396
 - ・東海大第三高校 396
 - ・伊那西高校 397
- 【中 信】
- ・蘇南高校 397
 - ・木曾高校 398
 - ・木曾山林高校 398
 - ・塩尻高校 399
 - ・田川高校 399
 - ・梓川高校 400
 - ・松本工業高校 400
 - ・松本県ヶ丘高校 401
 - ・松本美須ヶ丘高 401
 - ・松本深志高校 402
 - ・松本蟻ヶ崎高校 402
 - ・松本筑摩高校 403
 - ・明科高校 403
 - ・豊科高校 404
 - ・南安曇農業高校 404
 - ・穂高商業高校 405
 - ・池田工業高校 405
 - ・大町高校 406
 - ・大町北高校 406
 - ・白馬高校 407
 - ・松商学園高校 407
 - ・松本松南高校 408
 - ・塚原青雲高校 408
 - ・松本第一高校 409
 - ・信州工業高校 409
 - ・昭和園芸高校 410



長野県飯山照丘高等学校

〒389-2413 飯山市照里808

TEL (0269) 65-2058

FAX (0269) 65-1806

創立 昭和49年1月1日



飯山市北部の長峰丘陵の一画に高々とそびえ立つ、近代的な校舎には地域の人々の努力の結晶が隠されている。昭和23年に飯山南高校定時制課程が設置されたのにあわせて、地域の6つの分校が統合、現在の地に照丘分校が設置された。その後、地域の熱意と照丘高校推進委員会などの陳情が強く働きかけられ昭和49年に長野県飯山照丘高等学校設立の歴史を持っている。

運動部の記録としては照丘分校から独立する以前から各分校間での球技大会等、運動部は活発に活動していた。当時は野球・バレーボール・卓球・陸上等が活躍していたが、対外的にはやはりスキー部が輝かしい成績を残してい

る。卒業していった多くの選手が県高校スキー大会・国体・インターハイに出場している。昭和30年には県学生スキー大会においてリレー優勝・総合3位。そして昭和44年には県高校スキー大会の優勝をおさめている。平成9年度時点では生徒絶対数の減少（特に女子生徒）・地元生徒の割合が減ったことによる部加入率の低下。その他の理由で運動部の活動状態は県下に胸をはれる状況ではない。残念ながら県のトップレベルの成績は近年、記録は残せてはいないものの地道な努力が続いている。やりがいのある運動部活動を追い求めて生徒は毎日汗を流している。



長野県飯山北高等学校

〒389-2253 飯山市大字飯山2610

TEL (0269) 62-4175

FAX (0269) 81-1072

創立 明治36年4月1日



校舎大規模改修を平成3年と6年に行いました。平成14年に創立100周年を迎える為、記念事業の一環として校内LAN・ネットワークを平成8年に完成させました。現在は、インターネットを構築中です。インターネットを使った授業や信大との定期的なメール交換、進路決定に有効なデータの蓄積等、活用範囲は広がっています。

運動部としては、スキー部の全国高校スキー大会準優勝、弓道部の男子個人インターハイ出場、男子ソフトボール部・陸上部の北信越大会出場、野球部の県大会ベスト16などを始め、各クラブとも自主性に富んだ活動を行っています。しかし、生徒数減少という状況の下、一番

の悩みが部員確保です。運動部の精選や地域でチームを作るという事も考えていく必要があるでしょう。そんな中で、クラブ活動における地元中学との連帯などを試みながら、クラブ活動がより活発になるよう対策を講じています。

また、平成9年度より理数科を設置しました。地域の進学校としての役割を全うすると共に、より充実した高校生活になるように、クラブ活動への積極的な参加も実践されております。年間の殆どは雪に埋もれている環境のなかで、冬場のトレーニングを工夫したりしながら、クラブ活動においても飛躍していこうという気概にあふれています。



長野県飯山南高等学校

〒389-2255 飯山市大字静間1088

TEL (0269) 62-4125

FAX (0269) 81-1071

創立 大正10年4月1日



大正10年4月郡立下水内高等女学校として開校、平成4年4月「スキーを中心とした体育科」を設置し、全国に門戸を開いている。平成4年10月新校舎へ全面移転、現在は普通科2・体育科1の小規模校である。野球部・サッカー部・弓道部が活躍している。体育科は全員がスキー部員であり、インターハイでは平成6年・9年度に男子が総合優勝、女子が3位に入賞している。体育施設では、体育館（大・小）、武道場、雨天練習場、トレーニングルーム、温水槽、実験実習室、測定実習室、スキー整備室、情報処理室、クラブ練習室、屋外運動場（20,852㎡）、テニスコート、弓道場、プール、ロー

ラスキーコースを整備、特に筋力測定器（リドアクテブ）他を持つトレーニング機器の（1億円以上といわれる）充実は必見の価値があり、ナショナルチームの合宿に度々利用されている。体育科の特色では最新の科学的理論を取り入れるため、大学教授・スポーツドクター等の専門講師による体育理論の授業、国際化社会に対応できる資質を養うため本校専属のAETによる授業、情報化社会に対応できる資質を養うためのコンピューターを利用した情報処理能力の育成、専門の大学教授によるメンタルトレーニングによる心理的サポートの実施等、着々と成果を上げている。



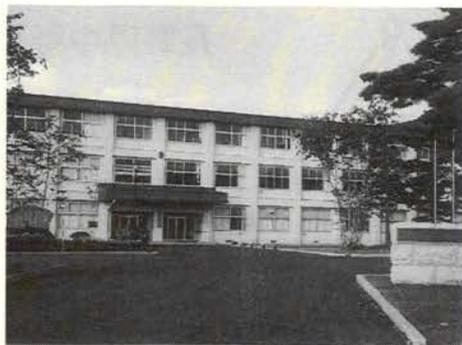
長野県下高井農林高等学校

〒389-2301 下高井郡木島平村大字穂高2975番地

TEL (0269) 82-3115

FAX (0269) 82-1813

創立 明治39年4月28日



昭和62年創立80周年を迎え、その事業の一環としてプールが完成（平成3年9月）し、さらに小体育館落成（含ピロティ、合宿所、クラブ練習室、部室平成5年1月）・テニスコート造成竣工（同年11月）、平成8年には90周年の記念事業としてトレーニング機器を購入し、授業やクラブ活動の充実に大いに役立っている。

さて12部ある本校の運動部活動はスキー部の活躍を抜きに語ることはできない。昭和27年、第1回全国スキー大会で男子総合優勝の輝かしい伝統に支えられ、平成2、4、5年には同大会で総合4位となった。また第17回リレハンメル冬季オリンピックでは西方仁也（昭和61年度

卒）がジャンプの団体に銀メダルを獲得し、まだ記憶に新しい第18回長野冬季オリンピックでは富井彦（平成3年度卒）がコンバインド団体に出場、在校生に深い感動を与えてくれた。この2選手の他にも世界ジュニア大会代表や多くの全国大会入賞を果たした。野球部は平成6年全国高等学校野球長野県大会の3回戦で秋山投手の18奪三振の快投などがありベスト16まで進出、農林旋風をまきおこした。女子ソフトボール部は昭和63年から平成6年まで、卓球部も平成5年から県大会に出場、その他の部も部員不足に悩みながらも「県大会出場」を合言葉に、日々の練習に汗を流している。



長野県中野高等学校

〒383-8506 中野市小館六

TEL (0269) 22-2197

FAX (0269) 24-1252

創立 明治44年4月29日



昭和60年ころが、本校にとっても最大規模の24学級、生徒数1100余名になった時期である。男女共にクラブ活動が活発で先をあらそって練習場所の確保に励んだ時期でもある。体育館やグラウンドの使用割り振りには生徒たち自ら話し合っ

て決めていくことができた。部員が球技に偏りがちななかで、陸上部の部員数が男女共にうなぎ登りに増えてきたのもこのころである。部員数が増加するに従って、次第に勢いづき、大きな大会にも出場できるようになると共に、ローカル大会や遠征練習(合宿)にも積極的に参加し、それぞれの技術や力をつけると同時に意欲的な練習への取り組みや、礼儀・あいさつなど

基本的な生活習慣も身につけ、それが他のクラブにもいい影響を与えてくれた。
およそ、ここ10年ほどの間に空手部・弓道部・女子柔道部が新設され全国大会にも出場し活躍している。以下に施設関係を記録しておきます。

- ・昭和62年 合宿棟完成
- ・平成元年弓道場完成
- ・平成6年西グラウンド全面改修
- ・平成7年南グラウンド排水改修・フェンス嵩上げ



長野県中野実業高等学校

〒383-8567 中野市三好町2丁目1番53号

TEL (0269) 22-2141

FAX (0269) 24-1251

創立 昭和23年4月1日



校訓「至誠創造」の名のもと、地元でも「スポーツといえば中実」といわれるほど運動部の活躍は目ざましいものがあります。県大会はもとより、北信越、全国大会をねらうクラブが多く、学校全体も活気にあふれ、生徒・顧問は放課後遅くまで練習に励み、常に競技力向上をめざし頑張っています。現在(H9-12)工業科の校舎改築のため、第一グラウンドが使用できず、一部のクラブでは苦慮していますが、この改築の中でプール、第二体育館の新設もあり、新たな活躍の場所も期待するところであり

ます。
各クラブの状況をみますと特にスキー部の3年連続(H3-5)全国制覇は我が校の歴史に残るものです。また、第18回長野冬季オリンピック大会にもクロスカントリーの堀米光男、
神津正昭、佐藤恵美子の3名が活躍をしてくれました。バドミントン部も全国大会の常連で、県大会では男女優勝など輝かしい成績を修めています。陸上競技部も県大会での男女総合優勝をはじめ、常に全国大会に出場し、H2に小柳が走高跳で4位、望月が5000mWで6位、H9に長崎が国体100mH5位等入賞者も複数だしております。また柔道部も長年長野県の核として、過去何回も全国大会に出場して参りました。最近では中山がH6に個人軽重量級で3位に入賞しました。その他にも男女バレーボール、卓球、バスケットボール、ソフトテニス、野球、弓道、剣道、サッカー、体操等多くのクラブが県大会出場を果たし、日々努力しております。



長野県中野西高等学校

〒383-8511 中野市西条544-1

TEL (0269) 22-7611

FAX (0269) 24-1253

創立 昭和59年4月1日



「創造」「探究」「友愛」を校訓とし、知育・徳育・体育をうたい、「敬」と「愛」と「信」とに満ちた学園を創ることを教育目標に、職員・生徒一丸となって精進を重ねてきています。校歌「イヌワンの歌」の作詞は、芥川賞の最年少受賞者の丸山健二先生が、作曲は、地元中野市出身の藤沢守先生です。藤沢先生は現在久石譲というお名前で、作曲活動等で大変活躍しておられます。平成5年10月には、創立10周年記念式典が華やかに挙行され、翌平成6年には、専門学科として英語科が新設されました。平成9年3月に、英語科1クラス40名の第一期生が、巣立っていきました。

本校の運動部は、現在18部を数え、全校生徒の約半数が所属しています。しかし、個人競技の部員減少、そして特定のクラブに人気集中し、片寄った部員数となってきています。各部門も、最近では県大会出場の常連になるほどの力をつけてきました。スキー、陸上競技、ソフトボール、新体操、空手、柔道、弓道などが全国大会出場を果たし、特に陸上競技では全国優勝の快挙も達成できました。

今後の課題として、学業とクラブの両立はもちろんのこと、指導者の向上、練習環境の改善等、まだまだたくさんの課題を抱えながらも、魅力ある学校創りへと励んでいるところです。



長野県須坂商業高等学校

〒382-0076 須坂市大字須坂字六角堂1150

TEL (026) 245-0421

FAX (026) 251-2353

創立 大正15年4月8日



製糸家：越 泰蔵氏によって創立されて以来、数々の変遷を経て平成7年11月「創立70周年記念式典」が盛大に挙行された。（この時、トレーニング・マシン一式が設置される。）輝かしい歴史の中でクラブにおいて特筆すべきは、野球部が昭和46年に夏の全国高等学校野球選手権大会に出場、また簿記部においては平成3・4年に全国高等学校簿記選手権大会団体総合で2年連続全国制覇を果たしている。小規模校ながら恵まれた環境と施設によって建学当時の精神を受け継ぎながら情報化社会に対応できる人材教育の推進に努めている。

運動部のこの10年、卓球部がまさに黄金時代

であった。平成元年女子シングルス（佐野）・ダブルス（佐野・山本）、平成3年度には男子シングルス（小林）で県チャンピオンに、平成3年度全国高校選抜大会へ山口・星川を主力に、平成5年度全国高校総体へ男子ダブルス（羽生田・小野）・女子ダブルス（山本・波多）で出場し善戦した。また、男子羽球部は平成7年度全日本ジュニア県大会でダブルス（小淵・北原）優勝するなどの成績を収めている。その他クラブにおいても日夜練習に励んでいるが、各クラブとも部員の減少に頭を悩ませているのが残念ながら現在の状況である。



長野県須坂東高等学校

〒382-0013 須坂市日滝4の4

TEL (026) 245-0331

FAX (026) 251-2351

創立 大正7年4月13日



本校は、四季折々の姿を現す鎌田山のふもとに大正7年女学校として開校し、昭和23年長野県須坂東高等学校と改名する。昭和51年度に男女共学となり、男子クラブも発足した。昭和63年に、第二体育館兼講堂・部室・弓道場が新設され、平成10年には創立80周年を迎える。

過去10年間のクラブ活動状況は陸上部、水泳部、ソフトボール部、ソフトテニス部、サッカー部、バレーボール部、バスケットボール部、新体操部、弓道部、卓球部などが県大会に出場し、良い成績を残し、北信越大会・国民体育大会まで出場し活躍したクラブも幾つかある。なかでもめざましいのは平成7年秋優勝、

8・9年と県大会で準優勝した女子ソフトボール部、平成9年北信地区大会で優勝した卓球部である。

最近学級減等の影響か生徒のクラブ離れがすすむ状況のなかでも、なお一層の部活動の充実と発展、部活動を通じての心身の鍛錬と良き人間形成を目指して日々練習に励んでいる。近年ソフトボール部、ソフトテニス部、サッカー部、バレーボール部、バスケットボール部、卓球部が県大会等に出場し頑張っていることから今後の活躍が期待されている。



長野県須坂高等学校

〒382-0091 須坂市大字須坂字金井原1518-2

TEL (026) 245-0334 (代)

FAX (026) 251-2352

創立 大正12年4月1日



平成5年11月本館の全面改築が竣工し創立70周年記念式典が盛大に挙行された。平成6年8月にはトレーニング機器を購入し各クラブ員の体力向上を図った。また平成10年4月には合宿所・部室棟が竣工し、体育施設も徐々に整備されてきた。建学の精神でもある臥竜魂と文武両道の校風は現在も受け継がれており、運動部は日々活発な活動をしている。最近、部員の減少も見られ新年度になると新入部員の勧誘に力を入れている。平成に入り全国大会に出場を果たしたクラブと種目を挙げてみると、陸上競技〔元年〕女子走幅跳宮沢、〔3年〕男子やり投げ佐藤、4年男子400mハードル藤田、〔6年〕5000m競歩大井川、ソフトテニス〔元年〕男子荒

井・塩崎組、栗田・西沢組、〔2年〕男子小林・義家組、〔3年〕男子荒井・黒岩組、〔4年〕女子渡辺・高田組、〔7年〕男子団体戦、バドミントン〔2年〕男子団体戦、〔7～9年〕女子団体戦、〔5年〕女子S小山、〔6年〕女子D原、三木組、〔8年〕女子D川上・鶴田組S川上、〔9年〕男子D山崎、小林組、男子バスケットボール〔2年〕水泳〔7年〕男子200m自由形宮崎、山岳〔5年〕男子、スキー〔9年〕男子アルペン水落、以上のような実績を残している。それ以外に、男子バレーボール、サッカーも県大会で活躍している。すべてのクラブが県大会上位進出を目標に頑張っている。



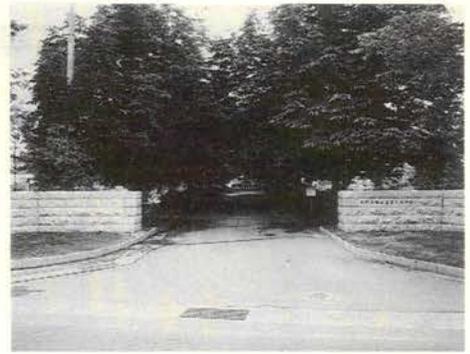
長野県須坂園芸高等学校

〒380-0097 須坂市大字須坂1616

TEL (026) 245-0103

FAX (026) 251-2350

創立 明治45年4月11日



昭和30年代に始まった高度経済成長政策は農業に大きな変革をもたらしました。生糸の里はりんごの里になりました。運動部の歴史では駅伝部が、終戦直後の第1回全国中等学校駅伝競技大会において、全員地下タビで走り参加59校中、堂々と3位入賞したことはほとんどの人が知らないし、歴史のかなたに埋没してしまっています。農業が当時の花形産業であり、農業中等学校(高校)生の意気軒昂だった姿を髣髴とさせます。その後久しい間、農業の苦しい時代が続きましたが、バイオテクノロジーの進歩と共に我が高校も新しい黎明期を迎えようとしています。

さて、ここ8~9年の本校運動部の活躍状況ですが、平成元年はラグビー部発展のピーク

で、男子バスケット部、パドミントン部の強かった時代です。さらに平成3年には、サッカー部、テニス部の絶頂期を迎え、平成6年には陸上部の台頭、男子バレーボール部のピークでした。8~9年度は全体的に低調の中、陸上部が県大会・北信越大会・全国大会・全日本大会・国民体育大会への出場をはたした時期です。運動部への加入の推移は年度により、部により増減はあります。今後の展望としては、生徒数の減と共に各部とも少数精鋭主義で大きな大会をめざしたいとおもいます。



長野県北部高等学校

〒389-1206 上水内郡三水村普光寺156

TEL (026) 253-2030

FAX (026) 253-1025

創立 明治42年4月1日



本校は、「五山ヶ丘に校旗はひるがえり」と校歌に歌われるように、北信五山に囲まれた美しい環境にある。運動クラブの顕著な活動実践として、昭和57年に結成された空手道部が昭和60年以降、団体戦においては北信越、春の全国選抜大会、夏の全国大会に出場、個人戦では北信越大会、夏の全国大会への出場をはじめとし、軟式庭球部においては、個人戦で北信越大会に、またバスケットボール部においては、平成7年、念願の県大会に出場する等があげられるが、このほかにも各運動クラブの意欲的活動がみられる。また、現在休部中ではあるが相撲部が、平成元年から6年まで県大会、国体、イ

ンターハイに出場するという活躍があった。その他、学校のクラブではないが、ヨット、馬術、エアライフルで、国体に出場している。一方施設面では、平成7年3月には部室10室新築、バックネット張替と体育施設が充実された。また、ニュースポーツとしてゴルフの導入も、地域の方々と話し合いながら考えている。平成11年には創立90周年を迎えることになり、体育施設の整備等、今後の部活動のより一層の充実、発展に期待がもてる。生徒の大半が就職する本校において、体育及びクラブ活動が生涯体育の基礎となるスポーツ活動の提供の場、また地域住民との連携が密となれば幸である。



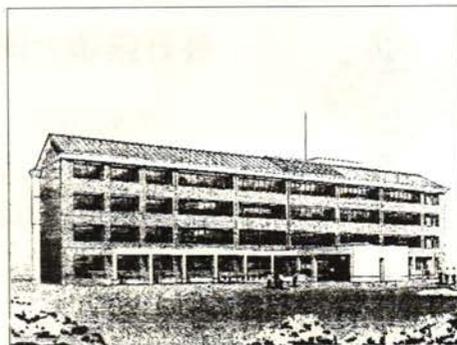
長野吉田高等学校

〒381-8570 長野市2丁目12番9号

TEL (026) 241-6161

FAX (026) 241-9737

創立 明治41年4月27日



本校は平成9年に創立90周年を迎え、「晴耕雨読」の精神を伝統として受け継ぎ、学問とクラブ活動の両面で活躍し、多くの人材を世に輩出している。

校内には13競技に17の運動クラブがあり、そのほとんどが北信大会を勝ち抜き県大会に進出するなど、活発なクラブ活動が展開されている。この10年間で振り返ると、大体育館、格技室、弓道場が新設され、テニスコートは8面が確保されるなど施設設備での充実が図られた。競技成績をみると男子バスケットボール、ソフトテニス、弓道、陸上、スキー、水泳が全国高

校総体に出場を果たしている。昭和63年にはスキーの距離競技で今井博幸、平成元年には弓道で伊藤三枝が全国優勝という輝かしい成績を納めた。特に今井博幸はアルペールビル、リレハンメル、長野オリンピックに出場した。長野オリンピックではリレーで7位に入賞し、日本スキーの歴史に新しいページを作った。北信越総体には上記のクラブ以外に男子バレーボール、テニス、柔道、剣道が出場し、昭和62年には男子バレーボールが3位入賞した。今後の活躍が期待されるクラブとしては、野球、女子バスケットボール、サッカーが揚げられる。



長野県長野高等学校

〒380-8515 長野市上松1丁目16-12

TEL (026) 234-1215

FAX (026) 234-3500

創立 明治32年4月1日



文武両道の建学の精神が受け継がれて100有余年になろうとしている。

時代の流れとともに運動部の数が増え、活動の場が手狭になり、郊外施設を利用しなければならない状況が出てきていた。折しも平成7年の校舎全面改築による体育施設の集約化と新に浅川地籍に総合グラウンドを建設するなどして活動の場が整備され施設の充実がはかられた。現在では全日制運動部は22部あり、約半数の生徒が加入し活発に活動している。また定時制でも少数ながら熱心な活動が行なわれ、定通大会で好成績を残している。

最近のインターハイや国体に出場した運動部をあげてみると、昭和62年水泳、昭和63年水

泳・陸上、平成元年剣道・弓道・陸上、平成2年弓道・山岳・バドミントン・体操・陸上、平成3年剣道・体操・陸上・スケート、平成4年弓道・体操・定時制卓球、平成5年陸上・ソフトテニス・定時制卓球、平成6年陸上、平成7年陸上・体操・庭球、平成8年体操・水泳・弓道・陸上・ソフトテニス、平成9年ソフトテニス・陸上、と以上のように毎年インターハイや国体へ出場している。更に同窓会より100周年記念事業として、体育館トレーニングルームに県内有数のトレーニング機器の設置が行なわれ一段と体育施設の充実が計られた。今後、充実した体育施設を大いに活用して大きな成果をあげることを期待したい。



長野県長野西高等学校

〒380-8530 長野市箱清水3丁目8番5号

TEL (026) 234-2261

FAX (026) 237-5506

創立 明治29年4月10日



昭和61年には90周年記念式典を開催した。前年度から実施された男女共学と併せて、文字どおりその年代に対応できる学校としての形と内容が整い新たな歴史を築いた。

平成8年10月26日ついに100周年を迎え一世紀の長い歴史の一区切りとしての記念式典を挙行した。創立以来一貫して変わらない「健全な心身と高い知性に裏付けられた自主的实践」という本校の教育目標は、男子も女子もその心において区別のできない時代を超えた人間尊重の精神がしっかりと息づいている。

最近では、陸上競技、硬式テニス、弓道等が全国大会に出場し活躍している。他のクラブも

数々の好成績を上げ、今後の活躍も期待されている。このようなクラブ活動を通じて精神的・肉体的に若者を鍛えるとともに、より高い技術を身につけ、お互いに協力し合い、一つの、目標を達成する喜びを分かち合える活発な活動、特色ある学校作りを目指している。100周年を期に近代的なトレーニングマシンを導入し、運動に欠かせない基礎基本の、体力作りに全種目の生徒に限られた時間の中で努力している。



長野県長野商業高等学校

〒380-0872 長野市妻科243

TEL (026) 234-1265

FAX (026) 234-0875

創立 明治33年6月1日



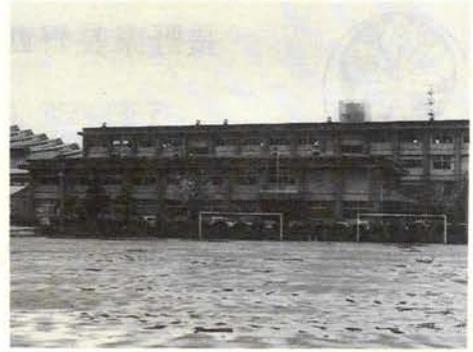
模擬株式会社「長商デパート」で、その名を全国に知られる本校が、全国27番目の公立校として、1900年に誕生してから「士魂商才」「学術とともに人間を磨け」をモットーに、質実剛健の中にもものびのびとして活気あふれ、進学に就職にクラブ活動にと活躍してきた。昭和63年には合宿所が、そして平成5年には第2グラウンドが完成し、学校整備が一応の区切りをみた。平成12年には創立100周年を迎え、更なる活躍が期待されている運動部は、現在、全日制で16あり、それぞれの部が活動を行っている。過去10年間をみると、その戦歴めざましいものがあり、毎年、8～9の部が県大会に出場してい

る。特に、ここ2～3年は飛躍的にレベルアップされ、ソフトテニス部、ソフトボール部、バドミントン部、柔道部、卓球部、剣道部が全国大会へ駒を進めるまでになっており、他の部もこれらに続けと練習に力が入っている。輝かしい歴史に新たな1ページを加えようと頑張っており、新入大会の結果からも新しい伝統が築かれることであろう。また、定時制においては、現在、3つの部が活動しており、特に柔道部(個人)が平成4・5年と全国大会に出場、バドミントン部が6年に北信越大会に出場している。8年度から単位制が導入され、生徒数も増加しており、今後に期待ができる。



長野東高等学校

〒381-0022 長野市大豆島2743-1
TEL (026) 221-8111
FAX (026) 251-1789
創立 昭和49年4月1日



本校は、創立25周年を迎え、着実に運動部の歴史を刻んできている。特に男子新体操部は、4年連続個人、団体でインターハイ出場を成し遂げ平成9年度は北信越大会団体初優勝を果たした。また、女子器械体操の個人戦では10年連続インターハイ出場をしている。

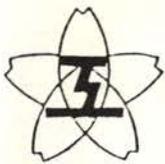
本校の名物のクラブとしては県下唯一の水球部があるが、最近では部員不足に悩まされる中でも、毎年県代表として北信越大会で活躍をしている。

ここ10年のインターハイ出場種目となると、陸上部が平成4、5年に出場している。

近年の県大会上位入賞、北信越大会出場種目

は、バレー部が平成8年度準優勝をし、国体にも選手1人を送り込んでいる。また、剣道部、テニス部、卓球部男子個人が頑張りを見せ、北信越大会に駒を進めている。野球部は、平成7年北信地区予選において17年ぶりの優勝をもたらし、他の運動部の活動にも活気を与えた。サッカー部は地区大会準優勝をもたらしたり、女子バレー、男子バスケット部、バドミントン部も常に県大会の常連であり、県大会でも上位入賞の力をつけている。

さらに、ソフトテニス、弓道、スキー、空手部なども上位の大会を目指して頑張っている。



長野県長野工業高等学校

〒380-0948 長野市差出南3丁目9番1号
TEL (026) 227-8555
FAX (026) 291-6250
創立 大正7年4月25日



過去10年間を振り返る中で、インターハイの全国大会まで駒を進めたのは、平成元年に陸上女子3000mで篠塚栄子、平成4年に自転車スプリントで田中誉士、同年スキーアルペン種目のスラロームで宮島崇、平成7年に自転車ポイントレースで宮沢崇史、国体においては平成9年に登山競技で本藤絵美、同年馬術少年リレーで小林義彦(3位)らが活躍した。また、北信越大会へ、昭和62年にサッカーが県準優勝、平成2～3年は剣道男子が県大会3位、平成4年に山岳が県大会4位で出場している。個人では平成元年に陸上男子800mで大塚淳、平成4年に陸上男子100m、200mで高橋雅也、槍投げで鶴

野泰寛。平成6年には柔道男子の辻友幸、本道健司。平成7年、陸上男子走り高跳びで吉村勝彦。平成8年に柔道男子の橋本昌之、平成9年、陸上男子走り高跳びで岸田亮、また水泳班が平成3～8年まで連続して北信越大会に出場している。

今年度の運動部加入総数は400余名で、総人数の約40%となっているが、生徒各々の目標が異なり、競技力向上のみの指導は難しくなっている。職業科を生かしたスポーツ推薦等の具体的検討もなされている。



長野県中条高等学校

〒381-3203 上水内郡中条村大字中条2378番地1

TEL (026) 268-3101・3026

FAX (026) 267-1009

創立 明治42年4月13日



「平成元年度長野県高校新人体育大会バレーボール大会第3位」これは男子バレーボール部、と言うよりここ十年来本校における際立った大会成績である。団体種目での県3位入賞は圧巻と言える。

本校は中条村及び近隣の小川村などを基盤とする地域校のため、地元中学からの入学者を頼りとしている。子供の急減期に入り、平成4年度より4学級から3学級の生徒募集となり、同6年度には全校で9学級、生徒数は300名を割る事となった。当然、運動部も同5年まで10あったものが、同9年度には8と減っている。また運動部の加入率は、同年で40%と全県のそ

れとほぼ同率であるが、全校生徒数の減少にともない団体種目の部の成立が困難となりつつある。昭和63年度に第2体育館が完成し、広大なグラウンドと施設面は充実したが、常時活動している男女バレーボール、サッカー、野球の総勢50名程度ではやや持て余し気味で思ったような成績も残せなくなっている。対外的には評価されにくいのが、実はこの少ない運動部の生徒が学校を動かしていると言える。クラブと学習を両立し生徒会長以下生徒会のすべてを担い、学校行事等の中心的存在として学校全体の活力・推進力となっている。これは何よりも称賛されるべき点で、今後の活躍が大いに期待される。



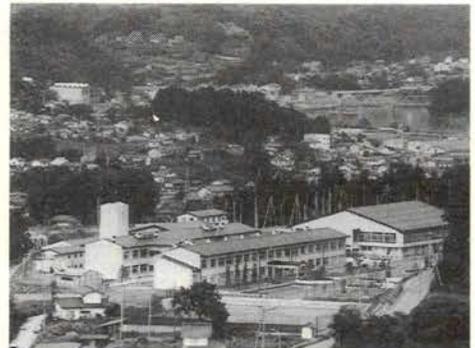
長野県犀峡高等学校

〒381-2413 上水内郡信州新町下市場70

TEL (026) 262-2044

FAX (026) 291-2025

創立 大正10年3月31日



生徒は信州新町を中心に一市四郡の犀川沿いの広い地域から通学し、平成元年度に現在地に新築移転した校舎、木の温もりのある教室、整った施設・設備の中で、学習や部活動等に励んでいる。最近、過疎化と都市部高校志向が強まる中で入学者が減少し、休部を余儀なくされている運動部もある。そんな中で、平成9年度から琅鶴湖に近い環境を生かして、全校をあげてカヌーに取り組んでいる。カヌーは、保健体育科授業年間指導計画に基づいて、全生徒が水を友として安全で楽しいカヌーを習得できるようにするとともに、部活動においては競技力の向上を図り各種大会での上位入賞を目指してい

る。カヌー部は発足して日は浅いが、平成9年度第18回北信越国体で入賞し、第52回国体（なみはや国体）に出場した。また、全日本九頭竜川長距離カヌーレーシング大会では、カナディアンペアで三位に入賞した。平成9年度は、カヌー部の活躍に刺激されてか、卓球部（男・女）とバレーボール部（男）が県大会出場権を獲得するなど、運動部の活躍が目立った。現在、部員不足や練習時間の制限、リーダー不足等の問題を持つが、部活動の振興を図るとともに学校の活性化に努めているところである。弓道場の建設とテニスコートの整備がなされた。（平成9年度）



長野南高等学校

〒381-2214 長野市稲里町田牧字大北236-2

TEL (026) 284-8850

FAX (026) 291-1552

創立 昭和58年4月8日



昭和58年4月に開校し、校是を意欲、創造、誠実と定め、伝統ある学校へと成長してきた。地域から愛される学校を目指し、勉学にクラブ活動に励んでいる。昭和63年全国大会にボクシング部根石和雄、陸上部中村敏、杉村秀樹、体操部堤美佐子。平成元年にボクシング部根石和雄、陸上部伝田功、成田泰子、男子テニス団体(寺島、中沢、奈良本、三浦、朝日)、ダブルス(寺島洋樹、中沢栄一)、体操部山本哲也。平成2年にボクシング部堀内英二、小林寛将、陸上部塚田浩道、女子テニス部北沢綾香、体操部山本哲也。平成3年にボクシング部小林寛将、田島貴光、陸上部横田真一、山本晴美。平成4年

にボクシング部岩間英幸、田島貴光、陸上部伝田明、山本晴美(やり投げ、全国大会で第4位に入賞)。平成5年に陸上部荻原勇一。平成6年にアーチェリー部今井敦。平成7年にアーチェリー部今井敦、宮下友子、ボクシング部吉沢、鶴田智也。平成8年にアーチェリー部宮下友子、丸山貴之、ボクシング部小山春樹、空手部宮坂真由。平成9年にアーチェリー部男子団体(瀧澤、鈴木、林、小池、荒川)女子団体(小宮山、井掘、小林、岡村、宮坂)、ボクシング部小島優司。空手部宮坂真由。以上全国大会で活躍をしている。創立16年目全校生徒一丸となって大きな目標に向かって頑張っている。



長野県篠ノ井高等学校

〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田1,161番地2

TEL (026) 292-0066

FAX (026) 292-9136

創立 大正12年4月8日



本校は、大正12年更級高等女学校として開校以来、70有余年の歴史と伝統を誇っている。その間、男女共学、定時制の併設、5階建て校舎及び体育館の新築等、数々の時代の要請にこたえてきた。学校創立70周年記念に伴う事業と重複して、90年長野冬季オリンピック、パラリンピック開催が決定され、新幹線工事のために体育館の解体・新築、混合棟等、校舎改築に影響がでてきた。特に体育館は筑後10余年の命である。解体から落成まで足掛け4年、平成8年10月にすべての工事が完了、100%学校としての機能が回復するに至った。中には工事期間中に入学・卒業して行った学年もある。このような

状況下で生徒達は現状を認識、理解し学業にクラブ活動に奮励努力してきた。環境整備もされ、今後さらに期待される現状である。(北信越大会以上の状況を列举してみた)

○北信越大会・剣道・弓道・ソフトテニス・テニス・アーチェリー・陸上競技・水泳・硬式野球・ウエイトリフティング○全国高校総体・陸上競技・弓道・ソフトテニス・アーチェリー・
○全国高校選抜大会・ソフトテニス・テニス○国民体育大会・ソフトテニス・陸上競技・ウエイトリフティング



長野県更級農業高等学校

〒388-0000 長野市篠ノ井布施高田200

TEL (026) 292-0037・292-1149

FAX (026) 292-9998

創立 明治40年4月1日



最近10年間の活動の記録は下記の通りである。

- 全国高校総合体育大会入賞
- 柔道 重量級 準優勝 山岸裕二 (H、2)
- 相撲 団体決勝トーナメント出場 (H、9)
個人決勝トーナメント出場 小山臣市 (H、9)
- 国民体育大会入賞
- カヌー カヤックシングル
4位 内山美智子 (H、4)
- 柔道 団体5位 大将 山岸裕二 (H、2)
- 長野県優勝 全国高校総体出場
団体・相撲 (H8、H9) 2回出場
個人 宮崎雄介 (H、6) 清水孝博 (H、7)
小山臣市 (H、9)
- 柔道 山岸裕二 (H、2)
- レスリング 久保田大介 (H、4)
- 陸上 走高跳 大久保あゆ美 (H、9)

上記以外で柔道が団体で県総体2位2回、3位1回、個人でも多数入賞者を出している。

卓球も団体3位、個人で数名入賞、陸上個人で入賞、レスリングも個人で多数入賞、バドミントンも多数の入賞者を出した。水泳は女子1名入賞をしている。

又全国高校新人相撲大会3回出場、全国高校柔道選手権大会に個人でも出場、秋季国民体育大会には柔道、相撲、カヌー、レスリング、走高跳等も出場健闘した。

北信越大会には柔道、相撲、レスリング、卓球、陸上等出場した。

この他の部では野球、サッカー、バスケット、バレー、テニス、等も目標をもって日々の練習を頑張っている。

最後に生徒数減にともない一層の努力をし部活動の活発になることに期待をしたい。



長野県松代高等学校

〒381-1232 長野市松代町西条字中条4065

TEL (026) 278-2044

FAX (026) 261-2120

創立 明治39年5月7日



本校は明治39年に創立されて以来92年となる古い歴史と伝統を誇る高校である。最近10年の本校は、昭和60年から学級増が続き平成2年には一学年9クラスになった。これに伴い混合棟が増築され、また校庭の整備、野球グラウンドの移転、テニスコート等が建設された。さらに63年に大体育館が、平成3年には弓道場が竣工された。

施設が整えられると、運動部も一層活発になり、テニス部が61、62、63年と3年連続全国大会に出場した。女子の活躍は見事であった。次に上げられるのは、バドミントン部である。平成元年女子団体、男子シングルス、ダブルス、女子シングルスが県下のトップに立ってから、毎年全国大会に出場している。創部してわずか

の間に花が咲いたのが弓道部である。平成5年に男子団体で全国ベスト16。平成7年には女子団体で全国ベスト8になり全国レベルの強豪校となった。個人でも上條君が全国ベスト8と活躍した。伝統を誇る陸上部では、ハンマー投げで牛越君が平成8、9年と連続で全国大会に出場し、走り巾とびの下条君は平成8年国体7位、平成9、10年と連続で全国大会に出場し、平成10年では8位に入賞した。女子でも片桐さんもやり投げで平成9、10年と連続で全国大会に出場し平成10年では5位と入賞し、古豪復活を果たした。

この数年、全国大会にはもう一步であるが、柔道部、テニス部、剣道部の活躍がめざましい。



長野県屋代高等学校

〒387-0007 更埴市屋代1000番地

TEL (026) 272-0069

FAX (026) 261-3450

創立 大正11年10月6日



本校は大正12年、長野県埴科中学校として埴科郡屋代町（現・更埴市屋代）に創立された。長野市と上田市との中間に位置する。近くに杏の里と森將軍塚古墳がある。昭和38年屋代東高校が屋代高校に改名されて普通科が中心であったが、平成4年に理数科が新設されました。魂の故郷として80周年を迎えようとしております。平成3年校舎が改築されて「質実剛健」の校風を受け継いでおります。

体育施設では、体育館2棟、格技室、プール、グラウンド（陸上（300m）、野球、サッカー）ハンドボールコート二面、テニスコート4面、弓道場一棟

最近10年間の活動状況昭和62年より、全国高

校総体出場したクラブ長野県優勝

- 団体男子ハンドボール8回（S62・63・平成元・2・3・5・6・9）
 - 〃 女子ハンドボール6回（S63・平成3・4・5・6・9）
 - 〃 男子空手道2回（平成2・3）
 - 〃 男子弓道1回（平成7）
 - 〃 女子弓道1回（平成9）
 - 〃 男子山岳1回（平成4）
 - 〃 女子なぎなた1回（平成9）
- 個人柔道中村幸宏（S62）、弓道桜田智也（S63）
- 〃 硬庭遠藤 尚（S63）
 - 〃 陸上前島 啓一（平成3）
 - 〃 弓道竹花匡史準優勝（平成4）



屋代南高等学校

〒387-8502 更埴市大字屋代2104番地

TEL (026) 272-2800

FAX (026) 261-3451

創立 明治42年4月1日



狭隘な校地での体育施設を充実するため、昭和63年4月新テニスコートが屋代駅東側に竣工され、平成7年10月にはグラウンドの改修事業が行われました。

昭和62年以降、本校の運動部活動で特筆すべき活躍を収めたのは、女子剣道部が昭和63年県大会で団体優勝を飾り、インターハイへ出場したことと、陸上部がハンマー投げで昭和62年の宮本昌彦、63年の山本義明、平成3年の大日方祐一がそれぞれインターハイへ出場したことです。

そして薙刀同好会が平成5年・6年に朝倉栄里子と太田素子が、また水泳同好会がシンクロ

ナイズド・スイミングで平成6年に山辺美佳がそれぞれ国体へ出場しています。

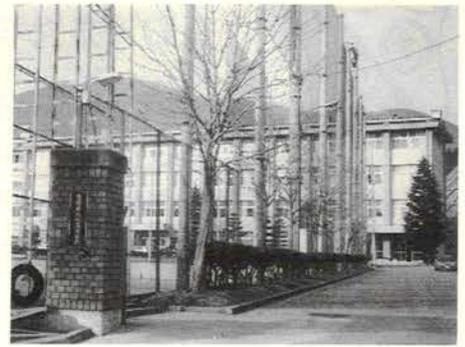
平成9年の運動部は、陸上・剣道・ソフトテニス・男子テニス・女子テニス・男子バスケット・女子バスケット・女子バレー・ソフトボール・卓球・男子バドミントン・女子バドミントン・弓道・サッカー・野球の16の部と新体操同好会が活発な活動を続けています。

運動部加入生徒数が減少傾向となっていますが、加入している生徒は信念を持って、よりよき成果が得られるように毎日の練習に真剣に取り組んでいます。



長野県坂城高等学校

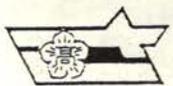
〒389-0601 埴科郡坂城町大字坂城6727-1
 TEL (0268) 82-2112・2269
 FAX (0268) 81-1304
 創立 明治43年4月1日



本校は、明治43年に坂城町立町に、長野県組合立埴南農蚕学校として設立され、校舎は元の坂城尋常小学校を使用して、男子の農業科、女子の家庭科が設置され、男女共学で授業が開始された。大正9年には校名が長野県埴南農蚕学校と改称され、更に農業普通科が設置された。その後数回にわたり校名の改称が行なわれたが、昭和26年になって現在の長野県坂城高等学校と改称された。昭和62年の創立75周年記念事業において校舎改築が行なわれ、2階建て大体育館（1階は武道場）、混合教室棟、音楽棟等が落成した。同時に第2グラウンドの拡張及び排

水工事も完了し、野球部、サッカー部の活動がますます盛況となった。

部活動においては、運動部は現在男子12部、女子6部があり、生徒らが自主的に困難なことを克服する実行力を身につけるべく、顧問と一体となってそれぞれの目標達成のため懸命の努力がなされている。戦績としては、昭和40～50年代は剣道部、ハンドボール部、バドミントン部が全国大会に数回出場しているが、昭和60年以後では空手部、薙刀部が全国大会へ、ハンドボール部が北信越大会へ数回の出場を果たす輝かしい足跡を残している。



長野市立皐月高等学校

〒381-0041 長野市徳間1133
 TEL (026) 296-1241
 FAX (026) 296-1242
 創立 大正8年4月1日



長野市の東北、緑に包まれた若槻丘陵に沿う静かな環境に建つ。大正8年創立の長野実科高等女学校を前身として、昭和43年市立高（被服）と第二高（普通）の合併により発足した。現在普通科15クラス、被服科2クラス総合生活科4クラス、生徒総数760余名からなる県下唯一、公立の女子校である。

運動クラブは、陸上・バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・卓球・バドミントン・体操・水泳・弓道・軟式テニス・硬式テニス・ワンダーフォーゲル・剣道同好会の13競技で、各クラブとも顧問の指導の下、毎日の練習に汗を流している。男子がいない分、施設の

にも予算的にも他校に比べ大変恵まれた条件の下で活動することができる。ここ10年間の活動を見ると、陸上部からは県大会総合優勝や競歩競技において全国で通用する選手が出ている。バスケットボール部並びに卓球部は北信地区において常にベスト4以上であり、県大会でも活躍している。また、バレーボール部、軟式テニス部、弓道部、バドミントン部をはじめ他のクラブも日頃の練習に余念がない。

今後も部活動をとおして豊かな人間形成を目指し、明るく活気ある学校作りに努力していきたいと考えている。



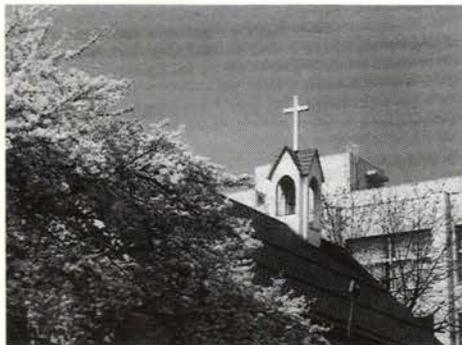
長野清泉女学院高等学校

〒380-0801 長野市箱清水1-9-19

TEL (026) 234-2301

FAX (026) 234-2303

創立 昭和24年4月1日



本校は、昭和24年4月に聖心侍女修道会を設立母体とする、県下唯一のカトリックミッションスクールとして創立された。長野市の城山公園と市営動物園の中間にあり、東は善光寺平を一望し千曲川をへだてて菅平高原を望み見る高台に位置している。

永遠の価値あるものをめざし、生きるよろこびにみちた、清らかで思いやりがあり、深い知性と品位を兼ねそなえ、社会のために献身できる女性を育成するよう努めてきた。

昭和43年にグラウンドが竣工されて施設が整い、以来変わらぬ条件の中で現在は8つの運動部が毎日汗を流している。放課後の部活動の時間も下校時刻が決められているため限られてお

り、密度の濃い練習が求められている。ここ数年間では、新体操部が団体で3年連続、個人で5年連続インターハイ出場という輝かしい実績を残している。バスケットボール部はこの10年間の県大会はほとんどベスト4以上の戦績を残し、平成5年にはインターハイと全国高校選抜大会に出場している。また、陸上部、バレーボール部、ソフトテニス部も着実に力をつけ、常に県大会へ出場するに至っている。

今後は私学の特色を生かし、クラブ活動の面でも創意工夫をして魅力あるクラブ活動をしていかなければならないと考えており、すべてのクラブ活躍が期待される状況である。



文化女子大学附属長野高等学校

〒380-0915 長野市上千田141

TEL (026) 226-8386

FAX (026) 227-5735

創立 昭和6年4月15日



文化女子大学の附属高校としての本校は、昭和58年12月1日発足した。進学中心の女子みの普通高校であり、私学として県立にはない独自の教育理念と校風とを備えている。特に平成7年度より教育改革に取り組み、ニュース、四課程制、65分授業を実施し生徒の進路の保証を確実のものとしている。

部活動の目標を「部活動を通じて心身の調和のとれた発達を図り友と共に切磋琢磨して個性を磨き、友情を創り集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」と定め、運動部数12部、約300名の部員が日々厳しい練習に励んでいる。特筆すべきは機械体操部で、昭和60

年から平成9年まで全国高校総体へ13年連続出場を果たしており名門校として知られている。又平成9年ソフトテニス部、バスケットボール部が北信新人戦優勝、県大会でベスト4入りを果たし春には全国大会を目指し頑張っている。又バレーボール、陸上、水泳、ソフトボール、弓道が連続県大会へ出場しており各部が好成績を上げている。

施設面では平成7年、文大附属長野高校発足十周年記念事業として新体育館が完成。更に8年弓道場が完成し着々と諸施設が整備された。今後の部活動の充実、発展に大いに期待がもてる。



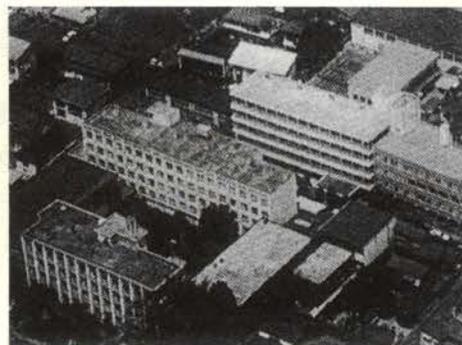
長野女子高等学校

〒380-0803 長野市三輪9丁目11番3号

TEL (026) 241-6800

FAX (026) 241-6224

創立 大正14年5月21日



本校は長野市の善光寺の東側に位置し、緑に囲まれた静かな住宅地の中にあります。

大正14年5月21日に、長野市和洋裁縫女学校として創立され、今日の長野女子高等学校の礎が築かれています。

創立以来、『梅花不撓風雪』を建学の精神として苦難と逆境に耐え得る豊かな女性になるよう努めています。

通学範囲は広く、北信一帯はもちろんのこと、東信は上小、北佐久、小諸、中信は松本、東筑摩に及んでいます。

運動部は、バレーボール、バスケットボール、テニス、ソフトテニス、バドミントン、卓

球、陸上、剣道、馬術、弓道等々のクラブがあります。どのクラブも礼節と技術を身につけようと練習に励み、成果を挙げてきています。幸い、本年度は国民体育大会広島大会に馬術2名、卓球1名の選手が出場し、良い成果をおさめました。

更に、今後ますますクラブ活動に学習活動に励み、女性としての清新な能力と温雅で純潔な人間性を養っていきけるよう頑張りたいと思います。



長野日本大学高等学校

〒381-0038 長野市東和田字中道253-3

TEL (026) 243-1079

FAX (026) 259-3935

創立 昭和34年1月24日



本校は、長野中央学園が地域の要望にこたえて、昭和34年に創立した男女共学全日制普通高校である。昭和63年長野中央高等学校から長野日本大学高等学校に校名を変更し現在に至る。卒業生は平成10年で約14,000名である。

各部は創立以来、県大会、全国大会等で活躍をし、特に体操部・水泳部・陸上部等は県下では好成績を残してきた。近年は剣道部・バレー部等の進境が著しい。現在の運動部数は18である。最近の活動成果を概観する。

○陸上部 S63~H9 IH・国体出場。H9 北信越男子総合優勝。○水泳部 S63~H9 IH・国体出場。H7 IH背泳ぎ2位。○体操部

S63~H9 IH・国体出場。H3 IH県下初の団体決勝進出。○剣道部 S63~H8 IH出場。○柔道部 S63 IH出場。H6 全国高校柔道選手大会出場。○弓道部 H1・2・6 北信越出場。○サッカー部 H1 県新人大会優勝。○女子バレー部 H3~4 IH出場。H7 北信越優勝。○男子バレー部 H2~7・9 北信越出場。H7 中部日本優勝。○スキー部 S62 冬季オリンピック出場。S62~H9 IH出場。H1・4~9 団体出場。H5 国体優勝。H8 国体・全日本優勝。



篠ノ井旭高等学校

〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川1045

TEL (026) 292-0726

FAX (026) 292-1427

創立 昭和35年4月1日



本校は、創立36周年（開校昭和35年）を迎えた。一時期は全校生徒が200名にまで減少した年もあったが、教職員の努力が実を結び、現在は700名を数えるまでになった。

入学生の中には不登校生が増える一方で、クラブ入部希望者が減っている。開校以来の伝統を守り続けているクラブも少なくなったが、その中でも、特に活躍をしている部は野球部、卓球部、柔道部等が県大会に出場を果たし伝統を守り続けている。

この他の部では、バスケットボール部、サッカー部、テニス部、陸上部、バレーボール部などにおいても毎日の練習に汗を流し、県大会を

目指して頑張っている。また、個人としてスノーモービルにおいて全国大会優勝、カーリングについてもジュニアチームに所属し全国大会に出場し準優勝を果たしている生徒もいる。

本校において、運動クラブに所属する生徒は年々減少傾向にある中で、3年間クラブ活動を続けることは大変な努力が必要である。

現在は、これら地道に努力を重ねている生徒の活躍が、「明るい話題」となることを大いに期待しているところである。



長野県上田千曲高等学校

〒386-8585 上田市中之条626

TEL (0268) 22-7070

FAX (0268) 23-5370

創立 大正6年4月1日



本校は大正6年4月に町立上田女子実業補習学校として創設された女子部と昭和17年長野県上田市立商工学校として発足した男子部がそれぞれ何回かの校名変更を経た後、両校が合併し「長野県上田市立高等学校」として昭和23年に現在地に設立。当時は建築・機械・商業・家庭・普通の5学科、今の「長野県上田千曲高等学校」は昭和24年に県立に移管してからである。本校は工業科（建築・機械・電子機械・電気）商業科そして食物栄養科・生活福祉科が併設された県下でも有数の総合専門高校である。平成9年には創立80周年を迎え同窓生と共に祝いました。

全日制男子529名、女子423名、定時制23名、本校の運動班は同好会を含め男子16班、女子13班があり高体連加盟人数も年々減少傾向にはあ

るが全校の40%を占める。

昭和62年以降全国大会出場を見てみると平成元年ソフトテニス女子個人で甲田・水出組、平成3年陸上班男子ヤリ投小林敏彦、定時制卓球班個人水沢、平成4年陸上班女子ヤリ投甲田由紀子、定時制卓球団体、個人水沢2年連続、平成5年ソフトテニス女子個人半田・北沢組、相撲個人伊作、平成8年スキー班由井孝文、峯村文就、藤井泉、平成9年スキー班由井泰臣、堀口祐二、藤井泉、小林さつきが出場を果たしている。しかし団体競技での全国大会出場がないのが残念である。本校は県下でも数少ない広大なグラウンドや体育施設等、練習環境に恵まれている。伝統ある各班は「栄光をふたたび」を合言葉に質実剛健、不言実行を胸に更なる飛躍を目指して、日夜厳しい練習に励んでいる。



長野県上田高等学校

〒386-8715 上田市大手1-4-32

TEL (0268) 22-0002

FAX (0268) 22-5390

創立 明治33年4月1日



明治33年6月創立の本校は、2年後に記念すべき100周年を迎えようとしている。

この間、幾多の有為な人材を世に送り出してきた。スポーツの世界でも戦前、戦後を問わず人材とともに輝かしい実績を残してきた。先に発行された県高体連史に述べたものは割愛している。

昭和62年、憧れの全国高等学校野球選手権大会夏の大会に長野県代表として30年ぶり2回目の出場を果たした。また、この年はサッカーの全国高校選手権大会出場も果たしている。同年末にはハンドボール班はこれまでの実績を全国高体連から評価され、中国遠征日本代表チームに選出されて親善を兼ね中国の高校生と数試合のゲームを通し貴重な体験をしている。

平成4年度本県で開催された全国高校スキー

大会アルペン種目のスラロームで下平匠選手が第2位に入賞したが、現在はスキー班は部員確保に苦心している状況である。

現在、運動クラブ数は23におよび、約60%に近い生徒が毎日の活動を通して自己練磨に励んでいる。専門的な指導者不足で必ずしも生徒の期待に応えられない部分もあるが、かえってそれぞれが主体的に活動し、ハンドボール・山岳・テニス・ソフトテニス・剣道班等はここ数年高いレベルにあり全国高校総体に選手を送り出している。部活動の在り方や方向性について今後委ねられねばならない課題もあるが、本校の教育方針に沿って文武両道の道を求め、活力に満ちた高校生活を保障しながら今後も活動を支援していく考えている。



長野県上田染谷丘高等学校

〒386-8685 上田市上田西丘1710

TEL (0268) 22-0435

FAX (0268) 23-5333

創立 明治34年4月1日



2001年には、創立100周年を迎える伝統校です。平成4～7年度には、東信高体連の事務局を担当しました。最近の体育施設に関する改修では、平成6年のグラウンド全面改修が、主なものです。運動班は現在25あり、それぞれに「己に克つこと」・「勉強とスポーツの両立」を合言葉に頑張っています。男子ソフトテニス班は、県高校総体において昭和63年から平成4年までの間、団体戦で5連覇を達成し、インターハイに出場しました。また、県新人大会においても昭和60年から63年までの間、団体戦で4連覇を達成し、昭和63年には、全国選抜大会でベスト8に入りました。平成6年には剣道班女子が県大会で団体優勝し、インターハイに出場しています。個人戦では、ソフトテニス男女・剣

道女子・陸上・バドミントン男女・卓球男女・スキーなどが数回出場しており、なかでも平成7年には、スキー女子回転で8位に入賞しています。北信越大会での優勝は、平成2年に男子ソフトテニス(団体個人)・平成8年に女子ソフトテニス(個人)・平成9年に陸上(女子800m)などがあります。また、最近の北信越大会では、男女ソフトテニス・剣道男女・陸上班などが活躍し、男子バスケット・男子バレー・女子ソフト・バドミントン男女・卓球男女・水泳・柔道・ワングル等も出場しています。

体操舞踊班員32名は、今年の長野オリンピック・パラリンピックにボランティア参加しました。



長野県上田東高等学校

〒386-8683 上田市常田3丁目5番68号

TEL (0268) 22-0101

FAX (0268) 23-5170

創立 明治25年4月27日



我が校の歴史は、明治25年に我国初の蚕業高校として開校以来、改称・移転を繰り返し、昭和37年に現在の上田東高校に至る。昭和40年代に新体育館・プールを新設し、31クラスの大規模校を経て、平成3年にはグラウンド拡張・雨天練習場・トレーニング室を新設し、100周年を迎えた。

クラブの発展には同窓の力が大きく、経済面から援助する運動部後援会の発足、夜間帰宅する生徒の為の外燈の寄贈等、物心両面からPTA・父母会・OB会等の幅広い支援を受けている。

最近10年の全国大会出場クラブは、男子テニス・女子テニス・サッカー・柔道・陸上・男子

ソフトテニス・バドミントン・スキー・野球と数多く、北信越大会出場クラブは、この他に剣道・空手・水泳がある。特筆するのは、昭和63年に男子テニス・女子テニス・サッカー・柔道・陸上・スキー・野球の7クラブが全国大会出場を果たし、「上田東」の名を全国に轟かせたことである。

現在も活気あるクラブ活動が継続され、伝統クラブのほかにも女子バレーボール・男子バスケットボール等が県大会上位を目指し、新しい上田東の歴史を刻むべく健闘している。100周年を礎に全てのクラブが心身ともに鍛錬し、伝統の継承と更なる躍進を誓い精進している。



長野県丸子実業高等学校

〒386-0405 小県郡丸子町中丸子810-2

TEL (0268) 42-2827

FAX (0268) 41-1050

創立 明治45年4月1日



明治45年設立の本校は、設立当所より現在に至るまで多くの学科をもち、総合高校として発展し現在を迎えています。ここ10年間では、トレーニングルームを新築、テニスコート3面を整備し、授業にクラブ活動にと活用されています。運動部も伝統あるクラブが多く、過去幾度となく全国大会に出場して好成績を取っております。最近では、野球部、ソフトテニス部、バレーボール部、ボクシング部、柔道部、サッカー部、バドミントン部など数多くのクラブが、県大会で上位入賞を果たし、全国大会をも視野にいれ、日々活動しております。その他、合計20の運動クラブが、それぞれの目標をもつ

て、練習に取り組んでいます。

また、定時制のクラブ活動も盛んで、平成9年にはバドミントン北信越大会で個人戦優勝、団体準優勝を遂げた他、卓球、陸上部も全国大会に出場しています。

本校の教育目標は、知性を磨き、創造的思考をたくましくし、情操を養い進取の態度を養う人間形成に主眼をおき、有為な人材の育成を期する、であります。

質実剛健の精神、進取の態度をもって、意気高らかに活躍する生徒の育成を願っています。

東高

長野県東部高等学校

〒389-0517 小県郡東部町県276

TEL (0268) 62-0014

FAX (0268) 61-0013

創立 大正12年4月16日



大正12年4月、小県郡東部実科中等学校として開校。昭和15年3月、長野県小県農学校となる。昭和23年3月、長野県小県農業高等学校に組織変更。昭和24年4月に設置者を長野県に変更、普通科を併設。昭和24年9月、長野県小県東部高等学校となる。昭和34年4月、農業科募集停止。昭和59年4月、長野県東部高等学校と校名変更、現在に至る。昭和60年度よりの本格的な校舎増改築により、混合教室棟、音楽室棟、昇降口増設、新体育館、自転車置場、プール改修、合宿所等の施設が設置されたが、ここ数年の生徒数の減少に伴い、課題も抱えている。運動部の歴史は、昭和27年7月の軟式テニ

ス部東日本高校大会出場をはじめとして、昭和34年10月、榎原が陸上部個人5.000mで国体出場、決勝進出をはたした。昭和44年、45年とバレー部が高校総体出場。昭和43年、44年と卓球部男子シングルス、女子団体シングルス・ダブルスで高校総体出場。昭和49年、剣道部高校新人優勝。昭和63年、平成元年、軟式テニス部が高校総体、国体出場。平成7年、平成8年には、スキー複合、佐藤が全国優勝を成し遂げ、世界ジュニア選手権2位の記録を残した。以降、生徒数減少に伴い、部員数の確保が厳しい状況がうまれているが、更に飛躍が期待される。



長野県蓼科高等学校

〒384-2305 北佐久郡立科町芦田3652

TEL (0267) 56-1015

FAX (0267) 51-3006

創立 明治33年10月16日



昭和62年に部室棟、平成元年には体育館同2年にはプールの完成とここ10年の間に体育施設のハード面では飛躍的な向上を見ました。この体育施設を有効に使う主人公たる生徒が、都市部普通高校への指向の高まりや少子傾向も重なりここ10年間は地元中学生も蓼科高校をよそに地域外に流失している傾向にあります。本校で活躍してきた運動部の様子をここ10年振り返ってみると中学校での運動歴が影響しております。立科中学校バレー部、和田中学校バドミントン部、両校の出身者を中心にチームを編成しそこに熱心な指導者が加わると良い結果が得られております。またサッカー、バスケットなど

はマスコミの影響も大きなものがあります。

本文を書くにあたって、過去10年間の生徒会誌を読み返して県大会出場を夢見て日々努力している生徒の姿を思い起こすたび胸に迫るものがあります。大会出場のために他のクラブから生徒を借りたり、1回戦で大敗しながらも来年はぜひ1勝をと後輩に自分たちが果たせなかった夢を託し、そして顧問に感謝の言葉を添えております。全国大会で優勝も夢、県大会出場も同じ夢、目標に上下はなく、夢達成に向け今後も精進を重ねてゆく蓼科高校であります。



長野県望月高等学校

〒384-2202 北佐久郡望月町望月276-1

TEL (0267) 53-2100

FAX (0267) 51-1013

創立 昭和24年4月1日



本校は、大正15年に設立された長野県実科高等女学校を前進として、昭和24年に長野県望月高等学校と長野県川西高等学校とが統合県立移管され現在に至っています。

クラブ活動は活発に行われ、バスケットボール部が全国大会に出場するなど各クラブが活躍していました。近年においては、卓球部が全国高校総体、国体等に優勝をはじめとして大活躍し「卓球の望月」として全国に印象づけました。

最近10年間、特に平成になってからは生徒数の減少が始まり、各クラブ共部員の確保に四苦八苦するようになりました。そんな中で目覚ま

しい活躍をしたのがバドミントン部です。顧問の熱意あふれる好指導のもと、めきめき力をつけ常に東信大会において上位進出をはたし県大会の常連となりました。その後低迷をしていますが、部員も増え今後が期待されるところです。

また、空手道部も活躍しました。指導者に恵まれ部員も期待に答えて東信、県を勝抜きついに北信越大会出場を果たしました。現在は馬術部が期待されています。町からも全面的なバックアップをうけ全国大会出場を目指し頑張っています。



長野県小諸商業高等学校

〒384-0028 小諸市乙字上野323-2

TEL (0267) 22-0103 (代)

FAX (0267) 25-3785

創立 明治39年4月10日



明治39年小諸義塾の廃校をうけ、長野県小諸町立小諸商工学校として開校され、平成7年に創立90周年をむかえました。「高潔なる品性を養い、協調親和を旨とせよ。心身の鍛錬に努め、修学に専念せよ。職能に練達し有為なる人材となれ。」を校訓に、生徒一人一人の特性を伸ばし、他との協調の精神を体得させ、社会に役立つ人間の育成を目指しています。特に商業に関する専門教育を通して経営活動に関する技術や、態度を身につけさせ、産業の担い手となるような人材の育成を目指しています。卒業生は1万4千人余を数え、地元産業界はもとより、全国各地で幅広く活躍しています。

現在の運動部は、野球、バスケットボール男女、バレーボール女子、卓球男女、ソフトテニ

ス男女、陸上男女、柔道男女、バドミントン男女、ハンドボール女子、弓道男女のクラブがあります。運動部は古くから活躍していましたが、昭和49年女子増加により男子部員が減少傾向になってきました。そんな中で特に「長野県レスリング発祥の地」と云われる程、レスリングの活躍には大変目ざましいものがありました。平成7年に校舎改築が終了し、グラウンドも整備され、第2グラウンド新設、弓道場も新築されました。最近どの部も部員不足に悩まされていますが、一生懸命連日練習に励んでいます。「良い生徒が良い選手になる。良い選手が良い生徒になる。」を目標に、クラブ活動を通じ「心」のある人間形成を目指し、職員と生徒が一丸となって頑張っています。



長野県小諸高等学校

〒384-0023 小諸市甲字大畑4081-4

TEL (0267) 22-0216

FAX (0267) 22-3808

創立 明治39年4月10日



わが校の運動部が他校との交流試合を行なうようになったのは昭和21年頃とされている。その時点では、卓球、排球、籠球、庭球の4部であった。昭和23年学制改革以後、校友会は生徒会と名称をかえ、新たにソフトボール部を加えて5つの部が本格的に活動を開始した。その後陸上部、体操部、昭和51年結成された野球部は創部わずか4年で県大会ベスト8に進出。同じ頃陸上部の活躍も華々しく、全国大会上位入賞を果たした。

60年校舎移転後、運動施設もやっと充実してきた。時代の流れとも言えるのか、駅まで遠くなったのか、年々運動部への加入生徒が減少傾

向にあり最近ではハンドボール、レスリング、陸上部が北信越、全国大会出場が目につく程度で寂しい。低迷がちな運動部であるが、めざましく活躍した先輩達に追い付け、追い越せ—精神で毎日の練習に努力中である。

昭和62年 グランド拡張完成

〃 63年 小体育館 格技室棟竣工

平成元年 プール完成

〃 6年 新部室竣工



長野県軽井沢高等学校

〒389-0103 北佐久郡軽井沢町軽井沢1323-43

TEL (0267) 42-2390

FAX (0267) 41-1014

創立 昭和18年4月1日



長野県軽井沢高等学校は、昭和18年4月1日に、軽井沢町立軽井沢高等女学校（2年制）として開校され、翌年長野県軽井沢高等女学校と改称、昭和23年の学制変更により、長野県軽井沢高等学校となり、全日制普通科男女共学（定員300名）の新制高等学校として、スタートしました。その後、平成5年英語科が新設され現在に至っています。

校技「アイスホッケー、スピードスケート」における、この10年間の活躍はめざましいものがあります。アイスホッケーはインターハイベスト16位以上6回、特に平成4、5、9年にはベスト8まで進出、国体ではベスト4、3回の

輝かしい成績を残しています。卒業生は数多く大学に進学し、より高いレベルでホッケーを続けています。スピードスケートは、平成元年、土屋純二が全日本ジュニア選手権で総合優勝、第8回世界ジュニア選手権（キエフ）では堂々総合11位の成績を残しました。インターハイで土屋純二（1500m、5000m）2位、土屋泰仁（500m）8位、男子総合3位、平成6年上原千聖（1000m）3位、平成9年には女子リレーが5位入賞と地道な努力が実を結んでいます。

又、テニス、バスケット、サッカー、なども県大会で活躍できるような力をつけてきており今後は楽しみです。



長野県北佐久農業高等学校

〒385-0022 佐久市岩村田991
TEL (0267) 67-4010
FAX (0267) 66-1450
創立 明治34年3月1日



本校は、明治34年創立。県下農業高校の中でも古い歴史を持ち、佐久地方はもとより県内の農業振興に力を注いできました。農業科、園芸科、畜産科学科、食品加工科、生活科の5学科5学級で、平成9年度より生活科が募集停止となり現在の1年生は生活科を除く4学科4学級となっています。2年後の平成12年。西暦2000年には学校創立100周年を迎え、今生徒、職員、同窓会が一体となり記念行事の準備を進めています。運動部では、昭和23年県下初のハンドボール部の誕生、その後長年に渡る大活躍。昭和4、50年代での古豪柔道部、陸上部、卓球部の活躍の跡も深く運動部の歴史に刻まれています。

す。昭和61年には関係者の努力により念願の大体育館が建設されました。ここ10年間では、弓道部、レスリング部の活躍。中でもレスリング部の活躍は目ざましく、インターハイ、国体、全国選抜、ジュニア大会、各個人に優勝者を出し、団体でも北信越大会優勝、全国大会ベスト8に進出しています。海外遠征、国際大会へも8名の選手を日本代表として送り出し、1997イラン国際大会では2名の選手が銅メダルを獲得しました。創立100周年を迎えるにあたって、北農魂を持って各部が大いに活躍してもらいたい。



長野県岩村田高等学校

〒385-0022 佐久市大字岩村田1248-1
TEL (0267) 67-2439
FAX (0267) 66-1450
創立 大正13年3月13日



昭和39、41年にグラウンド・体育館とあいだぎ完成したが老朽化や校舎改築に伴い、体育設備の整備が望まれ、昭和53年に格技室、55年に第2体育館、56年にプール、58年にテニスコートが完成。その後バックネット、防球フェンスと続き、61年にグラウンドの全面改修が行われ、ほぼ体育施設が整ったが、狭いグラウンドで複数での班活動は危険や運動量の制約があり、第2グラウンドの増設が叫ばれ、創立70周年記念に向け各方面の努力により平成4年に第2グラウンドが完成した。またこの間第1体育館の床面の全面改修、照明の改修と増設、弓道場の新設も行われ、ほぼ体育施設が完備した。

本校は生徒数952名の普通科、職業科（機械、電子機械、電気）の学校、新幹線佐久平駅（平成9年度開業）や佐久インターチェンジに近接し、岩村田駅から直ぐの距離にあり、通学にも便利なせいか班活動をする生徒が多く、特に運動班には470名（生徒数の5割）が入班し、活動をしている。特にこの10年間の歩みの中で、男女バスケット班、弓道班、空手道班、ソフトテニス班、卓球班、陸上班の活躍が目立ち、特に陸上班はインターハイや国体においてたびたび全国入賞するなど活躍が顕著である。その他の班の活動も非常に活発と言える。



長野県野沢北高等学校

〒385-0053 佐久市野沢449-2

TEL (0267) 62-0020

FAX (0267) 63-5290

創立 明治34年4月1日



県高体連誌・東信高体連40年の歩み・及び50周年記念誌に、平成7年度までの活動記録が記載されているので、極力重複を避けながら平成に入ってから話題を拾ってみます。

施設・設備：昭和62. 3. 31 合宿所竣工
平成元. 2. 10 部室棟竣工
平成2. 10. 13 第二グラウンド
(野球専用) 竣工

以上、諸々の不備・不満はあるものの一通りの概要が整い、日々活発に、自主的な活動に励んでいます。その成果として、平成4年夏の大会において野球班がベスト4に入り大いに盛り上がりました。なお、この時のキャッチャー加

藤が慶應大学大学院在院中の現在も大リーグに挑戦していることは記憶されている方も多いためと思われます。そして、スケート班は平成8年インターハイで井出真博が500Mで優勝するなど伝統をしっかりと引き継いでいます。

しかしながら、ここ1~2年一部を除き各班とも班員不足に悩み、思うような活動・成績を残せないのも事実であり、創立100周年を間近に控え、また21世紀に向かって活力溢れた学校作りを考えたと、学校全体の問題として捉え、対策を考えていかなければならないと危惧しています。



長野県野沢南高等学校

〒385-0052 佐久市大字原86-1

TEL (0267) 62-0064

FAX (0267) 63-2238

創立 明治44年4月1日



本校は明治44年4月1日長野県町立野沢実科女学校として南佐久郡野沢町(現・佐久市)野沢小学校に併設開校され、以来幾多の課程の設置と廃止及び校名変更等の変遷をへて、昭和24年現在の長野県野沢南高等学校と称し、昭和26年定時制課程の開設、昭和35年50周年記念で体育館落成があり、昭和47年10月校舎全面改築に伴い現在地に移転し、昭和50年4月より女学校に別れを告げ男女共学校として現在に至り、平成13年には創立90周年を迎えようとしている。

本校教育方針の特色の一つに創立当時から、強健な身体の育成という表現が多く、一にも二にも良妻賢母であって体育的行事の多様さには驚く。開校当時はテニスが盛んに行なわれていたという。大正10年には、庭球・排球・籠球の3部が発足し、大正11年には校庭が狭いために岩村田の種畜牧場で運動会が実施され、ハヶ岳・浅間山登山が行われた。昭和初期にはスケートの実施、

週1回の体育デーには全校で体操と疾走が行なわれていた。昭和10年代には耐寒遠足20Kmを実施し、競技部・なぎなた・スケート・弓道・登山・ソフトボール・卓球・新体操部の誕生で再出発し、男女共学の現在はバドミントン・剣道・ハンドボールが加わり昭和61年には硬式野球部が誕生している。

戦前で活躍の目覚ましいのは軟式庭球・籠球・スケートの3部で共に神宮大会に出場している。

昭和の後期には陸上競技・バレーボール・バスケットボール・ソフトボール・新体操と北信越大会・国民体育大会・全国大会に駒を進め入賞等の好成績を残している。最近の10年間では陸上競技をはじめ、空手道の活躍が目覚ましく伝統あるクラブとハンドボール・弓道・剣道の新興クラブも着々と実績を重ね成績を残すべく努力しているところである。



長野県臼田高等学校

〒384-0301 南佐久郡臼田町臼田751

TEL (0267) 82-2035

FAX (0267) 81-1077

創立 明治40年4月20日



本校は東に妙義、西にハケ岳、北に浅間山、中央に千曲川がながれる風光明媚な、星の街臼田の一角に位置する。創立90周年も過ぎた伝統校である。現在は5学科（環境緑地科・インテリア科・アパレルデザイン科・衛生看護科・普通科）を擁し、生徒数も900名を超える大規模な総合高校となっている。体育施設は他校に比べ特徴的なものはない。野球・陸上・サッカーがグラウンド共有のため第二グラウンドを設けるよう用地確保に力を注ぎつつある。現在の運動部は男子13部・女子10部を数える。ここ数年運動部員が激減し、その数は生徒数の3割にも満たない。8年度女子ハンドボールが県大会を

制し、インターハイ初出場を果たした。7年度には女子ソフトテニス個人（清水君恵・内田久美子）がインターハイに出場している。野球ではベスト16に進出を果たし今後の活躍が期待されている。



長野県小海高等学校

〒384-1105 南佐久郡小海町千代里1006-2

TEL (0267) 92-2063

FAX (0267) 91-2007

創立 明治40年4月4日



本校の体育施設はプールが平成2年7月、弓道場が平成8年3月に完成し、プールは体育の授業はもちろん夏期休業中はクラブ活動でも使用している。

本校のクラブ活動はスケートが有名である。スケートの伝統は南佐久実業時代のインターハイ女子9連覇、冬季オリンピックに高見沢初枝をはじめ数多くのオリンピック選手や世界選手権代表選手を輩出している。最近ではインターハイ総合優勝はないが毎年のように入賞している。個人で世界大会で活躍した選手は、昭和62年に大村正彦が世界選手権大会と世界ジュニア選手権大会に出場し、世界ジュニア選手権大会

では、3種目に優勝して総合優勝をし世界ジュニアチャンピオンとなる。63年に岩下清人が世界ジュニア選手権出場をしている。なお、昨年度卒業の江村さやかが、1年生のときに世界ショートトラックスピードスケートチーム選手権大会出場。昨年度は2年生野本繁、3年生篠原泰洋が、全日本ジュニアスピードスケート選手権大会において1位、2位となり2人そろって世界ジュニア選手権大会の代表となりこれからの活躍に期待を抱かせている。

他のクラブも、公式戦1勝を目指す野球を始め、男女併せて9のクラブが活躍している。



学校法人 上田学園
上田西高等学校

〒386-8624 上田市下塩尻868
TEL (0268) 22-0412
FAX (0268) 26-2883
創立 昭和35年2月1日



本校は、昭和35年、この地の教育に熱心な先覚者の努力によって創立された。上小地区唯一の私立高等学校である。本校の教育は、心身共に健全で、将来よき社会人として自立し活躍できる人物の育成を目標とし、個性を伸ばし、明朗真摯で創造性豊かな幅広い全人教育に努めることを教育方針として創立以来、37年間、当地方の公教育の一端を担って今日に至っている。その間、昭和62年には、校舎移転、校名を「上田西高等学校」と改名し、教育環境の充実した好環境の元、生徒達は、学習にクラブ活動に毎日励んでいる。

最近、運動部離れが叫ばれるなか、本校では

運動部入部者が増加、野球部、サッカー部では部員数が80余名と大所帯となり、又他運動部でも大勢の部員が入部、活況を呈している。特にレスリング部、ソフトテニス部では全国大会出場、上位入賞を果たしており、アーチェリー競技なども高校総体全国大会出場をしている。その他、野球、サッカー、バスケット、陸上、剣道、バドミントン、ラグビー、柔道などの競技も県大会出場、活躍をしている。



学校法人 佐久学園
佐久長聖高等学校

〒385-8588 佐久市岩村田951
TEL (0267) 68-5588
FAX (0267) 68-0832
創立 昭和39年2月3日



本校は、県下唯一の中高一貫教育校として、「礼節・忍耐・誠実」の心を大切に、「知育・徳育・体育・気育・美育」の五育一体の全人教育に力を入れています。

生徒のさまざまな面の能力を最大限に伸ばし21世紀の地球新時代をリードするにふさわしい国際的な視野と豊かな人間性を兼備した優れた人財（人的財産）＝紳士・淑女を育成するとともに、難関大学への現役合格を目標に全力で指導しています。

体育施設の充実は著しく平成2年には、室内温水プールが完成し、年間を通じての使用が可能になりました。また平成9年には、アリーナ

（第2体育館）の完成にともないスポーツを科学的にコントロールする立場からフィジカルトレーニング室が整備され、本校スポーツの発展・向上に寄与しています。更に同年、弓道場も完成しました。

甲子園ベスト4の野球部、インターハイ男子総合3連覇・女子総合2位のスケート部、全国高校駅伝に初出場した駅伝部（女子）、国際大会に選手を輩出した陸上部、国体で上位入賞を果たした水泳部、インターハイ出場の柔道部・剣道部・バスケット部（女子）など、全国レベルで大きな実績を挙げています。



長野県富士見高等学校

〒399-0211 諏訪郡富士見町富士見原山3,330

TEL (0266) 62-2282

FAX (0266) 61-1001

創立 昭和2年4月1日



昭和24年、校友会は生徒会となり「会員の自治活動により学校生活を通じて、よりよき個人、よりよき社会の発展に資するを以て目的となす」をかかげ本部、文化部、運動部を置いた。運動部には籠球、排球、野球、庭球、卓球、競技、山岳、ソフトボールの各部があった。その後、柔道部、ラグビー部、スケート部が加わる。

中でも県大会、北信越大会、インターハイ、国体等で活躍が目覚しかったのは、陸上、柔道、ラグビー、スケートの各部であった。

昭和62年以降は大体育館（昭63）プール（平2）も完成し、野球部（平6秋、北信越大会南

信大会優勝、県大会ベスト8）ソフトテニス部（平9、北信越大会出場（総体個人出場）平10、インターハイ出場（個人）。新人南信大会優勝（団体、個人）新人戦県大会準優勝（団体）第9回北信越ソフトテニス選抜インドア大会個人出場（いずれも男子）、柔道部県大会個人出場、（男・女）。ハンドボール同好会平9、総体南信大会優勝、新人南信大会優勝（県大会出場）等、大きな戦績を上げ、他、サッカー部も含めクラブ活動の中心で活躍し、現在は14クラブ共に連日激しいトレーニングに汗を流している。



長野県茅野高等学校

〒391-8511 茅野市宮川11395

TEL (0266) 72-3175

FAX (0266) 73-3899

創立 昭和17年4月1日



現在、本校では18のクラブが活動している。1989年から1993年の5年間については、学校自体が荒廃の時期にあり、同時に運動部の活動も低迷をしていた。学校を活性化させなければという全校あげての危機感と地域の要望に答えるべく1994年にインナーコースとして体育コースを設立した。コース設立以前は、各クラブとも地区予選1回戦敗退が多かった。しかしコースを設立して2年目から成果が現れて来た。各クラブの主な活動状況は以下のとおりである。野球部においては1996年に春季長野県大会のシード校となる。男子バレー部は、1996年新人大会県大会出場、1997年南信国体予選大会優勝、国体予選県大会ベスト8、同年南信新人大会3位、1998年選抜大会ベスト8。1994年ヨット部北信越高校総体男子FJ級デュエット3位。バドミントン部は、1997年には男女とも県大会に

出場し1998年には県大会男女ともベスト8と活躍した。女子ソフトテニスでは1998年にダブルスで県大会出場、団体戦においては南信大会3位、新人大会においては団体戦優勝と活躍した。体育コースには、目的意識をもった生徒が入学するため各クラブがお互いに競争意識が強く、活動も活発になってきた。スケート部においては8年連続全国大会に出場し活躍している。陸上部においては、各種大会で好成績をあげ1998年には混成競技において全国大会に出場し活躍した。同好会ではあるが女子ハンドボール部も設立（1997年）し熱心に活動している。こうした活躍の原動力となっているのが体育コースの生徒であり活動が盛んになるにつれ地域や保護者の協力と支援も得られるようになってきた。より一層の創意工夫と努力が必要と思われる。



長野県諏訪実業高等学校

〒392-0007 諏訪市清水3-3663-3

TEL (0266) 52-0359

FAX (0266) 57-2430

創立 明治34年4月9日



明治34年「高島裁縫専修学校」の設立に始まり、昭和23年「諏訪市立女学校」「諏訪市立商業高校」「諏訪市立女子商業学校」の合併にて「諏訪市立諏訪実業高校」、昭和24年に「下諏訪町立下諏訪実業高校」と統合され「長野県諏訪実業高等学校」となり、全面改築の完成と共に平成11年に創立80周年を迎える。体育施設も武道場、プールが新設となる。

昭和50年頃より、女子生徒が全校の3分の2を占めるようになり、女子の運動部を中心として活躍をするようになってきた。女子籠球部は県内の上位校の常連であった。平成に年号が変わると共に、陸上女子の活躍がめざましく、全

国高校駅伝には7年連続出場し、平成3年には9位入賞を果たした。個人でもインターハイ、国体には毎年代表選手を送り、北信越はもとよりその名を全国にとどろかせた。

弓道部も平成7年県代表として国体にて3位入賞を果たした。近年は生徒減の中、各クラブ熱心な指導者のもとで意欲的な活動が行われ、女子籠球、排球部を中心に南信、県内の上位を占めることでもわかるように、体育館、校庭で朝から元気な生徒のかけ声が聞こえてくる。



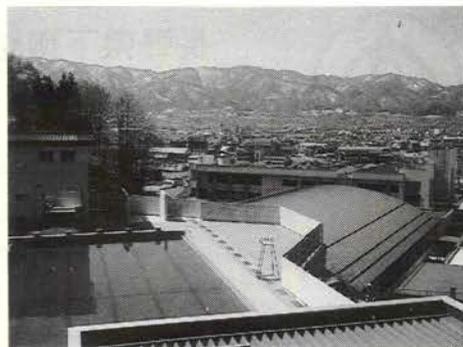
長野県諏訪清陵高等学校

〒392-0007 諏訪市清水1-10-1

TEL (0266) 52-0201

FAX (0266) 57-2426

創立 明治28年4月25日



明治28年に諏訪郡立実科中学校として本校が創設。明治33年郡立諏訪中学に改称。昭和23年新学制により長野県諏訪清陵高等学校となる。現在の校舎は、平成元年にその工事を完了させた。平成7年には、創立100周年を迎え、同窓会記念事業の一環としてトレーニングセンター(高志館)が寄贈され、生徒の体力にたいする意識の向上及び競技力向上に大きな役割を果たしている。また平成9年に、プール及び第2グラウンドが新設され、本校の長年の懸案事項であった施設の狭小が解消されつつある。

本校の運動部活動については、明治以来からの選手制批判による選手制廃止・対外試合自

粛・運動一般化による全員一部必入制が特色であった時代の流れが根底にある。そのため、校内の体育的行事は盛んであり、特に、湖周マラソン大会(諏訪湖一周)は80回を数え、クラス対抗端艇大会は他に類を見ない。しかし、時世の流れとして勝利、競技力に重点が置かれる国体・インターハイ等への参加も盛んになっており、歴史の古い端艇部(ボート)や排球部、籠球部、そして近年では硬式テニス部・野球部等の活躍もめざましい。今後も質実剛健、自主独立の気風を基調に、文武両道の人材育成に真摯な努力を重ねていくものである。



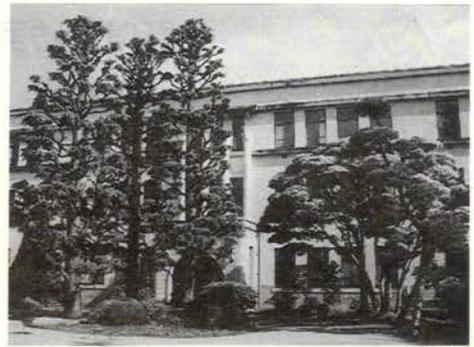
長野県諏訪二葉高等学校

〒392-0005 諏訪市岡村2丁目13番28号

TEL (0266) 52-4628

FAX (0266) 57-2420

創立 明治41年4月1日



昭和62年度に本校が男女共学を実施した。今、創立90周年が過ぎた。平成10年9月には旧体育館が解体され、平成12年3月に各校に建てられているいわゆる大体育館が完成することになる。3階建のうち1階部分に部室や合宿所を配置して、より機能的な授業や部活動が期待される。

活躍した運動部を紹介する。新体操は団体で全国総体への出場を重ねた。(昭62、平元、平3、平4)北信越では平4で優勝している。かつて全国優勝したスケートは、昭62で女子対抗3位入賞し、伝統校らしさを示した。バドミントンは昭62以降に県優勝はないが、北信越大会

へは昭62、昭63、平2と出場している。個人としては第38回スケート総体で1500M優勝の堀内佳子、平8に水泳の全国総体200Mと400M個人メドレーで両種目とも3位入賞した丹下智幸が光った。その他にも弓道・新体操で個人全国出場、陸上で北信越出場が記録されている。

近年、運動部加入数の減少等もあり、競技力向上はおろか、部活動そのものの充実さえ危ぶまれる傾向が出てきたが、なんとかそれに歯止めをする学校全体の意識を高めたいところである。



長野県下諏訪向陽高等学校

〒393-0021 諏訪郡下諏訪町7401

TEL (0266) 28-7582

FAX (0266) 26-1021

創立 昭和54年11月1日



創立20周年をまもなく迎える我が校の運動部のこの10年間は、大きく飛躍し実績を残す事ができた時期であったと言えます。当初より実力のあった野球部は昭63全国高校野球県でBEST4、平9春季北信越県3位で夢を膨らませた。県大会常連の陸上部は昭62～平4までに北信越に北沢(女3千)成沢(槍)打保(女百)大久保(幅)平出(幅)を送った。弓道部は平3県新人1位個人2・3位、平4全国選拔出場、平9県新人女子団体3位。漕艇部は平8総体県ダブルスカル2位で北信越に、シェルフォア1位で全国へ。バドミントン部は南信では屈指の強豪校に成長。女子は平3総体県団体3位

で北信越へ、平6県新人ダブルス塩原山口組2位、平7県総体で同組3位、平9県新人団体3位、シングルスで吉田2位・草間3位の活躍。ソフトテニス部は平8全国総体に五味望月組を送る活躍。バレーボール部は男女共に指導者を得てめきめき実力をつけ平7からは常に県大会に駒を進めるチームに成長。この他サッカー部・テニス部も地道な練習を重ね県大会に出場。バスケット部も実力をつけてきているし新たに空手道が同好会に承認。向陽の運動部は常に「学習との両立」を座右の銘に、活発な自主的活動を続けてさらなる飛躍を期して指導者と生徒が一体になり頑張っているところです。



長野県岡谷東高等学校

〒394-0033 岡谷市南宮 2-1-17

TEL (0266) 23-3161

FAX (0266) 21-1016

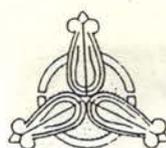
創立 明治45年4月11日



本校は昭和3年の県立移管を機に、校舎、体育施設等を整備してきたが、時の流れと共に老朽化し、昭和61年大体育館建設工事着工、昭和62年竣工、同年同窓会の好意により合宿所竣工、平成元年小体育館・格技室竣工、平成2年弓道場・プール建設工事・グラウンド造成工事竣工と5年という短い間にすべての体育施設が新しくなった。また、学校は昭和62年に男子が入学することにより、長い女子校時代に幕を引き、新たな道を歩み始め、現在に至っている。

運動部は、男子生徒の入学により様々な面で変化があらわれた。現在は、女子15部、男子13部が活動しているが、生徒の部活離れの影響も

あり、部員確保がたいへんになってきている。そんな厳しい状況の中でも各部は県大会、全国大会出場を目標に早朝より夕刻まで練習に励み、毎年いくつかの部が県大会に出場している。特にスケート部は、全国大会に毎年何名か出場し、平成元年、2年と菊池裕子、田中千景らの活躍で県総体学校対抗で連続優勝し、全国大会でも6位、7位と入賞。個人でも菊池裕子が3000m 4位。平成5年三浦美枝子1500m 5位、平成6年同2位とすばらしい成績を修めた。漕艇部も全国大会出場が多く、特に平成9年男子WS（柿澤義紀・牛尼裕之）で5位入賞。



長野県岡谷南高等学校

〒394-0034 岡谷市湖畔 3-3-30

TEL (0266) 23-2355

FAX (0266) 21-1015

創立 昭和16年4月6日



本校は普通科・英語科併せて生徒数800名、職員数60名（平成9年度現在）の全日制高校である。

本校には現在18の運動部（剣道、柔道、弓道、陸上、ソフトテニス男女、バスケット男女、バレー男女、バドミントン、卓球、山岳、サッカー、野球、水泳、スケート、漕艇）があり、全校生徒の約6割が入部している。その中でも、スケート部では先の長野オリンピックでも活躍した野明弘幸君は世界ジュニア選手権に2度出場し、また、平成9年度には小沢竜一君も世界ジュニア選手権に出場した。漕艇部では現在早稲田大学で活躍している岩本亜希子さん

が世界ジュニア選手権に出場するなど日本を代表する選手を排出している。

その他にも剣道部、弓道部、野球部等々も全国大会及び県大会で活躍をし、また最近では男子バスケット部、サッカー部、男子バレー部等も県大会、地区大会で活躍をするなど、学校として学習指導に力を入れている中、運動部の活動は盛んに行われている。



長野県岡谷工業高等学校

〒394-0004 岡谷市神明町2-10-3
 TEL (0266) 22-2847
 FAX (0266) 21-1005
 創立 45年3月6日



平成10年現在、本校では20の運動部が活動をしており、県下でも有数のスポーツの盛んな学校である。部活動を通して挨拶、清掃などの基本的な生活習慣の確立にも力が注がれ、活力のある学校づくりの牽引力となっている。

以下、各運動部の昭和62年から平成10年までの全国大会以上の活動状況を紹介する。全国大会出場回数は、インターハイは、バレーボール部22回、ラグビー部(花園大会)12回、体操部10回、ウエイトリフティング部7回、自転車競技部11回連続、スケート部6回、柔道部3回、バドミントン部5回、卓球部2回、剣道部1回、水泳部1回であり、国体は、バレーボール

部11回、ラグビー部9回、自転車競技部8回、ウエイトリフティング部6回、体操部5回、山岳部2回、柔道部1回、水泳部1回、バドミントン部1回を数え、軟式野球部も全国高校選手権に1回出場している。特にバレーボール部の活躍は目覚ましく、高校選抜大会、インターハイ、国体において優勝1回、準優勝を4回、3位を5回と、常に全国大会の優勝候補に上げられる実力を備えている。また、ラグビー部は、国体連続準優勝を成し遂げ、スケート部、弓道部いずれもインターハイで個人3位入賞を果たした。



長野県辰野高等学校

〒399-0428 上伊那郡辰野町伊那富3644-2
 TEL (0266) 41-0770
 FAX (0266) 44-1001
 創立 大正元年9月27日



本校は大正元年、伊北農蚕学校として武井覚太郎翁により創設され大正2年に開校し、本年度で86周年を迎える伝統ある学校である。この間多々の変遷を繰り返し、昭和24年に長野県辰野高等学校と改称し現在に至っている。またこの間に施設の充実もはかられ、昭和63年音楽棟、平成3年商業科棟が落成され、平成9年には第二グラウンドが完成した。

運動部は現在男女合わせて17のクラブと4つの同好会が毎日の活動をしている。近年全国大会への出場こそないが、各クラブとも県大会出場或いは上位入賞を目指して頑張っている。特に伝統ある柔道部では平成9年に赤羽が、また

陸上部では遠藤が北信越大会に出場をしている。他のクラブではサッカー部・バドミントン部・女子バレーボール部・剣道部・ソフトテニス部の男女等が県大会の出場をはたしている。

近年、生徒数の減少とクラブへの加入率の低下により充実したクラブ活動の実施が難しい状況の中で、各クラブとも県大会出場を目指し、また本校の教育目標である「自主独立」「自他敬愛」を胸に日々練習に汗を流している。



長野県箕輪工業高等学校

〒399-4600 上伊那郡箕輪町大字中箕輪13238

TEL (0265) 79-2140

FAX (0265) 70-1305

創立 明治35年12月1日



明治35年、女子に冬期間のみ裁縫を主とした補習教育を行う補習学校を設置。これが本校のはじまりであり。昭和39年、現在の校名長野県箕輪工業高等学校となる。平成5年第2体育館竣工。現在にいたる。本校の運動部は、現在、男子部10、女子部1があり、中でもフェンシング部と、陸上部は、全国大会でも活躍した実績を持っている。

フェンシング部は、昭和53年長野国体において少年男子で見事優勝を果たした。最近では、H元年I・H唐沢一寿、サーブル個人4位。H3年I・H唐沢智之、フルーレ個人ベスト16。H8年アジア・カデット・フェンシング選手権

日本代表三澤高志、フルーレ個人7位。国体少年男子団体武田操、三澤高志、3位。H9年I・H三澤高志エペ個人ベスト16。北野友紀、女子エペ・フルーレ個人出場。北信越大会米山辰徳、棒高跳び、8位。

他の、運動部も、これに続けとばかりに練習に励んでいる。しかし運動部ばなれが、顕著にあらわれているのも事実である。そんな中で、1年生の北野、米山両名の活躍は、光を与えるものであり、本校運動部の活動が益々向上するよう努力を続けていきたい。



長野県上伊那農業高等学校

<全日制> 〒399-4594 上伊那郡南箕輪村9110番地

TEL (0265) 72-5281

FAX (0265) 76-8942

<定時制> 〒396-0011 伊那市大字伊那部4605番地

TEL (0265) 78-0422

FAX (0265) 78-0422

創立 明治28年5月1日



1895(明治28)年、上伊那簡易農学校として誕生した本校は、1994(平成6)年創立百周年を迎えた。この間学科設置・改編・廃止を経て、また定時制課程も移管され、今では全日制4学科(農業、園芸、生物工学、緑地工学)4学級、定時制(普通科)1学級編成になっている。施設は10haの農地を含む18haの広大な敷地に校舎が配置され、体育施設も両翼90mの野球場・105×68mのサッカー場・1周333mのトラック・テニスコート4面・大中2棟の体育館・プール等を有している。

本校は、なにぶんにも小規模校であり、各部門とも十分な部員確保は難しい状況である。しか

し、そういった中で各運動部の活躍には目覚ましいものがある。まず、上農といえば駅伝の活躍を云わなければならない。1964(昭和39)年に念願の県大会優勝・全国大会出場を果たし、以降途中の11連覇を含め通算19回の全国大会出場で県下最多を誇っている。最近特に活躍が見られるのは、バスケットボール部である。ここ数年、県大会出場常連校であり、特に女子部は、1997(平成9)年高校総体県大会では準優勝し北信越ベスト8まで進んだ。ほかにも多くの部で県大会に進んでいる。

こういった運動部の活躍が、学校全体の上昇機運に貢献しているととっても良いであろう。



長野県高遠高等学校

〒396-0293 上伊那郡高遠町小原824

TEL (0265) 94-2130

FAX (0265) 94-1210

創立 大正15年4月7日



本校の教育は、高遠藩の学問所進徳館の「実学の精神」を継承し、また文武両道を目指し今日に至っている。校舎も昭和59年高遠城址にあった旧校舎から小原瀬戸地籍に移転し、新たな歴史の一步を踏み出した。

運動部は校舎移転に伴い更に充実した施設・環境のもと活動している。以前のような“高遠”の名を全国に轟かせた柔道・軟式野球・陸上・弓道部等の全国・甲信越大会出場といった輝かしい実績はないものの、各運動部が県大会出場を目標に掲げ日々練習に励んでいる。最近では、平成6年に陸上部（女子砲丸投）がインターハイに、平成7年には剣道部とソフトテニ

ス部が、個人戦（男子）で北信越大会に出場した。

本校は小規模校であり、ここ数年各運動部とも部員不足に悩んでいる。個人戦出場は可能であるが団体戦となると他の運動部より選手を借りての出場かもしくは辞退となってしまう。しかし、選手は少人数ではあるが最大限の努力を重ね、更に切磋琢磨しながら目標に向かって前進している。今後更なる飛躍を期待したい。



長野県伊那北高等学校

〒396-8558 伊那市大字伊那2165番地

TEL (0265) 72-2221

FAX (0265) 76-8969

創立 大正9年4月1日



本校は伊那谷の中央に位置し東西をアルプスに囲まれ、眼下に天竜川を見下ろす高台にあり、平成2年に創立70周年を迎えた伝統校である。現在23クラス、男女計911名の大規模な学校となり当時よりの質実剛健、文武両道を実践し進学、スポーツともに地域を代表する活躍をしている。

運動部の歴史は古く過去3回の甲子園大会出場を果たした野球部に代表されるように様々な部が全国の大舞台に出場し活躍している。創立70周年を機に新設されたトレーニングルームと新たなテニスコートにより各部の活動がさらに充実してきている。昭和61年の創部されたフェンシング部は毎年全国大会に出場し、何人もの入賞者を送りだし、特に平成3年木下進一がイ

ンターハイ準優勝、平成8年の国体では、唐澤俊章が団体戦第三位と大活躍した。スケート部は平成8、9年のインターハイで新谷志保美が女子500メートルで2年連続優勝、9年の国体でも優勝するという快挙を成し遂げた。サッカー部は平成元年にインターハイ県大会で準優勝し県下の強豪の仲間入りを果たし、その後平成6年にも全国高校選手権長野県大会で決勝にすすみ、全国大会にもう一步のところきいている。その他伝統のある陸上競技部でも平成9年には矢花誠がインターハイ3000m s cで4位に入賞したほか卓球部、ラグビー部、ソフトテニス部などが幾度となく全国・北信越大会に進み活躍しており、現在男子16部女子13部の運動部の今後のますますの活躍が期待される。



長野県伊那弥生ヶ丘高等学校

〒396-0021 伊那市大字伊那5703番地

TEL (0265) 72-6118

FAX (0265) 76-8945

創立 明治44年5月28日



本校の教育方針は、知識の習得は知的にも道徳的にも円満な人間として成長するためのものと考えている。そして、本校に学ぶことによって、くもりない理性と正しい道徳的判断力、自主性、積極性とをそなえ勤労の尊さを理解する円満な人間として成長することを期待して、日々教育を実践している。

本校では現在、野球、サッカー、テニス（男女）、ソフトテニス（男女）、剣道（男女）、バスケットボール（男女）、陸上（男女）、バドミントン（男女）、バレーボール（男女）、卓球（男女）、新体操、ソフトボール（男女）、弓道（男女）、水泳（男女）、山岳、の各運動部が活

動している。最近では、男子ソフトボール部のインターハイベスト8、新体操のインターハイ2年連続団体8位など、全国大会での活躍も目立っている。

運動部の活躍

- 新体操 インターハイ平成8、9年団体8位
- ソフトボール男 インターハイ15年連続出場
- ソフトボール女 インターハイ平成2年
- ソフトテニス男 インターハイ平成2年
- ソフトテニス女 インターハイ平成2年
- 弓道 インターハイ平成2、8年
- 陸上 インターハイ平成5、8年
- 卓球 インターハイ平成8、10年



長野県赤穂高等学校

〒399-4117 駒ヶ根市赤穂11041-4

TEL (0265) 82-3221

FAX (0265) 81-1251

創立 大正6年7月15日



現在、運動部は硬式野球、陸上、バスケット、バレー、サッカー、軟式庭球、女子ソフト、柔道、剣道、バドミントン、弓道、体操部、水泳部と部員たちが活躍し、多くのクラブが県大会、北信越大会、全国大会へと出場してきている。

62年 陸上部 野溝幸弘、森田明美1500m、800mで全国大会

63年 陸上部 中村慎一郎 棒高飛び、久保田有希 3000m、唐沢真美 槍投げ、女子ソフトボール部 全国大会（神戸）出場

平成元年 女子ホッケー部、陸上部 高見武司 3000m障害、久保田有希 3000m全国大会に出場

平成3年度陸上部 佐々木 棒高飛び、男子ソフトテニス部大沼・黒河内ペア全国大会に出

場、平成4年度男子ソフトテニスで大沼・黒河内ペア、小木曾・平沢ペアが宮崎県佐原市での全国大会に出場。

平成5年度陸上部女子で唐沢美奈子槍投げ、平成6年度には女子ホッケー部、男子ソフトテニス部の吉江・大沼ペアが全国大会へ出場。

平成8年度は女子剣道部の伊藤美奈、女子バドミントン部平松志保、なぎなたの兼子しのぶが全国大会に出場。

平成9年度男子ソフトテニスで中山誠・原田潤、体操部女子小川由香・酒井真由美、全国大会に出場。

10年余り運動部の活動を全国大会への出場を中心に記述しましたが、地区大会県大会にはほとんどの運動部が出場している。



長野県駒ヶ根工業高等学校

〒399-4117 駒ヶ根市赤穂14の2
TEL (0265) 82-5251
FAX (0265) 81-1253
創立 昭和39年3月11日



昭和39年3月、赤穂高等学校より独立。

「機械科」「電気科」「情報技術科」の3学科12クラスで、全校生徒数も400名と少ない。運動部への加入率も低く活動は全体的に低調であるが、現在「クラブ活性化」を学校全体の目標・課題として、生徒・職員が一丸となって取り組んでいる。

数年前より運動部員の間から起こった「挨拶運動」は全校に波及し、その爽やかな言動は学校の内外で好感をもって迎えられている。

体育施設はいずれも築後かなりの年数を経ており、かなり老朽化が進んでいるが、整備しながら使用している。

今年で35回を数える「強歩大会」は10月、男子47km、女子33.5km標高差700m、関門数6という県下有数の難コースで行われる。生徒たちは果敢に挑戦して、ほとんどの生徒が完歩し、毎年素晴らしい成果を上げている。当日は保護者が豚汁を用意してくれ、頑張る生徒たちの何よりの励ましになっている。

また、独自の活動を展開する「PTA活動」も、クラスでの親子球技大会や全校規模のスポーツ交流会等、スポーツに親しむ中で積極的に交流と和を図っている。



長野県松川高等学校

〒399-3301 下伊那郡松川町上片桐919-1
TEL (0265) 37-2011
FAX (0265) 37-3173
創立 昭和60年4月1日



本校の創立は、1985年であり、やっと13年目を迎えた。この10年間に振り返ると、前身の天竜光洋高校時代の施設設備も、改修改築で姿を消し、だんだんと自前の姿を見せ始めてきた。唯一全校生徒が参加して作った、野球グラウンドと観客席にその昔の面影を残している。97年度新体育館が竣工、この4月から使い始めた。新しい体育館は気持ちが良いものである。惜しむらくは、大体育館でないということが哀しい。練習場所の確保に四苦八苦しながらも各クラブは練習に励んでいる。運動クラブは13種目18を数えているが、その盛衰には大きなものがある。野球を始めとして陸上、サッカー、バス

ケットボール等頑張っている。また人を得てバレーボールも意気を吹き始めた。部員の減少や難しい人間関係に苦慮しながらも、額に汗して頑張っている生徒達に期待したい。12年の歴史の中で陸上部の活躍は大きく、91年に北信越、92年より毎年インターハイまで駒を進めてきている。学校の活性化に運動部の活動は大きな力を持っている。どの部もと望みたいが、どこかが頑張っていてくれる。そういうものを感じさせる、存在感のある運動部に成長してくれることを期待している。



長野県飯田高等学校

〒395-0004 飯田市上郷黒田450

TEL (0265) 22-4500

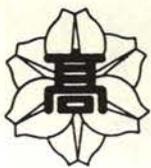
FAX (0265) 22-8180

創立 明治15年6月26日



陸上競技班の活躍は、特筆されるものがあり、昭和63年5月27日長野県高校選手権で陸上100mに出場した中津敦喜は10秒50の記録で優勝し秋の沖縄国体でも優勝した、その年ソウルオリンピックに明治大学4年園原健宏（昭和59年卒）は50km競歩に出場している。平成6年9月8日長野陸上競技場で開かれた長野、河北省親善試合に出場した伊藤健一は走り幅跳びで7m51cmの好記録で優勝した。水泳班の伊原裕貴は平成9年京都のインターハイで400m自由型で4分07秒で6位、大阪国体で同種目で3位に入賞し健闘した。ラグビー班は創立五十周年を迎えた平成10年4月東京秩父宮ラグビー場

で行われた第1回7人制大会で東京代表大東一高、四国代表新田高を破りベスト8になり優勝した大阪代表大阪工大高校に28-18で惜敗した。



長野県飯田風越高等学校

〒395-8543 飯田市上郷黒田6462

TEL (0265) 22-1515

FAX (0265) 22-8390

創立 明治34年4月25日



昭和53年男女共学、新校舎移転、クラブ数の増加、各体育施設の充実など教育条件は整備された。しかし、活動そのものは活発で、加入率も良好ですが大会成績においては北信越、全国ともに出場した程度に終わっている。全国大会、北信越大会の出場のみについて調べてみました。

1988年—北信越、軟式庭球女子4名、弓道男女団体。1989年—全国、軟式庭球女子2名、北信越、軟式庭球女子2名、陸上男子1名、体操女子団体。1990年—国体、山岳女子4名、北信越、山岳女子、バレー女子。1991年—全国、卓球女子2名、北信越、卓球女子4名、水泳女子1名、陸上男子1名。1992年—全国、山岳女

子、北信越、陸上男子3名、バレー女子、軟式庭球女子2名、卓球女子2名、山岳男子、水泳女子2名。1993年—全国、陸上男子1名、ソフトテニス女子2名、体操男子2名、北信越、陸上男子1名、バレー女子、ソフトテニス女子団体、山岳女子、体操男子2名女子1名。1994年—全国、体操女子1名、北信越、ソフトテニス女子2名、体操女子1名、陸上男子1名。1995年—全国、山岳女子、北信越、山岳男女、ソフトテニス女子団体、弓道男子団体。1996年—全国、山岳男子、北信越、バレー女子、ソフトテニス女子団体。1997年—北信越、ソフトテニス女子団体、ソフトボール女子、水泳男子2名女子5名。



長野県飯田工業高等学校

〒395-0001 飯田市座光寺3349

TEL (0265) 22-1118

FAX (0265) 53-4998

創立 昭和21年12月24日



古橋広之進氏が「フジャマの飛魚」と呼ばれ、人々に勇気を与えてくれた昭和21年、将の伊那谷を担う工業人を育成すべく、上郷村立上郷農工技術学校として第一歩を踏み出した。以後、長姫高等学校上郷分校、岡谷工業高校飯田分校、組合立飯田工業高等学校、昭和34年には県立に移管され長野県飯田工業高等学校と変遷する中で、全日制も設置され、翌年電気科も新設された。平成元年に飯田座光寺に移転改築し体育館も中から大へ、グラウンドも2倍近くなった。現在は全日制機械科1学級、電子機械科1学級、電気科2学級、定時制機械科1学級と小規模校である。規模の小ささがまた、家庭的で

小回りのきく師弟関係を持つことができる学校である。運動部は全日制に、野球、籠球、庭球、サッカー、ラグビー、卓球、柔道、剣道、排球、弓道、山岳、陸上の12部と空手同好会、定時制には卓球、羽球、庭球、籠球、野球の5部。学芸部は写真、電気、電子計算機、原動機、コンピューター制御、軽音楽、アマチュア無線、計算技術、美術工芸、吹奏楽、ギターの11部、学校規模のわりには多くの部活動が有り活発である。



長野県飯田長姫高等学校

〒395-0804 飯田市鼎名古熊2535-2

TEL (0265) 22-7117

FAX (0265) 53-4995

創立 大正10年5月1日



大正10年5月 長野県職業学校（飯田町立）として設立

昭和61年11月15日 校舎全面改築完成式典

63年12月 平成元年度生徒募集定員計260名

平成3年10月26日 創立70周年記念式典挙行

4年12月 平成5年度生徒募集定員計240名

8年3月 弓道場竣工

8年8月 大体育館屋根塗装替工事竣工

8年12月 平成5年度生徒募集定員計200名

以上が昭和62年度以降、新天地に近代的科学を駆使した学舎と恵まれた施設・環境の中で端嚴をモットーに学びつつ、長い歴史の80周年を迎えようとしている。

運動部全体的に入部加入率と活動の低下とともに、目の見張る活躍がみられなくなった。しかし、最近（平成9年度）では、男子ソフトテニス部のインターハイ、国体出場があり、他にも男女の空手部、女子の卓球、バスケットボールの活躍が期待されている。

定時制の運動クラブも数多く、特に軟式野球、バスケットボールは各種大会で活躍している。

募集定員の減少とともに、生徒のクラブ活動に対する価値観に課題がのこっている。



長野県下伊那農業高等学校

〒395-0804 飯田市鼎名古熊2366-4

TEL (0265) 22-5550

FAX (0265) 53-0339

創立 大正9年4月21日



下伊那農業高校運動部は大変盛んに活動をしている。その中心はラグビー部である。雨の日も雪の日もグラウンドでボールを追いかけている姿が、他のクラブのお手本になっている。ここ10年間は、花園出場はないが、毎年県下のトップにいる。

剣道部は、ここ10年間に、男女個人と団体で合わせて5回インターハイ出場を果たしている。礼儀正しくまた旺盛な練習意欲が、強い下農剣道部の新たな伝統を築いている。

OBにオリンピック出場選手、競歩の酒井浩文が活躍して以来、陸上部は盛んに活動をしている。走り高跳びの阿部和也は平成9年度の京

都インターハイで3位になる活躍をした。

この他にも体操部が個人でインターハイに出場している。また、弓道部、ソフトテニス部、卓球部、レスリング、水泳も県大会を勝ち進み、北信越大会へ出場している。他の運動部もこれに続けとばかり、毎日一生懸命練習に励んでいる。

平成9年度より第2グラウンド工事が始まり、翌10年度よりテニスコート4面ができた。授業はもちろん、クラブ活動にもますます活気があふれている。また、同じ場所にプールも建設中で、これまた新たな下農運動部の歴史がきざまれている。



長野県阿智高等学校

〒395-0301 下伊那郡阿智村大字春日2840番地

TEL (0265) 43-2242

FAX (0265) 45-1158

創立 昭和26年3月16日



体育施設は、大体育館、小体育館、テニスコート4面、広いグラウンドを有し、地域の社会体育の拠点としての要望もあり、小さな学校規模にしては、りっぱな体育施設が整っている。

尚、昭和62年にはプールも竣工している。

現在でも夜には、バレーボール、ソフトバレー、ソフトテニス(小中学生より一般まで)と、体育施設を社会体育に解放しており、活動が盛んである。

また、生徒数460名の地域校であるがクラブ活動が盛んで、昭和62年からでは、以下のような成績を残している。

平成3年度 弓道部 国体優勝(長野県選抜

チーム)

平成3年度 陸上部 北信越大会出場

平成6年度 バレー部・柔道部 北信越大会出場

平成9年度 野球部 全国高校野球大会長野県予選ベスト8

昭和62年～ ソフトテニス部 インターハイ団体個人出場11回

国体長野県メンバーの常連校



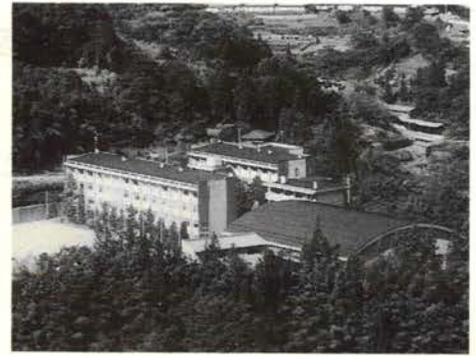
長野県阿南高等学校

〒399-1501 下伊那郡阿南町北条2237

TEL (0260) 22-2052

FAX (0260) 31-1013

創立 昭和25年3月3日



本校は、風光明媚な南宮峽を見おろす県南の地に、14ヶ村による組合立の高等学校として建設された。以来、地域の人々に支えられながら、文化・教育の推進的役割を使命として発展してきた。

本校運動部の活躍は、創立当時から『ボートの阿南』と勇名を馳せインターハイ出場24回、国体出場10回などの輝かしい歴史を持つボート部、国体3位の山岳部が上げられるが、一時代をつくった両部が現在無いことは寂しい事である。

最近の10年を見ると、前記程の華々しい活躍は無いが、平成9年に陸上で男子がインターハ

イに出場し、昭和30年代中心に活躍し『陸上阿南』と名を轟かせインターハイに8回出場した同部の伝統の灯を受け継いでいる。山間に位置する本校は、体育施設も点在し十分とは言えないが、昭和62年念願の第3グラウンドが完成し、野球部が練習に汗を流している。

最近では各部ともに部員不足に悩まされ、施設、交通の便など条件も決して良くはなく課題は多い。しかし、男子ソフトテニス部や男子バスケットボール部などは県大会で上位に食い込む活躍があり、これに続けと早朝、夜遅くまで練習する姿に明日の阿南の希望を膨らませている。



高松学園飯田女子高等学校

〒395-8528 飯田市上郷飯沼3135-3

TEL (0265) 22-1386

FAX (0265) 22-4461

創立 昭和34年4月1日



本校の運動部の活動は、教師と生徒が一体となって活動する教育の場として、位置付けられています。運動部員だからといって特別に扱われることもなく、全く他の生徒と同じ生活をしています。それぞれの活動の中で生徒たちは、運動部員としての自覚を身につけるとともに、人間的な面で心の成長を自己確認できるように研鑽を続けています。

創立当初より年々活動が盛んになり、内容も実のあるものになってきました。対外的にはほとんどのクラブが毎年、南信大会を突破し、県大会出場を果たしています。ここ10年の中では、弓道、陸上が全国大会出場、バレー、空

手、ソフトボール、水泳、卓球が北信越等の大会出場を果たしていますが、特に弓道部の活躍が特筆されます。インターハイ、国体、選抜大会の各全国大会における優勝、入賞回数では全国のトップクラスの実績があります。今年（平成9年度）も新人戦県大会において、個人団体共、優勝を果たし、高校選抜大会の出場が決まっています。



東海大学第三高等学校

〒391-8512 茅野市玉川675番地

TEL (0266) 72-3147

FAX (0266) 72-3626

創立 昭和38年1月29日



最近10年間、団体で全国高校総体に出場した運動部は男子バスケットボール部が6回、女子バスケットボール部1回、柔道部3回、男子バレーボール部1回、弓道部1回である。個人では水泳部、陸上部が毎年出場している。陸上部は全国高校駅伝に4回出場して平成9年度には県高校記録をぬりかえる活躍をした。本校運動部にとって特筆すべきは平成8年度全国高校総体スピードスケート競技女子の団体総合優勝である。この優勝の立役者である外ノ池亜希は長野冬季オリンピック(スピード女子1500m)に出場した。総体以外の大会では、女子バスケットボール部の全国高校選抜2年連続出場、野球

部の平成8年度全国高校野球選手権大会初出場がある。

最近10年の体育施設では、平成5年に部室棟が新設された。昭和63年にトレーニング室が設置され、現在では以下のトレーニング機器が競技力向上に役立っている。(カイザーエアーマシン6台、レッグプレスマシン2台、スミスマシン4台、スクワットラック4台、レッグカールマシン2台、レッグエクステンションマシン2台、エアロバイク4台、パワーマックスV2台、モナークエルゴメーター4台、ダンベル一式、フリーウェイト、ベンチプレス3台



高松学園伊那西高等学校

〒399-4493 伊那市西春近4851

TEL (0265) 72-4091

FAX (0265) 72-4147

創立 昭和60年3月28日



本校は、昭和60年4月、飯田女子短期大学、飯田女子高等学校の姉妹校として開学した。それと同時に、弓道・ソフトボール・ソフトテニス・バレーボール・陸上競技卓球の6クラブを設立した。その後、生徒数の増加に伴い、バスケットボール・新体操・水泳の3クラブを新たに設け、現在9クラブを擁する。運動クラブへの加入率は、29.7%であり、これはここ数年大きな変化はない。

本校のクラブ活動は、チャンピオンスポーツとしては勝つことを目標にしてはいるが、運動能力に優れた者ばかりを集めるのではなく、すべてのクラブ員が3年間続けることを第1目標に掲げる。

その目標のもと、単なる技術の向上のみにとらわれることなく、「今、この場で汗を流すことは私自身にとってどんな意味があるのか」を常に考え、いろいろな人に支えられているという自覚を持つことで、周りに感謝できる「私」を確認しながら活動を続けている。近年の主な実績は次の通り。

弓道：香川国体総合3位(H5)をはじめ、インターハイ・国体などに多数出場 卓球：全国選抜大会出場(H5)をはじめ北信越大会常時出場 ソフトボール：北信越・中日本大会出場(H4) 水泳：インターハイ・国体入賞(H5~7) 新体操：国体出場(H8・9)など又、今年度は全クラブが県大会に駒を進めた。



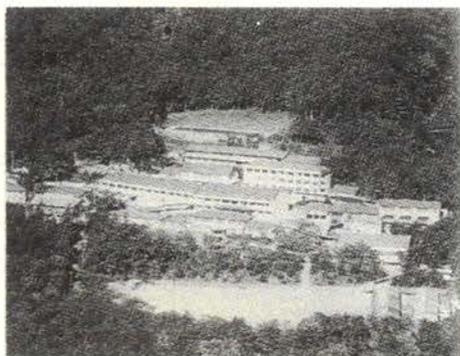
長野県蘇南高等学校

〒399-5301 木曽郡南木曽町読書

TEL (0264) 57-2063

FAX (0264) 57-1009

創立 昭和28年4月15日



本校は昭和28年に木曽南部5ヶ村の代表による蘇南高等学校設立期成同盟会により組合立の高校として創立。昭和32年県立に移管され県立蘇南高等学校となる。普通課・商業科・電気科の三科があり、HRは、普通・職業科の生徒を均分した「ミックスホームルーム」を形成している。

本校の運動部は11部が活動しており、全校生徒の約5割の生徒が運動部に加入しています。

昭和38、39年田村美津子（39年100、200m県新記録）を中心に陸上部の多数の選手が全国大会出場。昭和46年北信越大会男子総合優勝。全国大会4名の選手出場。翌年も4名の選手が全

国大会出場。卓球部は、昭和43～46年の4年間連続して全国大会出場。サッカー部は、昭和49、50年に連続して県大会優勝、全国大会出場。同年県高校選手権大会優勝、甲信越大会優勝、全国高校選手権出場。水泳部は、昭和48～49年に多数の選手が北信越大会出場。バドミントン部は、昭和56年以降、団体優勝1回、個人優勝3回、全国大会に多数選手出場。昭和57年陸上部全国大会出場。平成9年には弓道部が県新人大会男子団体で優勝、全国大会出場。各部とも弓道部に続く活躍を目標に活動に励んでいる現状である。



長野県木曽高等学校

〒397-8571 木曽郡木曽福島町瓜倉1827-2

TEL (0264) 22-2119

FAX (0264) 21-1056

創立 大正12年4月1日



本校は、前身である木曽中学校（後の木曽西高校）が大正12年に開校し、また、もう一つの前身である木曽福島実科高等女学校（後の木曽東高校）として同年4月開校した事をもって創立とする。

創立以来共に約60年の歴史をもつ両校が、昭和57年その歴史に幕を閉じ、統合され長野県木曽高等学校となり本年16年目を迎えた。

生徒数約600名、全日制普通科・衛生看護科、今年度より新設された理数科、定時制普通科があり、各種運動部が活動している。全国大会出場者をあげると、剣道女子個人で昭和63年小幡由香・平成元年杉本麻子・平成2年川口希が連続出場している。陸上競技走り高跳びで高柳千

帆は、昭和63・平成元年と2年連続、平成元年砲丸投げで手塚一章が総体へ出場。平成5年には3段飛びで荒岡秀幸は国体に出場した。同年バドミントン女子個人で湯藤静香が総体へ出場した。弓道では平成2年奥原めぐみが準決勝まで駒を進め、平成4年国体少年男子県選抜チームの湯川徳之は、少年の部で優勝に貢献した。翌5年男子個人大久保喜仁が総体へ出場している。ソフトテニスでは、平成5年男子個人で木下大輔・森下洋介、女子個人奥谷緑・小沢葵ペアが晴れの全国大会へ出場した。平成3年度サッカー新人県大会優勝以外チームゲームでの活躍が今一步及ばず奮起を期待したい。



長野県木曾山林高等学校

〒397-0002 長野県木曾郡木曾福島町新開4236

TEL (0264) 22-2007

FAX (0264) 21-1055

創立 明治34年5月15日



本校の歴史は、明治34年に林業専門の中等学校として始まり、100周年をまじかに迎えようとしている。林業に関する学校としては、わが国では最も古い歴史を有する。校名も明治34年西筑摩郡立木曾山林学校としてスタート、明治37年には第1回卒業生28名を送りだし、明治39年には県立に移管、明治44年長野県立木曾山林学校、大正9年長野県木曾山林学校、昭和23年長野県木曾山林高等学校と改称し、現在では林業科、インテリア科を設置し業界の動向を常に取り入れながら教育内容の一層の充実をはかっている。

時代の変化に伴って運動部の歴史は、新設・改廃や隆盛・衰退がみられる。現在活動している部は野球、バスケット、男女バレー、男女ソ

フトテニス、男女バドミントン、サッカー、柔道、剣道、スキーである。しかしながらおりからの生徒数減に伴い、存続が難しくなっている部もあることも深刻な問題である。本校運動部の中でも最も活動が活発であった相撲部であるが過去には国体・インターハイに個人、団体と輝かしい成績を残してきたが現在では柔道部員が出場しているのが現状である。またかつて“さわやかセブン”などと新聞を賑わした野球部も毎年新入生の入部を待ってのチームづくりという厳しい状況にある。各部とも成績は他校のレベルに比べれば決して高くはないが、厳しい練習と実習により山林魂の不撓不屈の精神が育っている。



長野県塩尻高等学校

〒399-0703 塩尻市大字広丘高出4の4

TEL (0263) 52-0015 (代)

FAX (0263) 54-4994

創立 明治44年4月1日



創立 明治43年東筑摩郡立南部乙種農学校として認可、昭和24年長野県東筑摩高等学校と町立長野県塩尻実科高等女学校を統合し、長野県桔梗ヶ原高等学校と改称。昭和40年長野県塩尻高等学校と改称。87年の歴史をもっている。61年冬場合宿所が完成。62年度は剣道個人で熊谷恵が高校総体、体操女子団体が北信越に出場するなど合宿所ができた成果かと思われるほどであった。63年には野球部が大活躍。北信越大会に出場。平成元年弓道団体北信越で優勝。2年には小体育館が完成し、活動する場所が1つ増えた。講堂、旧体育館、新体育館の3カ所で活動できるようになり、お互いが譲り合い、練習場所を回すこととした。年度末には部室棟が完成し、今の体勢が整った。平成5年格技室や体育館の屋根を改修し、雨漏りを防ぐことがで

きるようになり思う存分練習できるようになった。剣道個人で増田敏浩が北信越大会に出場。翌6年にはグラウンドに散水施設増設。砂ほこりの中で練習することが少なくなった。6、7年と連続して空手部の中野倫展が、8年にはボクシング部の梶原則美が高校総体に出場。陸上部太田康博は円盤投げで県代表として国体に出場。9年北信越に剣道で百瀬恵美・茅野智美が出場。茅野は各県一人選ばれる優秀賞を受賞。国体県チームとして陸上やり投げで小林永樹が、弓道で奥平佐知子が出場。学級数が年々少なくなることに加えて、クラブに加入する者が減少してきている現在、チームぎりぎりの人数というクラブもあり頭が痛いところ。平成12年の総合学科の出発を期待したいところである。



長野県田川高等学校

〒399-0701 塩尻市広丘吉田2645

TEL (0263) 86-3000

FAX (0263) 86-9151

創立 昭和57年11月1日



本校は、誠実、意欲、創造を校是として何事においても学ぼうとする心の姿勢を大切に考え、互いに助け励まし合っていく「質実剛健・尚学共助」の校風樹立を建学の精神として出発した。本校の運動部の歴史に大きな足跡を残し、その後の運動部の活躍の刺激となり指針となったのはなんとといっても3年目(昭和60年)のサッカー部のインターハイ出場であろう。以来学校の歴史は浅いが、勉学にスポーツに文武両道をモットーに活ばつな学園生活が展開され、現在男子15部、女子15部が明日を夢見て活動し続け、数多くの全国大会出場者を出している。開校当時は45人学級30クラス、1350人の定員であったが現在は40人学級25クラス、1000人という生徒減に伴い部員数も減少し、大会出場を見合わせる部も出はじめている。やがては部の数も精選していく時代になろうかと先行が心配である。熱心な指導者も多く、オリンピック開催年を機会としてスポーツへの取り組みを再々考していきたいものである。

全国大会(インターハイ)出場者(昭和62年～)

昭和62年	バスケットボール	男子		
	軟式テニス	杉浦・塩原組	4回戦進出	
63年	軟式テニス	女子団体	2回戦進出	
	"	杉浦・塩原組		
平成元年	弓道	男子団体	2回戦進出	
5年	陸上	男子400m		浅川
		" 400mH		吉田
6年	陸上	女子100mH		細萱
	弓道	女子個人		橋倉
7年	陸上	女子100mH		細萱
		" 砲丸投		上原
8年	水泳	男子100mバタフライ		早田
	陸上	男子5000m		大村
		3000mSC		大村
		女子砲丸投		上原
	水泳	男子100mバタフライ		早田
		" 200mバタフライ		早田
9年	陸上	女子砲丸投		上原
	水泳	男子100mバタフライ		早田



長野県梓川高等学校

〒390-1401 東筑摩郡波田町10,000-1

TEL (0263) 92-2119

FAX (0263) 91-1027

創立 明治43年2月21日



南安曇郡梓村に南部農蚕学校として明治43年に創立されたのが本校のはじまりであり、2度の校地変更のあと、昭和25年に現地に基盤を下ろした。開校当初は、松本平西部地域の農業後継者育成の拠点として貢献したが、農業人口の減少と共に昭和24年より普通課程の併設校となり、更に昭和55年には農業化を閉科し、普通高校となる。平成4年に創立80周年を迎え、同窓会が中心となり体育施設の整備事業に着手。平成7年に小体育館、8年にはプール・グラウンドの拡張工事・テニスコートが完成した。

昭和40～60年代にかけては、相撲部・柔道部を中心とし、陸上・スキー・水泳等の個人競技

で全国大会に出場している。

ここ10年間の運動部の活動を振り返ると、全国大会・県大会に多くの選手を輩出してきた柔道部・陸上部が部員数の減少から活動の縮小を余儀なくされている。

現在、本校の運動部は他校以上にクラブ離れがすすんでおり、部員の確保に苦勞している状況にある。しかし、どの運動部も少ない人数ながら熱心に練習に取り組み、県大会出場を目標に頑張っている。



長野県松本工業高等学校

〒390-8535 松本市筑摩 4-11-1

TEL (0263) 25-1184

FAX (0263) 27-6170

創立 昭和14年 2月14日



体育施設では、平成4年2～3月に小体育館・2階建て部室を竣工。格技室の床を改修した。平成7年8月にはテニスコートを拡張・整備し、フェンスを改修した。

最近10年間の運動部の活動は、途中1回を除いて、自転車部がインターハイに出場している。その中で平成元年に塩原正長はインターハイ・国体とも1000mタイムトライアル2位になった。その後、平成7年に行われた広島アジア大会で金メダルを獲得した。

平成4年からは、空手道も毎年インターハイに出場するようになった。また、個人種目の陸上競技の長距離で鈴木俊文がインターハイに出場している。

平成7年からソフトテニスが力をつけてきて、中信地区団体3連覇、県大会団体優勝を飾っている。また、卓球部も地道な努力が実って、北信越大会に出場できるまで復活しつつある。他の種目でも平成5年バスケットボール部が県大会ベスト4、平成9年度はサッカー部が県高校選手権ベスト8、になった。

硬式野球部は、平成6年度秋の北信越大会で惜しくも3位となり甲子園を逃したが、軟式野球部とともに、狭いグラウンドで練習に励んでいる。

運動部加入率は50%を越え、活発な活動とともに挨拶も良くでき外来者に評判が良い。



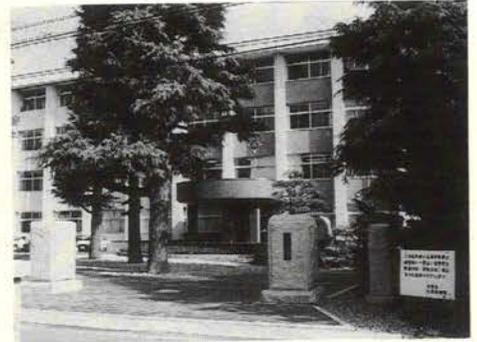
長野県松本県ヶ丘高等学校

〒390-8543 松本市県 2丁目1番地1号

TEL (0263) 32-1142

FAX (0263) 37-1074

創立 大正12年 4月17日



本校は、大正12年4月に開校、本年で74年となり、その間21,000猶予名の卒業生を送り出した。

開校と同時に柔・剣道・徒歩(陸上部)・籠球・蹴球・軟庭・山岳・水泳の部が創設された。この中でも初代校長が校技として力を入れた蹴球及び籠球は全国大会への出場回数も多く、今もその伝統は受け継がれている。現在はバドミントンが平成8年に出来、14種目(男子14、女子9)存続している。この10年間の本校の全国大会へは、サッカー、テニス(男子平成6年)、ソフトテニス(女子個人平成4・5年)、相撲(柔道部平成6年)、陸上の各クラブ

が出場を果たしている。また、昭和62年から63年にかけて本館の改築に伴いグラウンドにプレハブ棟を設置、野球、サッカー、ラグビーが以前の半分のグラウンドでの苦しい活動となったが、現在では昭和63年に完成した第2グラウンドに野球とテニスに移り余裕を持って活動を行っている。以下全国規模で活躍したものについて記載する。

- 陸上競技、平成7年国体で上杉丈夫棒高跳(5m00)4位。平成8年国体で高畑志野400mH(60"47)3位
- サッカー、選手権・平成元、3年、総体・昭和63年



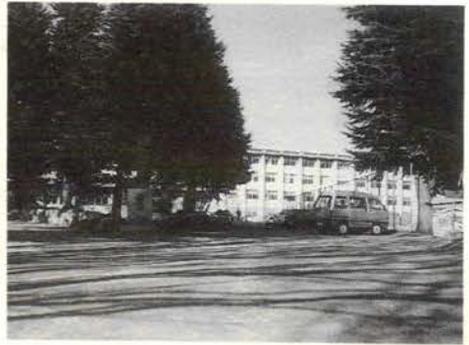
長野県松本美須々ヶ丘高等学校

〒390-0801 松本市美須々2-1

TEL (0263) 33-3690

FAX (0263) 37-1076

創立 明治42年4月1日



昭和62年には、待望の合宿所が完成し、夏休みのクラブ合宿ではお盆以外に空いている日がない程の利用状況です。平成3年には弓道場が完成して、体育施設の充実が計られ、さらに、平成10年の秋以降には、小体育館の改築も計画されています。

平成9年度現在の運動クラブ数は、男子14、女子14で総部員数は、474名（入部率は52%）にのぼり、連日心身の練磨に励んでいます。運動部に所属している生徒が多いため、放課後・日曜・祝日・長期休業でも生徒の動きが多く、校内は活気に満ちています。

昭和62年以降の運動部の活躍については、イ

ンターハイに出場したクラブとして、平成元年に山岳、平成3年に陸上（個人）・新体操（団体・個人）、平成6年に女子ソフトテニス（ダブルス個人）があげられます。春の高校選抜大会には平成9年に弓道部が北信越大会を勝ち抜き、全国高等学校選抜大会に出場しました。

ここ1～2年で運動部に入る生徒が減少傾向にあります。スポーツ本来の『楽しみ』を学び、高校卒業後も生涯スポーツに親しめるようにするとともに、競技力向上を目指していければと思います。



長野県松本深志高等学校

〒390-8603 松本市蟻ヶ崎3-8-1

TEL (0263) 32-0003

FAX (0263) 37-1071

創立 明治9年7月10日



本校の運動部、16種目18部は松中以来の伝統を受け継ぎ、生徒自らが計画し、実施していく自主自律の精神によって運営され、運動協議会（運協）に結集している。

ここ10年を顧みると、S62サッカー部インターハイ、選手権出場、H3陸上女子走り高インターハイ出場、H4陸上男子幅、テニス、空手女子型インターハイ出場、H5空手女子型インターハイ2位、H7陸上男子100mインターハイ出場、サッカー部は北信越総体を26年ぶりに制して全国ユース大会に出場、H9なぎなた女子がインターハイ出場した。

特筆すべきは、空手女子型の三村とスケート

女子の清水の活躍である。三村はS61、62、63と3年連続インターハイに出場したが、S63にはインターハイ優勝、第9回WUKO世界空手道選手権大会で優勝した。清水はH4、6インターハイで1500m、3000mに優勝した。

平成8年には学校創立120周年を迎え、記念式典が盛大に行われた。また、平成9年には野球部が創立100周年、サッカー部は戦後50周年を迎え、それぞれ記念誌を発刊し記念式典を行った。現在、第二棟の改築が始まりグラウンドの半面にプレハブ校舎が建ち少々不便を強いられるが、21世紀への新たな出発になるよう期待したい。



長野県松本蟻ヶ崎高等学校

〒390-0861 松本市蟻ヶ崎1-1-54

TEL (0263) 32-0003

FAX (0263) 37-1073

創立 明治34年4月13日



昭和50年の男女共学制移行後約4半世紀が過ぎた現在、自主独立の精神を掲げ学業と運動の両立を目指し努力しています。大学進学も4年制志向が一層高まり意欲的に取り組み成果を上げています。運動部も陸上、テニス、ハンドボール、新体操、バドミントン、山岳、空手、スケート、ボクシングと種目こそ異なりますが全国高校総体には毎年出場しています。中でも山岳部は62年以降7回の出場を誇り、また、陸上部の青木直久は北信越大会で県高校新記録で優勝し、IHに出場するなど陸上部の活躍も目をひきます。野球部は第二グラウンドを専用球場として使用することが出来たこともあり、平成2年に春季北信越大会に出場する活躍をみせて

くれました。また、平成5年に弓道部、8年には空手部が同好会から念願の部に昇格しました。そして、8年には弓道場が竣工落成しました。半面、平成6年にスキー部が廃部になり現在18部とダンス同好会です。年々クラブ加入率が低下していく中、本校ではここ3年間、511名(26学級)、525名(25学級)、447名(24学級)が運動クラブ員として活動し、使用する施設は、第二グラウンドがあるとはいえ、体育館、講堂、武道場、テニスコート、グラウンド、プールと、どれを取って見ても県下の高校で最低の施設・設備と感じられます。この様な中で、ボクシング、スケート、なぎなた等、学校外の指導者に依存している種目も出て来ております。



長野県松本筑摩高等学校

〒390 松本市島立2237

TEL (0263) 47-1351

FAX (0263) 40-1521

創立 昭和45年4月1日



昭和45年定時制・通信制の独立校として発足し、その後全日制を併置し、県下唯一の全日制、昼間定時制、夜間定時制、通信制(単位制コースを含む)を有する高校として存在している。近年の激しい時代変化と地域のニーズ、学習者の量的質的变化などにより、学ぶ側に立った発想による柔軟で多様な履修形態、学習機会的大幅な拡充を目指して平成11年度から定時制に多部制単位制が導入されることになっており、導入準備が着々と進められている。

昭和62年以降の運動部の県外遠征のおもな戦績をあげると、全日制では、S62年~H3年、陸上男子400mH、100m、200mで全国大会出場。

昼間定時制では、定通大会で、63年、バドミントン女子が北信越大会団体、個人で優勝。H2年、卓球女子全国大会ベスト8、北信越大会優勝。ソフトテニス女子北信越大会優勝。H4年、バスケットボール女子北信越4位。H9年、卓球北信越優勝。夜間定時制では、H7年、陸上全国大会1500m4位、H8年同5位。H8年バレーボール男子北信越優勝。バドミントン男子北信越団体4位。H9年、陸上全国大会男子1500m3位。5000m6位。ソフトテニス北信越個人2位。通信制では、S62年、軟式野球が全国大会出場。H9、女子バレーボールが北信越大会出場などである。



長野県明科高等学校

〒399-7101 東筑摩郡明科町東川手100

TEL (0263) 62-4388

FAX (0263) 81-2021

創立 昭和61年4月8日



本校は松本平の最北端に位置し、1町6か村を中心とする地域の強い期待と深い理解により、昭和61年4月開校した。その後、校舎や設備が整えられるとともに、新設校としての意欲的な教育内容の研究、実践がなされ、本年度が創立13年目である。最近10年（昭和62年以降）の運動部の主な活動は以下の通りである。昭和63年に陸上部が200mでインターハイに出場した。平成2年は、弓道部が団体女子で県3位、北信越大会に出場し2位の成績を取めた。また柔道でも個人が北信越大会に出場した。平成3年は柔道部が団体と個人で北信越大会の出場を

果たした。平成4年は弓道部が団体女子でインターハイに出場した。平成6年はサッカー部が選手権（全国高等学校サッカー選手権長野大会・SBC杯長野県高校サッカー大会）で3位となった。また弓道部が個人新人戦で1位となった。平成7年はサッカー部が選手権で準優勝を果たした。柔道も個人が北信越大会に出場した。以上が主な活躍状況である。なお平成10年度の新入生からコース制を導入し、「スポーツの好きな生徒の個性を伸ばすとともに、スポーツを通して健全な精神を育むことをめざす」を目的として「スポーツ系」を設置した。



長野県豊科高等学校

〒399-8205 南安曇郡豊科町大字豊科2341

TEL (0263) 72-2151

FAX (0263) 71-1151

創立 大正12年4月1日



大正12年長野県豊科高等女学校として創立、昭和23年には全日制及び定時制普通課程が置かれ、昭和24年には全日制課程に男女共学制が実施され、その時現在の『しなの木』の葉から作られた校章が制定される。この校章は「ねばり強い」、「団結」等の意味を持っている。その後昭和25年には定時制課程が廃止され、昭和29年頃には男女共学制が自然消滅、以来20年余り女子校の時代が続いたが昭和49年再び男女共学となって現在に至っている。最近10年（昭和62年以降）の運動部の活躍を追ってみると、弓道部が昭和62年3月に第5回全国高校弓道選手権大会に出場し、団体女子で見事準優勝に輝く。女

子バスケット部は昭和62年に全国高校総体に3年連続となる出場を果す。ソフトボール部は昭和62年と平成7年に全国高校総体に出場、平成9年秋には北信越高校新人大会で優勝し、北信越代表として平成10年3月に全国高校ソフトボール選抜大会に出場する。陸上部の丸山主税君が平成7年に短距離走（100m）で全国高校総体に出場、以上が主な活躍状況である。また体育施設等を見ると、昭和62年には南グラウンドの改修整備が行なわれ、平成5年には北グラウンドの整備、さらに平成7年には念願の南グラウンドの散水設備が新設される。



長野県南安曇農業高等学校

〒399-8205 南安曇郡豊科町4537番地

TEL (0263) 72-2139

FAX (0263) 71-1150

創立 大正9年4月15日



平成9年で創立77年を迎えました。生徒数は、461名(女子117名)です。本校農業教育の歴史は、穀倉地帯安曇野の地域と密接に結びつき、多方面に渡って活躍している卒業生を送り出してきました。ここ10年間には、国際交流が盛んになり中国雲南省農業高校との交流、ニュージーランド・その他の海外研修、また、生物工学科(平成元年)を新設して、新しい農業のあり方をも推進しました。学力向上推進事業指定校(平成2年)として、更には“特色ある学校作り”に力を入れ教育課程の編成に類型を多く取り入れて、魅力ある学校作りに取り組んできました。特に進学では、平成3年国立大学13名、私立大学16名と実績を挙げ、現在に至っています。

運動部では、12部男女19の活動が行れ、入部率は61%と高率を示しています。中でも野球、剣道、ソフトテニス、卓球、弓道、柔道、陸上はこの10年間に県大会への出場回数も多く活躍をしています。運動施設では、サッカー場の防球フェンス(昭和62年)、テニスコート、第2体育館の竣工(平成2年)、野球グラウンドのネットとフェンス東側への移転(平成3年)、グラウンド造成(平成5年)が行われました。以下に活躍したもの(ブロック以上)を掲載します。

全国大会、国体出場*水泳 嶺村直毅(H8)、スキー 吉沢まゆ(H9)、北信越大会*陸上 細川康二(H2)、宮入清志(H4)、剣道団体(H8)、ソフトテニス金井・中条ペア(H9)



長野県穂高商業高等学校

〒399-8303 南安曇郡穂高町大字穂高6839番地

TEL (0263) 82-2162

FAX (0263) 81-1066

創立 大正3年11月17日



本校は、ロータリー協の石碑に刻まれた「ベストをつくせ」を合い言葉に、2つのグラウンドと、大小体育館を使用できる体育系のクラブは、恵まれた環境の中で活動しています。男子の加入できるクラブは限られていますが、野球、陸上競技、バスケットボール、サッカー、ソフトテニス等、毎日の練習で着実に成果をあげています。女子の生徒数は全校の3分の2以上で、上記クラブのほか、弓道、バレーボール、新体操等に力を入れています。特に陸上競技、ソフトテニス、新体操部は県大会に毎年出場をしています。過去の選手の活躍は、陸上競技の長田がハンマー投げで、平成5年には男子

ソフトテニスの、望月、川村ペアが、平成7年には浅川、望月ペアが北信越大会へと進出し、さらに、外部のクラブで活動しているボクシングの吉澤は平成8年、9年と2年連続全国インターハイで活躍しました。平成7年に創立80周年記念式典を挙行し、クラブ練習室を含む音楽棟と、体育施設では小体育館を竣工、体育授業のほか、各クラブ活動等で使用しています。



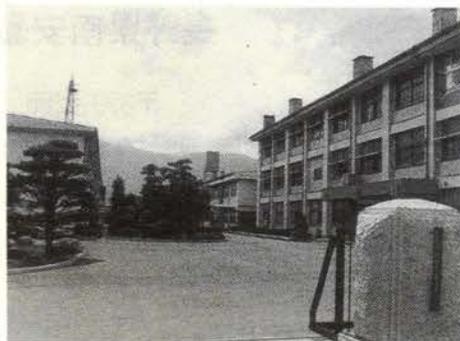
長野県池田工業高等学校

〒399-8601 北安曇郡池田町大字池田2524

TEL (0261) 62-3124

FAX (0261) 61-1018

創立 大正10年4月1日



本校は目の前にアルプス連山の雄姿と田園に囲まれた緑あふれる自然豊かな池田町にある。学級減にともない生徒数が激減、学校全体の活力低下は否めない。運動部の活動では、平成4年に陸上部の一志学がインターハイ800mで5位に入賞、また、自転車部は昭和62年から6年連続インターハイ出場という輝かしい戦績を残した。なお、平成2年度卒の為田学はプロ選手として現在活躍中である。

最近の部活動は、生徒減の影響からか、残念ながら低迷状態にある。

老朽化した第一体育館も解体新築工事も進み今年度中に完成する。本校の体育施設は恵まれ

ているといえよう。

生徒の志気を高揚させ、“やる気・負けん気・根気”の校訓のもと、部活動の活性化はもとより、特色ある地域高校造りを目指して全力で取り組んでいる。



長野県大町高等学校

〒398-0002 大町市大字大町3691-2

TEL (0261) 22-0024

FAX (0261) 23-5750

創立 明治34年4月1日



「大町高校らしさ」それは、北アルプスの懐に抱かれ、未挑戦、未開拓のルートを積極的に開拓したスピリットやマインドが鮮明に生きつづいている学び舎なのである。

本校は明治34年に開校し平成13年には創立100周年を迎える。校風として「質実剛健」「魂・知・和」があり、学校行事では全国的に稀な「山を我が庭に、自分の学舎に」をねらいとしている全校登山が51回を数える。

平成元年に小体育館・武道場棟を新築し、施設の充実がはかられ現在に至っている。全員加入のクラブ活動は、現在運動部が15あり各部とも年間を通して活発に活動している。

ここ10年間では、陸上・空手道・水泳・山岳・スキー・スケートで多数インターハイに出場している。中でも山岳部は平成8・9年と連続してインターハイに出場、スキー部ジャンプにおいては平成9年インターハイ3位に入賞、陸上では平成6年インターハイ1500m6位、国体1500m4位、5000m7位に入賞している。

また男子バレーボール部は、平成9年度新人戦県大会ベスト4、続く高校選抜でも県ベスト4に入る活躍をしている。



長野県大町北高等学校

〒398-0002 大町市大字大町4330番地

TEL (0261) 22-0149

FAX (0261) 23-5740

創立 明治45年1月22日



本校は大町実科高等女学校として創立されて以来女子校として変遷し昭和49年男女共学となり現在に至っている。施設面での最近の事業としては昭和62年大体育館・クラブ練習室・部室棟を竣工、翌年バックネット竣工、防球ネット・小グラウンドが整備された。平成2年にはグラウンドが改修され広範囲にわたり使用可能となった。

運動部の歴史は大正13年の校友会主催運動会を機に庭球・弓道・籠球・陸上の4競技に始まり、長い歴史の中ではスケート・陸上でオリンピック選手も輩出し、昭和50年代にはソフトボール部・バドミントン部が常に県大会上位を

占め全国大会へも幾度となく出場。ここ10年では平成元年国体で1年生田中次次のやり投げ5位入賞をはじめバドミントン・スキー・スケートが全国大会、体操・山岳・水泳が北信越大会へ出場している。しかし生徒数の急減により昭和62年にはクラブ・同好会あわせて17あったものが現在10にも満たない実態である。体操部・バドミントン部など日頃に厳しい練習の成果を大会で実績として残しているが、チーム競技が部員数を増やし継続的なクラブとして活動させて行くことが本校の課題となっている。



長野県白馬高等学校

〒399-9301 北安曇郡白馬村大字北城8800番地

TEL (0261) 72-2034

FAX (0261) 71-1016

創立 昭和26年4月1日



本校は昭和62年以降、平成4年に小体育館が完成し、創立40周年の記念式典と共に平成4年6月落成式を行なった。その後、平成5年には弓道場、平成7年には、プールが新設され、生徒の活動に生かされている。

冬期の豪雪と寒さという環境を克服しながら、部活動を「人間形成の場」とすることにより、地域社会に貢献できる人物の育成を目指し、基本技術の習得を中心に粘り強い活動を続けている。近年、陸上部の北信越大会出場など運動部の活躍が見られるようになった。

特にスキー部は62年以降県大会の総合優勝(男子2回、女子6回)と、種目別入賞の多数、全国大会においても、総合優勝2回(女子)準

優勝3回(男女)種目別優勝9名を成し遂げることが出来た。

創立50周年を3年後に控え、学校全体の活動に活気を持たせていきたい。

全国大会の成績は以下に示すとおりである。

年度		62	63	H1	2	3	4	5	6	7	8	9
総合	男						3位	5位		2位		
	女		優勝	優勝	2位	2位	3位					
回転			優勝	優勝	優勝	優勝		5位	2位	3位	8位	5位
大回転				優勝	優勝				4位	3位	2位	
複合、飛躍								優勝		優勝	6位	4位
距離リレー										5位	5位	



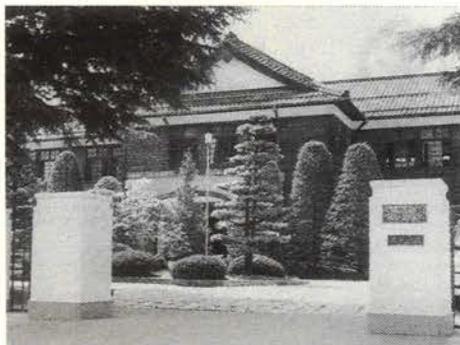
松商学園高等学校

〒390-8515 松本市県3-6-1

TEL (0263) 33-1210

FAX (0263) 33-1213

創立 明治31年8月1日



我が校の運動部は現在男女合わせて18のクラブから成り、それぞれのクラブが長い伝統を受け継ぎ活躍している。特に硬式野球部は甲子園へ夏30回、春15回出場し、平成3年春の選抜で準優勝を成し遂げ、県民を大いに沸かせ、その時のエース上田佳範は現在日本ハムファイターズにおいて押しも押されぬプロ野球選手として県内高校球児に夢と希望を与えている。全国高等学校体育大会へはここ10年間、毎年多数参加しており各クラブの活躍が目立ち多い年は100名を越える選手が全国大会へ出場している。出場クラブは、女子バレー、サッカー、テニス、卓球、柔道、剣道、空手、ソフトテニス（女

子）、バドミントン（女子）、バスケット（男子）、ウェイトリフティング、陸上などである。中でも全国大会で活躍した種目は、テニス部が9年度女子団体全国選抜で3位、5年度、7年度男子インターハイ団体ベスト8、連続出場は女子が7年連続インターハイ出場となっている。卓球は男子学校対抗で13年、女子は11年連続出場を続けている。サッカー部はこの所県の上位を締めインターハイ出場常連校となっている。全国選手権では2年連続ベスト8である。空手部は15年連続インターハイに出場している。この様に沢山の種目で県の代表として活躍を続けている。



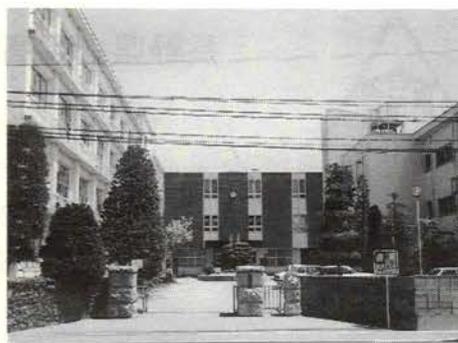
松本松南高等学校

〒390-0813 松本市埋橋2-1-1

TEL (0263) 32-0685

FAX (0263) 32-0773

創立 昭和16年4月8日



昭和41年に高体連に加入してからも指導者や生徒が一生懸命に努力したにもかかわらず施設等練習環境もまだ十分でなかったり、全国大会に出場の経験がなかったりして、実力的にはかなりなところまで来ていたにもかかわらず、上位入賞の壁は厚かった。

しかし、それまでは数年に1度の割合でインターハイに出場していたのが、平成4年度に陸上部と卓球部がそれぞれ個人ではあったがインターハイに出場してからは、今日まで毎年いずれかの運動部が出場出来るほど活発に活動し、目ざましい成果をあげている。

特に卓球部は平成4・7・8・9年度に、空手道部は平成6・7・8・9年度に、バレー

ボール部は7・8年度にインターハイ・選抜大会・国体等の大会に出場してきている。

施設面でも平成5年度に第3体育館ができて、今までより環境的にはるかに恵まれてきている。また、熱心な指導者や素直にひたむきに練習に打ち込む生徒、そしてそれらをやさしく見守ってくれ困ったときに相談に乗ってくれる学校関係者やPTAの方々の努力が今日の好結果につながっている事だと思われる。

今後感謝の心を忘れずさらなる目標に向かって、純粋に努力し精進していきたい。その過程こそスポーツの価値があると思われる。

我校のますますの活躍が期待される。



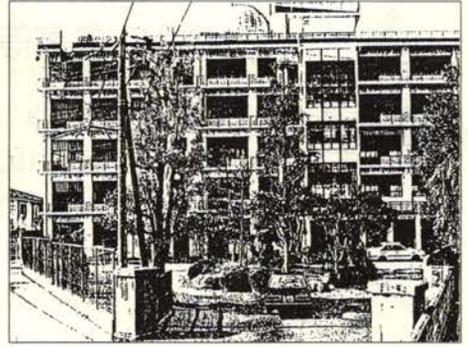
塚原青雲高等学校

〒390-0847 松本市笹部 2-1-6

TEL (0263) 25-4112

FAX (0263) 27-1020

創立 昭和20年 8月20日



年は巡りて50有余年、多くの先輩諸先生方の努力で、長野県高体連はインターハイ、国体、そのイベントに、多くの戦績を残し、その輝かしい実績と伝統を、未来永劫の亀鑑として史上に留める為に、高体連本部諸先生各位及び編集部の皆様に依り「長野県高体連50周年記念誌」を編纂されるの報に接し、満腔の賛意を表し、皆様のご配慮を感謝申し上げます。

塚原青雲高等学校施設状況

1. 平成2年度 体育館 2,000㎡全完成

2. 平成4年度 特別教室棟1,155㎡完成

(1) 1階(室内)

100m疾走走路 6 コース。ハードル、

卓球、テニスの練習、応援練習など多目的教室に使用。

(2) 3階(屋上)

①バスケット・ボード8面、専ら各種シュートの練習

②サッカー基礎トレ。

③ゴルフの基礎トレ。

など多目的に使用。



松本第一高等学校

〒390-0303 松本市浅間温泉 1-4-17

TEL (0263) 46-0555

FAX (0263) 46-7270

創立 昭和35年 4月1日



昭和33年、郷土出身の政治家であった植原悦二郎先生によって、信濃高等学院が開校した。これが本校の始まりである。昭和59年、校名を松本第一高等学校と改め、現在に至っている。

スポーツ施設面では、平成6年に、県下最大級の面積を持つ2階建ての新体育館を建設、特に柔道・空手道の道場がいききに充実した。

運動部では、特に男子柔道部が全国レベルの強さを維持しており、平成7年と8年の高校総体で全国ベスト8に進出。長野県内では平成元年以来、県大会の団体優勝は、新人戦を含め実に12回を数えている。同じく女子柔道も平成6年から3年連続県制覇を成し遂げている。

また、最近では空手道部の躍進もめざましい。平成9年に、初めて高校総体で県を制覇、京都での全国大会へ駒を進め、しかも1回戦をも突破した程である。

現在、校内でもっとも期待されているのは野球部の活躍で、平成9年の秋の北信越大会県予選で、公式戦初勝利をあげた。この他、ハンドボール部も平成9年に県新人大会で3位に入るなど、運動部全体に活気が出てきている。



信州工業高等学校

〒399-0703 塩尻市広丘高出2081番地

TEL (0263) 52-0645

FAX (0263) 54-0490

創立 昭和36年4月15日



本校の運動クラブは学校創立と共に活動が開始され今年（平成10年）で42年を迎える。現在野球部、サッカー部、陸上部、柔道部、剣道部、バスケットボール部、バレーボール部、ソフトテニス部、バドミントン部、硬式テニス部、卓球部、自転車部の12部と水泳、ラグビー、スキーの3つの同好会が勉学とスポーツの両立を目指して連日活動している。

全国大会（インターハイ）、
国民体育大会出場の記事

平成元年 サッカー

小林光宏、国民体育大会（長野県選抜チーム）

平成2年 サッカー

小林健史、国民体育大会（長野県選抜チーム）

平成4年 サッカー

中田将志、国民体育大会（長野県選抜チーム）6位

平成7年 サッカー

インターハイ出場 ベスト16

平成7年 サッカー

大和田陽吉、国民体育大会（長野県選抜チーム）

武井 尊丈、

西沢 晃、

北野 直也、

平成7年 陸上

加藤 渡 インターハイ出場（棒高跳）

※平成8年サッカー部インターハイ出場を記念してトレーニング棟竣工



昭和園芸高等学校

〒390-0221 松本市里山辺4202

TEL (0263) 32-3701

FAX (0263) 35-9080

創立 昭和44年4月1日



本校は、創立のときから花づくりを教育の中に取り入れ、花の学校として地域に親しまれている。「花を育てて人を作る」をモットーにし、学習の中で汗を流し働くことの大切さを学び思いやりの心と実践力のある生徒を育てたいと願っている。「人は、だれでもその人なりに光らせることのできるものを宿している」の考えを基本に、現在の部活の歩みはゆっくりではあるが確実にその実績を築きあげている。生徒たちの素直さが最後まで試合を締めないという現代の高校生の中になくなりかけたものを、昭和の生徒はみせてくれるといったお褒めの言葉がある方面からいただいた今、近い将来強豪校を

脅かす存在になることを目指し、生徒職員一丸となって頑張っている。

平成元年には、それまで体育施設が体育館だけであったが3階に温水プール、1階に剣道場が新設され、また、平成8年には、多目的ホールが造られ柔道、卓球のスペースが確保された。ここ十年間、水泳部が平成元年に、その後、軟式野球、男子バスケット、柔道、卓球、テニス部と相次いで産声を上げた。以前からの剣道部を加え現在7つになった運動部は、平成7年に発足した部活動後援会に資金面で大いに支えられ益々発展していくものと信じている。

資 料

長野県高等学校体育連盟規約

昭和24年制定

昭和44年5月10日改正

昭和57年11月16日改正

平成5年4月1日改正

第1章 総 則

第1条 本連盟は長野県高等学校体育連盟と称し、その事務局は会長の指定する学校におく。

第2条 本連盟は長野県内4地区（北信、東信、中信、南信）高等学校体育連盟を以て組織する。

第2章 目的および事業

第3条 本連盟は高等学校体育の健全な発達を図ることを目的とする。

第4条 本連盟は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 高等学校生徒の諸体育大会の開催
2. 高等学校体育に関する諸問題の調査研究
3. 体育関係団体との連絡調整
4. その他 本連盟の目的達成に必要な事項

第3章 役 職 員

第5条 本連盟に次の役職員を置く。

会長1名 副会長3～4名 理事長1名 副理事長1名 理事 若干名
（内常勤 若干名） 評議員20名（各地区5名） 専門部長 若干名
専門部委員 若干名 監事4名（各地区1名） 幹事 若干名

第6条 会長は各地区連盟会長の互選または推薦により決定し、本連盟を代表する。

第7条 副会長は各地区連盟会長があたり、会長を補佐し会長事故あるときはこれに代る。

第8条 理事長、副理事長は会長が委嘱する。理事長は会長の命を受けて会務を掌理する。
副理事長は理事長を補佐し、理事長事故あるときはこれに代る。

第9条 理事は地区選出理事と専門部選出理事とする。地区理事は各3名（内1名は各地区理事長とし常任理事を兼る）とし、専門部選出理事は各委員長とする。理事は理事会を組織して会務を執行する。常任理事は常時会務に参画する。

第10条 監事は会計の監査をする。

第11条 評議員、地区理事、専門部委員、監事は各地区連盟にて選出する。

第12条 専門部長は会長が委嘱する。

第13条 監事は会長が任命し、庶務、会計に従事する。

第14条 役員任期は2ヶ年とする。但し、再任は妨げない。

2. 補欠役員は前任者の任期をつぐ。

第4章 会 議

第15条 本連盟の会議は次のとおりとする。

1. 評議員会
2. 理事会
3. 常任理事会
4. 専門部委員会

第16条 評議員会は会長が招集し、本連盟の予算、決算、事業、役員承認、その他重要事項を審議

決定する。理事長、副理事長、常任理事は評議員会に出席して意見を述べることができる。

第17条 理事会は会長が招集し、本連盟の運営について原案の作成、会務の執行にあたる。

第18条 常任理事会は必要に応じて会長が招集し、理事会に提出する議案の作成、その他高等学校体育に関する諸問題を審議し、緊急な事項で理事会を開く暇のないときは之を代行し、次の理事会に報告する。

第19条 専門部委員会は会長の承認を得て部長が招集し、所管事項について審議執行する。

第20条 会長は随時必要な役員を招集して諮問することができる。

第21条 会議はすべて構成員の2分の1以上の出席がなければ開催することができない。ただし、委任状をもって出席にかえることができる。

2. 会長は評議員会、理事会、常任理事会の議長となり、専門部長は専門委員会の議長となる。

3. 議事は出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長が之を決する。

第5章 会 計

第22条 本連盟の経費は次のものをもってあてる。

1. 地区分担金 2. 補助金 3. 選手分担金 4. 参加料 5. その他

第23条 本連盟の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

第6章 附 則

第24条 本連盟の公認する以外の大会等の出場については、当該学校と本連盟との協議を経るものとする。

第25条 本規約に基づく会務の執行に必要な細部は理事会で定める。

第26条 本連盟に次の書類を備える。

1. 事務局 (1) 役員名簿 (2) 会計に関する書類 (3) 会議録 (県、北信越、全国)
(4) 備品簿 (5) 事業記録 (6) その他必要な書類

2. 専門部 (1) 専門委員会議録 (2) 北信越委員会出席記録 (3) 全国委員会出席記録
(4) 競技団体関係記録 (5) 協議会の記録

第27条 本規約の変更は評議員会の議決を経るものとする。

長野県高等学校体育連盟大会開催基準要項

昭和44年5月10日制定 平成元年2月27日改正

昭和48年12月17日改正 平成元年11月25日改正

昭和52年2月25日改正 平成3年2月25日改正

昭和55年3月4日改正 平成6年2月24日改正

昭和59年2月28日改正

高等学校体育大会は、高等学校教育の一環として行われるものであって、学校教育のクラブ活動の延長であり、参加生徒が主体である。そこでは日頃鍛練の成果を発表し、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健全な高等学校生徒を育成するとともに生徒相互の親睦を図るためのものである。

1. 大会開催方針

大会の開催にあたっては、一層円滑な運営を期するため関係競技団体ならびに、開催地の関係諸機関及び関係諸団体と緊密な連絡をとり実施する。関係する大会は次のものとする。

- (1) 全国高等学校総合体育大会、全国高等学校定時制・通信制体育大会
- (2) 北信越高等学校体育大会、北信越高等学校定時制・通信制体育大会
- (3) 長野県高等学校総合体育大会、長野県高等学校定時制・通信制体育大会
長野県高等学校新人体育大会

2. 大会開催基準要領

- (1) 全国高等学校総合体育大会、全国高等学校定時制・通信制体育大会…同開催基準要項による。
- (2) 北信越高等学校体育大会、北信越高等学校定時制・通信制体育大会…同開催基準要項による。
- (3) 長野県高等学校総合体育大会、長野県高等学校定時制・通信制体育大会
長野県高等学校新人体育大会

㉞ 大会の主催は長野県高等学校体育連盟と長野県教育委員会とし、種目別競技団体及び開催地関係機関と共催することができる。

㉟ 大会の主管及び後援

大会の主管は長野県高等学校体育連盟専門部とする。ただし、必要により種目別競技団体を、これに加えることができる。大会は必要により開催地の関係諸団体（新聞社等）を後援することができる。

㊱ 運 営

(a) 大会は、東北信、中南信交互に開催することを原則とする。

(b) 競技方法は、各種目とも学校対抗とし、トーナメント戦を原則とする。必要により別に個人戦を行うことができる。

(c) 競技の参加者は、4地区の予選会を経た上位者（チーム）より選出する。その人数は次の区分により大会期間中に無理なく競技が終了する範囲とする。

① 団体戦：男女それぞれ32チームを限度とする。

② 個人戦：男女それぞれ32名を原則とする。

ダブルスの場合は男女それぞれ16チームを原則とする。

ただし、個人戦でこの原則をこえるものについては、理事会の承認を得るものとする。

㊲ 大会開催の種目、時期、期間

(a) 競技種目は次のとおりとする。

陸上競技、柔道、剣道、ソフトテニス、テニス、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、ソフトボール、卓球、バドミントン、体操、相撲、弓道、水泳、サッカー、ラグビー、駅伝競走、スケート、スキー、登山、レスニング、漕艇、ウエイトリフティング、自転車、フェンシング、ヨット、ホッケー、定通大会、空手道、ボクシング、アーチェリー、なぎなた

(b) 大会は、全国高等学校総合体育大会、北信越高等学校体育大会に支障のない時期に実施することを原則とする。ただし、長野県高等学校新人体育大会は12月までに実施する。

(c) 大会は土・日曜日に実施することを本体とし、2日を超えないことを原則とする。ただし、2日を超える種目については、理事会において決定する。

(d) 新たに大会の開催を希望する種目については、理事会において決定する。

㊳ 大会参加資格及び参加料

(a) 大会参加者は選手分担金、登録料及び大会参加料を納めるものとする。

- (b) 参加者は加盟高等学校生徒で地区予選により出場権を得たものに限る。
 (ただし、地区予選の参加が少ない種目についてはこの限りではない。)
- (c) 長野県高等学校総合体育大会に参加する者の年齢は、4月2日を起算とし、19歳未満の者とし、長野県高等学校新人体育大会の参加者については、その大会の実施要項による。特例として、中国残留日本人孤児及びその子女についてはこの制限を撤廃する。
 (定通の場合は1・2・3年生とする)ただし、同一学年の出場は1回限りとする。
- (d) チームの編成において全日制と定時制及び通信制との生徒による混成は認めない。
- (e) 高等専門学校、および学校教育法第82条の2、第83条の学校に在籍し、長野県高等学校体育連盟の大会に参加を希望する生徒については、下記の条件を付して参加を認める。
- ① 大会の参加を認める条件、及び大会参加に際して守るべき条件
 全国高等学校総合体育大会開催基準要項〔12、大会参加資格の特例〕に定められた規則による。
- ② 大会開催に要する経費の負担について
 長野県高等学校体育連盟の別に定める参加料を負担する。
- ㉞ 表彰
- (a) 各種目とも上位入賞者に賞状を授与する。競技種目ごとの入賞者は別に定める。
- (b) 優勝旗、杯等は理事会の承認を得て種目ごとに授与することができる。
- ㉟ その他
- (a) 参加賞、記念品等は授与しない。
- (b) 大会役員は別に定める基準による。競技役員構成は、専門委員のほか、開催地区種目別関係者及び引率職員で構成することを原則とする。
- (c) 大会の経理は別に定める基準により行い、専門部委員長は実施報告とともに大会終了後10日以内に会長に報告するものとする。

3. その他の大会

上記以外の大会で種目別団体より要請のあった場合、年1回に限り、理事会の承認を得て共催することができる。

4. 理事会承認事項は別表に記するものとする。

理事会承認事項

平成9年2月27日現在

年度	種 目	内 容
昭36	ラグビー	新人、総体共3日とする
44	スキー	新人、総体共3日とする
49	ラグビー	新人、総体共4日とする
51	サッカー	総体3日とする
55	バスケットボール	新人3日とする
〃	ソフトボール	新人3日とする
〃	登山	総体3日とする
56	サッカー	新人3日とする

〃	スケート	総体3日とする
60	陸上競技	新人、総体共3日とする
62	バドミントン	新人、総体共3日とする
平元	バスケットボール	総体3日とする
〃	ソフトテニス	個人戦64組とする
2	ハンドボール	新人、総体16チームを越えた場合3日とする
8	サッカー	総体32チームとして2週間にわたって土・日に実施する

長野県高等学校体育連盟表彰規定

昭和62年2月16日制定

平成元年2月27日改正

平成5年4月1日改正

第1条 この規定は長野県高等学校体育連盟（以下本連盟という）の向上・発展に尽力しその功績が顕著であった者を表彰するために定めるものである。

第2条 前条の目的を達成するために表彰委員会（以下委員会という）を設ける。

第3条 委員会の構成は次のとおりとし、本連盟の会長がこれを招集する。

委員長…会長 副委員長…副会長 委員…理事長・副理事長・地区高体連理事長・地区高体連代表2名 以上をもって構成する。

第4条 委員長は委員会を代表し会議を統轄する。副委員長は委員長に事故あるときはその職務を代行する。

第5条 委員会は各学校ならびに各専門部および各地区高体連・県高体連より推薦を受けた者について審議し、表彰を受けるものを決定する。

第6条 表彰を受ける者は次のいずれかに該当する者であることを要す。

1. 本連盟の向上・発展に尽力し、特に功績の大であった者。
2. 全国高等学校総合体育大会及びこれに準ずる大会において優秀な成績を収めた生徒もしくはチーム。
3. 上記2に該当する優秀選手を育成した指導者

第7条 表彰者の決定は委員会において選考し、評議員会の承認を得る。

第8条 本規定の変更は評議員会において決定する。

第9条 表彰は毎年本連盟の評議員会で行ない、表彰状と記念品を贈呈する。

生徒の表彰については該当学校長より授与するものとする。

第10条 この規定の実施は別に定める細則による。

この規定は昭和62年4月1日より施行する。

長野県高等学校体育連盟表彰規定細則

1. 表彰の対象

- ・本連盟加盟校の教職員及び生徒、ならびに学校長が委嘱した指導者とする。

2. 功労者の表彰

- ア 本連盟の理事として通算6年以上その責務を果たした者を退任年度に行う。
- イ 前項以外で委員会がこれに準ずる功績があったと認めるもの。

3. 優秀選手の表彰

- ・規定第6条2項にいう、これに準ずる大会において優秀な成績を収めた者とは次のいずれかに該当する者をいう。
 - ア 全国高等学校種目別選抜大会、全国高等学校種目別選手権大会、国民体育大会、種目別全日本選手権大会等、個人種目3位以上団体種目4位以上の成績を収めたもの。
 - イ オリンピック大会、アジア大会、種目別世界選手権大会等、権威ある国際競技大会に参加した者。
 - ウ 全国的な権威ある体育団体において優秀選手若しくはチームと指名された生徒。

4. 優秀指導者の表彰

- ・前項の選手を育成し、規定第5条により推薦を受けた者。

表彰要領の申し合せ

1. 生徒の表彰について

- ・年度末の全校集会などの折、当該校長より授与する。

2. 役員の表彰について

- ・2のアの項について常任理事は年数にかかわらず退任年度とする。
- ・年度末の理事会の折に高体連の会長より表彰することができる。(この際の旅費日当は一般会計より支出する。)
- ・表彰状と記念品を贈る。(賞状と額縁)

3. 推薦用紙は年度はじめに地区高体連に配布する。

4. その他

- ・功労者表彰・優秀指導者表彰は、それぞれ一回だけとする。

海外派遣激励費に関する内規

1 目的

本県から全日本・全国高校代表として出場する高校生の活躍を激励することを目的とする。

2 対象者

当該年度県高体連登録完了者で、全日本、および全国高校代表チーム等に選抜されていること。
(県総体・県新人大会出場者であること)

3 対象となる大会

世界的規模の大会およびこれに準ずる大会に出場すること(オリンピック大会・アジア大会・種目別世界選手権大会・権威ある国際的競技会等)

4 支給回数

代表として出場する回数(その都度)

5 申請手続き

代表決定通知等のコピーを添えて、県高体連所定の申請書を提出する。

6 支給額

1 大会 10,000円とする。

長野県高等学校体育連盟傷病等見舞金規程

(目的)

第 1 条 この規程は長野県高等学校体育連盟（以下連盟という）に係る運動競技大会等の運動競技中の生徒及び役員等の負傷、障害又は死亡に対して給付する見舞金に関することを定める。

(定義)

第 2 条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

1. 運動競技大会等、次に掲げる大会又は行事をいう。

ア 長野県高等学校総合体育大会（定通大会を含む）イ 長野県高等学校新人体育大会

ウ 北信越高等学校体育大会（定通大会を含む）エ 上記ア、イ、ウの地区予選会

オ 全国高等学校総合体育大会（定通大会を含む）カ 部活外生徒参加のブロック大会

キ 連盟行事予定表に組まれた登山講習会

2. 運動競技中

運動競技大会の期間中、競技会場及び指定された練習会場における競技中及び練習中をいう。

3. 生徒・役員等

ア 連盟の加盟校の生徒で、学校長が第1校に規定する運動競技大会等に参加を認めたものをいう。

イ 連盟の会長が当該運動競技等の役員等として委嘱した者をいう。

(見舞金の給付)

第 3 条 連盟は生徒及び役員等が運動競技大会等の運動競技中に負傷し、又は障害となり、もしくは死亡した場合には、当該生徒及び役員等又はその保護者に対して見舞金を給付する。

(見舞金の種別等)

第 4 条 見舞金の種別、要件及び額は次の通りとする。

種別	要件	額
傷病見舞金	3ヶ月程度の治療を必要とする傷病	5万円以内
障害見舞金	日本体育・学校健康センター施行規則別表に規定する障害	50万円以内
死亡見舞金		30万円（香典を含む）

2. 前項の規程にかかわらず、前項の表中、傷病見舞金の給付について急施を要すると連盟の会長が認める時は、審査会の決定をまたずに最低額の給付を行うことができる。ただし、この場合、事後審査会に報告しなければならない。

(請求の手續)

- 第 5 条 見舞金を請求しようとするときは、見舞金請求書(別記第1号様式)に医師の診断書(死亡の場合は除く)及び運動競技大会等の責任者の交付する傷病等証明書(別記第2号様式)を添えて、連盟の会長に提出しなければならない。

(審査会)

- 第 6 条 見舞金の給付の可否及び額を審査するため、連盟に審査会を置く。
- 2 審査会は委員若干名で組織する。
 - 3 委員は、連盟の会長が委嘱し、任期は2年とする。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 - 4 委員は再任を妨げない。
 - 5 審査会に委員長を置く。委員長は委員の互選による。
 - 6 委員長は、審査会の会務を総括する。
 - 7 審査会の運営に必要な事項は会長が別に定める。

(経費)

- 第 7 条 見舞金に要する経費は次に掲げるものをもって充てる。
- 1 積立金
 - 2 その他の収入

(会計)

- 第 8 条 この見舞金の会計は特別会計とする。
- 第 9 条 この見舞金の会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終る。
- 第 10 条 この見舞金の会計は、本連盟監事の監査を受けなければならない。

(規程の改正)

- 第 11 条 この規程を改正しようとするときは、評議員会の承認を必要とする。
- 第 12 条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は会長が別に定める。

附 則

1. この規程は、昭和55年4月1日より施行する。
2. 平成元年11月25日一部改正、同年4月1日にさかのぼって施行する。

審査会運営規程

- 第 1 条 この審査会は、必要に応じ委員長が招集し、議長となる。
委員長に事故あるときは、委員長の指名する委員がその職務を行なう。
- 第 2 条 審査会は委員の半数以上の出席がなければ、審査及び見舞金の決定をすることはできない。
- 第 3 条 審査会の議事については、会議録を作成しなければならない。
会議録は、その都度、議長及び委員1名が署名しなければならない。
- 第 4 条 審査会の決定事項については長野県高等学校体育連盟常任理事会に報告しなければならない。
- 第 5 条 審査会の費用は長野県高等学校体育連盟の一般会計より支出する。
- 第 6 条 この規程に定めるもののほか、審査会に必要な事項は、委員長が長野県高等学校体育連盟会長と協議して定めることができる。

沿 革 年 表

区 分 年 度	長 野 県 高 体 連	体 育 ・ ス ポ ー ツ 一 般
21	(3. 県中学校野球連盟結成、会長・西村文雄 32年まで) (9. 長野県体育協会発足) (○ 長野県学校体育連盟)	6. 文部省、秩序運動に必要な号令隊列行進、徒手体操などは非軍事的態度で行うことを通牒。 11. 題1回国民体育大会 12. 日本体育指導者連盟結成 22/ 3. 教育基本法、学校教育法公布
22	(○ 石川国体で諏訪高女、体操四部で優勝)	5. 日本国憲法施行 7. 学校体育指導要綱制定 22/ 3. 文部省 学徒の対外試合について通牒 (全国大会は年1回、教育関係団体が主催……)
23		4. 新制高等学校発足 6. 全国高等学校体育連盟発足
24	6. 長野県高等学校体育連盟結成、会長に西村文雄氏就任。事務局を長野工業高校に置く。理事長に刈間今朝雄氏就任 長野県高体連規約制定	6. 高校の「体育科」が「保健体育科」と改称、「保健」「体育」の2科目となる
25		6. 全国高体連マーク制定 10. 学校の体育教材として柔道の復活が認められる 26/ 3. 第1回アジア競技大会
26	○ 全国高校選手権大会で優勝 軟式庭球団体女子・蠓ヶ崎 ソフトボール女子・豊科 バレーボール男子・岡谷南 スキー男子・下高井農林 27/ 1. 第1回全国高校スケート選手権大会 蓼科湖で開催 女子、岡谷東優勝	7. 文部省 弓道を選択教科に採用 高等学校学習指導要領保健体育科編 (試案)
27	○ 全国高校選手権大会 バasketボールで岡谷東優勝 8. 第5回全国高校陸上大会 松本市で開催 28/ 1. 第2回全国高校スケート選手権大会で男子、岡谷南優勝	7. 第15回オリンピック大会 (ヘルシンキ) 日本戦後初参加
28	29/ 1. 第3回全国高校スケート選手権大会で男子、岡谷工、女子諏訪二葉優勝	7. 文部省 学校における剣道の実施について通達
29	(○ 甲子園大会で飯田長姫優勝) 30/ 2. 第4回全国高校スキー大会で飯山北優勝 30/ 1. 第4回全国高校スケート選手権大会 美鈴湖で開催 男子岡谷工、女子諏訪二葉ともに2連勝	4. 文部省 学徒の対外競技について通達 (高校は全国大会年1回程度) 8. 日本女子体育連盟結成

区分 年度	長野県高体連	体育・スポーツ一般
30	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2代会長に田中実氏（松本工）就任 ○ 高体連規約一部改正（専門部の位置づけ・副理事長） ○ 校長協会 学校体育研究委員会設置して学校教育のあり方研究 <p>31/1. 第5回全国高校スケート選手権大会で男子岡谷工3連勝 女子南佐久実優勝</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国高体連 大会開催基準要項制定 7. 全国中学校体育連盟発足 31/1. 第7回冬季オリンピック大会（コルチナ・ダンベッツォ） 31/1. 高等学校学習指導要領保健体育編改訂
31	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3代会長に西村文雄氏（長野工）就任 6. 第1回長野県高校総合選手権大会（上田市他） <p>32/1. 第6回全国高校スケート選手権大会 女子南佐久実2連勝 男子野沢北優勝</p> <p>32/2. 第6回全国高校スキー大会 飯山市で開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> 11. 第16回オリンピック大会（メルボルン） 12. 日本の国連加盟承認される 32/2. スポーツ振興審議会設置
32	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第4代会長に塚田隆雄氏（長野）就任 <p>33/1. 第7回全国高校スケート選手権大会 女子南佐久実3連勝</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5. 文部省 学徒の対外運動競技・運動部の指導について通達 5. 学校剣道正科体育で実施許可 7. 高体連の歌制定 ○ 高校スポーツ中央審議会発足
33	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高体連規約一部改正（目的・役職員） <p>34/1. 第8回全国高校スケート選手権大会 女子南佐久実4連勝</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5. 文部省に体育局設置 ○ 全国高体連全国大会国庫補助金申請（翌年より交付される） 12. 文部省 冬季におけるスキー、スケート、登山等の事故防止について通達
34	<p>4. 第5代会長に更級勉氏（長野商）就任、事務局を長野商業高校に置く。理事長に丸山保彦氏就任</p> <p>35/1. 第9回全国高校スケート選手権大会 蓼科湖で開催 女子南佐久実5連勝</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長野県に体育課設置 5. 北信越高体連発足 5. IOC総会'64年度オリンピック開催地を東京と決定 12. 日本学校安全会法公布 35/2. 第8回冬季オリンピック大会（スクォーパレー）
35	<p>36/1. 第10回全国高校スケート選手権大会 軽井沢で開催 女子南佐久実6連勝</p>	<ul style="list-style-type: none"> 8. 第17回オリンピック大会（ローマ） 10. 高等学校学習指導要領改訂告示
36	<p>4. 第6代会長に新田稔氏（長野商）就任</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水泳・バドミントン。弓道・ラグビー・相撲専門部設置 <p>37/1. 第11回全国高校スケート選手権大会 女子南佐久実7連勝</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国大会全種目文部省後援となる 6. 文部省 学徒の対外運動競技の基準を通達 6. スポーツ振興法公布 37/3. 高等学校学習指導要領解説保健体育科編（翌年施行）
37	<p>38/1. 第12回全国高校スケート選手権大会 女子南佐久実8連勝</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4. 文部省体育局運動競技課、スポーツ課と改称 6. 日体協、スポーツ少年団結成

区分 年度	長野県高体連	体育・スポーツ一般
38	4. 第7代会長に久保田文雄氏（長野商）就任 39/1. 第13回全国高校スケート選手権大会 女子南佐久実9連勝	4. 文部省体育局にオリンピック課設置 8. 全国高校選手権大会が全国高校総合体育大会として新発足 新潟中心会場で初の総合開会式 39/2. 第9回冬季オリンピック大会（インスブルック）
39	○ 駒ヶ根工高加盟 8. 全国総体 ソフトボール大会を伊那市で、ハンドボール大会を上田市で開催 40/1～2. 全国高校スケート大会を城ノ平で、同スキー大会を志賀高原で開催	4. 文部省 青少年スポーツテストの全国実施を発表 ○ 全国高校総体大会開催基準要項制定 8. 愛知県中心会場で全国総体 ○ 第18回オリンピック大会（東京） 12. 文部省 高校生の冬山登山禁止 40/3. 体力づくり国民会議結成
40	4. 第8代会長に宮下清計氏（県ヶ丘）就任。事務局を松本県ヶ丘高校に置く。理事長に三村成美氏就任 41/1. 第15回全国高校スケート選手権大会 女子南佐久実10回目の優勝 41/2. 第15回全国高校スキー大会で男子飯山北、女子飯山南優勝	8. 大分県中心会場で全国総体 日体協が総合体育大会を認める。 41/1. 北信越高体連大会開催基準要綱制定
41	4. 第9代会長に山田石男氏（県ヶ丘）就任 42/2. 第16回全国高校スキー大会で女子飯山南2連勝	4. I O C ' 72冬季オリンピック開催地を札幌に決定 6. 祝日法改正「体育の日」新設 8. 青森県中心会場で全国総体。この年より皇太子、同妃殿下臨席 ○ 全国高体連 第1回研究発表会
42	○ サッカー・レスリング専門部設置 8. 全国総体 バレーボール大会を長野市で庭球大会を松本市で開催 43/2. 第17回全国高校スキー大会で女子飯山南3連勝	8. 福井県中心会場で全国総体 ○ 全国高体連主催で定時制、通信制大会開催 43/2. 第10回冬季オリンピック大会（グルノーブル）
43	○ 庭球・研究調査専門部設置 44/2. 第18回全国高校スキー大会で飯山南4連勝	8. 広島県中心会場で全国総体 10. 第19回オリンピック大会（メキシコ） 11. 文部省 中学校・高等学校における運動クラブ指導について通達
44	5. 高体連規約一部改正（事業内容・常任理事会・会議の成立・常備書類） 5. 大会開催基準要項制定 45/1. 第19回全国高校スケート大会を浅間温泉で開催 45/2. 第19回全国高校スキー大会 飯山市で開催 女子飯山南5連勝	7. 文部省 児童生徒の運動競技の基準（学校教育活動と同以外）通達 7. 青少年運動競技中央連絡競技会発足 8. 群馬県中心会場で全国総体 ○ 総合開会式の簡素化の問題提起される

区分 年度	長野県高体連	体育・スポーツ一般
45	○ 登山専門部設置 46/2. 第20回全国高校スキー大会で飯山南6連勝	6. 文部省 課外活動における暴力行為の防止について通達 8. 和歌山県中心会場で全国総体 10. 文部省 高等学校学習指導要領改訂を告示(体育重視) 46/3. スポーツ障害保険発足
46	4. 第10代会長に中村博二氏(長野)就任。事務局を長野高校に置く。理事長に北沢生吉氏就任	8. 徳島県中心会場で全国総体 47/1. 文部省 教特法施行 47/2. 第11回冬季オリンピック大会(札幌)
47	○ 定通専門部設置 ○ 「長野県高体連会報」創刊 11. 全国高体連理事会で51総体は長野県主会場で北信越が担当と内定 48/2. 第22回全国高校スキー大会(21回は中止)で飯山南7連勝	6. 文部省 高等学校学習指導要領解説保健体育編(必修クラブ等) 8. 山形県中心会場で全国総体 8~9. 第20回オリンピック大会(ミュンヘン)
48	7. 51総体 総務・競技・式典特別委員会設置	4. 文部省 改訂指導要領施行 8. 三重県中心会場で全国総体 9. 文部省 体育功労者および社会体育優良団体の表彰について通知
49	4. 第11代会長に佐藤穂次氏(長野西)就任。事務局を長野西高校に置く。理事長に湯本宣政氏就任 ○ 長野東高加盟 漕艇・ウエイトリフティング・自転車・フェンシング・ヨット・ホッケー専門部設置 50/2. 第24回全国スキー大会で男子飯山北優勝	8. 福岡県中心会場で全国総体 50/1. 文部省 社会教育主事(スポーツ担当)制度発足決定
50	6. 51総体リハーサルとして北信越大会7種目開催 51/2. 第25回全国高校スキー大会で女子白馬優勝	8. 東京都中心会場で全国総体 51/2. 第12回冬季オリンピック大会(インスブルック)
51	8. 全国高校総体を長野市を主会場に6市2町1村で開催 漕艇FKで岡谷南優勝 52/2. 第26回全国高校スキー大会で女子飯山南優勝	7. 第21回オリンピック大会(モントリオール)
52	4. 第12代会長に丸山保彦氏(長野吉田)就任 8. 全国総体 弓道で飯田女子優勝 53/2. 第27回全国高校スキー大会で女子飯山南2連勝	8. 岡山県中心会場で全国総体 10. 全国高校総体中央委 参加人員の20%削減を54年度目標に申し合わせる
53	4. 第13代会長に栗田寛氏(長野西)就任 54/1. 第28回全国高校スケート大会 軽井沢で開催。男子岡谷南優勝	○ 長野県で第33回国民体育大会(やまびこ国体)開催 8. 福島県中心会場で全国総体 8. 文部省 高等学校指導要領改訂を告示

区 分 年 度	長 野 県 高 体 連	体育・スポーツ一般
54	4. 第14代会長に藤森慎氏（県ヶ丘）就任。事務局を松本県ヶ丘高校に置く。理事長に伊藤昭治氏就任 ○ 規約等検討委員会設置	8. 滋賀県中心会場で全国総体 55/2. 第13回冬季オリンピック大会（レークプラシッド）
55	○ 高体連規約一部改正（支会・組織・役職員・分担金） 4. 障害等見舞金規定制定 ○ 会報編集専門部設置 ○ 下諏訪向陽高加盟 56/1. 第30回全国高校スケート大会で男子岡谷南優勝	7. 第22回オリンピック大会（モスクワ）日本不参加 8. 愛媛県中心会場で全国総体
56	8. 全国総体 漕艇FKで岡谷南、SKで清陵優勝	8. 神奈川県中心会場で全国総体 9. 体協アマチュア委員会「冠大会」を事実上承認
57	4. 第15代会長に市村順太郎氏（県ヶ丘）就任 高体連規約一部改正（組織・役員の数、任務、経費） 8. 全国総体 登山で長野西最優秀校	8. 鹿児島県中心会場で高校総体
58	4. 第16代会長に平松剛氏（長野吉田）就任。事務局を長野吉田高校に置く。理事長に渡辺伊八氏就任 ○ 田川高、長野南高加盟	8. 名古屋市中心会場で全国総体 59/2. 第14回冬季オリンピック大会（サラエボ）
59	○ 中野西高加盟 60/2. 第34回全国高校スキー大会で女子飯山南優勝	7. 第23回オリンピック大会（ロサンゼルス） 8. 秋田県中心会場で全国総体
60	4. 空手道、高体連史編集専門部設置 61/2. 第35回全国高校スキー大会 白馬村で開催。女子白馬優勝	8. 石川県中心会場で全国総体
61	○ 明科高加盟 62/2. 表彰規定制定	8. 山口県中心会場で全国総体
62	4. 第17代会長に高橋重造氏（長野吉田）就任 63/2. 県高体連表彰始まる 63/3. 「長野県高体連史」刊行	8. 北海道中心会場で全国総体 63/2. 第15回冬季オリンピック大会（カルガリー）
63	4. 第18代会長に小林 仁氏（諏訪二葉）就任。事務局を諏訪二葉高校に置く。理事長に両角千明氏就任 元/1. 第38回全国高校スケート大会を軽井沢で開催 元/2. 第38回全国高校スキー大会 白馬高校女子総合優勝	8. 兵庫県中心会場に全国総体 9. 第24回オリンピック大会（ソウル）

区分 年度	長野県高体連	体育・スポーツ一般
平成 元年	<p>4. ボクシング専門部発足</p> <p>6. 県総合体育大会参加者 約5,000人</p> <p>10. 南信地区新人大会、体操競技大会時に事故死 (諏訪二葉高校2年、竹松さやかさん)</p> <p>2/2. 全国高体連研究大会発表(福井)</p> <p>2/2. 第39回全国高校スキー大会で白馬高校女子2連勝</p>	<p>8. 高知県中心会場で全国総体</p>
2	<p>4. 学校分担金120円に値上げ(80円→120円) 大会基準要項改正 県総体に地区より8チーム参加可能となる</p> <p>8. 全国総体 男子バレー準優勝 岡谷工業高校</p>	<p>8. 宮城県中心会場で全国総体</p> <p>9. アジア大会(北京)</p> <p>3/1. 国体(冬季)軽井沢開催</p>
3	<p>4. 第19代会長に竹内長生氏(諏訪二葉)就任。理事長に小島功氏就任。</p> <p>8. 全国総体 弓道 飯田女子高校団体優勝</p> <p>9. 第42回全国高校スキー大会長野県実行委員会発足 (北安曇郡小谷村)</p> <p>4/2. 第41回全国高校スキー大会 中野実高校男子総合優勝</p>	<p>6. 冬季五輪長野開催決定(IOC総会で)</p> <p>8. 静岡県中心会場で全国総体</p> <p>11. 長野冬季五輪組織委員会発足</p> <p>4/2. 16回冬季オリンピック大会</p>
4	<p>4. 第20代会長に藤沢愛信氏(上田)就任。事務局を上田高校に置く。理事長に山浦正孝氏就任</p> <p>4. アーチェリー専門部発足</p> <p>5/2. 第42回全国高校スキー大会 小谷村柵池開催 (2・1) 中野実高校男子2連続総合優勝</p>	<p>4. 飯山南高校体育科設置</p> <p>7. 第25回オリンピック大会(バルセロナ)</p> <p>8. 宮崎県中心会場で全国総体</p> <p>9. 学校5日制による土曜休日始まる</p> <p>5/2. 世界ノルディクスキー選手複合個人 荻原健司初優勝</p>
5	<p>6/1. 第43回全国高校スケート大会 佐久高校男子総合優勝</p>	<p>8. 全国高体連「高校総体企業協賛」導入</p> <p>8. 栃木県中心会場で全国総体</p> <p>9. 国際パラリンピック冬季大会長野開催決定</p>
6	<p>5. 県総体に長野高等工業専門学校が8種目に初参加</p> <p>7/1. 第44回全国高校スケート大会 佐久高校男子2連続優勝</p> <p>7/2. 第44回全国高校スキー大会 飯山南高校男子総合初優勝</p> <p>7/2. 全国高体連研究大会発表(静岡)</p>	<p>4. 各種学校、専門学校の総体参加を認める</p> <p>8. 富山県中心会場で全国総体</p> <p>7/1. 国体スケート、長野県史上初の天皇杯(男女総合優勝)</p>
7	<p>4. 学校分担金値上げ検討委員会発足</p> <p>8/1. 第45回全国高校スケート大会 佐久長聖高校男子総合3連続優勝</p>	<p>4. 高校受験、隣接区から10%の入学認める制度実施</p> <p>8. 鳥取県中心会場で全国総体</p> <p>8/1. アジア冬季大会で今井裕介(佐久長聖) 1,000m、1,500mに優勝</p>

区分 年度	長野県高体連	体育・スポーツ一般
8	4. 第21代会長に海沼清美（長野）就任。事務局を長野高校に置く。理事長に布施紀彦氏就任 4. 学校分担金値上げ200円（1人 120円 → 200円） 4. なぎなた専門部発足 6. 県総合体育大会 33種目 9,190人の参加 9 / 1. 第46回全国高校スケート大会 東海大第三高校女子総合優勝 9 / 2. 第46回全国高校スキー大会 飯山南高校男子総合優勝	5. 2000年サッカーワールドカップ 日韓共催で開催決定 7. 第26回オリンピック（アトランタ） 8. 山梨県中心会場で全国総体
9	4. 第22代会長に本山綱規氏（長野）就任。 4. 第48回全国高校スケート大会長野事務局開設（長野高校） 10. 高体連50周年記念事業実行委員会発足	8. 京都府中心会場で全国総体 10 / 2. 長野冬季オリンピック（長野） 10 / 3. パラリンピック（長野）
10	4. 第49回全国高校スキー大会長野事務局開設（飯山市役所） 8. 全国総体ソフトテニス 上田西高校女子団体優勝 弓道 屋代高校男子準優勝	8. 香川県中心会場で四国4県で開催

平成10年12月現在

編集後記

昭和23年教育改革によって新しい学校制度が施行されたと同時に、その年の6月に全国高等学校体育連盟は発足した。長野県は手続き上の時間を費やして遅れること1年、昭和24年6月に4地区連合体という形で高等学校体育連盟を結成した。それから半世紀、たとえば土の運動場での陸上競技はオールウェザーの競技場での大会となり、同じく土のコートで泥まみれになるスポーツだったバレーボールは体育館種目となるなど、スポーツそのものと学校教育は比較にならない程の変貌を遂げた。昭和63年度末に発刊した『長野県高体連史』の編集後記には、“手をつなぎ長野に呼ぼう冬季五輪”の運動が展開されていると書き出したが、夢物語と思っていた長野オリンピックが、多くの感動と立派な競技施設などを残して今は過去の思い出になった。長野県出身の野明、今井、上原、外ノ池選手等の活躍したMウェーブでは、今年度のスピードスケートインターハイが開催される。この記念誌が発刊される頃は、それとて過去のこととなっていることになる。

こういった50年の経過を、それぞれの立場でたどっていただけることを期待し、さらに半世紀にわたる高校体育いや県のスポーツ振興の中核となって発展してきた高体連の、今後の展望を切り開く手がかりとなることを期待しながら、高体連50周年記念事業として本誌は編集した。

内容構成は、前記の『長野県高体連史』をベースにして、その後の最近10年を記録にとどめるという考え方で進めた。50年を回顧するに必要な「沿革」や「歴代役員」などは加筆して再録し、依頼の3分の1ほどしか寄稿いただけなかったけれども「オリンピック・パラリンピック回想記」と「記念事業」とを前回に無い新たな内容として取り入れた。全ページの5割強に及んだ専門部すなわち各種目の「競技記録」のページは、前回の続きの昭和62年度以降を、1チームでも1人でも多く載せるという方針で原稿依頼した。結果的には、競技人口の種目間格差の配慮不足や表記法の不統一、小さすぎる活字など多くの問題を残す結果となった。弁解をさせていただけるなら、記録は毎年の『高体連会報』に掲載されているので参照願いたいということである。

種目でない専門部として、33に研究調査部からの経過報告があるが、その中に全国高体連研究大会（新潟市）で長野県代表として発表した2本のレポートを掲載した。是非目を通し今後研究面の活動をより強める参考にしてほしい。後先になって恐縮だが、研究活動の面而言えば「記念事業」のページにある記念式典での講演記録は、教育やスポーツについての基礎理論を幅広くしかも深く言及された内容なので、一部しか掲載できなかったが上のレポートの前にご一読願いたい。

紙数の制限の中で、「加盟高等学校紹介」は1ページ2高校とし「地区高体連の概況」も簡単な最近10年の状況報告にとどめた。いずれも長野県高体連の基盤となる組織なので、重要な役割を果たしていることを認識していただきたく思う。

グラビアページをはじめ全てにわたって、人物、種目や学校、その他の組織や内容の記述や扱いに、公平と正確さ、順序や見やすさを心がけたつもりである。しかし、限られた時間の制約の中で原稿依頼を焦り気味にやった結果、足並みがそろわず、ページ数をはじめ大幅修正を余儀なくされる不本意な箇所もいくつか出てしまった。編集委員としての責任と無力を反省し、関係寄稿者に心よりお詫びする次第です。

最後になってしまったが、平成8年度末事務局提案から始まって2年間、本誌編集に当たって非常に多くの方々の意見、寄稿、資料提供等をいただいた。事務局をはじめ、特に第一印刷さんには無理難題を数多く迫ったにもかかわらず、私情を押さえて快く対応していただいた。関係各位全てに対し、編集委員一同衷心より感謝の意を表する次第です。

長野オリンピック閉会式でのサマランチ会長の言葉から、記念講演の原講師は「デベロップメント
 オブスポーツモラル」(スポーツ道徳性・スポーツ心)、「スポーツフォーオール」、「ヘルスフォー
 オール」、「ピースフォーオール」を引用した。スポーツの社会的使命や教育に果たす役割を、高体連
 の節目の時に改めて問い直してみたいものである。組織を陰に陽に支えていただいている各位と高体
 連が、21世紀を迎えて質実ともますます発展することを願ってやみません。本書がその一助として
 少しでもお役に立てれば、編集に関わった者としてそれに勝る喜びはございません。

(1999.1 清水 博 記)

編集委員	委員長	清水 博	(須坂高校)	県・北信研究調査委員長)
	委員	阿部 隆	(野沢北高校)	前県研究調査委員長)
	委員	北原三代志	(中野実業高校)	北信調査研究委員)
	委員	鈴木 精一	(長野高校)	県高体連事務局)
	委員	為田 勝英	(諏訪二葉高校)	県研究調査委員)
	委員	西沢 健雄	(長野西高校)	県会報編集委員長)
	委員	平井準一郎	(県体育協会)	前県会報編集委員長)
	委員	堀内 文武	(上田高校)	前県高体連事務局)
	委員	望月 勝夫	(豊科高校)	県研究調査委員)
	委員	山下 晃広	(上田東高校)	県研究調査委員)
	委員	依田 正輝	(長野商業高校)	北信記念誌編集委員)
	委員	若林 康彦	(長野吉田高校)	北信記念誌編集委員)



長野県高体連史

—50周年記念誌—

平成11年2月22日 印刷
平成11年2月25日 発行

非売品

編集 長野県高体連50周年記念誌編集委員会

発行者 長野県高等学校体育連盟
会長 本山 綱規

発行所 〒380-8515 長野県長野市上松1-16-12
長野県長野高等学校内
長野県高等学校体育連盟
電話 026-234-1205

印刷所 第一印刷株式会社
長野県長野市県町528
電話 (026) 234-2525
